南島原市文化財調査報告書　第28集

権現脇遺跡

―赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事に伴う発掘調査―

２０２１

長崎県南島原市教育委員会

南島原市文化財調査報告書　第28集

権現脇遺跡

―赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事に伴う発掘調査―

２０２１

長崎県南島原市教育委員会

発刊にあたって

長崎県南島原市深江町大野木場に所在する権現脇遺跡は，島原半島の東部，雲仙普賢岳の東麓に位置します。普賢岳は平成２年11月17日に198年ぶりに噴火しましたが，山頂に溶岩ドームが形成され成長と崩落を繰り返すようになると，火砕流や土石流が頻発してふもとは甚大な火山災害に見舞われました。遺跡周辺の大野木場地区も普賢岳にもっとも近い集落の一つであり，例外ではありませんでした。そして，平成噴火から30年の歳月がたちましたが，いまだ山頂の溶岩ドームはいつ崩落するかもしれず，山腹に堆積した膨大な量の火山噴出物はひとたび豪雨があれば土石流となって谷を駆け下る危険性もあります。

そうしたなか，国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所によって赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事が計画されました。工事は，既設の導流堤を嵩上げ・補強することで赤松谷川・水無川流域一帯の安全を確保するためのもので，今回の権現脇遺跡の発掘調査は，この砂防工事の計画を受けて実施いたしました。

長期にわたる発掘調査では，縄文時代のおわりから弥生時代のはじめごろを中心に貴重な遺構や遺物の検出がありました。特に土器棺墓や土坑墓といった当時の葬送に係る遺構が複数発見されたことは大きな成果といえます。本書を通じてこれら権現脇遺跡の貴重な情報が，今後の考古学研究に寄与するものとなれば幸いです。また，教育や観光など多方面において大いに活用されることを期待いたします。

末筆ではございますが，発掘調査を実施するにあたりご協力とご理解を賜りました雲仙復興事務所の皆様，工事関係の方々，調査に従事いただきました作業員の方々，そのほか関係各位に心より感謝申し上げます。

令和３年９月30日

南島原市教育員会

教育長　松本　弘明

例　　言

1　本書は，権現脇遺跡（長崎県南島原市深江町大野木場所在）の発掘調査報告書である。

2　調査は，国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所が事業主体である赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事に伴って実施した。

3　調査は，長崎県南島原市教育委員会が主体となって以下の期間，面積で実施した。

試掘・範囲確認調査

赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事予定地（下流部）

期間：平成22年12月27日　～　平成23年３月10日

面積：76㎡（２ｍ×２ｍの調査坑19箇所）

赤松谷川１号導流堤嵩上げ工事予定地・赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事予定地（上流部）

期間：平成23年５月16日　～　平成24年３月28日

面積：52㎡（２ｍ×２ｍの調査坑13箇所）

赤松谷川１号導流堤嵩上げ工事予定地

期間：平成25年３月25日　～　平成25年３月27日

面積：24㎡（２ｍ×２ｍの調査坑６箇所）

本調査

赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事予定地

Ｊ区

期間：平成23年７月12日　～　平成24年３月27日

面積：4,152㎡

Ｋ区

期間：平成24年５月23日　～　平成25年３月14日

面積：3,440㎡

Ｌ区

期間：平成25年１月７日　～　平成25年３月14日

平成25年５月20日　～　平成26年３月14日

面積：1,727㎡

Ｍ区

期間：平成25年８月５日　～　平成26年３月14日

平成26年６月２日　～　平成27年３月６日

面積：1,795㎡

赤松谷川１号導流堤嵩上げ工事予定地

Ｎ区

期間：平成27年11月19日　～　平成28年３月25日

面積：593㎡

O区

期間：平成27年11月19日　～　平成28年３月25日

平成28年12月１日　～　平成29年３月29日

面積：1,797㎡

4　現地調査及び本報告書作成に係る整理調査の体制と担当は，以下のとおりである。

調査体制

南島原市教育委員会	教　育　長	定方　郁夫（～平成26年７月）
		永田　良二（平成26年８月～令和３年８月）
		松本　弘明（令和３年８月～）
	教育次長	井口　敬次（～平成22年度）
		水島　文昌（平成23年度～平成25年度）
		渡部　　博（平成26年度～平成28年度）
		深松　良蔵（平成29年度～平成31年度）
		栗田　一政（令和２年度～）
	理　　事	宮崎　　誠（平成31年度）
	文化財課長	松本　慎二（平成22年度～平成31年度）
		岡野　博明（令和２年度～）
	文化財課文化財班長	林田　順助（～平成25年度）
		木村　岳士（平成26年度～平成29年度）
		末永　　透（平成30年度）
		鬼塚　俊範（平成31年度）
		梶原　知治（令和２年度～）

調査担当

試掘・範囲確認調査

南島原市教育委員会	文化財課文化財班	主査（学芸員）	本多　和典（平成22～24年度）

本調査

南島原市教育委員会	文化財課文化財班	主査（学芸員）	本多　和典（平成23～28年度）
		主　事　補	大熊　玲奈（平成26年度）
		文化財調査員	林田　好子（平成23～25年度）
		同　　上	酒井　希望（平成27・28年度）
（株）埋蔵文化財サポートシステム長崎支店			松尾　直子（平成23～27年度）
			立石　和也（平成28年度）

整理調査

南島原市教育委員会	文化財課文化財班	副参事（学芸員）	本多　和典
		文化財調査員	林田　好子（平成23～25年度）
		文化財調査員	酒井　希望（平成27・28年度）

5　現地調査における個別の遺構実測図は，本多，林田，酒井が作成した。土層実測図は，本多，林田，酒井，上田五月，佐藤三夏，松尾ひとみが作成し，一部を（株）埋蔵文化財サポートシステムに委託した。遺構配置図の作成及び航空写真の撮影は，（株）埋蔵文化財サポートシステムに委託した。

6　現地調査における写真撮影は，本多が行った。本書掲載の遺物の写真撮影は，小川慶晴が行った。

7　遺物の実測は，（株）大成，（株）九州文化財研究所に委託し，遺物実測の一部と土器の拓本，遺物実測図の製図は整理作業員が行った。遺構配置図の製図は，（株）大成に委託した。

8　調査及び本書の刊行にあたって，以下の作業員が携わった。

発掘作業員

相川德久，相川壽勝，浅野孝文，荒木秀之，石江真衣，石川英司，石口重友，市川久治，伊藤正男，岩永ミヱ子，岩永好德，岩本攝也，岩本幸江，植木豊喜，上田五月，上田孝子，内田シズ子，内田康文，内山貴有，大久保正孝，加来浩三，片山英昭，鐘ヶ江成男，鐘ヶ江保盛，川田德行，木村法男，小出博一，小林さおり，小林三一郎，小林正男，才木努，細波祐介，酒井久美，坂上政秀，坂田光大，笹田洋榮，佐藤三夏，佐藤譽次郎，下田和美，下田繁成，下田千里，下田勉，下田幸德，末永利恵，高木加奈代，多良保彦，筑紫晴道，中田廣和，永石光聖，永江盤弘，永田典保，長野重寿，中村大輔，錦戸時子，林田キヨカ，林田利通，原田知俊，福田信介，藤原幸栄，古田哲也，堀江洋子，本多末隆，本多ひさ代，松尾ひとみ，松島秀太郎，松島律子，松本勲，水田一彦，水田忠一，水田悠平，水田義光，宮川ひろみ，宮木政行，宮崎一文，宮崎八寿治，森川慎也，森川政廣，森川三男，森俊二，森野誠五，森山滋，山口経治，山口道康，山田一元，山田清次郎，横田新士，横田勇，横田正行，横田武文，横田秀彦，横田弘一，横田稔，吉川美智子，吉永眞民行，渡邊林，渡邊政義

整理作業員

壹岐美由紀，池田久美子，石江真衣，岩田貴子，岩永英子，上田五月，内田慎一，岡本美香，柿田薫，川添幸治，細波泉，坂上弘美，佐藤三夏，下田金衛，末永利恵，関口正吏，高木加奈代，高橋武蔵，田中真由子，照平八千代，飛永弘恵，中川愛里，中島洋世，福島哲英，松原加歩，水田尚子，溝田利枝，宮川ひろみ，宮嵜美保，三宅圭子，湯田由美，横田香織

9　本書に関する遺物，図面，写真等は，南島原市深江埋蔵文化財整理室において保管している。

10　調査及び本書の刊行にあたって，以下の方々からご助言，ご指導をいただいた。記して謝意を表します。

安楽勉，上田万秋，宇土靖，大野希一，小畑弘己，川道寛，杉本伸一，早田勉，竹田将仁，谷口隼斗，辻田直人，寺田正剛，長井大輔，中尾篤志，東貴之，古門雅高，星住英夫，本田秀樹，本田雄峰，松島健，宮武直人，宮縁育夫，村子晴奈，吉岡慈文

（五十音順，敬称・所属略）

11　本書の執筆・編集は，本多による。

目　　次

第Ⅰ章　はじめに …… 1
1　権現脇遺跡の位置と周辺地理 …… 1
2　権現脇遺跡と周辺遺跡 …… 2

第Ⅱ章　過去の調査と調査に至る経緯 …… 5
1　過去の調査 …… 5
2　調査に至る経緯 …… 5

第Ⅲ章　調査の成果 …… 9
1　調査の方法 …… 9
2　基本土層 …… 10
3　遺構 …… 12
4　眉山の噴火活動による倒木痕 …… 39
5　遺物 …… 43
（1）土器 …… 43
（2）石器 …… 279

第Ⅳ章　自然科学分析 …… 399
1　放射性炭素年代測定 …… 399
2　石材同定 …… 409
3　黒曜石製石器の産地推定（補足） …… 412

第Ⅴ章　まとめ …… 415

挿 図 目 次

第１図　権現脇遺跡の位置（Ｓ＝１/100,000）……3
第２図　権現脇遺跡と周辺遺跡（Ｓ＝１/100,000）……4
第３図　調査区配置図（Ｓ＝１/6,000）……6
第４図　試掘・確認調査調査坑配置図（Ｓ＝１/3,000）……8
第５図　グリッド配置図（Ｓ＝１/4,000）……9
第６図　Ｊ～Ｍ区土層実測図（Ｓ＝１/200）……13～14
第７図　Ｎ・Ｏ区土層実測図（Ｓ＝１/200）……15～16
第８図　Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……18
第９図　Ｊ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……19
第10図　Ｋ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……20
第11図　Ｋ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……21
第12図　Ｌ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……22
第13図　Ｌ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……22
第14図　Ｍ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……23
第15図　Ｍ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……23
第16図　Ｎ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……24
第17図　Ｏ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……24
第18図　Ｎ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……25
第19図　Ｏ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）……25
第20図　Ｊ区土坑墓・土器棺墓配置図（Ｓ＝１/40）……27
第21図　Ｊ区１号土坑墓（Ｓ＝１/30）……28
第22図　Ｊ区１号土坑墓出土遺物（Ｓ＝１/３）……28
第23図　Ｊ区２号土坑墓（Ｓ＝１/30）……29
第24図　Ｊ区２号土坑墓出土遺物（Ｓ＝１/３）……29
第25図　Ｊ区１号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……30
第26図　Ｊ区１号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……30
第27図　Ｊ区２号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……31
第28図　Ｊ区２号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……31
第29図　Ｊ区３号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……32
第30図　Ｊ区３号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……32
第31図　Ｊ区４号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……33
第32図　Ｊ区４号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……33
第33図　Ｋ区土器棺墓（Ｓ＝１/30）……34
第34図　Ｋ区土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……34
第35図　Ｋ区集石（Ｓ＝１/30）……34
第36図　Ｍ区１号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……36
第37図　Ｍ区１号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……36
第38図　Ｍ区２号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……36
第39図　Ｍ区２号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……36
第40図　Ｍ区３号土器棺墓（Ｓ＝１/30）……37
第41図　Ｍ区３号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……37
第42図　Ｏ区土器棺墓（Ｓ＝１/30）……38
第43図　Ｏ区土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）……38
第44図　倒木痕形成の過程……40

第45図　倒木痕の分布と倒木方向（S＝1/6,000）……41
第46図　火砕サージの発生源推定（S＝1/100,000）……41
第47図　縄文時代早期の土器（S＝1/3）……43
第48図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類①〕（S＝1/3）……45
第49図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類②〕（S＝1/3）……46
第50図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類③〕（S＝1/3）……47
第51図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類④〕（S＝1/3）……49
第52図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類①〕（S＝1/3）……50
第53図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類②〕（S＝1/3）……51
第54図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類③〕（S＝1/3）……52
第55図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類④〕（S＝1/3）……53
第56図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類⑤〕（S＝1/3）……54
第57図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類⑥〕（S＝1/3）……55
第58図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類⑦〕（S＝1/3）……56
第59図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢B類⑧〕（S＝1/3）……57
第60図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類①〕（S＝1/3）……59
第61図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類②〕（S＝1/3）……60
第62図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類③〕（S＝1/3）……61
第63図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類④〕（S＝1/3）……62
第64図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑤〕（S＝1/3）……63
第65図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑥〕（S＝1/3）……64
第66図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑦〕（S＝1/3）……65
第67図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑧〕（S＝1/3）……67
第68図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑨〕（S＝1/3）……68
第69図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑩〕（S＝1/3）……69
第70図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑪〕（S＝1/3）……70
第71図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑫〕（S＝1/3）……71
第72図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑬〕（S＝1/3）……72
第73図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑭〕（S＝1/3）……73
第74図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑮〕（S＝1/3）……74
第75図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑯〕（S＝1/3）……75
第76図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類①〕（S＝1/3）……77
第77図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類②〕（S＝1/3）……79
第78図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類③〕（S＝1/3）……80
第79図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類④〕（S＝1/3）……81
第80図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑤〕（S＝1/3）……82
第81図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑥〕（S＝1/3）……83
第82図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑦〕（S＝1/3）……85
第83図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑧〕（S＝1/3）……86
第84図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑨〕（S＝1/3）……87
第85図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑩〕（S＝1/3）……88
第86図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢E類①〕（S＝1/3）……91
第87図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢E類②〕（S＝1/3）……92
第88図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢E類③〕（S＝1/3）……93
第89図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢E類④〕（S＝1/3）……95
第90図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢E類⑤〕（S＝1/3）……96

第91図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑥〕（Ｓ＝１／３）……97
第92図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑦〕（Ｓ＝１／３）……99
第93図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑧〕（Ｓ＝１／３）……100
第94図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑨〕（Ｓ＝１／３）……101
第95図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑩〕（Ｓ＝１／３）……103
第96図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑪〕（Ｓ＝１／３）……105
第97図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑫〕（Ｓ＝１／３）……106
第98図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類①〕（Ｓ＝１／３）……108
第99図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類②〕（Ｓ＝１／３）……109
第100図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類③〕（Ｓ＝１／３）……110
第101図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類④〕（Ｓ＝１／３）……111
第102図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ａ類〕（Ｓ＝１／３）……112
第103図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｂ類①〕（Ｓ＝１／３）……113
第104図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｂ類②〕（Ｓ＝１／３）……114
第105図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｃ類①〕（Ｓ＝１／３）……116
第106図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｃ類②〕（Ｓ＝１／３）……117
第107図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｃ類③〕（Ｓ＝１／３）……118
第108図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｄ類〕（Ｓ＝１／３）……119
第109図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類①〕（Ｓ＝１／３）……121
第110図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類②〕（Ｓ＝１／３）……122
第111図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類③〕（Ｓ＝１／３）……123
第112図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類④〕（Ｓ＝１／３）……124
第113図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ａ類①〕（Ｓ＝１／３）……125
第114図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ａ類②〕（Ｓ＝１／３）……127
第115図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｂ類①〕（Ｓ＝１／３）……128
第116図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｂ類②〕（Ｓ＝１／３）……129
第117図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｃ類①〕（Ｓ＝１／３）……131
第118図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｃ類②〕（Ｓ＝１／３）……132
第119図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｃ類③〕（Ｓ＝１／３）……133
第120図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｄ類〕（Ｓ＝１／３）……135
第121図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｅ類①〕（Ｓ＝１／３）……136
第122図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｅ類②〕（Ｓ＝１／３）……137
第123図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類①〕（Ｓ＝１／３）……139
第124図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類②〕（Ｓ＝１／３）……141
第125図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類③〕（Ｓ＝１／３）……142
第126図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類④〕（Ｓ＝１／３）……143
第127図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類⑤〕（Ｓ＝１／３）……144
第128図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｇ類〕（Ｓ＝１／３）……145
第129図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｈ類①〕（Ｓ＝１／３）……147
第130図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｈ類②〕（Ｓ＝１／３）……148
第131図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｈ類③〕（Ｓ＝１／３）……149
第132図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｉ類〕（Ｓ＝１／３）……150
第133図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｊ類①〕（Ｓ＝１／３）……151
第134図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｊ類②〕（Ｓ＝１／３）……152
第135図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｋ類①〕（Ｓ＝１／３）……154
第136図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｋ類②〕（Ｓ＝１／３）……155

第137図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類①〕（Ｓ＝１／３）……156
第138図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類②〕（Ｓ＝１／３）……157
第139図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類③〕（Ｓ＝１／３）……158
第140図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類④〕（Ｓ＝１／３）……159
第141図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑤〕（Ｓ＝１／３）……161
第142図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑥〕（Ｓ＝１／３）……162
第143図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑦〕（Ｓ＝１／３）……163
第144図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑧〕（Ｓ＝１／３）……165
第145図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑨〕（Ｓ＝１／３）……166
第146図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑩〕（Ｓ＝１／３）……167
第147図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑪〕（Ｓ＝１／３）……168
第148図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑫〕（Ｓ＝１／３）……169
第149図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑬〕（Ｓ＝１／３）……170
第150図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑭〕（Ｓ＝１／３）……171
第151図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑮〕（Ｓ＝１／３）……173
第152図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑯〕（Ｓ＝１／３）……174
第153図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑰〕（Ｓ＝１／３）……175
第154図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑱〕（Ｓ＝１／３）……176
第155図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑲〕（Ｓ＝１／３）……177
第156図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｍ類①〕（Ｓ＝１／３）……179
第157図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｍ類②〕（Ｓ＝１／３）……180
第158図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｍ類③〕（Ｓ＝１／３）……181
第159図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｍ類④〕（Ｓ＝１／３）……182
第160図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｍ類⑤〕（Ｓ＝１／３）……183
第161図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｍ類⑥〕（Ｓ＝１／３）……184
第162図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｎ類〕（Ｓ＝１／３）……185
第163図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｏ類①〕（Ｓ＝１／３）……187
第164図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｏ類②〕（Ｓ＝１／３）……188
第165図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｏ類③〕（Ｓ＝１／３）……189
第166図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔高坏形土器ほか〕（Ｓ＝１／３）……190
第167図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器①〕（Ｓ＝１／３）……192
第168図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器②〕（Ｓ＝１／３）……193
第169図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器③〕（Ｓ＝１／３）……194
第170図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器④〕（Ｓ＝１／３）……195
第171図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔土製品〕（Ｓ＝１／３）……197
第172図　弥生時代中期以降の土器①（Ｓ＝１／３）……199
第173図　弥生時代中期以降の土器②（Ｓ＝１／３）……200
第174図　弥生時代中期以降の土器③（Ｓ＝１／３）……201
第175図　原石①（Ｓ＝２／３）……280
第176図　原石②（Ｓ＝２／３）……281
第177図　原石③（Ｓ＝１／２）……283
第178図　石核①（Ｓ＝２／３）……284
第179図　石核②（Ｓ＝２／３）……285
第180図　石核③（Ｓ＝１／２）……286
第181図　石核④（Ｓ＝１／２）……287
第182図　石核⑤（23～25：Ｓ＝２／３，26・27：Ｓ＝１／２）……288

第183図　石核⑥（S＝2／3）……289
第184図　石核⑦（S＝1／2）……290
第185図　石核⑧（S＝2／3）……291
第186図　石核⑨（S＝2／3）……292
第187図　石核⑩（S＝1／2）……293
第188図　石核⑪（S＝1／2）……294
第189図　石核⑫（57～61：S＝2／3，62：S＝1／2）……295
第190図　石核⑬（63～68：S＝2／3，69：S＝1／2）……296
第191図　スクレイパー①（S＝2／3）……297
第192図　スクレイパー②（S＝1／2）……298
第193図　スクレイパー③（S＝1／2）……299
第194図　スクレイパー④（S＝1／2）……301
第195図　スクレイパー⑤（S＝1／2）……302
第196図　スクレイパー⑥（31：S＝2／3，32～40：S＝1／2）……303
第197図　スクレイパー⑦（S＝1／2）……304
第198図　石匙（1・3～5：S＝2／3，2・6～8：S＝1／2）……305
第199図　石鏃①（S＝2／3）……307
第200図　石鏃②（S＝2／3）……308
第201図　石鏃③（S＝2／3）……309
第202図　石鏃④（S＝2／3）……310
第203図　つまみ形石器（S＝2／3）……311
第204図　石錐（1～6：S＝2／3，11・12：S＝1／2）……313
第205図　二次加工剥片・微細剥離剥片①（S＝2／3）……314
第206図　二次加工剥片・微細剥離剥片②（22～24：S＝2／3，25～32：S＝1／2）……315
第207図　二次加工剥片・微細剥離剥片③（33～46：S＝2／3，47・48：S＝1／2）……317
第208図　二次加工剥片・微細剥離剥片④（S＝2／3）……318
第209図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑤（68～71：S＝2／3，72～75：S＝1／2）……319
第210図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑥（S＝2／3）……321
第211図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑦（S＝2／3）……322
第212図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑧（110～114・120：S＝1／2，115～119：S＝2／3）…323
第213図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑨（S＝2／3）……324
第214図　磨製石斧①（S＝1／3）……325
第215図　磨製石斧②（S＝1／3）……326
第216図　磨製石斧③（S＝1／3）……327
第217図　磨製石斧④（S＝1／3）……329
第218図　打製石斧①（S＝1／3）……330
第219図　打製石斧②（S＝1／3）……331
第220図　打製石斧③（S＝1／3）……332
第221図　打製石斧④（S＝1／3）……333
第222図　打製石斧⑤（S＝1／3）……334
第223図　打製石斧⑥（S＝1／3）……335
第224図　打製石斧⑦（S＝1／3）……337
第225図　打製石斧⑧（S＝1／3）……338
第226図　打製石斧⑨（S＝1／3）……339
第227図　打製石斧⑩（S＝1／3）……340
第228図　打製石斧⑪（S＝1／3）……341

第229図　打製石斧⑫（S＝1／3）……342
第230図　打製石斧⑬（S＝1／3）……343
第231図　打製石斧⑭（S＝1／3）……344
第232図　打製石斧⑮（S＝1／3）……345
第233図　円盤状石器（S＝1／3）……346
第234図　打製石包丁①（S＝1／3）……347
第235図　打製石包丁②（S＝1／3）……349
第236図　磨製石包丁（S＝1／3）……349
第237図　石錘（S＝1／3）……350
第238図　石皿①（S＝1／6）……351
第239図　石皿②（S＝1／6）……352
第240図　石皿③（6～8：S＝1／3，9：S＝1／6）……353
第241図　石皿④（S＝1／3）……354
第242図　台石①（S＝1／4）……355
第243図　台石②（S＝1／6）……356
第244図　台石③（S＝1／4）……357
第245図　砥石①（S＝1／5）……358
第246図　砥石②（S＝1／3）……359
第247図　砥石③（S＝2／3）……360
第248図　砥石④（S＝2／3）……361
第249図　砥石⑤（16～18：S＝1／5，19：S＝1／3）……362
第250図　砥石⑥（S＝2／3）……363
第251図　砥石⑦（S＝2／3）……364
第252図　砥石⑧（S＝2／3）……365
第253図　砥石⑨（29：S＝1／5，30：S＝1／6，31・32：S＝2／3）……367
第254図　磨石・敲石①（S＝1／4）……368
第255図　磨石・敲石②（S＝1／4）……369
第256図　磨石・敲石③（S＝1／3）……370
第257図　磨石・敲石④（S＝1／3）……371
第258図　磨石・敲石⑤（S＝1／3）……372
第259図　磨石・敲石⑥（50・51：S＝1／4，52～59：S＝1／3）……373
第260図　磨石・敲石⑦（S＝1／4）……374
第261図　磨石・敲石⑧（S＝1／3）……375
第262図　磨石・敲石⑨（S＝1／3）……376
第263図　磨石・敲石⑩（107～114・116～118：S＝1／3，115：S＝1／4）……377
第264図　磨石・敲石⑪（S＝1／4）……378
第265図　磨石・敲石⑫（S＝1／3）……379
第266図　研磨具（S＝2／3）……380
第267図　石製品（S＝2／3）……382
第268図　暦年較正年代グラフ①……403
第269図　暦年較正年代グラフ②……404
第270図　暦年較正年代グラフ③……405
第271図　暦年較正年代グラフ④……406
第272図　試料採取土器実測図（S＝1／6）……407
第273図　試料採取土器実測図（S＝1／3）……408
第274図　黒曜石産地推定判別図①……414
第275図　黒曜石産地推定判別図②……414

表　目　次

第１表　権現脇遺跡と周辺遺跡一覧……4
第２表　権現脇遺跡発掘調査履歴……7
第３表　土坑墓・土器棺墓出土遺物観察表……39
第４表　倒木痕一覧……42
第５表　出土土器観察表（縄文時代早期）……202
第６表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ａ類①）……202
第７表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ａ類②）……203
第８表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ａ類③）……204
第９表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｂ類①）……204
第10表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｂ類②）……205
第11表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｂ類③）……206
第12表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｂ類④）……207
第13表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類①）……208
第14表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類②）……209
第15表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類③）……210
第16表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類④）……211
第17表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑤）……212
第18表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑥）……213
第19表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑦）……214
第20表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑧）……215
第21表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑨）……216
第22表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑩）……217
第23表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｃ類⑪）……218
第24表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類①）……218
第25表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類②）……219
第26表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類③）……220
第27表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類④）……221
第28表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類⑤）……222
第29表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類⑥）……223
第30表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｄ類⑦）……224
第31表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｅ類①）……225
第32表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｅ類②）……226
第33表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｅ類③）……227
第34表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｅ類④）……228
第35表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｅ類⑤）……229
第36表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｅ類⑥）……230
第37表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｆ類①）……231
第38表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢Ｆ類②）……232
第39表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ａ類）……233
第40表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｂ類①）……233
第41表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｂ類②）……234
第42表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｃ類①）……235
第43表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｃ類②）……236
第44表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｄ類）……236

第45表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｅ類①）……237
第46表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/深鉢底部Ｅ類②）……238
第47表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ａ類①）……239
第48表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ａ類②）……240
第49表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｂ類①）……241
第50表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｂ類②）……242
第51表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｃ類①）……242
第52表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｃ類②）……243
第53表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｃ類③）……244
第54表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｄ類）……245
第55表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｅ類①）……245
第56表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｅ類②）……246
第57表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｆ類①）……247
第58表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｆ類②）……248
第59表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｆ類③）……249
第60表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｇ類）……249
第61表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｈ類①）……249
第62表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｈ類②）……250
第63表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｈ類③）……251
第64表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｉ類）……251
第65表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｊ類①）……252
第66表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｊ類②）……253
第67表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｋ類①）……253
第68表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｋ類②）……254
第69表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類①）……255
第70表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類②）……256
第71表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類③）……257
第72表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類④）……258
第73表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑤）……259
第74表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑥）……260
第75表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑦）……261
第76表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑧）……262
第77表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑨）……263
第78表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑩）……264
第79表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑪）……265
第80表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｌ類⑫）……266
第81表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｍ類①）……266
第82表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｍ類②）……267
第83表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｍ類③）……268
第84表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｍ類④）……269
第85表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｍ類⑤）……270
第86表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｎ類）……270
第87表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｏ類①）……271
第88表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｏ類②）……272
第89表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/浅鉢Ｏ類③）……273
第90表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/高坏形土器ほか）……273

第91表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/壷形土器①）……273
第92表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/壷形土器②）……274
第93表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/壷形土器③）……275
第94表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/土製品）……276
第95表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/弥生時代以降①）……276
第96表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/弥生時代以降②）……277
第97表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期/弥生時代以降③）……278
第98表　出土石器観察表（原石）……383
第99表　出土石器観察表（石核①）……383
第100表　出土石器観察表（石核②）……384
第101表　出土石器観察表（スクレイパー①）……384
第102表　出土石器観察表（スクレイパー②）……385
第103表　出土石器観察表（石匙）……385
第104表　出土石器観察表（石鏃①）……385
第105表　出土石器観察表（石鏃②）……386
第106表　出土石器観察表（石鏃③）……387
第107表　出土石器観察表（つまみ形石器）……387
第108表　出土石器観察表（石錐）……387
第109表　出土石器観察表（二次加工剥片・微細剝離剥片①）……388
第110表　出土石器観察表（二次加工剥片・微細剝離剥片②）……389
第111表　出土石器観察表（二次加工剥片・微細剝離剥片③）……390
第112表　出土石器観察表（磨製石斧）……390
第113表　出土石器観察表（打製石斧①）……391
第114表　出土石器観察表（打製石斧②）……392
第115表　出土石器観察表（円盤状石器）……393
第116表　出土石器観察表（打製石包丁）……393
第117表　出土石器観察表（磨製石包丁）……393
第118表　出土石器観察表（石錘）……393
第119表　出土石器観察表（石皿）……394
第120表　出土石器観察表（台石）……394
第121表　出土石器観察表（砥石）……394
第122表　出土石器観察表（磨石・敲石①）……395
第123表　出土石器観察表（磨石・敲石②）……396
第124表　出土石器観察表（磨石・敲石③）……397
第125表　出土石器観察表（研磨具）……398
第126表　出土石器観察表（石製品）……398
第127表　測定試料及び処理……399
第128表　測定結果……402
第129表　半定量分析結果（mass%）……409
第130表　権現脇遺跡出土石材の同定結果……410
第131表　分析対象……412
第132表　西日本黒曜石産地の判別群……412
第133表　測定値及び産地推定結果……413

図 版 目 次

図版１　航空写真 ……419
図版２　航空写真 ……420
図版３　Ｊ区土層堆積状況①，Ｊ区土層堆積状況②，Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①，Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②，Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況③，Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況④，Ｊ区Ⅲｂ下層遺構検出状況⑤，Ｊ区Ⅲｂ下層遺構検出状況⑥ ……421
図版４　Ｊ区１号土坑墓①，Ｊ区１号土坑墓②，Ｊ区１号土坑墓供献土器，Ｊ区２号土坑墓，Ｊ区２号土坑墓供献土器，Ｊ区１号土器棺墓，Ｊ区２号土器棺墓，Ｊ区３号土器棺墓 …422
図版５　Ｊ区Ⅲｂ上層遺物検出状況①，Ｊ区Ⅲｂ上層遺物検出状況②，Ｊ区Ⅲｂ下層遺物検出状況①，Ｊ区Ⅲｂ下層遺物検出状況②，Ｊ区Ⅲｂ下層遺物検出状況③，Ｊ区作業状況①，Ｊ区作業状況②，Ｊ区作業状況③ ……423
図版６　Ｋ区土層堆積状況①，Ｋ区土層堆積状況②，Ｋ区Ⅳ層上面遺構検出状況①，Ｋ区Ⅳ層上面遺構検出状況②，Ｋ区Ⅳ層上面遺構検出状況③，Ｋ区Ⅳ層上面遺構検出状況④，Ｋ区土器棺墓検出状況，Ｋ区集石検出状況 ……424
図版７　Ｌ区土層堆積状況①，Ｌ区土層堆積状況②，Ｌ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①，Ｌ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②，Ｌ区Ⅳ層上面遺構検出状況①，Ｌ区Ⅳ層上面遺構検出状況②，Ｌ区Ⅳ層上面遺構検出状況③，Ｌ区Ⅳ層上面遺構検出状況④ ……425
図版８　Ｌ区大型土坑検出状況①，Ｌ区大型土坑検出状況②，Ｌ区Ⅲａ層遺物検出状況①，Ｌ区Ⅲａ層遺物検出状況②，Ｌ区Ⅲｂ上層遺物検出状況①，Ｌ区Ⅲｂ上層遺物検出状況②，Ｌ区Ⅲｂ下層遺物検出状況①，Ｌ区Ⅲｂ下層遺物検出状況② ……426
図版９　Ｌ区作業状況①，Ｌ区作業状況②，Ｌ区作業状況③，Ｌ区作業状況④，Ｌ区作業状況⑤，Ｌ区作業状況⑥，火砕流避難訓練実施状況①，火砕流避難訓練実施状況② ……427
図版10　Ｍ区土層堆積状況①（タバコ畑の畝），Ｍ区土層堆積状況②（タバコ畑の畝間），Ｍ区土層堆積状況③，Ｍ区土層堆積状況④，Ｍ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①，Ｍ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②，Ｍ区Ⅳ層上面遺構検出状況①，Ｍ区Ⅳ層上面遺構検出状況②…428
図版11　Ｍ区溝検出状況，Ｍ区１号土器棺墓検出状況，Ｍ区２号土器棺墓検出状況，Ｍ区３号土器棺墓検出状況，Ｍ区Ⅲａ層遺物検出状況①，Ｍ区Ⅲａ層遺物検出状況②，Ｍ区Ⅲｂ上層遺物検出状況①，Ｍ区Ⅲｂ上層遺物検出状況② ……429
図版12　Ｍ区Ⅲｂ上層遺物検出状況③，Ｍ区Ⅲｂ上層遺物検出状況④，Ｍ区Ⅲｂ下－１層遺物検出状況①，Ｍ区Ⅲｂ下－１層遺物検出状況②，Ｍ区Ⅲｂ下－２層遺物検出状況①，Ｍ区Ⅲｂ下－２層遺物検出状況②，Ｍ区Ⅲｂ下－２層遺物検出状況③，Ｍ区Ⅲｂ下－２層遺物検出状況④ ……430
図版13　Ｍ区作業状況①，Ｍ区作業状況②，Ｍ区作業状況③，Ｍ区作業状況④，Ｍ区作業状況⑤，Ｍ区作業状況⑥，岩屑なだれ避難訓練実施状況①，岩屑なだれ避難訓練実施状況② ……431
図版14　Ｎ区土層堆積状況①，Ｎ区土層堆積状況②，Ｎ区土層堆積状況③，Ｎ区土層堆積状況④，Ｎ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①，Ｎ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②，Ｎ区Ⅳ層上面遺構検出状況①，Ｎ区Ⅳ層上面遺構検出状況② ……432
図版15　Ｎ区Ⅲａ層遺物検出状況①，Ｎ区Ⅲａ層遺物検出状況②，Ｎ区Ⅲｂ上層遺物検出状況①，Ｎ区Ⅲｂ上層遺物検出状況②，Ｎ区Ⅲｂ下層遺物検出状況①，Ｎ区Ⅲｂ下層遺物検出状況② ……433
図版16　Ｏ区土層堆積状況①，Ｏ区土層堆積状況②，Ｏ区土層堆積状況③，Ｏ区土層堆積状況④，Ｏ区土層堆積状況⑤（タバコ畑の畝），Ｏ区土層堆積状況⑥（タバコ畑の畝間），Ｏ区大型土坑検出状況，Ｏ区土器棺墓検出状況 ……434
図版17　Ｏ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①，Ｏ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②，Ｏ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況③，Ｏ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況④，Ｏ区Ⅳ層上面遺構検出状況①，

O区Ⅳ層上面遺構検出状況②，O区Ⅳ層上面遺構検出状況③，O区Ⅳ層上面遺構検出状況④ ……435
図版18　O区Ⅳ層上面遺構検出状況⑤，O区Ⅳ層上面遺構検出状況⑥，O区Ⅲａ層遺物検出状況①，O区Ⅲａ層遺物検出状況②，O区Ⅲｂ上層遺物検出状況①，O区Ⅲｂ上層遺物検出状況②，O区Ⅲｂ下－１層遺物検出状況，O区Ⅲｂ下－２層遺物検出状況 ……436
図版19　K区倒木痕① ……437
図版20　K区倒木痕② ……438
図版21　K区倒木痕③ ……439
図版22　K区倒木痕④ ……440
図版23　L区倒木痕①（奥が眉山，人の向きが倒木方向），L区倒木痕②（写真右が眉山方向，人の向きが倒木方向） ……441
図版24　L区倒木痕③ ……442
図版25　M区倒木痕① ……443
図版26　M区倒木痕② ……444
図版27　M区倒木痕③ ……445
図版28　M区倒木痕④ ……446
図版29　N区倒木痕 ……447
図版30　O区倒木痕① ……448
図版31　O区倒木痕② ……449
図版32　J区１号土坑墓出土遺物，J区２号土坑墓出土遺物，J区１号土器棺墓出土遺物 ……450
図版33　J区２号土器棺墓出土遺物，J区３号土器棺墓出土遺物 ……451
図版34　J区４号土器棺墓出土遺物，K区土器棺墓出土遺物 ……452
図版35　M区１号土器棺墓出土遺物 ……453
図版36　M区２号土器棺墓出土遺物，M区３号土器棺墓出土遺物 ……454
図版37　O区土器棺墓出土遺物 ……455
図版38　縄文時代早期の土器 ……456
図版39　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢A類①］ ……457
図版40　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢A類②］ ……458
図版41　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢A類③］ ……459
図版42　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢A類④］ ……460
図版43　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢A類⑤］ ……461
図版44　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類①］ ……462
図版45　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類②］ ……463
図版46　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類③］ ……464
図版47　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類④］ ……465
図版48　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑤］ ……466
図版49　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑥］ ……467
図版50　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑦］ ……468
図版51　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑧］ ……469
図版52　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑨］ ……470
図版53　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑩］ ……471
図版54　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢B類⑪，深鉢C類①］ ……472
図版55　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢C類②］ ……473
図版56　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢C類③］ ……474
図版57　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢C類④］ ……475
図版58　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢C類⑤］ ……476

図版59　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑥］……477
図版60　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑦］……478
図版61　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑧］……479
図版62　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑨］……480
図版63　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑩］……481
図版64　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑪］……482
図版65　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑫］……483
図版66　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑬］……484
図版67　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑭］……485
図版68　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑮］……486
図版69　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑯］……487
図版70　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑰］……488
図版71　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑱］……489
図版72　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑲］……490
図版73　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類⑳］……491
図版74　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｃ類㉑］……492
図版75　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類①］……493
図版76　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類②］……494
図版77　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類③］……495
図版78　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類④］……496
図版79　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑤］……497
図版80　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑥］……498
図版81　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑦］……499
図版82　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑧］……500
図版83　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑨］……501
図版84　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑩］……502
図版85　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑪］……503
図版86　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑫］……504
図版87　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑬］……505
図版88　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｄ類⑭］……506
図版89　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類①］……507
図版90　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類②］……508
図版91　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類③］……509
図版92　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類④］……510
図版93　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑤］……511
図版94　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑥］……512
図版95　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑦］……513
図版96　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑧］……514
図版97　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑨］……515
図版98　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑩］……516
図版99　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑪］……517
図版100　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑫］……518
図版101　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑬］……519
図版102　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｅ類⑭］……520
図版103　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｆ類①］……521
図版104　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｆ類②］……522

図版105　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｆ類③］……523
図版106　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｆ類④］……524
図版107　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢Ｆ類⑤］……525
図版108　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ａ類，深鉢底部Ｂ類①］……526
図版109　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｂ類②］……527
図版110　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｂ類③，深鉢底部Ｃ類①］……528
図版111　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｃ類②］……529
図版112　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｃ類③］……530
図版113　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｃ類④，深鉢底部Ｄ類］……531
図版114　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｅ類①］……532
図版115　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｅ類②］……533
図版116　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｅ類③］……534
図版117　縄文時代後期～突帯文期の土器［深鉢底部Ｅ類④］……535
図版118　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ａ類①］……536
図版119　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ａ類②，浅鉢Ｂ類①］……537
図版120　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｂ類②］……538
図版121　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｃ類①］……539
図版122　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｃ類②］……540
図版123　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｃ類③，浅鉢Ｄ類］……541
図版124　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｅ類①］……542
図版125　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｅ類②］……543
図版126　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｆ類①］……544
図版127　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｆ類②］……545
図版128　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｆ類③］……546
図版129　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｆ類④］……547
図版130　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｆ類⑤，浅鉢Ｇ類，浅鉢Ｈ類①］……548
図版131　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｈ類②］……549
図版132　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｈ類③］……550
図版133　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｈ類④，浅鉢Ｉ類，浅鉢Ｊ類①］……551
図版134　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｊ類②］……552
図版135　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｊ類③，浅鉢Ｋ類①］……553
図版136　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｋ類②］……554
図版137　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類①］……555
図版138　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類②］……556
図版139　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類③］……557
図版140　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類④］……558
図版141　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑤］……559
図版142　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑥］……560
図版143　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑦］……561
図版144　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑧］……562
図版145　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑨］……563
図版146　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑩］……564
図版147　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑪］……565
図版148　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑫］……566
図版149　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑬］……567
図版150　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑭］……568

図版151　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑮］……569
図版152　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑯］……570
図版153　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑰］……571
図版154　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑱］……572
図版155　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑲］……573
図版156　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類⑳］……574
図版157　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類㉑］……575
図版158　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類㉒］……576
図版159　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類㉓］……577
図版160　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類㉔］……578
図版161　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｌ類㉕］……579
図版162　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類①］……580
図版163　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類②］……581
図版164　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類③］……582
図版165　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類④］……583
図版166　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類⑤］……584
図版167　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類⑥］……585
図版168　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｍ類⑦］……586
図版169　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｎ類，浅鉢Ｏ類①］……587
図版170　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｏ類②］……588
図版171　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｏ類③］……589
図版172　縄文時代後期～突帯文期の土器［浅鉢Ｏ類④，高坏形土器ほか］……590
図版173　縄文時代後期～突帯文期の土器［壷形土器①］……591
図版174　縄文時代後期～突帯文期の土器［壷形土器②］……592
図版175　縄文時代後期～突帯文期の土器［壷形土器③］……593
図版176　縄文時代後期～突帯文期の土器［壷形土器④］……594
図版177　縄文時代後期～突帯文期の土器［壷形土器⑤，土製品］……595
図版178　弥生時代中期以降の土器①……596
図版179　弥生時代中期以降の土器②……597
図版180　弥生時代中期以降の土器③……598
図版181　原石①……599
図版182　原石②……600
図版183　石核①……601
図版184　石核②……602
図版185　石核③……603
図版186　石核④……604
図版187　石核⑤……605
図版188　石核⑥……606
図版189　石核⑦……607
図版190　石核⑧……608
図版191　石核⑨……609
図版192　石核⑩……610
図版193　スクレイパー①……611
図版194　スクレイパー②……612
図版195　スクレイパー③……613
図版196　石匙，石鏃①……614

図版197　石鏃②……615
図版198　石鏃③，つまみ形石器……616
図版199　石錐，二次加工剥片・微細剥離剥片①……617
図版200　二次加工剥片・微細剥離剥片②……618
図版201　二次加工剥片・微細剥離剥片③……619
図版202　二次加工剥片・微細剥離剥片④……620
図版203　二次加工剥片・微細剥離剥片⑤……621
図版204　二次加工剥片・微細剥離剥片⑥……622
図版205　磨製石斧①……623
図版206　磨製石斧②……624
図版207　打製石斧①……625
図版208　打製石斧②……626
図版209　打製石斧③……627
図版210　打製石斧④……628
図版211　打製石斧⑤……629
図版212　打製石斧⑥……630
図版213　打製石斧⑦……631
図版214　打製石斧⑧……632
図版215　打製石斧⑨……633
図版216　円盤状石器，打製石包丁①……634
図版217　打製石包丁②，磨製石包丁，石錘……635
図版218　石皿①……636
図版219　石皿②……637
図版220　台石……638
図版221　砥石①……639
図版222　砥石②……640
図版223　砥石③……641
図版224　砥石④……642
図版225　砥石⑤……643
図版226　磨石・敲石①……644
図版227　磨石・敲石②……645
図版228　磨石・敲石③……646
図版229　磨石・敲石④……647
図版230　磨石・敲石⑤……648
図版231　磨石・敲石⑥……649
図版232　磨石・敲石⑦……650
図版233　研磨具，石製品……651

第Ⅰ章　はじめに

1　権現脇遺跡の位置と周辺地理

権現脇遺跡は，長崎県本土の南部，島原半島の南東部に位置する。島原半島は，行政区としては南島原市，島原市，雲仙市の３市からなるが，そのうち権現脇遺跡は南島原市北部と島原市南部にまたがる遺跡である。

島原半島は，胃袋の形状をした半島で，有明海へと突き出しており，諫早地域とは幅約３㎞の愛野地峡で繋がっている。半島の中央には雲仙火山の峰々がそびえ，西の橘湾，東の有明海へとすそ野を広げるが，半島西に位置する橘湾は直径11㎞の千々石カルデラとされ，雲仙山系はその外輪山の一部とされている。雲仙火山の活動の始まりはおよそ50万年前とされ，普賢岳，妙見岳，国見岳の三岳をはじめ，野岳，九千部岳，矢岳，高岩山，絹笠山の五峰，眉山や猿葉山など多くの山体によって構成されている。

普賢岳は有史以来３度の噴火活動の記録が残る。1663年から1664年の寛文期の活動では，北東斜面から溶岩を噴出させている。また南東斜面からは出水があり，氾濫がおきて死者30名以上を出している。1791年の地震に始まる寛政期の活動では，翌1792年２月10日に山頂の地獄跡火口から噴煙をあげ，その後山腹から溶岩を流出させている。1792年５月21日には普賢岳の東に位置する眉山が山体崩壊を起こし，膨大な土砂が有明海へと流入して大津波を発生させた。世にいう「島原大変肥後迷惑」で，死者・行方不明者は肥前・肥後合わせて１万５千人に及び，日本における有史以来最大の火山災害となっている。1990年11月17日には198年ぶりに普賢岳が噴火し，1995年２月まで活動している。その間山頂には溶岩ドームが出現，成長と崩落を繰り返し，火砕流となって北東から東の斜面を駆け下った。また，膨大な量の火山堆積物は土石流となってふもとの民家や農地を飲み込んでいる。死者41名，行方不明者３名の犠牲者が発生している。普賢岳の平成噴火は５年の活動ののち鎮静化した。現在，普賢岳山頂の溶岩ドームは，「平成新山」（標高1,483m）として新たな雲仙火山の主峰となっている。

南島原市深江町は，雲仙普賢岳の東麓に広がる「深江原（ふかえばる）」と呼ばれる火山性扇状地をおもな町域としており，雲仙山体から標高200m 前後の地形変換点を経て緩斜面が有明海へとのびている。権現脇遺跡は，その扇状地の扇頂付近に位置し，赤松谷断層とその断層崖北側を有明海へと流れくだる水無川の上流部が遺跡を縦断する。これまで遺跡のなかで発掘調査が行われてきたのは，水無川の右岸，赤松谷断層崖上の部分である。水無川は文字通り通常は地表での水流をもたない涸れ川である。遺跡からは布津・深江断層の隆起と沈降によって形成された「深江」の地名の由来ともなっている深く湾入した海岸線を望むことができ，有明海（島原湾）を挟んで対岸には熊本平野，宇土半島，阿蘇などを望むことができる。

遺跡北東部に位置する貝野岳の南，赤松谷には，雲仙普賢岳の平成噴火によって現在は埋没してしまっているが，炭酸水の湧水点があったことが知られており，こうした地形変換点における湧水の存在が縄文時代以降において，生活の基盤となる水資源の確保を容易にし，長期的な土地利用を促したものと思われる。

2　権現脇遺跡と周辺遺跡

島原半島東部において権現脇遺跡周辺の遺跡をみてみると，時代的な展開は縄文時代に属するものが多く，弥生時代以降になるとその数が大きく減少する。このことは雲仙山系から延びる扇状地や丘陵が有明海へとそのまま落ち込んでおり，水稲農耕の基盤となる優良な平野，低湿地に乏しい地形的特徴が要因の一つとしてあげられよう。

また，深江原を中心に遺跡の分布をみていくと，大きく３つの遺跡群として確認できる。雲仙山体から緩斜面への地形変換点で，標高200m 前後を測る湧水点を近くに有する遺跡群，やはり湧水点の多くみられる海岸線に隣接する遺跡群，それから深江断層に沿って流れる深江川とその支流一帯の遺跡群である。

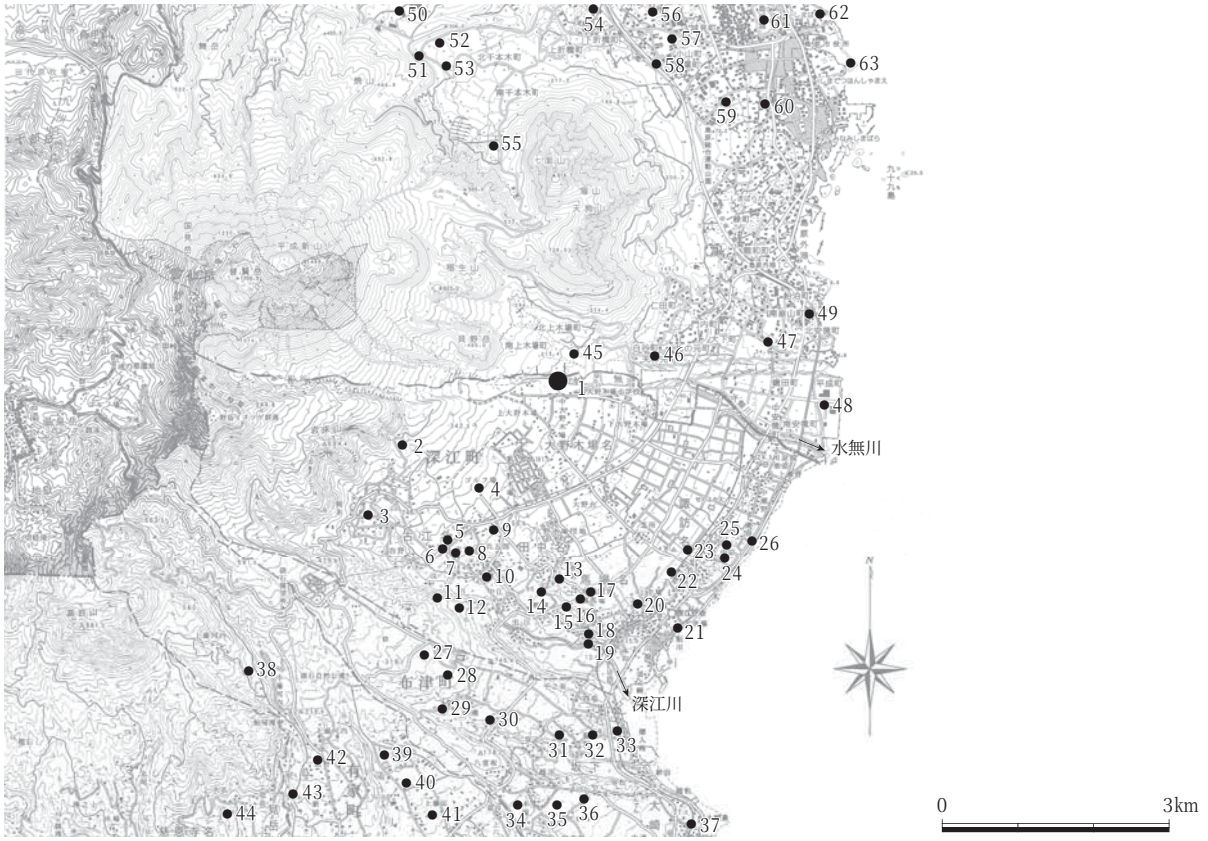
地形変換点にみられる遺跡としては，権現脇遺跡も含まれるが山ノ寺梶木遺跡が学史上の遺跡としても著名である。縄文時代後期から突帯文期にかけての遺跡で，突帯文期の初期に位置づけられる「山ノ寺式土器」の標識ともなっている遺跡である。日本考古学協会西北九州総合調査特別委員会や百人委員会による発掘調査が実施されている。海岸沿いの遺跡として，中原遺跡においては，弥生時代中期のものと思われる北部九州系の成人甕棺墓の出土の記録がある。また，諏訪地区ほ場整備事業に伴って発掘調査が実施された諏訪ノ上遺跡において，突帯文期のまとまった資料が得られている。深江川水系の遺跡としては，近年古江・田中地区ほ場整備事業において下末宝遺跡，上畦津遺跡の発掘調査が実施されている。下末宝遺跡からは縄文時代早期の押型文土器が多数出土している。上畦津遺跡では，縄文時代早期の一野式土器や弥生時代の遺物などが出土している。

一方，今度は分布の空白域についてみてみる。権現脇遺跡からは北東側にあたる眉山の東麓と，南東側にあたる「深江原」扇状地の扇央部が空白域となっていることがわかる。眉山の東麓については，普賢岳の寛政噴火時における眉山の山体崩壊によるもので，いくつもの遺跡が膨大な土砂の下に埋没しているものと思われる。深江原扇状地は，先に述べたように火山性の扇状地であり，雲仙火山から流下した火砕流・土石流による砂礫層が厚く堆積してその基盤となっている。扇央部ではこの厚い砂礫層の存在が水資源の確保を困難にし，遺跡の展開を拒んできたものと思われる。この深江原扇状地の基盤となる砂礫堆積の形成はおよそ１万年前頃と考えられ，それを裏付けるように深江原において旧石器時代の遺跡は確認されておらず，現状確認できているのは縄文時代早期以降の遺跡である。

【参考文献】

深江町郷土誌さん委員会　1971　『深江町郷土誌』　深江町
古田　正隆　1973　『山の寺梶木遺跡』百人委員会埋蔵文化財報告書第１集　百人委員会
本多　和典編　2005　『下末宝遺跡・上畦津遺跡』深江町文化財調査報告書第１集　深江町教育委員会
本多　和典編　2006　『権現脇遺跡』深江町文化財調査報告書第２集　深江町教育委員会
本多　和典　2007　『権現脇遺跡』南島原市文化財調査報告書第１集　南島原市教育委員会
本多　和典　2018　『古作遺跡』南島原市文化財調査報告書第10集　南島原市教育委員会
小川　慶晴編　2018　『大坂遺跡』南島原市文化財調査報告書第16集　南島原市教育委員会
本多　和典　2020　『諏訪ノ上遺跡』南島原市文化財調査報告書第20集　南島原市教育委員会
本多　和典　2020　『権現脇遺跡』南島原市文化財調査報告書第21集　南島原市教育委員会
本多　和典　2021　『出口遺跡』南島原市文化財調査報告書第27集　南島原市教育委員会

第１図　権現脇遺跡の位置（Ｓ＝１/100,000）



第２図　権現脇遺跡と周辺遺跡（Ｓ＝１/100,000）

第１表　権現脇遺跡と周辺遺跡一覧

番号	遺跡	所在地	種別	時代	番号	遺跡	所在地	種別	時代
1	権現脇遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文･弥生･古墳･中世	33	潮入崎遺跡	南島原市布津町	遺物包含地	縄文
2	田中山遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	34	古枯野遺跡	南島原市布津町	遺物包含地	縄文・弥生
3	山ノ寺梶木遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	35	木場原遺跡	南島原市布津町	墳墓	弥生
4	池平遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	36	三本松遺跡	南島原市布津町	遺物包含地	縄文・弥生
5	内野遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	37	大崎鼻遺跡	南島原市布津町	遺物包含地	縄文
6	大坂遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	38	羅漢寺跡	南島原市有家町	寺跡	中世
7	古作遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	39	三又遺跡	南島原市有家町	遺物包含地	縄文
8	末宝遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	40	百貫石遺跡	南島原市有家町	遺物包含地	縄文
9	弓太郎遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	41	藤原・中水谷遺跡	南島原市有家町	遺物包含地	縄文
10	下末宝遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	42	東大窪遺跡	南島原市有家町	遺物包含地	縄文
11	堂家遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文・弥生	43	中萩原遺跡	南島原市有家町	遺物包含地	縄文
12	高平遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	卯月	44	赤平遺跡	南島原市有家町	遺物包含地	縄文
13	西板首遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	45	南上木場遺跡	島原市	遺物包含地	縄文・弥生
14	下板首遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	46	中木場遺跡	島原市	遺物包含地	弥生・古墳
15	上畦津遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文・弥生	47	上馬場棺遺跡	島原市	墳墓	古墳
16	上横馬場遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	弥生	48	中南遺跡	島原市	遺物包含地	縄文・弥生・古墳
17	水打場遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	弥生・中世	49	安徳城跡	島原市	城跡	中世
18	深江城跡	南島原市深江町	城跡	中世	50	馬渡遺跡	島原市	遺物包含地	縄文
19	深江貝塚	南島原市深江町	貝塚	不明	51	肥賀太郎遺跡	島原市	遺物包含地	縄文
20	出口遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文・中世	52	平の山Ａ遺跡	島原市	遺物包含地	縄文
21	舟川遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	53	平の山Ｂ遺跡	島原市	遺物包含地	縄文
22	諏訪ノ上遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文・弥生	54	小塚古墳	島原市	古墳	古墳
23	二本幡遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文・弥生	55	矢櫃遺跡	島原市	遺物包含地	縄文
24	瀬野遺跡	南島原市深江町	墳墓	弥生	56	丸尾城跡	島原市	城跡	中世
25	中原遺跡	南島原市深江町	墳墓	弥生	57	小山館跡	島原市	館跡	中世
26	瀬野海中干潟遺跡	南島原市深江町	遺物包含地	縄文	58	旧島原藩薬園跡	島原市	薬園跡	近世
27	天ヶ瀬遺跡	南島原市布津町	遺物包含地	縄文	59	笹塚古墳	島原市	古墳	古墳
28	天ヶ瀬古墳	南島原市布津町	古墳	古墳	60	上の原遺跡	島原市	遺物包含地	弥生
29	彦原遺跡	南島原市布津町	墳墓	縄文	61	森岳城跡(島原城跡)	島原市	城跡	近世
30	亀首遺跡	南島原市布津町	遺物包含地	縄文・弥生	62	長浜台場跡	島原市	台場跡	近世
31	飯野遺跡	南島原市布津町	遺物包含地・墳墓	縄文・弥生	63	大手浜遺跡	島原市	遺物包含地	縄文・弥生・古墳
32	潮入崎古墳	南島原市布津町	古墳	古墳					

第Ⅱ章　過去の調査と調査に至る経緯

1　過去の調査

権現脇遺跡の発見は，雲仙普賢岳の平成の噴火災害が鎮静化し，東斜面，赤松谷川及び水無川上流で砂防工事が始まる平成７年以降のことである。雲仙復興事務所（当時雲仙復興工事事務所）によって工事が進められる中で，いち早く遺跡の存在とその重要性に気付いた地元在住の本田雄峰氏は，精力的に現地において遺物の採集を行うとともに，工事主体者である雲仙復興工事事務所や，長崎県教育委員会，深江町教育委員会にその認知について働きかけを行い，平成10年４月には「権現脇遺跡」として新規発見遺跡の登録が行われている。

その後，赤松谷川，水無川上流を中心に砂防施設の建設が計画されたことから，試掘・範囲確認調査を経て各施設の建設予定地を対象とした本調査を実施してきている。

平成14年度から平成16年度に実施された赤松谷川２号導流堤および赤松谷川２号堰堤の建設工事に伴って実施したＡ区～Ｄ区の発掘調査では，突帯文期の土器棺墓の検出があり，土製紡錘車やアマゾナイト製勾玉をはじめ，突帯文土器，多数の打製石斧など縄文時代後期から突帯文期の多数の遺物が出土している。レプリカ法による土器圧痕資料の調査においては，イネやコクゾウムシなどの同定が行われている。

平成18年度に実施した赤松谷川１号床固工工事に伴うＥ区の発掘調査においては，土器棺墓２基をはじめとして縄文時代後期から突帯文期の遺構・遺物を検出している。

平成19・20年度においては，水無川上流右岸資材搬入路の建設工事に伴うＦ～Ｉ区の発掘調査が実施されている。各地区において縄文時代後期から突帯文期の遺構・遺物が検出されるとともに，Ｇ区においては縄文時代早期の遺物の出土もみられる。

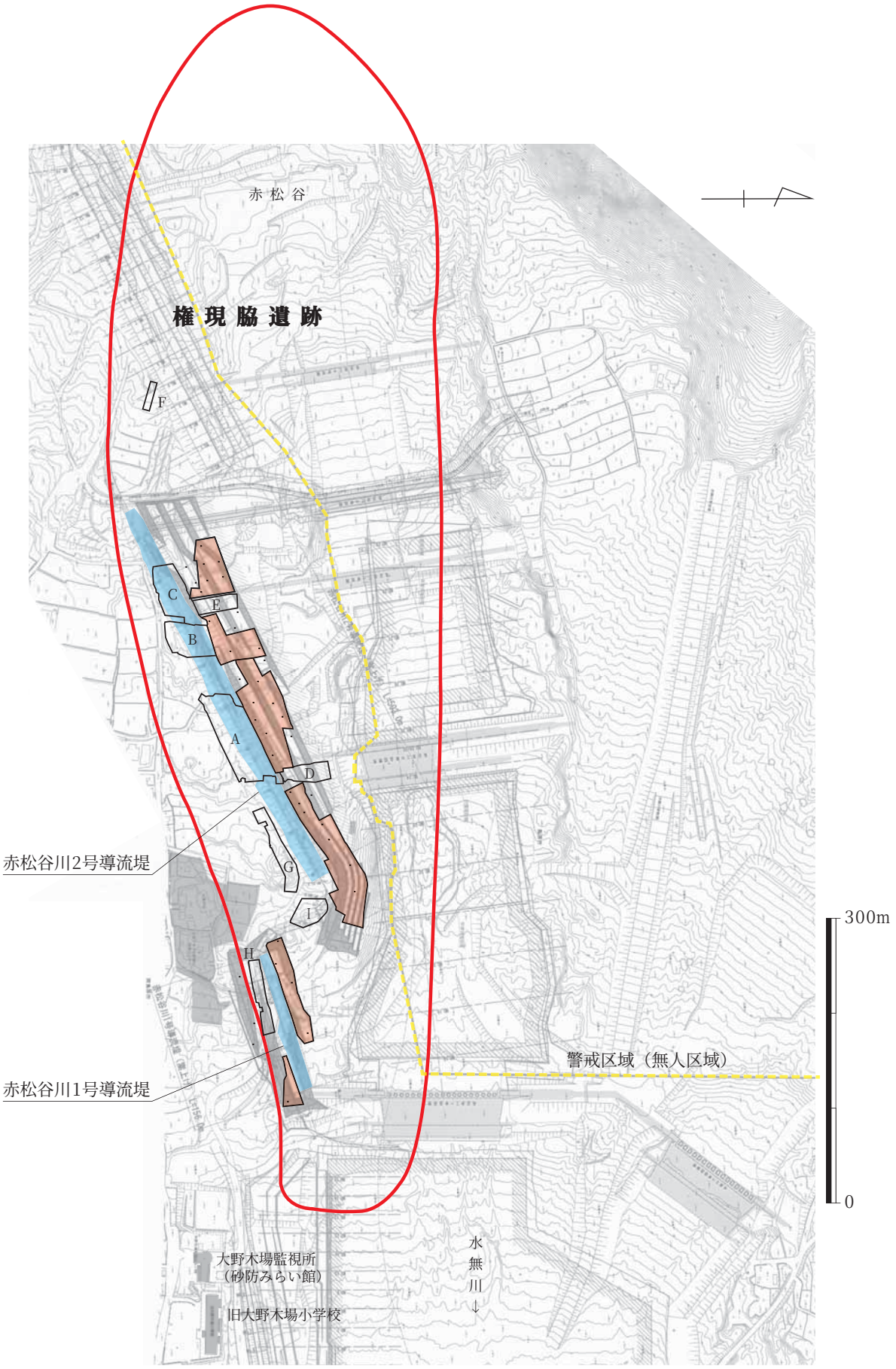
【参考文献】

本多　和典編　2006　『権現脇遺跡』深江町文化財調査報告書第２集　深江町教育委員会
本多　和典　2007　『権現脇遺跡』南島原市文化財調査報告書第１集　南島原市教育委員会
本多　和典　2020　『権現脇遺跡』南島原市文化財調査報告書第21集　南島原市教育委員会

2　調査に至る経緯

赤松谷川１号・２号導流堤の建設後，雲仙普賢岳山頂に残された溶岩ドームの崩落の危険性が再検討され，その結果，既設の導流堤の嵩上げ工事が必要と判断された。このことを受け，南島原市教育委員会は，工事主体である雲仙復興事務所と協議を行い，赤松谷川１号・２号導流堤の拡幅部分及び延長部分について，まず試掘・範囲確認調査を実施し，本調査の実施の必要性のある箇所を確定させることになった。

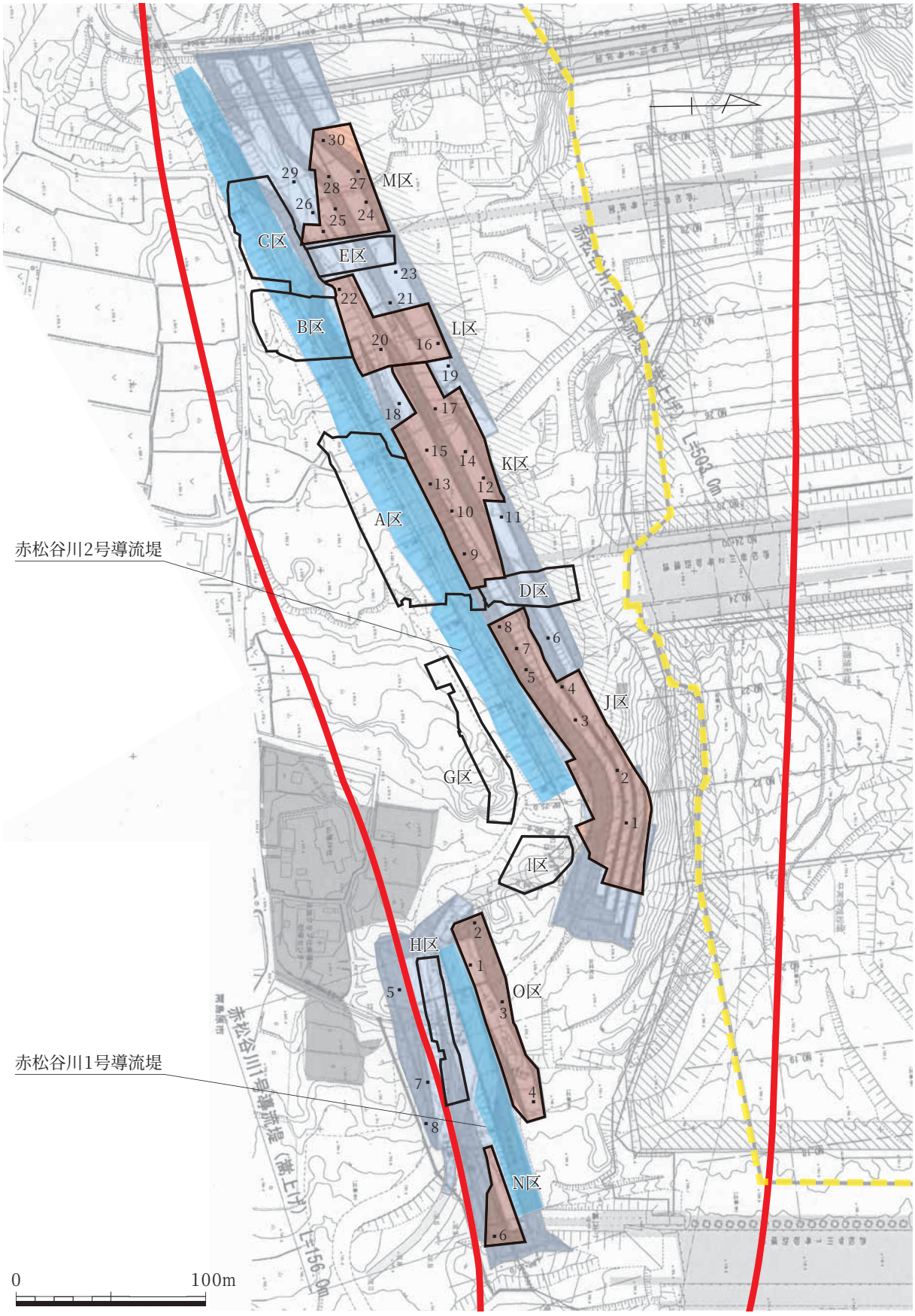
試掘・範囲確認調査の調査坑は，導流堤の拡幅部分及び延長部分を対象として雲仙普賢岳の平成噴火以前の地形等を加味して任意の地点で設定した。赤松谷川２号導流堤嵩上げの計画地において30カ所，赤松谷川１号導流堤の計画地において８カ所である。その結果，多くの調査坑において縄文時代後期から突帯文期にかけての良好な遺物包含層を確認したことから，赤松谷川２号導流堤のＪ～Ｍ区，赤松谷川１号導流堤のＮ・Ｏ区について本調査の実施が必要であると判断した。



第３図　調査区配置図（S＝1/6,000）

第２表　権現脇遺跡発掘調査履歴

調査年度	調査原因	調査種別	調査主体	調査地点	調査面積	備考
平成14(2002)年度	赤松谷川１・２号導流堤建設工事	試掘・範囲確認調査	深江町教育委員会	計画地	80㎡	
	赤松谷川１号導流堤建設工事	本調査	深江町教育委員会	B地区	A区　3,943㎡ B区　1,509㎡ C区　1,835㎡	『権現脇遺跡』(2006)刊行
平成15(2003)年度	赤松谷川２号導流堤建設工事	本調査	深江町教育委員会	A・B・C地区		
平成16(2004)年度	赤松谷川２号堰堤建設工事	本調査	深江町教育委員会	D地区	870㎡	
平成18(2006)年度	赤松谷川１号床固工工事	本調査	南島原市教育委員会	E地区	750㎡	『権現脇遺跡』(2007)刊行
	水無川上流右岸資材搬入路工事	範囲確認調査	南島原市教育委員会	計画地	96㎡	
平成19(2007)年度	水無川上流右岸資材搬入路工事	本調査	南島原市教育委員会	F・G・H区	F区　250㎡ G区　1,000㎡ H区　750㎡	『権現脇遺跡』(2020)刊行
平成20(2008)年度	水無川上流右岸資材搬入路工事	本調査	南島原市教育委員会	Ｉ区	800㎡	
平成22(2010)年度	赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事	範囲確認調査	南島原市教育委員会	計画地	76㎡	
平成23(2011)年度	赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事	範囲確認調査	南島原市教育委員会	計画地	52㎡	
	赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事	本調査	南島原市教育委員会	J・K区	J区　4,152㎡ K区　3,440㎡	『権現脇遺跡』(2021)刊行［本報告］
平成24(2012)年度	赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事	本調査	南島原市教育委員会	K区		
	赤松谷川１号導流堤嵩上げ工事	試掘・範囲確認調査	南島原市教育委員会	計画地	24㎡	
平成25(2013)年度	赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事	本調査	南島原市教育委員会	L・M区	L区　1,727㎡ M区　1,795㎡	『権現脇遺跡』(2021)刊行［本報告］
平成26(2014)年度	赤松谷川２号導流堤嵩上げ工事	本調査	南島原市教育委員会	M区		
平成27(2015)年度	赤松谷川１号導流堤嵩上げ工事	本調査	南島原市教育委員会	N・O区	N区　593㎡ O区　1,797㎡	
平成28(2016)年度	赤松谷川１号導流堤嵩上げ工事	本調査	南島原市教育委員会	O区		



第４図　試掘・確認調査調査坑配置図（S＝1/3,000）

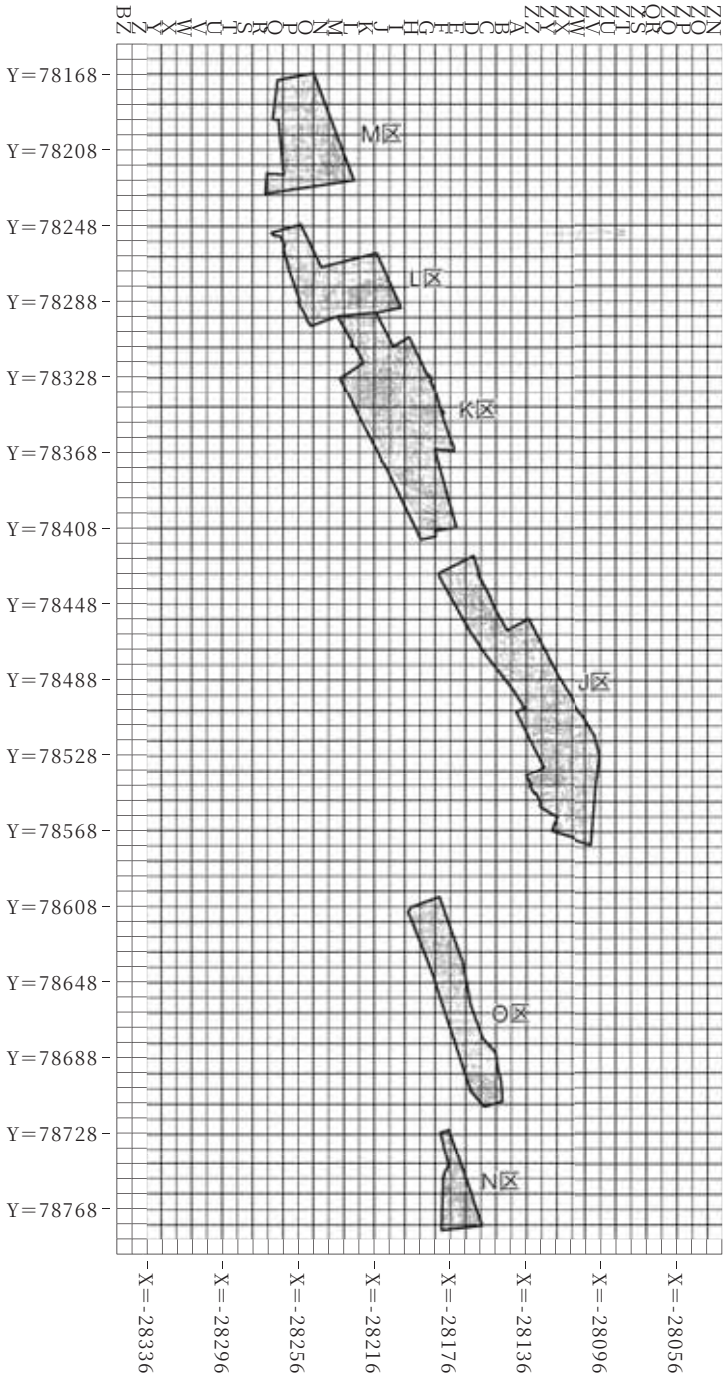
第Ⅲ章　調査の成果

1　調査の方法

試掘・範囲確認調査の結果に基づき，赤松谷川２号導流堤部分でＪ区4,152㎡，Ｋ区3,440㎡，Ｌ区1,727㎡，Ｍ区1,795㎡の計11,114㎡，赤松谷川１号導流堤部分でＮ区593㎡，Ｏ区1,797㎡の計2,390㎡，総面積13,504㎡の本調査を実施している。

調査は，事業主体者によって発掘調査範囲の設定を行った後，重機によって表土剥ぎを行い，その後人力によって調査区壁面を整え，４ｍ間隔でのメッシュ杭を設定して調査グリッドとした。

調査グリッドについては，平成14年度より赤松谷川２号導流堤建設工事計画地において実施してきた発掘調査のグリッド設定と整合させるため，旧測地系に基づくグリッド設定を踏襲した。すなわち，旧測地系Ｘ＝－28136，Ｙ＝78168を基準とする地点をＡ１として原点に定め，８ｍごとに北から南へアルファベット大文字を，西から東へアラビア数字を順に割りあて，両者の組み合わせによって地点名称を決定した。また，各グリッドの北西角の地点名称をもってグリッド名称とした。加えて，この８ｍグリッドをさらに十字に区切って４分割した４ｍ四方を小グリッドとし，北西部，北東部，南西部，南東部をそれぞれa,b,c,dとアルファベットの小文字をあてて名称にした。



第５図　グリット配置図（Ｓ＝１/4,000）

掘削にあたっては，必要に応じて大グリッド程度を目安として，ときに後世における耕作地や宅地の地割，攪乱等の状況を加味しながら土層観察用ベルトを設定し，堆積状況を確認した。土層観察用ベルトは，グリッド境界線を中心として南北，東西それぞれに25cmをとって幅50cmで設定し，調

査の進行に伴って不必要と判断すれば取り除いた。土層実測図は，Ⅳ層上面までの掘削調査が完了した段階で，基本的には残存させたベルトの南側と東側，すなわちグリッド列の北壁と西壁とを作図し，また調査区壁面においても作図を行った。

遺物包含層の掘削は，小グリッドを単位として各層位ごとに行い，下位層上面まで検出した時点で遺構の有無を確認し，写真で検出状況を記録し，その後遺構の掘削を行った。包含層（主にⅢａ層～Ⅲｂ下層）中の遺物の取り上げは，遺物の出土地点の座標観測を行い，個別に取上番号をふって取り上げを行った。

遺構の掘削については，基本的に半裁して深さや形状，覆土の状況，遺物や炭化物などの包含の状況などを確認し，特段の注意事項や個別の記録・図化などの必要がなければ完掘した。また，特に検出平面の大きいものなどについては，４分の１あるいは６分の１ずつ掘削した。必要に応じて個別の遺構ごとに平面，断面，土層堆積状況の記録・図化を行った。

遺構配置図の図化にあたっては，各調査区においてⅢｂ下層上面及びⅣ層上面の検出面ごとに行った。各検出遺構について，それが人為的なものであるか，人為的であっても，後世の削平の関係で本来の掘り込み面とは異なるものではないか，あるいは植物の根穴や生痕，倒木痕など自然営力によるものではないかなど，検出状況から可能な限り判断し，遺構実測図への注記を行った。

なお各調査区は，調査終了後に工事が控えていたため，埋め戻しは行わずに事業主体者へ引き渡しを行った。

２　基本土層

今回の権現脇遺跡における基本土層は，以下のとおりである。

０　層　雲仙普賢岳平成噴火の火山灰層。
Ⅰ　層　暗褐色土。平成噴火以前の耕作土。
Ⅱ　層　暗褐色土。近世以降の造成土。小礫を多量に含み，分層が可能な場合もみられ，下位になるほど色調が暗くなる。
Ⅲａ層　黒色土。礫の混入がなく，しまりがない。弥生時代中期から中世期にかけての遺物包含層。
Ⅲb上層　暗褐色土。縄文時代後期～弥生時代初頭の遺物包含層。
Ⅲb下層　褐色土。縄文時代後期～弥生時代初頭の遺物包含層。Ｍ区とＯ区においては，何らかの動植物によるものとみられる生痕が観察される上位のⅢｂ下‐１層と，生痕が観察されない下位のⅢｂ下‐２層に分層が可能であった。
Ⅳ　層　浅黄橙色火山灰。下位に白灰色火山灰が認められる場合もある。縄文期における雲仙眉山の火山噴出物（権現脇火砕サージ）。噴火活動に伴う爆風によって形成された倒木痕が多数検出される。無遺物層。
Ⅴａ層　黄色土。小礫を多量に含む。地点により縄文時代早期の遺物包含層。
Ⅴｂ層　褐色土。小礫を多量に含む。地点により縄文時代早期の遺物包含層。
Ⅵ　層　黒色土。軽石状の小礫を多量に含む。
Ⅶ　層　砂礫層。およそ１万年前と考えられる深江原のほぼ全域を覆う基盤層。

基本的には，これまで過去に実施してきた権現脇における発掘調査の基本土層と変更はない。遺物の大部分は，Ⅲｂ上・下層からの出土であり，縄文時代後期から突帯文期にかけての遺物が主体をなす。また，若干ではあるが，弥生時代中期から古墳時代にかけての遺物，及び中世の遺物がⅢａ層から出土する。Ⅲｂ下層においては，地点によって生痕の有無からさらに分層が可能である場合があり，この点は今回の調査における新しい知見である。

試掘・範囲確認調査の成果に基づき，Ⅲａ層からⅢｂ下層までを掘削調査の対象とした。過去の調査においては，Ⅴａ層，Ⅴｂ層より押型文土器をはじめとした縄文時代早期の出土がいくらかみられたが，今回の調査地点における出土は乏しく，面的な掘削調査の対象からは除外した。

また，今回の調査範囲は，おもに雲仙普賢岳の平成噴火前までは葉タバコの栽培が盛んにおこなわれていた耕作地が主体であるため，調査区壁面にはたびたびタバコ畑の畝が検出され，その畝間には平成噴火の火山灰が充填されている状況も確認された。

なお現在，南島原市域においては県営のほ場整備事業や市道の改良事業など各種開発事業が多数進められており，それらに伴う発掘調査の成果も蓄積されてきている。そうしたなか，特に南島原市域中央部の有家町・西有家町域における基本土層も整理されつつあり，市域北部の権現脇遺跡を含む深江原一帯との土層堆積の共通点と関係性もうかがえる状況になってきている。近い将来，雲仙の東麓から南東麓における広域的な基本土層の整理が行われるものと期待する。

G区南壁（平成19年度調査より）

3　遺構

今回の調査ではⅡ層までを重機によって表土剥ぎを行い，その後重機によって除去しきれなかった攪乱部を人力で除去したのち，Ⅲａ層以下を層位ごとに順に人力で掘削してⅢｂ上層上面，Ⅲｂ下層上面，Ⅳ層上面の各面において遺構の確認作業を行った。

Ⅲａ層土を埋土としてⅢｂ上層に切り込む遺構は非常に少なく，Ⅲａ層出土の遺物の少なさとも整合していた。Ⅲｂ下層上面においては，平面不整形の浅くくぼんだ土坑状のものを非常に多く検出したが，これらの多くにはスギナの黒色の根がたびたび確認され，根が周辺土壌を黒色化しているものと判断した。また，Ⅳ層上面でも柱穴状のものが多数検出されたが，規則的な配列をみせることはなく，加えて周辺よりやや低い自然流路沿いに多く検出されるなどの傾向がみられ，これらの多くは地下に垂直に根を伸ばすクズによるものであると推察した。こうした植物の根の影響と考えられる偽遺構とも呼ぶべきものの存在は，土色変容をきたしやすい土壌環境ゆえの所産であると思われ，あるいは雲仙東麓ならではの火山噴出物由来の土壌という条件が引き起こすものなのかもしれないと考える。

一方，各地区で確認された縄文期の土坑墓や土器棺墓などは，その内部に納められた供献土器や土器棺を検出してはじめてその存在に気づくこともあり，その時点で改めてプランとセクションを確認するという場面が幾度かあった。このことは，縄文期において造営されたであろう地下への掘削を伴う遺構に対して，十分に把握，検出しきれていないという可能性があることを意味している。

Ⅳ層上面においては，各調査区において多数の倒木痕を検出した。これらは縄文期における眉山の噴火活動に伴うものと考えられる。次節で詳細は記す。

Ｊ区検出遺構（第８図・第９図）

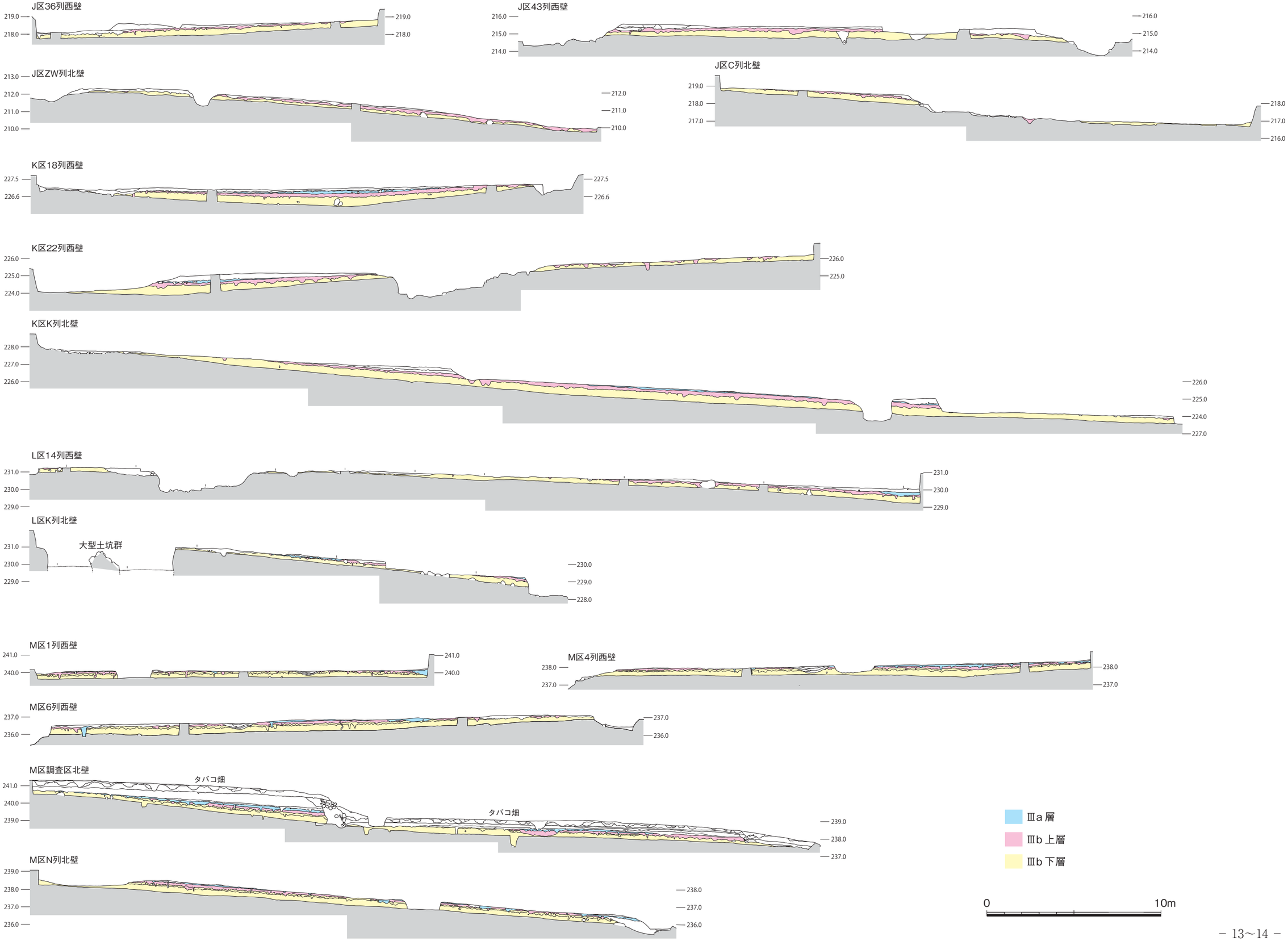
赤松谷川２号導流堤最下流部の調査区である。調査区の最下流部ではすぐ北側が崖となっており，水無川へと急激に落ち込む地形である。後世の溝などの掘削や耕作地造成による削平はみられたが，大きく攪乱を受けた地点は少ない。Ⅲｂ下層上面において，土坑墓２基，土器棺墓４基からなる突帯文期の墓域を確認するとともに，Ⅳ層上面においては眉山噴火に伴う倒木痕を２基検出した。

１号土坑墓（第21図）

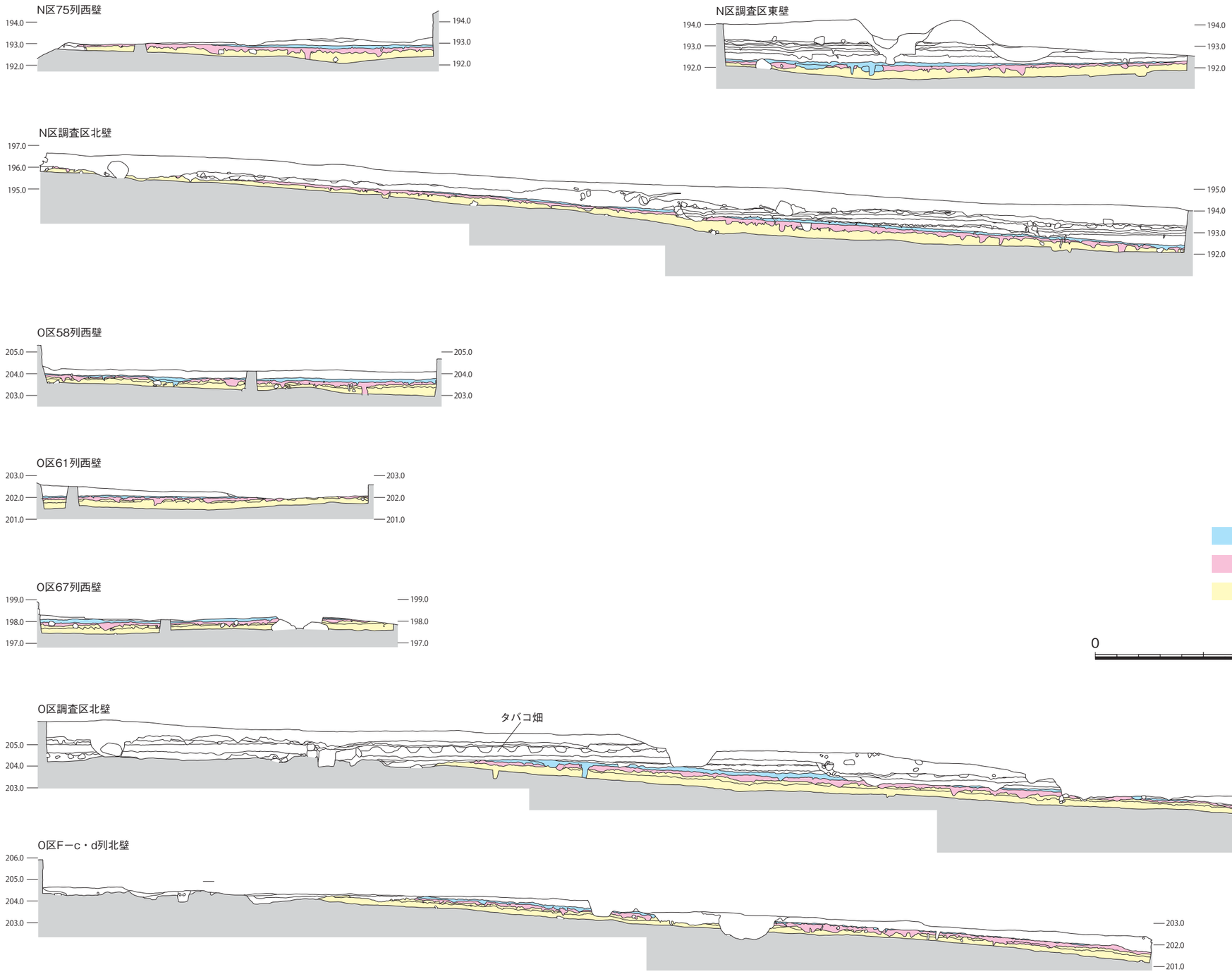
グリッド ZX43-a・ZX43-c，Ⅲｂ下層上面での検出である。墓坑は，長さ2.2m，幅0.75m～1.25mで，台形状の平面をなす。深さは0.3m を測る。在地石材のデイサイト亜角礫と搬入石材の可能性のある板状の安山岩の検出をみる。墓坑内に石材は落ち込むが，蓋石もしくは標石の可能性が考えられる。墓坑のサイズから成人墓とみる。石材が欠如している部分があるが，後世の攪乱を受けていることを考えると本来は石材が配置されて全体を覆っていた可能性もある。墓坑最大幅部分には供献土器と考えられる浅鉢と小壷の検出があった。３号土器棺墓の墓坑を一部切って造営されている。

出土遺物（第22図）

１は逆「く」字に屈曲する口縁部をもつ浅鉢である。断面張り出しをもった底部から胴部で屈曲して，口縁部は内傾する。口唇部外面には段を作る。内外面，底面ともに研磨調整である。口径14.1cm，屈曲部径14.4cm，底径6.2cm，器高7.3cm を測る。**２**は小型，丸底気味の壷である。しっかりと張



第6図　J～M区土層実測図（S＝1/200）



第７図　N・O区土層実測図（S＝1/200）

り出す肩部からやや内傾する頸部，口縁部に至り，口唇部は先細りとなって外反する。外面肩部と頸部の境界に２条の，口縁部外面に１条の沈線を引く。内面はナデ調整，外面は胴部と頸部が縦方向の研磨調整，肩部が横方向の研磨調整である。底面は器面の剥落が著しい。胴部には焼成後の穿孔が認められる。復元口径6.4cm，肩部最大径12.6cm，底径5.0cm を測る。器高は14.2cm である。

２号土坑墓（第23図）

グリッド ZX42-b・ZX43-a，Ⅲｂ下層上面での検出である。墓坑は，長さ2.15m，幅0.8m，深さ0.23m を測る。蓋石もしくは標石と考えられる在地石材であるデイサイト亜角礫４石を配する。１号土坑墓同様，墓坑のサイズから成人墓と思われる。北端部には供献土器として鉢と粗製浅鉢の検出がみられ，出土状況から合口であった可能性もある。

出土遺物（第24図）

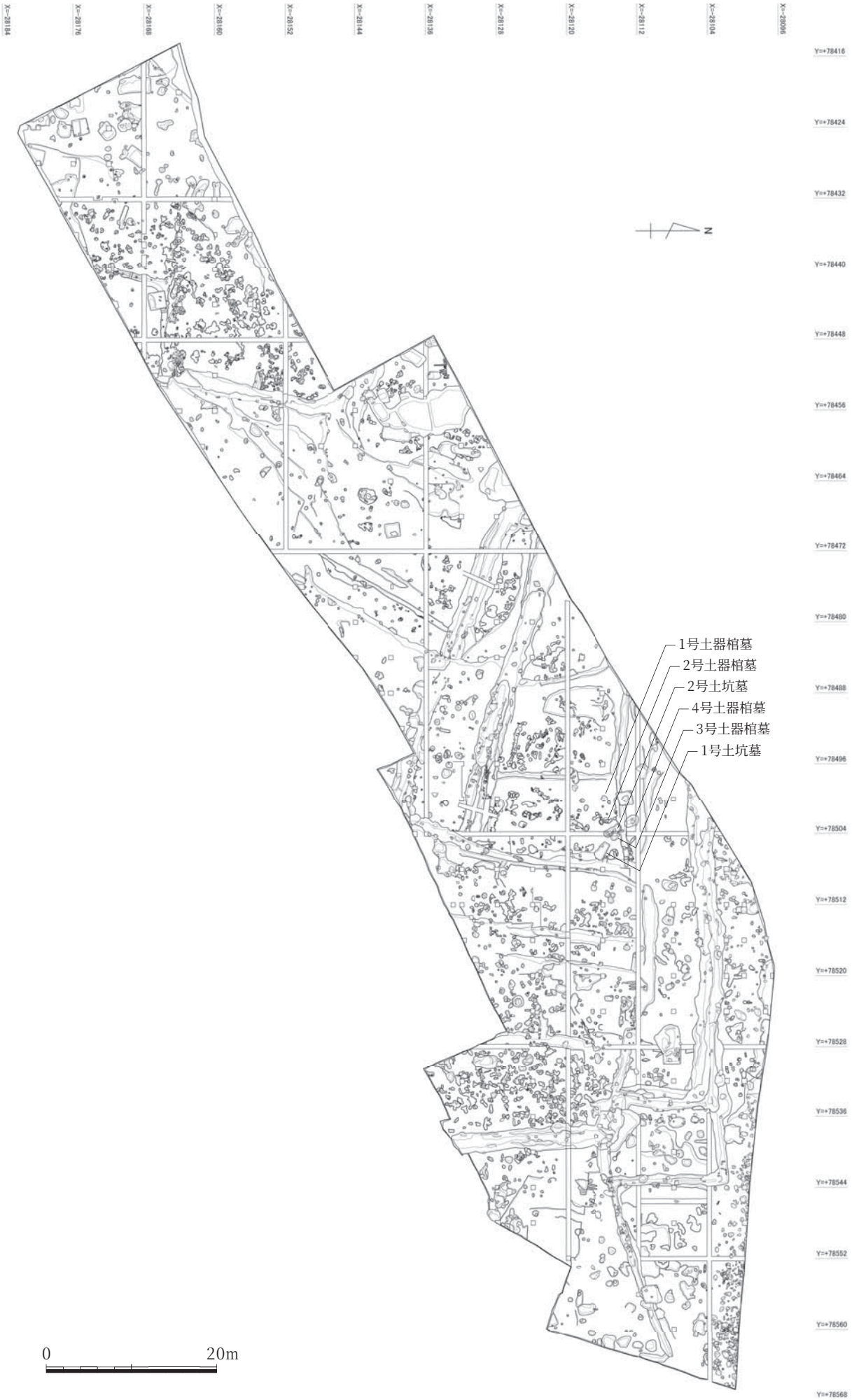
1 は胴部で屈曲する鉢で，口縁部は外反する。外面屈曲部より上位と内面には炭化物の付着が観察される。口径16.4cm，胴屈曲部径17.8cm，復元底径6.5cm である。器高は14.2cm である。**2** は口縁部に刻目突帯をめぐらす鉢である。突帯は口唇部から1.1㎝程度と比較的下がった位置に貼り付けており，刻目は指先によるものである。外面には貝殻条痕調整を施すが，丸底の底面付近はなで消している。内面の調整は，擦過調整が主体であるが，口縁部付近のみナデ調整である。外面胴部上半から口縁部にかけて炭化物が付着する。口径は18.9cm，器高は11.8cm である。

１号土器棺墓（第25図）

グリッド ZX42-a・ZX42-c，Ⅲｂ下層上面での検出である。墓坑は直径0.75m の円形であるが，上部は大きく削平を受けたものと思われる。残存する墓坑の深さは0.4m である。口径同程度の刻目突帯文土器を合口直立で埋設したものと思われる。

出土遺物（第26図）

1 は２条の刻目突帯をもつ甕である。胴部でしっかりとした屈曲をみせ，口縁部は内傾する。底部から胴部下半は欠損する。刻目は口縁部，胴部ともにヘラ状工具によるもので，口縁部突帯は口唇部から0.5㎝程度下がった位置にめぐらす。外面は貝殻条痕調整ののちにナデ調整を行うが，胴部下位より胴部中ほどから口縁部にかけての方が丁寧である。外面，胴部中ほどから胴部突帯までには炭化物の付着がある。復元口径41.5cm，復元胴屈曲部径45.0cm を測る。**2** は２条の刻目突帯をもつ甕である。断面，やや張り出しをもつ底部から屈曲の不明瞭な胴部突帯を経て，ほぼ直立する口縁部に至る。口縁部突帯，胴部突帯ともに刻目は棒状工具の側面押あてによるもので，口縁部突帯は口唇部から0.7cm 前後下がった位置に貼り付ける。外面は貝殻条痕調整ののち指先によって器面を掻き取るような粗いナデ調整を行う。外面の胴部から口縁部にかけては炭化物の付着が認められる。復元口径40.8cm，復元胴屈曲部径43.0cm，復元器高47.4cm である。



第８図　Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）

第９図　Ｊ区Ⅳ層上面遺構配置図（Ｓ＝１/600）

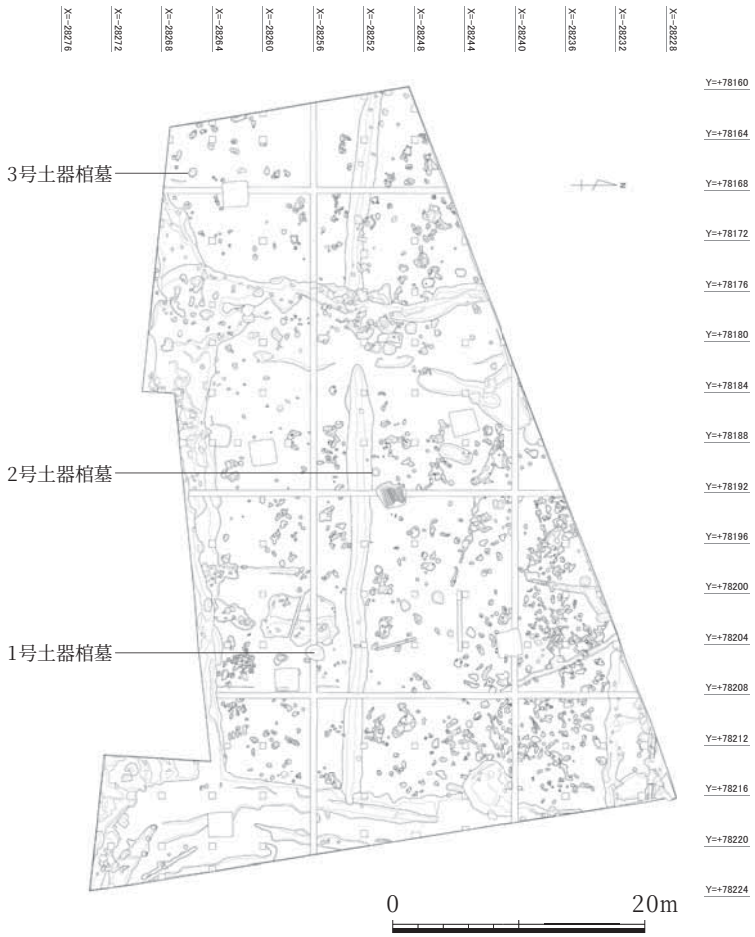
第10図　K区Ⅲb下層上面遺構配置図（S＝1/600）

（番号は倒木痕）

第11図　K区Ⅳ層上面遺構配置図（S＝1/600）

第12図　L区Ⅲb下層上面遺構配置図（S＝1/600）

第13図　L区Ⅳ層上面遺構配置図（S＝1/600）

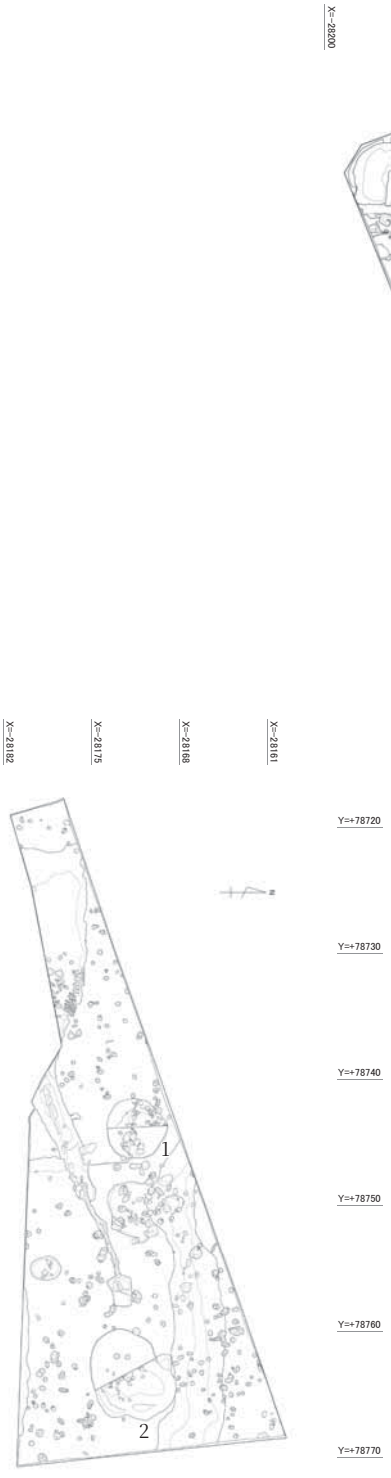


第14図　M区Ⅲb下層上面遺構配置図（S＝1/600）

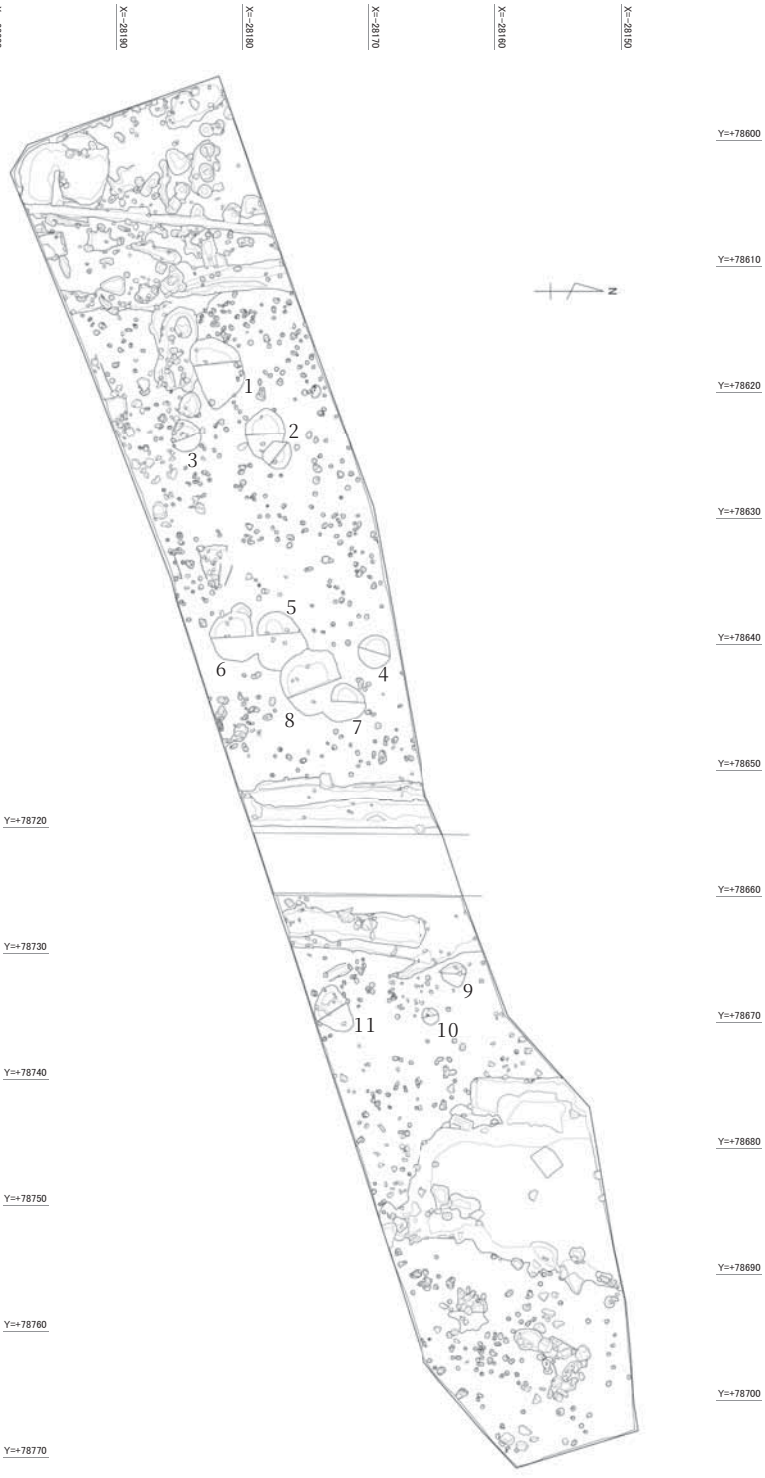
第15図　M区Ⅳ層上面遺構配置図（S＝1/600）

第16図　N区Ⅲｂ下層上面
遺構配置図（S＝1/600）

第17図　O区Ⅲｂ下層上面
遺構配置図（S＝1/600）



（番号は倒木痕）



（番号は倒木痕）

第18図　N区Ⅳ層上面
遺構配置図（S＝1/600）

第19図　O区Ⅳ層上面
遺構配置図（S＝1/600）

２号土器棺墓（第27図）

グリッド ZX42-b，Ⅲｂ下層上面での検出である。墓坑は直径0.63m の円形であり，深さは0.38m を測るが，上部は削平を受けた可能性が高い。屈曲深鉢をほぼ直立させて配置しており，内部よりそれとは別個体の深鉢胴部片を検出した。口縁部，底部は欠き，胴部も全周はしないことを考えれば，大型土器片を蓋としてかぶせた可能性が高い。

出土遺物（第28図）

1 は胴部上位で屈曲する深鉢である。断面わずかに張り出しをもつ底部をもち，口縁部はやや内傾する。外面，胴部上位から屈曲部にかけて炭化物が付着する。口径30.1cm，胴屈曲部径32.7cm，底径10.0cm を測る。 **2** は胴部の資料で，底部，口縁部は欠損し，残存部も半周ほどである。外面には擦過調整を行う。復元胴部最大径が41.5cm である。

３号土器棺墓（第29図）

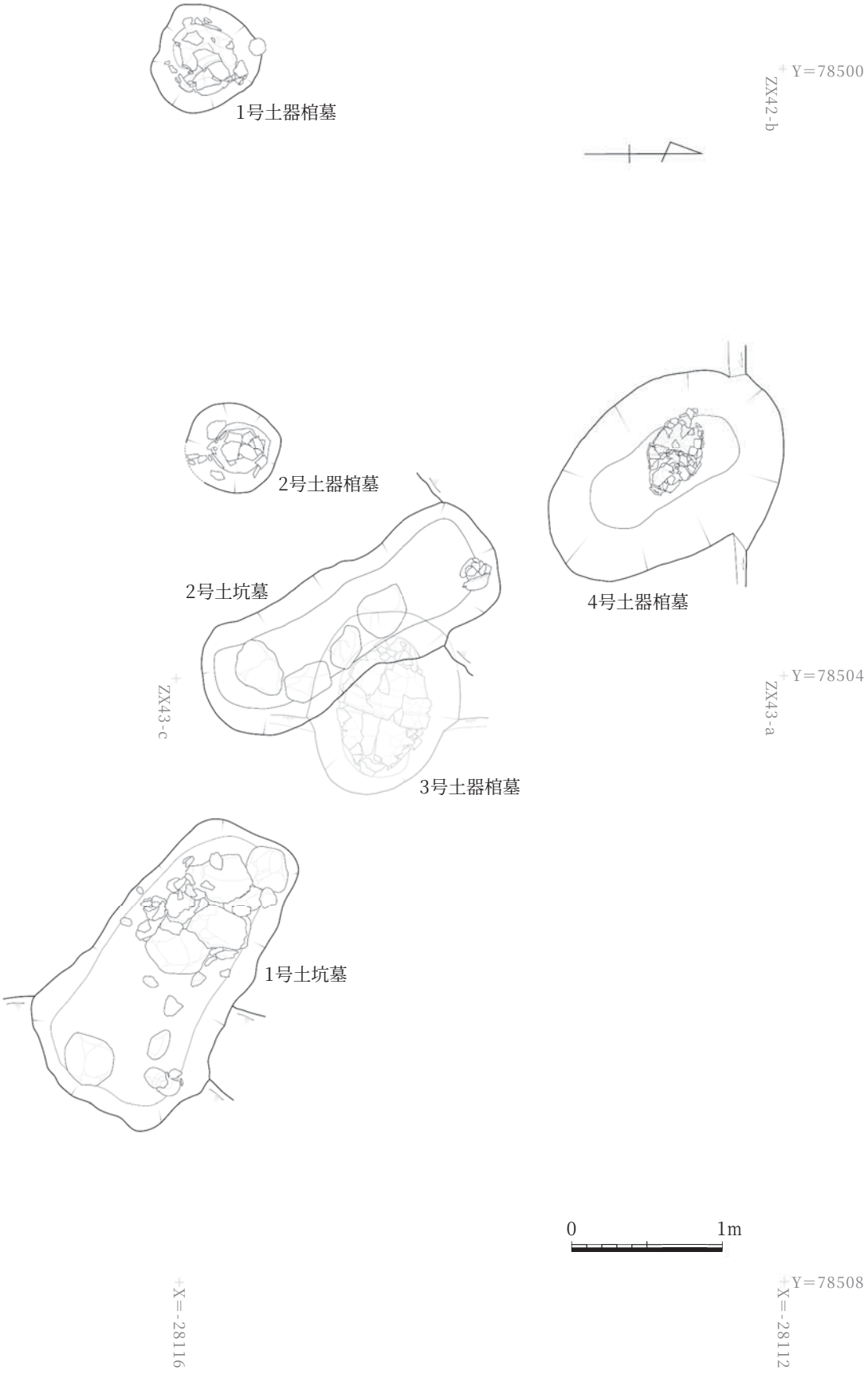
グリッド ZX42-b・ZX43-a，Ⅲｂ下層上面での検出である。長軸1.25m，短軸1.0m の平面楕円形の墓坑をもち，深さは検出面から0.34m である。下手は後世の石垣造成によって一部削平を受けている。墓坑床面は水平をなしている。刻目突帯文土器２個体を合わせるが，上手の方がやや口径が大きく，底部がもう一方より上がっており，覆口の状態で検出した。

出土遺物（第30図）

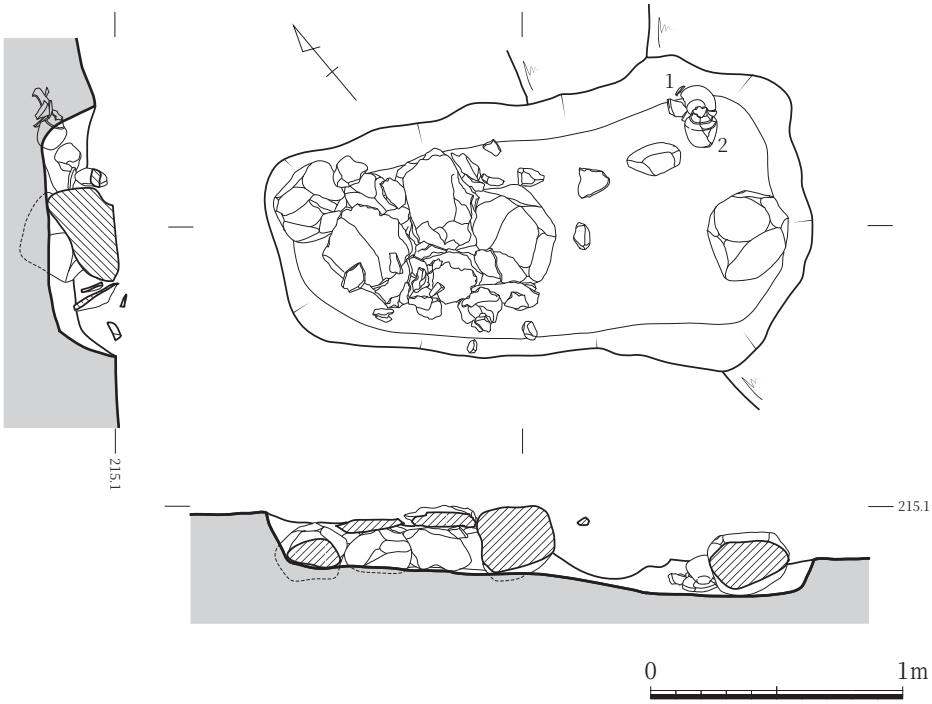
1 は２条の刻目突帯をもつ甕である。底部の張り出しはなく，緩い屈曲の胴部突帯から内傾する口縁部に至る。口縁部突帯，胴部突帯ともに指先による刻目が施される。口縁部突帯は口唇部から0.9cm 前後下がった位置への貼り付けである。内外面ともに貝殻条痕調整ののちにナデ調整が行われる。外面には底部付近と胴部中ほどから胴部突帯にかけて炭化物が付着する。また，内面胴部下位にもリング状に炭化物の付着が認められる。口径41.0cm，胴屈曲部径44.3cm，底径10.5cm を測る。器高は47.4cm である。 **2** は２条の刻目突帯をもつ甕である。断面やや張り出しをもつ底部からしっかりと屈曲して口縁部は強く内傾する。口唇部は外反する。口縁部突帯，胴部突帯ともに指先によって刻目が施されている。口縁部突帯は口唇部から0.7㎝程度下がって貼り付けられる。外面は，胴部突帯より下位には貝殻条痕調整をそのまま残しており，突帯間はなで消している。外面の胴部中ほどから胴部突帯にかけて炭化物が付着する。また，内面胴部下位にはリング状に炭化物が残る。口径36.1cm，胴屈曲部径42.1cm，底径9.9cm を測る。器高は46.8cm である。

４号土器棺墓（第31図）

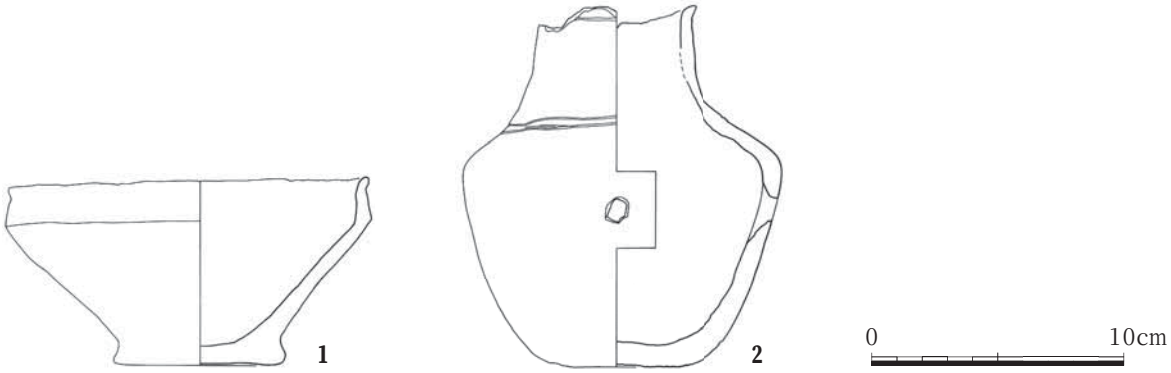
グリッド ZX42-b，Ⅲｂ下層上面での検出である。墓坑は，長軸1.73m，短軸1.3m の楕円形を呈する。棺の検出によって墓坑の存在に気付いたが，一部が土層観察ベルトにかかっていたことから精査をしたところ，少なくとも0.54m の深さがあったことが判明した。他の土器棺墓と比べると墓坑が埋設土器に対して大きい。また，墓坑と埋設土器の主軸がずれている。刻目突帯文土器２個体を合わせており，呑口の状態での埋設であった。墓坑確認以前に40cm 大程度のデイサイト亜角礫を土器



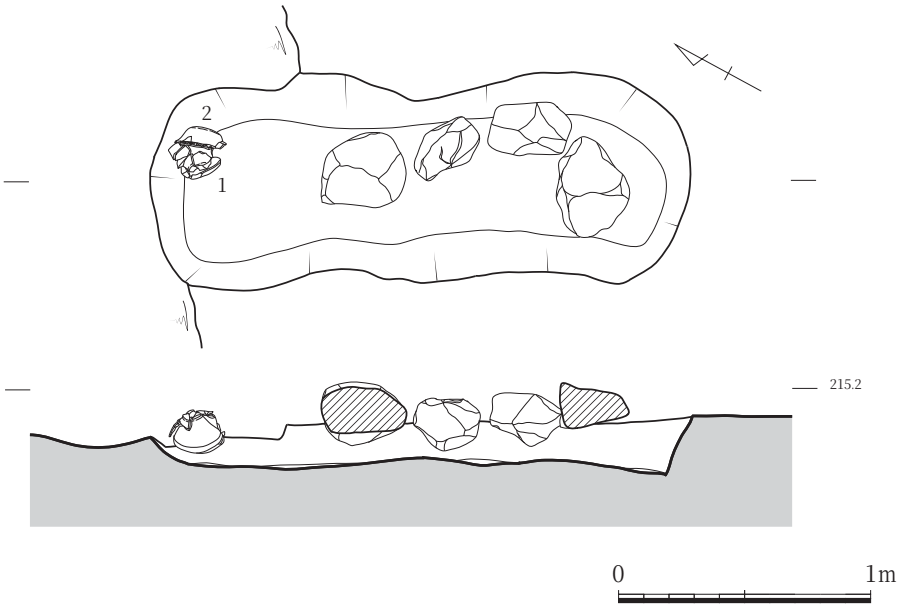
第20図　J区土坑墓・土器棺墓配置図（S＝1/40）



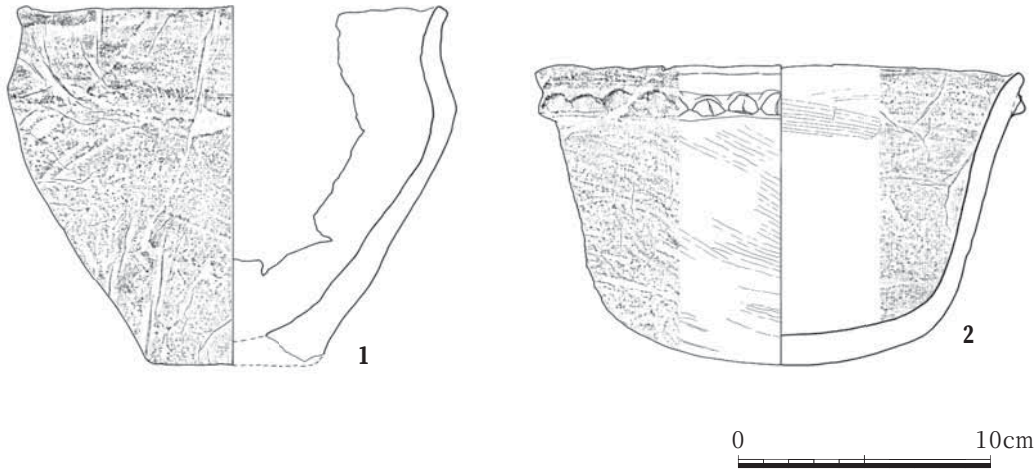
第21図　J区１号土坑墓（S＝１/30）



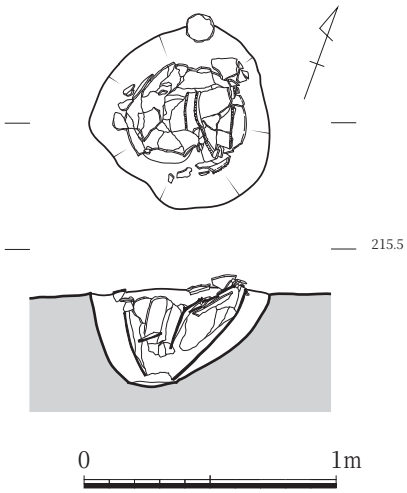
第22図　J区１号土坑墓出土遺物（S＝１/３）



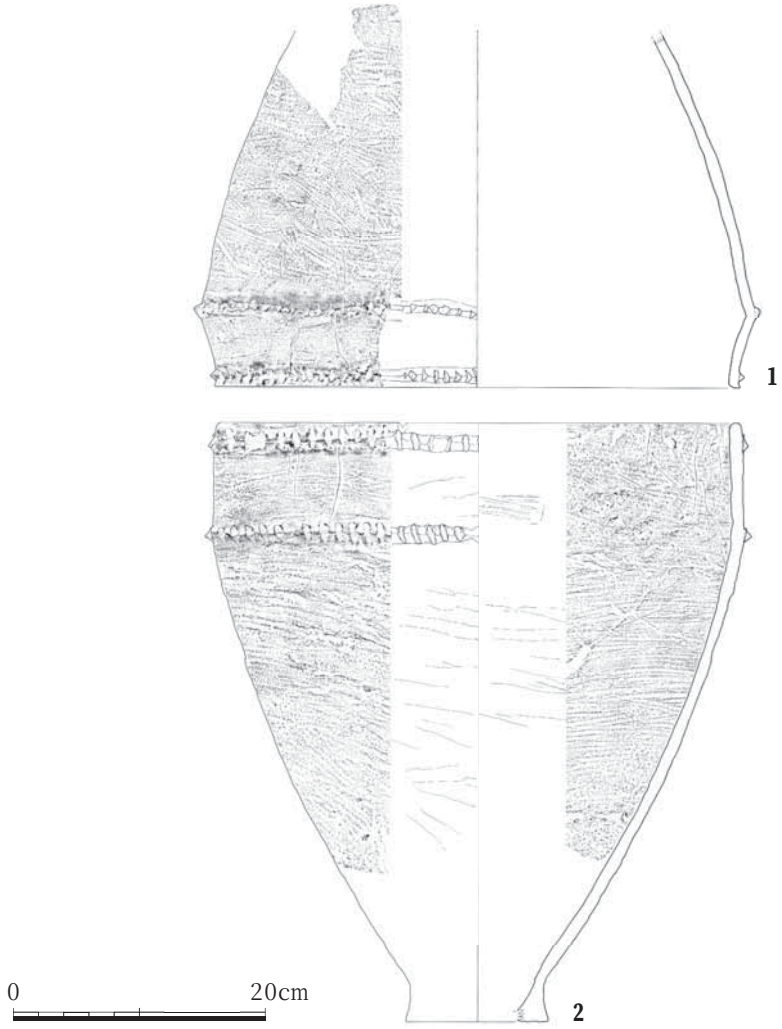
第23図　J区２号土坑墓（S＝１/30）



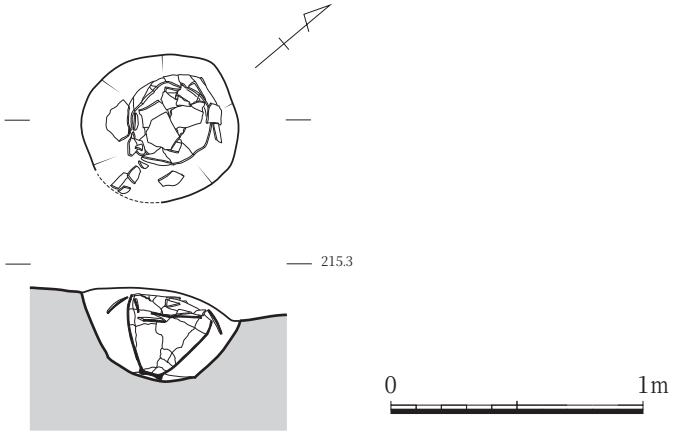
第24図　J区２号土坑墓出土遺物（S＝１/３）



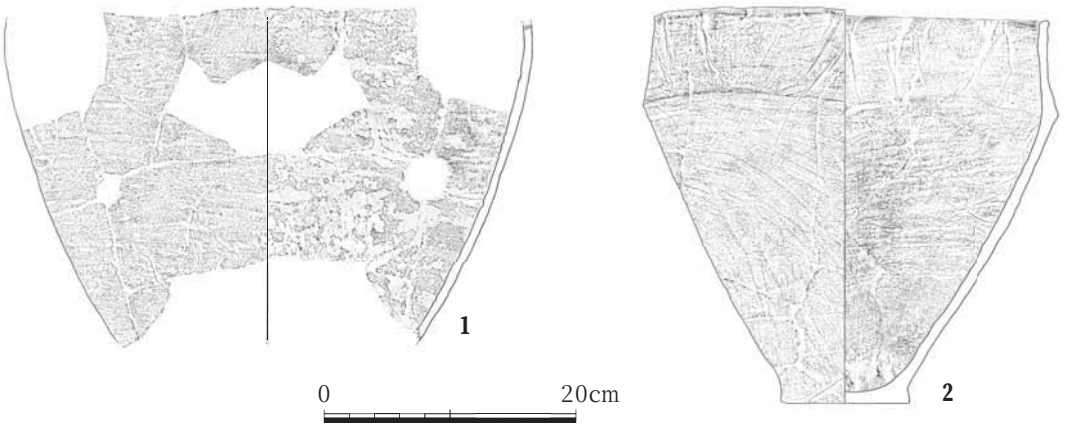
第25図　J区１号土器棺墓
（S＝1/30）



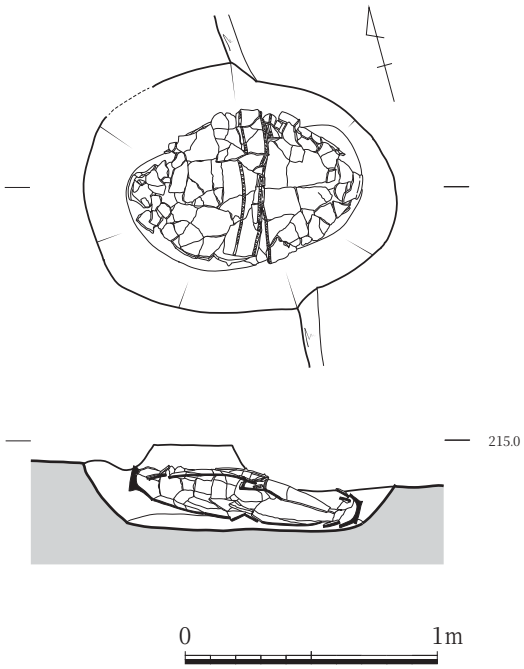
第26図　J区１号土器棺墓出土遺物（S＝1/6）



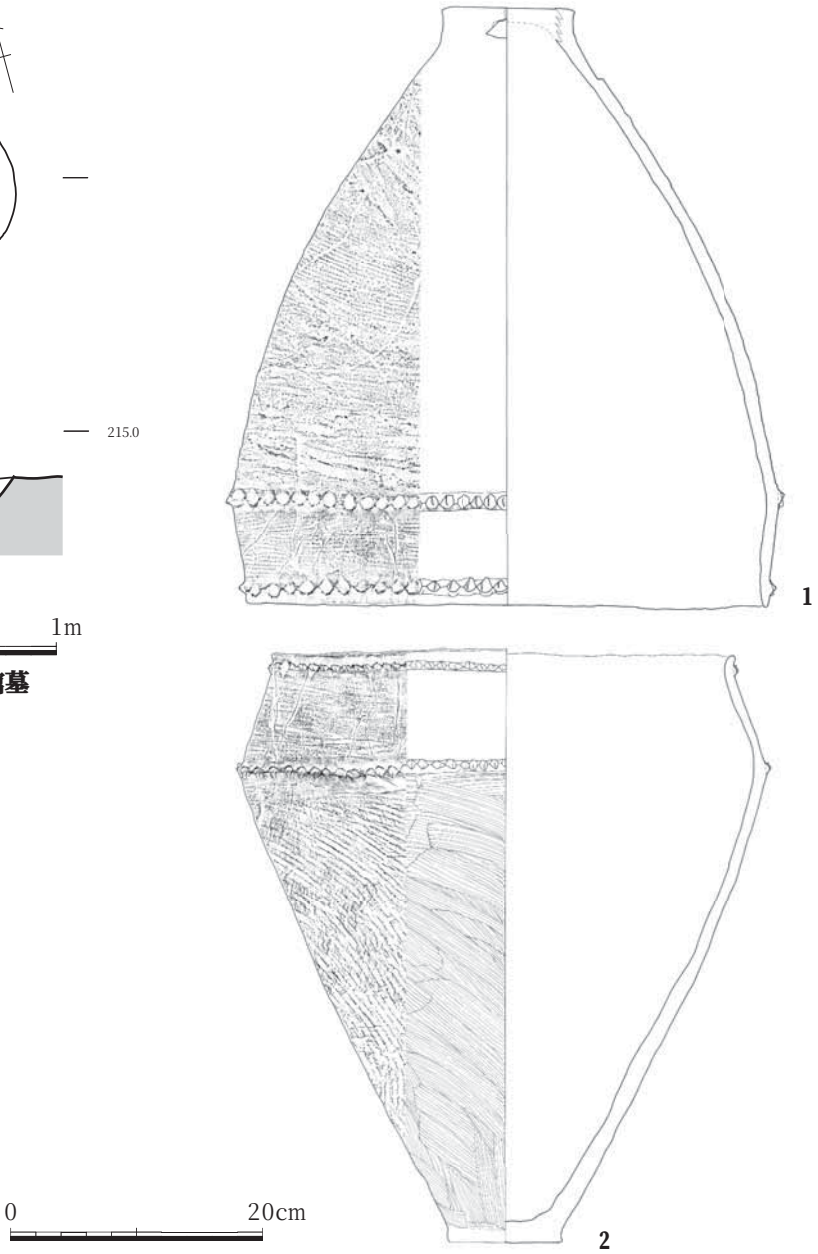
第27図　J区２号土器棺墓（S＝1/30）



第28図　J区２号土器棺墓出土遺物（S＝1/6）



第29図　J区3号土器棺墓
（S＝1/30）

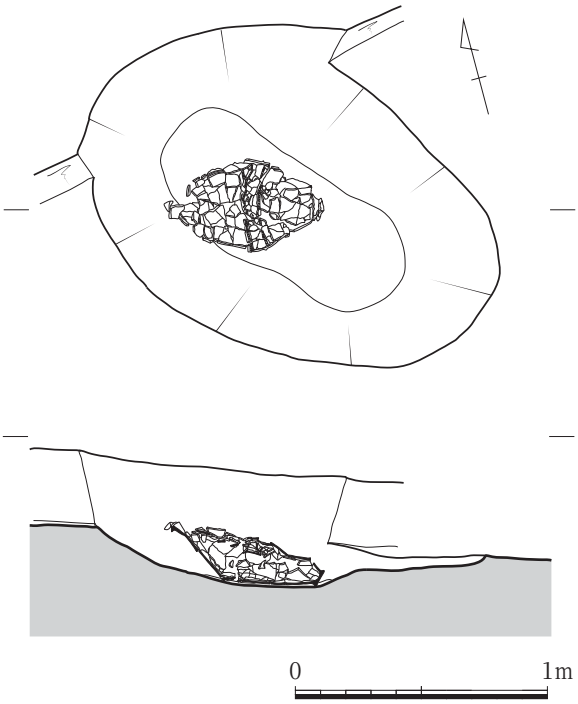


第30図　J区3号土器棺墓出土遺物（S＝1/6）

棺直上あたりで検出しており，標石として配されていた可能性が十分にある。

出土遺物（第32図）

1は２条の刻目突帯をもつ甕である。断面やや張り出しをもつ底部から緩く屈曲する胴部突帯を経てわずかに内傾する口縁部に至る。口唇部は先細りとなる。口縁部突帯，胴部突帯ともにヘラ状工具による刻目が施されており，口縁部突帯は口唇部から0.7cm 前後下がった位置である。外面の調整は胴部突帯より下位は擦過調整であるが，突帯間はナデ調整を行う。外面胴部中ほどに炭化物の付着が認められ，内面には胴部下位にリング状に炭化物が付着する。口径26.5cm，胴屈曲部径29.4cm，底径8.2cm を測る。器高は32.6cm を測る。**2**は２条の刻目突帯をもつ甕で，断面張り出しの強い底部から胴部突帯を経て口縁部まで開いて立ち上がる。胴部突帯での屈曲はほとんどない。口縁部突帯，胴部突帯ともにヘラ状工具による刻目である。口縁部突帯は口唇部から0.8cm 前後下がった位置である。外面の胴部中ほどから上位には炭化物が付着する。また，内面胴部下位にもリング状に炭化物の付着が認められる。口径31.6cm，胴突帯部分径29.2cm，底径8.8cm である。器高は32.3cm である。



第31図　Ｊ区４号土器棺墓（Ｓ＝１/30）

第32図　Ｊ区４号土器棺墓出土遺物（Ｓ＝１/６）

K区検出遺構（第10図・第11図）

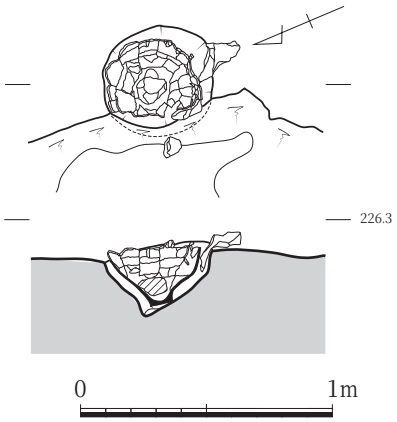
普賢岳の平成噴火前まで利用されていた生活道路が調査区を縦横に走ったり，後世の耕作地及び宅地の造成による削平が進んだりしており，一部残存状況は良くなかった。調査区中央よりやや下流側の地点では第Ⅶ層の固結砂礫層に掘り込む平面円形もしくは方形を呈する大型土坑群を確認した。こうした遺構は過去の権現脇遺跡の調査や同じ深江町内の諏訪ノ上遺跡の調査でも確認されており，近世以降の所産と考えられるが，いまだその性格は不明である。縄文時代後期の土器棺墓の検出がある。また，集石の検出もあり，縄文時代後・晩期のものであろう。

土器棺墓（第33図）

グリッドG21-c，Ⅲｂ下層掘削途中での検出である。墓坑，埋設土器ともに大きく上部を削平されている。墓坑は直径0.44m の円形で，土器のサイズに合わせて最小限の掘り込みがなされたものと考えられ，土器は直立での埋設であったものと思われる。

出土遺物（第34図）

1 は底部から胴部下半の深鉢である。内外面ともに貝殻条痕調整ののちにナデ調整を行っている。胴部内面の一部には炭化物が付着する。底径は9.1cm を測る。底部形態と器面調整から縄文時代後期末～晩期初頭の時期，外傾する口縁部文様帯に数条の沈線を引くタイプの深鉢であろう。

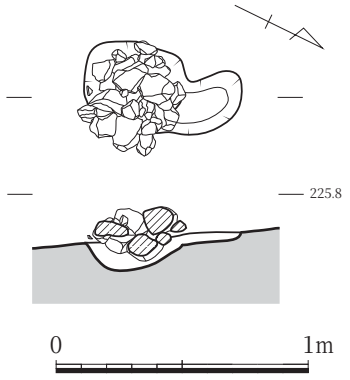


第33図　K区土器棺墓（S＝1/30）

第34図　K区土器棺墓出土遺物（S＝1/6）

集石（第35図）

グリッドG22-c，Ⅲｂ下層掘削途中での検出である。20㎝程度以下の在地石材であるデイサイトを集積している。集石の下部には，長軸0.64m，短軸0.38m，深さ0.15m の不整形の土坑を確認した。内部から遺物や炭化物などは検出されなかった。



第35図　K区集石（S＝1/30）

Ｌ区検出遺構（第12図・第13図）

普賢岳平成噴火前までの生活道路が調査区を横切っており，第Ⅶ層まで攪乱を受けている状況がみられた。また，Ｋ区同様に調査区の北側山手部分で第Ⅶ層に掘り込む10基からなる大型土坑を確認した。大型土坑は平面方形を呈しており，Ｋ区に比べると規則性をもって整列している状況であった。第Ⅶ層を薄く掘り残して隣り合う土坑と壁面を形成しており，内部に石積みがみられるものもあった。Ⅳ層上面においては，眉山の噴火活動に伴う倒木痕を多数検出した。

Ｍ区検出遺構（第14図・第15図）

全体として後世の攪乱や削平を受けた地点が少なく，堆積状況も良好であった。今回の調査で最も遺物の出土が多かった調査区である。Ⅲｂ上層上面では調査区を西から東へと直進する溝状の遺構が確認された。また，Ⅲｂ下層上面においては縄文時代後期末～晩期初頭の時期の土器棺墓３基を検出した。

１号土器棺墓（第36図）

グリッドＯ５-ｄ・Ｐ５-ｂ，Ⅲｂ下-１層上面での検出である。墓坑は長軸1.58m，短軸1.21m の平面楕円形を呈し，深さは0.42m を測る。土圧により破損が進んでいたが，深鉢を直立させ，それに浅鉢を被せて埋設していた。土器のサイズに比して墓坑が大きい。

出土遺物（第37図）

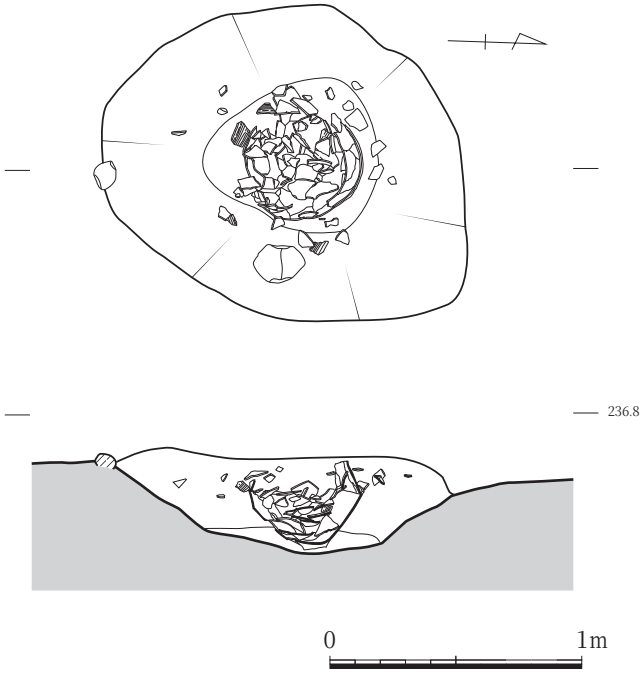
1 は黒色磨研の浅鉢で，丸底からそのまま丸みを帯びた浅い胴部に至り，外面で稜を作って外反する頸部がつく。口縁部には内面に段を作る。口径38.5cm，器高14.3cm を測る。**2** は口縁部文様帯をもつ深鉢である。断面張り出しをもたない底部から胴屈曲部を経て頸部は内傾して上部は外反し，そこに外傾する口縁部がつく。口縁部は浅い波状をなし，波頂部には凹点を施す。口縁部外面には５条の沈線を引き，うち上位３条は波頂部で途切れる。内外面ともに貝殻条痕調整ののちにナデ調整を行う。復元口径42.3cm，復元胴屈曲部径42.8cm，底径9.5cm を測る。復元器高は42.7cm である。

２号土器棺墓（第38図）

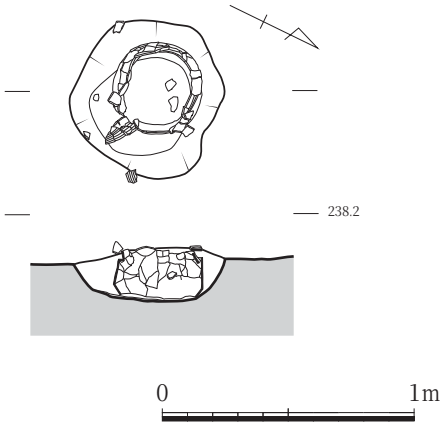
グリッドＯ３-ｂ，Ⅲｂ下-１層掘削途中での検出である。墓坑は直径0.61m の円形で，土圧の影響を受けて土器は破損している。埋設された土器は１個体であり，直立するが，墓坑の深さを押さえるためか，胴部下半から底部は失われている。

出土遺物（第39図）

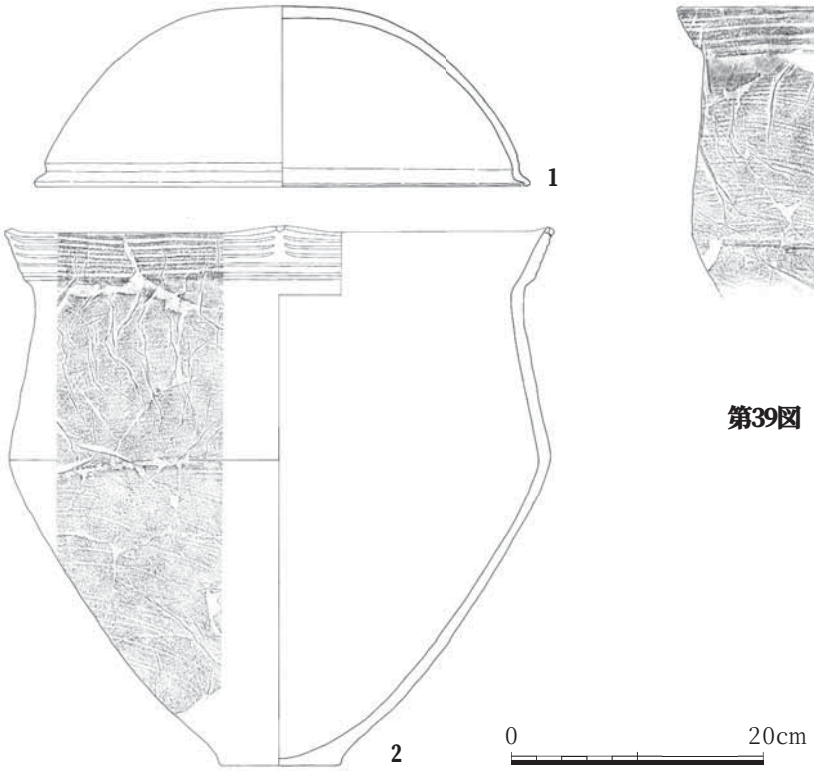
1 は口縁部文様帯をもつ深鉢である。胴屈曲部より上位のみであり，底部付近は欠損する。胴屈曲部から頸部は緩く屈曲し，頸部はやや内傾して口縁部は外傾する。口縁部外面には４条の沈線を引く。外面は貝殻条痕調整ののちナデ調整，内面はナデ調整である。復元口径38.3cm，胴屈曲部径36.7cm である。



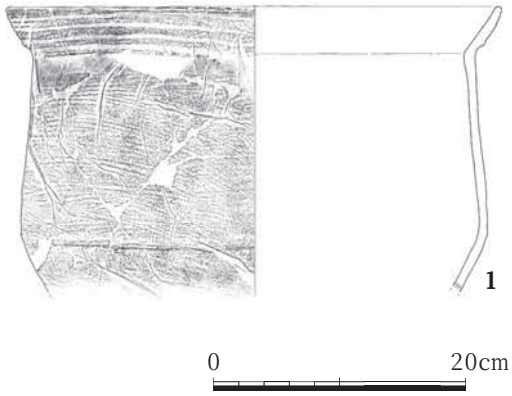
第36図　M区１号土器棺墓
（S＝1/30）



第38図　M区２号土器棺墓
（S＝1/30）



第37図　M区１号土器棺墓出土遺物（S＝1/6）



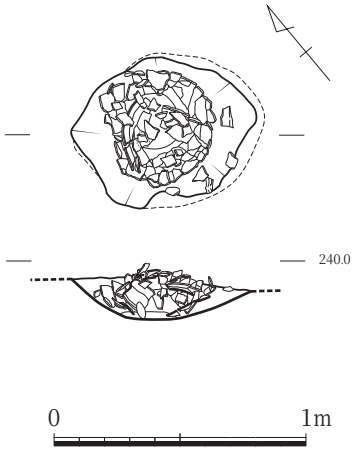
第39図　M区２号土器棺墓出土遺物
（S＝1/6）

３号土器棺墓（第40図）

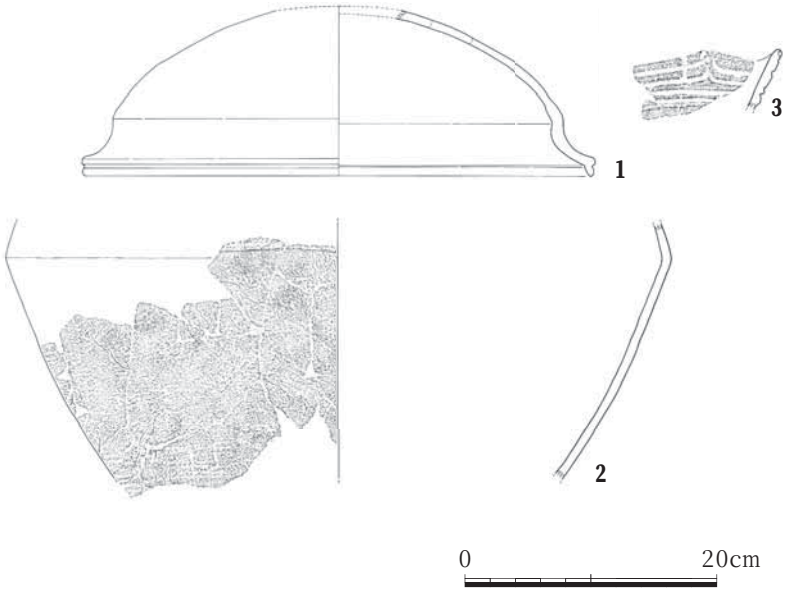
グリッドQ100-d，Ⅲb下層上面での検出である。直径0.75m の円形の墓坑で，上部は削平を受けている。下甕と考えられる深鉢は直立して設置されるが，２号土器棺墓同様，底部をもたない。深鉢の口縁部片が数点出土しており，頸部から口縁部にかけても本来は残存していたものと思われる。浅鉢を蓋として被せている。

出土遺物（第41図）

1 は精製浅鉢で，欠損するが丸底と思われる底部からそのまま浅い胴部へと至り，頸部は大きく外反して開き，口縁部は短く立ち上がる。口縁部外面には沈線１条を引く。全周の６割程度が残存する。胴部には４㎝程度の幅で粘土紐の積み上げの痕跡が観察される。外面胴部上位から口縁部にかけて炭化物が付着する。復元口径40.0cm，復元器高13.3cm を測る。 **2** は屈曲部をもつ深鉢で，底部と頸部は欠損する。復元胴屈曲部径52.6cm である。 **3** は **2** と同一個体の可能性があると考えられる深鉢口縁部の資料である。波頂部で，口唇部外端部には凹点をもつ。外面には４条の沈線を引き，うち上位２条は波頂部で途切れている。



第40図　M区３号土器棺墓
（S＝1/30）



第41図　M区３号土器棺墓出土遺物（S＝1/6）

N区遺構検出状況（第16図・第18図）

調査区山手側の部分については後世の削平を受けていたものの，比較的良好な堆積状況であった。Ⅳ層上面では２基の眉山噴火に伴う倒木痕を検出しており，そのうち１基はこれまで確認した倒木痕のなかで最大級のものであった。

O区遺構検出状況（第17図・第19図）

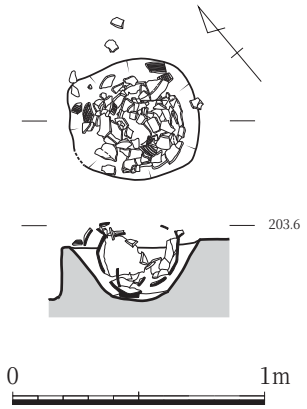
普賢岳平成噴火以前の生活道路が調査区を南北に横切っており，それより海手では後世の削平を大きく受けていて，一部重機による攪乱を受けている部分もみられた。Ⅲｂ下層上面においては縄文時代後期の土器棺墓１基を検出した。Ⅳ層上面においては眉山噴火に伴う倒木痕を多数検出した。また，調査区西端では大型土坑２基を確認し，これは他の調査区と同様，近世以降の所産であると考えられる。

土器棺墓（第42図）

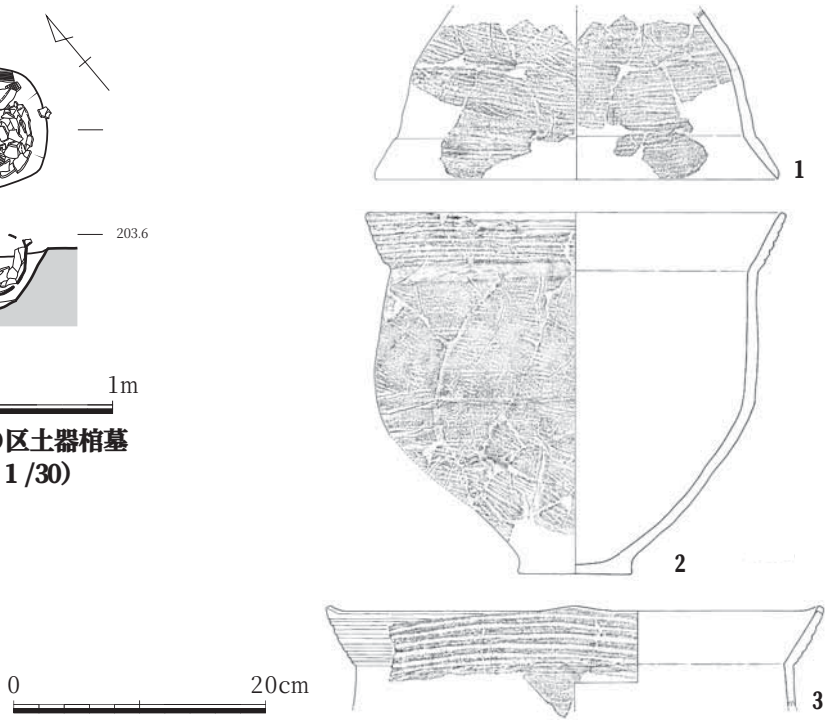
グリッドG58-c，Ⅲｂ下-１層上面での検出である。直径0.56mの平面円形の墓坑をもち，同程度の口径をもつ深鉢と浅鉢を合口にして直立させて埋設したものと思われる。また，この合口の深鉢とは別個体の深鉢口縁部が半周程度の残存で出土しており，付属の埋設であった可能性が高い。

出土遺物（第43図）

1は口縁部文様帯をもつ浅鉢である。胴部中ほどで緩く屈曲し，口縁部は外傾する。底部付近は後世の削平によるものか，残存しない。外面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を軽く行う。胴屈曲部から口縁部の外面にかけて炭化物が付着する。復元口径は31.5cmである。**2**は外傾する口縁部文様帯に４条の沈線を引く深鉢である。底部断面は張り出しをもたず，胴部中ほどは膨らみをもっており屈曲は不明瞭である。胴部外面は貝殻条痕調整ののち丁寧にナデ調整を行っている。胴部内面下位にはリング状に炭化物が付着する。口径32.6cm，胴部最大径29.7cm，底径8.8cmで，土圧により底部と胴部下位との間で著しく破損し接合がかなわなかったが，復元器高は約28.5cmである。**3**は口縁部付近のみ半周程度が残存する。外傾する口縁部文様帯に６条の沈線を引く。わずかに波状の口縁となるが，波頂部への凹点は認められない。外面には炭化物が付着する。復元口径は38.5cmである。



第42図　O区土器棺墓
（S＝1/30）



第43図　O区土器棺墓出土遺物（S＝1/6）

第３表　土坑墓・土器棺墓出土遺物観察表

図	番号	区	遺構	配置	文様・調整		色調		胎土	備考
					外面	内面	外面	内面		
22	1	J	1号土坑墓	供献	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	2			供献	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	焼成後穿孔
24	1	J	2号土坑墓	供献	擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	AMS 年代測定試料 1
	2			供献	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ，擦過，ナデ	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	AMS 年代測定試料 2
26	1	J	1号土器棺墓	上	刻目（ヘラ）／ナデ，貝殻条痕・擦過，貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	2			下	刻目（棒）／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
28	1	J	2号土器棺墓	上	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	2			下	擦過	擦過，ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
30	1	J	3号土器棺墓	上	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	2			下	刻目（指）／ナデ，貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
32	1	J	4号土器棺墓	上	刻目（ヘラ）／ナデ，擦過	擦過・ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	2			下	刻目（ヘラ）／ナデ	ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
34	1	K	土器棺墓	－	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
37	1	M	1号土器棺墓	上	研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	2			下	沈線／貝殻条痕・ナデ・研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に凹点
39	1	M	2号土器棺墓	下	沈線／貝殻条痕・ナデ	研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
41	1	M	3号土器棺墓	上	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料 4
	2			下	ナデ・研磨	ナデ	褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料 3
	3			下ヵ	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
43	1	O	土器棺墓	上	沈線，貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料 7
	2			下	沈線／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	AMS 年代測定試料 5
	3			その他	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料 6

4　眉山の噴火活動による倒木痕

これまでに権現脇遺跡のⅣ層上面で検出された倒木痕は，赤松谷川２号導流堤建設に伴う発掘調査において，Ａ区で10基，Ｂ区で３基，Ｃ区で３基の計16基である。長岡信治・松末和之の両氏は2006年の報告において，権現脇遺跡のⅣ層上面で検出される倒木痕について，①北または北東からの強い押圧によるものであること，②火山灰(権現脇遺跡第Ⅳ層)が倒木痕内を充填しており，めくれ上がった地層を覆っていることから，火山灰の堆積直前かほぼ同時に倒木が起きたこと，③倒木痕内を充填する火山灰に吹き抜けパイプや炭化物などの高温の証拠はなく，比較的低温の火砕サージ堆積物であること，④火砕サージ堆積物直下の土壌のＣ14年代から火砕サージの発生は約5600年前と推定されること，などを指摘し，この火砕サージを「権現脇火砕サージ」と呼んだうえで，権現脇火砕サージは眉山で発生した岩屑なだれに伴うものであろうと結論付けている。

今回の赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事に伴う権現脇遺跡の発掘調査においても，Ⅳ層上面において多数の倒木痕を検出した。調査区別にみると，Ｊ区２基，Ｋ区16基，Ｌ区18基，Ｍ区13基，Ｎ区２基，Ｏ区11基で，合わせると62基である。過去の調査での検出分を合計すると，権現脇遺跡全体で78基の倒木痕が確認されたことになる。

これらの倒木痕は，多くが２～５ｍ程度の平面円形もしくは楕円形の形状で，深さは0.5m から1.0 m 程度の規模をもつ。最大のものは，Ｎ区で検出した倒木痕２で，南北6.6m，東西7.9m，深さ1.49 m を測った。倒木痕を南北方向で半裁掘削したとき，断面には火山灰が充填しているのを観察できるが，その中央よりやや南寄りには，倒木の根が地下から掴み上げた本来は水平に近い状態で堆積し

ている土層が，めくれて直立するような格好で確認されるという特徴がある。当時の地表層である権現脇遺跡第Ⅴ層から最下層である権現脇遺跡第Ⅶ層までが持ち上げられ，めくれると，平面でみたときには樹木の幹の倒れる方向と垂直の位置関係になり，おおよその倒木方向の推定が可能である。とりわけ，第Ⅵ層の黒色土は浅黄色の火砕サージ中に帯状になって，また第Ⅶ層の砂礫層は数10㎝大の礫を含んでおり，礫があたかも人為的に配置したかのように列状になって検出されるため，検出作業に慣れてくると目につきやすく，倒木方向の推定も容易である。

今回の発掘調査の対象は，水無川右岸に設置された導流堤の嵩上げ工事予定地ということで，１号と２号合わせて総延長約650m，なおかつ標高も190m 付近から240m 付近にわたっての広域的なものであったため，その中で62基もの倒木痕が確認されたことで，過去の調査の成果に加えて新たに重要な情報を得ることができた。

まず上流側，標高域の高いM区，Ｌ区，Ｋ区の調査区においては，これまでの過去の調査での検出事例と同様，倒木の方向は，南もしくはやや南西側に振れているものが多くみられた。一方下流側，標高域の低いＪ区，Ｏ区，Ｎ区においては，南もしくはやや南東側に振れているものが多くみられた。このことは，倒木の要因となった爆風とそれに伴う権現脇火砕サージが放射状の角度をもって広がり，権現脇遺跡周辺にも到達したことを裏付けるものといえる。そして，その放射点は権現脇遺跡の北方に求めることができ，爆風と火砕サージの発生源は眉山であることを概ね確定させたものといえよう。

また，倒木痕内の火山灰には一部吹き抜けパイプの構造を観察することができたことから，権現脇火砕サージは一定程度の高温を保った状態で遺跡周辺を直撃し，また堆積したことをうかがわせた。さらに，発掘調査の完了後，雲仙火山をテーマとした卒業研究のために権現脇遺跡を訪れた当時熊本大学学生の谷口隼斗氏は，同行した指導教官，熊本大学教育学部准教授（当時）の宮縁育夫氏，雲仙岳災害記念館の長井大輔氏とともに，半裁掘削して残存していたＮ区倒木痕１内堆積物の断面中から炭化材を検出，採取した。そして，AMS 年代測定を行い，3,600±30years BP という年代値（註１）の結果を得ている。

【註】

註１　谷口隼斗氏が2018年に熊本大学教育学部に提出した卒業論文「雲仙火山の活動に伴う倒木痕の成因」による。

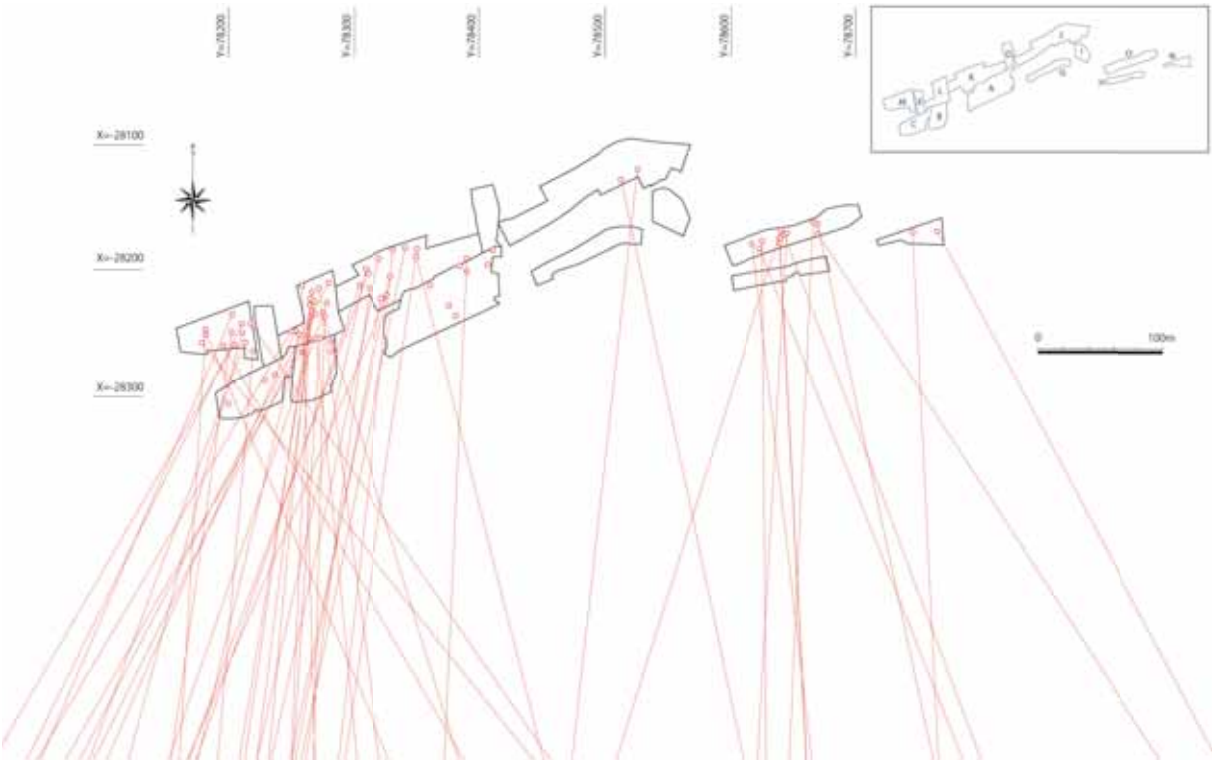
【参考文献】

長岡信治・松末和之　2006「約5600年前の眉山起源，権現脇火砕サージに伴って生じた倒木の跡」『権現脇遺跡』深江町文化財調査報告書第２集　深江町教育委員会

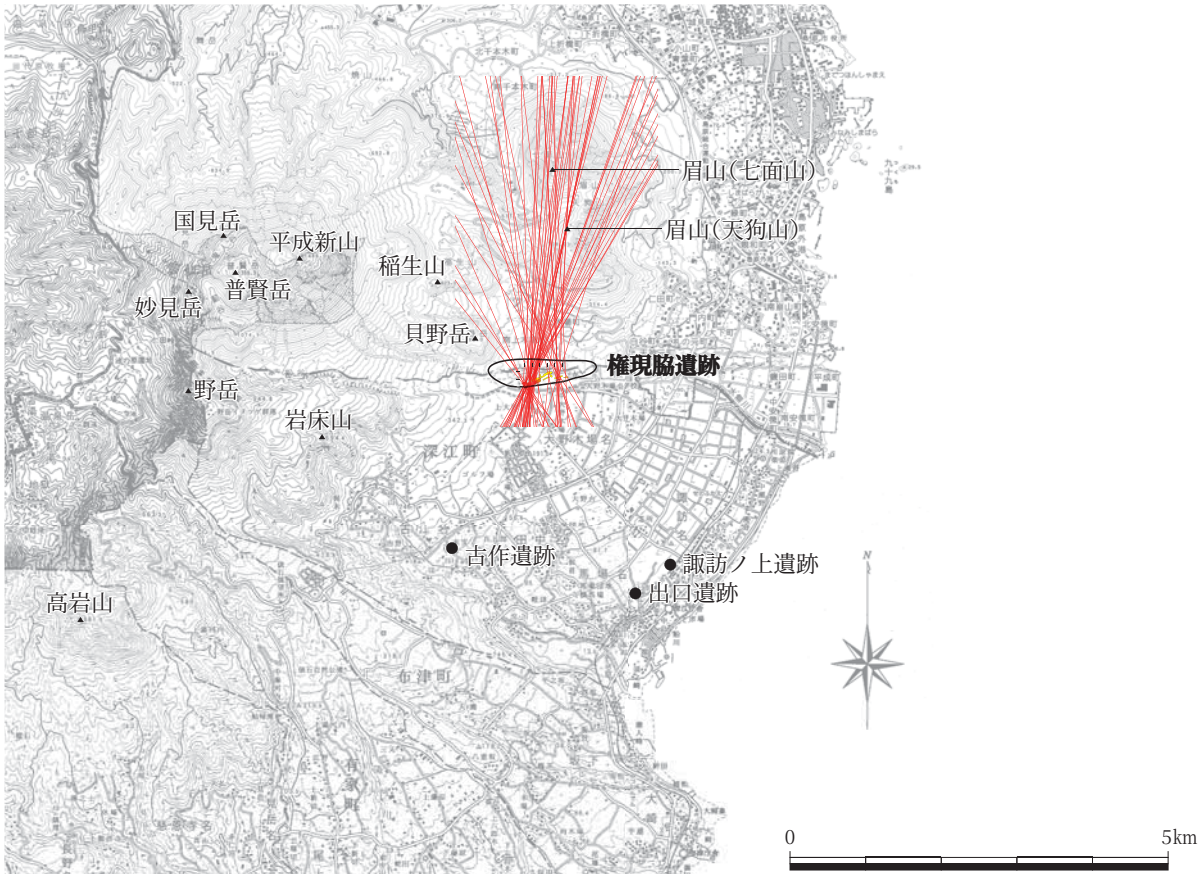
権現脇遺跡最大の倒木痕（Ｎ区倒木痕２）

①土壌に樹木が生えている。　②権現脇火砕サージの爆風で樹木が倒れる。　③樹木の根穴に権現脇火砕サージが堆積する。　④その後，土壌の堆積が進み，現在にいたる。

第44図　倒木痕形成の過程



第45図　倒木痕の分布と倒木方向（S＝1/6,000）



第46図　火砕サージの発生源推定（S＝1/100,000）

第4表　倒木痕一覧

番号	調査区	検出面	倒木痕番号	倒木方向	南北長さ(m)	東西長さ(m)	深さ(m)	備考
1	A区	IV層上面	A－IV－1	－	－	－	－	
2			A－IV－2	－	－	－	－	
3			A－IV－3	(S－48°－W)	－	－	－	
4			A－IV－4	－	－	－	－	
5			A－IV－5	(S－10°－W)	－	－	－	
6			A－IV－6	(S－48°－W)	－	－	－	
7			A－IV－7	(S－49°－W)	－	－	－	
8			A－IV－8	(S－29°－W)	－	－	－	
9			A－IV－9	(S－23°－E)	－	－	－	
10			A－IV－10	(S－7°－E)	－	－	－	
11	B区	IV層上面	B－IV－1	－	－	－	－	
12			B－IV－2	－	－	－	－	
13			B－IV－3	－	－	－	－	
14	C区	IV層上面	C－IV－1	－	－	－	－	
15			C－IV－2	－	－	－	－	
16			C－IV－3	－	－	－	－	
17	J区	IV層上面	J－IV－1	S－12°－E	4.10	4.42	0.67	
18			J－IV－2	S－7°－W	4.18	3.26	0.60	
19	K区	IV層上面	K－IV－1	S－18.5°－W	3.10	2.80	0.75	
20			K－IV－2	S－12°－W	1.64	2.24	0.55	
21			K－IV－3	S－19.5°－W	3.26	3.80	0.85	
22			K－IV－4	S－7°－W	3.78	4.66	1.05	
23			K－IV－5	S－12°－W	2.84	2.96	0.60	
24			K－IV－6	S－6°－W	2.44＋α	2.10	0.70	
25			K－IV－7	－	2.00	2.84＋α	－	
26			K－IV－8	S－11°－W	1.90＋α	6.24	0.75	
27			K－IV－9	S－11.5°－W	2.86	4.44	0.80	
28			K－IV－10	S－23°－W	3.64	3.70	1.15	
29			K－IV－11	S－10°－W	3.20	3.06	0.60	
30			K－IV－12	－	－2.26	－4.44	－	
31			K－IV－13	S－2°－W	3.30	3.60	－	
32			K－IV－14	S－5°－E	3.48	2.74	0.80	
33			K－IV－15	S－15°－E	3.02＋α	4.04＋α	0.60	
34			K－IV－16	S－8°－W	5.38	5.24＋α	1.00	
35	L区	IV層上面	L－IV－1	S－2°－E	－	－	0.37	
36			L－IV－2	S－8°－W	1.94	2.08	0.45	
37			L－IV－3	S－8°－E	3.74	4.34	1.14	
38			L－IV－4	S－6°－W	1.66	2.04	0.30	
39			L－IV－5	S－2.5°－W	1.60	1.52＋α	0.38	
40			L－IV－6	S－7°－W	3.20	3.70	1.12	
41			L－IV－7	S－19°－W	4.10	4.34	1.07	
42			L－IV－8	S－8.5°－W	2.08	1.82	0.51	
43			L－IV－9	S－26°－W	4.42	3.96	0.78	
44			L－IV－10	S－17°－E	4.46	5.48	0.95	
45			L－IV－11	S－1°－W	1.88＋α	1.38＋α	0.6	
46			L－IV－12	S－30.5°－W	1.68	1.48＋α	0.26	
47			L－IV－13	S－23.5°－W	4.90	5.84＋α	0.90	
48			L－IV－14	S－13°－W	2.60	2.62	0.82	
49			L－IV－15	S－30°－W	2.80	2.30＋α	0.69	
50			L－IV－16	S－5.5°－E	2.96＋α	1.72＋α	0.70	
51			L－IV－17	S－3.5°－W	3.80＋α	6.02＋α	1.00	
52			L－IV－18	S－27°－W	1.86＋α	1.46＋α	0.33	
53	M区	IV層上面	M－IV－1	－	－	－	－	
54			M－IV－2	S－39°－E	2.12＋α	2.38	0.35	
55			M－IV－3	S－3°－W	3.60	3.50	0.93	
56			M－IV－4	S－24°－E	2.48	2.6	0.42	
57			M－IV－5	S－31°－E	2.92	2.74	0.49	
58			M－IV－6	S－23°－W	4.52	5.54	1.05	
59			M－IV－7	S－7.5°－W	4.58	4.56	0.92	
60			M－IV－8	S－30°－W	2.84	4.30	0.70	
61			M－IV－9	S－26°－W	3.66	3.70	1.16	
62			M－IV－10	S－35°－E	3.08	2.36＋α	0.48	
63			M－IV－11	S－14.5°－W	3.48	3.60	0.62	
64			M－IV－12	S－20°－W	3.06	3.20	0.68	
65			M－IV－13	S－4.5°－W	2.84	3.32	0.44	
66	N区	IV層上面	N－IV－1	S－3°－E	4.76	4.70	0.97	AMS 年代測定試料検出
67			N－IV－2	S－28°－E	6.60	7.90	1.49	
68	O区	IV層上面	O－IV－1	S－6.5°－E	3.84	5.68	0.84	
69			O－IV－2	S－1°－E	3.14	3.88	0.87	
70			O－IV－3	S－21.5°－E	2.36	2.66	0.63	
71			O－IV－4	S－17.5°－W	2.62	2.62	0.16	
72			O－IV－5	S－3°－E	3.94	4.74	0.87	
73			O－IV－6	S－3°－E	3.42	4.64	0.94	
74			O－IV－7	S－3°－W	3.44	3.00	0.74	
75			O－IV－8	S－20.5°－E	4.64	4.92	0.93	
76			O－IV－9	S－2.5°－W	1.98	1.88	0.21	
77			O－IV－10	S－12°－E	1.28	1.34	0.42	
78			O－IV－11	S－33°－E	2.76	3.78	1.51	

5　遺物

（1）土器

縄文時代早期，縄文時代後期～突帯文期，弥生時代中期～古墳時代のおおよそ3時期に大別される。また，今回図化は行っていないが，若干の中世期の輸入陶磁器や土師皿等がみられた。

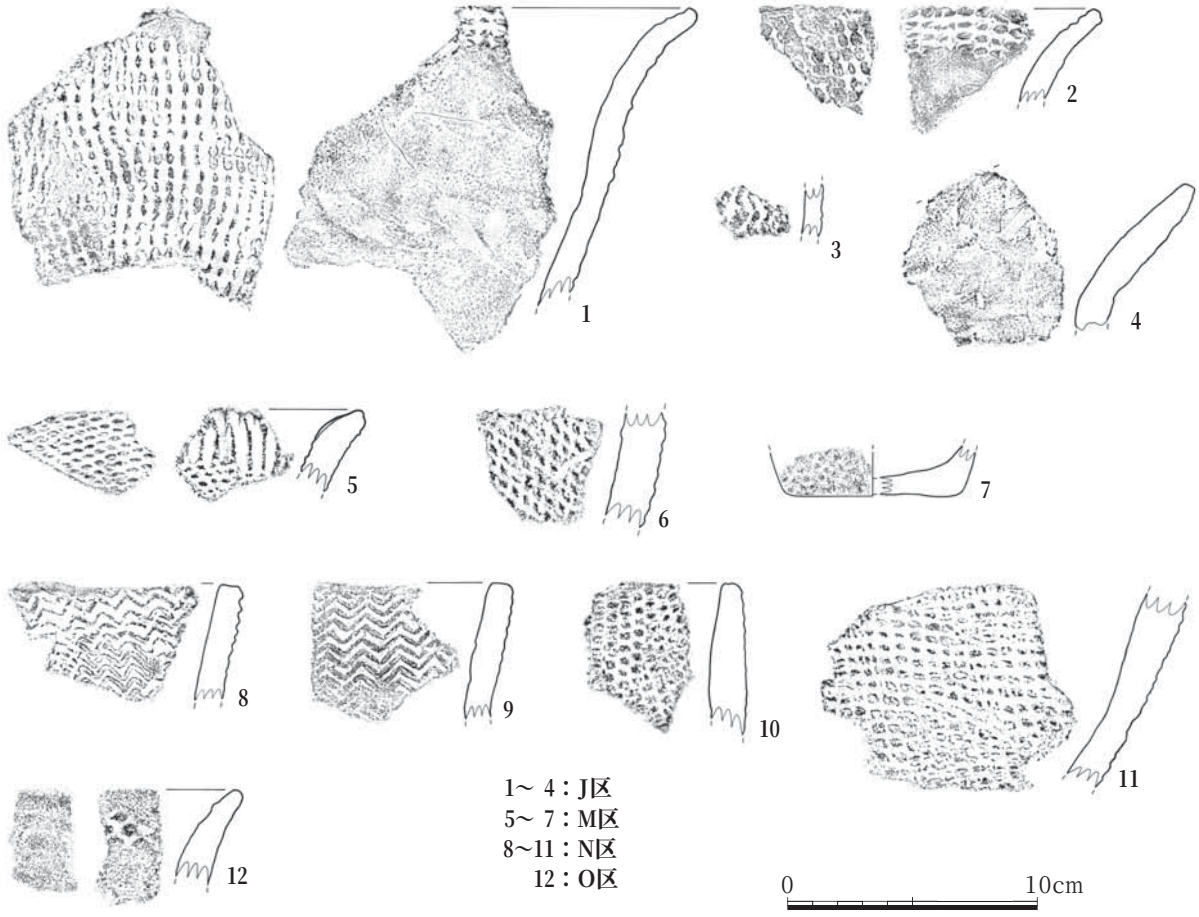
縄文時代早期の土器（第47図）

1～3，**5～12**は押型文土器，**4**は塞ノ神式土器である。

1・2は強く外反する口縁部をもつ資料で，外面には縦方向の楕円文，口縁部内面には横方向の楕円文を施す。**3**は縦方向の緩い山形文がみられる。**4**は胴部から屈曲，外傾する口縁部で，波状となるものであろう。外面には煤の付着が認められる。

5は内外面に横方向に粒の細かい楕円文が施され，内面には原体条痕も認められる。**6**は厚手の器壁で，外面に楕円文が施される。**7**は平底となる底部で，外面に楕円文が認められる。

8～10は直立する口縁部で，**8・9**は横方向の山形文が，**10**は楕円文が施される。**8・9**の口唇部は上面がナデによって平坦である。**11**は胴部下半の資料で，楕円文が施される。**12**は外反する口縁部で，内面に粒のやや大きい楕円文が観察される。



第47図　縄文時代早期の土器（S＝1/3）

縄文時代後期～突帯文期の土器

今回の発掘調査の出土資料のうち，主体となる時期の土器類である。主にⅢｂ上層，Ⅲｂ下層からの出土である。深鉢形土器，浅鉢形土器，高坏形土器，壷形土器，土製品に分類した。さらに深鉢形土器は，深鉢Ａ～深鉢Ｄ類に細分し，その他のものを深鉢Ｆ類として一括した。また，甕形土器として呼びならわすことの多い突帯文土器についてもここでは深鉢Ｅ類とした。深鉢形土器の底部資料については，全体的な器形の判断がつかないものが多くあるため深鉢底部Ａ類～深鉢底部Ｅ類に別途分類した。浅鉢形土器については，浅鉢Ａ類～浅鉢Ｎ類に細分し，その他のものを浅鉢Ｏ類として一括した。

深鉢形土器

深鉢Ａ類（第48図～第51図）

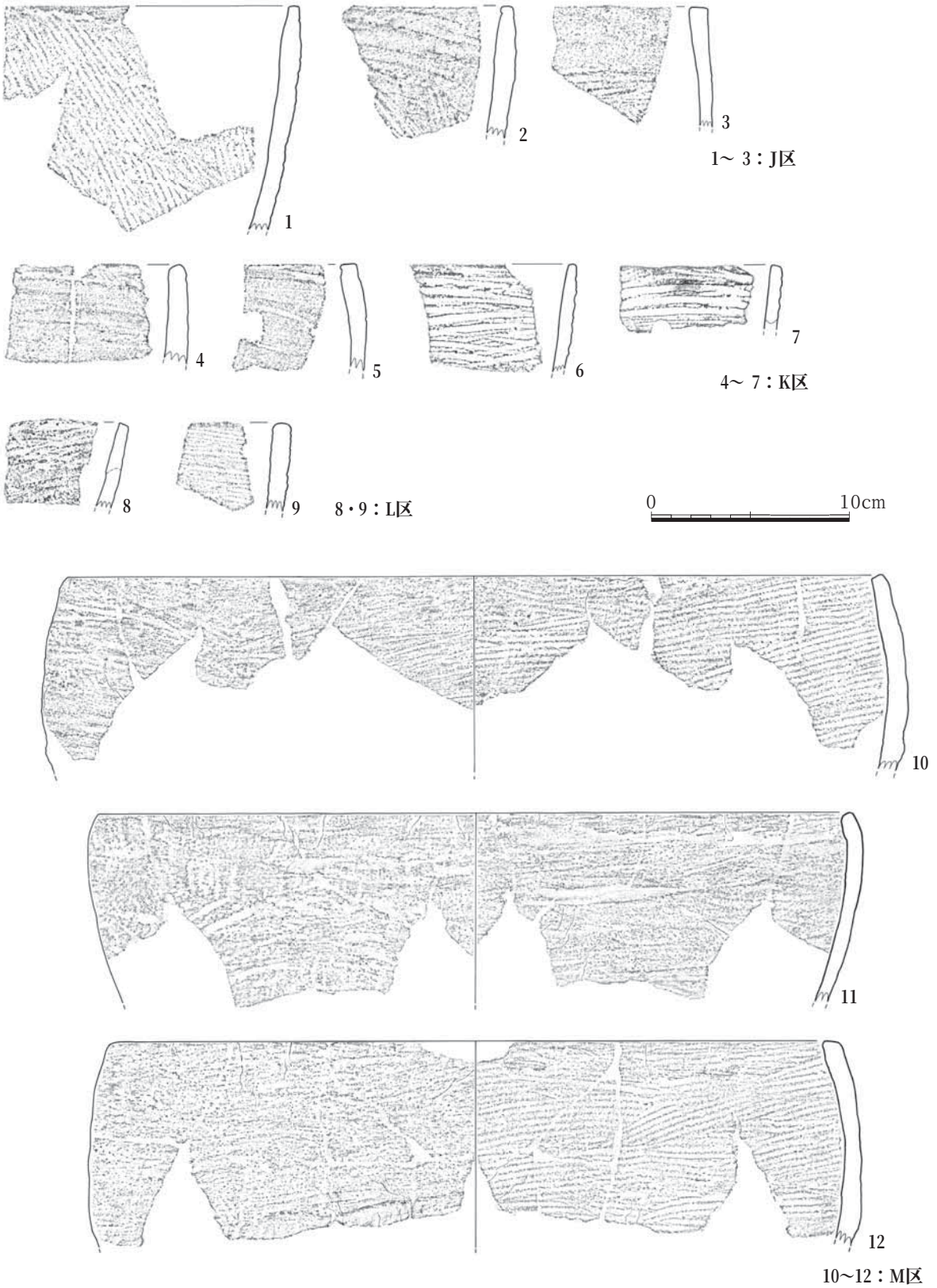
底部から立ち上がった胴部が屈曲することなく口縁部へと至り，砲弾形をなすものである。口縁部は胴部からそのまま外へ開いて立ち上がるもの，内湾するものなどがみられる。また，口唇部に突起をもつものもみられる。

1は外面に斜方向の貝殻条痕調整を行っており，炭化物の付着がある。**3**，**5**は口唇部上面を平坦に整える。**6**・**7**は外面に横方向の貝殻条痕調整を施す。**7**は焼成後に内外両面から穿孔を行っている。**8**は薄手の器壁で，口唇部上面を平坦に整える。

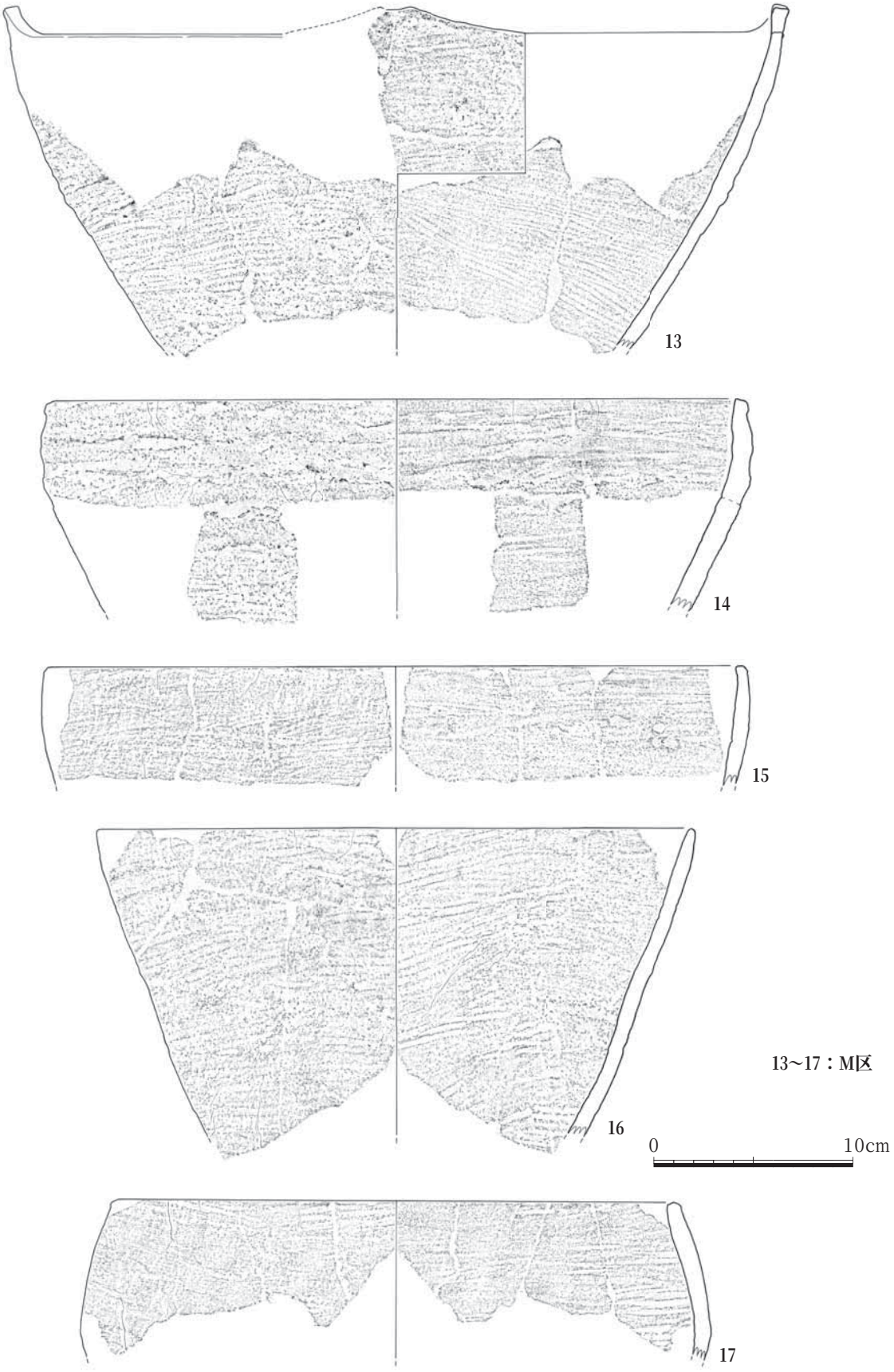
10の口縁部は緩く内湾し，内面には貝殻条痕調整を残すが，外面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。復元口径は40.8cmである。**11**も内湾する口縁部である。内外面ともに横方向の擦過調整を行っている。復元口径38.0cmである。**12**は内傾する口縁部で，内面には貝殻条痕調整ののちナデ調整を，外面には擦過調整ののちナデ調整を行う。復元口径36.8cmである。

13は胴部から口縁部へと大きく開いて立ち上がり，口縁部は浅い波状をなす。内外面ともに貝殻条痕調整ののちナデ調整を行う。復元口径39.3cmである。**14**は胴部外面に貝殻条痕調整を残すが，直立する口縁部の外面は粗い横方向の指ナデが行われている。復元口径は35.0cmを測る。**15**は内面がナデ調整，外面は擦過調整であり，口縁部上面は平坦になでて整える。復元口径35.0cmである。**16**は胴部から口縁部まで直線的に外傾する。内外面ともに擦過調整で，外面には炭化物の付着が認められる。復元口径29.8cmである。**17**は内傾する口縁部で，内面には貝殻条痕調整，外面には擦過調整が認められるものの，その後工具によるとみられるナデ調整が施されている。復元口径は27.8cmである。

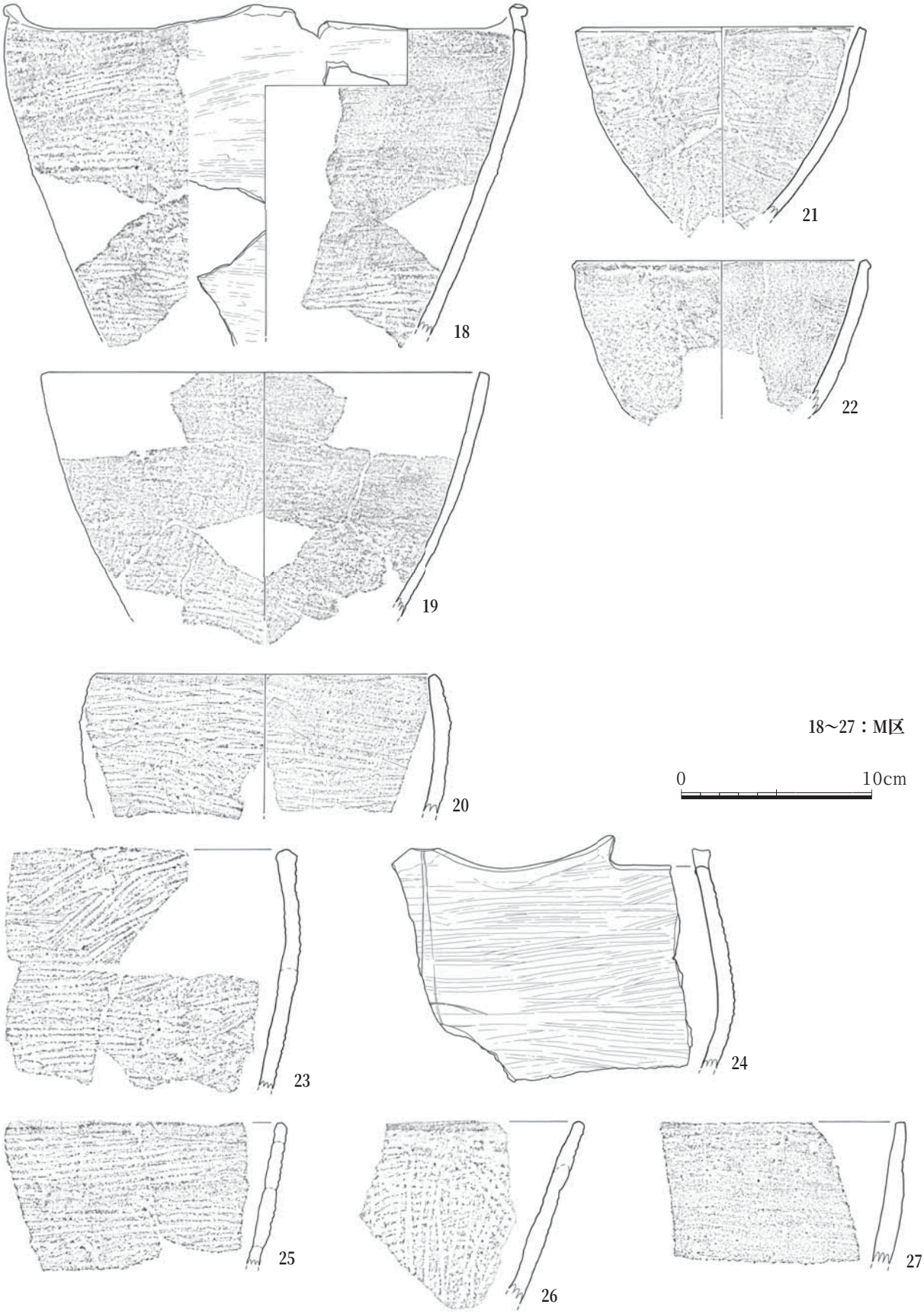
18は口縁部に突起をもつ。内面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を行うが，外面は貝殻条痕調整をそのまま残す。外面には炭化物が付着する。復元口径は23.5cmである。**19**は内外面ともに擦過調整が行われているが，内面上半についてはその後研磨調整を施している。復元口径は17.1cmである。**20**は胴部から口縁部に向かって緩く内湾する。内外面ともに横方向の貝殻条痕調整が行われている。復元口径は14.6cmを測る。**21**・**22**は小型品の資料である。**21**は内外面ともに擦過調整を行い，内面についてはその後ナデ調整を行う。復元口径14.6cmである。**22**の外面には炭化物が付着する。復元口径は15.3cmである。**23**は内外面に貝殻条痕調整が顕著に残る。**24**は内傾する口縁部で，突起がつく。外面は横方向の貝殻条痕調整が施されており，突起から垂下沈線を引く。胴部上位での屈曲を意識している可能性もあり，あるいは深鉢Ｂ類に含めるべきかもしれない。**26**の外面には縦横の貝殻条痕調整が認められ，炭化物の付着がある。**27**の口唇部は上面を平坦に整える。



第48図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類①〕（S＝1／3）



第49図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類②〕（S＝1/3）



第50図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類③〕（S＝1／3）

28は口唇部を平坦に整える。粘土紐の積み上げが明瞭である。**29**は外面に横方向の貝殻条痕調整が施されており，２カ所の焼成後の穿孔がある。**31**は薄手の器壁で内外面ともに擦過調整を行っている。**32**は口唇部上面を平坦に整える。**38**は口唇部上面からのナデ調整で外側への粘土のはみ出しがみられる。**39**は薄手の器壁で，口唇部にリボン状突起をもつ。外面には炭化物の付着が認められる。**46**は口唇部をなでて丸く整える。**48**の外面には研磨調整が施されている。**50**は焼成後の穿孔をもつ。復元口径は30.0cm を測る。**51**は一応深鉢Ａ類としたが，深鉢Ｂ類の屈曲部から上方が欠損し，そのまま屈曲部を口縁部として使用した可能性が高い。内面は貝殻条痕調整ののちナデ調整が，外面は貝殻条痕調整が行われている。焼成後の穿孔が認められ，外面には口縁部付近を中心に炭化物が付着し，内面にもほんのわずかではあるが炭化物の付着が認められる。復元口径30.0cm を測る。**52**の外面には炭化物が付着する。

深鉢Ｂ類（第52図～第59図）

胴部の上半で屈曲部をもつものである。口縁部は，屈曲部から内傾するもの，外傾するもの，やや外反するものなどがあり，口唇部に突起を付すものもみられる。

1 は小型品で，口縁部は外傾する。内外面ともに貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。外面には口縁部付近に炭化物が厚く付着しており，あるいは浅鉢Ｌ類の範疇に含まれるかもしれない。復元口径18.0cm，復元胴屈曲部径15.3cm を測る。 **2** はわずかに外反して直立する。 **3** は直立する口縁部で，外面屈曲部より上位に炭化物が付着する。 **4** は内面がナデ調整，外面が貝殻条痕調整ののち丁寧なナデ調整で，色調や調整の具合が深鉢Ｃ類の大部分のそれと非常に類似する。

5 は屈曲部から強く外反して口縁部が立ち上がり，口唇部は平坦に整えている。 **6** の外面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。 **7** は外反して立ち上がる口縁部である。 **8** の外面には炭化物が付着する。 **9**～**12**は口唇部上面をなでて平坦に整える。

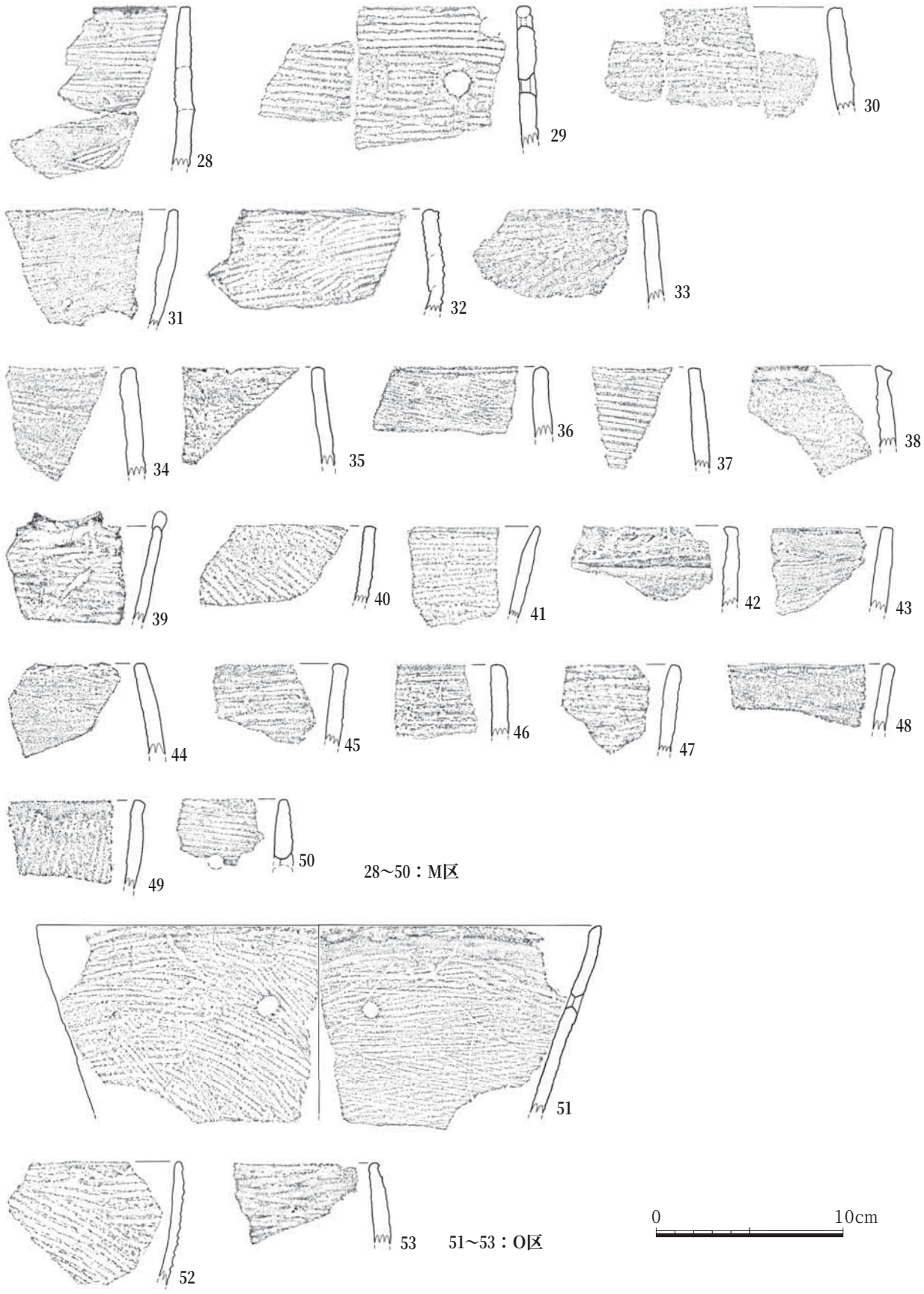
13～**17**は胴屈曲部の資料である。**17**の外面には屈曲部より上位に炭化物が付着する。

18は外開きに立ち上がる口縁部で，外面には炭化物が付着する。**19**は口唇部を平坦に整える。

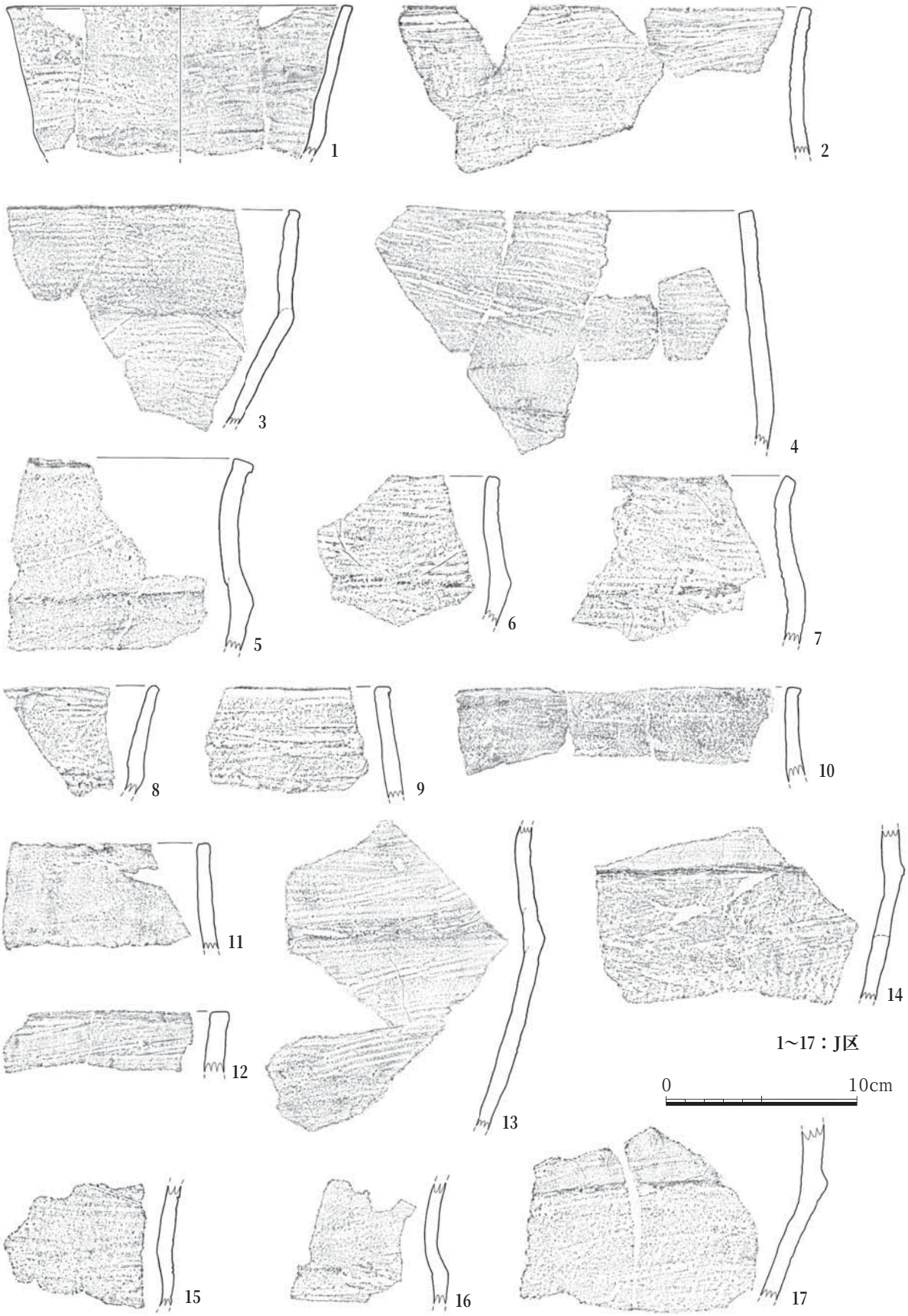
21は内外面ともに横方向の貝殻条痕調整が施されており，口唇部上面は平坦に整える。**23**は強めに外反する口縁部である。**24**の屈曲は弱いが，外面に肥厚部を作っており，屈曲を意識して製作されたものと思われる。口唇部にはヒレ状の突起をもつが，先端は欠損している。外面には黒斑がみられる。

27は大型品で，胴部から屈曲した口縁部はほぼ直立する。内面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を行い，外面は貝殻条痕調整ののち屈曲部より上位のみ丁寧になで消している。復元口径51.3cm，復元胴屈曲部径52.0cm を測る。**28**の口縁部は内傾し，口唇部は平坦に整える。復元口径41.0cm，復元胴屈曲部径42.4cm である。**29**の口縁部はやや内傾する。内外面ともに横方向の貝殻条痕調整を行うが，外面はその後擦過調整を施す。復元口径38.6cm，復元胴部最大径41.8cm を測る。**30**の口縁部は外傾し，口唇部は上面をなでることにより外端部に粘土のはみ出しがある。外面調整は，屈曲部より下位は斜方向の貝殻条痕調整が施されるが，屈曲部より上位はナデ調整が行われている。外面には炭化物が付着する。復元口径39.2cm，復元胴屈曲部径36.5cm を測る。**31**の口縁部は直立し，口唇部の上面は平坦に整える。内外面ともに横方向の擦過調整が行われている。外面の口縁部付近には炭化物が付着する。復元口径28.6cm，復元胴屈曲部径28.8cm を測る。

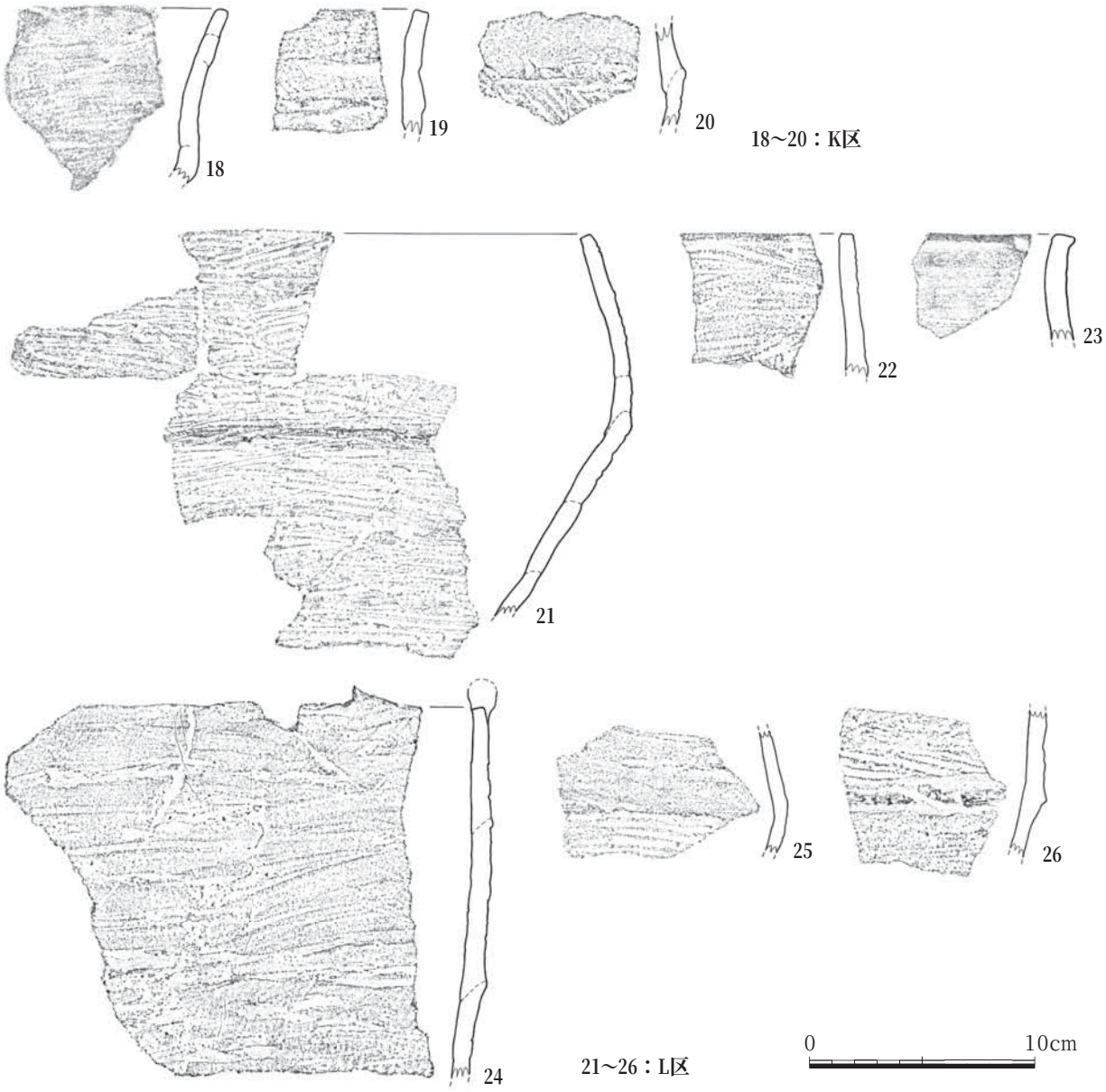
32は屈曲部よりほぼ直立する口縁部の幅はやや短い印象である。内外面ともに擦過調整を行うが，内面と外面の屈曲より上位はその後ナデ調整を行う。口縁部外面にわずかに炭化物の付着が認められ



第51図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類④〕（S＝1／3）



第52図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類①〕（Ｓ＝１/３）

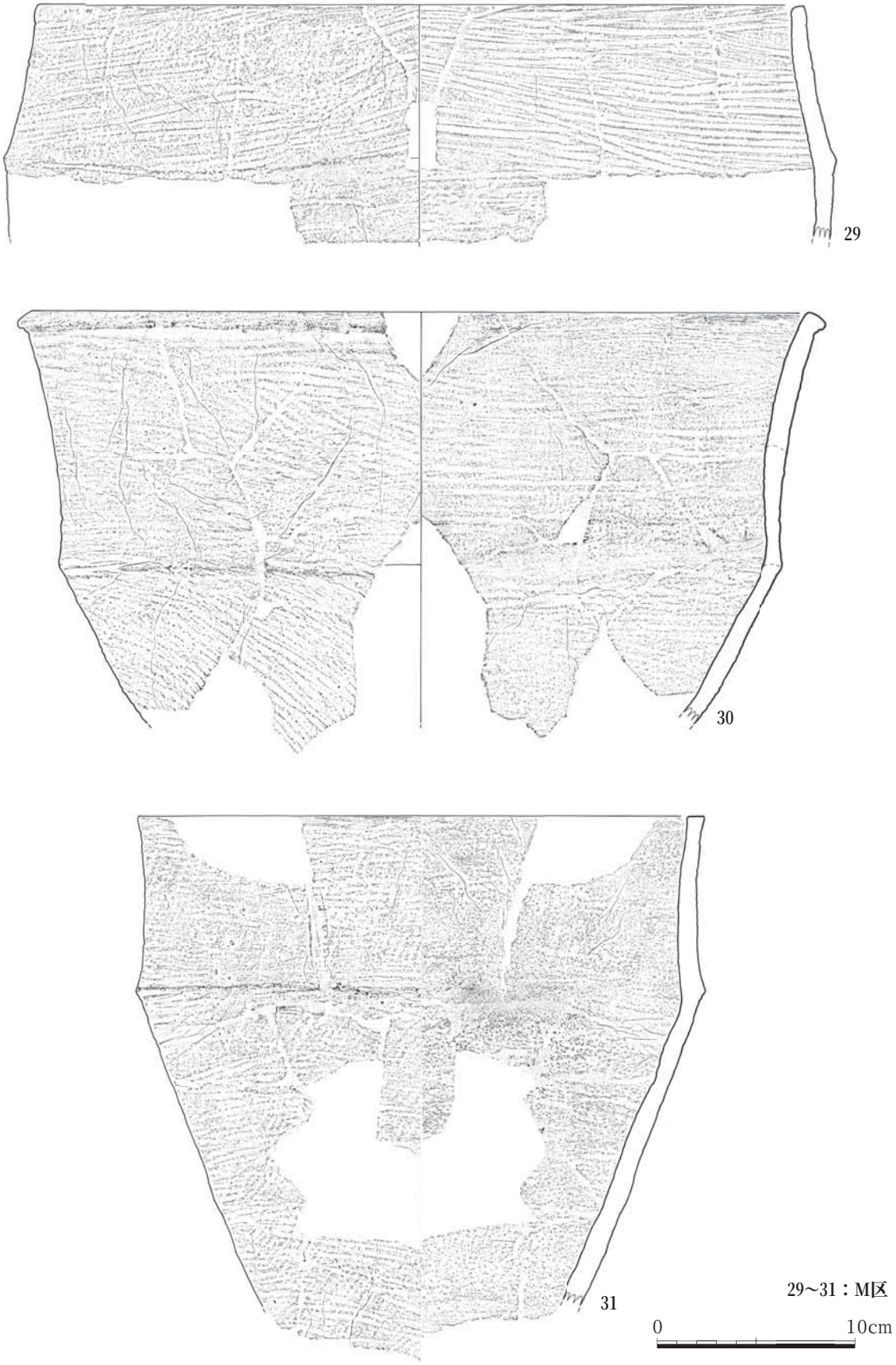


第53図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類②〕（Ｓ＝１/３）

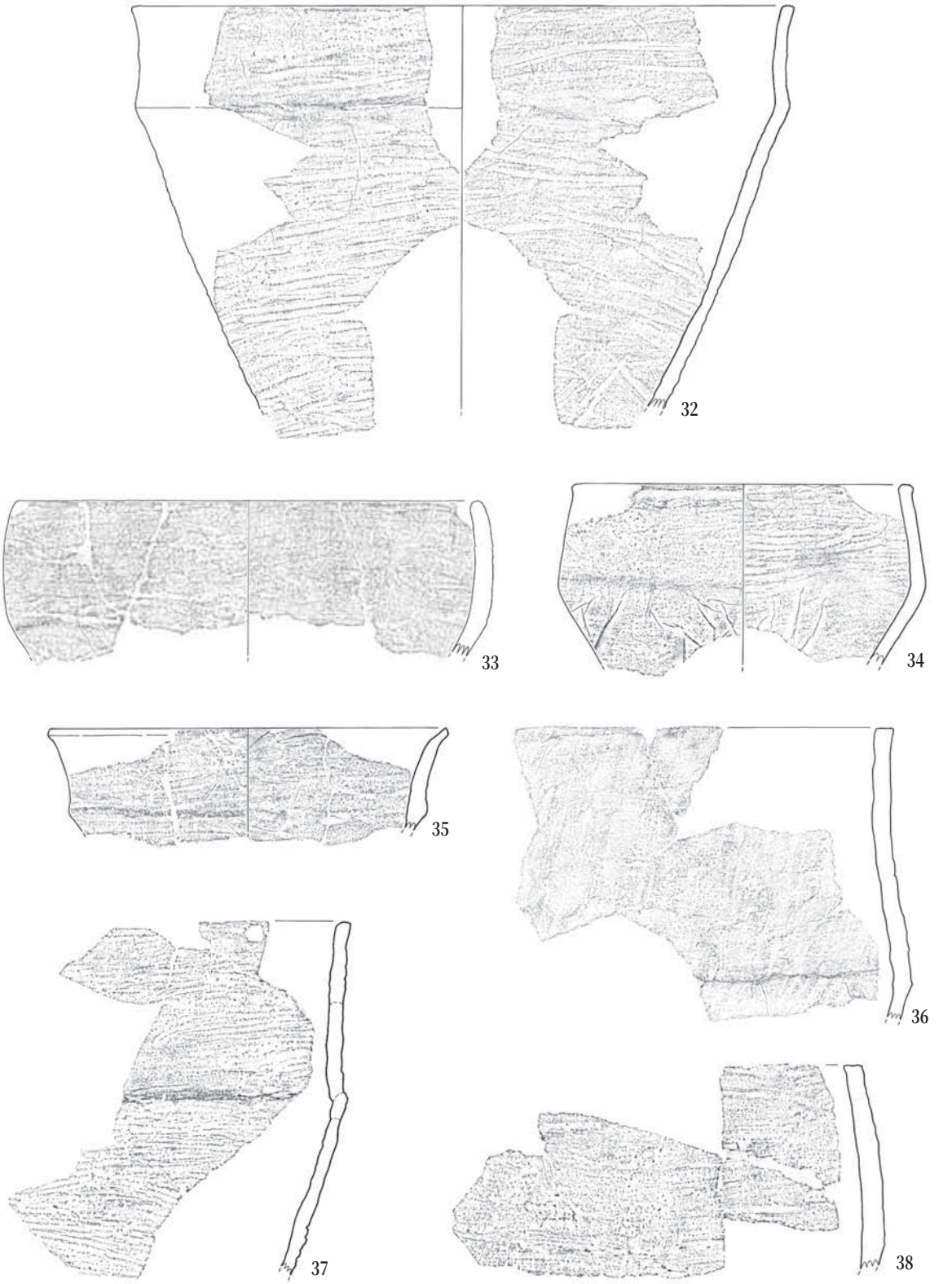
る。復元口径32.4cm，復元胴屈曲部径32.1cm を測る。**33**は復元口径が23.3cm，復元胴屈曲部径が24.5cm である。**34**は小型品で，内外面ともに横方向の貝殻条痕調整ののちにナデ調整を行う。外面には炭化物が付着する。復元口径16.5cm，復元胴屈曲部径18.0cm である。**35**の口縁部は屈曲部から大きく外反する。復元口径19.5cm，復元胴屈曲部径17.5cm である。**36**は内外面ともに擦過調整を行い，口唇部は平坦に整える。外面屈曲部付近に炭化物が付着する。**37**の外面には横方向の貝殻条痕調整が行われる。**38**は口唇部を平坦になでる。胴部の屈曲は不明瞭であるが，屈曲を意識して外面に擦過調整を行っている。

39の屈曲は不明瞭であるが，一応深鉢Ｂ類とした。**40**は比較的薄手の器壁で，内外面ともに貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。**41～45**の口唇部上面は平坦に整える。**44**，**46**，**50**はわずかに外反する口縁部である。**48**は突起をもつ資料である。**51**の外面には炭化物が付着する。**53**は口唇部の上方からのナデ調整により外側へ張り出しをもつ。

第54図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類③〕（Ｓ＝１/３）



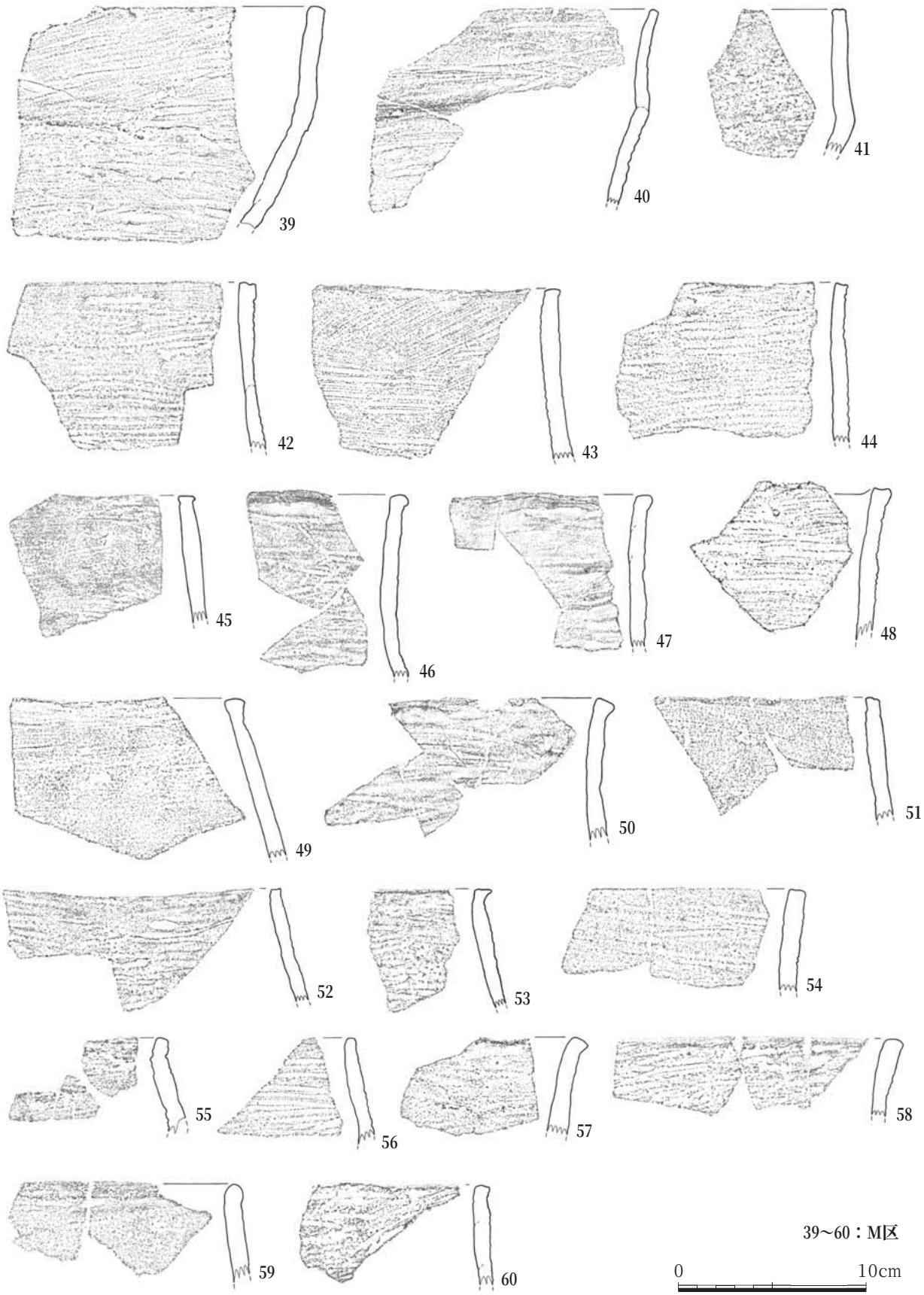
第55図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類④〕（Ｓ＝１/３）



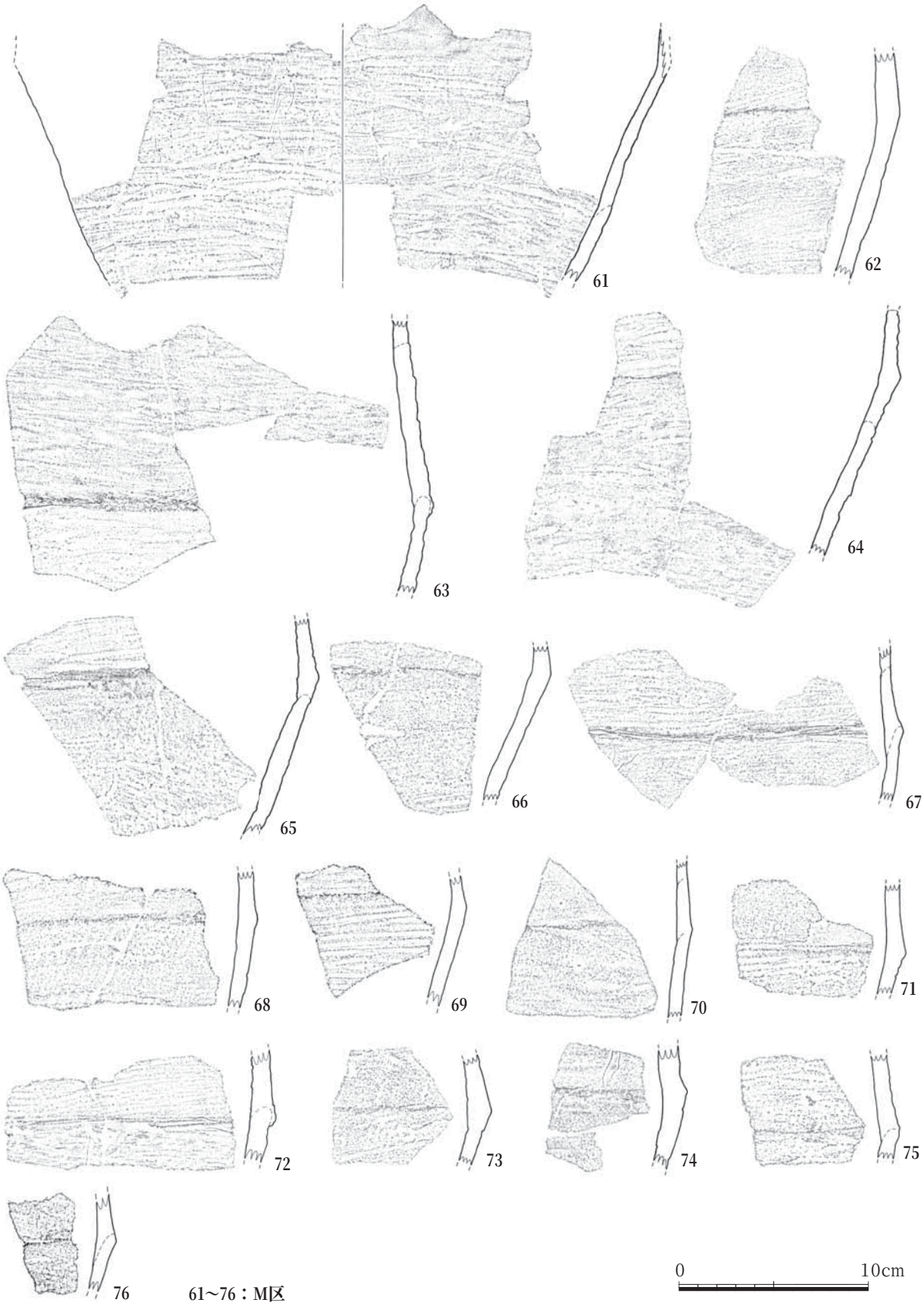
32～38：M区

0　10cm

第56図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑤〕（Ｓ＝１/３）



第57図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑥〕（Ｓ＝１／３）

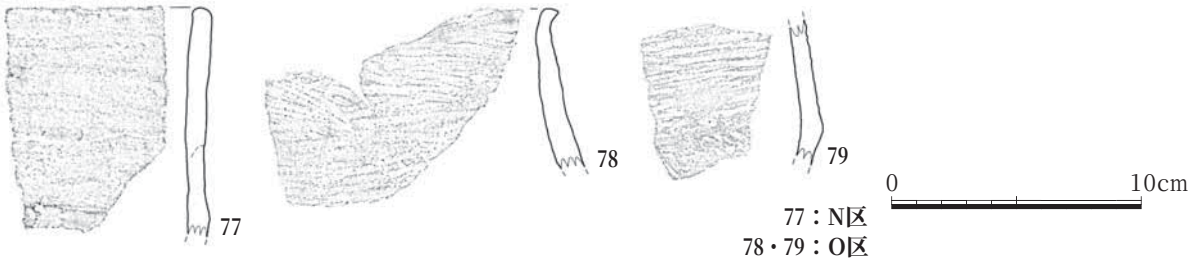


61～76：M区

第58図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑦〕（Ｓ＝１／３）

61は屈曲部より下位の胴部の資料である。内面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を施すが，外面には貝殻条痕調整をそのまま残す。外面には炭化物が付着する。**63**は，内面は丁寧なナデ調整を施し，外面は貝殻条痕調整ののち屈曲部より上位のみそれをなで消す。**65**の外面には炭化物の付着が顕著である。**70**は内外面ともに丁寧にナデ調整を行っている。

77はほぼ直立する口縁部で，外面に炭化物がわずかに付着する。**78**は口唇部が外側へ張り出す。



第59図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑧〕（Ｓ＝１/３）

深鉢Ｃ類（第60図～第75図）

胴部で屈曲し，内傾する頸部は上位で強く外反し，その上に文様帯となる口縁部がつく資料である。口縁部の文様帯には多くが平行沈線を引く。口縁部文様帯の幅が狭いものほど沈線の本数は少なく，内傾もしくは直立するものが多い。一方，口縁部文様帯の幅の広いものほど沈線の本数は多く，外傾するものが多い傾向にある。また，幅の狭い文様帯に凹線を引くものも若干ではあるが認められ，深鉢Ｃ類としては古相を示すものといえる。器面調整の面からは，多くのものが外面に一時調整として貝殻条痕調整を用いており，その後丁寧なナデ調整や研磨調整を施す。内面については，口縁部のみに丁寧なナデ調整もしくは研磨調整するものが多くみられる。外面の色調としては，赤褐色系を呈するものが多くみられる傾向にある。

口縁部文様帯における沈線もしくは凹線の本数は以下のとおりである。

１～７，70～75，181～184，209～218，428～431は２条の沈線もしくは凹線を引くものである。**８～14，76～104，185～192，219～241，432**は３条の沈線を引くものである。**15～29，105～152，193～198，242～326，433・434**は４条の沈線を引くものである。**30～39，153～159，199・200，327～360**は５条の沈線を引くものである。**40・41，160・161，361・362**は６条の沈線を引くものである。**42～60，162～166，201・202，363～396**は，口縁部文様帯をもつが沈線は引かないものである。

１は内傾する頸部が上部で強く外反し，わずかに外傾する短い口縁部がつく。口縁部には２条の沈線を引き，口唇部には凹点を施す。頸部外面には横方向の貝殻条痕調整ののち研磨調整を行っている。復元口径は37.6cm を測る。**２**はわずかに内傾する頸部の上部を外反させ，直立する口縁部をつける。口縁部は短く，直立している。復元口径32.5cm を測る。**３**は内傾する口縁部で，２条の凹線を引く。**５**は強く外反する頸部から口縁部は内傾する。口縁部内面には段を設ける。**７**は内面，頸部と口縁部の境界に稜を設ける。

９は内湾・内傾する口縁部で，非常に薄手の作りである。**15・16**は同一個体の可能性があり，内傾する頸部に幅の広い外傾する口縁部をもつ。内面，頸部と口縁部の境界には稜を作る。**17・18**も内面，頸部と口縁部の境界に稜をもつ。**24**は口唇部上面を平坦に整える。**25，27**は内面，頸部と口縁部の境界に稜をもつ。

30は直立する頸部にやや外傾する幅の広い口縁部がつき，沈線間は間隔が広い。31～34，37の内面には頸部と口縁部の境界に稜を作る。38は浅い波状となる口縁部である。40・41は内面に稜をもつ。

42の外面は貝殻条痕調整ののち粗くナデ調整を行っている。43～48の口縁部には丁寧なナデ調整が行われている。49・50の口縁部外面は擦過調整を行い，50はその後ナデ調整を行っている。51は当初文様帯に４～５条の沈線を引いていたものと思われるが，その後の擦過調整によって不明瞭となっている。53は内外面ともに研磨調整である。58は口唇部上面を平坦に整える。

61は胴屈曲部から頸部にかけての資料で，内外面ともに横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。62は外面に一部厚い炭化物の付着がみられる。64・65，67・68は外面，屈曲部の直上に沈線を１条引く。66は外面，屈曲部直上に段を設ける。

69はわずかに上げ底となる底部をもち，胴部の屈曲は不明瞭である。頸部は直立し，口縁部はわずかに外傾する。口縁部文様帯には２条の凹線を引く。復元口径18.2cm，復元底径7.1cm，復元器高20.8cm を測る。70は内面に稜をもち，外面の沈線は太めである。71は内面に段を設ける。76はやや内傾する頸部から内面にあいまいな稜を作って外傾する口縁部へと至る。復元口径27.3cm を測る。77は外反する頸部に内傾する口縁部がつく。復元口径38.6cm である。77・78は内傾する頸部に外傾する口縁部がつく。内面には稜を作る。80は器面が黄橙色系の色調で，外反する頸部にわずかに内湾，直立した口縁部がつく。

85は薄手の器壁である。86・87は内面に段を設ける。98は内面，頸部と口縁部の境界で稜を作る。外面の沈線はその後のナデ調整でややあいまいとなっている。102・103は内面に稜を作る。

105は内傾する頸部の上部を，内面に稜を作って屈曲させ，口縁部を取り付ける。106・107，109は内面，頸部と口縁部との境界に稜を作る。111は浅い波状口縁となるものと思われ，波頂部に凹点を打つ。118は105同様頸部上部を外側に屈折させ，そこに口縁部を取り付ける。121は波頂部の資料で，外面の沈線は４条中上位３条が途切れる。129の口縁部の沈線はその後のナデ調整によってあいまいになっている。

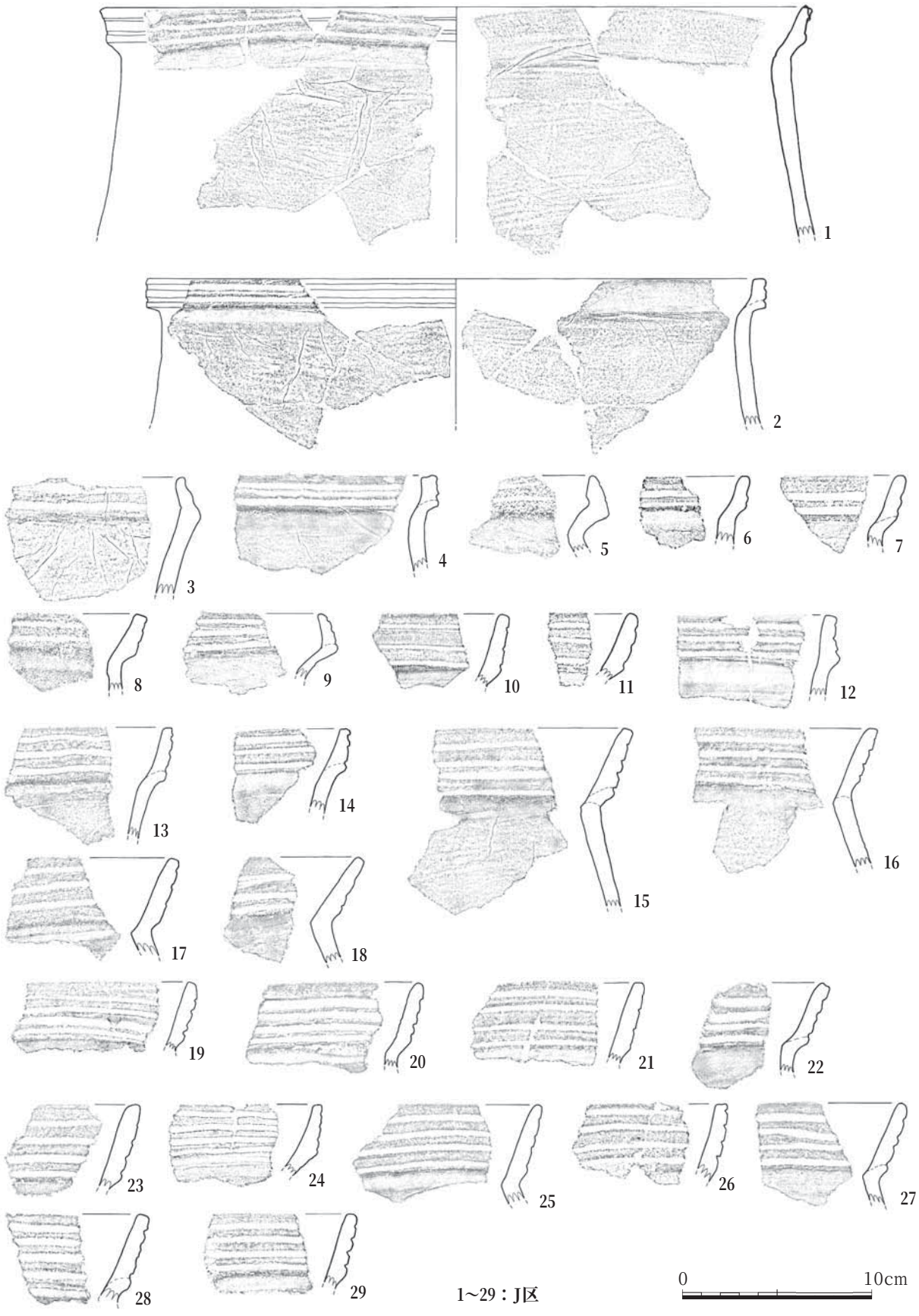
151は内面，頸部と口縁部との境界に稜を作り，口縁部は強く外傾する。口縁部は浅く波状をなし，波頂部では外面の沈線５条中上位３条が途切れる。152は頸部から口縁部へと緩やかに移行するが，153・154は内面で明瞭に稜を作る。161は外面の沈線施文後に研磨調整を行っている。

162～165の口縁部文様帯には，沈線は引かず，ナデ調整を行っている。166の口縁部文様帯には横方向の貝殻条痕調整が施される。

167は屈曲部以下の胴部資料で，内外面ともに貝殻条痕調整ののちにナデ調整が行われる。復元胴屈曲部径は48.8cm を測る。168も屈曲部以下の胴部資料で，外面は貝殻条痕調整ののちにナデ調整が，内面は擦過調整ののちにナデ調整が認められる。復元胴屈曲部径は43.0cm を測る。169は内外面ともに研磨調整が行われており，外面の屈曲部より下位には炭化物の付着がある。復元胴屈曲部径は33.6cm である。170は胴屈曲部から頸部にかけての資料で，頸部は上位で強い外反をみせる。内外面ともに横方向の研磨調整が行われている。172の屈曲はあいまいである。173の外面，屈曲部より上位には縦方向の丁寧な研磨調整が行われる。

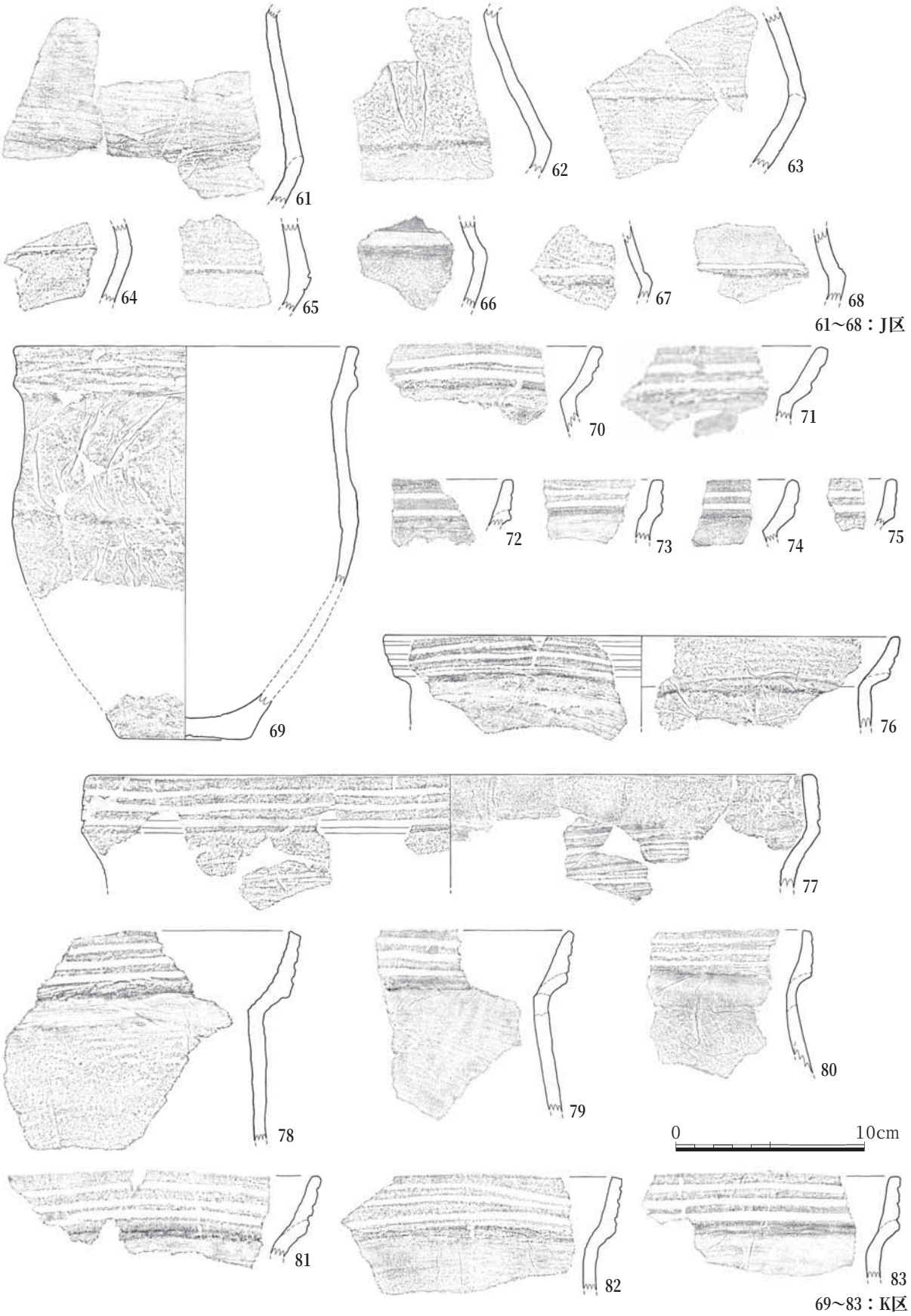
181は内傾する頸部に先細りとなる短い口縁部がつく。全体，ナデ調整によって仕上げられる。182・183の口縁部は幅が狭く，さほど器高をもたずに鉢となるかもしれない。185は口唇部に凹点をもつ。193は内面，頸部と口縁部との境界に稜を作る。

201・202は口縁部文様帯に沈線を引かない。201は器壁に１mm 程度の間隙が多く認められる。202の外面，口縁部には丁寧にナデ調整が行われる。

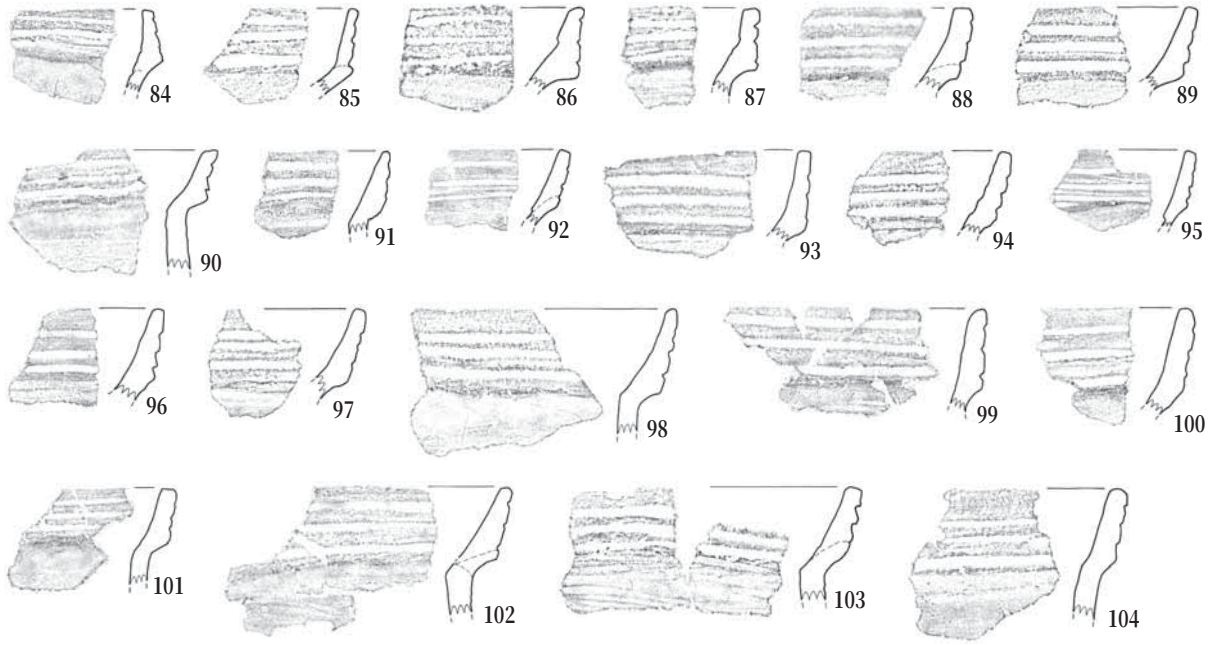


第60図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類①〕（S＝1／3）

第61図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類②〕（S＝1／3）

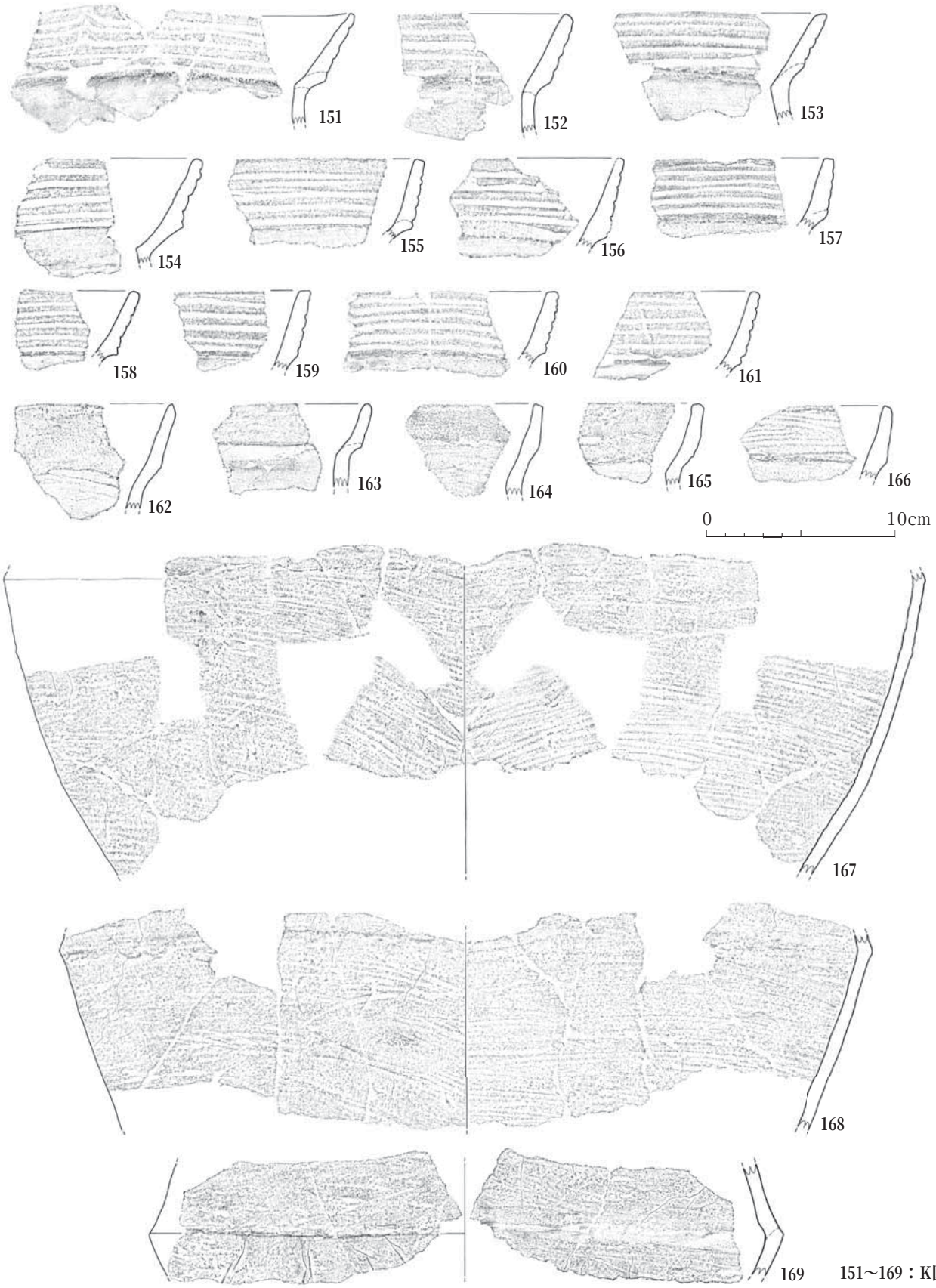


第62図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類③〕（S＝1/3）



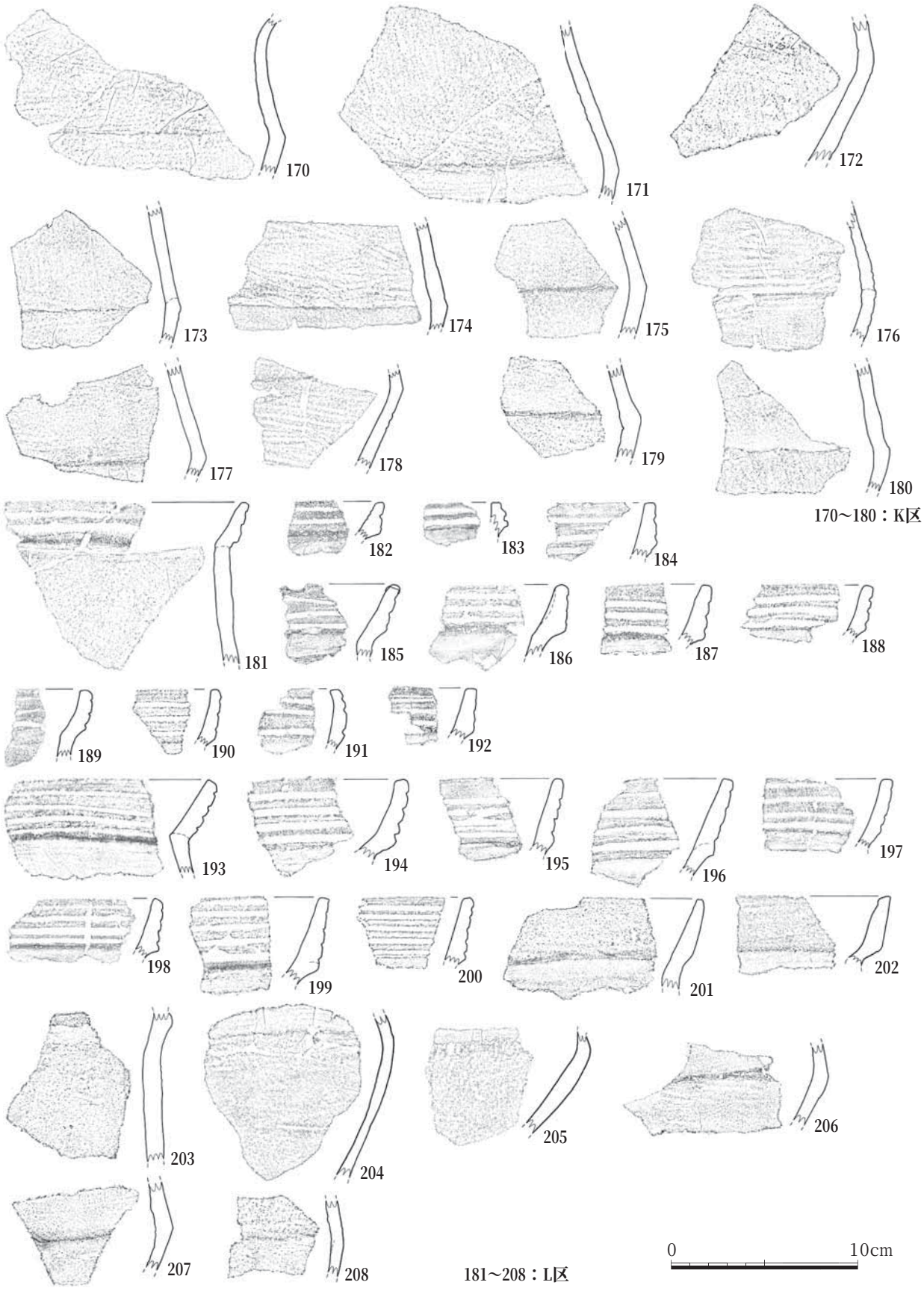
第63図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類④〕（S＝1／3）

第64図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑤〕（S＝1／3）



151～169：K区

第65図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑥〕（S＝1／3）



第66図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑦〕（S＝1／3）

203は頸部の資料である。**204**～**208**は胴屈曲の資料で，いずれも外面は丁寧なナデ調整を行っている。

209は比較的小型の資料で，口縁部は波状をなし２条の沈線を引く。胴部の屈曲はややあいまいである。復元口径16.4cm，復元胴屈曲部径15.2cm を測る。**210**～**212**は幅の狭い口縁部の資料である。**216**の口縁部はやや内傾する。**218**は口縁部外面下端の張り出しが弱い。**219**は波状口縁の波頂部である。内面には稜を作る。**225**，**229**は内面で段を設ける。**230**，**234**は波頂部の資料で，口唇部に凹点をもつ。**240**は内面に段を設ける。

242は器高の低い鉢形の資料である。胴部で強く屈曲し，頸部は内傾する。口縁部は強く外傾する。外面は，貝殻条痕調整ののち屈曲部より下位はナデ調整，屈曲部より上位は粗く研磨調整を行う。復元口径31.3cm を測る。**243**は内傾する頸部に外傾する口縁部がつく。内面には頸部と口縁部との境界で段を作る。復元口径は31.4cm である。**244**は内傾する頸部から内面に稜を作って外傾する口縁部に至る。**245**は短い頸部でさほど器形は高くないものと思われ，外傾する口縁部はわずかに波状となる。波頂部には凹点が施される。**246**は内面にしっかりとした稜をもつ。**247**は非常に幅の広い口縁部である。**248**は波頂部の資料で，凹点をもつ。**250**～**252**は同一個体の可能性が高い。**253**は全体的に粗雑な作りで，口縁部文様帯の沈線も間隔が広く平行しない。**257**の外面には炭化物の付着が認められる。**261**，**263**は内面に段を作る。**265**は波頂部の資料で，凹点をもつ。**268**は内面に段を設ける。**272**はやや薄手の器壁である。**276**は口唇部に凹点をもつ。

279は頸部から口縁部へと強く屈曲する。**291**の口縁部はやや内湾する。

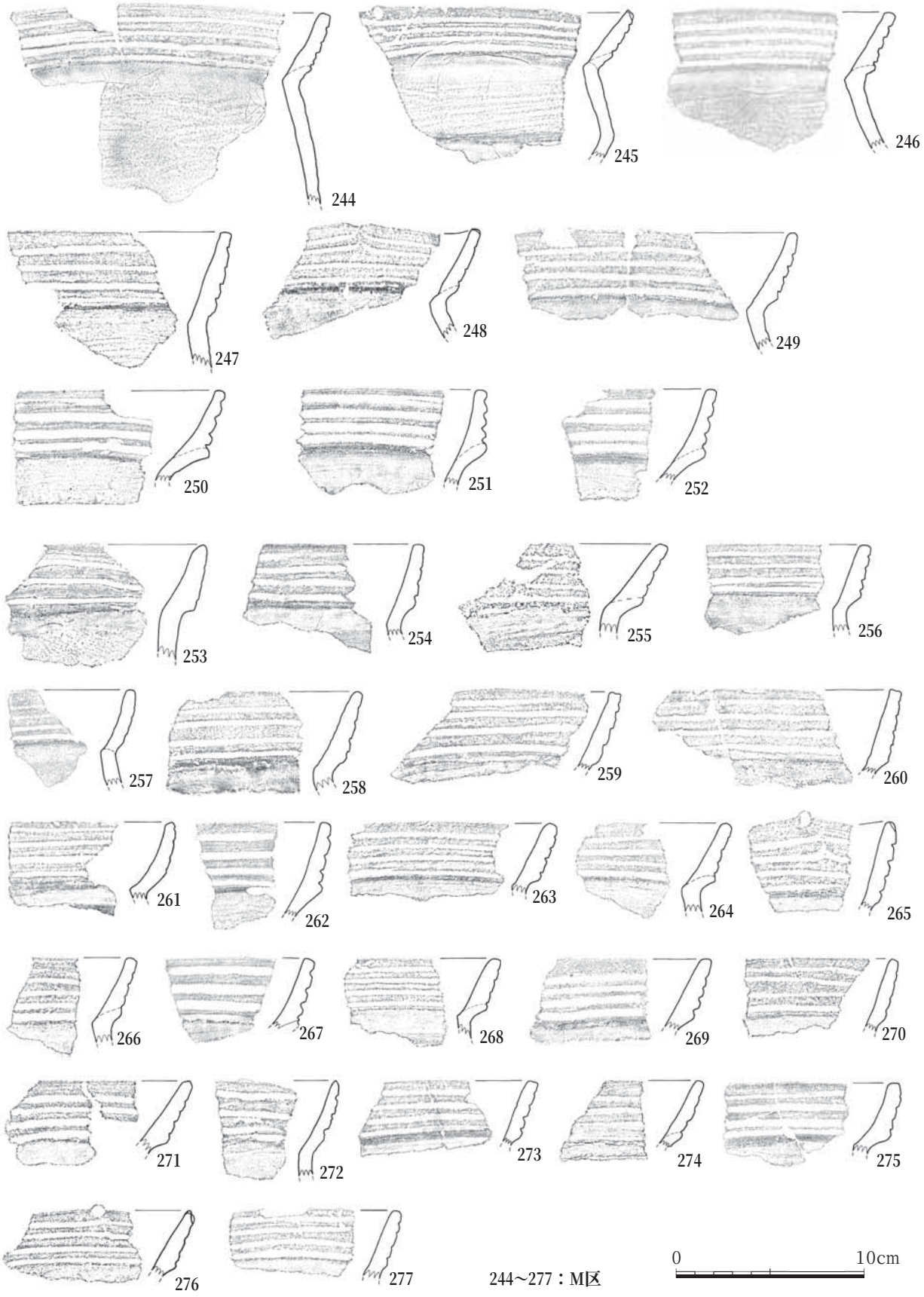
327は内傾する頸部から内面で稜を作って外傾する口縁部に至る。頸部外面には横方向の貝殻条痕調整を行った後ナデ調整を行う。復元口径は38.7cm である。**328**は比較的薄手の器壁である。内傾する頸部は上位で強く外反し，外傾する口縁部がつく。**329**～**332**は内面，頸部と口縁部との境界に稜を作る。

361は内傾する頸部の外面に縦方向の粗い研磨調整が行われている。**362**は外面に炭化物の付着が認められる。

363は膨らみをもった胴部から屈曲して頸部が内傾し，口縁部はほぼ直立する。全体ナデ調整であるが，外面胴屈曲部より上位に部分的に研磨調整が行われる。また，外面胴屈曲部より下位を中心に炭化物の付着が認められる。復元口径32.0cm，復元胴屈曲部径36.3cm である。**364**は直線的に内傾する頸部に強く外傾する口縁部がつく。内外面ともに横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。復元口径36.7cm，復元胴屈曲部径42.0cm を測る。**365**は内傾する頸部が上部で外反し，強く外傾する口縁部がつく。頸部外面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。復元口径36.8cm，復元胴屈曲部径34.7cm である。

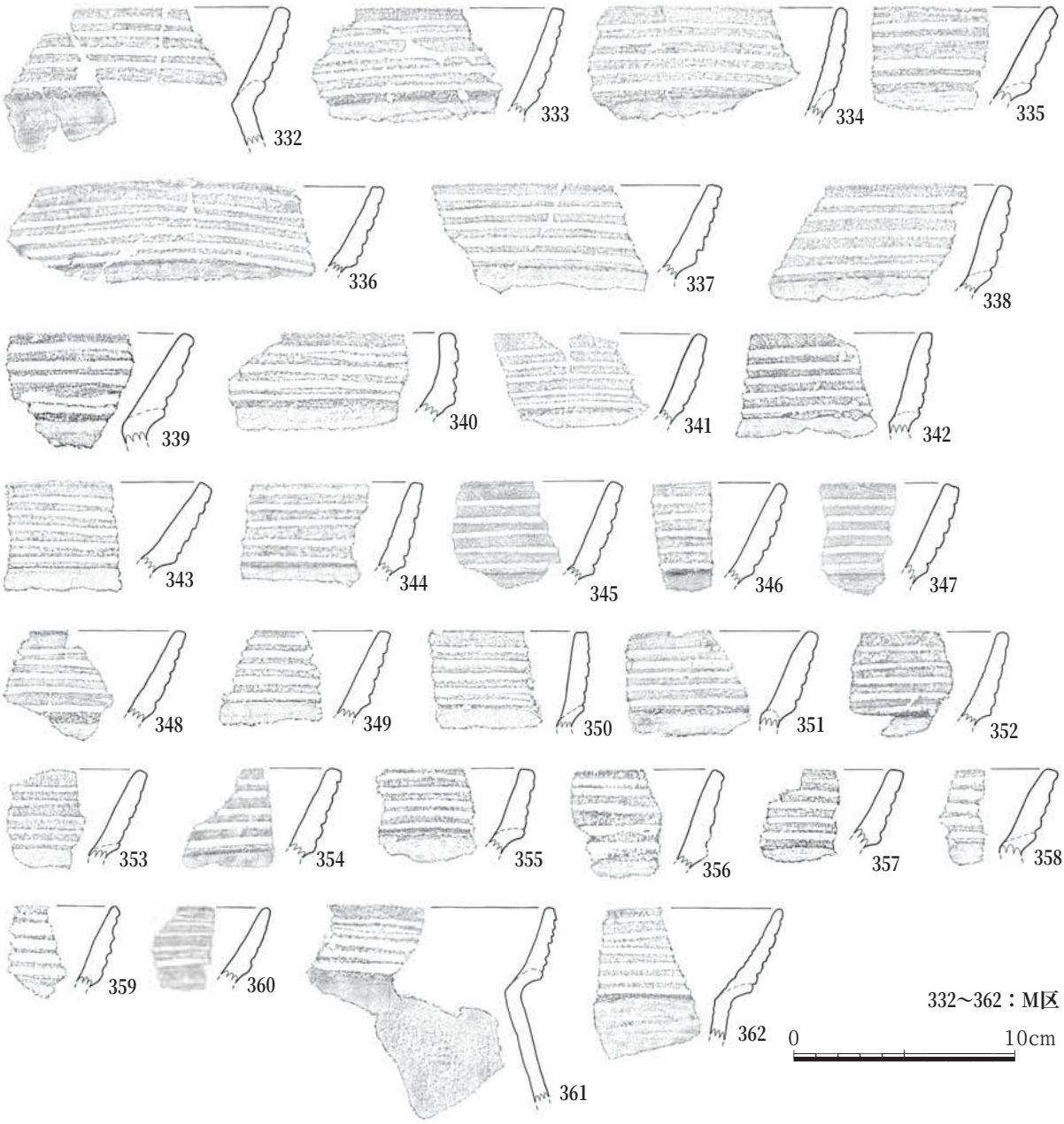
366の口縁部はほぼ直立する。復元口径28.4cm を測る。**367**は内外面ともにナデ調整が行われている。頸部と口縁部との境界が不明瞭で，丹塗などは認められないが，あるいは壷形土器など別器種としてとらえられる可能性もある。復元口径19.8cm である。**368**の外面は擦過調整で，全体的に粗雑な作りであり，**373**，**375**と同一個体である可能性が高い。**369**・**370**の外面には口縁部，頸部ともに横方向の貝殻条痕調整が施される。**372**の口縁部文様帯は幅広で，外面には貝殻条痕調整をそのまま残す。**374**は内外面ともに研磨調整が施され，外面には「M」字状の線刻が認められる。**376**の口縁部文様帯外面にはナデ調整ののちに粗く研磨調整を行っている。**381**はやや内湾する口縁部である。**382**，**389**，**391**，**396**は外面に貝殻条痕調整をそのまま残す。**392**，**395**は内外面ともに研磨調整を施す。**398**は波状口縁となる資料である。

第67図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑧〕（S＝1／3）



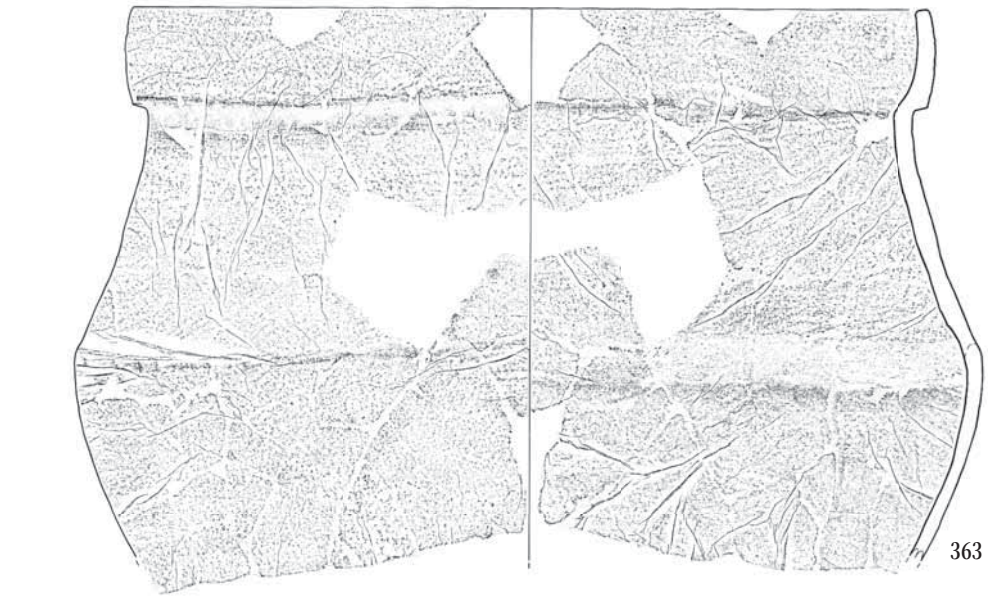
第68図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑨〕（S＝1／3）

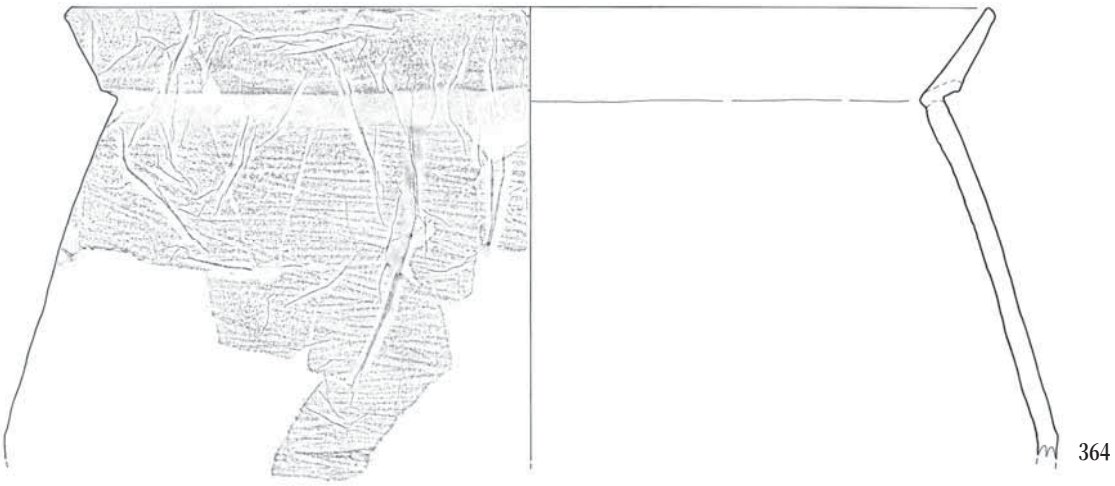
第69図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑩〕（S＝1/3）



第70図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑪〕（S＝1/3）

399は内外面ともに横方向の貝殻条痕調整を行っており，さらに外面はナデ調整を施す。復元胴屈曲部径は42.0cm である。**400**は復元胴屈曲部径33.0cm である。内面は貝殻条痕調整で，外面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を行い，その後さらに粗い研磨調整を行っている。**401**は屈曲部が不明瞭で，器面調整は内外面ともに粗い研磨調整である。復元胴部最大径は32.7cm である。**402・403**は小型品の頸部資料である。**406**，**412**，**420**の外面は丁寧に研磨調整を行っている。**417**の頸部はさほど高さをもたず，鉢形となるものであろう。**424**の外面は丁寧なナデ調整ののちに粗く研磨調整を行っている。



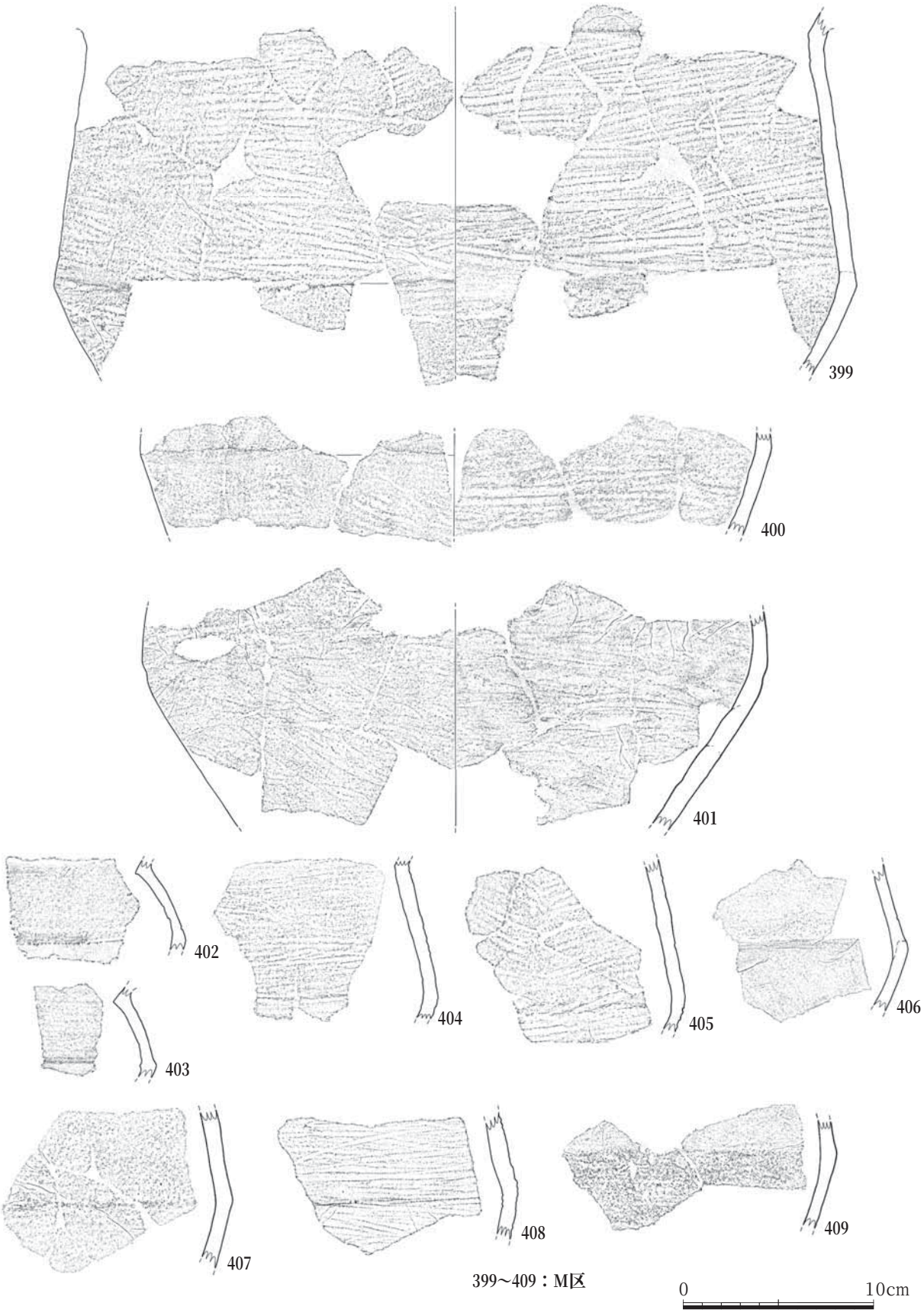


363～365：M区

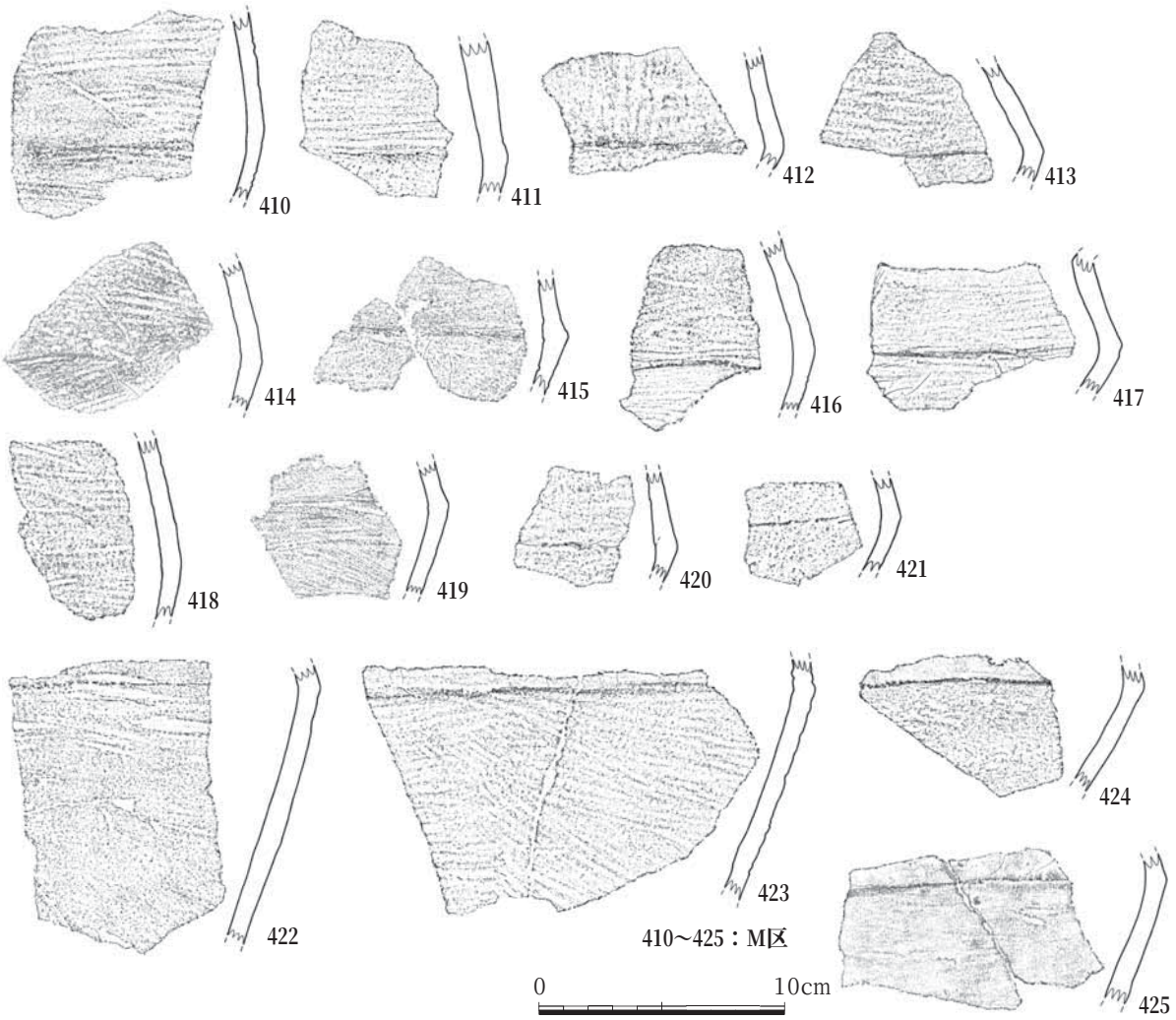
0　10cm

第71図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑫〕（S＝1/3）

第72図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑬〕（S＝1/3）



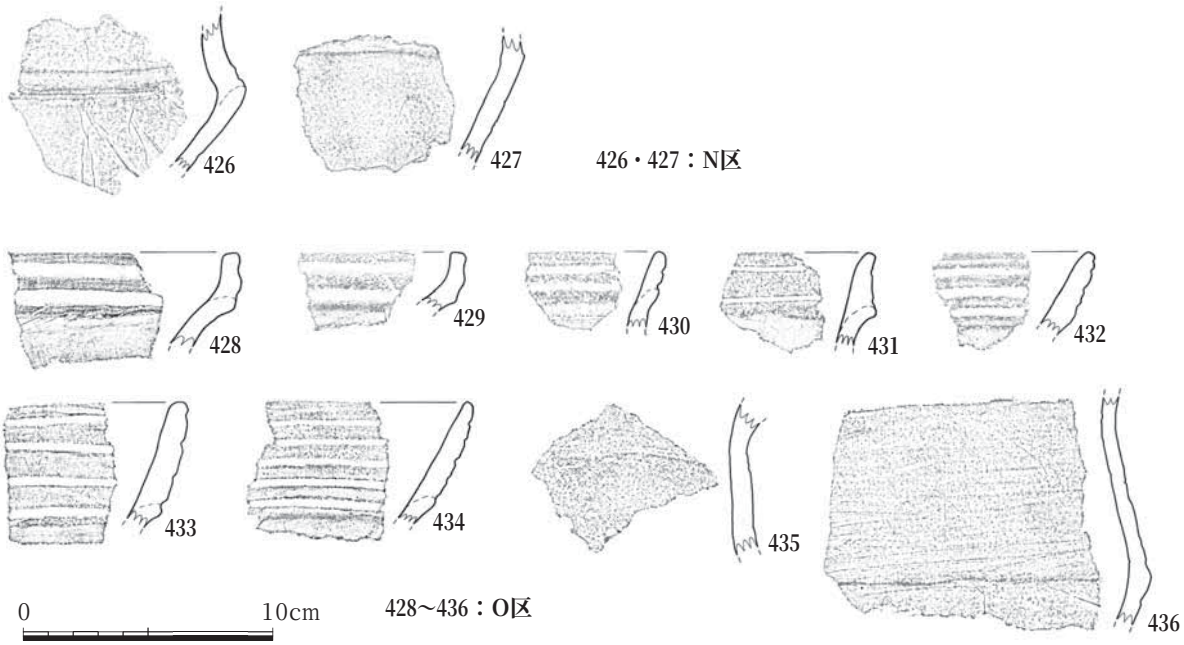
第73図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑭〕（S＝1／3）



第74図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑮〕（S＝1/3）

426・427は屈曲部の資料である。**426**は屈曲部の直上を凹線状に横ナデして段を設ける。

428・429は内外面ともに研磨調整を行っており，幅の狭い直立する口縁部には凹線２条を引く。**430**は外面に炭化物が付着する。**431**は断面先細りとなる口縁部で，間隔を広くとって２条の沈線を引く。**433**も沈線間の間隔が広い。**435**は頸部の資料である。**436**は屈曲部から頸部にかけての資料で，外面には炭化物が付着する。



第75図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑯〕（S＝1／3）

深鉢Ｄ類（第76図～第85図）

深鉢Ｃ類からの型式変化を追える一群である。深鉢Ｃ類における胴部から頸部にかけての屈曲部は肩部となり，外傾する口縁部文様帯は間延びして大きく外傾もしくは外反する。深鉢Ｃ類にみられた口縁部文様帯の平行沈線は，間隔を大きく広げ，弧状沈線となったり，垂下沈線を引いたりするものもみられるようになる。また沈線自体を引かないものも存在する。短い頸部と間延びした口縁部の境界には外面で段を設け，なかには蝶ネクタイ状突起や刻目入りの短い粘土紐などの貼付文をもつものもしばしばみられる。肩部があいまいになったり，肩部上の段が消失したりして，胴部から口縁部まで緩い「Ｓ」字状になるものもみられる。口唇部に突起をもつものや口縁部が波状となるものも認められる。

1 は緩い肩部から甘い段を設けて外傾する口縁部へと至る。比較的薄手の器壁で，外面には間隔の広い平行沈線文を引く。**2** は胴と肩の接合部分で剥落している。外面には肩部直上で段をもって外反する口縁部に至る。口唇部に凹点を施し，沈線はやや弧状となる。外面には炭化物の付着が認められる。**3** は弧状の沈線を引く。外面に炭化物が付着する。**4** は口唇部に凹点をもつ。**5** は外反する口縁部で，口唇部から垂下沈線を引き，それを起点に弧状沈線を引く。**9** は屈曲部直上を横方向の指ナデを行い，肩部と直上の段を意識した作りとなっている。

10は外面に段を設け，口縁部は若干外傾して立ち上がる。**11**，**13**・**14**は外反して開く口縁部である。**13**は口唇部上面を平坦に整える。**16**は外面に炭化物の付着が認められる。**17**は比較的厚手の器壁である。**18**が比較的薄手の器壁で，外面には横方向の貝殻条痕調整が行われる。**19**・**20**は外面に段が観察される資料である。**20**は外面に炭化物が付着する。

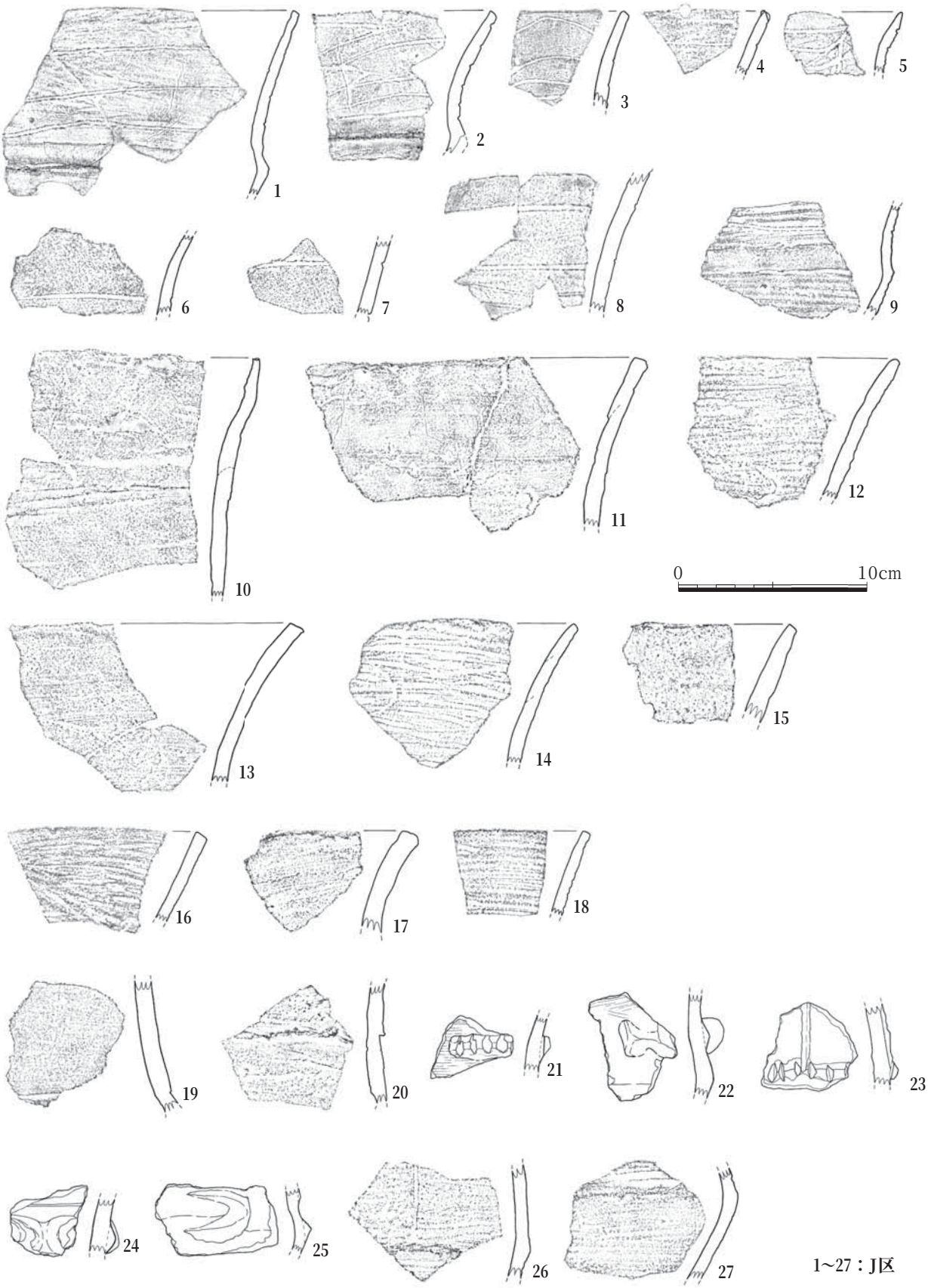
21～**25**は貼付文の資料である。**21**は粘土紐の貼付けに貝殻腹縁による刻目を施す。**22**，**24**・**25**は蝶ネクタイ状の貼付文である。**23**は粘土紐に工具による刻目が施されており，垂下沈線も観察される。外面には炭化物が付着する。**26**は垂下沈線の観察される資料である。**27**は屈曲部直上に段が観察される。

28は肩部から段を設けて外傾する口縁部へと至り，外面には沈線を引く。外面には炭化物が付着する。**29**はやや太めの平行沈線を引く。**30**は口唇部に凹点を施し，そこを点に弧状沈線を引く。**33**は貝殻条痕調整の上に指ナデによる太めの垂下沈線を引き，その後工具による細い沈線を弧状に引く。**37**は貝殻条痕調整を施した器面に乱雑に沈線を引く。**43**は外面にごく低い段を設けてそれより上位に平行沈線文を施す。**45**も段と沈線文をもつ資料である。

50は外傾する口縁部で，外面には横方向の貝殻条痕調整が施され，炭化物が付着する。**52**，**55**は外反して開く口縁部である。**54**の外面には斜方向の貝殻条痕調整が残る。**53**，**55**，**57**は外面に炭化物が付着する。

60～**67**は貼付文をもつ資料である。**60**は緩く屈曲する胴部の資料で，外面には横方向の貝殻条痕調整が行われ，屈曲部の直上に蝶ネクタイ状の貼付文をつける。外面には炭化物が付着する。**61**は緩い屈曲の胴部で，外面には貝殻条痕調整を残し，刻目をもつ粘土紐が貼り付けられる。**62**，**64**，**66**は蝶ネクタイ状の貼付文である。**63**，**66**の貼付文は突起が３つあり，蝶ネクタイ状突起の亜種と考えられる。**65**の貼付文は指押さえによる大ぶりの刻目が入る。**68**は緩い肩部の資料で，不明瞭であるが段を設けている。

69は外傾する口縁部に斜方向の沈線文が施される。**70**は外面に炭化物が付着する。**71**は非常に薄手の器壁である。**72**は外面に炭化物が付着する。**73**は口唇部上面を平坦に整える。**76**の外面には間隔の広い平行沈線が引かれる。**77**は肩部の名残りとなる緩い屈曲の上位に段を設ける。外面には炭化物が付着する。**78**は貝殻条痕調整の施された外面の屈曲部に貼付文をもつ。また斜方向の太めの沈線文が観察される。外面に炭化物の付着が認められる。**81**は外面に段と沈線が認められる。**82**も外面に段をもち，斜方向の沈線文がみられる。



第76図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類①〕（S＝1/3）

84は緩い屈曲から口縁部は外反して先細りとなりながら立ち上がる。外面には横方向の貝殻条痕調整が行われ，口唇部には細かい刻目が入れられる。85は深鉢C類の名残りを強く残す資料で，外面には段をもち，口唇部に突起がつく。86，88・89は外面に貝殻条痕調整を残す。88・89の外面には炭化物が付着する。91は薄手で先細りとなる断面である。94は薄手の器壁である。95は口唇部上面を平坦に整える。

97・98・99は外面に段をもつ資料である。100～103は貼付文の資料である。100・101は蝶ネクタイ状の貼付文，102・103はヘラ状工具による刻目を施した貼付文である。

104～108は肩部の資料である。104は外面に炭化物が付着する。106の外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。

109は緩く屈曲する胴部の資料で，内面はナデ調整，外面は擦過調整である。最大径となる部分に粘土塊の貼付文をもつ。また，垂下沈線とそれを起点とする斜方向の平行沈線が引かれる。110は比較的厚手の器壁で，斜方向の沈線が入る。111は凹点と平行沈線文の資料である。113・114は薄手の器壁である。118は外面に段をもつ。

121は緩い胴部の膨らみからいったん内傾して外面で段をもっており，口縁部は外傾するものと思われる。段がかなり上位に位置することを考慮すれば，あるいは深鉢C類に含めるべきかもしれない。内外面ともに丁寧なナデ調整が行われており，外面には格子目状の沈線文が施される。器壁には2mm以下程度の無数の間隙が認められ，胎土に有機質もしくは水溶性の混和材が用いられていたものと推察される。他の同時期の土器類とは趣を異にしており，他地域からの搬入土器である可能性も考えられる。外面には炭化物が付着する。122は屈曲部直上に段をもつ資料である。123は屈曲部より下位に貝殻条痕調整を残し，上位には斜方向の沈線文が観察される。

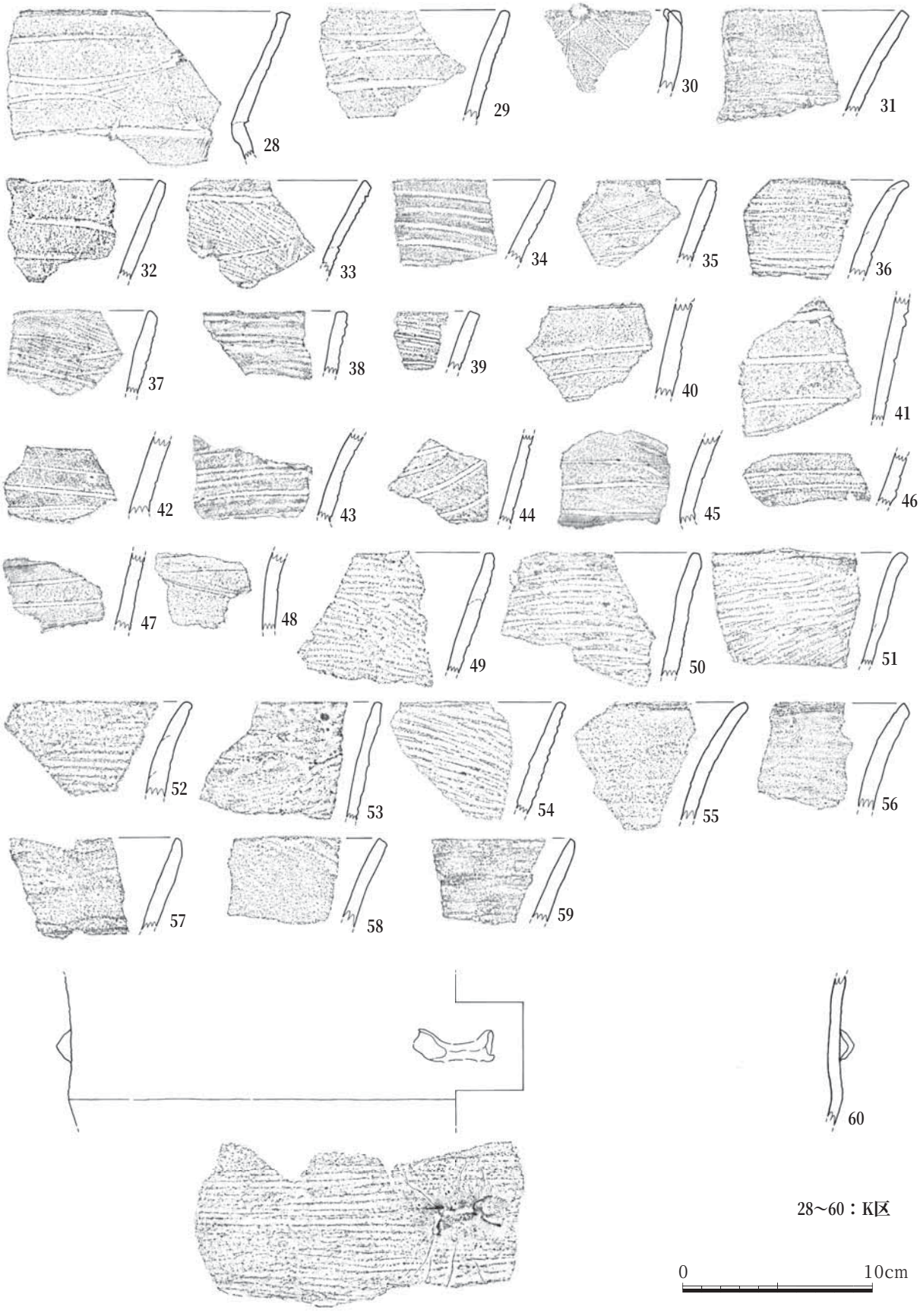
124は緩く膨らむ胴部からいったんわずかにすぼまって，口縁部は大きく外反する。外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。胎土に3mm大程度の礫を多く含む。復元口径は27.6cmである。125は緩く外反しながら開く口縁部で，外面には貝殻条痕調整が施される。127，131は大きく外反する口縁部で，口唇部には指押さえによる凹点が認められる。

129は口唇部に凹点を施しており，凹点内には爪痕が観察される。132は口唇部に突起をもつ資料で，外面は貝殻条痕調整ののちに粗く指ナデが施されている。134も突起をもつ資料で，外面には擦過調整が施されている。136，138・139は外面に炭化物が付着する。142は口唇部上面を平坦に整える。144は口唇部に突起もつ。145は貝殻条痕調整の上に沈線文を引く。146・147は外面に炭化物が付着する。148は口唇部上面を平坦に整える。

155は波状口縁になるものと思われる。156は口唇部にリボン状突起をもつ。157・158，160～162は口唇部上面を平坦に整える。162の外面は擦過調整で，炭化物が付着する。164は内湾気味に立ち上がる口縁部である。168は小礫を多く含む胎土で，外面には粘土塊の貼付文をもつ。175は薄手で先細りとなる断面である。179は強く外反する。185は外面に貝殻条痕調整を施しており，やや内湾気味である。186は外面に炭化物が付着する。187は口唇部にヒレ状の突起を貼り付け，内面は肥厚させる。188・189は口唇部内面に段をもつ。

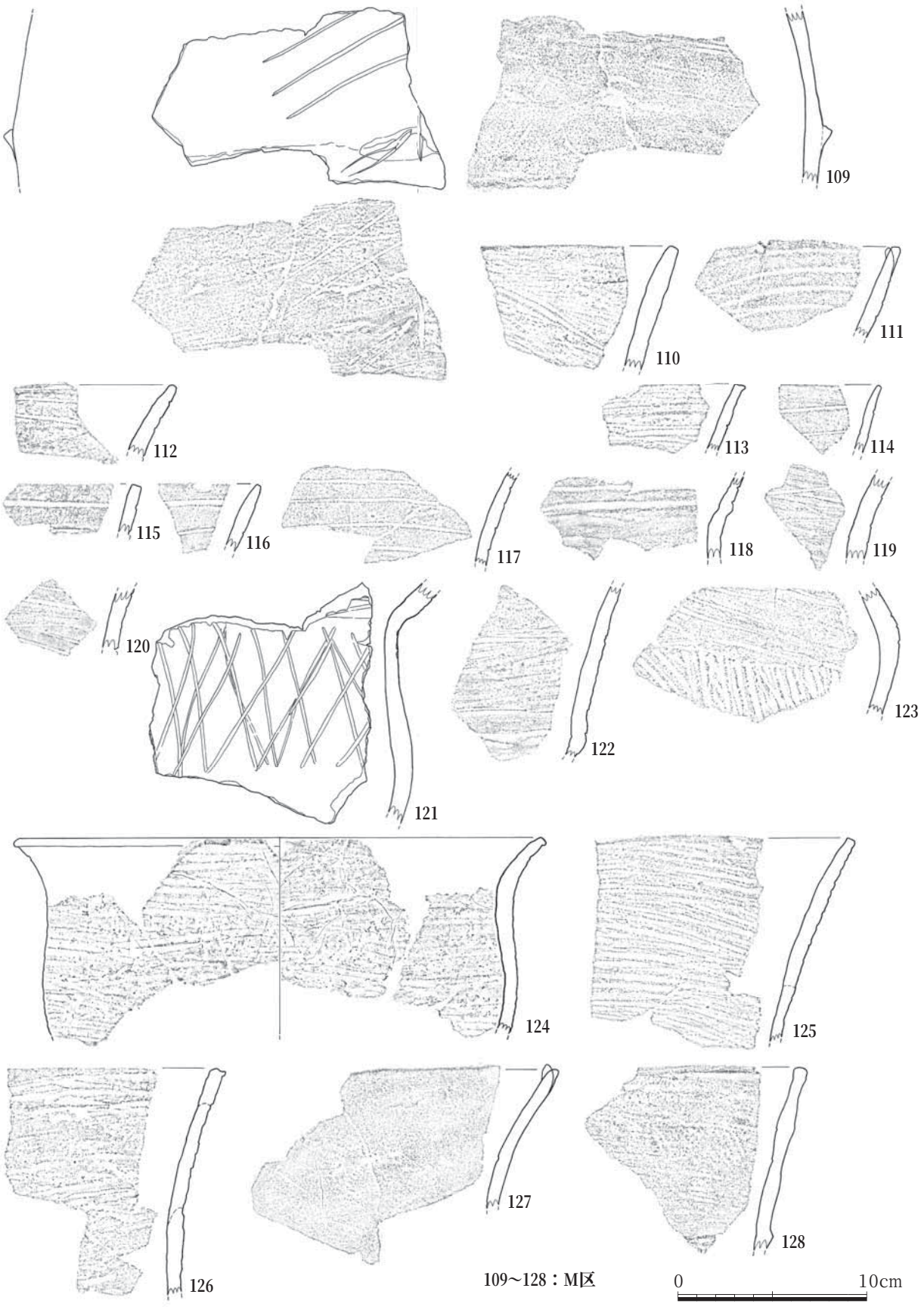
193は先細りとなる断面である。204，209は小礫を多く含む胎土で，どちらも外面に炭化物が付着する。207は外面に炭化物が付着する。211は小礫を多少に含む胎土である。212はやや焼成が甘いが，精緻な作りをみせる。221は口唇部に指押さえによる凹点をもつ。

223は胴屈曲部の資料で，内外面ともに貝殻条痕調整を施す。224・225は段をもつ資料である。224は薄手の器壁で，内面は研磨調整を施し，外面は丁寧なナデ調整である。226～229は肩部の資料である。227は肩部の上位で段を作る。

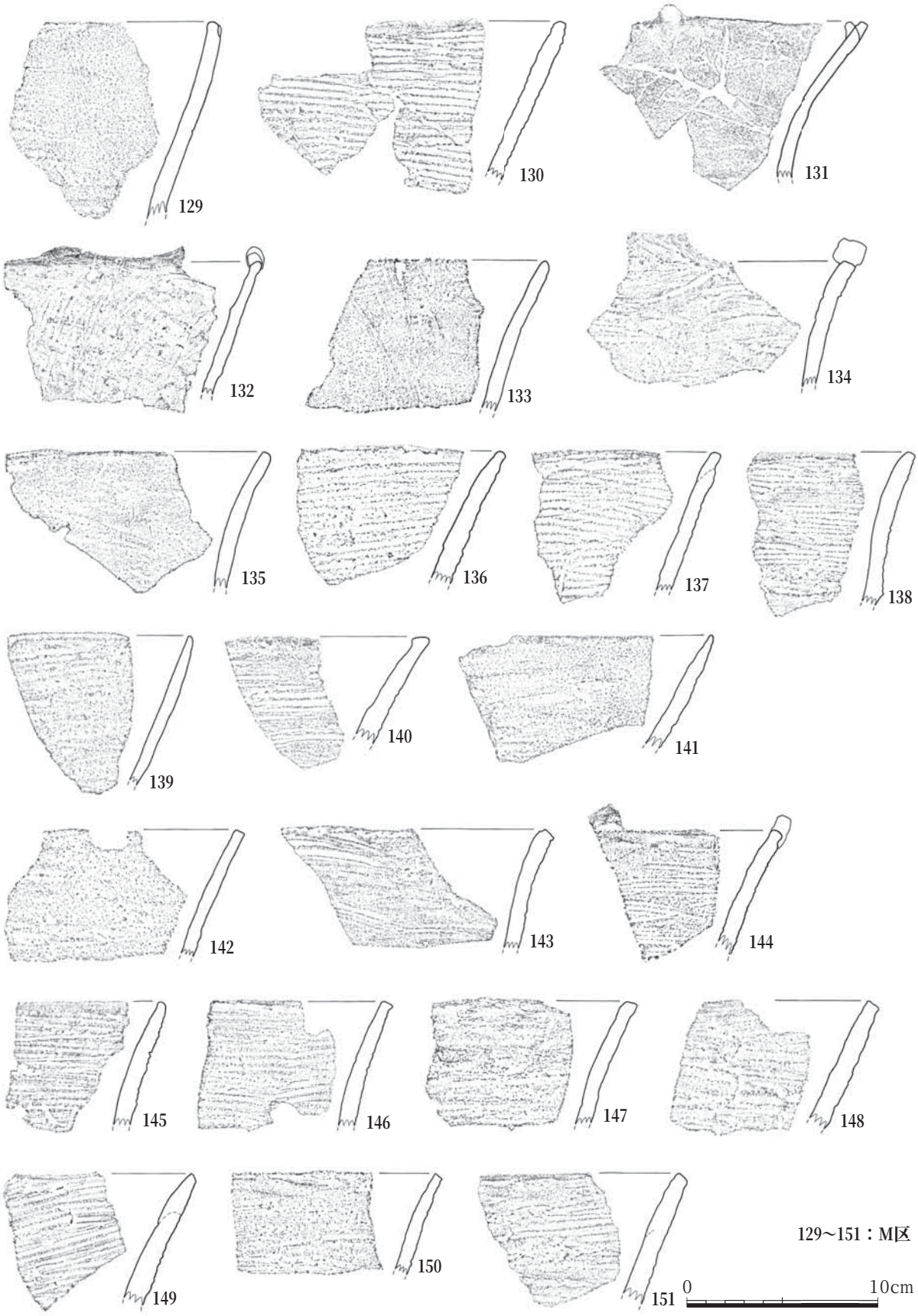


第77図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類②〕（S＝1/3）

第78図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類③〕（S＝1／3）



第79図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類④〕（S＝1／3）



第80図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑤〕（S＝1／3）

第81図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑥〕（S＝1／3）

230〜236は粘土塊の貼付文をもつ資料である。230は外面の段に重なるように粘土紐を貼り付ける。231は蝶ネクタイ状の貼付文と平行沈線文が認められる。233は肩部と平行沈線文を引く口縁部との境界となる屈曲部に紐通し状となる中空の貼付文を施す。234・235は垂下沈線上に刻目のある粘土塊の貼付文を施す。236は粘土紐を貼り付け，貝殻腹縁による刻目を施す。

237は外面に炭化物が付着する。238はやや外反して開く口縁部で，斜方向の沈線が確認できる。239は内湾する口縁部で，格子目状となるものか，多方向への沈線が引かれている。240は内面がやや肥厚し，外面には弧状の沈線文が引かれたものと思われる。243は小礫を多く含む胎土である。244は弧状の沈線４条が引かれているが，鋭利な工具によるものであり，一般的な弧状沈線文とは異なる線刻文である可能性もある。245〜247には斜方向への沈線が走る。248は格子目状に沈線が引かれており，焼成や胎土の状態を含め239と同一個体の可能性が高い。

250は，外面が横方向の擦過調整，内面が丁寧なナデ調整である。252は外面に横方向の貝殻条痕調整を明瞭に残す。258は屈曲部に蝶ネクタイ状の貼付文をもつ。259は極あいまいな肩部を作りその外面上位に不明瞭な段を設ける。

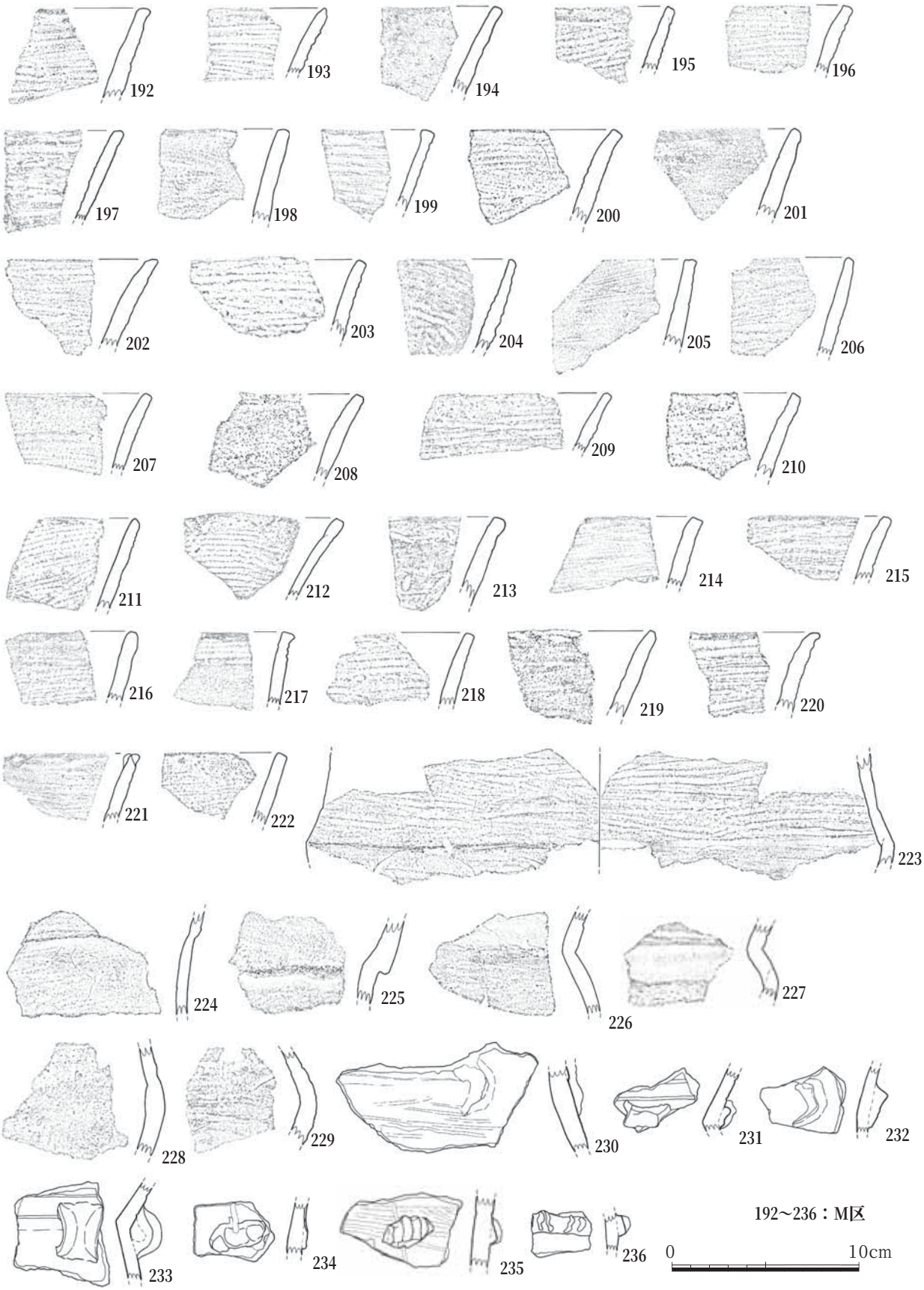
260は外反して大きく開く口縁部の資料で，口唇部は波状をなすか突起をもつものであろう。突端には凹点を施す。外面には間隔の不等な平行沈線文が施され，さらに凹点から沈線を垂下させる。261・262は弧状の沈線文を引く。265は非常に礫を多く含む胎土である。267，271は口唇部に指押さえによる凹点をもち，そこから弧状の沈線を引く。270は水平に太めの平行沈線文が引かれる。275は弧状の沈線文を引く。

282は肩部から口縁部へと至る資料で，境界外面に段を設ける。283は肩部の名残りとなる緩い屈曲をみせる。284は外面に段をもち，炭化物が付着する。286は肩部の資料で，斜方向の沈線文の末端がみられる。

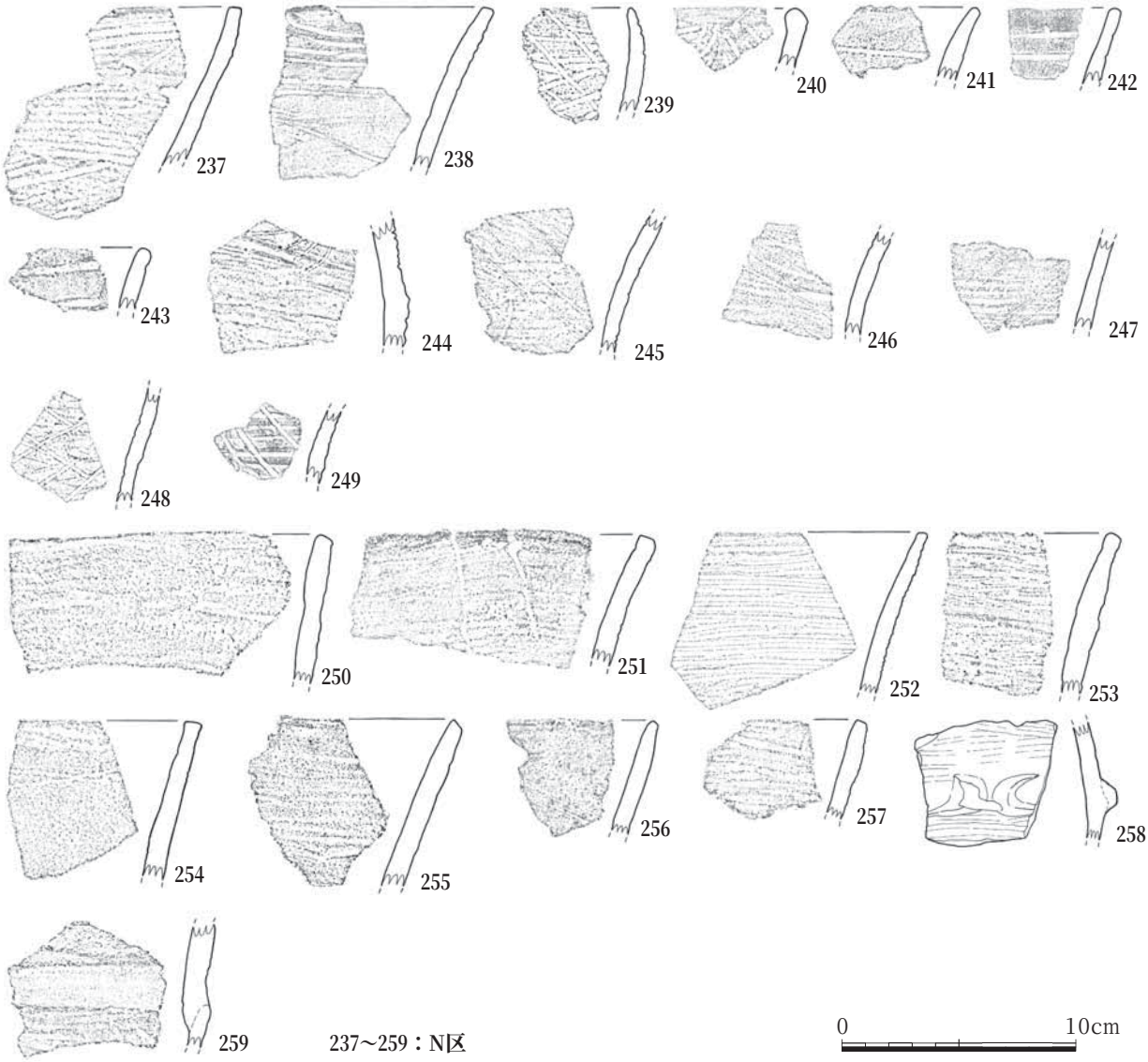
287の外面は貝殻条痕調整ののち丁寧になで消している。外面には炭化物が付着する。289はわずかに外傾する口縁部で外面下位に段をもつ。口唇部は肥厚し，ヒレ状突起をもつ。外面には炭化物の付着が認められる。290は外面の段の部分から欠損している口縁部資料で，外面には炭化物が付着する。296は小礫を多量に含む胎土である。

300は外面に段をもち，段より上位は貝殻条痕調整，段より下位はナデ調整である。301〜306は肩部・屈曲部の資料である。302は外面肩部の上位に段を設け，段より上位には貝殻条痕調整を施す。

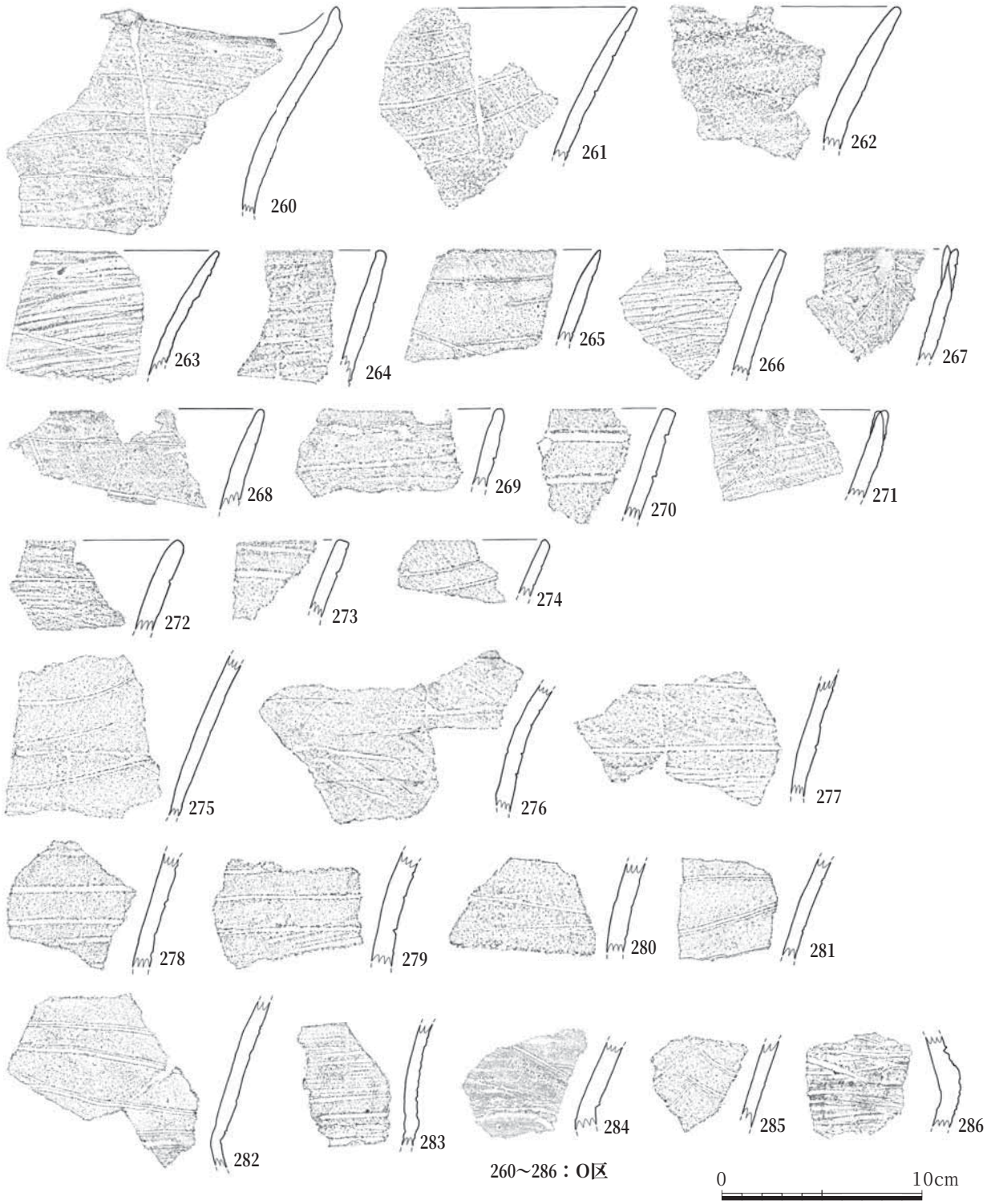
307〜317は貼付文をもつ資料である。307〜309，311〜313は蝶ネクタイ状の貼付文をもつものである。307は小礫を多く含む胎土である。309，312は肩部上位の段に重ねて貼り付けている。310は中空となっており，蝶ネクタイ状貼付文の祖型となるものであろう。314〜317は粘土紐を貼り付け，刻目を施したものである。



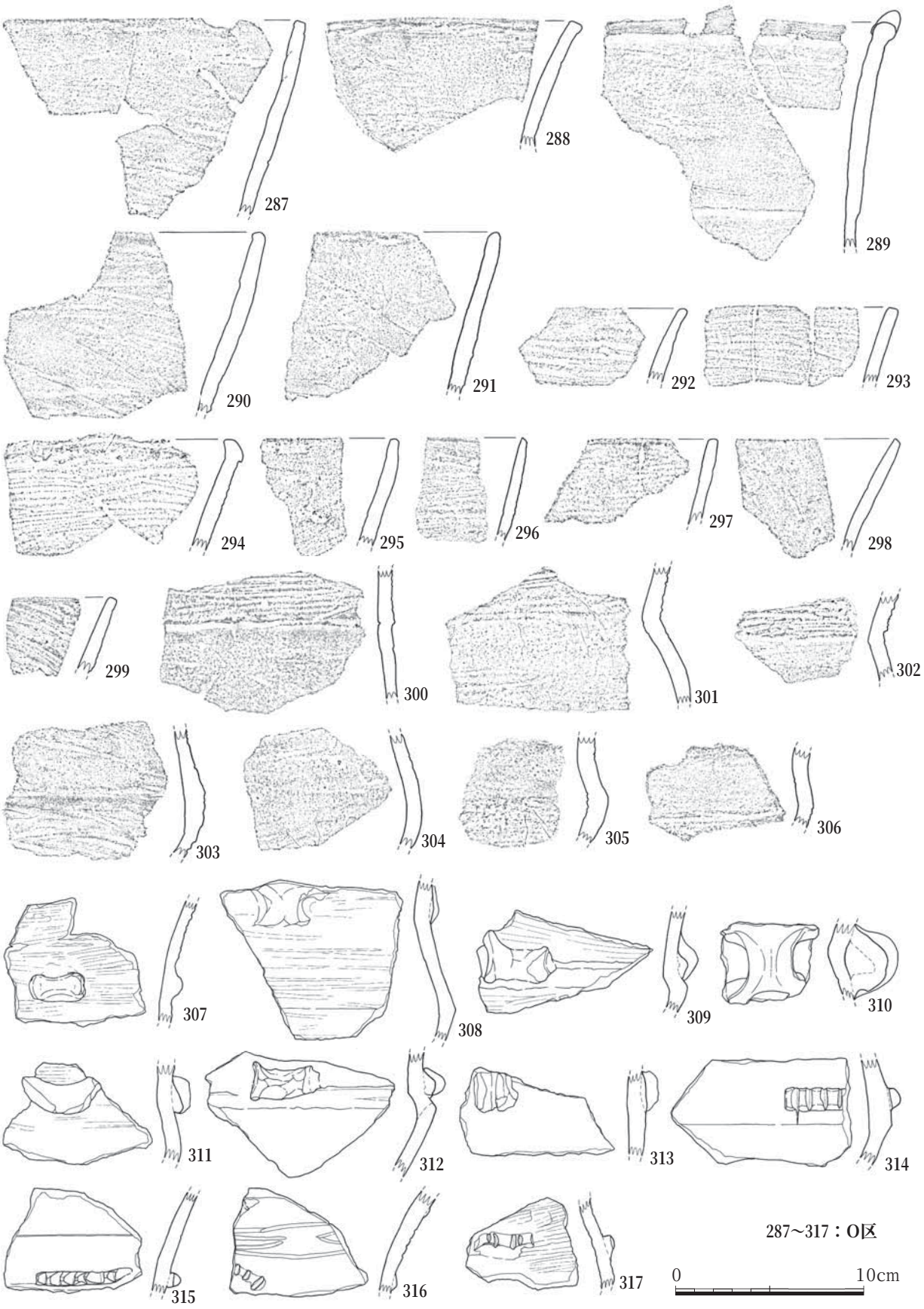
第82図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑦〕（S＝1／3）



第83図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑧〕（S＝1／3）



第84図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑨〕（S＝1／3）



第85図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑩〕（S＝1／3）

深鉢Ｅ類（第86図～第97図）

いわゆる刻目突帯文土器の甕形土器である。多くが胴部と口縁部に刻目を施した突帯をもつ二条甕であるが，一部口縁部もしくは胴部のみに突帯のあるもの，突帯を貼り付けず胴部や口唇部に直接刻目を入れるものもみられる。刻目の種類としては，指先によるもの（**1**～**98**），棒状の工具の側面を押し当てるもの，あるいはそれを上方に引き上げるもの（**99**～**136**），ヘラ状の工具によるもの（**137**～**199**）があり，他に竹管状などの工具小口部分での刺突によるものや，器面調整用の二枚貝貝殻を用いたと考えられる貝殻腹縁によるものなどがあり，その他の工具によるもの（**200**～**219**）としてまとめた。器形としては，鉢形土器となる可能性のあるものを一部含める。

1 は強く屈曲して外反内傾する口縁部である。内外面ともにナデ調整が行われている。口縁部突帯は口唇部から0.9cm ほど下がった位置に貼り付けており，口縁部，胴部それぞれの突帯には大ぶりの刻目が施される。復元口径45.3cm，復元胴部最大径49.8cm を測る。 **2** の口縁部は直線的に内傾する。口唇部上端は平坦に整えられている。内面は擦過調整，外面の突帯間は丁寧なナデ調整が行われている。高く尖らせた突帯をつぶすように刻目が入る。口縁部突帯は口唇部から0.6cm の位置に貼り付けられる。復元口径は40.0cm，復元胴部最大径は44.9cm である。 **3** の口縁部は強く屈曲して内傾し，口唇部は先細りとなる。内面は丁寧にナデ調整を行うが，外面は貝殻条痕調整を残す。口縁部突帯は口唇部から0.5cm 下がった位置である。口縁部突帯は爪痕の残る突帯をつぶすような刻目であるが，胴部突帯は指先で上から下へとなでつけるような刻目で，口縁部の刻目に比べれば大ぶりであり，また部分的な施文である。復元口径33.5cm，復元胴部最大径39.0cm である。 **4** は胴屈曲部のみに突帯をもち，口縁部は突帯をもたない。口縁部はわずかに内傾する。内外面ともに横方向の貝殻条痕調整が認められる。復元口径33.5cm，復元胴部最大径36.1cm である。

5 は胴部から内湾気味に口縁部が立ち上がり，最大径部分に胴部突帯を貼り付ける。口縁部突帯は口唇部に接して貼り付けられる。内面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を，外面は擦過調整ののちナデ調整を行うが，調整，突帯の貼り付け，ともに粗雑な作りである。 **6** の口縁部は強く屈曲して内傾する。内外面ともにナデ調整を行うが，外面突帯間は特に丁寧である。口縁部突帯は口唇部から0.3cm 下がった位置である。 **7** は直立する口縁部で，口縁部突帯は口唇部に接する。 **8** は内傾する口縁部の資料で，口縁部突帯は口唇部から0.5cm 下がる。内外面ともに横方向の貝殻条痕調整が施される。刻目は小ぶりである。

9～**11**は口縁部と胴部の突帯間が狭く，小型品もしくは鉢形となるものである。 **9** の口縁部はわずかに内傾する。突帯間は丁寧にナデ調整が行われている。口縁部突帯は口唇部から0.3cm ほど下がる。**10**の口縁部突帯は口唇部から0.2cm ほど下がる。外面には擦過調整が施されており，焼成後の穿孔がみられる。外面には炭化物が付着する。**11**は内外面ともにナデ調整である。口縁部と胴部の突帯はどちらも低く，口縁部突帯は刻目を入れることで口唇部に接している。

12は明瞭に屈曲をせず，最大径となる部分に突帯を貼り付ける。口縁部には突帯をもたない。内外面ともに貝殻条痕調整を行うが，内面はそのまま残し，外面はなで消している。**13**も胴部のみに突帯をもつ資料で，内外面ともに貝殻条痕調整が残る。**14**は内傾してやや外反する口縁部で，口縁部の突帯は口唇部から1.0cm 下がった位置に貼り付ける。**15**は胴部にのみ突帯をもつ。外面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。**16**は口縁部突帯をもたず，胴部は突帯を貼り付けることなく屈曲部に直接刻目を施す。外面には炭化物の付着が認められる。**17**の口縁部は内傾し，口縁部突帯はもたない。胴屈曲部には突帯を貼り付けることなく，直接刻目を入れる。**18**は胴部にのみ刻目突帯をもつ資料である。口縁部は波状となる可能性もある。

19は口唇部から0.7cmの位置に突帯を貼り付ける。外面には貝殻条痕調整が施され，突帯の貼り付けは粗雑で不十分である。20は内傾する口縁部の資料で，口唇部から0.2cmの位置に突帯を貼り付ける。突帯下は丁寧にナデ調整を行っている。

21は外反させた口唇端部に直接刻目を施す。22は口唇部に接して突帯を貼り付ける。23は強く内傾する口縁部で，口唇部外端に直接刻目を入れる。24は内傾する口縁部で，器壁は非常に薄い。突帯は口唇部に接して貼り付ける。25は口唇部外端に直接刻目を施す。

26～41は胴部の資料である。26の外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。27は屈曲の弱い胴部資料で，外面には斜方向の貝殻条痕調整が行われており，炭化物の付着が認められる。28はほとんど屈曲しない胴部に低い突帯を貼り付け，刻目を入れる。29の外面には炭化物が付着する。30の屈曲はあいまいで，外面に縦横の貝殻条痕調整が観察される。31は強い屈曲をみせる。32の屈曲はあいまいである。33は外面に横方向の貝殻条痕調整がみられ，断面半円形の太い突帯がつく。36は突帯より上位に炭化物の付着が認められる。38は突帯を貼り付けず，器壁にそのまま刻目を施す。39はやや内傾する口縁部で，突帯は口唇部から0.2cmの位置である。40の突帯は口唇部から1.0cmとかなり下がった位置に貼り付ける。

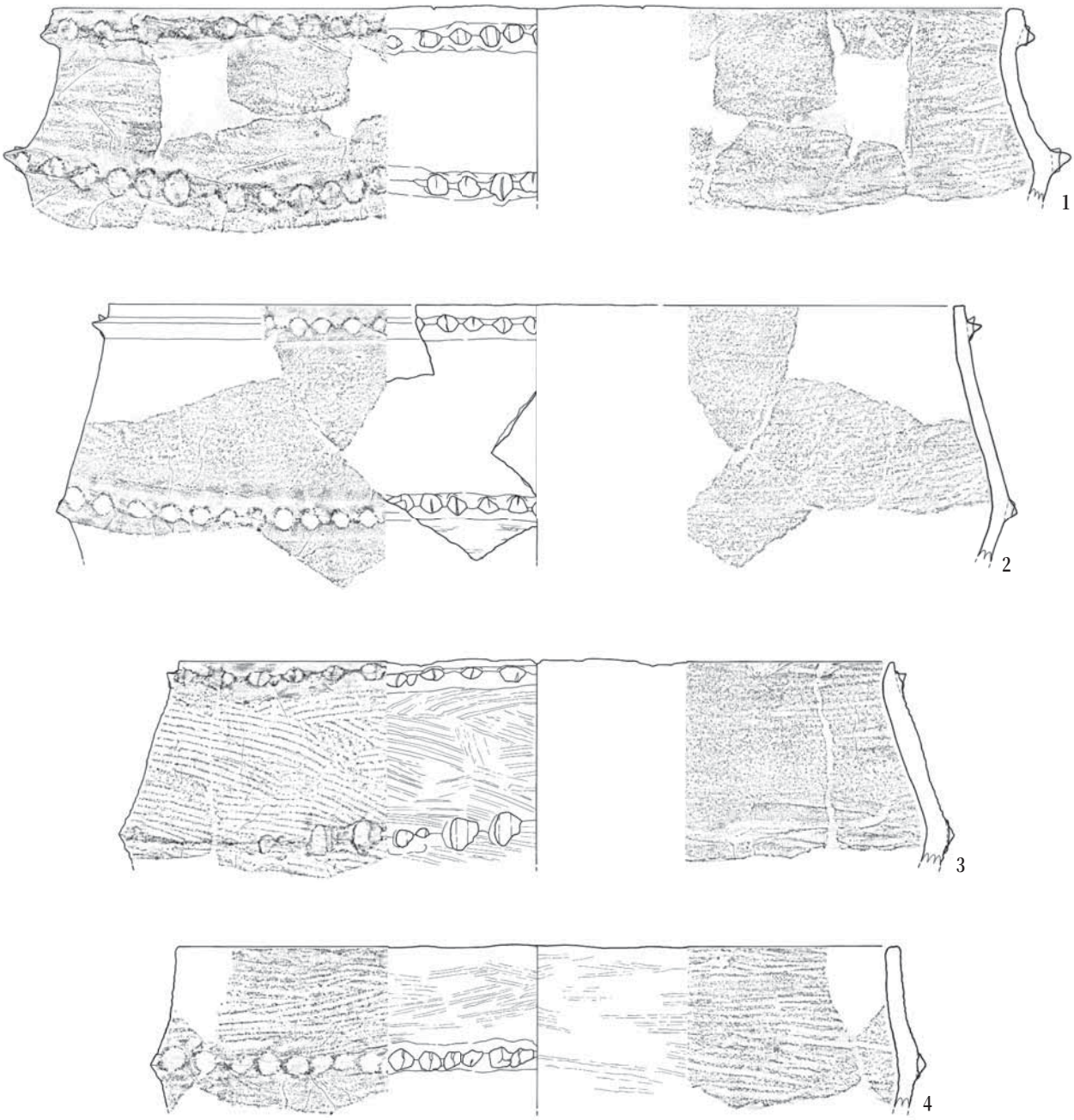
42は内傾する口縁部で，突帯は口唇部から0.8cmの位置である。43は口唇部が外反する。突帯は口唇部から1.0cmの下がった位置に貼り付ける。44は薄手の器壁で，内径する。口唇部から0.7cm下がったところに突帯をつける。45は内傾する口縁部で，口唇部は外反する。口唇部から1.0cmの位置に突帯を貼り付ける。46の突帯は口唇部から0.8cmと下がった位置である。47は口唇部から0.3cm程度下がったところに突帯を貼り付けるが，貼り付けは雑である。48は外反する口縁部で，口唇部から1.2cmとかなり下がった位置に突帯を貼り付けている。49の突帯の位置は口唇部から0.5cmである。

50は胴部突帯の資料である。強い屈曲をみせ，外面は擦過調整により器面を掻き取っており，炭化物が付着する。外面の粗雑な調整に対して，内面は丁寧なナデ調整を行っており，浅鉢Ｌ類の可能性もある。51は内外面ともにナデ調整を施している。52は強く屈曲するものと考えられ，比較的薄手の器壁にしては大ぶりの刻目が施されている。

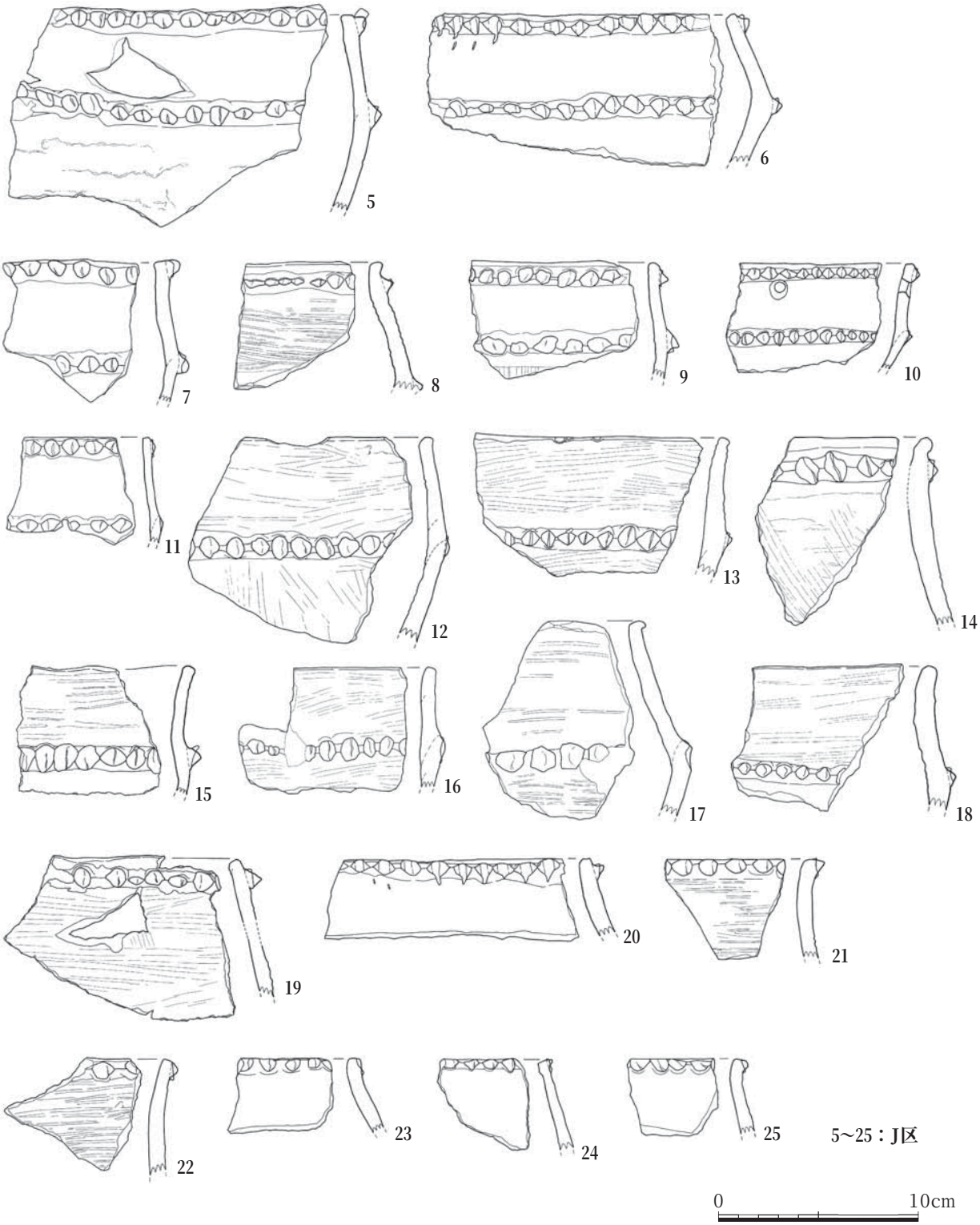
54は口縁部，胴部ともに突帯を貼り付けることなく直接刻目を施す。突帯間は横方向の貝殻条痕調整を残す。復元口径37.3cm，復元胴部最大径38.1cmを測る。55の口縁部はやや内傾する。口縁部，胴部ともに突帯を貼り付けることなく直接刻目を施す。56は比較的強い屈曲をみせ，口縁部突帯は口唇部から0.4cm下がる。突帯間は丁寧にナデ調整を行っている。外面には炭化物が付着する。57の口縁部突帯は口唇部から0.3cm下がる。

58は明瞭には屈曲をみせず，口縁部には突帯をもたない。胴部突帯の刻目は大ぶりである。外面調整はナデであるが，突帯より上位は下位に比べて丁寧である。59は内湾する口縁部で，口唇端部は外側に張り出す。口縁部突帯は口唇部から1.0cmの位置である。60は厚手の器壁で粗野な作りである。突帯は口唇部から0.4cmの位置で太めであり，刻目も大ぶりである。外面には炭化物が付着する。浅鉢Ｌ類になる可能性もある。61はわずかに内傾する口縁部で，口唇部に接して低い突帯をつける。62は内傾する口縁部で，口唇部は先細りとなる。突帯は口唇部から0.5cm下がる。63は外反する口縁部で外面には横方向の貝殻条痕調整を残す。低い突帯は口唇部に接している。64・65は比較的強く外反する口縁部で，口唇部に直接刻目を入れる。

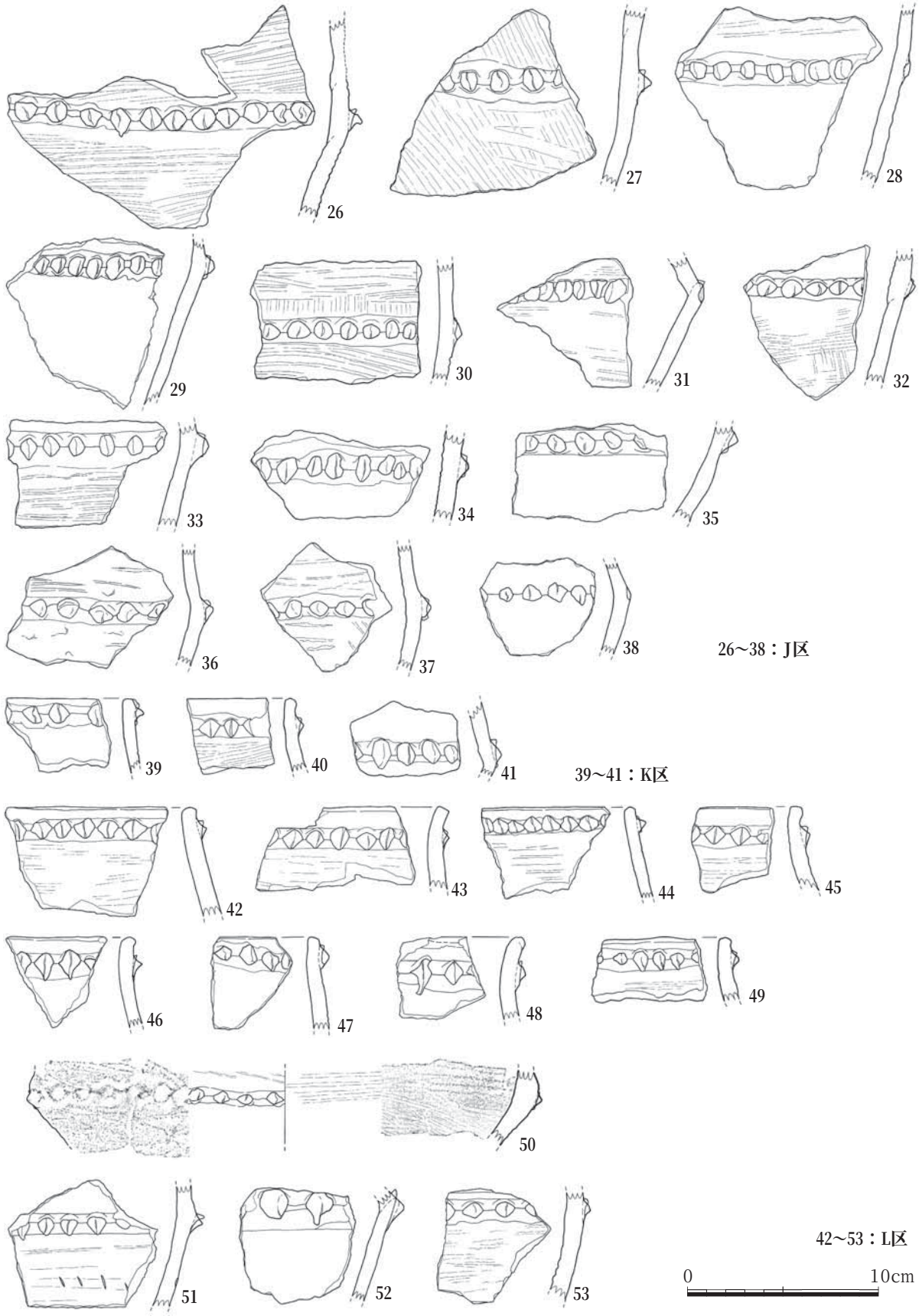
66～78は胴部突帯の資料である。66は大型品の胴部突帯で，突帯は太く，刻目も大ぶりである。外面には炭化物の付着が認められる。68はしっかりとした屈曲をみせる。69の屈曲はあいまいで，突帯より下位には貝殻条痕を残すが，上位にはナデ調整を行っている。70は突帯の幅も一定せず，器壁にも指頭圧痕が残るなど作りが粗野である。71・72の外面には炭化物が付着する。73の外面には丁寧に



第86図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類①〕（Ｓ＝１/３）



第87図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類②〕（Ｓ＝１／３）



第88図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類③〕（Ｓ＝１／３）

ナデ調整が行われており，炭化物の付着が認められる。**76**は強く屈曲して口縁部は内傾するものと思われる。**78**は強い屈曲がみられ，突帯より上位は丁寧にナデ調整を行っている。突帯より上位に炭化物が付着する。

79は内傾する口縁部で比較的薄手の器壁である。突帯は口唇部から0.6cm 下がる。**80**は胴部突帯の資料で，突帯より上位はナデ調整が行われている。**81**には比較的大ぶりの刻みが施される。

82は明確な屈曲部をもたず，わずかに内湾，内傾して口縁部と至る。胴部突帯は最大径部分にめぐらし，口縁部突帯は口唇部に接している。内面は擦過調整を行い，外面は胴部突帯より下位は縦方向の貝殻条痕調整ののち横方向の擦過調整を，突帯間はナデ調整を行っている。突帯間に炭化物の付着が認められる。復元口径48.3cm，復元胴部最大径52.7cm である。

83・84は直線的に内傾する口縁部で，同一個体の可能性がある。どちらも口縁部突帯は口唇部に接しており，外面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整が施されている。**85**の突帯は口唇部に接しており，外面は丁寧にナデ調整が行われている。**86**も口唇部に接して突帯をつける。**87**は口唇外端部に直接刻目を施す。

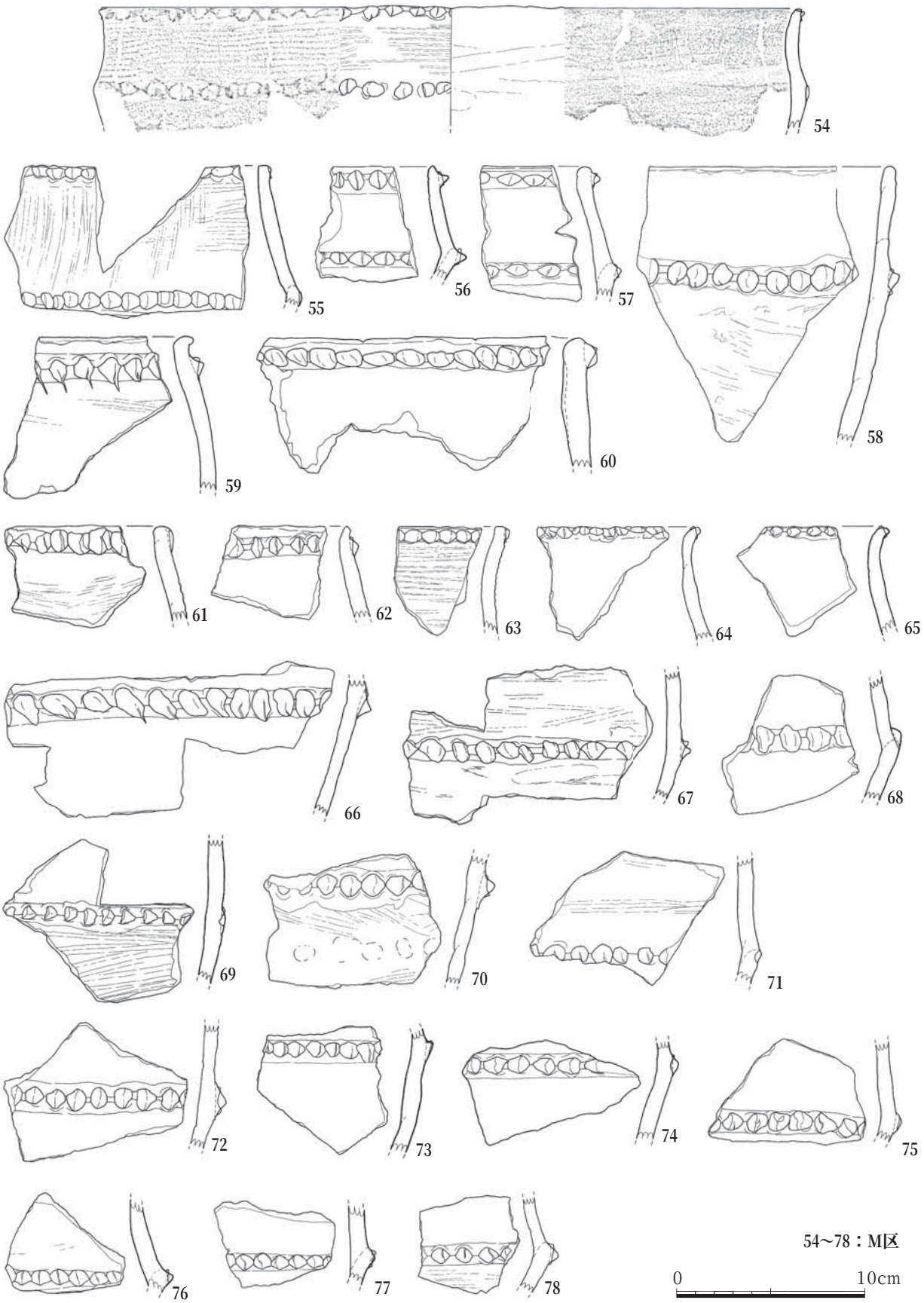
88～98は胴部の資料である。**88**は屈曲しない胴部資料で，突帯より下位は縦方向の貝殻条痕調整，上位はナデ調整である。外面には炭化物が付着する。**89**は強い屈曲をみせる。**90**の屈曲は弱く，外面には炭化物が付着する。**91・92**は強く屈曲しており，突帯より上位は丁寧にナデ調整を行っている。**94**は屈曲をみせず，突帯は低い。**97・98**は器壁も薄く，小型品であろう。**97**の突帯より下位には炭化物の付着が認められる。

99の口縁部は強く屈曲して内傾する。口唇部は先細りとなり，口唇部から0.3cm 下がった位置に口縁部突帯は貼り付けられる。内面は横方向の貝殻条痕調整が観察される。外面は，突帯間は横方向の貝殻条痕調整が行われたのちナデ調整が施される。胴部突帯下は比較的丁寧なナデ調整である。刻目については一応棒状工具によるものとしたが，指先である可能性もある。復元口径23.6cm，復元胴部最大径29.3cm である。**100**は内傾する口縁部で，口縁部突帯は口唇部から0.5cm ほど下がった位置である。内面は貝殻条痕調整，外面の突帯間は貝殻条痕調整ののちナデ調整である。**104**は胴部突帯より下位の資料で，口縁部へは強い屈曲をみせるものと思われる。外面には炭化物が付着する。

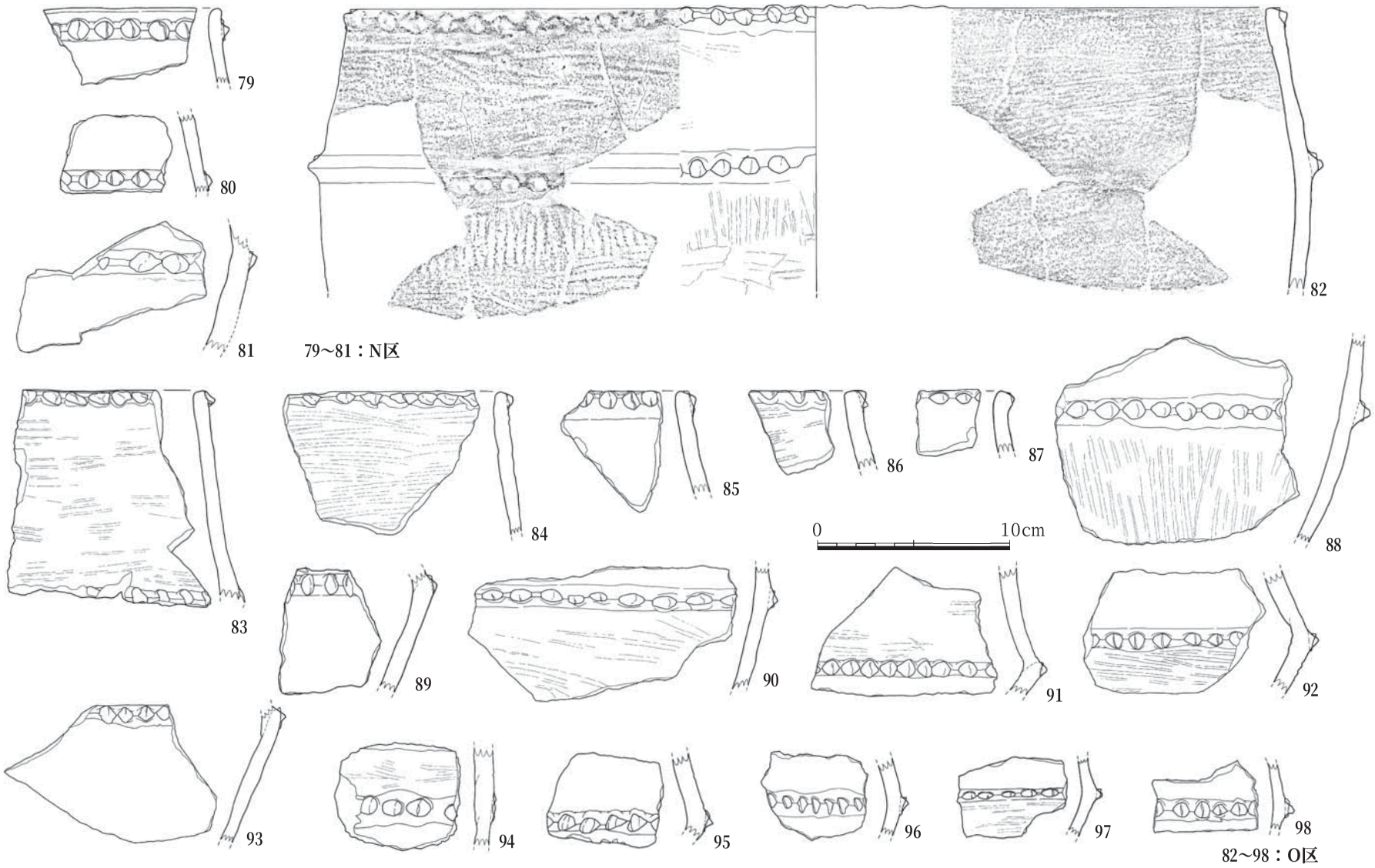
105は胴部突帯での屈曲は不明瞭であり，口縁部はやや開いて立ち上がる。口唇部は外反させ，その端部に直接刻目を施す。外面調整は，胴部突帯より下位は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整が行われており，突帯間は丁寧なナデ調整が行われている。外面，胴部突帯より下位に炭化物の付着が認められる。復元口径は37.6cm，復元胴屈曲部径は36.0cm を測る。

106はしっかりとした屈曲をみせ，口縁部は直線的に内傾する。突帯は細めで，口縁部突帯は口唇部から0.5cm の位置である。突帯間はナデ調整，突帯より下位は貝殻条痕調整である。また，突帯より下位に炭化物の付着が観察される。**107**は強く屈曲して内傾する口縁部の資料で，口縁部突帯は口唇部から0.7cm 下がった位置である。突帯間には部分的に炭化物が付着する。**108**は比較的小型の資料である。口縁部突帯は口唇部から0.7cm 下がる。**109**はやや内傾する口縁部で，口縁部突帯は口唇部から0.6cm の位置である。**110**は外反させた口唇部に直接刻目を施す。**111**は**106**と同一個体である可能性がある。

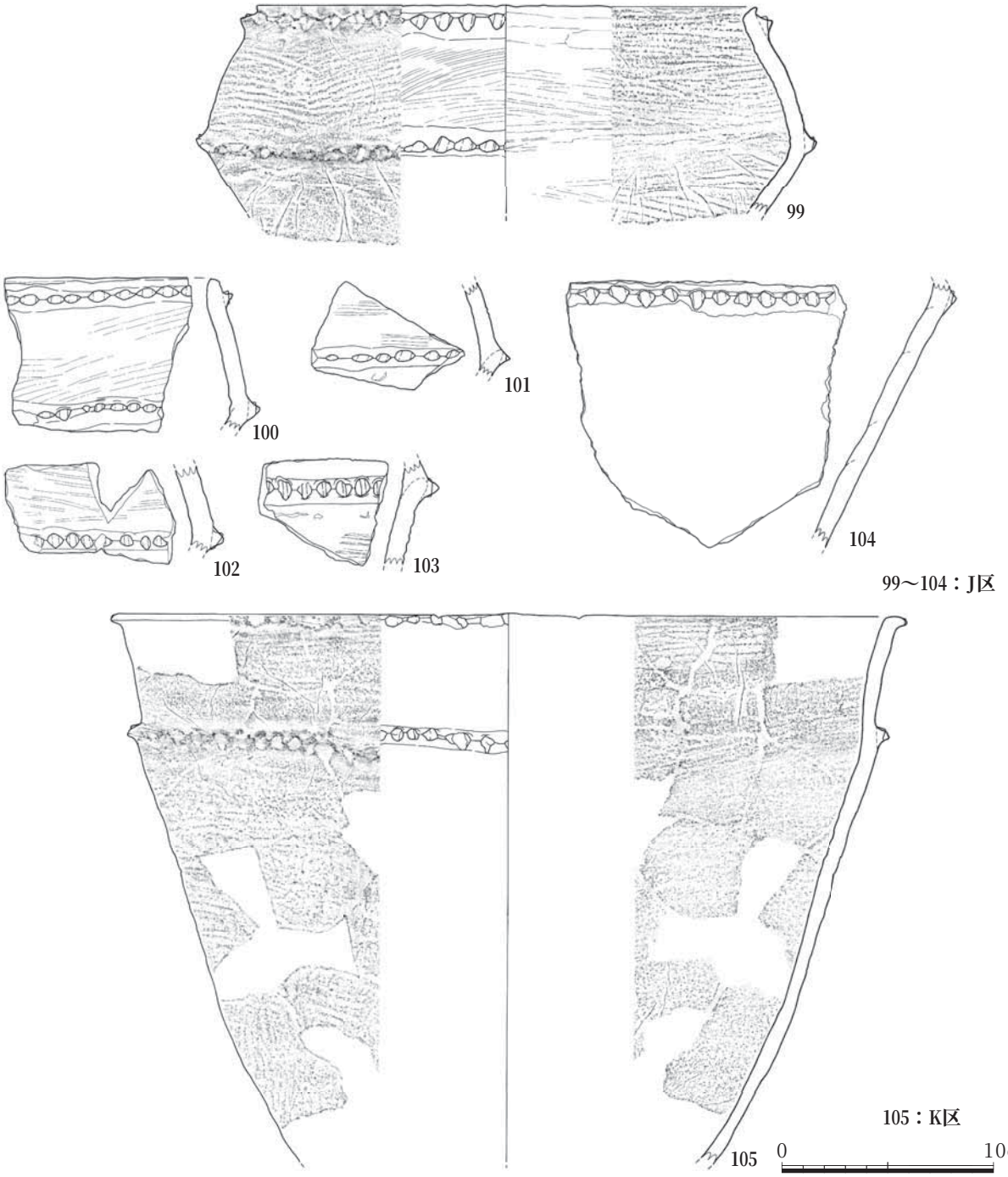
116は胴部で弱く屈曲し，口縁部はわずかに内傾する。口縁部突帯は口唇部から1.2cm のかなり下がったところに貼り付ける。復元口径35.2cm，復元胴部最大径37.9cm を測る。**117**は口唇部から0.4cm のところに口縁部突帯を貼り付けており，突帯より下位は丁寧にナデ調整を行う。**118**は突帯の貼り付けや刻目の施文が粗野な作りである。外面には炭化物が付着する。**119**はしっかりとした屈曲で，外面に炭化物が付着する。



第89図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類④〕（Ｓ＝１／３）



第90図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑤〕（Ｓ＝１/３）



第91図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑥〕（Ｓ＝１/３）

120は胴部から強く屈曲して内傾する口縁部で，口唇部は先細りとなって外反する。口縁部突帯は口唇部から0.7cm 下がる。**121**の外面にわずかに炭化物が付着する。

122は胴部から強く屈曲し直線的に内傾する口縁部の資料である。口唇部は先細りとなり，口唇部から0.7cm の位置に口縁部突帯がつく。突帯間は丁寧なナデ調整が行われ，炭化物の付着が認められる。**123**も胴部から強く屈曲して内傾する口縁部の資料である。口唇部から0.6cm の位置に口縁部突帯がつく。外面にはわずかに炭化物がみられる。**124**の口縁部突帯は口唇部から0.3cm 離れており，突帯間は丁寧にナデ調整が行われている。**125**の口縁部突帯は口唇部に0.2cm と近接しており，口唇部上面は平坦に整える。胴部での屈曲はみられない。

126は口唇部から0.9cm とやや離れた位置に口縁部突帯を貼り付ける。**127**は器壁が薄く，口唇部に接して付けられた突帯には細かく刻目が施される。内外面ともに丁寧にナデ調整が行われ，精緻な作りである。**128**は口唇部に接して口縁部突帯がつく。**129**の突帯は口唇部から0.5cm 下がる。**130**は外反，内傾する口縁部の資料で，口縁部突帯はもたない。外面には炭化物の付着が認められる。

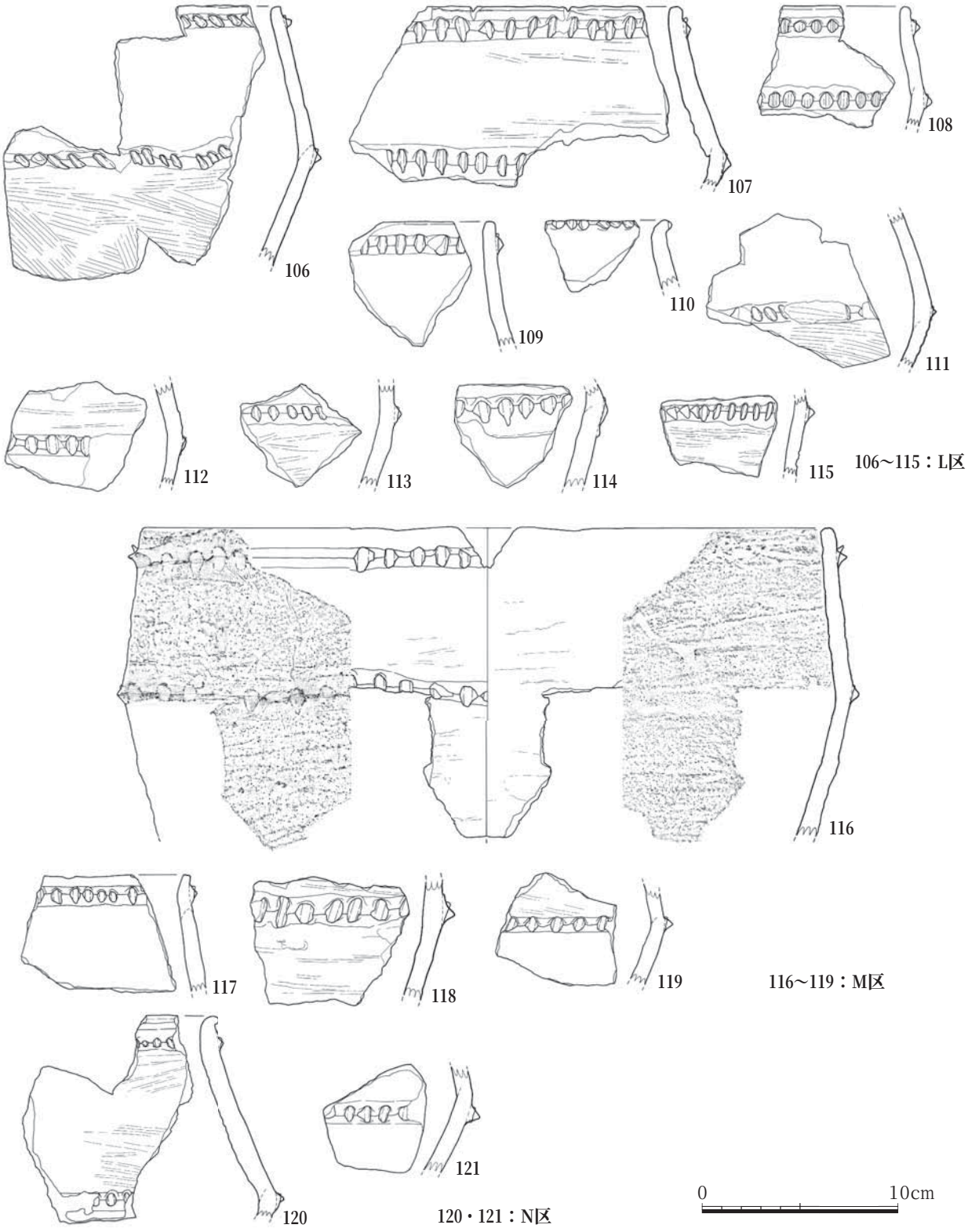
131～136は胴部突帯の資料である。**131**はしっかりとした屈曲をみせ，背のある突帯には細かい刻目が施される。**132**の突帯より上位は丁寧にナデ調整が行われている。**133**はしっかりと屈曲しており，突帯より上位は丁寧にナデ調整が行われており，線刻であろうか沈線が引かれる。外面突帯より下位には炭化物の付着がある。**135・136**はしっかりとした屈曲をみせる。

137は厚手の器壁でしっかりとした胴部の屈曲から口縁部は内傾し，口唇部は先細りとなって外反する。口縁部突帯は口唇部から0.4cm 下がった位置である。**138**は内傾する口縁部で，突帯は口唇部から0.5cm 下がる。**139**は内傾する口縁部で，突帯は口唇部から0.5cm 下がる。**138**と**139**は同一個体の可能性がある。**140**は内傾する口縁部で，口唇部外端に直接刻目を施す。外面は丁寧にナデ調整を行っている。**141**も外反させた口唇部に直接刻目を施している。外面は丁寧にナデ調整を行っている。**142**は口唇部に接して口縁部突帯を貼り付ける。**143**はさほど器高は高くならず，鉢形となるものであろう。口縁部には突帯をもたない。口縁部外面には線刻がみられる。また，外面には炭化物が付着する。**144**は屈曲部に突帯を貼り付けることなく直接刻目を施している。

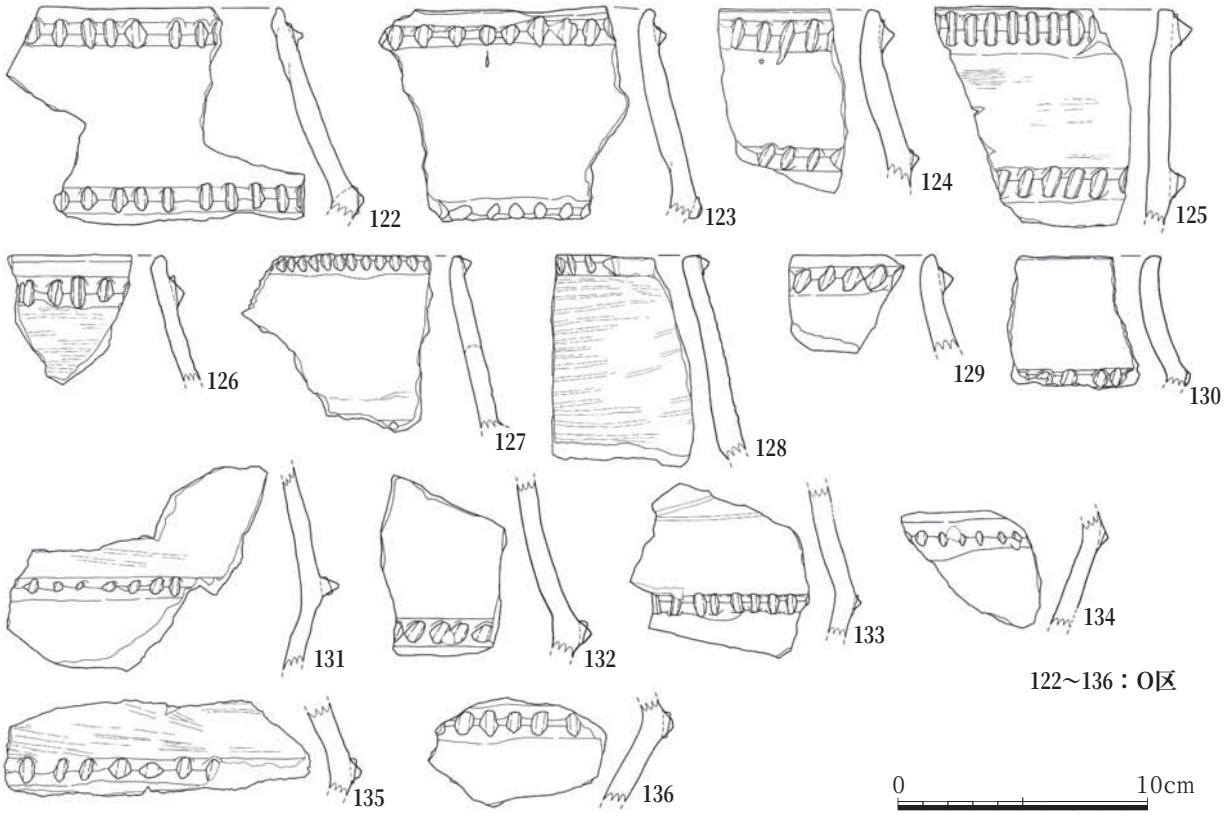
145は屈曲部から直線的に内傾して口縁部に至る。口縁部には突帯をもたず，口唇部外端に直接刻目を施す。外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。**146**の突帯は口唇部から0.4cm 下がる。

147は大型品の内傾する口縁部で，器壁も厚手である。口縁部突帯は口唇部から0.4cm 程度下がった位置に貼り付ける。復元口径は42.5cm である。**148**は内傾する口縁部で，口唇部は先細りとなって外反する。器壁は薄手で，内外面ともに丁寧にナデ調整が行われており，小型品と思われる。口縁部突帯は口唇部から0.4cm 下がった位置である。**149**は内傾する口縁部で，口唇部は上面を平坦に整えている。突帯は口唇部から1.4cm とかなり下がった位置への貼り付けである。**150**の突帯は口唇部にほぼ接する。**151**の突帯は口唇部に接して貼り付けられる。**152**は内傾する口縁部で，外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。口唇部外端に直接刻目が入れられる。**153**は**152**とおそらく同一個体と思われる。

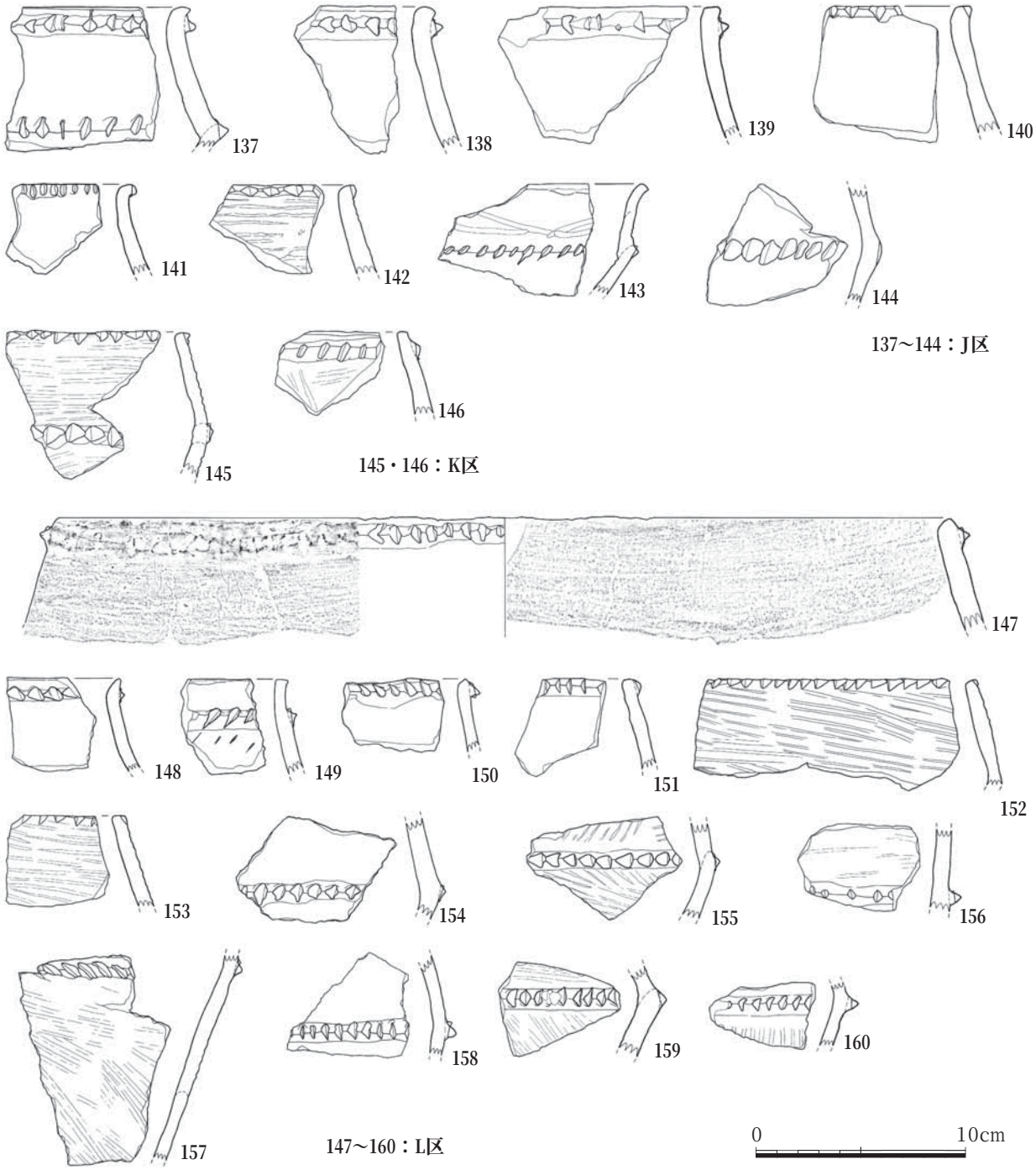
154～160は胴部突帯の資料である。**154**は外面，突帯より下位に炭化物が付着する。**155**の外面には炭化物が付着する。**156**の屈曲は不明瞭で，背の高い突帯に浅く刻目が施される。**157**の外面には斜方向の貝殻条痕調整が行われており，炭化物の付着が認められる。**159**は強い屈曲がみられ，外面，突



第92図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑦〕（Ｓ＝１/３）



第93図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑧〕（Ｓ＝１／３）



第94図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑨〕（Ｓ＝１／３）

帯より上位に炭化物が付着する。

161は直立する口縁部の資料で，口唇部外端に直接刻目を施す。外面には炭化物が付着する。復元口径42.7cm である。**162**の口縁部突帯は細めで，口唇部に接してつけられる。突帯間には横方向の貝殻条痕調整が施される。**163**は直接刻目を施した屈曲部から口縁部は内傾し，口縁部突帯は口唇部に接して貼り付けられる。突帯間にはナデ調整が行われ，炭化物が付着する。**164**は外反する口唇部に直接刻目を施す。外面には炭化物が付着する。**165**は胴部でしっかりと屈曲して口縁部は内傾する。口縁部突帯は口唇部に接しており，胴屈曲には突帯をめぐらすことなく直接刻目を入れている。突帯間には炭化物が付着する。**166**は口唇部に直接刻目を施す。**167**の突帯は非常に低い。

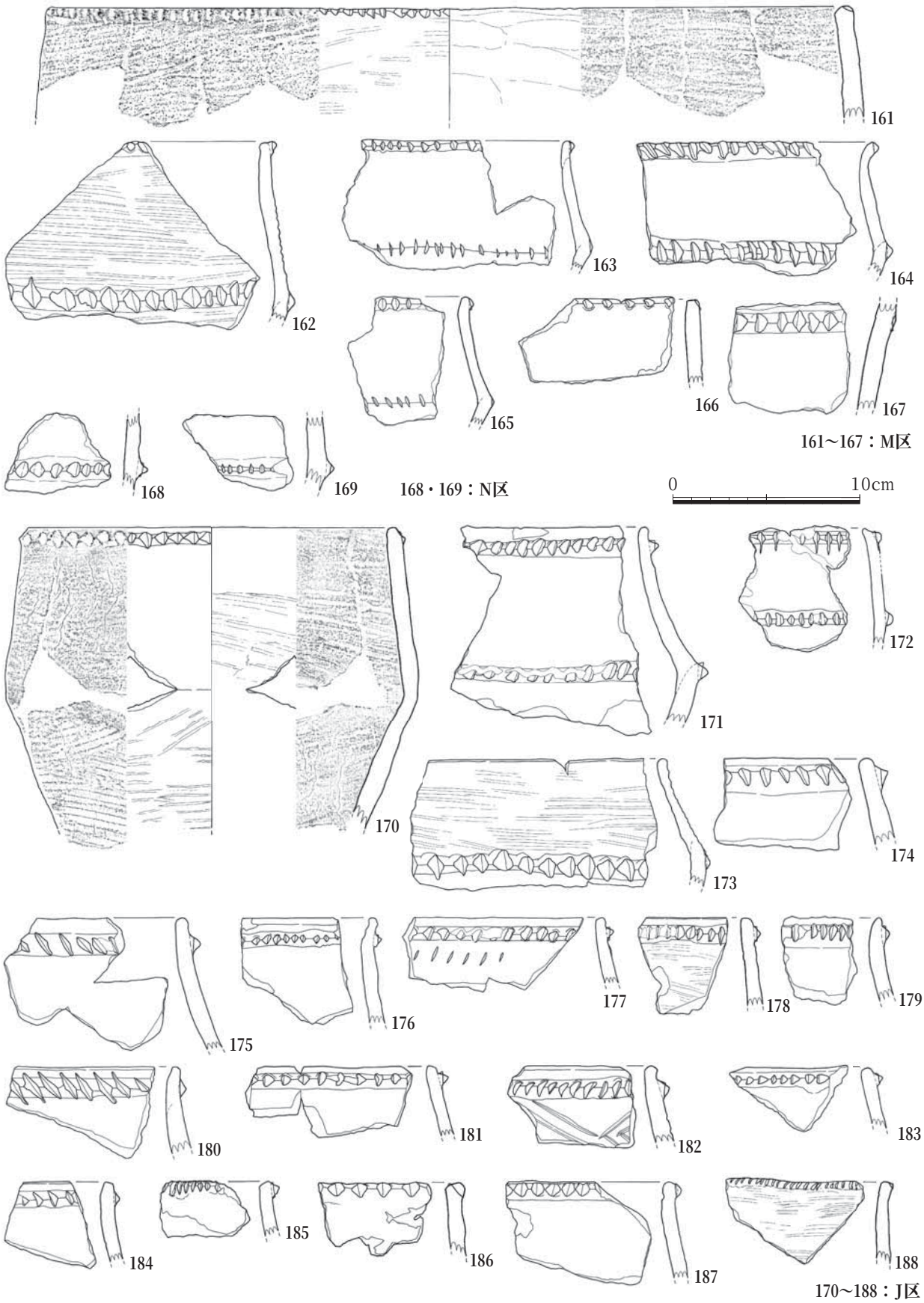
168の屈曲は不明瞭である。**169**は小刻みに刻目を入れる。

170は口縁部突帯のみで胴部には突帯をもたない。また，胴部の屈曲は稜を作らない。突帯は口唇部から0.3cm 下がった位置に貼り付ける。外面の調整は，屈曲部より下位は縦横に貝殻条痕調整を残すが，屈曲部より上位は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。外面の屈曲部より上位には炭化物の付着が認められる。復元口径19.9cm，復元胴部最大径22.0cm を測る。**171**は強く屈曲して内傾する口縁部である。口縁部突帯は口唇部から0.7cm ほどの位置につく。内外面ともにナデ調整が行われている。口縁部突帯の下位にわずかに炭化物が確認できる。**172**は胎土に１～２mm 程度の砂粒を多量に含み，焼成不良である。口唇部は内側に張り出す。口縁部突帯は口唇部にほぼ接している。胴部での屈曲は認められない。**173**の口縁部は強く内傾し，突帯や刻目はもたない。胴部突帯への刻目の施文は大ぶりである。外面には横方向の貝殻条痕調整が行われており，炭化物が付着する。**174**は厚手の器壁である。口縁部突帯は口唇部から0.4cm の位置に貼り付ける。

175はやや外反しながら強く内傾すると思われる口縁部の資料である。口唇部から0.7cm の位置に突帯をもつ。**176**の口唇部は外反しており，突帯は口唇部から0.7cm の位置である。突帯は細く小刻みに刻目が入れられる。外面には炭化物が付着する。**177**の突帯は口唇部から0.7cm 下がる。刻目の工具痕が器壁にもつく。**178**の突帯は口唇部から0.4cm 下がる。**179**は外反する口縁部で，突帯は0.4cm 口唇部から下がった位置である。

180の口縁部突帯は口唇部から0.6cm 下がる。刻目が器壁に到達するほど深く入る。**181**の突帯は口唇部から0.4cm 下がる。刻目の施文工具はヘラ状工具ではなく貝殻腹縁の可能性もある。**182**は口縁部突帯の下に線刻をもつ。突帯は口唇部から0.7cm 下がる。**183**の突帯は口唇部から0.2cm と近接している。**184**の突帯は口唇部から0.5cm 下がった位置につけられる。**185**は口唇部に接して突帯を貼り付け，小刻みに刻目を施す。**186**は口唇部の直接大ぶりの刻目を施す。外面には炭化物が付着する。**187**の突帯は口唇部に接する。**188**は比較的薄手の器壁で，わずかに外反する口唇部には直接細かい刻目が施される。

189～**199**は胴部突帯の資料である。**189**は厚手の器壁で屈曲はなく，最大径付近に突帯をめぐらす。復元胴部最大径は52.4cm である。**190**も明瞭に屈曲することはなく，最大径付近に突帯をもつ。突帯より下位に炭化物の付着がある。**191**の突帯には深く刻目を入れる。**192**は口縁部が強く内傾するものと思われ，外面は丁寧にナデ調整が行われている。**193**は小刻みに刻目を入れる。**194**は突帯部分で屈曲しない。**195**の突帯上位は丁寧にナデ調整を行う。**196**は薄手の器壁で，突帯も細い。外面に炭化物が付着する。**198**は強い屈曲で，刻目が小刻みである。



第95図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑩〕（Ｓ＝１／３）

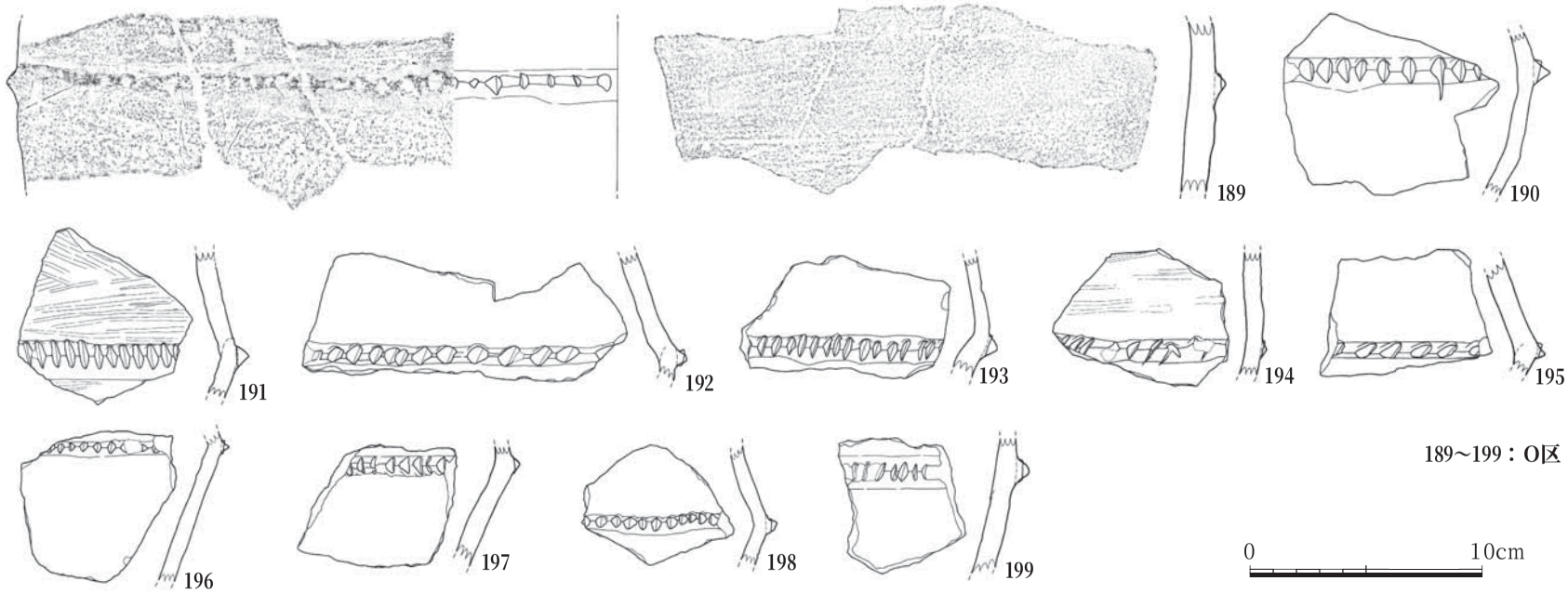
200は胴上位で屈曲するが，胴部突帯も口縁部突帯ももたない。口縁部は直立し，口唇部上面は平坦に整える。胴部には工具小口刺突によるものと思われる刻目が施される。外面，屈曲部より下位は貝殻条痕調整であるが，屈曲部より上位はなで消す。外面，屈曲部より上位に炭化物が付着する。復元口径37.4cm，復元胴部最大径38.1cm を測る。201は小型品で，口縁部はわずかに外傾する。口縁部突帯はなく，口唇部に直接刻目が施される。刻目の原体は貝殻腹縁と思われる。202は外反，内傾する口縁部で，口唇部から0.3cm の位置に突帯がつく。刻目は竹管状工具による刺突であろうか。突帯より下位は丁寧にナデ調整を施している。203は外反，内傾する口縁部で，口縁部には突帯をめぐらすことなく棒状工具による刺突を口唇部に直接行う。また胴部突帯は右から左への方向で押し切るように刻目が入る。204は203と同一個体と思われる。205は比較的薄手の器壁で，口唇部外側に竹管状工具による刺突が施される。外面には炭化物の付着がある。

206は貝殻腹縁による刻目が施される。207は幅0.6cm 程度の工具の小口による刻目である。外面には炭化物が付着する。208は貝殻腹縁によるものと思われる刻目である。外面には炭化物が付着する。209は器面の状態があまり良くないが，刻目は工具小口による刺突であろうか。210は屈曲部に突帯を貼り付けることなく直接工具による刺突を行っている。

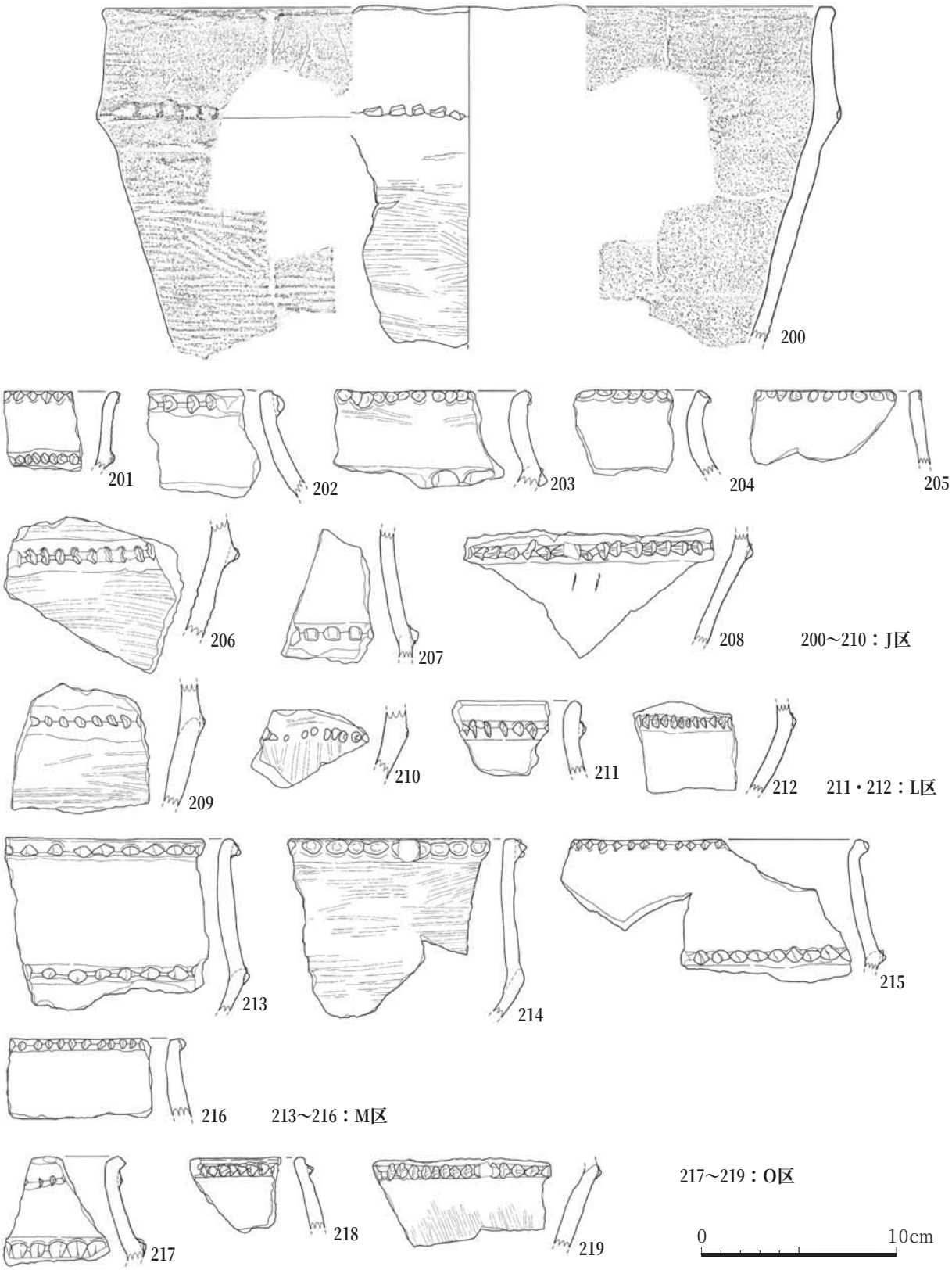
211は口唇部から0.8cm 下がった位置に突帯を貼り付け，刻目は貝殻腹縁によって施す。212は小型品で，貝殻腹縁によって細かく刻目を施す。

213の口縁部突帯は口唇部に接して貼り付けられる。刻目は貝殻腹縁によるものか。214は口唇部に接して貼り付けられた突帯に竹管状工具による刺突を施す。胴屈曲には突帯も刻目ももたない。外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。215はやや内傾する口縁部で，口唇部は外反させて突帯を貼り付けることなく貝殻腹縁による刻目を施す。胴部突帯には指先による刻目が施される。突帯間にはナデ調整が行われている。216は口唇部に接して突帯がめぐらされ，貝殻腹縁による刻目が施される。

217の口唇部は外反し，口唇部から0.4cm の位置に突帯を貼り付ける。口縁部突帯は貝殻腹縁による刻目が，胴部突帯は指先による刻目が施される。218は口唇部から0.4cm の位置に突帯をもつ。刻目は貝殻腹縁によるものである。219は貝殻腹縁による刻目である。



第96図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑪〕（Ｓ＝１/３）



第97図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑫〕（Ｓ＝１/３）

深鉢Ｆ類（第98図～第101図）

深鉢Ａ類～深鉢Ｅ類に含まれないもの，あるいは胴部資料などで器種の断定ができないものを一括する。

1は胴部下半の資料である。大型品のわりに器壁は薄手である。内面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整を行い，外面は縦横に貝殻条痕調整を行ったのちナデ調整を行っている。**2**はやや外傾するものと思われる口縁部の資料で，口唇部には突起をもつ。内外面ともに擦過調整を施す。**3**は非常に厚手の器壁の口縁部で，内外面ともに肥厚させている。**4**は口唇部上面に刻目のある口縁部である。

5は口唇部上面に刻目を施す資料である。外面には貝殻条痕調整が観察される。

6は断面先細りとなる口縁部である。**7**はわずかに内傾するものと思われる口縁部で，外面には横方向の貝殻条痕調整が行われ，口唇部外端に刻目が施される。

8は口唇部上面に刻目と思われる施文がみられる。**9**は外面に沈線を引く。**10**は口唇部を肥厚させており，波状口縁や突起となる可能性もある。**11～13**は外面が肥厚し，段を作る資料である。

14は胴部中ほどの資料で，内面はナデ調整，外面は擦過調整である。**15**も胴部の中ほどの部分で，内面はナデ調整が，外面は縦横の貝殻条痕調整が行われる。**16**は胴部下半の資料で，内面は横方向の貝殻条痕調整が，外面は縦方向の貝殻条痕調整ののちに粗く指ナデが行われている。**17**の調整は，内面は工具によるナデ調整，外面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整である。**18**は胴部下半の資料である。

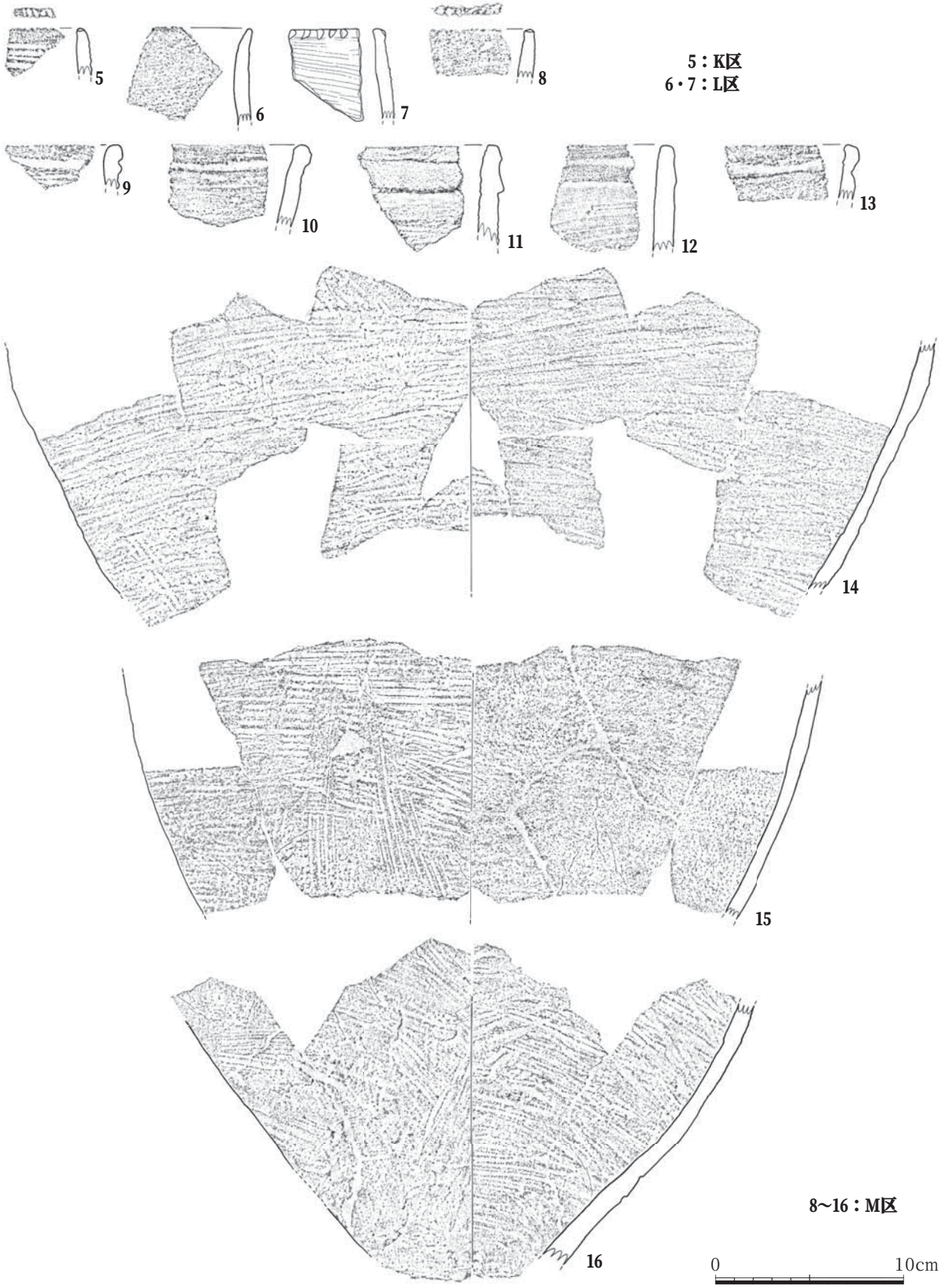
19は胴部下半の資料で，内面はナデ調整が，外面は，最下部は横方向の，それより上位は縦方向の貝殻条痕調整が行われる。内面には炭化物の付着が認められる。**20**は胴部下半の資料で，内面は横方向の貝殻条痕調整が，外面は縦方向の貝殻条痕調整が行われる。内面には炭化物が付着する。**21**は内外面ともに貝殻条痕調整で，内面については軽くなでる。**22**は内外面ともに擦過調整ののちナデ調整を行なっている。**23**は，内面は横方向の貝殻条痕調整ののちナデ調整が，外面は縦横の擦過調整が行われる。**24**は，内面はナデ調整，外面は横方向の擦過調整である。**25**は，内面は丁寧なナデ調整，外面は横方向の貝殻条痕調整である。

26は外面に段を作って肥厚する口縁部である。**27**は内外面ともに丁寧にナデ調整が行われており，粘土紐をカーブさせて貼り付ける。

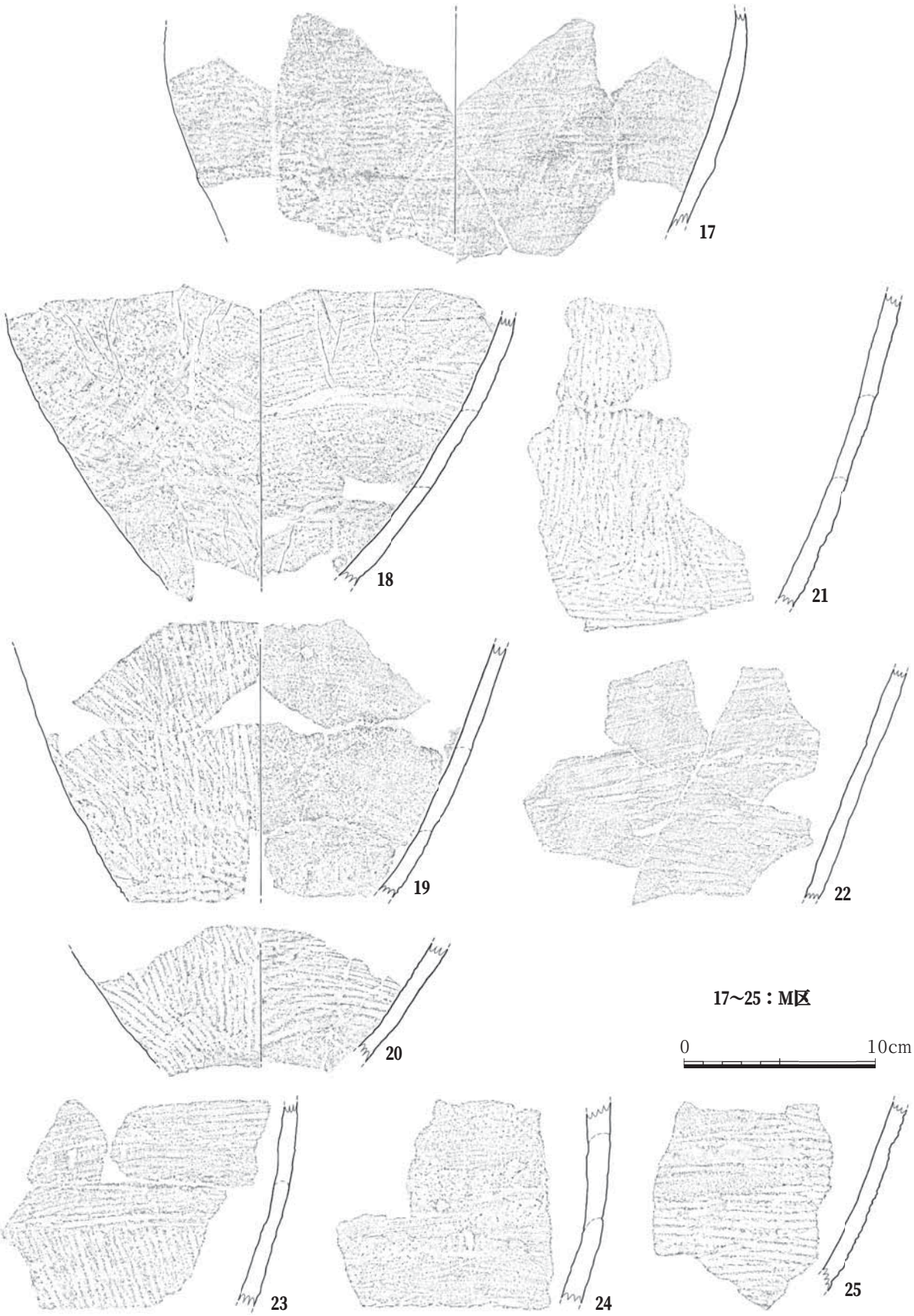
28～37は胴部で強く屈曲して口縁部は内傾する鉢形の同様の器形をなすものと思われる。器面は内外面ともに丁寧なナデ調整か研磨調整を行っており，外面の口唇部から屈曲部より上位にかけて粘土紐を「Ｓ」字状に貼り付ける。

38は強く外反する口縁部の資料である。外面はナデ調整，内面は口唇部付近のみナデ調整，それより下位は擦過調整である。**39**は胴部中ほどの資料で，内外面ともに横方向の貝殻条痕調整が施される。外面には炭化物の付着が観察される。

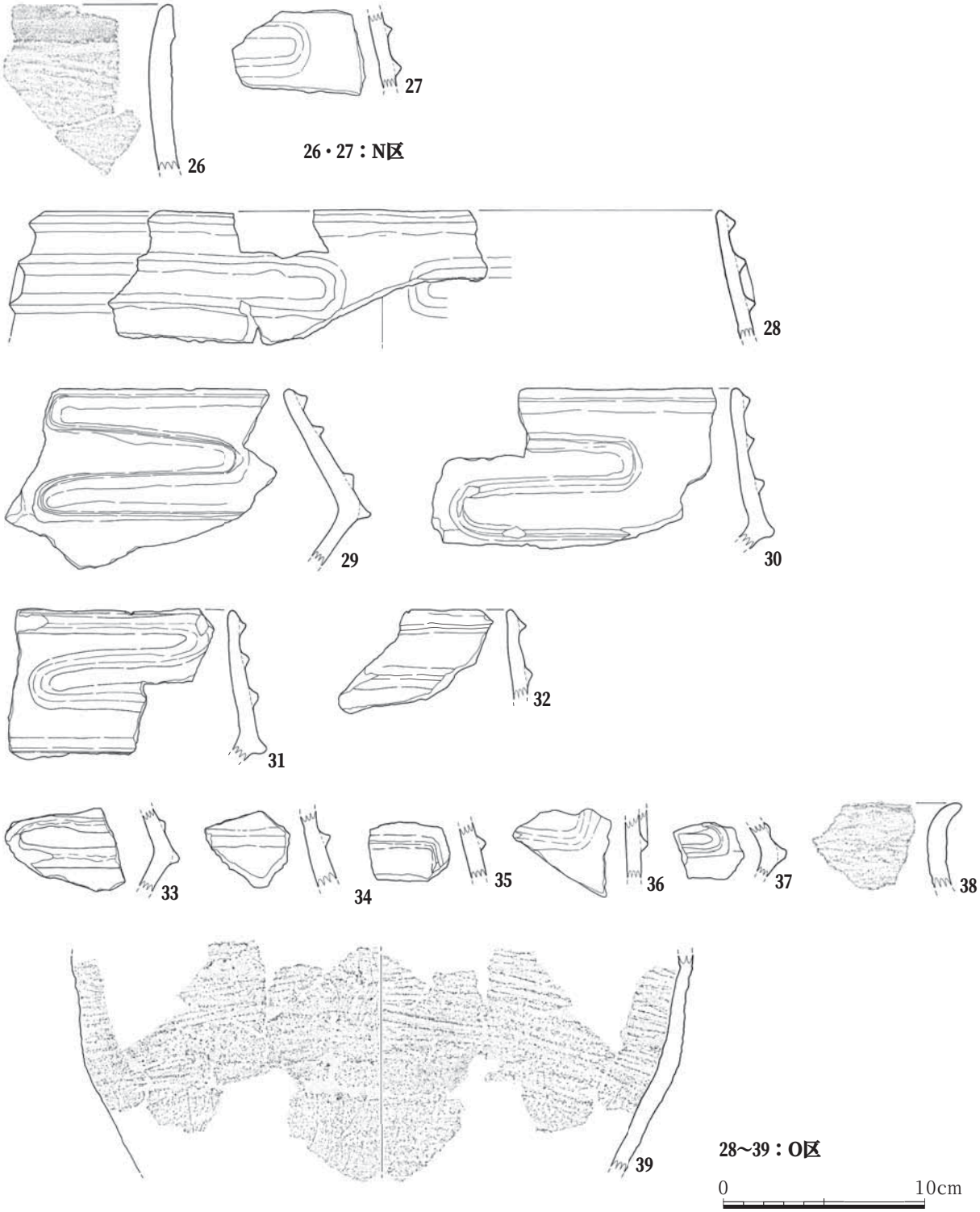
第98図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類①〕（Ｓ＝１/３）



第99図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類②〕（Ｓ＝１/３）



第100図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類③〕（Ｓ＝１/３）



第101図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類④〕（Ｓ＝１/３）

深鉢底部類

深鉢底部A類（第102図）

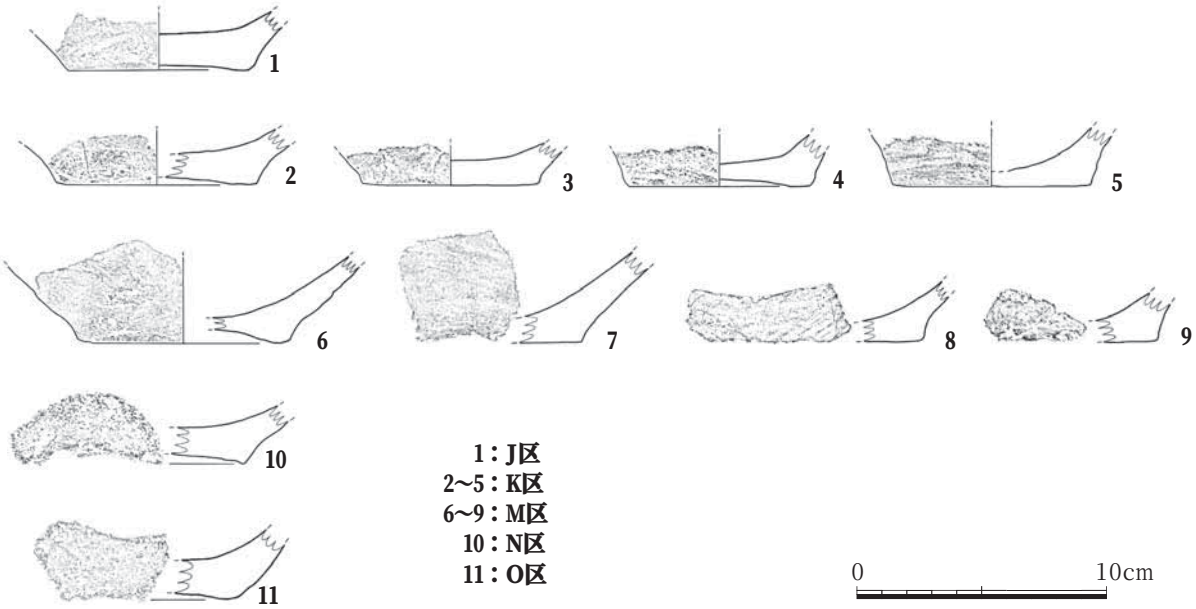
底部から胴部への外面での立ち上がりが連続的で，明瞭な境界をもたないものである。底面は若干の上げ底となっているものが多く認められる。色調や器面調整の具合から深鉢C類の底部である可能性が高いものと思われる。

1はわずかに底面が上げ底となる。

2，**4**は底面がごくわずかに上げ底となる。**3**，**5**は平底である。**5**の底面は貝殻条痕調整ののちにナデ調整を施している。

6は0.5cm程度底面が上げ底となり，底面の器壁厚は0.5cmと薄い。胴部外面には研磨調整が施されている。**7**の内面には炭化物の付着が認められる。

10はわずかに底面が上がる。**11**もわずかに底面が上げ底となり，器壁はやや厚手である。



第102図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部A類〕（S＝1/3）

深鉢底部B類（第103図・第104図）

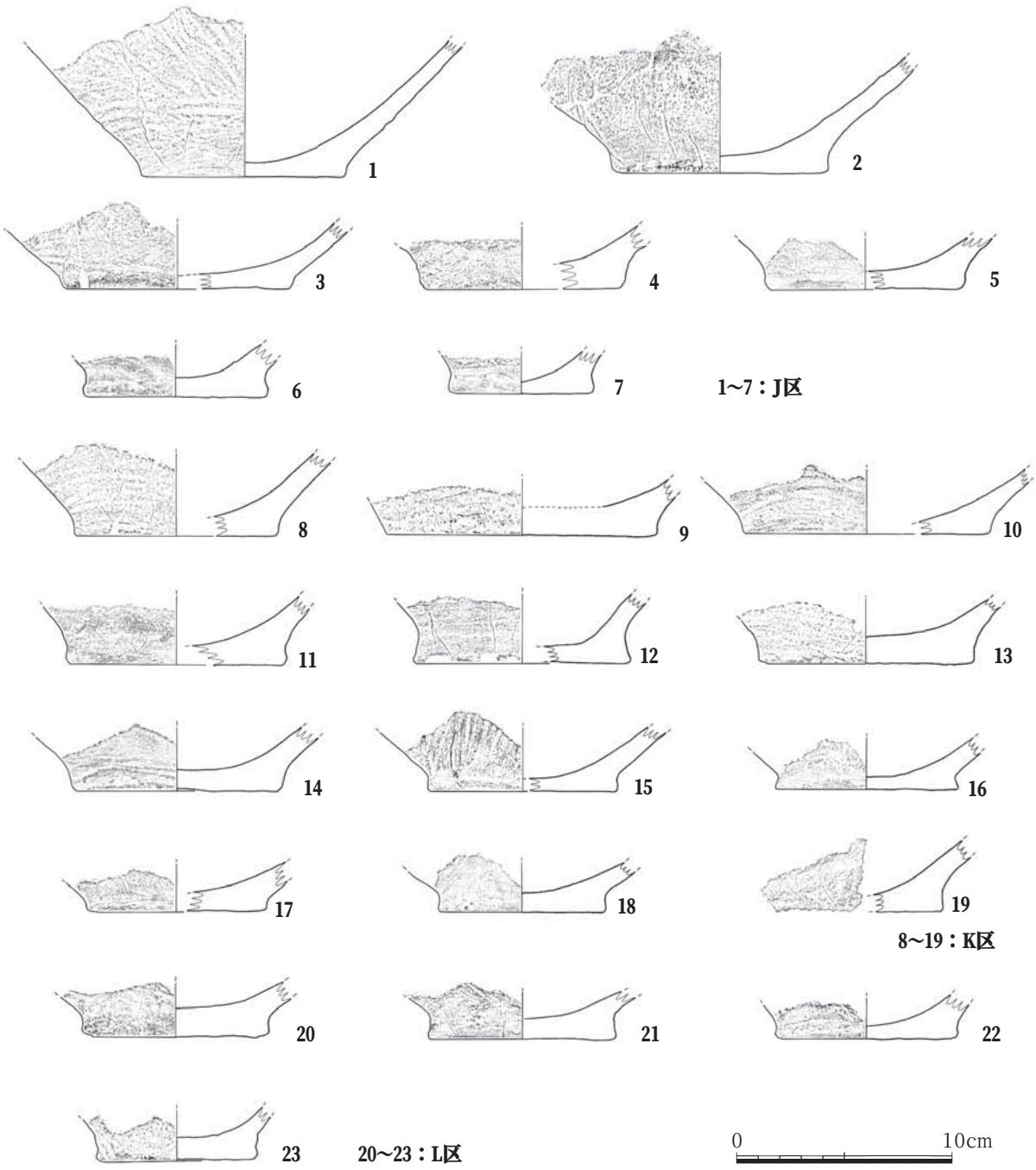
底部外面が垂直に立ち上がるか，わずかに張り出しを作ったのちに胴部へと開く資料である。色調や器面調整から深鉢C類の底部であるものがほとんどであろう。

1は，内面はナデ調整，外面は貝殻条痕調整ののちにナデ調整を行っている。**2**は内外面ともにナデ調整を行っており，内面にはリング状に炭化物が付着する。**3**の外面には貝殻条痕調整の痕跡が認められ，胴部の立ち上がりが浅い。**5**は外面と底面に研磨調整を施す。**7**の内面は研磨調整である。

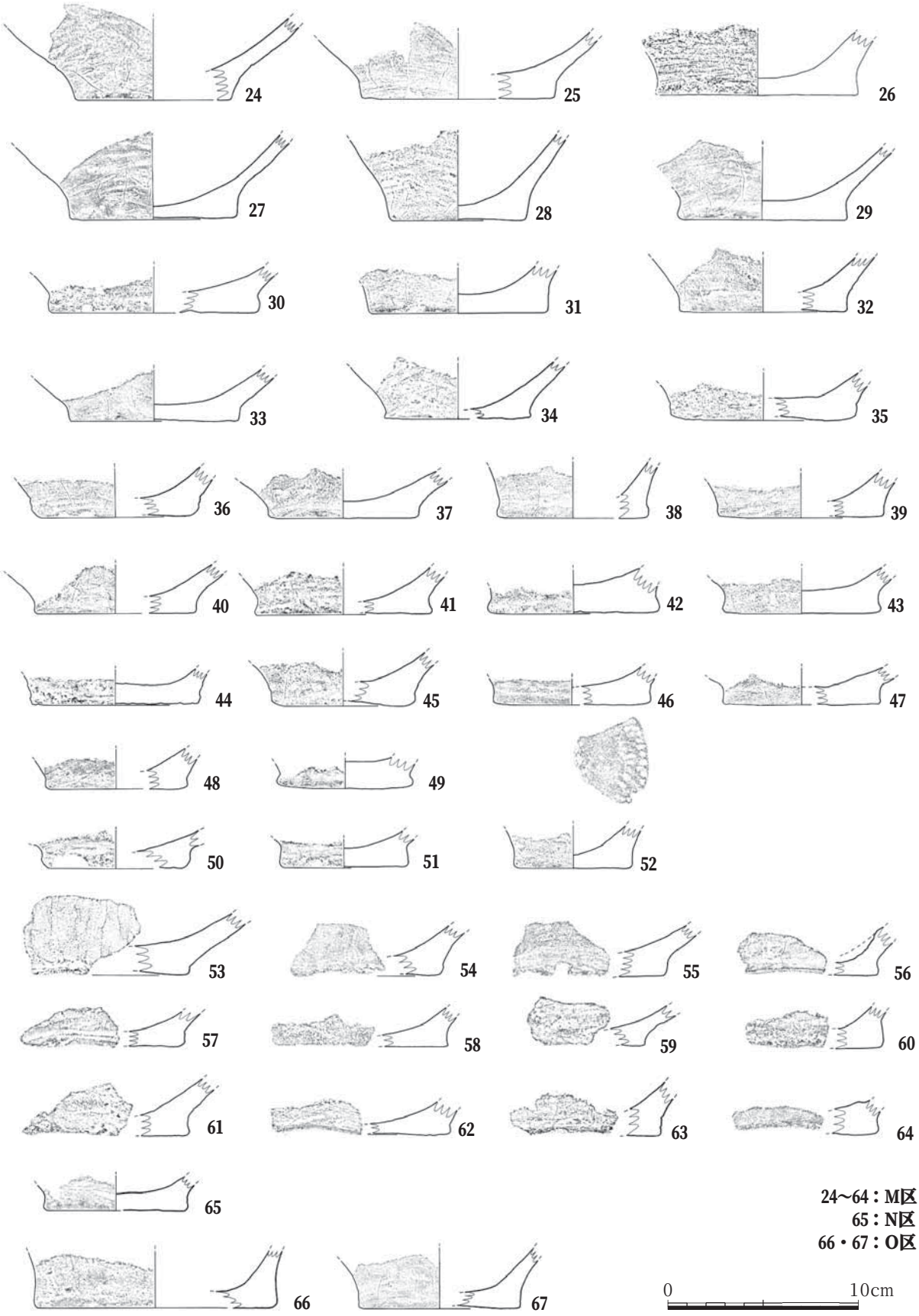
8は内外面ともに貝殻条痕調整ののちにナデ調整を行っている。**9**は復元底径12.5cmと大型である。**10**は底面に研磨調整を施している。**12**は底部断面の張り出しがやや強い。外面には丁寧なナデ調整が行われる。**13**は外面，底面に擦過調整が施される。**15**は内面，底面は研磨調整で，外面は縦方向の貝殻条痕調整の上から研磨調整を行う。**16**は底面に研磨調整を行う。**18**は内面に炭化物の付着がある。**19**は底面と外面に研磨調整を施す。

20は内面に炭化物の付着が観察される。**23**はわずかに底面が上がる。

24は内外面ともに研磨調整を行っている。**25**は内面に炭化物が付着する。**27**は内外面，底面ともに研磨調整を行うが，外面には一次調整の貝殻条痕が残る。**28・29**の外面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を行っている。**30**の底面には擦過調整が認められる。**33**は底面を研磨する。**34**の内面には炭化物が付着する。**35**は底面に擦過調整を施す。**37**の底面は研磨調整である。**41**は断面がやや張り出しをもつ。**46**の底面には籠目と思われる組織痕が残る。**51**は断面がやや張り出しをもつ。**53**の外面には擦過調整ののち研磨調整が施される。**57**の底面は擦過調整が施され，外面の底部と胴部の境界には明瞭に段を作る。あるいは浅鉢類の底部である可能性もある。**67**はわずかに底面が上がる。



第103図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部B類①〕（S＝1／3）



第104図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部B類②〕（S＝1／3）

深鉢底部Ｃ類（第105図～第107図）

底部断面がしっかりとした張り出しをもつ資料である。底面には葉脈や網代の圧痕をもつものもみられる。胴部が残存するものなどには貝殻条痕調整が明瞭に残されているものも多くみられ，深鉢底部Ｂ類よりは粗雑化の進んだ後出のものが多いとみてよかろう。

1の外面には斜方向の貝殻条痕調整が観察される。**4**は小礫を多く含んだ胎土で，焼成が甘い。内底面中央に高まりをもつ。**6**は比較的径が小さく，内面に擦過調整が施される。

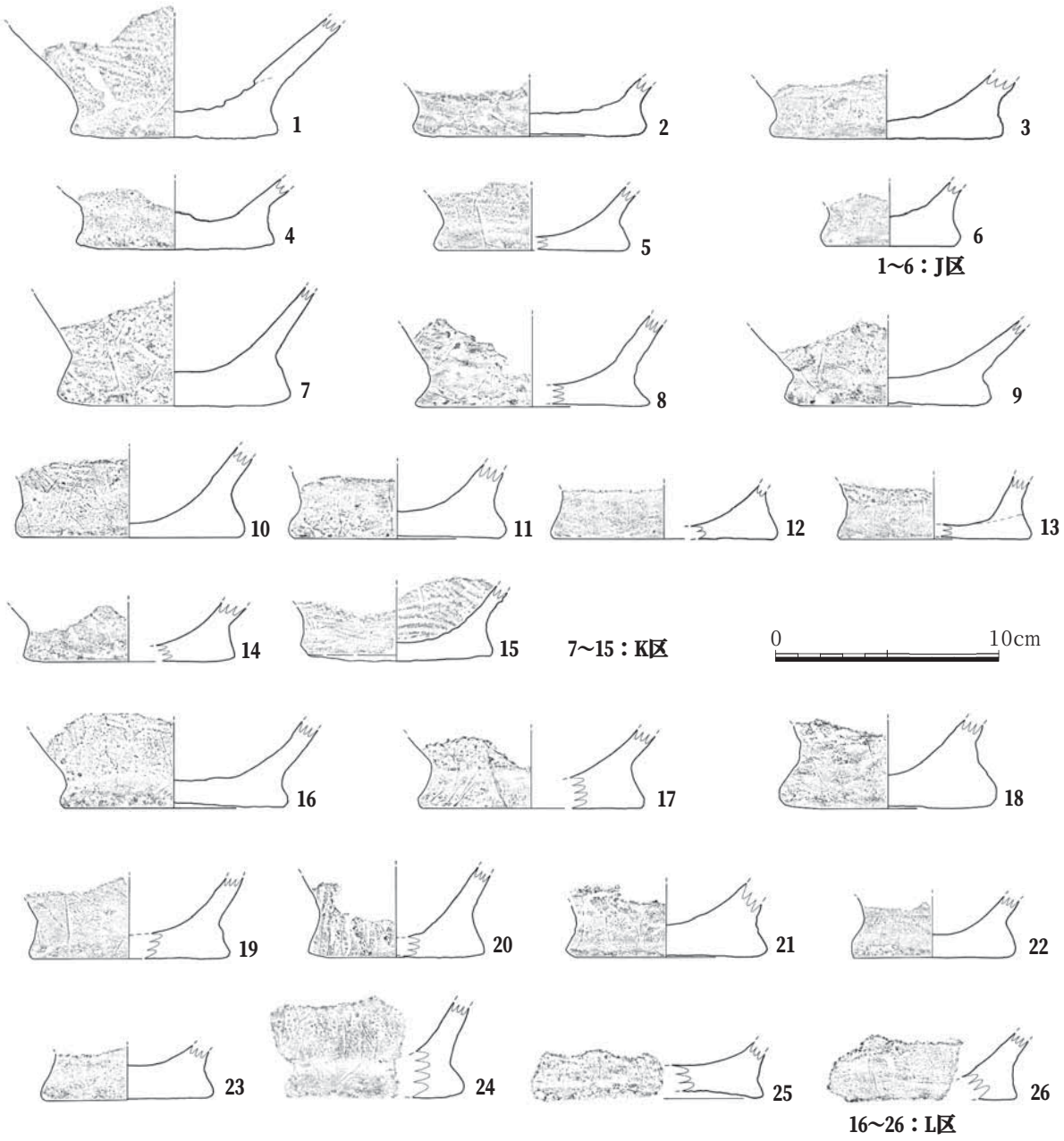
8は断面の張り出しが高さのわりに外へとのびて尖り気味である。底面には研磨調整が行われる。**11**はわずかに底面が上がっており，研磨調整が行われている。**13**は円盤状の底面に胴部を貼り付けており，内面の立ち上がりが明瞭である。**15**は内面に貝殻条痕調整が顕著に残る。

16の底面は擦過調整によりわずかに上げ底となる。**18**はしっかりとした張り出しをもつ。**19**の内面には炭化物が付着する。**20**の外面には縦方向の貝殻条痕調整が施される。**25**の底面は擦過調整によりやや上がる。

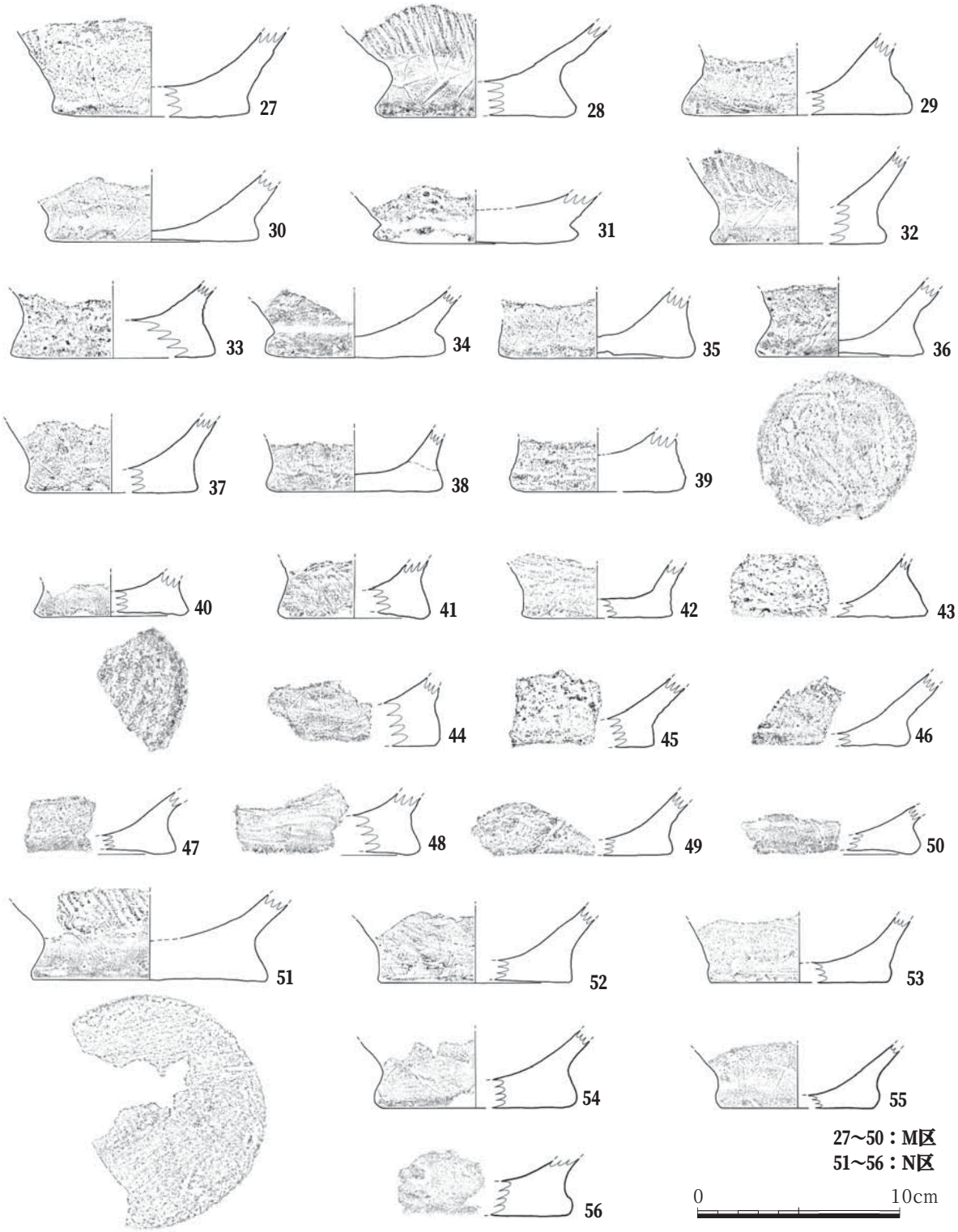
27の断面張り出しは小さめで，外面のナデ調整は粗い印象を受ける。**28**はしっかりとした断面張り出しをもち，胴部外面には縦方向の貝殻条痕調整が施される。**29**の断面張り出しもしっかりとしたものである。**32**の外面には縦方向の貝殻条痕調整が認められる。**35**の底面はわずかに上がる。**36**の底面もナデ調整によりわずかに上がる。**40・41**の底面は擦過調整によりわずかに上がる。**47**，**50**も上げ底となる資料である。

51の底面には擦過調整が施される。**52**の外面には横方向に貝殻条痕調整が行われる。

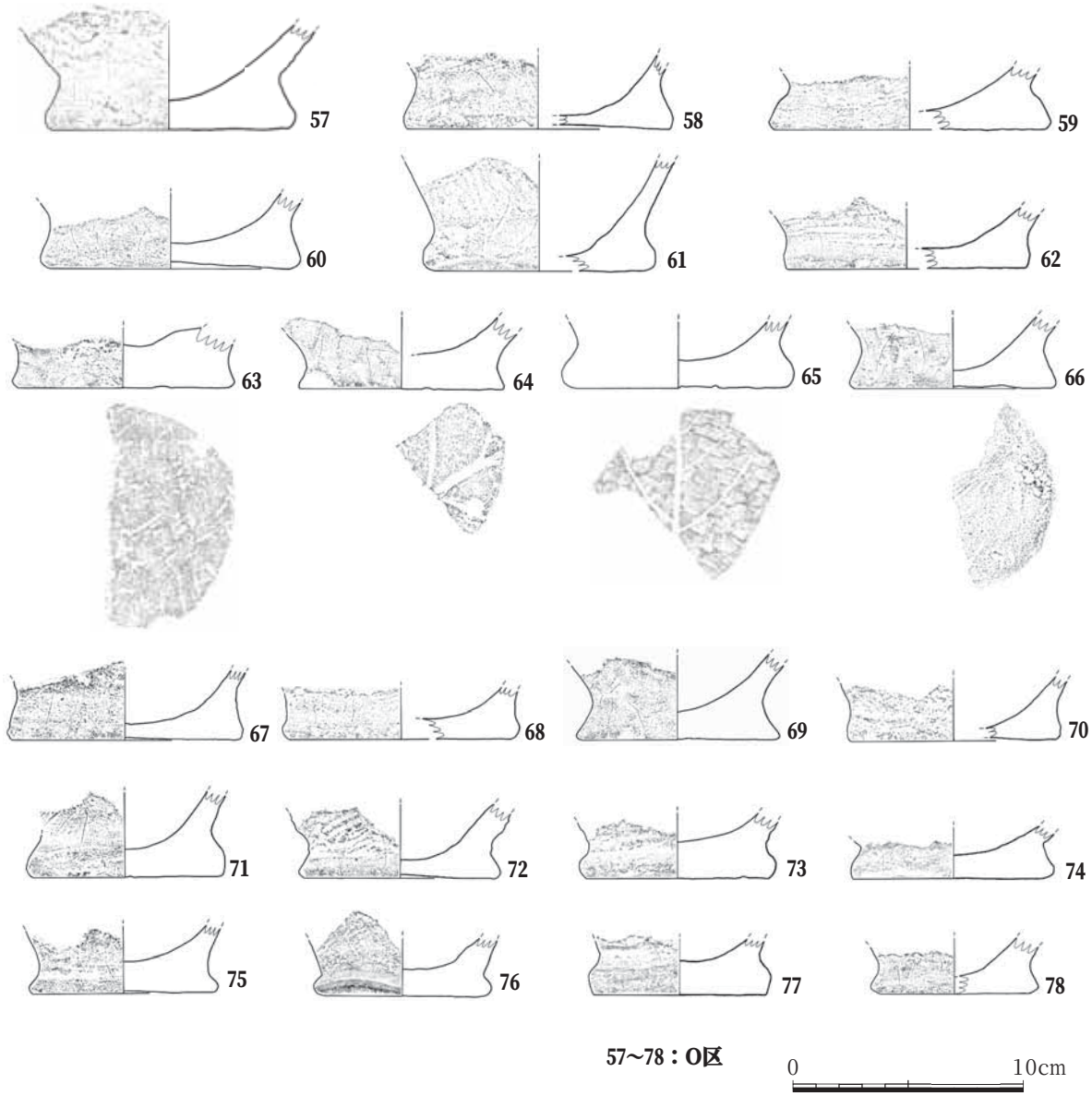
57はしっかりとした張り出しをもつ資料で，黒斑であろうか，器面は黒色である。**58**の底面は非常に薄手で，わずかに上がる。**63**の底面には擦過調整が観察される。**64**の底面には葉脈圧痕が観察される。**65**の底面には葉脈圧痕と網代圧痕が観察される。成形時とその後の乾燥時の敷物の痕跡と推察される。**66**の底面は擦過調整によりわずかに上がる。**71**の底面には研磨調整が行われる。**73**の底面には擦過調整が施される。



第105図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部C類①〕（S＝1／3）



第106図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部C類②〕（S＝1/3）



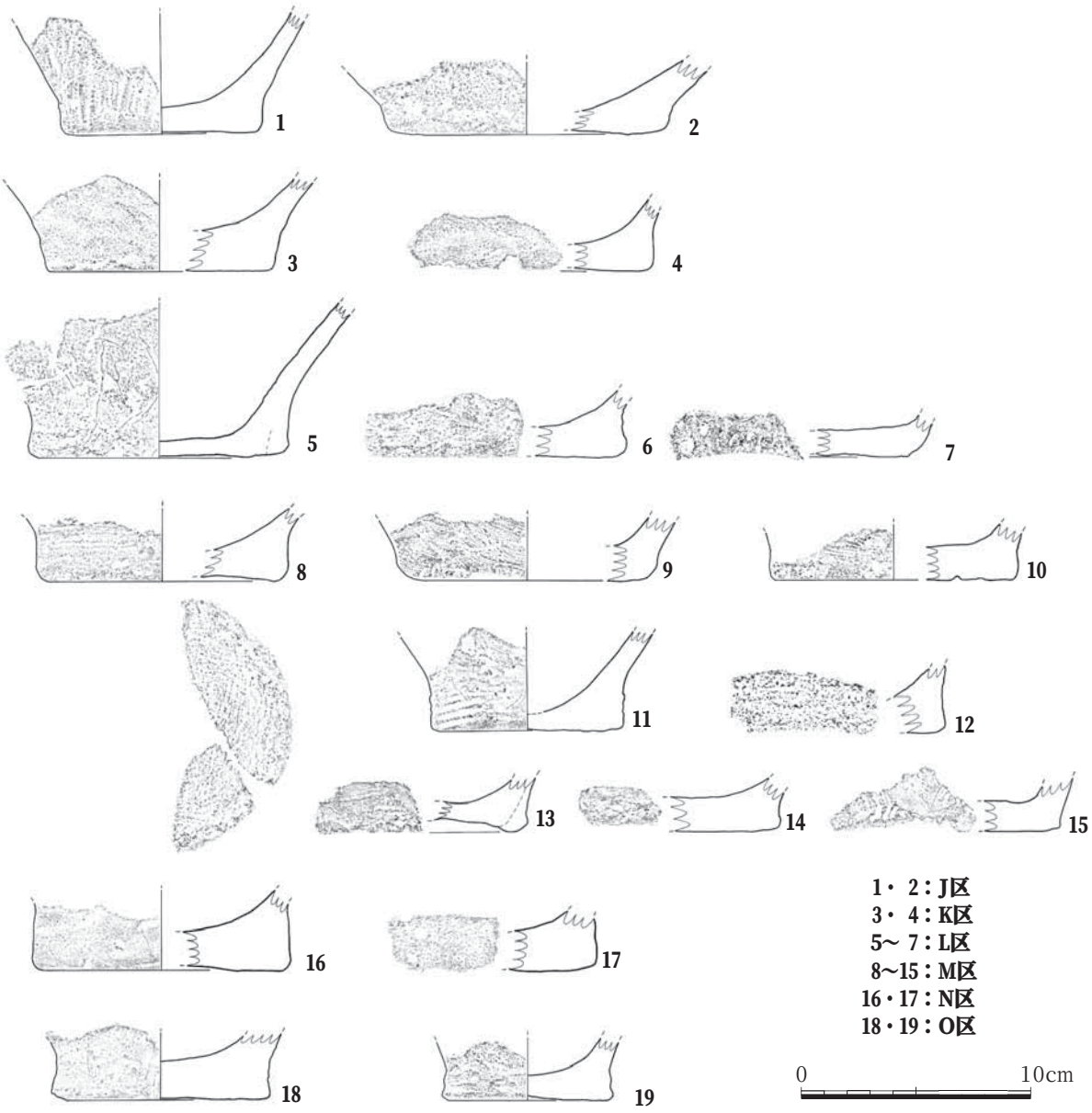
第107図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部C類③〕（S＝1／3）

深鉢底部D類（第108図）

深鉢底部C類のような断面張り出しはもたないが，調整や色調は深鉢C類と似通っており，やや粗雑な作りの印象を受けるものである。

1の外面には縦方向の貝殻条痕調整が施される。**5**の外面には縦方向の研磨調整が施される。内面は底面から胴部への立ちあがりが比較的明瞭で，内面胴部最下位には横方向の貝殻条痕調整が行われる。また，内面にはリング状に厚い炭化物の付着がみられる。**7**は内外面ともに擦過調整が行われており，内面には厚く炭化物が付着する。

8の底面には擦過調整が行われる。**11**の外面には横方向の貝殻条痕調整が観察される。**13**は擦過調整により底面は上げ底となっており，内面には炭化物が付着する。



第108図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部D類〕（S＝1/3）

深鉢底部Ｅ類（第109図～第112図）

深鉢Ｃ類同様，断面に張り出しをもつものであるが，より底面は厚く高さがある。しっかりとした上げ底となっているものも多くみられる。また胴部との境界となるくびれ部分に突帯や刻目突帯をめぐらすものもある。

1は底面に組織痕が観察される資料である。**2**の底面は擦過調整ののちにナデ調整を行っている。**3**の底面は貝殻による掻き取りを行っており，条痕が残る。**4**の底面は擦過調整により若干上がる。**7**の底面には葉脈の圧痕が残る。内面には炭化物が付着する。**8**は底面がわずかに上がり，外面には横方向の貝殻条痕調整が行われる。**9**はくびれ部に断面三角の突帯をめぐらす。**10**はナデ調整による底面は若干上がり，くびれ部には刻目突帯をめぐらす。刻目はヘラか薄手の工具である。**11**はしっかりとした上げ底である。**12**も粘土を掻き取るような擦過調整で上げ底とする。**13**は小型品で，しっかりとした上げ底となる。**14**も上げ底となっており，くびれ部には突帯をめぐらし，竹管状工具による刺突を施す。**15**は中央に孔をもつドーナツ状の底面から４本の支脚が立ち上がり，その上に器部がのる。４本の支脚部分にはそれぞれ「Ｘ」字状に交差させた突帯を貼り付け，刻目を施して装飾する。

16の底面には貝殻条痕調整が残る。**17**はしっかりとした上げ底となる。

18の底面は擦過調整により上げ底となる。**19**はしっかりとした上げ底で，外面には横方向の貝殻条痕調整が行われる。**20**も上げ底の資料で，くびれの突帯には竹ヒゴ状の細い工具による刺突が施される。

21の底面はナデ調整により若干上がる。**22**の底面には擦過調整が施される。**23**は擦過調整により底面は上がり，外面の張り出し部には丁寧にナデ調整を行っている。内面には炭化物が付着する。**24～27**の底面には擦過調整が観察される。**28**の底面には周縁部を中心に組織痕が観察される。内面には厚く炭化物が付着する。

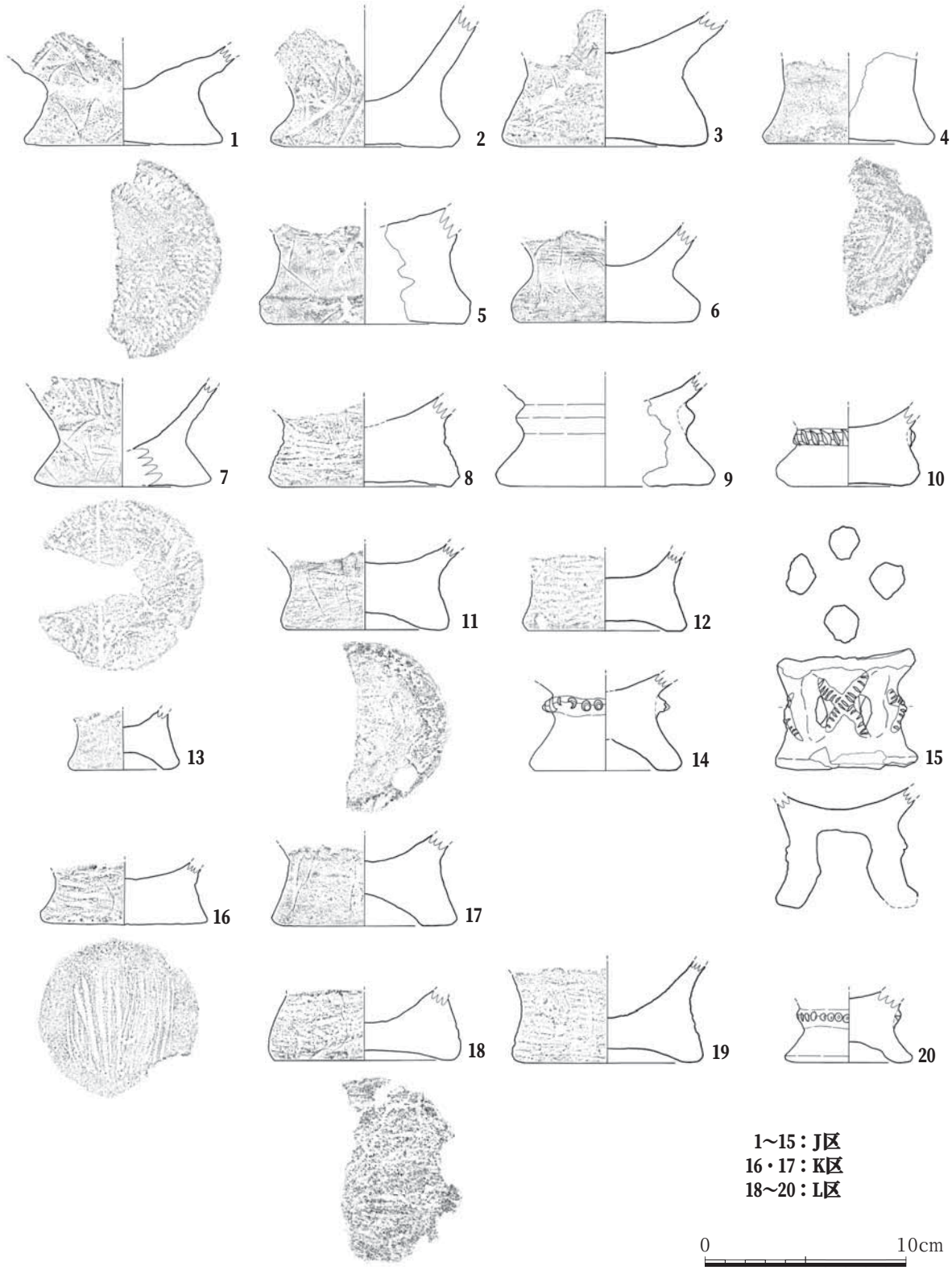
29の底面は中央部をくぼませる。内面にはリング状に炭化物が付着する。**30**の底面には擦過調整が施される。**31**の底面中央部は擦過調整によりわずかに上がる。**32**の底面には擦過調整が観察される。張り出し部が一部剥落しており，粘土の継ぎ足しにより張り出しが強調されたことがうかがわれる。**33**の底面には網代圧痕が観察される。**34**の底面には貝殻条痕調整が行われている。**36**はわずかに上げ底となる。**37**の底面は中央部にくぼみをもつ。**41**は内面に炭化物の付着がる。**47**は丁寧なナデ調整が施しており，張り出し部の形状が特徴的である。**51**はくびれ部に突帯をめぐらす。刻目は施さない。**52**は透かしをもつものである。

53は大型品の底部で，しっかりとした上げ底となる。**54**の底面は粘土掻き取りによって上げ底となしており，周縁部には網代圧痕が残る。**55**は上げ底となる資料で，貝殻条痕が残る。くびれ部には突帯をめぐらす。**57**は底面，外面に貝殻条痕調整が観察される。**58**はしっかりとした上げ底である。**59**は底面は削り出しによって上げ底となす。また，外面は張り出し部に沈線を引き，その上位は鋸歯状の文様を削り出しによって一周させる。**60**の外面には貝殻条痕調整がみられる。**61・62**は掻き取りによって上げ底となす。**63**の上げ底部はナデ調整を行っている。**64**は掻き取りによって上げ底となす。

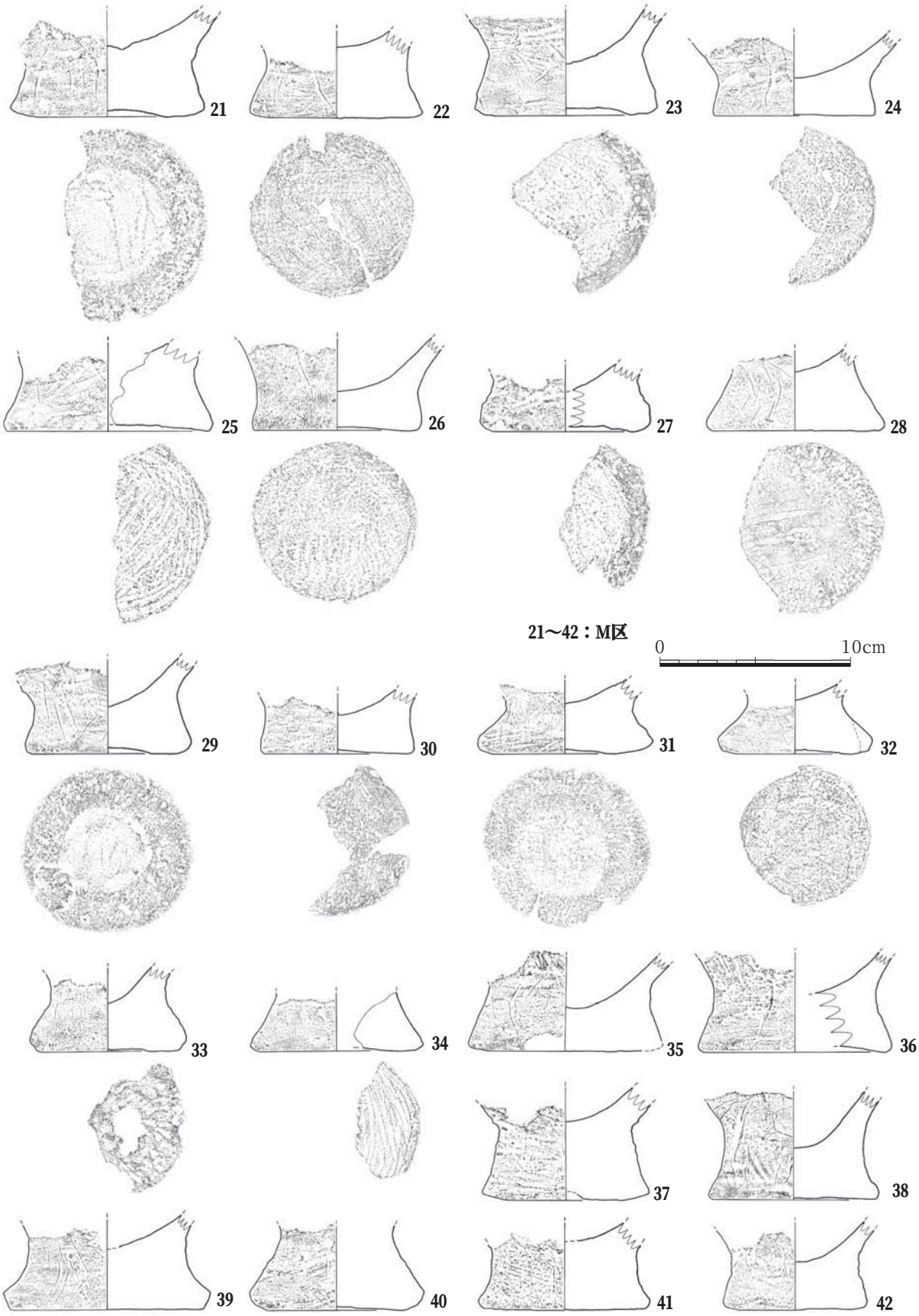
68はしっかりとした上げ底で，外面には突帯を貼り付け，その下位には段を設ける。**69**の外面には横方向の貝殻条痕調整が行われる。

72は小型品の底部でわずかに上げ底となる。**73**の張り出しは他と比べると低く外へと出る。

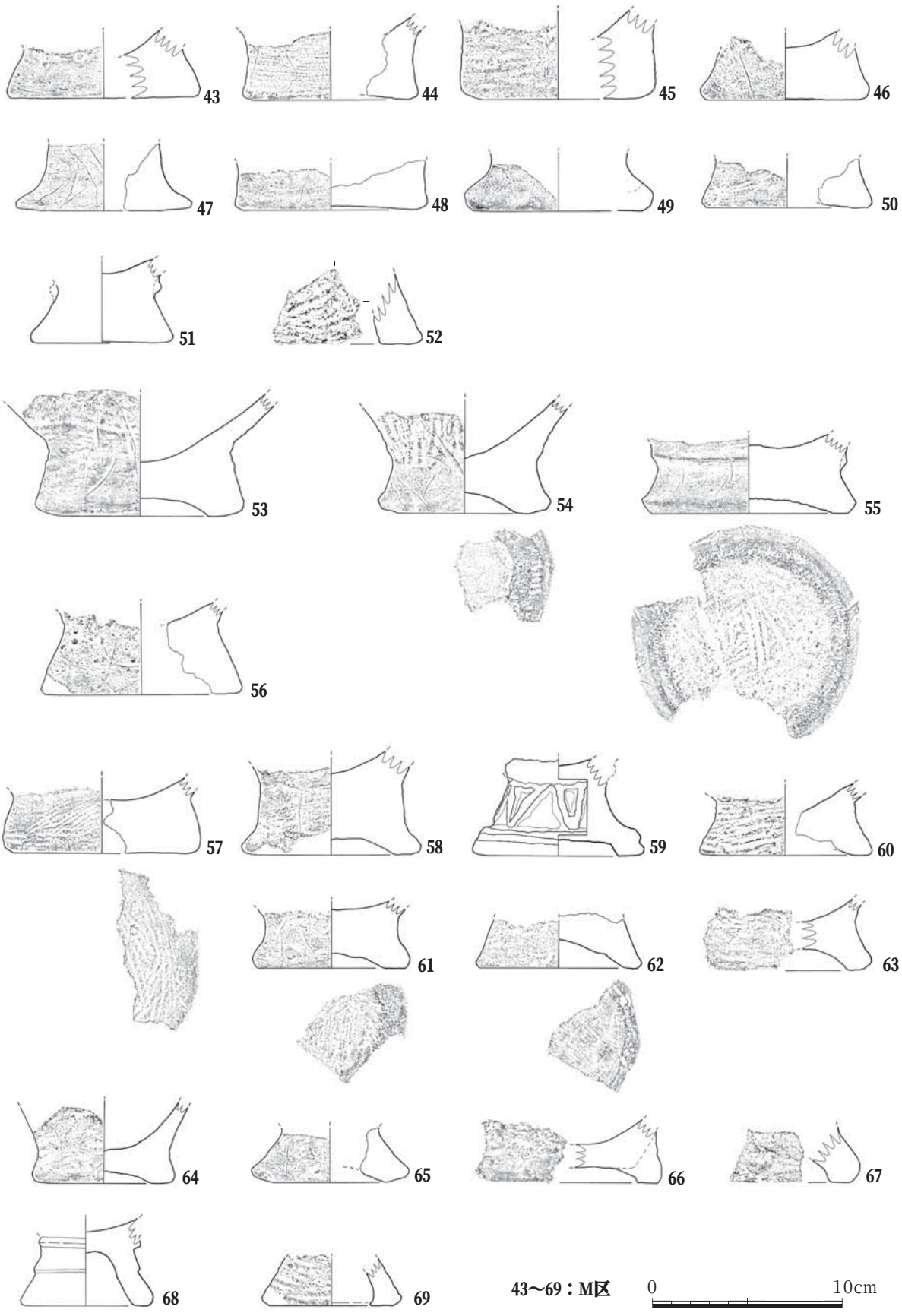
75の外面には張り出し部を含め縦方向の貝殻条痕調整が行われる。**76**は全体に研磨調整が行われる。**77**の底面には貝殻条痕調整が残る。**79**は比較的小型ではあるがしっかりとした強い張り出しをもち，底面の上げ底も明瞭に作り出す。**80**の底面には上げ底とするための掻き取りの擦過調整がみられる。**81**の底面には擦過調整がみられる。外面には炭化物が付着する。**82**の底面は上げ底となるが，丁寧にナデ調整を行っている。



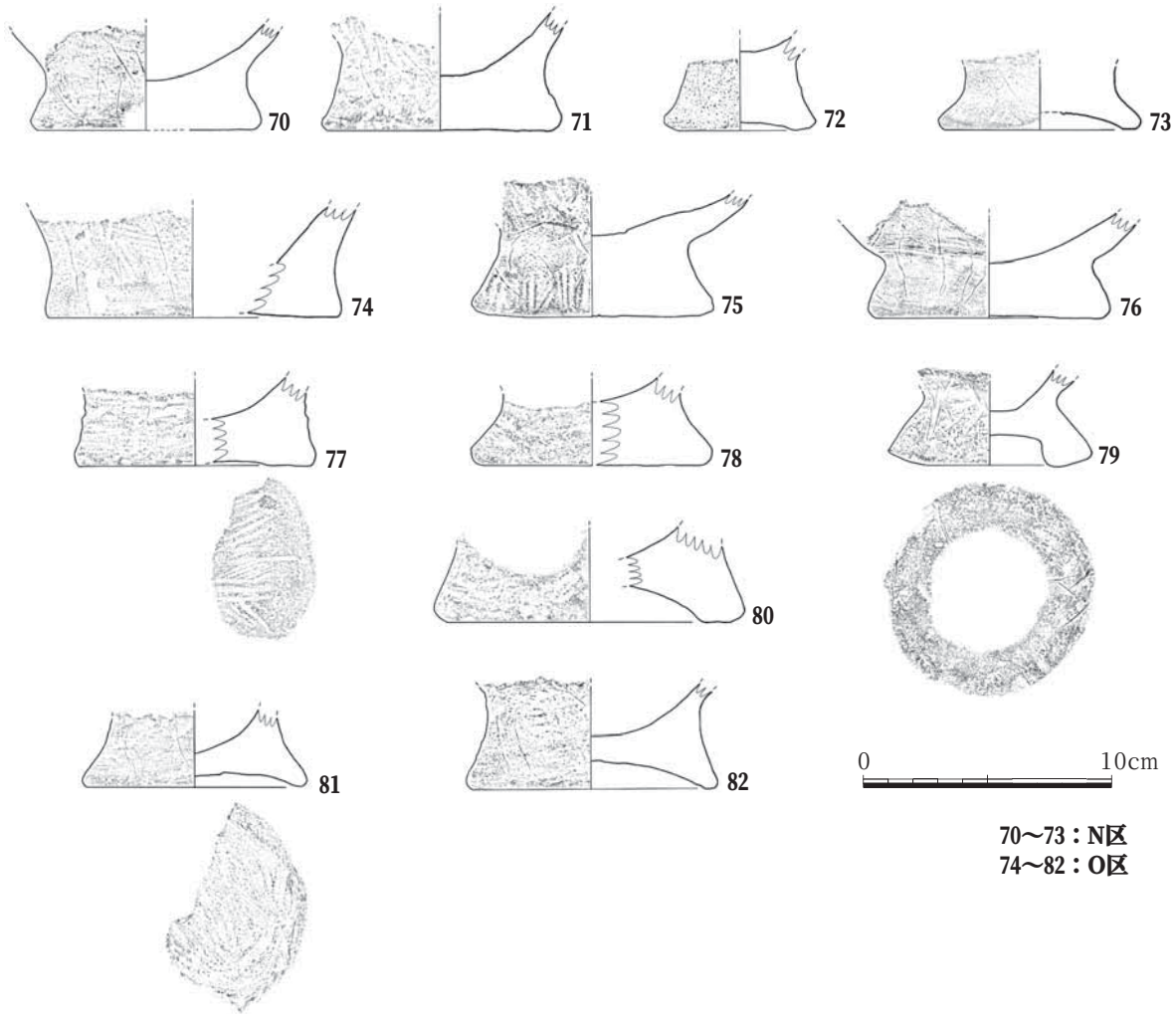
第109図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類①〕（Ｓ＝１/３）



第110図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類②〕（Ｓ＝１/３）



第111図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部E類③〕（S＝1／3）



70～73：N区
74～82：O区

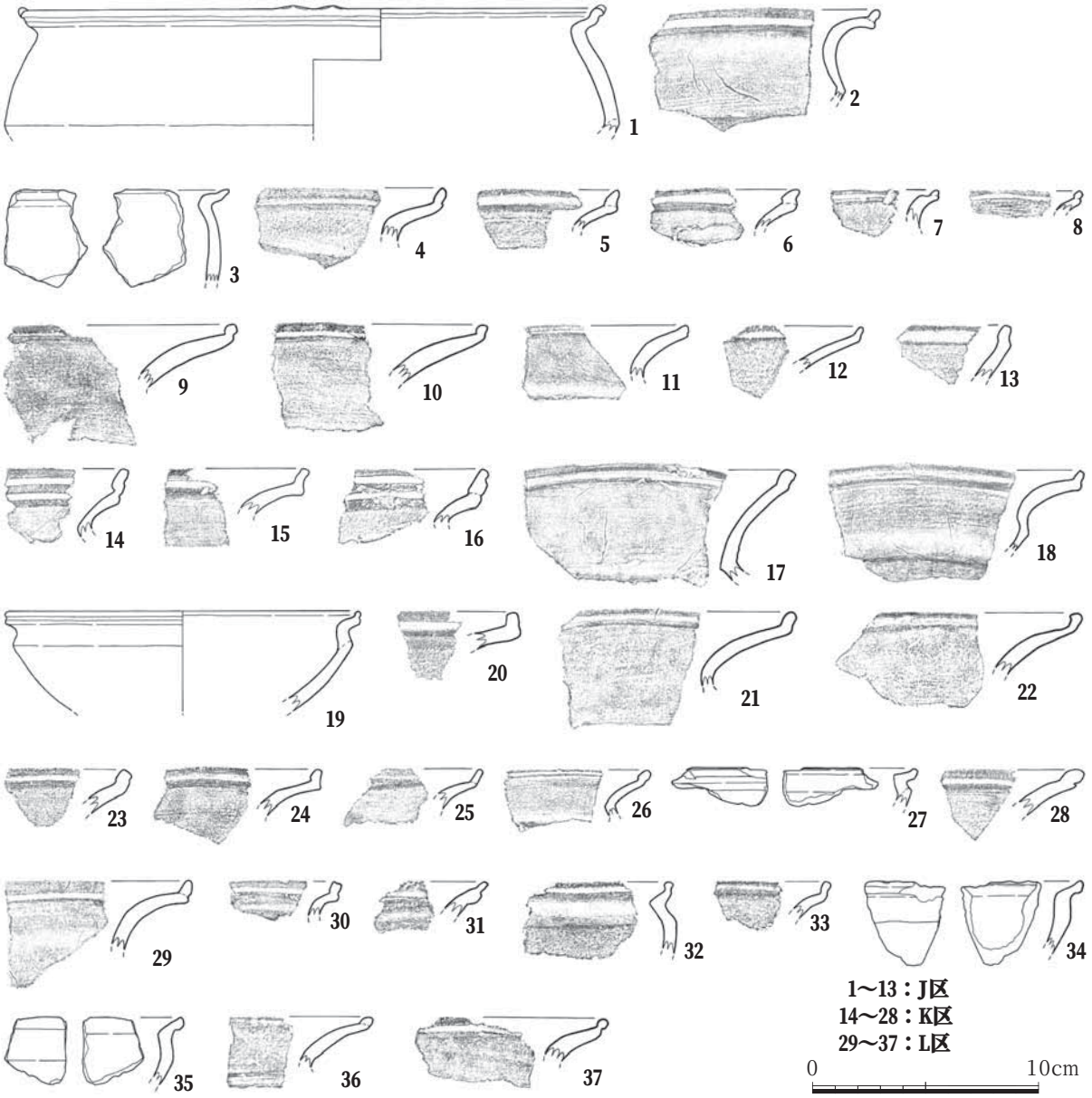
第112図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類④〕（Ｓ＝１/３）

浅鉢形土器

浅鉢A類（第113図・第114図）

長く伸びる頸部に短い口縁部が立ち上がるものである。頸部は内傾して上位で強く外反するものと，大きく外へ開くものとがみられる。口縁部外面には沈線を引くものと引かないものとがある。底部は多くが丸底になると思われ，膨らみをもった胴部からいったん屈曲して頸部に至るものとみられる。

1の頸部は緩く丸みを帯びて内傾し，上位は強く外反する。口縁部はやや外傾し，口縁部外面には沈線１条を引く。口唇部には突起をもつ。復元口径25.1cmである。**2**の頸部は非常に強く外反する。口縁部はやや外傾し，外面に沈線を引く。**3**は胴部と頸部の境界が明確でない。外傾する短い口縁部の外面には沈線を引く。**4～12**は短く立ち上がる口縁部の外面に沈線１条を引く。**13**の口縁部外面には凹線を引く。



第113図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢A類①〕（S＝1/3）

14，**16**の口縁部の立ち上がりは他に比べればやや高く，外面に２条の沈線を引き，内面は頸部と口縁部との境界に段を設ける。**15**は口縁部外面に凹線を引く。**18**の口縁部には沈線を引いたものと思われるが，その後の研磨調整によって凹線状となっている。**19**は浅い胴部に短い強く外反する頸部がつき口縁部がつく。口縁部外面には沈線１条を引く。復元口径15.3cm である。**21**，**24**の口縁部外面には凹線１条が引かれる。**27**の口縁部には沈線も凹線ももたない。

31の口縁部はやや幅広で，外面に沈線１条を引く。**34・35**は短い頸部にごく小さく口縁部がつく。口縁部外面には沈線を引かない。

38の頸部は内傾して立ち上がり上位で強く外反する。口縁部はやや外傾し，外面には１条の沈線を引く。口唇部にはリボン状突起を付す。復元口径は17.0cm である。**39・40**の頸部は内傾して上位で強く外反し，短く口縁部が立ちあがる。**41**はやや幅のある口縁部で，外面は沈線を意識したものか，あいまいな段がみられる。

50は胴部と頸部の接続部で剥離した資料で，頸部は大きく外反し，短い口縁部の外面には１条の沈線を引く。復元口径は46.5cm である。**55**の外面には炭化物が付着する。**60**の口縁部外面には凹線１条を引く。**61**の器壁は非常に薄く，精緻な作りである。**66〜71**，**73〜75**の口縁部には沈線も凹線も引かない。

76〜78は口縁部外面に沈線１条を引く。**79**は頸部から口縁部が角度をもってわずかに立ち上がるため浅鉢Ａ類としたが，他に比べれば器壁が薄く，内面にも沈線を引くことから他器種の可能性もある。

浅鉢Ｂ類（第115図・第116図）

丸底の底部から膨らみのある胴部を経て，屈曲して肩部を作り，長い頸部は大きく外へ開いて口縁部へと至る。口縁部は浅鉢Ａ類と異なり立ち上がりはもたず，玉縁状となる。口唇部外面には沈線を引くものと引かないものとがみられる。

１〜12は口縁部外面に沈線をもち，**13〜16**は沈線をもたない。**１**は頸部下位で強く外反し，口縁部へは開いて立ち上がる。**２・３**は内面の頸部下位で稜を形成している。**14**の頸部は非常に短く，鋭角の肩部を作る。

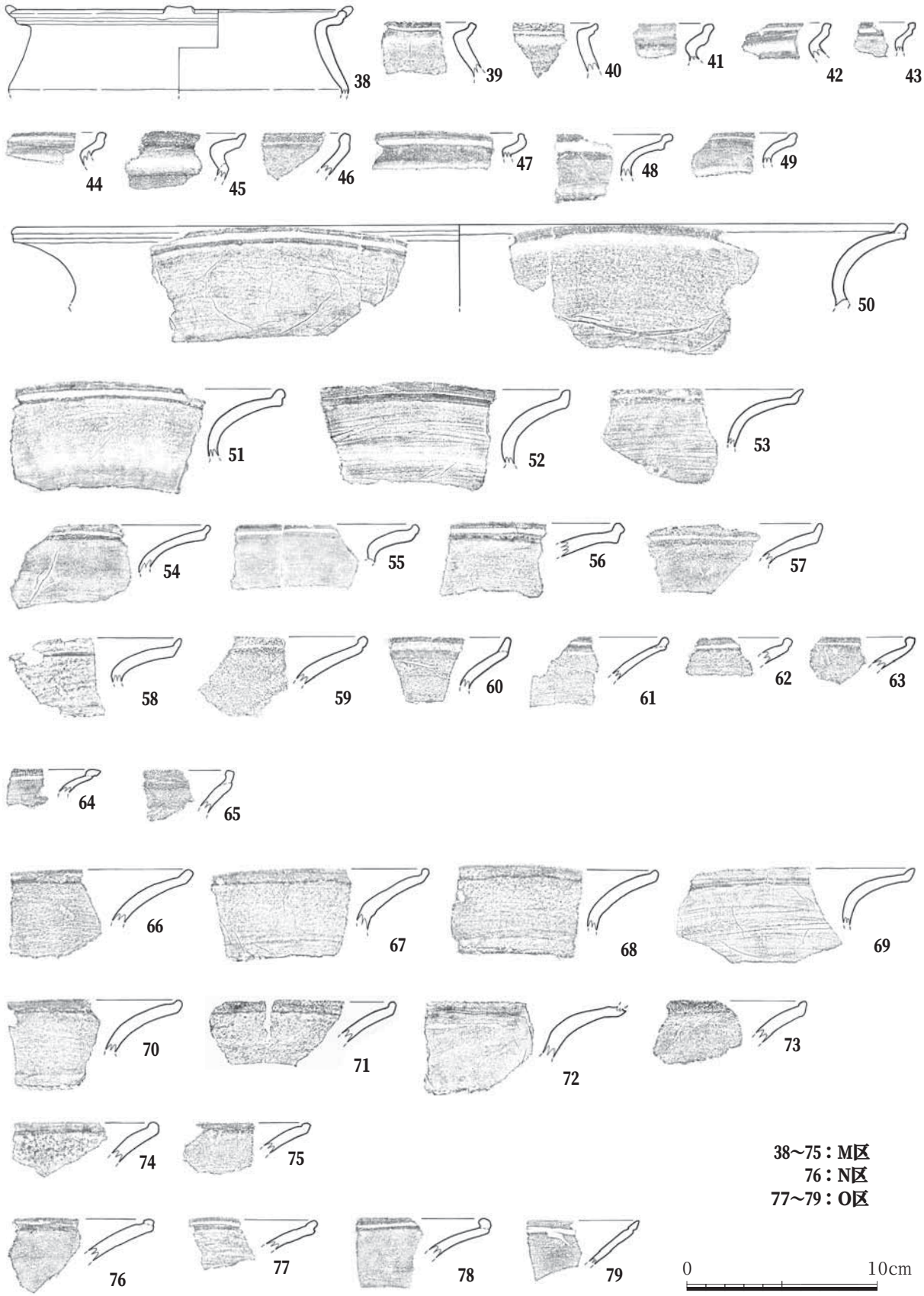
17は大型品と思われ，大ぶりの玉縁である。**18**は屈曲から内傾する頸部下位で大きく外反し，外に開く口縁部に至る。**20**の口縁部外面には沈線を引かない。

21は非常に薄手の作りで，口縁部の玉縁の外面には沈線ではなく段を設ける。**22**は外面ではなく立ち上がり部分に沈線を引くが，口縁部の形態は玉縁状であるため，浅鉢Ａ類ではなく，浅鉢Ｂ類とした。**23〜25**，**28**は外面に沈線を引く。**27**の外面には沈線を引かない。

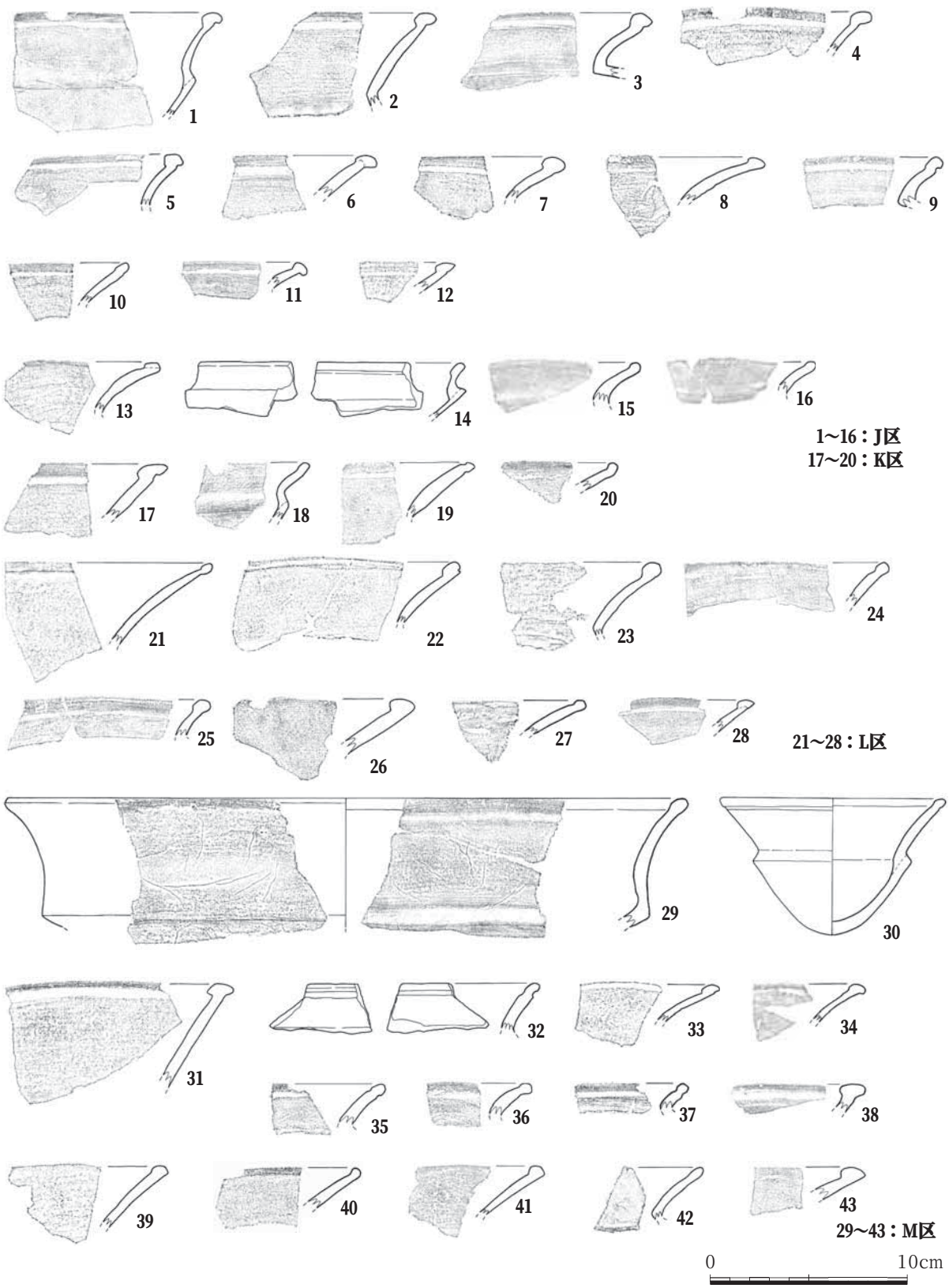
29は外反して開く頸部に玉縁状の口縁部がつく。口縁部外面には沈線を引かない。外面には炭化物が付着する。胴部から頸部への移行部では外面で肩を作らないため，別器種とすべきかもしれない。**30**は器高6.8cm，口径11.3cm の小型品で，丸底の底部からいったん外面で肩部を作り大きく頸部が開いて玉縁の口縁部に至る。口縁部外面には沈線を引く。**31**，**33**，**37・38**は外面に沈線を引く。**32**，**35**は内外面に沈線を引く。**34**，**36**，**39〜43**の外面には沈線を引かない。

44〜46については同一個体の可能性がある。浅く立ち上がる胴部からいったん肩部を作り頸部は直線的に大きく開いて玉縁の口縁部に至る。口縁部外面には沈線を引く。**44**の復元口径は46.5cm を測る。**45**は復元口径44.0cm である。**47〜49**は外面に沈線を引く。

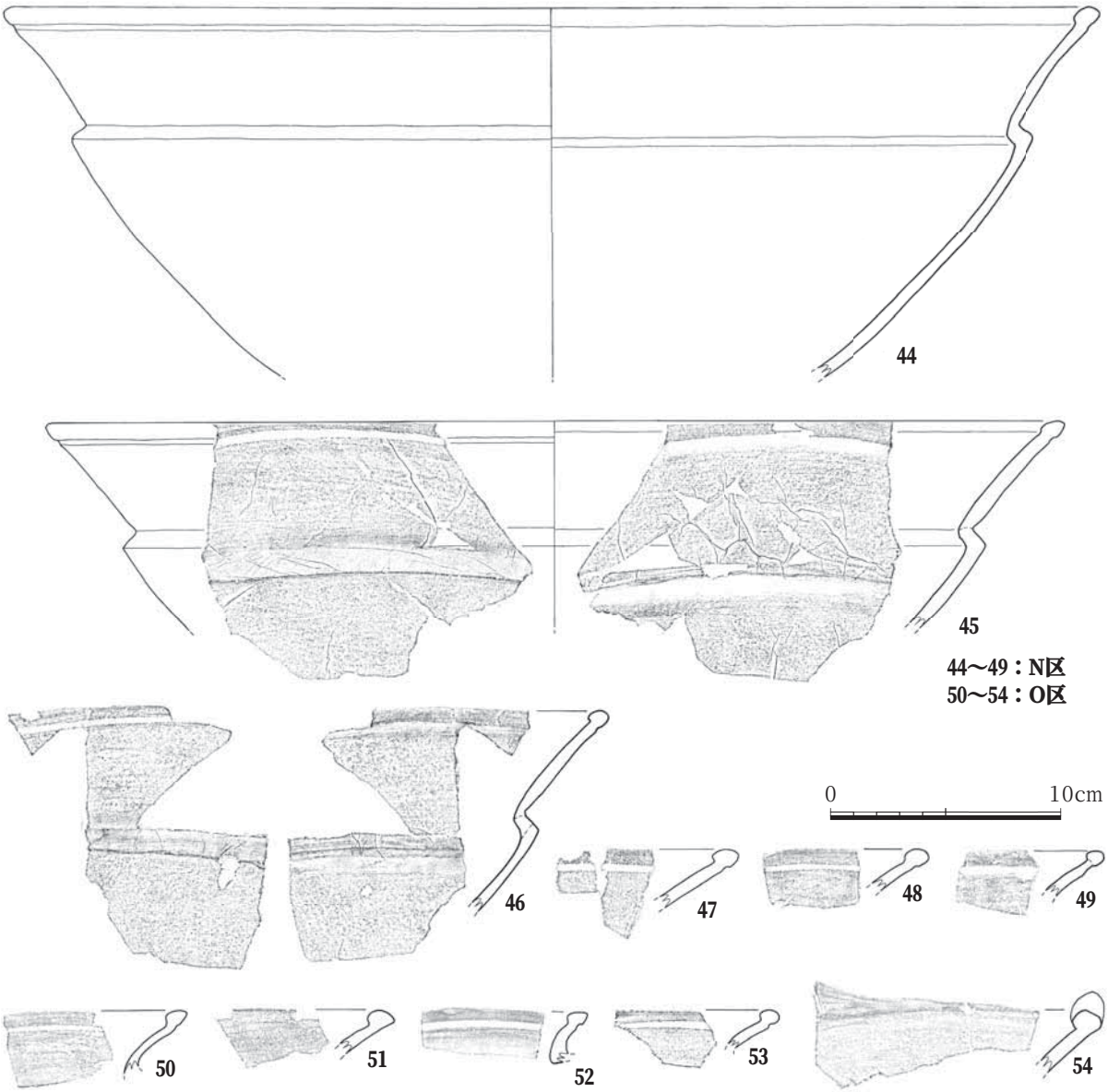
50，**52・53**は外面に沈線１条を引く。**51**，**54**は外面に沈線を引かない。**52**は短めの頸部の資料である。**54**は口唇部にヒレ状突起を付す。



第114図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢A類②〕（S＝1／3）



第115図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢B類①〕（S＝1／3）



第116図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢B類②〕（S＝1／3）

浅鉢C類（第117図～第119図）

丸底の底部から丸みを帯びた胴部を経て外面で狭い肩部を作り，短い頸部・口縁部がつく。断面やや先細りとなる口唇部の内面には段を作る。口縁部は緩い波状をなすものもみられ，波頂部には凹点を設ける場合が多い。胴部は深さのさほどないものが多いが，一部球状の深い胴部となる資料が見受けられる。

2は非常に薄手の器壁で，外面には炭化物が付着する。**11**の外面は頸部と口縁部との境界に緩く稜を作っている。**13**は焼成が不良であり，器面の状態が悪い。

17は復元口径42.5cmを測る。頸部内面は稜を形成せず，強く外反して口縁部に至る。**18**の外面頸部付近には炭化物が付着する。**22**は口縁部が緩い波状となる。**23**も口縁部は緩い波状となるものと思われ，凹点が確認できる。焼成後の穿孔をもつ。**31**の外面は頸部と口縁部との境界で稜をもつ。**33**は緩い波状の口縁部になる資料で，波頂部に凹点をもつ。**36**，**41**の外面は頸部と口縁部との境界で稜を作る。**39**は外面の胴部と頸部との境界が不明瞭である。

42は復元口径32.8cmで，浅い胴部から頸部は強く外反して口縁部に至る。頸部内面は稜を作らない。緩く波状になる口縁部の波頂部外面には凹点を付す。**44**の外面，胴部と頸部の境界には稜を作らない。**45**は深さをもった胴部で，外面頸部との境界に稜をもたない。

48は復元口径17.5cmの小型品である。**49**は復元口径13.1cmで深さのある胴部の資料であり，胴部と頸部の境界に稜をもたない。

50は口縁部外面に1条の沈線を引く。**54**は口唇部に凹点を施す。**56**は小型品で器壁は非常に薄く，緩く波状となる口縁部となる。口縁波頂部には凹点を付す。**58**は非常に薄手の器壁である。**65**は緩い波状口縁となるものと思われる。**70**は波頂部の資料で，凹点が確認できる。**75**は薄手の作りで小型品である。**86**は波頂部の資料で，凹点をもつ。

87～92は胴部が深さをもつタイプであり，外面，胴部と頸部の境界に明瞭な稜を作らない。

93の外面は胴部と頸部の境界が不明瞭である。**95**は胴部の器壁に対して，口縁部が貧弱である。

浅鉢D類（第120図）

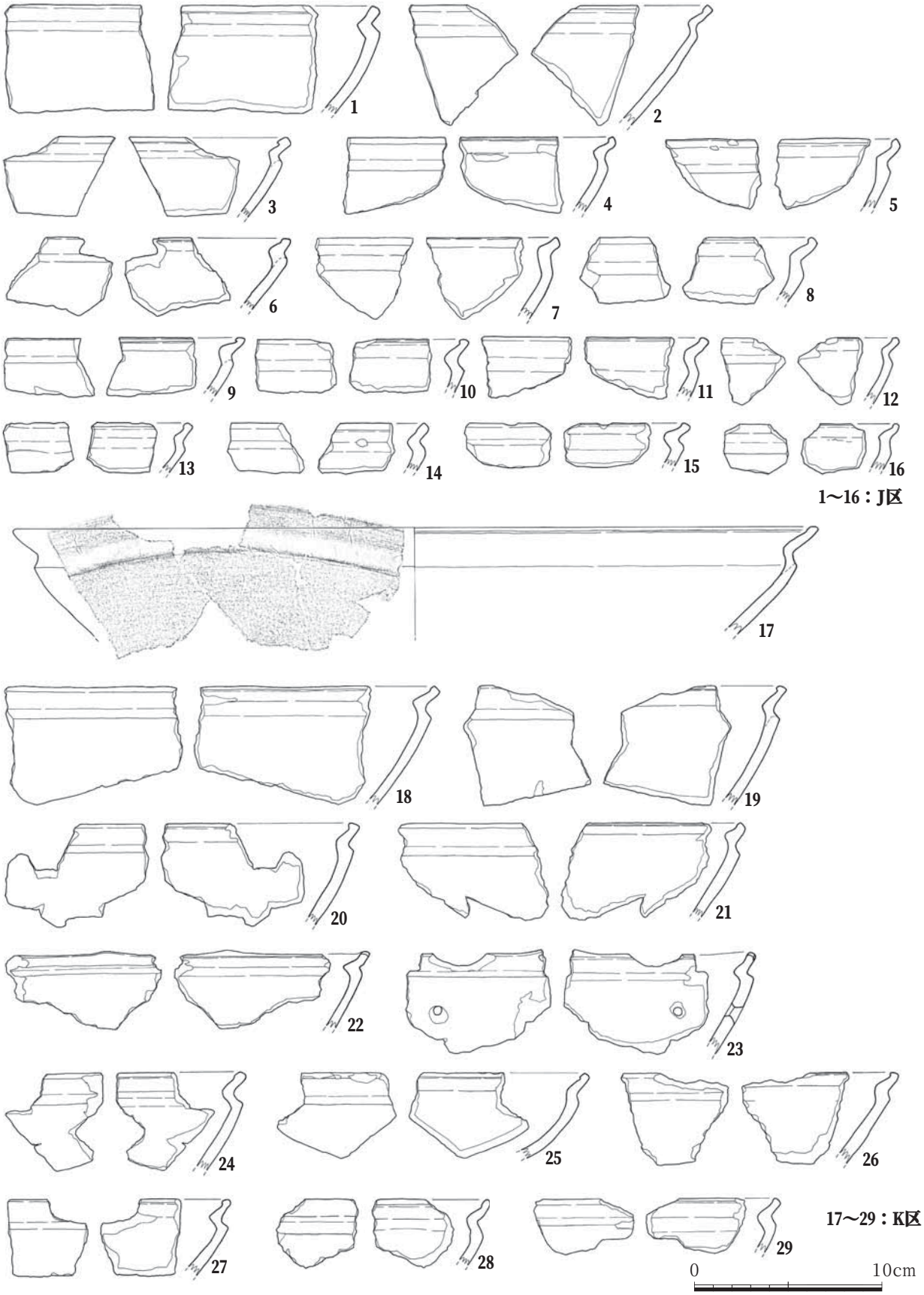
幅の広い口縁部文様帯をもつもので，胴部にはごく短い頸部で接続しており，外面で肩を作る。口縁部文様帯には多くが平行沈線を引くが，沈線を引かないものも一部みられる。また，口縁部は波状をなすものもみられ，口縁部内面には段をもつものが多い。底部，胴部の形態は不明であるが，おそらく丸底からさほど深さをもたずに立ち上がるものと思われる。深鉢C類と近縁性が認められる器種である。

1は口縁部内面に段を設ける。外面の沈線は斜方向で，口縁部は波状をなすものと思われる。

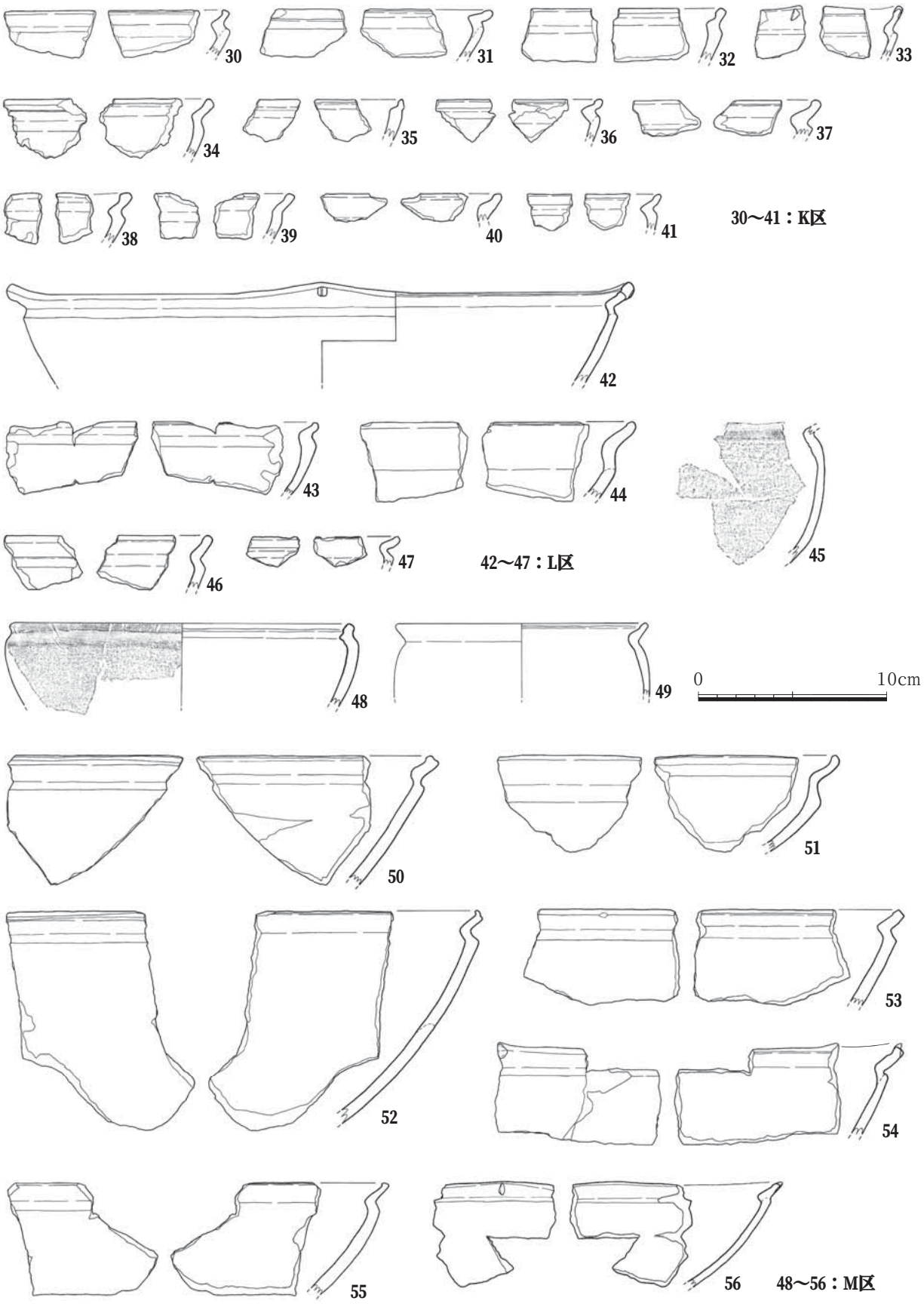
2は波状口縁となり，外面には4条の沈線を引く。内面には段をもつ。**3**の外面の沈線は4条で，内面には段をもつ。**4**は口唇部を欠くが，波状口縁の波頂部の資料であろう。**5**は外面に4条の沈線を引く。口縁部は波状となる可能性も考えられる。**6**は外面に5条の沈線が引かれる。**8～10**は口縁部外面に沈線をもたず，内面にも段を作らない。

11は平口縁で，口縁部の外面には4条の沈線を引き，内面には段を設ける。**12**は外面に3条の沈線を引き，内面には段を設ける。**13**は外面に4条の沈線が認められ，内面は他と異なり高い位置に段を作る。

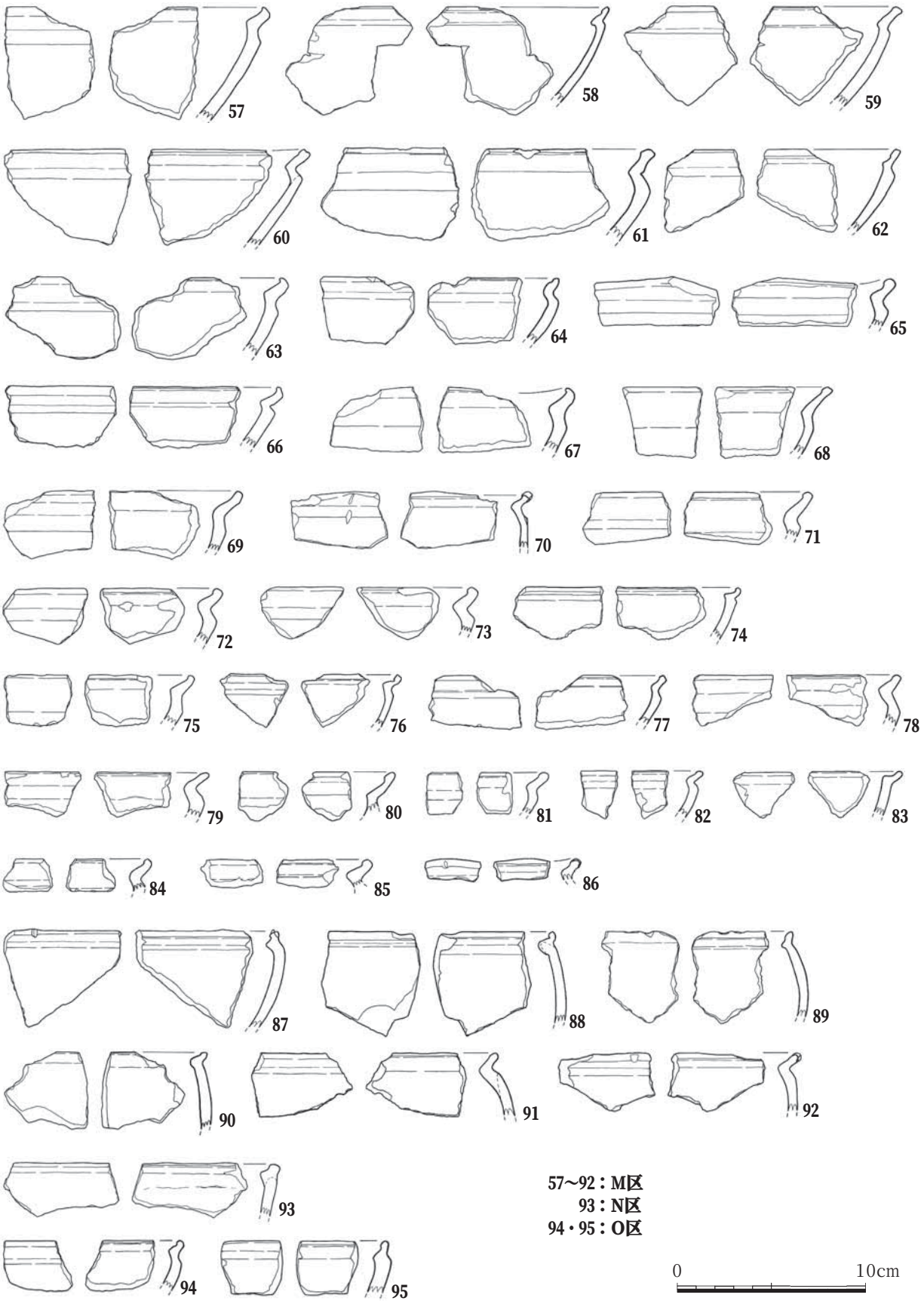
14は波状口縁の波頂部の資料で，外面には3条の沈線を引き，内面には段をもつ。**15**も波状口縁となる。外面には3条の沈線を引き，内面は高い位置に段を作る。**16**も波状口縁の資料である。外面の沈線は，下2条は水平に平行し，上3条は口縁に沿って弧状となる。**17**の外面には弧状の沈線が確認でき，波状の口縁となるものであろう。内面には段を設ける。



第117図　縄文時代後期〜突帯文期の土器〔浅鉢C類①〕（S＝1／3）



第118図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢C類②〕（S＝1/3）



第119図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢C類③〕（S＝1／3）

18〜22は平口縁の資料である。**18**が外面に４条の平行沈線を引き，内面には段を設ける。**19**は外面に６条の沈線を引き，内面には段を作る。**20・21**，**24**の内面には口唇部直下に段を設ける。**23**の内面には段が確認できる。**25**の外面の沈線は非常に細い。**26・27**の口縁部幅は小型品であるためか狭く，外面への沈線は引かれない。内面の段も作らない。

28は外面に４条の沈線を引き，内面には段をもつ。**29**はやや外反して大きく開く口縁部で，内面には段をもたない。外面口唇部直下に沈線状のものがみられるが，意図的なものかは不明である。

浅鉢Ｅ類（第121図・第122図）

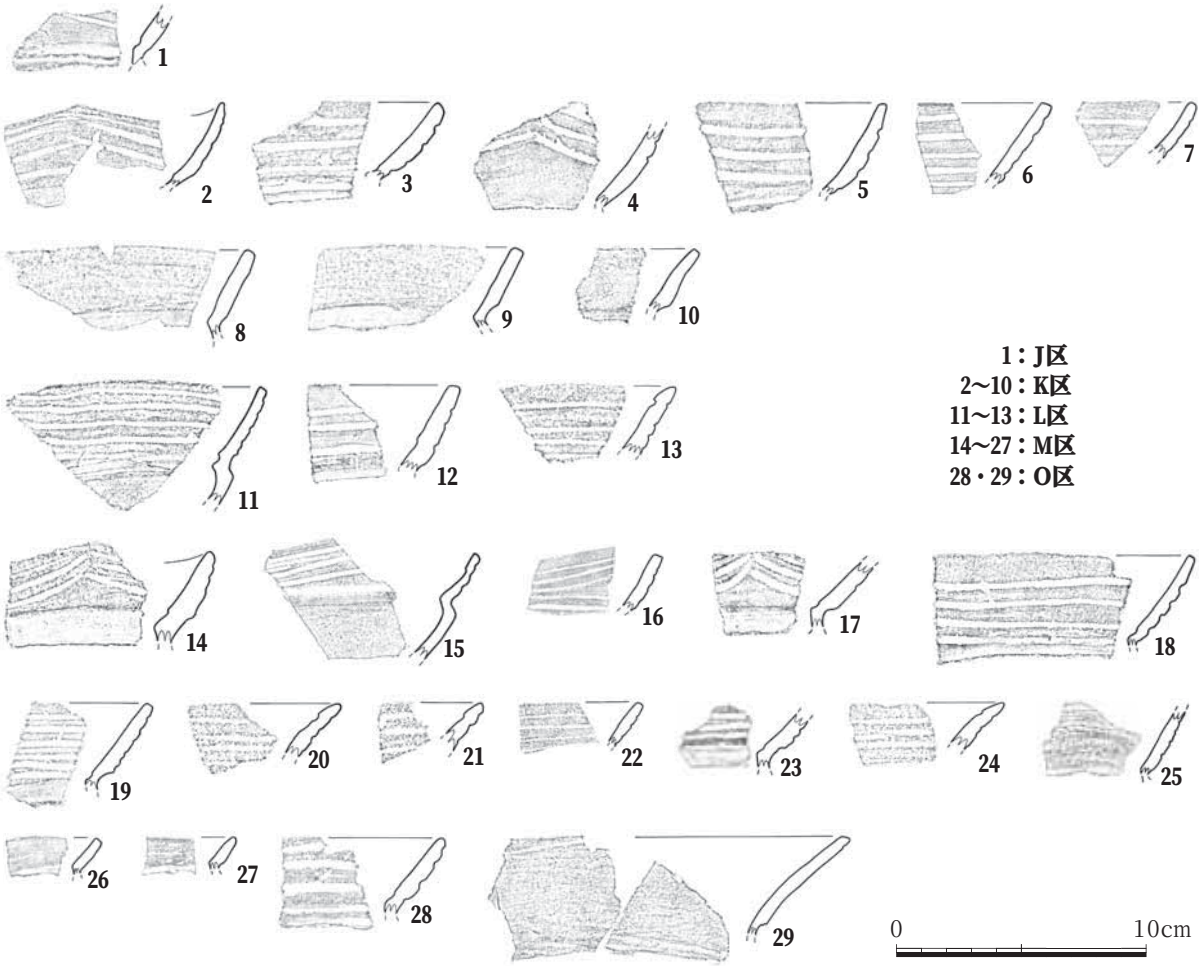
胴部で屈曲する精製のもので，口縁部は内傾するもの，直立するもの，外反して開くものがある。底部形態は明らかではないが，形の小さい平底ではないかと考える。ただし，屈曲の度合いや屈曲部の接合の仕方には個々に差異があり，異なる複数の器種として今後分離できる可能性を考えておきたい。

1は口縁部に焼成後の穿孔をもつ。外面屈曲部付近に炭化物の付着がある。**2**の口縁部はほぼ直立する。**3**・**4**の口唇部は上面を平坦に整える。

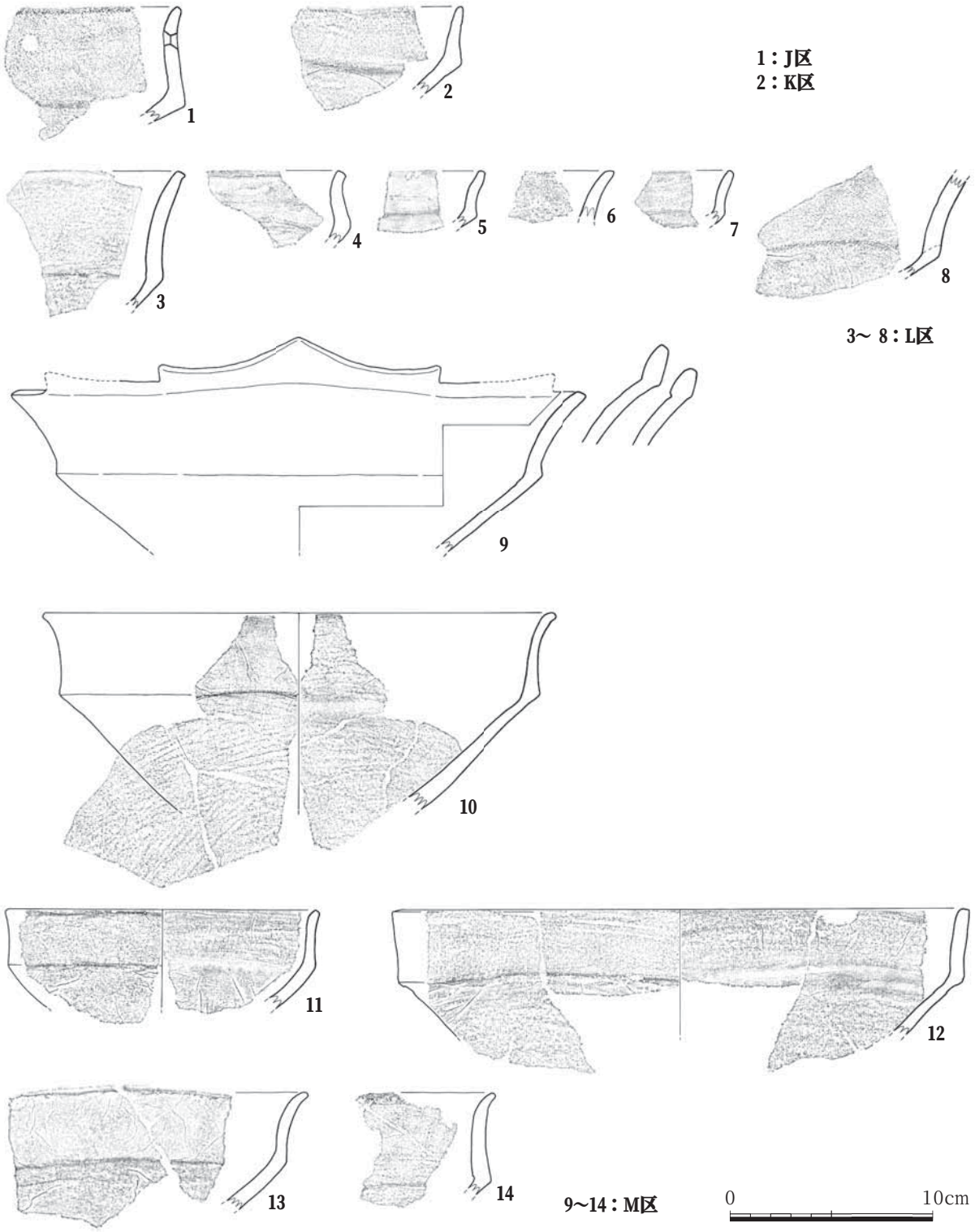
9は浅い胴部から屈曲して口縁部は大きく開き，緩い波状となる。波頂部を中心として突起を設ける。復元口径は27.6cm を測る。**10**は屈曲から口縁部が直立して立ち上がり，口唇部付近はやや強く外反する。外面には炭化物が付着する。復元口径25.0cm である。**11**はやや膨らみのある胴部から口縁部は直立する。復元口径は15.0cm を測る。**12**は屈曲の外面でやや張り出しをもち，口縁部は直立する。復元口径28.4cm である。**13**の口縁部は外反する。**14**の口縁部はやや内傾するが，口唇部付近は断面先細りとなり外反する。

15・16は断面先細りの口縁部で，やや外傾する。**17**は大きく開く口縁部で，波状をなすものと思われる。口唇部内面には段を設ける。**18**は大きく開く口縁部で，外面には赤色顔料の塗布が認められる。**19**は外傾する口縁部で，外面屈曲部より上位に赤色顔料が確認できる。**20**は大きく外反して開く口縁部である。**21**はやや深さのあると思われる胴部にゆるく外反する口縁部が直立する。外面には赤色顔料が認められ，炭化物が付着する。**22**はやや内傾する口縁部で，先細りとなる口唇部は外反する。**23**の胴部は口縁部に比すれば薄手で，口縁部は断面先細りとなって内傾する。**24**の口縁部は内傾し，口唇部は外反する。内外面ともに炭化物が付着する。**25**は屈曲部の下側に段をもち，口縁部は直立する。外面には炭化物が付着する。**26**は断面先細りとなる口縁部が直立する。**27**は内傾する口縁部で，口唇部が外反する。外面屈曲の下側で段を作る。**28**は直立する口縁部で，外面屈曲部付近に炭化物が付着する。**29**の口縁部はやや内傾する。屈曲部の外面は下側で段を作る。**30**は断面先細りとなる口縁部が内傾する。**31**はわずかに外傾する口縁部で，外面には炭化物が付着する。**32**は内傾する口縁部で，口唇部付近は外反する。**33**は比較的薄手の器壁で，強く外反して立ち上がる。

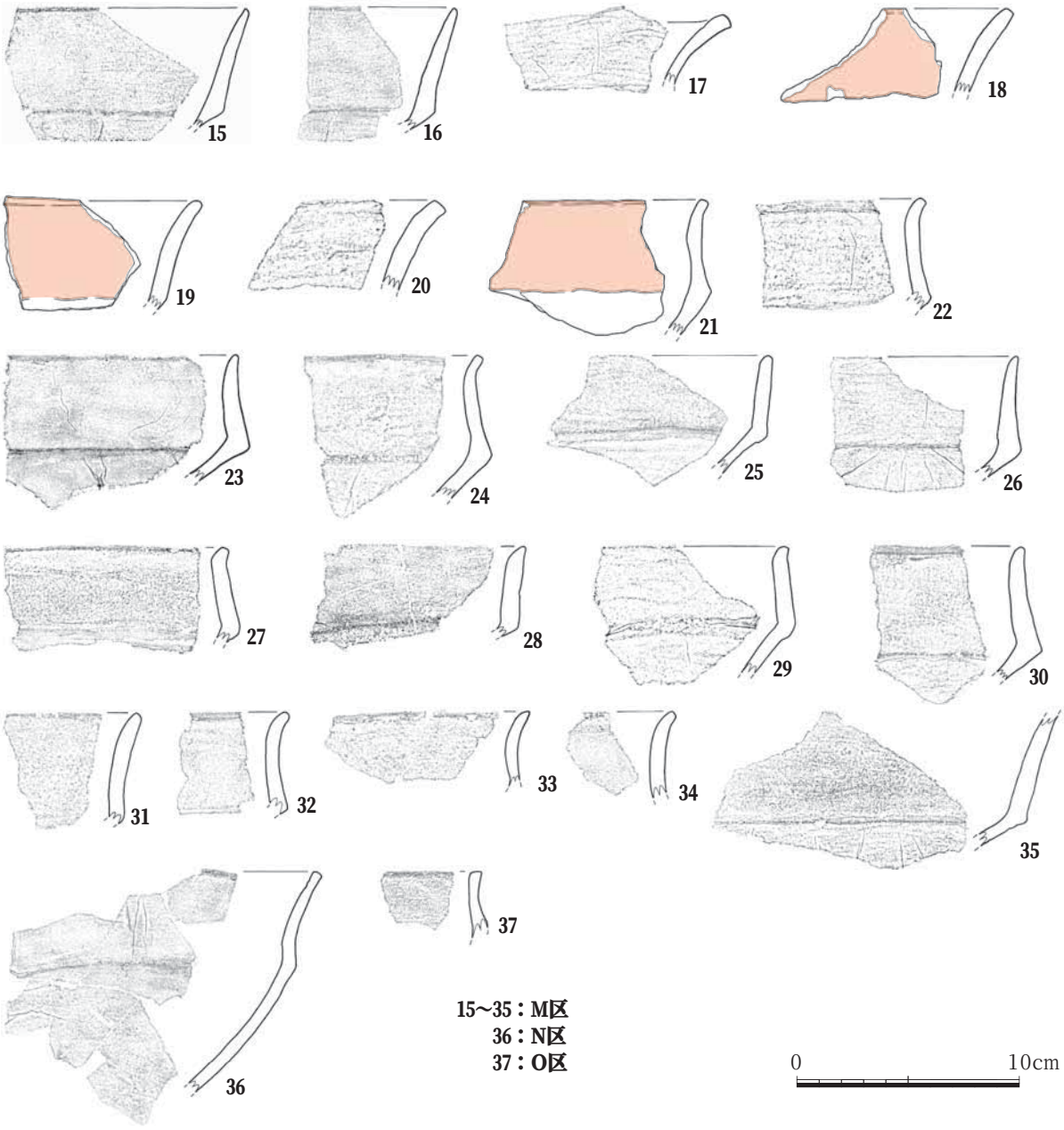
36は深めの胴部をもち，口縁部は外反する。**37**は外反する口縁部で，口唇部は平坦に整える。外面には炭化物が付着する。



第120図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢D類〕（S＝1/3）



第121図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢E類①〕（S＝1／3）



第122図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢E類②〕（S＝1／3）

浅鉢Ｆ類（第123図～第127図）

扁球状の胴部から肩部を作って短い頸部が立ち上がり，口縁部は玉縁状となるものである。底部は丸底，もしくは尖り気味の丸底になるものと思われる。口縁部には外面に沈線を引くものと引かないものとがある。肩部はしっかりと張り出すものからなで肩のものまであり，屈曲して稜を作る浅鉢Ｊ類への型式変化の兆しがみられる資料もある。口唇部にはヒレ状突起，リボン状突起を貼り付けるものがある。胴部下半や肩部に段を設けるものも一定数あり，いわゆる「国崎タイプ」の範疇でとらえられる資料と考える。

1は復元胴部最大径16.9cmの胴部から肩部の資料で，肩部には段を設けて装飾する。**2**はなで肩の資料で，外面胴部から肩部への移行部には段を設ける。**3**，**5**は**1**同様に肩部に段をもつ。**5**は口唇部にリボン状突起を付す。**4**，**6**は口縁部外面に沈線１条を引く。**8**・**9**は肩部に段をもつ資料である。**9**は口縁部外面に赤色顔料を塗彩する。**10**は胴部下半の資料で，外面に段を設ける。

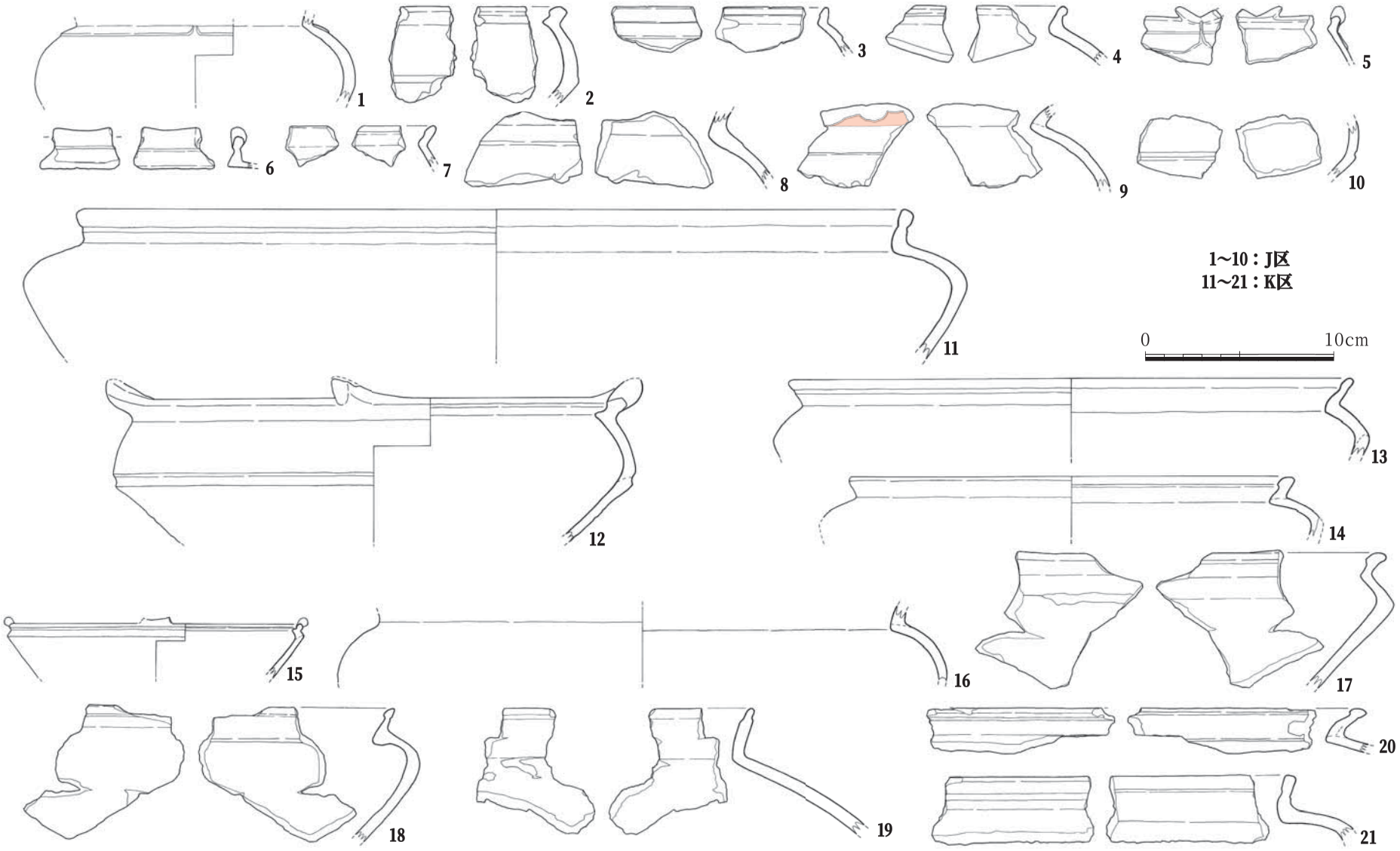
11は復元口径43.4cm，復元胴部最大径50.0cmの大型品である。しっかりと肩部が張り，口縁部はやや外傾する。口縁部外面には沈線１条をめぐらす。**12**はなで肩で，胴部と肩部の境界には段を設ける。口縁部外面には沈線を引かず，口唇部にはヒレ状突起を付す。ヒレ状突起を含めない場合の復元口径は26.3cm，復元胴部最大径は27.7cmである。全体に研磨調整が及ぶが，外面胴部には貝殻条痕調整の痕跡が残る。胴部外面には炭化物が付着する。**13**は復元口径29.6cm，復元胴部最大径31.6cmである。やや高く伸びる口縁部の外面には沈線を引く。**14**は復元口径23.3cmを測る。口縁部外面の沈線はみられない。**15**は小型品で，復元口径は15.2cmである。肩部はごく狭く，明瞭な稜を作る。口唇部にはリボン状突起をもつ。**16**は丸みを帯びた肩部付近の資料である。**17**は胴部から明瞭に屈曲して肩部を作る資料である。**18**はしっかりと肩部が張る資料で，口縁部外面には沈線を引く。**19**は薄手の器壁ではあるが，肩部が広く，ある程度の大型品になるものと思われる。肩部から頸部への移行は連続的で，他の資料のように内面でのしっかりとした張り出しや稜をもつには至っていない。また，口縁部には外面に沈線を引くが，内面は肥厚せず玉縁の作り出しへの意識は薄い。あるいは別器種としてとらえるべきかもしれない。**20**の頸部は強く外傾し，口縁部外面には沈線を引く。**21**はしっかりと張る肩部をもち，口縁部外面には沈線を引く。

22～26は口縁部外面に沈線を引く。**27**は，口縁部外面には沈線を引かず，なで肩である。**28**は胴部に段をもつ資料で，段の部分から剥落している。**28**・**29**は肩部に頸部を設けることなく直接口縁部を作り出している。**30**は胴部外面に段をもつ資料である。

31・**32**は口縁部外面に沈線をもたない資料である。**32**は口唇部にヒレ状突起を付す。**33**はなで肩で胴部と肩部との境界は屈曲する。口縁部外面には沈線を引かない。**34**はしっかりと肩の張る資料で，口縁部外面に沈線をめぐらす。**35**は肩部に段を設ける。**36**の口縁部外面には沈線を引かない。**37**はなで肩の肩部に直接口縁部を作り出す。胴部と肩部の境界には段を設けたものと思われる。しっかりと張る肩部の資料である。

39は復元口径27.2cmを測る。口縁部外面には沈線をめぐらす。**40**は復元口径27.3cm，復元胴部最大径27.3cmである。胴部と肩部との境界では稜を形成し，口縁部外面には沈線を引く。

41～44は比較的小型の資料である。**41**は復元口径13.0cmで，口縁部外面には沈線を引く。**42**はなで肩で丸みを帯びた胴部・肩部である。口縁部外面には沈線をもたない。復元口径10.3cm，復元胴



第123図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類①〕（Ｓ＝１/３）

部最大径14.2cm を測る。**43**は復元口径9.2cm で，口縁部外面には沈線をもたず，口唇部にはリボン状突起をつける。**44**は復元口径11.0cm，復元胴部最大径16.2cm を測る。肩部の端部をつまみ出してそのまま口縁部としている。胴部下半に 2 条の沈線が確認できる。**45**は胴部と肩部との境界で屈曲をもつ。外面の屈曲部付近には炭化物が付着する。復元胴部最大径は25.0cm である。

46〜61は口縁部外面に沈線を引く資料である。**47**，**49・50**，**56**，**60**はしっかりと張り出す肩部である。**52**，**61**は器壁が非常に薄く，精緻な作りである。

62は，内面はナデ調整，外面は粗い研磨調整で，全体的に粗雑な作りである。**62〜73**は口縁部外面に沈線を引かない資料である。**63**，**68**はなで肩の肩部である。**73**は肩部の端部に細い粘土紐を貼り，玉縁状にすることなくそのまま口縁部としている。

74〜77は胴部と肩部との境界で稜をもち，屈曲するする資料である。いずれも口縁部外面には沈線を引かない。**74**は口唇部にヒレ状突起をつける。**78〜80**もなで肩となる資料で，口縁部外面には沈線を引かない。**81**は小型品で，口縁部外面の沈線はもたない。**82**の内面は肩部と頸部の接続部に粘土を足して張り出しを強調している。**83**は胴部と肩部に段をもち，胴部段には赤色顔料の塗彩が認められる。**84**は胴部・肩部の資料で，外面肩部には炭化物が付着する。**86・87**は段をもつ胴部の資料である。**88**は段をもつ肩部の資料である。**89**は外面に赤色顔料の塗彩が認められる。

90は復元口径21.7cm を測る。口縁部外面には沈線を引く。肩部外面には段をもつか，沈線を引くものと思われる。**91**は復元口径10.8cm の小型品で，丁寧な研磨調整が行われている。肩部はしっかりと張り，口縁部外面には沈線を引く。

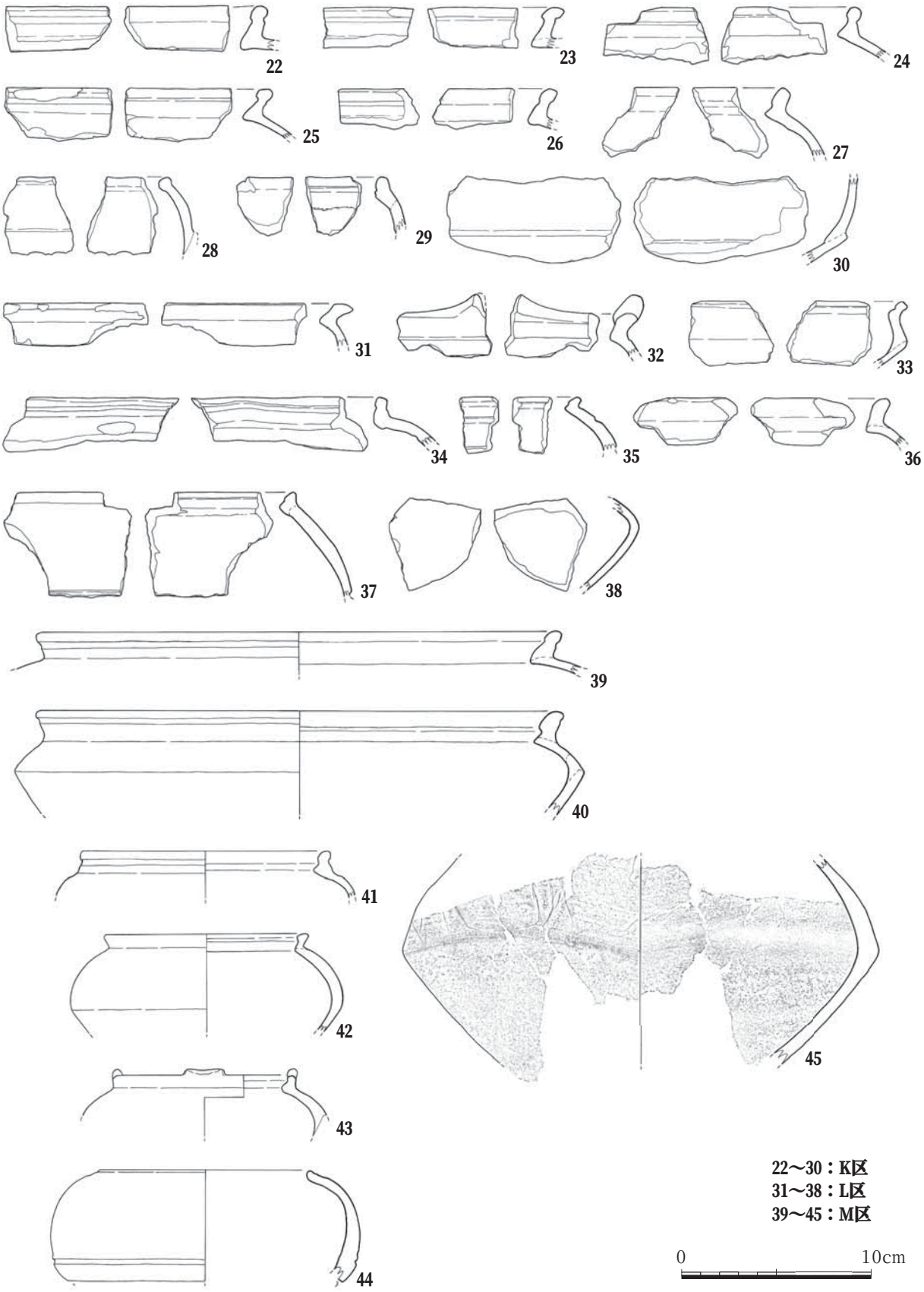
92〜96は口縁部外面に沈線を引く資料である。**92**の肩部はしっかりと張り出すもので，外面には段をもつ。**95**は焼成が不良である。

97〜104は口縁部外面に沈線を引かない資料である。**97・98**は大型品で同一個体と思われ，**97**はヒレ状突起を，**98**はリボン状突起をもつ。**99**はしっかりと張り出す肩部である。**102**は小型品である。

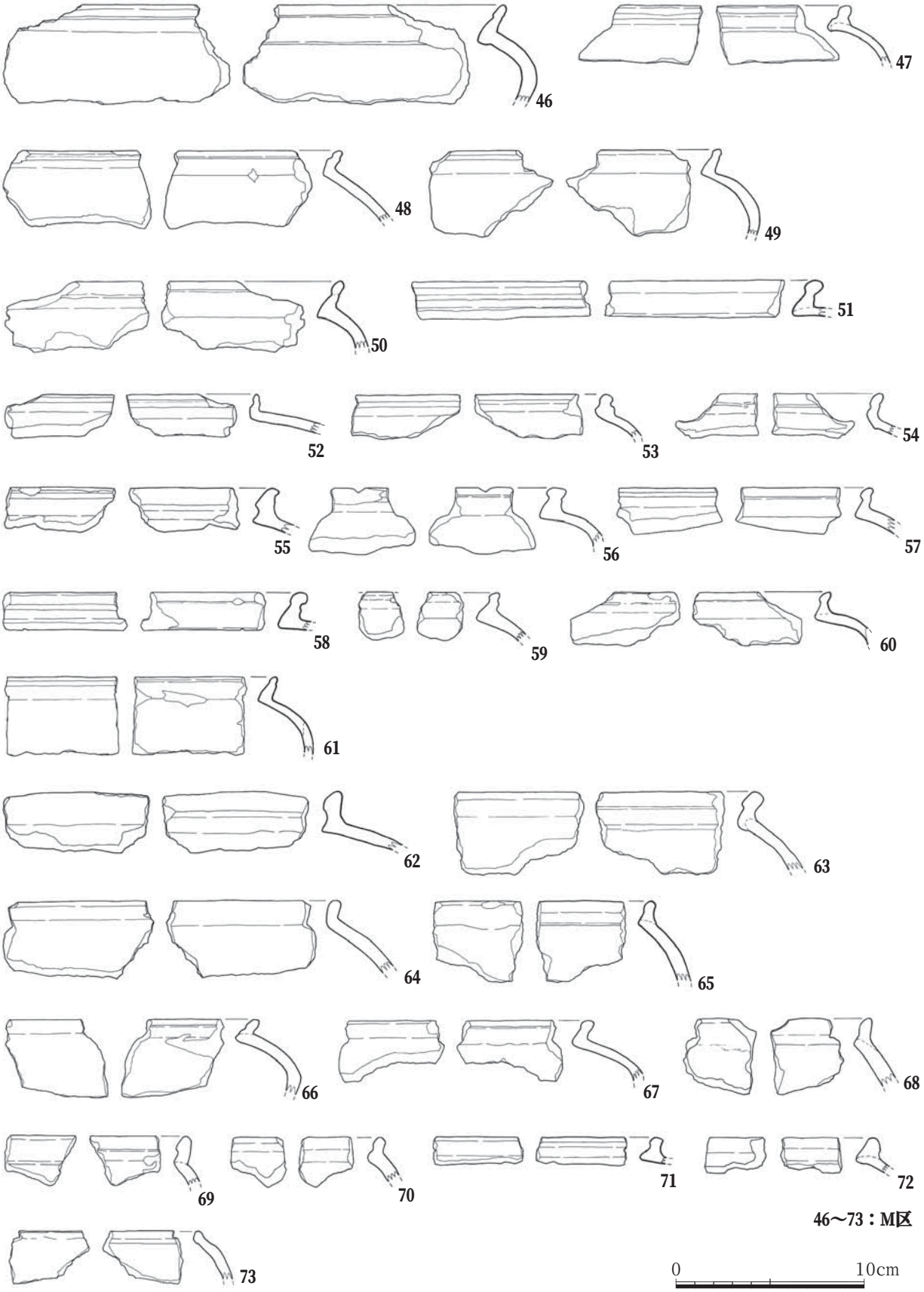
105の外面はややあいまいであるが胴部と肩部との境界で稜を作る。**106**は胴部の資料で，外面に段をもつ。

107は「く」字状に明瞭に屈曲する資料で，外傾する口縁部の外面には沈線を引かない。復元口径は27.2cm である。**108**は小型品で口縁部を欠く。復元胴部最大径は9.7cm である。

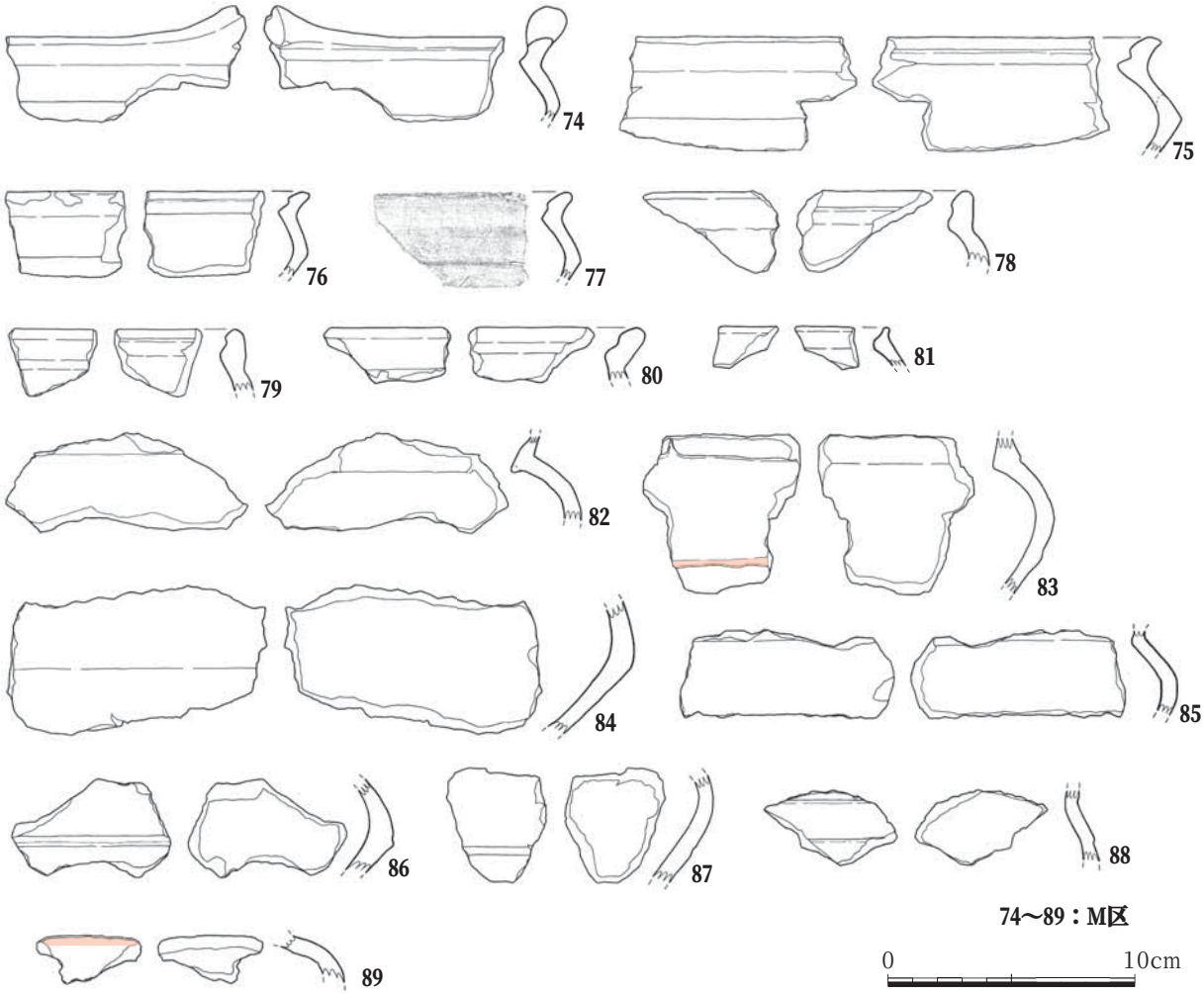
109はしっかりと張り出す肩部をもつが，口縁部外面に沈線は引かない。**110〜112**は口縁部外面に沈線を引く。**113・114**は口縁部外面に沈線をもたない。**113**は胴部から肩部への移行部で屈曲をみせる。**115**は焼成後の穿孔がみられる胴部資料である。



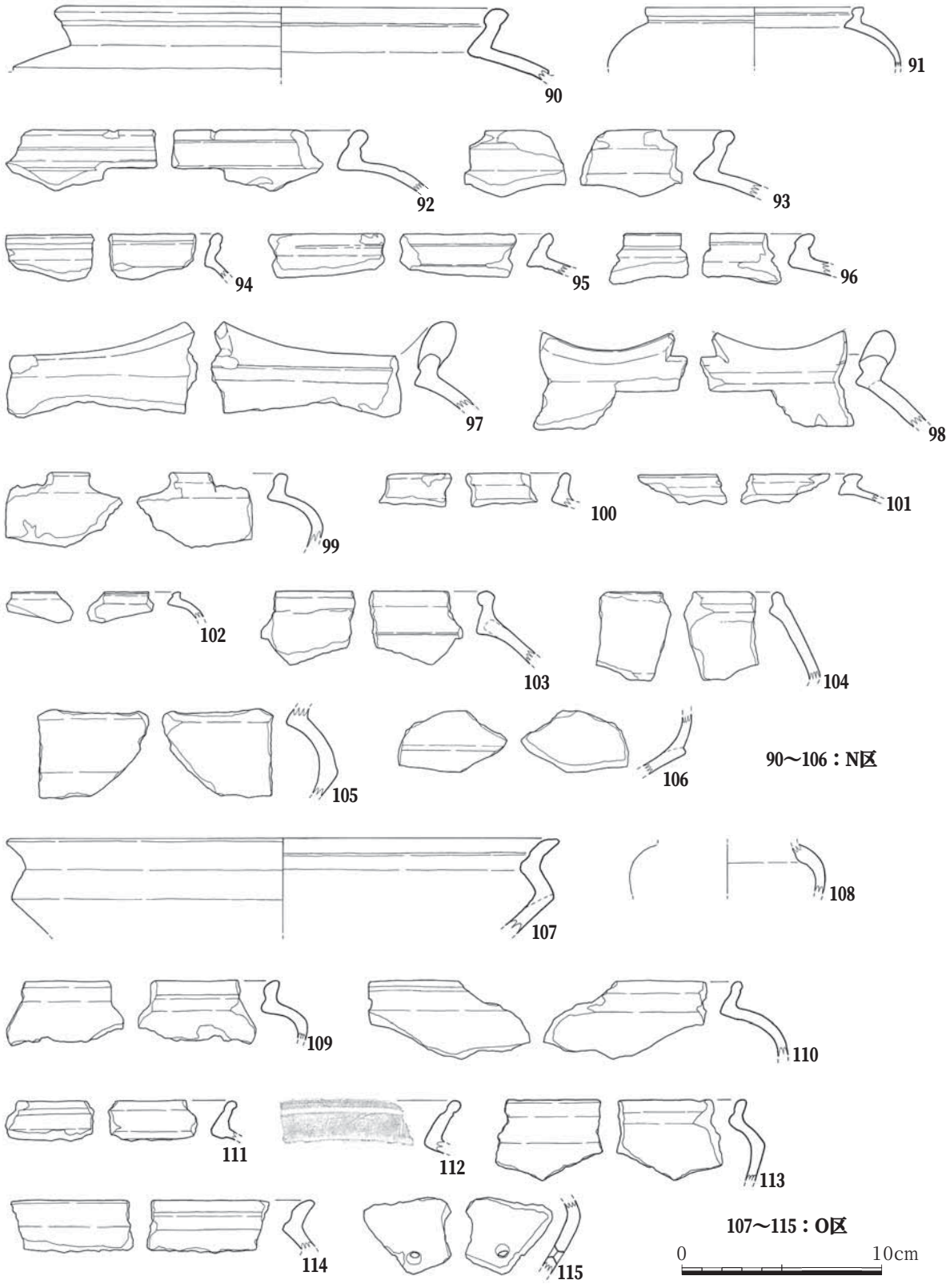
第124図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類②〕（Ｓ＝１/３）



第125図　縄文時代後期〜突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類③〕（Ｓ＝１/３）



第126図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類④〕（Ｓ＝１/３）



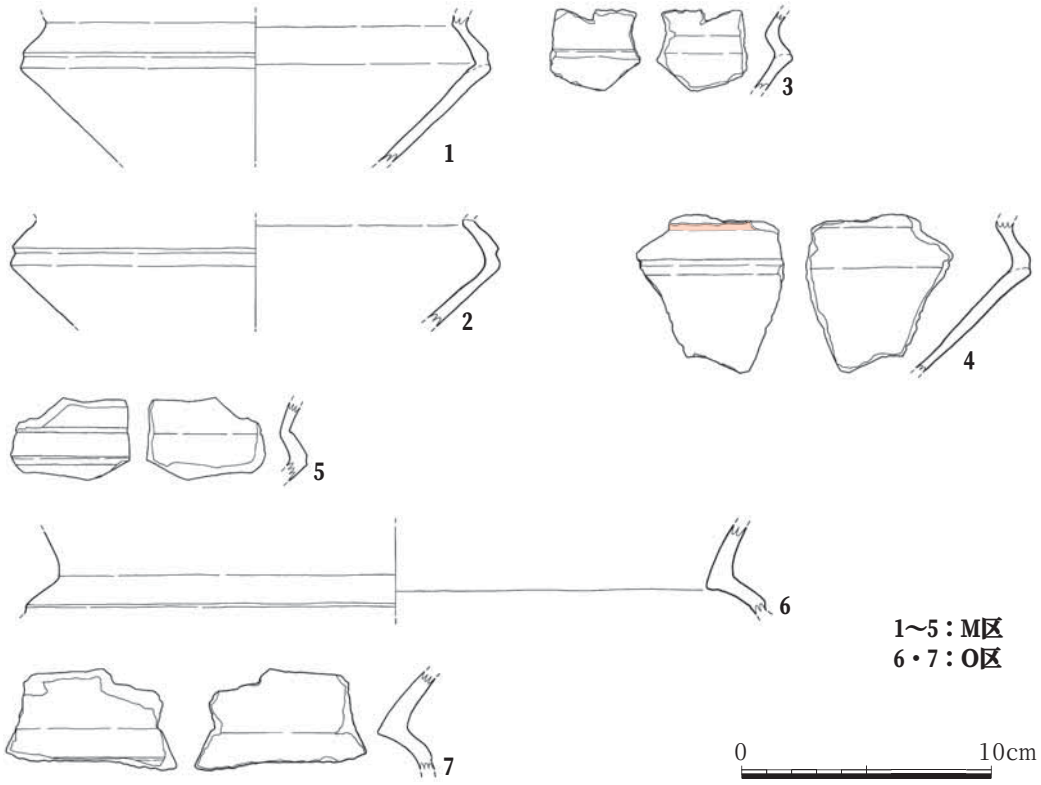
第127図　縄文時代後期〜突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類⑤〕（Ｓ＝１/３）

浅鉢G類（第128図）

尖底気味の丸底になるものと思われる底部から胴部は開いて立ち上がり，一旦境界に段を設けて肩部を作り，そこから長い頸部が大きく開くものと思われる資料である。

1・**2**は胴部から肩部にかけての資料で，肩部に段を設ける。**1**の復元胴部最大径は18.7cmを測る。**2**は焼成後の穿孔をもつ。復元胴部最大径は19.4cmである。**3**は胴部と肩部との境界となる屈曲部に段をもつ。頸部は大きく開くものと思われる。**4**は肩部に段をもち，外面，肩部と頸部との境界部分に赤色顔料の塗彩が認められる。**5**は胴部と肩部の境界，肩部と胴部の境界にそれぞれ段を設ける。

6・**7**はそれぞれ肩部に段をもち，頸部は大きく開く。



第128図　縄文時代後期〜突帯文期の土器〔浅鉢G類〕（S＝1/3）

浅鉢H類（第129図～第131図）

平底もしくはわずかに膨らみをもつ平底から外反気味に立ち上がる胴部は，一旦中ほど外面で段を作り，内湾して波状の口縁部へと至る。口唇部は内外面もしくは外面のみに段を設け，ヒレ状の突起をもつものもある。底部には２～３条の平行する沈線を引き，沈線間を削り出して装飾とするものもみられる。

1は口唇部外面に沈線を引く。沈線内に赤色顔料が残存する。**2**は内外面ともに口縁部に段を設ける。**3**は波頂部の資料で外面に段を設ける。**4**は口唇部外面に沈線を引く。**5**は口唇部外面に段を作る。**6**は口唇部外面の沈線内に赤色顔料が観察される。**7**は外面に段をもち，内面は肥厚させる。**8**は外面に沈線を引く。外面には炭化物が付着する。**9**は底部付近の資料で外面に沈線を引く。**10**は口唇部外面に沈線をもち，沈線内には赤色顔料が残る。**11**は外面に赤色顔料を塗彩する。**12**は胴部の資料で，外面に段を設ける。**13**は底部付近の資料で，削り出しの文様がみられ，赤色顔料の残存が観察される。**14**は底部の資料で，復元底径は7.0cmを測る。外面に２条の沈線を引く。

15は口唇部と胴部の外面に段を設ける。**16**は底部直上の資料で，底面は剥落する。外面には削り出しの文様がみられる。**17**は**16**と同一個体の可能性が高い。

18は比較的小型の資料と思われ，口唇部外面と胴部に段をもつ。**19**は波頂部の資料で，外面に沈線を引く。**20**は内外面に沈線を引く。

21は外面に沈線を引く底部から外反気味に胴部は開いて立ち上がって外面で段を作ったのち，今度は内湾して波状の口縁部へと至る。口唇部にはヒレ状突起をもち，外面には沈線を引く。波頂部での復元口径は25.1cmとなる。**22**は外反する胴部から口縁部は内湾気味に立ち上がる。胴部には段を，口唇部外面には沈線をもち，胴部の段には赤色顔料が残存する。**23**は一応波状口縁となることを想定したが，平口縁である可能性も残る。**24**は胴部断面で段をもつ。

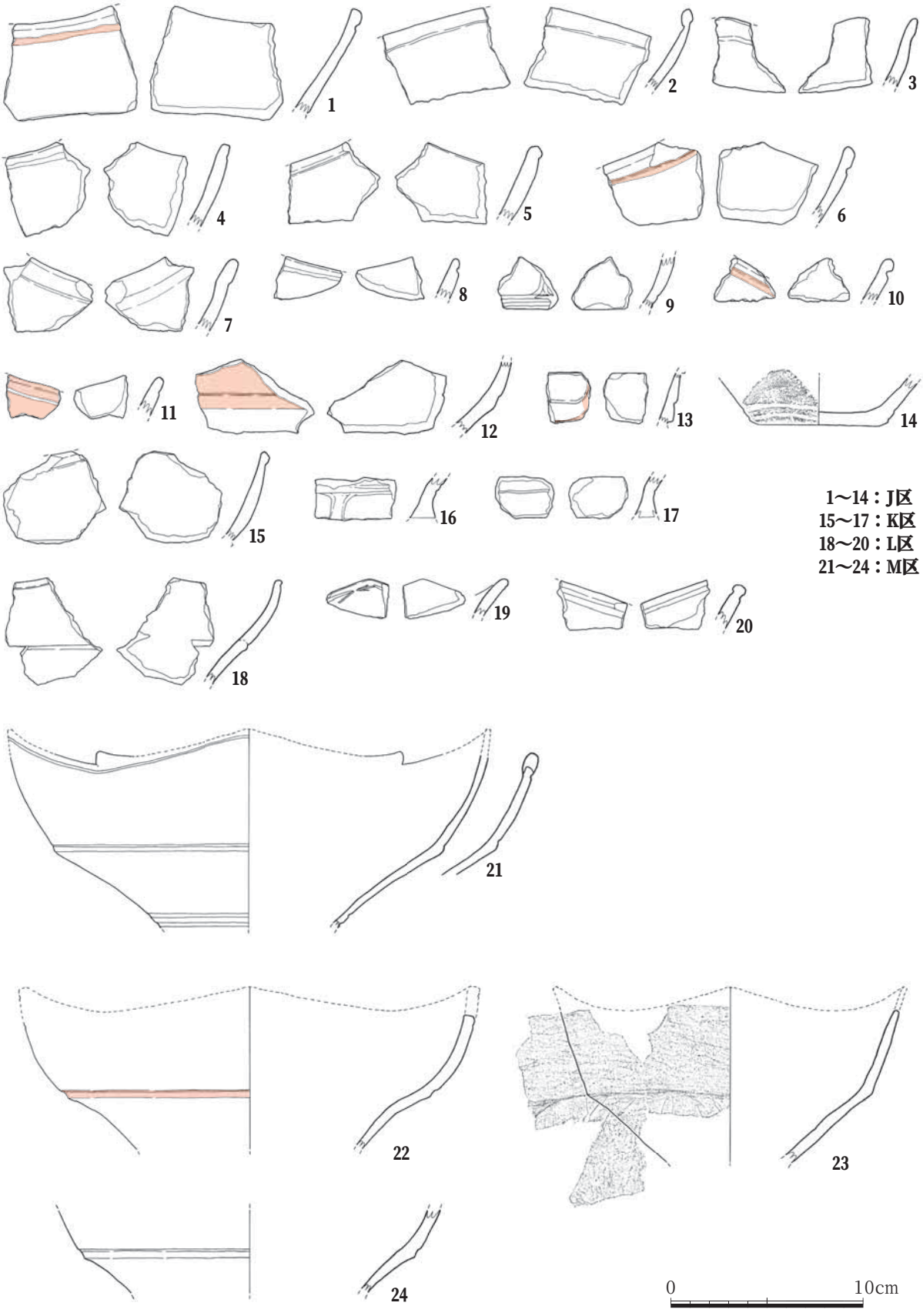
25～**29**は波頂部の資料である。**25**は外面に段をもつ。**26**は外面に沈線を引く。**27**は内外面に段を設ける。**28**は外面に沈線を設ける。**29**は外面に沈線を引き，内面には段を作る。**30**の外面は，胴部で段を作り，口唇部には沈線を引く。**31**は口唇部にヒレ状突起をもち，外面には段を設ける。段の付近には赤色顔料が残存する。**32**は胴部と口唇部の外面に段を設ける。焼成が不良である。**33**は口唇部外面に段を作って肥厚させる。外面には炭化物が付着する。

34は口唇部外面に沈線を引く。**35**は口唇部外面を肥厚させて段を設ける。**36**は口唇部にヒレ状突起をもつ。**37**は内面に段をもつ。**38**～**41**は口唇部外面に沈線を引く。**43**～**46**は口唇部外面に段を設ける。**44**の内面，**45**の外面には炭化物が付着する。**47**・**48**は外面に沈線を引く。

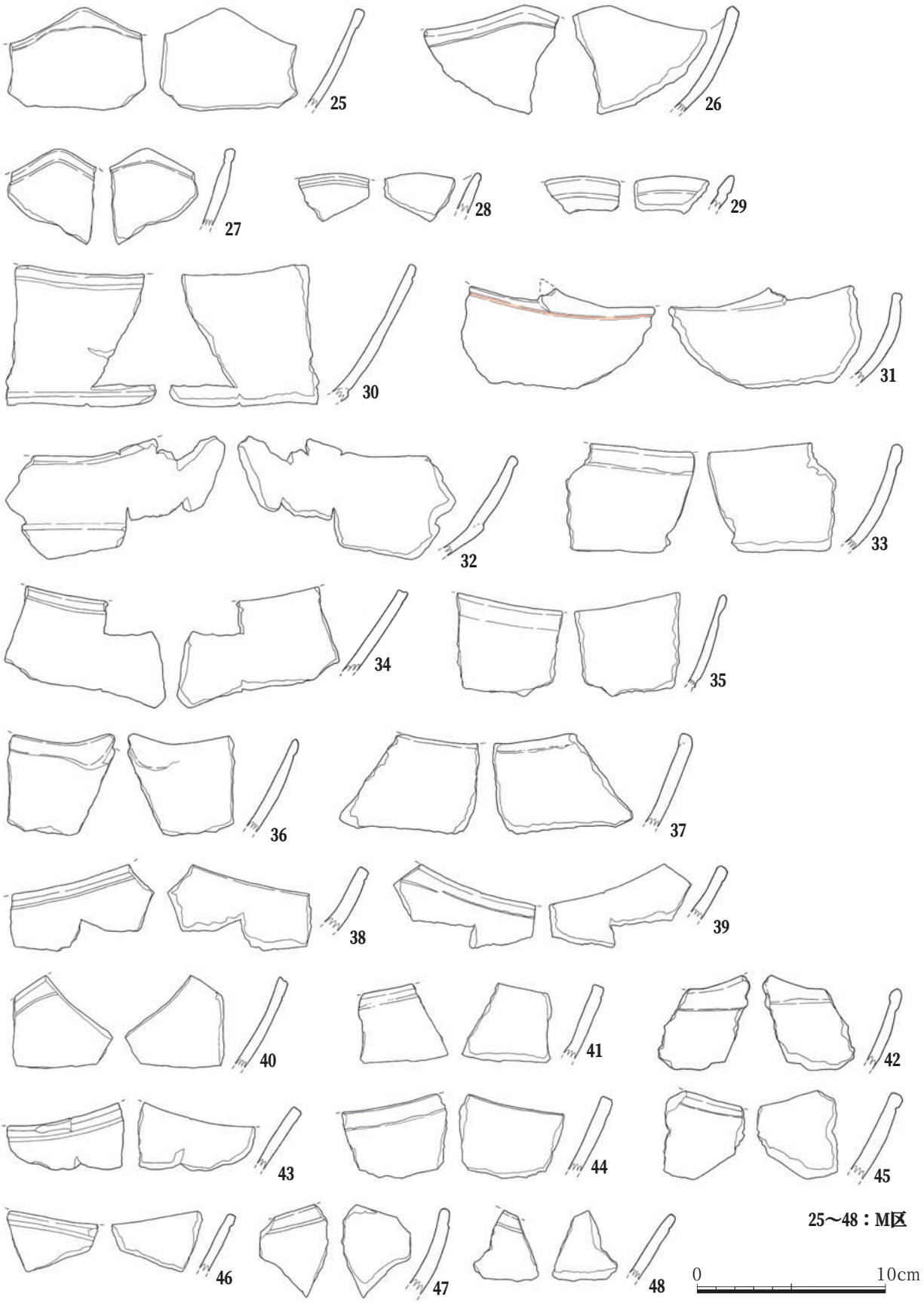
49・**50**，**52**は外面に段を設ける。**49**は研磨調整が甘く，内外面ともに擦過調整が残る。**54**は内外面ともに沈線を引く。**51**，**53**～**57**は外面に沈線を引く。**58**は外面に沈線を引く。

59～**62**，**65**は胴部の資料で，外面に段をもつ。**60**はわずかに残る口唇部の外面に沈線を引く。**63**・**64**は外面下位に沈線が認められる。**63**の沈線付近には赤色顔料が残存する。**66**の外面には段と沈線による装飾がみられ，赤色顔料の塗彩が観察される。**67**～**70**，**72**は底部からの立ち上がり部分の資料で，外面に沈線をめぐらす。**68**の沈線内には赤色顔料が残存する。**71**は胴部の資料で，外面屈曲部の上下に沈線を引く。

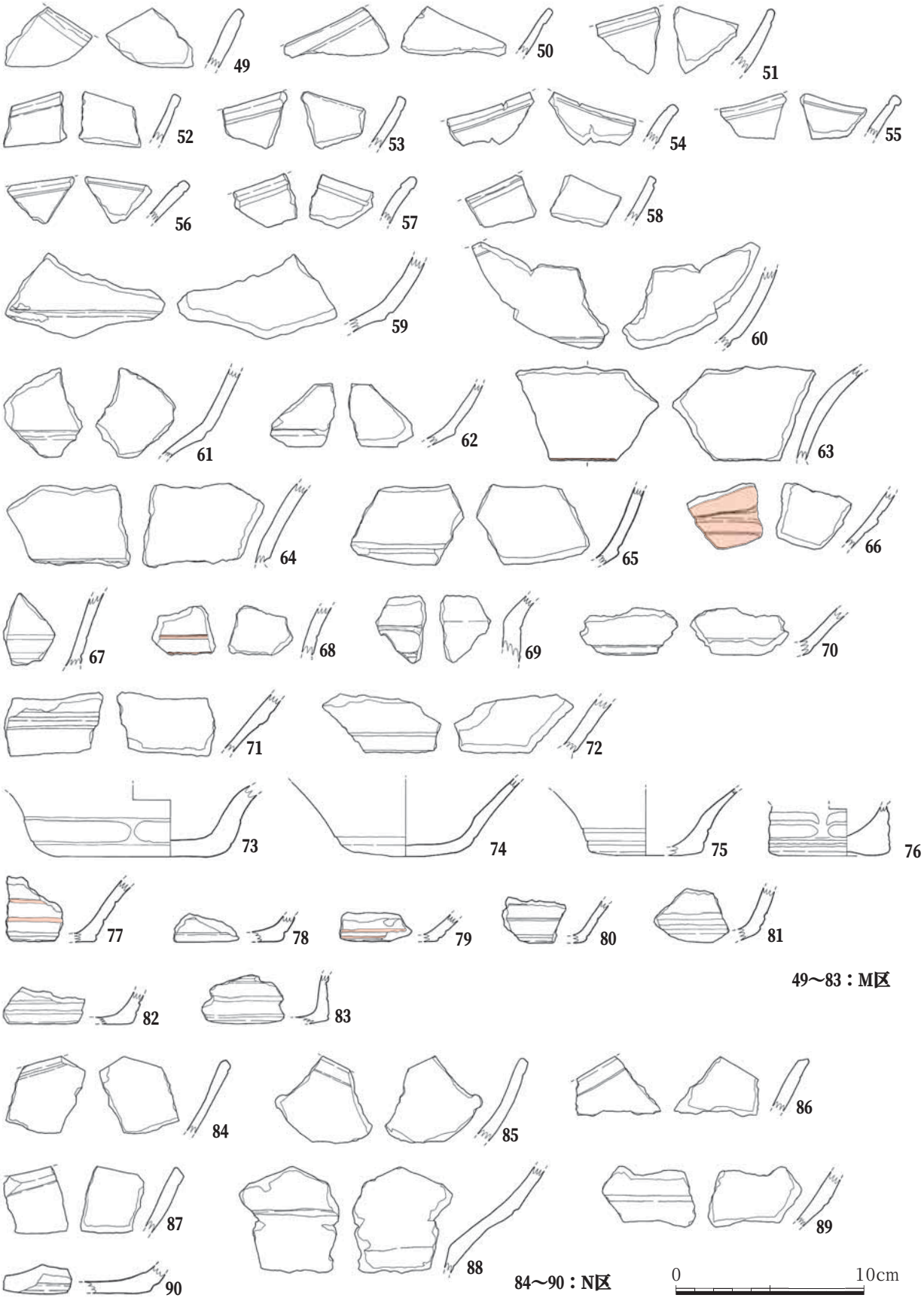
73～**83**は底部の資料である。**73**～**75**，**83**のようにわずかに丸みを帯びた平底がみられるが，**76**のようにわずかに上げ底となっている資料もある。底面から胴部の立ち上がり部分外面には沈線を数条引いており，また**74**は段を設けている。**73**，**76**のように一部を削り出して装飾するものもみられる。**77**，



第129図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢H類①〕（S＝1／3）



第130図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢H類②〕（S＝1／3）



第131図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢H類③〕（S＝1／3）

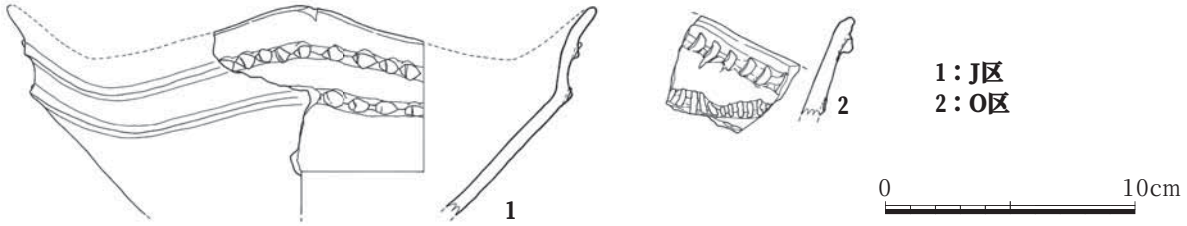
79の沈線内には赤色顔料が残存する。復元底径は，**73**が8.4cm，**74**が5.7cm，**75**が5.9cm，**76**が6.3cmを測る。

84，**86・87**は口唇部外面に沈線を引く。**85**は口唇部外面に段を設ける。**88・89**は胴部の資料で，外面に段を設ける。**90**は底部の資料で，外面に段を作る。

浅鉢Ⅰ類（第132図）

いわゆる「方形浅鉢」と呼ばれる，２条の突帯をもち波状口縁となるものである。

1は波頂部の資料で，外面は擦過調整，内面は擦過調整ののちナデ調整である。口縁部と胴部に刻目突帯をもち，刻目は指先によるものと思われる。外面には炭化物の付着がみられる。波頂部での復元口径は23.2cmを測る。**2**も口縁部と胴部の２条の突帯をもつが，胴部突帯より口縁部突帯の方が太さをもつ。工具による刻目を施す。内外面ともにナデ調整である。



第132図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ⅰ類〕（S＝1/3）

浅鉢Ｊ類（第133図・第134図）

断面逆「く」字状の口縁部をもつものである。口唇部は外面に外反するもの，外面に段をもつものがみられる。

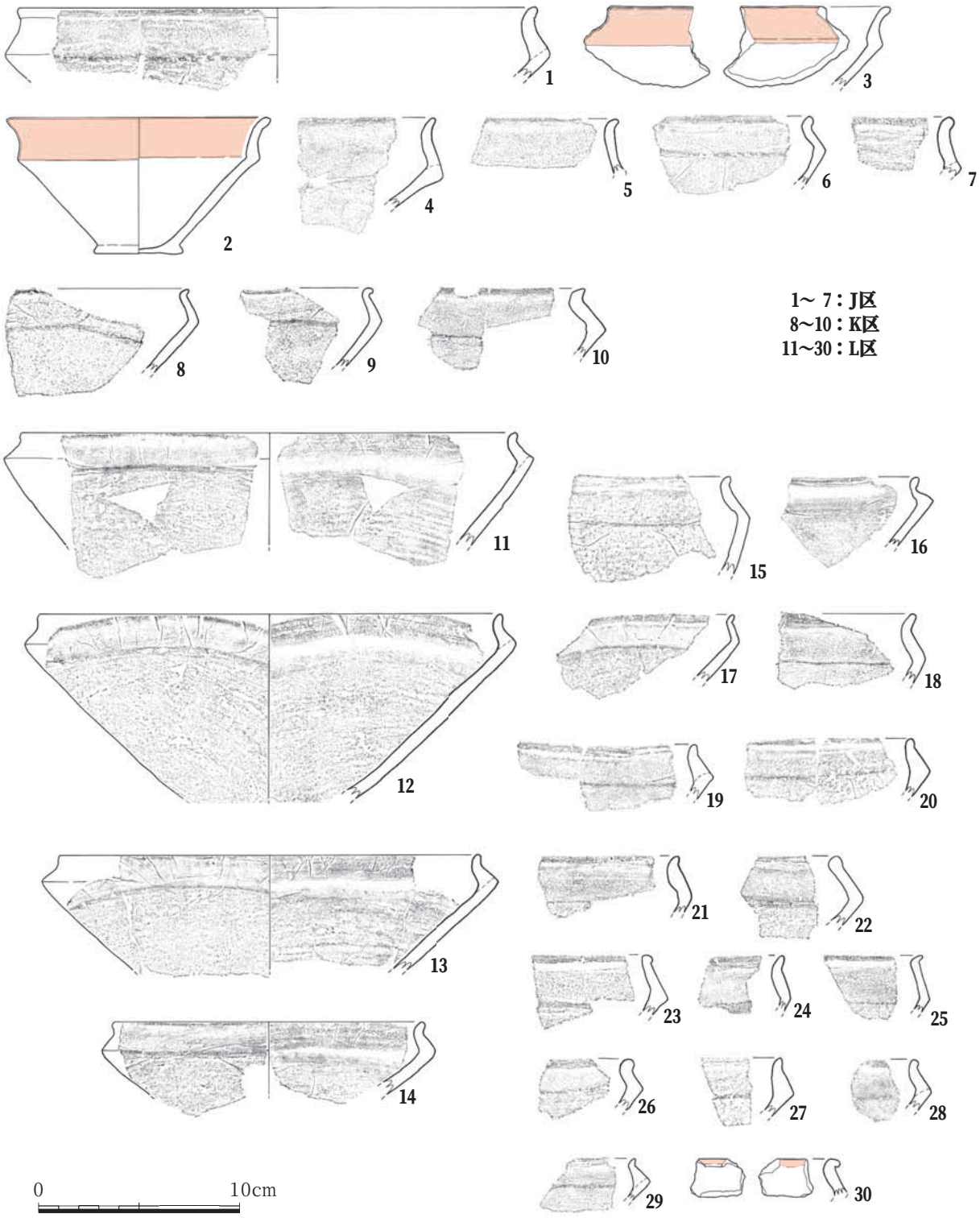
1は復元口径25.6cm，復元胴部最大径27.0cmを測る。口唇部が外面で段をもつ。**2**は復元口径12.4cm，底径4.3cmを測る。口縁部はやや外傾し，内外面に赤色顔料の塗彩を行う。**3**は**2**と同一個体と思われる。**4**の口縁部は強く屈曲し，先細りとなる口唇部は外反する。**5**は口唇部が外反する。**6**は口唇部外面に段をもち，口縁部付近には炭化物が付着する。

8・9は薄手の器壁で，口唇端部が外へ張り出す。**10**は口唇部を外反させる。

11～14は強く屈曲する胴部に短く内傾する口縁部がつき，先細りとなる口唇部は外反する。**11**は復元口径24.5cm，復元胴部最大径26.3cmを測る。**12**は復元口径22.9cm，復元胴部最大径24.3cmを測る。**13**は復元口径20.8cm，復元胴部最大径22.5cmを測る。**14**は復元口径15.2cm，復元胴部最大径16.5cmを測る。

15はやや深さのある胴部をもつものと思われ，外面には炭化物が付着する。**16**の口縁部は胴部から強く屈曲し，口唇部は強く外反する。**17**，**20**，**23**は口唇部外面で段を形成する。**24・25**は外面に炭化物が付着する。**30**の口唇部はしっかりと外側へ折り返す。

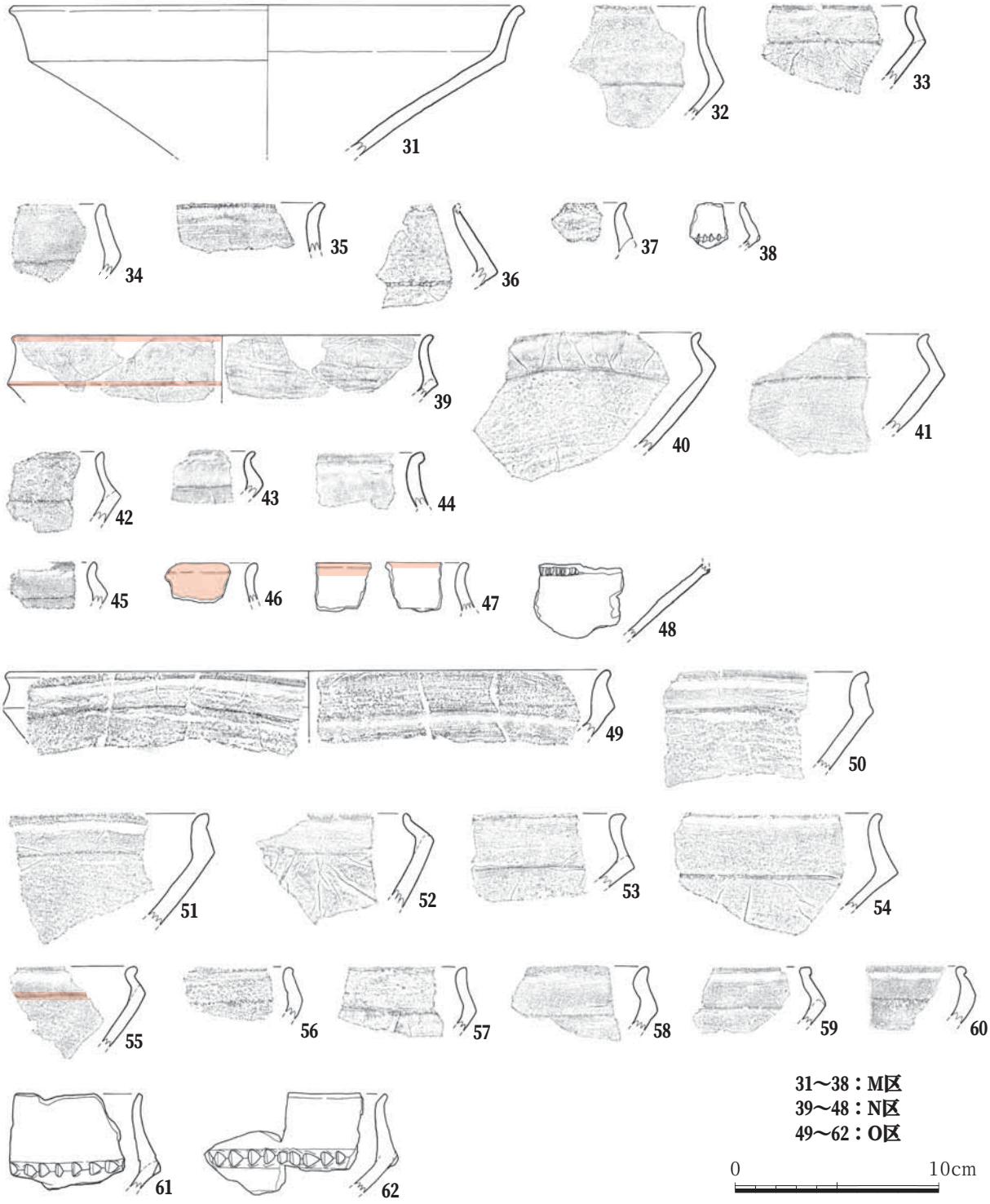
31は屈曲部から口縁部はやや外傾する。復元口径24.8cmを測る。外面，口唇部付近に炭化物の付着が認められる。**32**は口縁部の幅が広い。**34**の屈曲は緩い。**36**は口唇部を欠く。幅の広い口縁部は直線的に内傾する。**38**は屈曲部にヘラ状工具による刻目を入れる。**39**は口唇部の内外面と外面屈曲部に赤色顔料を塗彩する。復元口径20.2cm，復元胴部最大径21.0cmを測る。**40・41**の口唇部は外反する。



第133図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｊ類①〕（Ｓ＝１/３）

42は外反する口縁部で，外面に厚く炭化物が付着する。**44**は口唇部外面に段を作る。**46**は外面に赤色顔料を塗彩する。**47**は口唇部内外面に赤色顔料を塗彩する。**48**は胴部の資料で，ヘラ状工具による細かい刻目が入る。

49は復元口径29.6cm，復元胴部最大径30.0cm を測る。**50・51**は口唇部外面に段を作る。**54**は先細りとなる口縁部で外反する。**55**，**59・60**は口唇部外面に段をもつ。**55**は屈曲部外面に赤色顔料が観察される。**61・62**は内傾・先細りとなる口縁部で，屈曲部にはヘラ状工具による刻目を施す。



第134図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｊ類②〕（Ｓ＝１/３）

浅鉢K類（第135図・第136図）

埦形もしくは皿形を呈する小型のものである。

1は復元口径14.9cm，内外面ともにナデ調整を行う。外面には炭化物の付着がある。**2**は復元口径10.6cmで，内外面ともに研磨調整を行う。**3**は外面に粘土紐を垂下させて貼り付け，内外面に赤色顔料を塗彩する。**4**は口縁部を先細りにして内湾させる。**9**・**10**は立ち上がりが浅く，皿形に近い器形か。

11は内外面ともに研磨調整が施されており，外面には炭化物が付着する。**13**は焼成後の穿孔をもつ。**14**は波状口縁の波頂部の資料である。**16**は内外面ともに研磨調整が行われており，復元口径は14.5cmを測る。**17**は口唇部を平坦に整える。外面には炭化物の付着がある。**19**の口唇部は外反しており，外面には炭化物が付着する。

23の口縁部はわずかに外傾・外反する。内外面ともに丁寧に研磨調整が行われている。復元口径は17.1cmである。**24**は復元口径14.0cmである。内面はナデ調整，外面は研磨調整である。**25**はやや浅い器形で，内外面ともにナデ調整である。復元口径は13.7cmを測る。**26**は復元口径12.8cm，**27**は復元口径11.8cmである。**27**の外面には口縁部付近に厚い炭化物の付着が認められる。

28は内外面ともに赤色顔料の塗彩を行う。**29**は非常に薄い器壁で，口唇部にヒレ状突起をもつ。**30**は口唇部が外反する資料で，外面に炭化物が付着する。**34**は口唇部に突起をもつ。**39**は内外面ともに丁寧な研磨調整を行う。

43は外面に沈線を引き，内外面ともに赤色顔料を塗彩する。**44**～**46**はいずれも内外面ともに研磨調整である。

47は復元口径9.9cmを測る。口唇部にはボタン状の突起を貼り付ける。突起下には焼成前の穿孔を入れる。**48**は復元口径8.1cmである。**49**は口唇部内面に段を設ける。**51**は赤色粒子を多く含む特徴的な胎土である。**54**は外反する口縁部である。

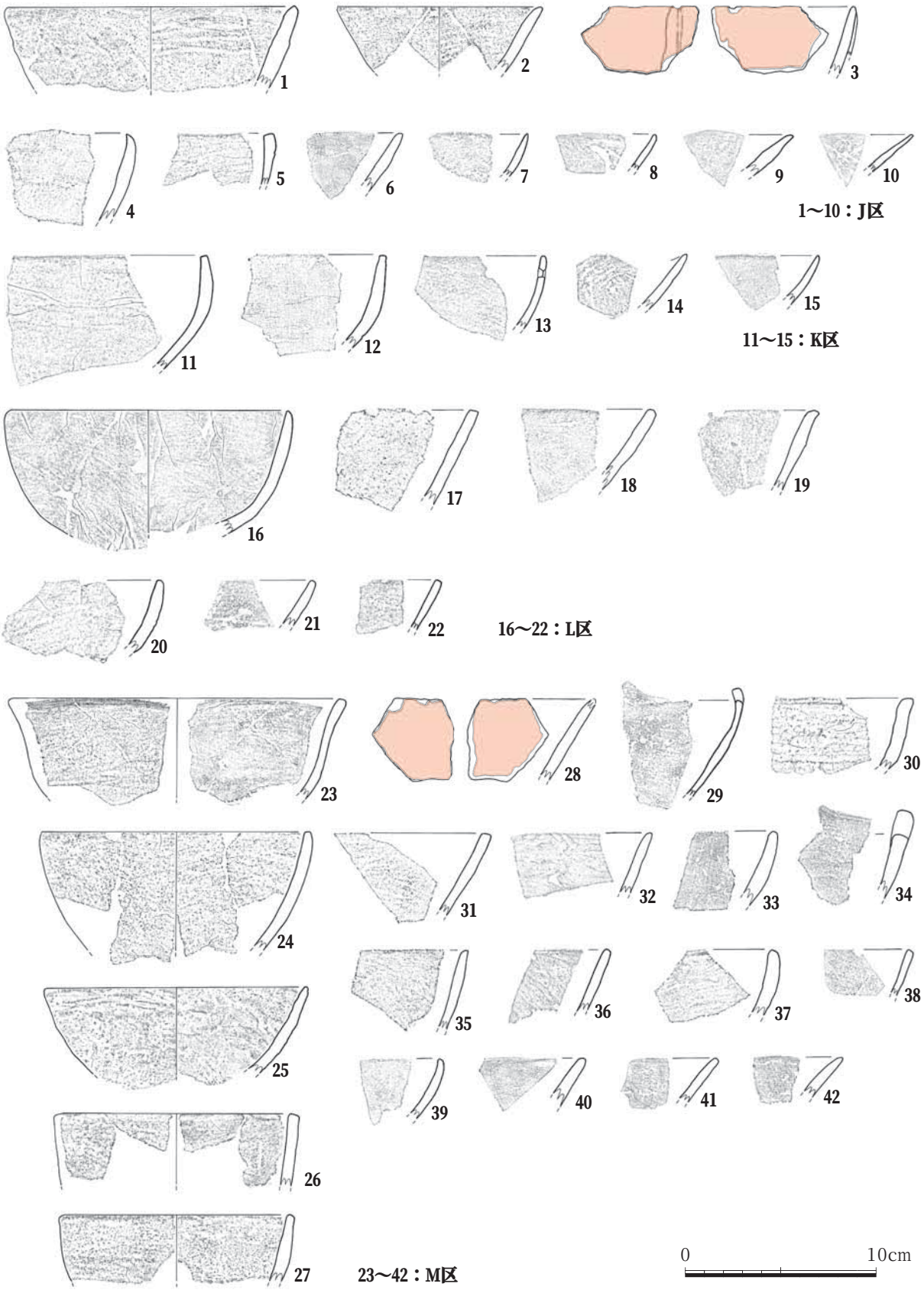
浅鉢L類（第137図～第155図）

ボウル形，洗面器形を呈するものである。口縁部や胴部に刻目突帯文を付すもの，胴部でいったん屈曲して口縁部に至るものなどがある。内面は丁寧になでたり，研磨したりするものが多くみられる。また，外面に厚く炭化物が付着するものも多い。

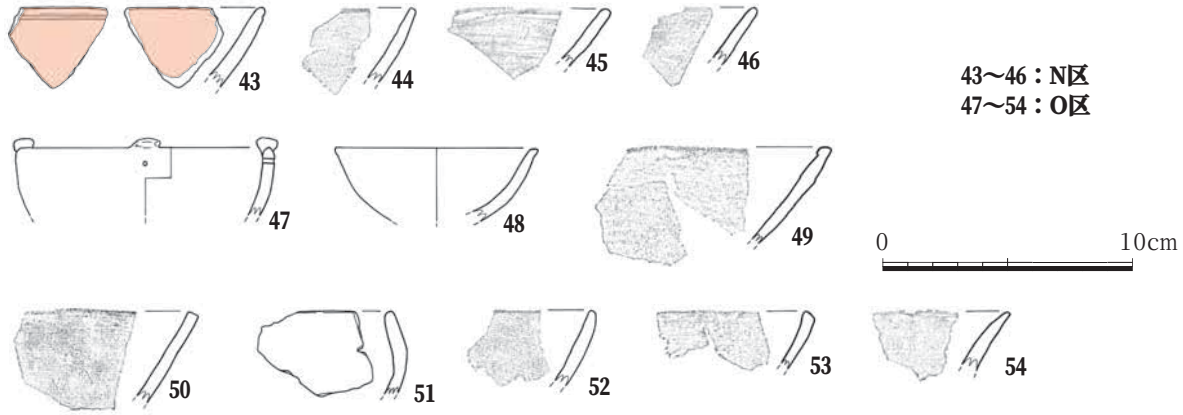
1は復元口径35.6cm，復元胴部最大径37.6cmを測る。口縁部から2.0cm下がった最大径となる位置に突帯を貼り付け，工具小口の刺突による刻目を施す。口縁部外面には鋸歯状の線刻を入れる。**2**は外反する口縁部で，突帯は1.0cmの位置に貼り付け，指先による大ぶりの刻目を施す。**3**は胴部に突帯をもつ資料である。内外面ともに貝殻条痕調整を施しており，突帯への刻目は指先によるものである。**4**の口縁部突帯は口唇部から0.2cmと近接しており，擦過調整の外面には炭化物が付着する。刻目は指先によるものである。

5は口唇部を平坦に整えており，口唇部に接して貼り付けられた突帯の刻目は貝殻腹縁によるものと思われる。**6**の突帯は口唇部に接しており，指先による刻目である。**7**は口唇部外面に突帯を貼り付けることなく直接刻目を入れている。刻目は指先による。**8**は口唇部に接して貼り付けた突帯に指先による刻目を入れる。**9**は外反する口縁部で，口唇部上面に棒状工具と思われる刻目が施される。**10**は口唇部を外側へとつまみ出し，直接刻目を施している。刻目はヘラ状の工具によるものか。外面には厚く炭化物が付着する。**11**は口唇部外端にヘラ状工具による刻目を直接入れる。**12**は口唇部外端にヘラ状工具による刻目を直接入れる。**13**は胴部に突帯をもつ資料である。刻目は指先によるものである。**14**は薄手で，口唇部外面に工具による刺突が入る。さほど口径は大きくはならない可能性もあり，浅鉢K類であることも考えられる。

15～**18**は胴部で屈曲する資料である。**15**は内外面ともに丁寧に研磨調整を行っている。**15**～**17**の外面には炭化物が付着する。**19**は外面に凹線をもつ資料である。外面には厚い炭化物の付着が認められる。



第135図　縄文時代後期〜突帯文期の土器〔浅鉢K類①〕（S＝1／3）



第136図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢K類②〕（S＝1/3）

20は復元口径45.8cmである。内面はナデ調整，外面は擦過調整で，外面には厚い炭化物の付着がある。**21**は復元口径31.4cmで，内外面に炭化物の付着がみられる。**22**は内面がナデ調整，外面が擦過調整で，口唇部は平坦に整えている。外面には炭化物の付着がある。**23**は外面に厚い炭化物が付着する。**24**は外面に屈曲を意識するような擦過調整を行っている。**25**は，内面は貝殻条痕調整，外面は屈曲部より上位は貝殻条痕調整，下位はナデ調整である。外面には炭化物が付着する。**27**の外面には横方向の貝殻条痕調整が施されており，炭化物が付着する。**29**は胴部でわずかに屈曲する。

30は擦過調整の外面に炭化物が付着する。**31**の器面には粘土紐の積み上げが観察される。外面には炭化物の付着が顕著である。**33**の外面には厚く炭化物が付着する。**36**は内外面ともに研磨調整が施される。**38**は内外面ともに擦過調整で，外面には炭化物が付着する。**39**は外面に炭化物の付着が確認できる。**41**の内面は研磨調整が施されている。**43**は外面に炭化物が付着しており，焼成後の穿孔が認められる。**44・45**は外反する口縁部で，外面に炭化物が付着する。**47**の外面には厚い炭化物の付着が認められる。**48**は内面に丁寧な研磨調整を行っている。**49**は外面に焼成後の穿孔を行っているが，未貫通に終わっている。外面は炭化物が付着する。**51**は外反，先細りとなる口縁部で，内外面ともに研磨調整を行っている。

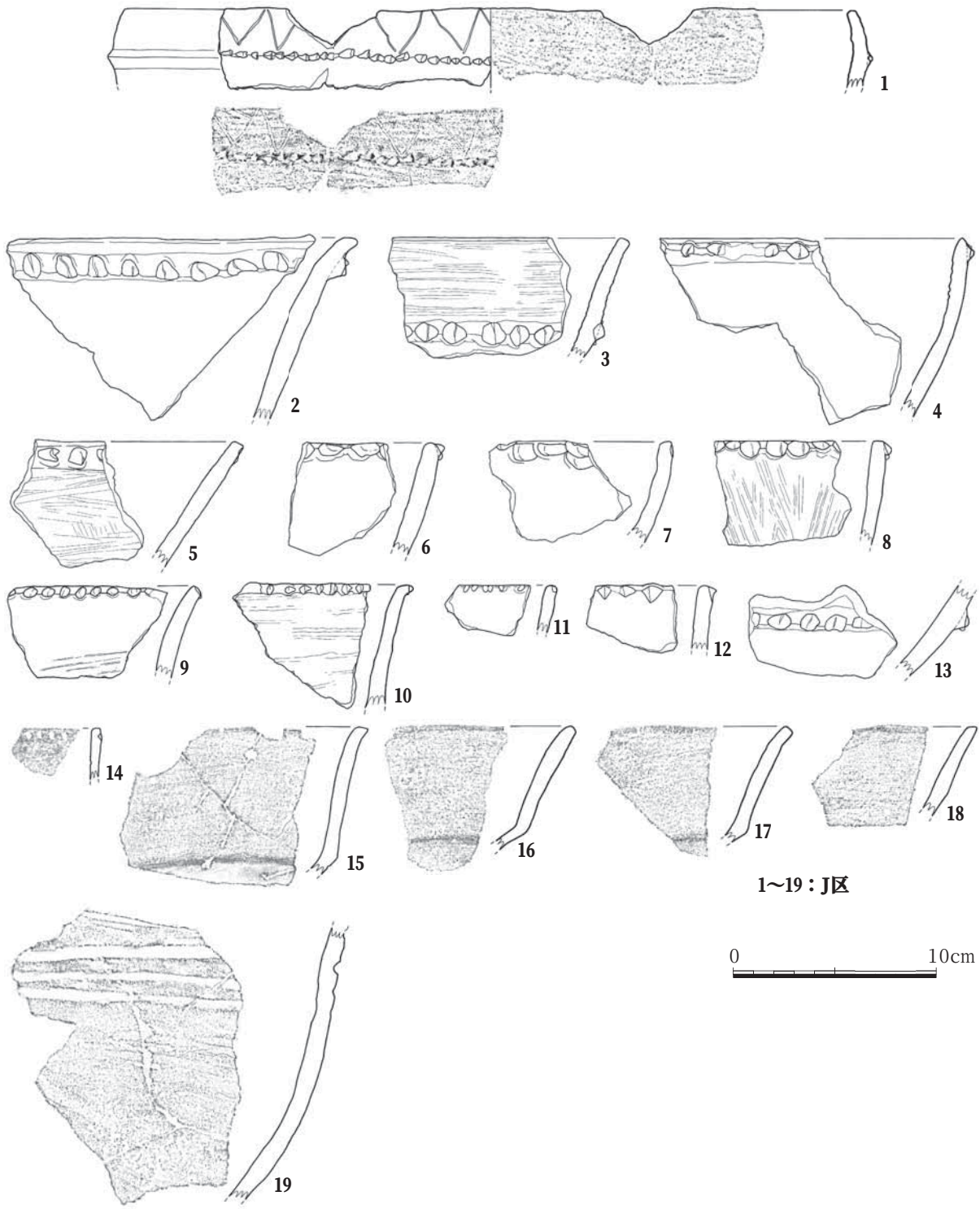
52は口唇部を平坦に整える。**53・54**は外面に炭化物が付着する。**55**は内湾して立ち上がる口縁部で，内面は研磨調整が施されており，外面には厚く炭化物が付着する。**56**は内外面ともに研磨調整を行う。**58**は外面に厚く炭化物が付着する。

60は胴部下半で外面に段を作って立ち上がり，口縁部はわずかに内湾する。内外面ともに研磨調整が施され，外面，口縁部付近には炭化物が厚く付着する。復元口径は26.7cmを測る。

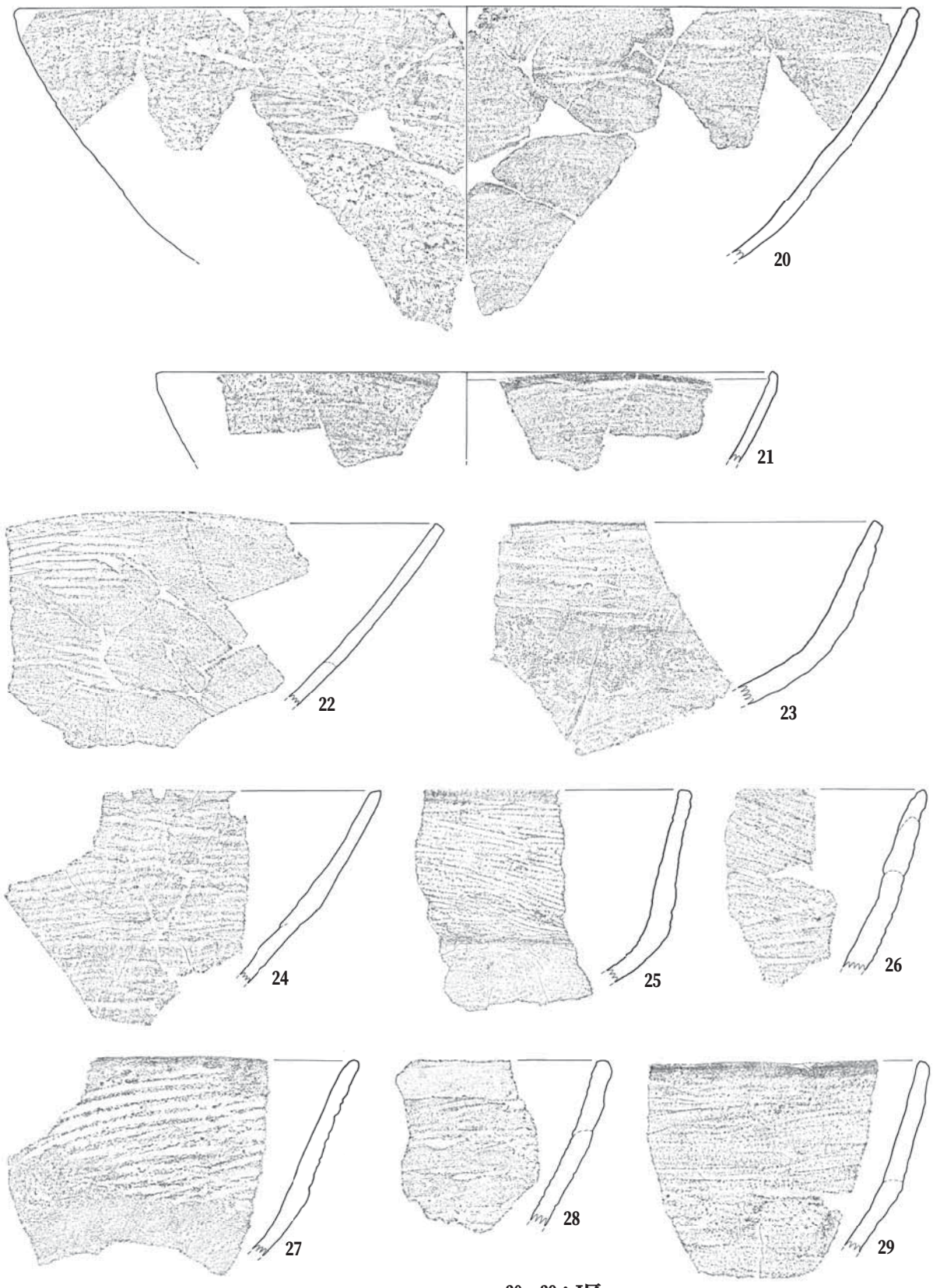
61・62は突帯をもつ資料である。**61**は口唇部から0.5cmの位置に突帯を貼り付け，刻目は指先で同じ場所に二度押さえるように入れる。**62**の突帯は口唇部から0.5cm下がり，刻目は棒状工具による。炭化物が外面に付着する。**63**は口唇部上面に刻目を施す。また，焼成後の穿孔をもつ。**64**は外面に２条の沈線を引く。

65・66，**68**は外面に炭化物が付着する。**69**は内外面ともに研磨調整を施しており，外面には炭化物がつく。**70**の内面は丁寧な研磨調整で，外面には炭化物が付着する。**71**は屈曲して口縁部は先細りとなる資料で，外面には炭化物が付着する。**73**，**75**は比較的厚手の器壁で，外面に炭化物が確認できる。**81**の外面には炭化物が付着する。

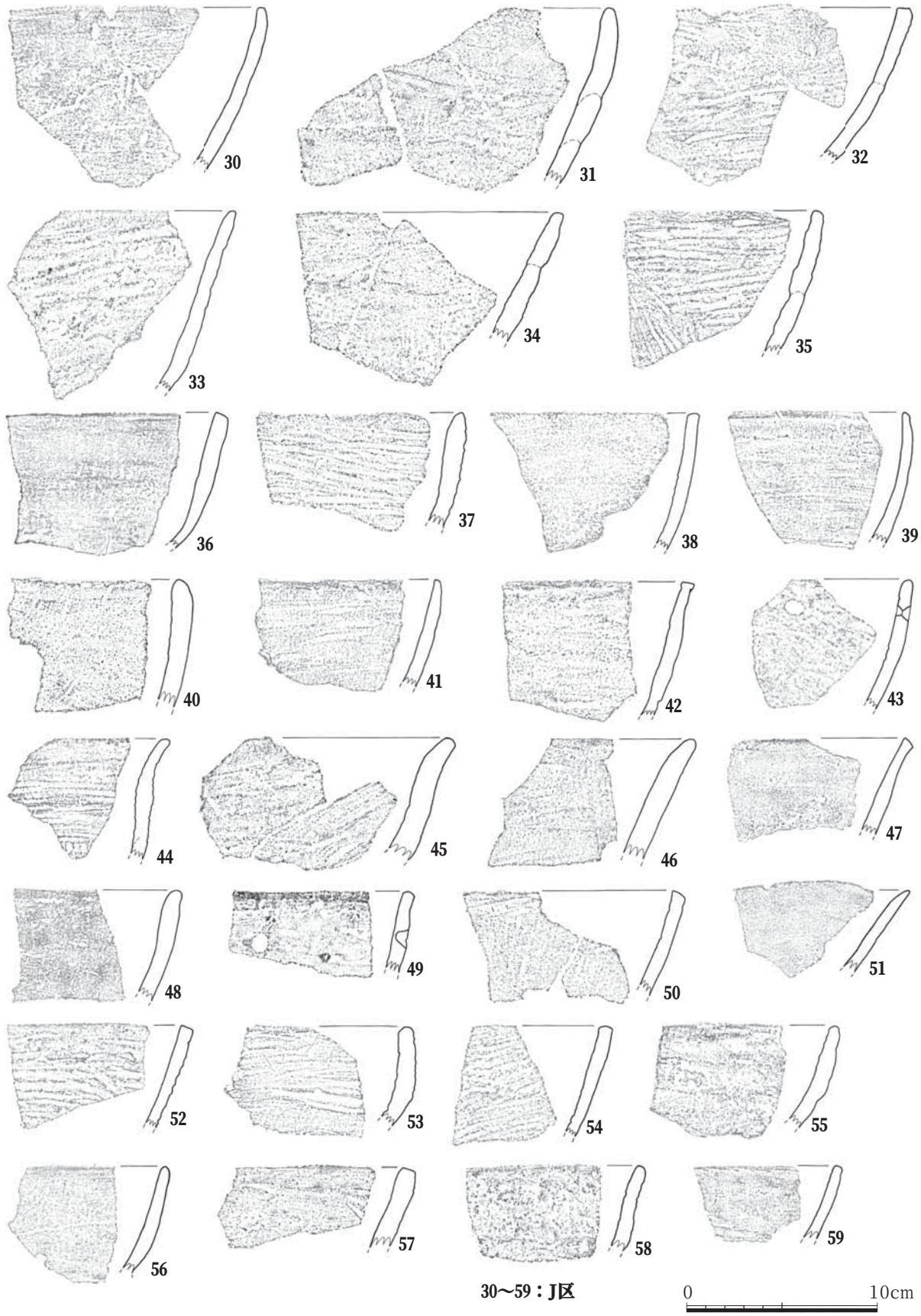
87～102は突帯をもつ資料である。**87**の突帯は口唇部から0.7cm下がった位置であり，低めの突帯に指先による刻目を施す。**88**は口唇部から0.6cmの位置に突帯を付す。刻目は指先によるものである。**89**は口唇部から0.6cmの位置に突帯を貼り付け，指先による大ぶりな刻目を入れる。**90**は口唇



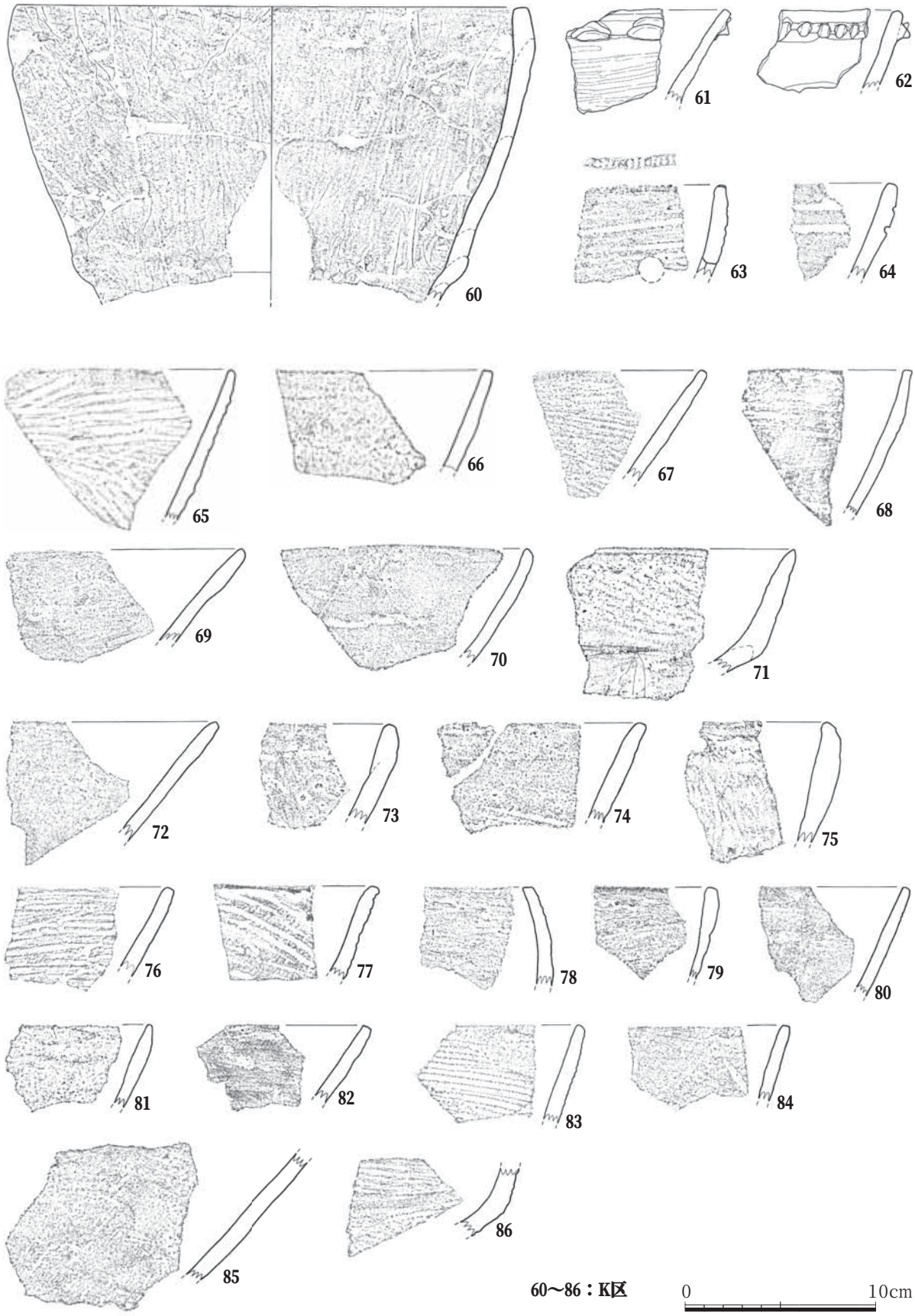
第137図　縄文時代後期〜突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類①〕（Ｓ＝１/３）



第138図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類②〕（Ｓ＝１/３）



第139図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類③〕（Ｓ＝１／３）



第140図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類④〕（Ｓ＝１／３）

部から0.4cmの位置に突帯を付し，指先による刻目を施す。**91**は胴部の資料で，指先による刻目である。外面は炭化物が付着する。**92**は口唇部から1.3cmとやや離れた位置に突帯をめぐらす。刻目は棒状工具によるものである。外面には炭化物が付着する。**93**の突帯も口唇部から1.9cmとかなり下がった位置に貼り付ける。刻目は棒状工具による大ぶりなものである。**94**は薄手の器壁で，突帯は口唇部から0.4cmの位置である。棒状工具によって斜方向の刻目が施される。**95**は口唇部から0.6cmの位置に突帯を貼る。刻目は棒状工具によるものか。**96**は平坦に整えた口唇部から0.3cmの位置の突帯をもつ。刻目は棒状工具によって斜方向に入れられる。**97**の突帯は口唇部から0.5cm下がっており，貝殻腹縁によるものと思われる刻目が細かく入る。**98・99**，**102**は口唇部に接して突帯がつく。刻目はいずれもヘラ状工具によるものである。**100**は口唇部から0.3cmの位置に突帯がつく。刻目はヘラ状工具による。**101**は口唇部から0.2cmの位置に突帯をつける。刻目はヘラ状工具によって施す。

103は口唇部上面に刻目を施す。外面には炭化物が付着する。**105・106**は屈曲して口縁部が立ち上がる資料である。**109**，**113・114**，**118**は外面に炭化物が付着する。**116**は内面に丁寧な研磨調整を施す。**121**は貝殻条痕調整の外面に厚く炭化物が付着する。**123〜125**の内面は丁寧に研磨調整を施している。

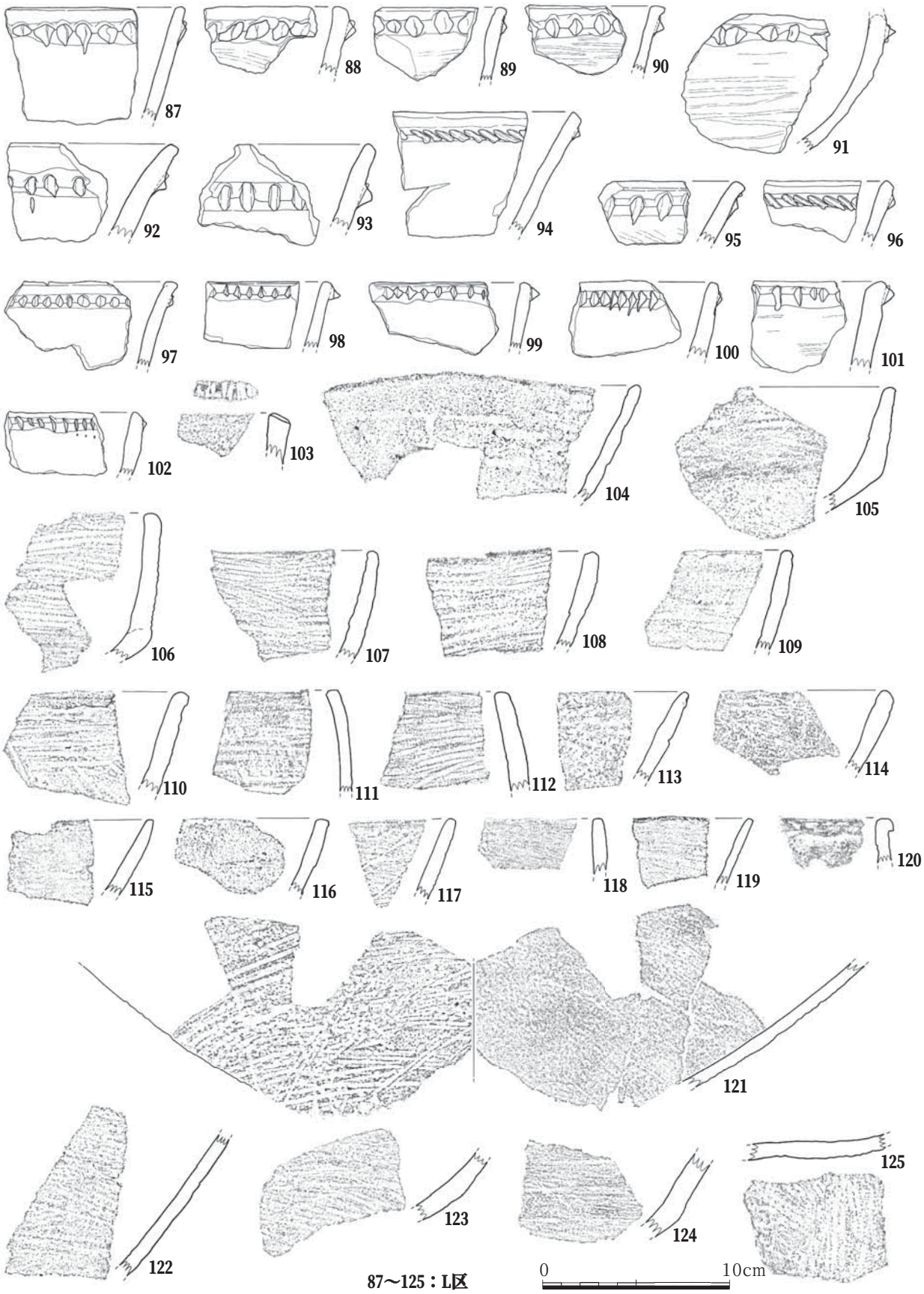
126は胴部で屈曲し，口縁部は外傾する。復元口径は45.5cmを測る。突帯は口唇部からわずかに下がった位置に貼り付けられるが，刻目施文後に口唇部上面をなでることにより，突帯は口唇部とほぼ接した状態となっている。刻目は指先によるものである。外面には厚く炭化物が付着する。**127**は口径25.0cmである。突帯は口唇部から0.3cm下がった位置に貼り付けられる。器壁には無数のごく細かい間隙があり，水溶性もしくは有機質の混和材が胎土に含まれていたものと思われる。刻目は棒状工具によるものであろうか。復元口径は25.0cmである。**128**は復元口径49.1cmを測る大型品である。内面は研磨調整で，外面は底部付近が擦過調整，胴部から口縁部にかけては貝殻条痕調整である。厚い炭化物の付着が認められる。**129**は復元口径33.4cmを測り，口縁部はわずかに内傾する。外面，口縁部付近には炭化物が付着する。

130は復元口径42.7cmを測る。口唇部に突起をもち，内面は研磨調整，外面は擦過調整である。外面には口縁部を中心に厚く炭化物が付着している。**131**は屈曲部をもつ資料で，復元口径は44.1cmを測る。外面には炭化物が付着する。**132**も屈曲部をもつ資料で，外傾して口縁部は立ち上がり，口唇部は肥厚させて内外に段を作る。外面には厚く炭化物が付着する。復元口径は44.5cmである。**133**は復元口径34.4cmを測る。**134**は屈曲部をもつ資料で，口縁部はわずかに内湾する。復元口径は30.7cmである。**133・134**の外面には口縁部付近に炭化物が付着する。

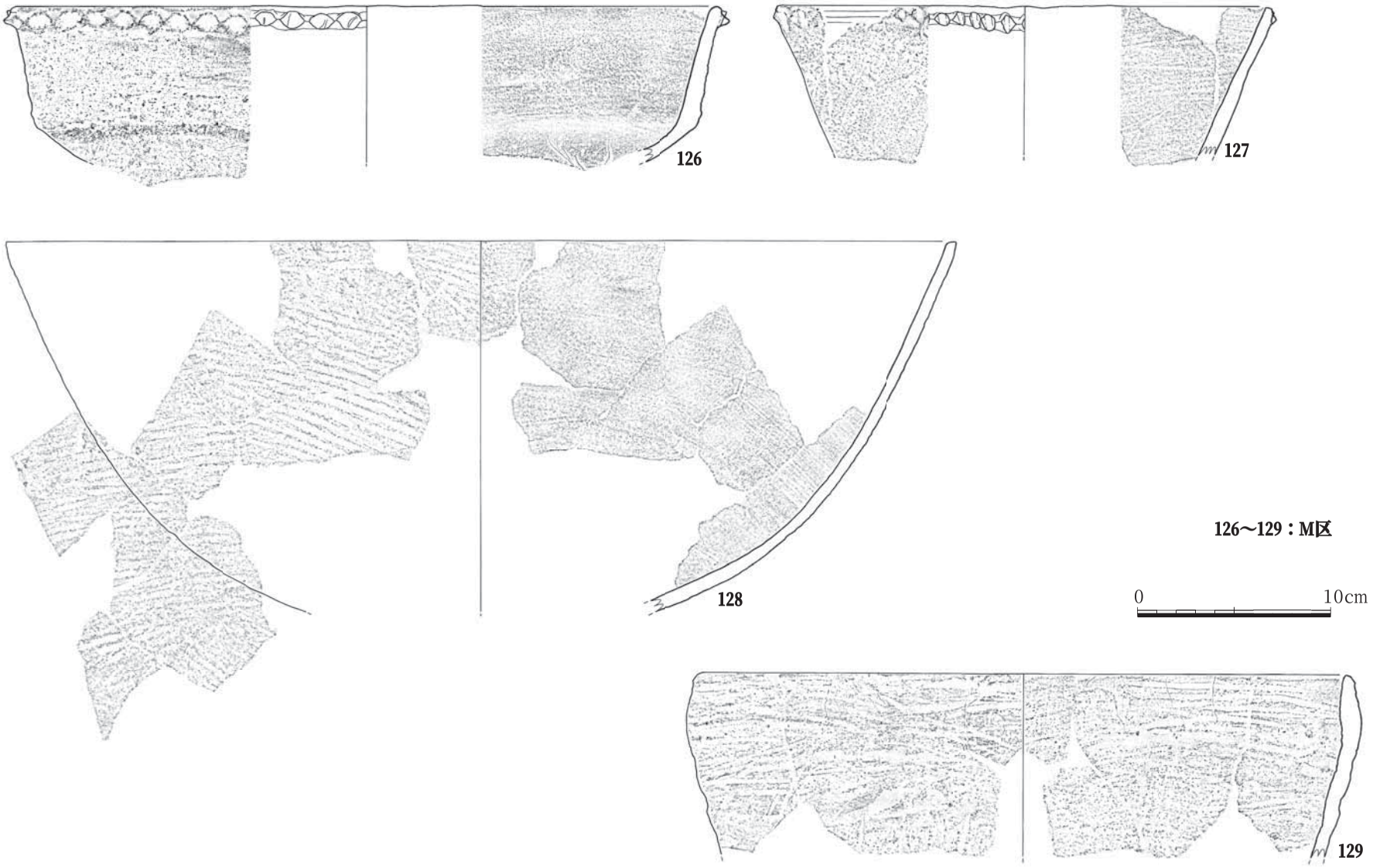
135は内湾する口縁部の資料で，復元口径は37.4cmである。内外面ともに擦過調整で，外面には炭化物がつく。**136**は内面がナデ調整，外面が研磨調整で，屈曲して口縁部はやや内傾する。外面，口唇部付近に炭化物が認められる。**137**は内外面ともに擦過調整を施しており，屈曲部から口縁部は内傾する。外面，屈曲部より上位に炭化物が付着する。復元口径は17.2cmである。**138**は底部から大きく口縁部まで直線的に開く器形である。外面には横方向の貝殻条痕調整が行われる。復元口径は26.5cmである。**139**は復元口径14.5cmである。外面に炭化物が付着する。**140**は復元口径19.2cmで，外面，口縁部付近に厚く炭化物が付着する。**139・140**は比較的小型品で，浅鉢K類としてもよいかもしれない。

141は深鉢C類と同様，口縁部文様帯をもつものである。内外面ともに研磨調整が行われ，外傾する口縁部文様帯には3条の沈線を引く。復元口径は22.7cmである。**142**は胴部上半でいったん屈曲し，口縁部はやや外反して大きく開く資料である。復元口径は40.4cmを測る。

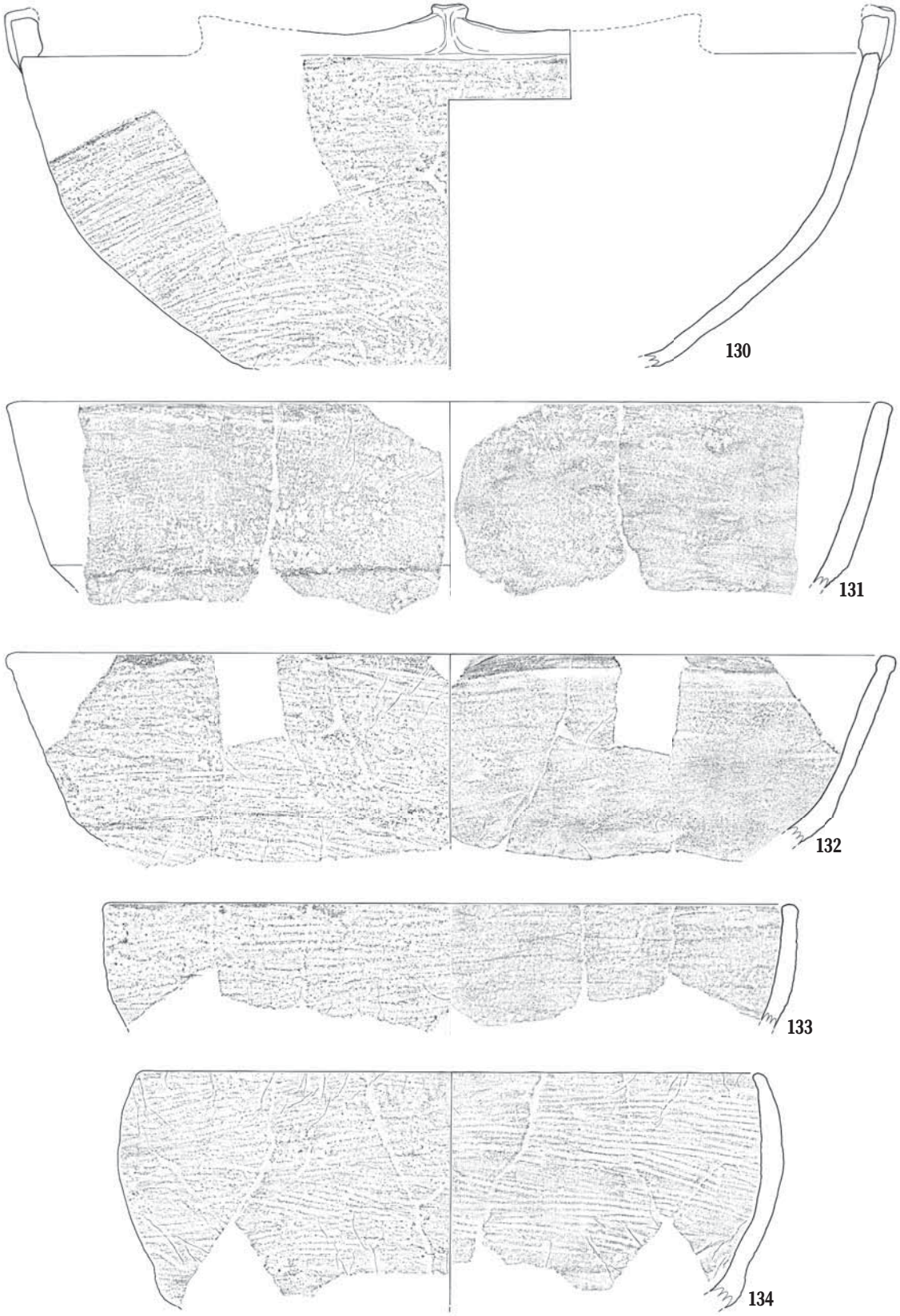
143〜151は刻目突帯をもつ資料である。**143**は口縁部と胴部に突帯をもつ資料で，口縁部突帯は口唇部から0.7cm下がった位置に貼り付ける。刻目は指先によるものである。突帯間には炭化物が付



第141図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑤〕（Ｓ＝１／３）



第142図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑥〕（Ｓ＝１/３）



130～134：M区　0　10cm

第143図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑦〕（Ｓ＝１/３）

着する。**144**も２条の突帯をもつ資料で，口縁部突帯は口唇部から0.3cm 下がる。刻目は棒状工具による。外面，胴部突帯より下位に炭化物の付着がみられる。**145**は屈曲部をもち，口縁部は外傾する。口唇部から0.4cm の位置に突帯をめぐらし，刻目は指先によって大ぶりに施す。外面，屈曲部より上位に厚く炭化物が付着する。**146**は口唇部から0.3cm 下がった位置に突帯を貼り付ける。刻目は指先である。屈曲部をもち，外面には厚く炭化物が付着する。**147**は口唇部からわずかに下がった位置に突帯を貼り付け，指先による刻目を施すが，その後口唇部上端をなでつけることにより口唇部と突帯は接した状態となっている。外面には厚く炭化物が付着する。**148**は口唇部から0.7cm の位置に突帯を貼り付け，指先によって大ぶりの刻目を施す。

149は比較的薄手の器壁で，突帯は口唇部から0.2cm と近接している。ヘラ状工具による刻目を施す。**150**は口唇部に近接した低い突帯にヘラ状工具によって刻目を施す。**151**は口唇部から0.9cm ほどの位置に断面台形の突帯を貼り付け，その上面と側面に指先によるものと思われる刻目を施す。

152〜154は無刻目の突帯をもつ。**152・153**の外面には炭化物が付着する。**155〜158**は口唇部に直接刻目を施す資料である。**155〜157**はヘラ状工具によるものである。**158**の刻目は貝殻腹縁によるものか。**157**の外面には厚く炭化物が付着する。

159は外面に貝殻条調整を施す資料で，口唇部上面に刻目状の施文が確認できる。**160**は口唇部上面に工具小口による刺突を行う。**161**も口唇部外端部に工具小口による刺突を行う。**162**は口唇部の外面と上面に貝殻腹縁による刻目を施す。

165〜169は外面に屈曲部をもつ資料である。**163**，**165・166**は内外面ともに研磨調整を施している。**168**の外面には炭化物が付着する。

170〜172は波状口縁の資料である。**170**の波頂部には刻目をひとつ入れる。内外面ともに炭化物が付着する。**171**は波頂部の資料である。**172**は外面に段をもつ。

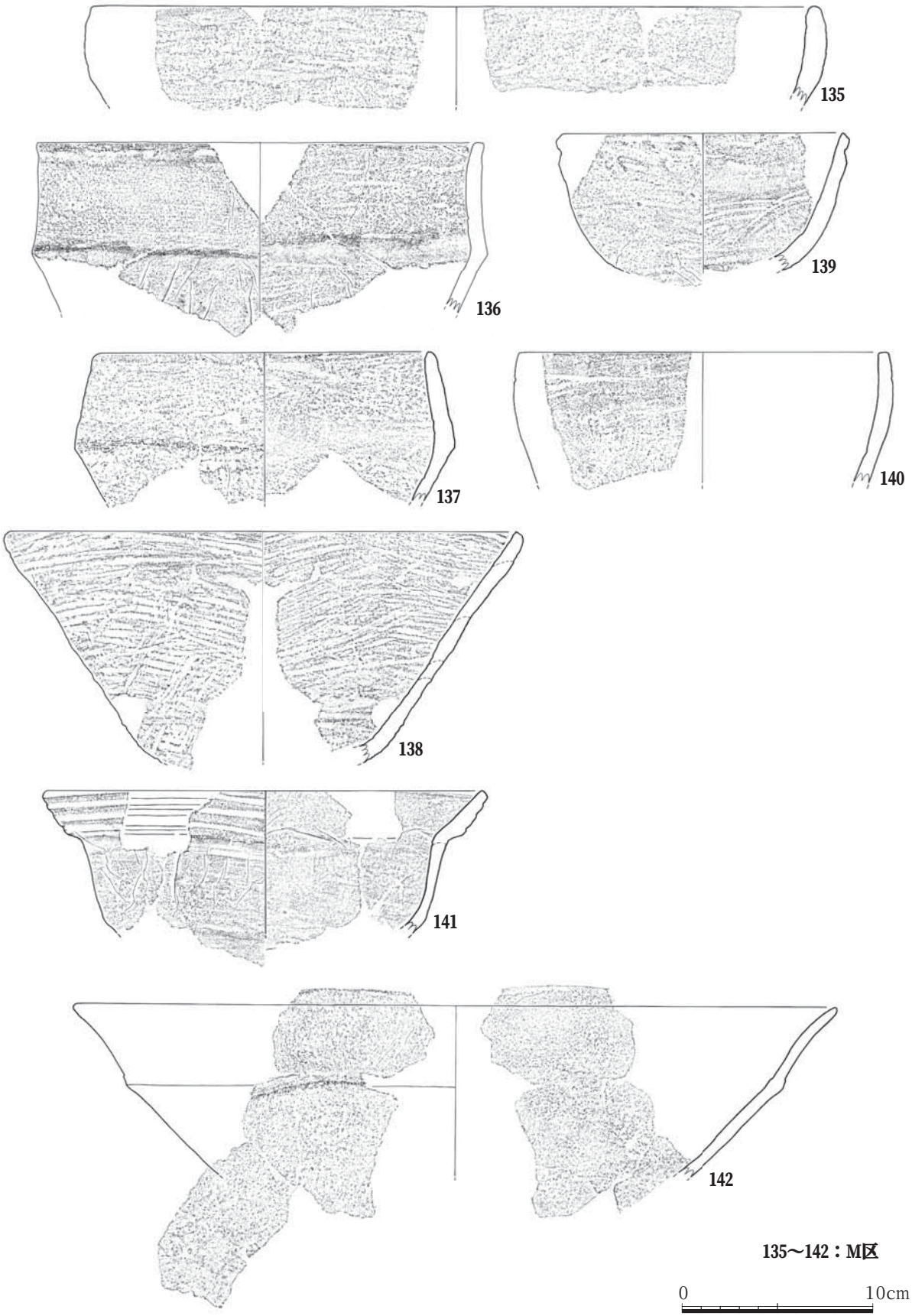
173〜176は口唇部が断面先細りとなり，外反する資料である。

177〜191は口唇部にヒレ状突起，リボン状突起などの突起をもつ資料である。**177**の外面には貝殻条痕調整が施されており，炭化物の付着が認められる。**178**はリボン状突起がつき，その左にはヒレ状突起ももつ。**182**は外面に沈線を引く。**185**，**190**は外面に炭化物が付着する。

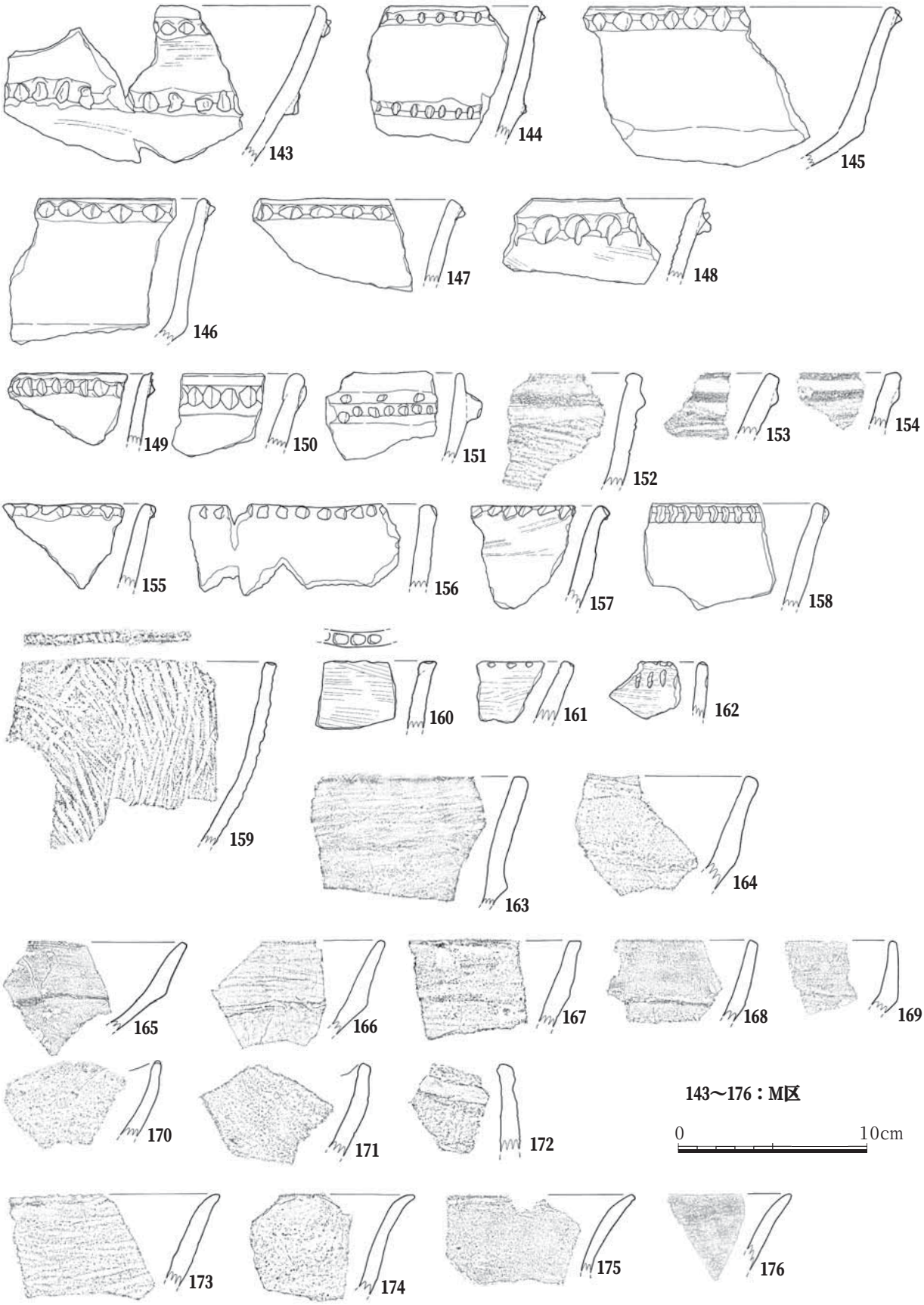
192は，内面は貝殻条痕調整ののちナデ調整を行うが，外面は擦過調整をそのまま残す。**194**は外面に炭化物が付着する。**195**，**198**も外面に炭化物が厚く付着する。**197**は胴部下半で屈曲する。**201**，**203・204**も外面で屈曲部をもつ。**202**の外面には炭化物が付着する。**205**の外面は擦過調整で，口唇部は上面からのナデ調整によって外面で段を作る。**210**は口唇部上面を平坦に整える。**212・213**は外面に炭化物が付着する。**214**は外面のナデ調整が不十分で，粘土紐の積み上げが観察される。**216**は薄手の器壁で，内外面ともに研磨調整を行っている。

225の内面には研磨調整を施す。**228**は比較的薄手の作りで，外面には炭化物が付着する。**229・230**，**232**，**237**は外面に炭化物が付着する。**239**は内湾する口縁部で，内外面ともに研磨調整を施す。**240**は外面に炭化物の付着が認められる。**243**は比較的薄手の器壁で，内面は丁寧に研磨調整を行っている。**251**の内面も研磨調整を施す。

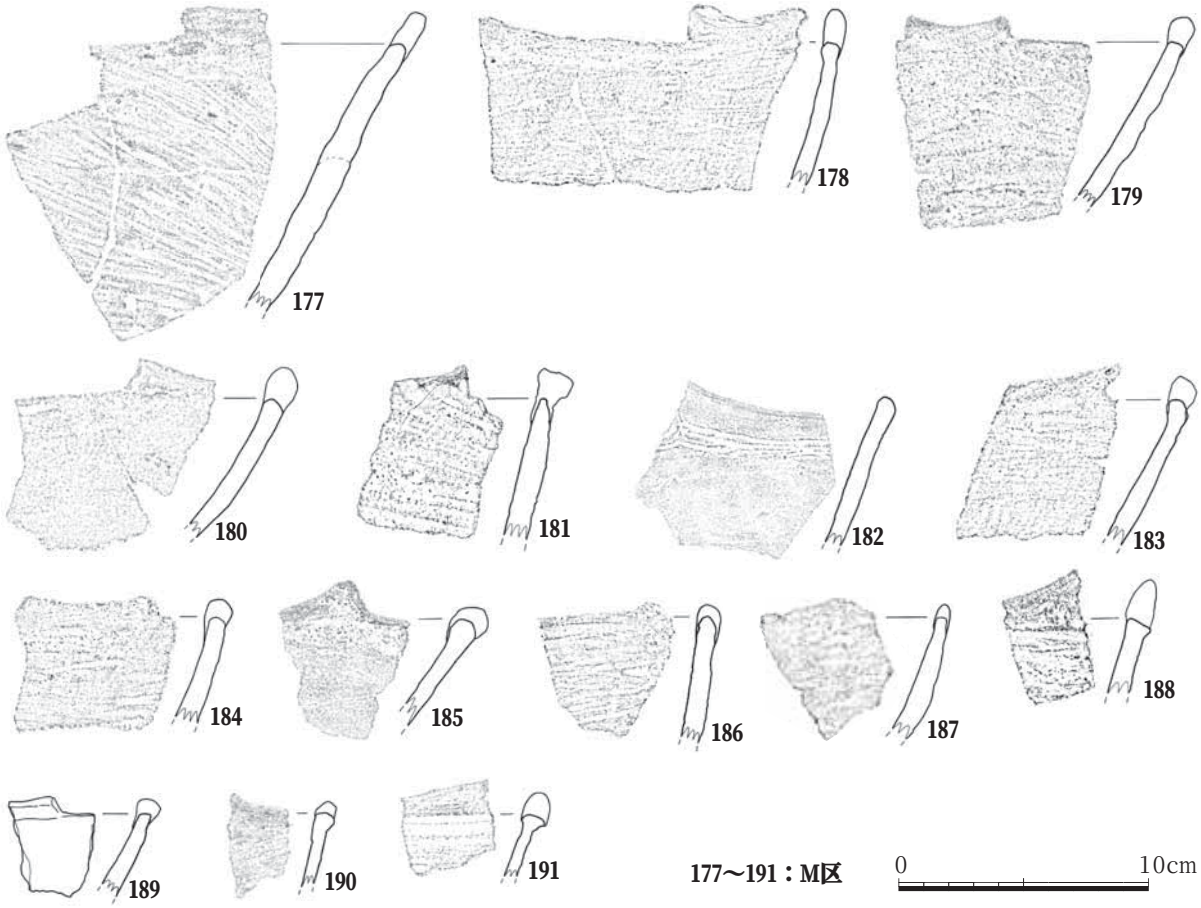
254は内外面ともに研磨調整を施しており，外面には研磨調整を施している。**255**，**257**の外面には炭化物が付着する。**265**は比較的薄手の資料で，口径はさほど大きくならないものと思われる。外面は研磨調整で，炭化物が付着する。**273**は厚手の内湾する口縁部である。**274**は内外面ともに貝殻条痕調整による粗雑な作りで，内傾し，外面には炭化物が付着する。**275**は比較的薄手の器壁で，外面には炭化物が付着する。**276**も薄手の器壁で，内面は丁寧に研磨調整を行う。**279**は比較的小型の土器で，外面には炭化物が付着する。**284**は厚手で内湾する口縁部である。**286**，**289**は外面に炭化物が付着する。**288**の口縁部外面には肥厚部をもつ。



第144図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑧〕（Ｓ＝１/３）

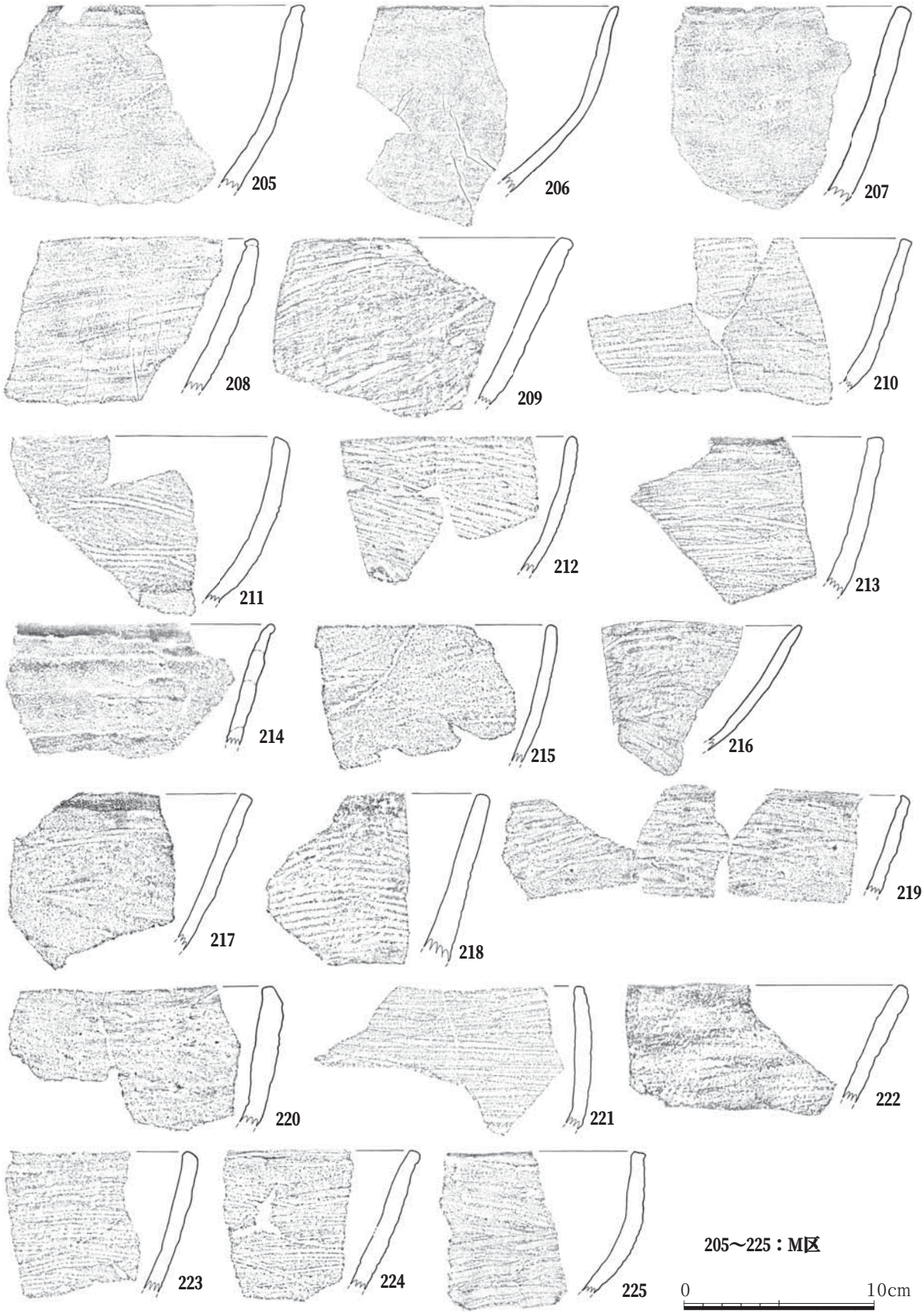


第145図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑨〕（Ｓ＝１／３）

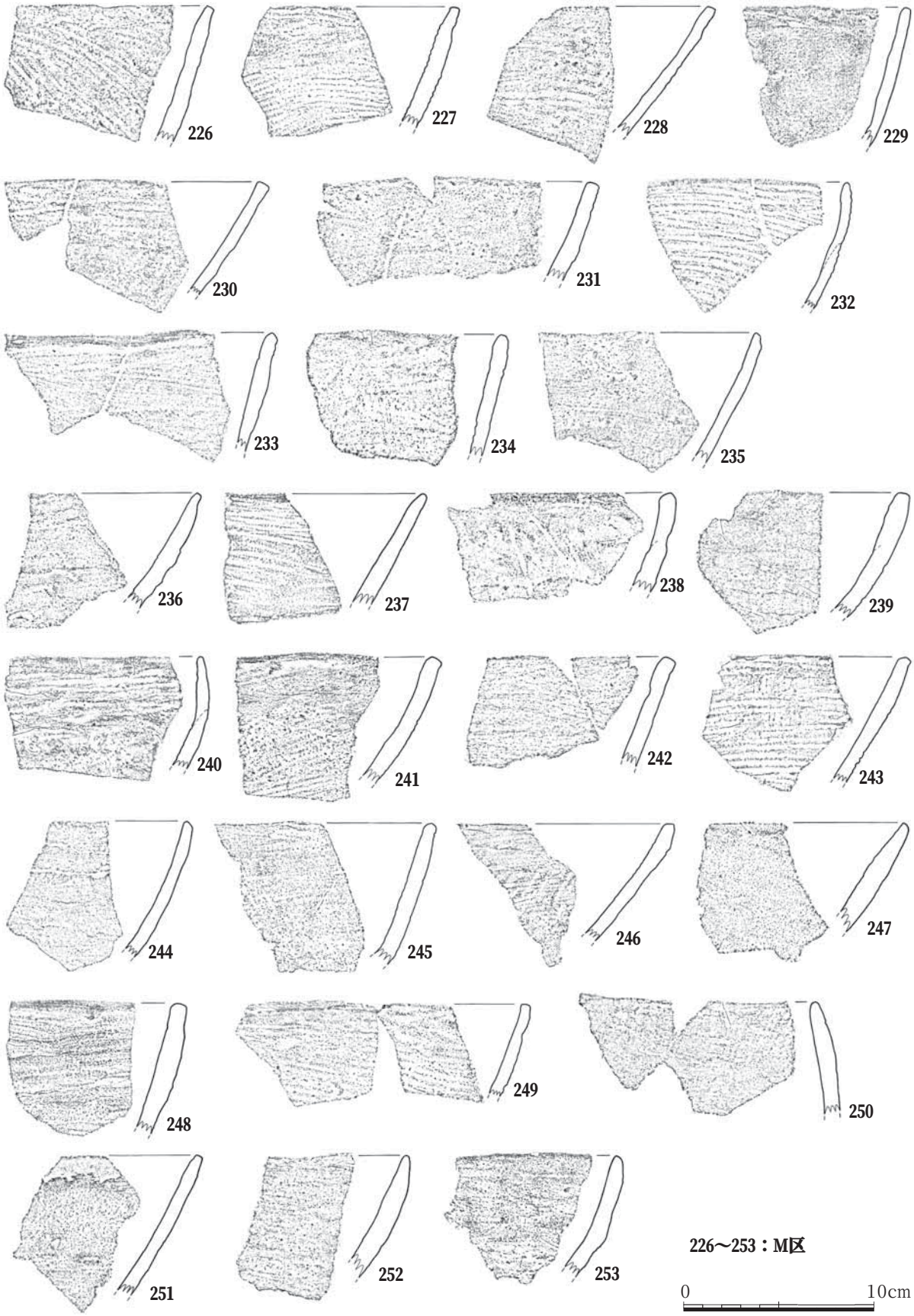


第146図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑩〕（Ｓ＝１／３）

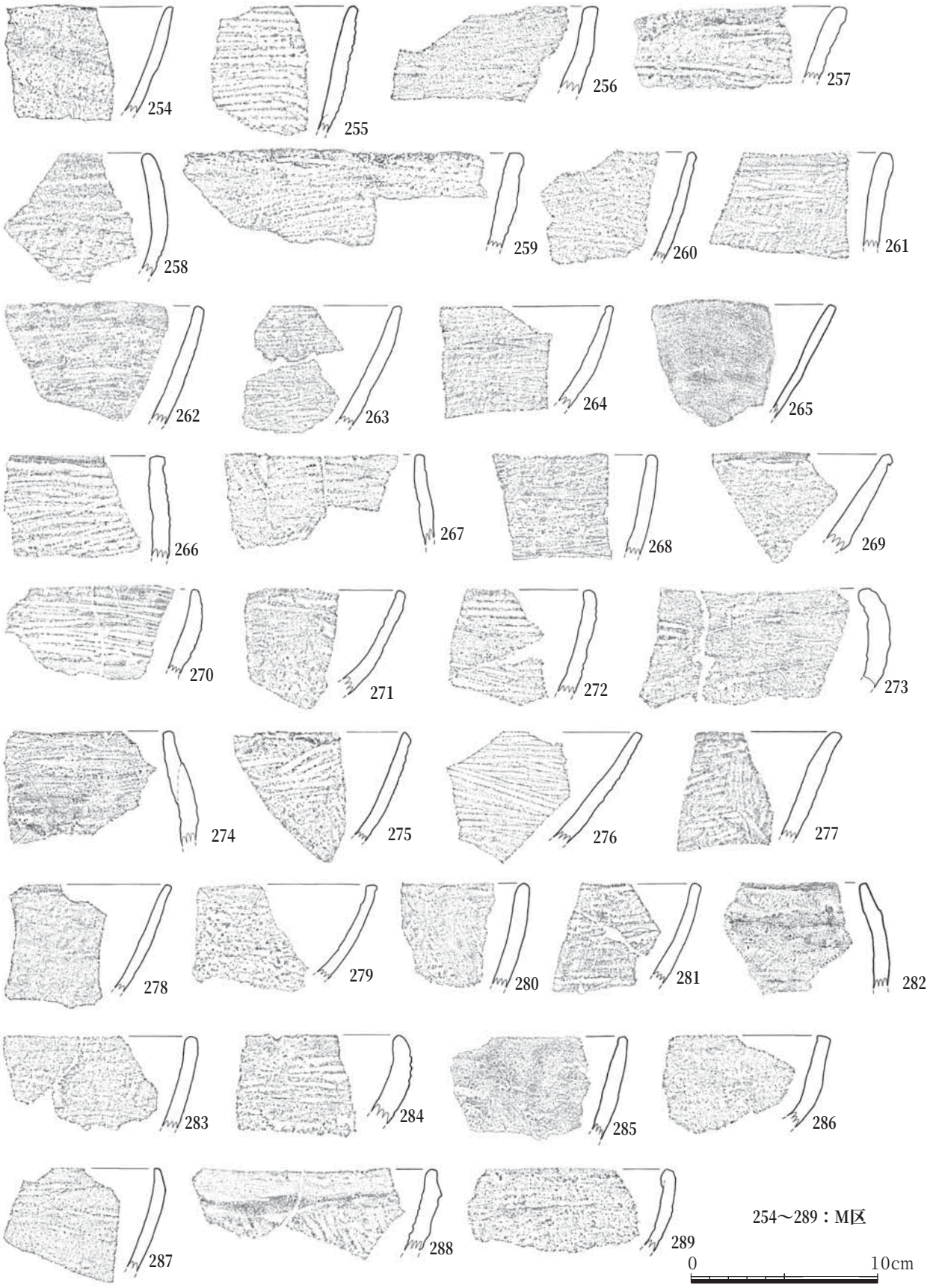
第147図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑪〕（Ｓ＝１/３）



第148図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑫〕（Ｓ＝１／３）



第149図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑬〕（Ｓ＝１／３）



第150図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑭〕（Ｓ＝１／３）

292は内外面ともに研磨調整を行っており，焼成後の穿孔をもつ。293は外面に炭化物が付着する。295は内外面ともに研磨調整である。297，302，306は外面に炭化物が付着する。301は厚手の内湾する口縁部で，外面には炭化物が付着する。309は口唇部を平坦に整える。309・310の外面には炭化物が付着する。

339の外面には炭化物が付着する。340は内湾する口縁部で，内外面ともに擦過調整ののちに研磨調整を行う。346は薄手の内傾する口縁部で，外面に炭化物が付着する。347は口唇部を外反させる。350の外面には厚い炭化物の付着が認められる。355・356の外面には炭化物が付着する。357は内湾する口縁部で，口唇部外面付近に炭化物が付着する。363は外傾する口縁部で，内外面ともに丁寧に研磨調整を行われる。364・365，371の外面には炭化物が付着する。373は内外面ともに研磨調整が施される。

374の内面には研磨調整を施す。外面には炭化物が付着する。375の内面は丁寧なナデ調整である。377は外面に屈曲部をもつ。378は薄手の器壁で，内面は丁寧にナデ調整を行う。379の内面には丁寧に研磨調整が行われる。外面は擦過調整ののちに格子目状に沈線を引く。擦過調整により不明瞭であるが，アンギンの可能性のある部分も観察され，組織痕土器であるかもしれない。380の内面には研磨調整が行われる。381～384，386は屈曲部をもつ資料である。381は内面に炭化物が付着する。382は内外面ともに研磨調整が行われており，外面には炭化物が付着する。384・385の外面には炭化物が付着する。

388～390は突帯をもつ資料で，いずれも棒状工具による刻目を施す。388は口唇部から0.6cm の位置に突帯を貼り付ける。389の突帯は口唇部から0.6cm 下がる。390の突帯は口唇部から0.2cm 下がった位置である。391は口唇部外端に直接刻目を入れる。

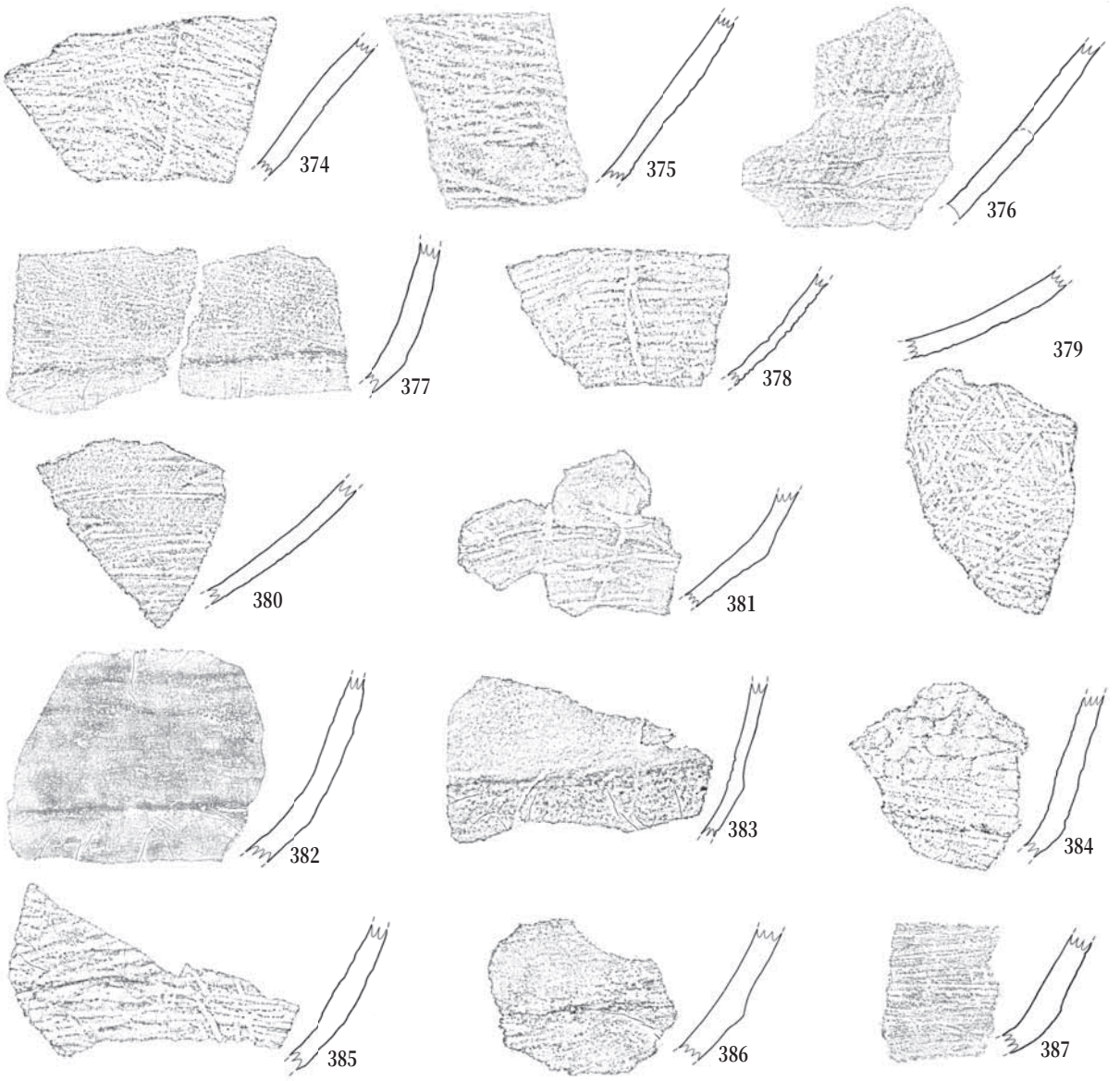
392は口唇部に突起をもつ資料で，外面には厚く炭化物が付着する。393の内面には研磨調整が施される。395・396は外面に厚く炭化物が付着する。397は比較的小型のものと思われ，外面には炭化物が付着する。399は外面に炭化物が付着する。

402～415は突帯をもつ資料である。400は胴部から口縁部へと内傾して直線的に立ち上がる。口唇部上面はナデ調整により平坦に整え，口縁部の突帯は口唇部から0.4cm の位置に貼り付ける。刻目はヘラ状工具によるものである。外面には炭化物の付着が認められる。復元口径は20.7cm を測る。401は胴部と口縁部に突帯をもち，ヘラ状工具による刻目を入れる。深鉢 E 類の可能性もある。口縁部突帯は口唇部から0.5cm ほど下がった位置である。402は胴部と口縁部に突帯をもち，口縁部突帯は口唇部に接する。刻目は指先によるものである。403は口唇部に接して貼り付けられた突帯に指先による刻目を施す。外面には厚く炭化物が付着する。

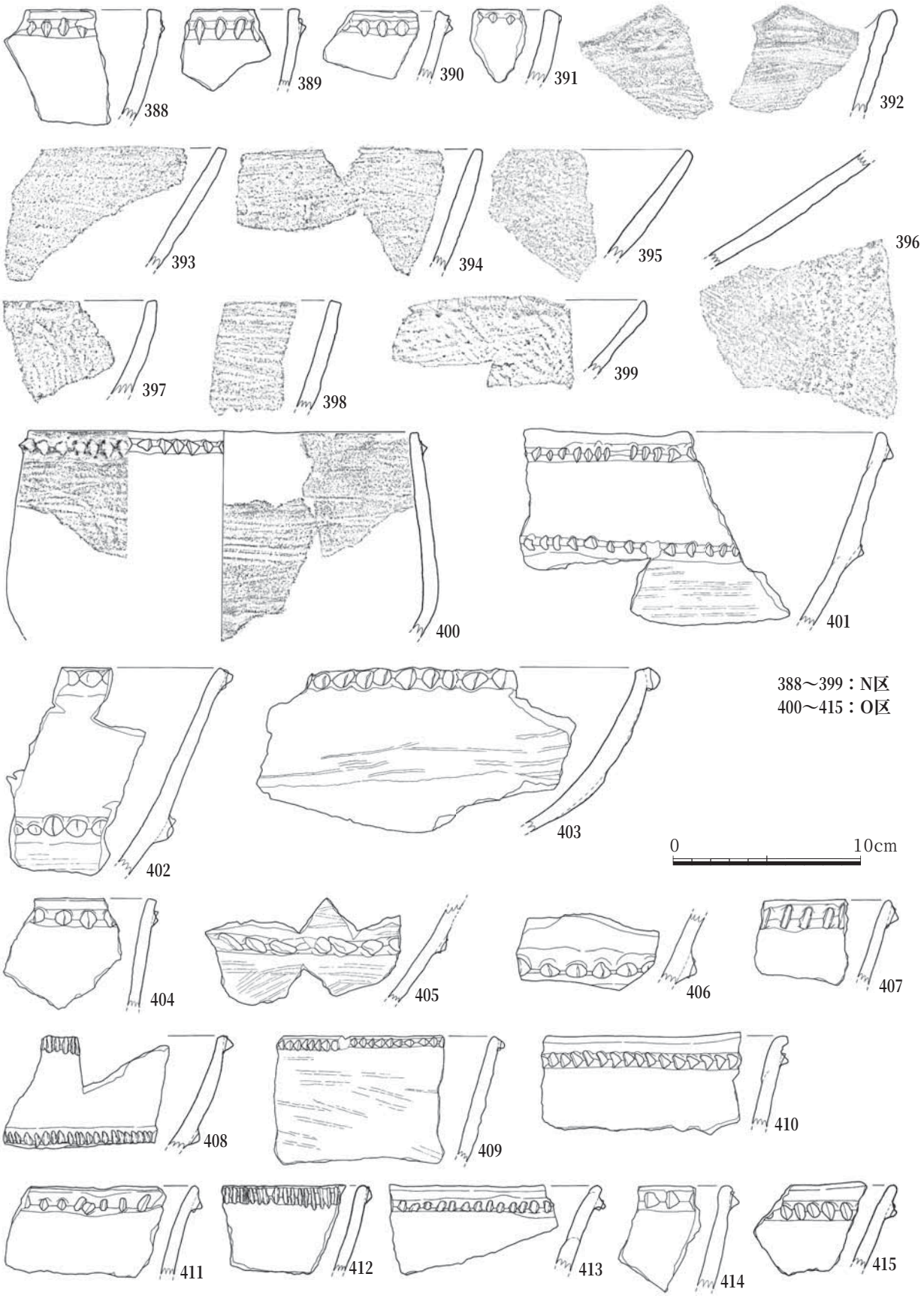
404は外傾する口縁部で，口唇部は平坦に整えられており，突帯は口唇部から0.5cm 下がった位置につく。刻目は指先による。405は胴部突帯の資料で，刻目は貝殻腹縁によるものか。406は指先による刻目を施す。407は外傾する口縁部で，器壁は薄手であり，口唇部に接して貼り付けられた突帯には棒状工具により刻目が入る。408，412は比較的小型の資料である。胴部と口縁部に突帯をもち，口縁部の突帯は口唇部に接する。刻目はごく細い棒状工具によって施される。408の外面，突帯間には炭化物が付着する。409は口唇部に接して突帯がめぐっており，ヘラ状工具による刻目が施される。410の口唇部は外反しており，口唇部から0.7cm の位置に突帯がつく。ヘラ状工具による刻目が入れ

第151図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑮〕（Ｓ＝１／３）

第152図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑯〕（Ｓ＝１／３）



第153図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑰〕（Ｓ＝１／３）

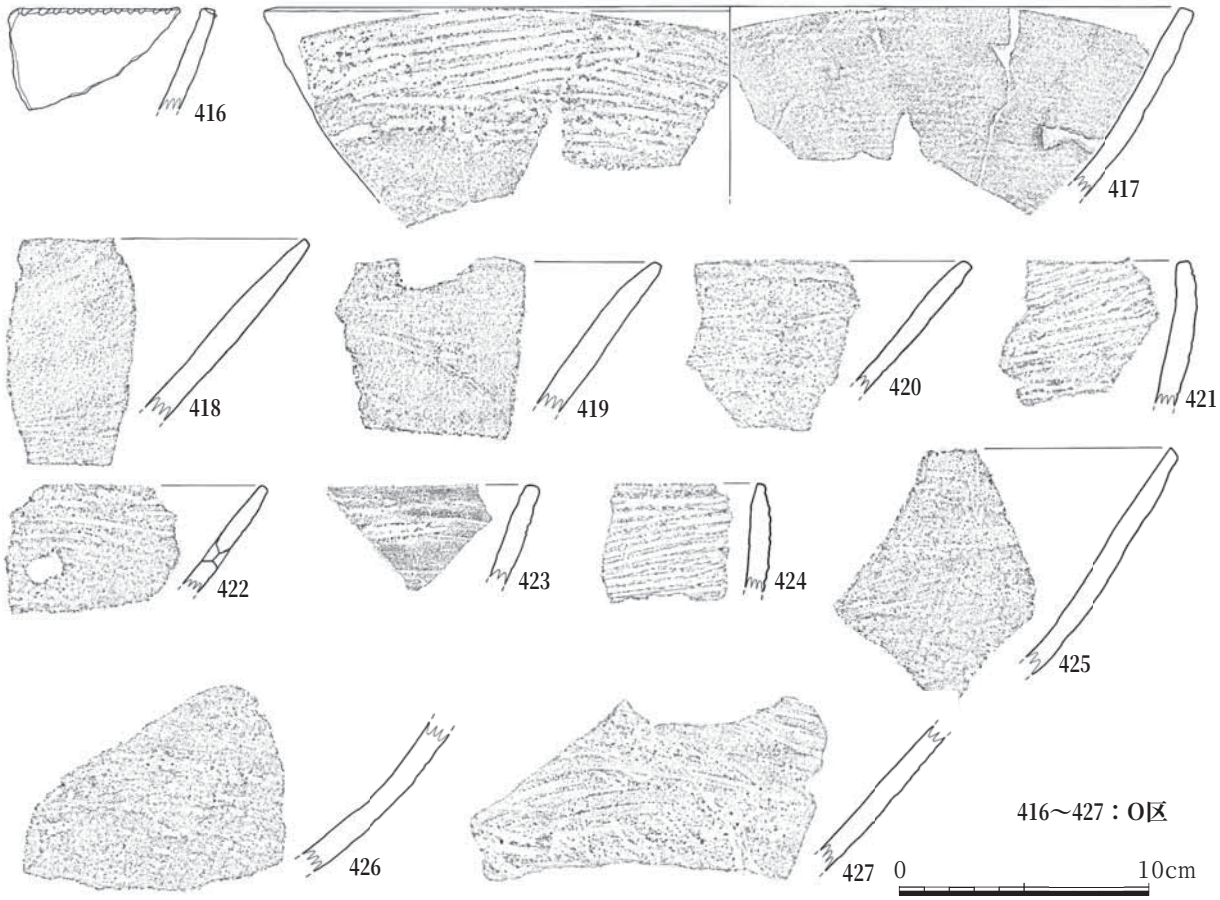


第154図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑱〕（Ｓ＝１／３）

られる。

411の突帯は口唇部に接しており，ヘラ状工具による刻目が施される。外面には炭化物が付着する。**413**は口唇部から0.6cm の位置に細く背の高い突帯を貼り付け，細めの棒状工具による刻目を施す。**414**は口唇部から0.3cm の位置に突帯をつけ，ヘラ状工具による刻目を施す。**415**の突帯は口唇部から0.7cm の位置につけられており，ヘラ状工具による刻目である。

416は口唇部上面に刻目を施す。**417**は復元口径37.2cm を測り，内面は研磨調整，外面は貝殻条痕調整である。外面には炭化物が付着する。**422**は焼成後に穿孔を行っている。**426**の内面は丁寧な研磨調整である。**427**の内面は丁寧なナデ調整である。



第155図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑲〕（Ｓ＝１／３）

浅鉢M類（第156図～第161図）

型取り技法によって製作された組織痕土器である。外型のものである籠目や中敷きとしてのアンギン，網目，平織の圧痕がみられる。口縁部には外型の口縁部のさらに上段に粘土を積み上げたことによる段を外面に作る場合がしばしばみられ，それを削り落とすものもみられる。

1～**54**はアンギンの資料である。**1**は口縁部の資料で，内面は擦過調整，外面には粘土紐の積み上げの痕をとどめ，わずかにアンギンの圧痕が残る。直立する口縁部の外面には炭化物が付着する。**2**は外面で段を作って口縁部が直立する。口縁部外面には横方向の貝殻条痕調整が施され，炭化物が付着する。**5**の内面は丁寧に研磨されている。**8**のアンギンは２本単位の経糸で，経糸間の長さは3.0cm以上あるものと思われる。**11**・**12**の外面には炭化物が付着する。**18**は底部から胴部への立ち上がりの部分である。**19**は擦過調整により組織痕を掻き消している。**22**～**24**は経糸間の幅が不均一である。**24**の外面には炭化物が付着する。

27は復元口径20.4cmを測り，他の組織痕土器に比べると，口径に対して器高が高い資料である。口縁部はわずかに内湾気味に立ち上がる。**28**は内外面ともに擦過調整を施す。口縁部外面には炭化物が付着する。**29**は底部の資料で，内面は研磨調整が行われており，外面はアンギンの圧痕を掻き取るように貝殻条痕調整が行われている。**30**も底部の資料で，外面には経糸間の幅の狭いアンギン圧痕がよく残る。内面にはナデ調整が行われている。**32**は口縁部の粘土継ぎ足し部の段が残る。**33**の外面は圧痕部と口縁部との境界となる段を擦過調整によって削る。

37の外面には炭化物が厚く付着する。**38**のアンギンは３本単位の経糸で，経糸間は2.2cmと広い。**39**の外面も組織痕と口縁部との境界部分を削る。**40**～**42**の外面には炭化物が付着する。**46**の経糸間は1.5cmと広めである。**47**は３本単位の経糸で，経糸間は2.0cmである。**50**は３本単位の経糸で，経糸間は2.7cmである。**53**は経糸３本単位で，経糸間は2.3cmである。**54**も経糸の観察はできないが，経糸間は，3.0cm程度はあるものと思われる。

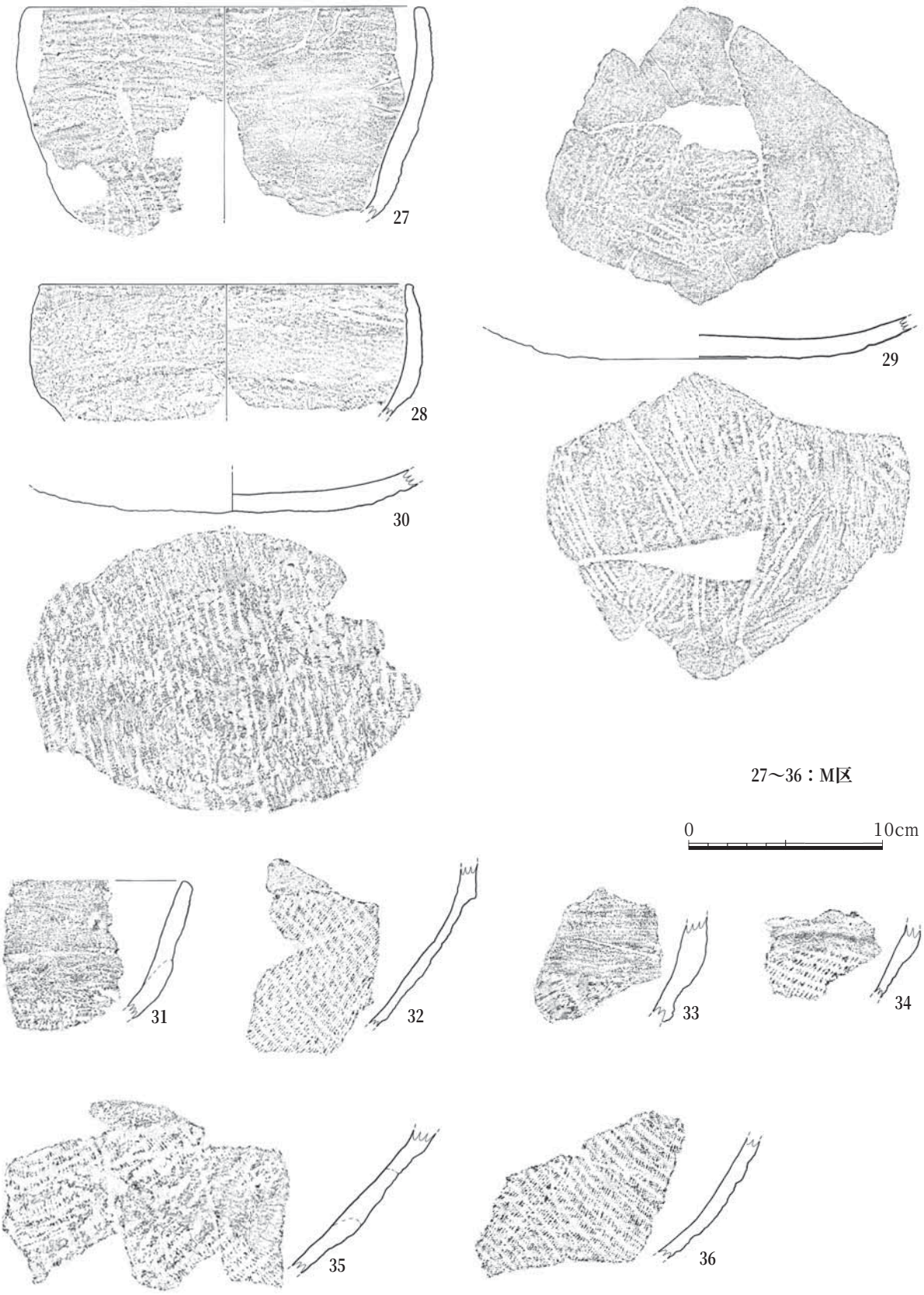
55～**90**は網目の資料である。**55**は復元口径30.2cmで，口縁部がやや外傾して5.5cmほど立ち上がる。口縁部の外面には横方向の貝殻条痕調整が施される。**56**は組織痕部分の最上位で段を作って口縁部が外傾する。口縁部外面には横方向の貝殻条痕が施される。**57**は底面付近の資料である。外面はナデ調整によって組織痕が一部しか残らず，内面には丁寧な研磨調整が施される。**58**は底部の資料である。底径は13.6cmを測る。**59**は目の広い網目である。外面，組織痕との境界部分は擦過調整を施す。外面，口縁部には炭化物が付着する。**60**は厚手の器壁である。**61**の内面には丁寧に研磨調整が行われる。**66**は厚手の器壁で，底部付近と思われる。**68**は**66**と同一個体の可能性が高い。**69**は目の広い網目であろうか，あるいは経糸間の幅の広いアンギンの可能性もある。

71は比較的薄手の器壁で，外面の胴部中ほどは擦過調整を行っている。内面は丁寧なナデ調整である。**72**は組織痕部分から4.0cmほど口縁部が立ちあがる。外面には全体に厚く付着する。**73**は組織痕部分から1.8cmの口縁部が立ち上がる。外面には炭化物が付着する。**74**～**76**，**79**の内面は研磨調整が施される。**87**は目の細かい網目で，一部ナデ調整が行われる。**88**は胴部への立ち上がり部分と思われ，外面の組織痕に擦過調整を施している。**90**は目の細かい網目である。

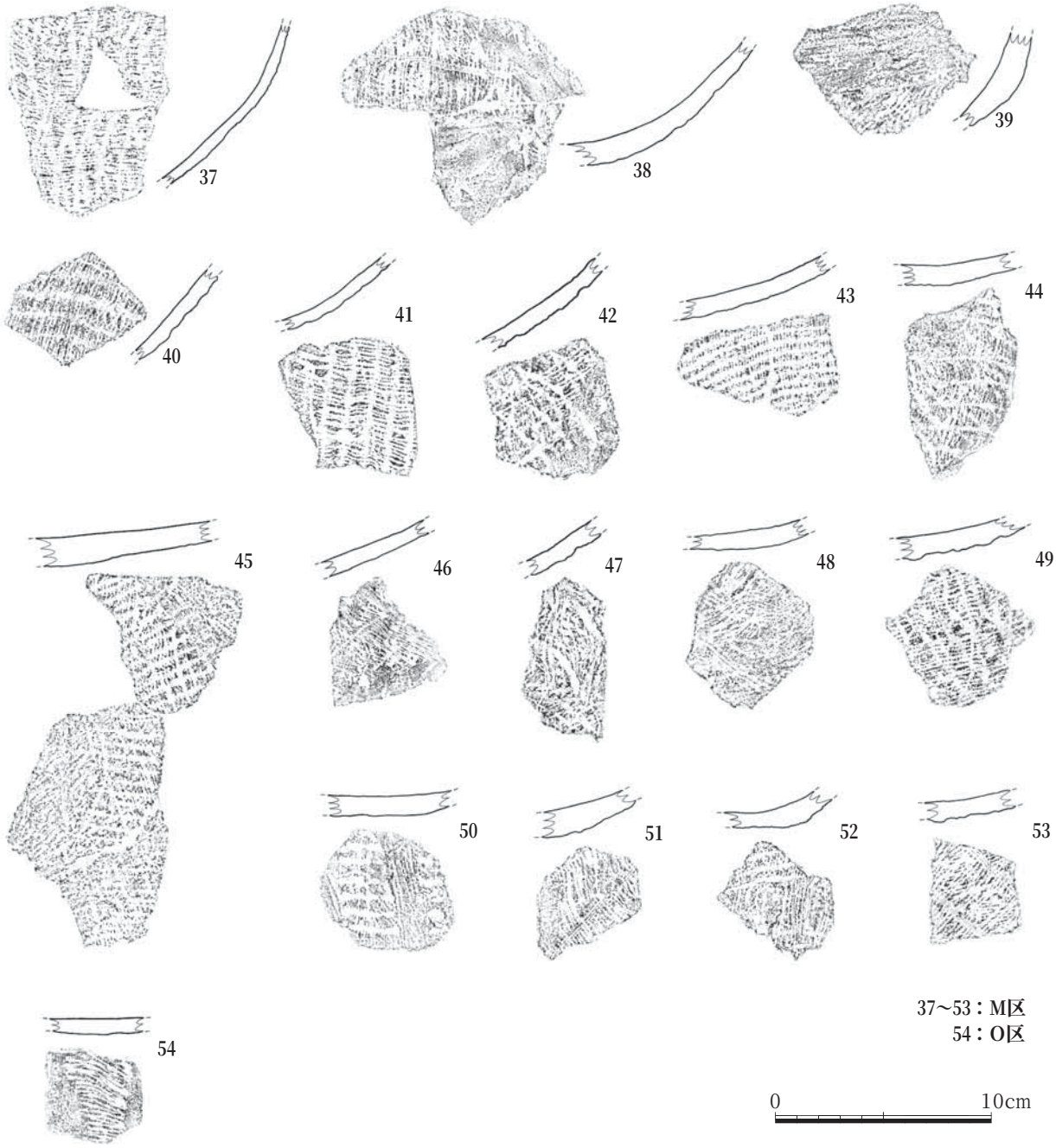
91～**102**は籠目の資料である。**91**～**93**は組織痕と口縁部との境界で段を作る。**94**～**97**は同一個体であろう。内面には研磨調整が施される。**98**は薄手の作りで，一部擦過調整が行われている。

90は底部の資料で，外面にはナデ調整が行われるが，底面付近には組織痕が残る。**101**は籠目が４～５mmと他の資料に比べれば幅広である。

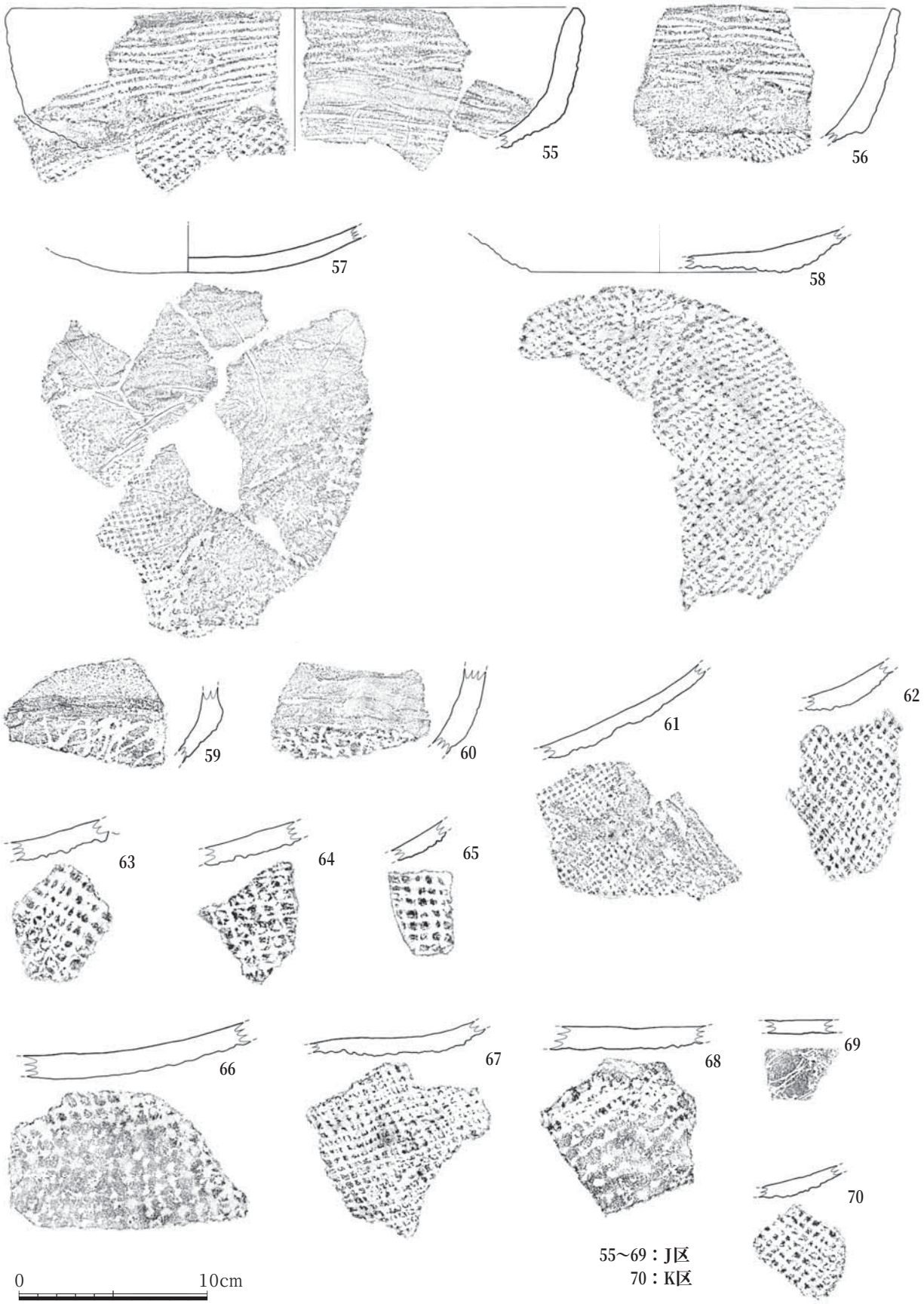
第156図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類①〕（S＝1／3）



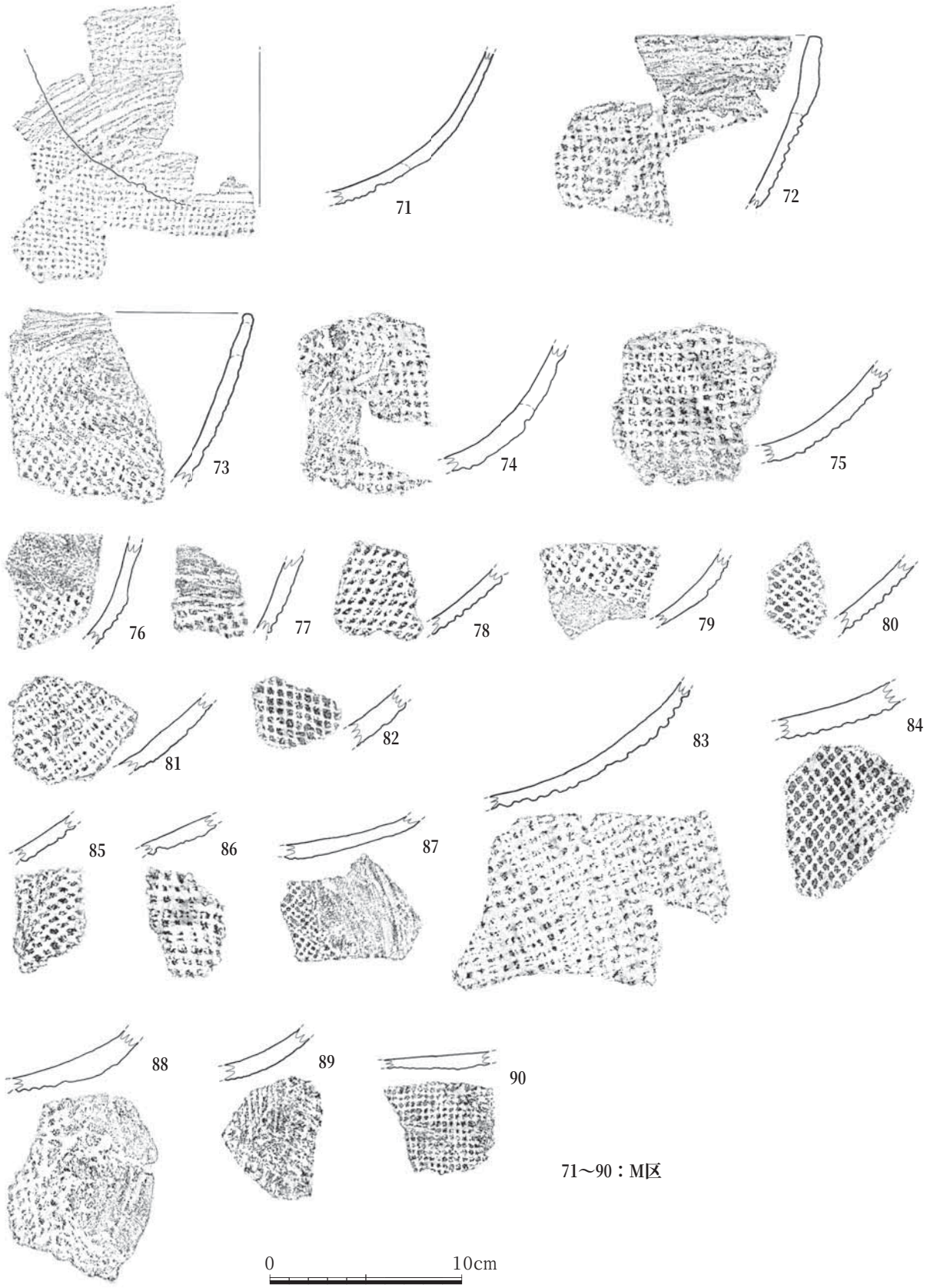
第157図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類②〕（S＝1／3）



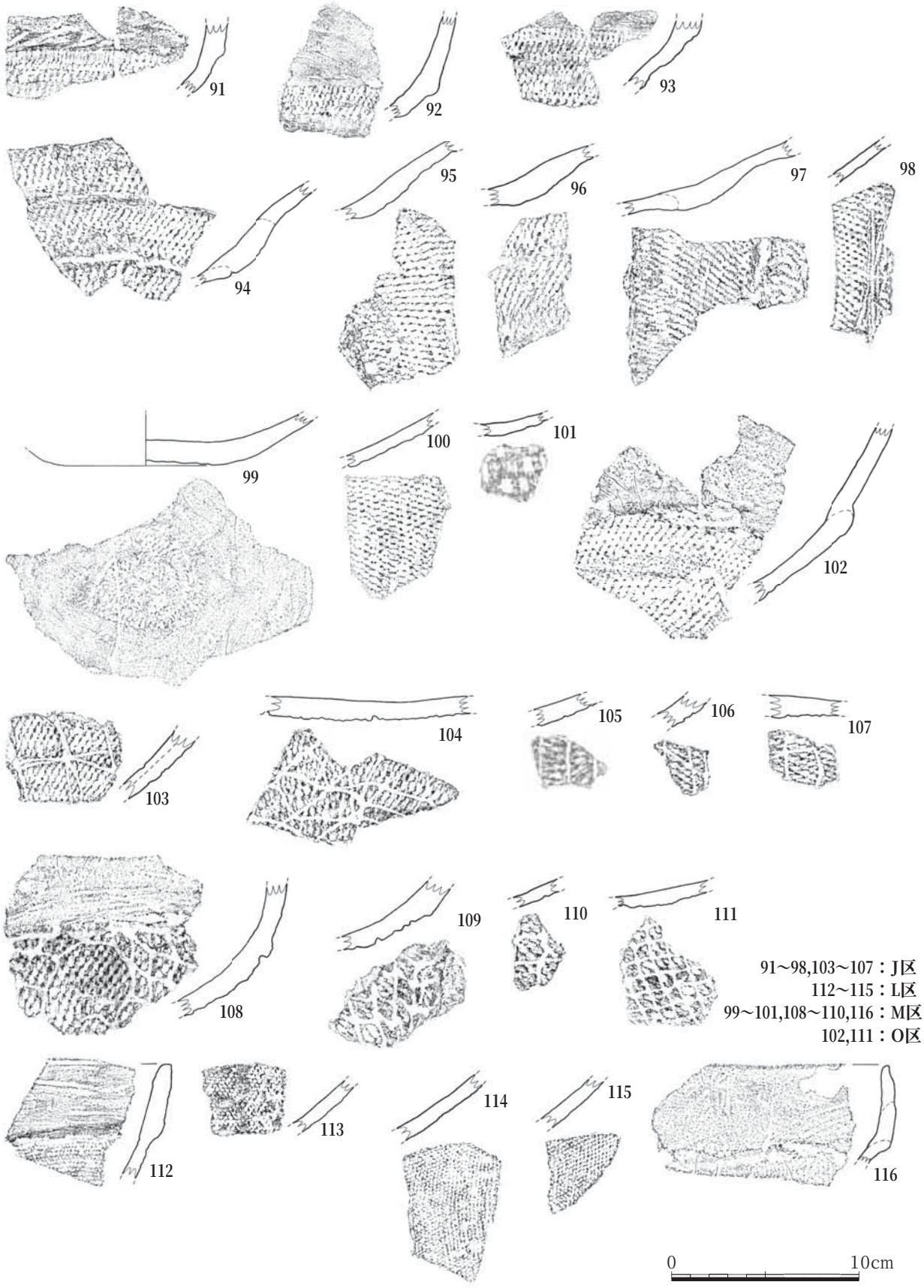
第158図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類③〕（S＝1／3）



第159図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類④〕（S＝1／3）



第160図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類⑤〕（S＝1／3）



第161図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類⑥〕（S＝1／3）

102は組織痕部分の最上位で屈曲する。外面には炭化物が付着する。

103～111は網目と籠目の２種の組織痕が確認できるものである。いずれも網目の目は広い。103は２本単位の網目となっている。108は組織痕部分より上位は外面に貝殻条痕調整が行われており，炭化物が付着する。内面には擦過調整ののちナデ調整が施されている。111の器壁は薄く，内面には丁寧な研磨調整が施される。

112～115は平織の資料である。112は組織痕と口縁部との境界で外面に段を作る。口縁部には擦過調整が行われる。

116は組織痕の種類は判別できないものの，口縁部下に段をもつことから浅鉢M類と判断した。外面には炭化物が付着する。

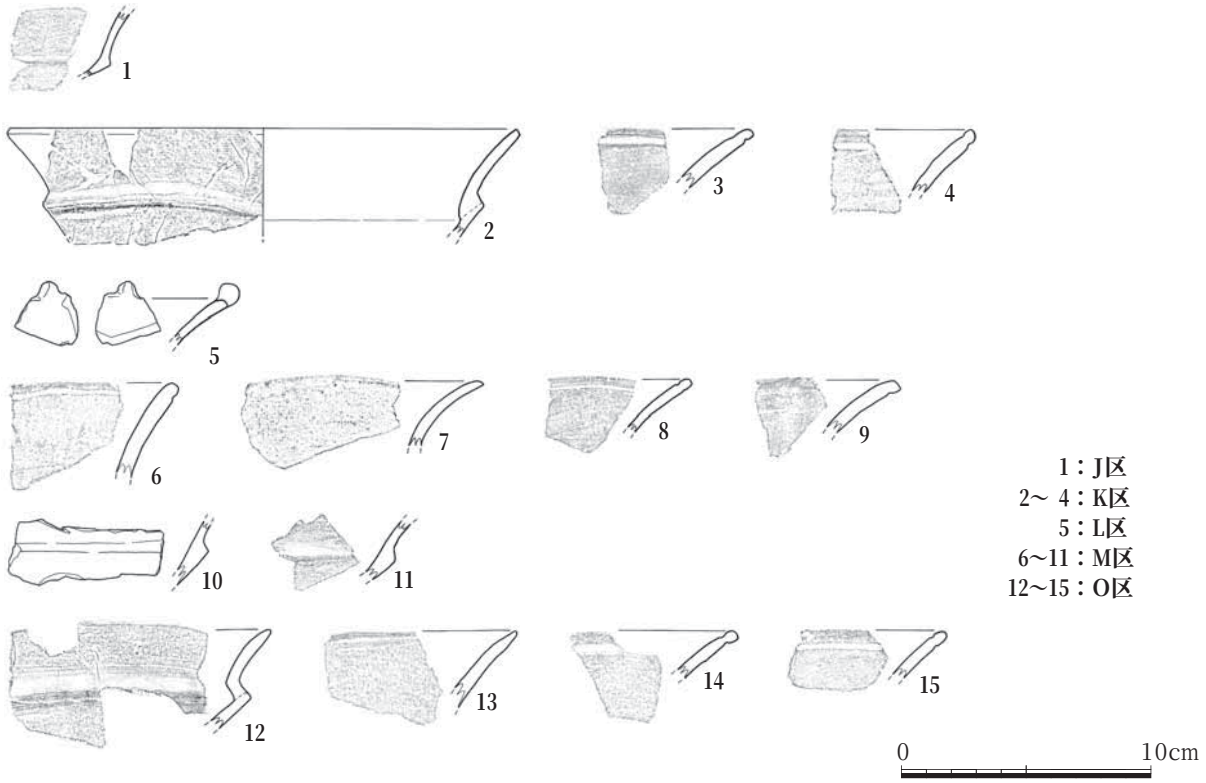
浅鉢N類（第162図）

胴部外面で段を設けるか，肩部を作って，そこから頸部が大きく外へと開き，そのまま口縁部へと至る資料である。器形的には浅鉢Ｂ類と類似するが，口縁部を丸縁にすることはない。

1 は非常に薄手の器壁である。 2 は外面で肩部を作り，頸部は大きく開いてそのまま口縁部に至る。復元口径20.3cm を測る。 3 ・ 4 は内外面に沈線を引く。

5 は口唇部に突起を付す。 6 は外面に沈線を引く。 7 は非常に薄手の器壁で，外反が強い。 8 は内外面に沈線を引く。10・11は肩部の資料である。

12は肩部を作り頸部から口縁部へと大きく開く。内面は頸部下位で稜を作る。13は外面に沈線を引く。14・15は内外面に沈線を引く。



第162図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢N類〕（S＝1/3）

浅鉢O類（第163図～第165図）

浅鉢形土器のうち，ここまでの分類に含まれないもの，底部資料等器種の断定のできないものを一括した。

1 はなで肩の肩部から口縁部は外傾して波状となるものと思われる。口唇部内面は肥厚させる。**2** もなで肩の肩部に外傾する口縁部がつく。口唇部外面には沈線を引く。**3** は口唇部が外反する資料で，口唇部の内外面には沈線を引く。**4** は胴部外面で段を作り，頸部から口縁部は大きく外反する。**5**～**7** は胴部で屈曲して頸部から口縁部は大きく開く。口唇部内面に沈線を引く。**6**・**7** は外面に赤色顔料の塗彩を行う。**8** は外開きのやや肥厚する口縁部である。**9** は外傾する口縁部で，内外面ともに研磨調整である。

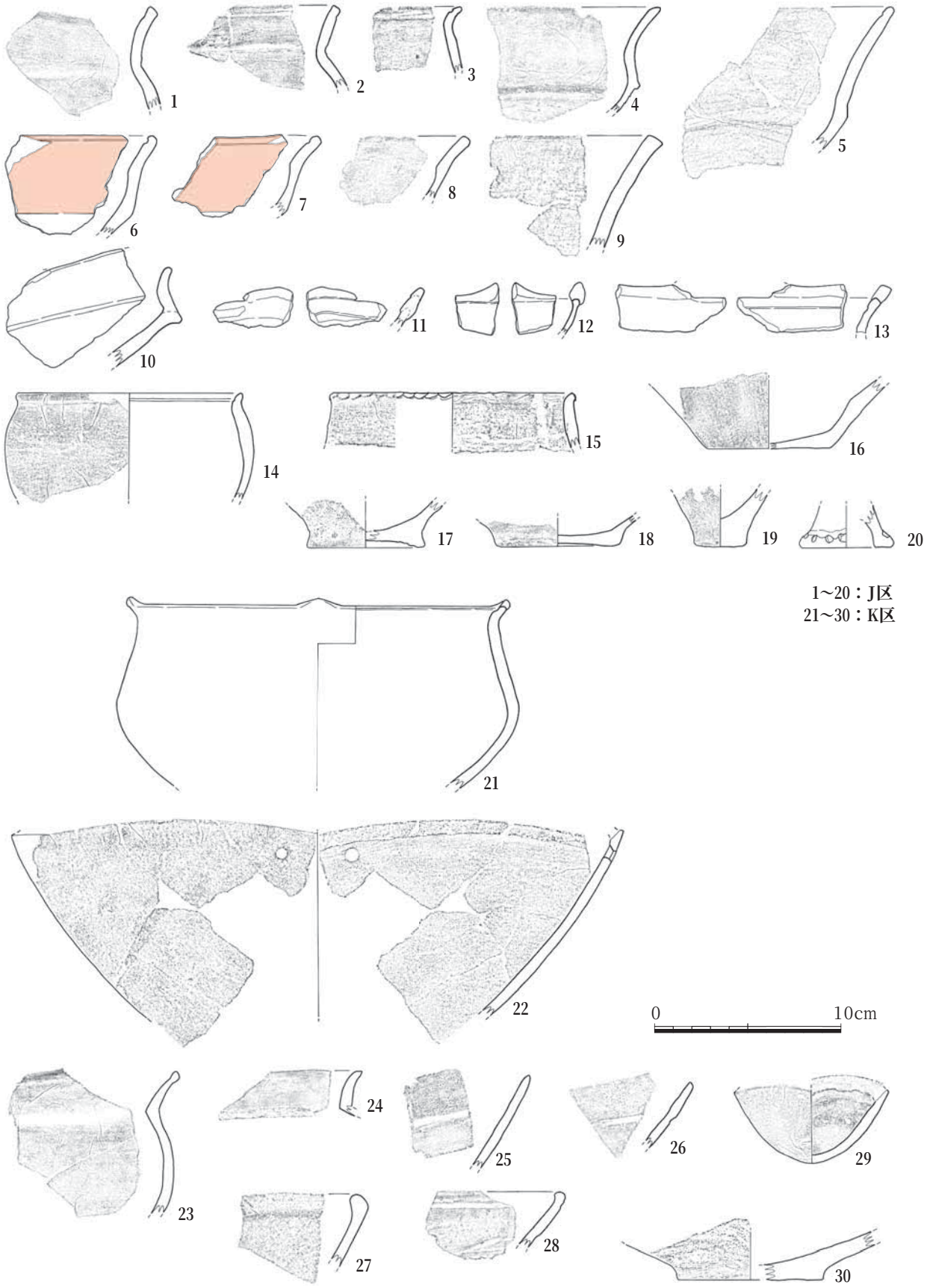
10は強い屈曲をもつ資料で，波状口縁になるものと思われる。**11**は突起をもつ波状口縁の資料である。**12**は非常に薄手の器壁で，口唇部にヒレ状突起をもつ。**13**は外反する頸部で，口唇部に突起をもつ。**14**は復元口径11.9cm，復元胴部最大径13.2cm を測る。いったん胴部ですぼまり，口縁部でわずかに外反する。口唇部内面に沈線を引く。**15**は口唇部に直接棒状工具による刻目を施す。外面には炭化物が付着する。復元口径は13.2cm を測る。

16は平底の底部で，復元底径6.2cm を測る。**17**の底面は擦過調整により上げ底としている。復元底径は6.1cm である。**18**の底面はわずかに上がる。復元底径は6.7cm である。**19**は径の小さい底部で，底面はやや楕円をなし，長軸で3.0cm，短軸で2.4cm を測る。**20**は上げ底の資料で，外面には工具による刺突文を施す。

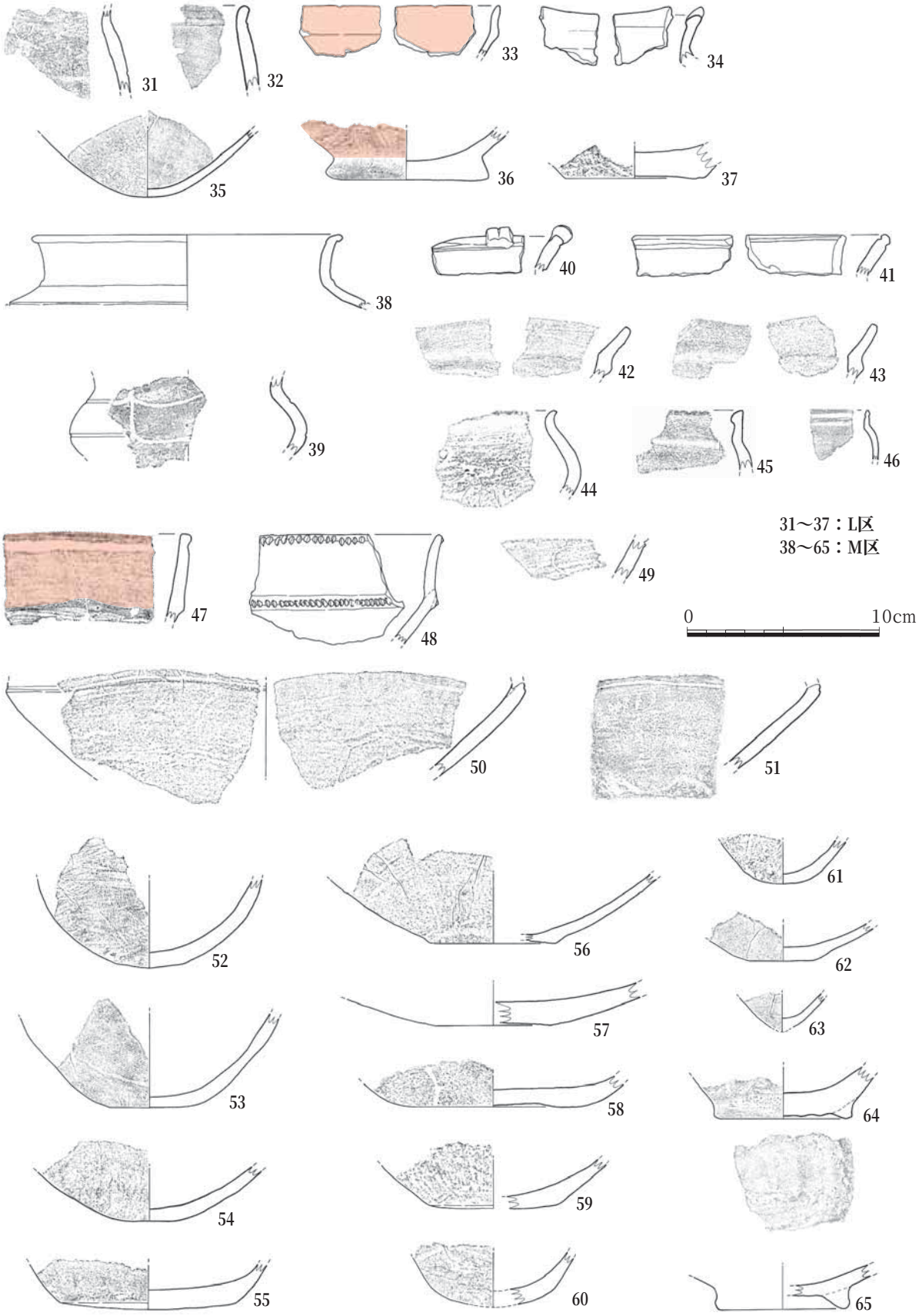
21は膨らみのある胴部を経て頸部が内傾し，その頸部上端を外反させてそのまま口縁部とする。口唇部には突起をもち，内面には段を設ける。浅鉢A類１の亜種で，口縁部文様帯の立ち上がりをもたないものとしてとらえることができよう。復元口径は20.1cm を測る。**22**は焼成後の穿孔をもつ胴部の資料である。**23**はなで肩の丸い胴部に外傾する口縁部がつく。**1** と同様，波状となるものと思われる。口唇部は玉縁状である。**24**は断面先細りとなる口縁部でやや外傾する。**25**・**26**は口縁部外面で段をもっており，波状口縁となるものと思われる。**27**は口縁部を内側に折り返す。**28**は大きく開く資料でやや内湾気味であり，胴部と口唇部の外面には沈線を引く。**29**は丸底の底部である。**30**は復元底径7.7cm の平底の底部であり，胴部は大きく広がる。

31はやや内傾する胴部で，口縁部は外反するものと思われる。**32**もやや内傾する胴部から口縁部は外反する。口縁部外面に段をもつ。**33**は屈曲部を作って，口縁部は直立する。内外面に赤色顔料の塗彩がある。**34**はヒレ状突起をもつ資料である。**35**は丸底の資料で，非常に薄手の器壁である。**36**は断面張り出しをもつ底部で，底面には研磨調整を施している。外面には胴部に赤色顔料が塗彩されており，炭化物が付着する。底径は8.1cm である。**37**は復元底径7.2cm を測る。内面が研磨調整であり，浅鉢の資料とした。

38はしっかりと張った肩部から口縁部はやや外傾し，口唇部は外反する。肩部外面には沈線が確認できる。また，肩部と口縁部との境界には一部突帯状の高まりをみせるが，意図的なものかは不明である。復元口径は15.8cm である。**39**は扁球状の胴部で，復元胴部最大径は12.2cm である。肩部に沈線による文様を施す。**40**は外傾する口縁部の資料で，口唇部内外に沈線を引き，突起を付す。**41**は口唇部の内外と頸部最下位に沈線を引く。**42**・**43**は肩部を作り，口縁部は外傾して波状となる。どちらも内外面ともにナデ調整である。**44**は丸い胴部で，口唇部を断面先細りに外反させる資料である。**45**はなで肩で口唇部は玉縁状である。**46**はごく小型の資料で，非常に薄手の器壁である。直立する口縁部で，口唇部の内外には沈線を引く。**47**は胴部外面に段を設け，口唇部外面は凹線を引く。外面には赤色顔料が残存する。**48**は胴部で屈曲して口縁部はやや外傾する。胴部には突帯を貼り付け，口唇部には直接，それぞれ刻目をヘラ状工具によって施す。**49**は線刻のみられる資料である。**50**・**51**は屈曲部外面に沈線を引く。

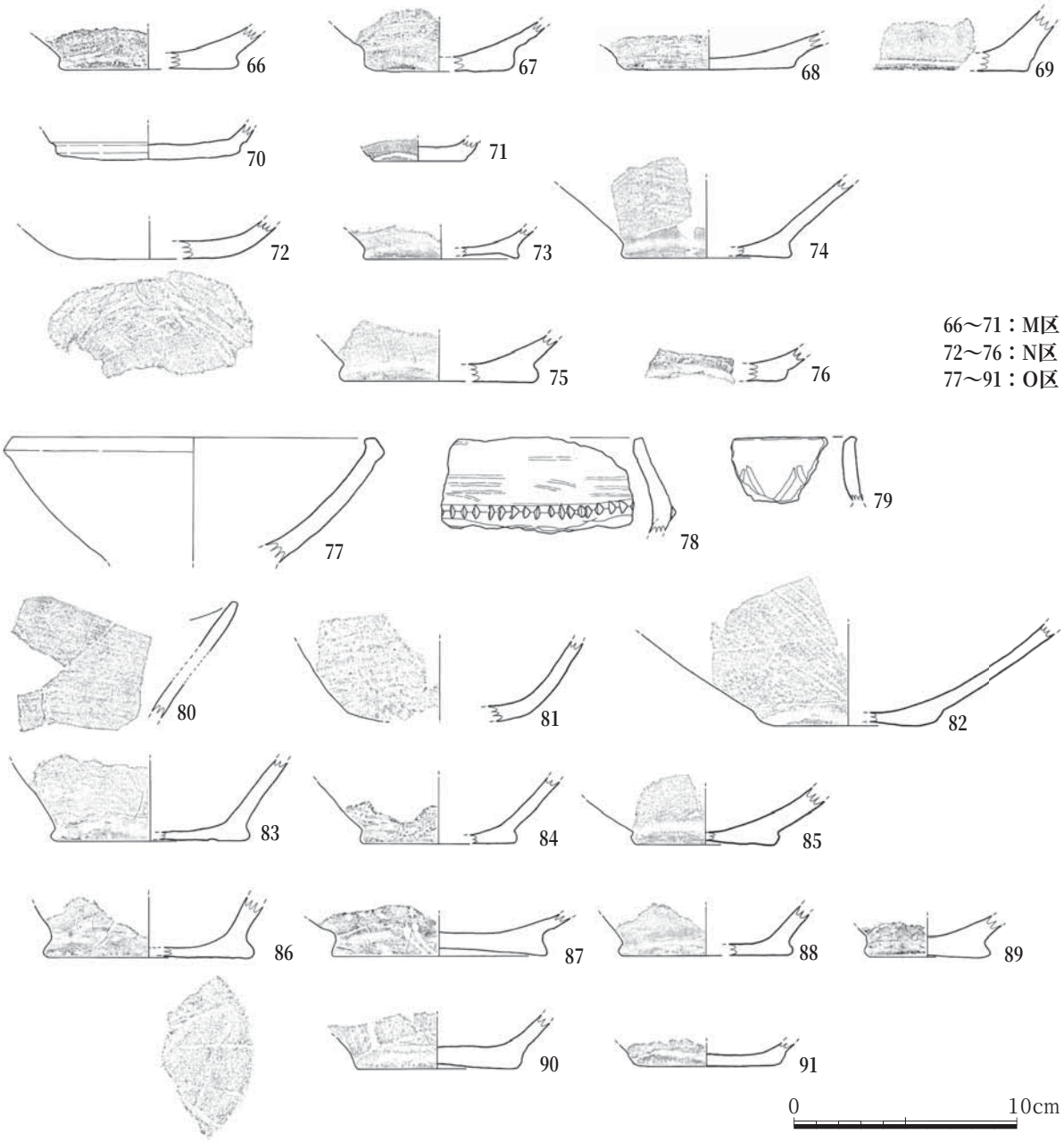


第163図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢O類①〕（S＝1／3）



第164図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢O類②〕（S＝1／3）

52～54，**60～62**は丸底の資料である。**55**の底面はわずかに膨らみをもつ。復元底径は9.2cmである。**56**は底径6.5cmを測り，擦過調整により底面はやや上がる。内面に厚く炭化物が付着する。**57**は復元底径6.0cmである。**58**は復元底径8.2cmである。**59**は復元底径6.5cmで，底面はやや膨らむ。**63**は尖底となるものと思われる。**64・65**は高台状の底部である。復元底径は，**64**が7.2cm，**65**が6.4cmである。**66～68**の復元底径は，それぞれ7.7cm，6.0cm，7.5cmである。**69**は外面最下位に段を設ける。**70**はわずかに丸みを帯びる底部で，外面には段を設ける。復元底径8.2cmを測る。あるいは浅鉢H類の底部かもしれない。**71**は復元底径4.0cmで，外面に沈線２条を引く。



第165図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢O類③〕（S＝1／3）

72は丸底の資料で，内外面に擦過調整が観察される。**73**は高台状の底部である。復元底径は6.8cmである。**74**は断面わずかに張り出しをもつ底部で，復元底径は7.3cm を測る。**75**も張り出しをもつ底部で，外面には炭化物が付着する。復元底径は8.5cm である。

77の復元口径は16.2cm を測る。口縁部は内側に短く折り返す。**78**は内傾する口縁部で，胴部の突帯にはヘラ状工具による刻目を施す。外面，突帯より下位に炭化物が付着する。**79**は内傾する口縁部で，外面に鋸歯状の線刻が認められる。**80**は波状口縁の波頂部の資料である。薄手で，非常に丁寧な研磨調整が行われている。

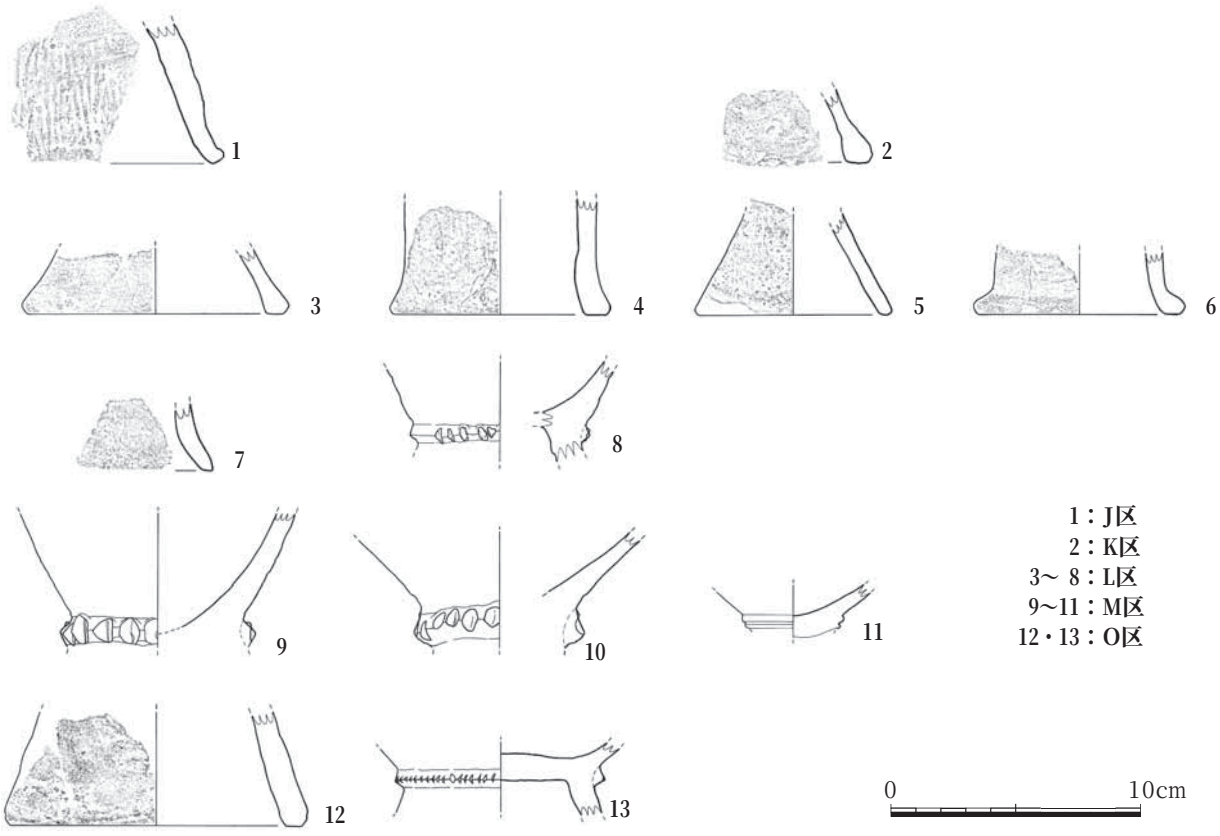
81は丸底の資料で，外面には貝殻条痕調整が施される。**82**はやや上げ底となる底部で，復元底径は7.9cm を測る。**83**の復元底径は8.2cm，**84**の復元底径は6.7cm，**85**の復元底径は6.2cm である。**86**の復元底径は8.9cm で，底面に葉脈の圧痕をもつ。**87**はやや底が上がる。復元底径は9.4cm を測る。**88**は復元底径7.3cm である。**89**は復元底径5.0cm で，底面がやや上がる。**90**は復元底径7.1cm，**91**は復元底径6.5cm である。

高坏形土器ほか（第166図）

高坏形土器及び脚台付土器と思われる資料を一括する。

1 の外面は縦方向の貝殻条痕調整が施される。**3** は復元底径10.2cm を測る。**4** は復元底径8.4cmで，直立に近い角度で立ち上がる。**5** は復元底径7.6cm である。**6** は端部で外側への張り出しをもつ。復元底径は8.0cm である。

8 はヘラ状工具による刻目を施す。**9**・**10**は指先による刻目を施す。**11**は胴部と脚部との境界部分に突帯状に段を設ける。**12**は復元底径11.6cm を測る。**13**は細い突帯をめぐらし，小刻みの刻目をヘラ状工具によって入れる。



第166図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔高坏形土器ほか〕（S＝1/3）

壷形土器（第167図～第170図）

口縁部の形態としては，断面先細りとなって外反するもの，口唇部外面が肥厚するものがある。肩部はしっかりと張り出すもの，なで肩のものがみられ，頸部との境界に段や沈線を引くものもみられる。底部は，断面に張り出しをもつ資料がみられる一方，丸底に近いものもある。外面と口縁部内面に丹塗を施すものが多くみられる。

1は強く外反し，口唇部は欠く。**2**は口唇部外面を肥厚させる。**3**は外反する口縁部である。**4**は非常に薄手の器壁である。**5**は丹塗を施さない。**6**はなで肩の肩部から内傾する頸部に至るが，その境界外面には指ナデによる甘い稜が入る。**7**は肩部の資料である。**8**は断面張り出しをもつ底部で，底面には擦過調整が残る。復元底径8.5cmである。

9・**10**は肥厚する口唇部である。**11**は胴部中ほどの資料であろう。

12は外面，肩部と頸部の境界に沈線をめぐらし，頸部は内傾して，口唇部は外側で段を作る。復元口径10.8cmを測る。**13**も口唇部外面に段をもつ。復元口径10.6cmである。**14**は外面，肩部と頸部の境界が明瞭である。内傾する頸部から口縁部は外反する。**15**・**16**は内傾する頸部から外反する口縁部に至る資料である。**17**・**18**は口唇部をわずかに欠く。**19**は強く外反する。**20**の口縁部は緩く外へ折れる。**22**は口唇部が外反する。**23**は内傾する頸部の資料である。**24**は肩部から頸部にかけての資料であるが，外面の境界はあいまいである。**25**は胴部からなで肩の肩部を経て頸部へと至る資料であるが，外面の肩部と頸部の境界は不明瞭である。器面の剥落が著しい。胴部外面に炭化物が付着する。**26**・**27**は頸部の資料である。

28はしっかりと張り出す肩部の資料である。**29**～**37**は肩部の資料である。**29**，**35**～**37**は外面，肩部と頸部との境界に段を設ける。**38**～**41**は胴部の資料である。**40**の丹塗は部分的である。

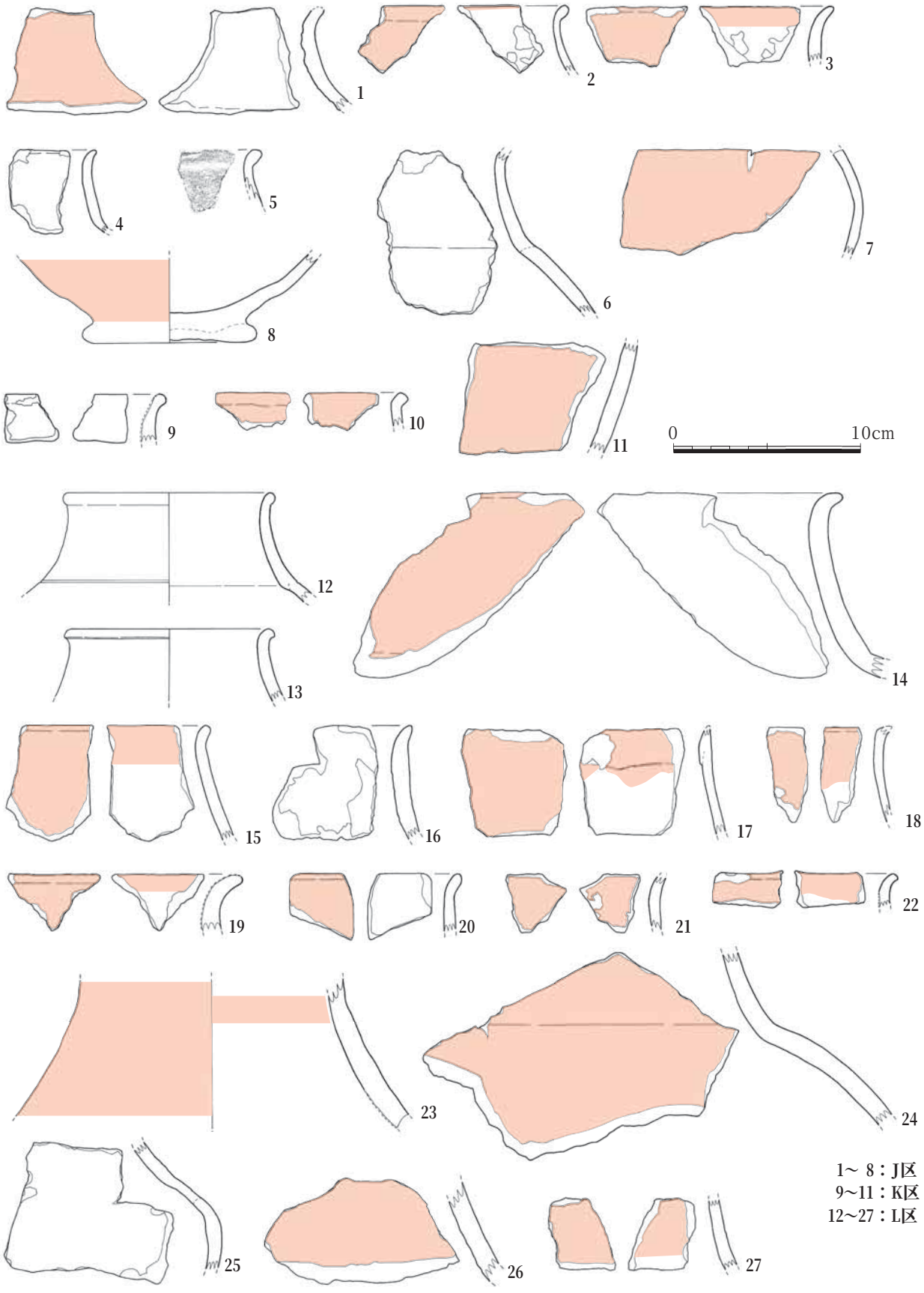
42は復元底径10.0cmで，底面には葉脈の圧痕をもつ。**43**は復元底径6.7cm，**44**は復元底径9.0cmである。

45は一応壷としたが，他の壷とは時期を異にする可能性がある。明瞭な肩部をもたず内傾する胴部から口縁部下位の外面で段を設け，口唇部は若干外反する。復元口径は9.5cmを測る。**46**はしっかりとした肩部から頸部は内傾し，口縁部は大きく外反して口唇部外面を肥厚させる。丹塗は行わず，黒色を呈する。復元口径15.4cmである。**47**，**49**は大きく外反する口縁部で，口唇部は外側に肥厚させる。**48**は内傾する口縁部で，口唇部は先細りとなり外反する。**51**は内面に肩部と頸部の粘土の接合痕が明瞭である。**52**は頸部の資料である。

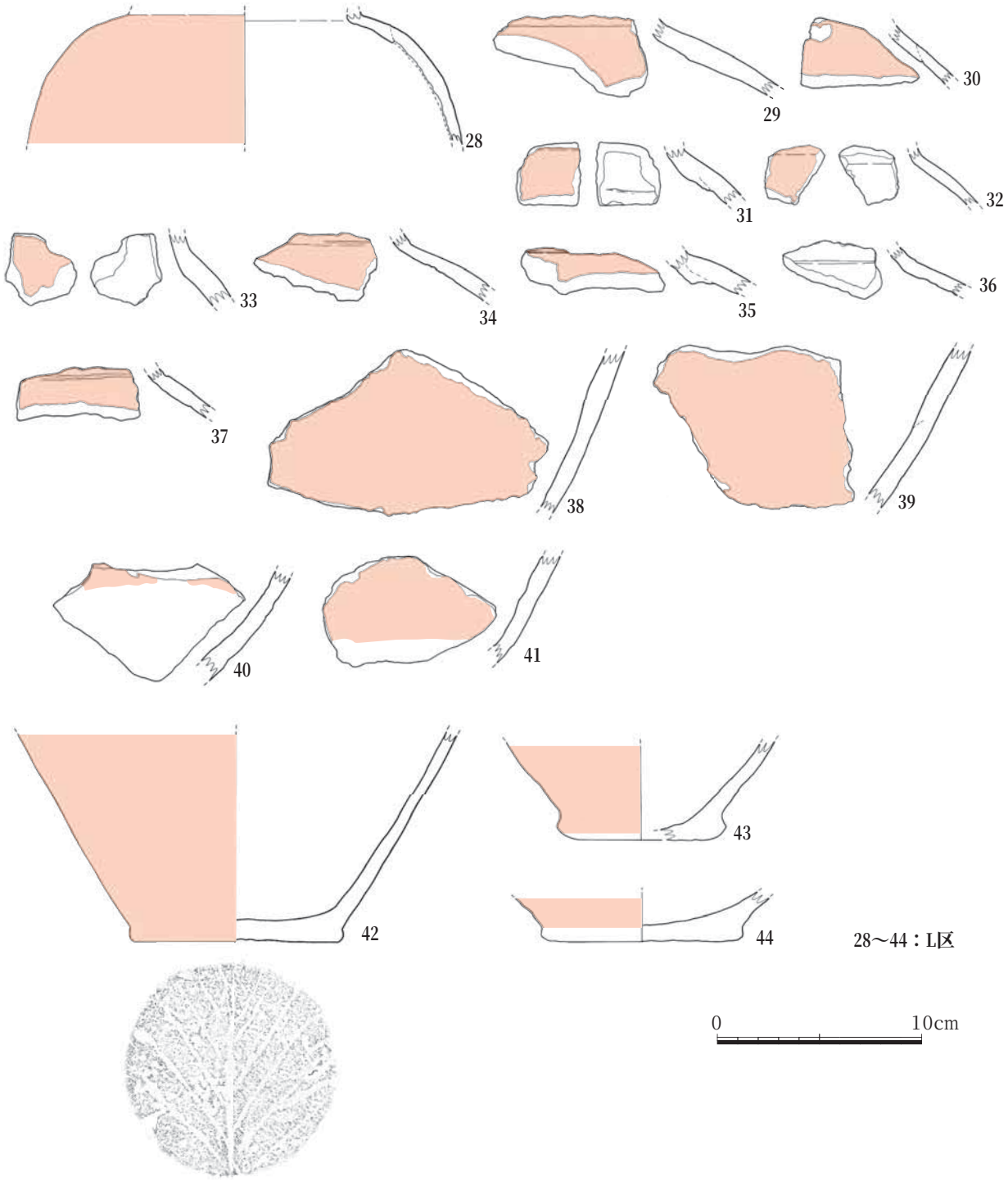
53は直立する口縁部で，口唇部は外反させる。**54**は強く外反する。**55**は胴部から肩部にかけての資料で，肩部はなで肩である。復元胴部最大径は23.0cmを測る。

56は内傾する短い頸部・口縁部で，口唇部は外反する。復元口径8.5cmである。**57**は復元口径12.2cmで，口唇部は外面に肥厚させて段を作る。**58**は先細りとなる口唇部が外反する。復元口径は11.3cmを測る。**59**は口唇部を欠く。**60**内傾する頸部から外反する口縁部へと至る。**61**は強く外反をみせる。**62**も強く外反をみせる頸部から口縁部の資料である。**63**は口唇部を外側へと折る。**64**は強く外反する資料である。

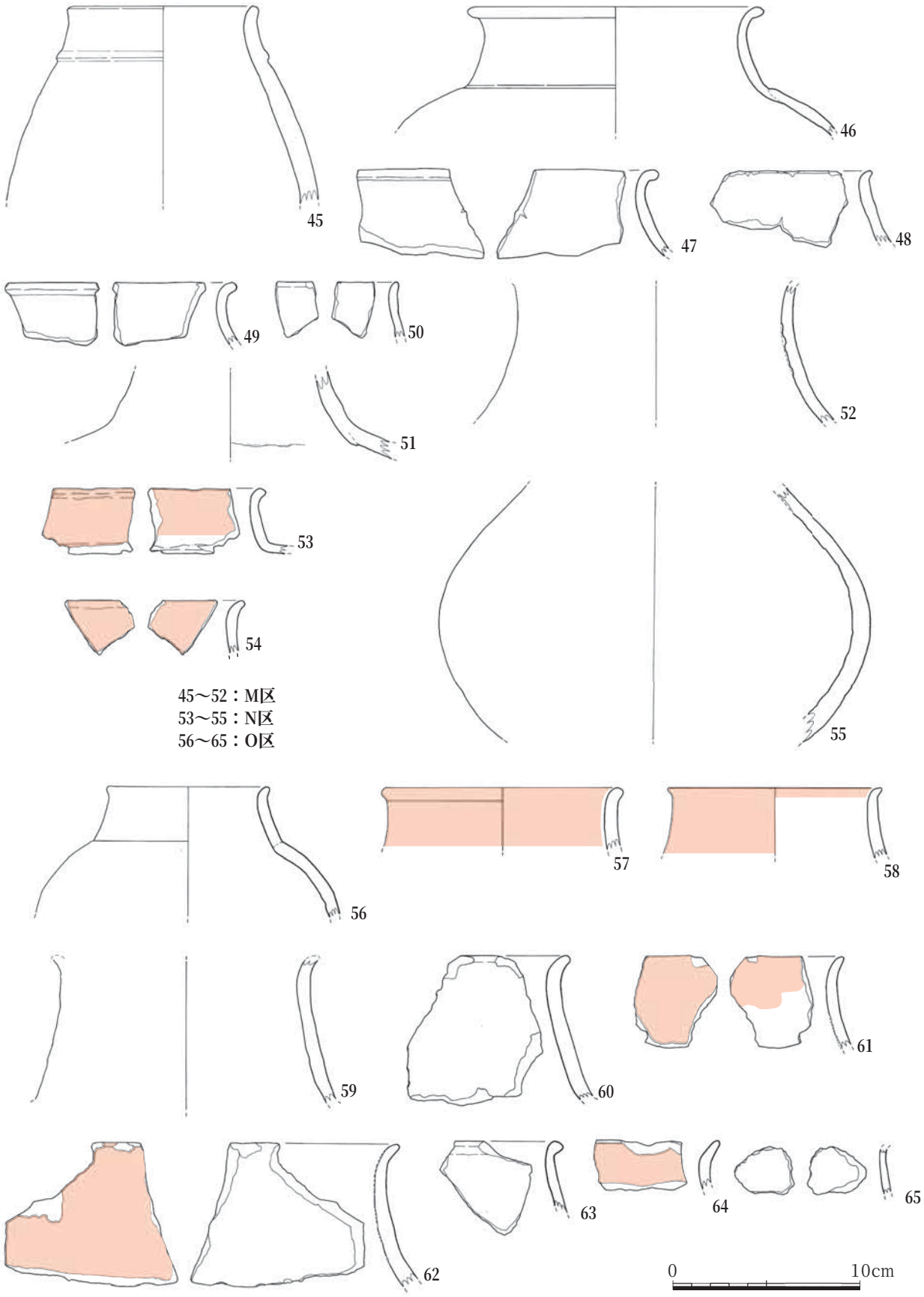
66は非常に薄手の器壁である。**67**は内面に粘土紐の接合痕をとどめる。外面の肩部から頸部への移行はあいまいである。復元胴部最大径は22.7cmである。**68**は明瞭に屈曲して肩部から頸部へと至る。**69**はなで肩の肩部から明確な境界をもたず頸部へと至る。**70**は頸部の資料である。**71**はかなりのなで肩であるが，頸部との境界には段を設ける。**72**は肩部と頸部の境界に沈線を引く。**73**はしっかりと張り出す肩部の資料である。**74**・**75**は胴部の資料である。**76**は丸底の資料である。**77**は底径7.3cmの小型品である。外面は底面まで丹塗を行う。



第167図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器①〕（S＝1／3）

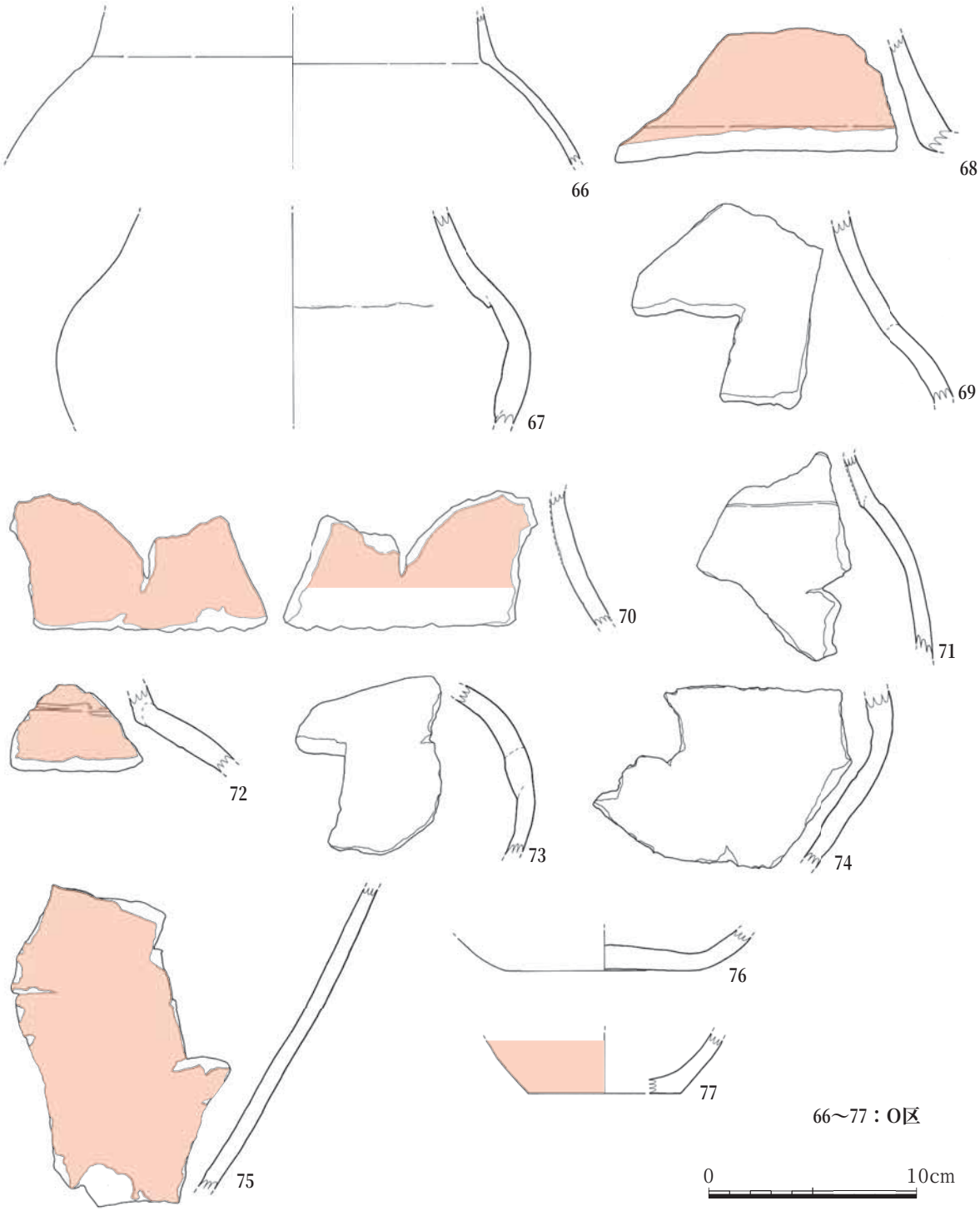


第168図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器②〕（S＝1／3）



45～52：M区
53～55：N区
56～65：O区

第169図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器③〕（S＝1／3）



第170図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器④〕（S＝1／3）

土製品（第171図）

土製円盤，紡錘車，土製管玉，ミニチュア土器などがみられる。

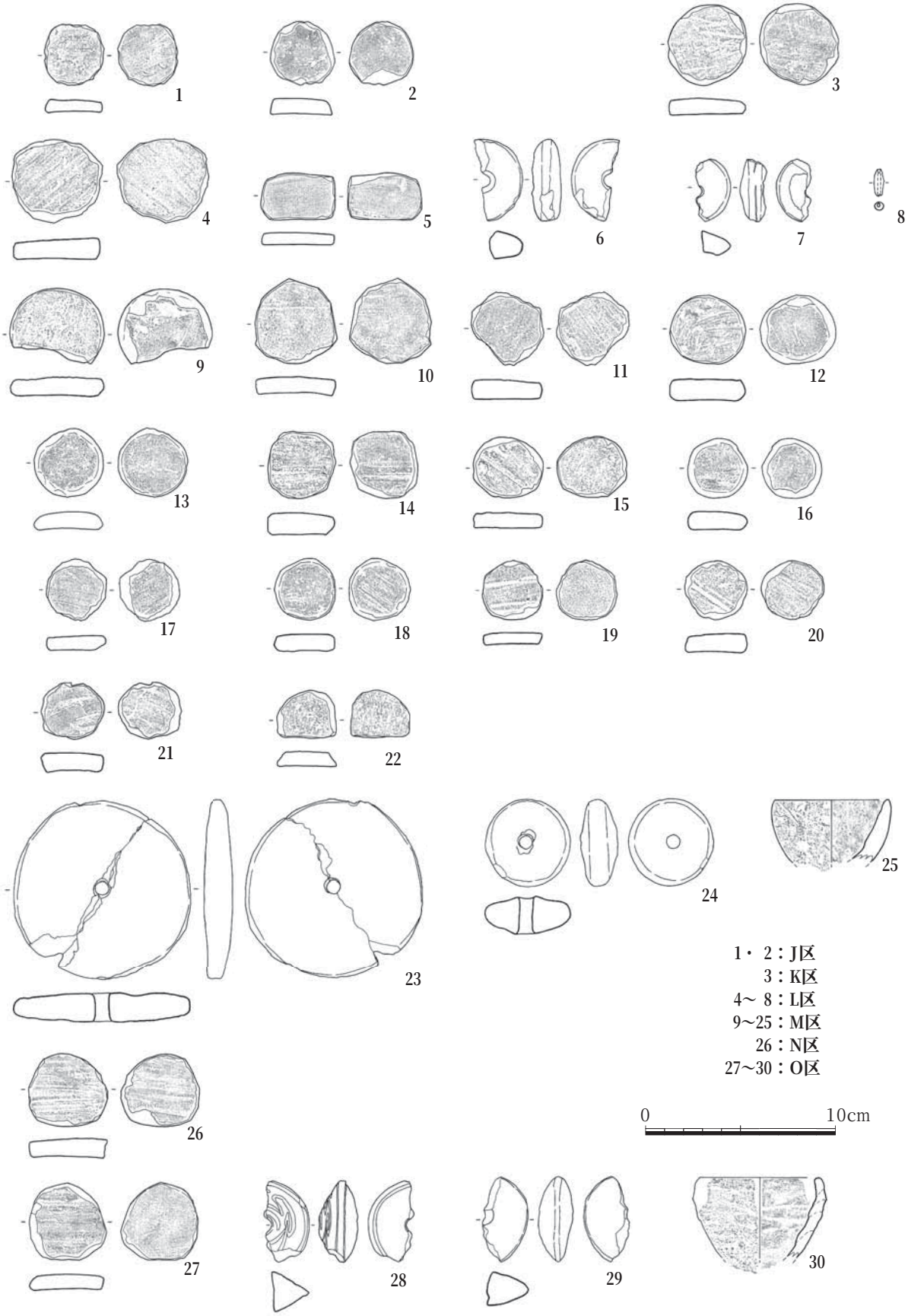
1～**4**，**9**～**22**，**26**・**27**は土製円盤である。いずれも円形をなすが，素材としては粗製土器片が選択されており，薄手の精製土器片は用いられていない。**11**のように破断面をそのままに残すものもみられる一方，ほとんどが周縁に摩耗面をもっており，**2**，**9**，**12**・**13**，**15**・**16**，**18**については周縁全体が摩耗面によって占められている。土製円盤の多くが周縁の破断面に摩耗面をもっていることから，比較的軟質なものを対象とした，例えば土器製作時の調整具としての使用などが考えられようか。

5は隅丸方形を呈する精製土器片である。側面は整形によるものか，使用によるものか，摩耗面がめぐる。

6・**7**，**23**・**24**，**28**・**29**は紡錘車である。**6**，**24**，**29**は無文である。**7**は全体に丁寧なナデ調整が行われており，側面に1条のごく細い沈線を引く。**23**は他の紡錘車に比べればかなりの大型品で，扁平な形状である。器面には擦過調整を行っている。**28**はソロバン玉型で，表裏両面に円圏をめぐらし，片面には沈線文を描く。

8は土製管玉である。長さ1.4cmを測る。

25，**30**はミニチュア土器である。**25**は復元口径5.9cmを測る。**30**は復元口径6.3cmを測る。内面には粘土紐の輪積みの痕跡が明瞭に残る。



第171図　縄文時代後期～突帯文期の土器〔土製品〕（S＝1/3）

弥生時代中期以降の土器（第172図～第174図）

1～**3**は甕の口縁部で，やや内湾する。**4**は甕胴部の資料で，内外面ともに刷毛目調整が行われる。**5**～**9**は壷の資料である。**5**～**7**はいずれも器面の内外に刷毛目調整が施される。**8**は二重口縁壷である。復元口径は11.7cmである。**9**はM字突帯を貼り付ける。**10**は丸底の底部である。**11**・**12**は小型の丸底鉢である。**11**は復元口径11.1cm，**12**は復元口径9.6cmである。**13**は高坏の皿部と脚部の接続部分である。**14**は脚台の資料である。復元底径は9.8cmを測る。

15は脚台の資料である。復元底径6.0cmである。

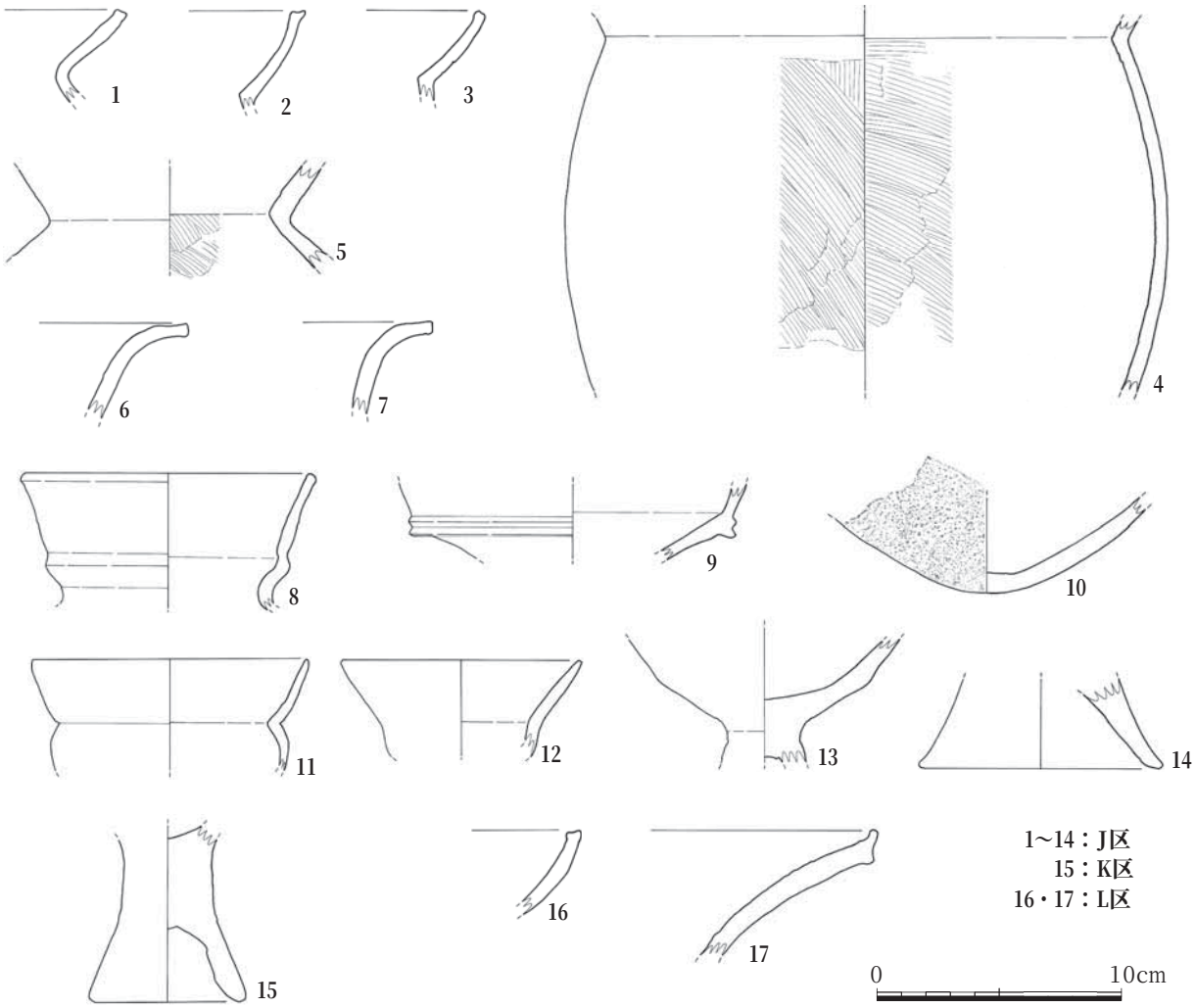
16は甕口縁部，**17**は壷口縁部の資料である。

18はなで肩の壷で，内面に刷毛目調整がみられる。復元口径は17.6cmを測る。**19**～**22**は内湾気味の外傾する口縁部をもつ甕である。**19**の胴部内外面には刷毛目調整が認められる。**19**は復元口径25.0cm，**20**は復元口径21.4cmを測る。**23**は大きく外反する壷の口縁部である。復元口径16.3cmである。**24**・**25**は球形の胴部から口縁部が短く直立する壷である。**24**はやや肩が張り，復元口径10.2cm，復元胴部最大径13.7cmである。**25**は復元口径9.9cm，復元胴部最大径11.7cmである。**26**～**30**は大きく外反する頸部に口縁部が短く立ち上がる壷である。**27**の内面には横方向の刷毛目調整がみられる。**28**・**29**の頸部外面には縦方向の刷毛目調整が施される。復元口径は，**26**が31.8cm，**27**が30.0cm，**28**が29.3cm，**29**が27.6cm，**30**が27.2cmである。

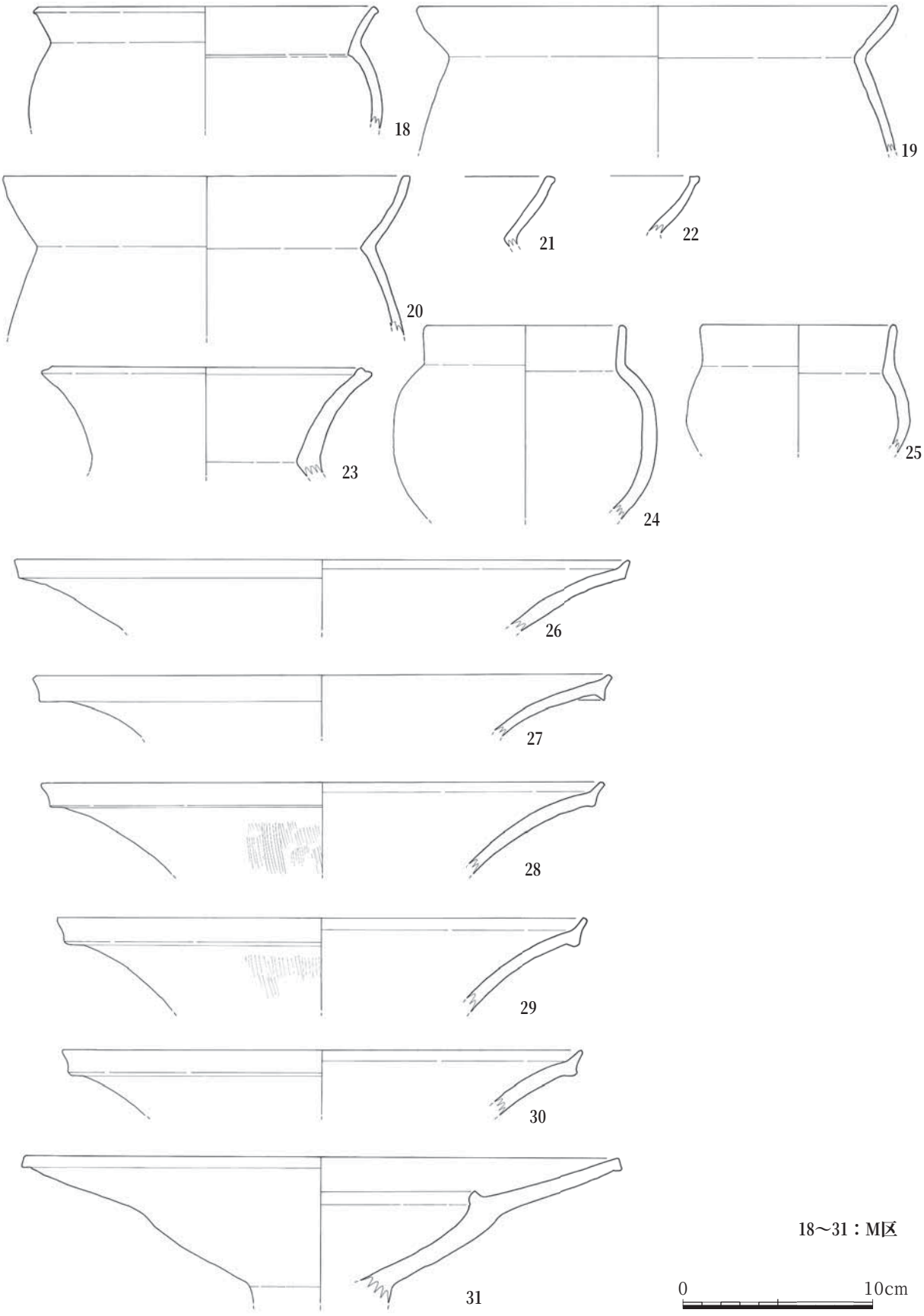
31は鍬先状の口縁をもつ高坏である。内面の坏部と口縁部の境界には張り出しを作る。復元口径は31.3cmを測る。**32**～**37**は大きく外反する口縁部を有する高坏である。**32**，**34**，**36**は外面に刷毛目調整が残る。**35**は坏部から口縁部への屈曲部で外面に突帯状の張り出しをもつ。また，胎土に赤色粒子を含む。復元口径は，**32**が32.3cm，**33**が30.5cm，**34**が31.5cm，**35**が19.7cmである。**38**・**39**は丸底の底部である。どちらも内面に刷毛目調整が観察される。**40**・**41**は台付甕の脚部で，裾は大きく開く。**40**は底径13.9cm，**41**は底径9.4cmである。**41**の内面には厚く炭化物が付着する。

42～**45**は器台である。**42**はくびれ部に3条の沈線をめぐらし，それを切るようにさらに斜方向の沈線を入れる。沈線文の上下には方形の透かしをもつ。**43**は方形の透かしをもつ資料である。**44**・**45**はくびれ部にクシ描文がある資料である。**45**は方形の透かしをもつものと思われる。

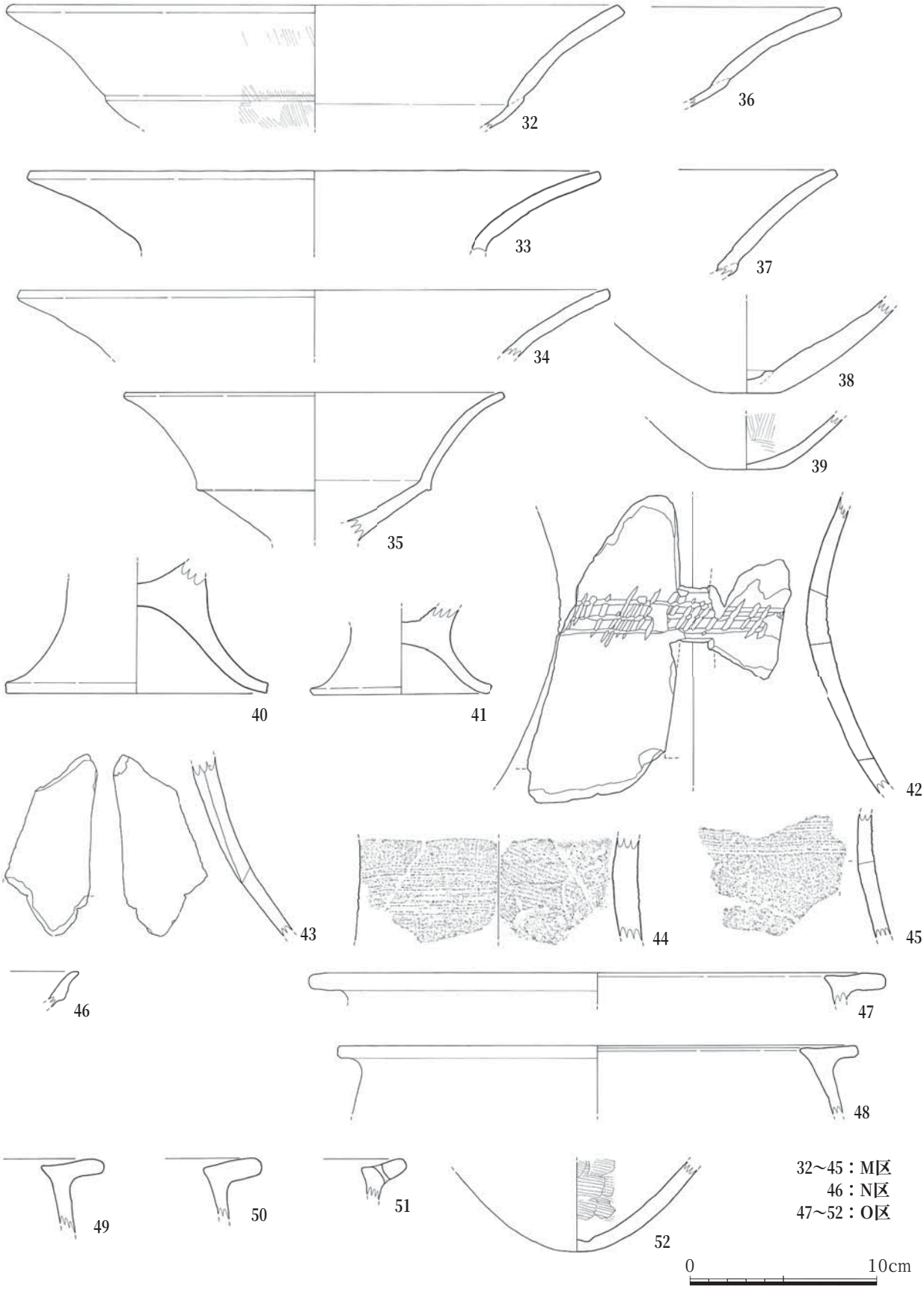
46は複合口縁壷の口縁部である。**47**～**51**は甕の資料である。**47**～**51**は断面逆「L」字状の口縁部であり，**50**・**51**はやや外への張り出しが厚く，**51**は上方へ湾曲する。**51**には焼成前の穿孔が認められる。**53**は丸底の底部である。**47**の復元口径は30.8cm，**48**の復元口径は27.8cmを測る。



第172図　弥生時代中期以降の土器①（S＝1／3）



第173図　弥生時代中期以降の土器②（S＝1/3）



第174図　弥生時代中期以降の土器③（S＝1／3）

第５表　出土土器観察表（縄文時代早期）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
47	1	J	J-09462	A36-d	Ⅲb下層	楕円押型文	楕円押型文／ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-12491	A36-d	Ⅲb下層	楕円押型文	楕円押型文／ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	3	J	J-09429	D33-d	Ⅲb下層	山形押型文	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	長石	
	4	J	J-02646	D36-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	5	M	M-35112	O1-d	Ⅲb下-1層	楕円押型文	原体条痕・楕円押型文	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	6	M	M-37845	N2-a	Ⅲb下-2層	楕円押型文	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	7	M	M-25171	P100-a	Ⅲb下層	楕円押型文	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	8	N	N-03638 N-04395	E75-b E75-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	山形押型文	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	9	N	N-03614	E75-b	Ⅲb下層	山形押型文	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	10	N	N-04442	D74-c	Ⅲb下層	楕円押型文	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	11	N	N-04461	E75-a	Ⅲb下層	楕円押型文	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	12	O	O-08013	E60-c	Ⅲb下-2層	ナデ	楕円押型文／ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第６表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ａ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
48	1	J	J-00195 J-07213 J-07507 J-07509 J-07583	C36-d C36-d C36-d C36-d C36-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・石英	
	2	J	J-07217	C36-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	3	J	J-12966	ZW48-c	Ⅲb下層	ナデ，貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	4	K	K-03299 K-03684	J20-d J21-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	5	K	K-04274	J19-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	長石	
	6	K	K-17234	G22-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	7	K	K-13383	G21-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔
	8	L	L-06505	P11-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	9	L	L-05502	M14-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	10	M	M-21489 M-21784 M-22425 M-26653 M-29743	O4-d O5-d O4-b O4-d O4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	11	M	M-25784 M-31967 M-32771 M-32775 M-40231 M-44173	O5-b O5-b O5-b O5-b O5-b N5-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	擦過	擦過・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	12	M	M-13304 M-13367 M-13391 M-26990 M-31883 M-33789 M-35946	O6-a O6-a O6-a N5-d N5-d N6-c N6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	

第７表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ａ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
49	13	M	M-01845 M-02241 M-02242 M-16388 M-16443 M-26167 M-29159 M-29168	O１-b O１-b O１-b O１-b O１-b O２-a O１-b O１-b	Ⅲb 上層 Ⅲb 下層 Ⅲb 下層 Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 下層 Ⅲb 下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	波状口縁
	14	M	M-16276 M-16679 M-16680	O１-a N１-d N１-d	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	15	M	M-10409 M-16814 M-30176	N１-d N１-d O４-d	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 下-１層	擦過	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	16	M	M-30873 M-32008	O５-d O５-d	Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層	擦過	擦過	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	17	M	M-09154 M-13442 M-30860 M-30861 M-43498 M-43499	M６-c N６-b M５-d M５-d N６-a N６-a	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層	擦過・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
50	18	M	M-01837 M-17036 M-34990 M-42020	O１-b N１-d N１-d N２-c	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-２層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	19	M	M-35060 M-40424 M-40745 M-41491 M-41492 M-41496 M-41519	O２-a N１-d N１-d O２-a N２-c O２-a O２-a	Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-２層 Ⅲb 下-２層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層	擦過	擦過・ナデ	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	20	M	M-17719	O３-a	Ⅲb 上層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・赤色粒子	
	21	M	M-16579 M-35072	O１-b O１-b	Ⅲb 上層 Ⅲb 下-１層	擦過	擦過・ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	22	M	M-09116 M-33188	M６-b N６-d	Ⅲb 上層 Ⅲb 下-１層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	23	M	M-01429 M-16095 M-16156	O１-b O１-a O１-a	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 上層	貝殻条痕	擦過	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・石英	
	24	M	M-35031 M-35032 M-35721	O２-a O２-a N２-c	Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層	貝殻条痕	擦過	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	25	M	M-28626 M-28627	O５-a O５-a	Ⅲb 下層 Ⅲb 下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・石英・雲母	
	26	M	M-19076	M５-c	Ⅲb 上層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	27	M	M-41373	P１-c	Ⅲb 下-２層	擦過	ナデ	浅黄色	浅黄色	角閃石・長石	
51	28	M	M-06357 M-21860 M-31024 M-31026	O５-d O５-d O５-b O５-b	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	29	M	M-35403 M-35440	P１-b P１-b	Ⅲb 下-１層 Ⅲb 下-１層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔２カ所
	30	M	M-13906 M-14167 M-14168 M-14169 M-40367	M６-d M６-c M６-c M６-c N６-a	Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 上層 Ⅲb 下-２層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	

第８表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ａ類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
51	31	M	M-16238	O1-a	Ⅲb上層	擦過	貝殻条痕	にぶい橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	32	M	M-15948	O1-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・石英・雲母	
	33	M	M-39676	P4-a	Ⅲb下-2層	擦過	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	34	M	M-23631	N5-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	35	M	M-01236	M4-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黒褐色	長石・雲母	
	36	M	M-10525	P1-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	37	M	M-42876	P3-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過・ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	38	M	M-06208	O6-d	Ⅲb上層	擦過	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	39	M	M-26616	N4-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	40	M	M-37203	O3-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	41	M	M-16667	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	42	M	M-29604	N4-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	43	M	M-36343	M6-c	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	44	M	M-27395	O3-a	Ⅲb上層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	45	M	M-08641	N6-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	46	M	M-06815	O5-a	Ⅲb上層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	47	M	M-01706	P3-b	Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	48	M	M-35436	P1-d	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	暗灰黄色	灰黄褐色	角閃石	
	49	M	M-17677	O3-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	50	M	M-43539	N3-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石	焼成後穿孔
	51	O	O-05851	E59-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	黄褐色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔
	52	O	O-05867	E59-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	灰褐色	角閃石・長石	
	53	O	O-06135	F60-a	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石	

第９表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｂ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
52	1	J	J-04950 J-10739	E35-a E35-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-15879 J-16077 J-16081 J-16086	ZY46-d ZY46-d ZY46-d ZY46-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ，擦過	にぶい褐色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	3	J	J-02073 J-02077 J-04408	ZZ37-b ZZ37-d ZZ37-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ，擦過	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	4	J	J-02164 J-02166 J-10144 J-10222 J-10315	ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	5	J	J-08426 J-10728 J-10965	C35-c E35-b E35-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ，擦過	黄褐色	にぶい黄色	角閃石・長石	
	6	J	J-13084	ZW48-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	7	J	J-15393 J-15398	ZY47-b ZY47-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石	
	8	J	J-11741 J-11784	ZX41-b ZX41-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	9	J	J-03774	D36-a	Ⅲb下層	擦過	擦過・ナデ	にぶい橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-05053 J-05073 J-10784	E35-b E34-d E35-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	11	J	J-15557	ZY46-a	Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英・雲母	

第10表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｂ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
52	12	J	J-09321 J-10816	E34-c E34-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	13	J	J-04153 J-14834	ZW50-a ZV50-c	Ⅲb下層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	14	J	J-15881 J-15921	ZY46-d ZY46-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	15	J	J-14861	ZY44-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色・黄灰色	角閃石・長石・石英	
	16	J	J-16131	ZZ46-a	Ⅲb下層	ナデ，貝殻条痕	ナデ	灰黄色	にぶい橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	17	J	J-09139 J-09140	D36-a D36-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
53	18	K	K-06500	J23-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	19	K	K-02866	K21-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	20	K	K-04967	J18-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	21	L	L-01836 L-01840 L-01841 L-09725 L-09751 L-09752	I14-c I14-c I14-c I15-c I14-c I14-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	22	L	L-07614	P12-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	23	L	L-11642	L14-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	24	L	L-06806 L-08223 L-13112	M14-d M14-b M14-d	Ⅲb下層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	口唇部に突起
	25	L	L-12127	M14-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	26	L	L-07612	P12-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
54	27	M	M-25814 M-31110 M-31115 M-31116 M-31117 M-38490 M-38491 M-38492 M-40165 M-44228	N5-d O5-a O5-b O5-b O5-b O5-a O5-a O5-a O5-b O5-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ，貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	28	M	M-21731 M-21758	O5-d O5-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
55	29	M	M-21796 M-21846 M-21847 M-21868 M-21869 M-26900 M-27692 M-29328	O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・擦過	貝殻条痕	にぶい黄褐色	黒褐色	長石・雲母	
	30	M	M-12868 M-21760 M-21853 M-21855 M-21879 M-21894 M-24896	O6-c O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d Q7-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ，貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色・黄灰色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料8

第11表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｂ類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
55	31	M	M-05110 M-05411 M-20611 M-20612 M-20613 M-20615 M-20625 M-20810 M-21065 M-25325 M-26330 M-31404	P5-c P4-d P4-d P4-d P4-d P4-d P4-d P5-c P5-a P4-d P4-d P4-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	擦過・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
56	32	M	M-26170 M-40496 M-41482 M-41499	O1-b O2-a N2-c N2-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過・ナデ，貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	33	M	M-35502 M-41284 M-41606 M-41893	P1-c P1-a P1-c P1-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	擦過・研磨	研磨	にぶい赤褐色	褐灰色	角閃石・長石	
	34	M	M-09965	O3-a	Ⅲb下層	ナデ・擦過	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	褐灰色	長石・石英	
	35	M	M-15139	P1-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	36	M	M-14489 M-26406 M-34000	P6-b P6-a O6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	37	M	M-19142 M-19152 M-29269 M-43515	M4-d M4-d M4-d M4-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ，貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	黒色	角閃石・長石・石英・雲母	
	38	M	M-19373 M-19379 M-24452 M-24602	M4-c M4-c N4-a N4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過・ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
57	39	M	M-41493	N1-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	石英・雲母	
	40	M	M-34978 M-40857 M-42014	N1-d O1-b O1-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ，貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・石英・雲母	
	41	M	M-01820	O2-a	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	42	M	M-16142 M-29093 M-35162	O1-a O1-a O1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	石英	
	43	M	M-44554	O5-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・石英・雲母	
	44	M	M-34245	P6-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	45	M	M-10042	O2-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	46	M	M-22095 M-39425	O4-a O4-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	47	M	M-22120 M-22330 M-38499	O4-a O4-b O4-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	長石・雲母	
	48	M	M-33023	N3-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	オリーブ褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	49	M	M-34985	O1-b	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	50	M	M-26697 M-27807 M-29804 M-29914 M-29961	O4-b O4-a O4-b O4-a O4-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰色	角閃石・長石・雲母	
	51	M	M-04019 M-31965	O5-b O5-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	

第12表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｂ類④）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
57	52	M	M-41162 M-41570	P1-c P1-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	53	M	M-40226	O6-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	54	M	M-26075 M-33102	M5-d M6-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	55	M	M-10654 M-41434 M-41607	P1-c P1-a P1-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	浅黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	56	M	M-17670	O3-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	57	M	M-41698	P1-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	58	M	M-11856 M-12075 M-34240	P6-b P6-a P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	59	M	M-10479 M-43873	N100-d N100-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石	
	60	M	M-39506	N5-a	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
58	61	M	M-34912 M-34950 M-35002 M-41494 M-41495 M-41509 M-41510	N1-d N1-d N2-c N1-d N2-c N1-d N1-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	62	M	M-13500 M-14474	N6-c P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	63	M	M-13197 M-13227 M-25637 M-27525	O6-a O6-a O5-b O5-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	64	M	M-01470 M-16541 M-29150	O1-b O1-b O2-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	灰色	角閃石・長石・石英	
	65	M	M-18372 M-18373	O3-b O3-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	浅黄色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	66	M	M-14735 M-33071	M6-a M6-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	67	M	M-19034 M-19043 M-19086	M5-c M5-c M5-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	長石・石英・雲母・赤色粒子	
	68	M	M-16555 M-29178 M-40763	O2-a O2-a N2-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-2層	擦過	擦過	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石	
	69	M	M-35685	N1-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	70	M	M-11984	P6-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	71	M	M-15159	P1-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	72	M	M-20622 M-31391	P4-d P4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母・赤色粒子	
	73	M	M-20142	P4-a	Ⅲb上層	擦過	擦過・ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	74	M	M-28369 M-34718	N100-d N100-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	ナデ	擦過	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	75	M	M-32978	N3-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	76	M	M-42189	P100-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・赤色粒子	
59	77	N	N-02973 N-03020	D74-d D74-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	78	O	O-08600 O-08637	E58-c E58-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	79	O	O-04745	G59-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母	

第13表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
60	1	J	J-16809 J-16810 J-16811	ZZ43-b ZZ43-b ZZ43-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に凹点
	2	J	J-04629 J-11649 J-11679 J-12010	ZY42-d ZY42-a ZY42-c ZY42-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	3	J	J-10184	ZZ37-b	Ⅲb下層	凹線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	4	J	J-11611	ZY41-d	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-13449	ZV44-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	6	J	J-11663	ZY42-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	7	J	J-09345	E33-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-11662	ZY42-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-10173	ZZ37-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-12136	ZX44-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	11	J	J-17569	ZX44-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	12	J	J-13389 J-15015	ZY43-c ZY44-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	13	J	J-11731	ZX41-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	14	J	J-12858	ZV44-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	15	J	J-11606 J-11684	ZY41-d ZY41-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	16	J	J-11638 J-11643	ZY41-d ZY41-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	17	J	J-13243	ZY43-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	18	J	J-03283	ZW44-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・研磨	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	19	J	J-12753 J-17468	ZW42-d ZX42-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	20	J	J-12262	ZX44-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	21	J	J-11645 J-11764	ZY41-d ZY41-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	22	J	J-12576	ZX44-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨，ナデ	灰褐色	浅黄褐色	角閃石・長石・石英	
	23	J	J-11267	ZZ39-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	24	J	J-06032	D36-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	25	J	J-13388	ZY43-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	26	J	J-12762 J-17301	ZW42-d ZW42-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	27	J	J-12031	ZY42-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	28	J	J-12057	ZY42-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	29	J	J-14749	ZY42-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
61	30	J	J-16423 J-16729	ZZ46-d ZZ46-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	31	J	J-13522 J-14241	ZX47-c ZX47-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	32	J	J-15147 J-15148 J-15149	ZY45-d ZY45-d ZY45-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	ナデ	明赤褐色	橙色	角閃石・石英・雲母	
	33	J	J-04645	ZW44-a	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	34	J	J-15145 J-15246	ZY45-d ZY45-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨，ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	35	J	J-12212	ZX44-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	36	J	J-11497 J-11498	ZX41-d ZX41-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	37	J	J-13007	ZW49-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	38	J	J-17420	ZX42-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ・研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	39	J	J-15123	ZY45-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	40	J	J-15945	ZY46-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	41	J	J-12398	ZX44-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第14表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
61	42	J	J-12612 J-12613 J-12765	ZW43-d ZW43-d ZW43-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	43	J	J-03335 J-09684	ZV45-a ZV44-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・石英	
	44	J	J-13207 J-13208	ZY44-a ZY44-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	45	J	J-11347 J-11440	ZY40-a ZY40-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	研磨，ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	46	J	J-14767	ZZ42-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	47	J	J-04532	ZY40-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	48	J	J-12867	ZV44-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	49	J	J-02388 J-04411	ZZ37-b ZZ37-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	50	J	J-16803	ZZ43-b	Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	51	J	J-16565	ZX46-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	52	J	J-12150	ZX44-c	Ⅲb下層	擦過・ナデ	擦過・ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	53	J	J-09697	ZW44-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	54	J	J-08654	E34-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	55	J	J-13478	ZY41-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	56	J	J-16543	ZZ46-d	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	57	J	J-12134	ZX44-c	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	58	J	J-11996	ZY42-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	59	J	J-10087	ZZ37-a	Ⅲb下層	ナデ・研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	60	J	J-02083	ZZ37-a	Ⅲb上層	ナデ・研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
62	61	J	J-15570 J-16010 J-16011	ZY46-a ZY46-b ZY46-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	明赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・石英	
	62	J	J-11075 J-11410	B39-a B39-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ・研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	63	J	J-04619 J-11356	ZY40-a ZY40-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・石英・雲母	
	64	J	J-14477	ZZ44-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	65	J	J-01567	E34-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	66	J	J-02481	ZZ38-b	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	67	J	J-10279	ZZ37-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	68	J	J-11702	ZX42-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	69	K	K-09911 K-09918 K-10802 K-10814 K-10815 K-10816 K-10817 K-10819 K-10820 K-10821 K-10822 K-10836 K-10838 K-11075 K-11077	J21-d J21-d J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-a J21-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	凹線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	70	K	K-10540	J20-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	71	K	K-14436	J20-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	72	K	K-06928	H22-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	73	K	K-07917	J16-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	74	K	K-10842	J21-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	75	K	K-17169	I26-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	

第15表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢C類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
62	76	K	K-09290	J21-a	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，ナデ	褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	77	K	K-05779 K-14403 K-14405 K-14407 K-14410 K-14520	J20-b J20-b J20-b J20-b J20-b J20-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，貝殻条痕	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	78	K	K-14178	J20-a	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ，ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	79	K	K-14207	J20-a	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，ナデ	黒色	灰黄褐色	角閃石・石英・雲母	
	80	K	K-11043 K-11045	J20-b J20-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	81	K	K-10379 K-14183 K-14184	J20-c J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	82	K	K-14180	J20-a	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・石英・雲母	
	83	K	K-14372 K-14394	J20-b J20-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨， 貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・石英・雲母	
63	84	K	K-00130	J19-b	Ⅲa層	沈線／研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	85	K	K-14448	J20-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	86	K	K-02326	G22-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	87	K	K-03160	J21-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	88	K	K-03911	J20-d	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	89	K	K-16527	F24-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	90	K	K-16343	G23-d	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	91	K	K-02587	L21-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	明褐灰色	角閃石・長石・石英	
	92	K	K-07759	J17-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	93	K	K-10448	J20-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	94	K	K-09371	J21-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	95	K	K-12244	K21-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	96	K	K-09843	J21-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	97	K	K-10119	J20-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	98	K	K-10428	J20-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・研磨，ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	99	K	K-10904 K-10905 K-11067	J20-a J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	100	K	K-08046	K18-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	101	K	K-06623	G21-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	102	K	K-14210 K-14313	J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	ナデ	黒褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	103	K	K-09485 K-10773	J21-b J21-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・石英・雲母	
	104	K	K-07190	J19-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨，ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
64	105	K	K-14416 K-14417	J20-b J20-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・雲母	
	106	K	K-08144	K18-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	107	K	K-08916	K19-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨，ナデ	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	108	K	K-16509	K18-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・石英・雲母	
	109	K	K-10036	J20-d	Ⅲb下層	沈線/貝殻条痕・研磨	貝殻条痕・研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	110	K	K-09087	K18-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	111	K	K-12378 K-12379	K20-b K20-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨，ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	波状口縁 口唇部に凹点
	112	K	K-10151 K-10196	J20-d J20-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ・研磨	ナデ・研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	113	K	K-00478 K-07394	K19-b K19-b	Ⅲa層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・石英・雲母	
	114	K	K-09288	J21-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	長石・石英	

第16表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類④）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
64	115	K	K-07656	K19-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	116	K	K-06975	K18-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	117	K	K-13404	K20-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ・研磨	ナデ・貝殻条痕	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	118	K	K-07517	K19-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ・研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	119	K	K-07590	K19-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	120	K	K-09183	K19-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	121	K	K-00532	K19-b	Ⅲa層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	122	K	K-10770	J20-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	123	K	K-12274	K20-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	124	K	K-08092	K18-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	125	K	K-11262	K20-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨，ナデ	黒色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	126	K	K-08867	K19-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	127	K	K-10533 K-10535	J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ・研磨	ナデ	暗赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	128	K	K-16956	J19-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	129	K	K-13230	J20-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	130	K	K-04857	K18-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	131	K	K-07804	J17-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	132	K	K-06453	J24-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	133	K	K-05657	J21-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	134	K	K-07911	J17-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	135	K	K-16937	K21-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	136	K	K-03640	J21-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	137	K	K-07415	K19-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	138	K	K-12503	K20-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	139	K	K-09198	K19-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	140	K	K-17022	K20-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	141	K	K-08729	K19-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	黒褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	142	K	K-05616	J21-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	143	K	K-08907	K19-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	144	K	K-02076	K20-d	Ⅲa層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	145	K	K-10458 K-10491	J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ・研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	146	K	K-11242	L21-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	147	K	K-16470	J20-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	148	K	K-03644	J21-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	149	K	K-15804	K21-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	150	K	K-09863	J21-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
65	151	K	K-14458	J19-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	152	K	K-07595 K-09180	K19-a K19-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	153	K	K-08926	K19-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ・研磨	ナデ・研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	154	K	K-07098	K19-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	155	K	K-09998	J20-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	156	K	K-11190	L21-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	157	K	K-08083	K18-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	明赤褐色	赤褐色	角閃石・長石・石英	
	158	K	K-07630	K19-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	159	K	K-14469	J19-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ・研磨	ナデ・研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	160	K	K-08104 K-09053	K18-b K18-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	161	K	K-12978	K20-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	162	K	K-07570	K19-b	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	163	K	K-09384	J21-a	Ⅲb下層	ナデ・研磨	ナデ・研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	164	K	K-12388	K20-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	165	K	K-09134	J19-c	Ⅲb下層	ナデ	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	166	K	K-11248	K21-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	ナデ	黒色	褐色	角閃石・長石・石英	

第17表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢C類⑤）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
65	167	K	K-14174 K-14175 K-14181 K-14185 K-14189 K-14225 K-14236 K-14237 K-14238 K-14305 K-14306 K-14308 K-14309 K-14310	J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	168	K	K-14170 K-14182 K-14187 K-14239	J20-a J20-a J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	擦過・ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	169	K	K-09740 K-09741	J21-a J21-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
66	170	K	K-09865 K-09866	J21-a J21-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨，ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	171	K	K-10543	J20-b	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	172	K	K-10267	J20-c	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	173	K	K-16673	G24-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	174	K	K-14209	J20-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	175	K	K-00750	J20-d	Ⅲa層	研磨	研磨	褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	176	K	K-08076	K18-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	177	K	K-11069	J20-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	178	K	K-14414	J20-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	179	K	K-08975	K19-a	Ⅲb下層	研磨，ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	180	K	K-10996	J20-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	明赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	181	L	L-09356 L-09405 L-09966	J13-b J13-c J14-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	182	L	L-10349	K15-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	183	L	L-03113	K14-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	184	L	L-02428	J13-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	185	L	L-05102	M15-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
	186	L	L-03892	L15-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	187	L	L-10683	L14-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	188	L	L-09091	P12-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	189	L	L-09722	I15-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	190	L	L-05977	J12-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	191	L	L-04671	M14-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	192	L	L-11309	L14-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	193	L	L-08727	P12-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	194	L	L-10661	L14-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	195	L	L-08674	P12-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	196	L	L-12731	L13-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	197	L	L-12130 L-12173	M14-c M14-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	198	L	L-11032 L-11434	L14-b L14-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	199	L	L-12319	M14-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ・研磨	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	200	L	L-07556	P12-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	201	L	L-08875	P12-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	202	L	L-09515	L13-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	203	L	L-04292	L14-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	204	L	L-08719	P12-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	

第18表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類⑥）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
66	205	L	L-12275	N15-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
	206	L	L-08957	P12-d	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	207	L	L-12003	M14-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	208	L	L-03930	L15-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
67	209	M	M-38601 M-38980	N４-c N４-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	波状口縁
	210	M	M-26861	N５-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	211	M	M-40387	N５-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	212	M	M-40797	O１-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	213	M	M-33141	N６-a	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	214	M	M-13537	N６-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	215	M	M-27588	O５-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	明褐灰色	角閃石・長石・石英	
	216	M	M-36750	Q７-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	217	M	M-14272	M６-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	218	M	M-24925	O４-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	219	M	M-38148 M-38749	N４-c N４-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	研磨，ナデ	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	220	M	M-38511	O４-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	221	M	M-37413	O３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	赤黒色	灰赤色	角閃石・長石・石英	
	222	M	M-30085	O４-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	223	M	M-38446	N４-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨，ナデ	にぶい橙色	褐色	角閃石・長石・石英	
	224	M	M-29912	O４-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨，ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	225	M	M-32487	P３-b	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	226	M	M-44079	N100-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	227	M	M-28983	P１-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	228	M	M-33965	O６-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	229	M	M-19631	P100-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	明褐色	角閃石・長石・石英	
	230	M	M-21175	P５-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	波状口縁，口唇部に凹点
	231	M	M-19187	M４-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	232	M	M-24815	Q７-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	233	M	M-21104	P４-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	234	M	M-29127	N１-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	灰褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁，口唇部に凹点
	235	M	M-21988	O４-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	236	M	M-21230	O４-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	237	M	M-39002	N４-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	238	M	M-27191	O６-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	239	M	M-43746	O３-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	240	M	M-43697	P３-b	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	241	M	M-31533	N５-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	242	M	M-38594 M-38689	O４-a N４-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	243	M	M-44203	O５-d	Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
68	244	M	M-38406 M-38413 M-39901	O４-b O４-b O４-b	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	245	M	M-37649	O３-a	Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁，口唇部に凹点
	246	M	M-37742 M-37817	N３-d N３-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，ナデ	明赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	247	M	M-37722	O６-c	Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨，貝殻条痕・ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	248	M	M-42906	N４-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨，ナデ	暗赤褐色	暗灰褐色	角閃石・石英・雲母	波状口縁，口唇部に凹点
	249	M	M-32881 M-37580	N３-c N３-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	沈線／ナデ・研磨	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	250	M	M-37807	N３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	251	M	M-37559	N３-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	252	M	M-29682	O４-b	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	253	M	M-02264	P３-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	254	M	M-40987	Q１-a	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	255	M	M-38617	N４-c	Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕・研磨	ナデ	黒褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	256	M	M-33816	O６-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	257	M	M-37146	O２-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	

第19表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類⑦）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
68	258	M	M-14230	M６-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	259	M	M-42666	Q100-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	260	M	M-12341 M-33796	O６-b O６-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ・研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・石英	
	261	M	M-33292	N６-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	262	M	M-38352	O４-a	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	263	M	M-38200	M５-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	264	M	M-37743	N３-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	265	M	M-42644	Q100-b	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	褐色	褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁,口唇部に凹点
	266	M	M-37342	P４-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	267	M	M-02270	P３-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	268	M	M-29987	O４-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	269	M	M-23781	N５-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	270	M	M-39001	N４-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	271	M	M-37796 M-42910	N３-a N３-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	272	M	M-19951	P４-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	273	M	M-42671	Q100-b	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	274	M	M-35300	P１-a	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	275	M	M-37698	N３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	276	M	M-38466	N４-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に凹点
	277	M	M-32951	N３-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
69	278	M	M-10036	O１-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	279	M	M-12943	N６-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	明赤褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
	280	M	M-32858	O３-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	281	M	M-44829	P５-a	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	282	M	M-23400	N４-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	283	M	M-31090	O５-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	284	M	M-42592 M-42653	Q100-b Q100-b	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	285	M	M-29522	N４-c	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	286	M	M-23402	N４-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	287	M	M-43397	O３-c	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	288	M	M-31898	O５-a	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	289	M	M-38760	N４-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	290	M	M-29526	N４-c	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	291	M	M-43372	O４-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	292	M	M-42646	Q100-b	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	293	M	M-38744	N４-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ・研磨	研磨	黒褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	294	M	M-37183	O３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	295	M	M-37651	O３-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ・研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	296	M	M-35626	Q１-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	297	M	M-23572	N４-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	298	M	M-36518	O６-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	299	M	M-10062	Q１-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	灰褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	300	M	M-28995	P１-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	ナデ	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	301	M	M-26592	N４-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	302	M	M-37410	O３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	303	M	M-23492 M-29489	N４-c N４-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	304	M	M-06639	P３-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	305	M	M-32371	P３-b	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	褐色	角閃石・長石・石英	
	306	M	M-21153	P５-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	307	M	M-37510	O３-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	研磨	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	308	M	M-33870	N６-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	309	M	M-31483	N５-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	310	M	M-23844 M-24776	N５-c N５-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	311	M	M-11671	P６-d	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	312	M	M-36255	N６-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	

第20表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類⑧）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
69	313	M	M-36187	O6-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	314	M	M-25346	P4-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	315	M	M-20368	P4-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	316	M	M-26702	O4-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	317	M	M-18130 M-37757	N3-d N3-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	318	M	M-27759	O5-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	319	M	M-26576	N4-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	320	M	M-06619	O4-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	321	M	M-20932	P5-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	322	M	M-32716	O3-d	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	明褐色	明褐色	角閃石・長石・石英	
	323	M	M-42982	N5-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	324	M	M-12356	O6-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	325	M	M-08677	N6-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	326	M	M-42964	O5-a	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	327	M	M-38564 M-38566 M-38633	N4-c N4-c N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕・ナデ	研磨，ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	328	M	M-33866 M-36215	N6-c N6-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	329	M	M-29477 M-38567	N4-d N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨，ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	330	M	M-38565	N4-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	331	M	M-15449 M-42102	P1-b P1-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	沈線／研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	332	M	M-25538 M-29924 M-38537 M-38538 M-39256	O4-a O4-a O4-a O4-a O4-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨，ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・石英	
	333	M	M-38543	N4-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	334	M	M-38556	N4-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	335	M	M-25643	O5-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	336	M	M-38525 M-38667 M-38671	O4-a O4-a O4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	灰褐色	黒褐色	石英	
	337	M	M-38560 M-38562	N4-c N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	338	M	M-39320	P4-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	339	M	M-35534	P1-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	340	M	M-37610	O3-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	341	M	M-10252	M4-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
70	342	M	M-24926	O4-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	343	M	M-27353	O3-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	344	M	M-21038	P5-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	345	M	M-22027	O4-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	346	M	M-38348	O4-a	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	347	M	M-26759	N4-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	ナデ	にぶい橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	348	M	M-39006	O4-a	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	349	M	M-24890	Q7-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	暗赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	350	M	M-33916	O6-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	351	M	M-33092	M6-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	352	M	M-36703	P7-a	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	貝殻条痕・研磨	にぶい赤褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	353	M	M-38013	M4-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	明赤褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	354	M	M-36335	M6-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	355	M	M-01869	O1-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	356	M	M-36426	P6-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	357	M	M-40220	N5-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	358	M	M-27816	O4-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	359	M	M-40151	O5-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第21表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢C類⑨）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
70	360	M	M-26925	O5-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい黄橙色	褐色	角閃石・長石・石英	
	361	M	M-40388 M-40389	N6-c N6-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	362	M	M-39502	N4-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
71	363	M	M-02298 M-09870 M-25020 M-25044	P3-a P3-a P3-a P3-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料9
	364	M	M-03867 M-22075 M-22298 M-22359 M-22450 M-24927 M-29717 M-29798 M-29941 M-29969 M-30004 M-30018 M-38422 M-38427 M-38443 M-38449 M-38503 M-38653	O4-a O4-a O4-b O4-b O4-b O4-c O4-b N4-d O4-a O4-a O4-b O4-a O4-b O4-b O4-b N4-d O4-a O4-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ・研磨	ナデ，貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	365	M	M-23742 M-23743 M-31829 M-31830 M-31832 M-31833 M-32250 M-40379	N5-d N5-d N5-d N5-d N5-d N5-d N5-d N5-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
72	366	M	M-42421 M-42422	P1-c P1-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	367	M	M-29545 M-29546	N4-c N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	研磨，ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	368	M	M-37661 M-37662 M-37663	N3-c N3-c N3-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	擦過	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄色	角閃石・長石	
	369	M	M-24359 M-26757 M-29581 M-38950	N4-c N4-d N4-c O4-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	370	M	M-38370 M-38551	O4-a N4-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	371	M	M-29683 M-38360 M-38361	O4-b O4-a O4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	372	M	M-38516	O4-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕，ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	角閃石・石英	
	373	M	M-32853 M-33611	O3-a O3-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過・研磨	ナデ・研磨	橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	374	M	M-36902	P3-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	線刻
	375	M	M-32990	O3-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	376	M	M-37896	M4-c	Ⅲb下-2層	ナデ・研磨	研磨	褐灰色・にぶい黄橙色	褐灰色・にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	377	M	M-01216	M5-b	Ⅲb上層	研磨	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	378	M	M-33662	O6-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	379	M	M-30765	N4-c	Ⅲb下-1層	ナデ	研磨，ナデ	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・赤色粒子	
	380	M	M-34141	P6-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第22表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｃ類⑩）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
72	381	M	M-37043	P3-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	382	M	M-44457	P5-a	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	383	M	M-32919	N3-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	384	M	M-21052	P5-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	385	M	M-44061	P1-a	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	386	M	M-19753	P4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	387	M	M-10564	Q100-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	388	M	M-38699	N4-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	389	M	M-38997	N4-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	390	M	M-38373	O4-a	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	391	M	M-29535 M-38623	N4-c N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	392	M	M-37078	P3-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	暗灰黄色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	393	M	M-14567	O6-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	394	M	M-04778	N4-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	395	M	M-22604	O5-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	396	M	M-44863	N4-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	397	M	M-08326	O6-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	398	M	M-38672	N4-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	波状口縁
73	399	M	M-23407 M-38464 M-38592 M-38593 M-38619 M-38620 M-38817	N4-c N4-c N4-c N4-c N4-c N4-c N4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	400	M	M-29984 M-30762	N4-c N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ・研磨	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	401	M	M-16761 M-26200 M-28149 M-28151 M-28171	N1-c N1-c N1-c N1-c N1-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	ナデ・研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	402	M	M-38733	N4-c	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	403	M	M-33943	O6-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	404	M	M-36817 M-37046 M-37387	P3-d P3-d P3-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・研磨	ナデ・研磨	褐色	にぶい褐色	角閃石・石英	
	405	M	M-38180	N4-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・研磨	ナデ	灰赤色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	406	M	M-38590	O4-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	407	M	M-25075	P2-d	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	408	M	M-39868	O4-b	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	409	M	M-38359 M-38919	O4-a O4-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	長石・石英	
74	410	M	M-29907	O4-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	411	M	M-28356	P1-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・研磨	擦過	にぶい褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
	412	M	M-19949	P4-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	413	M	M-15919	O1-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	414	M	M-23355	N4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	415	M	M-20787 M-30519	P4-b P4-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	416	M	M-02386	P2-d	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	ナデ	にぶい褐色・褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	417	M	M-37654	N3-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・研磨	ナデ	灰褐色	オリーブ褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	418	M	M-38469	N4-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・研磨	ナデ	褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	419	M	M-36430	P6-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	420	M	M-36498	O6-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	421	M	M-35616	Q1-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	422	M	M-40122	M6-a	Ⅲb上層	擦過	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	423	M	M-38549	N4-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・研磨	ナデ	暗赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	424	M	M-38152	N4-c	Ⅲb下-2層	ナデ・研磨	ナデ	黒褐色	褐色	角閃石・長石・石英	

第23表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢C類⑪）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
74	425	M	M-38149 M-38155	N４-c N４-c	Ⅲb下-２層 Ⅲb下-２層	ナデ・研磨	ナデ	灰褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
75	426	N	N-03868	F75-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	427	N	N-03461	D73-d	Ⅲb下層	研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	428	O	O-05645	E58-b	Ⅲb下-１層	凹線／研磨	研磨	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	429	O	O-07259	F59-a	Ⅲb上層	凹線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	430	O	O-03684	E59-b	Ⅲb下-１層	沈線／ナデ	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	431	O	O-04912	F60-c	Ⅲb下-１層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	432	O	O-01159	E57-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	433	O	O-06746	G58-b	Ⅲb下-２層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	434	O	O-06172	E60-c	Ⅲb下-２層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	435	O	O-04317	F61-a	Ⅲb下-１層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	436	O	O-07075	E58-d	Ⅲb下-２層	ナデ	ナデ	灰褐色	暗褐色	長石・石英・赤色粒子	

第24表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢D類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
76	1	J	J-07892 J-07893	D35-b D35-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-05826 J-06078 J-09122	D36-c D36-c D36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	口唇部に凹点
	3	J	J-10618	B36-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-13106	ZX48-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
	5	J	J-02662	ZX40-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	6	J	J-01007	C35-d	Ⅲb上層	沈線／擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	7	J	J-09235	E35-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-07936 J-07959	C35-d C35-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／擦過・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-09919	D35-b	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-05691 J-05694 J-08353	C35-c C35-c C35-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	暗灰黄色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	11	J	J-02282 J-02283	ZY39-c ZY39-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	12	J	J-06880	E34-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	13	J	J-02141 J-10104	ZZ37-a ZZ37-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	14	J	J-04508	ZY41-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	15	J	J-14996	ZY44-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	16	J	J-10012	ZZ37-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	17	J	J-04352	D36-a	Ⅲb下層	擦過・ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	18	J	J-05873	D36-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	19	J	J-02482	ZZ38-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	20	J	J-08262	D35-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	浅黄色・黄灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	21	J	J-00941	C35-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	22	J	J-16104	ZZ46-a	Ⅲb下層	貝殻条痕，ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	23	J	J-15650	ZY46-b	Ⅲb下層	沈線／擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	長石・石英	貼付文
	24	J	J-06600	B36-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	25	J	J-05232	D35-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	26	J	J-14986	ZY45-b	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	27	J	J-04954	E35-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
77	28	K	K-12128 K-12129 K-12656 K-13029	K21-d K21-d K21-d K21-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母	
	29	K	K-13578	G29-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	褐灰色	長石	
	30	K	K-12612	K21-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点

第25表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢D類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
77	31	K	K-10518	J20-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	32	K	K-13488	H29-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	33	K	K-08281 K-08282	I18-c I18-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	34	K	K-13373	G21-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	35	K	K-08419	J18-a	Ⅲb下層	沈線／擦過	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	36	K	K-13494	G29-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	37	K	K-08311	I18-c	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	擦過・ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	38	K	K-13239	F21-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	39	K	K-16812	G23-b	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石	
	40	K	K-15104	G22-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	41	K	K-14994	K22-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	42	K	K-14922	K23-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	43	K	K-13306	G21-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	44	K	K-14629	J24-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	45	K	K-11131	K21-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	暗赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	46	K	K-10074	J20-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	47	K	K-12040	K21-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	48	K	K-11211	K21-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	黒色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	49	K	K-11545	K21-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	50	K	K-13853 K-17452	G29-b G29-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	51	K	K-16641	G24-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	52	K	K-12012	K21-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	53	K	K-13334	G21-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	54	K	K-13839	G29-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	擦過・ナデ	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	55	K	K-08248	I18-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石	
	56	K	K-17554	H22-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	長石	
	57	K	K-08785	K19-c	Ⅲb下層	擦過	擦過	にぶい橙色	灰黄橙色	角閃石・長石・石英	
	58	K	K-10155	J20-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石	
	59	K	K-09213	K18-b	Ⅲb下層	擦過・ナデ	研磨	灰白色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	60	K	K-12756 K-12895 K-13024 K-13397	K21-b K21-a K21-a K21-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	明褐色・黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	貼付文, AMS年代測定試料13
78	61	K	K-14751	J23-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	62	K	K-15094	H22-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい黄橙色・黒色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	63	K	K-11635	K20-d	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	64	K	K-16330	G23-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	貼付文
	65	K	K-17647	G23-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	66	K	K-05262	I18-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	褐色	にぶい橙色	長石・石英	貼付文
	67	K	K-11318	L21-b	Ⅲb下層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	貼付文
	68	K	K-15404	G22-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	69	L	L-06098	K13-b	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	70	L	L-03031	K14-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	71	L	L-07140	P12-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	72	L	L-10234	J14-c	Ⅲb下層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	73	L	L-13141	L13-b	Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黄灰色	長石	
	74	L	L-06050	J14-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	75	L	L-10343	K15-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	76	L	L-06395 L-11776	L15-c L15-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	77	L	L-06251 L-10944 L-10945	L14-c L14-c L14-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	黒褐色	黒褐色	長石・石英	
	78	L	L-03666 L-10627 L-11218 L-11247 L-11301	L14-b L14-a L14-d L14-b L14-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	貼付文

第26表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢D類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
78	79	L	L-08873	P12-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	80	L	L-06196	L13-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	81	L	L-06740	M14-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	82	L	L-05483	M14-d	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	83	L	L-08641	P12-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	84	L	L-08055	M15-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	85	L	L-06192	L13-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	明赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	口唇部に突起
	86	L	L-07951	O14-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	87	L	L-09689	J15-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	88	L	L-06049	I14-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	89	L	L-05594	M15-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	90	L	L-12087	M14-c	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	91	L	L-05595	M15-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	92	L	L-03285	K14-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	93	L	L-06762	M14-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	94	L	L-02729	J14-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	95	L	L-11716	L14-d	Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・雲母	
	96	L	L-02353	I14-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	97	L	L-06656	P11-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	暗赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	98	L	L-11100	L15-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	99	L	L-10213	J14-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
	100	L	L-05706	N14-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	101	L	L-08499	O12-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰褐色・黒色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	102	L	L-11804	M14-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	103	L	L-05166	M15-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	104	L	L-05177	M15-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	105	L	L-08938	P12-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	106	L	L-03126	K14-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	107	L	L-03933	L14-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	橙色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
	108	L	L-05546	M15-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
79	109	M	M-34989 M-40844 M-40888	N1-d N1-d N1-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／擦過	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	110	M	M-12280	O6-d	Ⅲb上層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	黄灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	111	M	M-25146	O100-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
	112	M	M-17477	O3-d	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	113	M	M-27274	O3-d	Ⅲb上層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	114	M	M-29506	N4-a	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	115	M	M-42127	O100-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	116	M	M-20011	P4-c	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	117	M	M-01508 M-16182	O1-b O1-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	118	M	M-39656	P4-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	119	M	M-37030	P3-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・雲母	
	120	M	M-19856	P4-c	Ⅲb上層	沈線／擦過	ナデ	黒褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	121	M	M-38542 M-39618	O4-a P4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	器壁に間隙
	122	M	M-29340	N4-b	Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・雲母	
	123	M	M-22878	O5-a	Ⅲb上層	沈線／擦過，貝殻条痕	ナデ	赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	124	M	M-09882 M-32507 M-37354	P3-a P3-b P4-a	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	125	M	M-06813 M-17415 M-43181	O3-c O3-c O3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・石英・雲母	
	126	M	M-06043 M-06044 M-26302 M-28714	P4-a P4-a P4-a P4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	石英・雲母	

第27表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢D類④）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
79	127	M	M-02187 M-42147	O100-c O100-c	Ⅲb下層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	口唇部に凹点
	128	M	M-19141	M4-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黄灰色	長石・雲母	
80	129	M	M-40638	O1-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に凹点
	130	M	M-15032 M-15037 M-35369	P1-a P1-a P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	褐灰色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	131	M	M-42152 M-42153 M-42154 M-44097 M-44102	O100-c O100-c O100-c O100-c O100-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	口唇部に凹点
	132	M	M-01683	P3-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・雲母	口唇部に突起
	133	M	M-31352 M-39980	O5-a O5-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	橙色	浅黄色	角閃石・長石	
	134	M	M-33088	M6-c	Ⅲb下-1層	擦過	擦過・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	135	M	M-02185 M-02186	O100-c O100-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	136	M	M-33043	N3-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	黄灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	137	M	M-19164	M4-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	擦過	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	138	M	M-44652	O5-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	139	M	M-15908	O1-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	140	M	M-16923	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	141	M	M-44456	P5-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	142	M	M-28517	M6-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	143	M	M-27458	N3-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	擦過	にぶい黄橙色	灰色	角閃石・石英・雲母	
	144	M	M-33214	N6-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	145	M	M-41800	P3-d	Ⅲb上層	沈線／貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	146	M	M-28782	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	147	M	M-10418	N1-d	Ⅲb上層	擦過・ナデ	擦過・ナデ	褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	148	M	M-16407	O1-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	149	M	M-26794	N4-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	150	M	M-17255	P3-a	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	151	M	M-16844	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
81	152	M	M-43428	M5-d	Ⅲa層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	153	M	M-28776 M-34913	N1-d N1-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	擦過	にぶい黄褐色	にぶい黄色	角閃石・長石・雲母	
	154	M	M-20853 M-28719	P5-c P5-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕	褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母	
	155	M	M-28522	M5-c	Ⅲb下層	擦過	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石	波状口縁
	156	M	M-07790	N6-d	Ⅲb上層	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	口唇部に突起
	157	M	M-08901 M-08913	N6-a N6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	黒褐色	長石・石英・雲母	
	158	M	M-40437	N1-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	159	M	M-27376	O3-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	160	M	M-27084	M6-c	Ⅲb上層	ナデ	擦過・ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	161	M	M-41190	N1-b	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	162	M	M-10394	N1-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	黒褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	163	M	M-35075	O1-b	Ⅲb下-1層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	164	M	M-02397	O2-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	165	M	M-33024	N3-c	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	166	M	M-19854	P4-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	167	M	M-19347	M4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	168	M	M-34973	N1-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	貼付文
	169	M	M-04970	P6-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	黒色	黒色	角閃石・長石・石英	
	170	M	M-10257	M4-d	Ⅲb上層	擦過	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	171	M	M-43251	O6-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	172	M	M-15989	O1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	173	M	M-30877	O5-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	174	M	M-44087	N1-b	Ⅲb下-2層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	

第28表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢D類⑤）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
81	175	M	M-18106	N3-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	176	M	M-07786 M-33251 M-33400	N6-d N6-d N6-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	177	M	M-08882	N6-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	178	M	M-09952	O3-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	明黄褐色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
	179	M	M-06606 M-07048	O4-c O4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	180	M	M-29337	N4-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	181	M	M-43307 M-43326	O6-c O6-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒色	黒色	角閃石・長石・石英	
	182	M	M-21323	O4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	183	M	M-34568	P6-a	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	184	M	M-34891	N1-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	185	M	M-40331	N1-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	灰白色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	186	M	M-38144	N4-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	187	M	M-18715 M-33053 M-37766	N3-b M3-d N3-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・赤色粒子	
	188	M	M-34535	P6-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	189	M	M-35471	P1-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	灰白色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	190	M	M-35029	N2-c	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	191	M	M-01657	P100-b	Ⅲb上層	擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	長石	
82	192	M	M-15805	P1-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	黄灰色	オリーブ黒色	角閃石・長石・石英	
	193	M	M-26295	P4-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	194	M	M-01783	O3-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	黒色	長石・石英	
	195	M	M-41368	P1-a	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	196	M	M-31733	N5-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	197	M	M-30911	O5-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	198	M	M-30216	O4-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	199	M	M-41087	P1-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	灰白色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	200	M	M-14783	Q1-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	201	M	M-40476	N2-c	Ⅲb下-2層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	202	M	M-17941	N3-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	203	M	M-35413	P1-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	204	M	M-29218	P3-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	205	M	M-35509	P1-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	206	M	M-31455	N5-a	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	207	M	M-32456	P3-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	208	M	M-16029	O1-d	Ⅲb上層	擦過・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	209	M	M-09873 M-17304	P3-b P3-b	Ⅲb下層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	210	M	M-16459	P1-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	211	M	M-25366	P3-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	212	M	M-34085	O6-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	213	M	M-36946	P3-b	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	214	M	M-15303	P1-a	Ⅲb上層	擦過・ナデ	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	215	M	M-31885	N5-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	擦過	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	216	M	M-15711	P1-c	Ⅲb上層	擦過	擦過	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	217	M	M-01172	M6-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	218	M	M-18996	M5-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	浅黄色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	219	M	M-28990	Q1-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	220	M	M-09064	M6-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	221	M	M-23473	N4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	角閃石・長石	口唇部に凹点
	222	M	M-37532	P3-b	Ⅲb下-2層	擦過	研磨	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	223	M	M-30770 M-38179	N4-c N4-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	暗褐色	角閃石・長石・石英	
	224	M	M-38184	N4-c	Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・雲母	
	225	M	M-30638	O3-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黄灰色	角閃石・長石	
	226	M	M-34731	O100-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・雲母	

第29表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｄ類⑥）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
82	227	M	M-26835	N５-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	228	M	M-36716	P７-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	229	M	M-42216	P100-d	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	褐灰色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	230	M	M-36014	P６-a	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	231	M	M-37786	N３-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	232	M	M-11428	N１-d	Ⅲa層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	黒褐色	長石・石英	貼付文
	233	M	M-35772	P100-b	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	234	M	M-20654	P４-d	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	黄灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	235	M	M-20338	P４-b	Ⅲb上層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	236	M	M-24526	N４-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
83	237	N	N-01621 N-01633 N-02128	E75-d E75-d E75-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・雲母	
	238	N	N-02636 N-04021	E73-a E73-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	239	N	N-04171	E72-b	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	240	N	N-03087	E74-a	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石	
	241	N	N-02895	E73-b	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	242	N	N-03032	D74-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	243	N	N-02575	D75-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	明褐色	にぶい褐色	長石・石英	
	244	N	N-03577	E75-a	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	245	N	N-03853 N-03863	F75-b F75-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石	
	246	N	N-03733	E75-c	Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
	247	N	N-03686	E76-c	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	248	N	N-03156	D73-d	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	249	N	N-02943	D74-b	Ⅲb下層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	250	N	N-01762	D74-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	251	N	N-02899 N-03166	E73-b E73-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	252	N	N-04328	F75-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	253	N	N-03045	D74-c	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄色	浅黄色	角閃石・長石・赤色粒子	
	254	N	N-01654 N-02546	E74-b E74-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	255	N	N-03623	E76-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	黒褐色	灰黄色	角閃石・長石・赤色粒子	
	256	N	N-03306	D75-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	257	N	N-01774	D74-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	258	N	N-03419	D75-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	259	N	N-03081	D74-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰褐色	褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
84	260	O	O-07064	E59-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石	口唇部に凹点
	261	O	O-05273 O-05747 O-06584	E59-c E59-c E59-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	262	O	O-00768 O-00814	F58-c G58-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	263	O	O-03934	E60-c	Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	264	O	O-07819 O-08026	G57-a G57-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	265	O	O-06888	F58-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	266	O	O-03607	E59-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石	
	267	O	O-06696	F58-c	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・赤色粒子	口唇部に凹点
	268	O	O-06772 O-07561	F58-c F57-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄色	にぶい黄色	角閃石・長石	
	269	O	O-03377	F59-b	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	長石・赤色粒子	
	270	O	O-06876	F58-a	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	271	O	O-08669 O-08683	G58-a G58-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	長石・雲母	口唇部に凹点
	272	O	O-06293	F60-b	Ⅲb下-2層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	273	O	O-08036	F59-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	長石	
	274	O	O-00750	E58-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	暗赤灰色	暗赤灰色	長石・赤色粒子	

第30表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢D類⑦）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
84	275	O	O-05207 O-05727 O-05729	E59-c E59-c E59-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石	
	276	O	O-05845 O-06559	E59-c E59-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	灰黄色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・雲母	
	277	O	O-00402 O-04699	G59-b G59-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕・ナデ	ナデ	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	278	O	O-04153	E60-d	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	279	O	O-06284	F60-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	280	O	O-07829	G57-c	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	281	O	O-07175	F58-b	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石	
	282	O	O-01397 O-05654	E58-b E58-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	長石	
	283	O	O-08286	D66-c	Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石	
	284	O	O-06562	E59-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	暗灰黄色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	285	O	O-05984	E59-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	286	O	O-04017	E60-d	Ⅲb下-1層	沈線／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
85	287	O	O-03419 O-03421 O-03429 O-05037	E59-d F59-b E59-d E59-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	288	O	O-07564	F57-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	黄灰色	浅黄色	角閃石・長石	
	289	O	O-03993 O-03994 O-06298 O-06299	F60-b F60-b F60-b F60-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	擦過・ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	290	O	O-07047 O-07048	E58-b E58-b	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	291	O	O-00411 O-05779	F59-d F59-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	292	O	O-04061	E60-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	浅黄色	黄灰色	角閃石・長石	
	293	O	O-07613 O-07680 O-07881	F57-a F57-a F56-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	294	O	O-05251 O-06549	E59-a E59-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・雲母	
	295	O	O-08344	C66-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	296	O	O-03309	G57-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石	
	297	O	O-07961 O-07966	E56-d E56-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	298	O	O-03935	E60-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	299	O	O-02004	B67-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	300	O	O-07306	E59-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	301	O	O-05848	E59-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	302	O	O-07052	E59-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕，ナデ	ナデ	浅黄色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	303	O	O-03458	E59-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	304	O	O-07050	E58-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	305	O	O-06585	E59-c	Ⅲb下-1層	ナデ，擦過	ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	306	O	O-05196	E59-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	307	O	O-08535 O-08539	C66-c C66-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	貼付文
	308	O	O-04298	E59-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	309	O	O-05858	E59-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	貼付文
	310	O	O-05585	E58-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	311	O	O-06396	E60-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	312	O	O-05220	E59-c	Ⅲb下-1層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	313	O	O-09646	F58-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	314	O	O-05691	E58-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	貼付文
	315	O	O-09822	C66-d	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文
	316	O	O-03235	D66-b	Ⅲb上層	沈線／ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	貼付文
	317	O	O-03943	F60-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	貼付文

第31表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｅ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
86	1	J	J-01093 J-03692 J-05997 J-08319 J-08959 J-08962 J-10696	D35-a D34-b D36-a D35-a D34-b D34-b D35-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	2	J	J-01398 J-01400 J-03804 J-08543	E34-b E34-b E34-b E34-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	3	J	J-13786 J-16227	ZZ46-b ZZ46-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	4	J	J-04896 J-04897 J-10736	E35-b E35-b E35-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
87	5	J	J-13546 J-15622 J-15630 J-15631	ZY46-b ZY46-b ZY46-b ZY46-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／擦過・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	6	J	J-02583	ZX43-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	7	J	J-15633	ZY46-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-01217	D34-d	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-04719	D34-d	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい赤褐色	長石・石英・雲母	
	10	J	J-12879	ZV45-a	Ⅲb下層	刻目(指)／擦過	ナデ，擦過	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔 AMS年代測定試料16
	11	J	J-13134 J-13135	ZW48-d ZW48-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	12	J	J-02881 J-02882	ZX42-b ZX42-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ，ナデ	貝殻条痕	にぶい橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	13	J	J-00669	E35-b	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	14	J	J-04362	E34-a	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	擦過・ナデ	黒色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	15	J	J-05144	D35-c	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	16	J	J-07798 J-08279	D35-b D35-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	17	J	J-04366	D35-d	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	18	J	J-00709	D35-d	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	19	J	J-02580 J-02586 J-17257 J-17262	ZX43-a ZX43-a ZX43-a ZX43-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	20	J	J-09582	ZX43-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	21	J	J-17112	ZY47-b	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐灰色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	22	J	J-16624	ZY45-a	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	23	J	J-14646	ZZ46-d	Ⅲb上層	刻目(指)／擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	24	J	J-16967	ZY46-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	25	J	J-14662	ZZ46-d	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
88	26	J	J-05067 J-06868	E34-d E34-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	27	J	J-09346	E33-b	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	28	J	J-14824	ZW50-a	Ⅲb上層	刻目(指)／擦過	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	29	J	J-06876	E34-c	Ⅲb下層	刻目(指)／擦過	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	30	J	J-14984	ZY45-b	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料14
	31	J	J-01872	D35-d	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第32表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｅ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
88	32	J	J-05878	D36-a	Ⅲb下層	刻目(指)/貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	33	J	J-16407	ZZ46-c	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
	34	J	J-02587	ZX43-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	貝殻条痕	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	35	J	J-15158	ZZ45-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	36	J	J-15648	ZY46-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	37	J	J-03387	ZX44-a	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	38	J	J-15733	ZY46-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	39	K	K-08320	I18-d	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	40	K	K-07894	K17-a	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	41	K	K-00129	J19-b	Ⅲa層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	明褐灰色	角閃石・長石・石英	
	42	L	L-06078	J14-d	Ⅲb下層	刻目(指)/貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	43	L	L-10417 L-10616	K14-c L14-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	暗灰色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	44	L	L-06203	L13-d	Ⅲb下層	刻目(指)/貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	長石・石英	
	45	L	L-06080	J15-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	46	L	L-10526	K14-d	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	擦過	黄灰色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	47	L	L-12880	K15-a	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	48	L	L-03737	L14-a	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	49	L	L-09637	I15-c	Ⅲb下層	刻目(指)/貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	50	L	L-03584 L-13027 L-13030	L14-b L14-a L14-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	51	L	L-05556	M15-c	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	52	L	L-11549	M14-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	53	L	L-03139	K14-c	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	明褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
89	54	M	M-05057 M-26876 M-43097	P5-b O5-c P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕，ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	55	M	M-17643 M-32840	O3-d O3-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	56	M	M-36751	Q7-a	Ⅲb下-2層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	57	M	M-31957 M-36539	O5-b N6-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(指)／擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	58	M	M-06175	O6-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	59	M	M-36781	Q7-b	Ⅲb下-2層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	60	M	M-14548 M-14620 M-14642	O6-c O6-c O6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	61	M	M-42667	Q100-b	Ⅲb下-2層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	62	M	M-09808	O7-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	63	M	M-05504	P4-d	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
	64	M	M-18535	N3-a	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	65	M	M-33208	N6-d	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	66	M	M-14583 M-14631	O6-c O6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(指)／擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	67	M	M-00113 M-40060	N6-b N5-b	Ⅲa層 Ⅲa層	刻目(指)／擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	68	M	M-14617	O6-c	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	69	M	M-14530 M-36480	O6-d O6-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	70	M	M-27211	N6-d	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	71	M	M-05024	P6-b	Ⅲb上層	刻目(指)/貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	72	M	M-14029	M6-b	Ⅲb上層	刻目(指)/貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母	

第33表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｅ類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
89	73	M	M-27185	O6-b	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	74	M	M-24903	P7-c	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰褐色	明褐灰色	角閃石・長石・石英	
	75	M	M-11943	P6-b	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	76	M	M-33396	N6-d	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	擦過	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	77	M	M-28612	N6-d	Ⅲb下層	刻目(指)／擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	78	M	M-14606	O6-c	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
90	79	N	N-03430	D74-c	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	80	N	N-03059	D74-c	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	81	N	N-01769 N-02915	D74-c E74-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	82	O	O-00810 O-05420 O-05422 O-05469 O-05474 O-06971	F58-b E58-c E58-c E58-c E58-c E58-c	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(指)／ナデ，貝殻条痕・擦過	擦過，ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	83	O	O-04452 O-06388	E61-c E60-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
	84	O	O-04095	E60-b	Ⅲb下-1層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄橙色	黒色	角閃石・長石・石英・雲母	
	85	O	O-08607	F58-a	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	86	O	O-08218	D66-b	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	87	O	O-00152	E59-d	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	擦過	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	88	O	O-05383	F58-a	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ，貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	89	O	O-00272	E59-b	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	90	O	O-00876	F57-b	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	91	O	O-05712 O-06621	F58-b F58-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	92	O	O-05380	F58-a	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ，貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	93	O	O-05617	E58-d	Ⅲb下-1層	刻目(指)／擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	94	O	O-08168	D66-d	Ⅲb下-1層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	95	O	O-03862	F60-b	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰黄褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
	96	O	O-06205	E60-c	Ⅲb下-2層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	97	O	O-01789	E61-c	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	98	O	O-08343	C66-b	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	擦過	橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
91	99	J	J-02434	E35-b	Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ，ナデ	貝殻条痕	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	100	J	J-04854	E35-b	Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	101	J	J-10686	D35-c	Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	102	J	J-08556 J-08643	E34-b E34-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	103	J	J-05197	D34-b	Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	104	J	J-02585	ZX43-a	Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	105	K	K-06846	H28-b	Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・雲母	
92	106	L	L-03053 L-03275 L-03321 L-03350 L-10567	K14-b K14-d L14-a L14-b L14-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ，貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	107	L	L-02129 L-06010	I15-c J13-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕，ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	108	L	L-04163 L-04356 L-11227	L14-d L14-d L14-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(棒)／擦過，ナデ	擦過	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	109	L	L-07846	O12-d	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	110	L	L-04811	L14-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	擦過	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第34表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｅ類④）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
92	111	L	L-00727 L-03374 L-10986 L-13024	L14-b L15-a L14-b L14-a	Ⅲa層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ, 貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	浅黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	112	L	L-06461	P11-d	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ,擦過	擦過・ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	113	L	L-05578	M15-c	Ⅲb上層	刻目(棒)／擦過	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	114	L	L-00696	L15-c	Ⅲa層	刻目(棒)／擦過	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	115	L	L-04914	M15-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・ 雲母	
	116	M	M-08979 M-33279 M-33280	N6-a N6-a N6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(棒)／擦過, 貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 雲母	
	117	M	M-14540	O6-c	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	118	M	M-27748	O5-a	Ⅲb下層	刻目(棒)／擦過	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	119	M	M-14479	P6-d	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	120	N	N-02349 N-03814	F76-a F76-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	
	121	N	N-00890	E74-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
93	122	O	O-03447 O-03449 O-04038	E59-d E59-d E60-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	123	O	O-00769	E59-b	Ⅲb上層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	124	O	O-09771	D67-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	125	O	O-08144	D66-c	Ⅲb下-1層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	126	O	O-09211	D65-d	Ⅲb下-2層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	黒色	角閃石・長石・石英・ 雲母	
	127	O	O-08932 O-08933	B67-c B67-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	128	O	O-09148	D66-a	Ⅲb下-2層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	129	O	O-03115	C68-c	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	130	O	O-00811	F58-b	Ⅲb下層	刻目(棒)／貝殻条痕・ナデ	擦過・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	131	O	O-02105 O-08820	C67-b C67-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(棒)／貝殻条 痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	132	O	O-00519	E59-d	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	133	O	O-08125	D66-c	Ⅲb下-1層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	線刻
	134	O	O-00863	E60-a	Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	長石・石英	
	135	O	O-03471 O-05919	E59-d E59-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	136	O	O-07214 O-07217	E59-a E59-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
94	137	J	J-02713	ZX42-b	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ，擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	138	J	J-04480	ZX42-c	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	139	J	J-01710	ZX42-a	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・ 雲母	
	140	J	J-14030	ZY46-b	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	141	J	J-17321	ZX43-c	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	142	J	J-16406	ZZ46-c	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	143	J	J-09580	ZX43-a	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	線刻
	144	J	J-04671	ZX41-d	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	145	K	K-04878 K-08445	J18-d J18-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／貝殻 条痕	ナデ	オリーブ黒色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	146	K	K-16493	J17-b	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	147	L	L-04644 L-04767 L-11730 L-12593	M14-b M14-a M14-d M14-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	褐灰色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	
	148	L	L-10532	K14-d	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	
	149	L	L-10068	J14-b	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	

第35表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｅ類⑤）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
94	150	L	L-05891	M15-a	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	151	L	L-00723	L14-b	Ⅲa層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	152	L	L-04128 L-04439 L-04844	L14-c L15-a L14-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	153	L	L-02683	J14-b	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	154	L	L-10161	I14-d	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	155	L	L-11553	M14-a	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	156	L	L-03500	L14-a	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	157	L	L-02049 L-02639 L-03075	J14-c K13-b K14-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	158	L	L-03929	L15-c	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	159	L	L-09627	I15-c	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)/貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい橙色	明褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	160	L	L-08511	O12-c	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
95	161	M	M-15038 M-19663 M-28267 M-41588	P1-a P1-a P1-a P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	162	M	M-11881	P6-b	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	163	M	M-26492 M-32148	P6-b P5-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい褐色・黒褐色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料18
	164	M	M-14444 M-26428	P6-a P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	165	M	M-12126 M-14518	P6-b P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	166	M	M-24844 M-26691	P7-b P7-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	167	M	M-35505	P1-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／擦過	擦過	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	168	N	N-03991	E73-c	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	169	N	N-01883	D74-c	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	170	O	O-00894 O-00895 O-00915 O-01031 O-01032 O-01076 O-01094 O-07598	F57-a F57-a F57-a F57-a F57-a F57-b F57-a F57-b	Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ,貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	171	O	O-00646 O-06643	G59-a G59-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	172	O	O-06542	E61-c	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・石英・雲母	
	173	O	O-01779 O-05523	E61-a E61-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	174	O	O-04488	E61-a	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	175	O	O-04012 O-06261	F60-b F60-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	176	O	O-08363	C66-b	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	177	O	O-04190 O-04920	E60-d F60-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	178	O	O-09892	D67-c	Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	179	O	O-08435	C66-d	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	180	O	O-04352	F61-a	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	黒褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	181	O	O-08050 O-08844	C67-d C67-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	182	O	O-03894	E60-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	線刻
	183	O	O-04418	F61-a	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	184	O	O-04434	E61-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	

第36表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｅ類⑥）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
95	185	O	O-08508	C66-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	186	O	O-04537 O-04538	E61-c E61-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	黒色	灰褐色	長石・石英・赤色粒子	
	187	O	O-09261	D66-c	Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英・雲母	
	188	O	O-08258	D66-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
96	189	O	O-02530 O-02533 O-09748	C66-d C66-d C66-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	190	O	O-03720 O-05315	E59-b E59-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	191	O	O-05599	E58-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	192	O	O-00077 O-03490	F59-b F59-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	193	O	O-09266	D66-a	Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	194	O	O-02900	D66-d	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	195	O	O-03073	D66-a	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	196	O	O-03950	F60-b	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	197	O	O-07912	E60-b	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	198	O	O-03989	F60-b	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	199	O	O-05324	E59-a	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／擦過・ナデ	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
97	200	J	J-04466 J-09544 J-09546 J-17407 J-17408 J-17413	ZX42-b ZX42-b ZX42-b ZX42-b ZX42-b ZX42-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	201	J	J-13876	ZY46-b	Ⅲb上層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	202	J	J-03948	ZW48-a	Ⅲb上層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	203	J	J-04124	ZW48-b	Ⅲb上層 orⅢb下層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	204	J	J-13056	ZW49-a	Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	205	J	J-16934 J-16960	ZX46-d ZY46-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料17
	206	J	J-06828	E34-d	Ⅲb下層	刻目／貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	207	J	J-15692	ZY46-b	Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	208	J	J-01403 J-02425 J-02513	E34-b E34-b E34-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目（工具小口刺突）／貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料15
	209	J	J-02877	ZX42-b	Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	210	J	J-13631	ZY46-d	Ⅲb上層	刻目／貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	211	L	L-11613	L14-c	Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	212	L	L-06579	P11-b	Ⅲb上層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	213	M	M-21791	O5-d	Ⅲb上層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	214	M	M-16163	O1-a	Ⅲb上層	刻目／貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	215	M	M-12903 M-33195	N6-d N6-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刻目／ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	褐色	角閃石・長石・石英	
	216	M	M-07794	N6-d	Ⅲb上層	刻目／ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	217	O	O-04525	D61-c	Ⅲb下-1層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	218	O	O-03817	F60-a	Ⅲb下-1層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	219	O	O-00372 O-06331	F60-b F60-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	刻目／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第37表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｆ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
98	1	J	J-17266	ZX43-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	黄灰色	角閃石･長石･石英･雲母･赤色粒子	
	2	J	J-14709 J-16480	ZZ46-a ZZ47-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	擦過	明黄褐色・黒褐色	黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	3	J	J-02450	C35-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	4	J	J-16013	ZY46-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に刻目
99	5	K	K-06233	J18-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に刻目
	6	L	L-10472	K15-a	Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	7	L	L-04649	M14-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に刻目
	8	M	M-16825	N1-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	暗灰黄色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に刻目
	9	M	M-32901	N3-c	Ⅲb下-1層	沈線	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	10	M	M-12859	O6-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	11	M	M-17003	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい黄褐色	褐灰色	長石・石英	
	12	M	M-23628	N5-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	13	M	M-03594	O4-b	Ⅲa層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	14	M	M-10415 M-10429 M-16389 M-16497 M-16535 M-26175 M-26176 M-29136 M-35070 M-41476	N1-d N1-d O1-b O1-b O1-b O1-b O1-b O1-b O1-b O1-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	15	M	M-16673 M-29126 M-29130 M-35011 M-35015 M-35019 M-35119 M-40482	N1-d N2-c O1-b N2-c N2-c N2-c O1-b N2-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	16	M	M-30221 M-31072 M-38481 M-38484 M-38485 M-38486 M-38488 M-42709 M-42711 M-42720 M-42723 M-42724 M-42725	O4-d O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a O5-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい橙色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
100	17	M	M-16553 M-16578 M-29165 M-41477	O2-a O1-b O1-b O1-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	18	M	M-06355 M-25774 M-26891 M-30870 M-30872 M-30881 M-36099 M-44562 M-44564 M-44602 M-44683	O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d O5-d O6-c O5-d O5-d O5-d O5-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	擦過	擦過	褐色	暗オリーブ褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第38表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢Ｆ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
100	19	M	M-27111 M-36587 M-36588 M-36589 M-36610	M6-b M6-b M6-b M6-b M6-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	20	M	M-15063 M-15289 M-35386 M-35516	P1-a P1-a P1-a P1-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	21	M	M-15294 M-28300 M-41409	P1-a P1-b P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	22	M	M-10445 M-29140 M-29141 M-34992	N1-d N1-d N1-d N1-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	擦過・ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	オリーブ黒色	角閃石・長石・石英	
	23	M	M-34905 M-34949 M-41518	N1-d N1-d O1-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過	貝殻条痕・ナデ	褐色	灰黄褐色	石英・雲母	
	24	M	M-20639 M-26323 M-28667	P4-d P4-d P4-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	暗灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	25	M	M-14239 M-27087	M6-c M6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・石英	
101	26	N	N-03249 N-03295	D75-b D75-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・雲母	
	27	N	N-03026	D74-d	Ⅲb下層	貼付文／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	28	O	O-04762 O-04803 O-09485	F59-d F59-d F59-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貼付文／研磨	ナデ	暗灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	29	O	O-05520 O-09445	F59-d F59-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貼付文／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	30	O	O-00484 O-03819	F59-d F60-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貼付文／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	31	O	O-00448 O-09370	F60-c F59-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貼付文／ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	32	O	O-00480 O-04798	F59-d F59-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貼付文／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	33	O	O-04869	F60-c	Ⅲb下-1層	貼付文／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	34	O	O-06532	F61-c	Ⅲa層	貼付文／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	35	O	O-04427	F61-a	Ⅲb下-1層	貼付文／研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	36	O	O-09388	F60-c	Ⅲb上層	貼付文／研磨	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	37	O	O-00367	F60-b	Ⅲb上層	貼付文／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	38	O	O-05443	E58-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ，擦過	にぶい黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	39	O	O-05684 O-05685 O-05701 O-07195 O-07196 O-07197 O-07199	E58-c E58-c E58-c E58-c E58-c E58-c E58-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第39表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ａ類）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
102	1	J	J-11795	ZX41-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	明褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	7.2	
	2	K	K-15280	G22-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	8.0	
	3	K	K-05765 K-10567	J20-b J20-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.0	
	4	K	K-09491	J21-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	7.3	
	5	K	K-07372 K-07523	K19-b K19-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.9	
	6	M	M-29584	N4-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	8.6	
	7	M	M-37056	P3-a	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	－	
	8	M	M-12026	P6-b	Ⅲb上層	研磨	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	－	
	9	M	M-19098	M5-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	－	
	10	N	N-01536	D74-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	－	
	11	O	O-09554	C67-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	－	

第40表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｂ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
103	1	J	J-1709	B37-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	9.5	
	2	J	J-02641	ZY40-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	9.8	
	3	J	J-17394	ZW43-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	10.2	
	4	J	J-13210 J-13286	ZY44-a ZY44-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.9	
	5	J	J-09540	ZX42-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.9	
	6	J	J-12022	ZY42-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	8.3	
	7	J	J-15785	ZY47-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	6.5	
	8	K	K-09658	J21-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	9.2	
	9	K	K-10402 K-12701	J20-a K21-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	12.5	
	10	K	K-11113	I20-b	Ⅲb下層	研磨	ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	11.2	
	11	K	K-16885	G23-b	Ⅲb下層	研磨	ナデ	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	9.8	
	12	K	K-13081	K21-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	9.8	
	13	K	K-10632	I20-c	Ⅲb下層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	長石・石英	9.9	
	14	K	K-13182	K20-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	ナデ	橙色	灰褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	9.3	
	15	K	K-08709	J20-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.6	
	16	K	K-10287	J20-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.2	
	17	K	K-03945 K-05926 K-08800	K20-a K20-a K19-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	8.2	
	18	K	K-07392	K19-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	研磨	にぶい赤褐色	黒色	長石・石英	7.5	
	19	K	K-11237	L21-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	－	
	20	L	L-11697	L14-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.3	
	21	L	L-10131	J14-c	Ⅲb下層	ナデ	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	8.0	
	22	L	L-06750	M15-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.2	
	23	L	L-00481	L14-b	Ⅲa層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	7.1	
104	24	M	M-40016	O4-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	8.0	
	25	M	M-17728 M-24992	O3-a O3-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	ナデ	褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.0	
	26	M	M-14844 M-35630	Q1-a Q1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	刷毛目・ナデ	ナデ	ナデ	黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	10.5	
	27	M	M-38426 M-38434	O4-b O4-b	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・研磨	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.8	
	28	M	M-10350	M5-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	6.8	
	29	M	M-39869	O4-b	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.5	
	30	M	M-29547	N4-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	10.9	
	31	M	M-37171	N3-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	9.0	
	32	M	M-27854	N4-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	8.5	

第41表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｂ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
104	33	M	M-06943 M-39534	N4-b N4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.7	
	34	M	M-13060 M-33750	O6-a O6-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.6	AMS年代測定試料19
	35	M	M-30092	O4-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	9.7	
	36	M	M-29729	O4-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.0	
	37	M	M-37063	P3-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.6	
	38	M	M-06050 M-36890	P4-a P3-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	7.8	
	39	M	M-33331	N6-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.6	
	40	M	M-29476	N4-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	8.0	
	41	M	M-27755	O5-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.0	
	42	M	M-33512	N3-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.8	
	43	M	M-02285	P3-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.0	
	44	M	M-10080	P4-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	―	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	8.5	
	45	M	M-44676	O5-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.9	
	46	M	M-01758	O3-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	組織痕	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.2	
	47	M	M-37196	O3-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	組織痕	にぶい黄橙色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	8.0	
	48	M	M-18463	O3-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	7.2	
	49	M	M-38724	N4-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.8	
	50	M	M-20702	P4-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.0	
	51	M	M-33854	O6-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.3	
	52	M	M-01212	M5-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい褐色	黒褐色	長石・石英	5.8	
	53	M	M-36061	P6-a	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	ナデ	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	
	54	M	M-31241	O5-a	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	－	
	55	M	M-37777	N3-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	56	M	M-42738	O5-a	Ⅲb下-2層	ナデ	―	研磨	にぶい赤褐色	―	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	
	57	M	M-44853	P5-a	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	擦過	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 雲母・赤色粒子	－	
	58	M	M-43685	O3-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	長石・石英	－	
	59	M	M-36111	O6-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	－	
	60	M	M-20024	P4-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	－	
	61	M	M-38314	O4-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	62	M	M-29579	N4-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	63	M	M-27645	N5-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	64	M	M-30510	P4-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	
	65	N	N-03589 N-03590	D76-c D76-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石	7.1	
	66	O	O-07112	E58-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	
	67	O	O-07607	F57-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.4	

第42表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｃ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
105	1	J	J-12958	ZW48-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	―	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	9.1	
	2	J	J-05064	E35-a	Ⅲb下層	ナデ	擦過	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	10.2	
	3	J	J-16419	ZZ46-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.3	
	4	J	J-16659	ZY43-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.7	
	5	J	J-06300	C36-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.3	
	6	J	J-09472	A36-b	Ⅲb下層	ナデ	貝殻条痕	研磨	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	5.7	
	7	K	K-17242	F22-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.2	
	8	K	K-14655 K-15213	J24-a G22-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・雲母・ 赤色粒子	10.0	
	9	K	K-07321 K-15983	J19-d J17-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	―	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.6	
	10	K	K-14965 K-16063	K22-b K23-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	9.6	
	11	K	K-11357	K21-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	9.2	
	12	K	K-12490	K20-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	9.6	
	13	K	K-06640	G21-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	8.4	
	14	K	K-11335	L21-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.4	
	15	K	K-07281 K-08300 K-08301	J19-c I18-c I18-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	貝殻条痕	擦過	灰黄色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・ 雲母	8.1	
	16	L	L-12898	K15-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	9.8	
	17	L	L-12728	L14-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	9.7	
	18	L	L-02757	J14-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	9.2	
	19	L	L-04724 L-04907 L-05070 L-10900 L-11761	M15-a L15-c M14-b L15-c L15-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.7	
	20	L	L-04543 L-11635	L14-c L14-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰褐色	角閃石・長石・石英	7.7	
	21	L	L-05187	M15-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	8.6	
	22	L	L-12871	J14-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.9	
	23	L	L-06685	M14-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	7.3	
	24	L	L-06959	O14-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	－	
	25	L	L-11585	M14-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	－	
	26	L	L-02814	K15-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	―	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	－	
106	27	M	M-23356 M-29527 M-38608 M-38959	N4-c N4-c N4-c N4-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 雲母	9.7	
	28	M	M-15291 M-15792	P1-a P1-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	8.9	
	29	M	M-27609	N5-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	11.0	
	30	M	M-39912	N4-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.2	
	31	M	M-01755 M-01756	O3-c O3-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	9.6	
	32	M	M-18597	N3-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.3	
	33	M	M-43366	P3-b	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	10.0	
	34	M	M-41650	P1-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.0	
	35	M	M-19491	Q100-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	8.9	
	36	M	M-22270 M-22735	O4-b O5-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	8.0	
	37	M	M-42236	P100-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	8.0	
	38	M	M-20293 M-32425 M-32529 M-36874	P4-b P3-b P3-b P3-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.0	
	39	M	M-16611	O2-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	7.9	
	40	M	M-11770	P6-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	擦過	橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	7.1	
	41	M	M-44805	O5-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	擦過	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.7	
	42	M	M-21277	O4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	7.3	
	43	M	M-19616	P100-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	
	44	M	M-30920	O5-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	

第43表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｃ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
106	45	M	M-29543	N4-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	46	M	M-37292	O3-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	貝殻条痕	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	
	47	M	M-23342	N4-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	－	
	48	M	M-15352	P1-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	49	M	M-21306	O4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	50	M	M-32818	P3-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	－	
	51	N	N-00434 N-01124 N-03567	E75-a E75-a E75-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	11.4	
	52	N	N-04454	E72-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	9.1	
	53	N	N-04084	E73-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	浅黄色	長石・石英	8.7	
	54	N	N-02897	E73-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	9.0	
	55	N	N-01466	E73-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	7.5	
	56	N	N-02809	E73-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
107	57	O	O-05643	E58-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	10.3	
	58	O	O-02118	C68-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	11.2	
	59	O	O-04795	F59-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	―	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	11.8	
	60	O	O-03906	E60-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.4	
	61	O	O-08460	C66-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.7	
	62	O	O-04620	F61-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.5	
	63	O	O-09309	D65-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.1	
	64	O	O-02939	D66-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	葉脈	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.8	
	65	O	O-09738	B66-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	葉脈・網代	橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.5	
	66	O	O-06297	F60-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.4	
	67	O	O-05847	E59-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	9.8	
	68	O	O-05355	E58-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	9.5	
	69	O	O-02254	C67-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	組織痕	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.5	
	70	O	O-07206	E58-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.8	
	71	O	O-08758	D67-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	8.1	
	72	O	O-03700	E59-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕	擦過	にぶい黄褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	8.2	
	73	O	O-09461	F60-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	7.7	
	74	O	O-08463	B67-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	長石・石英	8.5	
	75	O	O-09789	D66-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.8	
	76	O	O-04455	E61-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.3	
	77	O	O-04032	E60-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	7.4	
	78	O	O-05489	E59-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.3	

第44表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｄ類）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
108	1	J	J-10768	E36-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.2	
	2	J	J-11874	ZY42-d	Ⅲb下層	擦過	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	12.1	
	3	K	K-13500	G29-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.1	
	4	K	K-16874	G23-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	－	
	5	L	L-13163	L14-c	Ⅲb下層	研磨	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	11.1	
	6	L	L-06707	M14-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	研磨	にぶい黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	－	
	7	L	L-08969	P12-c	Ⅲb下層	ナデ	擦過	擦過	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	－	
	8	M	M-27096 M-41756	M6-a M3-d	Ⅲb上層 Ⅲa層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	10.3	
	9	M	M-42802	O5-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.4	
	10	M	M-32632	O3-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	10.2	
	11	M	M-01795 M-29148	O2-a O1-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.3	
	12	M	M-00101	N6-b	Ⅲa層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	13	M	M-39895	N4-c	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	褐灰色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	14	M	M-20019	P4-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	15	M	M-35430	P1-b	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	研磨・組織痕	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・赤色粒子	－	
	16	N	N-04212	D73-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.5	
	17	N	N-00606	D75-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	－	
	18	O	O-09741	C66-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	9.2	
	19	O	O-06698	F58-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.0	

第45表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｅ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
109	1	J	J-01407	E34-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	組織痕	にぶい橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.7	
	2	J	J-13747	ZZ46-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	明赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	9.8	
	3	J	J-11170	ZZ39-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	擦過	擦過	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.7	
	4	J	J-12909	ZW46-c	Ⅲb下層	ナデ	―	擦過	にぶい橙色	―	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.8	
	5	J	J-00995 J-04601 J-08452	C35-d C35-b C35-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石・石英・ 雲母・赤色粒子	9.7	
	6	J	J-00048	D36-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	8.5	
	7	J	J-14663 J-16416 J-16417	ZZ46-d ZZ46-d ZZ46-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	葉脈	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	8.6	
	8	J	J-07368 J-07471 J-07472	C36-c C36-c C36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.6	
	9	J	J-16332	ZZ46-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.4	
	10	J	J-14843	ZW50-a	Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	6.0	
	11	J	J-16206	ZZ46-b	Ⅲb下層	擦過・研磨	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.0	
	12	J	J-00885	C35-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	7.7	
	13	J	J-14675	ZZ46-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	5.0	
	14	J	J-04160	ZW50-c	Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	7.1	
	15	J	J-14787 J-14788 J-14789	ZW45-d ZW45-d ZW45-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目／ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	6.8	
	16	K	K-15970	J18-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	貝殻条痕	にぶい橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.1	
	17	K	K-07833	J17-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.1	
	18	L	L-02408	J13-b	Ⅲb上層	擦過	ナデ	擦過	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	9.8	
	19	L	L-06327	L14-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	―	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	長石・石英	9.1	
	20	L	L-05590 L-05760	M15-c N15-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目／ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	6.1	
110	21	M	M-34635	O6-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	10.1	
	22	M	M-33612	P4-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	8.7	
	23	M	M-14566	O6-c	Ⅲb上層	貝殻条痕，ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.5	
	24	M	M-35038 M-35725	O2-a O2-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	8.3	
	25	M	M-28435	P6-b	Ⅲb下層	ナデ	―	擦過	にぶい橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	10.6	
	26	M	M-10349	M4-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石	8.4	
	27	M	M-30735	P4-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	擦過	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.1	
	28	M	M-40338	N1-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	組織痕	にぶい橙色	黄灰色	角閃石・長石	8.8	
	29	M	M-34944	N1-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	8.2	
	30	M	M-35037 M-35726	O2-a O2-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	擦過	にぶい褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	7.7	
	31	M	M-14714	N6-a	Ⅲb上層	ナデ	擦過	擦過	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.8	
	32	M	M-31283	O5-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	灰褐色	角閃石・長石・赤色粒子	7.7	
	33	M	M-01915	O1-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	組織痕	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 雲母・赤色粒子	7.5	
	34	M	M-42245	P100-d	Ⅲb下-2層	ナデ	―	貝殻条痕	にぶい黄褐色	―	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.3	
	35	M	M-02245 M-30352	O1-a P4-d	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	9.9	
	36	M	M-33027	N3-a	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.5	
	37	M	M-10254	M4-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・ 雲母・赤色粒子	8.6	
	38	M	M-26424	P6-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	8.5	
	39	M	M-41155	P1-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	10.0	
	40	M	M-35187	O1-a	Ⅲb下-1層	ナデ	―	ナデ	にぶい黄橙色	―	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.2	
	41	M	M-43980	P100-b	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.4	
	42	M	M-23555 M-29556	N4-c N4-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	擦過	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	7.3	
111	43	M	M-17614	O3-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.5	
	44	M	M-34246	P6-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.2	
	45	M	M-19662	P1-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.6	

第46表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／深鉢底部Ｅ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整			色調		胎土	底径(cm)	備考
						外面	内面	底面	外面	内面			
111	46	M	M-08267	O6-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.3	
	47	M	M-10079 M-19959 M-39303	P4-b P4-a P4-c	Ⅲb下層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	―	ナデ	にぶい黄橙色	―	角閃石・長石・石英・ 雲母	9.0	
	48	M	M-01610	P100-b	Ⅲb上層	ナデ	―	ナデ	にぶい黄橙色	―	角閃石・長石・石英	9.2	
	49	M	M-17709	O3-a	Ⅲb上層	ナデ	―	ナデ	にぶい橙色	―	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.9	
	50	M	M-37646 M-40791	O3-a O2-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	擦過	―	研磨	にぶい橙色	―	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.5	
	51	M	M-44573	O6-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.1	
	52	M	M-13900	M6-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	―	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	－	透かしあり
	53	M	M-14750	M6-b	Ⅲb上層	貝殻条痕，ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	10.8	
	54	M	M-10052	P1-d	Ⅲb下層	貝殻条痕，ナデ	ナデ	擦過	にぶい橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	8.6	
	55	M	M-11940 M-14643	P6-b O6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	10.2	
	56	M	M-06283 M-06284 M-06286	O6-c O6-c O6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	10.0	
	57	M	M-41206	P1-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	貝殻条痕・研磨	にぶい褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.2	
	58	M	M-07965 M-13047	N6-d N6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.9	
	59	M	M-43320	O6-c	Ⅲb下-1層	鋸歯文／ナデ	ナデ	擦過	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.8	
	60	M	M-08883 M-13681 M-27139	N6-b N6-a N6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	8.8	
	61	M	M-40266	N1-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	擦過	にぶい褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	7.6	
	62	M	M-14225	M6-a	Ⅲb上層	擦過	―	擦過	にぶい橙色	―	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.2	
	63	M	M-17326	P3-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	－	
	64	M	M-42643	Q100-b	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	7.2	
	65	M	M-09997 M-25170	P100-a P100-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	―	ナデ	にぶい黄橙色	―	角閃石・長石・石英	8.1	
	66	M	M-40015	N3-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	黒褐色	角閃石・長石	－	
	67	M	M-37268	O3-c	Ⅲb下-2層	ナデ	―	ナデ	にぶい橙色	―	角閃石・長石・石英	－	
	68	M	M-43269	O6-c	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.7	
	69	M	M-10538	P1-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	―	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	6.4	
112	70	N	N-01692	E74-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	ナデ	灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	8.8	
	71	N	N-04317	D74-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.0	
	72	N	N-00480	E75-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	6.0	
	73	N	N-04346	D73-d	Ⅲb上層	ナデ	―	擦過	にぶい褐色	―	角閃石・長石・石英	7.8	
	74	O	O-00911 O-00926	F57-b F57-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	10.6	
	75	O	O-00767	F58-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	9.4	
	76	O	O-09119	D66-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	9.0	
	77	O	O-06749	G58-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	貝殻条痕	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.3	
	78	O	O-08953	C67-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	9.0	
	79	O	O-08682	F57-b	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	8.0	
	80	O	O-00455	F60-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	擦過	にぶい褐色	灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	11.4	
	81	O	O-09294	D66-c	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	擦過	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	8.6	
	82	O	O-03302	G57-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・ 雲母・赤色粒子	9.8	

第47表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ａ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
113	1	J	J-15187	ZZ44-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石	口唇部に突起
	2	J	J-10102	ZZ37-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・赤色粒子	
	3	J	J-11838	ZY42-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-02504	A40-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	5	J	J-04078	E33-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	6	J	J-08671	E34-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石	
	7	J	J-10469	A36-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	口唇部に凹点
	8	J	J-15179	ZZ44-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石	
	9	J	J-12756	ZW42-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	10	J	J-13424	ZX46-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	11	J	J-04288	ZW43-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	12	J	J-02658	ZX40-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	13	J	J-14743	ZY40-a	Ⅲb下層	凹線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	14	K	K-13247	H21-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	15	K	K-11907	K20-c	Ⅲb下層	凹線／研磨	研磨	灰黄色	灰黄色	角閃石・長石	
	16	K	K-13249	H21-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	にぶい褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	17	K	K-17479	G29-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	暗灰黄色	黄灰色	長石	
	18	K	K-07751	K19-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	浅黄色	角閃石・赤色粒子	
	19	K	K-10974	J20-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石	
	20	K	K-14342	K22-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	21	K	K-08875	K19-b	Ⅲb下層	凹線／研磨	研磨	灰白色	灰黄色	角閃石･長石･赤色粒子	
	22	K	K-08722	K19-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・赤色粒子	
	23	K	K-15826	K22-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	24	K	K-11669	K20-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	25	K	K-17423	J18-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石	
	26	K	K-02447	H22-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	27	K	K-12660	K21-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	28	K	K-07679	K19-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	黄褐色	角閃石・長石・石英	
	29	L	L-11525	L14-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	30	L	L-07270	P12-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	31	L	L-11008	L14-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	32	L	L-09600	I15-c	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	33	L	L-12067	L14-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	34	L	L-11778	M15-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	35	L	L-00187	M15-a	Ⅲa層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	36	L	L-12592	M14-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	37	L	L-06106	K13-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄色	灰黄色	角閃石・長石	
114	38	M	M-37335	O3-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	黄灰色	灰黄褐色	角閃石・赤色粒子	口唇部に突起
	39	M	M-23783	N5-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	40	M	M-21237	O4-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	41	M	M-31582	N5-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄褐色	黄灰色	角閃石・長石	
	42	M	M-26651	O4-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	43	M	M-21062	P5-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	44	M	M-37523	O3-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・赤色粒子	
	45	M	M-27852	N4-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石	
	46	M	M-21694	O5-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	47	M	M-36117	O6-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	48	M	M-21991	N4-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄色	角閃石･長石･赤色粒子	
	49	M	M-31740	N5-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	50	M	M-38611	N4-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	長石・雲母	
	51	M	M-37730	P6-d	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	52	M	M-44434	P5-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石･長石･赤色粒子	
	53	M	M-33240	N6-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	54	M	M-30603	O3-b	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	55	M	M-41049	Q1-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	56	M	M-26421	P6-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・雲母	

第48表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ａ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
114	57	M	M-29566	N4-c	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	58	M	M-37683	N3-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	59	M	M-26379	P5-b	Ⅲb上層	沈線／—	—	にぶい黄橙色	橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	60	M	M-44692	O4-c	Ⅲb下-2層	凹線／研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	61	M	M-36929	P3-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	62	M	M-29883	O4-b	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	63	M	M-23308	O5-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石	
	64	M	M-41931	P1-b	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	65	M	M-30538	P4-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	浅黄色	浅黄色	角閃石・長石	
	66	M	M-43527	N4-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	67	M	M-27304	O3-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	68	M	M-30568	O3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	69	M	M-27733	O4-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	70	M	M-30649	N3-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	71	M	M-27629 M-27649	N5-c N5-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	72	M	M-42659	Q100-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	73	M	M-13272	O6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	74	M	M-15939	O1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	75	M	M-06425	O5-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	暗灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	76	N	N-03634	E75-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	77	O	O-07472	F56-b	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	78	O	O-01406	E59-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	79	O	O-05759	E58-a	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	雲母・赤色粒子	

第49表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｂ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
115	1	J	J-05637	C35-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	角閃石	
	2	J	J-10211	ZZ37-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・赤色粒子	
	3	J	J-04815	D34-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石	
	4	J	J-06216 J-06217 J-07615	C36-c C36-c C36-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	5	J	J-05627	C35-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	暗灰黄色	角閃石・赤色粒子	
	6	J	J-04412	ZZ37-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・赤色粒子	
	7	J	J-07922	D35-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石	
	8	J	J-17296	ZW49-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄色	灰黄色	角閃石･雲母･赤色粒子	
	9	J	J-13669	ZZ46-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	10	J	J-14629	ZZ46-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	11	J	J-08455	C35-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	雲母・赤色粒子	
	12	J	J-06116	C36-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	13	J	J-14955	ZY45-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石	
	14	J	J-05724	C35-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	15	J	J-14558	ZY46-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	長石・石英	
	16	J	J-16732	ZZ47-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	長石・雲母	
	17	K	K-16685	G24-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	18	K	K-14464	J19-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	長石・雲母・赤色粒子	
	19	K	K-06635	H21-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい橙	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	20	K	K-11636	K20-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	21	L	L-12830	K13-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	22	L	L-11946 L-12331	M14-a M14-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	23	L	L-12119 L-12120	M14-a M14-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	24	L	L-09029 L-09079	P12-a P12-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙	灰黄褐色	角閃石・赤色粒子	
	25	L	L-04717 L-11644	M15-a L14-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	26	L	L-12873	J15-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙	にぶい黄橙	角閃石･長石･赤色粒子	
	27	L	L-05749	N15-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	28	L	L-09332	J13-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	暗灰黄色	黄灰色	角閃石･雲母･赤色粒子	
	29	M	M-01226 M-19044	M５-c M５-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	30	M	M-33305 M-33306 M-33630 M-34599	N６-d N６-d N６-d O６-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・石英	
	31	M	M-29445	N４-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	暗灰黄色	灰黄色	角閃石･長石･赤色粒子	
	32	M	M-20388	P４-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	33	M	M-10395	N１-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石･長石･赤色粒子	
	34	M	M-28093	N１-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	35	M	M-29046	P１-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	36	M	M-37836	N２-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	37	M	M-35370	P１-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	38	M	M-30340	P４-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄色	黄灰色	角閃石･長石･赤色粒子	
	39	M	M-43701	P３-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	40	M	M-00835	N４-c	Ⅲa層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	41	M	M-20507	P４-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	42	M	M-24547	N４-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	43	M	M-28884	N６-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・長石・雲母・赤色粒子	

第50表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｂ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
116	44	N	N-02549 N-02688 N-04475 N-04479 N-04501 N-04503 N-04514 N-04515	E75-c E74-d E74-d E74-d E74-d E74-d E74-d E74-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	45	N	N-02946 N-03398 N-03399 N-03401 N-03402 N-03414 N-03415	D74-d D75-c D75-c D75-c D75-c D75-c D75-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	46	N	N-03647 N-04488 N-04500	E75-b E74-d E74-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	石英・赤色粒子	
	47	N	N-01539 N-01711	E74-b D74-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	48	N	N-04468	E74-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	49	N	N-00754	D74-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・雲母・赤色粒子	
	50	O	O-09468	F61-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石･長石･赤色粒子	
	51	O	O-09655	F56-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	52	O	O-05629	E58-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	53	O	O-00471	F60-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	54	O	O-00420 O-05098	F59-d F59-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起

第51表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｃ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
117	1	J	J-11443	ZY40-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-09531	ZY42-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	3	J	J-04475	ZX42-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-12315	ZX44-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	5	J	J-11992	ZY42-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	6	J	J-16693	ZX44-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	7	J	J-12905	ZW44-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	暗赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-04501	ZX40-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-12246	ZX44-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-12626	ZW44-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	11	J	J-11471	ZX41-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒色	角閃石・長石・石英・雲母	
	12	J	J-15281	ZX45-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	13	J	J-02610	ZY40-b	Ⅲb上層	—	—	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	14	J	J-11327	ZY40-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	15	J	J-15079	ZY45-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	16	J	J-14429	ZZ44-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	17	K	K-14461 K-14463 K-14792 K-14793	J19-c J19-c J19-c J19-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	18	K	K-09298	J21-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	19	K	K-09136	J19-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第52表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｃ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
117	20	K	K-08408	J18-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色・灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	21	K	K-05630	J21-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	22	K	K-10017	J20-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	長石・石英	波状口縁
	23	K	K-10501	J20-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	波状口縁，口唇部に凹点，焼成後穿孔
	24	K	K-11799 K-11806 K-11809	K21-d K21-c K21-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黒色	黒褐色	長石・石英	
	25	K	K-17126	H18-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	26	K	K-08410	J18-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	長石・石英・雲母	
	27	K	K-15008	K22-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	28	K	K-04547	K19-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	29	K	K-16890	G23-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
118	30	K	K-10367	J20-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	31	K	K-02880	K21-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	32	K	K-01243	K21-b	Ⅲa層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	33	K	K-12094	K20-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色・褐灰色	角閃石・長石・石英	波状口縁，口唇部に凹点
	34	K	K-08044	K18-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	35	K	K-09164	K19-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	36	K	K-10010	J20-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	長石・石英	
	37	K	K-07346	J19-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	38	K	K-17435	F24-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	39	K	K-07810	J17-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色・灰色	にぶい黄橙色・灰色	角閃石・長石・石英	
	40	K	K-08065	K18-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	41	K	K-12926	K21-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	42	L	L-08989 L-08995 L-09001	P12-d P12-a P12-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	灰黄褐色	長石・雲母	口唇部に凹点
	43	L	L-03612 L-11184	L14-b L14-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・茶色砂粒	
	44	L	L-06163	K15-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	45	L	L-08823 L-09049 L-09051	P12-b P12-a P12-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	46	L	L-12231	P13-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	47	L	L-12506	L14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	48	M	M-31723 M-38769	N5-c N4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	49	M	M-27727	O4-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	50	M	M-38531 M-38907	O4-a O4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	51	M	M-38694	N4-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	52	M	M-32846 M-32847	O3-b O3-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	浅黄橙色・橙色	浅黄橙色・橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	53	M	M-26534	O4-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色・黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	54	M	M-30755 M-39413	O4-a O4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	波状口縁，口唇部に凹点
	55	M	M-02294	P3-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	56	M	M-29980 M-38581	O4-a O4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁，口唇部に凹点
119	57	M	M-39536	N4-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	58	M	M-27728	O4-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	59	M	M-16136	O1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色・褐灰色	長石・石英・雲母	

第53表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢C類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
119	60	M	M-30030	O4-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	61	M	M-25093	P2-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	62	M	M-38844	O4-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	63	M	M-30248	P4-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	64	M	M-37697	N3-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	65	M	M-37042	P3-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	66	M	M-29887	O4-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	浅黄橙色・黄灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	67	M	M-38392	O4-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	68	M	M-22624	O5-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄色	暗灰色	長石・石英・雲母	
	69	M	M-38693	N4-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	長石・石英・雲母	
	70	M	M-39077	P4-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	波状口縁, 口唇部に凹点
	71	M	M-29392	N4-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色・黒色	角閃石・長石・石英	
	72	M	M-29452	N4-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	73	M	M-23971	N5-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	ｵﾘｰﾌﾞ黒色・にぶい黄橙色	オリーブ黒色	角閃石・長石・石英	
	74	M	M-38986	N4-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒色	黒色	角閃石・長石・石英	
	75	M	M-12381	O6-b	Ⅲb上層	―	―	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	76	M	M-13634	N6-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	暗黄灰色	暗黄灰色	角閃石・長石・石英	
	77	M	M-24966	N3-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色・褐灰色	にぶい黄橙色・褐灰色	角閃石・長石・石英	
	78	M	M-33444	O3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	79	M	M-14763	Q100-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	80	M	M-40052	N6-a	Ⅲa層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色・黒色	角閃石・長石・石英	
	81	M	M-19898	P4-a	Ⅲb上層	―	―	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	82	M	M-40190	O6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	83	M	M-39067	P4-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	84	M	M-34060	O6-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	85	M	M-04303	O5-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	黒色	角閃石・長石・石英	
	86	M	M-14655	O6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
	87	M	M-30778	N4-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒色・灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
	88	M	M-31960	N5-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	89	M	M-27283	O3-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい赤褐色・黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	90	M	M-23644	N5-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	91	M	M-30136	O4-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黒色	長石・石英	
	92	M	M-30637	O3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色・黒色	角閃石・長石・石英	口唇部に凹点
	93	N	N-01148	D75-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	94	O	O-04915	F60-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	95	O	O-09259	D66-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第54表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｄ類）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
120	1	J	J-15942	ZY46-b	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	2	K	K-08463 K-08555	J18-c J18-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄色	角閃石・長石	波状口縁
	3	K	K-07351	J19-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	暗灰黄色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	4	K	K-05608	J21-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄色	黄灰色	角閃石･長石･赤色粒子	
	5	K	K-05802	K21-a	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	6	K	K-15122	G22-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	7	K	K-07053	L20-a	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・雲母	
	8	K	K-03499 K-10505	J20-a J20-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・赤色粒子	
	9	K	K-10629	I20-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	10	K	K-16582	F24-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄色	黄灰色	角閃石・長石	
	11	L	L-08642 L-08746	P12-d P12-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	12	L	L-04587	M14-a	Ⅲb上層	沈線／ナデ	研磨	にぶい橙色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	13	L	L-10845	L14-d	Ⅲb下層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	14	M	M-37653	N３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	15	M	M-30217	O４-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	波状口縁
	16	M	M-34798	N１-d	Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	長石・雲母	波状口縁
	17	M	M-22392	O４-b	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	18	M	M-38145	N４-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	19	M	M-25490	O４-d	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	20	M	M-40268	N１-b	Ⅲb下-2層	沈線／―	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	21	M	M-38981	N４-c	Ⅲb下-2層	沈線／―	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	22	M	M-28101	N１-c	Ⅲb上層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	23	M	M-39990	N３-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	24	M	M-31705	N５-c	Ⅲb下-1層	沈線／―	―	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	25	M	M-34688	P６-d	Ⅲb下-1層	沈線／ナデ	研磨	にぶい黄橙色	灰色	角閃石･長石･赤色粒子	
	26	M	M-35511	P１-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	長石・赤色粒子	
	27	M	M-17779	O３-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	28	O	O-06206	E60-c	Ⅲb下-2層	沈線／研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	29	O	O-04720 O-04722	F59-d F59-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	長石・赤色粒子	

第55表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｅ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
121	1	J	J-15563	ZY46-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔
	2	K	K-17408	J18-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	3	L	L-12692	K14-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	4	L	L-07329	P12-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	5	L	L-08043	L14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	6	L	L-08591	P12-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	7	L	L-04193	L14-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石	
	8	L	L-02365	I14-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	9	M	M-09639 M-09640 M-09641 M-09643 M-14588 M-27689 M-44571 M-44575 M-44576	O５-d O５-d O５-d O５-d O６-c O５-d O５-d O６-c O５-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁, 口唇部に突起

第56表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｅ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
121	10	M	M-11651 M-26434	P6-d P6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	11	M	M-34269	P6-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	12	M	M-25216 M-32203 M-32236	P5-b P5-b P5-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	13	M	M-14420 M-34143 M-40199	P6-c P6-a P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	長石・赤色粒子	
	14	M	M-33498	O3-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
122	15	M	M-16088	O1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	16	M	M-01390	O1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	17	M	M-25763	P3-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄色	灰黄色	角閃石・長石	波状口縁
	18	M	M-37382	P3-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	赤色・黒色	黒色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	19	M	M-36938	P3-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色･にぶい赤褐色	灰黄褐色･にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	20	M	M-15914	O1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	21	M	M-14536	O6-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	赤色・黒色	にぶい橙色･黒褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	22	M	M-35487	P1-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	23	M	M-19454	Q100-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	24	M	M-21754	O5-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	25	M	M-32300	P5-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	26	M	M-34015	O6-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	27	M	M-11852	P6-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	28	M	M-14571	O6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・雲母	
	29	M	M-11877	P6-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰白色	黄灰色	角閃石・長石	
	30	M	M-14956	P1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	31	M	M-43379	O3-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	32	M	M-05919	P4-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	33	M	M-12069 M-40209	P6-a P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	長石・赤色粒子	
	34	M	M-02442	P5-c	Ⅲa層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・雲母	
	35	M	M-01594	P1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	長石・石英	
	36	N	N-00492 N-02500 N-02776 N-03188 N-03190 N-03735	E75-a E74-b D74-d E74-b E74-b E75-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黄褐色	にぶい黄橙色	長石・石英・雲母・赤色粒子	
	37	O	O-05449	E58-d	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第57表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｆ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
123	1	J	J-04144	ZW49-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-14335	ZZ46-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	暗灰色	角閃石･長石･石英･雲母	
	3	J	J-01788 J-01800	A37-c A37-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-13021	ZW49-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-11240	ZY39-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	6	J	J-00132	C36-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	7	J	J-02182	ZZ37-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰白色・黄灰色	灰白色・黄灰色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-14697	ZZ46-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-09013	D35-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	暗灰色	暗灰色	角閃石･長石･石英･雲母	赤色顔料
	10	J	J-04370	ZZ36-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色・黒色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	11	K	K-11350	K21-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	長石・石英	
	12	K	K-06964	G24-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起, AMS 年代測定試料21
	13	K	K-15984	I17-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒色	長石・石英・赤色粒子	
	14	K	K-15126	G22-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	暗灰黄色	長石	
	15	K	K-15771	F23-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・赤色粒子	口唇部に突起
	16	K	K-14903 K-16921	K23-a K23-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	17	K	K-05227 K-08667	I18-b I18-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰色	灰黄色	角閃石・長石・石英・ 赤色粒子	
	18	K	K-12208 K-12684	K21-a K21-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	19	K	K-06630	H21-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色・黒褐色	角閃石･長石･石英･雲母	
	20	K	K-11119	K21-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	長石・石英・雲母	
	21	K	K-11763	K21-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黒色	角閃石･長石･石英･雲母	
124	22	K	K-06277	J17-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色・灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	23	K	K-14110	G29-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	24	K	K-10382	J20-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	暗灰黄色	暗灰黄色	長石・石英	
	25	K	K-13459	G29-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	26	K	K-17570	F24-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	27	K	K-14648	J24-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色・黒色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	28	K	K-13736	G29-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	29	K	K-15366	G22-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	30	K	K-17223	F22-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･雲母	
	31	L	L-09245	J12-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	長石・石英・雲母	
	32	L	L-04420	L15-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	33	L	L-09894	I14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	34	L	L-07610	P12-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	35	L	L-01186	J14-b	Ⅲa層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	36	L	L-04024	L14-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	37	L	L-05755	N15-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	38	L	L-11781	L15-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	長石・石英・雲母	
	39	M	M-19849	P4-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	暗灰黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英・ 雲母・赤色粒子	
	40	M	M-21504 M-23202	O5-c O5-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	暗灰黄色	黄灰色	長石・石英・赤色粒子	
	41	M	M-21244 M-21340	O4-c O4-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石	
	42	M	M-19760 M-25347	P4-c P4-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	43	M	M-18109	N3-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	長石・石英	口唇部に突起
	44	M	M-43861 M-43870	O1-d O1-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	45	M	M-16139 M-16228 M-16229	O1-a O1-a O1-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
125	46	M	M-35376	P1-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	長石・石英・雲母	
	47	M	M-17290	P3-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
	48	M	M-10706 M-28103	N1-c N1-c	Ⅲa層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第58表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｆ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
125	49	M	M-16401	O1-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	50	M	M-41224	P1-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	長石・石英・雲母	
	51	M	M-43945	O100-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	52	M	M-28965	P100-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	長石・石英	
	53	M	M-17478	O3-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	54	M	M-32399	P3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	55	M	M-32924	N3-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	暗灰黄色	長石・石英	
	56	M	M-18693	N3-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	57	M	M-19553	P100-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	58	M	M-09953	O3-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	59	M	M-42105	P1-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	60	M	M-09010	N6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	長石・石英・雲母	
	61	M	M-42069	O100-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒色	褐灰色	長石・石英・雲母	
	62	M	M-33199	N7-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	黒色	黒色	角閃石・長石・石英	
	63	M	M-15070	P1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	64	M	M-16130	O1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	65	M	M-12083	P6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	66	M	M-39055	P4-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい褐色･にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	67	M	M-37393	P3-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	68	M	M-34483	P6-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色・黒色	灰白色・黒色	角閃石・長石・石英	
	69	M	M-35913	P5-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	70	M	M-27948	O3-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	71	M	M-14469	P6-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	72	M	M-32841	O3-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	73	M	M-39900	P4-b	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
126	74	M	M-17204	O100-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	75	M	M-32974 M-32975	N3-b N3-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	76	M	M-17276	P3-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	77	M	M-07409	N3-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	浅黄色	浅黄色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	78	M	M-39721	P4-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	79	M	M-30284	P4-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	80	M	M-18713	N3-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	浅黄色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	81	M	M-31836	N5-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	82	M	M-41059	P1-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰白色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	83	M	M-13090 M-13107	O6-a O6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	84	M	M-01849	O1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	85	M	M-12328 M-33721	O6-d O6-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色・褐灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	86	M	M-19556	P100-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	長石・石英	
	87	M	M-10262 M-19242	M4-d M4-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	88	M	M-34850	N1-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	89	M	M-43938	O5-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
127	90	N	N-04029	E73-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	石英	
	91	N	N-04216	E73-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	長石	
	92	N	N-02430 N-03068	E73-b D74-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色・暗灰黄色	黄橙色・褐灰色	角閃石・長石・石英	
	93	N	N-01190	D74-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色・浅黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	94	N	N-02484	E74-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰白色・褐灰色	灰白色・褐灰色	角閃石・長石・石英	
	95	N	N-01921	E74-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	96	N	N-03610	E75-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	97	N	N-01845	D74-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	口唇部に突起
	98	N	N-00856 N-02397	D74-d D73-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	99	N	N-04495	E72-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	100	N	N-01671	E74-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	101	N	N-03182	E74-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第59表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｆ類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
127	102	N	N-02894	E73-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	103	N	N-02137	E76-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	104	N	N-00562	D75-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	105	N	N-03933	D75-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	106	N	N-00876	E74-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	107	O	O-08446 O-09068	C66-d C66-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	108	O	O-06766	F58-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	109	O	O-04548	E61-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	110	O	O-04200	E60-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	111	O	O-05159	E58-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	112	O	O-06940	E58-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	113	O	O-00803	G58-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	黒色・にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	114	O	O-08316	D66-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰白色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	115	O	O-04654	E59-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔

第60表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｇ類）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
128	1	M	M-19909 M-41883 M-41885	P4-a P4-a P4-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	長石・石英・赤色粒子	
	2	M	M-24437 M-27860	N4-a N4-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	3	M	M-37967	M5-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	4	M	M-27711	O4-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	5	M	M-35437	P1-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	6	O	O-07652 O-09359	F57-a F57-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	7	O	O-07688	F56-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	長石・石英	

第61表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｈ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
129	1	J	J-10526	A36-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	明赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	2	J	J-01814	A37-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	3	J	J-14337	ZZ46-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	黒色	黒色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-16477	ZZ47-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-07691	D35-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	6	J	J-10427	A37-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色・橙色	灰黄褐色・橙色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	7	J	J-10383	A37-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-10074	ZZ37-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-16366	ZZ46-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-01718	A36-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	赤色顔料
	11	J	J-16748	ZZ47-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	赤色・にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	12	J	J-14350	ZZ46-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	暗灰色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	13	J	J-17291	ZX47-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	14	J	J-15301 J-15304	ZX45-d ZX45-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	明赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	15	K	K-12052	K20-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	16	K	K-00009	J19-b	Ⅲa層	—	—	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	17	K	K-00031	J19-b	Ⅲa層	—	—	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	18	L	L-07601	P12-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	19	L	L-12560	L14-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第62表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｈ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
	20	L	L-04123	L14-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	21	M	M-19926 M-19927	P4-c P4-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	長石・石英・赤色粒子	口唇部に突起
129	22	M	M-14255 M-33094 M-36611	M6-c M6-c M6-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色・褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	赤色顔料
	23	M	M-05222 M-35874 M-35878	P5-b P5-b P5-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	24	M	M-13711 M-14736	M7-c M6-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	25	M	M-35076	O1-b	Ⅲb下-1層	擦過・ナデ	擦過・研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	26	M	M-43492	M6-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	27	M	M-16394	O1-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	28	M	M-34574	P6-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	29	M	M-26315	P4-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	30	M	M-27099 M-30819 M-30823	M6-a M5-c M5-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色・黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	31	M	M-34903	N1-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色・黒褐色	黒色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起, 赤色顔料
	32	M	M-35066 M-35067 M-35068 M-35069	O1-b O1-b O1-b O1-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	―	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
	33	M	M-31923	N5-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	34	M	M-19116 M-43530	M5-c M4-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色・黒色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
130	35	M	M-27095	M6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	黒色	角閃石・長石・石英	
	36	M	M-31919	O5-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	37	M	M-34485	P6-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	38	M	M-13997 M-14142	M6-d M6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色・黒褐色	灰白色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	39	M	M-15444 M-42522	P1-b P1-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	浅黄橙色・褐灰色	浅黄橙色・褐灰色	角閃石・長石・石英	
	40	M	M-38082	M4-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	41	M	M-33398	N6-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	42	M	M-35094	O1-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	43	M	M-15447 M-42512	P1-b P100-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	44	M	M-27177	O6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色・褐灰色	角閃石・長石・石英	
	45	M	M-01536	O1-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	46	M	M-35422	P1-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	47	M	M-11924	P6-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	48	M	M-08757	N6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	49	M	M-41094	P1-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	50	M	M-20241 M-39345	P4-b P4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	51	M	M-34212	P6-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	52	M	M-41935	P1-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	53	M	M-27670	N5-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
131	54	M	M-01302 M-01303	O100-b O100-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	長石・石英	
	55	M	M-14898	Q1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	56	M	M-39781	P5-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	57	M	M-16197	O1-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	58	M	M-20383	P4-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	59	M	M-14256	M6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰白色	灰黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	

第63表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｈ類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
131	60	M	M-13966 M-13980	M６-d M６-d	Ⅲｂ上層 Ⅲｂ上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	61	M	M-40871	N１-d	Ⅲｂ下-２層	研磨	研磨	黄灰色・灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	62	M	M-01663	P100-b	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	63	M	M-29112	N１-d	Ⅲｂ下層	研磨	研磨	黒色	黒褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	64	M	M-35638	Q１-a	Ⅲｂ下-１層	研磨	ナデ	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	65	M	M-24353	N４-a	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	66	M	M-42018	N１-d	Ⅲｂ下-２層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	67	M	M-33263	N６-a	Ⅲｂ下-１層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	68	M	M-02287	P３-c	Ⅲｂ下層	研磨	研磨	赤色・暗灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	69	M	M-19974	P４-a	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	70	M	M-35053	O２-a	Ⅲｂ下-１層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	71	M	M-28132	N１-d	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	褐灰色・黒色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	72	M	M-36538	N６-d	Ⅲｂ下-２層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	73	M	M-20291 M-41513	P４-b N２-c	Ⅲｂ上層 Ⅲｂ下-１層	研磨	ナデ	暗灰黄色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	74	M	M-13945 M-14761	M６-d M６-d	Ⅲｂ上層 Ⅲｂ上層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	75	M	M-26601	N４-a	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	暗灰黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	76	M	M-28943	P100-c	Ⅲｂ下層	研磨	研磨	黄灰色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	77	M	M-19804	P４-a	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	赤色・黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	78	M	M-42491	P100-d	Ⅲｂ下-２層	研磨	ナデ	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	79	M	M-14376	M６-c	Ⅲｂ上層	研磨	ナデ	黒褐色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	80	M	M-16927	N１-d	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	黒褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	81	M	M-19569	P100-d	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	82	M	M-24184	N４-d	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	83	M	M-36598	M６-b	Ⅲｂ下-２層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	84	N	N-04368	E72-d	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	85	N	N-04061	E73-b	Ⅲｂ下層	研磨	研磨	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	86	N	N-03036	D74-c	Ⅲｂ下層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	87	N	N-02280	D75-c	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	88	N	N-00469 N-00924	E75-c D74-c	Ⅲｂ上層 Ⅲｂ上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	89	N	N-01121	E75-b	Ⅲｂ上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	90	N	N-00022	D75-b	Ⅲａ層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第64表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ⅰ類）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
132	1	J	J-17443	ZW42-d	Ⅲｂ上層	刻目(指)／擦過・ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	2	O	O-09298	D66-c	Ⅲｂ下-２層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	AMS 年代測定試料20

第65表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｊ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
133	1	J	J-05094 J-05106	E34-c E34-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	2	J	J-15614	ZY46-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	赤色・にぶい褐色	赤色・にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	赤色顔料
	3	J	J-15591	ZY46-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	赤色・にぶい黄橙色	赤色・にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	4	J	J-14618	ZZ46-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-10782	E35-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・雲母	
	6	J	J-06796	E34-a	Ⅲb下層	ナデ・研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	7	J	J-01607	E34-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	8	K	K-05064	J18-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	9	K	K-06163	J19-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	10	K	K-07872 K-17150	I17-b I17-b	Ⅲb下層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・雲母	
	11	L	L-05902 L-06252 L-10788 L-11187	L14-c L14-c L14-c L14-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	12	L	L-02908	K14-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	13	L	L-03997 L-11316 L-11331 L-11503	L14-d L14-c L14-c L14-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	14	L	L-05169	M15-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	明赤褐色・にぶい橙色	明赤褐色・にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･雲母	
	15	L	L-09718	I15-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・石英・雲母	
	16	L	L-03883	L15-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	17	L	L-06818	K15-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	18	L	L-02688	J14-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	黄褐色	角閃石・長石・石英	
	19	L	L-12413 L-12567	L14-c L14-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	20	L	L-00473 L-03605	L14-b L14-b	Ⅲa層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・雲母	
	21	L	L-09913	I14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	暗灰黄色	にぶい黄色	長石・石英	
	22	L	L-10813	L14-c	Ⅲb下層	研磨	—	黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	23	L	L-04430 L-04475	L15-c L15-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	24	L	L-10164	I14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	25	L	L-07522	P12-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	26	L	L-06550	P11-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	27	L	L-04045	L14-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	黄灰色	黒褐色	角閃石・長石	
	28	L	L-07836	O12-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄色	長石	
	29	L	L-04344	L14-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	30	L	L-11933	M14-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
134	31	M	M-11612 M-11934 M-12033 M-12053 M-26409 M-28448 M-34290 M-34317 M-34318 M-34319 M-34320	P6-c P6-b P6-b P6-a P6-a P6-a P6-b P6-b P6-b P6-b P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	32	M	M-07367	N3-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	33	M	M-36793	Q7-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･石英･雲母	
	34	M	M-11586	P6-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･雲母	
	35	M	M-36737	P7-d	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	36	M	M-37818	N3-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石	

第66表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｊ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
134	37	M	M-07738	O 6 -b	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	38	M	M-12216	P 5 -d	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	39	N	N-02886 N-02906	E73-b E73-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	赤色顔料
	40	N	N-03006	D74-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	41	N	N-01431	E73-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･雲母	
	42	N	N-01134	D75-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰褐色	黒褐色	角閃石･長石･石英･雲母	
	43	N	N-00741	E74-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	44	N	N-01443	E73-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	45	N	N-02395	D73-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	46	N	N-00435	E75-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	47	N	N-02401	D74-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	灰褐色	長石・石英	赤色顔料
	48	N	N-02002	E72-a	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	49	O	O-00986 O-01007 O-01276	E57-d F58-a F58-a	Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色・灰褐色	にぶい橙色・灰褐色	角閃石・長石・石英	
	50	O	O-00675	E58-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色・にぶい黄橙色	角閃石	
	51	O	O-01262	E58-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	52	O	O-03807	F60-a	Ⅲb下･1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	53	O	O-01623	F61-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	浅黄色	黄灰色	長石	
	54	O	O-08854	C67-b	Ⅲb下･1層	研磨	研磨	橙色	にぶい黄橙色	長石・赤色粒子	
	55	O	O-09111	D66-c	Ⅲb下･1層	研磨	研磨	褐灰色	暗灰黄色	角閃石･長石･赤色粒子	赤色顔料
	56	O	O-03669	E59-b	Ⅲb下･1層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	57	O	O-03461	E59-d	Ⅲb下･1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	58	O	O-09773	C67-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	59	O	O-09341	C68-c	Ⅲb下･1層	研磨	研磨	にぶいきいろ	黄灰色	角閃石・長石	
	60	O	O-09337	B67-c	Ⅲb下･1層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	61	O	O-03749	F60-a	Ⅲb下･1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	長石・赤色粒子	
	62	O	O-05109 O-05363	F59-a F58-b	Ⅲb下･1層 Ⅲb下･1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	

第67表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｋ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
135	1	J	J-04299 J-17271	ZX43-a ZX43-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-09590 J-09591 J-10933	ZX43-a ZX43-a ZX43-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・雲母	
	3	J	J-04135	ZW49-b	Ⅲb上層 orⅢb下層	研磨	研磨	赤褐色	赤褐色	角閃石・長石・石英	粘土紐貼付, 赤色顔料
	4	J	J-12871	ZV44-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	5	J	J-06061 J-07280	C36-c C36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過・研磨	擦過	褐灰色	灰褐色	長石・石英・赤色粒子	
	6	J	J-07177	C36-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	7	J	J-10327	ZZ37-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･赤色粒子	
	8	J	J-05446 J-05449	C35-d C35-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・赤色粒子	
	9	J	J-12103	ZX43-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	10	J	J-07505	C36-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･赤色粒子･雲母	
	11	K	K-15241	G22-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	12	K	K-15240	G22-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	13	K	K-02260	F22-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	焼成後穿孔
	14	K	K-00344	G29-b	Ⅲa層	研磨	研磨	にぶい橙色	灰褐色	角閃石･長石･赤色粒子	波状口縁
	15	K	K-13245	H21-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	16	L	L-08644 L-08923	P12-d P12-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	17	L	L-12558	L14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	

第68表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｋ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
	18	L	L-09238	J12-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	19	L	L-09975	J14-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	20	L	L-07373 L-07376	P12-b P12-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過・研磨	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	21	L	L-01120	K14-d	Ⅲa層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄色	角閃石・長石	
	22	L	L-09074	P12-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	長石・石英・赤色粒子	
	23	M	M-42193	P100-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石	
	24	M	M-31412 M-39085	P4-b P4-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	長石・石英	
	25	M	M-12433	O6-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	26	M	M-15271 M-35399	P1-a P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰褐色	にぶい褐色	長石・石英	
	27	M	M-36523	O6-b	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	28	M	M-24847	P7-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
135	29	M	M-01291	N5-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に突起
	30	M	M-20235 M-26270	P4-b P4-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	31	M	M-38763	N4-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	32	M	M-31070	O5-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	33	M	M-15482	P1-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	34	M	M-40085	N1-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	口唇部に突起
	35	M	M-25761	P4-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石	
	36	M	M-44403	N5-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	37	M	M-10595	P1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	38	M	M-40727	N1-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	39	M	M-41235	P1-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰褐色	黒褐色	角閃石・長石	
	40	M	M-32819	O3-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	41	M	M-32427	P3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	42	M	M-13069	O6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	長石・石英	
	43	N	N-01437	E73-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	赤褐色	赤褐色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	44	N	N-02883	E73-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	45	N	N-03405	D75-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	46	N	N-02523	E73-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	47	O	O-09358	F57-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	口唇部に突起, 焼成前穿孔
	48	O	O-09653	F57-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい橙色	明赤褐色	角閃石	
136	49	O	O-01060 O-01209 O-01210	F57-b F57-b F57-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	50	O	O-03226	D66-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母	
	51	O	O-01436 O-04942	F60-a F60-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	52	O	O-08889	C67-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	53	O	O-04420 O-05532	F61-a F61-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	54	O	O-04623	F61-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・石英・雲母・赤色粒子	

第69表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
137	1	J	J-14821 J-14822	ZV50-c ZV50-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	線刻・刻目(工具小口)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	線刻
	2	J	J-02407	E33-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	3	J	J-04953	E35-a	Ⅲb下層	刻目(指)／擦過	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-14975 J-14976	ZY45-b ZY45-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(指)／擦過・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-13114	ZW49-b	Ⅲb下層	刻目(貝殻腹縁)／貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	6	J	J-14314	ZY47-a	Ⅲb上層	刻目(指)／擦過	擦過	浅黄橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	7	J	J-07748	D35-d	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	黒褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	8	J	J-15359	ZX45-d	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-15333	ZX45-d	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰白色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-02514	E34-b	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰オリーブ	灰オリーブ	長石・石英	
	11	J	J-17329	ZY50-a	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	12	J	J-05274	C35-b	Ⅲb下層	刻目(指)／擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	13	J	J-02461	C36-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
	14	J	J-14093	ZY46-a	Ⅲb上層	刻目(刺突)／擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	15	J	J-10796 J-10966	E36-a E36-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄色	角閃石・長石	
	16	J	J-14701	ZZ46-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	17	J	J-03067	ZY44-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	18	J	J-14632	ZZ46-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	19	J	J-04693 J-13431 J-14836 J-17299	ZV49-c ZV48-d ZV48-d ZV48-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	凹線／研磨	研磨	灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
138	20	J	J-04400 J-10034 J-10038 J-10039 J-10040	ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	黒褐色	明赤褐色	長石・石英	
	21	J	J-15745 J-15977	ZY46-b ZY46-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	22	J	J-05658 J-05664	C35-c C35-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	褐色	にぶい褐色	角閃石・石英	
	23	J	J-16749	ZZ47-a	Ⅲb下層	擦過	研磨	灰褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	24	J	J-15514 J-15515 J-15516 J-15521	ZY48-b ZY48-b ZY48-b ZY48-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	25	J	J-00824	D35-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい黄橙色	にぶい黄色	角閃石・石英・雲母	
	26	J	J-15603 J-15604	ZY46-a ZY46-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	27	J	J-10314	ZZ37-c	Ⅲb下層	貝殻条痕，擦過	擦過・ナデ	橙色	灰黄色	角閃石・石英	
	28	J	J-16570 J-16574	ZX46-d ZX46-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	29	J	J-13762	ZZ46-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	橙色	灰黄色	角閃石・石英・雲母	
139	30	J	J-02165 J-02194 J-10011	ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	長石・石英	
	31	J	J-09120 J-09121 J-09150	D36-c D36-c D36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	擦過	褐灰色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	32	J	J-06103 J-06160 J-06161	C36-c C36-c C36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	擦過・ナデ	にぶい黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	33	J	J-10066	ZZ37-a	Ⅲb下層	ナデ	擦過・ナデ	橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母	

第70表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
139	34	J	J-12986 J-12995 J-12997	ZW50-a ZW50-a ZW50-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	35	J	J-07808	D35-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕	黒褐色	灰黄色	角閃石・石英・雲母	
	36	J	J-05170	D34-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	長石	
	37	J	J-09450	D34-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	38	J	J-15567	ZY46-a	Ⅲb下層	擦過	擦過	にぶい橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	39	J	J-12916	ZW48-a	Ⅲb下層	ナデ	擦過・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	40	J	J-16988	ZZ46-b	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	41	J	J-10895	ZX42-d	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	42	J	J-10103	ZZ37-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	43	J	J-13105	ZX48-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔
	44	J	J-02419	E34-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	45	J	J-13554 J-13868	ZY46-b ZY46-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	46	J	J-16579	ZX46-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	47	J	J-10737	E35-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	48	J	J-07693	D35-d	Ⅲb下層	擦過・ナデ	研磨	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	49	J	J-10907	ZW48-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔
	50	J	J-03754 J-06380	C36-a C36-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	長石・石英	
	51	J	J-06532	B36-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	52	J	J-09994	ZZ37-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黄灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	53	J	J-04824	D34-c	Ⅲb下層	貝殻条痕，擦過	擦過	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	54	J	J-04837 J-06662	E35-b E35-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	55	J	J-16126	ZZ46-a	Ⅲb下層	ナデ	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	56	J	J-11710 J-17283	ZX43-a ZX43-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	57	J	J-13801	ZZ46-b	Ⅲb上層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	58	J	J-12936	ZW48-d	Ⅲb下層	ナデ	擦過	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	59	J	J-03520	ZV44-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
140	60	K	K-07074 K-09271 K-09273 K-09274 K-09278 K-10981 K-11003 K-17290	K21-b J21-c J21-c J21-a J21-a J20-b J20-b K21-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	61	K	K-05299	I18-a	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	62	K	K-06214	I18-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	63	K	K-16404	G23-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	長石	口唇部に刻目，焼成後穿孔
	64	K	K-09124	J19-d	Ⅲb下層	沈線／ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	65	K	K-06609	F22-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	66	K	K-12704	K21-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	褐灰色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	67	K	K-13758	G29-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	68	K	K-16831	G23-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	69	K	K-13192	K20-a	Ⅲb下層	ナデ	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	70	K	K-16209 K-17659	G23-d G23-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石	
	71	K	K-17412	K16-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	研磨	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母	

第71表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
140	72	K	K-07317 K-07318	J19-d J19-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	73	K	K-11068	J20-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	74	K	K-03796 K-12466	K20-d K20-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	灰褐色	黒色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	75	K	K-11034	J20-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	76	K	K-07781	J17-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	77	K	K-13818	G29-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	78	K	K-15007	K22-b	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	79	K	K-14567	J24-c	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	80	K	K-12844	K21-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	81	K	K-14977	K22-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	82	K	K-13537	G29-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	83	K	K-06799	G29-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	84	K	K-05575	I21-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	灰黄褐色	灰褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	85	K	K-13830	G29-a	Ⅲb下層	擦過・ナデ	研磨	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	86	K	K-12812	K21-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
141	87	L	L-06492	P11-d	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	88	L	L-11281	L15-a	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	89	L	L-09129	P12-c	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	90	L	L-02103	I15-c	Ⅲb上層	刻目(指)／貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	91	L	L-13033	L14-a	Ⅲb下層	刻目(指)／貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	92	L	L-10214	J14-d	Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	擦過・ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	93	L	L-01858	I14-c	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	94	L	L-03294 L-10595 L-12951	L14-a L14-a K14-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	95	L	L-06901	O14-c	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	長石・石英	
	96	L	L-03355	L14-b	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	97	L	L-04059 L-04083	L14-c L14-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(貝殻腹縁)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	98	L	L-04682	M15-a	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	99	L	L-12077	M15-a	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	100	L	L-12706	K14-c	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	101	L	L-04450	L15-c	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	102	L	L-11019	L14-b	Ⅲb下層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	103	L	L-10442	K14-c	Ⅲb下層	ナデ	擦過	橙色	浅黄色	角閃石・長石	口唇部に刻目
	104	L	L-06242 L-11159	L14-c L14-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	研磨	にぶい黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	105	L	L-01051	L15-a	Ⅲa層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	106	L	L-10260 L-10268	J14-d J14-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	灰褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	107	L	L-07147	P12-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕	灰黄褐色	オリーブ黒色	角閃石・長石	
	108	L	L-06027	J14-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	109	L	L-04268	L14-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	110	L	L-06832	M14-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	111	L	L-12753	P12-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	浅黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	112	L	L-11638	L14-c	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	113	L	L-09025	P12-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	114	L	L-02097	I15-c	Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい橙色	灰褐色	角閃石・長石・石英	

第72表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類④）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
141	115	L	L-04773	M14-a	Ⅲb上層	擦過	研磨	暗灰黄色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	116	L	L-12352	L14-c	Ⅲb下層	擦過	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	117	L	L-06189	L13-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	118	L	L-13324	P12-b	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	119	L	L-12878	J14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐	角閃石・長石・雲母	
	120	L	L-02656	K13-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	121	L	L-06396 L-11170 L-11171	L15-c L14-a L14-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	122	L	L-12198	M14-b	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	123	L	L-12267	N15-a	Ⅲb下層	擦過	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	124	L	L-08306	P11-a	Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	125	L	L-07976	P11-b	Ⅲb下層	擦過	研磨	にぶい橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
142	126	M	M-11806 M-11849 M-14439 M-26471	P6-b P6-b P6-a P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(指)／擦過	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料24
	127	M	M-14543 M-14550 M-14561	O6-c O6-c O6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	128	M	M-01458 M-10437 M-16416 M-16419 M-17113 M-17819 M-17919 M-27970 M-28010 M-41997 M-42197	O1-b N1-d O1-b O1-b N1-d O3-a O3-a O3-b N1-d O1-b P100-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	129	M	M-13311 M-27205 M-33807 M-33953 M-33954	O6-a O6-a O6-a O6-c O6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕，擦過	暗灰黄色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
143	130	M	M-34089 M-34486 M-43235 M-43237	O6-d P6-d P6-b P6-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	研磨	黒褐色	黒色・褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起，AMS年代測定試料22
	131	M	M-10356 M-16399	N1-c O1-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	黒褐色・褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	132	M	M-23215 M-31138 M-31146 M-34422	O5-b O5-b O5-b P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	研磨	黒褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	133	M	M-14984 M-15065 M-41946	P1-a P1-a P1-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	擦過，研磨	黒褐色	赤褐色	長石・石英	

第73表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑤）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
143	134	M	M-04003 M-04004 M-04005 M-04007 M-04038 M-08245 M-10405 M-27752 M-30995	O5-b O5-b O5-b O5-b O5-b O6-a O5-b O5-b O5-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	橙色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料23
144	135	M	M-27550 M-27686	O5-a O5-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	擦過	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	136	M	M-30572	O3-b	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	137	M	M-16605 M-35039 M-35045	O1-b O2-a O2-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過	擦過	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	138	M	M-19087 M-19107 M-30828	M5-c M5-c M5-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	139	M	M-09813	P6-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	黒褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	140	M	M-32316	P5-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	黒色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	141	M	M-29979 M-38578 M-38580 M-38659 M-38660	O4-a O4-a O4-a O4-a O4-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	沈線／研磨	研磨	褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	142	M	M-12316 M-12727 M-14526 M-14534 M-14535 M-27997 M-28467 M-28468 M-34233 M-34351	O6-d O6-c O6-d O6-d O6-d O6-d P6-a P6-a P6-b P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	暗赤褐色	にぶい赤褐色	長石・石英	
145	143	M	M-11956 M-20991	P6-b P5-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	擦過・ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	144	M	M-44177	Q7-b	Ⅲb下-2層	刻目(棒)／ナデ,擦過	研磨，擦過	黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	145	M	M-28430	P6-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	ナデ，研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料25
	146	M	M-11728	P6-a	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ，研磨	黒褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	147	M	M-14494	P6-b	Ⅲb上層	刻目(指)／擦過	ナデ	黒褐色	にぶい褐色	長石・石英	
	148	M	M-09811	P6-b	Ⅲb下層	刻目(指)／ナデ	貝殻条痕	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	149	M	M-26502	P6-b	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	黒褐色	長石・石英	
	150	M	M-01560	P1-a	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	長石・石英	
	151	M	M-04267	O5-a	Ⅲb上層	刻目(指)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	152	M	M-34902	N1-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	研磨	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	153	M	M-34867	N1-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	研磨	灰黄褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
	154	M	M-40422	N1-d	Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	長石・石英	
	155	M	M-23753	N5-d	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	長石・石英・雲母	
	156	M	M-15574 M-15865 M-16512	Q1-a P1-b P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／擦過	擦過	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	157	M	M-33334	N6-c	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／貝殻条痕	ナデ	褐灰色	黒色	長石・石英	
	158	M	M-16015	O1-d	Ⅲb上層	刻目(貝殻腹縁)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	長石・石英・雲母	
	159	M	M-27412 M-27417	N3-d N3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	擦過・研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	160	M	M-32999	N3-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	161	M	M-31441	P5-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英	口唇部に刻目
	162	M	M-25150	O100-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	口唇部に刻目

第74表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑥）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
145	163	M	M-16087	O1-a	Ⅲb上層	研磨	擦過・研磨	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	164	M	M-15911	O1-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	165	M	M-01401	O1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石	
	166	M	M-16241	O1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	浅黄色	黄灰色	角閃石	
	167	M	M-15905	O1-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	168	M	M-40206	P6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	169	M	M-32910	N3-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	浅黄色	灰黄色	角閃石	
	170	M	M-19190	M4-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	171	M	M-39519	N4-b	Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	172	M	M-44483	P5-a	Ⅲb下-2層	凹線／擦過	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	173	M	M-17687	O3-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	174	M	M-33758	O6-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	175	M	M-17532	O3-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	176	M	M-15953	O1-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
146	177	M	M-11928 M-34555 M-34577	P6-b P6-a P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	178	M	M-40454	N1-d	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	口唇部に突起
	179	M	M-28869	P3-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	180	M	M-21805 M-44668	O5-d O5-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	褐灰色	浅黄色	角閃石・長石・雲母	口唇部に突起
	181	M	M-20156	P4-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	182	M	M-42234	P100-d	Ⅲb下-2層	沈線／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	183	M	M-16813	N1-d	Ⅲb上層	擦過・研磨	ナデ	褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	184	M	M-22387	O4-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	口唇部に突起
	185	M	M-19095	M5-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	口唇部に突起
	186	M	M-41263	P1-a	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	擦過	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に突起
	187	M	M-19817	P4-a	Ⅲb上層	ナデ	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	188	M	M-28997	P1-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	暗灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	口唇部に突起
	189	M	M-31603	N5-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	黄灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	口唇部に突起
	190	M	M-28364	Q1-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	191	M	M-22704	O5-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
147	192	M	M-16417 M-26165 M-29153	O1-b N2-c O2-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石	
	193	M	M-31270 M-31993	O5-a O5-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	194	M	M-44586	O5-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	195	M	M-25098	O2-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母	
	196	M	M-27531 M-31286	O5-b O5-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	擦過	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・石英	
	197	M	M-22376 M-22509	O4-b O4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	198	M	M-43290	O6-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ，研磨	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	199	M	M-21125 M-39750	P5-a P5-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	200	M	M-43901	P100-d	Ⅲb上層	擦過	擦過・ナデ	褐灰色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	201	M	M-15160 M-41338	P1-a P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	擦過・研磨	擦過・研磨	にぶい赤褐色	灰黄褐色	長石・赤色粒子	
	202	M	M-09908 M-09910	P3-a P3-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・石英	
	203	M	M-01918	O1-a	Ⅲb上層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・石英・雲母	
	204	M	M-15742 M-41417 M-41925	P1-d P1-a P1-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	擦過	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母	

第75表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑦）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
148	205	M	M-27973	N3-c	Ⅲb下層	擦過	擦過・研磨	褐灰色	黄灰色	長石・石英・雲母	
	206	M	M-38423 M-38508	O4-b O4-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	207	M	M-24772	N5-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	208	M	M-16911	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	黄灰色	角閃石・石英	
	209	M	M-29183	O2-a	Ⅲb下層	擦過	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・石英・赤色粒子	
	210	M	M-16552 M-35724	O2-a O2-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	擦過・ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	211	M	M-29731 M-39925	O4-b O4-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰黄色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	212	M	M-06677 M-17292 M-17293 M-17294 M-32518	P3-b P3-b P3-b P3-b P3-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	213	M	M-35510	P1-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・石英	
	214	M	M-41466	O1-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	215	M	M-44072	O1-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	216	M	M-37717	N3-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒褐色	にぶい黄褐色	長石・石英	
	217	M	M-06154	O6-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	218	M	M-42282	P100-b	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	219	M	M-12037 M-34296 M-35937	P6-b P6-b P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	220	M	M-34174 M-40207	P6-a P6-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	暗灰黄色	長石	
	221	M	M-40452 M-40749	N1-d N1-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	222	M	M-34209	P6-a	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい褐色	灰黄色	角閃石・石英・赤色粒子	
	223	M	M-29015 M-41307	P1-c P1-c	Ⅲb下層 Ⅲb下-2層	擦過	擦過	灰褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	224	M	M-06699 M-06700 M-06701 M-17351	P3-d P3-d P3-d P3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	擦過	灰褐色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	225	M	M-35383	P1-a	Ⅲb下-1層	擦過	擦過・研磨	暗赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
149	226	M	M-16393	O1-b	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母	
	227	M	M-14048	M6-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	228	M	M-16471	O1-b	Ⅲb上層	擦過	研磨	黄灰色	黒灰色	角閃石・長石・石英	
	229	M	M-34091	O6-c	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	230	M	M-24591 M-26062	N4-b M4-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	石英	
	231	M	M-10247 M-10249 M-10250 M-19104	M4-d M4-d M4-d M5-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	浅黄色	角閃石・長石・雲母	
	232	M	M-43160	O3-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	研磨	灰褐色	暗赤褐色	角閃石・長石・石英	
	233	M	M-15848 M-41445	P1-b P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・雲母	
	234	M	M-41354	P1-a	Ⅲb下-2層	擦過	擦過	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	235	M	M-32680	O3-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	236	M	M-01843	O1-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	237	M	M-37900	M4-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	

第76表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑧）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
149	238	M	M-14563 M-43304	O6-c P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	239	M	M-35389	P1-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	オリーブ黒色	角閃石・長石・赤色粒子	
	240	M	M-19167	M4-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	241	M	M-34488	P6-c	Ⅲb下-1層	研磨，貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	242	M	M-13951 M-14172	M6-d M6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	ナデ	灰黄色	黄灰色	角閃石・長石	
	243	M	M-09914	P3-a	Ⅲb下層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	244	M	M-14173 M-14393	M6-c M6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	245	M	M-24984	O3-a	Ⅲb下層	擦過・ナデ	貝殻条痕	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石	
	246	M	M-33856	O6-a	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	黄灰色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	247	M	M-12262	O6-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	248	M	M-10431	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	249	M	M-14486 M-35938	P6-b P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	長石・石英	
	250	M	M-14261 M-36385	M6-c N6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	擦過	擦過・研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	251	M	M-31588	N5-c	Ⅲb下-1層	ナデ	研磨	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	252	M	M-35869	P5-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	253	M	M-34268	P6-a	Ⅲb下-1層	ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
150	254	M	M-33771	O6-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黄灰色	灰黄褐色	長石	
	255	M	M-10076	P4-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	256	M	M-31916	O5-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	257	M	M-32591	O3-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	258	M	M-12529	O6-b	Ⅲb上層	ナデ，擦過	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	259	M	M-22891 M-31268 M-31269	O5-a O5-a O5-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・石英	
	260	M	M-33536	P3-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	261	M	M-31642	N5-b	Ⅲb下-1層	擦過・ナデ	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	262	M	M-31096	O5-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	黒褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	263	M	M-11799 M-34292	P6-b P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	黒色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	264	M	M-28541	N5-c	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	265	M	M-17521	O3-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	266	M	M-28676	P4-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	擦過	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	267	M	M-12028 M-34182 M-34566	P6-b P6-a P6-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	研磨	にぶい褐色	黄灰色	角閃石・長石・雲母	
	268	M	M-29179	O2-a	Ⅲb下層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	269	M	M-14560	O6-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	270	M	M-34352 M-35976	P6-b P6-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	271	M	M-17016	N1-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	272	M	M-17881 M-27361	O3-a O3-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	273	M	M-20908 M-30418	P5-c P4-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	274	M	M-37859	N2-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	275	M	M-42283	P100-b	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	276	M	M-39945	N5-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	研磨	にぶい褐色	黒色	角閃石・長石・赤色粒子	
	277	M	M-41447	P1-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ，貝殻条痕	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第77表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑨）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
150	278	M	M-40019	O5-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰黄色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	279	M	M-40004	O3-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	280	M	M-41652	P1-a	Ⅲb下-2層	擦過・研磨	ナデ	褐灰色	褐灰色	長石	
	281	M	M-44025 M-44043 M-44049 M-44050	Q100-b Q100-b Q100-b Q100-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	282	M	M-01481	O1-b	Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	283	M	M-40666 M-40799	O1-b O1-b	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	284	M	M-20511	P4-d	Ⅲb上層	貝殻条痕，擦過	ナデ	黒色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	285	M	M-34658	P6-b	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	286	M	M-37531	P3-b	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	287	M	M-35577	P1-c	Ⅲb下-1層	ナデ	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	288	M	M-01402 M-01438	O1-a O1-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ，貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	289	M	M-39487	N4-b	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	黄灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
151	290	M	M-14591	O6-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	291	M	M-04498	O5-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	292	M	M-02366	N3-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	焼成後穿孔
	293	M	M-44795	O5-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	294	M	M-08211	O6-a	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	295	M	M-37792	N3-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	296	M	M-44134	O3-a	Ⅲb下-2層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	297	M	M-04627	N5-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	貝殻条痕	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	298	M	M-01079	P1-d	Ⅲa層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	299	M	M-41511	N2-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰白色	黒色	角閃石・長石・石英	
	300	M	M-34728	O100-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	褐灰色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	301	M	M-14533	O6-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	明赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	302	M	M-29415	N4-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	303	M	M-37201	O3-c	Ⅲb下-2層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	304	M	M-41175	N1-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	305	M	M-09642	O5-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	306	M	M-19735	P4-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	研磨	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	307	M	M-05179	P5-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	308	M	M-35021	N2-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	309	M	M-02199	O100-d	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	310	M	M-38241	N5-a	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	311	M	M-31884	N5-d	Ⅲb下-1層	擦過	擦過	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	312	M	M-10569	Q100-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	313	M	M-31153	O5-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	314	M	M-12275 M-14528	O6-d O6-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄色	にぶい黄色	角閃石・長石	
	315	M	M-02231	O1-c	Ⅲb下層	貝殻条痕	貝殻条痕	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	316	M	M-05892 M-44856	P4-d P5-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	317	M	M-14513	P6-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	318	M	M-38372 M-38380	O4-a O4-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	褐灰色	灰黄褐色	長石・赤色粒子	
	319	M	M-11947	P6-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・赤色粒子	

第78表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑩）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
151	320	M	M-06291	O6-c	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	321	M	M-44818	O5-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	灰褐色	褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	322	M	M-16935	N1-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	323	M	M-14481	P6-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	324	M	M-33804	O6-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	浅黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	325	M	M-12114	P6-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	326	M	M-07871	O6-b	Ⅲb上層	擦過	ナデ	黒褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	327	M	M-17473 M-17486	O3-c O3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	328	M	M-14596	O6-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	329	M	M-15042	P1-a	Ⅲb上層	擦過	ナデ	褐灰色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	330	M	M-15510	P1-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	331	M	M-12884	O6-b	Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	332	M	M-19435	Q100-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
152	333	M	M-32290	P5-b	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	334	M	M-29177	O2-a	Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	335	M	M-24527	N4-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	336	M	M-16432	N1-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	337	M	M-34260	P6-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	灰褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	338	M	M-33029	N3-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	擦過	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	339	M	M-28158	N1-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	340	M	M-15917	O1-d	Ⅲb上層	擦過・研磨	擦過・研磨	黒褐色	灰褐色	長石・石英・赤色粒子	
	341	M	M-27020	O5-b	Ⅲb上層	擦過・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	342	M	M-23076	O5-b	Ⅲb上層	擦過	擦過	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	343	M	M-06394	O5-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	344	M	M-02230	O1-c	Ⅲb下層	擦過	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	345	M	M-34363	P6-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	346	M	M-42232	P100-d	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	347	M	M-31170	O5-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	黒色	黒色	長石・石英	
	348	M	M-31536	N5-a	Ⅲb下-1層	ナデ	擦過	黒褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	349	M	M-44041	P1-c	Ⅲb下-1層	ナデ	貝殻条痕	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	350	M	M-19383 M-26070	M4-c M4-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕	研磨	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	351	M	M-23788	N5-d	Ⅲb上層	ナデ	研磨	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	352	M	M-29073	P1-b	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	353	M	M-37975	M5-c	Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	灰褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	354	M	M-34639	O6-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	355	M	M-33641	O6-b	Ⅲb下-1層	ナデ	貝殻条痕	にぶい橙色	黄灰色	角閃石・長石・赤色粒子	
	356	M	M-10041	O1-d	Ⅲb下層	貝殻条痕	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	357	M	M-16834	N1-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	358	M	M-33128	N6-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	359	M	M-26838	N5-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・雲母	
	360	M	M-24671	N5-a	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	361	M	M-44585	O6-c	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	362	M	M-28017	N1-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	363	M	M-35459	P1-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰褐色	灰黄褐色	長石	
	364	M	M-27032	O5-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	365	M	M-35493	P1-a	Ⅲb下-1層	擦過	擦過	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	366	M	M-13905	M6-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	367	M	M-15379	P1-b	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	368	M	M-15737	P1-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	369	M	M-32484	P3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	

第79表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑪）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
152	370	M	M-27639	N5-c	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	371	M	M-40752	N1-d	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	372	M	M-15456	P1-b	Ⅲb上層	擦過	ナデ	灰褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	373	M	M-34683	P6-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
153	374	M	M-20600 M-30438	P4-d P4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過	研磨	にぶい黄褐色	黄灰色	角閃石・長石・雲母	
	375	M	M-42883	O3-d	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	376	M	M-29040 M-35256	P1-a O1-d	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	擦過	擦過・研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石	
	377	M	M-10054 M-15321	P1-d P1-b	Ⅲb下層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	378	M	M-32463 M-37083	P3-a P3-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄褐色	にぶい赤褐色	長石・雲母	
	379	M	M-11731	—	Ⅲb上層	沈線／貝殻条痕	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	380	M	M-39546	N5-c	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	研磨	にぶい赤褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	381	M	M-15146 M-15656 M-29079 M-41292	P1-c P1-a P1-c P1-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕・研磨	ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	382	M	M-01921	O1-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	383	M	M-38545	N4-c	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	384	M	M-30360	P4-d	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	385	M	M-10229 M-19083	M5-c M5-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	貝殻条痕	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	386	M	M-16303	N1-d	Ⅲb上層	擦過	ナデ	灰白色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	387	M	M-34253	P6-a	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
154	388	N	N-02069	D76-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	灰褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	389	N	N-01668	E74-c	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	390	N	N-02845	E74-a	Ⅲb下層	刻目(棒)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	391	N	N-02284	D75-d	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・石英・雲母	
	392	N	N-03353	D75-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	口唇部に突起
	393	N	N-02241	E75-d	Ⅲb上層	擦過	研磨	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	394	N	N-02617 N-02631	D74-b D73-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	擦過	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	395	N	N-03624	E76-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	396	N	N-00707	F74-b	Ⅲb上層	擦過・研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	長石	
	397	N	N-02396	D73-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	398	N	N-02555	E75-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	399	N	N-02909 N-03404	E73-b D75-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	貝殻条痕	擦過・研磨	褐灰色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	400	O	O-07434 O-07642	F57-a E57-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(棒)／ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	401	O	O-01161 O-01162	F57-a F57-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ, 貝殻条痕	擦過・ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	402	O	O-01370 O-06964 O-06965	E58-d E58-c E58-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	刻目(指)／ナデ	擦過・ナデ	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	403	O	O-04311	F61-a	Ⅲb下-1層	刻目(指)／貝殻条痕	研磨	灰オリーブ色	灰黄褐色	長石・石英	AMS年代測定試料26
	404	O	O-04377	F61-a	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	405	O	O-04093 O-04094 O-06098	E60-b E60-b F60-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	刻目(指)／貝殻条痕	研磨	浅黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	

第80表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｌ類⑫）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
154	406	O	O-06558	E59-c	Ⅲb下-1層	刻目(指)／ナデ	ナデ	浅黄色	浅黄色	角閃石・長石・石英	
	407	O	O-03986	F60-b	Ⅲb下-1層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	408	O	O-03164 O-09086	C66-b C66-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	409	O	O-02731 O-02918	D66-a D66-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	410	O	O-03770 O-03794	F60-a F60-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	411	O	O-04394	F61-a	Ⅲb下-1層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	412	O	O-01903	D67-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	長石・石英	
	413	O	O-01626	F61-a	Ⅲb上層	刻目(棒)／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	414	O	O-07999	F60-b	Ⅲb下-2層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	415	O	O-01466	F60-b	Ⅲb上層	刻目(ヘラ)／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
155	416	O	O-07131	E58-d	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	417	O	O-00928 O-07409 O-07744 O-07992	F57-a F57-b F57-c F57-b	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	貝殻条痕	研磨	灰黄褐色	にぶい黄褐色・黒色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	418	O	O-03578	E60-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	419	O	O-05308	E59-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	420	O	O-06586	E59-c	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	421	O	O-00438	F59-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	422	O	O-05963	E59-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕・ナデ	研磨	褐色	褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	焼成後穿孔
	423	O	O-07055	E58-d	Ⅲb下-2層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	灰褐色	角閃石・長石	
	424	O	O-05517	G59-b	Ⅲb下-1層	貝殻条痕	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	425	O	O-03293	E58-b	Ⅲb上層	擦過	研磨	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	426	O	O-07006	E59-a	Ⅲb下-2層	擦過・研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石	
	427	O	O-00853 O-03903	E60-c E60-c	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	擦過	研磨	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	

第81表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢Ｍ類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
156	1	J	J-10397	A37-d	Ⅲb下層	貝殻条痕, アンギン	擦過	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	2	J	J-01147	D34-d	Ⅲb上層	貝殻条痕, アンギン	ナデ, 研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	3	J	J-16282	ZZ46-b	Ⅲb下層	アンギン	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	4	J	J-05155	D34-c	Ⅲb下層	アンギン	貝殻条痕・ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	5	J	J-00829 J-07239 J-08851	D35-b C36-d D35-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	6	J	J-00849 J-08506	D35-a D35-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石	
	7	J	J-02437	D34-c	Ⅲb下層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	8	J	J-15882	ZY46-d	Ⅲb下層	アンギン	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	9	J	J-10623	B36-c	Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	10	J	J-03857	ZW48-c	Ⅲb上層	アンギン	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第82表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢M類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
156	11	J	J-13755	ZZ46-b	Ⅲb上層	アンギン	擦過	灰黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	12	J	J-04823	D34-c	Ⅲb下層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	13	J	J-08311	D35-a	Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	14	J	J-05158	D34-c	Ⅲb下層	アンギン	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	15	J	J-03934	ZW48-c	Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	16	J	J-03874	ZW48-d	Ⅲb上層	アンギン	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	17	J	J-16347	ZZ46-b	Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	18	J	J-12437	ZZ36-d	Ⅲb下層	アンギン	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	19	J	J-15283	ZX45-d	Ⅲb下層	アンギン, 貝殻条痕	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	20	J	J-00806 J-01072 J-01682	D35-b D35-a D35-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	アンギン	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	21	J	J-16281	ZZ46-b	Ⅲb下層	アンギン	ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	22	J	J-08219 J-10828	D35-a E33-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	アンギン	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	23	J	J-07055	D36-c	Ⅲb下層	アンギン	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	24	J	J-02439	D34-c	Ⅲb下層	アンギン	研磨	黒褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	25	K	K-07952 K-07953	J17-c J17-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	アンギン	研磨	暗灰黄色	黒褐色	角閃石・長石	
	26	L	L-06920	O14-c	Ⅲb上層	アンギン	ナデ	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石	
157	27	M	M-34267	P6-a	Ⅲb下-1層	ナデ, アンギン	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	28	M	M-16607	O1-b	Ⅲb上層	擦過	擦過	黒褐色・にぶい橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	29	M	M-11808 M-11923 M-11929 M-26399 M-27161	P6-b P6-b P6-b P6-c P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	アンギン, 貝殻条痕	研磨	にぶい黄橙色	黒色	角閃石・長石・石英	
	30	M	M-19031 M-19032 M-19033	M5-d M5-d M5-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	アンギン	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	31	M	M-16342	O1-b	Ⅲb上層	ナデ, アンギン	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	32	M	M-13766 M-34381	M7-a P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	アンギン	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色・暗オリーブ灰色	角閃石・長石	
	33	M	M-35312	P1-a	Ⅲb下-1層	擦過, アンギン	ナデ	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	34	M	M-06124	O6-d	Ⅲb上層	ナデ, アンギン	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	35	M	M-25687 M-28631 M-28632 M-31211	O5-b O5-b O5-a O5-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	アンギン	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	36	M	M-19011 M-19018 M-19019	M5-d M5-d M5-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	アンギン	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
158	37	M	M-24158 M-29443 M-29461	N4-d N4-d N4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	アンギン	研磨	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	38	M	M-16000 M-28222 M-40570	O1-d O1-d O1-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	アンギン	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	39	M	M-15216	P1-c	Ⅲb上層	ナデ, 擦過, アンギン	ナデ	にぶい赤褐色	褐色	長石・石英・赤色粒子	
	40	M	M-37168	M3-d	Ⅲb下-1層	アンギン	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	41	M	M-19030	M5-d	Ⅲb上層	アンギン	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	42	M	M-14016	M6-d	Ⅲb上層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	長石・石英	

第83表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢M類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
158	43	M	M-05887 M-39071	P4-d P4-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	44	M	M-16661	N1-c	Ⅲb上層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	長石・石英	
	45	M	M-16644 M-35007 M-35467	O2-a N2-c P1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	アンギン	研磨	褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	46	M	M-35279	O1-d	Ⅲb下-1層	アンギン	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	47	M	M-37197	O3-c	Ⅲb下-2層	アンギン	擦過・ナデ	にぶい赤褐色	褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	48	M	M-16812	N1-d	Ⅲb上層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	49	M	M-36348	M6-a	Ⅲb下-2層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	50	M	M-36637	P7-a	Ⅲb下-2層	アンギン	研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	51	M	M-26145	P1-d	Ⅲb上層	アンギン	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	52	M	M-33836	O6-a	Ⅲb下-1層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	褐色	角閃石・長石	
	53	M	M-01630	P100-d	Ⅲb上層	アンギン	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	54	O	O-04711	F59-d	Ⅲb下-1層	アンギン	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
159	55	J	J-10138 J-12509	ZZ37-a ZZ37-c	Ⅲb下層 Ⅲb上層	貝殻条痕・網目	ナデ	にぶい褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	56	J	J-09988	ZZ37-a	Ⅲb下層	貝殻条痕, ナデ, 網目	貝殻条痕・ナデ	にぶい黄褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	57	J	J-13740 J-13764 J-13779 J-14702 J-16244 J-16257 J-16429	ZZ46-b ZZ46-b ZZ46-b ZZ46-b ZZ46-b ZZ46-b ZZ46-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	網目・ナデ	研磨	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	58	J	J-10015 J-10019 J-10033 J-10136	ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a ZZ37-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	アンギン	ナデ	にぶい褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	59	J	J-04356	E35-b	Ⅲb下層	擦過・アンギン	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	60	J	J-16567	ZX46-d	Ⅲb下層	擦過, 網目	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	61	J	J-16249 J-16719	ZZ46-b ZZ46-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	網目, 擦過	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	62	J	J-10018	ZZ37-a	Ⅲb下層	網目	ナデ	にぶい褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	63	J	J-03370	ZV44-d	Ⅲb上層	網目	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	64	J	J-13987	ZX47-c	Ⅲb上層	網目	ナデ	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	65	J	J-06299	C36-a	Ⅲb下層	網目	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	長石・石英	
	66	J	J-03826	ZW48-a	Ⅲb上層	網目	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・雲母	
	67	J	J-10017	ZZ37-a	Ⅲb下層	網目	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	68	J	J-03840	ZW48-a	Ⅲb上層	網目	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	69	J	J-13697	ZZ46-d	Ⅲb上層	網目	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	70	K	K-05637	J20-b	Ⅲb上層	網目	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
160	71	M	M-15898 M-16956 M-26135 M-29075 M-35219 M-35717 M-40549	O1-c N1-d O1-d P1-b O1-c N2-c O1-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	網目, 擦過	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	72	M	M-01712 M-35040	P3-d O2-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過, 網目	研磨	にぶい黄褐色	褐色	角閃石・長石・石英	
	73	M	M-41565	P1-c	Ⅲb下-2層	網目	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	74	M	M-40499 M-40762	N2-c N2-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	網目	研磨	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	

第84表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢M類④）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
160	75	M	M-27456	N3-b	Ⅲb上層	網目	研磨	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	76	M	M-16147	O1-a	Ⅲb上層	擦過，網目	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	77	M	M-17939	N3-c	Ⅲb上層	貝殻条痕，網目	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	石英	
	78	M	M-24638	N5-a	Ⅲb上層	網目	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	石英	
	79	M	M-42582	P100-d	Ⅲb下-2層	擦過，網目	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	80	M	M-41677	P1-b	Ⅲb下-2層	網目	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	81	M	M-33254	N6-d	Ⅲb下-1層	網目	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	82	M	M-40269	N1-b	Ⅲb下-2層	網目	ナデ	にぶい褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	83	M	M-14065 M-14088 M-14755 M-33097	M6-b M6-c M6-c M6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	網目	擦過・ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	84	M	M-11311	N1-d	Ⅲa層	網目	ナデ	にぶい褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	85	M	M-29229	P3-a	Ⅲb下-1層	網目	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	石英	
	86	M	M-14252	M6-c	Ⅲb上層	網目	擦過・ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	87	M	M-28134	N1-d	Ⅲb上層	網目，ナデ	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	88	M	M-16672	N1-d	Ⅲb上層	擦過，網目	研磨	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石	
	89	M	M-26440	P6-d	Ⅲb上層	網目，擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・石英	
	90	M	M-44065	O1-c	Ⅲb下-1層	網目	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
161	91	J	J-00430 J-05591	C36-b C35-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層	ナデ，籠目	ナデ	にぶい褐色	黒褐色	長石・石英	
	92	J	J-06118	C36-c	Ⅲb下層	籠目	擦過・研磨	にぶい黄褐色	暗灰黄色	長石・石英	
	93	J	J-00862 J-06385	D35-b C36-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	ナデ，籠目	研磨	黒褐色	黒褐色	長石・石英	
	94	J	J-01009 J-07344 J-07345 J-07463	C35-d C36-c C36-c C36-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ，籠目	擦過・研磨	にぶい赤褐色	黒褐色	長石・石英	
	95	J	J-00071 J-07142	D36-a D36-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層	籠目	擦過・研磨	灰褐色	黒褐色	長石・石英	
	96	J	J-07730 J-08141	D35-d D35-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	籠目	擦過・研磨	褐色	暗灰黄色	長石・石英	
	97	J	J-06185 J-09163	C36-c C36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	籠目	擦過・研磨	にぶい赤褐色	灰黄褐色	長石	
	98	J	J-14673 J-14685	ZZ46-d ZZ46-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	貝殻条痕・籠目	研磨	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	99	M	M-18985 M-33100	M5-d M6-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	貝殻条痕，擦過	ナデ	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	100	M	M-44670	O6-c	Ⅲb下-2層	籠目	ナデ	にぶい褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・雲母	
	101	M	M-35619	P1-c	Ⅲb下-1層	籠目	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	102	O	O-03250 O-08292 O-08314 O-09179	D66-b D66-b D66-a D66-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	ナデ，籠目	ナデ	灰黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	103	J	J-07247	C36-c	Ⅲb下層	網目・籠目	ナデ	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	104	J	J-05418 J-06223	C35-d C36-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	網目・籠目	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	105	J	J-07811	D35-b	Ⅲb下層	網目・籠目	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	106	J	J-06097	C36-c	Ⅲb下層	網目・籠目	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	107	J	J-07852	D35-b	Ⅲb下層	網目・籠目	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第85表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢M類⑤）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
161	108	M	M-28986	P1-c	Ⅲb下層	貝殻条痕,網目･籠目	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	109	M	M-32726	O3-b	Ⅲb下-1層	網目・籠目	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	110	M	M-32707	O3-d	Ⅲb下-1層	網目・籠目	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	111	O	O-04562	E61-a	Ⅲb下-1層	網目・籠目	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	長石	
	112	L	L-04667	M14-b	Ⅲb上層	擦過，平織	ナデ	黒褐色	灰黄褐色	長石・赤色粒子	
	113	L	L-09977	J14-a	Ⅲb下層	平織	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	114	L	L-05678	N14-b	Ⅲb上層	平織	ナデ	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	115	L	L-06918	O14-c	Ⅲb上層	平織	ナデ	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	116	M	M-18866 M-18867	M3-c M3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	擦過・ナデ	ナデ	黒褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	AMS年代測定試料27

第86表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢N類）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
162	1	J	J-07790	D35-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・赤色粒子	
	2	K	K-11270 K-12321	K20-d K20-d	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・雲母・赤色粒子	
	3	K	K-16458	G23-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	4	K	K-16667	G24-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	5	L	L-08715	P12-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	暗黄灰色	角閃石・長石・赤色粒子	口唇部に突起
	6	M	M-27887	O3-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	黒褐色	長石	
	7	M	M-36012	P6-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・長石	
	8	M	M-40572	O1-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	9	M	M-15944	O1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	10	M	M-05901 M-30254	P4-d P4-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	11	M	M-06487 M-21232 M-27277	O4-d O4-c O3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	12	O	O-06903 O-06906	F58-a F58-a	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石	
	13	O	O-06946	E58-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・雲母・赤色粒子	
	14	O	O-05256	E59-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	15	O	O-05943	E59-d	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・赤色粒子	

第87表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢O類①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
163	1	J	J-12132	ZX44-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	波状口縁
	2	J	J-17241	ZX43-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	3	J	J-15050	ZY44-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-15330	ZX45-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	5	J	J-16476 J-16479	ZZ47-a ZZ47-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	6	J	J-05796	C34-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	赤色・黒色	褐灰色	角閃石	赤色顔料
	7	J	J-09054	C35-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	赤色	黒色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	8	J	J-06521	B36-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-05100 J-05102	E34-c E34-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	10	J	J-15709	ZY46-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	11	J	J-16577	ZX46-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・石英	波状口縁，口唇部に突起
	12	J	J-16006	ZY46-b	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	長石	口唇部に突起
	13	J	J-14143	ZY46-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石･長石･石英･雲母	口唇部に突起
	14	J	J-12761	ZW42-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石･赤色粒子･雲母	
	15	J	J-13233 J-13265 J-16661	ZY43-b ZY43-b ZY43-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	刻目／ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	16	J	J-13784 J-15898	ZZ46-b ZY46-d	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黒褐色	角閃石・長石	
	17	J	J-05767	C35-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	18	J	J-13561 J-14560	ZY46-b ZY46-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石	
	19	J	J-03148	ZX44-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	20	J	J-16148	ZX46-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･石英･雲母	
	21	K	K-10417 K-10418 K-10456 K-10467 K-10468 K-10481 K-10914	J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰褐色	灰褐色	角閃石・雲母・赤色粒子	口唇部に突起
	22	K	K-10413 K-11007 K-11008 K-11009	J20-c J20-b J20-b J20-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	焼成後穿孔
	23	K	K-06571 K-16602	F24-a F24-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	24	K	K-14673	J24-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	石英・雲母	
	25	K	K-00376	K18-b	Ⅲa層	ナデ	貝殻条痕・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	波状口縁
	26	K	K-08417	J18-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	波状口縁
	27	K	K-16227	F22-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	28	K	K-14088	F29-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	29	K	K-10142	J20-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	灰黄褐色	黄灰色	角閃石・長石	
	30	K	K-09980 K-14201	J20-d J20-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	研磨	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
164	31	L	L-03757	L14-c	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・雲母	
	32	L	L-06227	L14-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	暗灰黄色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	33	L	L-04850 L-06821	L14-c L14-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	赤色顔料
	34	L	L-11785	M15-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	浅黄色	にぶい黄橙色	角閃石･長石･赤色粒子	口唇部に突起
	35	L	L-02133 L-09730	I15-c I15-c	Ⅲb上層 Ⅲb下層	研磨	研磨	暗灰黄色	黄灰色	角閃石・石英	
	36	L	L-03591	L14-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	褐灰色	角閃石･長石･石英･雲母	赤色顔料
	37	L	L-06062	J15-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	黄灰色	褐灰色	角閃石・長石	
	38	M	M-15937	O1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	39	M	M-15174	P1-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	40	M	M-35774	P100-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	口唇部に突起
	41	M	M-30122	O4-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	

第88表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢O類②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
164	42	M	M-33623	P5-a	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･赤色粒子	波状口縁
	43	M	M-31799	N5-d	Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	波状口縁
	44	M	M-05938	P4-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰白色	角閃石・長石・石英	
	45	M	M-35768	N100-d	Ⅲb下-1層			にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	46	M	M-36370	M6-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	黄灰色	角閃石･長石･赤色粒子	
	47	M	M-43869 M-44058 M-44066	O1-d O1-d O1-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	赤色顔料
	48	M	M-17743	O3-a	Ⅲb上層			にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	49	M	M-17360	P3-d	Ⅲb上層	ナデ	研磨	にぶい橙色	褐灰色	角閃石・長石	線刻
	50	M	M-38170	N4-c	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･石英･雲母･赤色粒子	
	51	M	M-44708	O3-b	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	52	M	M-11764	P6-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	53	M	M-11616 M-11617 M-34478	P6-c P6-c P6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石	
	54	M	M-14343	M6-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	55	M	M-28611 M-33217	N6-d N6-d	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	56	M	M-34262	P6-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	57	M	M-32885	N3-c	Ⅲb下-1層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	58	M	M-18525 M-42401	N3-c P1-c	Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	59	M	M-16677 M-34979	N1-d N1-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	擦過・研磨	擦過・研磨	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石	
	60	M	M-16696	N1-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	61	M	M-01214	M5-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石	
	62	M	M-44577	O5-d	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	63	M	M-32431	P3-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	黄灰色	黄灰色	赤色粒子	
	64	M	M-38386	O4-a	Ⅲb下-2層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	
	65	M	M-16745	N1-c	Ⅲb上層	ナデ	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
165	66	M	M-02269	P3-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	67	M	M-44376	N5-a	Ⅲb下-2層	擦過	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	68	M	M-38962 M-44903	N4-c N4-c	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	黒褐色	角閃石・長石・雲母	
	69	M	M-09233	N5-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	70	M	M-41520	O2-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	71	M	M-31616	N5-b	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	72	N	N-00774 N-02940	D74-b D74-b	Ⅲb上層 Ⅲb下層	貝殻条痕・ナデ	擦過・ナデ	暗灰黄色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	73	N	N-01887	D74-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	
	74	N	N-01660 N-01693 N-02495	E74-b E74-b E74-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	75	N	N-01125	E75-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	灰褐色	角閃石・長石・石英	
	76	N	N-03587	D75-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	77	O	O-03243 O-08100	D66-d D66-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石	
	78	O	O-04475	E61-c	Ⅲb下-1層	刻目／ナデ	擦過・ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	79	O	O-04446	E61-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	線刻
	80	O	O-05321 O-07043	E59-a E58-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい褐色	角閃石・赤色粒子	波状口縁
	81	O	O-05009	E60-d	Ⅲb下-1層	擦過	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	82	O	O-05118 O-05715	F58-b F58-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	褐灰色	長石・石英・雲母・赤色粒子	
	83	O	O-00981	F57-b	Ⅲa層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	84	O	O-09277	D65-b	Ⅲb下-2層	研磨	擦過・研磨	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	85	O	O-00531	F59-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	86	O	O-02343	C67-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	長石・石英	底面に葉脈痕
	87	O	O-06810	F59-c	Ⅲb下-2層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・雲母	

第89表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／浅鉢O類③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
165	88	O	O-03480 O-06004	F59-b F59-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-2層	研磨	研磨	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	89	O	O-01530	E60-b	Ⅲb上層	ナデ	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄色	角閃石・長石・石英	
	90	O	O-03201 O-08365 O-08387	C66-b C66-b C66-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄褐色	黒褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	91	O	O-01768	E61-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	

第90表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／高坏形土器ほか）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
166	1	J	J-17006	ZZ46-d	Ⅲb上層	貝殻条痕	ナデ	にぶい橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	2	K	K-07968	J16-b	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石･長石･赤色粒子	
	3	L	L-11232 L-11604	L14-d M14-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石	
	4	L	L-12473	L14-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ，研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石･長石･赤色粒子	
	5	L	L-07077	P12-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	6	L	L-01935	J14-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	長石・石英	
	7	L	L-08625	P12-d	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	8	L	L-04719	M15-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	9	M	M-11646	P6-d	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	10	M	M-17452	O3-c	Ⅲb上層	貝殻条痕・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英・雲母	
	11	M	M-24376	N4-a	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄色	角閃石・赤色粒子	
	12	O	O-08276 O-08282	D66-d D66-d	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	13	O	O-07232	G59-a	Ⅲa層	ナデ	ナデ	褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第91表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／壺形土器①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
167	1	J	J-04576	E34-d	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
	2	J	J-12701	ZX43-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・雲母	
	3	J	J-08513	D35-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	4	J	J-15590	ZY46-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-06879	E34-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	
	6	J	J-10683 J-10684	D35-c D35-c	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	黄灰色	角閃石・長石・石英	
	7	J	J-00676 J-00688	E35-b E35-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	明赤褐色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	8	J	J-17309	ZX43-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	赤色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	底面に擦過
	9	K	K-12909	K21-a	Ⅲb下層	研磨	—	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	10	K	K-05831	K21-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	11	K	K-16490	J16-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	12	L	L-06325	M14-a	Ⅲb下層	研磨	研磨，ナデ	にぶい褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	13	L	L-00593 L-11442	L15-c L14-c	Ⅲa層 Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	14	L	L-01979	J14-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	赤褐色	明赤褐色・にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	15	L	L-08267	P11-c	Ⅲb下層	研磨	研磨，ナデ	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	16	L	L-01578 L-02172	I15-c J15-a	Ⅲa層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	暗灰黄色	灰黄色	角閃石・長石・石英	
	17	L	L-06130	K14-c	Ⅲb下層	研磨	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	

第92表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／壺形土器②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
167	18	L	L-12912	K15-a	Ⅲb下層	研磨	研磨	赤褐色	赤褐色	長石・石英	
	19	L	L-02337	I14-d	Ⅲb上層	研磨	研磨	赤褐色	赤褐色	角閃石・長石・石英・雲母	
	20	L	L-07130	P12-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	赤褐色・にぶい橙色	赤褐色・にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	21	L	L-11668	L14-d	Ⅲb下層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	
	22	L	L-06453	P11-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	明赤褐色	赤褐色	角閃石・長石・石英	
	23	L	L-02403	I14-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	24	L	L-03345 L-04804 L-10421 L-10425	L14-b L14-a K14-c K14-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	25	L	L-05875 L-11856 L-12442	M14-b M14-a M14-a	Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色・黒褐色	黄灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	26	L	L-10103	J14-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	27	L	L-03676	L14-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
168	28	L	L-09484 L-09485 L-09486 L-09487 L-13036 L-13037	K13-b K13-b K13-b K13-b L14-a L14-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	灰黄褐色	長石	
	29	L	L-10205	J15-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	橙色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英・雲母	
	30	L	L-06831	M14-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	31	L	L-04875	L14-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	32	L	L-13332	O12-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	33	L	L-03632	L14-b	Ⅲb上層	研磨	ナデ	橙色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	
	34	L	L-09595	I15-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	赤褐色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	35	L	L-10675	L14-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	36	L	L-04569	M14-a	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	37	L	L-02848	K15-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	赤褐色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	38	L	L-12913	K15-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	明赤褐色	浅黄橙色	長石・石英	
	39	L	L-02909	K14-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	明赤褐色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	40	L	L-09678	J15-a	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	明赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	41	L	L-04687	M14-b	Ⅲb上層	研磨，ナデ	ナデ	明赤褐色	浅黄橙色	長石・石英	
	42	L	L-00983 L-04716 L-04759 L-05100 L-05288 L-11686 L-11883 L-12048	M15-a M15-a M15-a M15-a M14-b L14-d M14-a M15-a	Ⅲa層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層 Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	研磨	明赤褐色・橙色	明赤褐色	長石・石英・雲母	底面に葉脈痕
	43	L	L-06184	K14-a	Ⅲb下層	研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい黄橙色	石英	
	44	L	L-07852	O12-d	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
169	45	M	M-27966 M-33017	N3-a N3-a	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい黄褐色	暗灰黄色	長石・赤色粒子	
	46	M	M-14365 M-14367 M-14377	M6-c M6-c M6-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	研磨，ナデ	灰褐色	灰黄褐色	長石・石英	
	47	M	M-14366	M6-c	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄褐色・黒褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英	
	48	M	M-14806 M-35644	Q1-a Q1-a	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	49	M	M-14372	M6-c	Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	50	M	M-34687	P6-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	褐灰色	黒褐色	角閃石・長石・石英	
	51	M	M-04037 M-25779	O5-b O5-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	褐灰色	暗灰黄色	角閃石・長石・赤色粒子	
	52	M	M-11843	P6-b	Ⅲb上層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	

第93表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／壺形土器③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
169	53	N	N-01550	E74-b	Ⅲb上層	研磨	研磨，ナデ	明赤褐色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英	
	54	N	N-03445	D74-c	Ⅲb下層	研磨	研磨	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	55	N	N-00969 N-02084 N-03255	D75-d D75-d D75-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	研磨	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	56	O	O-06263 O-06265 O-06266	F60-d F60-d F60-d	Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層 Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	にぶい褐色	にぶい橙色	長石・石英	
	57	O	O-04324	F61-a	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	長石・石英	
	58	O	O-08517 O-08563	C66-c C66-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	明赤褐色・にぶい褐色	明赤褐色・にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	59	O	O-04295 O-04296 O-04299 O-07266	E59-d E59-d E59-d E59-c	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb上層	研磨	研磨	にぶい橙色	にぶい橙色	長石・石英	
	60	O	O-05156	E59-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	61	O	O-04535	E61-c	Ⅲb下-1層	研磨	研磨	橙色	橙色	角閃石・長石・石英	
	62	O	O-04097	E60-b	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	63	O	O-05100	F59-a	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英・雲母	
	64	O	O-04284	E60-d	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	65	O	O-08664	G58-a	Ⅲb下-2層	研磨	研磨	黒褐色	黒色	角閃石・長石・石英	
170	66	O	O-04397 O-04413	F61-a F61-a	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	研磨	灰黄褐色	褐灰色	長石・石英	
	67	O	O-00238 O-00351 O-03608 O-04252 O-04671 O-04679	E59-b E60-d E59-b E59-d E59-d E59-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	68	O	O-09442	F59-b	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	明赤褐色	浅黄橙色	角閃石・長石・石英	
	69	O	O-00859 O-03930	E60-c E60-c	Ⅲb下層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	70	O	O-04098 O-04116	E60-b E60-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	にぶい赤褐色	灰白色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	71	O	O-08791	C67-d	Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	褐灰色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	72	O	O-06109	F60-a	Ⅲb下-2層	研磨	ナデ	明赤褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	73	O	O-00847 O-00856	E60-c E60-a	Ⅲb下層 Ⅲb下層	研磨	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	長石・石英	
	74	O	O-03609 O-03610	E59-b E59-b	Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	橙色・黒色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	75	O	O-00924 O-07462 O-07491 O-07492 O-07968	F57-b F57-a E56-d E56-d E56-d	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層 Ⅲb下-1層	研磨	ナデ	赤褐色	にぶい橙色	長石・石英・雲母	
	76	O	O-04574	E61-a	Ⅲb下-1層	—	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	長石・石英	底面に研磨
	77	O	O-03271	D66-b	Ⅲb上層	研磨	ナデ	黒褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	底面に研磨

第94表　出土土器観察表（縄文時代後期～突帯文期／土製品）

図	番号	区	種別	取上番号	グリッド	層位	色調		胎土	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
							外面	内面						
	1	J	円盤状土製品	J-08530	E35-a	Ⅲb下層	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	3.2	3.3	0.7	8.3	
	2	J	円盤状土製品	J-06803	E34-a	Ⅲb下層	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	3.2	3.6	0.9	11.8	
	3	K	円盤状土製品	K-17107	H18-d	Ⅲb下層	にぶい橙色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	4.2	4.1	0.8	17.2	
	4	L	円盤状土製品	L-04584	M14-a	Ⅲb上層	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	4.3	4.7	1.1	27.6	
	5	L	土製品	L-04369	L14-d	Ⅲb上層	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	2.4	3.8	0.7	9.1	
	6	L	紡錘車	L-12725	L14-a	Ⅲb上層	にぶい橙色	—	角閃石・長石・石英	(4.2)	－	1.5	14.2	
	7	L	紡錘車	L-12045	M15-a	Ⅲb下層	にぶい赤褐色	—	角閃石・長石・石英	(3.3)	－	1.3	7.4	
	8	L	土製管玉	L-13014	L14-b	Ⅲb下層	にぶい橙色	—	長石	1.4	0.5	0.5	0.3	
	9	M	円盤状土製品	M-20896	P5-c	Ⅲb上層	にぶい黄橙色	黒褐色	角閃石・長石・石英	(3.9)	5.0	1.0	21.0	
	10	M	円盤状土製品	M-20475	P4-d	Ⅲb上層	灰黄褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	4.4	4.3	1.1	21.7	
	11	M	円盤状土製品	M-22772	O5-a	Ⅲb上層	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	(3.8)	(3.3)	1.0	15.4	
	12	M	円盤状土製品	M-29030	P1-a	Ⅲb下層	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	3.6	4.0	1.2	21.6	
	13	M	円盤状土製品	M-01935	O3-a	Ⅲb上層	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	3.6	3.6	1.0	12.8	
	14	M	円盤状土製品	M-23268	O5-b	Ⅲb上層	褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	3.5	3.5	1.2	18.4	
	15	M	円盤状土製品	M-44822	P5-b	Ⅲb下-1層	灰黄褐色	褐灰色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	3.2	3.7	0.9	13.6	
171	16	M	円盤状土製品	M-16004	O1-d	Ⅲb上層	黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英	3.2	3.2	1.0	10.7	
	17	M	円盤状土製品	M-43992	P100-b	Ⅲb下-1層	褐色	褐色	角閃石・長石・石英	3.2	3.2	0.8	9.0	
	18	M	円盤状土製品	M-42296	P100-d	Ⅲb下-2層	黄褐色	黄灰色	角閃石・長石	3.2	3.2	1.0	12.2	
	19	M	円盤状土製品	M-19821	P4-a	Ⅲb上層	暗褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	3.2	3.2	0.7	7.7	
	20	M	円盤状土製品	M-15936	O1-c	Ⅲb上層	褐色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	3.1	3.3	1.0	11.7	
	21	M	円盤状土製品	M-33144	N6-a	Ⅲb下-1層	黒褐色	にぶい赤褐色	角閃石・長石・石英	3.0	3.3	1.0	11.6	
	22	M	円盤状土製品	M-25402	O3-a	Ⅲb上層	にぶい黄橙色	暗灰黄色	角閃石・長石・石英	(2.5)	3.1	0.8	7.6	
	23	M	紡錘車	M-26523 M-34426	O4-c P6-b	Ⅲb上層 Ⅲb下-1層	にぶい橙色	—	角閃石・長石・石英・赤色粒子	9.4	9.2	1.5	130.3	
	24	M	紡錘車	M-44839	O5-d	Ⅲb下-2層	灰白色	—	角閃石・長石・石英	4.5	4.5	2.0	38.3	
	25	M	ミニチュア土器	M-04270	O5-a	Ⅲb上層	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石	－	－	－	－	
	26	N	円盤状土製品	N-00753	D74-d	Ⅲb上層	褐色	褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	3.8	4.1	1.0	19.5	
	27	O	円盤状土製品	O-08186	D66-a	Ⅲb下-1層	灰黄褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	4.0	4.0	0.9	15.9	
	28	O	紡錘車	O-09528	D65-d	Ⅲb下-1層	にぶい橙色	—	角閃石・長石・石英・赤色粒子	(4.3)	－	2.1	13.3	
	29	O	紡錘車	O-00109	F59-b	Ⅲb上層	灰黄褐色	—	角閃石・長石・石英	4.5	－	1.8	15.1	
	30	O	ミニチュア土器	O-01505	E60-d	Ⅲb上層	明赤褐色	明赤褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	－	－	－	－	

第95表　出土土器観察表（弥生時代以降①）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
	1	J	J-03497	ZV43-d	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	2	J	J-12423 J-12427	ZZ37-d ZZ37-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	3	J	J-17025	ZZ43-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・雲母・赤色粒子	
	4	J	J-12419 J-12422 J-12449	ZZ37-d ZZ37-d ZZ37-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下層	刷毛目	刷毛目	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	5	J	J-02365	ZZ40-a	Ⅲb上層	ナデ	刷毛目，ナデ	にぶい赤褐色	明赤褐色	角閃石・石英・雲母・赤色粒子	
172	6	J	J-02344	ZZ39-b	Ⅲb上層	刷毛目	刷毛目	にぶい褐色	にぶい赤褐色	石英・雲母・赤色粒子	
	7	J	J-02359	ZZ39-b	Ⅲb上層	ナデ	刷毛目	にぶい赤褐色	明赤褐色	長石・石英	
	8	J	J-13497 J-14201	ZX46-d ZX46-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	明赤褐色	橙色	角閃石・長石・石英	
	9	J	J-14389	ZY45-b	Ⅲb上層	研磨	研磨	橙色	にぶい橙色	角閃石・石英・赤色粒子	
	10	J	J-04667	ZV44-b	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	長石・石英	
	11	J	J-13964 J-13971 J-14716	ZX46-d ZX46-d ZX46-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	石英	
	12	J	J-02550 J-02559	A37-d A37-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・石英	

第96表　出土土器観察表（弥生時代以降②）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
172	13	J	J-04694	ZV48-c	Ⅲb下層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・石英・赤色粒子	
	14	J	J-03168	ZX44-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	15	K	K-16746 K-16856	F23-b G23-b	Ⅲb下層 Ⅲb下層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	16	L	L-13330	O12-b	Ⅲb下層	ナデ	刷毛目	灰黄褐色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	17	L	L-01026	M15-c	Ⅲa層	刷毛目・ナデ	ナデ	にぶい橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
173	18	M	M-10948	N1-d	Ⅲa層	ナデ	ナデ，刷毛目	にぶい褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	19	M	M-11071	N1-d	Ⅲa層	ナデ，刷毛目	ナデ，刷毛目	にぶい黄褐色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	20	M	M-09512	N5-a	Ⅲb上層	ナデ，刷毛目	—	明黄褐色	橙色	長石・石英	
	21	M	M-11185	N1-d	Ⅲa層	ナデ	刷毛目	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	22	M	M-10905 M-18562	N3-a N3-a	Ⅲa層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	褐色	角閃石・長石	
	23	M	M-10716	N1-c	Ⅲa層	ナデ	ナデ	灰黄色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	24	M	M-22400 M-25943 M-25987 M-42743	O4-b O4-b O4-b O4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb下-2層	刷毛目・ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	明褐色	角閃石・長石・石英	
	25	M	M-22223 M-22541 M-25949	O4-b O4-b O4-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	刷毛目・ナデ	ナデ	橙色	明赤褐色	角閃石・長石・石英	
	26	M	M-10764 M-10809 M-10999	N1-c N1-c N1-d	Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層	ナデ	ナデ	橙色	灰黄褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	27	M	M-18788 M-18789 M-18810 M-18811 M-19297 M-26033	N3-b N3-b N3-b N3-b M4-c N3-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	刷毛目・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	28	M	M-18784 M-18825 M-19263 M-41841	N3-b N3-b M4-d N3-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ，刷毛目	ナデ	橙色	浅黄橙色	長石・石英	
	29	M	M-10878 M-18740 M-18782 M-18820 M-43217	N3-b N3-b N3-b N3-b M3-d	Ⅲa層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ，刷毛目	ナデ	明黄褐色	黄橙色	長石・石英	
	30	M	M-18801 M-18802 M-43213	N3-b N3-b M3-d	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ，刷毛目	刷毛目・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	31	M	M-11148 M-17013	N1-d N1-d	Ⅲa層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
174	32	M	M-10696	N1-c	Ⅲa層	刷毛目・ナデ	研磨	橙色	橙色	長石・石英	
	33	M	M-19314 M-19316 M-19324 M-19325 M-19337	M4-c M4-c M4-c M4-c M4-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	刷毛目・ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	34	M	M-10780 M-10786 M-10829 M-11476	N1-c N1-c N1-c N1-c	Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層	刷毛目・ナデ	研磨	明褐色	明褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

第97表　出土土器観察表（弥生時代以降③）

図	番号	区	取上番号	グリッド	層位	文様・調整		色調		胎土	備考
						外面	内面	外面	内面		
174	35	M	M-00481 M-00482 M-00490 M-00498 M-00500 M-00503 M-01139 M-08745 M-08926 M-08932 M-08936 M-08938 M-13661	N6-a N6-a N6-c N6-a N6-a N6-a N6-a N6-a N6-a N6-a N6-a N6-a N6-a	Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲa層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	橙色	橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	36	M	M-10754 M-17062	N1-c N1-d	Ⅲa層 Ⅲb上層	刷毛目・ナデ	刷毛目・ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄橙色・橙色	角閃石・長石・赤色粒子	
	37	M	M-19312 M-19315 M-19319	M4-c M4-c M4-c	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	刷毛目・ナデ	橙色	橙色	長石・石英	
	38	M	M-10757 M-10758	N1-c N1-c	Ⅲa層 Ⅲa層	ナデ	刷毛目	にぶい褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・赤色粒子	
	39	M	M-11218	N1-d	Ⅲa層	ナデ	刷毛目・ナデ	にぶい橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	40	M	M-00345	N6-c	Ⅲa層	刷毛目・ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・雲母・赤色粒子	
	41	M	M-23600	N5-d	Ⅲb上層	ナデ	—	明赤褐色・にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	内面に炭化物
	42	M	M-18670 M-18743 M-18796 M-18800	N3-b N3-b N3-b N3-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	沈線／刷毛目・ナデ	刷毛目・ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	透かしあり
	43	M	M-11053	N1-d	Ⅲa層	刷毛目	刷毛目・ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	長石・石英	透かしあり
	44	M	M-01796 M-17807	O2-a O3-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	櫛描文／ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	45	M	M-10792 M-11510	N1-c N1-c	Ⅲa層 Ⅲa層	櫛描文／ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	透かしあり
	46	N	N-02497	E74-b	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	角閃石・長石・石英	
	47	O	O-02144 O-08061	C67-d C67-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英	
	48	O	O-08052 O-08059	C67-c C68-a	Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	ナデ	暗灰黄色	灰黄褐色	長石・石英	
	49	O	O-08070	C67-a	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい橙色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英	
	50	O	O-03109	C67-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	橙色	にぶい黄橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	
	51	O	O-03081	D66-d	Ⅲb上層	ナデ	ナデ	にぶい褐色	にぶい褐色	長石・赤色粒子	焼成前穿孔
	52	O	O-01538 O-01824 O-03284 O-03288	F59-b F59-b F59-b F59-b	Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層 Ⅲb上層	ナデ	刷毛目	にぶい黄褐色	にぶい橙色	角閃石・長石・石英・赤色粒子	

（2）石器

多くの石器がⅢｂ上・下層からの出土であることから，土器の出土傾向も勘案し縄文時代後期末～突帯文期に属するものがほとんどであると考えられるが，風化の進行する黒曜石製石器などもわずかではあるがみられ，縄文時代早期のものなども一部含んでいるものと思われる。

原石（第175図～第177図）

1～5は剥離面が漆黒色をなす黒曜石である。いずれも角礫状をなす。**2**は間隙の多い自然面を有し，白色の不純物の混入も観察される。他は不純物の混入が少ない良質のものである。**1**，**3**・**4**の自然面の窪みには採取地のものと推察される橙色の土壌が入り込む。

6はサヌカイトの円礫である。部分的に潰痕状になった部分と小さい剥離が観察され，敲石としての使用の可能性がある。サヌカイトを素材とする石器や剥片類は角礫を用いる場合が多く，円礫という点で注目される。**7**はチャートの亜円礫である。**6**同様，端部に潰痕状の部分と剥離面が認められ，敲石の可能性がある。

石核（第178図～第190図）

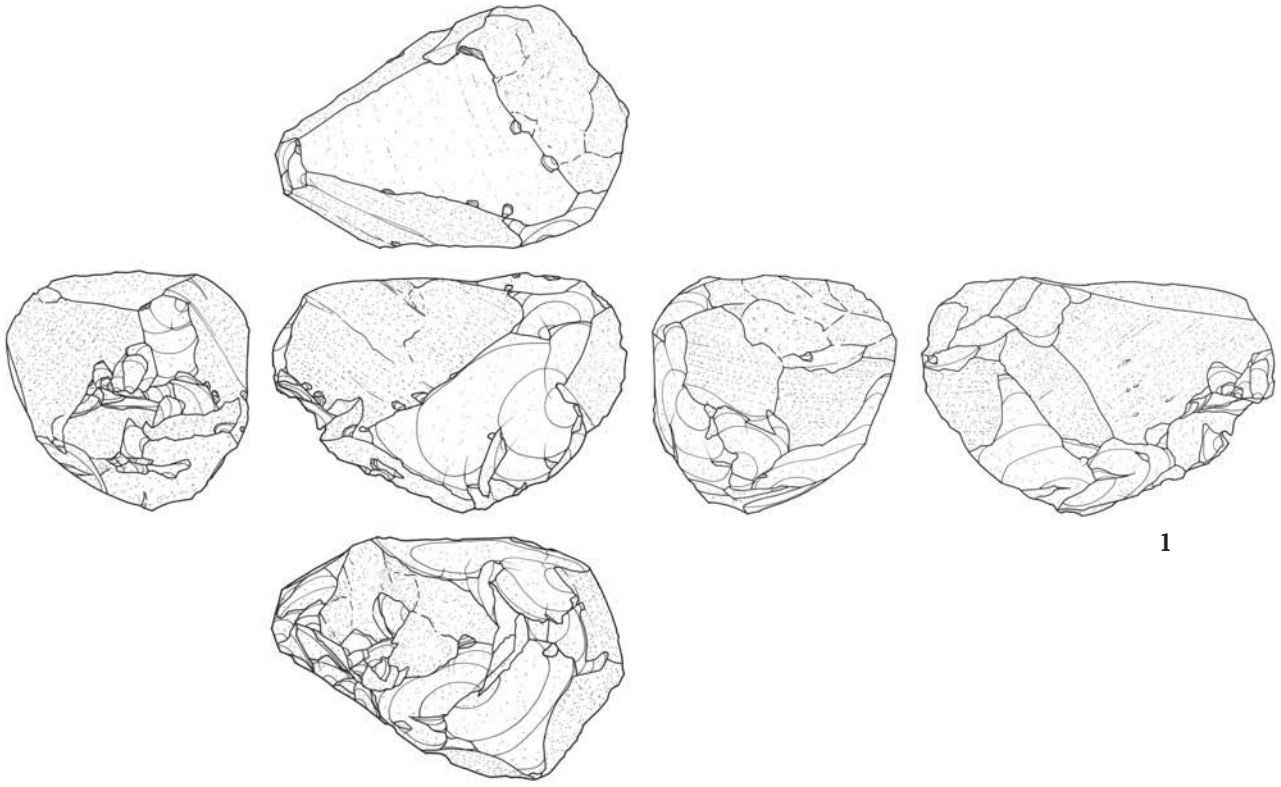
1～13は黒曜石である。**1**は不純物を多く含む素材で，剥離面を打面として連続的に剥離作業を行う。自然面がわずかに残る。**2**は自然面を大きく残す角礫で，薄手の素材のためか数度の剥離で作業を終えている。**3**は自然面を打面として剥離作業を行っている。**4**は主要剥離面を最終の打面として限界まで剥離作業を行っている。**5**は不純物のやや多い石材で，自然面を残さない。**6**は一部自然面を残す角礫素材で，剥離面を最終の作業面としている。**7**はごく小さい剥片の作出で全体が占められている。**9**は大きく自然面を残す角礫で，上下対向する方向で剥離作業を行っている。**10**は平坦な自然面を打面として連続的に作業を行っている。**12**は全体が剥離面で覆われており，自然面を残していない。**13**は剥離面を打面として連続的に剥離作業を行っている。

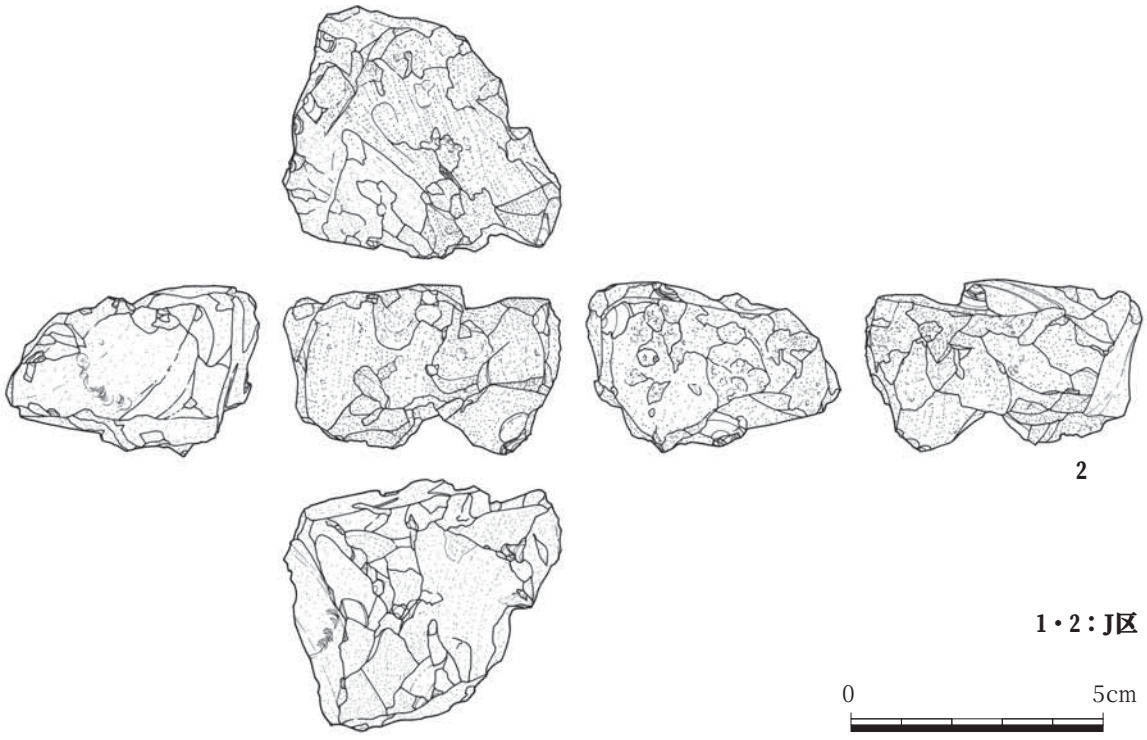
14～22はサヌカイトを素材とするものである。**14**は自然面から作出された大型剥片の主要剥離面を打面として，剥離作業を行っている。**15**は大型の剥片を素材として，周縁から求心的に剥離作業を行っている。**17**は自然面を残さない。**18**は自然面を打面として作出された大型の剥片を素材として，表裏転回させながら剥離作業を行う。**20**は剥片の主要剥離面を打面としてその周縁に剥離作業を行う。**21**は打面を転回させながら多方向から剥離を行い，自然面は残さない。**22**は剥離面を最終的な作業面として剥離を行っている。

23～25は黒曜石である。**23**は剥離面を打面として連続的に縦長の剥片を作出している。**24**は不純物の多い石材である。剥離面を打面として最終的な剥離作業を行っている。**25**は剥片を素材として周縁から剥離作業を行っているが，十分なサイズの剥片を得るには至っていない。

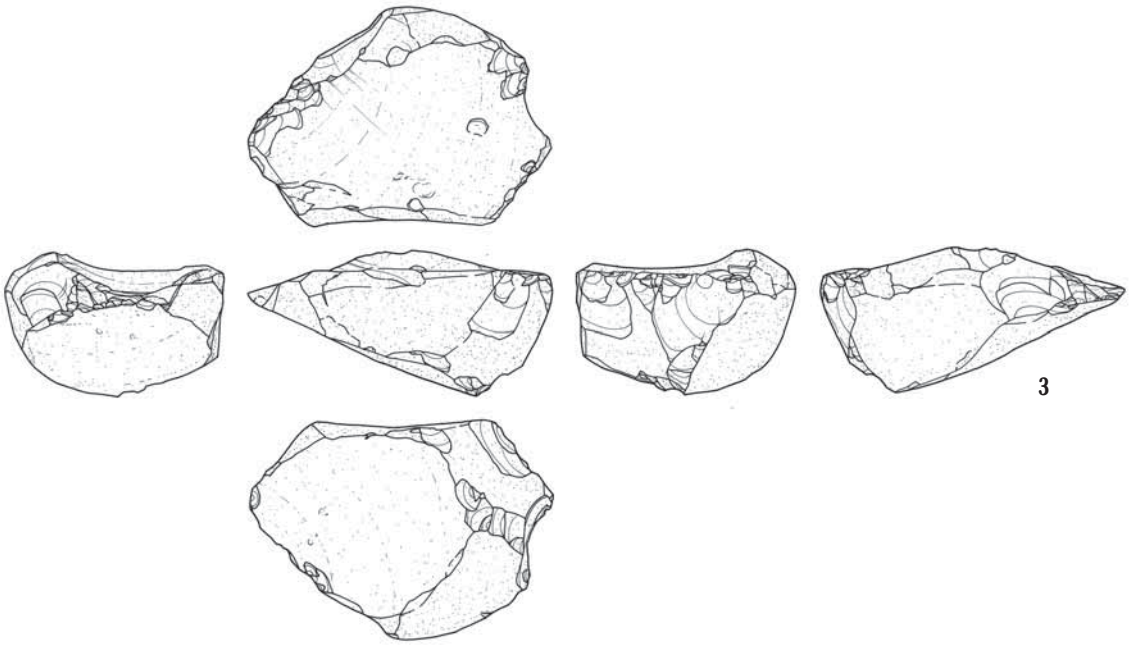
26・**27**はサヌカイトである。**26**は多孔質の自然面をもった円礫で，数度の剥離作業を行っている。**27**は１面に自然面を残すものの，他は剥離面に覆われている。自然面の反対面には稜の摩耗が観察され，掻器などとして使用された可能性がある。

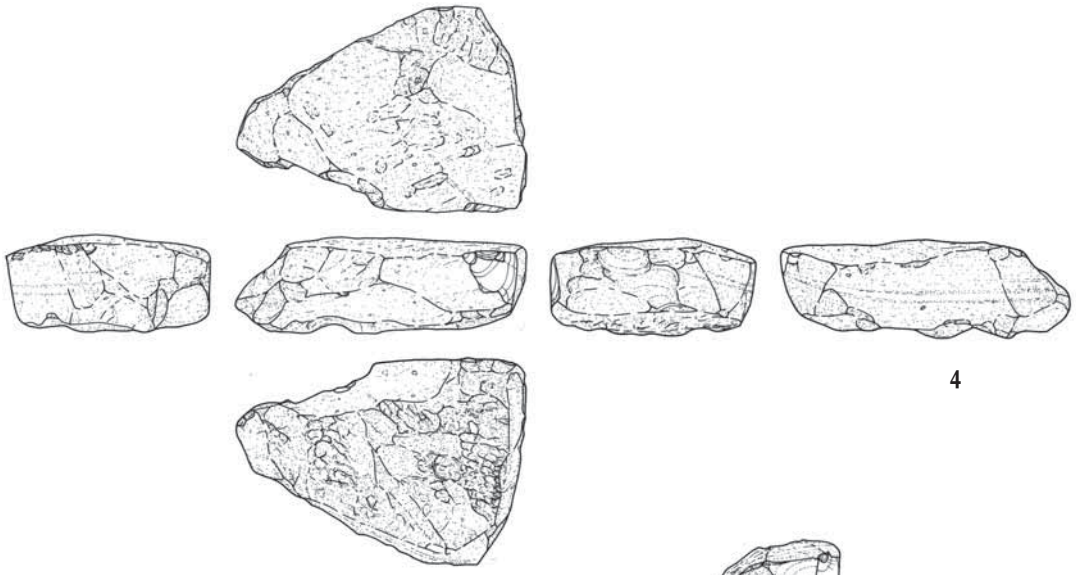
28～32は黒曜石である。**28**は大型の剥片の主要剥離面を打面として，その周縁をめぐるように剥離作業を行っている。**29**は多孔質の自然面に覆われており，不純物の混入も多く，良質の剥片を得るに

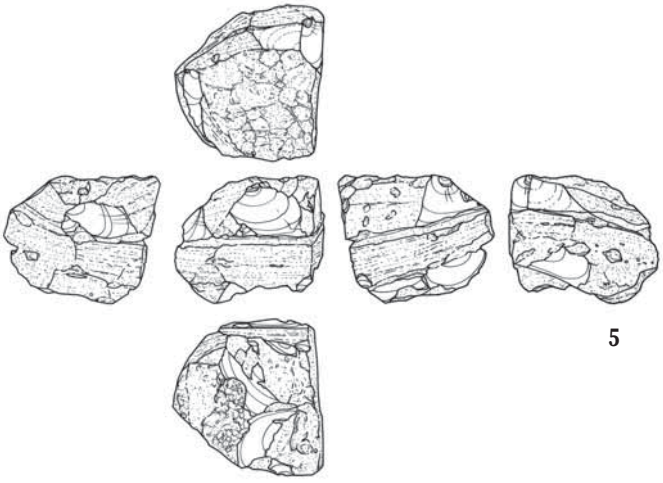




第175図　原石①（S＝2/3）







3：J区
4・5：M区

0　5cm

第176図　原石②（S＝2/3）

は至らなかったものと思われる。**30**は良質の角礫を素材としており，自然面からの剥片作出を行っている。**32**は平坦な自然面を打面として連続的に剥離作業を行っている。

33・34はサヌカイトである。**33**は一部自然面を残すやや平坦な資料で，表裏面ともに周縁から求心的な剥離を行っている。**34**は平坦な自然面を最終的な打面としている。

35〜49は黒曜石である。**35**は打面を転回させながら剥離作業を行う。**36**は良質の石材で，限界まで剥離作業を行っている。**37**は主要剥離面を打面としてその周縁をめぐるように剥片を作出しており，角錐状をなす。**38**は不純物の多い不良質の石材である。**39**は良質の石材で，最終的には剥離面を打面として作業を行っている。**40・41**は打面を転回させながら剥離作業を行う。**40**は不純物を多く含む石材である。**41**はわずかに自然面を残す。**42**は平坦な自然面を最終作業面とする。**43**は作業面を転回させながら剥片の作出を行う。**44**は不純物を多量に含んだ石材で，全体に剥離が及び，自然面は残さない。**45**は平坦な自然面を打面として幅の狭い縦長の剥片を連続的に作出しており，角錐状を呈する。**46**は自然面を大きく残す資料で，打面を転回させながら剥離を行う。**47**は全面に剥離が及んでおり，自然面をほぼ残さない。**48**は平坦な自然面を打面として，連続して剥離を行う。**49**は剥離が全体に及んでおり，自然面を残さない。

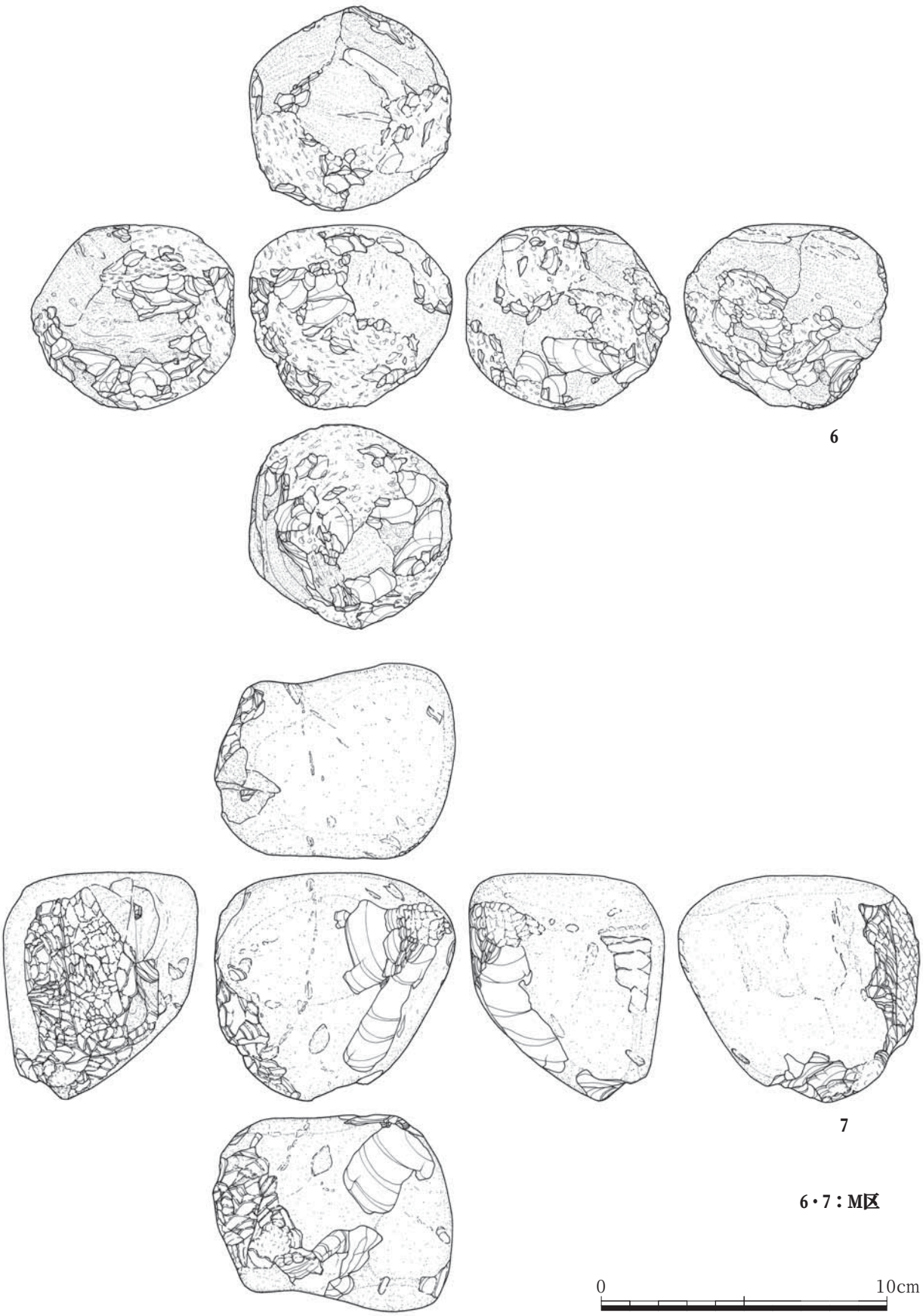
50〜56はサヌカイトである。**50**はやや平坦な形状をなし，上下面で剥離が行われている。下面の稜には摩耗がみられ，石核として以外に何らかの目的で使用された可能性がある。**51・52**は打面を転回させながら多方向から剥離を行う。**54**は自然面を打面として多方向から剥離を行う。**55・56**は素材剥片の周縁に上下両面から剥離を行っている。

57〜61は黒曜石である。**57**は不純物を含む石材である。**59**は主要剥離面を打面としてその周縁をめぐるように剥離作業を行う。**60**は打面を転回させながら多方向から剥離作業を行う。**61**は自然面を残すものの，多方向からの剥離により限界まで剥離を行っている。

62はサヌカイトを素材としており，多方向から剥離作業を行っている。

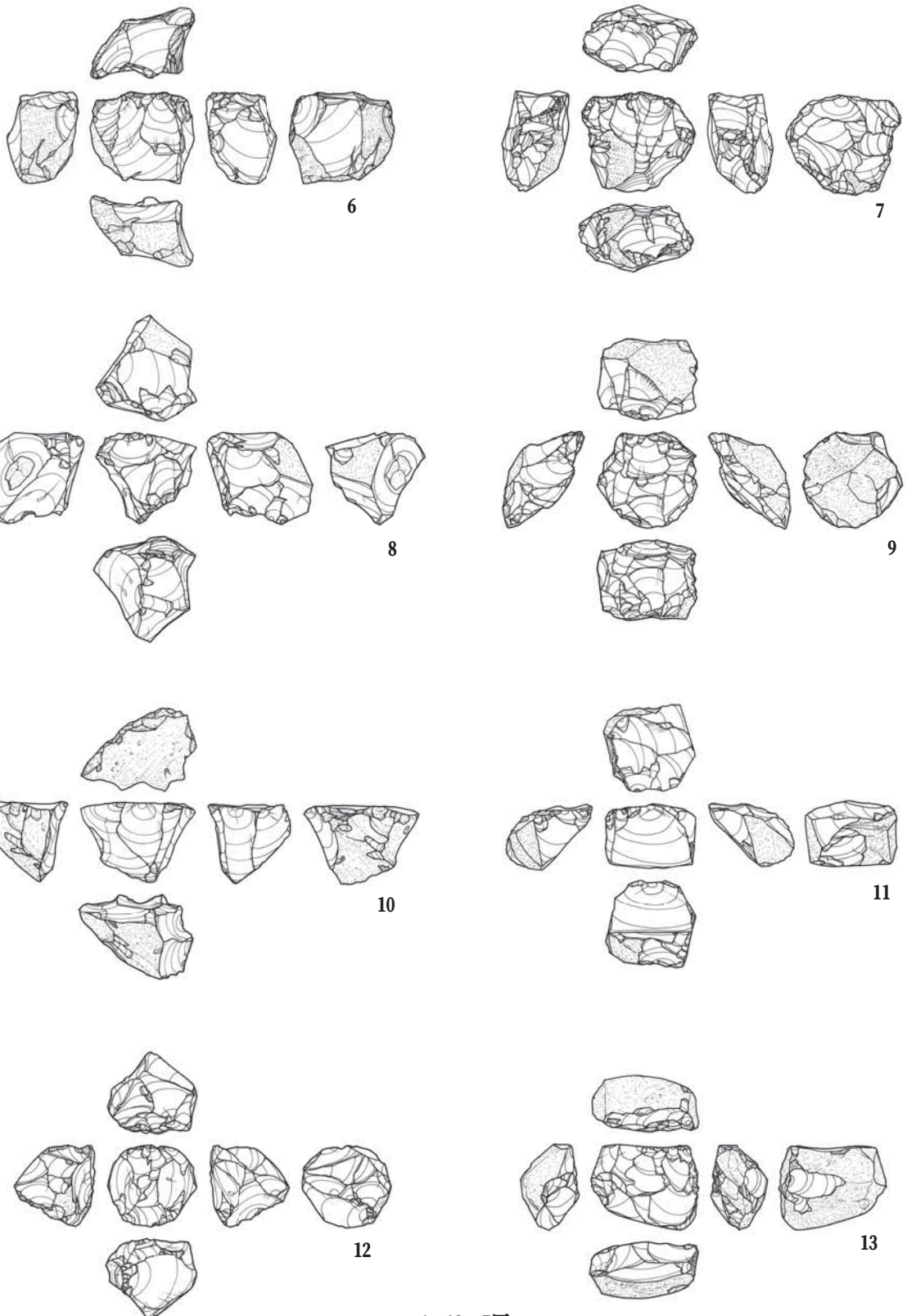
63〜68は黒曜石の資料である。**63**は暗灰色の黒曜石で，比較的扁平な剥片素材をもとに上下両面からの剥離作業を行っている。**64**は平坦な自然面を打面として選択している。**65**は水磨の原石を用いており，稀有である。自然面を打面に周縁をめぐるように剥離を行う。**66**は剥離面を打面として最終的な作業を行っている。**67**は全体が剥離面で覆われ，自然面は残さない。**68**は剥離面を最終打面としている。

69はサヌカイトを素材としており，自然面を残さず全体が多方向からの剥離によって覆われる。



第177図　原石③（S＝1/2）

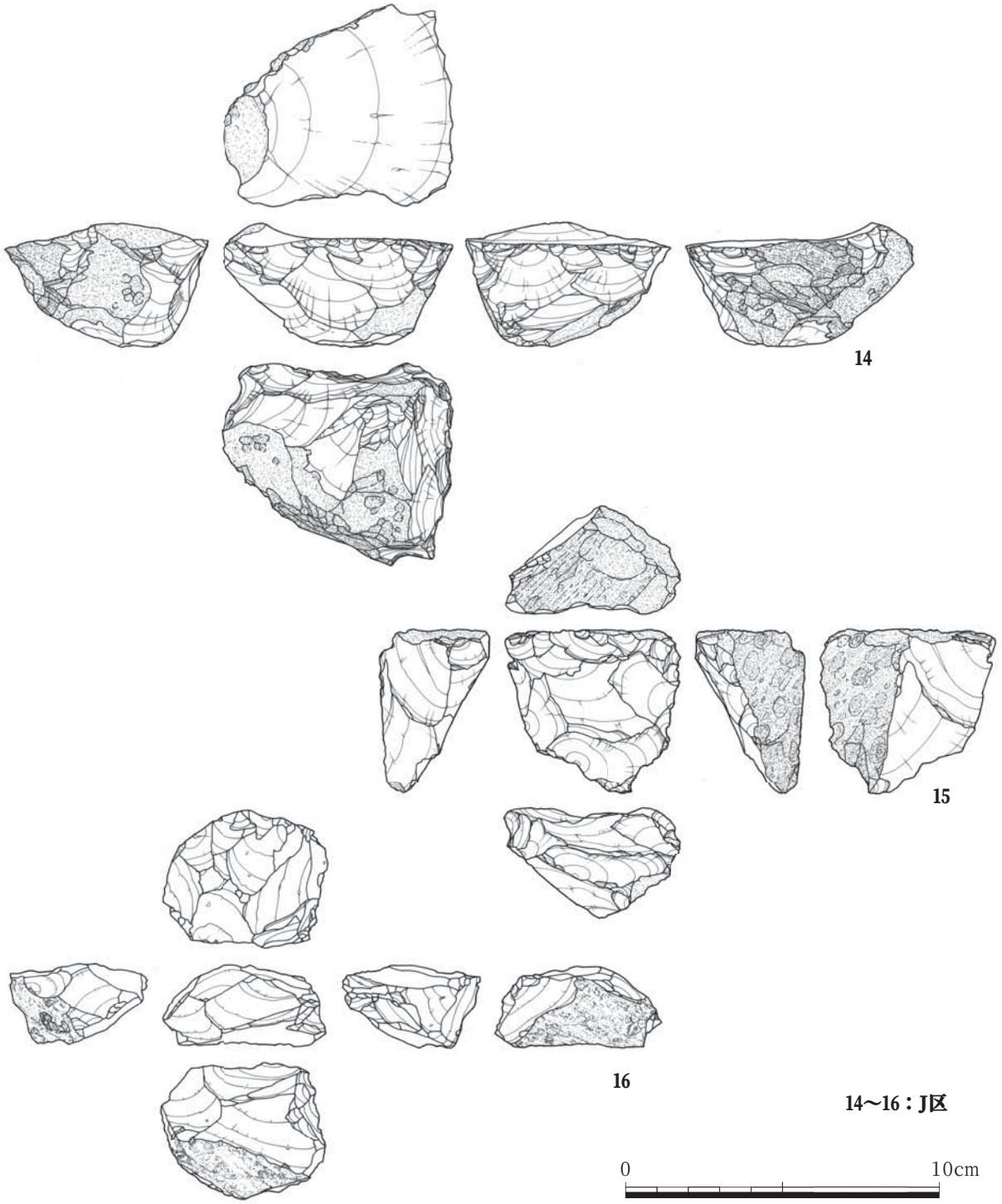
第178図　石核①（S＝2/3）



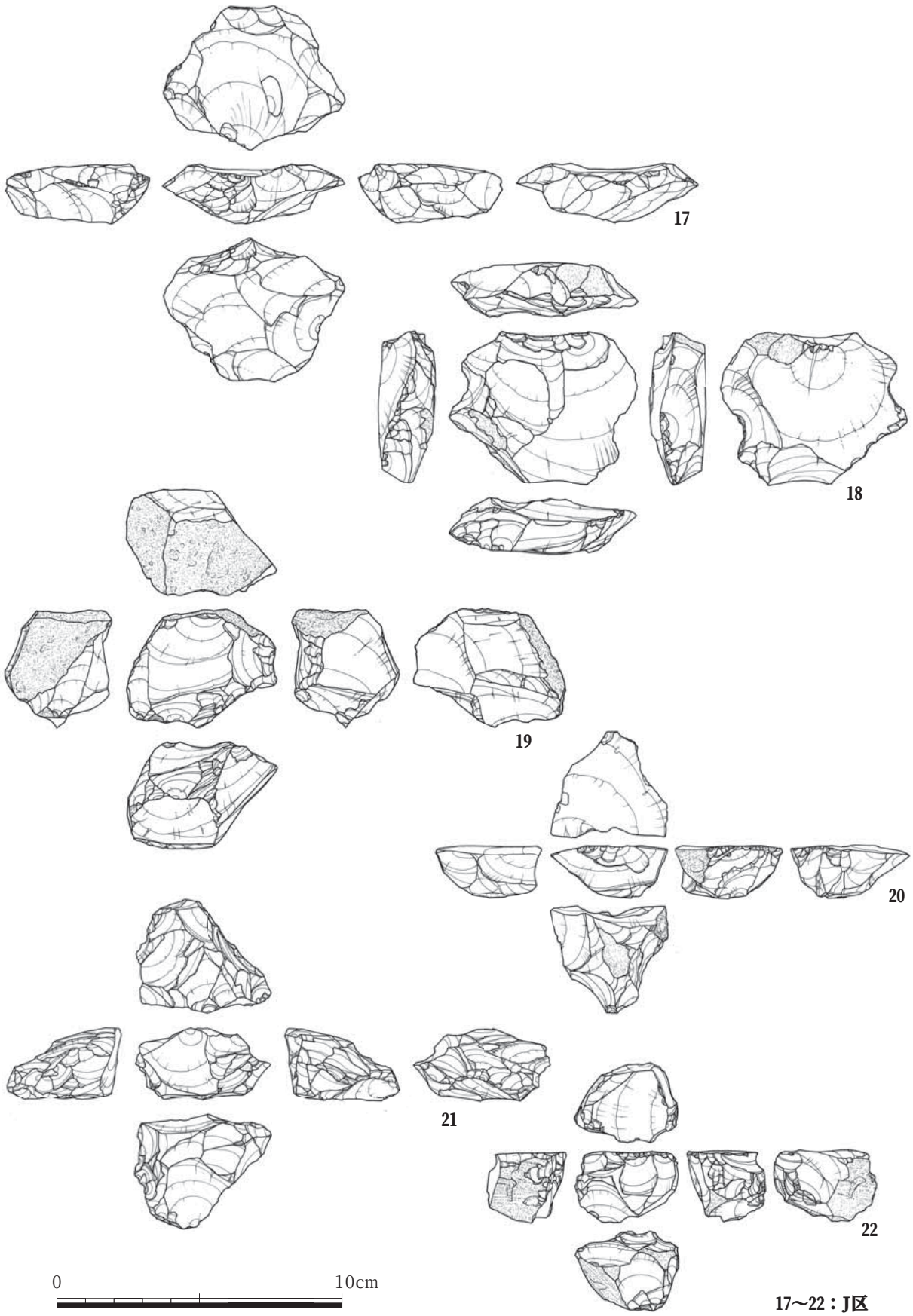
6～13：J区

0　5cm

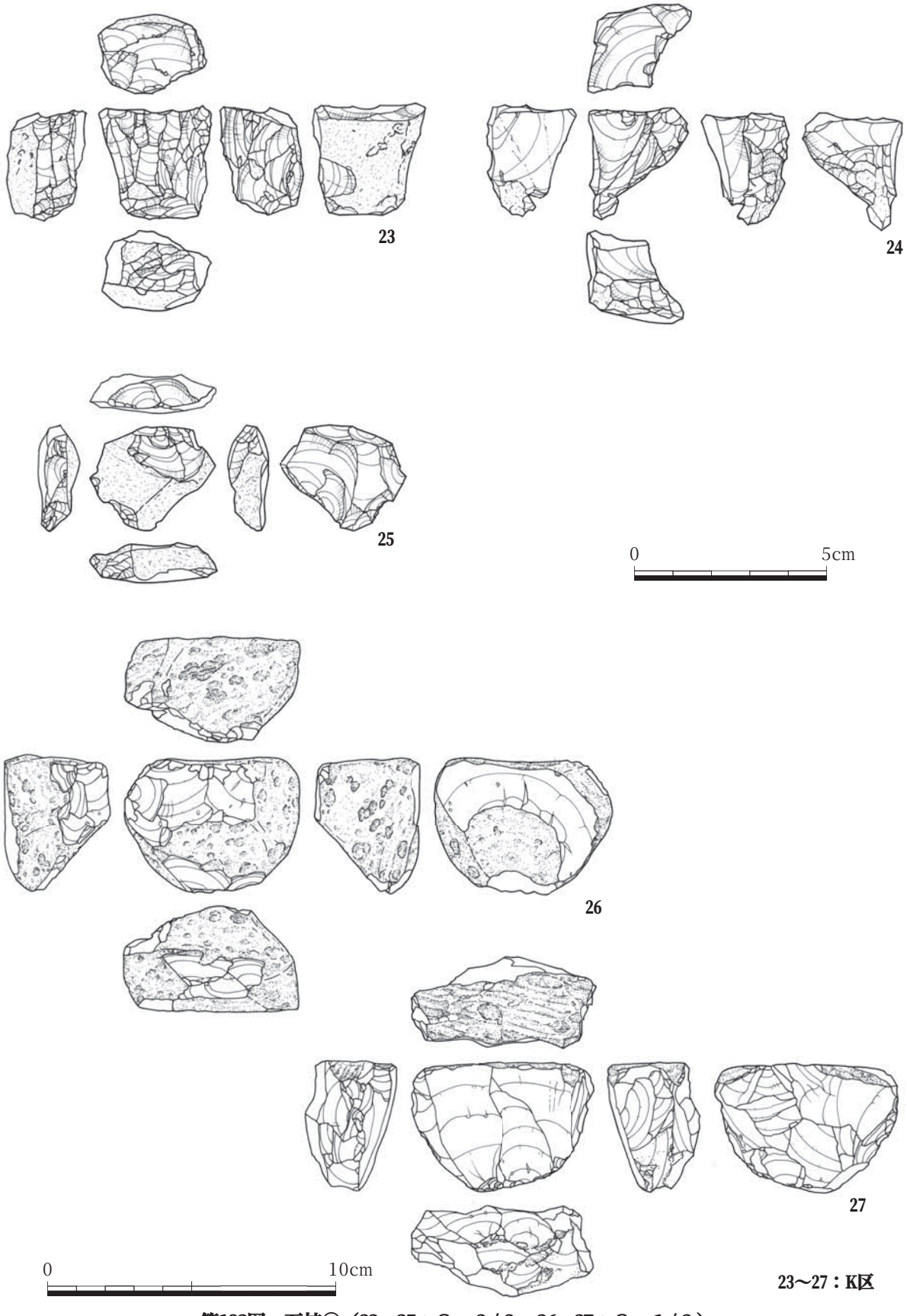
第179図　石核②（S＝2/3）



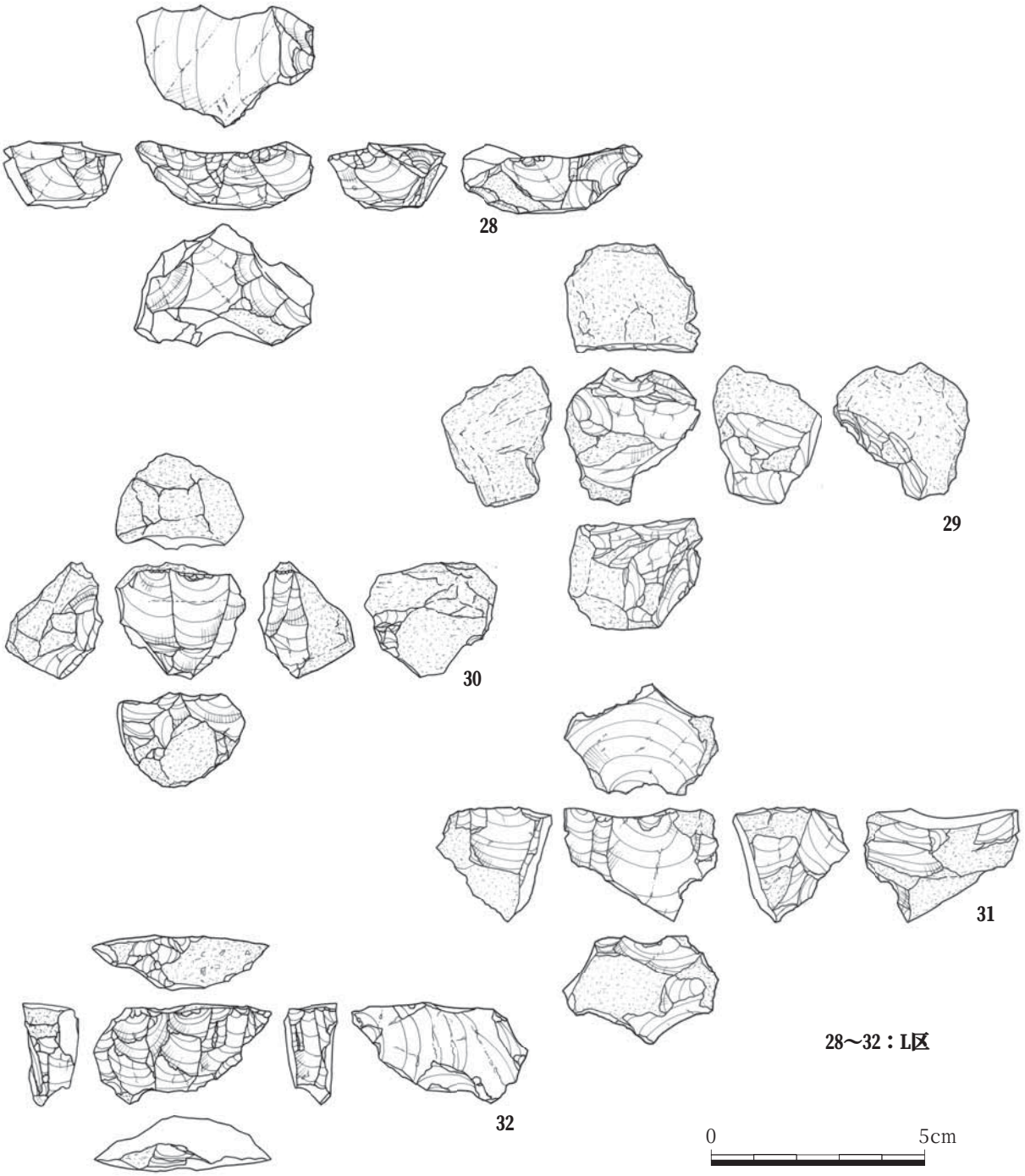
第180図　石核③（S＝1/2）



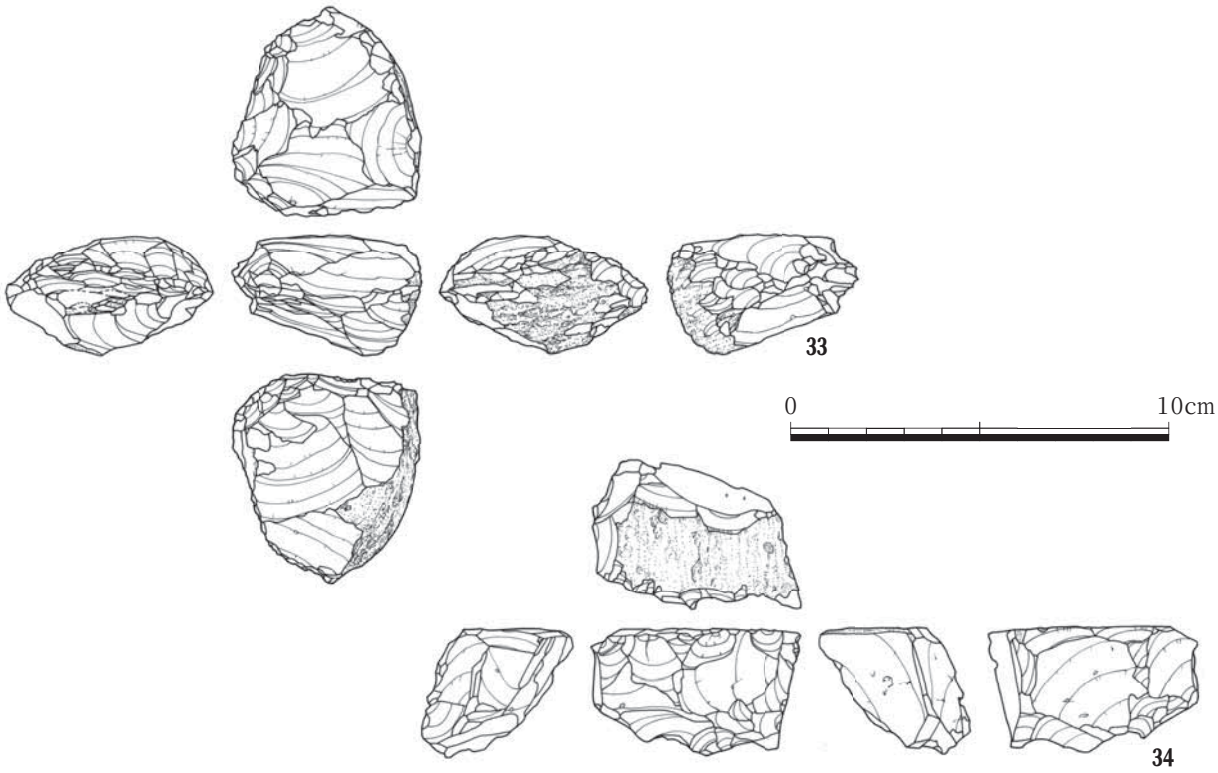
第181図　石核④（S＝1/2）



第182図　石核⑤（23～25：S＝2/3，26・27：S＝1/2）



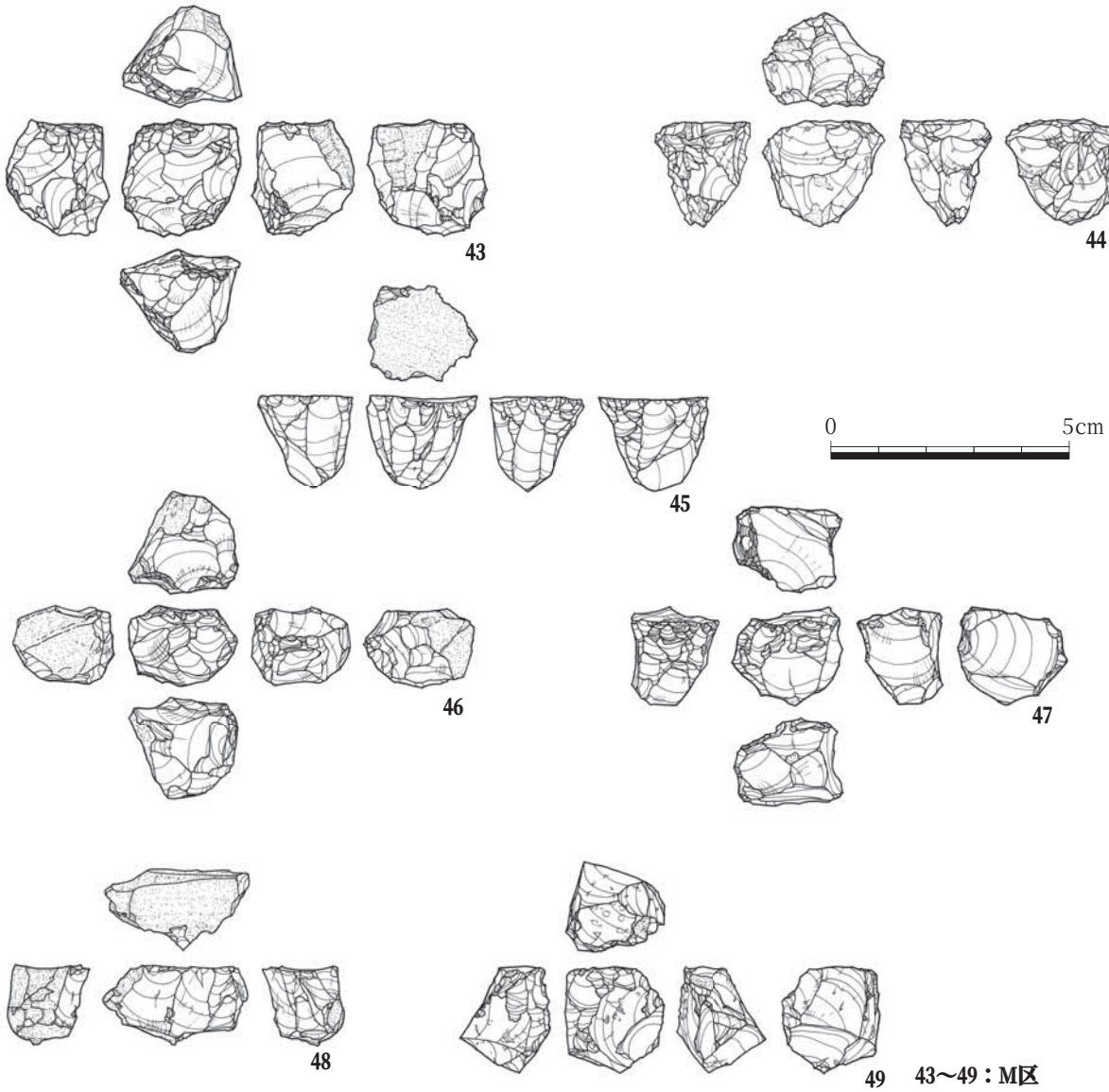
第183図　石核⑥（S＝2/3）



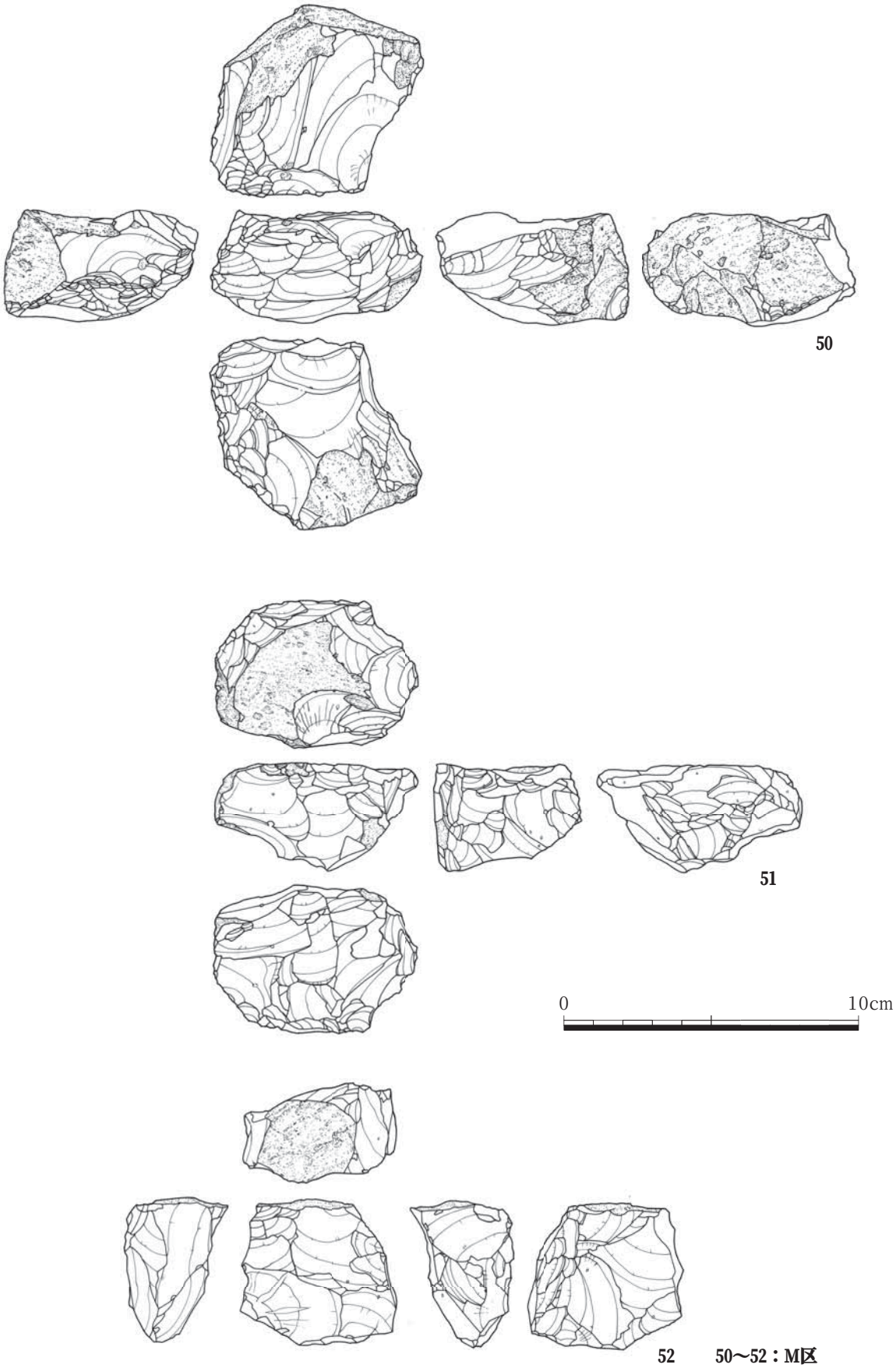
33・34：L区

第184図　石核⑦（S＝1/2）

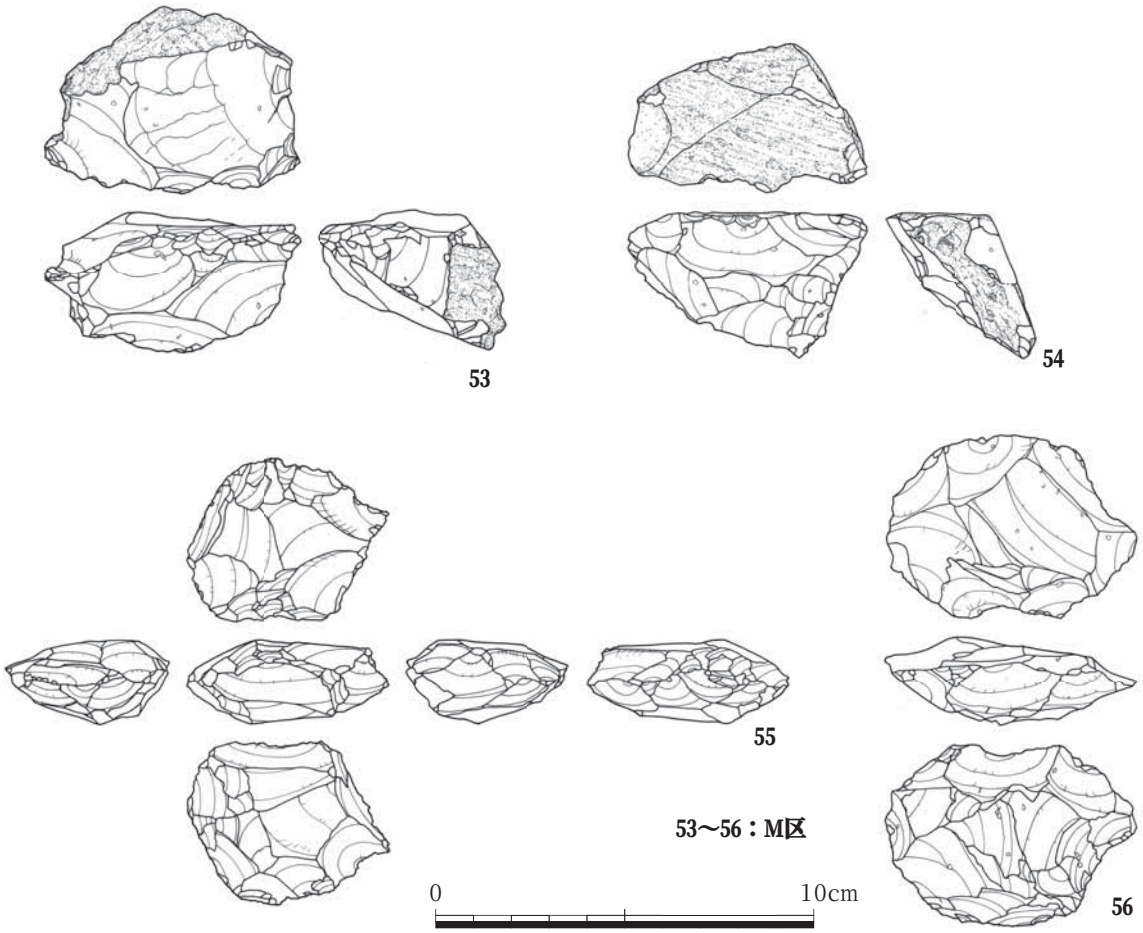
第185図　石核⑧（S＝2/3）



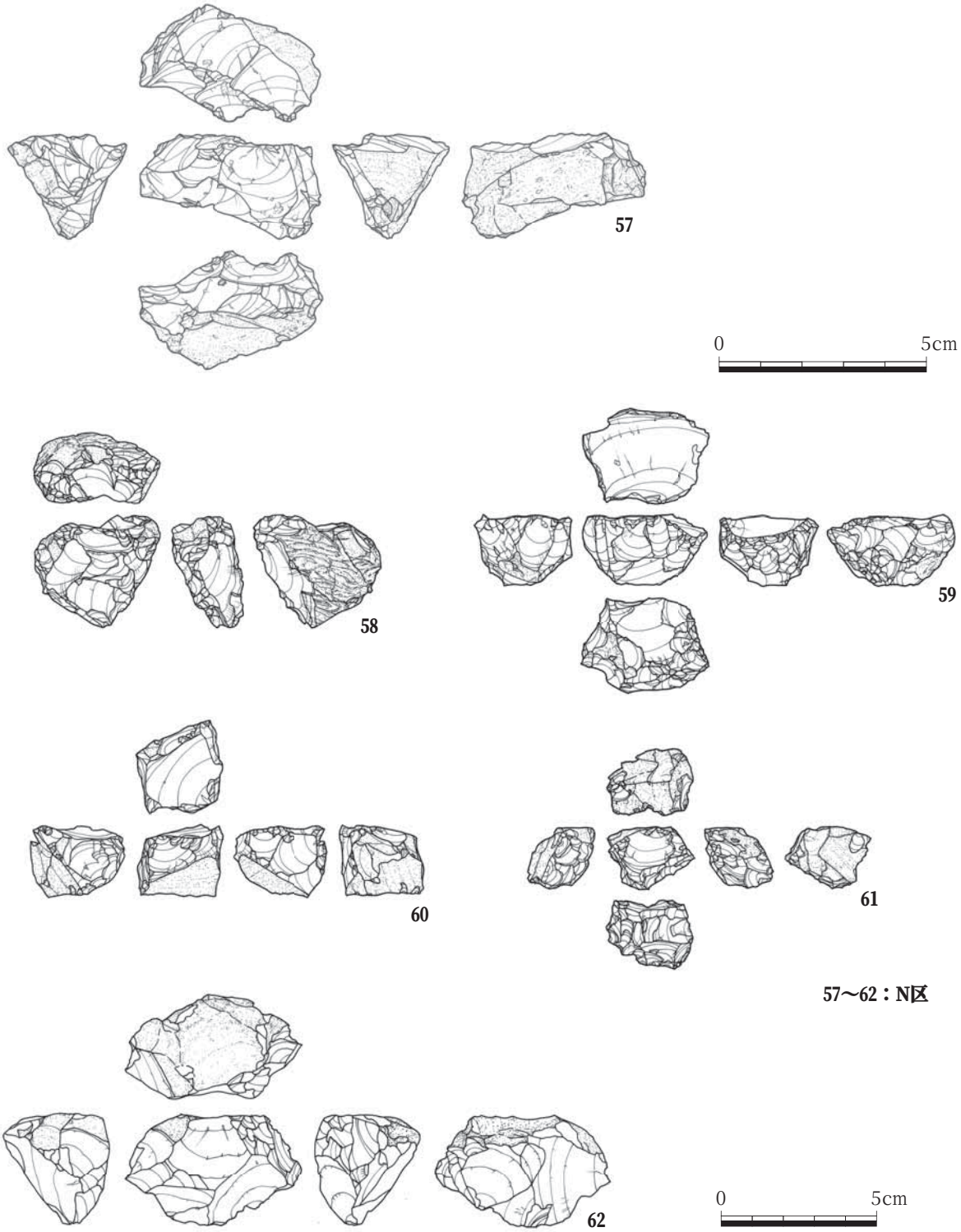
第186図　石核⑨（S＝2／3）



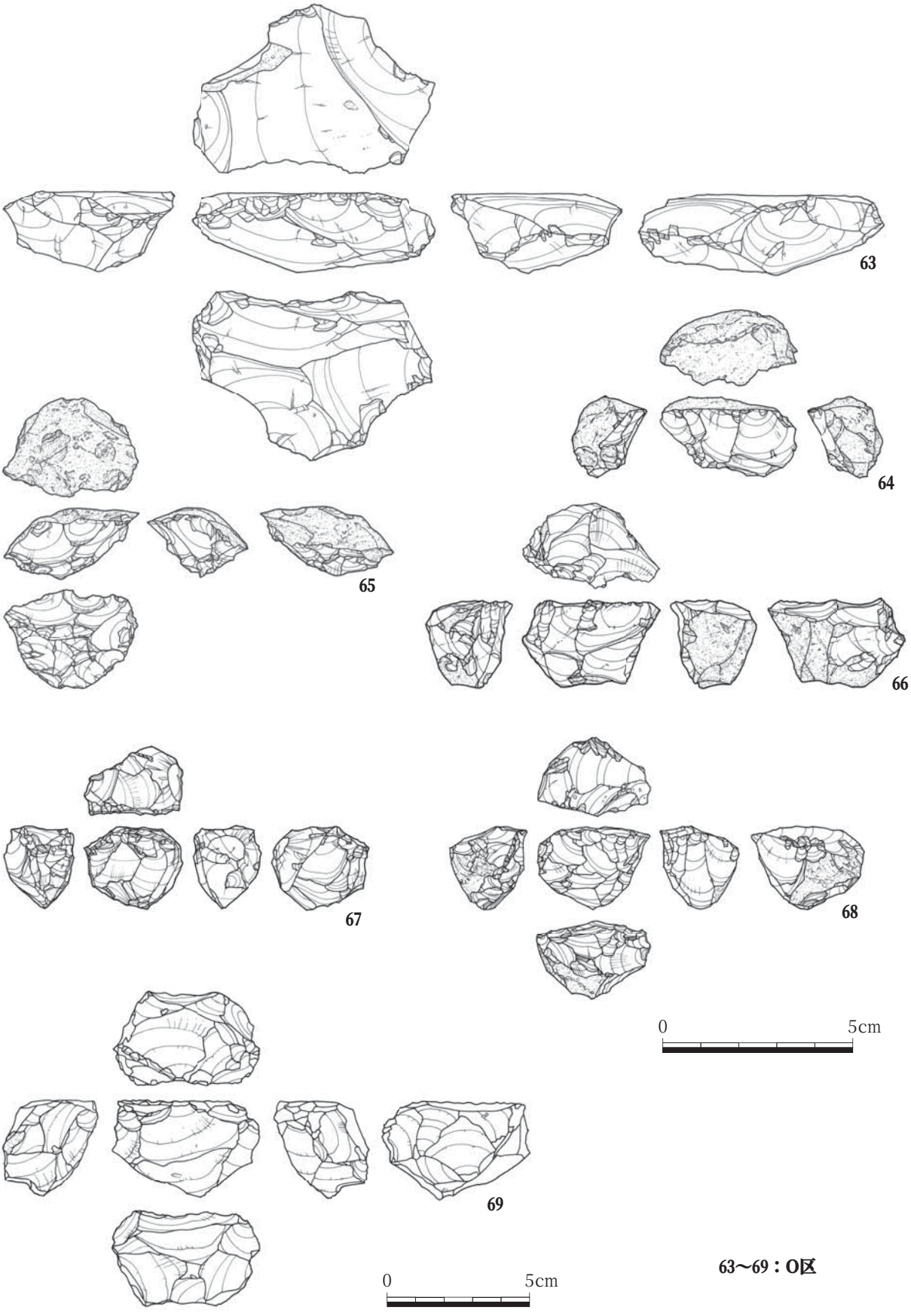
第187図　石核⑩（S＝1/2）



第188図　石核⑪（S＝1/2）



第189図　石核⑫（57～61：S＝2/3，62：S＝1/2）



63～69：O区

第190図　石核⑬（63～68：S＝2/3，69：S＝1/2）

スクレイパー（第191図～第197図）

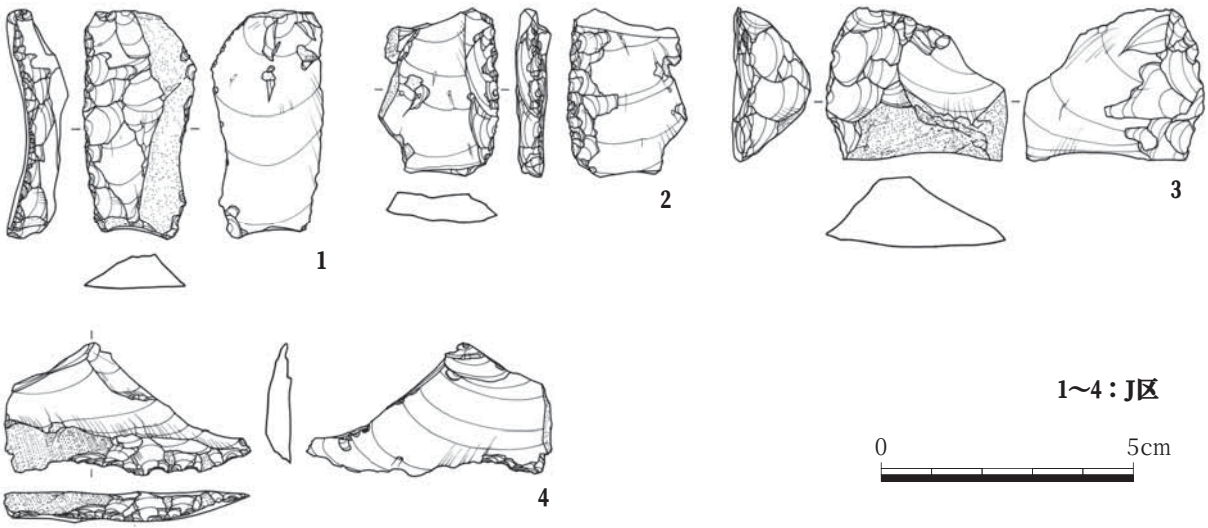
1～4は黒曜石製である。**1**は自然面を打面として作出した縦長の剥片を素材としており，背面にも自然面を残す。左側辺に連続的に剥離加工を行う。**2**は縦長の剥片素材で，打点付近と末端を欠く。右側辺に両面から剥離が加えられている。**3**は厚手，やや幅広の素材の打点付近から左側辺にかけて両面に加工を施す。**4**は薄手の横長の剥片素材で，打点付近と右側辺を欠く。末端に残る自然面を剥ぐように加工が連続的に行われる。

5～16はサヌカイトを素材とするものである。**5**は片面に大きく自然面を残し，側辺に片面から連続的な加工を行う。**6**は打点付近を欠いた素材の左側辺に両面から加工を施している。**7**は表裏両面に周縁をめぐるように整形を行い，最終的にやや弧状となる刃部を作出している。**8**は全体に整形のための剥離が及んでおり，長軸両側辺にはさらに細かい剥離加工が加えられている。長軸両側辺と末端部に摩耗が認められ，末端部には欠損が確認できることから，打製石斧の可能性もある。**9**は全体が整形剥離で覆われた細長い形状の素材で，その長軸，一方の側辺に両面からの刃部形成を行う。

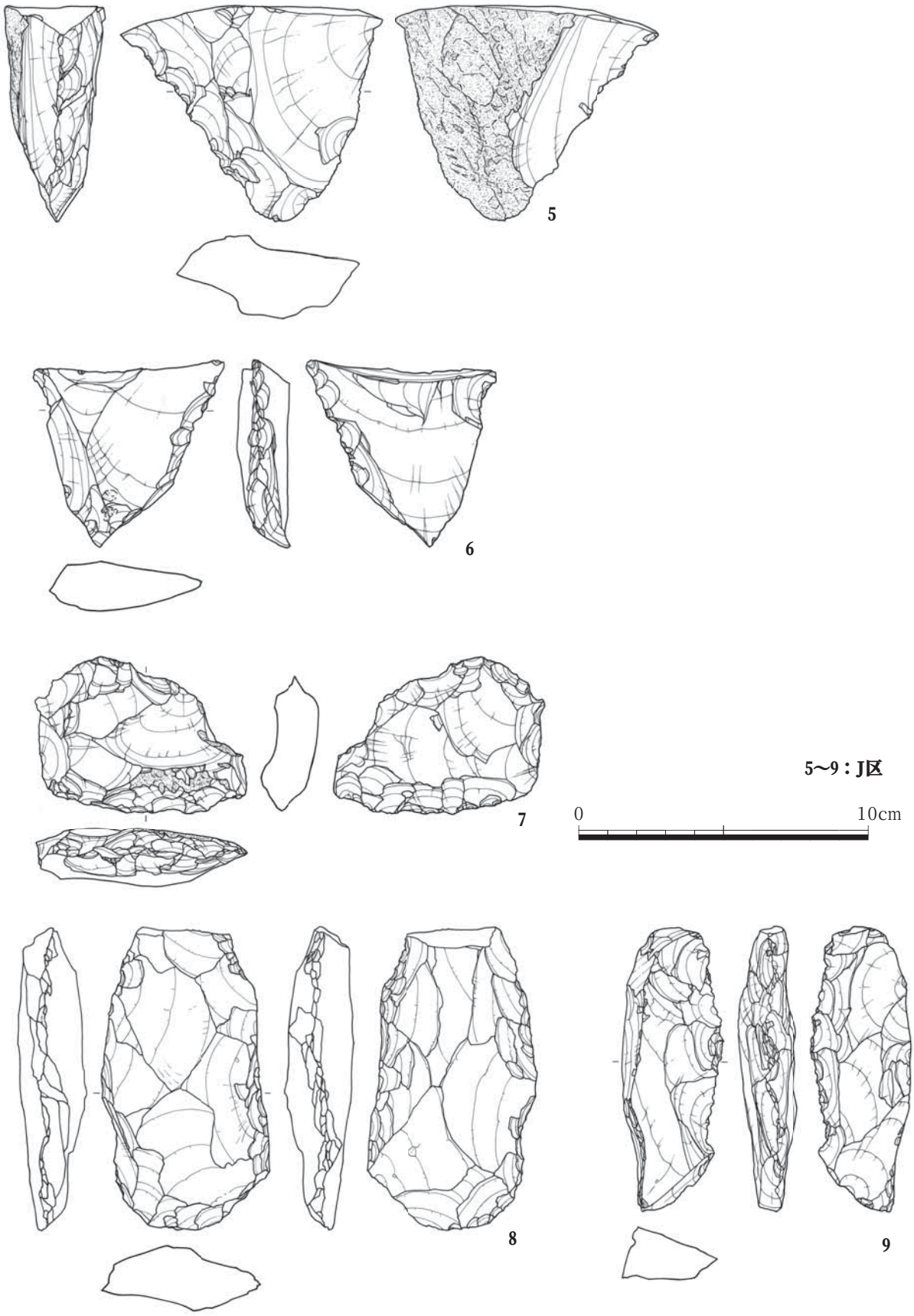
10・11は縦長の剥片の両側辺腹面側に細かく剥離が連続する。**10**は素材剥片の末端を欠く。**12**は横長の剥片を素材として整形を行った後，周縁をめぐらせるように両面に細かい剥離を入れる。**13**は弧状をなす刃部に使用によるものと思われる摩耗がみられる。**14**は台形状に整えられた厚手素材の上下を刃部としており，刃部には使用によるものと思われる摩耗がみられる。**15**は縦長の剥片素材に整形を施したものと思われ，直線的な刃部を作出している。**16**は自然面を残す薄手の素材で，弧状をなす縁辺に細かく加工を施す。

17・18はサヌカイト製である。**17**は左右の側辺に細かい剥離を連続的に入れる。**18**はサイズのわりに厚手で，全体に整形のための剥離が及ぶ。やや弧状をなす下辺には使用によるものと思われる摩耗が観察される。

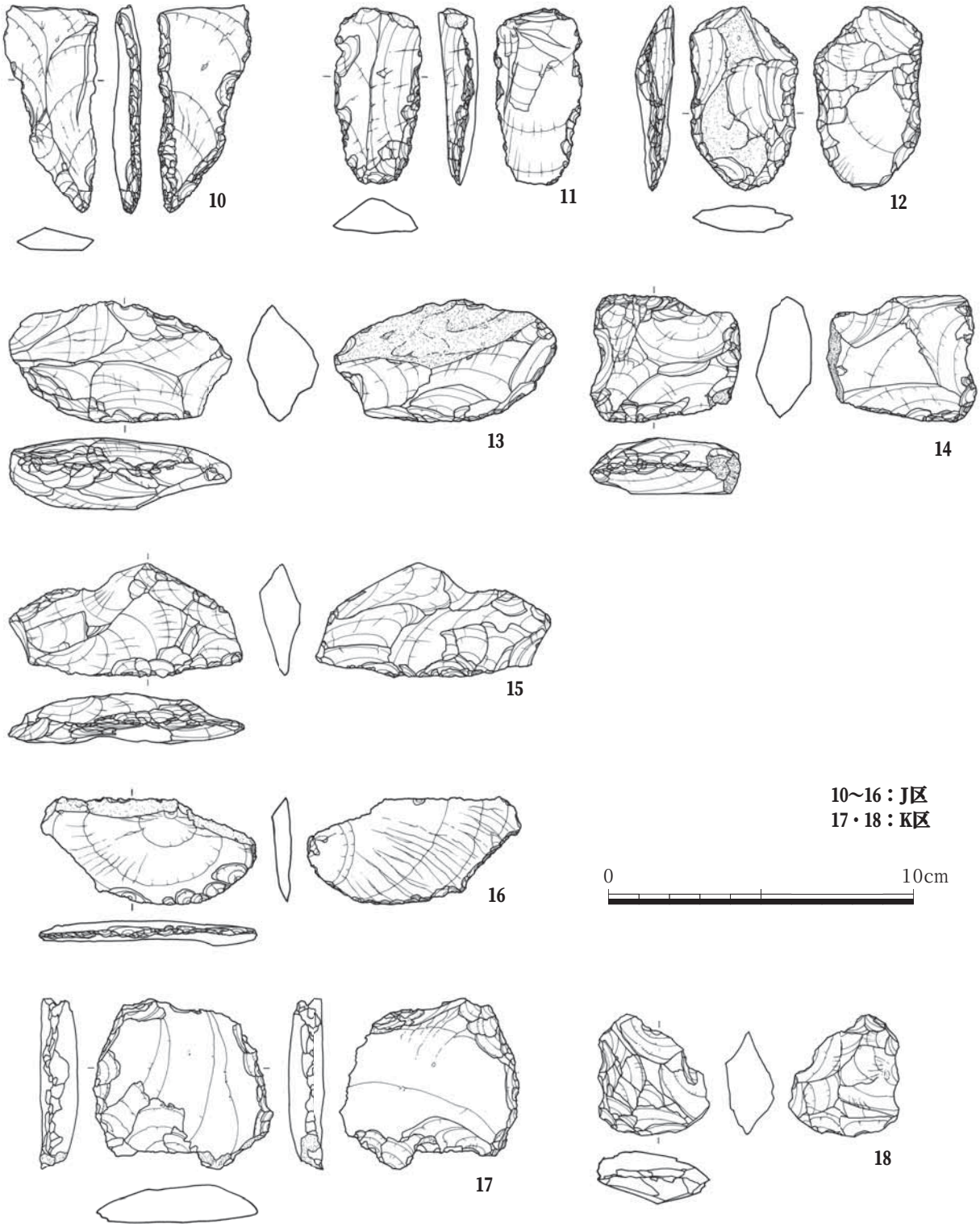
19～25はサヌカイト製である。**19**は横長の剥片を素材とした大型品である。全体に整形剥離が行われており，さらにやや内湾する両側辺を中心に細かい剥離が認められる。形状から打製石斧の可能性もあるが，末端や側縁に目立った摩耗はみられない。**20**は背面に自然面をもつ断面三角の素材で，直



第191図　スクレイパー①（S＝2/3）



第192図　スクレイパー②（S＝1/2）



第193図　スクレイパー③（S＝1/2）

線的な左右両側辺に細かい剥離が入る。**21**は背面に大きく自然面を残す先細りとなる剥片を素材としており，両側辺ともに腹面側から自然面に向かって細かい剥離が連続している。**22**は断面三角をなす縦長の剥片素材で，腹面側からの連続的な剥離が両側辺に行われている。**23**は幅の広い剥片の打面付近は除去し，直線的な末端部に細かい剥離を連続させる。**24**は自然面を打面とする素材で，背面にも大きく自然面をとどめる。わずかに弧状をなす最も長い一辺に背面側から連続的に細かい剥離が施される。**25**は一部自然面を残し，下辺に細かい剥離が入るが，自然面の残る左縁辺にも使用によるものと思われる摩耗が認められる。

26はサヌカイトを素材とする。**26**は自然面を打面として作出された横長の剥片素材で，右側辺から末端にかけて両面から整形を行い，さらに末端部には腹面側からの細かい連続的な加工を行ってやや弧状をなす刃部とする。**27**は頁岩製で，一部水摩の自然面を残す。長軸の一片を刃潰し状の加工を行っており，もう一方を刃部としたものと思われる。

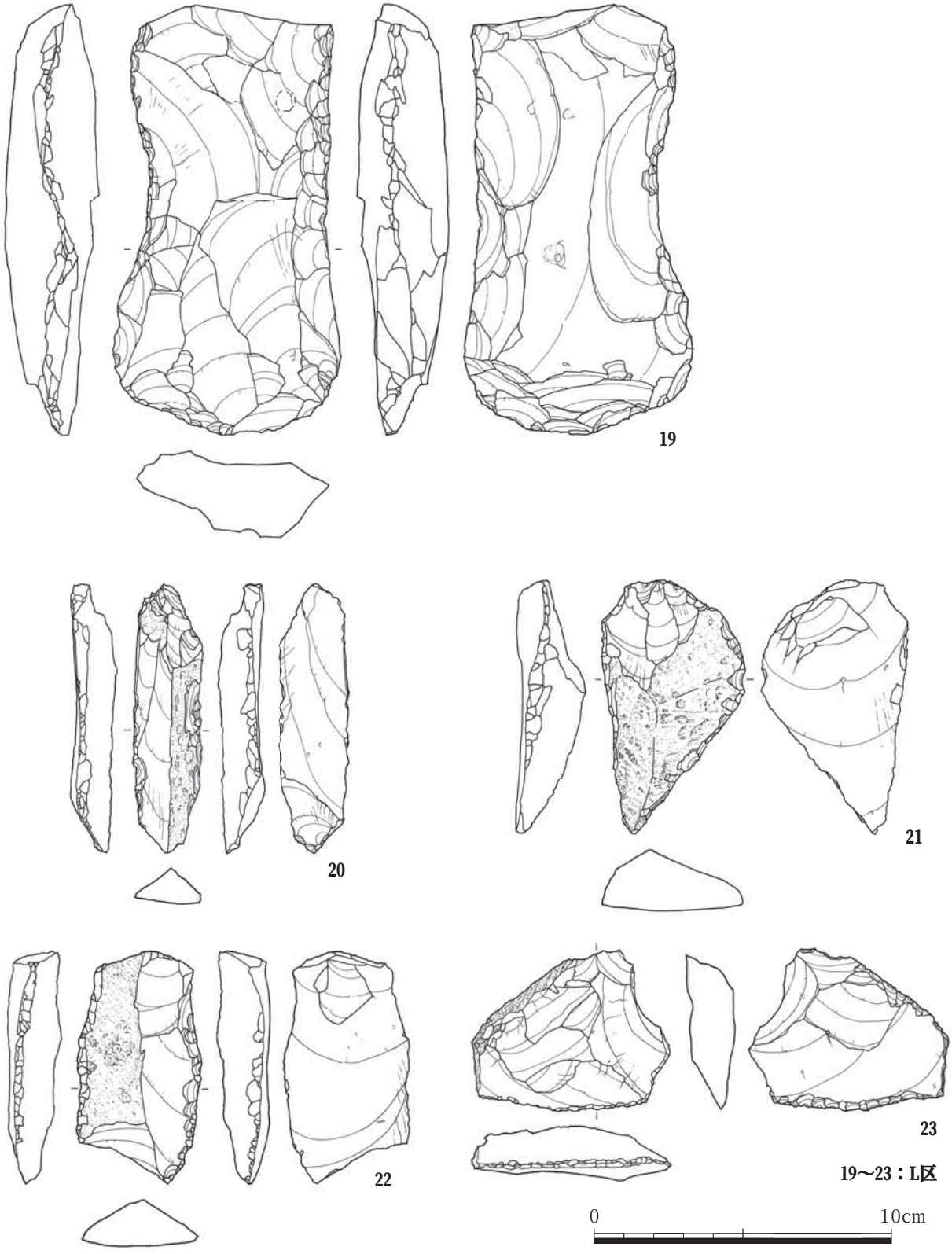
28〜30はサヌカイトを素材とする。**28**は一部自然面を残しており，そこを打面とする縦長剥片であったものと思われる。大まかな整形剥離ののちに周縁に細かい剥離を施しており，特に下辺の直線的な部分には使用によるものと考えられる摩耗が観察される。**29**は打点付近を除去しており，細かい剥離によって直線的な刃部を作出する。**30**は自然面を打面とする先細りとなる剥片素材の左側辺に連続的な剥離を施す。

31は黒曜石製である。背面から末端にかけて大きく自然面を残しており，左側辺は両面から，右側辺は背面からのみの剥離作業を行う。**32**はサヌカイト，縦長の剥片が素材で，直線的な左側辺，弧状をなす右側辺ともに腹面からの剥離を行っている。

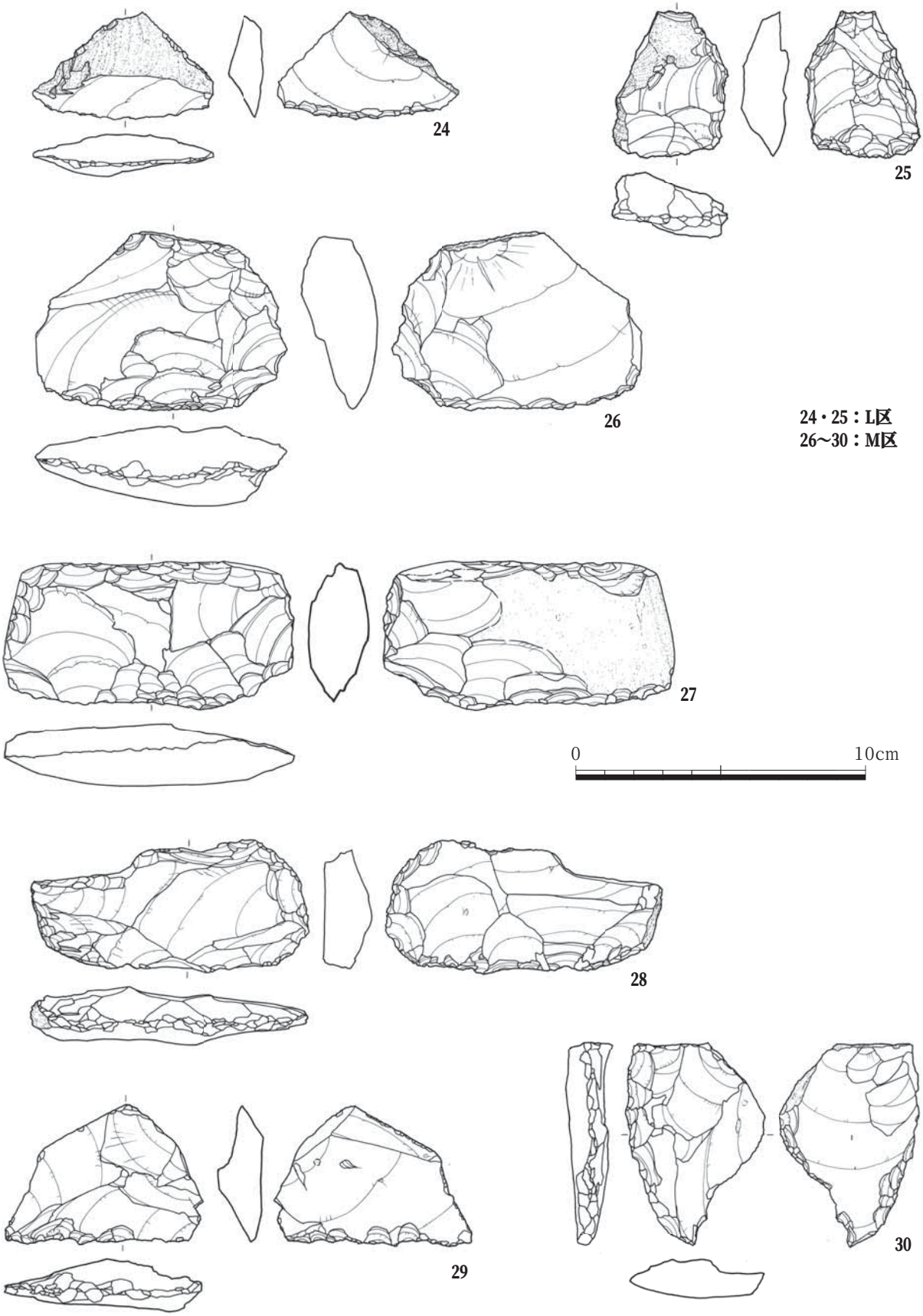
33〜40はサヌカイト製である。**33**は石核から作出した縦長の一次剥片で，右側辺に腹面側からの加工を連続的に行っている。**34**は縦長の剥片素材の打点付近を除去したのち，一辺にやや弧状をなすように加工を加えている。**35**は周縁をめぐるように加工が行われるが，弧状をなす部分に使用によるものと思われる摩耗が観察される。**36**は縦長の剥片素材で，左側辺に比較的急角度の加工が腹面側から行われ，鋸歯状となっている。**37**は縦長の剥片素材で，左側辺の腹面側から加工が行われる。**38**は薄手の素材で，打面付近は除去する。左右両側辺に加工がみられる。**39**は背面に大きく自然面を残しており，周縁に細かい加工をめぐらせる。**40**は自然面を打面として作出された小型の剥片で，周縁に細かい加工をめぐらせる。

41・42はサヌカイト製である。**41**は自然面を打面として作出された剥片の末端に両面から加工を行い，円弧状の刃部とする。**42**は腹面側にわずかに素材面を残すものの，全体に整形を施している。

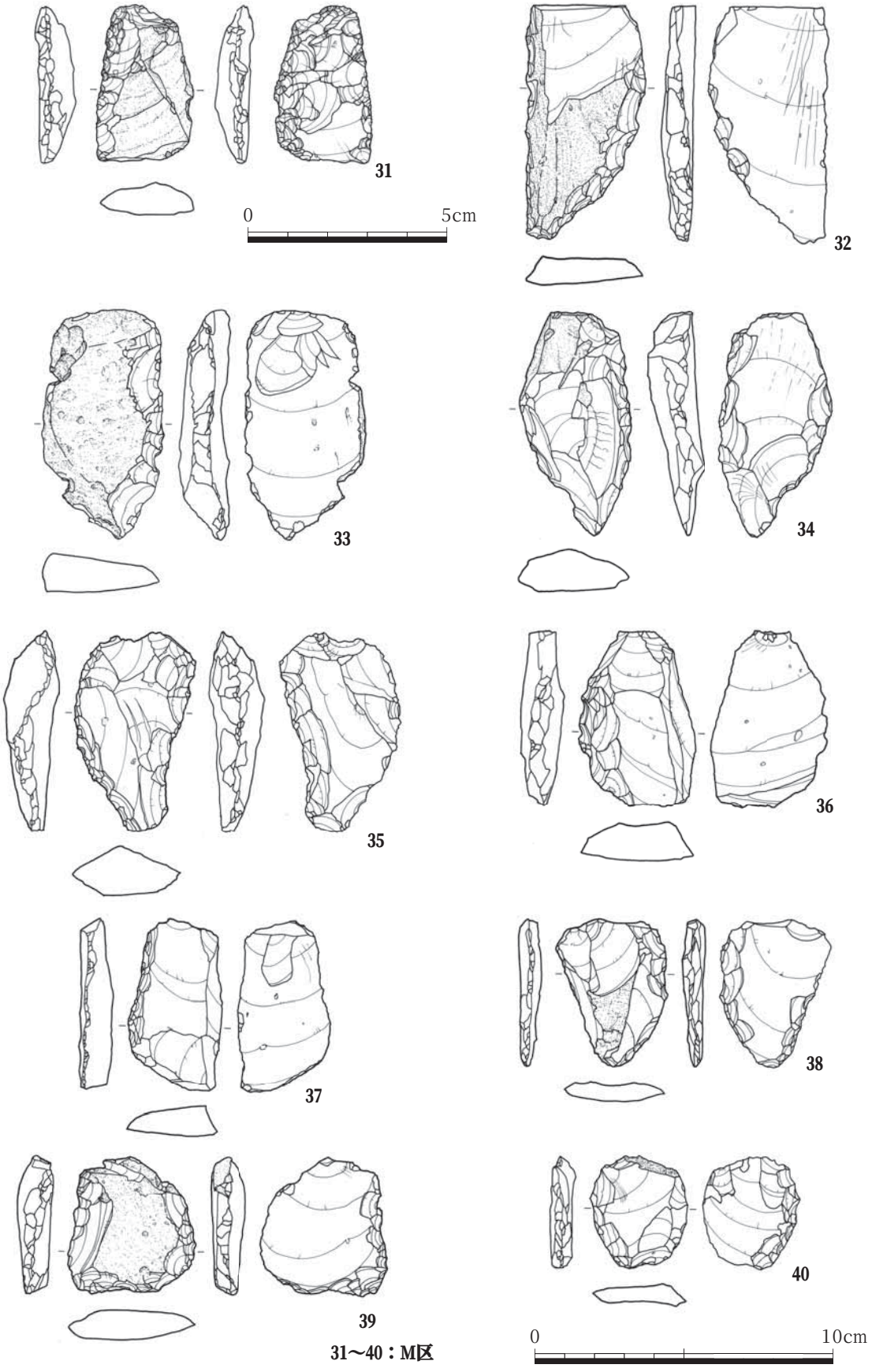
43〜46はサヌカイト製である。**43**は自然面を打面としている剥片素材で，その右側辺と末端に連続した剥離を加えている。**44**は自然面を残す左側辺に両面からの加工を行っている。**45**は自然面を打面として作出された左右の側辺が平行する厚手の縦長剥片で，おもに左側辺の腹面側に連続的に加工が観察される。**46**は自然面を打面とする縦長の素材で，末端部は欠く。左右両側辺に細かい剥離が観察されるが，右側辺腹面側に特に集中する。



第194図　スクレイパー④（S＝1/2）

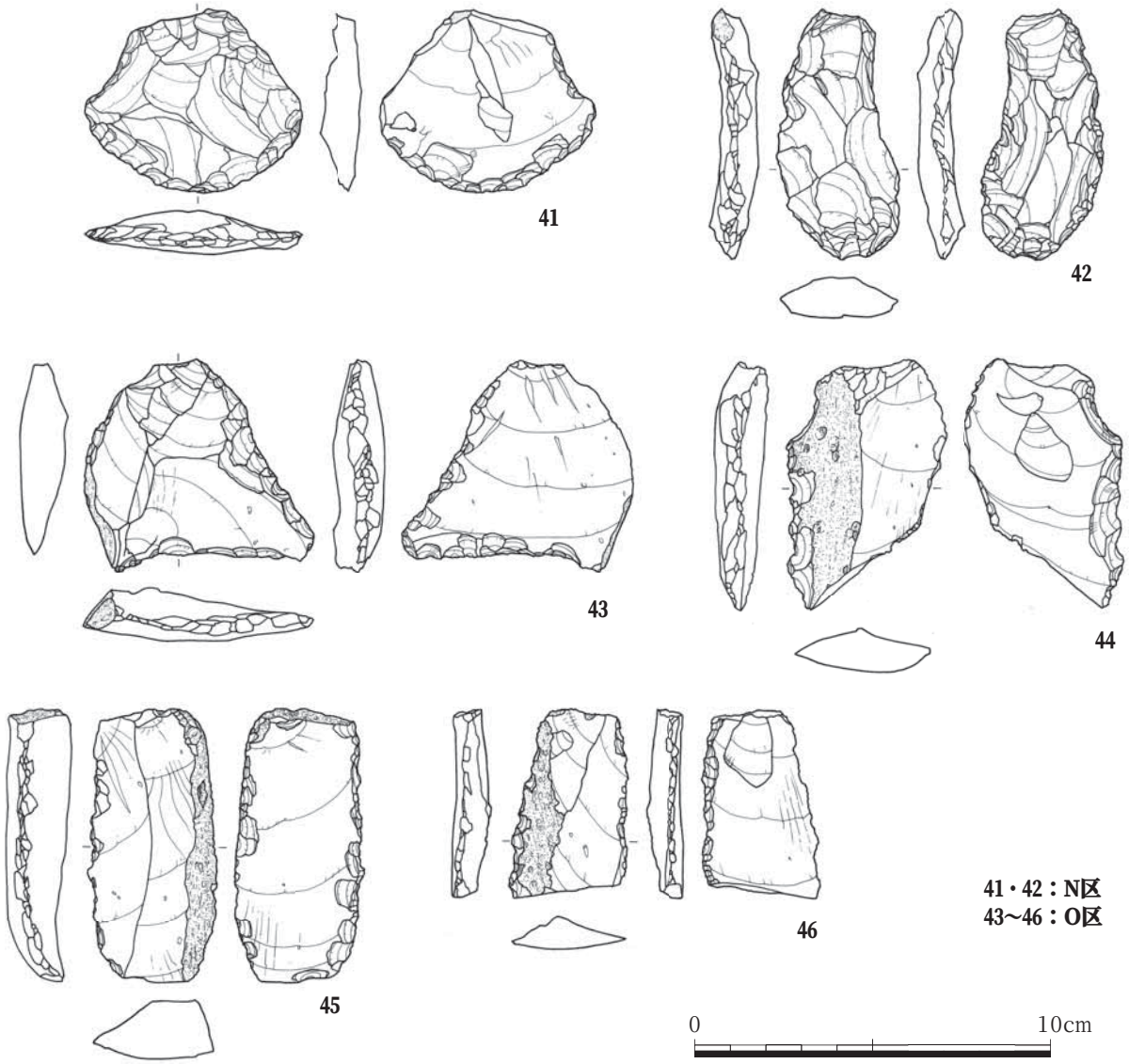


第195図　スクレイパー⑤（S＝1/2）



31～40：M区

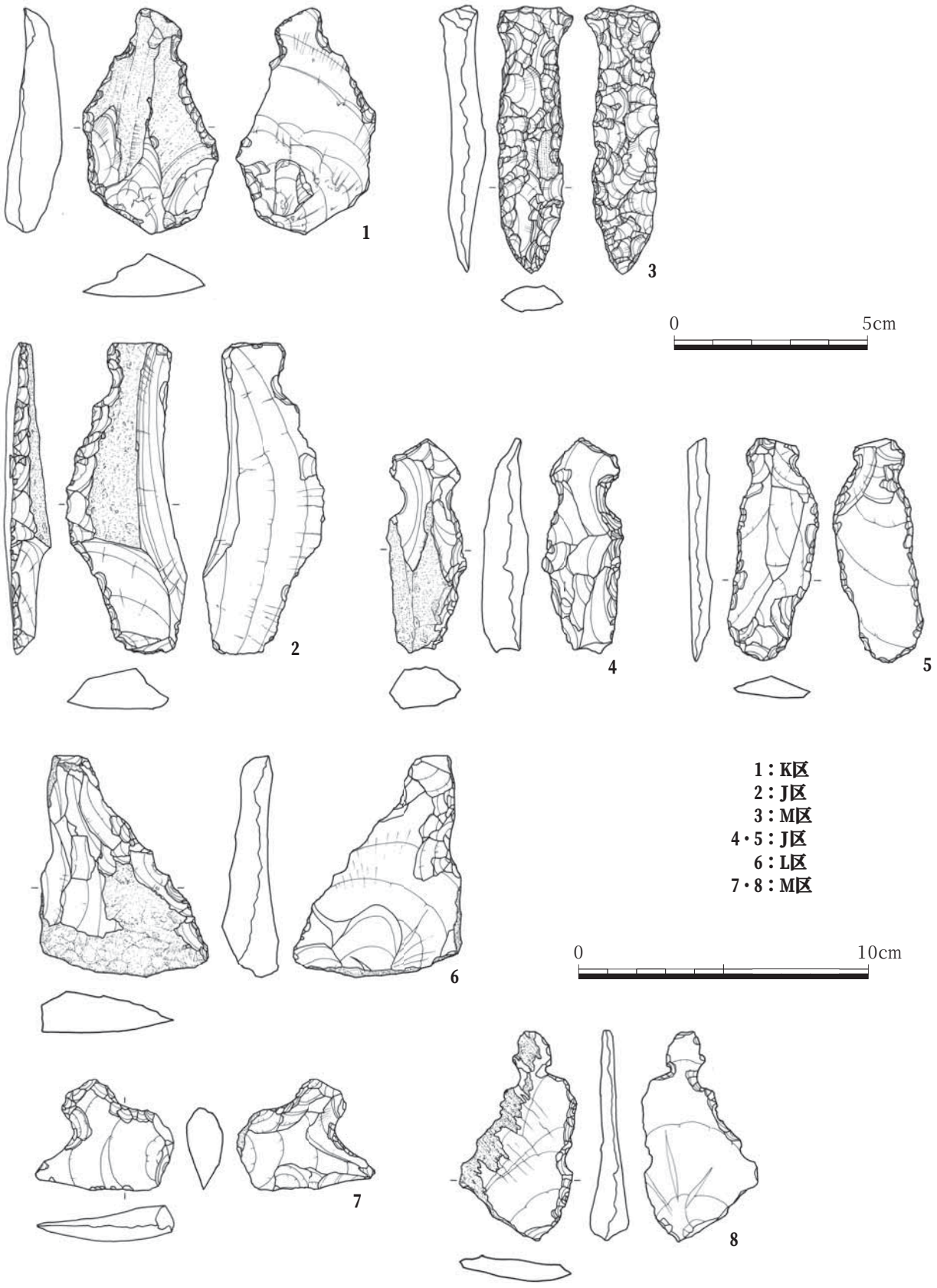
第196図　スクレイパー⑥（31：S＝2/3，32～40：S＝1/2）



第197図　スクレイパー⑦（S＝1/2）

石匙（第198図）

1は自然面を大きく残す素材で，素材末端の一部に対となる抉入部を設けてつまみ部とし，腹面側からの加工を周縁に行う。**2**は一部に自然面を残しており，片方の側辺にみられる抉入部とそれと対になる剥離面には，摩耗がみられる。抉入部から下位に連続して腹面側からの加工が行われる。**3**は一応縦型の石匙としたが，尖頭器などの可能性も考えられようか。全面に両面からの加工が行われる。**4**は暗灰色の黒曜石が素材としている。**5**はサヌカイトの薄手，縦長の剥片を素材としており，打点付近につまみ部を作出する。**6**は自然面を打面として作出した先細りとなる剥片を素材とする。つまみ部の作り出しはあいまいで，直線的な刃部加工が行われている。**7**は一部欠損するが，横型石匙の小型品と思われる。**8**は剥片素材の末端部につまみ部を作る。



第198図　石匙（1・3～5：S＝2/3，2・6～8：S＝1/2）

石鏃（第199図～第202図）

1・**2**はサヌカイト製である。**1**は比較的大型品で，厚手である。表面には自然面，裏面には素材剥片の腹面を残す。**2**は平基で，両面，周縁からの剥離によって全面が覆われる。**3**は黒曜石製で加工は基部と左右の側辺に限られており，厚手で表面には広く自然面を残し，裏面にも素材剥片の腹面を広く残している。**4**はサヌカイト製で，素材剥片の打点付近を切断し，両側辺のみに細かい整形を行った資料である。

5～**15**は緩く内湾する基部をもつ資料である。**5**はサヌカイト製で，左右の側辺は直線的で，二等辺三角形を呈する。**7**はやや厚手の資料で，基部の両端は丸みをもつ。**9**・**10**は正三角形に近い形状である。**11**はサヌカイト製で裏面には素材剥片の腹面を広く残す。**13**は長さに対して幅の広い資料である。**14**は裏面に大きく素材剥片の腹面を残している。**15**はサイズのわりに厚手である。

16は周縁からの加工が両面に及ぶが，先端部の尖りはあいまいで，未成品であろうか。**17**は暗灰色黒曜石を素材とした鍬形鏃で，おそらく縄文時代早期の資料であろう。

18は素材を両面に大きく残しており，素材剥片の打点付近を先端部としている。基部付近は先端部に比べれば薄く，加工も行っていないことから，途中で製作を放棄したものか。**19**は先端部を欠損している。**20**は素材剥片の自然面と腹面を残す資料で，比較的小型品である。基部はやや内湾する。**21**は灰色黒曜石を素材としている。基部はしっかりと抉入させて脚部を作る。**22**は大きく内湾させる基部で，脚部は尖る。**24**は五角形を呈するもので，漆黒色黒曜石を素材とするが，器面は他の石鏃に比べて風化が進行しており，時期を異にするものである可能性が高い。

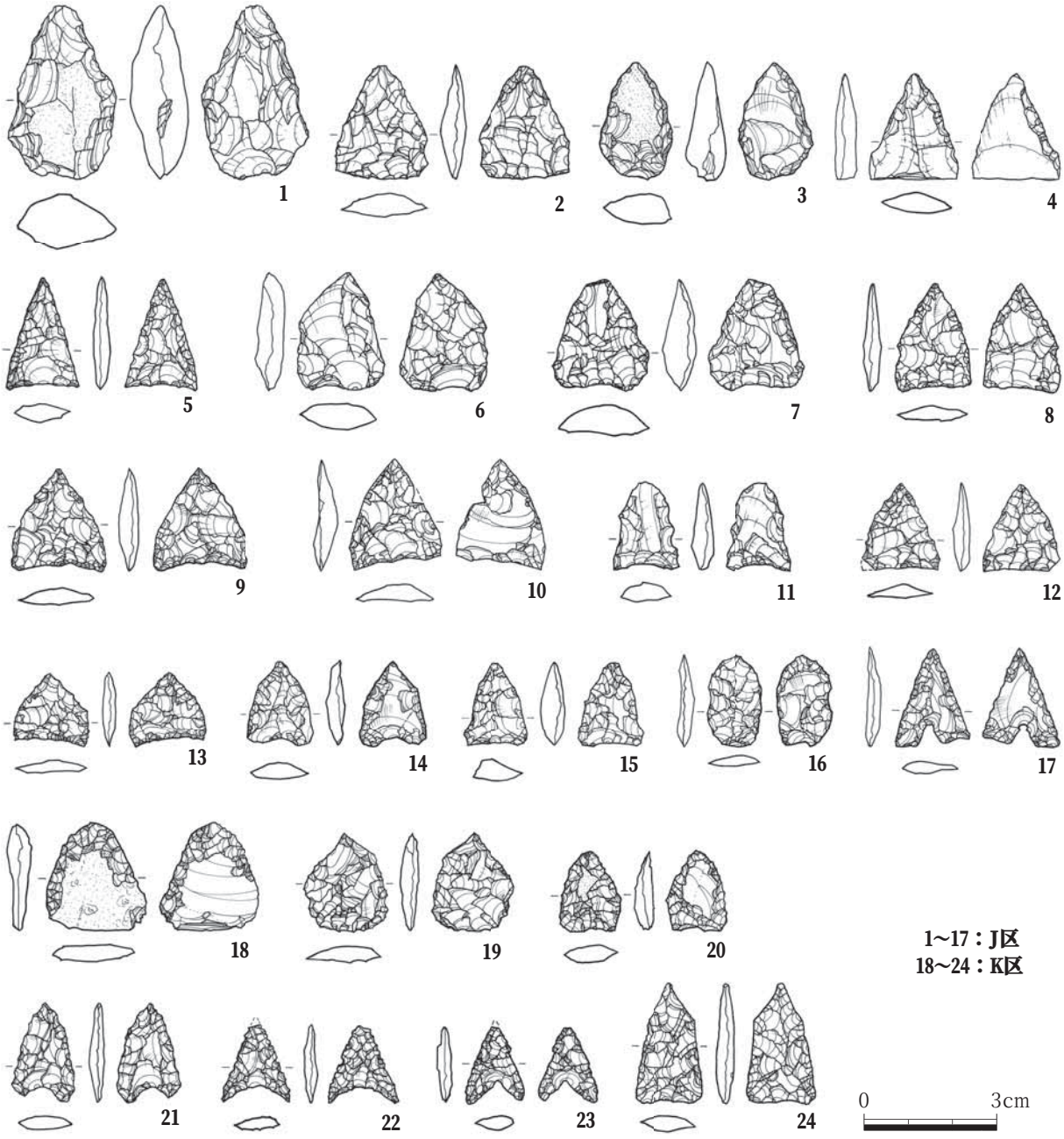
25・**26**はサヌカイト製で，両面に加工が及ぶがいずれも先端部を欠いている。未成品か。

27～**38**は平基のものである。**27**は片面に広く自然面を残す。**29**はやや厚手である。**31**は厚手で，裏面に素材剥片の腹面を広く残しており，基部の加工は急角度となっている。減厚を達成できなかった未成品であろう。**32**は裏面下半に素材剥片の腹面を広く残す。**33**の裏面には素材剥片の腹面を残す。**36**はサヌカイト製で，二等辺三角形を呈する。**37**は素材剥片の打点側を切断して基部とし，側辺に細かい加工を施す。

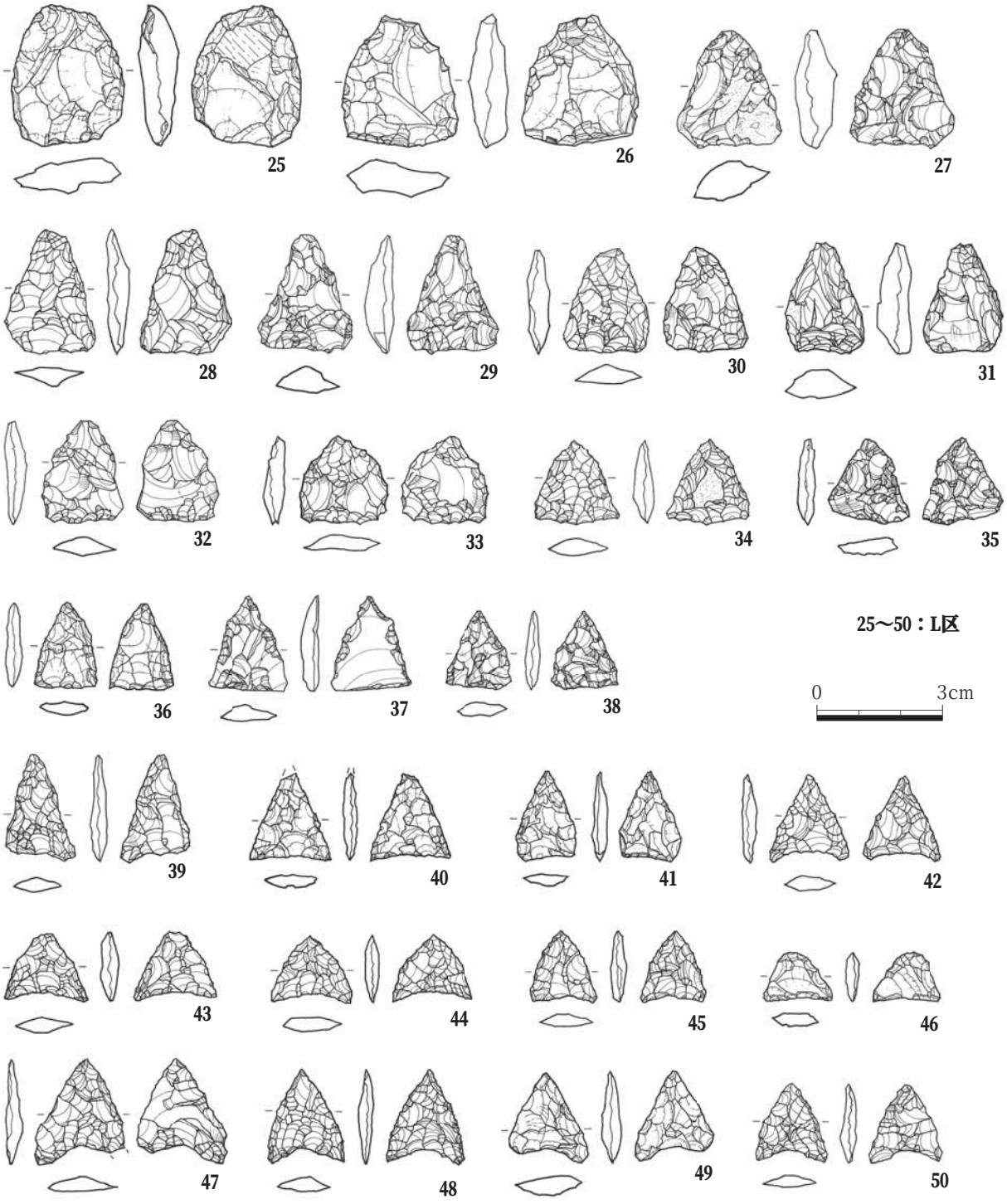
39～**46**は緩く内湾する基部をもつ資料である。**39**は幅に対して比較的長さある二等辺三角形を呈する。**40**・**41**はサヌカイト製である。**43**・**44**は長さに対して幅のある資料である。**46**はサヌカイト製で，比較的小型品である。**47**～**50**はしっかりと内湾する基部の資料である。**47**は裏面に素材面を広く残す。**49**はサヌカイト製である。

51～**59**は平基の資料である。**51**，**54**はサヌカイト製である。**51**は非常に薄手の素材の縁辺に加工を行って整形している。**53**・**54**は正三角形の呈する。**55**は二等辺三角形を呈する。**56**は薄手で，表裏両面に素材面を残す。**57**はサヌカイト製で，両側辺はやや膨らみをもつ平面形状である。**59**は縁辺のみに加工が行われており，両面とも素材面を大きく残す。

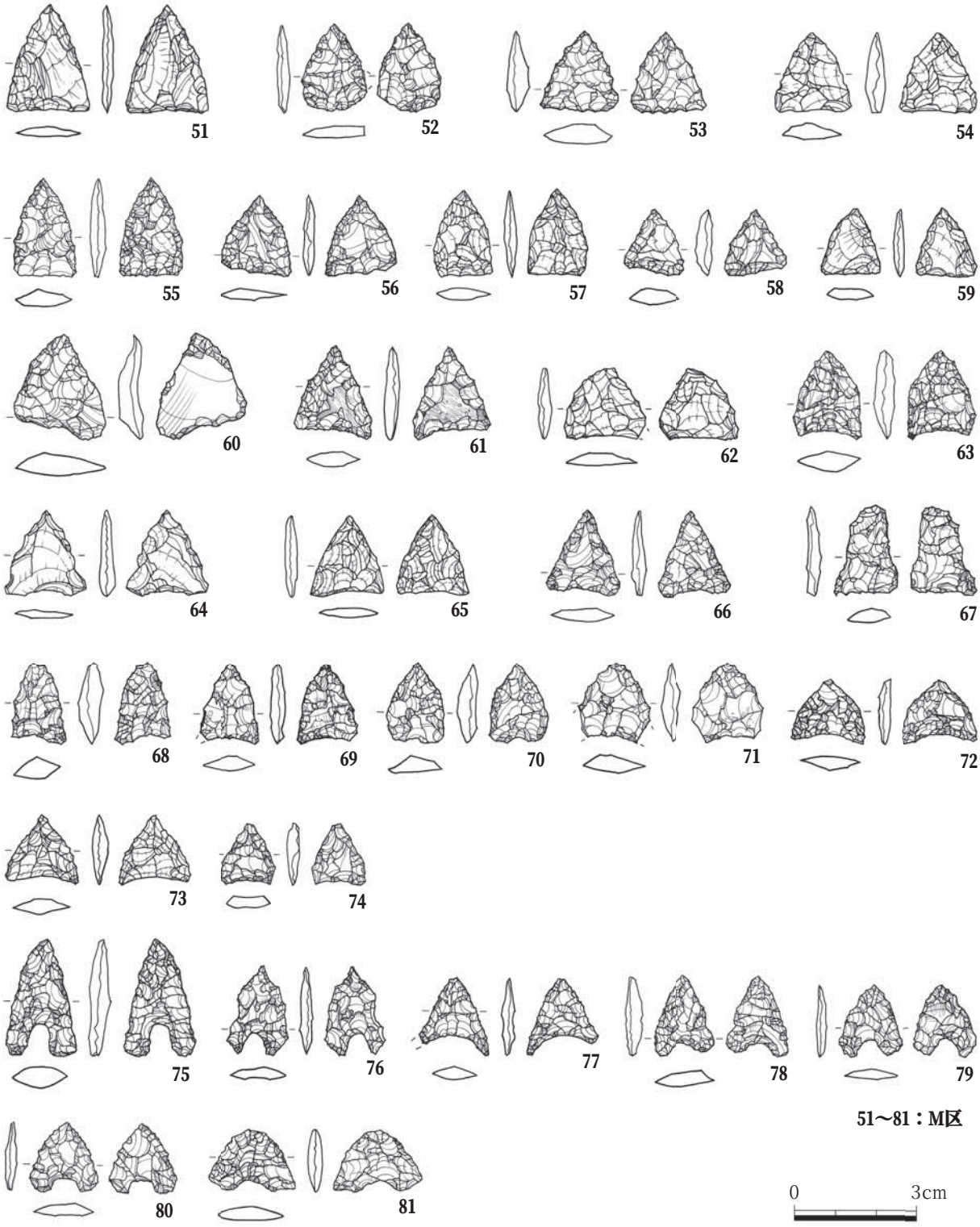
60～**74**は基部が内湾する資料である。**60**の裏面は素材剥片の腹面を大きく残す。**61**は表裏面ともに研磨を行っている。**62**はサヌカイト製で，長さに対して幅が広い。**64**・**65**はサヌカイト製である。**65**は素材の縁辺のみに加工を施す。**67**は先端部の作り出しが不明瞭で，未成品であろう。**69**・**70**の裏面は一部に素材面を残す。**71**は基部の張り出し部を両方とも欠く。**72**・**73**は幅に対して比較的長さの短い資料である。**73**はサヌカイト製である。**74**は比較的小型品である。



第199図　石鏃①（S＝2／3）



第200図　石鏃②（S＝2/3）



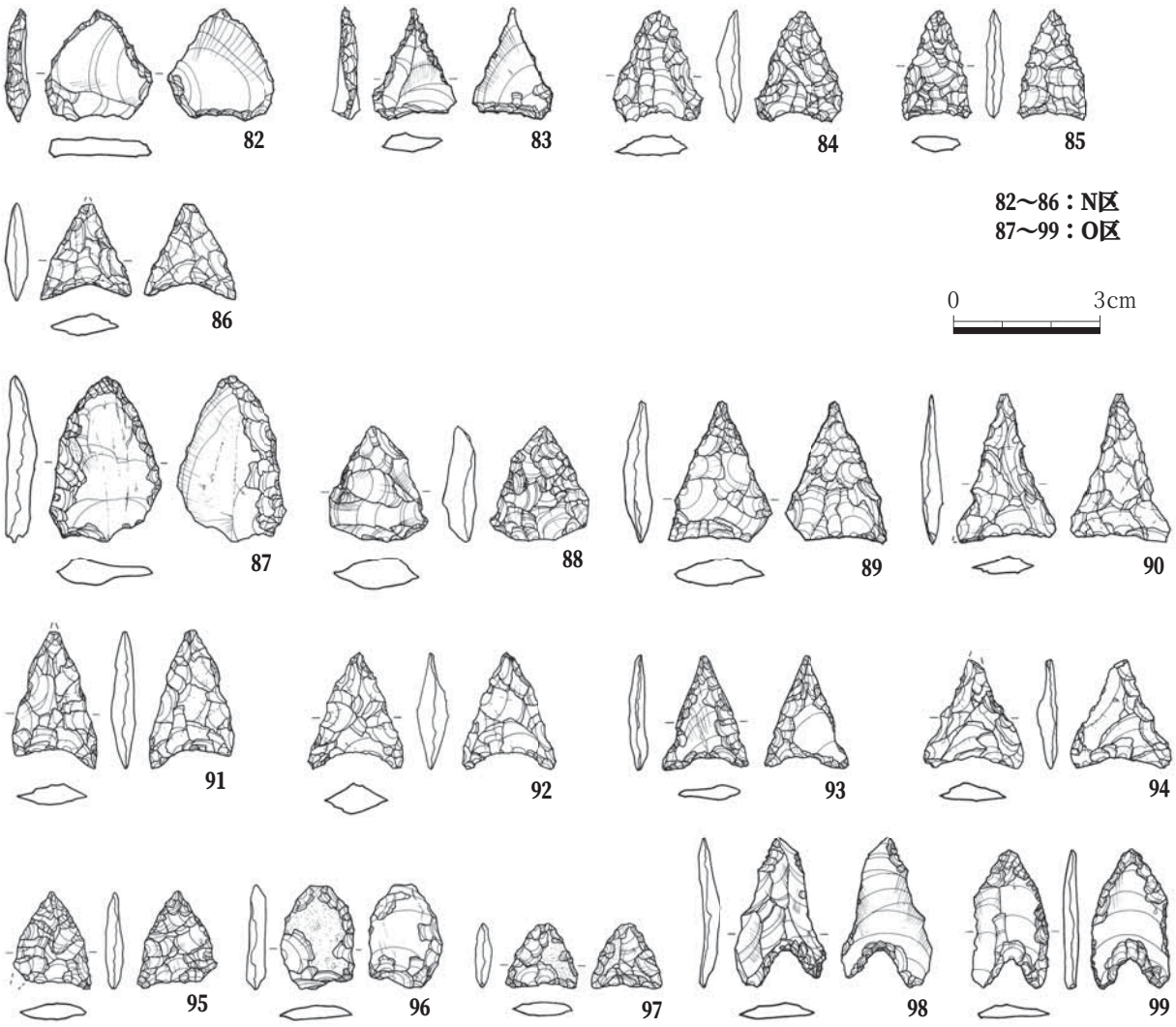
第201図　石鏃③（S＝2／3）

75〜81はしっかりとした抉入する基部と脚部を作り出す資料である。**75**はいわゆる鍬形鏃である。**76**は非常に薄手で，裏面にはわずかに素材面が残る。**77**は脚部が細く突き出す。**79〜81**は幅に対して長さの短い資料である。**79**は非常に薄手で，裏面先端部近くに素材面を残す。**80**は漆黒色黒曜石が素材と思われるが，器面の風化が進行している。

82は剥片素材の縁辺のみに加工がみられる。未成品であろう。**83**は剥片素材の縁辺に急角度の加工が行われている。**83〜86**は内湾する基部をもつ資料である。**86**はサヌカイト製である。

87は未成品で，左側辺には両面から，右側辺には腹面からのみ加工を行い，大きく素材面を残している。**90〜92**，**94**はサヌカイト製である。**93**は左右の両側辺に研磨を施した特徴的な資料である。また，両側辺の下部には抉入部を作る。**96**は表裏面ともに大きく素材剥片の面を残し，先端部の作り出しも甘い。未成品であろう。

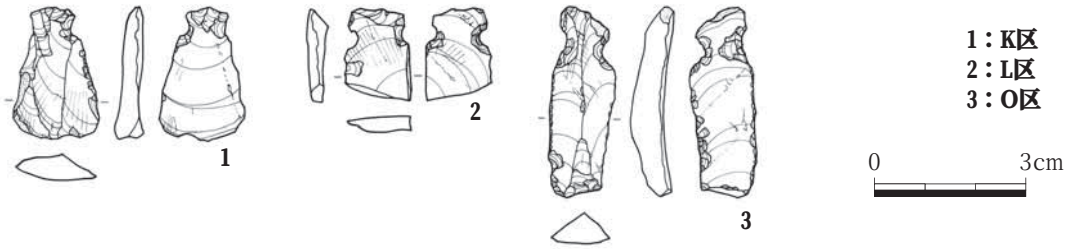
98・99は剥片鏃である。**99**は暗灰色黒曜石を素材とする。どちらも素材剥片の打点側を基部とし，深く抉入させる。



第202図　石鏃④（S＝2/3）

つまみ形石器（第203図）

1は素材剥片の打点付近に対となる抉入部を作る。左側辺にはわずかに自然面が残る。**2**は2カ所で切断を行っている。**3**は背面に1本の稜の通る断面三角の縦長剥片末端付近に対となる抉入部を作る。腹面側の片方の側辺には微細剥離が観察される。



第203図　つまみ形石器（S＝2/3）

石錐（第204図）

1～6は黒曜石を素材とするものである。**1**は自然面を残す比較的厚手で縦長の剥片を素材とする。打点付近を基部に，末端付近を錐部にする。**2**は右側辺に自然面を残しており，おもに背面への加工が行われている。**3**は末端に自然面を残す比較的大型の縦長剥片を素材としており，錐部への加工が行われている。**4**は両面からの剥離によって全体を整形する。錐部の断面はやや扁平であり，石鏃未成品の可能性も考えておくべきか。**5**は樋状の剥離と切断作業による整形をしたものか，全体が細長い形状である。上下の端部には摩耗による白色化と稜の潰れが確認できる。**6**は一部自然面を残す剥片を素材としており，突出した末端に二次加工を加えて錐部としたものと思われる。

7～12はサヌカイトを素材とするものである。**7**は末端に自然面を残す素材で，腹面側からの加工により錐部を作出する。**8**は両面からの加工により錐部を作る。**9**は厚手の資料で，錐部稜線の摩耗が顕著である。**10**は自然面を比較的広く残す素材を用いており，錐部の稜には摩耗が観察される。**11**は素材の両面に加工を行って錐部を作る。**12**は側辺に細かい二次加工を行っている。

二次加工剥片・微細剥離剥片（第205図～第213図）

1～24は黒曜石製である。**1～17**は縦長の剥片を素材とするものである。**1**は右側辺に自然面を大きく残す厚手の剥片で直線的な左側辺に微細剥離が連続する。**2**は先細りとなる素材で，末端にわずかに自然面が残る。両側辺に微細剥離が認められる。**3**は左側辺に自然面を残し，やや湾曲する右側辺に微細剥離が連続する。**4**は両側辺及び末端に微細剥離がめぐる。**5**は背面に2本の縦長剥片を作出している自然面をもつ素材で，左側辺に微細剥離をもつ。**6**は打点付近に急角度の二次加工が施され，左右両側辺には微細剥離が認められる。**7**は幅1.5cmほどの縦長剥片で，背面には大きく自然面が残る。左側辺に微細剥離が連続する。

8は幅広の素材で，自然面が大きく残り，左側辺に微細剥離が連続する。**9**は左側辺に二次加工が，右側辺に微細剥離が認められる。**10**は左側辺から末端にかけて自然面を残す。弧状をなす右側辺に微細剥離が認められる。**11**は末端に向かって先細りとなる剥片で，右側辺に微細剥離が連続する。**12**は背面に自然面を残し，左側辺に微細剥離が観察される。**13**はほかに比べると全体に風化が進んでおり，時期を異にするものであることが考えられる。両側辺に二次加工とみられる剥離が認められる。**14**は左側辺に自然面を残す。やや内湾する右側辺に微細剥離が連続する。

15は背面に自然面を大きく残し，断面三角をなす。右側縁に微細剥離が連続する。**16**は左側辺に抉入部がみられ，二次加工によるものであろうか。**17**は背面，腹面の両方の周縁に二次加工が観察される。石鏃の未成品である可能性もある。

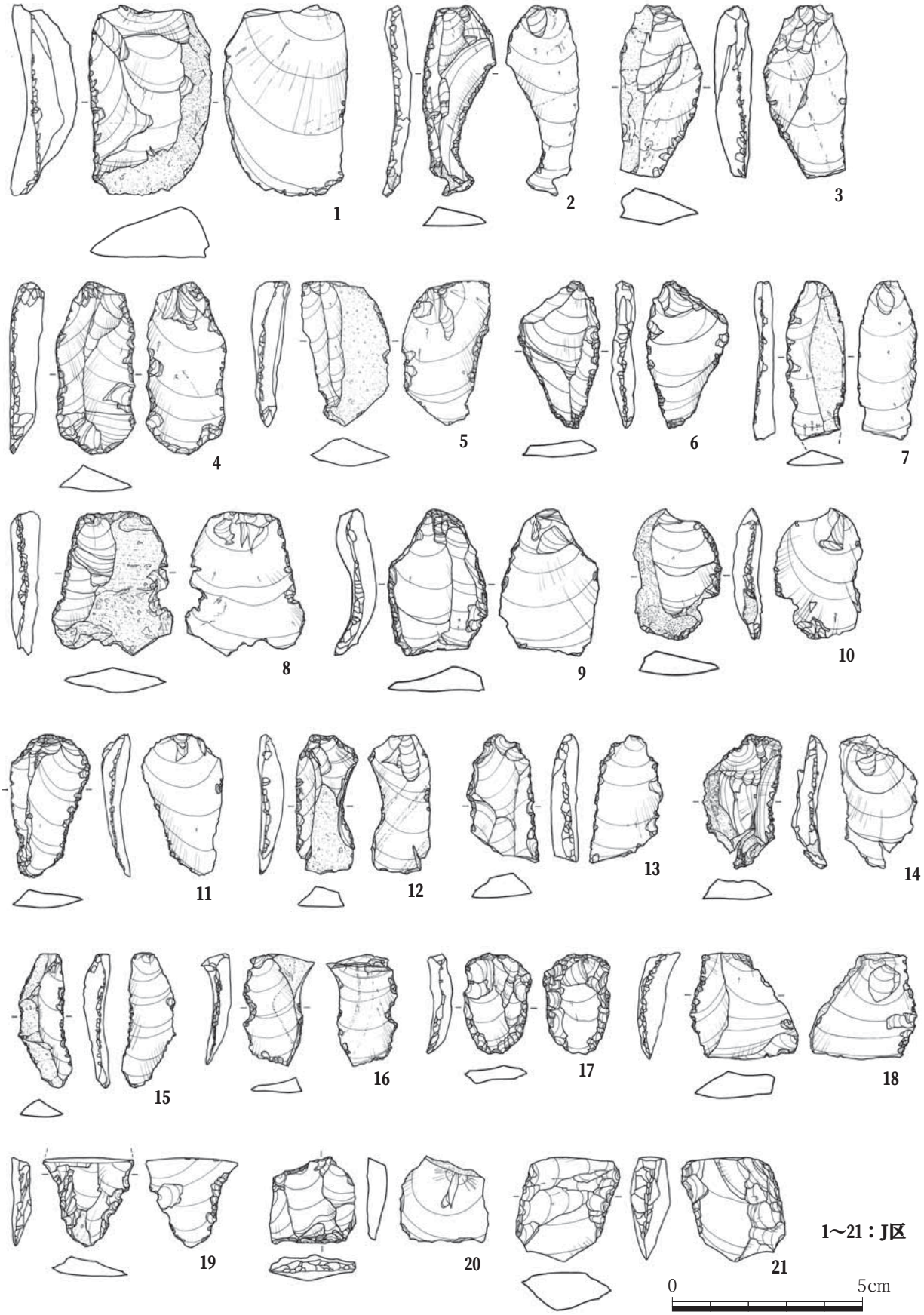
18は自然面を打面として作出された幅広の素材で，右側辺まで自然面が残る。左側辺に微細剥離が連続して認められる。**19**は打点付近を欠く。器面の風化が進んでおり大部分の石器群より時期の古いものであると思われるが，腹面の連続する二次加工はそれよりも新しい剥離である。**20**は自然面を打面とする方形を呈する剥片で，末端部に比較的急角度の二次加工を施す。**21**は暗灰色の黒曜石を素材とし，打点付近を欠く。両側辺に二次加工が施される。左側辺は使用によるものと思われる摩滅がみられる。

22～24は横長の剥片を素材とするものである。**22**は自然面を打点としており，左側辺の腹面側に微細剥離が観察される。**23**は自然面を打点とした薄手の素材で，直線的な末端部に微細剥離が連続する。**24**は暗灰色黒曜石が素材で，自然面を打面としている。左側辺に二次加工がみられる。

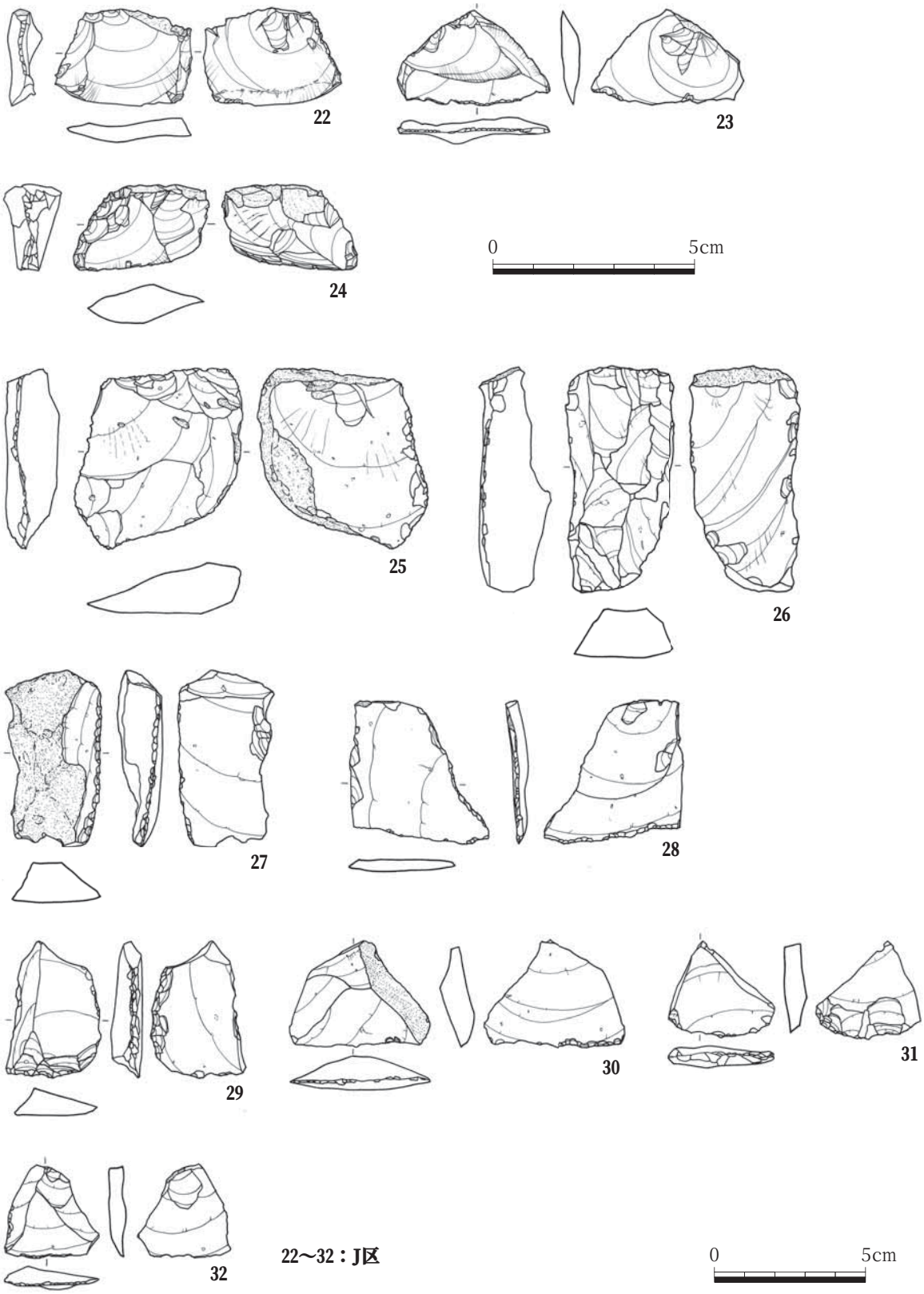
25～32はサヌカイトを素材とするものである。**25**は打面と右側辺に自然面を残す。左側辺の腹面側に微細剥離が連続して確認できる。**26**は自然面を打面として作出された縦長，厚手の剥片で，左側辺に微細剥離が認められる。**27**は背面に大きく自然面を残す断面台形の縦長の剥片で，直線的な右側辺に微細剥離が連続する。**28**は自然面を打面とする末広がりとなる薄手の剥片で，右側辺及び直線的な末端に微細な剥離が連続する。**29**は打点付近を欠き，右側辺の腹面側に二次加工が認められる。**30**は自然面を残す剥片で，直線的な末端部に微細剥離が観察される。**31**は腹面側に二次加工が観察される。**32**は末広がりとなる剥片で，末端に微細剥離が連続する。

33～46は黒曜石を素材とするものである。**33～45**は縦長の剥片である。**33**は幅1.5cm，長さ5.2cmを測る。左右の両側辺に微細な剥離が認められる。**34**も両側辺に微細剥離が観察される。**35**は背面に自然面を残し，先細りとなる剥片で，両側辺に微細剥離が観察される。**36**は背面に自然面を大きく残す。直線的な左側辺に微細剥離が連続する。**37**は末端に自然面の残るやや厚手の剥片で，両側辺に微細剥離が認められる。**38**は自然面を打面としており，右側辺から末端にかけても自然面が残る。左側辺に微細剥離が連続する。**39**は背面に自然面を残す薄手の剥片である。右側辺上半に微細剥離が連続する。

第204図　石錐（1～6：S＝2/3，11・12：S＝1/2）



第205図　二次加工剥片・微細剥離剥片①（S＝2/3）



第206図　二次加工剥片・微細剥離剥片②（22～24：S＝2/3，25～32：S＝1/2）

40は幅の狭い剥片で，左側辺に微細剥離が認められる。**41**は薄手，縦長の剥片で，右側辺に微細剥離が連続する。**42**は左側辺にわずかに自然面が残る。右側辺下半のカーブする部分に微細剥離が観察される。**43**は暗灰色の黒曜石で，右側辺に二次加工とみられる細かい剥離が連続的に認められる。**44**は風化の進んだ剥片で，それより新しい二次加工とみられる剥離が左側辺にみられる。**45**は背面に大きく自然面を残す大型，厚手の剥片で，末端に直線的に急角度の二次加工を施す。**46**は周縁に二次加工が施されており，石匙のつまみ部や石錐などの未成品の可能性もある。

47はサヌカイトを素材としており，片面には自然面を残す。末端部を中心に両面から二次加工を行っている。**48**は薄手の安山岩の剥片である。右側辺に微細剥離が連続する。

49～71は黒曜石を素材とする。**49～61**は縦長の剥片である。**49**は先細りとなる大型の剥片で，自然面を打面としている。白色不純物をやや多く含む。左側辺に二次加工の可能性のある剥離が連続する。**50**は両面に大きく自然面を残すもので，右側辺から末端にかけて二次加工を施す。**51**は右側辺を主体に微細剥離が連続する。**52**は自然面を打面としており，末端付近にも自然面を残す。左右の両側縁に微細剥離が認められる。**53**は幅約1.0cmの幅狭の剥片で，背面全体を自然面が覆う。右側辺には急角度の二次加工が行われ，左側辺には微細剥離が連続して認められる。**54**は自然面を打面としている。緩角度の左側辺と急角度の右側辺の両方に微細剥離が観察される。**55**は背面に自然面を大きく残しており，左側片に微細剥離が認められる。**56**は直線的な左側辺に微細剥離が連続する。**57**は両側辺の平行する剥片で，左側辺下半に微細剥離がみられる。**58**は背面に稜の通る剥片で，左右の両側辺に微細剥離が認められる。**59**は自然面を打面としており，末端にも自然面が認められる。左側辺には急角度の二次加工を施し，右側辺には抉入部もみられる。**60**は樋状の剥離が行われており，稜に沿って微細剥離が連続する。**61**は右側辺に微細剥離が連続する。**62**は背面に大きく自然面を残しており，末端部には二次加工が行われ，右側辺には微細剥離が連続する。**63**の背面には１本の縦長剥片の作出がみられる。右側辺に連続して微細剥離がみられる。**64**は末広がりとなるやや厚手の剥片で，末端部に二次加工が行われている。また，左側辺に微細剥離が認められる。**65**は末端付近に自然面を残す剥片で，左側辺の腹面側に二次加工がみられる。**66**は左側縁に二次加工を直線的に行っている。**67**は左側辺に自然面を残し，弧状の右側辺に微細剥離が観察される。

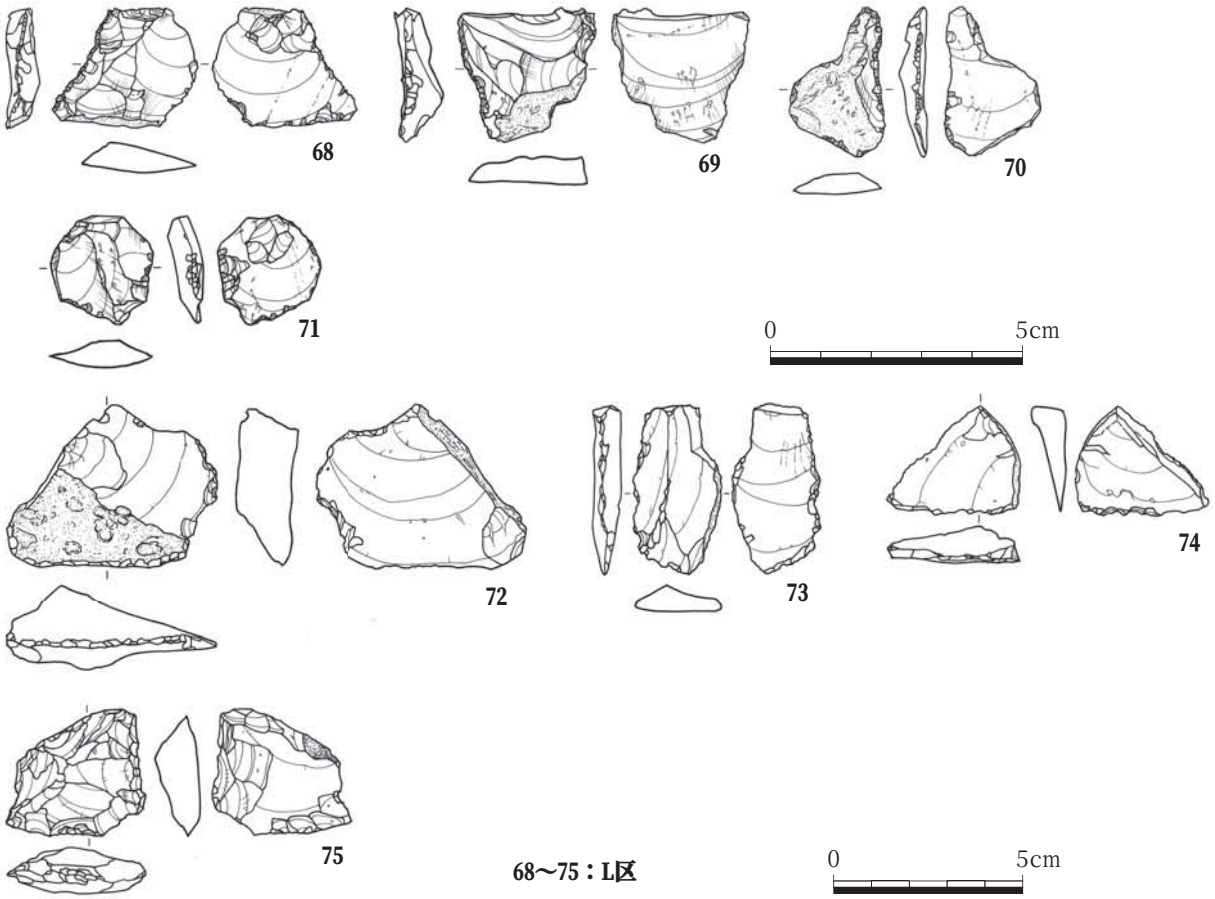
68は打面を自然面とし，末端にも自然面を残す。左側辺に微細剥離が観察される。**69**は打点付近を欠く。左側辺に微細剥離が認められる。**70**は背面に自然面を大きく残し，右側辺に微細剥離が連続する。**71**は小型の剥片で，右側辺腹面側に二次加工とみられる剥離が集中する。

72～74はサヌカイトの資料である。**72**は大きく自然面を残しており，右側辺と直線的な末端に微細剥離が連続して認められる。**73**は縦長の剥片で，左側辺に微細剥離が認められる。**74**は末端に微細剥離が観察される。**75**は黒曜石製で，両面の周縁をめぐるように二次加工が行われる。

76～100は黒曜石を素材とする縦長の剥片である。**76**は背面に自然面を残す大型の剥片である。白色不純物を多く含む。左側辺に微細剥離が認められる。**77**は自然面を打面としており，右側辺も自然面である。左側辺の腹面側に微細剥離が連続する。**78**はかなり風化の進行した縦長剥片で，右側辺及び末端にそれより新しい微細剥離が認められる。**79**は背面に大きく自然面を残しており，やや弧を描く左右両側辺に微細剥離が認められる。**80**は背面に大きく自然面を残す。右側辺と自然面の残る左側辺下半に微細剥離が観察される。**81**は自然面を打面としており，左側辺の上位から中ほどにかけて微細剥離が連続する。**82**は右側辺に自然面を残し，左側辺に微細剥離が認められる。**83**は打点付近を欠

第207図　二次加工剥片・微細剥離剥片③（33～46：S＝2/3，47・48：S＝1/2）

第208図　二次加工剥片・微細剥離剥片④（S＝2/3）



第209図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑤（68～71：S＝2/3，72～75：S＝1/2）

く。背面自然面を残し，縦長剥片の作出が認められる。右側辺に微細剥離が観察される。

84は末端付近にわずかに自然面を残し，おもに右側辺に微細剥離が連続して観察される。**85**は背面が自然面で占められた先細りの縦長剥片で，左右の両側辺に微細剥離がみられる。**86**は背面に２本の稜が通る剥片で，左右の両側辺に微細剥離が認められる。**87**は左右の両側辺に二次加工を行う。**88**の左側辺には下半に二次加工を施し，上半には微細剥離が観察される。**89**は末端に自然面をわずかに残しており，右側辺上半には急角度の二次加工を施しており，左側辺には微細剥離が観察される。**90**は背面に大きく自然面をとどめる。左右両側辺に微細剥離が認められる。**91**は末端付近に自然面をもち，両側辺には微細剥離が観察される。

92はやや幅広で白色不純物を多く含む素材である。両側辺に微細剥離が観察される。**93**は非常に薄手の資料で，左右の両側辺に微細剥離がみられる。**94**は右側辺に微細剥離をもつ。**95**は右側辺に微細剥離が連続する。**96**は先細りとなる素材で，左側辺に微細剥離が認められる。**97**は自然面を打面と作出されており，左側辺に微細剥離が確認できる。**98**は自然面を打面としており，背面にも大きく自然面を残す。やや内湾する左側辺に微細剥離が観察される。**99**は小型，薄手の剥片で，左右の両側辺に微細剥離が観察される。**100**は打点付近と末端付近を欠く。両側辺に微細剥離が認められる。

101は厚手で比較的大型の剥片である。自然面を打面に作出しており，右側辺にも自然面をとどめる。左側辺の腹面側に急角度の二次加工を行う。**102**は末端付近を欠き，末広がりの三角形を呈する薄手の資料である。直線的な両側辺に微細剥離が確認できる。

103は横長の剥片で，左側辺の腹面側に連続的な二次加工を施す。**104**は自然面を打面として作出しており，末端付近に微細剥離が集中する。**105**は腹面側末端付近に二次加工が認められ，一部急角度の抉入加工がみられる。二次加工部分を含め，他の使用に比べれば全体に風化が進行している。**106**は自然面を打面としており，左側辺に微細剥離が連続する。**107**は表裏両面に周縁からの二次加工が行われている。石鏃などの未成品とも考えられる。**108**はやや膨らみをもつ左側辺に微細剥離が連続する。**109**は自然面を打面としており，左側辺に微細剥離が連続する。

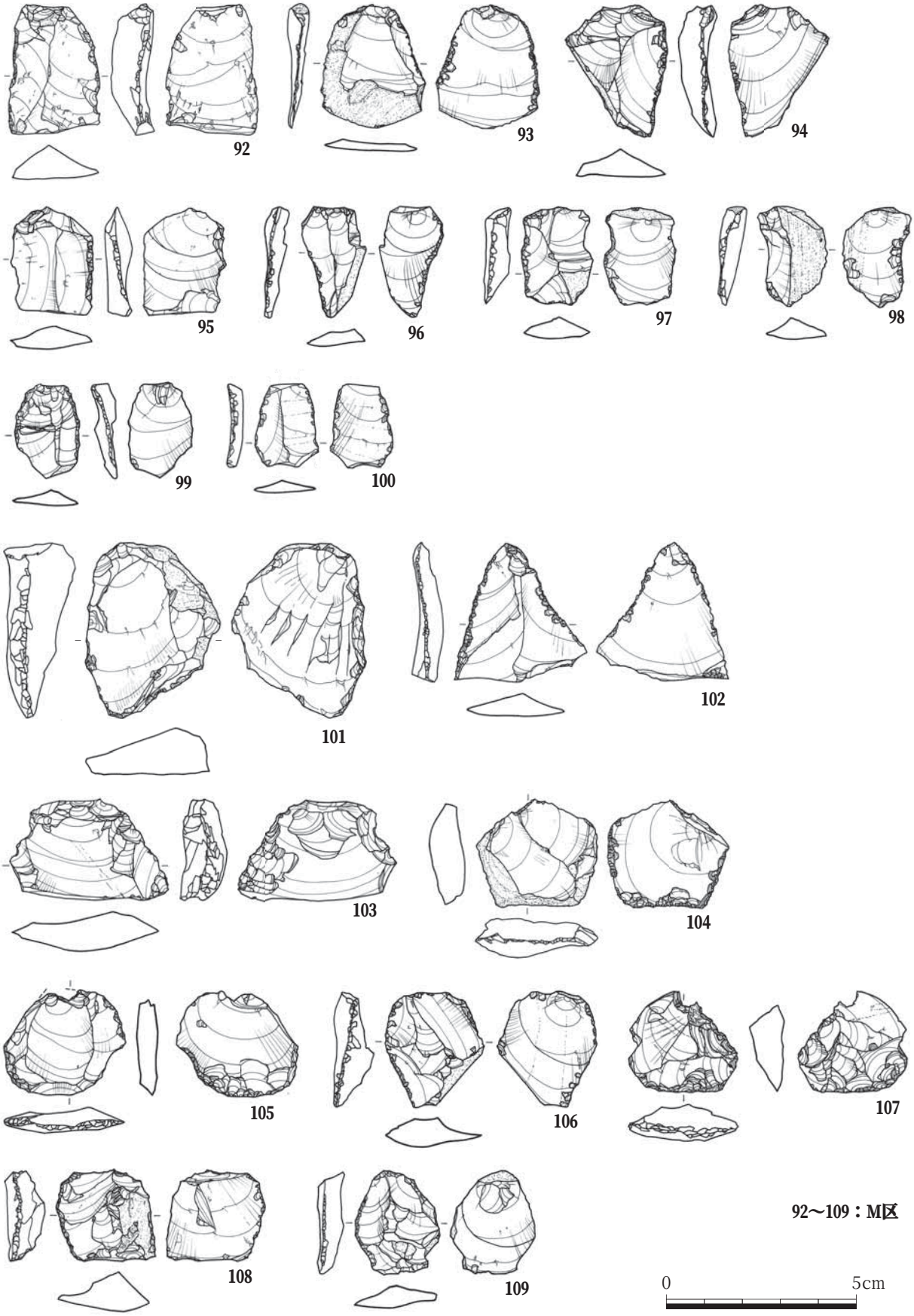
110は暗灰色黒曜石を素材としている。自然面を打面としており，末端付近にも自然面を残す。直線的な右側辺に微細剥離が認められる。**111〜114**はサヌカイトを素材としている。**111**は末端を欠き，そこへ二次加工を施している。また，左側辺腹面側には微細剥離が連続的に認められる。**112**は自然面を打面とした素材で，左側辺は欠き，右側辺から末端にかけて二次加工を施す。**113**は打点付近と右側辺を欠く。末端に両面から二次加工を施す。**114**は右側辺と末端を欠き，左側辺に微細剥離が連続する。

115〜119は黒曜石素材のものである。**115**は両側辺の平行する縦長剥片で，背面には稜が１本通り，末端付近にはわずかに自然面を残す。左側辺腹面側に二次加工が施され，右側辺の腹面側にも微細剥離が認められる。**116**はやや末広がりとなる剥片で，左側辺に微細剥離が連続する。**117**は白色不純物を多く含む素材である。右側辺に微細剥離が連続して認められる。**118**は自然面を打面として作出しており，左側への下半と右側辺に微細剥離が確認できる。**119**は背面に大きく自然面を残しており，両側辺に微細剥離が認められる。

120はサヌカイトの資料で，打点付近は欠く。末端に連続的な二次加工が行われている。

121〜130は黒曜石素材のものである。**121**は左右両側辺が平行する縦長剥片で，自然面を打面とし，左側辺にも自然面を残す。右側辺に微細剥離が認められる。**122**は自然面を打面としている。左側辺

第210図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑥（S＝2／3）

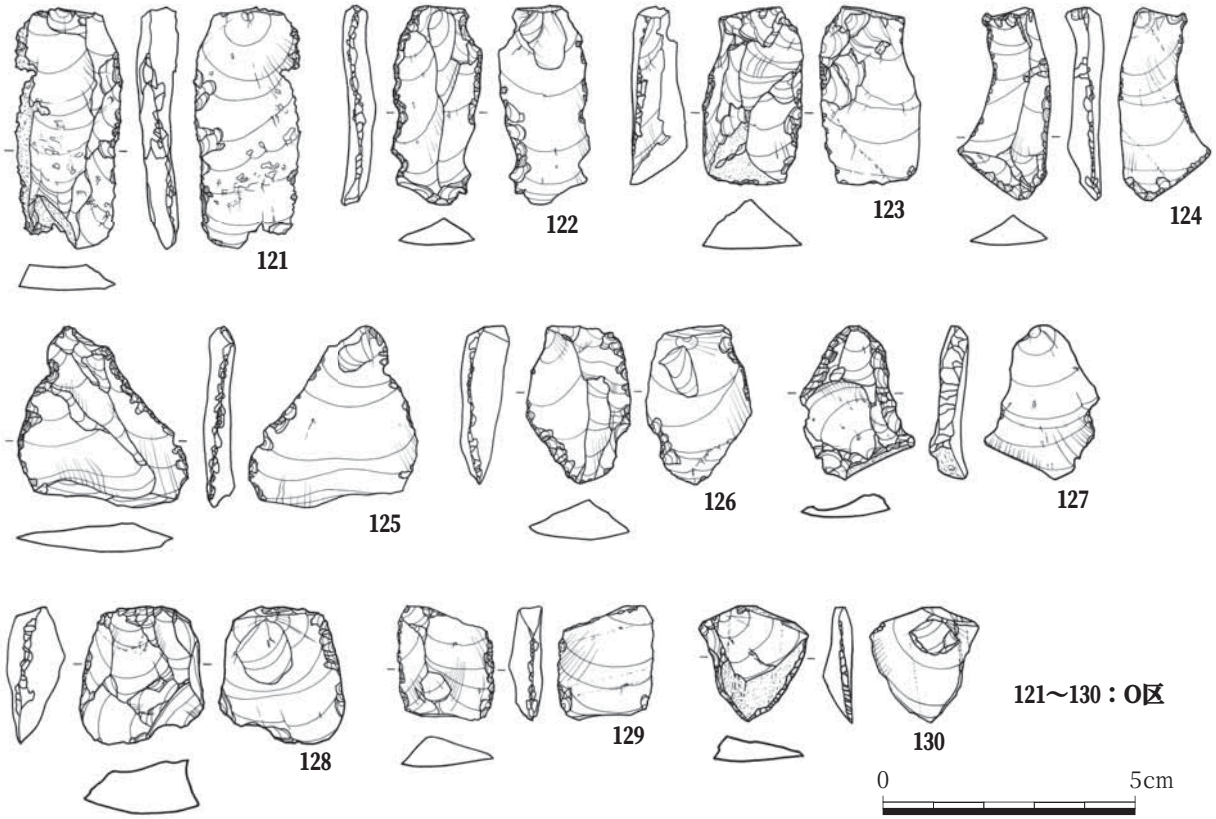


第211図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑦（S＝2/3）

110～114：M区
115～120：N区

第212図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑧（110～114・120：S＝1／2，115～119：S＝2／3）

と右側辺上半に微細剥離が連続する。**123**は打面と末端に自然面が残る。全体に風化が進行しており，左右両側辺にそれより新しい微細剥離が認められる。**124**は自然面を打面とする。右側辺及び末端に微細剥離が観察される。**125**は末広がりとなる薄手の剥片で，左右の両側辺に微細剥離が認められる。**126**は左側辺下半と右側辺に微細剥離がみとめられるが，左側辺下半については二次加工の可能性も考えられる。**127**は末端に自然面が認められる。右側辺には急角度の二次加工が施され，左側辺上半には微細剥離が認められる。**128**は厚手の剥片で，左側辺に微細剥離が連続する。**129**は打点付近を欠く。右側辺に微細剥離が確認できる。**130**は末端付近に自然面を残す剥片で，左右の両側辺に微細剥離が認められるが，左側辺については急角度の二次加工である可能性もある。

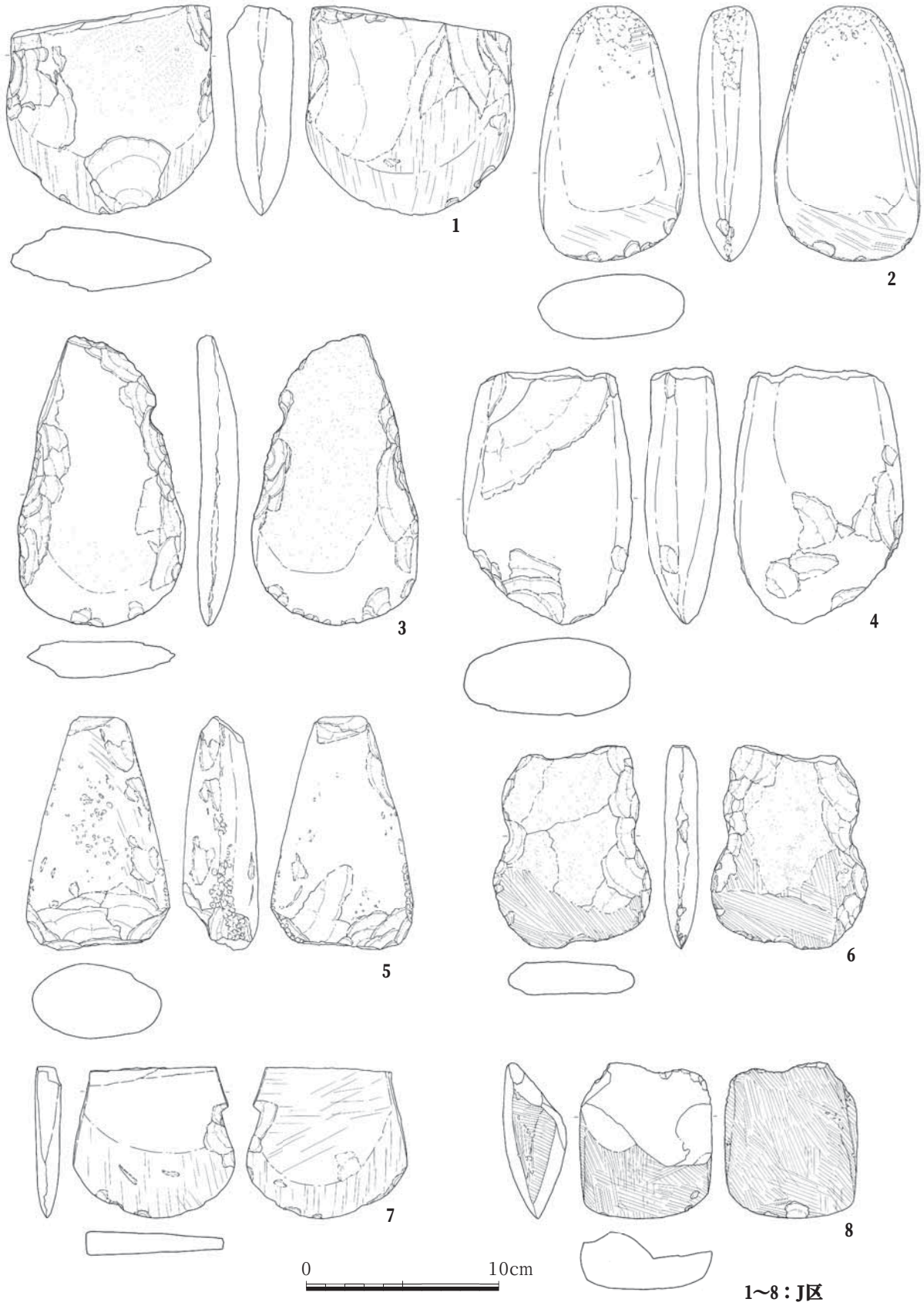


第213図　二次加工剥片・微細剥離剥片⑨（S＝2/3）

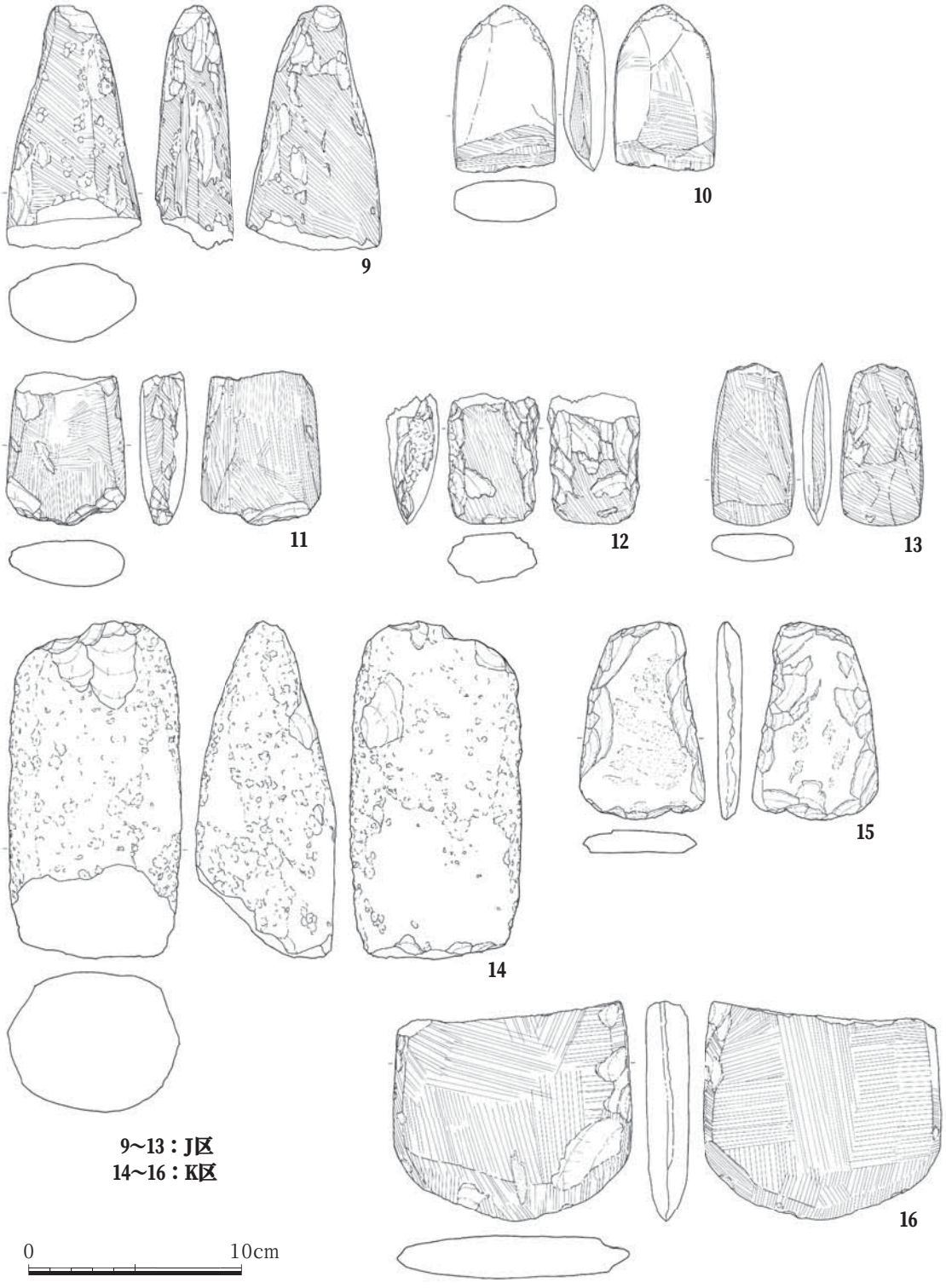
磨製石斧（第214図～第217図）

1は両面に素材面を残す資料で，基部は欠く。刃部は丁寧な研磨によって弧状となる。**2**は全体に研磨が及ぶが，刃部には潰れがみられ，基部には敲打痕が集中する。楔としての使用が考えられる。**3**は素材剥片の両側辺に整形剥離を行い，刃部のみに弧状となる研磨を行う。**4**は断面楕円形を呈し，基部は欠く。刃部には刃こぼれと思われる剥離がある。**5**は基部の資料で，体部全体に研磨が及ぶ。**6**は左右側辺に整形剥離を行い，装着のためと思われる対になる抉入部を作る。**7**は板状の薄手の素材を用いており，両側辺にも素材面を残している。刃部を中心に研磨を施して弧状の刃部とする。**8**は全体に丁寧な研磨を施し，刃部は直線的である。

9は基部の資料で，剥離整形と整形敲打ののちに全体に研磨を施す。**10**は小型品で全体に研磨を行い，刃部は主に片面からの研磨である。基部には左右２面の敲打による潰れ面を形成する。**11**は基部



第214図　磨製石斧①（S＝1/3）



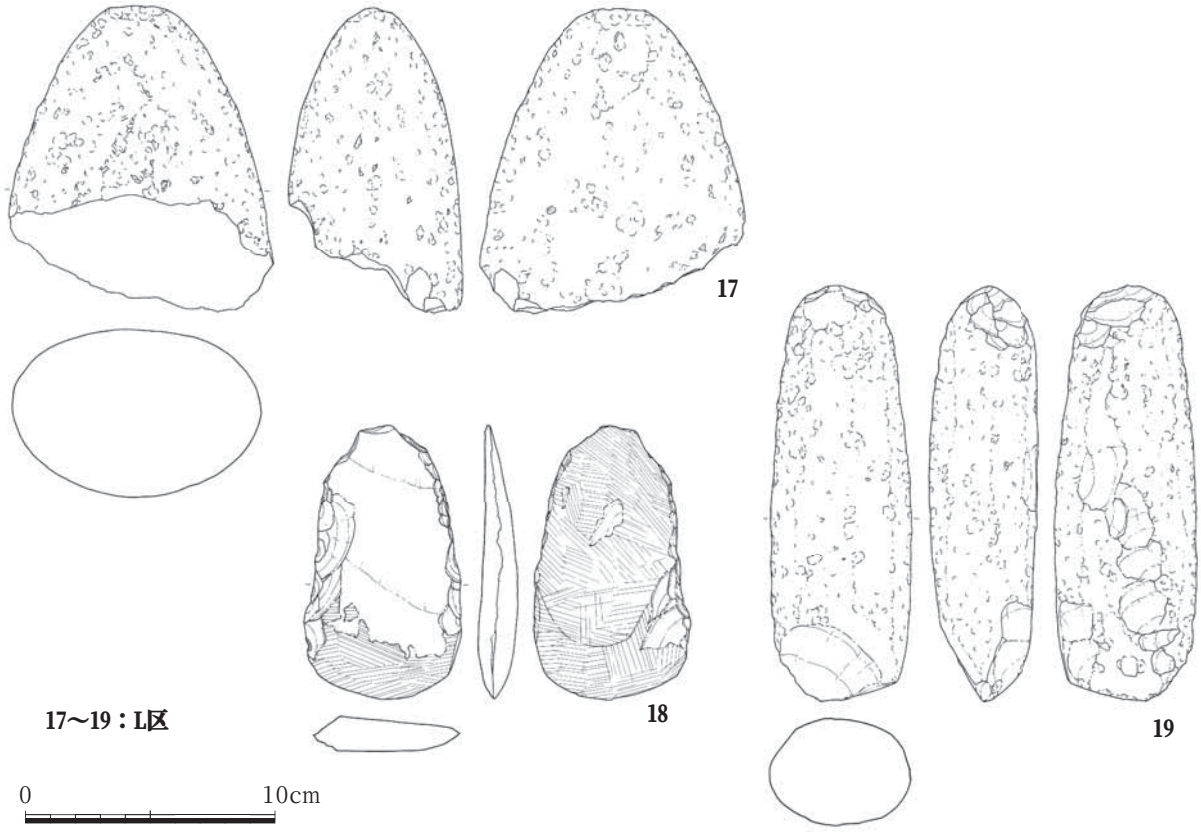
第215図　磨製石斧②（S＝1／3）

を欠く。全体に研磨を行うが，刃部は再生を試みて廃棄したものか。**12**は小型品で，側面には剥離と敲打による整形痕が残る。**13**は小型品で，全体に研磨が行われており，両端を刃部とした可能性も考えられる。**14**は断面円形をなす資料で，基部に向かって厚さを減ずる。刃部は欠く。全体に敲打整形を行った後，一部に研磨が施されている。**15**は表裏面に研磨調整が行われているが，左右の側辺や刃部には再整形の剥離加工が加えられており，また摩耗も観察されるため，打製石斧として再利用した可能性が高い。**16**は幅広で扁平な資料で，全体に研磨が及び，刃部は弧状をなす。

17は基部の資料で，全体に敲打整形が行われている。**18**は片面に大きく素材面を残す。**19**は乳棒状を呈する資料で，体部は全体に敲打整形が行われる。刃部には使用によるものと思われる欠損がみられるが，研磨が観察できる。

20は断面楕円形をなし，刃部は体部よりややすぼまる。全体に研磨が及ぶ。**21**は板状の薄手の素材を用い，刃部中心に研磨を行う。表裏面の研磨は平坦化を行うくらいで，素材面が消滅するには至っていない。**22**は厚手の資料で，刃部は体部に対してややすぼまる。側面には敲打整形痕が残る。**23**は全体に研磨が施されている。**24**は弧状をなす刃部で，体部から刃部に研磨が観察されるが，両側辺からの剥離整形には研磨後のものもみられることから，破損後に小型化を図った可能性がある。**25**は体部に対し刃部，基部がすぼまる細長い形状である。全体に研磨が及ぶ。**26**は刃部，基部ともに欠く。全体に研磨が施される。片面に柄の装着痕と思われる黒色に変色した部分が認められる。

27は体部から刃部に向かってすぼまる細長い形状の資料である。全体に研磨が及ぶ。**28**は幅広の小型品で，刃部は片面を研ぎだす。全体に研磨を行うが，基部には敲打による潰れ面を２面形成する。**29**は質の悪い蛇紋岩製で，基部を欠くが全体に研磨を施している。



第216図　磨製石斧③（S＝1/3）

打製石斧（第218図～第232図）

1・**2**は刃部に対して基部がややすぼまる形状である。**1**は板状の素材を用いており，両面に自然面を残す。刃部には研磨が行われている。**2**も両面に素材面を残している。**3**・**4**は側辺がやや内湾する。**3**は両面に自然面を残す。裏面側の刃部付近には使用によるものと思われる長軸方向の線条痕が観察される。**5**は比較的小型品で，基部付近は一部欠損する。周縁は刃部から基部まで非常に摩耗が進んでいる。**6**は泥岩製で刃部から裏面の下半にかけて摩耗が著しい。裏面下半の摩耗面には長軸方向の線条痕が多数入る。**7**は，刃部は丸く基部がすぼまる形状で，片面には自然面を大きく残す。刃部は摩耗が進んでいる。

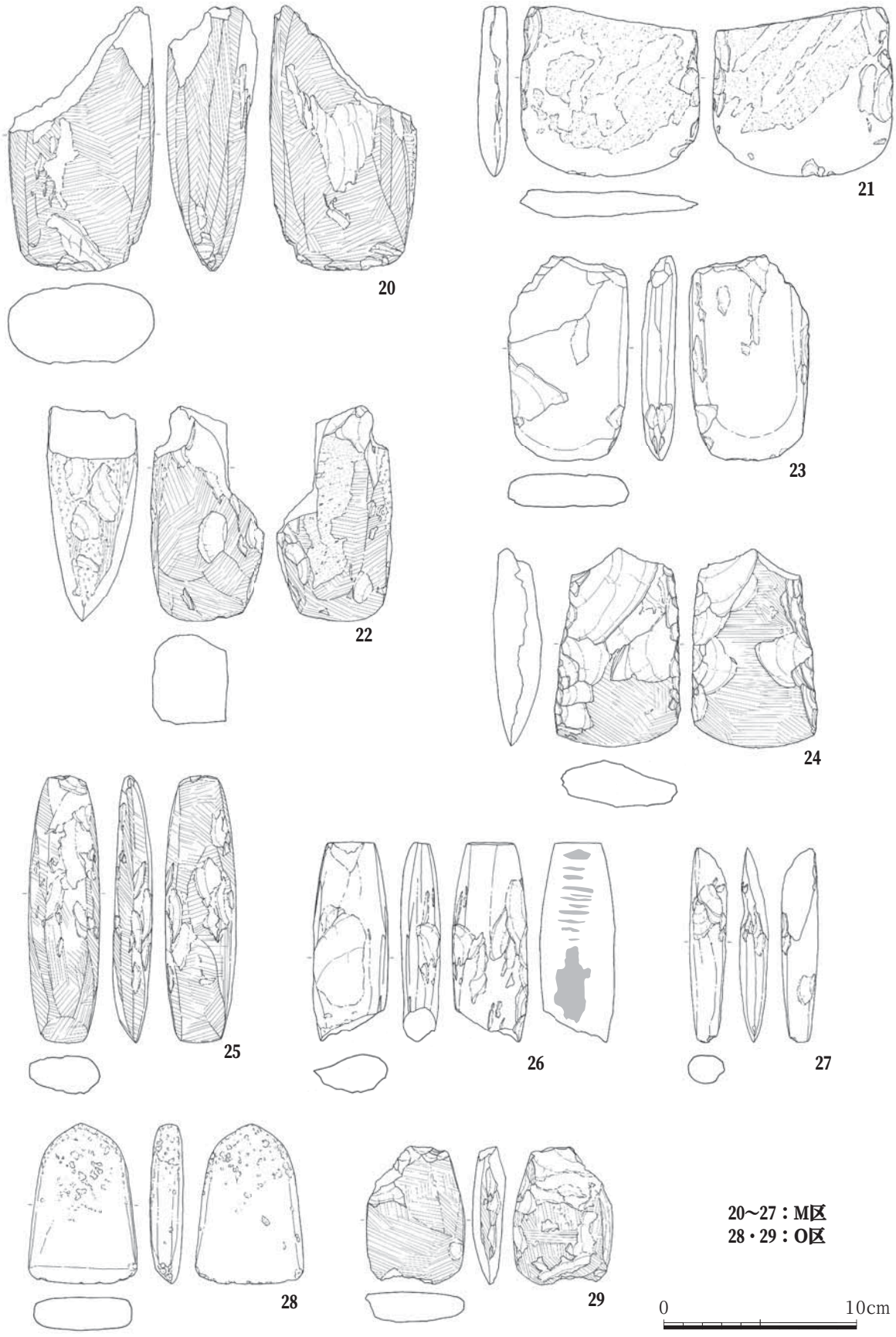
8～**10**は短冊状をなす資料である。**8**は片面に大きく自然面を残す。**9**は横長剥片を素材としたもので，刃部，側辺に摩耗がみられるが，進行具合に差があることから，ある程度使用したところで再整形が行われたものと思われる。**10**は片面に大きく自然面を残す。刃部には強く摩耗がみられ，裏面の下半には長軸方向の線条痕も観察される。**11**・**12**は幅狭，細身の資料である。**13**は筋状に石英を含む結晶片岩を素材としており，平面楕円形を呈する。周縁は整形のための研磨か，使用による摩耗なのか不明瞭であり，別器種の可能性もある。

14～**22**は刃部を欠く資料，**23**～**31**は基部を欠く資料である。**17**は厚手の資料で，表裏面に自然面を残しており，その状況から亜円礫素材であったものと思われる。**23**は基部に対して幅の広い刃部であったものと思われる。**24**は両面に自然面を残しており，薄手の板状素材が用いられたことがわかる。刃部は極度に摩耗が進み，丸みを帯びている。**26**は薄手の板状素材を用い，両面に大きく自然面を残す。加工は左右の側辺と刃部に限られており，刃部には局部的に研磨を施していたものと思われる。**27**も刃部のごく狭い範囲に研磨を行う。表裏両面に素材の自然面を残す。**28**は表裏両面に自然面を大きく残しており，薄手の板状素材が用いられたことがわかる。裏面下半には長軸方向の線条痕が観察される。**29**は両面に素材面を残し，刃部付近は摩耗が著しい。**30**の刃部も非常に強い摩耗が見られる。

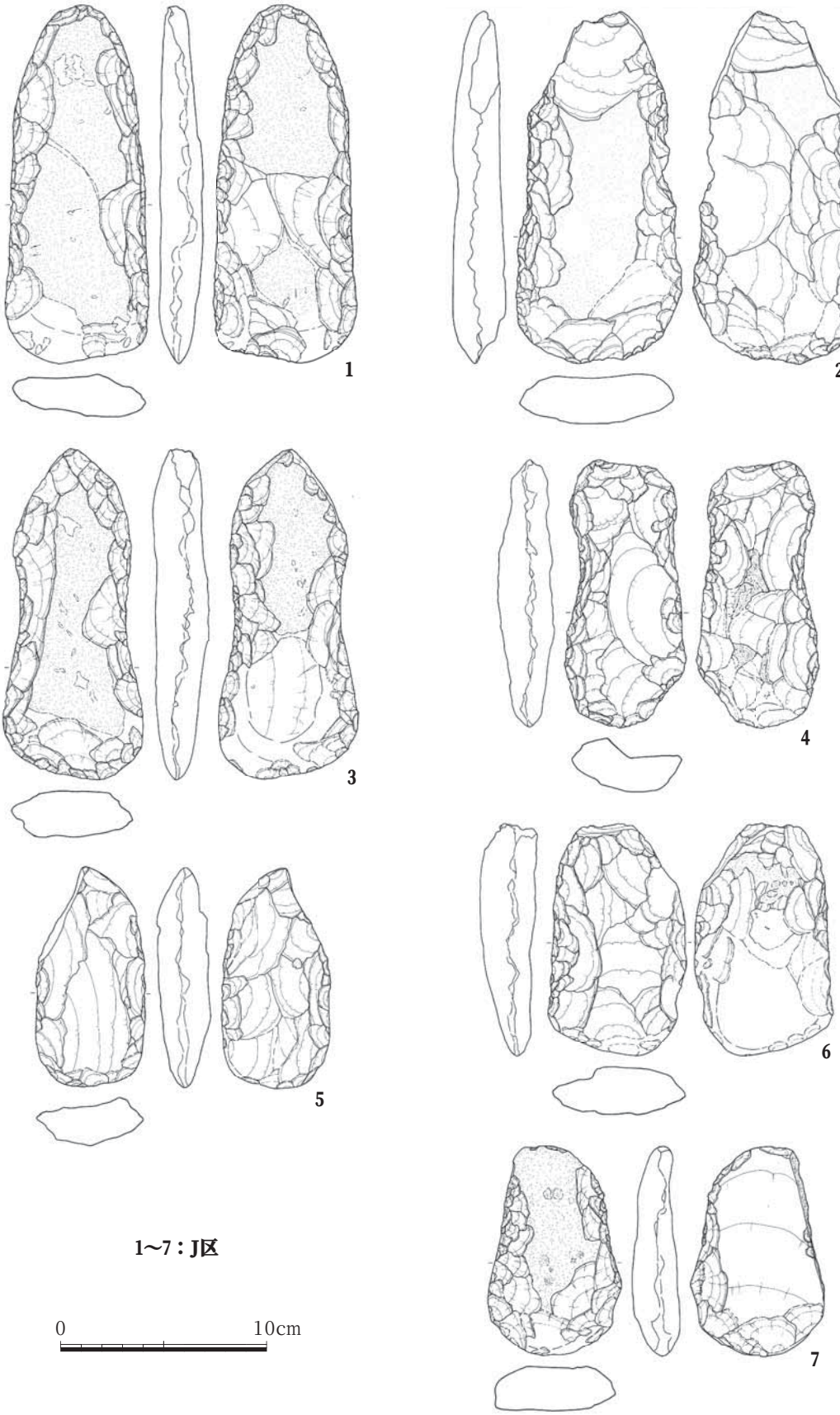
32は基部を欠くが，大型品の部類で基部は刃部よりもやや狭くなるものと思われる。**33**はやや長さの短い短冊形である。側辺に対して刃部の摩耗が弱く，使用途中で刃部の再生が行われたものと思われる。**34**は小型の短冊形で，側辺が極度に摩耗しているのに対して刃部の剥離は新しく，刃部再生か使用による欠損の結果であろう。**35**は表裏両面に自然面を残す。**36**は刃部に研磨を施している。**37**は結晶片岩製で，上下端部に張り出し部をもっており，糸巻形の形状を呈していたものと思われる。張り出し部には摩耗面がみられることから打製石斧に含めたが，別器種の可能性もある。

38～**40**は刃部を欠く資料である。**38**は先細りとなる。**39**・**40**は表裏両面に自然面を残す。**41**～**48**は基部を欠く資料である。**41**は扁平で幅広であり，基部は刃部よりも狭い形状であったものと思われる。両面に大きく素材の自然面を残しており，整形は周縁部に限定的に行われている。**42**も薄手の板状素材の縁辺にのみ加工を行っている。刃部も使用によるものか大部分を欠損する。**43**は片面に自然面を残す。**44**は強い摩耗が刃部に認められる。**45**は両面に自然面を残す板状素材を用いており，縁辺のみに加工が行われている。刃部の摩耗は左右の側辺より浅く，刃部の再生が途中行われたことがわかる。**46**は表裏両面に大きく自然面を残す。**47**・**48**は細身の資料である。**47**の刃部付近は摩耗が進行する。

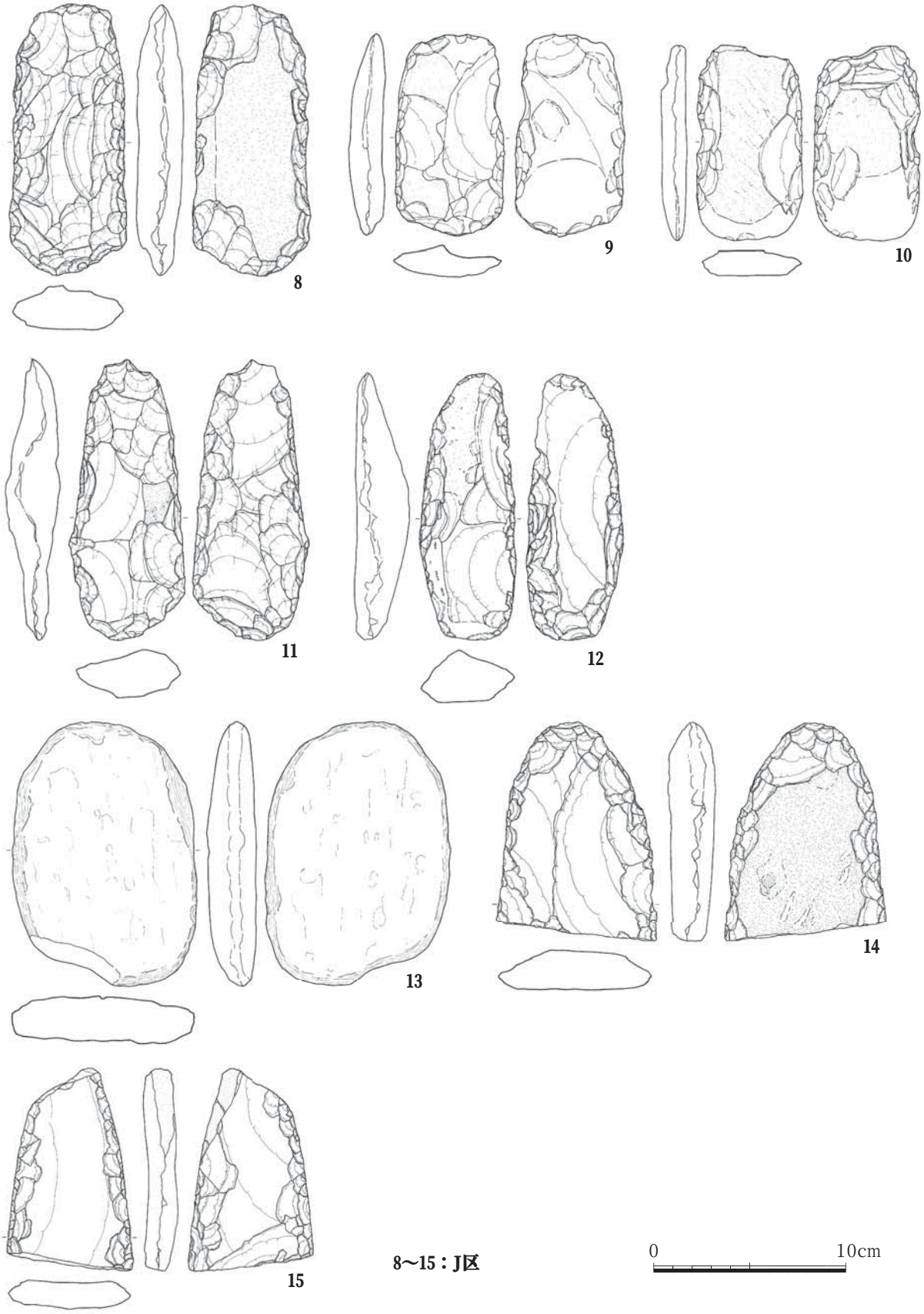
49は刃部からすぼまる形状の資料の基部である。本報告の作成段階でＫ区出土の**46**との接合が確認された。**50**は大型品の基部の資料で，表裏面及び左右側面に素材面を残しており，その稜線状に加工



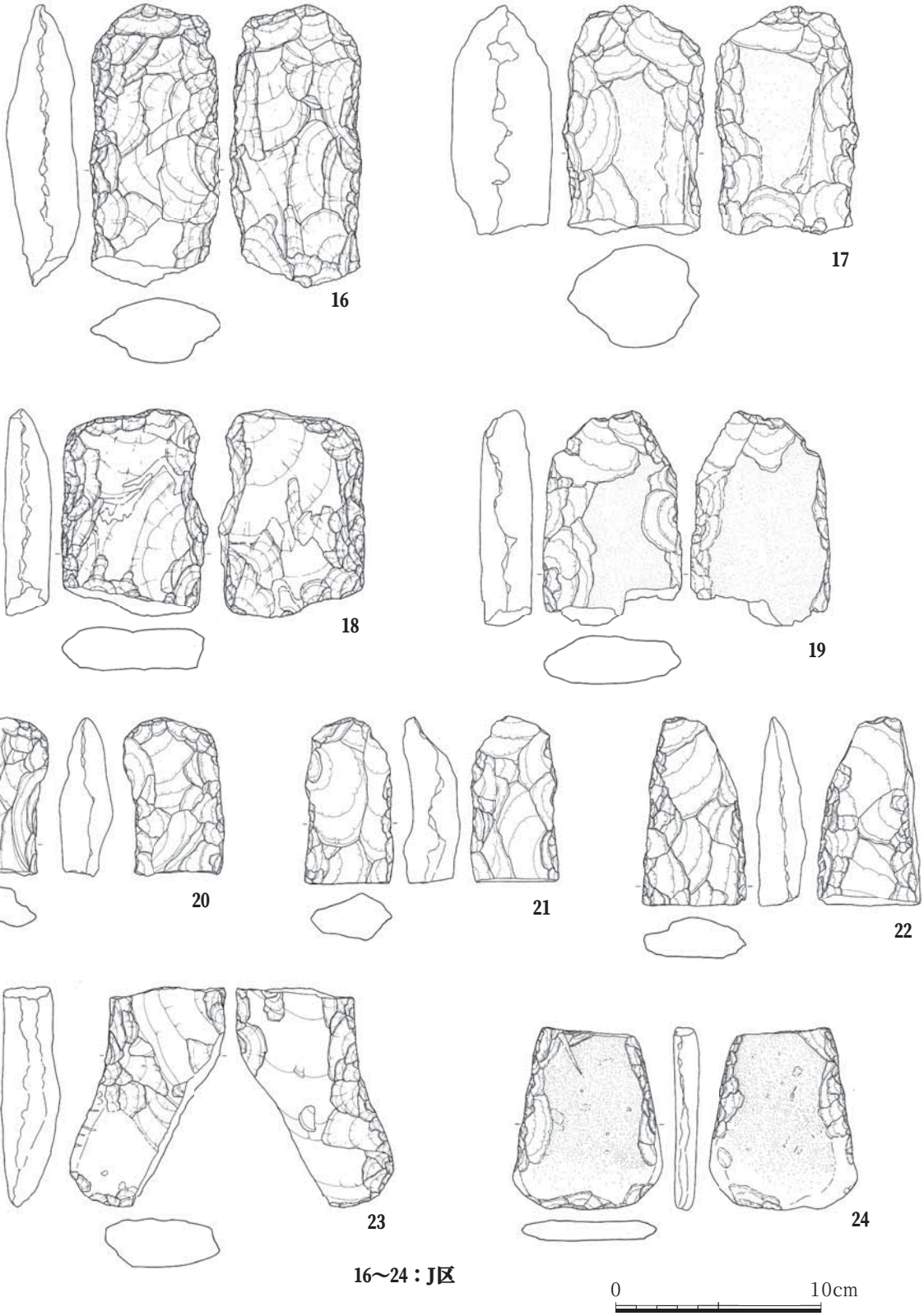
第217図　磨製石斧④（S＝1／3）



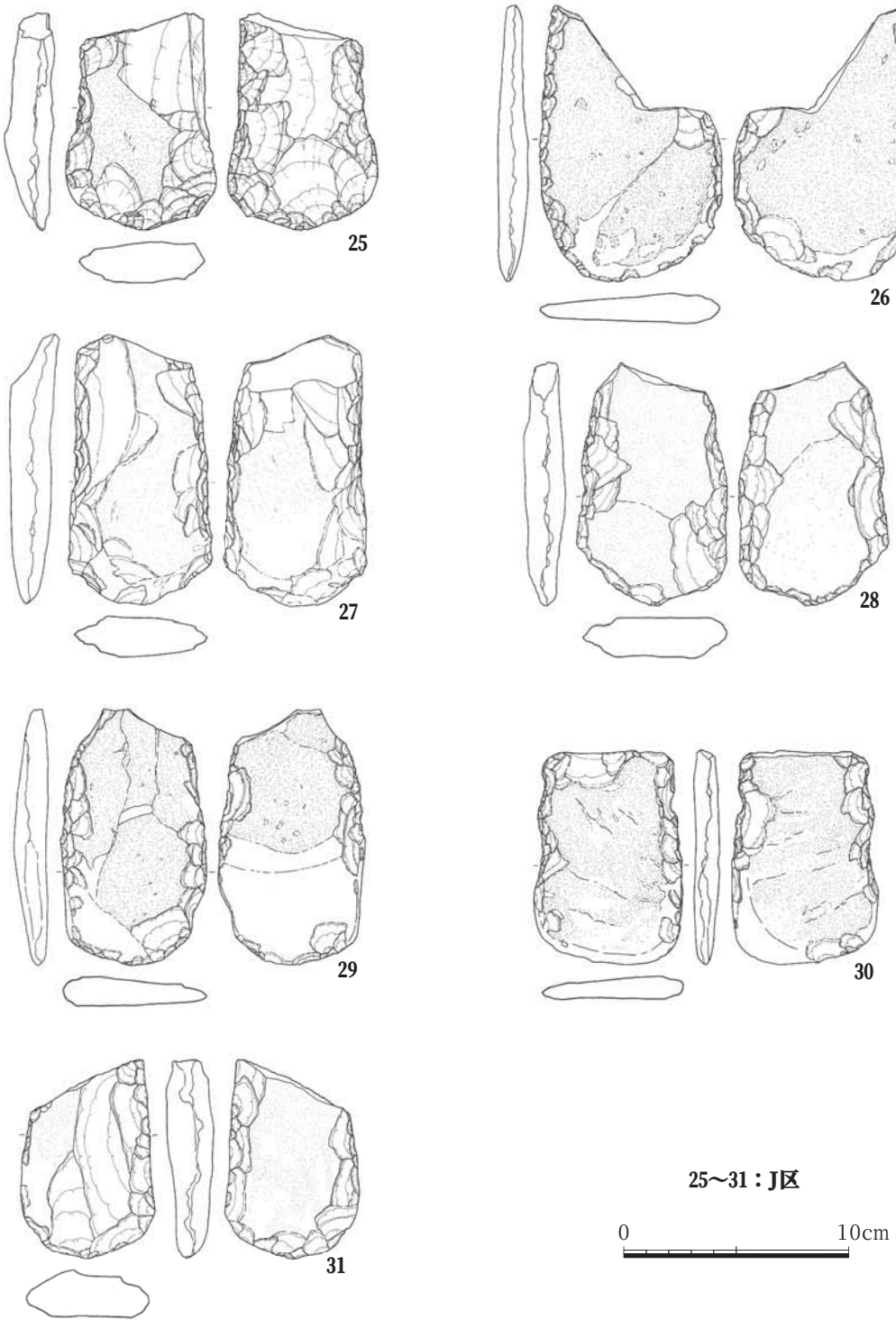
第218図　打製石斧①（S＝1/3）



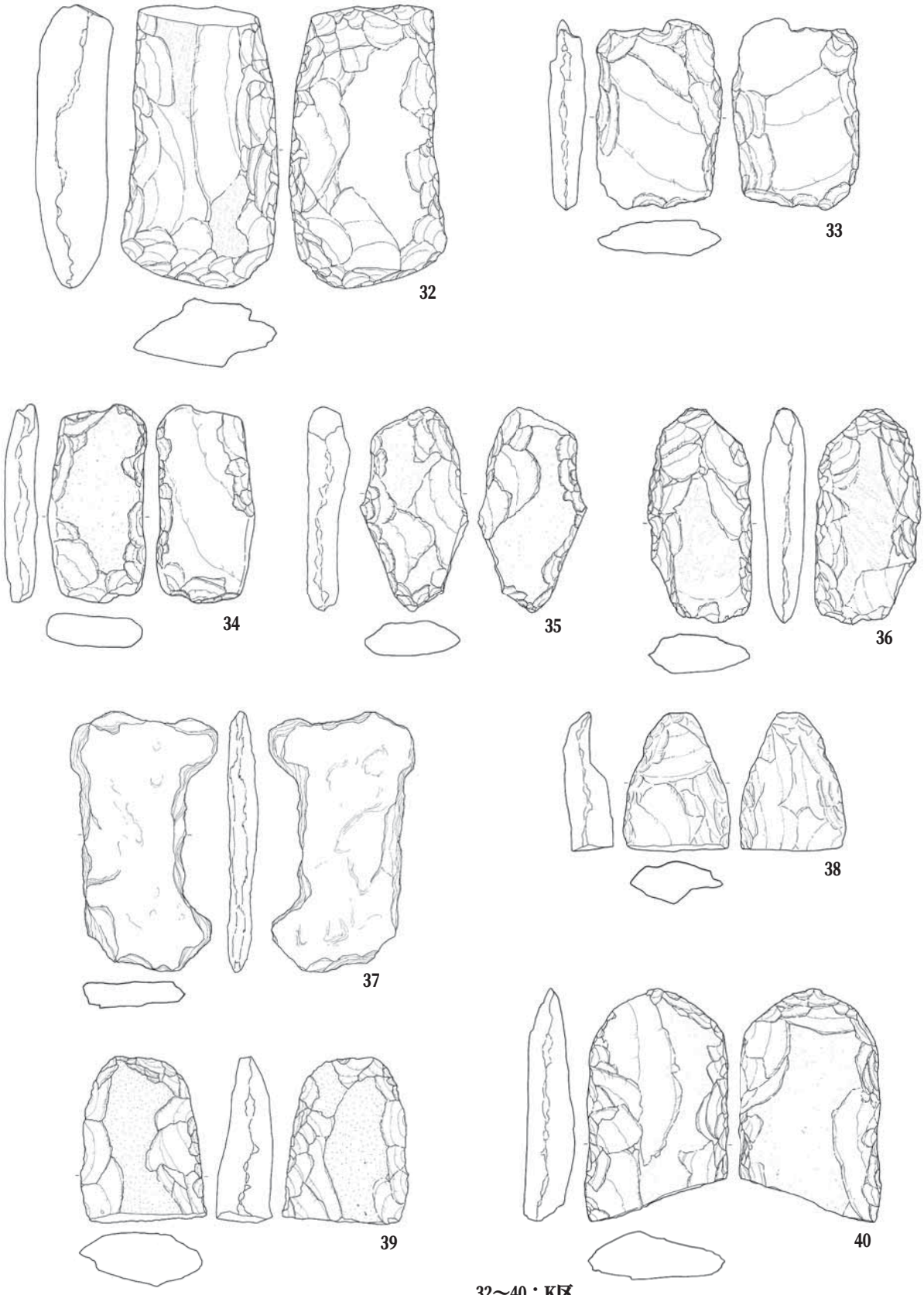
第219図　打製石斧②（S＝1／3）



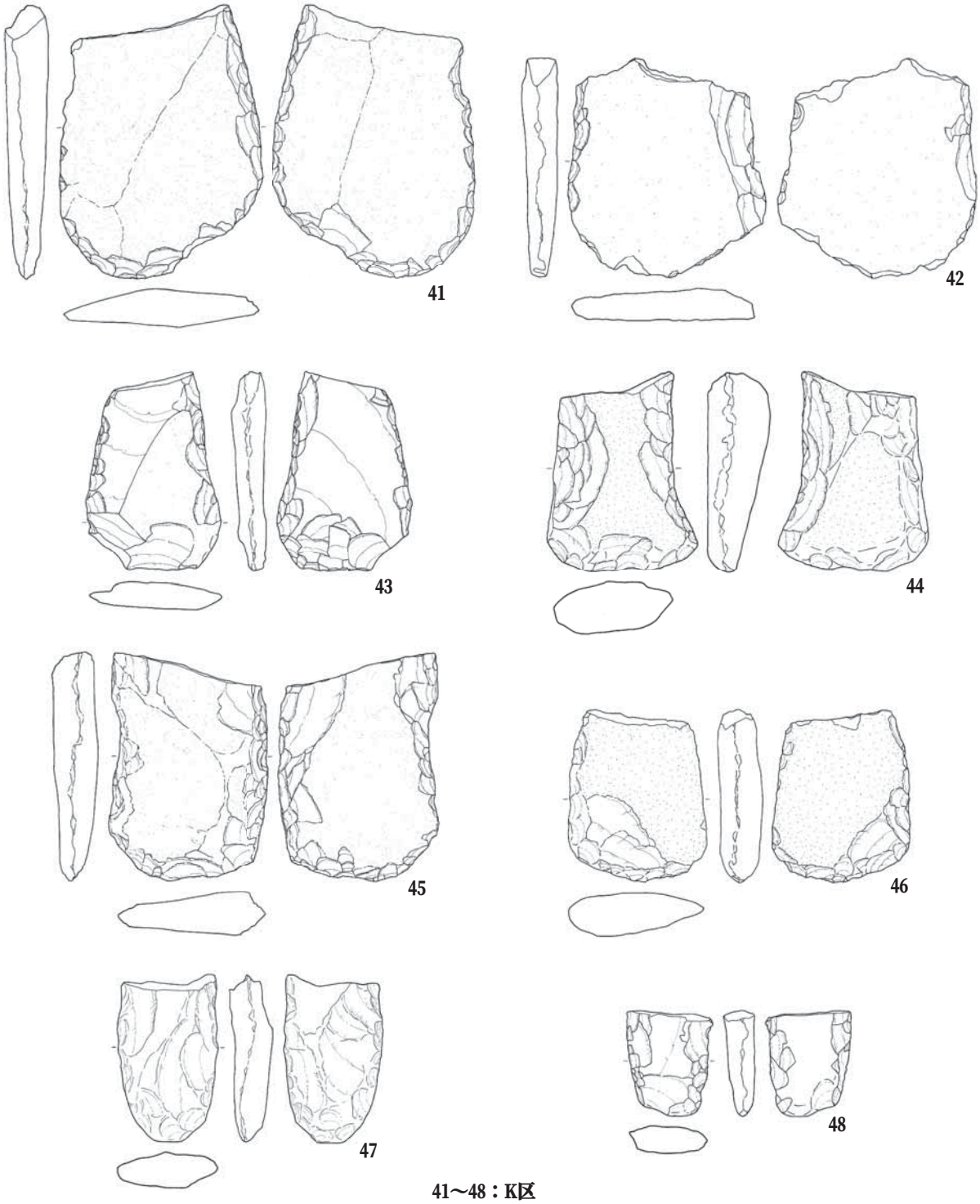
第220図　打製石斧③（S＝1／3）



第221図　打製石斧④（S＝1/3）



第222図　打製石斧⑤（S＝1/3）



41～48：K区

0　10cm

第223図　打製石斧⑥（S＝1／3）

を加えている。**52**は比較的小型の短冊形使用の基部で，側辺には使用による摩耗が観察される。**53**の基部は弧状に整形される。**54**は横長剥片を素材としており，表面にはわずかに自然面が残存する。**55**は両面が黒色に変色しており，表面には剥落の集中が確認されることから，被熱の影響を受けた可能性が考えられようか。**57**は短冊形を呈しており，表裏両面に自然面を大きく残す。表面自然面に走る稜線には強く摩耗が及ぶが，それを切るように刃部の剥離が入っており，刃部の再生が図られたことがわかる。**59**は全体に強く摩耗が認められる。**60**は結晶片岩を素材とする。周縁からの加工は認められるものの，打製石斧の刃部として断定するにはやや不安がある。

61〜72は刃部の幅に対して基部の幅がやや狭くなってすぼまる形状となるものである。**61**は薄手の横長となる剥片を素材としており，最小限の整形である。**63**は表裏両面に自然面を残す。刃部再生の剥離加工が認められる。**64**は弧状の刃部をなしており，刃部の再生が行われている。**65**は表裏両面に自然面を残す。**66**は左右の両側辺より刃部の摩耗の方が浅く，刃部の再生が明瞭である。**68**は両面に自然面を大きくとどめる。**69**は薄手の板状素材を用いている。**70**は一部に滑面を有しており，別器種の破損品からの転用なども考えられよう。

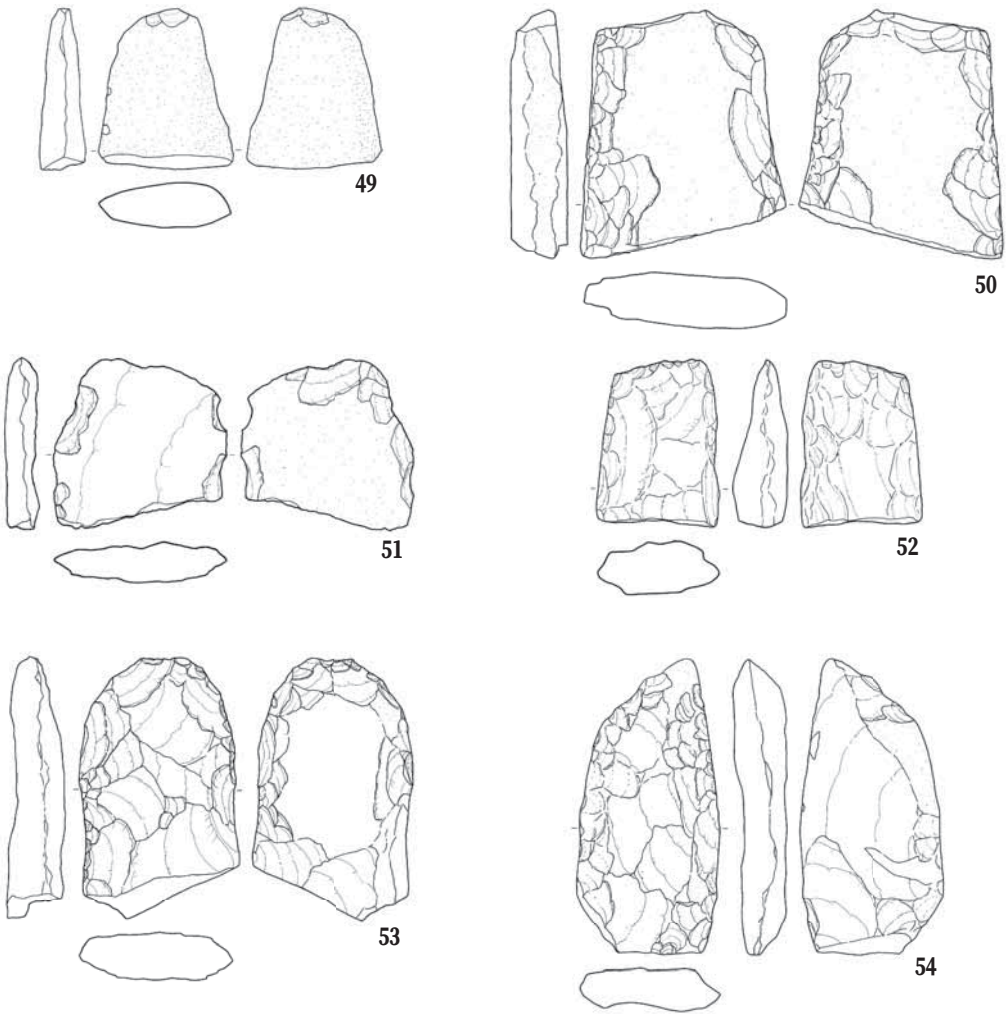
73〜79は短冊形を呈する資料である。**73**は片面に大きく自然面を残した剥片を素材としており，左右の側辺を中心に整形を行っている。**74**は表面に大きく自然面を残し，刃部は再生加工を行っている。**75**は使用による極度の摩耗が認められる。**77**は横長の剥片を素材として用いている。**78**は表裏両面に自然面が残り，強く摩耗が入る。

80・81は平面楕円形をなすものである。**80**は結晶片岩製，**81**はマイロナイト製である。周縁に整形加工の痕跡を残すものの刃部まで厚手であり，打製石斧としての評価ができるかにはやや不安が残る。

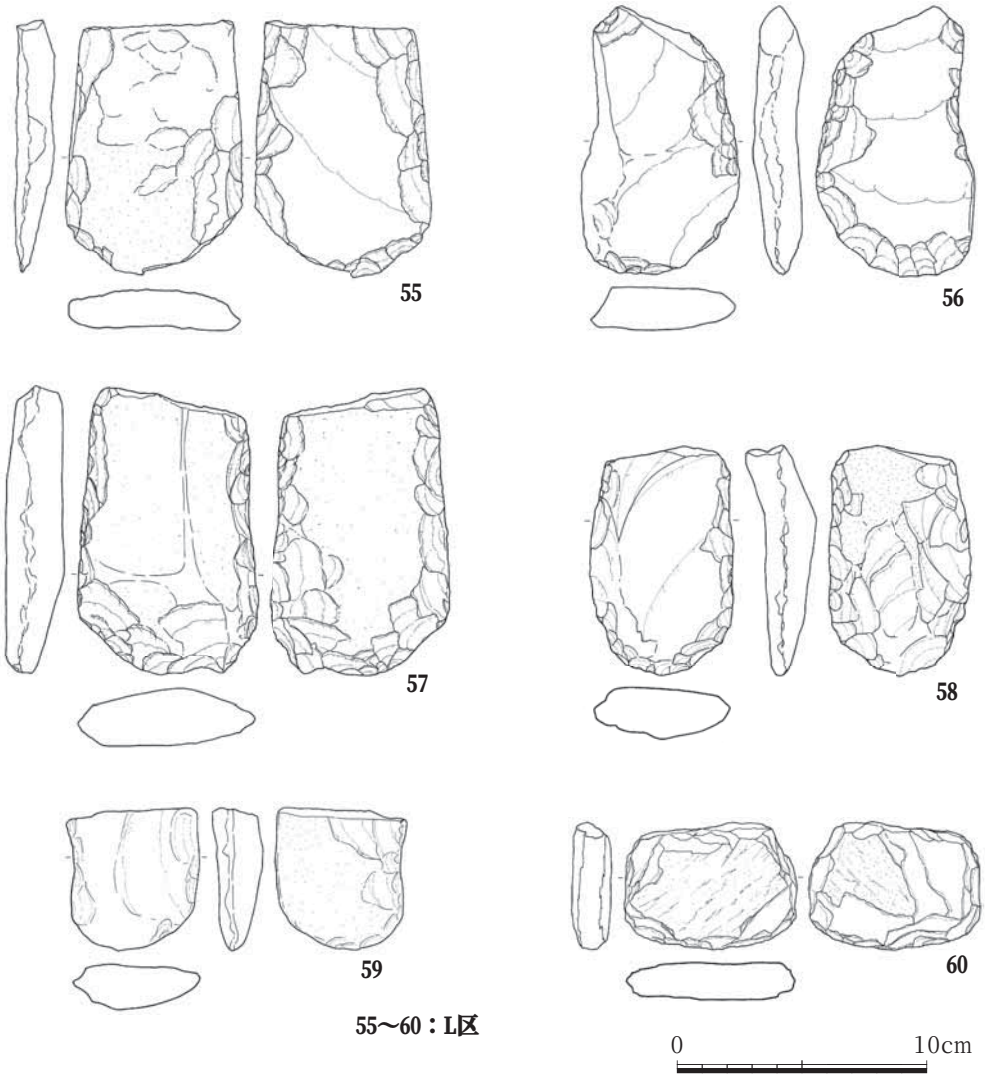
82〜88は幅の狭い細身の資料である。**82**は表面の左半分に自然面を残す。**83**は頁岩製で，右側辺には他より新たな剥離が連続する。例えば打製石包丁への転用なども考えられようか。**84**はサヌカイト製である。刃部には使用による線条痕が認められる。**85**は左側辺上半に敲打痕が認められる資料である。**86**は表裏面に研磨面をもっており，周縁からさらに整形を行っている。磨製石斧からの転用であろう。**87**は下端としている方が摩耗の進行具合が強く，本来の刃部であったと考えられるが，その後，それ以外の部分へ整形剥離が加えられている。上下反転して使用したものか。**88**は結晶片岩製である。

89〜100は基部を欠損する資料である。**89**は非常に薄手の板状素材で，表裏両面に自然面を残し，周縁にわずかな整形剥離を施す。**91**は表裏両面に自然面を残しており，刃部の摩耗は極度に進んでいる。**94**はサヌカイト製で，硬質素材にしては刃部の摩耗が強い。**95**は両面が自然面で幅広，扁平な素材で，周縁に整形を行い，刃部への加工はわずかである。**97**は結晶片岩製である。円盤状石器の可能性もある。**98**は非常に扁平な資料である。**99**は表裏両面に素材の自然面を残す。**102**には左右の側辺から刃部にかけて摩耗が進むが，刃部の一部には刃こぼれもしくは刃部再生と思われるそれよりも新しい剥離がみられる。**103**の表面は黒色化しており，被熱の影響も考えられる。**105**は左右の両側辺が平行する短冊形の資料で，両面に自然面を大きく残す。**107**は小型，砂岩製の資料である。**109**は左右の側辺を内湾させて分銅形に整形する。刃部には研磨が施される。

110の刃部は整形が不明瞭となるほどに摩耗する。側辺についてはある程度の使用後に再加工して細身に仕立てた可能性がある。**113**は基部より刃部がやや広くなる形状で，刃部には極度の摩耗が観察される。表面基部付近には滑面が残っており，別器種の欠損石材などの再利用の可能性もある。**114**



第224図　打製石斧⑦（S＝1/3）

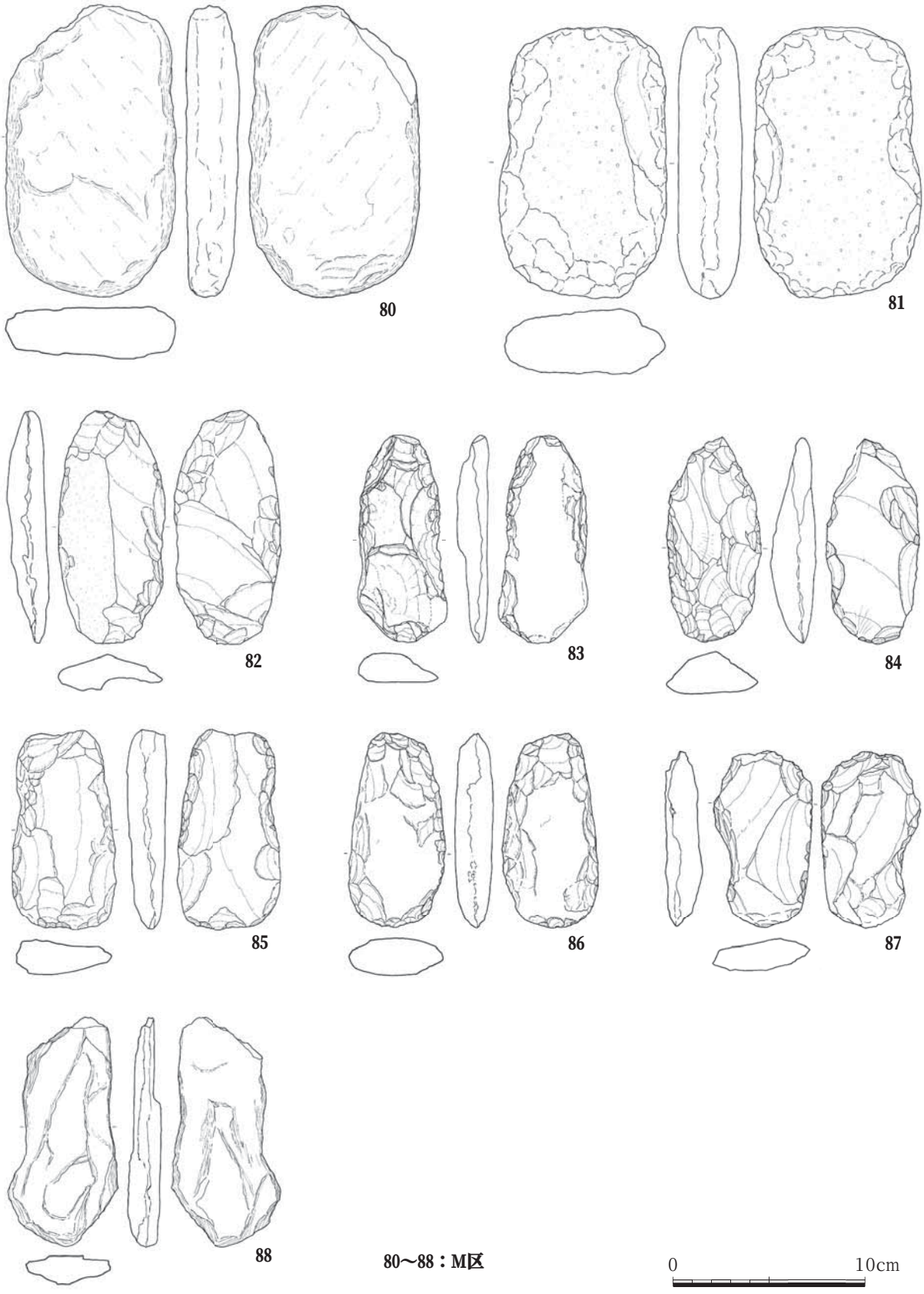


第225図　打製石斧⑧（S＝1/3）

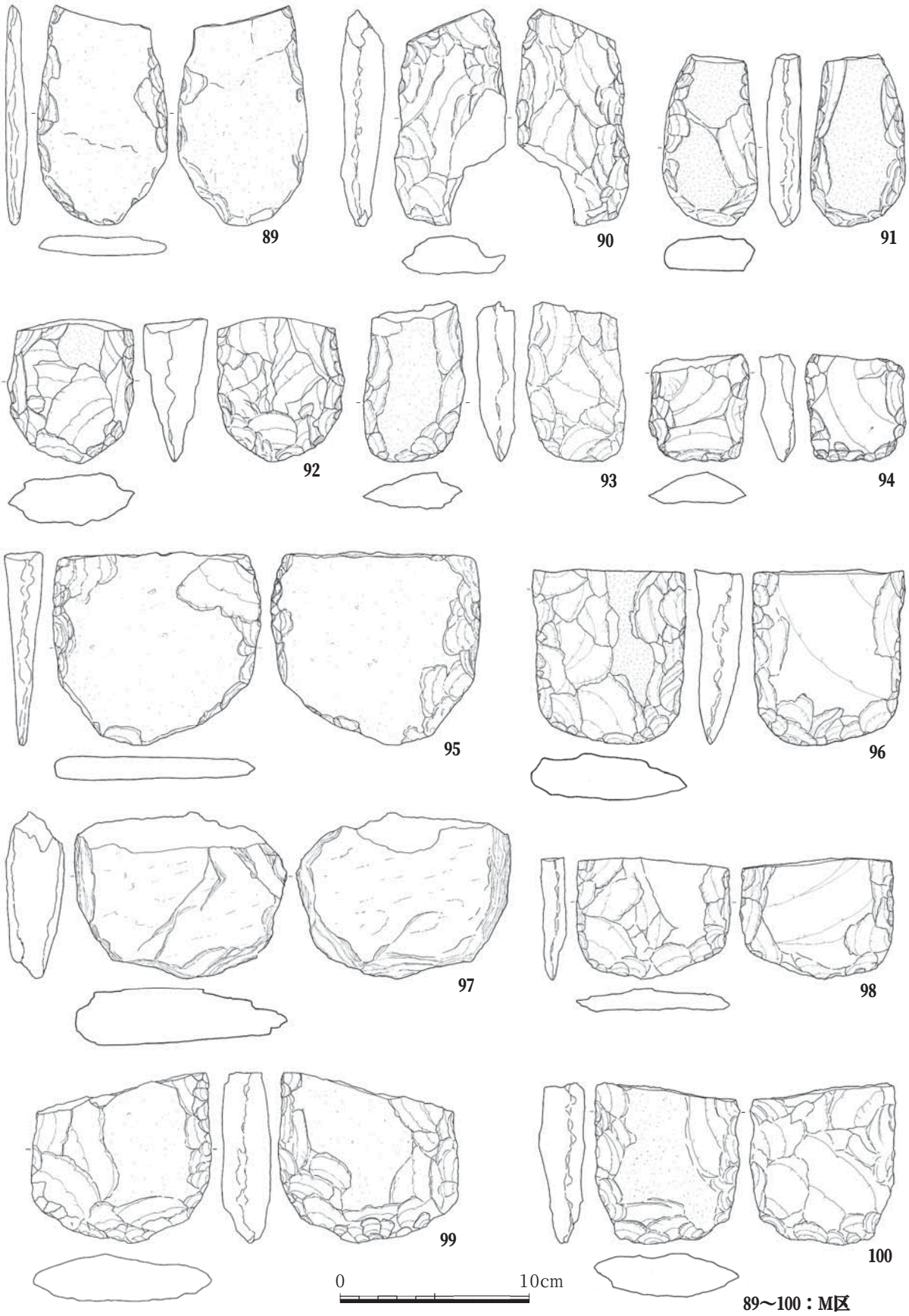
61～72：M区

第226図　打製石斧⑨（S＝1／3）

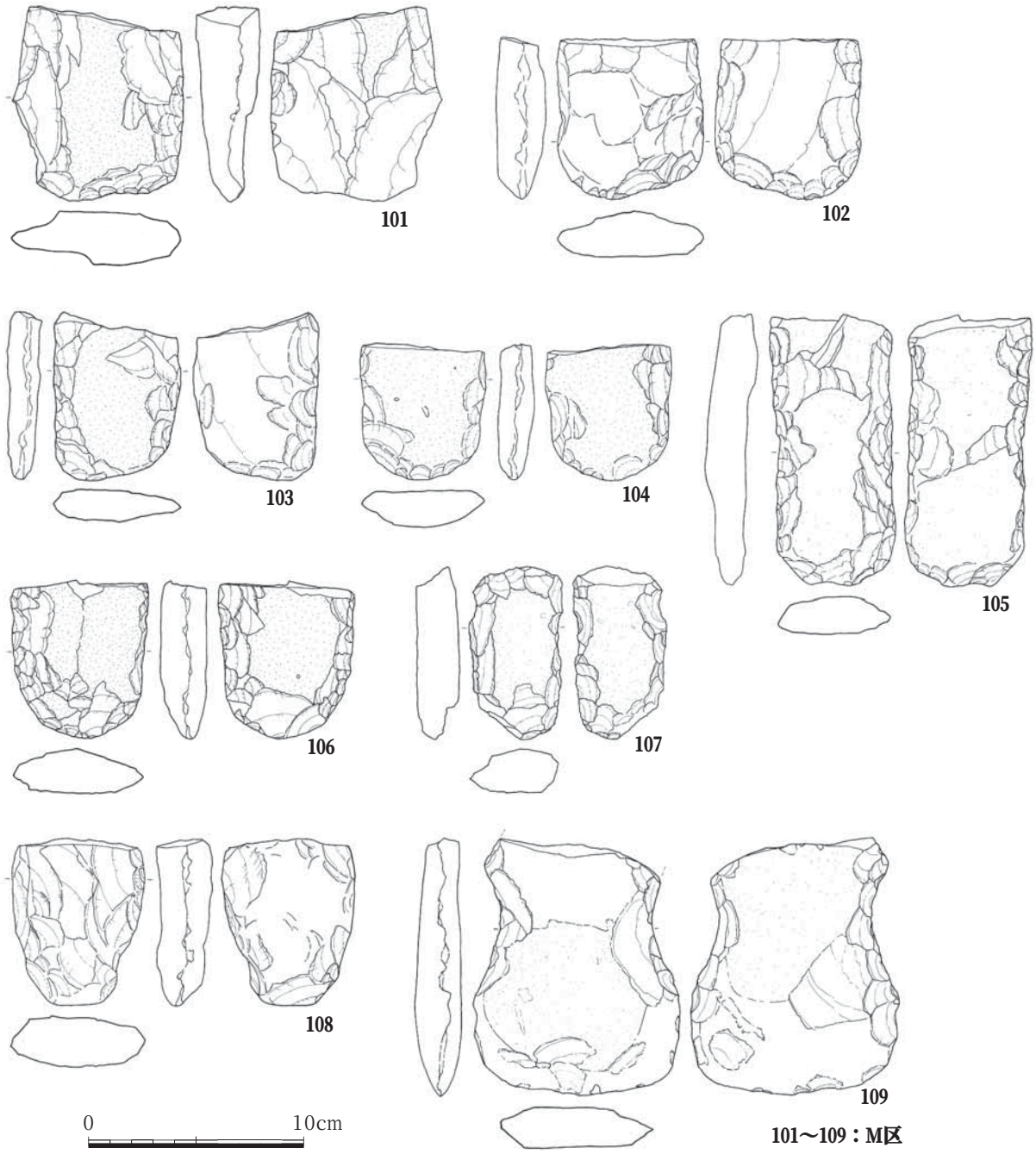
第227図　打製石斧⑩（S＝1/3）



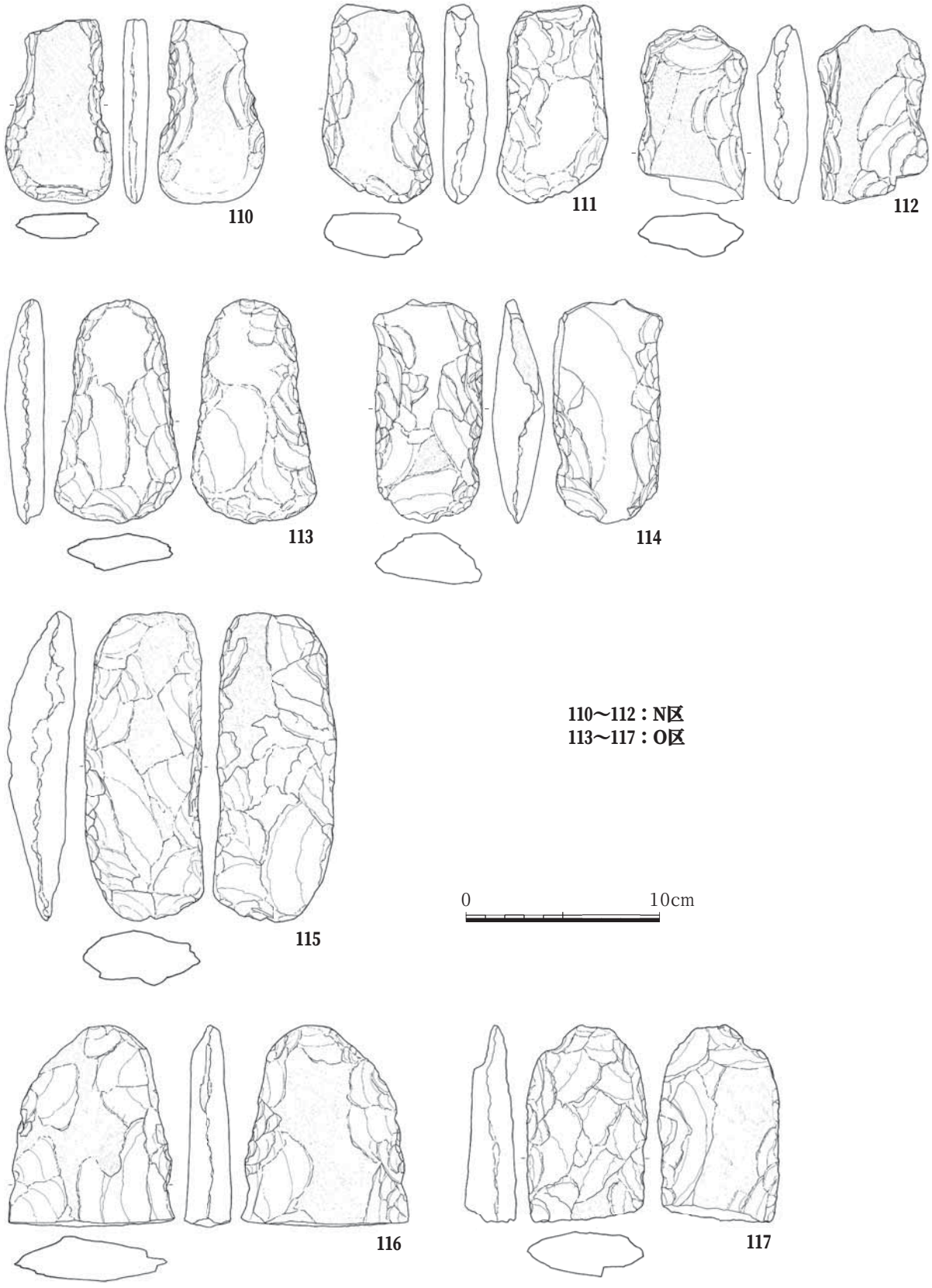
第228図　打製石斧⑪（S＝1／3）



第229図　打製石斧⑫（S＝1/3）



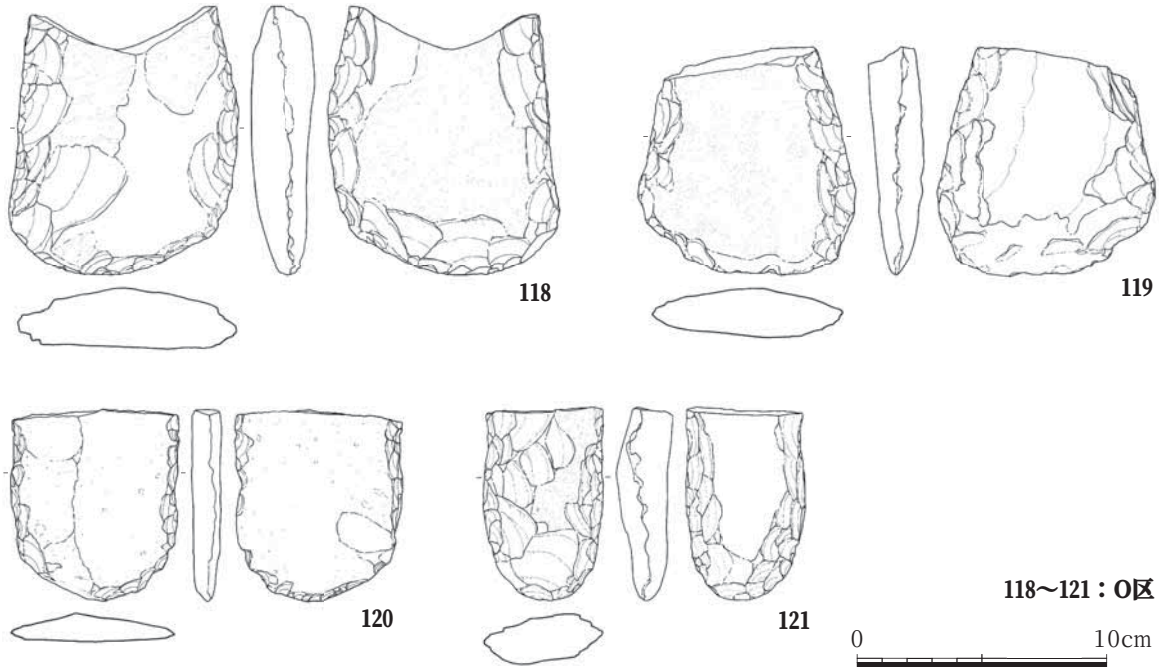
第230図　打製石斧⑬（S＝1／3）



第231図　打製石斧⑭（S＝1／3）

は横長に作出された素材を用いて製作している。**115**は細身の短冊形で，表面の一部には自然面が残存する。

116・117は刃部を欠損する資料である。**116**は両面に自然面を大きく残しており，基部はすぼまる。**117**は数少ない砂岩製で，一部に滑面を有しており，砥石などの欠損破片の再利用である。**118〜121**は基部を欠損した刃部の資料である。**118**は両面に自然面を有しており，表面には研磨が施されているが，刃部には剥離加工が行われている。**119**は基部より刃部が広くなる使用で，裏面の刃部付近には長軸方向の線条痕が認められる。**120**は薄手の板状素材の縁辺に最小限の整形剥離を行っている。



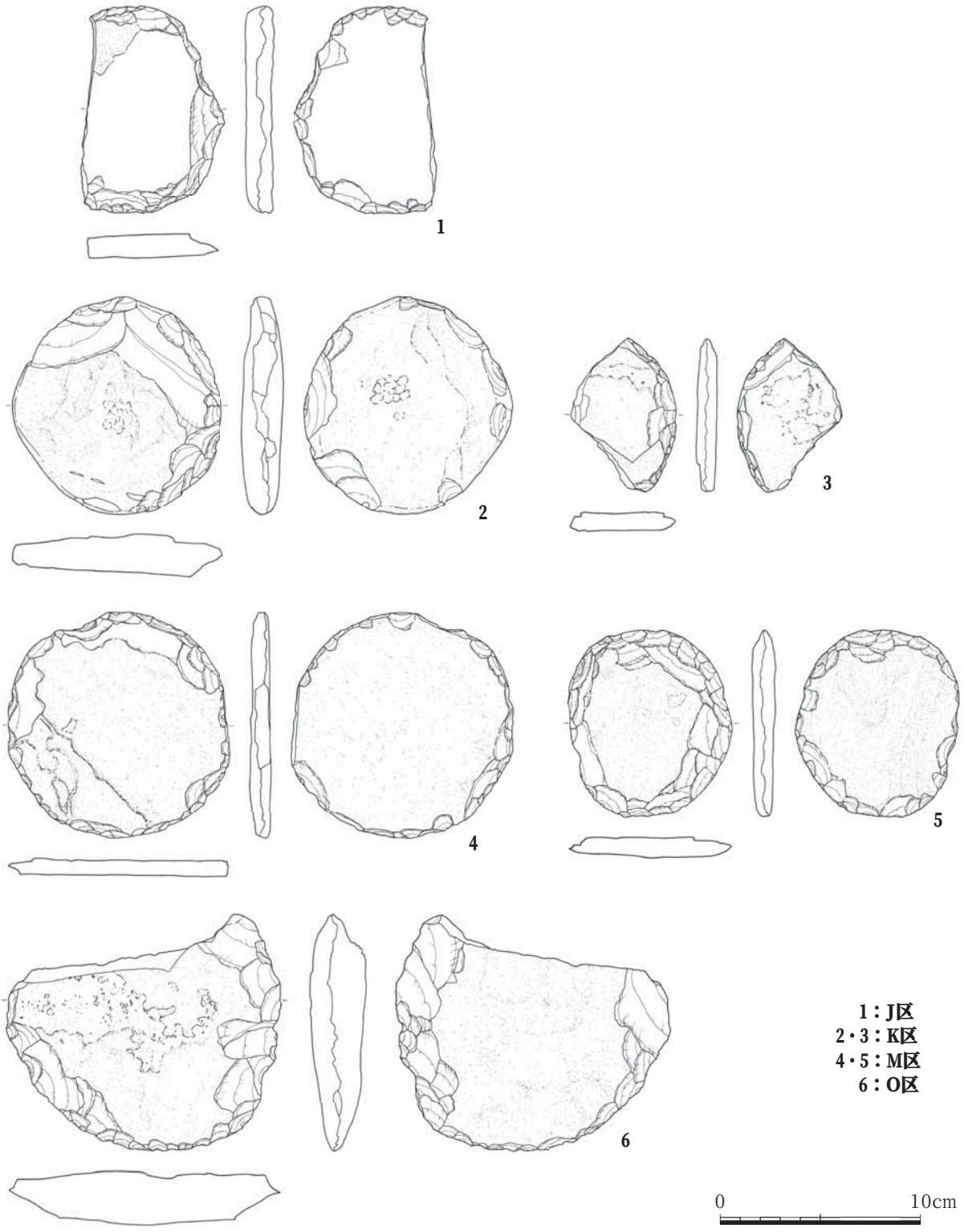
第232図　打製石斧⑮（S＝1/3）

円盤状石器（第233図）

1〜5は砂岩製，**6**は安山岩製である。**1**はほぼ半分を欠損する。周辺に両面からの加工が行われている。**2**は扁平な水磨砂岩の周縁に加工を行うが，周縁の一部には磨面が観察され，表裏面にも潰痕が確認できることから，磨石・敲石の可能性，あるいはそれからの再加工品の可能性も考えられる。**3・4**は片面に，**5**は両面にそれぞれ研ぎ面を有していることから，砥石からの剥落石材の再利用であろう。**6**は両面に素材面を残した比較的大型品である。

打製石包丁（第234図・第235図）

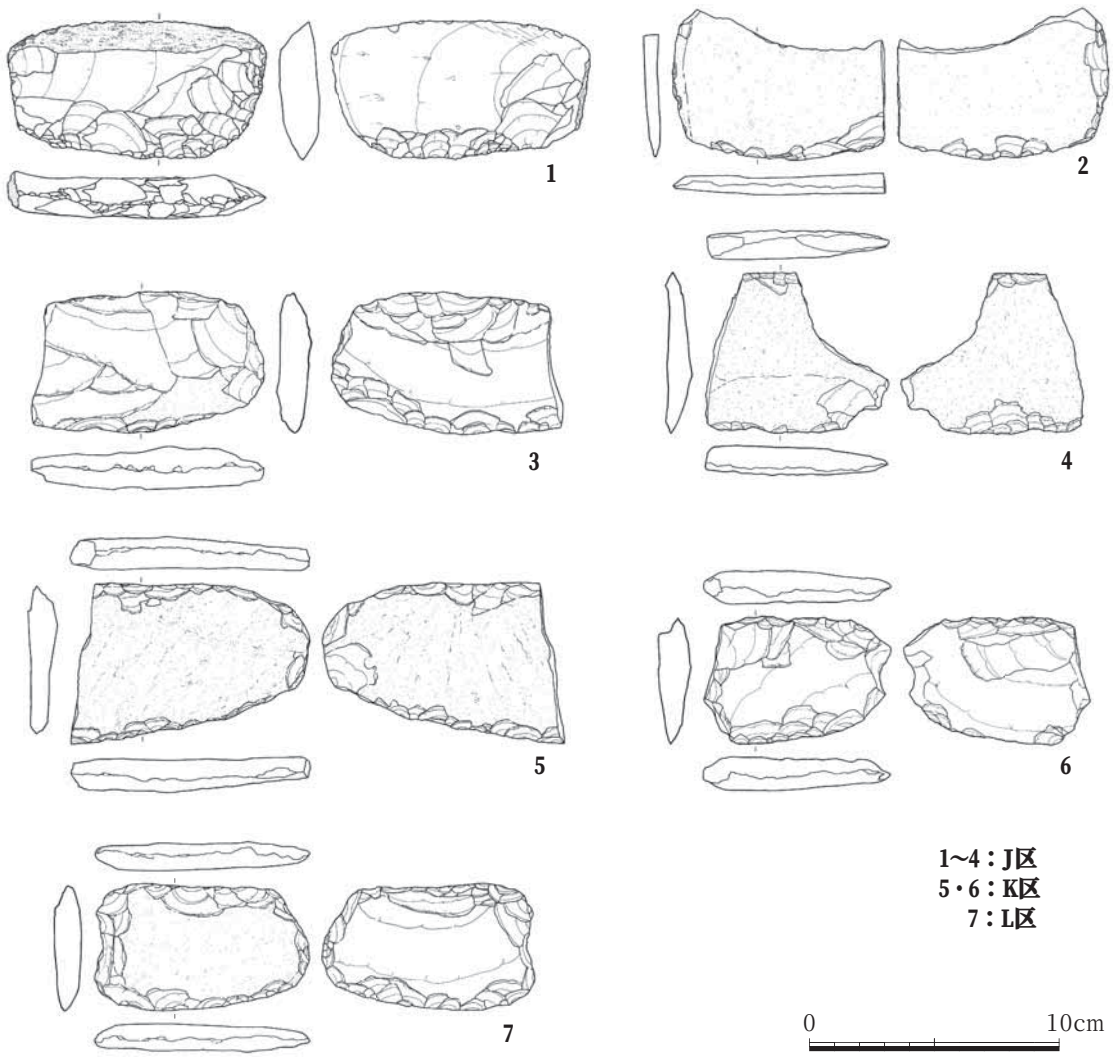
1，**10**はサヌカイト製，**2〜9**，**11〜14**は安山岩製である。**1**は自然面を打面として作出された縦長の剥片を素材とし，その左側辺から末端にかけて加工を行うが，両面からの加工は左側縁のみで，末端については腹面からの加工にとどまる。**2**は非常に薄手の板状素材を用いており，やや弧状をなす一辺に剥離が観察される。**3**は自然面を一部に残した横長の剥片を素材とするものである。打製石斧の可能性が残るが，比較的薄手の作りであることから石包丁とした。**4**は両面に自然面を大きく残



第233図　円盤状石器（S＝1/3）

す薄手のものである。一部欠損するが，平行する直線的な二辺に剥離加工が認められる。**5**は両面に大きく自然面を残しており，周縁に両面からの剥離がめぐる。**6**は直線的な二側辺に加工が認められる。**7**は片面に自然面を大きく残す横長の剥片素材とし，周縁に加工がめぐる。**6**・**7**は短軸の一辺に抉入部をもつが，意図的なものかは不明である。**8**は一部自然面を残した横長の剥片が用いられており，打点側の方に積極的に加工が行われるが，末端側の方が薄手で加工は少ないものの刃部として機能したのではないかと思われる。**9**は自然面を大きく残し，両面に周縁をめぐるように加工がみられる。**10**は不純物の多く入る縦長の素材で，平行する上下の側辺にはどちらも使用によるものと思われる摩耗が観察される。**11**は広く自然面を片面に残しており，周縁に剥離がめぐる。

12は長軸打点側の側辺には一部摩耗が観察され，あるいは打製石斧からの再加工や打製石斧欠損石材の再利用であることも考えられる。**13**は素材剥片の打点付近に積極的な加工がみられる。**14**は薄手の板状素材を用いたもので大きく欠損するが，一側辺に加工が行われ直線的な刃部が作出される。



第234図　打製石包丁①（S＝1/3）

磨製石包丁（第236図）

1は結晶片岩製で，全体は半月形をなしたものと思われ，刃部は弧状である。刃部のみならず表裏面にも研磨が及ぶ。穿孔はみられない。

石錘（第237図）

1は大型の磨石・敲石からの転用品で，長軸側面に対向する２カ所に抉入部を作る。**2**は扁平な水磨砂岩を素材とする。**3**は安山岩製で，上下，左右４カ所に抉入部を作る。表裏面には敲打痕があるため，敲石からの転用の可能性もある。**4**は扁平，円形の水磨礫が素材で，２カ所の抉入部を作る。**5**は長軸方向に抉入部を設ける。**6**は水磨を受けた結晶片岩製で，２カ所の抉入部をもつ。**7**は砂岩製で，周縁から加工を加えて方形を呈する資料である。２カ所の抉入部をもつ。**8**は平面楕円形をなす扁平な安山岩の水磨礫で，長軸，短軸にそれぞれ対向する抉入部を作る。

石皿（第238図～第241図）

1・**2**は砂岩製である。**1**は片面に凹部をもつ。裏面は平坦であるが，表面の凹部より滑らかな面をもち，砥石としても使用されたものと思われる。**2**は表裏両面に凹面をもつ。凹面が**1**よりも滑らかで，砥石の可能性も考えられよう。

3は砂岩製で片面に凹部をもち，もう一方の面には敲打痕が残ることから，台石としても使用されたものと思われる。**4**は板状の安山岩を素材とし，片面に凹部をもつ。**5**は砂岩製で，片面に凹部をもち，裏面には素材面をそのまま残す。

6～**9**はいずれも砂岩製である。**6**・**7**は表裏両面に凹部をもつが，**6**は極限まで使用し，最薄部の厚さは0.5cmである。**8**の裏面は板状の剥離をみせる素材面である。**9**は裏面に自然面をそのまま残し，凹部の周辺には敲打痕が認められる。

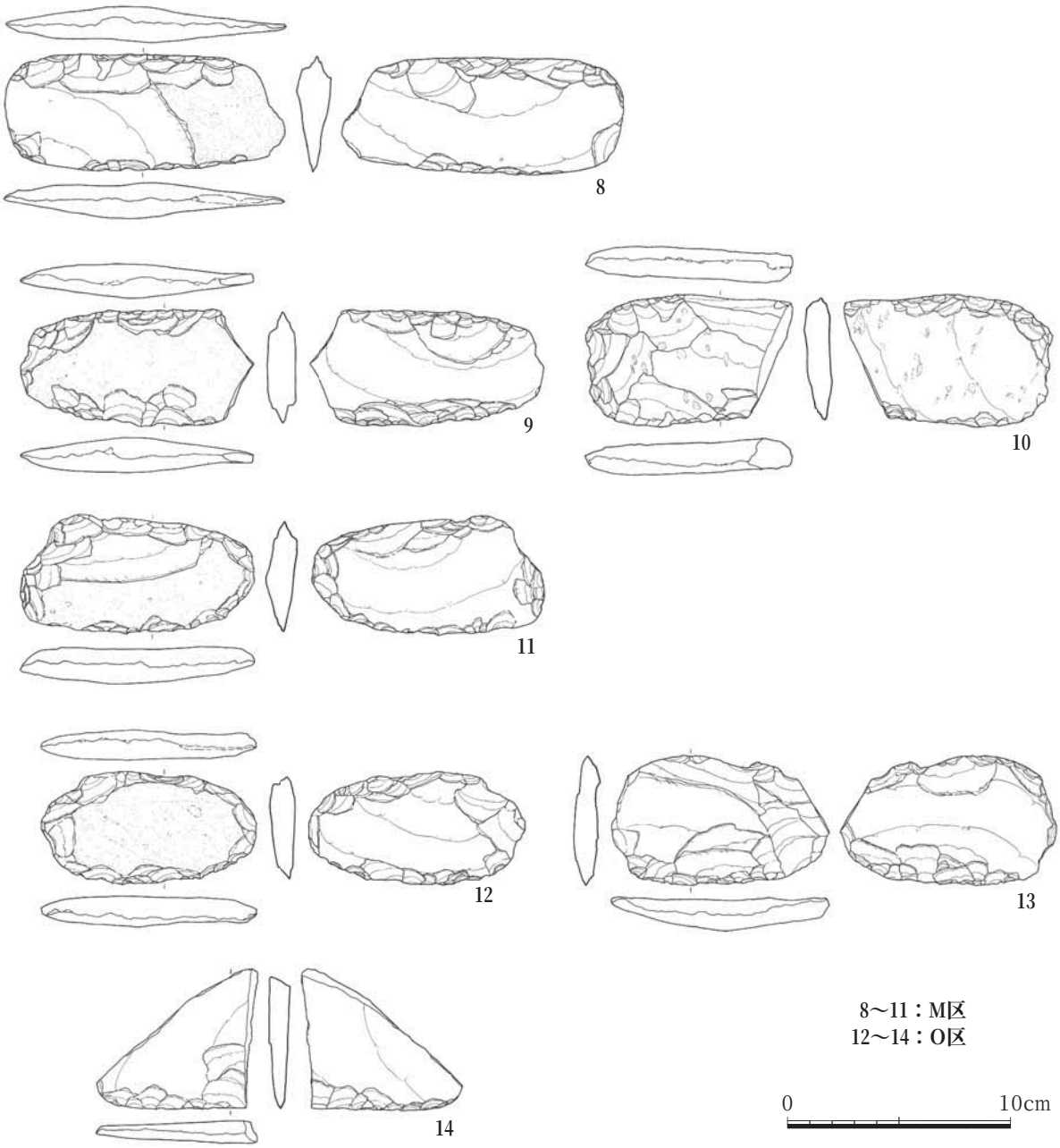
10・**11**は砂岩製である。**10**は片面にしっかりとした凹部を作り，もう片面は板状の剥離をみせる。器面の状態は良くないが，部分的に滑面を有していることから石皿や砥石としても使用したものと思われる。**11**は両面ともに使い込まれ，深い凹部を作る。片面には敲打痕も認められることから，台石としても使用されたものと思われる。

台石（第242図～第244図）

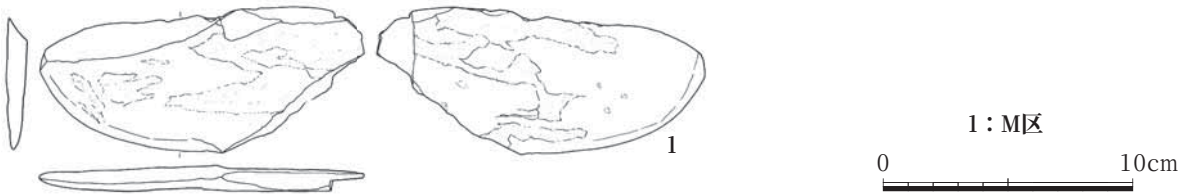
1は頁岩を素材としている。表裏面には研磨が行われており，その後側面には敲打整形を行ったものか潰痕がめぐる。磨製石斧からの転用品であろうか。表裏面に比較的鋭利，硬質なものを対象とすると思われる一部線条をなす打痕が認められる。**2**は両面に滑面を有することから，砥石破片の再利用であろう。片面に潰痕の集中が認められる。

3は砂岩製で，滑面上に潰痕が残ることから，砥石としての使用ののちに台石として用いられたものと思われる。裏面には自然面を大きく残しているが，片方の側辺には剥離が集中しており，平坦化を行ったものか。**4**は板状剥離をみせる安山岩である。

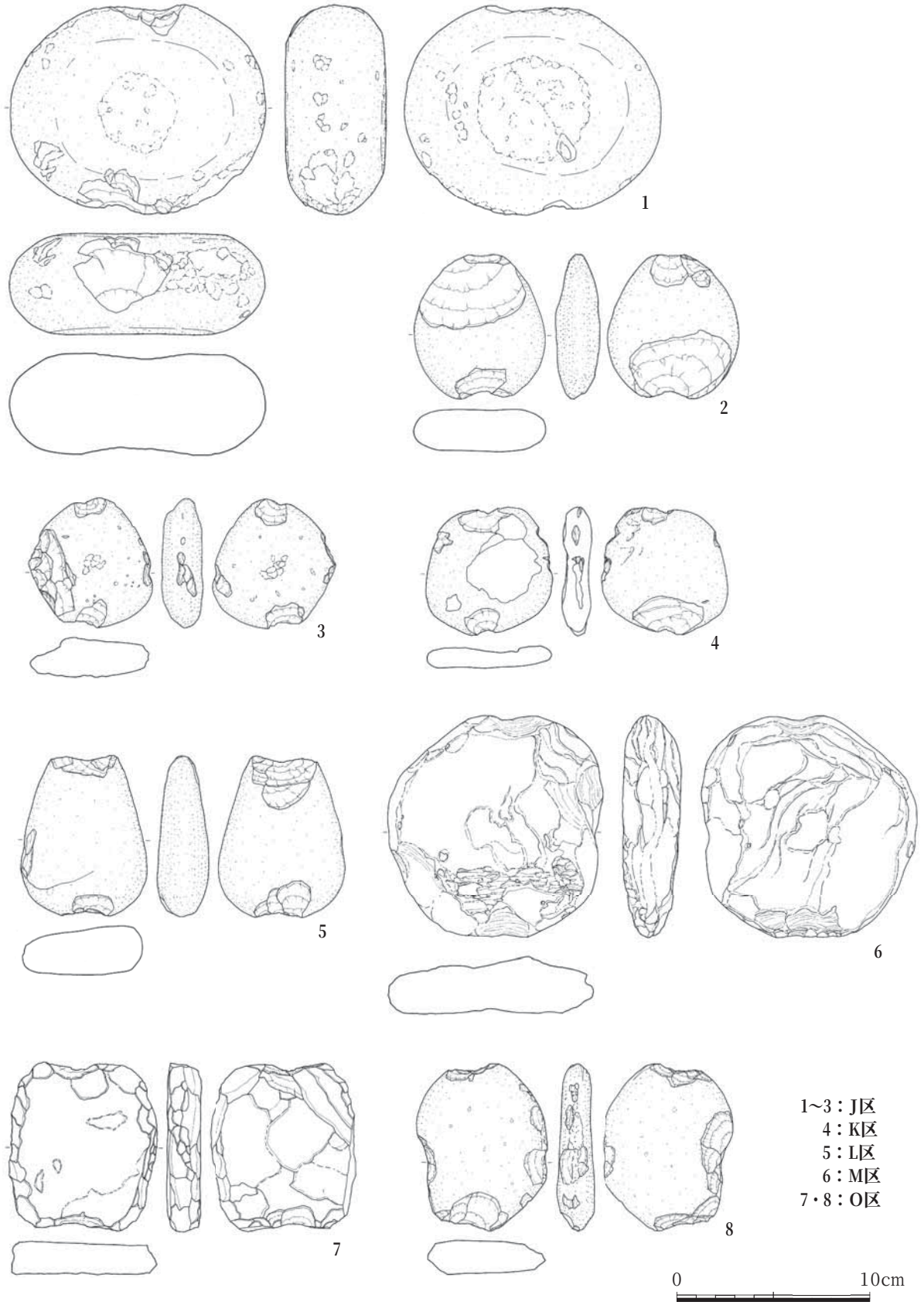
5は生痕化石の残る砂岩で，両面とも部分的に滑面となっていることから砥石としての使用も考えられる。**6**は水磨を受けた砂岩で，両面に潰痕が観察される。



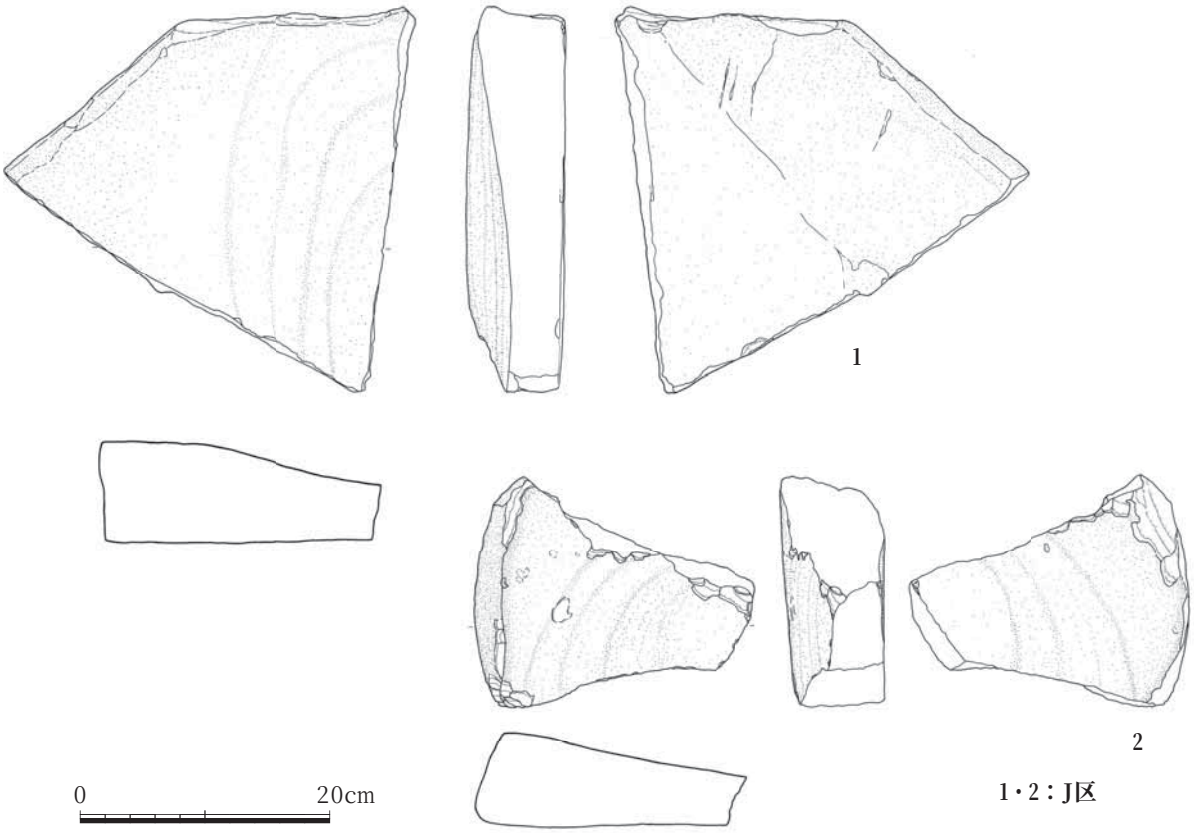
第235図　打製石包丁②（S＝1／3）



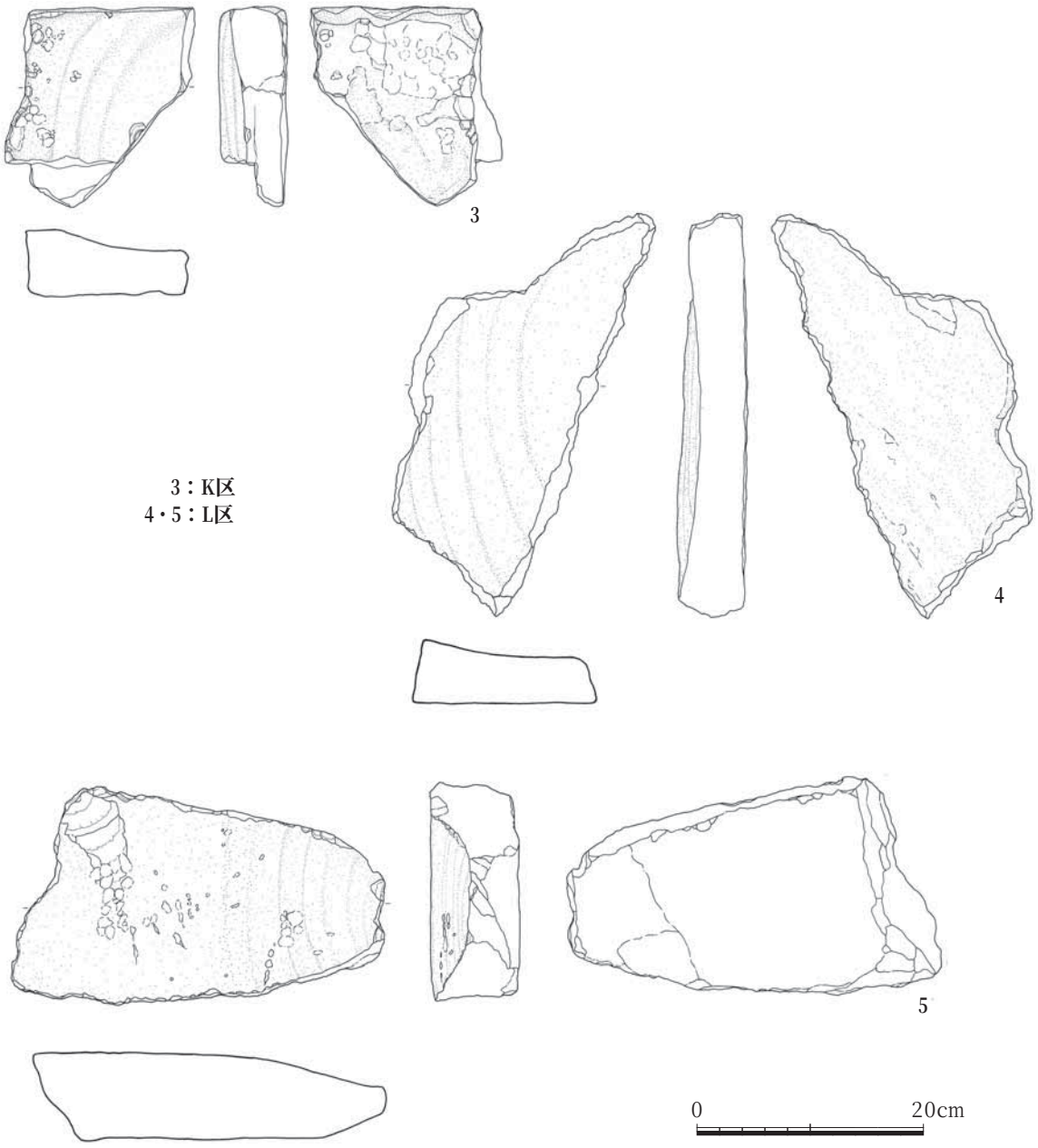
第236図　磨製石包丁（S＝1／3）



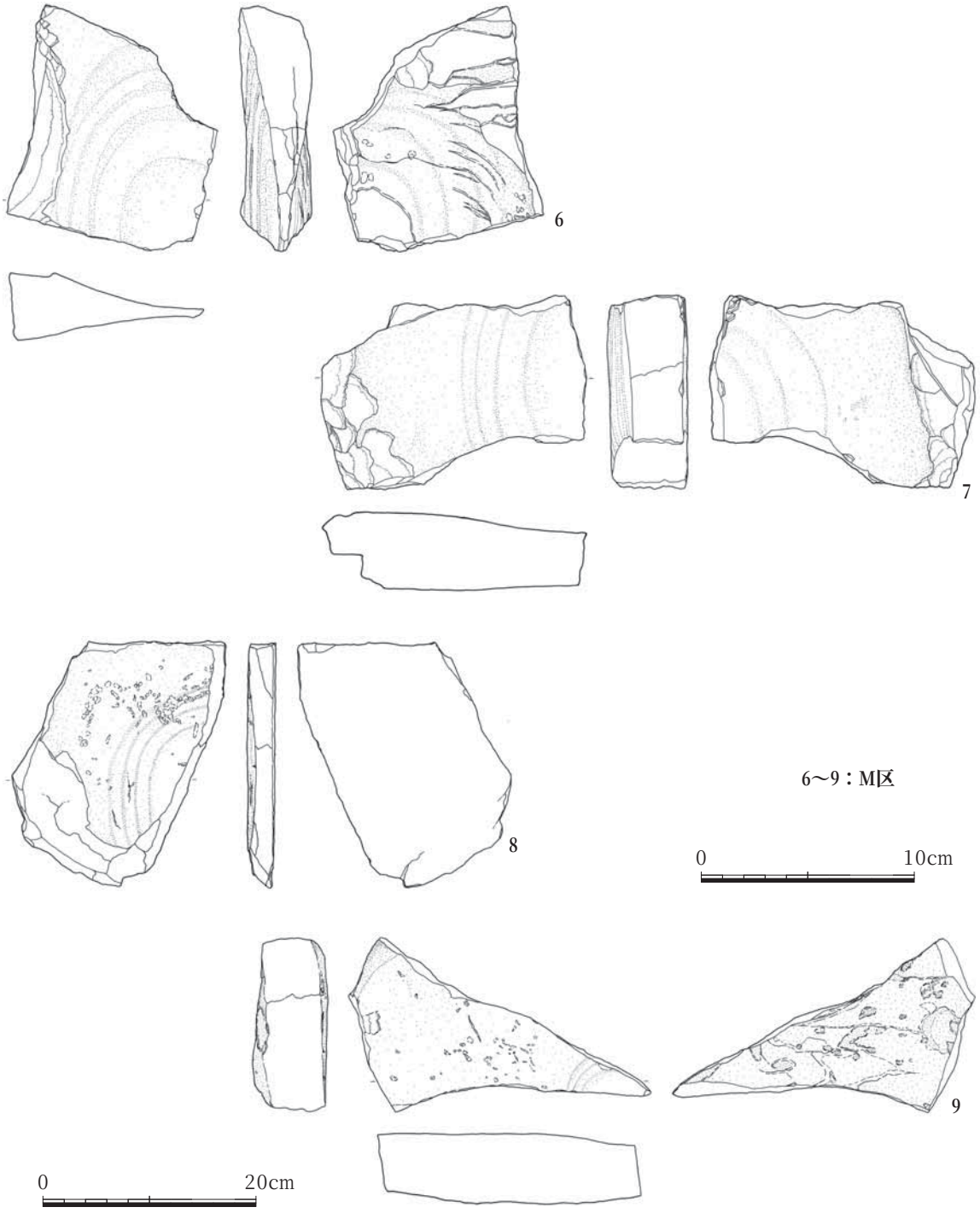
第237図　石錘（S＝1／3）



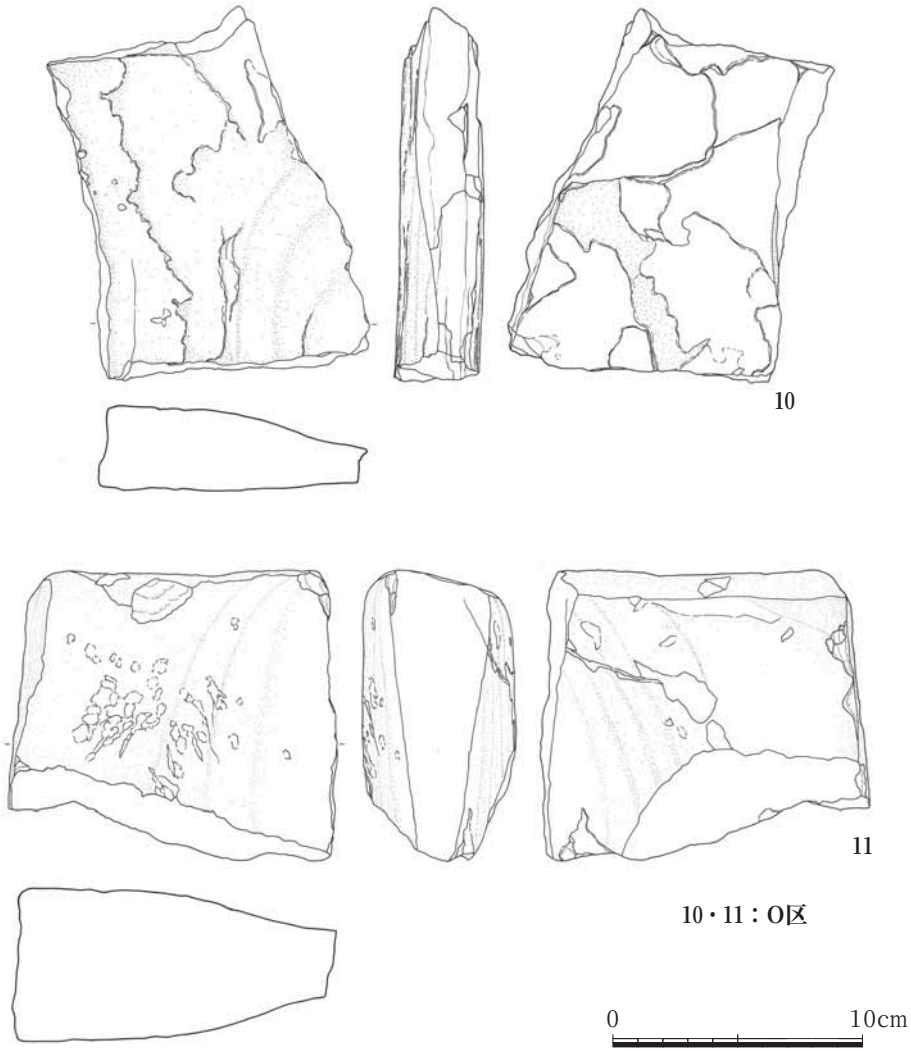
第238図　石皿①（S＝1/6）



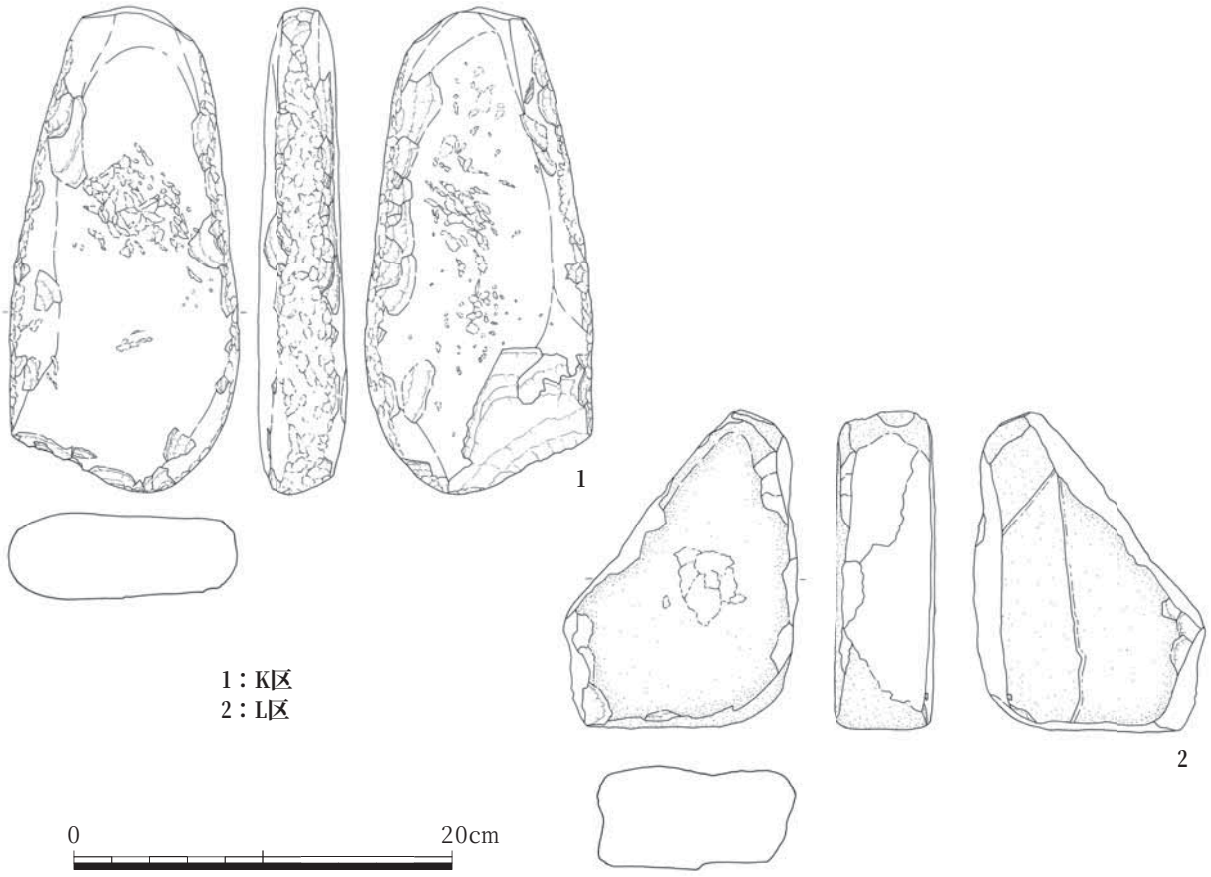
第239図　石皿②（S＝1／6）



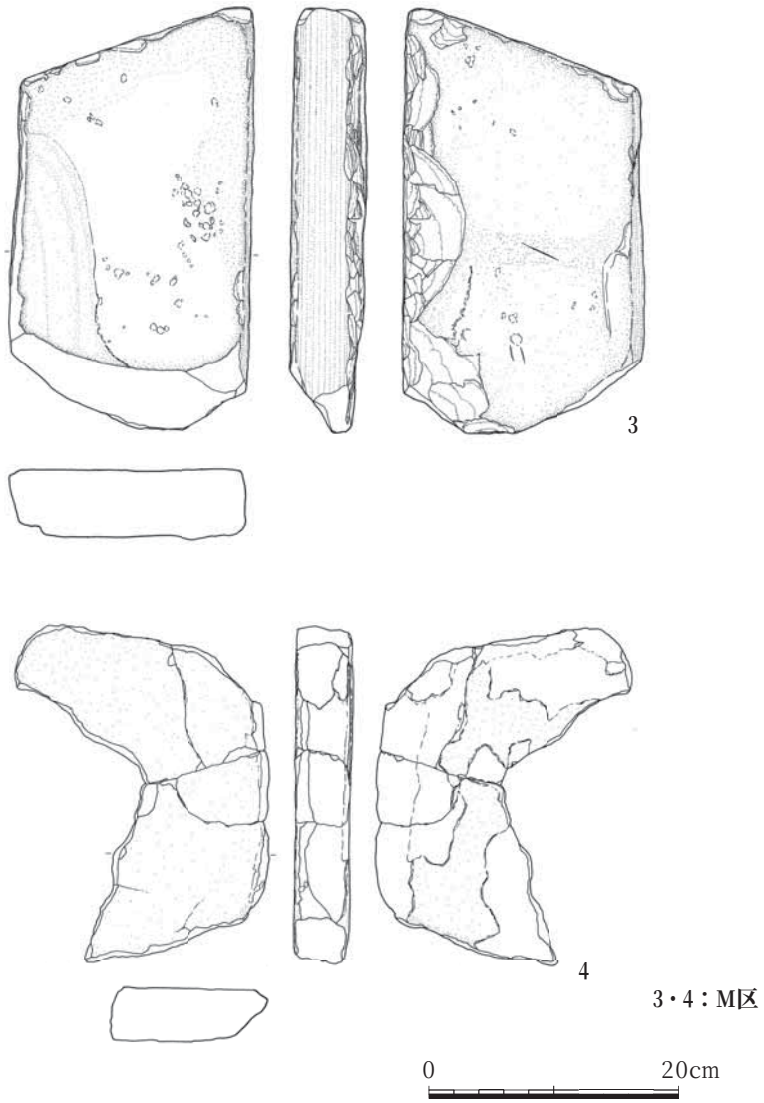
第240図　石皿③（6～8：S＝1/3，9：S＝1/6）



第241図　石皿④（S＝1／3）



第242図　台石①（S＝1／4）



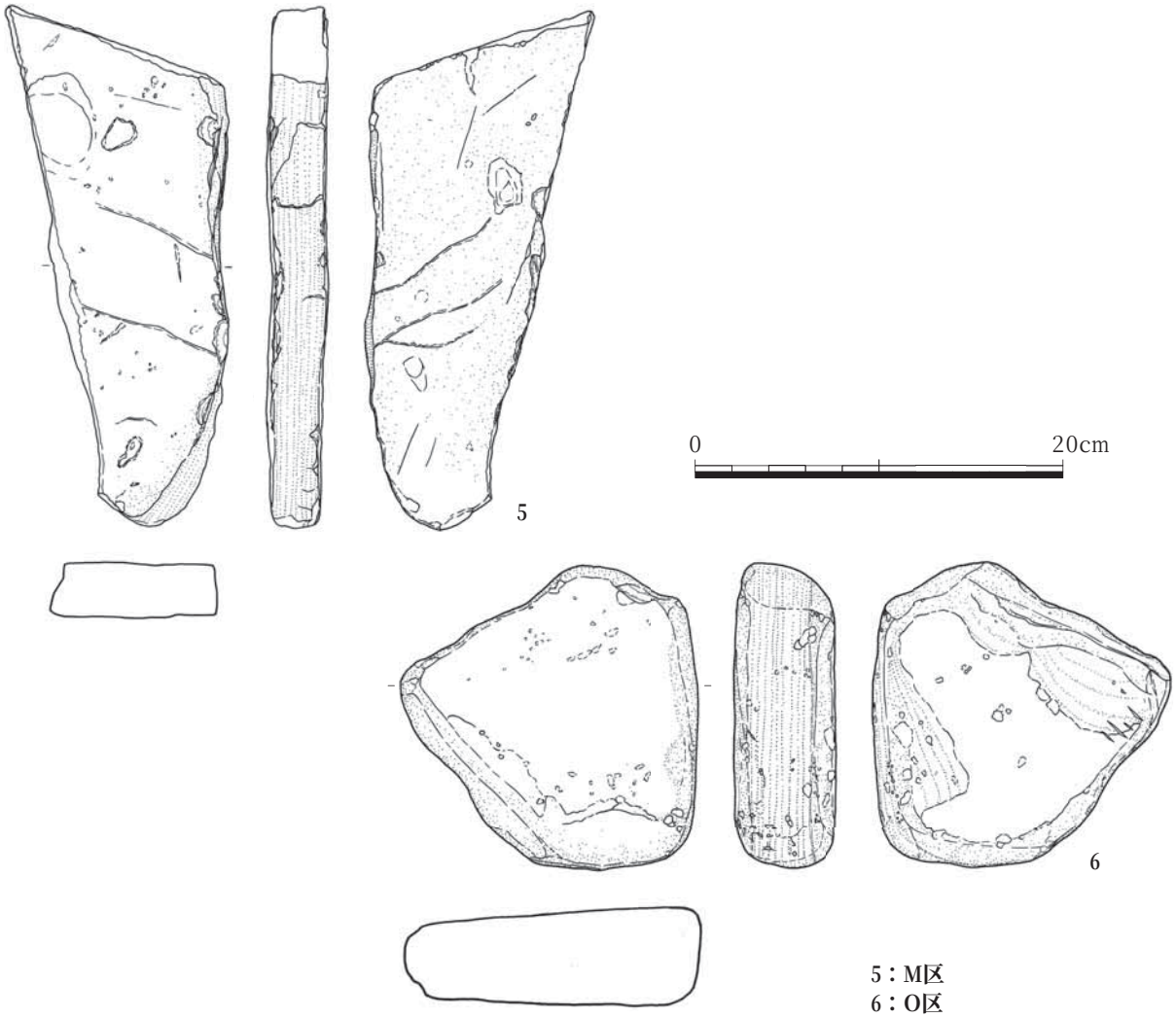
第243図　台石②（S＝1/6）

砥石（第245図～第253図）

1～**3**はいずれも砂岩製である。**1**は両面に研ぎ面をもつ。**2**の研ぎ面は片面のみである。**3**は角柱状をなし，小口を除く４面を研ぎ面とする。

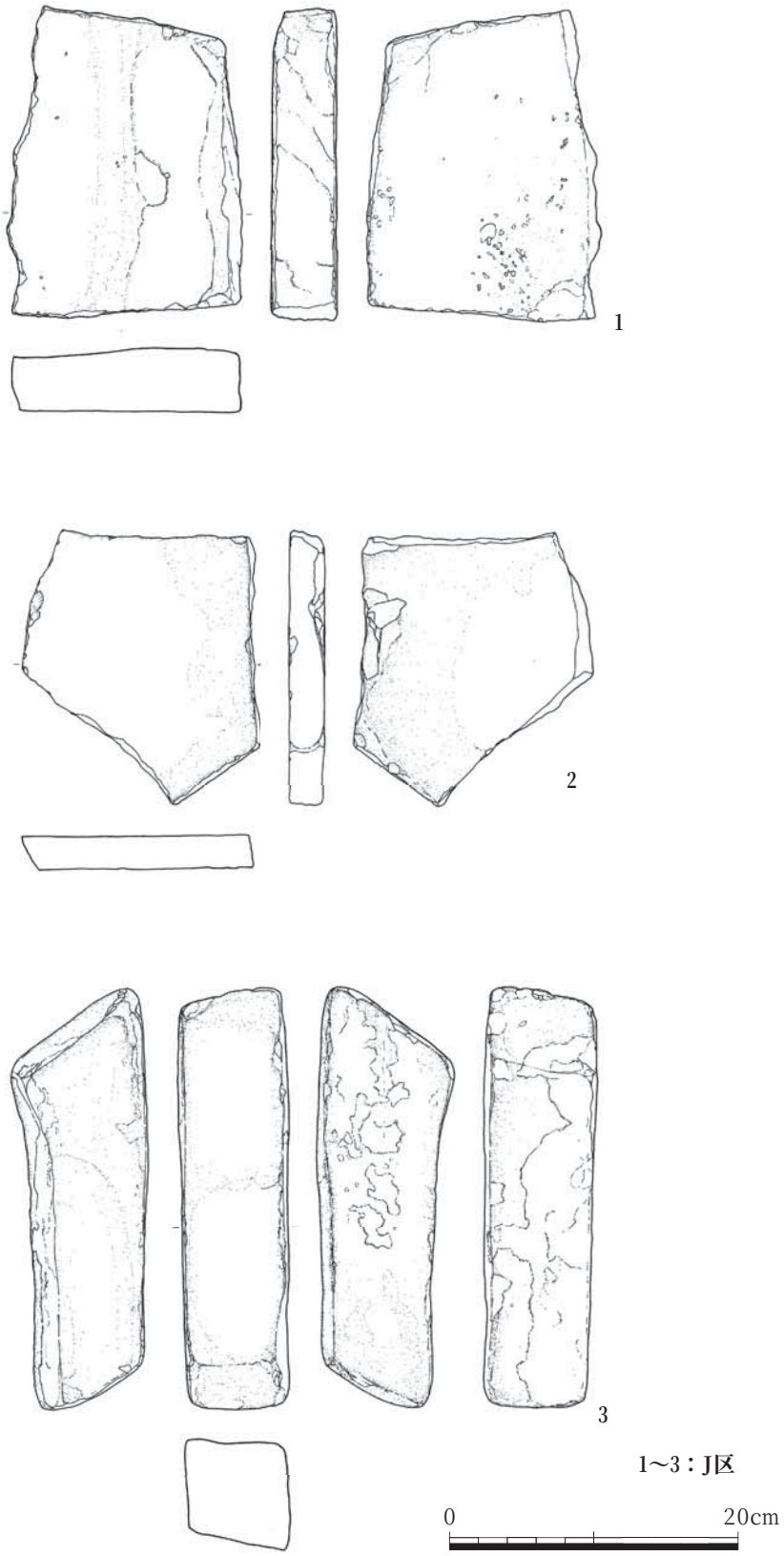
4～**6**は砂岩製である。**4**は３面を研ぎ面とする。**5**は表裏両面が研ぎ面となる。両面に単発的に潰痕状の傷が認められ，台石としての使用も考えられる。**6**は角柱状で，４面が研ぎ面となるが，うち１面には潰痕が集中しており，台石としても用いている。

7～**10**は砂岩，**11**は頁岩を素材とする。**7**は表裏両面に研ぎ面をもつ。**8**は三角形を呈する資料で，裏面を除く各面に研ぎ面を有する。**9**は側面に平坦な滑面をもつことから砥石とした。両端部は欠損しており，敲打痕がわずかに残ることから，最終的には敲石として使用されたものと思われる。**10**は小型品で，表裏面，側面の各面に滑面を有する。**11**は断面方形をなす４面を研ぎ面とする資料である。小口には素材切断のための擦り切りの痕跡が明瞭である。

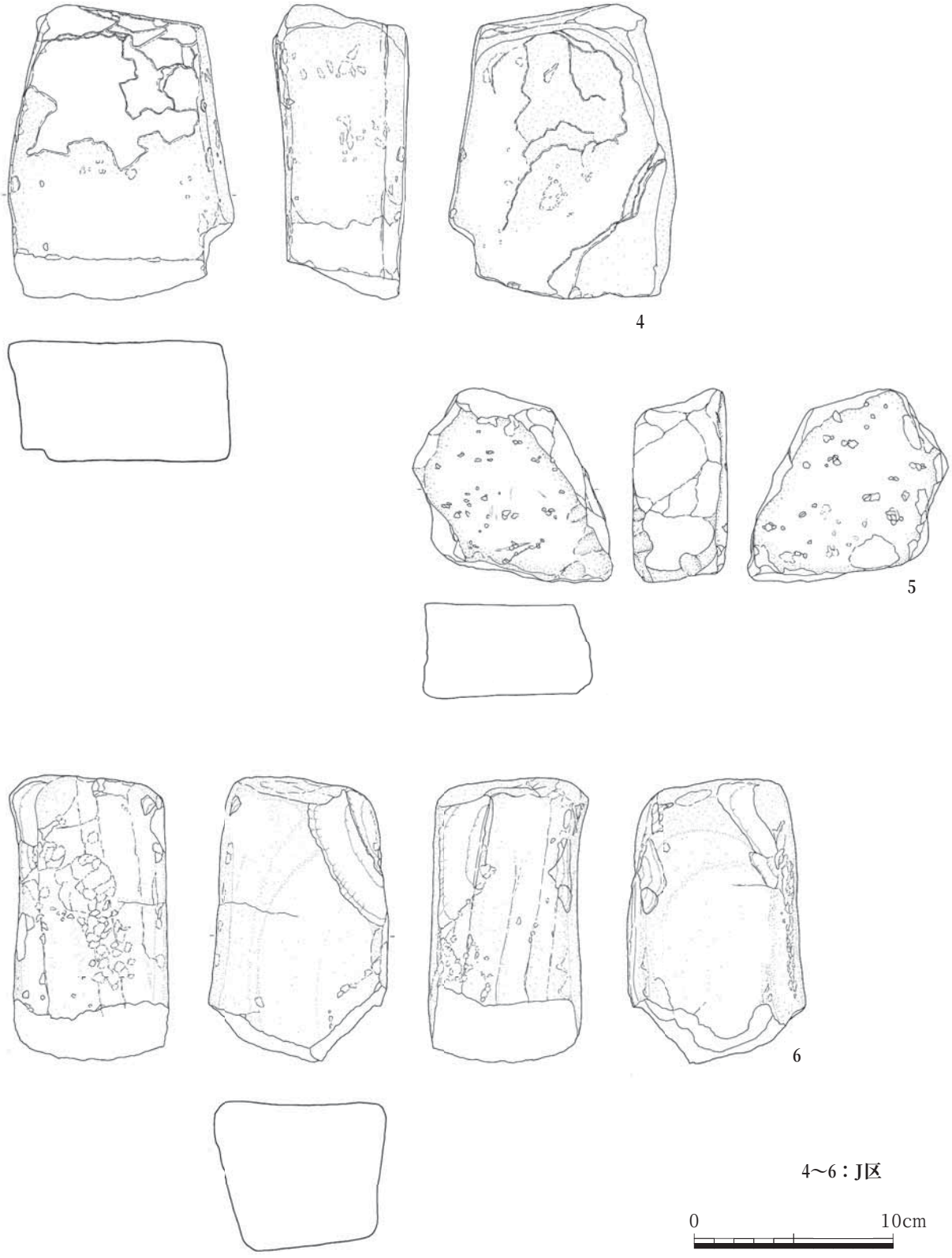


第244図　台石③（S＝1/4）

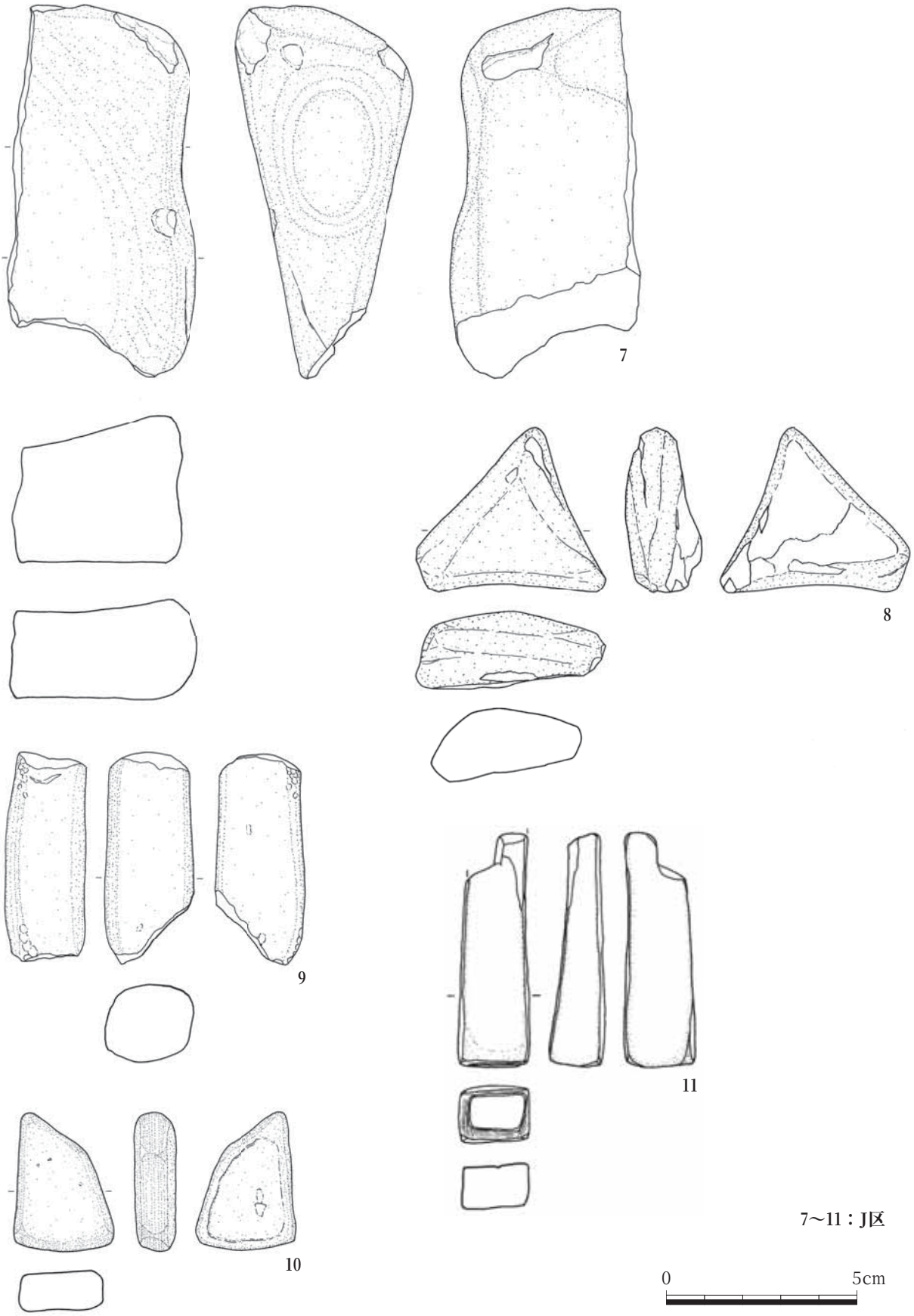
12〜15は砂岩が素材である。**12**は表裏面，右側面に研ぎ面をもつ。**13**は表面，右側面に研ぎ面を有し，さらに各面その上に溝状の研ぎ面が走る。裏面の凹部についても研ぎ面の可能性をもつ。**14**は表裏両面にくぼみ状の研ぎ面となっており，さらに裏面には溝状の研ぎ面が認められる。**15**は溝状の研ぎ面を４条もつ。



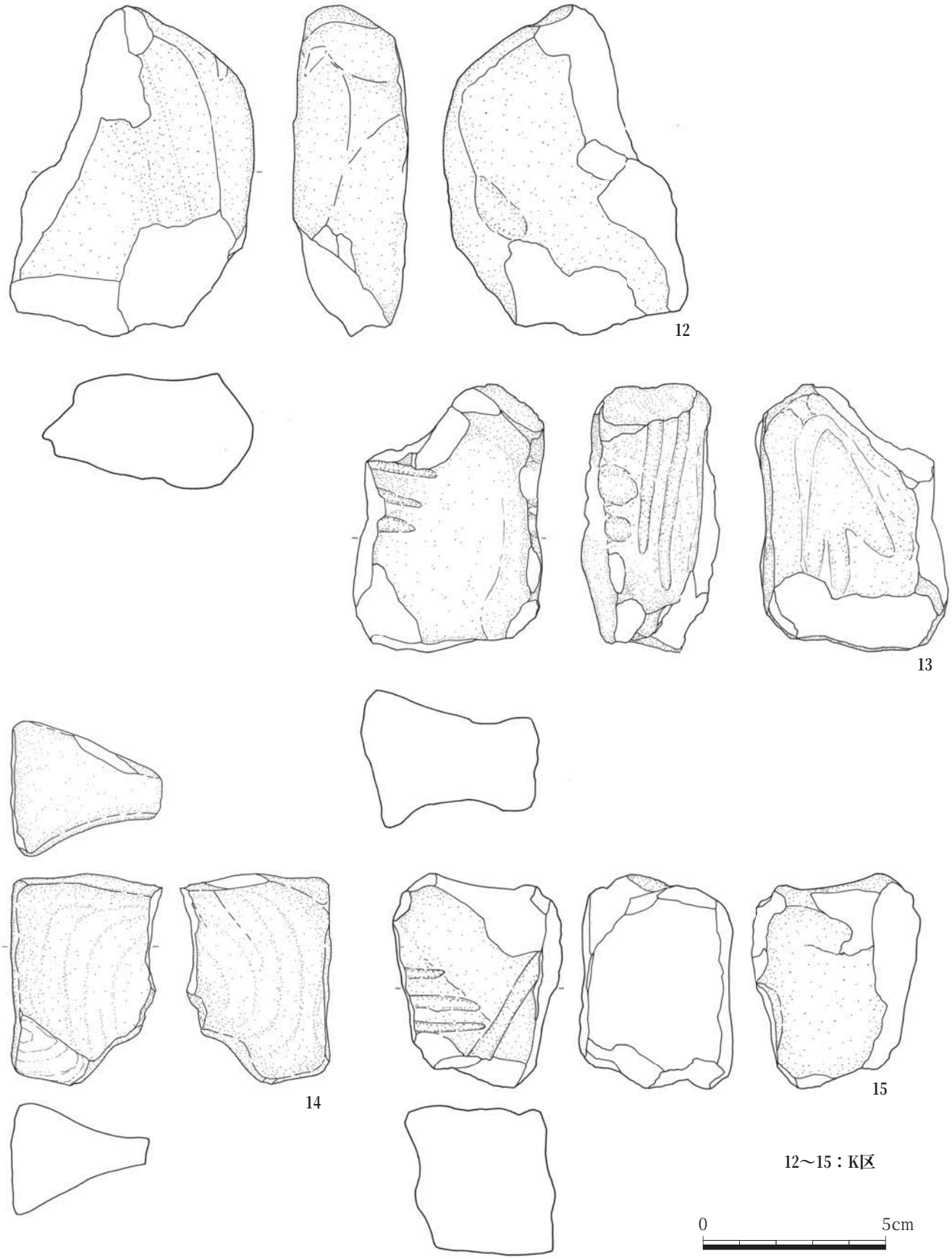
第245図　砥石①（S＝1／5）



第246図　砥石②（S＝1／3）



第247図　砥石③（S＝2／3）

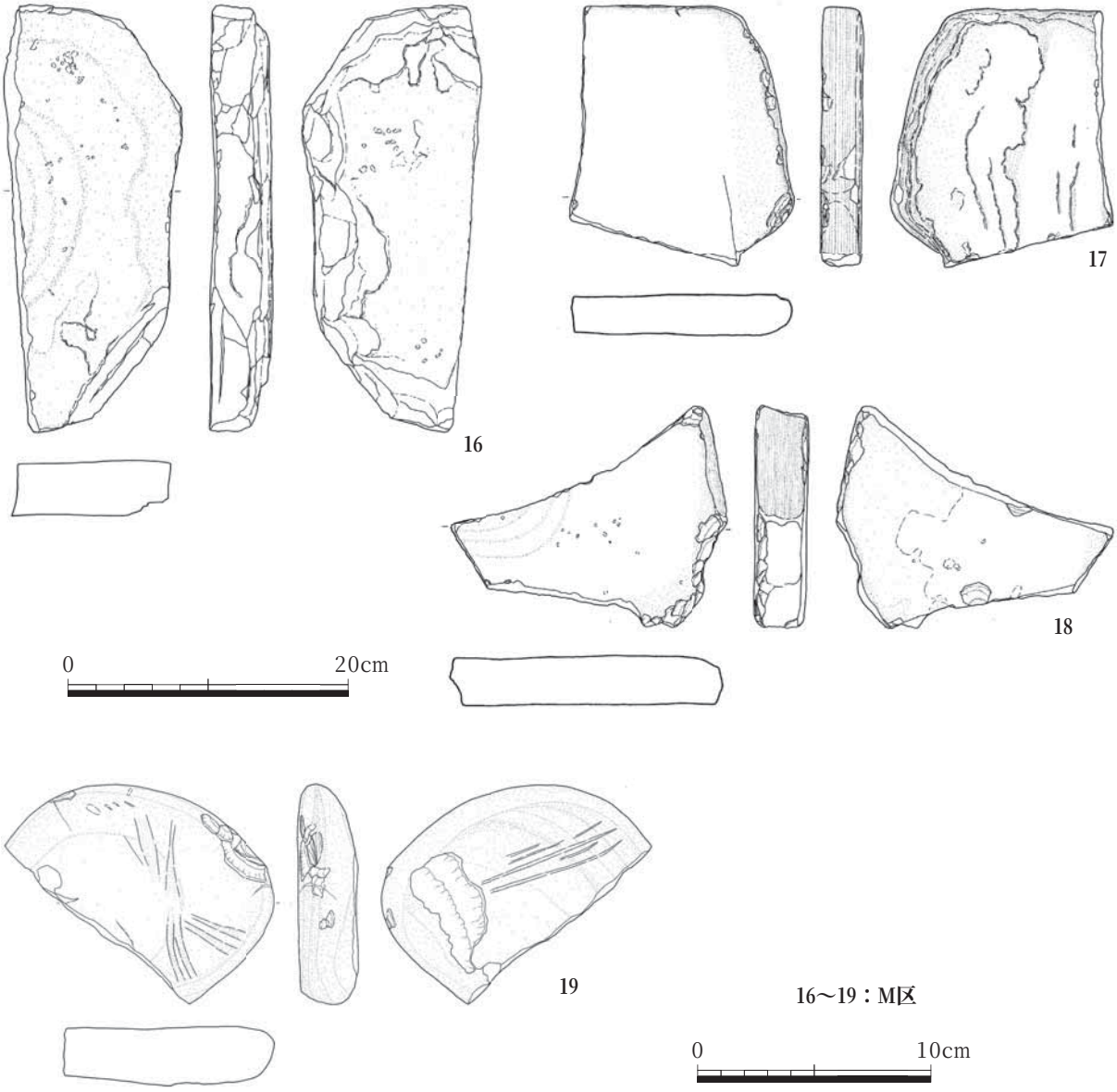


第248図　砥石④（S＝2/3）

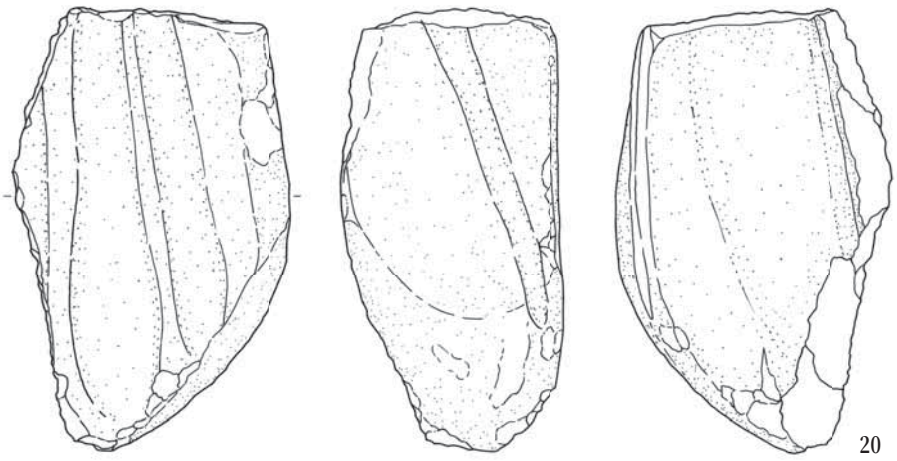
16〜19は砂岩が素材である。**16**は片面を，**17・18**は両面を研ぎ面とする。**19**は扁平な水磨礫をそのまま利用し，表裏面を研ぎ面とする。

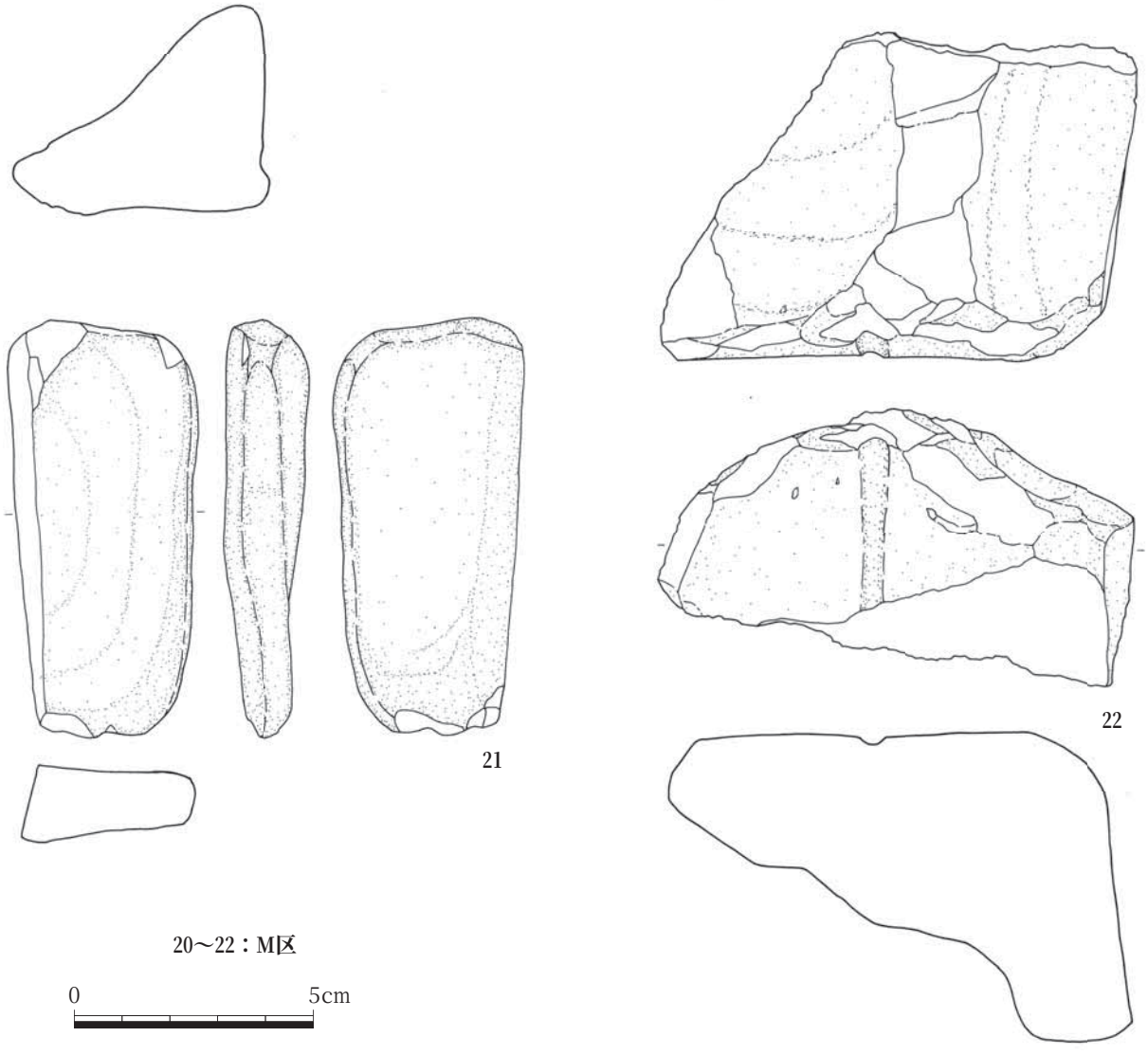
20〜22は砂岩製である。**20**は３面を研ぎ面としており，表面，側面には溝状の研ぎ面も認められる。**21**は薄手の資料で，表裏面が研ぎ面となっている。**22**は４面の研ぎ面を有し，うち１面には溝状の研ぎ面が走る。

23〜28は砂岩を素材とする。**23**は３面の研ぎ面を有し，うち１面には潰痕が認められ，台石や敲石としての使用も考えられる。また別の１面にはややあいまいではあるが溝状の研ぎ面が入る。**24**は各面が研ぎ面となっており，うち２面には溝状の研ぎ面が走る。**25**は３面の研ぎ面をもつ。**26**は扁平な水磨礫をそのまま利用した資料であろう。**27**は断面長方形で，６面各面に滑面を有している。**28**は細長い形状をした水磨の小礫の側面を研ぎ面としている。



第249図　砥石⑤（16〜18：S＝1/5，19：S＝1/3）

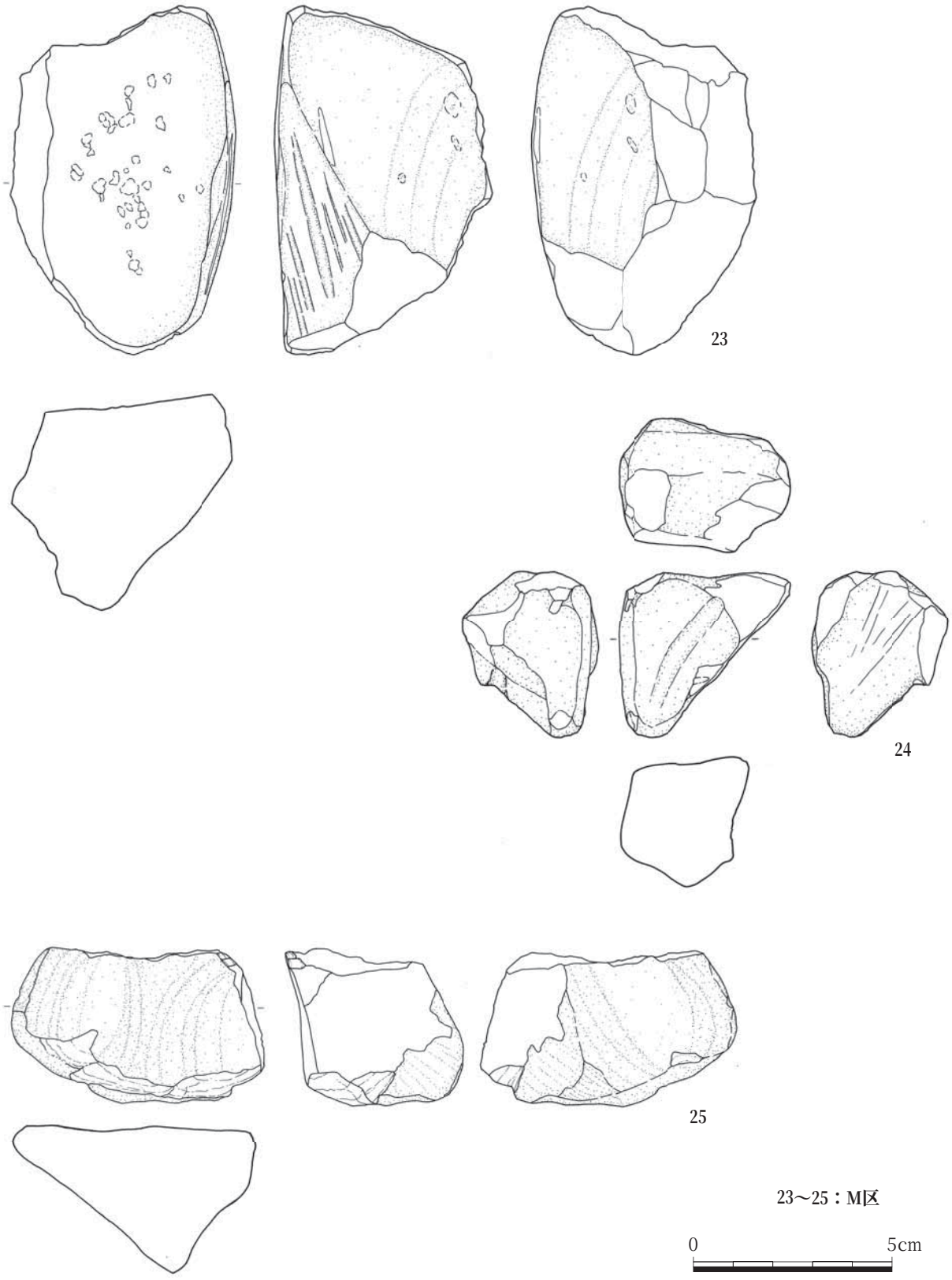




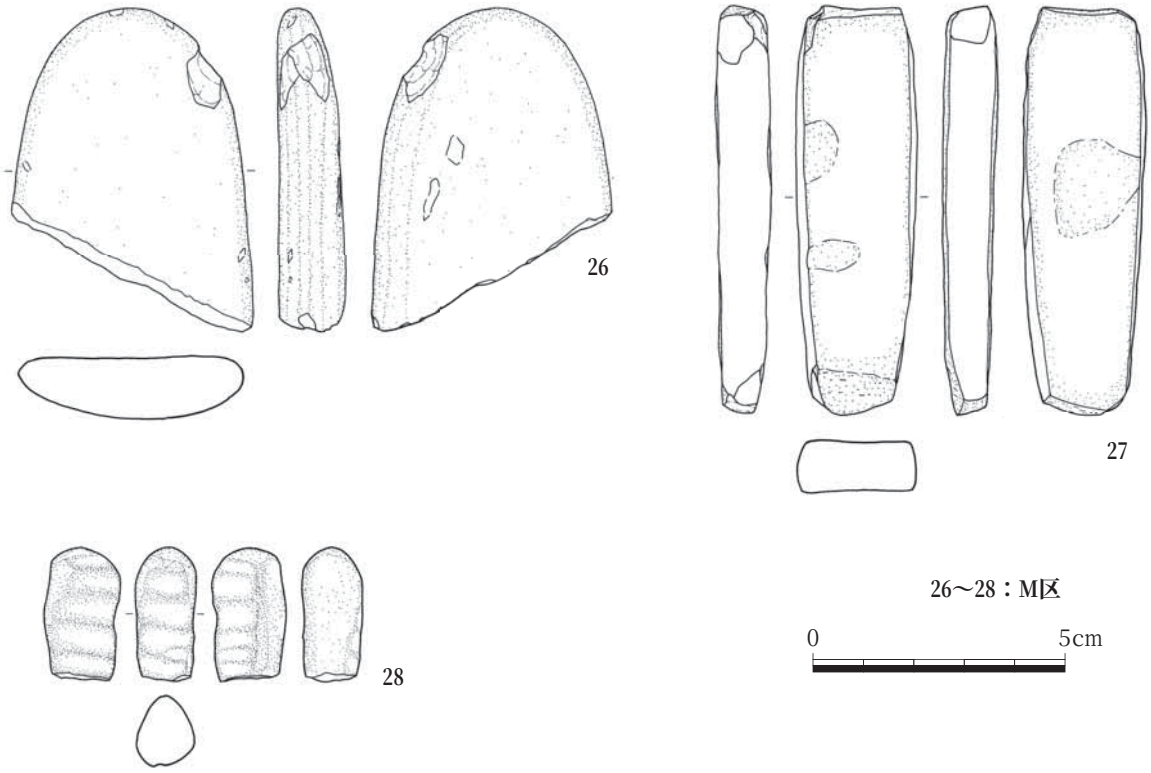
20～22：M区

0　5cm

第250図　砥石⑥（S＝2／3）



第251図　砥石⑦（S＝2／3）



第252図　砥石⑧（S＝2/3）

29～32はいずれも砂岩が素材である。**29**は大型の円礫を用いた資料で両面を研ぎ面としており，溝状の研ぎ面も入る。また，裏面は台石としても使用され，潰痕が集中する。**30**は片面を研ぎ面としており，もう片面には自然面をそのまま残す。**31**は片面に研ぎ面をもつ。**32**は表面に研ぎ面をもち，破断面にも溝状の研ぎ面が入る。

磨石・敲石（第254図～第265図）

1～10は比較的大型の資料で，表裏面に磨り面をもち，いずれも側面や表裏面の中央付近に敲打痕や潰痕，打撃による欠損をもつ。1は隅丸の方形をなし，表裏各磨り面の中央と側面の6カ所にまとまりをもって敲打痕が認められる。2の表裏は光沢をもつほどの磨り面を作る。左側面，下側面には潰痕が平坦面を形成する。3は表裏磨り面の中央に敲打痕がやや残るくらいで，おもに磨石としてのみ使用されたものと思われる。4は潰痕が側面をほぼ一周する。5は側面の1カ所に潰痕が集中する。

6は磨り面端部に潰痕が集中する。7・8は側面を潰痕がめぐり，7は表裏両面の中央付近に，8は片面の中央付近にそれぞれ潰痕をもつ。9は敲石としての使用はわずかで，ほぼ磨石として利用されたものと思われる。10は潰痕が側面をめぐっており，右側面では平坦面を形成する。

11はこぶし大の球形をなす敲石で，その端部に潰痕が集中して認められる。12は平面楕円形をなし，周囲に浅く敲打痕が認められる。また，裏面には磨り面を形成しており，対象物への敲打によるものとみられる線条痕が観察される。14は長軸方向の両端部に敲打痕がみられる。15は扁平な資料で，側面には敲打痕と欠損の剥離がめぐる。18の側面には潰痕と剥離が認められる。また，片方の磨り面には赤色顔料が残存する。19は長軸端部にわずかに敲打痕が観察される。20は周縁に敲打痕と線条痕が残る。22は長軸両端が欠損する。23は磨り面を片方の面に作る。26～29は潰痕が側面をめぐる。30～33は敲打痕や潰痕をもたない磨石の資料である。

34は片方の面に磨り面を形成し，その中央付近に敲打痕が集中する。36は側面に潰痕がめぐる。38は側面に敲打痕，潰痕がめぐるが，左下端には平坦面を形成する。41は表裏両面に凹部をもち，側面には潰痕が一周する。42の側面にも潰痕が一周する。43はクラックの入った軟質の安山岩を素材としている。45は細長い形状の資料で，端部に打撃によるものと思われる剥離が認められる。44は扁球状で，側面に潰痕が広がる。46～49は敲打痕や潰痕をもたない磨石の資料である。

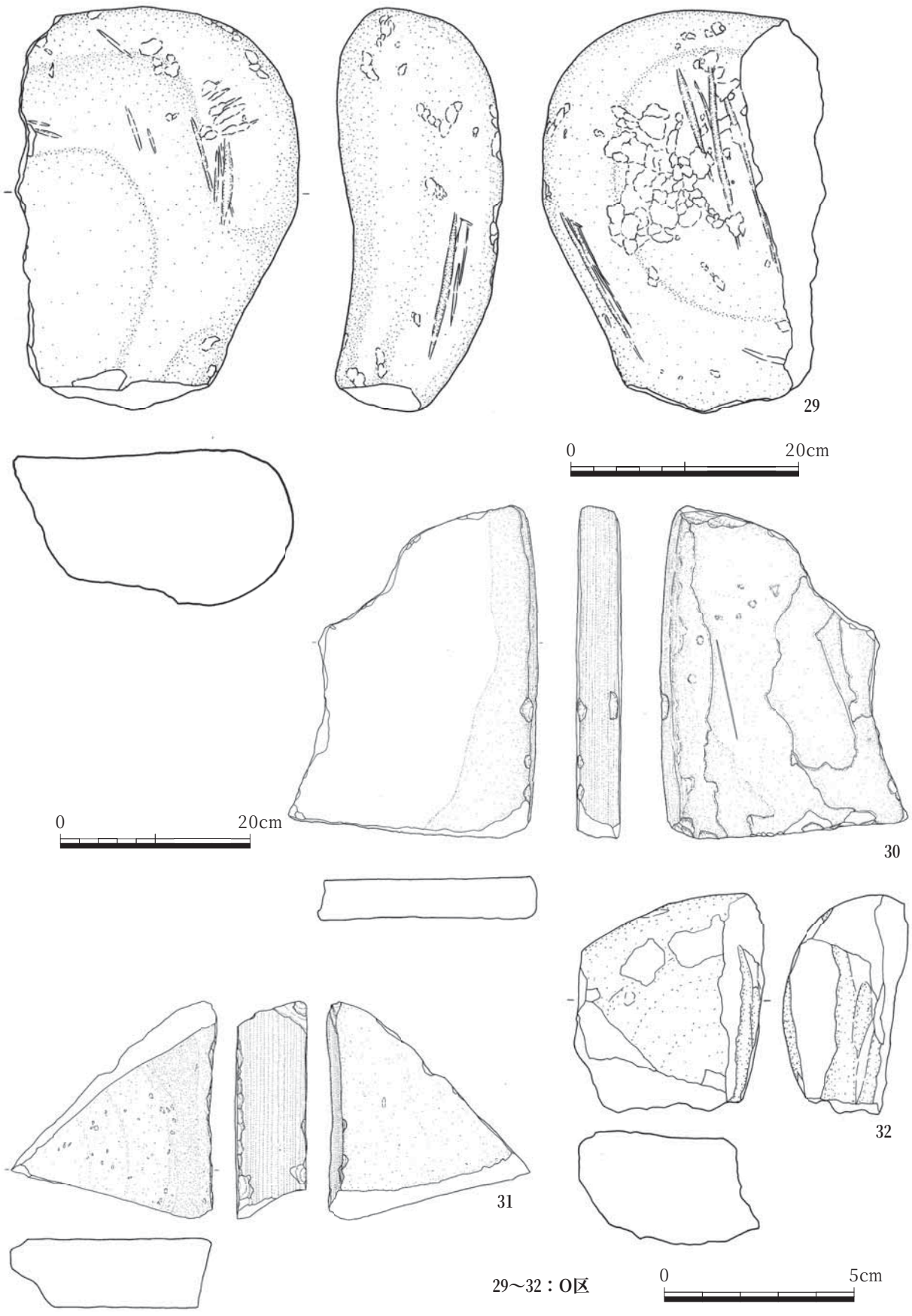
50は大型品で，側面の敲打痕は部分的である。表裏面には非常に滑らかな磨り面を形成している。また，磨り面両面ともやや色調が黒色化しており，対象物の何らかの影響とも考えられる。51は表裏面ともに磨り面を形成しているが，その後裏面は潰痕によって平坦化している。側面は潰痕がほぼ一周する。

52の側面には潰痕がほぼ一周する。55，57の側面には潰痕が強く入る。59は磨石の資料で，敲打痕，潰痕はもたない。

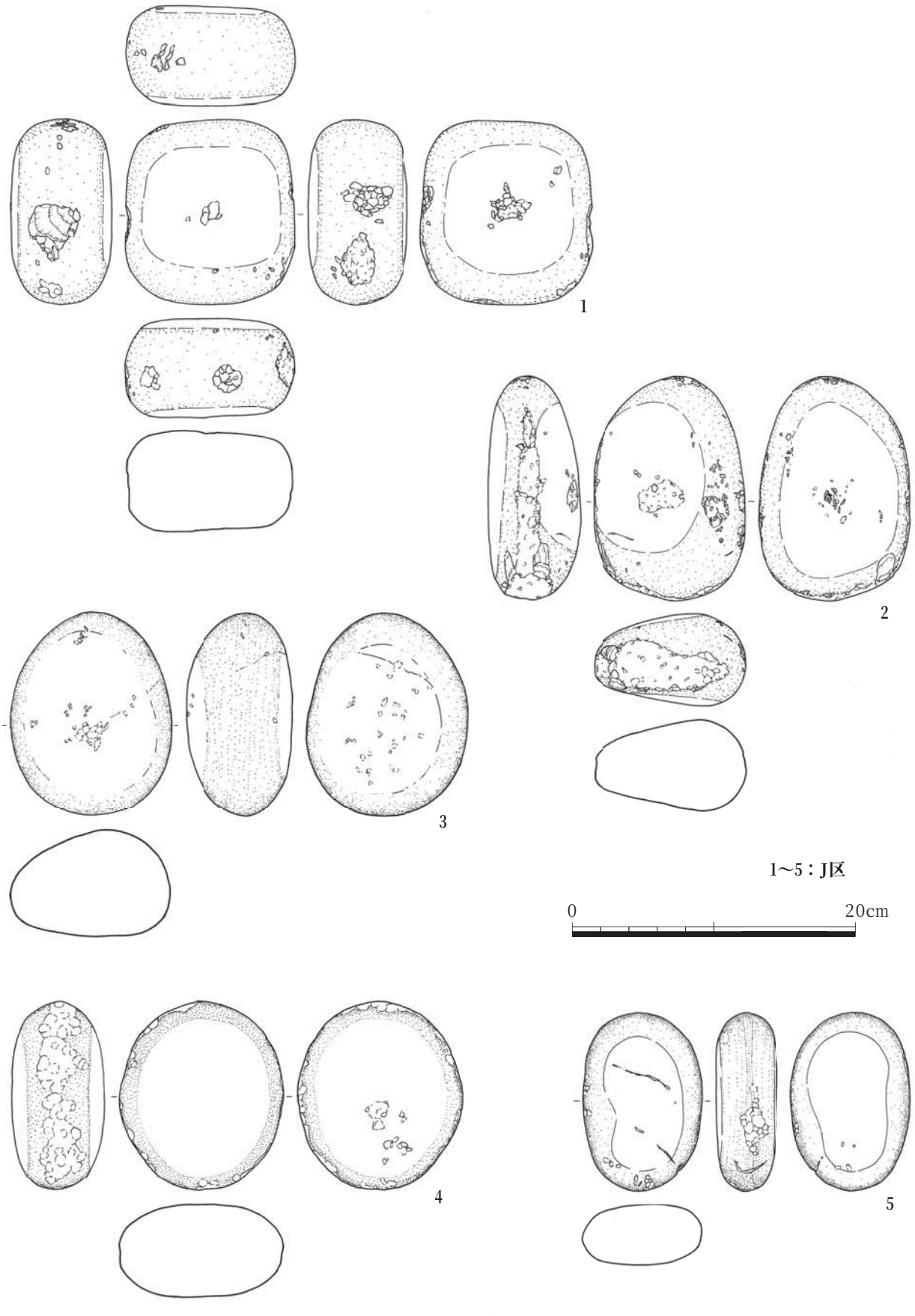
60は厚さに偏りのある資料で，表裏面，側面ともに敲打痕，潰痕が認められる。61は表裏面に磨り面をもち，側面には潰痕がめぐるが，側面の一部にも磨り面を形成している。62の表裏面の磨り面は膨らみをもたず平坦である。潰痕が側面を一周する。63・64は平面楕円形の資料である。63の裏面は全体が剥離に覆われるが，使用による欠損によるものか。64は側面に潰痕がめぐり，表裏磨り面の中央にも潰痕が認められる。

65は側面に潰痕が一周し，磨り面の片面中央には敲打痕が残る。66・67は扁平な資料である。66は側面の敲打痕とあわせて欠損の剥離が顕著である。69，72の潰痕は側面を一周する。75の砂岩は粗く軟質なためか，欠損が著しい。76は平面楕円を呈し，やや厚みもある。78は側面の潰痕が平坦面を形成し，平面隅丸の方形をなす。79・80は比較的扁平な資料である。

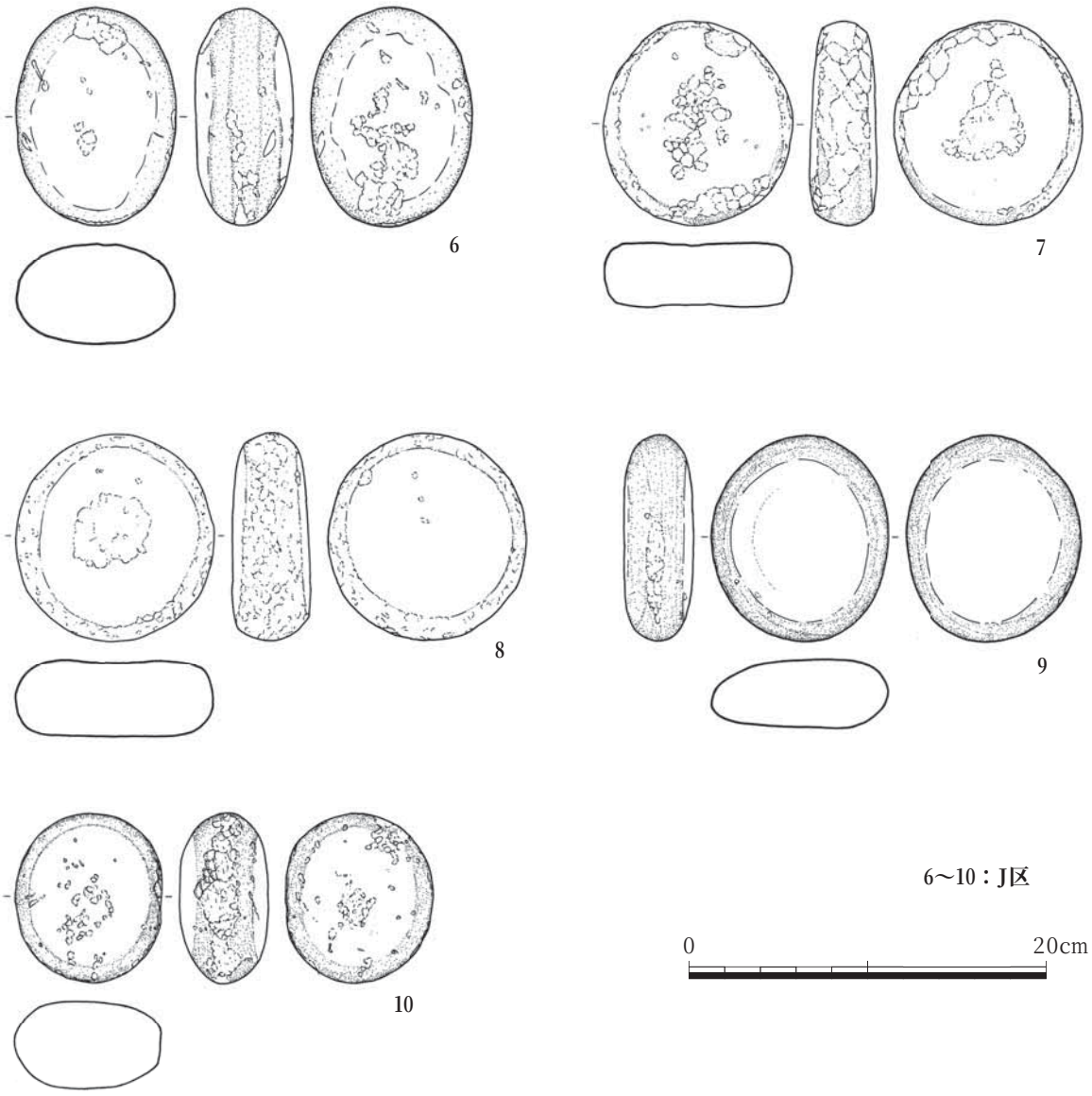
82は敲打痕が側面の1カ所のみである。83は堆積岩系のきめの細かい石材で裏面は欠損するが，周縁には敲打痕と線条痕が観察される。84はサイズのわりに厚手で，周縁を潰痕がめぐる。86は楕円形をなし，周縁の潰痕は面を形成するほどに深く入る。88～90は側面全周に潰痕がめぐる。91は鋭利な



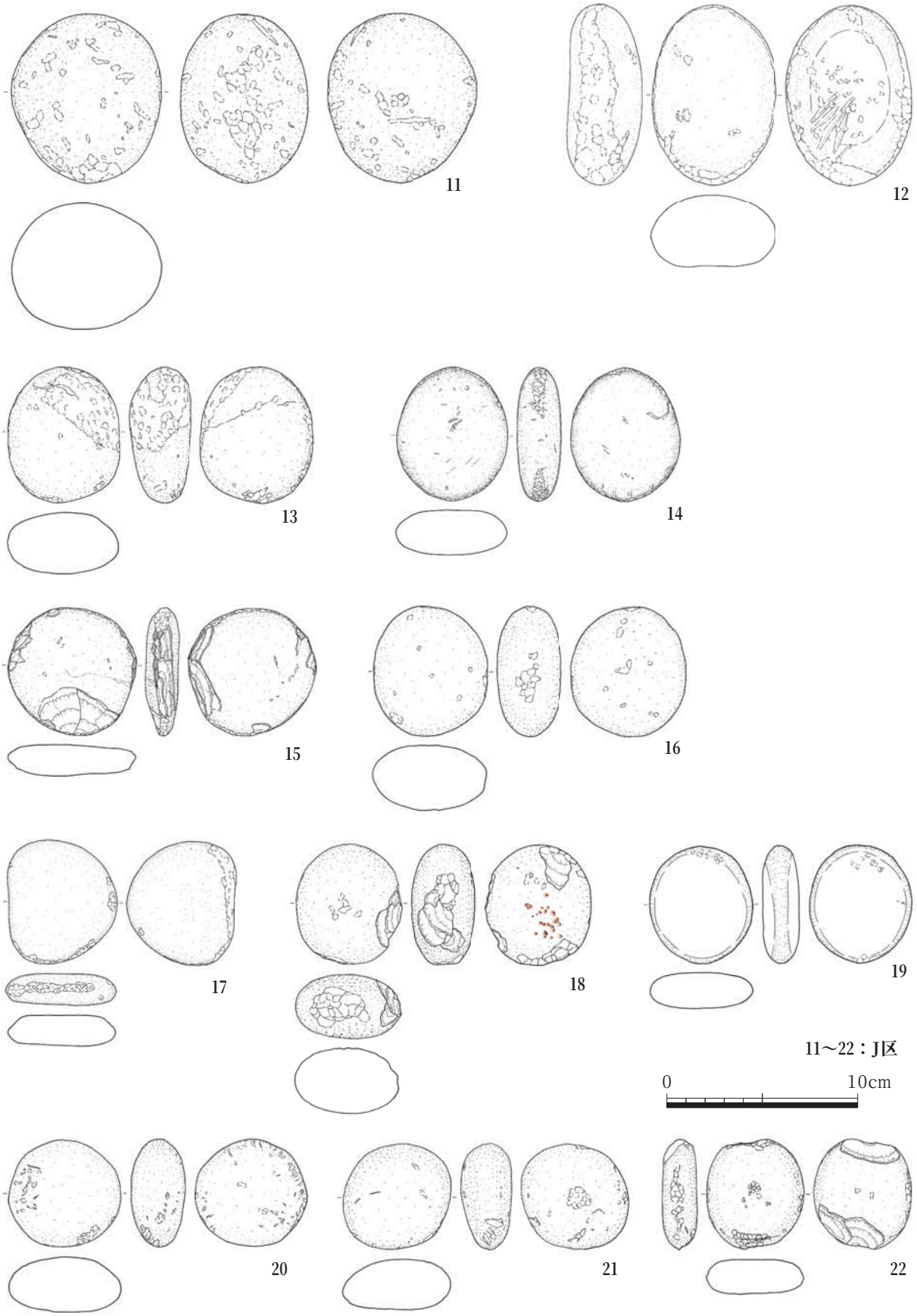
第253図　砥石⑨（29：S＝1／5，30：S＝1／6，31・32：S＝2／3）



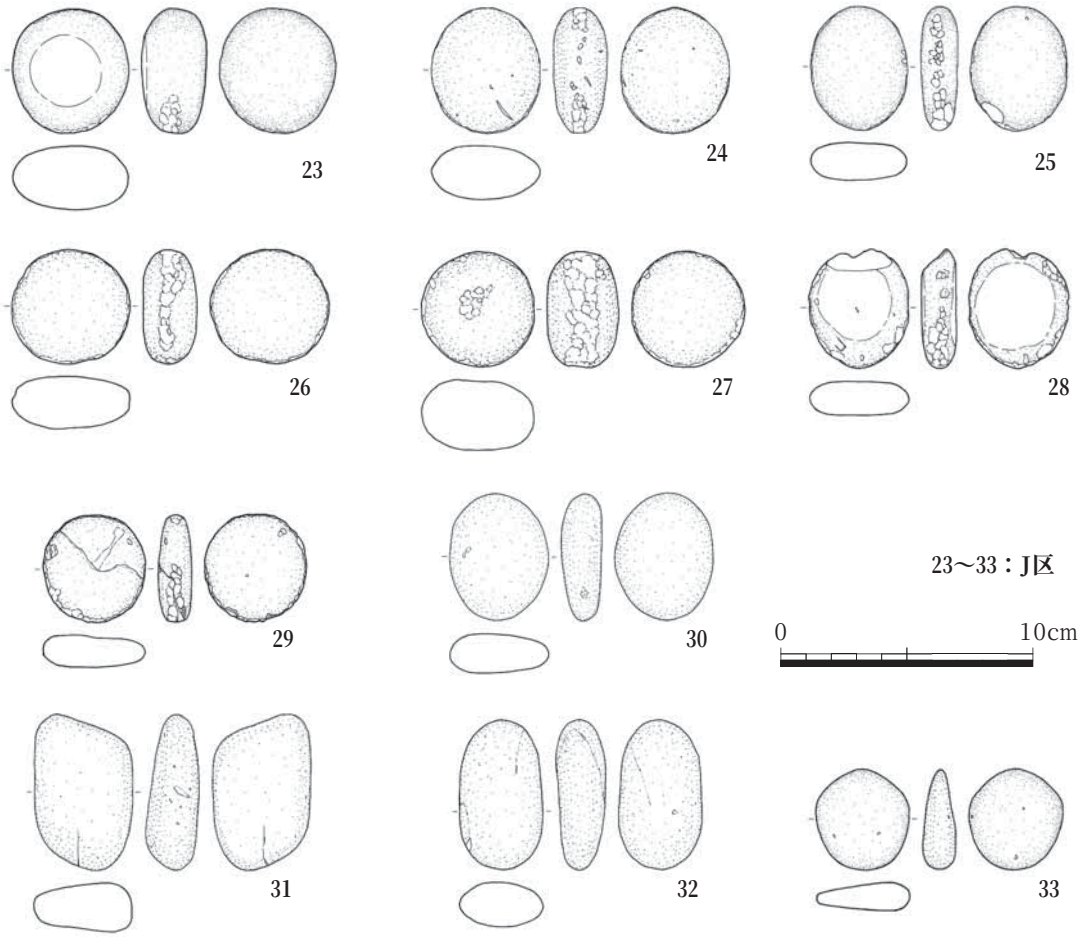
第254図　磨石・敲石①（S＝1／4）



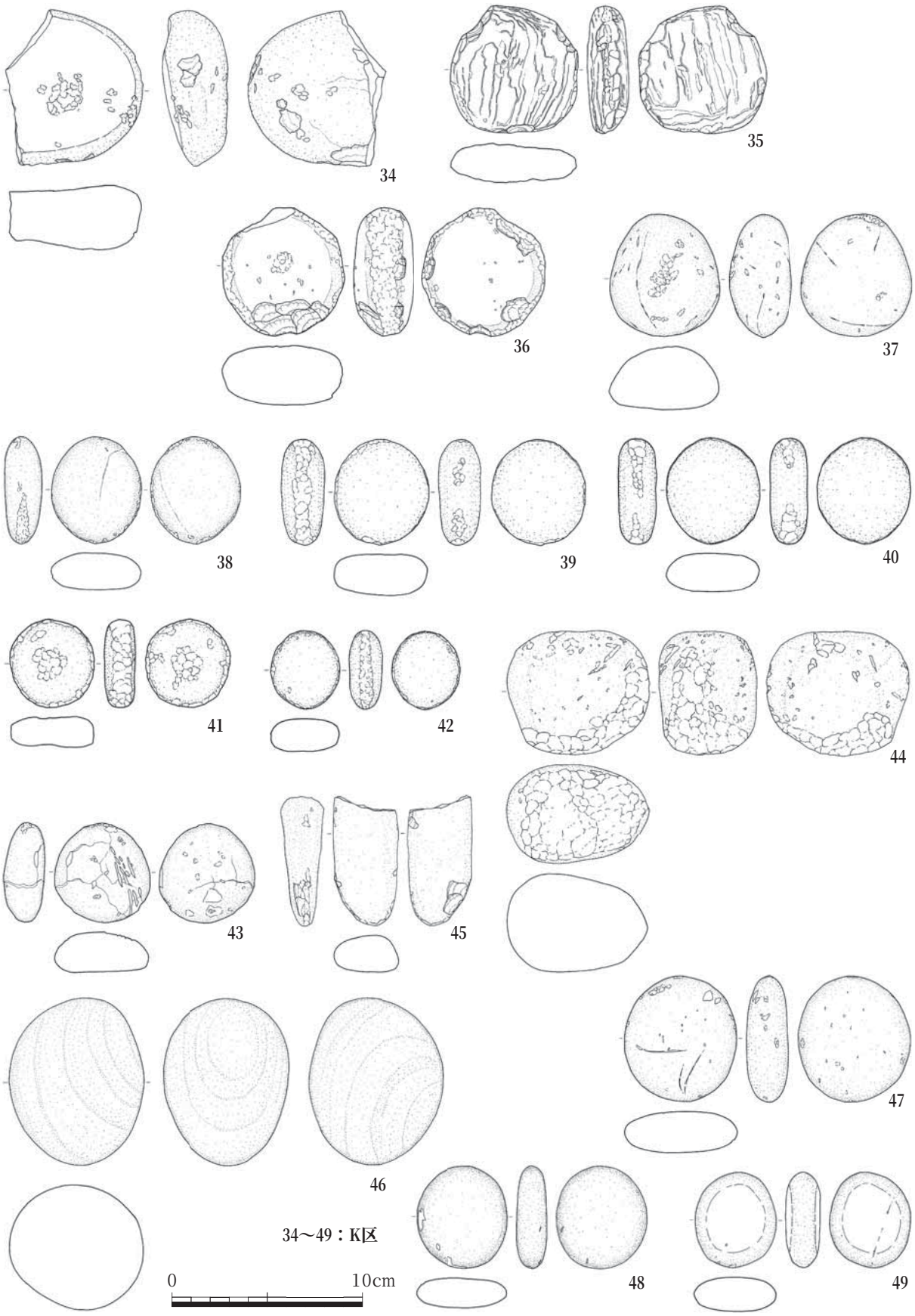
第255図　磨石・敲石②（S＝1/4）



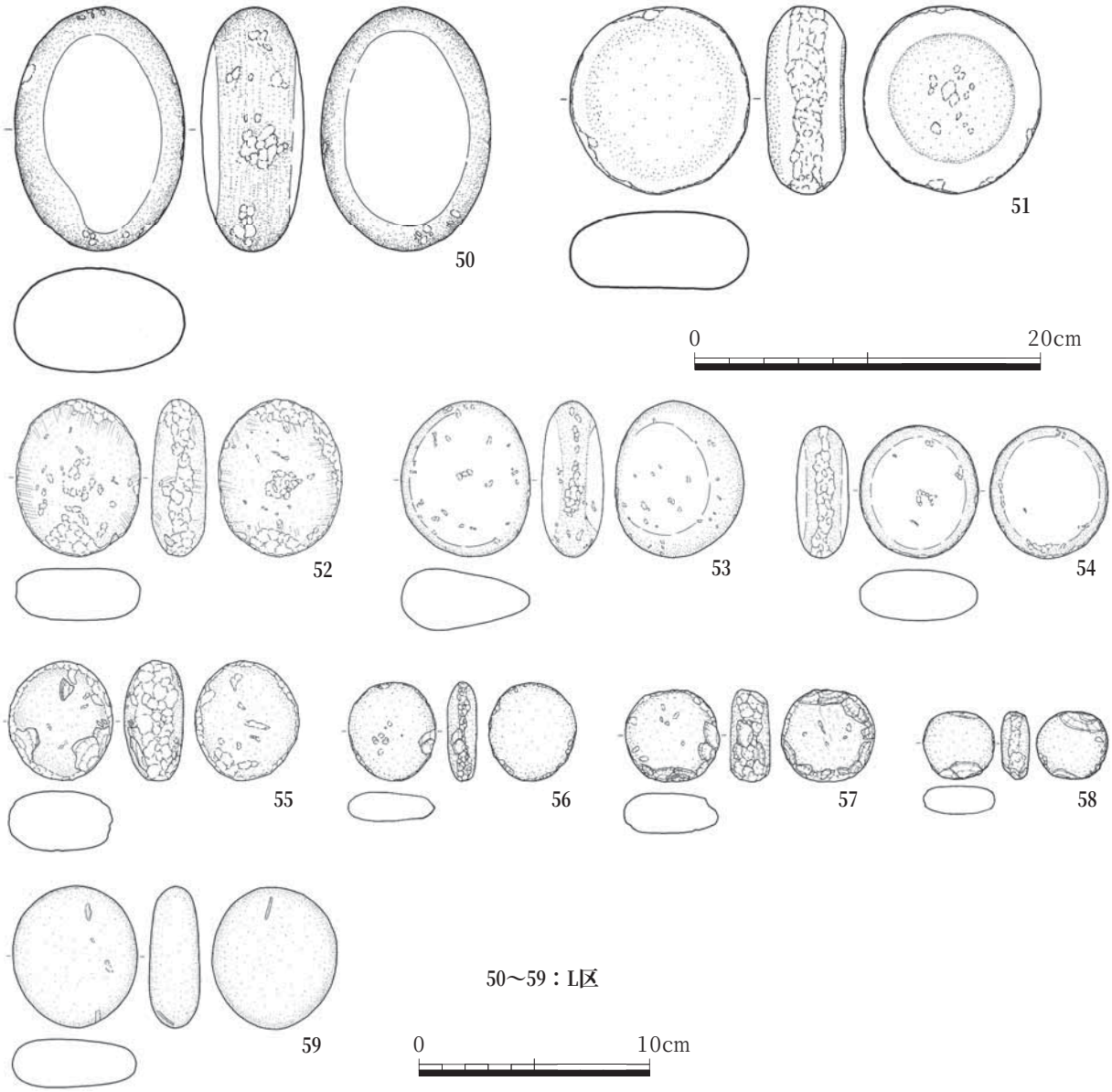
第256図　磨石・敲石③（S＝1／3）



第257図　磨石・敲石④（S＝1/3）



第258図　磨石・敲石⑤（S＝1／3）



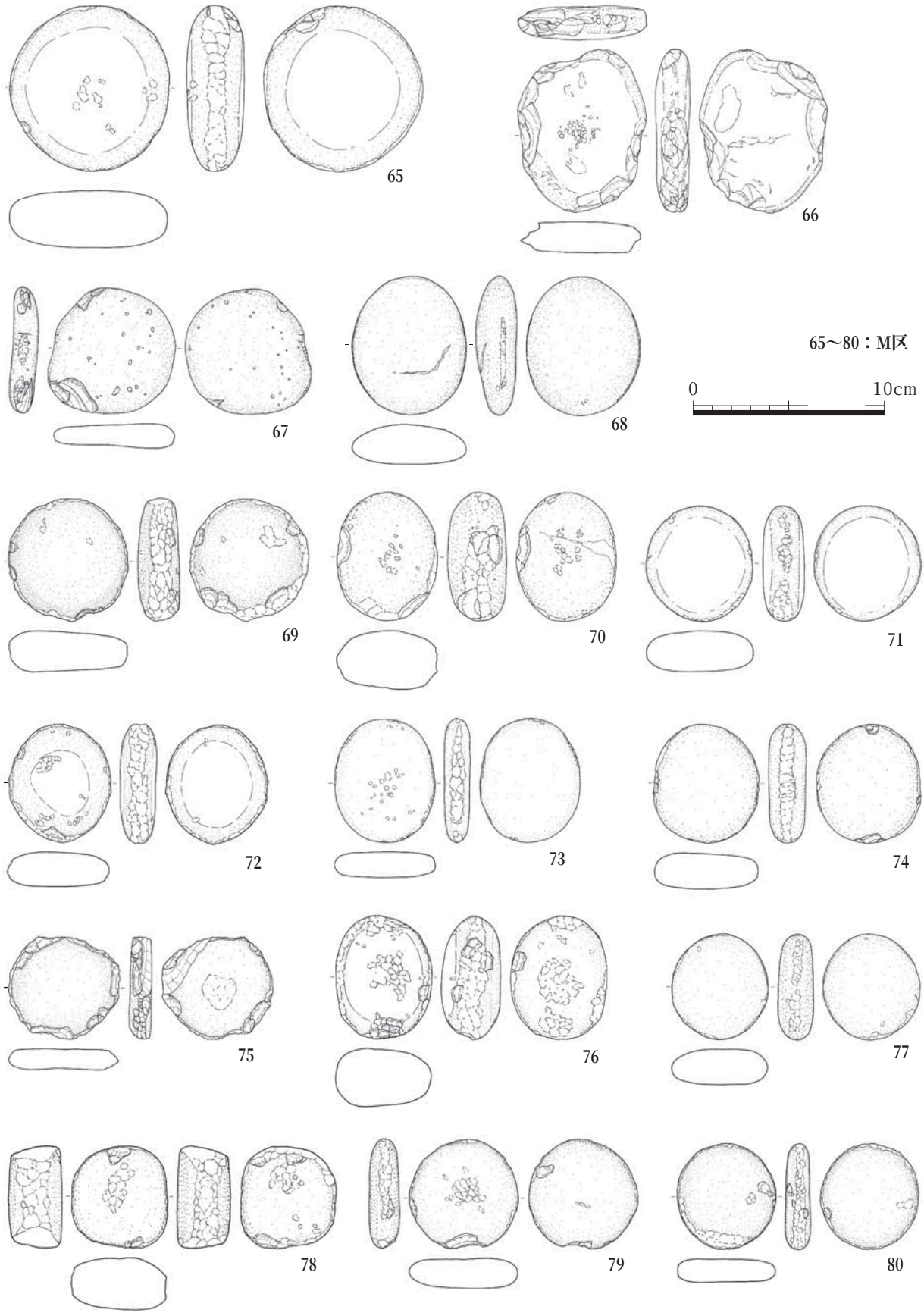
第259図　磨石・敲石⑥（50・51：S＝1/4，52～59：S＝1/3）

対象物によるものと思われる線条痕が残る。**92**は打撃による欠損が著しい。**93**は非常に精緻な磨り面を表裏両面に形成する。**95**は隅丸の方形をなし，片面には大きく剥離がみられる。**96**は側面全周にしっかりと面をなして潰痕がめぐる。**102**は側縁に敲打痕がみられるが，下端部は潰痕というより磨り面に近く，例えば土器製作にかかわる研磨具，調整具などとしての使用も考えられようか。**105**は球形に近い形状で，対向する端部にそれぞれ広範囲の敲打痕がみられる。**106**は乳棒状の敲石で，長軸，やや細いほうの端部に潰痕が二つの平坦面を作る。**107～114**は明瞭な敲打痕や潰痕をもたず，ほぼ磨石としてのみ使用されたと考えられる資料である。

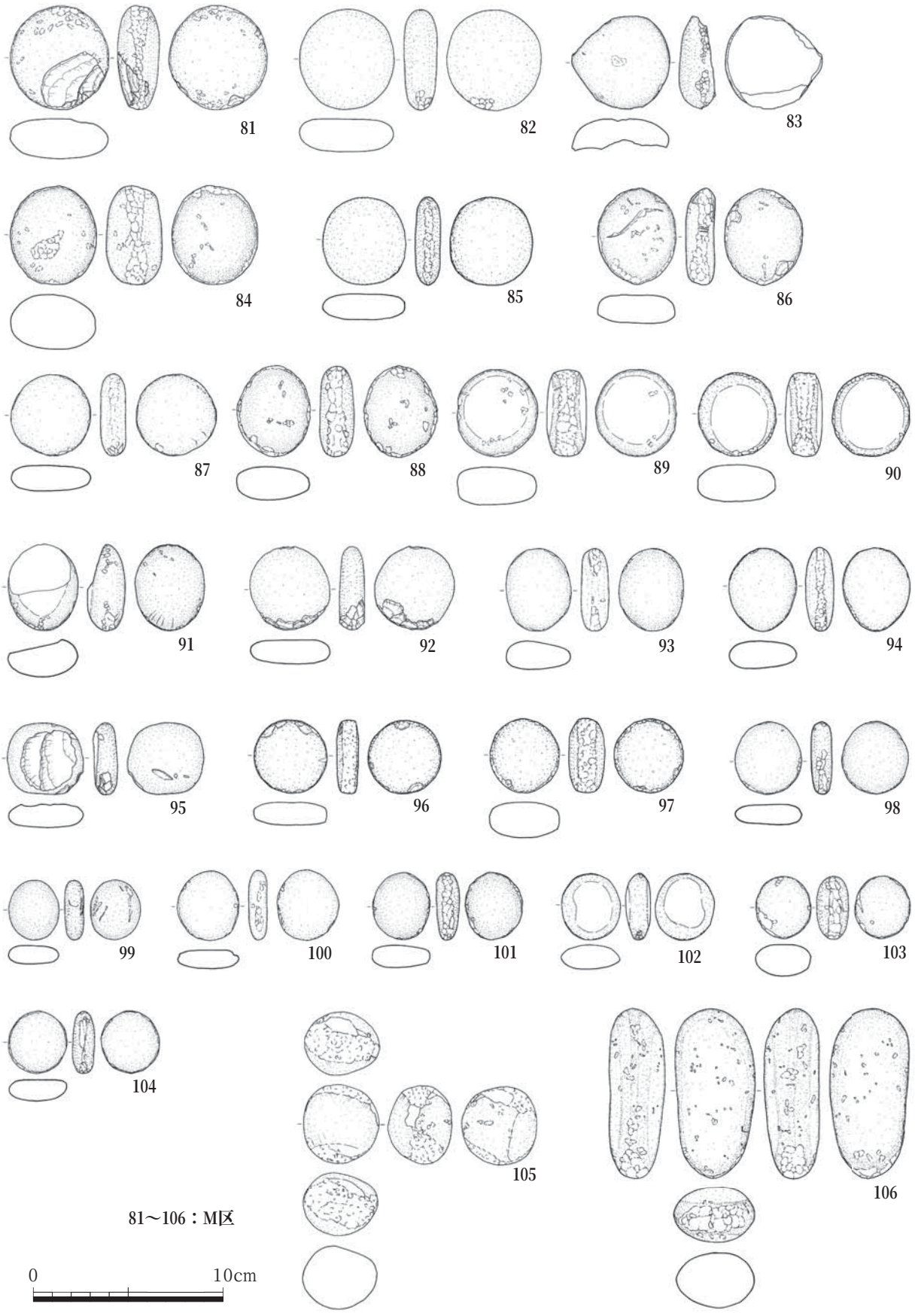
115は楕円形を呈する比較的大型の資料で，表裏面には磨り面を形成しており，中央にはわずかに敲打痕も認められる。また，左右の側面は潰痕が磨り面に近い状態まで進行しており，平坦面を作る。**116・117**は潰痕が側面の全周をめぐる。**118**は乳棒状で，上下の端部はそれぞれ潰痕の集中が2面の平坦面を形成して尖り気味となる。

第260図　磨石・敲石⑦（S＝1/4）

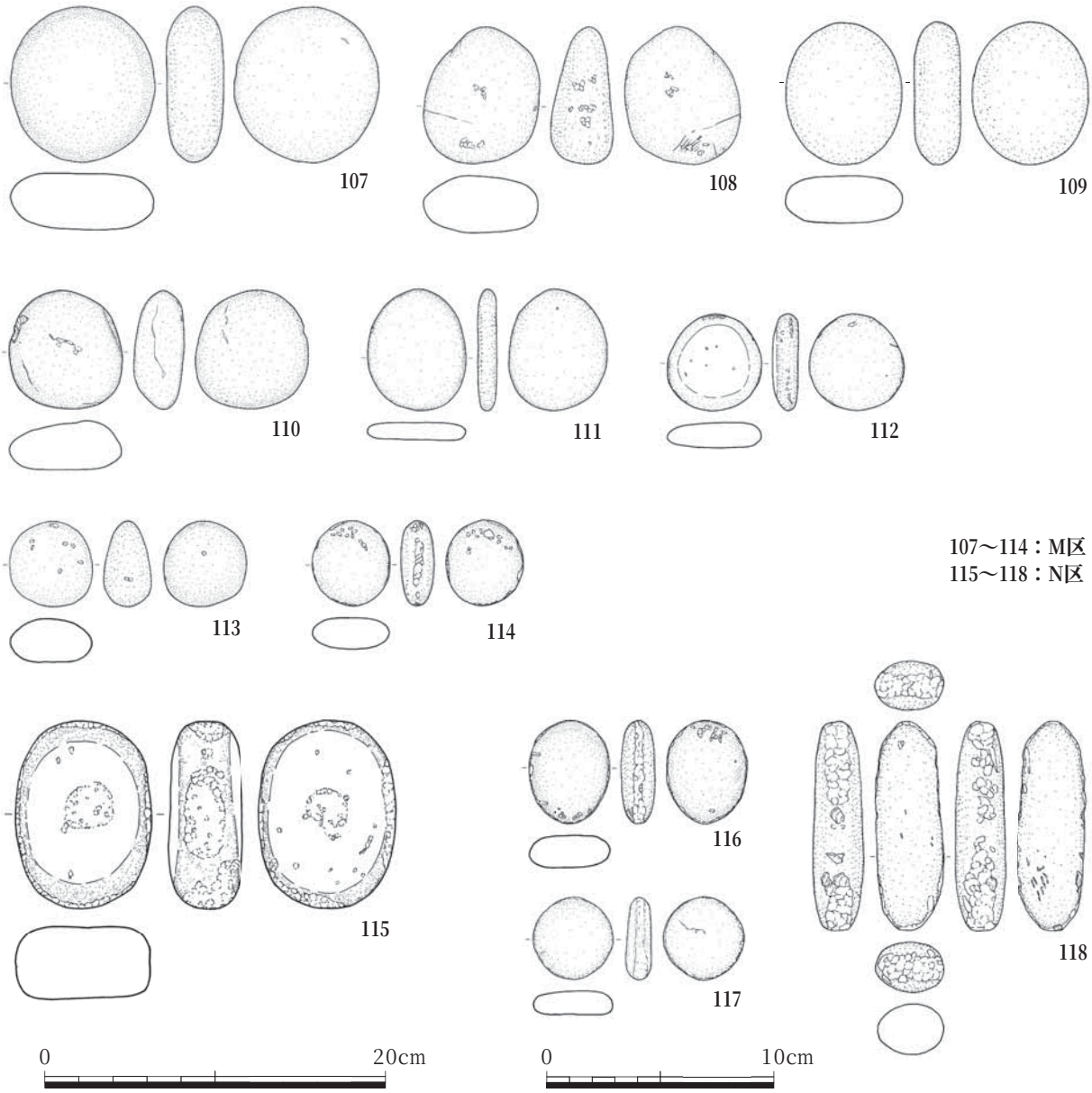
119は扁平な形状で表裏面を磨り面としており，側面には敲打痕がわずかに観察されるのみである。**120**は表裏両面を磨り面としており，それぞれ敲打痕も認められる，周縁には潰痕がめぐっており，打撃による欠損も多数入る。**121**は扁球状を呈し，表裏面に磨り面を形成する。裏面には敲打痕もみられる。また，側面の上下，左右の４カ所に潰痕の集中が認められる。**122**は表裏面に磨り面をもつが，表面は膨らみをもった磨り面であり，裏面は極度にすり減って平坦面を形成している。**123**は表裏両面に磨り面を有し，裏面と側面の一部には敲打痕，潰痕の集中部をもつ。



第261図　磨石・敲石⑧（S＝1／3）



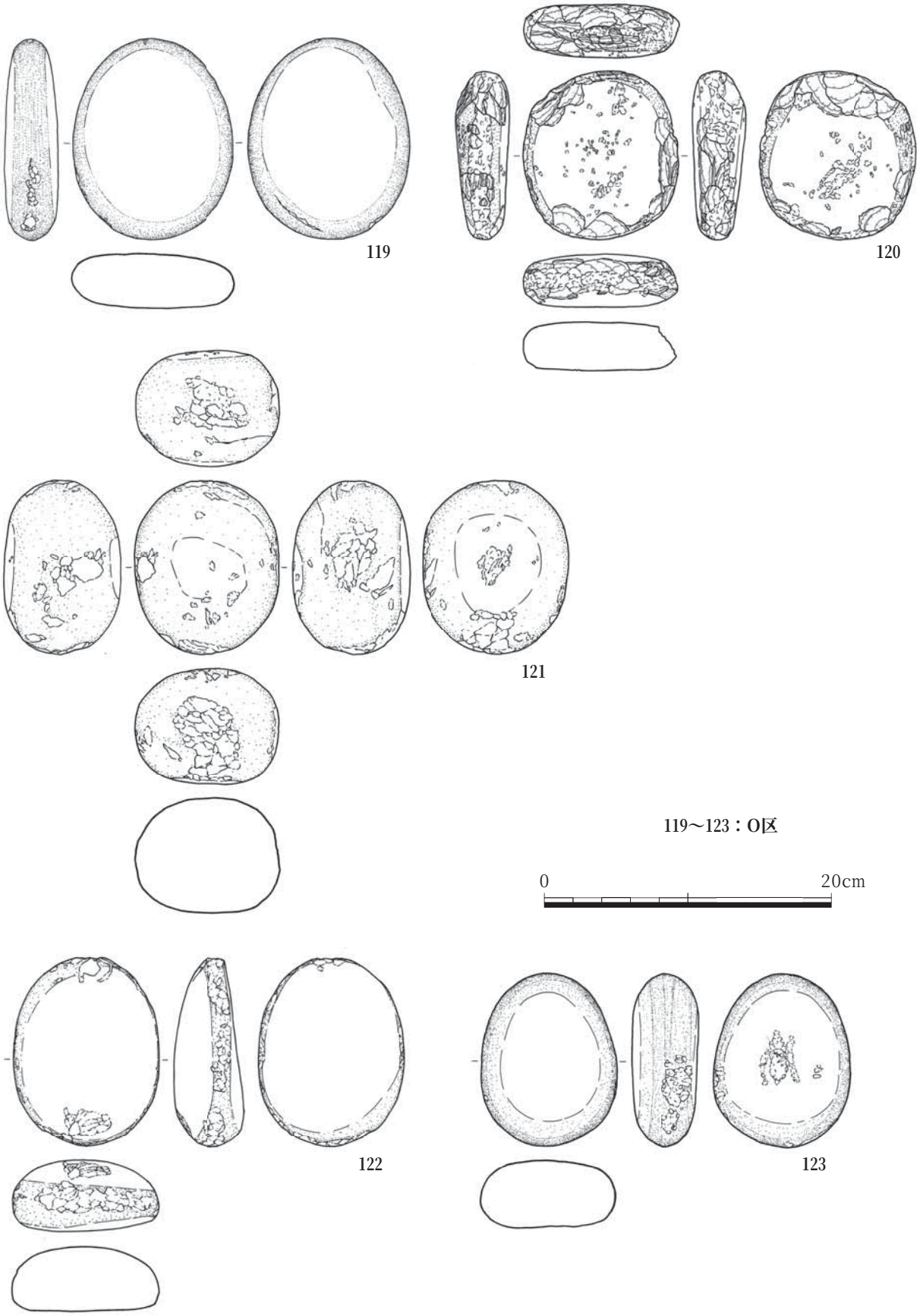
第262図　磨石・敲石⑨（S＝1／3）



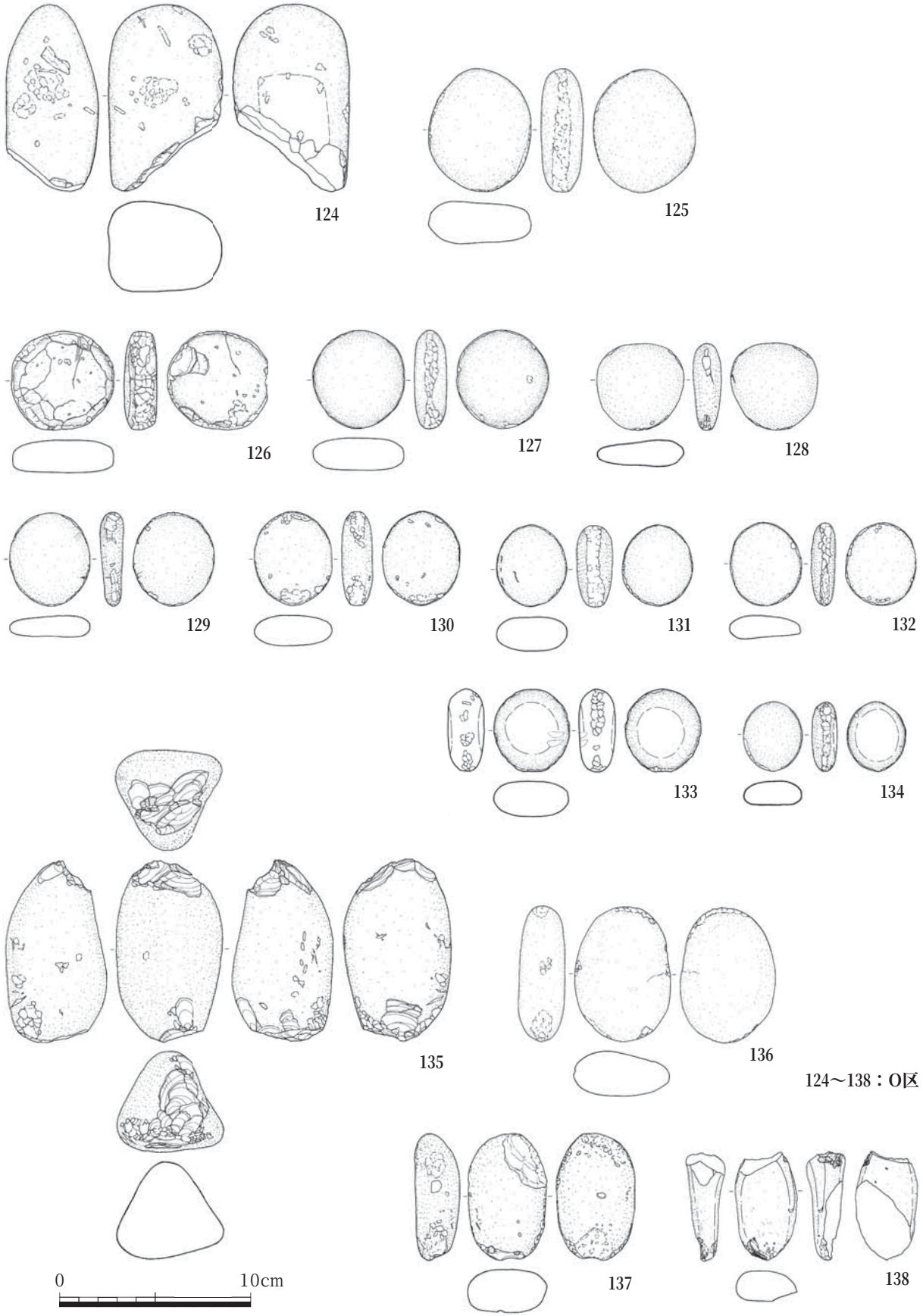
第263図　磨石・敲石⑩（107～114・116～118：S＝1/3，115：S＝1/4）

124は，磨り面は不明瞭でおもに敲石としての使用であったものと思われる。**126**は側面に帯状に潰痕が一周する。**128**は扁平で平面はいびつな円形を呈し，端部３カ所に敲打痕が認められる。**130**は楕円形で長軸の両方の端部に２面ずつの潰痕集中部をもつ。**131～134**は潰痕が側面を一周する。

135は断面隅丸の三角形を呈する水磨亜円礫で，長軸の両端部に剥離が集中する。**136・137**は平面楕円形を呈し，長軸の両端部に潰痕が認められる。**138**は端部に敲打痕と線条痕が集中する。上下端は使用によって欠損したものであろう。



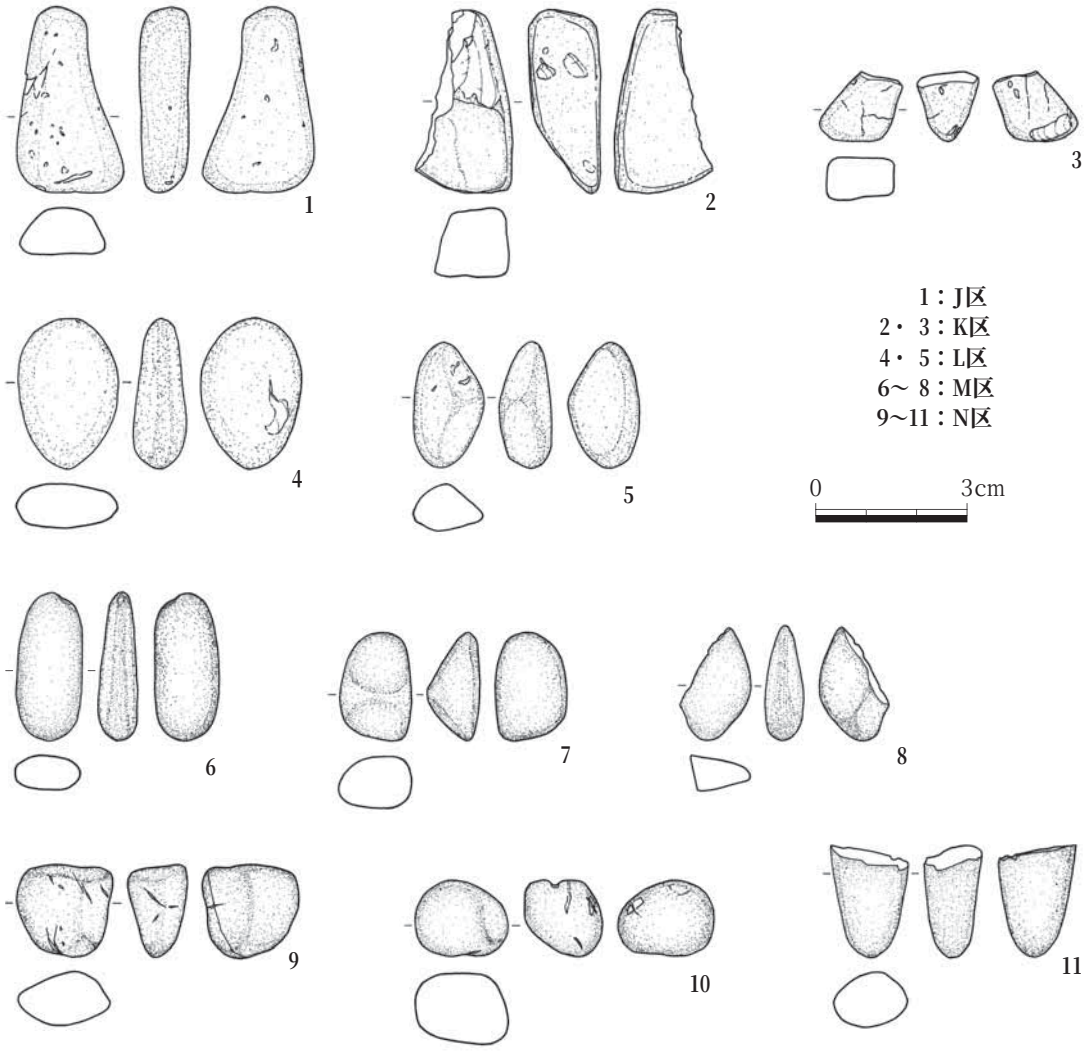
第264図　磨石・敲石⑪（S＝1／4）



第265図　磨石・敲石⑫（S＝1／3）

研磨具（第266図）

小型の水磨した円礫，亜円礫を素材としている。**4**～**6**が砂岩，他が泥岩である。いずれも全体が滑面で覆われるが，**2**・**3**は特に稜線部分の摩耗が進む。**7**は最も広い平坦面が黒色化している。土器製作時の調整具，特に研磨調整などでの使用が想定される資料である。



第266図　研磨具（S＝2/3）

石製品（第267図）

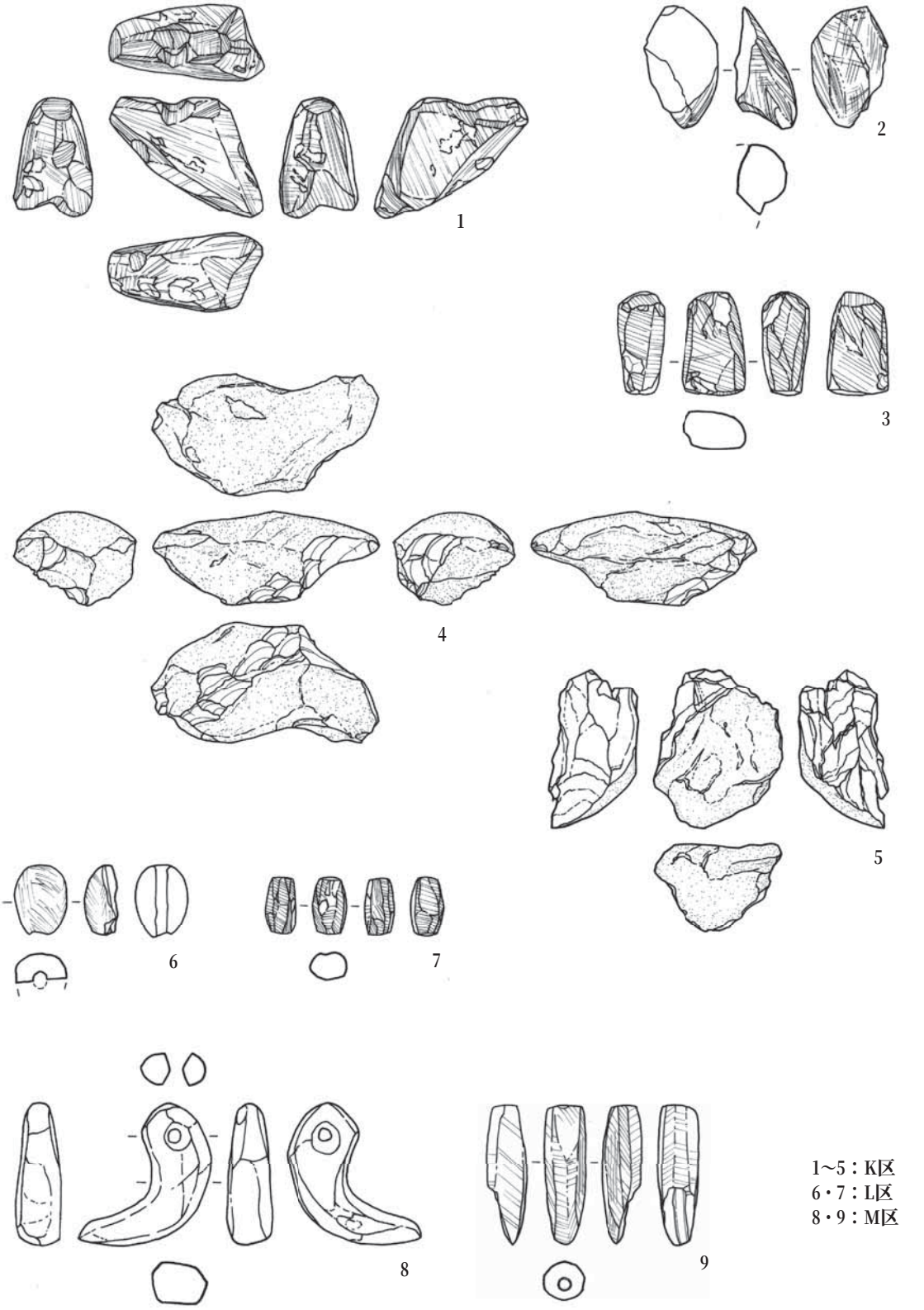
勾玉，管玉のほかに不明石製品，あるいは未成品の可能性のあるものも含める。

また，K区においては石製品と同一石材の原石が出土地点も近接して出土していることから，ここで合わせて報告する。石製品加工エリアを想定しうる出土状況であると考える。

1 は全体が研磨面によって覆われるが，上面，左側面，下面には溝状の研磨を施している。何らかの石製品の未成品である可能性もある。**2** は大きく欠損するが，突起状の作り出しが研磨によって行われている。**3** は平面背の高い台形を呈する。全面，研磨が施されている。**1**～**3** はいずれもクリノクロア（緑泥石）に研磨加工を施したものである。

4・**5** はクリノクロア（緑泥石）の原石の資料である。どちらも水磨面と思われる光沢をもった滑面を有しており，**5** の破断面には層理状の構造が観察される。

6 はジュズダマ状の形状をなす玉で，緑色を呈する。パイロフィライト（葉臘石）製である。**7** は管玉未成品で，パイロフィライト（葉臘石）を素材としており，全面を研磨面が覆う。上小口には直径２mm の穿孔がみられるが，深さ４mm ほどで未貫通である。また，下小口の中央には直径0.5mm ほどのごく浅い孔が認められ，穿孔作業の起点とした可能性が考えられる。**8** は蛇紋岩製の勾玉である。全体に研磨が施されており，形状は強い湾曲をもって先端は尖る。基部の穿孔は表裏両面から行っている。**9** はパイロフィライト（葉臘石）製の管玉で，一部欠損する。上端部より下端部の方のすぼまりが強い。角度を変えながら全体に研磨を施しており，側面には稜を残し，断面は多角形を呈する。



第267図　石製品（S＝2／3）

第98表　出土石器観察表（原石）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
175	1	J	J-12885	原石	漆黒色黒曜石	ZW46-d	Ⅲb下層	4.7	7.0	4.9	156.2	
	2	J	J-13692	原石	漆黒色黒曜石	ZZ46-d	Ⅲb上層	3.4	5.5	5.0	79.9	
176	3	J	J-16040	原石	漆黒色黒曜石	ZY46-b	Ⅲb下層	2.9	6.0	4.3	64.5	
	4	M	M-44386	原石	漆黒色黒曜石	M6-d	Ⅲb下-2層	1.9	5.8	4.0	51.5	
	5	M	M-20658	原石	漆黒色黒曜石	P4-d	Ⅲb上層	2.5	3.0	3.1	22.4	
177	6	M	M-43396	原石	サヌカイト	O3-c	Ⅲb下-1層	6.4	7.1	7.1	407.2	敲石の可能性あり
	7	M	M-43745	原石	チャート	O3-a	Ⅲb下-2層	7.9	8.4	6.8	615.3	敲石の可能性あり

第99表　出土石器観察表（石核①）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
178	1	J	J-10665	石核	漆黒色黒曜石	D36-b	Ⅲb下層	2.9	4.4	3.6	40.3	
	2	J	J-15020	石核	漆黒色黒曜石	ZY44-c	Ⅲb下層	1.9	4.4	3.7	22.6	
	3	J	J-09998	石核	漆黒色黒曜石	ZZ37-a	Ⅲb下層	3.0	4.2	1.9	14.9	
	4	J	J-06092	石核	漆黒色黒曜石	C36-c	Ⅲb下層	1.2	3.3	2.5	7.5	
	5	J	J-13065	石核	漆黒色黒曜石	ZW49-c	Ⅲb下層	2.1	3.3	2.2	9.9	
179	6	J	J-09213	石核	漆黒色黒曜石	C36-d	Ⅲb下層	2.2	2.5	1.8	9.6	
	7	J	J-10837	石核	漆黒色黒曜石	D33-d	Ⅲb下層	2.4	2.8	1.7	10.3	
	8	J	J-03950	石核	漆黒色黒曜石	ZW49-c	Ⅲb上層	2.3	2.4	2.6	10.0	
	9	J	J-09395	石核	漆黒色黒曜石	E33-c	Ⅲb下層	2.3	2.4	2.0	8.7	
	10	J	J-02146	石核	漆黒色黒曜石	ZZ37-d	Ⅲb上層	1.9	2.8	2.0	7.4	
	11	J	J-15095	石核	漆黒色黒曜石	ZY45-c	Ⅲb下層	1.6	2.2	2.1	6.5	
	12	J	J-17253	石核	漆黒色黒曜石	ZX43-d	Ⅲb下層	2.0	2.1	2.0	6.9	
	13	J	J-01343	石核	漆黒色黒曜石	E34-b	Ⅲb上層	2.1	2.6	1.4	7.7	
180	14	J	J-13052	石核	サヌカイト	ZW49-a	Ⅲb下層	3.9	7.3	6.5	172.6	
	15	J	J-08778	石核	サヌカイト	E34-c	Ⅲb下層	5.2	5.6	3.5	76.9	
	16	J	J-12942	石核	サヌカイト	ZW48-d	Ⅲb下層	2.6	5.2	4.4	60.7	
181	17	J	J-16496	石核	サヌカイト	ZZ47-a	Ⅲb下層	2.1	6.3	5.1	55.6	
	18	J	J-12890	石核	サヌカイト	ZW42-d	Ⅲb下層	5.3	6.5	2.0	70.8	
	19	J	J-05359	石核	サヌカイト	C35-a	Ⅲb下層	4.2	5.3	3.7	75.6	
	20	J	J-14312	石核	サヌカイト	ZY47-a	Ⅲb上層	1.9	4.1	3.7	25.0	
	21	J	J-05486	石核	サヌカイト	C35-d	Ⅲb下層	2.5	4.8	4.0	39.3	
	22	J	J-06622	石核	サヌカイト	B36-b	Ⅲb下層	2.5	3.6	2.8	27.4	
182	23	K	K-12602	石核	漆黒色黒曜石	K21-d	Ⅲb下層	2.9	2.9	2.1	20.5	
	24	K	K-10673	石核	漆黒色黒曜石	I20-c	Ⅲb下層	3.0	2.6	2.3	10.3	
	25	K	K-15368	石核	漆黒色黒曜石	G22-b	Ⅲb下層	2.8	3.2	1.1	8.2	
	26	K	K-00112	石核	サヌカイト	J19-d	Ⅲa層	4.7	6.1	3.7	135.7	
	27	K	K-05019	石核	サヌカイト	I18-d	Ⅲb上層	4.5	6.4	3.1	99.6	稜摩耗
183	28	L	L-10449	石核	漆黒色黒曜石	K14-d	Ⅲb下層	1.6	4.1	2.8	14.4	
	29	L	L-11744	石核	漆黒色黒曜石	L14-d	Ⅲb下層	3.3	3.2	2.6	16.8	
	30	L	L-06724	石核	漆黒色黒曜石	M14-a	Ⅲb下層	2.7	3.0	2.2	16.8	
	31	L	L-13268	石核	漆黒色黒曜石	P12-c	Ⅲb下層	2.7	3.6	2.6	15.4	
	32	L	L-00381	石核	漆黒色黒曜石	L14-d	Ⅲa層	2.3	4.1	1.3	10.1	
184	33	L	L-07671	石核	サヌカイト	O12-d	Ⅲb上層	3.2	5.0	5.5	87.8	
	34	L	L-04680	石核	サヌカイト	M15-a	Ⅲb上層	3.3	5.5	4.0	64.9	
185	35	M	M-41578	石核	漆黒色黒曜石	P1-a	Ⅲb下-2層	2.2	3.1	2.7	15.8	
	36	M	M-21613	石核	漆黒色黒曜石	O5-c	Ⅲb上層	2.8	2.8	1.3	4.3	
	37	M	M-34768	石核	漆黒色黒曜石	O1-a	Ⅲb下-1層	2.1	3.9	2.2	13.4	
	38	M	M-09708	石核	漆黒色黒曜石	N4-a	Ⅲb上層	2.3	3.2	2.0	13.7	
	39	M	M-37724	石核	漆黒色黒曜石	P7-a	Ⅲb下-2層	3.2	3.2	1.6	11.9	
	40	M	M-01306	石核	漆黒色黒曜石	O100-b	Ⅲb上層	1.5	3.2	2.5	10.6	
	41	M	M-42045	石核	漆黒色黒曜石	N100-d	Ⅲb下-2層	2.2	2.7	2.0	12.0	
	42	M	M-26441	石核	漆黒色黒曜石	P6-b	Ⅲb上層	2.3	2.3	2.5	11.7	
186	43	M	M-12834	石核	漆黒色黒曜石	O6-c	Ⅲb上層	2.4	2.4	2.2	12.3	
	44	M	M-34576	石核	漆黒色黒曜石	P6-b	Ⅲb下-1層	2.2	2.5	2.0	9.3	
	45	M	M-44531	石核	漆黒色黒曜石	O5-d	Ⅲb下-1層	2.0	2.2	2.0	8.2	
	46	M	M-25907	石核	漆黒色黒曜石	N5-c	Ⅲb上層	1.6	2.3	2.1	8.3	
	47	M	M-20229	石核	漆黒色黒曜石	P4-b	Ⅲb上層	2.0	2.3	1.8	9.0	
	48	M	M-30404	石核	漆黒色黒曜石	P4-b	Ⅲb下-1層	1.6	3.0	1.7	8.3	
	49	M	M-28666	石核	漆黒色黒曜石	P4-d	Ⅲb下層	2.2	2.0	1.9	7.7	

第100表　出土石器観察表（石核②）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
187	50	M	M-16121	石核	サヌカイト	O1-a	Ⅲb上層	3.8	7.1	6.5	186.4	稜摩耗
	51	M	M-42374	石核	サヌカイト	P1-c	Ⅲb下-2層	3.9	6.9	5.0	136.7	
	52	M	M-23085	石核	サヌカイト	O5-b	Ⅲb上層	5.0	5.3	3.5	86.2	
188	53	M	M-35036	石核	サヌカイト	O2-a	Ⅲb下-1層	3.7	6.7	4.9	101.8	
	54	M	M-44538	石核	サヌカイト	O5-d	Ⅲb下-1層	3.8	6.3	4.0	68.4	
	55	M	M-36321	石核	サヌカイト	M6-c	Ⅲb下-2層	2.2	5.3	2.2	47.3	
	56	M	M-27131	石核	サヌカイト	N6-a	Ⅲb上層	2.4	6.6	4.8	57.4	
189	57	N	N-03252	石核	漆黒色黒曜石	D75-d	Ⅲb下層	2.5	4.3	2.8	20.1	
	58	N	N-00925	石核	漆黒色黒曜石	D74-c	Ⅲb上層	2.7	3.0	1.7	11.6	
	59	N	N-02777	石核	漆黒色黒曜石	E74-b	Ⅲb下層	1.7	3.0	2.3	12.3	
	60	N	N-02081	石核	漆黒色黒曜石	D75-d	Ⅲb上層	1.7	2.0	2.2	8.5	
	61	N	N-00215	石核	漆黒色黒曜石	E76-c	Ⅲa層	1.5	2.1	1.6	4.0	
	62	N	N-03099	石核	サヌカイト	D74-c	Ⅲb下層	3.5	5.6	3.4	58.0	
190	63	O	O-05563	石核	暗灰色黒曜石	E58-c	Ⅲb下-1層	2.1	6.4	4.4	50.1	
	64	O	O-05254	石核	漆黒色黒曜石	E59-a	Ⅲb下-1層	2.1	3.5	1.9	11.7	
	65	O	O-07155	石核	漆黒色黒曜石	E58-d	Ⅲb下-2層	1.9	3.5	2.6	11.3	
	66	O	O-00672	石核	漆黒色黒曜石	E58-d	Ⅲb上層	2.3	3.6	2.2	16.1	
	67	O	O-03159	石核	漆黒色黒曜石	C67-a	Ⅲb上層	2.2	2.2	1.8	10.0	
	68	O	O-04412	石核	漆黒色黒曜石	F61-a	Ⅲb下-1層	2.1	2.9	2.1	11.6	
	69	O	O-05135	石核	サヌカイト	F59-a	Ⅲb下-1層	3.4	5.2	3.3	61.1	

第101表　出土石器観察表（スクレイパー①）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
191	1	J	J-03348	スクレイパー	漆黒色黒曜石	ZV45-b	Ⅲb上層	4.5	2.2	1.2	8.8	
	2	J	J-16234	スクレイパー	漆黒色黒曜石	ZZ46-b	Ⅲb下層	3.3	2.4	0.7	5.4	
	3	J	J-09404	スクレイパー	漆黒色黒曜石	E33-a	Ⅲb下層	3.0	3.6	1.5	12.7	
	4	J	J-02469	スクレイパー	漆黒色黒曜石	B36-d	Ⅲb下層	2.6	4.9	0.6	5.5	
192	5	J	J-13038	スクレイパー	サヌカイト	ZW49-d	Ⅲb下層	7.5	9.0	3.5	152.7	
	6	J	J-09705	スクレイパー	サヌカイト	ZW49-b	Ⅲb下層	6.4	6.5	1.9	59.8	
	7	J	J-07987	スクレイパー	サヌカイト	C35-d	Ⅲb下層	5.4	7.2	2.0	70.2	
	8	J	J-11732	スクレイパー	サヌカイト	ZX41-b	Ⅲb下層	10.4	5.8	2.4	138.8	打製石斧の可能性あり
	9	J	J-17105	スクレイパー	サヌカイト	ZX47-d	Ⅲb下層	9.8	3.4	2.1	62.2	
193	10	J	J-13130	スクレイパー	サヌカイト	ZW49-b	Ⅲb下層	6.8	3.1	1.0	14.4	
	11	J	J-12925	スクレイパー	サヌカイト	ZW48-a	Ⅲb下層	5.8	2.9	1.3	20.1	
	12	J	J-08728	スクレイパー	サヌカイト	E34-d	Ⅲb下層	6.0	3.6	1.3	24.1	
	13	J	J-13237	スクレイパー	サヌカイト	ZY43-b	Ⅲb下層	4.0	7.2	2.4	61.1	
	14	J	J-08390	スクレイパー	サヌカイト	C35-c	Ⅲb下層	4.2	4.9	1.9	44.2	
	15	J	J-09706	スクレイパー	サヌカイト	ZV49-d	Ⅲb下層	3.8	7.6	1.6	36.5	
	16	J	J-00886	スクレイパー	サヌカイト	C35-d	Ⅲb上層	3.5	7.0	0.8	17.4	
	17	K	K-05412	スクレイパー	サヌカイト	J17-a	Ⅲb上層	5.6	5.9	1.2	44.6	
	18	K	K-05820	スクレイパー	サヌカイト	K21-a	Ⅲb上層	4.0	3.6	1.7	20.2	
194	19	L	L-10461	スクレイパー	サヌカイト	K14-d	Ⅲb下層	14.4	7.7	3.1	326.3	
	20	L	L-04562	スクレイパー	サヌカイト	L14-c	Ⅲb上層	9.0	2.3	1.5	29.4	
	21	L	L-08212	スクレイパー	サヌカイト	L15-c	Ⅲb上層	8.5	4.8	2.8	65.5	
	22	L	L-10686	スクレイパー	サヌカイト	L14-a	Ⅲb下層	7.8	4.2	1.8	56.2	
	23	L	L-12069	スクレイパー	サヌカイト	M15-a	Ⅲb下層	5.4	6.7	1.9	51.7	
195	24	L	L-03439	スクレイパー	サヌカイト	L14-b	Ⅲb上層	3.7	6.1	1.5	21.5	
	25	L	L-05855	スクレイパー	サヌカイト	M14-a	Ⅲb上層	5.0	3.9	2.2	34.3	
	26	M	M-38688	スクレイパー	サヌカイト	N4-c	Ⅲb下-2層	6.1	8.6	2.7	128.5	
	27	M	M-35217	スクレイパー	頁岩	O1-c	Ⅲb下-1層	5.0	10.0	2.1	134.6	
	28	M	M-34836	スクレイパー	サヌカイト	N1-d	Ⅲb下-1層	4.6	9.5	1.9	81.0	
	29	M	M-34832	スクレイパー	サヌカイト	N1-d	Ⅲb下-1層	4.8	6.7	1.8	38.2	
	30	M	M-37711	スクレイパー	サヌカイト	N2-d	Ⅲb下-2層	7.0	4.8	1.5	43.5	
196	31	M	M-44301	スクレイパー	漆黒色黒曜石	N5-d	Ⅲb下-2層	4.0	2.4	1.0	9.3	
	32	M	M-35321	スクレイパー	サヌカイト	P1-c	Ⅲb下-1層	7.9	4.0	1.2	39.7	
	33	M	M-34904	スクレイパー	サヌカイト	N1-d	Ⅲb下-1層	7.7	4.0	1.6	53.6	
	34	M	M-35372	スクレイパー	サヌカイト	P1-a	Ⅲb下-1層	7.4	3.7	1.9	43.5	
	35	M	M-18963	スクレイパー	サヌカイト	M3-d	Ⅲb上層	6.7	4.0	1.9	38.8	
	36	M	M-38342	スクレイパー	サヌカイト	O4-a	Ⅲb下-2層	5.9	3.9	1.4	35.3	

第102表　出土石器観察表（スクレイパー②）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
196	37	M	M-07333	スクレイパー	サヌカイト	N3-d	Ⅲb上層	5.7	3.1	1.2	23.3	
	38	M	M-15615	スクレイパー	サヌカイト	P1-d	Ⅲb上層	4.9	3.7	0.7	13.9	
	39	M	M-05106	スクレイパー	サヌカイト	P5-c	Ⅲb上層	4.6	4.2	1.2	26.4	
	40	M	M-17011	スクレイパー	サヌカイト	N1-d	Ⅲb上層	3.7	3.2	0.8	9.9	
197	41	N	N-00420	スクレイパー	サヌカイト	E75-c	Ⅲb上層	5.1	6.1	1.2	33.6	
	42	N	N-01130	スクレイパー	サヌカイト	D75-c	Ⅲb上層	7.0	3.9	1.3	28.5	
	43	O	O-01972	スクレイパー	サヌカイト	D67-a	Ⅲb上層	5.9	6.4	1.4	45.2	
	44	O	O-08836	スクレイパー	サヌカイト	C67-c	Ⅲb下-1層	7.0	4.4	1.5	37.2	
	45	O	O-02454	スクレイパー	サヌカイト	C66-b	Ⅲb上層	7.7	3.6	1.8	63.6	
	46	O	O-00493	スクレイパー	サヌカイト	F60-d	Ⅲb上層	5.2	3.2	1.0	19.3	

第103表　出土石器観察表（石匙）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
198	1	K	K-13386	石匙	漆黒色黒曜石	G21-b	Ⅲb下層	5.8	3.5	1.6	19.1	
	2	J	J-06018	石匙	サヌカイト	D36-a	Ⅲb下層	10.7	4.2	1.7	51.0	
	3	M	M-30502	石匙	漆黒色黒曜石	P4-d	Ⅲb下-1層	6.9	2.0	1.2	12.1	
	4	J	J-07402	石匙	暗灰色黒曜石	C36-c	Ⅲb下層	7.4	2.7	1.6	28.1	
	5	J	J-17209	石匙	サヌカイト	ZX43-c	Ⅲb下層	7.7	3.1	0.9	17.3	
	6	L	L-12397	石匙	サヌカイト	L14-c	Ⅲb下層	7.7	5.8	2.0	62.6	
	7	M	M-37228	石匙	サヌカイト	O2-b	Ⅲb下-2層	3.9	4.7	1.2	15.9	
	8	M	M-26131	石匙	サヌカイト	O1-d	Ⅲb上層	7.2	3.9	1.3	19.0	

第104表　出土石器観察表（石鏃①）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
199	1	J	J-04162	石鏃	サヌカイト	ZW50-a	Ⅲb下層	4.0	2.1	1.3	10.5	
	2	J	J-03644	石鏃	サヌカイト	ZY49-b	Ⅲb下層	2.6	2.5	0.6	2.4	
	3	J	J-03646	石鏃	漆黒色黒曜石	ZY49-b	Ⅲb下層	2.7	1.7	0.9	3.4	
	4	J	J-07907	石鏃	サヌカイト	D35-b	Ⅲb下層	2.4	2.0	0.5	2.1	
	5	J	J-09401	石鏃	サヌカイト	E33-a	Ⅲb下層	2.6	1.7	0.4	1.3	
	6	J	J-15037	石鏃	漆黒色黒曜石	ZY44-d	Ⅲb下層	2.7	2.0	0.7	2.9	
	7	J	J-13997	石鏃	漆黒色黒曜石	ZY46-b	Ⅲb上層	2.5	2.2	0.8	3.2	
	8	J	J-13951	石鏃	漆黒色黒曜石	ZX46-c	Ⅲb上層	2.5	1.7	0.4	1.2	
	9	J	J-16070	石鏃	漆黒色黒曜石	ZY46-d	Ⅲb下層	2.4	2.2	0.5	1.6	
	10	J	J-09243	石鏃	漆黒色黒曜石	E35-a	Ⅲb下層	2.5	2.1	0.6	1.6	
	11	J	J-14533	石鏃	サヌカイト	ZX45-d	Ⅲb上層	2.0	1.5	0.5	1.2	
	12	J	J-00294	石鏃	漆黒色黒曜石	C36-d	Ⅲb上層	2.0	1.8	0.4	0.9	
	13	J	J-01473	石鏃	漆黒色黒曜石	E34-c	Ⅲb上層	1.7	1.7	0.3	0.7	
	14	J	J-10339	石鏃	漆黒色黒曜石	A37-a	Ⅲb下層	2.0	1.6	0.5	1.0	
	15	J	J-00184	石鏃	漆黒色黒曜石	C36-c	Ⅲb上層	1.9	1.5	0.6	1.2	
	16	J	J-08771	石鏃未成品	漆黒色黒曜石	E34-c	Ⅲb下層	2.1	1.3	0.5	0.8	
	17	J	J-11346	石鏃	暗灰色黒曜石	ZY40-a	Ⅲb下層	2.3	1.7	0.4	0.7	
	18	K	K-01946	石鏃	漆黒色黒曜石	J21-c	Ⅲa層	2.4	2.3	0.6	2.3	
	19	K	K-10012	石鏃	漆黒色黒曜石	J20-d	Ⅲb下層	2.2	1.9	0.4	1.5	
	20	K	K-06538	石鏃	漆黒色黒曜石	I20-d	Ⅲb下層	1.8	1.4	0.4	1.1	
	21	K	K-08938	石鏃	灰色黒曜石	K19-c	Ⅲb下層	2.2	1.4	0.3	0.8	
	22	K	K-00761	石鏃	漆黒色黒曜石	J20-d	Ⅲa層	1.8	1.6	0.3	0.5	
	23	K	K-07931	石鏃	漆黒色黒曜石	J16-d	Ⅲb下層	1.7	1.3	0.4	0.6	
	24	K	K-02233	石鏃	漆黒色黒曜石	F22-d	Ⅲb上層	2.7	1.5	0.4	2.5	風化進行
200	25	L	L-03761	石鏃未成品	サヌカイト	L14-c	Ⅲb上層	3.4	2.7	1.0	7.2	
	26	L	L-01625	石鏃未成品	サヌカイト	J15-a	Ⅲa層	3.1	2.8	1.0	7.3	
	27	L	L-00647	石鏃	漆黒色黒曜石	L15-c	Ⅲa層	2.8	2.5	1.0	6.1	
	28	L	L-11271	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-b	Ⅲb下層	3.0	2.1	0.5	2.6	
	29	L	L-07911	石鏃	漆黒色黒曜石	O12-c	Ⅲb上層	2.8	2.3	0.7	3.9	
	30	L	L-04219	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-c	Ⅲb上層	2.5	2.0	0.5	2.2	
	31	L	L-06630	石鏃未成品	漆黒色黒曜石	P11-b	Ⅲb上層	3.5	1.8	0.7	3.7	
	32	L	L-11398	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-c	Ⅲb下層	2.5	1.9	0.5	2.1	
	33	L	L-04310	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-d	Ⅲb上層	2.1	2.1	0.4	2.1	

第105表　出土石器観察表（石鏃②）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
	34	L	L-04099	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-d	Ⅲb上層	2.1	2.0	0.4	1.6	
	35	L	L-02352	石鏃	漆黒色黒曜石	I14-d	Ⅲb上層	2.1	1.9	0.4	2.3	
	36	L	L-01111	石鏃	サヌカイト	K15-c	Ⅲa層	2.1	1.5	0.4	1.2	
	37	L	L-02887	石鏃	漆黒色黒曜石	K14-d	Ⅲb上層	2.3	1.9	0.4	2.4	
	38	L	L-01314	石鏃	漆黒色黒曜石	I14-d	Ⅲa層	1.9	1.6	0.4	2.1	
	39	L	L-04014	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-a	Ⅲb上層	2.4	1.6	0.4	1.2	
	40	L	L-03766	石鏃	サヌカイト	L14-a	Ⅲb上層	2.1	1.9	0.3	2.2	
	41	L	L-03516	石鏃	サヌカイト	L14-a	Ⅲb上層	2.1	1.4	0.4	2.0	
200	42	L	L-06847	石鏃	漆黒色黒曜石	P11-a	Ⅲb上層	1.8	1.8	0.4	2.1	
	43	L	L-05264	石鏃	漆黒色黒曜石	M14-d	Ⅲb上層	1.4	1.8	0.4	1.1	
	44	L	L-05321	石鏃	漆黒色黒曜石	M14-d	Ⅲb上層	1.4	1.9	0.3	0.9	
	45	L	L-13111	石鏃	漆黒色黒曜石	M14-d	Ⅲb下層	1.6	1.5	0.3	1.9	
	46	L	L-01359	石鏃	サヌカイト	L14-d	Ⅲa層	1.2	1.6	0.3	1.7	
	47	L	L-13034	石鏃	漆黒色黒曜石	L14-a	Ⅲb下層	2.1	2.1	0.3	2.3	
	48	L	L-05114	石鏃	漆黒色黒曜石	M15-a	Ⅲb上層	1.9	1.8	0.2	1.2	
	49	L	L-13091	石鏃	サヌカイト	L14-d	Ⅲb下層	2.2	1.9	0.5	2.4	
	50	L	L-13193	石鏃	漆黒色黒曜石	M13-b	Ⅲb下層	1.7	1.8	0.3	1.8	
	51	M	M-41994	石鏃	サヌカイト	O1-a	Ⅲb下-2層	2.6	2.0	0.3	2.6	
	52	M	M-19680	石鏃	漆黒色黒曜石	P1-b	Ⅲb上層	2.2	1.6	0.3	1.1	
	53	M	M-30991	石鏃	漆黒色黒曜石	O5-b	Ⅲb下-1層	2.0	1.9	0.5	1.5	
	54	M	M-19701	石鏃	サヌカイト	P1-b	Ⅲb上層	1.9	1.9	0.4	2.5	
	55	M	M-41695	石鏃	漆黒色黒曜石	P1-b	Ⅲb下-2層	2.5	1.6	0.4	2.7	
	56	M	M-16770	石鏃	漆黒色黒曜石	N1-c	Ⅲb上層	2.0	1.7	0.3	1.3	
	57	M	M-27890	石鏃	サヌカイト	O3-c	Ⅲb下層	2.1	1.4	0.3	2.2	
	58	M	M-11687	石鏃	漆黒色黒曜石	P6-d	Ⅲb上層	1.7	1.5	0.4	0.9	
	59	M	M-06780	石鏃	サヌカイト	O3-d	Ⅲb上層	1.7	1.5	0.2	2.2	
	60	M	M-08578	石鏃	漆黒色黒曜石	N6-c	Ⅲb上層	2.6	2.3	0.6	2.2	
	61	M	M-24912	石鏃	漆黒色黒曜石	O5-b	Ⅲb下層	2.3	1.9	0.4	1.4	表裏面研磨
	62	M	M-33485	石鏃	サヌカイト	M3-d	Ⅲb下-1層	1.7	2.0	0.3	2.3	
	63	M	M-37293	石鏃	漆黒色黒曜石	O3-d	Ⅲb下-2層	2.2	1.6	0.5	2.9	
	64	M	M-13741	石鏃	サヌカイト	M7-c	Ⅲb上層	3.0	2.0	0.3	2.2	
	65	M	M-10578	石鏃	サヌカイト	Q100-b	Ⅲb上層	1.9	1.8	0.3	1.1	
201	66	M	M-28342	石鏃	漆黒色黒曜石	P1-c	Ⅲb上層	2.1	1.8	0.4	1.0	
	67	M	M-21662	石鏃未成品	漆黒色黒曜石	O5-c	Ⅲb上層	2.2	1.6	0.4	1.2	
	68	M	M-36763	石鏃	漆黒色黒曜石	Q7-a	Ⅲb下-2層	2.0	1.3	0.6	2.5	
	69	M	M-34330	石鏃	漆黒色黒曜石	P6-b	Ⅲb下-1層	2.0	1.5	0.4	2.1	
	70	M	M-16641	石鏃	漆黒色黒曜石	O2-a	Ⅲb上層	2.0	1.5	0.5	1.5	
	71	M	M-12650	石鏃	漆黒色黒曜石	O6-d	Ⅲb上層	2.0	1.8	0.5	1.3	
	72	M	M-18204	石鏃	漆黒色黒曜石	N3-d	Ⅲb上層	1.6	1.8	0.3	1.0	
	73	M	M-12766	石鏃	サヌカイト	O6-c	Ⅲb上層	1.5	1.8	0.4	2.0	
	74	M	M-17638	石鏃	漆黒色黒曜石	O3-d	Ⅲb上層	1.5	1.3	0.3	0.8	
	75	M	M-13052	石鏃	漆黒色黒曜石	N6-c	Ⅲb上層	2.9	1.7	0.5	2.1	
	76	M	M-33602	石鏃	漆黒色黒曜石	O3-d	Ⅲb下-1層	2.2	1.5	0.3	1.9	
	77	M	M-20535	石鏃	漆黒色黒曜石	P4-d	Ⅲb上層	1.9	1.7	0.3	0.6	
	78	M	M-42065	石鏃	漆黒色黒曜石	O100-b	Ⅲb下-2層	2.0	1.5	0.4	2.1	
	79	M	M-32344	石鏃	漆黒色黒曜石	P5-b	Ⅲb下-1層	1.8	1.6	0.3	0.7	
	80	M	M-08303	石鏃	漆黒色黒曜石	O6-a	Ⅲb上層	1.7	1.7	0.3	0.8	風化進行
	81	M	M-12602	石鏃	漆黒色黒曜石	O6-d	Ⅲb上層	1.6	2.2	0.4	1.6	
	82	N	N-00757	石鏃未成品	漆黒色黒曜石	D74-d	Ⅲb上層	2.3	2.2	0.5	2.0	
	83	N	N-04293	石鏃	漆黒色黒曜石	D75-c	Ⅲb上層	2.3	1.7	0.5	1.2	
	84	N	N-04255	石鏃	漆黒色黒曜石	D74-d	Ⅲa層	2.2	1.8	0.5	1.4	
	85	N	N-00864	石鏃	漆黒色黒曜石	E74-b	Ⅲb上層	2.3	1.4	0.4	0.9	
	86	N	N-01133	石鏃	サヌカイト	D75-c	Ⅲb上層	2.0	1.8	0.5	1.0	
	87	O	O-07768	石鏃	漆黒色黒曜石	G57-b	Ⅲb下-2層	1.4	1.2	0.7	3.8	
202	88	O	O-00005	石鏃	漆黒色黒曜石	E58-c	Ⅲa層	2.4	2.0	0.7	2.5	
	89	O	O-00766	石鏃	漆黒色黒曜石	E58-c	Ⅲb上層	3.1	2.2	0.6	2.4	
	90	O	O-08968	石鏃	サヌカイト	B67-c	Ⅲb下-1層	3.0	2.0	0.4	1.5	
	91	O	O-00396	石鏃	サヌカイト	E60-d	Ⅲb上層	2.8	1.7	0.5	1.7	
	92	O	O-09124	石鏃	サヌカイト	C66-d	Ⅲb下-1層	2.4	1.9	0.6	1.6	
	93	O	O-05925	石鏃	漆黒色黒曜石	E59-d	Ⅲb下-2層	2.4	1.8	0.4	0.9	側辺研磨
	94	O	O-02140	石鏃	サヌカイト	C67-d	Ⅲb上層	2.2	2.0	0.4	1.1	

第106表　出土石器観察表（石鏃③）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
202	95	O	O-09171	石鏃	漆黒色黒曜石	D65-b	Ⅲb下-2層	2.0	1.6	0.4	0.8	
	96	O	O-08927	石鏃未成品	漆黒色黒曜石	B67-c	Ⅲb下-1層	2.2	1.5	0.4	1.4	
	97	O	O-07265	石鏃	漆黒色黒曜石	E59-c	Ⅲb上層	1.3	1.5	0.4	0.6	
	98	O	O-09654	石鏃	漆黒色黒曜石	G57-d	Ⅲb下-2層	3.1	1.8	0.5	1.2	
	99	O	O-03350	石鏃	暗灰色黒曜石	F59-b	Ⅲb下-1層	2.8	2.6	0.3	0.9	

第107表　出土石器観察表（つまみ形石器）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
203	1	K	K-04805	つまみ形石器	漆黒色黒曜石	K19-c	Ⅲb上層	2.6	1.8	0.6	1.9	
	2	L	L-05922	つまみ形石器	漆黒色黒曜石	L13-b	Ⅲb上層	1.9	1.3	0.4	0.9	
	3	O	O-00038	つまみ形石器	漆黒色黒曜石	E57-d	Ⅲa層	3.8	1.3	0.9	2.6	

第108表　出土石器観察表（石錐）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
204	1	J	J-08198	石錐	漆黒色黒曜石	D35-b	Ⅲb下層	4.2	1.4	1.2	5.4	
	2	K	K-01628	石錐	漆黒色黒曜石	K20-b	Ⅲa層	3.7	2.3	0.8	4.2	
	3	L	L-13095	石錐	漆黒色黒曜石	L14-d	Ⅲb下層	5.5	2.2	1.1	5.9	
	4	L	L-12798	石錐	漆黒色黒曜石	P14-a	Ⅲb上層	3.2	1.7	0.7	2.1	
	5	M	M-23225	石錐	漆黒色黒曜石	O5-b	Ⅲb上層	6.3	0.9	0.7	2.9	
	6	M	M-16208	石錐	漆黒色黒曜石	O1-a	Ⅲb上層	5.1	2.7	0.9	5.1	
	7	J	J-10610	石錐	サヌカイト	B36-c	Ⅲb下層	6.1	3.4	1.5	24.4	
	8	L	L-11482	石錐	サヌカイト	L14-d	Ⅲb下層	5.4	1.7	1.0	5.5	
	9	L	L-05379	石錐	サヌカイト	M14-d	Ⅲb上層	4.1	2.2	1.7	12.0	
	10	L	L-02898	石錐	サヌカイト	K14-d	Ⅲb上層	4.4	2.2	1.4	11.3	
	11	M	M-14410	石錐	サヌカイト	P6-d	Ⅲb上層	5.9	2.7	1.2	18.8	
	12	N	N-00788	石錐	サヌカイト	D74-d	Ⅲb上層	3.1	2.9	1.0	4.3	

第109表　出土石器観察表（二次加工剥片・微細剥離剥片①）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
205	1	J	J-14602	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZZ46-a	Ⅲb上層	5.0	3.2	1.8	20.7	
	2	J	J-10698	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D35-d	Ⅲb下層	4.9	2.2	7.5	3.8	
	3	J	J-05556	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	C35-d	Ⅲb下層	4.5	2.2	1.0	7.7	
	4	J	J-16047	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZY47-a	Ⅲb下層	4.5	2.1	0.9	6.7	
	5	J	J-15099	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZY45-c	Ⅲb下層	3.8	2.3	1.0	6.0	
	6	J	J-08457	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	C35-c	Ⅲb下層	3.9	2.2	0.6	3.5	
	7	J	J-04349	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZY43-a	Ⅲb下層	4.1	1.5	0.6	2.8	
	8	J	J-15404	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZY47-d	Ⅲb下層	3.7	3.2	0.8	7.6	
	9	J	J-03752	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	C36-a	Ⅲb下層	3.8	2.6	1.1	6.2	
	10	J	J-08338	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D35-a	Ⅲb下層	3.4	2.3	0.8	4.9	
	11	J	J-12044	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZY42-b	Ⅲb下層	3.7	2.1	0.7	3.8	
	12	J	J-16162	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZX46-c	Ⅲb下層	3.6	1.6	0.7	3.1	
	13	J	J-14599	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	ZY46-c	Ⅲb上層	3.3	1.9	0.7	4.3	風化進行
	14	J	J-14811	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZW49-a	Ⅲb上層	3.5	2.1	0.9	4.0	
	15	J	J-05938	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D36-a	Ⅲb下層	3.5	1.4	0.7	2.0	
	16	J	J-16059	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	ZY46-d	Ⅲb下層	2.9	1.9	0.8	2.5	
	17	J	J-06743	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	E34-b	Ⅲb下層	2.6	1.8	0.7	2.7	
	18	J	J-12973	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZW48-c	Ⅲb下層	2.8	2.8	1.1	5.6	
	19	J	J-09281	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	E34-d	Ⅲb下層	2.3	2.4	0.5	2.1	
	20	J	J-11147	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	A40-a	Ⅲb下層	2.2	2.3	0.7	3.2	
	21	J	J-07419	二次加工剥片	暗灰色黒曜石	C36-c	Ⅲb下層	2.7	2.7	1.1	7.4	
206	22	J	J-15544	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZX48-c	Ⅲb下層	2.4	3.4	0.9	4.6	
	23	J	J-14751	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	ZX46-a	Ⅲb下層	2.3	3.8	0.6	3.6	
	24	J	J-02012	二次加工剥片	暗灰色黒曜石	A37-a	Ⅲb上層	2.1	3.4	1.5	6.9	
	25	J	J-13104	微細剥離剥片	サヌカイト	ZX48-a	Ⅲb下層	5.9	5.5	1.7	57.4	
	26	J	J-06166	微細剥離剥片	サヌカイト	C36-c	Ⅲb下層	7.4	3.6	2.3	60.2	
	27	J	J-09263	微細剥離剥片	サヌカイト	E35-c	Ⅲb下層	5.8	3.2	1.5	27.5	
	28	J	J-16242	微細剥離剥片	サヌカイト	ZZ46-b	Ⅲb下層	4.7	4.6	0.7	11.1	
	29	J	J-14218	二次加工剥片	サヌカイト	ZX46-d	Ⅲb上層	4.5	3.1	1.1	13.1	
	30	J	J-13037	微細剥離剥片	サヌカイト	ZW49-d	Ⅲb下層	3.5	4.6	1.1	13.2	
	31	J	J-13928	二次加工剥片	サヌカイト	ZY46-b	Ⅲb上層	3.2	3.4	0.7	6.9	
	32	J	J-02747	微細剥離剥片	サヌカイト	ZY41-b	Ⅲb上層	3.0	3.1	0.7	4.5	
207	33	K	K-16715	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	G24-a	Ⅲb下層	5.2	1.5	0.6	3.3	
	34	K	K-17689	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	F22-d	Ⅲb下層	3.9	1.9	0.7	3.5	
	35	K	K-04154	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	F29-d	Ⅲb上層	3.8	2.5	0.8	4.4	
	36	K	K-06496	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	J23-c	Ⅲb下層	3.0	2.0	0.7	3.3	
	37	K	K-15705	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	F23-b	Ⅲb下層	3.4	2.7	1.3	6.1	
	38	K	K-16702	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	G24-a	Ⅲb下層	3.3	2.0	0.8	5.0	
	39	K	K-01636	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	K20-b	Ⅲa層	3.0	2.2	0.6	3.2	
	40	K	K-17633	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	G23-b	Ⅲb上層	3.7	1.0	0.5	1.5	
	41	K	K-13754	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	G29-b	Ⅲb下層	3.0	1.2	0.4	0.8	
	42	K	K-16024	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	J21-b	Ⅲb下層	2.9	2.0	0.5	2.6	
	43	K	K-16333	二次加工剥片	暗灰色黒曜石	G23-d	Ⅲb下層	2.6	2.2	0.7	2.8	
	44	K	K-00501	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	K19-b	Ⅲa層	2.3	1.7	0.7	2.1	
	45	K	K-13190	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	K20-a	Ⅲb下層	3.5	3.0	1.6	13.1	
	46	K	K-13568	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	G29-c	Ⅲb下層	3.1	2.4	0.6	3.4	
	47	K	K-05366	二次加工剥片	サヌカイト	I17-d	Ⅲb上層	3.1	4.2	1.2	15.9	
	48	K	K-08365	微細剥離剥片	安山岩	J18-a	Ⅲb下層	5.2	5.7	1.0	28.6	
208	49	L	L-10684	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	L14-a	Ⅲb下層	6.1	4.5	1.2	20.3	
	50	L	L-08280	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	P11-c	Ⅲb下層	4.8	2.5	1.2	12.0	
	51	L	L-08314	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P11-a	Ⅲb下層	4.6	2.2	0.6	5.8	
	52	L	L-05096	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M15-a	Ⅲb上層	3.6	2.5	1.2	7.7	
	53	L	L-11845	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M14-a	Ⅲb下層	4.2	1.2	0.6	2.3	
	54	L	L-06637	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P11-b	Ⅲb上層	3.8	2.0	0.6	2.9	
	55	L	L-11931	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M14-a	Ⅲb下層	2.9	2.3	0.8	3.0	
	56	L	L-07104	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P12-d	Ⅲb上層	3.0	2.1	0.5	2.2	
	57	L	L-10881	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	L14-d	Ⅲb下層	3.0	1.0	0.7	1.3	
	58	L	L-07759	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O12-d	Ⅲb上層	2.7	1.2	0.5	1.1	
	59	L	L-06965	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	O14-d	Ⅲb上層	2.6	1.7	0.7	2.3	
	60	L	L-01033	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M15-c	Ⅲa層	2.6	1.2	0.8	1.8	
	61	L	L-01224	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	J14-b	Ⅲa層	2.6	2.1	0.6	2.9	

第110表　出土石器観察表（二次加工剥片・微細剥離剥片②）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
208	62	L	L-09572	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M13-b	Ⅲb下層	3.3	3.3	1.3	10.9	
	63	L	L-10610	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	L14-a	Ⅲb下層	3.3	3.3	1.3	10.0	
	64	L	L-05245	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M14-c	Ⅲb上層	2.9	2.5	1.2	5.2	
	65	L	L-08596	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	P12-b	Ⅲb下層	3.0	3.0	0.8	5.3	
	66	L	L-09265	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	J12-d	Ⅲb下層	3.0	2.8	0.6	3.5	
	67	L	L-12581	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	L14-c	Ⅲb下層	2.6	2.6	0.8	5.2	
209	68	L	L-00087	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M14-b	Ⅲa層	2.4	2.8	0.7	3.3	
	69	L	L-05551	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M15-c	Ⅲb上層	2.6	2.7	1.0	4.4	
	70	L	L-05912	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	L14-a	Ⅲb上層	3.0	1.9	0.6	1.8	
	71	L	L-12158	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	M14-d	Ⅲb下層	2.1	2.0	1.0	2.3	
	72	L	L-02905	微細剥離剥片	サヌカイト	K14-d	Ⅲb上層	4.3	5.5	2.2	30.7	
	73	L	L-08753	微細剥離剥片	サヌカイト	O14-b	Ⅲb下層	4.1	2.3	0.7	7.5	
	74	L	L-11120	微細剥離剥片	サヌカイト	L14-b	Ⅲb下層	2.8	3.4	0.9	6.2	
	75	L	L-07734	二次加工剥片	暗灰色黒曜石	O12-d	Ⅲb上層	3.3	3.7	1.2	12.8	
210	76	M	M-32514	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P3-b	Ⅲb下-1層	7.9	5.6	1.9	64.6	
	77	M	M-12772	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O6-c	Ⅲb上層	4.9	2.0	0.9	7.6	
	78	M	M-37899	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M4-c	Ⅲb下-2層	4.4	2.0	0.8	5.4	風化進行
	79	M	M-37979	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	M5-a	Ⅲb下-2層	4.2	2.2	1.0	7.0	
	80	M	M-24868	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P7-b	Ⅲb上層	4.3	2.6	1.0	7.7	
	81	M	M-12914	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N6-d	Ⅲb上層	4.2	2.6	1.1	7.3	
	82	M	M-09459	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N5-a	Ⅲb上層	4.0	2.8	1.3	11.9	
	83	M	M-15323	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P1-b	Ⅲb上層	3.7	2.1	0.9	5.0	
	84	M	M-09985	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N3-c	Ⅲb下層	4.1	2.4	1.1	7.9	
	85	M	M-31190	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O5-b	Ⅲb下-1層	4.9	1.7	0.8	4.5	
	86	M	M-29382	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N5-c	Ⅲb下-1層	4.4	1.8	0.8	3.6	
	87	M	M-21590	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	O5-c	Ⅲb上層	4.4	1.4	0.8	4.2	
	88	M	M-27895	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O3-c	Ⅲb下層	4.3	2.4	0.7	4.3	
	89	M	M-18498	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O3-b	Ⅲb上層	4.0	1.8	0.7	3.4	
	90	M	M-19498	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P100-c	Ⅲb上層	3.9	1.8	0.9	4.2	
	91	M	M-07329	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N3-d	Ⅲb上層	3.5	1.9	0.9	3.2	
211	92	M	M-41983	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P1-b	Ⅲb下-2層	3.4	2.4	1.1	7.4	
	93	M	M-09439	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N5-a	Ⅲb上層	3.3	2.7	0.6	3.3	
	94	M	M-37299	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O3-d	Ⅲb下-2層	3.4	2.6	1.0	5.2	
	95	M	M-15688	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P1-d	Ⅲb上層	2.8	2.1	0.7	3.9	
	96	M	M-17876	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O3-a	Ⅲb上層	2.9	1.7	0.7	2.0	
	97	M	M-06971	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O4-b	Ⅲb上層	2.5	1.9	0.7	2.8	
	98	M	M-12731	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O6-c	Ⅲb上層	2.6	1.9	0.7	2.4	
	99	M	M-40931	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O2-a	Ⅲb下-2層	2.5	1.7	0.7	1.5	
	100	M	M-30026	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O4-a	Ⅲb下-1層	2.2	1.7	0.4	1.3	
	101	M	M-37858	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	N2-b	Ⅲb下-2層	4.6	3.5	1.9	21.5	
	102	M	M-38274	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O4-c	Ⅲb下-2層	3.7	3.5	0.8	5.7	
	103	M	M-16951	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	N1-d	Ⅲb上層	2.6	4.2	1.2	11.5	
	104	M	M-44054	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P1-b	Ⅲb下-1層	2.8	3.2	1.1	7.1	
	105	M	M-00921	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	N3-d	Ⅲa層	2.8	3.1	0.7	5.0	風化進行
	106	M	M-10459	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	N2-c	Ⅲb上層	3.0	2.7	1.0	5.1	
	107	M	M-20894	二次加工剥片	漆黒色黒曜石	P5-c	Ⅲb上層	2.7	2.8	1.0	5.3	
	108	M	M-36894	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	P3-b	Ⅲb下-2層	2.4	2.6	1.1	5.2	
	109	M	M-08202	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	O6-a	Ⅲb上層	2.7	2.2	0.7	3.4	
212	110	M	M-02039	微細剥離剥片	暗灰色黒曜石	M6-d	Ⅲb上層	8.8	4.6	1.9	52.9	
	111	M	M-12795	二次加工・微細剥離剥片	サヌカイト	O6-c	Ⅲb上層	2.9	5.0	1.2	15.3	
	112	M	M-44389	二次加工剥片	サヌカイト	M6-d	Ⅲb下-2層	4.0	3.1	1.0	12.5	
	113	M	M-39720	二次加工剥片	サヌカイト	P4-b	Ⅲb下-2層	3.8	3.3	0.6	9.8	
	114	M	M-01275	微細剥離剥片	サヌカイト	M3-d	Ⅲb上層	3.8	4.0	0.9	12.9	
	115	N	N-02380	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D74-c	Ⅲb上層	4.4	2.3	0.9	8.1	
	116	N	N-02998	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D74-c	Ⅲb下層	3.3	2.6	0.8	5.2	
	117	N	N-02080	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D76-c	Ⅲb上層	3.6	2.1	0.7	3.6	
	118	N	N-01299	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D74-c	Ⅲb上層	3.1	2.5	0.7	6.1	
	119	N	N-00295	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D74-c	Ⅲa層	2.2	2.4	0.9	4.2	
	120	N	N-04340	二次加工剥片	サヌカイト	E74-b	Ⅲb上層	2.1	5.1	1.1	13.2	
213	121	O	O-09184	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D66-d	Ⅲb下-2層	4.7	2.1	0.8	6.5	
	122	O	O-07247	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	F59-b	Ⅲb上層	3.9	1.8	0.7	3.7	

第111表　出土石器観察表（二次加工剥片・微細剥離剥片③）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
213	123	O	O-08468	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	B67-d	Ⅲb下-1層	3.5	2.0	1.1	6.8	
	124	O	O-03803	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	F60-a	Ⅲb下-1層	3.8	1.8	0.8	3.2	
	125	O	O-09163	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	D66-a	Ⅲb下-2層	3.6	3.3	0.6	4.9	
	126	O	O-06398	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	E60-c	Ⅲb下-2層	3.1	2.1	1.0	4.4	
	127	O	O-04675	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	E59-d	Ⅲb下-1層	3.1	2.3	0.8	3.0	
	128	O	O-04943	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	F60-c	Ⅲb下-1層	2.7	2.5	1.1	6.6	
	129	O	O-05830	微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	G59-a	Ⅲb下-1層	2.2	1.9	0.7	2.6	
	130	O	O-05912	二次加工・微細剥離剥片	漆黒色黒曜石	E59-b	Ⅲb下-2層	2.2	2.1	0.6	2.1	

第112表　出土石器観察表（磨製石斧）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
214	1	J	J-08821	磨製石斧	安山岩	E33-d	Ⅲb下層	8.1	8.1	2.6	210.1	基部欠損
	2	J	J-04574	磨製石斧	砂岩	E34-c	Ⅲb下層	9.9	5.7	2.5	215.9	基部に敲打痕あり
	3	J	J-02918	磨製石斧	安山岩	ZW43-b	Ⅲb下層	11.3	6.5	1.6	136.8	
	4	J	J-12989	磨製石斧	安山岩	ZW50-a	Ⅲb下層	10.0	6.6	3.0	305.6	基部欠損
	5	J	J-07704	磨製石斧	蛇紋岩	D35-d	Ⅲb下層	9.1	5.5	3.0	216.9	
	6	J	J-17148	磨製石斧	安山岩	ZW45-c	Ⅲb下層	7.9	6.1	1.3	82.1	対になる抉入部あり
	7	J	J-01698	磨製石斧	安山岩	D32-a	Ⅲb上層	5.9	6.2	1.0	52.5	基部欠損
	8	J	J-13017	磨製石斧	頁岩	ZW49-b	Ⅲb下層	6.0	6.2	2.4	90.0	基部欠損
215	9	J	J-16553	磨製石斧	頁岩	ZZ46-d	Ⅲb下層	8.6	4.7	2.8	125.7	刃部欠損
	10	J	J-17297	磨製石斧	蛇紋岩	ZW49-a	Ⅲb下層	5.8	3.6	1.4	53.1	
	11	J	J-16189	磨製石斧	頁岩	ZY47-c	Ⅲb下層	5.4	4.2	1.7	59.6	基部欠損
	12	J	J-09080	磨製石斧	結晶片岩	C35-d	Ⅲb下層	4.6	3.2	1.8	37.9	基部欠損
	13	J	J-15138	磨製石斧	蛇紋岩	ZY45-d	Ⅲb下層	5.7	2.9	1.0	24.6	
	14	K	K-11274	磨製石斧	安山岩	K20-d	Ⅲb下層	11.9	6.1	5.0	499.4	刃部欠損
	15	K	K-09509	磨製石斧	安山岩	J21-b	Ⅲb下層	9.2	5.8	1.2	90.3	
	16	K	K-06741	磨製石斧	安山岩	K19-b	Ⅲb下層	7.7	8.4	1.5	159.3	基部欠損
216	17	L	L-11147	磨製石斧	安山岩	K14-c	Ⅲb下層	9.1	7.9	5.2	376.8	刃部欠損
	18	L	L-08982	磨製石斧	頁岩	P12-c	Ⅲb下層	8.2	4.7	1.2	53.6	
	19	L	L-08731	磨製石斧	砂岩	P12-b	Ⅲb下層	12.5	4.2	3.3	269.6	
217	20	M	M-31075	磨製石斧	蛇紋岩	O4-d	Ⅲb下-1層	12.7	5.6	3.5	217.5	基部欠損
	21	M	M-01933	磨製石斧	安山岩	O3-a	Ⅲb上層	6.5	7.0	1.1	79.3	基部欠損
	22	M	M-43704	磨製石斧	頁岩	O3-c	Ⅲb下-2層	8.4	4.5	3.5	141.2	基部欠損
	23	M	M-28273	磨製石斧	結晶片岩	P1-c	Ⅲb上層	7.9	4.6	1.3	82.9	基部欠損
	24	M	M-36004	磨製石斧	頁岩	P6-a	Ⅲb下-2層	7.7	4.9	1.9	83.7	基部欠損
	25	M	M-39893	磨製石斧	蛇紋岩	N4-c	Ⅲb下-2層	10.3	2.7	1.5	50.5	
	26	M	M-30812	磨製石斧	頁岩	M5-c	Ⅲb下-1層	7.7	2.9	1.5	50.1	刃部欠損，装着痕あり
	27	M	M-15467	磨製石斧	蛇紋岩	P1-b	Ⅲb上層	7.6	1.4	1.1	15.6	基部欠損
	28	O	O-09527	磨製石斧	蛇紋岩	C66-c	Ⅲb下-1層	6.2	4.2	1.3	60.2	
	29	O	O-09568	磨製石斧	蛇紋岩	C67-c	Ⅲb下-2層	5.3	3.8	1.3	29.1	

第113表　出土石器観察表（打製石斧①）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
218	1	J	J-04561	打製石斧	安山岩	B39-b	Ⅲb下層	17.3	7.0	2.2	332.8	
	2	J	J-10898	打製石斧	安山岩	ZW43-d	Ⅲb下層	17.0	8.1	2.6	418.9	
	3	J	J-10904	打製石斧	安山岩	ZW44-b	Ⅲb下層	16.0	6.7	2.7	334.6	
	4	J	J-10075	打製石斧	安山岩	ZZ37-a	Ⅲb下層	12.9	5.9	2.8	186.8	
	5	J	J-04669	打製石斧	安山岩	ZV45-c	Ⅲb下層	10.6	5.3	2.7	143.3	
	6	J	J-04674	打製石斧	泥岩	ZW46-c	Ⅲb下層	11.3	6.7	2.8	220.5	
	7	J	J-03119	打製石斧	安山岩	ZX44-c	Ⅲb上層	10.2	6.5	2.4	168.0	
219	8	J	J-04688	打製石斧	安山岩	ZX50-a	Ⅲb下層	14.1	6.1	2.4	264.8	
	9	J	J-17504	打製石斧	凝灰岩	ZW42-d	Ⅲb下層	10.5	5.1	1.9	131.6	
	10	J	J-04648	打製石斧	安山岩	ZW44-c	Ⅲb下層	10.0	5.5	1.4	105.1	
	11	J	J-17163	打製石斧	安山岩	ZY42-b	Ⅲb下層	14.5	6.0	2.8	198.7	
	12	J	J-17382	打製石斧	安山岩	ZX42-b	Ⅲb下層	13.8	5.0	2.9	207.1	
	13	J	J-12323	打製石斧	結晶片岩	ZW44-d	Ⅲb下層	13.6	9.6	2.6	490.4	別器種の可能性あり
	14	J	J-04666	打製石斧	安山岩	ZV43-d	Ⅲb下層	11.3	8.3	2.6	290.0	刃部欠損
	15	J	J-06958	打製石斧	安山岩	E34-a	Ⅲb下層	10.4	6.5	1.8	143.7	刃部欠損
220	16	J	J-15504	打製石斧	安山岩	ZY48-a	Ⅲb下層	13.7	6.4	3.6	340.4	刃部欠損
	17	J	J-12886	打製石斧	安山岩	ZW46-c	Ⅲb下層	11.0	7.0	4.9	497.0	刃部欠損
	18	J	J-09826	打製石斧	安山岩	C36-a	Ⅲb下層	10.1	7.1	2.3	245.8	刃部欠損
	19	J	J-17480	打製石斧	安山岩	ZW42-d	Ⅲb下層	10.4	6.7	2.6	234.7	刃部欠損
	20	J	J-16205	打製石斧	安山岩	ZZ46-b	Ⅲb下層	7.6	4.9	2.6	99.8	刃部欠損
	21	J	J-14100	打製石斧	安山岩	ZY46-c	Ⅲb上層	8.0	4.3	2.8	102.0	刃部欠損
	22	J	J-10094	打製石斧	安山岩	ZZ37-a	Ⅲb下層	9.2	5.0	2.5	128.0	刃部欠損
	23	J	J-11093	打製石斧	安山岩	B39-c	Ⅲb下層	10.7	7.6	2.8	215.4	基部・刃部欠損
	24	J	J-11467	打製石斧	安山岩	ZX41-b	Ⅲb下層	8.8	7.2	1.3	106.9	基部欠損
221	25	J	J-11620	打製石斧	安山岩	ZY41-d	Ⅲb下層	9.6	6.7	2.2	150.1	基部欠損
	26	J	J-01708	打製石斧	安山岩	B37-a	Ⅲb下層	12.2	8.1	1.4	134.6	基部欠損，刃部研磨
	27	J	J-12358	打製石斧	安山岩	ZW44-a	Ⅲb下層	12.0	6.3	2.2	180.4	基部欠損，刃部研磨
	28	J	J-16320	打製石斧	安山岩	ZZ46-b	Ⅲb下層	10.7	6.6	1.9	147.4	基部欠損
	29	J	J-04559	打製石斧	安山岩	B39-b	Ⅲb下層	11.4	6.5	1.5	120.3	基部欠損
	30	J	J-14805	打製石斧	安山岩	ZX46-a	Ⅲb下層	9.5	6.6	1.2	97.5	基部欠損
	31	J	J-02919	打製石斧	安山岩	ZW43-b	Ⅲb下層	8.7	6.0	2.1	118.2	基部欠損
222	32	K	K-04184	打製石斧	安山岩	G29-b	Ⅲb上層	14.7	8.0	3.9	588.5	基部欠損
	33	K	K-04393	打製石斧	安山岩	J19-a	Ⅲb上層	9.4	6.4	1.8	149.0	基部欠損
	34	K	K-17247	打製石斧	安山岩	F22-c	Ⅲb下層	10.1	5.1	1.7	116.0	
	35	K	K-11431	打製石斧	安山岩	K20-d	Ⅲb下層	10.6	5.6	2.2	145.0	
	36	K	K-08355	打製石斧	安山岩	J18-a	Ⅲb下層	11.1	5.4	2.2	149.3	
	37	K	K-11082	打製石斧	結晶片岩	J20-b	Ⅲb下層	13.4	7.5	1.6	169.9	別器種の可能性あり
	38	K	K-12736	打製石斧	安山岩	K21-a	Ⅲb下層	7.1	5.5	2.6	84.0	刃部欠損
	39	K	K-08888	打製石斧	安山岩	K19-d	Ⅲb下層	8.5	6.5	2.9	184.0	刃部欠損
	40	K	K-12431	打製石斧	安山岩	K20-b	Ⅲb下層	12.0	7.3	2.6	266.6	刃部欠損
223	41	K	K-08653	打製石斧	安山岩	I18-c	Ⅲb下層	13.3	9.9	2.1	299.3	基部欠損
	42	K	K-08526	打製石斧	安山岩	J18-d	Ⅲb下層	10.4	9.6	1.5	204.0	基部欠損
	43	K	K-16465	打製石斧	安山岩	J21-a	Ⅲb下層	9.6	6.6	1.7	116.0	基部欠損
	44	K	K-10586	打製石斧	安山岩	J20-b	Ⅲb下層	9.8	7.3	3.1	264.0	基部欠損
	45	K	K-10594	打製石斧	安山岩	J20-b	Ⅲb下層	11.2	7.8	2.3	235.7	基部欠損
	46	K	K-07274	打製石斧	安山岩	J19-c	Ⅲb下層	8.3	6.7	2.2	169.0	基部欠損，49と接合
	47	K	K-11384	打製石斧	安山岩	K21-c	Ⅲb下層	8.1	4.9	2.1	94.0	基部欠損
	48	K	K-17688	打製石斧	玄武岩	F22-d	Ⅲb下層	5.2	4.2	1.5	42.0	基部欠損
224	49	L	L-08006	打製石斧	安山岩	M14-a	Ⅲb下層	6.4	5.3	1.8	67.1	刃部欠損，46と接合
	50	L	L-11963	打製石斧	安山岩	M14-a	Ⅲb下層	9.8	8.2	2.2	274.0	刃部欠損
	51	L	L-12983	打製石斧	安山岩	L15-a	Ⅲb下層	6.7	6.9	1.5	88.0	刃部欠損
	52	L	L-05456	打製石斧	安山岩	M14-d	Ⅲb上層	6.7	4.9	2.2	85.0	刃部欠損
	53	L	L-13214	打製石斧	安山岩	N15-a	Ⅲb下層	10.4	6.4	2.4	186.0	刃部欠損
	54	L	L-04360	打製石斧	安山岩	L14-d	Ⅲb上層	11.6	6.0	2.1	163.0	刃部欠損
225	55	L	L-13206	打製石斧	安山岩	L14-c	Ⅲb下層	10.0	7.0	1.5	153.0	基部欠損
	56	L	L-12677	打製石斧	安山岩	K15-a	Ⅲb上層	10.7	6.3	2.0	153.0	基部欠損
	57	L	L-07993	打製石斧	安山岩	O11-c	Ⅲb下層	11.3	7.2	2.3	268.0	基部欠損
	58	L	L-07571	打製石斧	安山岩	P12-a	Ⅲb上層	9.2	5.7	2.8	136.0	基部欠損
	59	L	L-01892	打製石斧	安山岩	J14-a	Ⅲb上層	5.7	5.3	2.0	76.0	基部欠損
	60	L	L-01881	打製石斧	結晶片岩	J14-a	Ⅲb上層	5.1	6.8	1.6	86.7	
226	61	M	M-32845	打製石斧	安山岩	O3-b	Ⅲb下-1層	12.3	6.6	15.8	162.0	

第114表　出土石器観察表（打製石斧②）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
	62	M	M-31934	打製石斧	安山岩	O5-b	Ⅲb下-1層	12.5	6.5	1.7	139.0	
	63	M	M-09995	打製石斧	安山岩	P100-b	Ⅲb下層	11.4	5.5	2.4	173.0	
	64	M	M-32842	打製石斧	安山岩	O3-b	Ⅲb下-1層	11.4	6.5	1.7	149.0	
	65	M	M-27708	打製石斧	安山岩	O4-c	Ⅲb下層	11.9	5.6	1.0	180.0	
	66	M	M-10099	打製石斧	安山岩	M4-b	Ⅲb下層	11.2	5.6	2.5	173.0	
226	67	M	M-44653	打製石斧	安山岩	O5-c	Ⅲb下-2層	10.7	4.9	1.4	100.0	
	68	M	M-28355	打製石斧	安山岩	Q1-a	Ⅲb上層	10.1	5.9	1.9	149.0	
	69	M	M-23349	打製石斧	安山岩	N4-c	Ⅲb上層	9.2	6.0	1.2	80.6	
	70	M	M-44235	打製石斧	安山岩	O5-a	Ⅲb下-2層	10.1	5.6	1.3	89.0	
	71	M	M-44794	打製石斧	安山岩	O5-d	Ⅲb下-2層	12.5	5.0	1.5	105.0	
	72	M	M-29841	打製石斧	安山岩	N4-b	Ⅲb下-1層	10.5	5.2	1.7	138.0	
	73	M	M-31882	打製石斧	安山岩	N5-d	Ⅲb下-1層	18.3	7.3	1.7	254.0	
	74	M	M-41341	打製石斧	安山岩	P3-a	Ⅲb下-2層	14.0	7.5	2.2	327.0	
	75	M	M-09638	打製石斧	安山岩	O6-c	Ⅲb上層	10.7	5.9	2.4	215.0	
227	76	M	M-00693	打製石斧	安山岩	N5-c	Ⅲa層	11.7	5.6	2.4	170.0	
	77	M	M-24940	打製石斧	安山岩	O3-d	Ⅲb下層	13.0	6.2	1.9	190.0	
	78	M	M-21434	打製石斧	安山岩	O4-d	Ⅲb上層	11.2	5.5	2.0	172.0	
	79	M	M-01132	打製石斧	安山岩	N2-c	Ⅲa層	10.5	5.5	2.2	158.0	
	80	M	M-39818	打製石斧	結晶片岩	O4-c	Ⅲb下-2層	15.1	8.8	2.8	614.4	
	81	M	M-41362	打製石斧	マイロナイトヵ	P4-b	Ⅲb下-2層	14.1	8.5	3.4	754.0	
	82	M	M-42003	打製石斧	安山岩	O2-a	Ⅲb下-2層	11.9	5.4	1.6	138.0	
	83	M	M-01281	打製石斧	頁岩	N4-a	Ⅲb上層	10.7	4.6	1.6	86.0	
228	84	M	M-35051	打製石斧	サヌカイト	O2-a	Ⅲb下-1層	10.6	4.8	2.1	108.0	
	85	M	M-09644	打製石斧	砂岩	O5-d	Ⅲb上層	10.4	5.4	2.2	144.0	
	86	M	M-42248	打製石斧	頁岩	P100-a	Ⅲb下-2層	10.1	5.0	2.0	153.0	
	87	M	M-12146	打製石斧	頁岩	P6-b	Ⅲb上層	9.2	5.1	1.9	104.0	
	88	M	M-30205	打製石斧	結晶片岩	O4-c	Ⅲb下-1層	11.9	5.7	1.7	114.0	
	89	M	M-35245	打製石斧	安山岩	O1-d	Ⅲb下-1層	10.8	6.9	1.0	120.0	
	90	M	M-15903	打製石斧	安山岩	O1-c	Ⅲb上層	11.4	5.9	2.4	150.0	
	91	M	M-43551	打製石斧	安山岩	M3-d	Ⅲb下-2層	9.1	5.1	1.8	120.0	基部欠損
	92	M	M-19571	打製石斧	安山岩	P100-d	Ⅲb上層	7.5	6.6	3.3	180.0	基部欠損
	93	M	M-15806	打製石斧	安山岩	P1-b	Ⅲb上層	8.3	5.3	2.0	107.0	基部欠損
	94	M	M-17893	打製石斧	サヌカイト	O3-a	Ⅲb上層	5.7	5.2	1.9	63.0	基部欠損
229	95	M	M-01607	打製石斧	安山岩	P100-b	Ⅲb上層	10.2	11.0	2.0	244.0	基部欠損
	96	M	M-17265	打製石斧	安山岩	P3-a	Ⅲb上層	9.2	8.1	2.5	274.0	基部欠損
	97	M	M-43503	打製石斧	結晶片岩	N6-a	Ⅲb下-1層	8.7	11.2	3.1	391.0	基部欠損, 円盤状石器の可能性あり
	98	M	M-16010	打製石斧	安山岩	O1-d	Ⅲb上層	6.3	8.1	1.3	83.0	基部欠損
	99	M	M-39841	打製石斧	安山岩	N4-b	Ⅲb下-2層	8.1	9.5	2.5	280.0	基部欠損
	100	M	M-07042	打製石斧	安山岩	O5-a	Ⅲb上層	8.4	7.7	2.4	220.0	基部欠損
	101	M	M-38156	打製石斧	安山岩	N4-c	Ⅲb下-2層	9.0	8.4	3.0	217.0	基部欠損
	102	M	M-21197	打製石斧	安山岩	P5-a	Ⅲb上層	7.4	6.8	2.3	165.0	基部欠損
	103	M	M-38118	打製石斧	安山岩	N4-a	Ⅲb下-2層	7.8	5.8	1.6	89.0	基部欠損
	104	M	M-44302	打製石斧	安山岩	N5-d	Ⅲb下-2層	6.3	5.8	1.7	91.0	基部欠損
230	105	M	M-20673	打製石斧	安山岩	P4-d	Ⅲb上層	12.5	5.2	2.4	190.0	基部欠損
	106	M	M-35203	打製石斧	安山岩	O1-c	Ⅲb下-1層	7.3	6.4	2.2	136.0	基部欠損
	107	M	M-07616	打製石斧	砂岩	N4-c	Ⅲb上層	7.8	4.4	1.9	84.0	基部欠損
	108	M	M-44378	打製石斧	安山岩	M6-c	Ⅲb下-2層	7.7	6.0	2.6	142.0	基部欠損
	109	M	M-17731	打製石斧	安山岩	O3-a	Ⅲb上層	11.9	9.6	2.2	337.8	基部欠損，刃部研磨
	110	N	N-04213	打製石斧	安山岩	D74-d	Ⅲb下層	9.5	5.5	1.4	98.6	基部欠損
	111	N	N-03819	打製石斧	安山岩	F76-a	Ⅲb下層	10.3	5.7	2.3	181.4	
	112	N	N-00133	打製石斧	安山岩	E75-b	Ⅲa層	9.1	5.6	2.6	164.1	刃部欠損
231	113	O	O-03786	打製石斧	安山岩	E60-c	Ⅲb下-1層	11.6	5.5	2.0	182.0	
	114	O	O-06887	打製石斧	安山岩	F58-a	Ⅲb下-2層	11.4	5.6	2.2	183.1	
	115	O	O-04433	打製石斧	安山岩	E61-c	Ⅲb下-1層	15.9	6.2	3.5	372.5	
	116	O	O-08628	打製石斧	安山岩	E57-d	Ⅲb下-1層	10.4	8.5	2.5	258.5	刃部欠損
	117	O	O-06400	打製石斧	砂岩	E60-c	Ⅲb下-2層	10.2	6.2	2.7	178.5	刃部欠損
	118	O	O-05176	打製石斧	安山岩	E59-c	Ⅲb下-1層	10.6	9.1	2.6	316.3	基部欠損
232	119	O	O-06254	打製石斧	安山岩	F60-d	Ⅲb下-2層	9.0	8.7	2.2	196.5	基部欠損
	120	O	O-07137	打製石斧	安山岩	E58-d	Ⅲb下-2層	7.5	6.7	1.2	73.8	基部欠損
	121	O	O-00308	打製石斧	安山岩	F59-b	Ⅲb上層	7.7	4.8	2.2	106.5	基部欠損

第115表　出土石器観察表（円盤状石器）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
233	1	J	J-15172	円盤状石器	砂岩	ZZ44-b	Ⅲb下層	10.3	7.1	1.4	142.2	
	2	K	K-17246	円盤状石器	砂岩	F22-c	Ⅲb下層	10.8	10.4	2.1	247.7	
	3	K	K-02720	円盤状石器	砂岩	K21-b	Ⅲb上層	7.6	5.2	1.0	47.4	
	4	M	M-17649	円盤状石器	砂岩	O3-a	Ⅲb上層	11.2	11.1	1.1	171.1	
	5	M	M-01640	円盤状石器	砂岩	P100-d	Ⅲb上層	9.3	8.1	1.2	109.1	
	6	O	O-00800	円盤状石器	安山岩	G58-a	Ⅲb下層	11.7	13.7	2.8	452.9	

第116表　出土石器観察表（打製石包丁）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
234	1	J	J-09325	打製石包丁	サヌカイト	E34-c	Ⅲb下層	5.5	10.3	1.9	119.9	
	2	J	J-11735	打製石包丁	安山岩	ZX41-b	Ⅲb下層	6.0	8.4	0.9	43.0	
	3	J	J-16210	打製石包丁	安山岩	ZZ46-b	Ⅲb下層	5.6	9.2	1.7	97.9	
	4	J	J-05646	打製石包丁	安山岩	C35-c	Ⅲb下層	6.4	7.3	1.2	46.6	
	5	K	K-09328	打製石包丁	安山岩	J21-c	Ⅲb下層	6.3	1.4	9.6	87.6	
	6	K	K-16205	打製石包丁	安山岩	G23-d	Ⅲb下層	5.1	7.4	1.4	67.2	
	7	L	L-12929	打製石包丁	安山岩	K13-d	Ⅲb下層	5.0	8.5	1.1	68.4	
235	8	M	M-33935	打製石包丁	安山岩	M6-d	Ⅲb下-1層	5.2	12.6	1.6	107.9	
	9	M	M-33936	打製石包丁	安山岩	M6-d	Ⅲb下-1層	5.2	10.4	1.5	95.2	
	10	M	M-39817	打製石包丁	サヌカイト	O4-c	Ⅲb下-2層	5.8	9.2	1.6	95.8	
	11	M	M-16536	打製石包丁	安山岩	O1-b	Ⅲb上層	5.3	10.4	1.7	91.0	
	12	O	O-04726	打製石包丁	安山岩	F59-d	Ⅲb下-1層	5.0	9.6	1.3	80.6	
	13	O	O-05616	打製石包丁	安山岩	E58-c	Ⅲb下-1層	5.7	9.7	1.5	85.3	
	14	O	O-05732	打製石包丁	安山岩	E59-c	Ⅲb下-1層	6.2	7.2	1.0	39.1	

第117表　出土石器観察表（磨製石包丁）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
236	1	M	M-32857	磨製石包丁	結晶片岩	O3-a	Ⅲb下-1層	5.8	13.0	1.0	86.1	

第118表　出土石器観察表（石錘）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
237	1	J	J-14273	石錘	砂岩	ZY46-b	Ⅲb上層	13.3	10.9	5.2	1100.0	
	2	J	J-04646	石錘	砂岩	ZW44-a	Ⅲb下層	7.5	6.7	2.3	115.2	
	3	J	J-06980	石錘	安山岩	E34-a	Ⅲb下層	6.7	6.4	2.1	98.7	
	4	K	K-16759	石錘	凝灰岩	F22-c	Ⅲb下層	6.6	6.5	1.5	77.9	
	5	L	L-09111	石錘	砂岩	P12-c	Ⅲb下層	8.3	6.5	2.7	182.4	
	6	M	M-02303	石錘	緑石片岩	P3-a	Ⅲb下層	11.5	11.1	3.2	580.4	
	7	O	O-07432	石錘	砂岩	F57-a	Ⅲb下-1層	8.7	7.6	1.8	184.7	
	8	O	O-07631	石錘	安山岩	E57-d	Ⅲb下-2層	8.6	6.7	2.0	153.6	

第119表　出土石器観察表（石皿）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
238	1	J	J-06746	石皿	砂岩	E34-b	Ⅲb下層	15.4	16.6	4.0	1232.5	
	2	J	J-13640	石皿	砂岩	ZY46-d	Ⅲb上層	9.2	11.2	14.2	446.0	砥石の可能性あり
239	3	K	K-06270	石皿・台石	砂岩	J17-d	Ⅲb上層	8.8	8.4	3.1	259.7	
	4	L	L-05895	石皿	安山岩	M15-a	Ⅲb上層	17.7	11.6	3.0	513.0	
	5	L	L-08025	石皿	砂岩	M15-c	Ⅲb下層	9.6	16.6	3.9	878.4	
240	6	M	M-14760	石皿	砂岩	M6-c	Ⅲb上層	11.5	9.9	3.4	344.4	
	7	M	M-02354	石皿	砂岩	O3-a	Ⅲb下層	9.0	12.4	3.8	516.0	
	8	M	M-41910	石皿	砂岩	P1-c	Ⅲb下-2層	22.8	20.0	2.7	1600.0	
	9	M	M-44747	石皿	砂岩	O3-b	Ⅲb下-2層	16.2	28.4	7.1	2800.0	
241	10	O	O-04059	石皿	砂岩	E60-d	Ⅲb下-1層	14.9	13.0	3.5	770.0	
	11	O	O-09829	石皿・砥石	砂岩	D66-a	Ⅲb下-2層	11.6	13.2	6.1	1400.0	

第120表　出土石器観察表（台石）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
242	1	K	K-17358	台石（小型）	頁岩	I26-b	Ⅲb下層	12.9	6.0	2.4	267.9	磨製石斧からの転用か
	2	L	L-08527	台石（小型）	砂岩	O12-c	Ⅲb下層	8.4	6.1	2.7	181.9	砥石破片の再利用
243	3	M	M-04840	台石	砂岩	N4-d	Ⅲb上層	33.9	19.3	6.0	6600.0	砥石からの転用
	4	M	M-25748 M-25749 M-25750 M-25751	台石	安山岩	P4-d	Ⅲb上層	20.3	4.5	27.0	3000.0	
244	5	M	M-30810	台石・砥石	砂岩	M4-d	Ⅲb下-1層	28.2	12.1	3.4	1432.0	
	6	O	O-08693	台石	砂岩	D67-c	Ⅲb下-1層	16.6	16.1	5.4	1999.5	

第121表　出土石器観察表（砥石）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
245	1	J	J-01713	砥石	砂岩	ZX42-d	Ⅲb下層	21.5	16.2	4.5	290.0	
	2	J	J-12505	砥石	砂岩	ZX41-b	Ⅲb下層	19.0	16.4	2.5	1200.0	
	3	J	J-04605	砥石	砂岩	A37-b	Ⅲb下層	29.1	7.8	9.4	3200.0	
246	4	J	J-03316	砥石	砂岩	ZV45-c	Ⅲb上層	14.8	11.3	6.8	1800.2	
	5	J	J-10695	砥石・台石	砂岩	D35-d	Ⅲb下層	9.6	10.1	4.8	640.0	
	6	J	J-08392	砥石・台石	砂岩	C35-c	Ⅲb下層	14.3	9.0	7.9	1568.0	
247	7	J	J-14933	砥石	砂岩	ZY45-a	Ⅲb下層	9.8	5.0	4.7	243.6	
	8	J	J-14295	砥石	砂岩	Zy46-b	Ⅲb上層	4.3	5.0	2.0	33.0	
	9	J	J-00799	砥石・敲石	砂岩	D35-b	Ⅲb上層	5.5	2.4	2.1	45.0	
	10	J	J-08651	砥石	砂岩	E34-a	Ⅲb下層	3.7	2.6	1.1	16.9	
	11	J	J-03139	砥石	頁岩	ZX44-c	Ⅲb上層	6.1	1.8	1.5	23.0	擦り切り痕あり
248	12	K	K-10709	砥石	砂岩	I20-c	Ⅲb下層	9.0	6.7	3.2	179.4	
	13	K	K-07164	砥石	砂岩	J19-b	Ⅲb下層	7.3	5.3	3.9	149.5	
	14	K	K-16434	砥石	砂岩	G23-c	Ⅲb下層	5.8	4.1	3.7	71.8	
	15	K	K-02452	砥石	砂岩	H22-a	Ⅲb上層	5.8	4.6	4.2	131.7	
249	16	M	M-32101	砥石	砂岩	P5-c	Ⅲb下-1層	30.5	12.6	4.5	2500.0	
	17	M	M-44174	砥石	砂岩	Q7-b	Ⅲb下-2層	18.5	15.9	3.0	1300.0	
	18	M	M-27103	砥石	砂岩	M6-d	Ⅲb上層	15.7	19.7	3.8	1300.0	
	19	M	M-23125	砥石	砂岩	O5-b	Ⅲb上層	9.4	11.6	2.6	296.3	
250	20	M	M-38163	砥石	砂岩	M4-c	Ⅲb下-2層	8.7	5.5	4.4	196.0	
	21	M	M-37180	砥石	砂岩	O3-c	Ⅲb下-2層	8.7	4.0	1.8	60.7	
	22	M	M-19772	砥石	砂岩	P4-c	Ⅲb上層	5.8	9.9	6.9	313.4	
251	23	M	M-04472	砥石・台石・敲石	砂岩	O5-a	Ⅲb上層	8.8	5.7	5.5	276.2	
	24	M	M-29754	砥石	砂岩	O5-a	Ⅲb下-1層	4.2	4.3	3.4	50.9	
	25	M	M-38275	砥石	砂岩	O4-c	Ⅲb下-2層	4.0	6.4	4.5	102.7	
252	26	M	M-44289	砥石	砂岩	N5-d	Ⅲb下-2層	6.4	4.8	1.3	52.6	
	27	M	M-11306	砥石	砂岩	N1-d	Ⅲa層	8.1	2.4	1.1	40.0	
	28	M	M-25922	砥石	砂岩	O5-a	Ⅲb上層	2.6	1.2	1.5	6.0	
253	29	O	O-06420	砥石・台石	砂岩	E60-a	Ⅲb下-2層	21.2	14.8	8.8	3400.0	
	30	O	O-02561	砥石	砂岩	C66-c	Ⅲb上層	17.4	13.1	2.4	817.5	
	31	O	O-04760	砥石	砂岩	F59-d	Ⅲb下-1層	11.5	10.8	3.8	535.8	
	32	O	O-03645	砥石	砂岩	E59-b	Ⅲb下-1層	5.8	5.0	3.8	101.8	

第122表　出土石器観察表（磨石・敲石①）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
254	1	J	J-02456	磨石・敲石	砂岩	C35-b	Ⅲb下層	13.1	11.9	7.0	1900.0	
	2	J	J-08101	磨石・敲石	砂岩	C35-b	Ⅲb下層	15.7	10.6	6.5	1600.0	
	3	J	J-14750	磨石・敲石	砂岩	ZX46-a	Ⅲb下層	14.3	11.3	7.6	1687.7	
	4	J	J-14757	磨石・敲石	安山岩	ZW45-d	Ⅲb下層	13.3	11.6	6.6	1511.1	
	5	J	J-17499	磨石・敲石	砂岩	ZX43-c	Ⅲb下層	12.5	8.3	4.3	687.4	
255	6	J	J-04680	磨石・敲石	安山岩	ZW48-d	Ⅲb下層	12.1	8.9	5.6	880.0	
	7	J	J-04351	磨石・敲石	安山岩	D36-a	Ⅲb下層	11.6	10.5	3.7	658.0	
	8	J	J-02418	磨石・敲石	砂岩	E34-a	Ⅲb下層	11.5	11.0	4.4	870.0	
	9	J	J-11386	磨石・敲石	砂岩	ZY40-b	Ⅲb下層	11.5	9.8	3.9	639.1	
	10	J	J-04679	磨石・敲石	アプライトヵ	ZW48-d	Ⅲb下層	9.5	8.1	4.9	534.6	
256	11	J	J-16372	磨石・敲石	安山岩	ZZ46-c	Ⅲb下層	8.8	7.8	6.7	655.6	
	12	J	J-01712	磨石・敲石	砂岩	ZX42-a	Ⅲb下層	9.4	6.5	3.9	317.9	
	13	J	J-12167	磨石・敲石	砂岩	ZX44-a	Ⅲb下層	7.1	5.9	3.3	188.8	
	14	J	J-12901	磨石・敲石	砂岩	ZW43-d	Ⅲb下層	6.9	5.8	2.3	137.3	
	15	J	J-16024	磨石・敲石	チャート	ZY46-b	Ⅲb下層	6.6	6.6	1.8	109.9	
	16	J	J-03278	磨石・敲石	安山岩	ZW44-a	Ⅲb下層	6.8	5.9	3.4	199.0	
	17	J	J-17389	磨石・敲石	砂岩	ZX42-a	Ⅲb下層	6.4	5.7	1.7	89.7	
	18	J	J-12757	磨石・敲石	安山岩	ZW42-d	Ⅲb下層	6.3	5.5	3.4	144.3	赤色顔料
	19	J	J-04668	磨石・敲石	砂岩	ZV44-d	Ⅲb下層	6.2	5.4	2.0	100.4	
	20	J	J-12185	磨石・敲石	砂岩	ZX44-a	Ⅲb下層	5.6	5.9	2.9	131.2	
	21	J	J-12506	磨石・敲石	砂岩	ZX41-b	Ⅲb下層	5.5	5.6	2.7	114.7	
	22	J	J-11744	磨石・敲石	砂岩	ZX41-b	Ⅲb下層	5.7	5.1	1.8	72.9	
257	23	J	J-06474	磨石・敲石	砂岩	B36-c	Ⅲb下層	4.9	4.6	2.6	79.7	
	24	J	J-13066	磨石・敲石	砂岩	ZW49-c	Ⅲb下層	5.0	4.3	2.2	66.3	
	25	J	J-13813	磨石・敲石	砂岩	ZY46-d	Ⅲb上層	4.9	3.8	1.5	41.2	
	26	J	J-04695	磨石・敲石	安山岩	ZY42-b	Ⅲb上層	4.5	4.6	2.1	64.3	
	27	J	J-06736	磨石・敲石	砂岩	E34-b	Ⅲb下層	4.6	4.4	2.8	81.6	
	28	J	J-00480	磨石・敲石	砂岩	B36-d	Ⅲb上層	4.7	3.9	1.4	36.2	
	29	J	J-08774	磨石・敲石	砂岩	E34-c	Ⅲb下層	4.2	4.0	1.3	31.6	
	30	J	J-12856	磨石	砂岩	ZV43-d	Ⅲb下層	5.0	3.9	1.6	44.5	
	31	J	J-11496	磨石	頁岩	ZX41-d	Ⅲb下層	6.2	3.9	2.1	79.7	
	32	J	J-09953	磨石	砂岩	C35-d	Ⅲb下層	6.0	3.3	2.0	54.8	
	33	J	J-11067	磨石	安山岩	A39-c	Ⅲb下層	4.0	3.7	1.3	22.7	
258	34	K	K-11851	台石	砂岩	K21-c	Ⅲb下層	8.1	7.1	3.5	248.9	
	35	K	K-06859	磨石・敲石	結晶片岩	I26-a	Ⅲb下層	6.6	6.6	2.1	146.9	
	36	K	K-11014	磨石・敲石	砂岩	J20-b	Ⅲb下層	6.7	6.3	3.1	189.9	
	37	K	K-10718	磨石・敲石	砂岩	I20-a	Ⅲb下層	6.4	5.7	3.3	164.1	
	38	K	K-11255	磨石・敲石	砂岩	K20-d	Ⅲb下層	5.5	4.7	1.9	70.5	
	39	K	K-11454	磨石・敲石	砂岩	K20-c	Ⅲb下層	5.5	4.9	2.3	85.6	
	40	K	K-11565	磨石・敲石	砂岩	K21-d	Ⅲb下層	5.6	4.9	2.0	80.8	
	41	K	K-07502	磨石・敲石	安山岩	K19-b	Ⅲb下層	4.6	4.4	1.6	45.7	
	42	K	K-08676	磨石・敲石	砂岩	J18-a	Ⅲb下層	4.1	3.6	1.2	36.3	
	43	K	K-14066	磨石・敲石	安山岩	F29-d	Ⅲb下層	5.2	5.0	2.2	67.1	
	44	K	K-10136	磨石・敲石	安山岩	J20-c	Ⅲb下層	6.5	7.4	5.2	378.2	
	45	K	K-14769	磨石・敲石	安山岩	J22-d	Ⅲb下層	6.7	3.4	2.2	64.6	
	46	K	K-16711	磨石	砂岩	G24-a	Ⅲb下層	8.8	7.1	6.6	565.4	
	47	K	K-06766	磨石	安山岩	K20-c	Ⅲb下層	6.6	5.8	2.2	133.3	
	48	K	K-08521	磨石	安山岩	J18-d	Ⅲb下層	5.4	4.7	1.6	61.0	
	49	K	K-06965	磨石	砂岩	G24-a	Ⅲb下層	4.9	4.2	1.8	54.4	
259	50	L	L-13160	磨石・敲石	砂岩	L14-c	Ⅲb下層	14.0	9.7	5.9	1176.5	
	51	L	L-13110	磨石・敲石	安山岩	M14-b	Ⅲb下層	10.8	10.4	4.7	825.9	
	52	L	L-08711	磨石・敲石	安山岩	P12-b	Ⅲb下層	6.8	5.3	2.3	115.5	
	53	L	L-13306	磨石・敲石	安山岩	P12-b	Ⅲb下層	6.8	5.5	2.7	125.5	
	54	L	L-13303	磨石・敲石	砂岩	P12-b	Ⅲb下層	5.7	5.1	2.3	97.1	
	55	L	L-09710	磨石・敲石	安山岩	J15-c	Ⅲb下層	5.1	4.5	2.6	75.6	
	56	L	L-05124	磨石・敲石	安山岩	M14-b	Ⅲb上層	4.2	3.7	1.3	24.7	
	57	L	L-04188	磨石・敲石	安山岩	L14-d	Ⅲb上層	4.0	4.0	1.7	35.7	
	58	L	L-13108	磨石・敲石	砂岩	M14-b	Ⅲb下層	2.9	3.0	1.2	15.1	
	59	L	L-13304	磨石	砂岩	P12-b	Ⅲb下層	6.1	5.4	2.2	111.1	
260	60	M	M-44024	磨石・敲石	砂岩	P1-c	Ⅲb下-1層	13.7	11.8	4.2	885.7	
	61	M	M-30871	磨石・敲石	安山岩	O5-d	Ⅲb下-1層	12.1	10.3	5.7	976.0	

第123表　出土石器観察表（磨石・敲石②）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
260	62	M	M-43791	磨石・敲石	砂岩	P4-b	Ⅲb下-2層	11.3	11.1	3.0	596.0	
	63	M	M-14737	磨石・敲石	安山岩	M6-d	Ⅲb上層	12.7	10.0	3.9	575.0	
	64	M	M-25363	磨石・敲石	砂岩	P3-b	Ⅲb上層	12.8	9.3	4.4	832.0	
261	65	M	M-37355	磨石・敲石	砂岩	P4-a	Ⅲb下-2層	8.5	8.3	3.0	320.5	
	66	M	M-41662	磨石・敲石	砂岩	P1-d	Ⅲb下-2層	8.5	6.7	1.8	131.5	
	67	M	M-43452	磨石・敲石	砂岩	M6-c	Ⅲb上層	6.6	6.6	1.5	78.1	
	68	M	M-43753	磨石・敲石	砂岩	O3-d	Ⅲb下-2層	7.2	5.9	2.1	124.0	
	69	M	M-19943	磨石・敲石	安山岩	P4-c	Ⅲb上層	6.4	6.2	2.2	132.8	
	70	M	M-43026	磨石・敲石	砂岩	O5-a	Ⅲb下-2層	6.7	5.2	3.1	141.3	
	71	M	M-44309	磨石・敲石	砂岩	N5-d	Ⅲb下-2層	6.6	5.5	2.1	103.0	
	72	M	M-00310	磨石・敲石	砂岩	N6-d	Ⅲa層	6.2	5.3	1.9	90.9	
	73	M	M-35634	磨石・敲石	安山岩	Q1-a	Ⅲb下-1層	6.4	5.2	1.4	72.1	
	74	M	M-40012	磨石・敲石	砂岩	N3-c	Ⅲb下-2層	6.2	5.4	2.0	103.7	
	75	M	M-44481	磨石・敲石	砂岩	P5-a	Ⅲb下-2層	5.3	5.8	1.2	5.0	
	76	M	M-03258	磨石・敲石	砂岩	O5-b	Ⅲa層	6.4	5.0	3.1	140.8	
	77	M	M-34532	磨石・敲石	砂岩	P6-d	Ⅲb下-1層	5.5	5.0	1.9	78.3	
	78	M	M-43794	磨石・敲石	砂岩	N3-a	Ⅲb下-2層	5.3	5.0	2.8	116.8	
	79	M	M-30549	磨石・敲石	砂岩	O3-b	Ⅲb下-1層	5.7	5.7	1.6	69.6	
	80	M	M-18319	磨石・敲石	砂岩	O3-b	Ⅲb上層	5.5	5.1	1.3	56.5	
262	81	M	M-41057	磨石・敲石	砂岩	P1-d	Ⅲb下-2層	5.4	5.1	2.2	78.6	
	82	M	M-44348	磨石・敲石	砂岩	O5-b	Ⅲb下-2層	5.2	4.9	1.7	69.6	
	83	M	M-24656	磨石・敲石	不明	N5-a	Ⅲb上層	4.9	5.1	2.0	51.4	
	84	M	M-19005	磨石・敲石	安山岩	M5-d	Ⅲb上層	5.2	4.5	3.0	100.6	
	85	M	M-12091	磨石・敲石	砂岩	P6-a	Ⅲb上層	4.6	4.3	1.3	41.2	
	86	M	M-15421	磨石・敲石	砂岩	P1-d	Ⅲb上層	5.1	4.1	1.6	47.6	
	87	M	M-21176	磨石・敲石	砂岩	P5-a	Ⅲb上層	4.3	4.2	1.4	36.2	
	88	M	M-32646	磨石・敲石	安山岩	O3-d	Ⅲb下-1層	4.8	3.8	1.8	45.3	
	89	M	M-31379	磨石・敲石	砂岩	P4-d	Ⅲb下-1層	4.5	4.2	2.1	61.7	
	90	M	M-11861	磨石・敲石	砂岩	P6-b	Ⅲb上層	4.4	4.0	1.9	51.3	
	91	M	M-14495	磨石・敲石	砂岩	P6-b	Ⅲb上層	4.5	3.6	2.0	38.5	
	92	M	M-43133	磨石・敲石	砂岩	O4-c	Ⅲb上層	4.4	4.2	1.3	33.4	
	93	M	M-36791	磨石・敲石	砂岩	Q7-d	Ⅲb下-2層	4.3	3.4	1.5	33.8	
	94	M	M-13134	磨石・敲石	砂岩	O6-a	Ⅲb上層	4.3	3.5	1.4	32.2	
	95	M	M-32049	磨石・敲石	砂岩	P5-c	Ⅲb下-1層	3.8	3.9	1.3	27.3	
	96	M	M-03149	磨石・敲石	砂岩	O6-b	Ⅲa層	3.8	3.8	1.1	27.5	
	97	M	M-09396	磨石・敲石	安山岩	N5-a	Ⅲb上層	3.9	3.6	1.9	38.7	
	98	M	M-13995	磨石・敲石	砂岩	M6-d	Ⅲb上層	3.8	3.5	1.1	21.9	
	99	M	M-20481	磨石・敲石	砂岩	P4-d	Ⅲb上層	3.2	2.6	1.0	12.1	
	100	M	M-32176	磨石・敲石	安山岩	P5-b	Ⅲb下-1層	3.7	3.2	1.0	14.8	
	101	M	M-23022	磨石・敲石	砂岩	O5-b	Ⅲb上層	3.5	3.0	1.2	18.4	
	102	M	M-11572	磨石・敲石	砂岩	O1-d	Ⅲb上層	3.4	3.0	1.2	18.5	
	103	M	M-20811	磨石・敲石	安山岩	P5-c	Ⅲb上層	3.3	2.9	1.7	18.3	
	104	M	M-34450	磨石・敲石	アプライトヵ	P6-c	Ⅲb下-1層	3.3	3.0	1.2	16.0	
	105	M	M-39768	磨石・敲石	安山岩	P5-d	Ⅲb下-2層	4.1	3.9	3.3	66.2	
	106	M	M-10943	磨石・敲石	アプライトヵ	N1-d	Ⅲa層	8.9	4.2	2.9	158.9	
263	107	M	M-20238	磨石	砂岩	P4-b	Ⅲb上層	6.8	6.3	2.5	166.4	
	108	M	M-30766	磨石	砂岩	N4-c	Ⅲb下-1層	6.0	5.0	2.7	103.1	
	109	M	M-37438	磨石	砂岩	O3-a	Ⅲb下-2層	6.2	5.1	2.1	102.6	
	110	M	M-14748	磨石	安山岩	M6-b	Ⅲb上層	5.2	5.0	2.2	78.4	
	111	M	M-28404	磨石	砂岩	P6-d	Ⅲb下層	5.3	4.3	0.9	31.3	
	112	M	M-33835	磨石	砂岩	O6-c	Ⅲb下-1層	4.2	4.1	1.1	30.1	
	113	M	M-42842	磨石	砂岩	P4-c	Ⅲb下-1層	3.8	3.6	2.1	35.2	
	114	M	M-19841	磨石	安山岩	P4-c	Ⅲb上層	3.7	3.4	1.5	26.5	
	115	N	N-04217	磨石・敲石	安山岩	E73-a	Ⅲb下層	10.9	7.9	4.4	642.7	
	116	N	N-04214	磨石・敲石	砂岩	D74-c	Ⅲb下層	4.5	3.5	1.5	36.2	
	117	N	N-00843	磨石・敲石	砂岩	D74-d	Ⅲb上層	3.6	3.5	1.2	21.4	
	118	N	N-04218	磨石・敲石	砂岩	F72-a	Ⅲb下層	9.2	3.0	2.2	85.7	
264	119	O	O-09854	磨石・敲石	砂岩	D66-b	Ⅲb下-1層	13.9	11.2	3.7	881.7	
	120	O	O-01969	磨石・敲石	砂岩	D67-a	Ⅲb上層	11.7	10.8	3.7	650.0	
	121	O	O-09821	磨石・敲石	安山岩	D66-b	Ⅲb下-1層	12.1	10.1	8.0	1500.0	
	122	O	O-04954	磨石・敲石	砂岩	F60-d	Ⅲb下-1層	13.1	10.0	5.0	864.0	

第124表　出土石器観察表（磨石・敲石③）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
264	123	O	O-04696	磨石・敲石	砂岩	G59-b	Ⅲb下-1層	12.0	9.5	4.7	841.6	
	124	O	O-05794	磨石・敲石	砂岩	F59-c	Ⅲb下-1層	9.7	6.0	4.8	358.0	
	125	O	O-07020	磨石・敲石	砂岩	E59-c	Ⅲb下-2層	6.4	5.3	2.2	111.3	
	126	O	O-07464	磨石・敲石	砂岩	F57-a	Ⅲb下-1層	5.2	5.4	1.8	59.4	
	127	O	O-08015	磨石・敲石	砂岩	F58-a	Ⅲb下-2層	5.1	4.8	1.7	60.1	
	128	O	O-02478	磨石・敲石	安山岩	C66-d	Ⅲb上層	4.5	4.5	1.5	41.9	
	129	O	O-05049	磨石・敲石	砂岩	E61-c	Ⅲb下-1層	4.9	4.2	1.2	33.7	
	130	O	O-09217	磨石・敲石	砂岩	D66-b	Ⅲb下-2層	4.9	4.0	1.6	48.6	
265	131	O	O-01905	磨石・敲石	砂岩	d67-a	Ⅲb上層	4.2	3.7	1.8	43.4	
	132	O	O-09660	磨石・敲石	安山岩	F61-c	Ⅲb下-2層	4.4	3.7	1.3	29.6	
	133	O	O-06009	磨石・敲石	砂岩	F59-b	Ⅲb下-2層	4.3	3.9	1.9	44.7	
	134	O	O-01040	磨石・敲石	砂岩	F57-a	Ⅲb上層	3.6	3.0	1.3	21.1	
	135	O	O-06309	磨石・敲石	凝灰岩	E60-d	Ⅲb下-2層	9.5	5.6	5.3	366.6	
	136	O	O-04370	磨石・敲石	砂岩	F61-a	Ⅲb下-1層	7.0	5.0	2.4	102.8	
	137	O	O-09340	磨石・敲石	安山岩	C67-b	Ⅲb下-1層	6.6	4.1	2.3	91.0	
	138	O	O-01811	磨石・敲石	泥岩	F61-a	Ⅲb上層	5.7	3.2	2.0	37.5	

第125表　出土石器観察表（研磨具）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
266	1	J	J-02395	磨石・敲石	凝灰岩	A37-b	Ⅲb上層	3.7	2.1	1.0	9.9	
	2	K	K-08772	磨石・敲石	泥岩	K19-c	Ⅲb下層	3.7	1.9	1.5	10.9	
	3	K	K-08316	磨石・敲石	チャート	I18-c	Ⅲb下層	1.4	1.5	1.2	2.9	
	4	L	L-09784	磨石・敲石	砂岩	I14-c	Ⅲb下層	3.0	2.0	1.1	8.7	
	5	L	L-03281	磨石・敲石	砂岩	K14-a	Ⅲb上層	2.5	1.4	1.1	4.4	
	6	M	M-15796	磨石・敲石	砂岩	P1-b	Ⅲb上層	2.9	1.3	0.8	4.1	
	7	M	M-19349	磨石・敲石	泥岩	M4-c	Ⅲb上層	2.2	1.4	1.0	4.0	
	8	M	M-21756	磨石・敲石	泥岩	O5-d	Ⅲb上層	2.2	1.4	0.8	2.3	
	9	N	N-04254	磨石・敲石	泥岩	D74-d	Ⅲa層	1.9	1.9	1.2	5.1	
	10	N	N-02191	磨石・敲石	泥岩	E75-b	Ⅲb上層	1.5	1.9	1.6	5.4	
	11	N	N-04215	磨石・敲石	泥岩	D73-d	Ⅲb下層	2.2	1.6	1.2	4.4	

第126表　出土石器観表（石製品）

図	番号	区	取上番号	器種	石材	グリッド	層位	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考
267	1	K	K-08721	不明石製品	クリノクロア	K21-c	Ⅲb下層	2.1	2.8	1.4	8.4	
	2	K	K-02350	不明石製品	クリノクロア	K21-c	Ⅲb上層	2.1	1.1	1.4	3.0	
	3	K	K-07175	不明石製品	クリノクロア	K21-d	Ⅲb下層	1.8	1.1	0.9	2.9	
	4	K	K-08719	原石	クリノクロア	K21-c	Ⅲb下層	1.7	4.0	2.3	14.1	
	5	K	K-08720	原石	クリノクロア	K21-c	Ⅲb下層	2.8	2.3	1.6	10.3	
	6	L	L-13008	玉	パイロフィライト	L14-b	Ⅲb下層	1.3	0.9	0.6	0.9	
	7	L	L-02311	管玉未成品	パイロフィライト	P21-a	Ⅲb上層	1.0	0.6	0.5	0.5	
	8	M	M-11571	勾玉	蛇紋岩	O1-d	Ⅲb上層	2.5	2.4	0.8	3.8	
	9	M	M-03517	管玉	パイロフィライト	O5-b	Ⅲa層	2.5	0.8	0.7	1.7	

第Ⅳ章　自然科学分析

株式会社古環境研究所

1　放射性炭素年代測定

（1）はじめに

放射性炭素年代測定は，光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素（^{14}C）の濃度が，放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体，骨，貝殻，土壌さらには土器付着炭化物などが測定対象となり，約５万年前までの年代測定が可能である（中村，2003）。

今回の分析調査では，権現脇遺跡の発掘調査で出土した土器の年代に関する情報を得る目的で，放射性炭素年代測定を実施した。

（2）試料

試料は，土器付着炭化物27点である。試料の詳細を表１に示す。

第127表　測定試料及び処理

試料番号	試料の詳細	試料の種類	前処理・調整	測定法
1	Ｊ区２号土坑墓-１	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
2	Ｊ区２号土坑墓-２	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
3	M区３号土器棺墓-２	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
4	M区３号土器棺墓-１	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
5	O区土器棺墓-２	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
6	O区土器棺墓-３	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
7	O区土器棺墓-１	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
8	M区深鉢Ｂ類30	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
9	M区深鉢Ｃ類363	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
10	M区　M-29892　Ⅲｂ下-１層	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
11	Ｊ区　Ｊ-07081　Ⅲｂ下層	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
12	Ｋ区　Ｋ-08074・08075　Ⅲｂ下層	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
13	Ｋ区深鉢Ｄ類60	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
14	Ｊ区深鉢Ｅ類30	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
15	Ｊ区深鉢Ｅ類208	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
16	Ｊ区深鉢Ｅ類10	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
17	Ｊ区深鉢Ｅ類205	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
18	M区深鉢Ｅ類163	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
19	M区深鉢底部Ｂ類34	土器付着炭化物（内面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
20	Ｊ区浅鉢Ⅰ類１	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
21	Ｋ区浅鉢Ｆ類12	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
22	M区浅鉢Ｌ類130	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
23	M区浅鉢Ｌ類134	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
24	M区浅鉢Ｌ類126	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
25	M区浅鉢Ｌ類145	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
26	O区浅鉢Ｌ類403	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS
27	M区浅鉢M類116	土器付着炭化物（外面）	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	AMS

※AMS（Accelerator Mass Spectrometry）は加速器質量分析法

（3）方法

試料の付着物を取り除いた後，酸－アルカリ－酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後，超純水で中性になるまで希釈し，乾燥させる。AAA 処理における酸処理では，通常 1 mol/ℓ（ 1 M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い，0.001M から 1 M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1 M に達した時には「AAA」， 1 M 未満の場合は「AaA」と結果表に記載する。

化学処理後の試料を燃焼させ，二酸化炭素（CO_2）を発生させ，真空ラインで二酸化炭素を精製する。精製した二酸化炭素を，鉄を触媒として水素で還元し，グラファイト（C）を生成させる。グラファイトを内径 1 mm のカソードにハンドプレス機で詰め，それをホイールにはめ込み，測定装置に装着する。

測定方法は，加速器をベースとした^{14}C-AMS 専用装置を使用し，^{14}C の計数，^{13}C 濃度（^{13}C/^{12}C），^{14}C 濃度（^{14}C/^{12}C）の測定を行う。測定では，米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx Ⅱ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。δ^{13}C は，試料炭素の^{13}C 濃度（^{13}C/^{12}C）を測定し，基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である。

^{14}C 年代（Libby Age：yrBP）は，過去の大気中^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され，1950 年を基準年（ 0 yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には，Libby の半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach, 1977）。^{14}C 年代は δ^{13}C によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を結果表に示す。^{14}C 年代と誤差は，下 1 桁を丸めて10年単位で表示される。また，^{14}C 年代の誤差（± 1 σ）は，試料の^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

暦年較正年代とは，年代が既知の試料の^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ，過去の^{14}C 濃度変化などを補正し，実年代に近づけた値である。暦年較正年代は，^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり， 1 標準偏差（ 1 σ＝68.2%）あるいは 2 標準偏差（ 2 σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が^{14}C 年代，横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は，δ^{13}C 補正を行い，下 1 桁を丸めない^{14}C 年代値である。なお，較正曲線および較正プログラムは，データの蓄積によって更新される。また，プログラムの種類によっても結果が異なるため，年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは，暦年較正年代の計算に，IntCal13データベース（Reimer et al., 2013）を用い，OxCalv4.3較正プログラム（BronkRamsey, 2009）を使用する。暦年較正年代は，^{14}C 年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」・「cal BP」という単位で表される。

（4）結果

年代測定および暦年較正結果の一覧を表 2 ，各試料の暦年較正結果を図 1 に示す。

今回年代測定を実施した土器付着炭化物の年代値（補正年代）は，3,100±30yrBP（試料番号 5 ）～2,550±30yrBP（試料番号15）の年代範囲であり，550年の年代幅がある。

（5）考察

試料番号 **1** の年代値は，2,640±30yrBP（ 2 σ 暦年較正年代で835cal BC-791cal BC）を示した。以

下，試料番号**2**は，2,590±20yrBP（2σ暦年較正年代で809cal BC-770cal BC），試料番号**3**は，3,080±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,413cal BC-1,269cal BC），試料番号**4**は，3,020±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,388cal BC-1,339cal BC，1,317cal BC-1,193cal BC）を示した。試料番号**5**は，3,100±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,426cal BC-1,291cal BC）で，今回測定した試料の中で最も古い年代を示した。試料番号**6**は，3,010±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,384cal BC-1,342cal BC，1,308cal BC-1,191cal BC，1,178cal BC-1,163cal BC，1,144cal BC-1,131cal BC），試料番号**7**は，2,990±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,370cal BC-1,360cal BC，1,293cal BC-1,126cal BC），試料番号**8**は，2,810±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,042cal BC-1,037cal BC，1,031cal BC-903cal BC），試料番号**9**は，3,060±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,407cal BC-1,258cal BC，1,246cal BC-1,233cal BC），試料番号**10**は，3,060±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,407cal BC-1,258cal BC，1,246cal BC-1,233cal BC），試料番号**11**は，2,830±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,071cal BC-1,066cal BC，1,056cal BC-911cal BC），試料番号**12**は，3,050±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,396cal BC-1,228cal BC），試料番号**13**は，3,000±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,373cal BC-1,358cal BC，1,299cal BC-1,127cal BC），試料番号**14**は，2,590±30yrBP（2σ暦年較正年代で810cal BC-769cal BC）を示した。試料番号**15**は，2,550±30yrBP（2σ暦年較正年代で801cal BC-748cal BC，685cal Bc-667cal BC，641cal BC-587cal BC，581cal BC-556cal BC）で，今回測定した試料の中で最も新しい年代を示した。試料番号**16**は，2,690±30yrBP（2σ暦年較正年代で898cal BC-807cal BC），試料番号**17**は，2,590±30yrBP（2σ暦年較正年代で810cal BC-768cal BC），試料番号**18**は，2,670±30yrBP（2σ暦年較正年代で895cal BC-867cal BC，859cal BC-797cal BC），試料番号**19**は，3,040±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,395cal BC-1,333cal BC，1,326cal BC-1,221cal BC），試料番号**20**は，2,650±30yrBP（2σ暦年較正年代で888cal BC-883cal BC，842cal BC-792cal BC），試料番号**21**は，2,790±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,008cal BC-893cal BC，875cal BC-850cal BC），試料番号**22**は，2,800±30yrBP（2σ暦年較正年代で1,016cal BC-894cal BC，871cal BC-854cal BC），試料番号**23**は，2,770±30yrBP（2σ暦年較正年代で994cal BC-986cal BC，981cal BC-839cal BC），試料番号**24**は，2,610±30yrBP（2σ暦年較正年代で820cal BC-776cal BC），試料番号**25**は，2,610±30yrBP（2σ暦年較正年代で815cal BC-773cal BC），試料番号**26**は，2,590±30yrBP（2σ暦年較正年代で811cal BC-768cal BC），試料番号**27**は，2,710±30yrBP（2σ暦年較正年代で906cal BC-811cal BC）を示した。

【参考文献】

Bronk Ramsey, C., 2009, Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), p.337-360.

中村俊夫，2003，放射性炭素年代測定法と暦年代較正．環境考古学マニュアル，同成社，p. 301-322.

Reimer, P.J. et al., 2013, IntCal 13 and Marine 13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55(4), p.1869-1887.

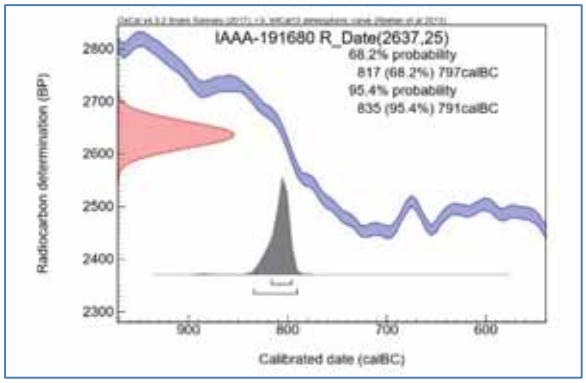
Sakamoto, M., Imamura, M., van der Plicht, J., Mitsutani, T., Sahara, M.:: Radiocarbon calibration for Japanese wood samples. Radiocarbon, 45(1), 81-89, 200p.

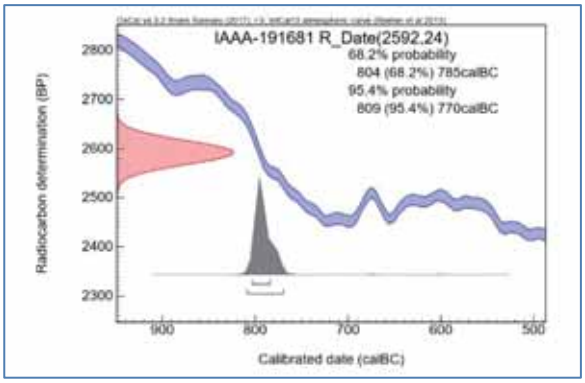
Stuiver, M. and Polach, H.A., 1977, Discussion: Reporting of 14C data, Radiocarbon 19(3), 355-363.

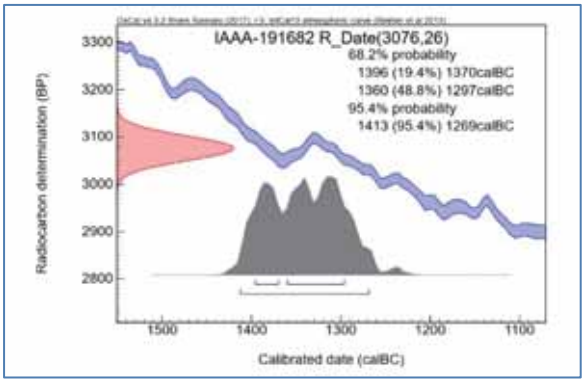
第128表　測定結果

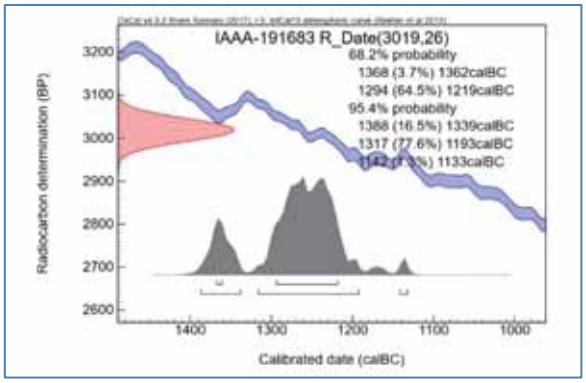
試料番号	測定№（IAAA-）	$\delta^{13}C$（‰）	暦年較正用年代（年 BP）	^{14}C 年代（年 BP）	暦年代（西暦）	
					1σ（68.2%確率）	2σ（95.4%確率）
1	191680	-22.46±0.24	2637±25	2640±30	817cal BC-797cal BC(68.2%)	835cal BC-791cal BC(95.4%)
2	191681	-22.54±0.24	2592±24	2590±30	804cal BC-785cal BC(68.2%)	809cal BC-770cal BC(95.4%)
3	191682	-24.95±0.23	3076±26	3080±30	1396cal BC-1370cal BC(19.4%) 1360cal BC-1297cal BC(48.8%)	1413cal BC-1269cal BC(95.4%)
4	191683	-22.92±0.23	3019±26	3020±30	1368cal BC-1362cal BC(3.7%) 1294cal BC-1219cal BC(64.5%)	1388cal BC-1339cal BC(16.5%) 1317cal BC-1193cal BC(77.6%) 1142cal BC-1133cal BC(1.3%)
5	191684	-21.63±0.23	3098±26	3100±30	1413cal BC-1380cal BC(31.6%) 1343cal BC-1306cal BC(36.6%)	1426cal BC-1291cal BC(95.4%)
6	191685	-24.69±0.23	3013±26	3010±30	1290cal BC-1214cal BC(68.2%)	1384cal BC-1342cal BC(12.0%) 1308cal BC-1191cal BC(79.1%) 1178cal BC-1163cal BC(1.9%) 1144cal BC-1131cal BC(2.5%)
7	191686	-25.29±0.23	2993±26	2990±30	1268cal BC-1193cal BC(62.4%) 1143cal BC-1133cal BC(5.8%)	1370cal BC-1360cal BC(1.6%) 1293cal BC-1126cal BC(93.8%)
8	191687	-23.15±0.23	2813±26	2810±30	999cal BC-929cal BC(68.2%)	1042cal BC-1037cal BC(0.6%) 1031cal BC-903cal BC(94.8%)
9	191688	-24.58±0.24	3057±26	3060±30	1387cal BC-1339cal BC(37.0%) 1318cal BC-1277cal BC(31.2%)	1407cal BC-1258cal BC(92.5%) 1246cal BC-1233cal BC(2.9%)
10	191689	-23.58±0.26	3057±26	3060±30	1387cal BC-1339cal BC(37.0%) 1318cal BC-1277cal BC(31.2%)	1407cal BC-1258cal BC(92.5%) 1246cal BC-1233cal BC(2.9%)
11	191690	-24.49±0.25	2834±25	2830±30	1016cal BC-970cal BC(45.5%) 961cal BC-935cal BC(22.7%)	1071cal BC-1066cal BC(0.4%) 1056cal BC-911cal BC(95.0%)
12	191691	-24.19±0.25	3049±25	3050±30	1382cal BC-1341cal BC(32.1%) 1308cal BC-1264cal BC(36.1%)	1396cal BC-1228cal BC(95.4%)
13	191692	-25.63±0.27	2997±26	3000±30	1276cal BC-1196cal BC(65.5%) 1140cal BC-1135cal BC(2.7%)	1373cal BC-1358cal BC(2.9%) 1299cal BC-1127cal BC(92.5%)
14	191693	-24.10±0.29	2593±25	2590±30	804cal BC-784cal BC(68.2%)	810cal BC-769cal BC(95.4%)
15	191694	-23.26±0.24	2553±26	2550±30	798cal BC-756cal BC(61.1%) 679cal BC-671cal BC(4.6%) 604cal BC-599cal BC(2.4%)	801cal BC-748cal BC(66.9%) 685cal BC-667cal BC(8.0%) 641cal BC-587cal BC(16.1%) 581cal BC-556cal BC(4.4%)
16	191695	-25.73±0.23	2692±25	2690±30	892cal BC-878cal BC(13.2%) 846cal BC-809cal BC(55.0%)	898cal BC-807cal BC(95.4%)
17	191696	-23.20±0.25	2592±25	2590±30	804cal BC-784cal BC(68.2%)	810cal BC-768cal BC(95.4%)
18	191697	-25.52±0.26	2666±25	2670±30	831cal BC-804cal BC(68.2%)	895cal BC-867cal BC(8.6%) 859cal BC-797cal BC(86.8%)
19	191698	-23.79±0.25	3043±25	3040±30	1381cal BC-1342cal BC(28.9%) 1307cal BC-1260cal BC(39.3%)	1395cal BC-1333cal BC(35.9%) 1326cal BC-1221cal BC(59.5%)
20	191699	-24.21±0.24	2649±25	2650±30	821cal BC-800cal BC(68.2%)	888cal BC-883cal BC(0.7%) 842cal BC-792cal BC(94.7%)
21	191700	-25.09±0.26	2789±25	2790±30	976cal BC-905cal BC(68.2%)	1008cal BC-893cal BC(90.5%) 875cal BC-850cal BC(4.9%)
22	191701	-25.86±0.28	2799±26	2800±30	992cal BC-989cal BC(2.7%) 980cal BC-915cal BC(65.5%)	1016cal BC-894cal BC(93.6%) 871cal BC-854cal BC(1.8%)
23	191702	-24.09±0.25	2769±25	2770±30	971cal BC-960cal BC(8.1%) 936cal BC-894cal BC(45.4%) 873cal BC-851cal BC(14.7%)	994cal BC-986cal BC(1.8%) 981cal BC-839cal BC(93.6%)
24	191703	-25.60±0.24	2613±25	2610±30	809cal BC-792cal BC(68.2%)	820cal BC-776cal BC(95.4%)
25	191704	-26.26±0.25	2606±25	2610±30	806cal BC-791cal BC(68.2%)	815cal BC-773cal BC(95.4%)
26	191705	-26.86±0.26	2591±25	2590±30	804cal BC-784cal BC(68.2%)	811cal BC-768cal BC(95.4%)
27	191706	-26.03±0.25	2711±25	2710±30	895cal BC-866cal BC(32.1%) 856cal BC-826cal BC(36.1%)	906cal BC-811cal BC(95.4%)

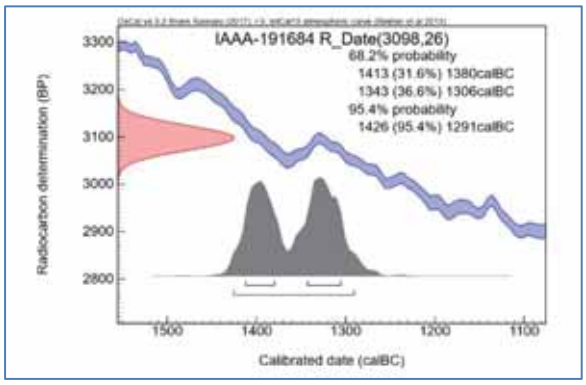
BP：Before Physics（Present），BC：紀元前

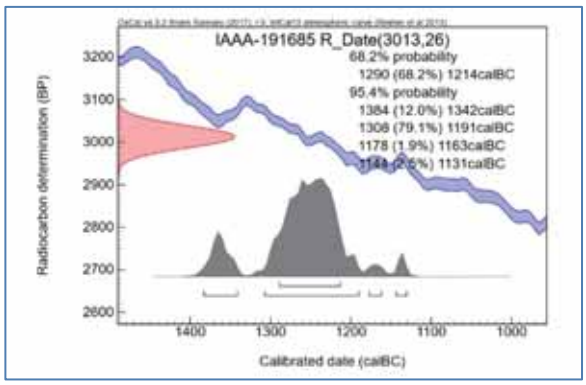


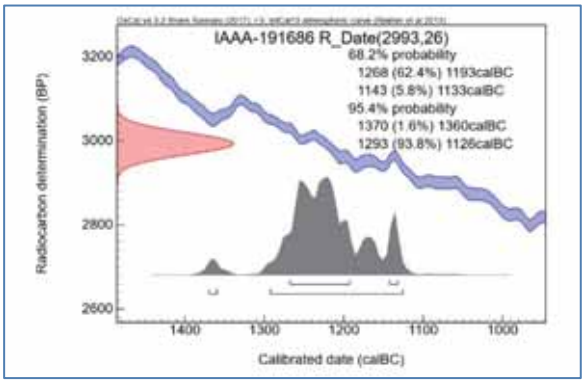


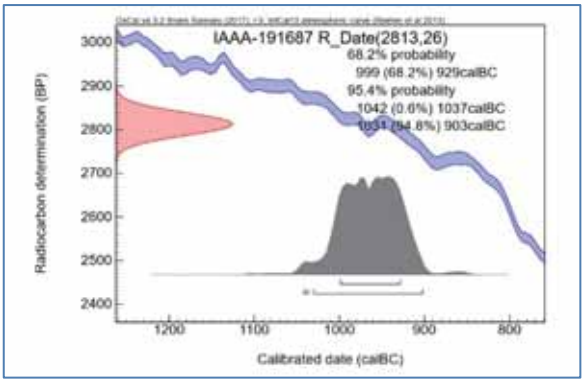




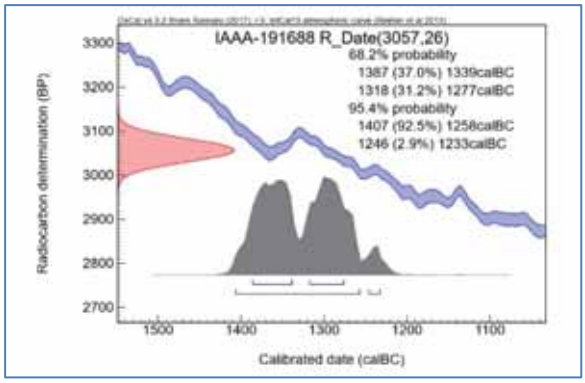


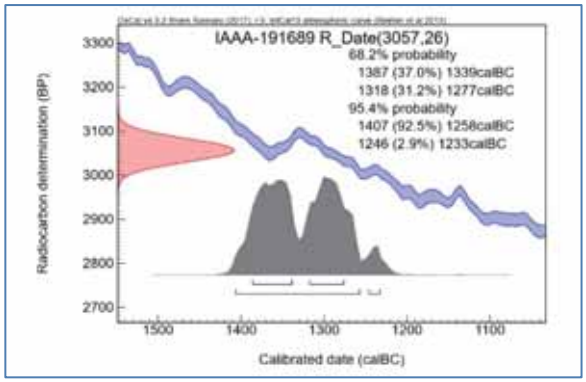


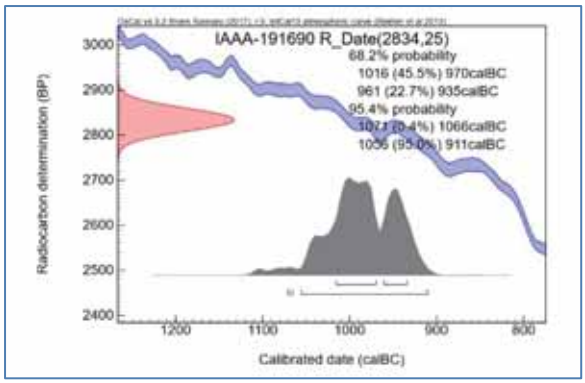


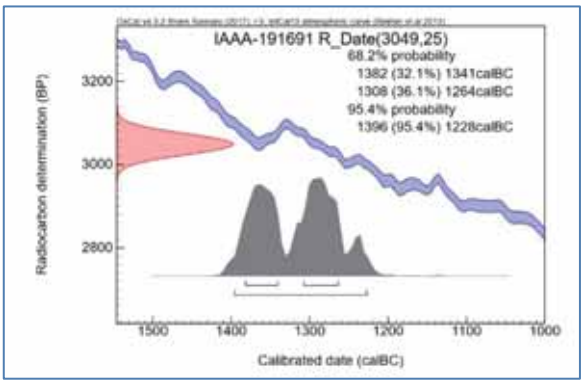


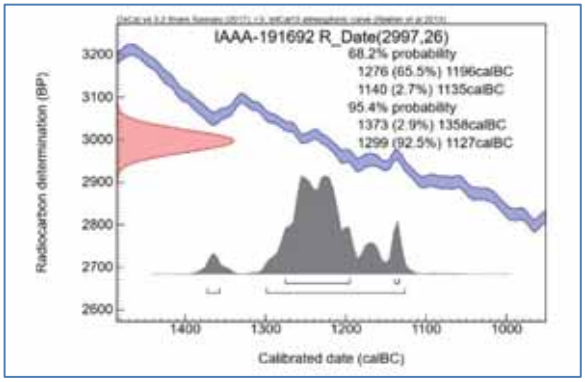
第268図　暦年較正年代グラフ①

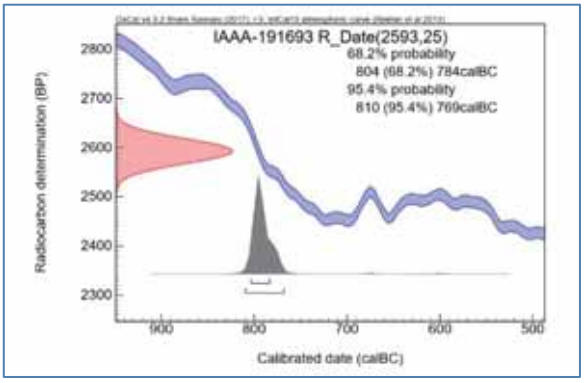


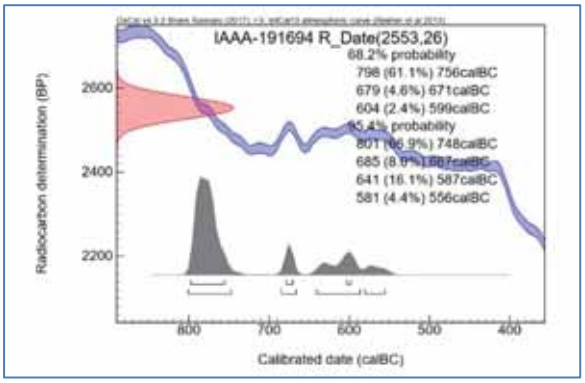


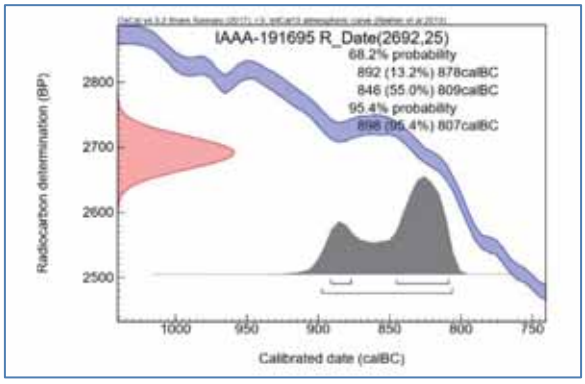




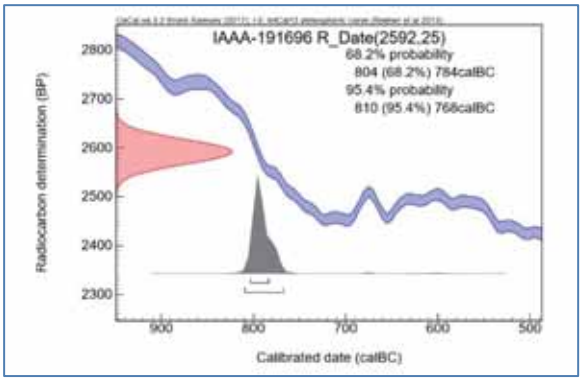


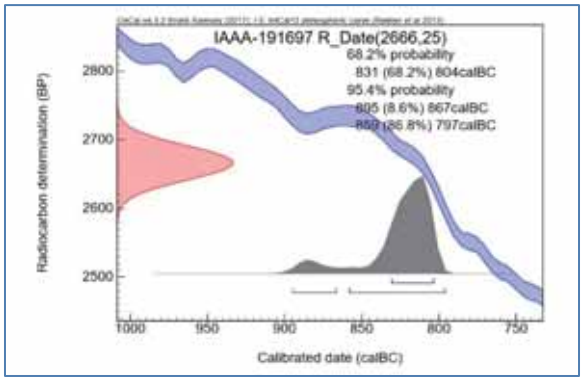


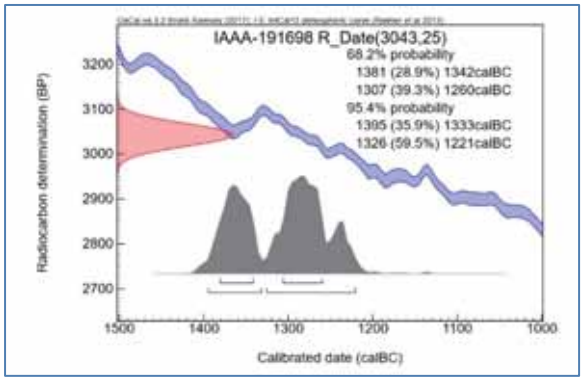


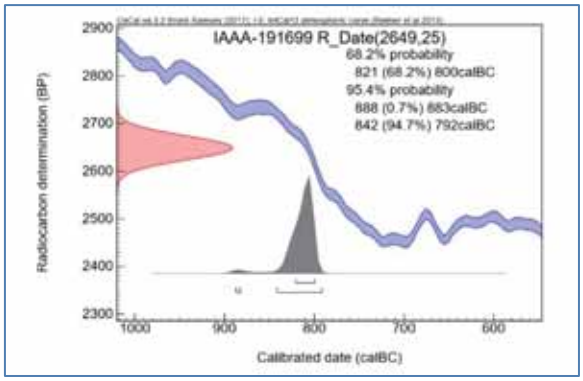


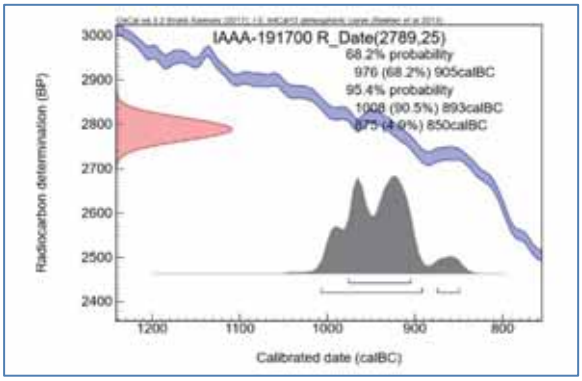
第269図　暦年較正年代グラフ②

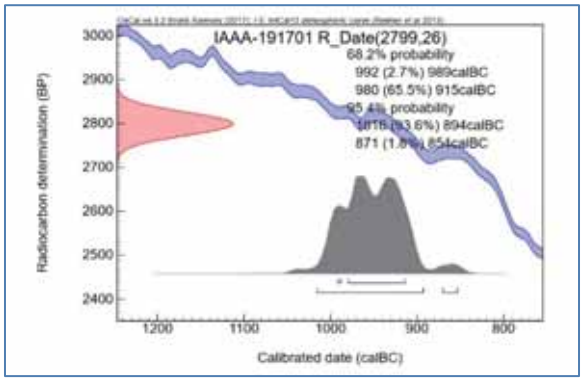


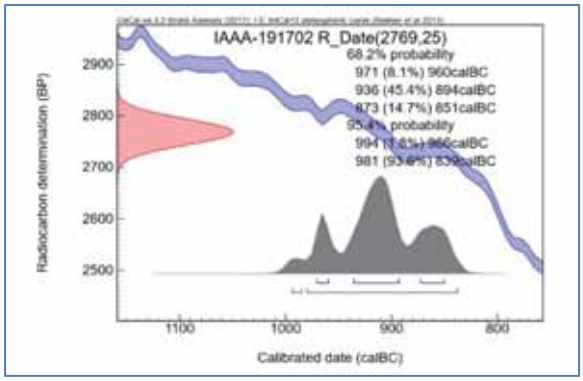


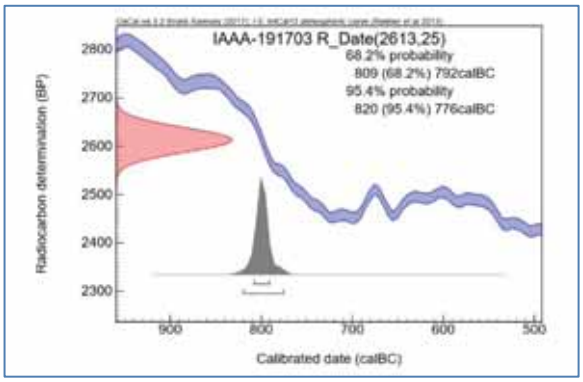




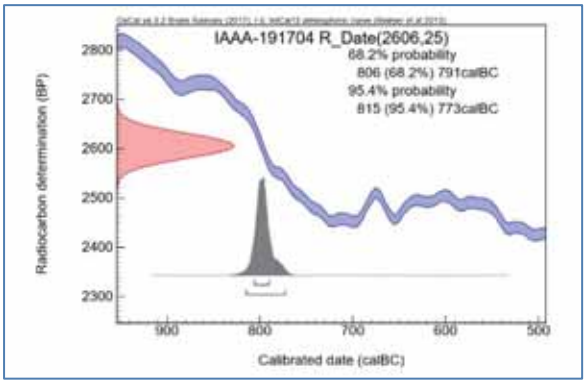


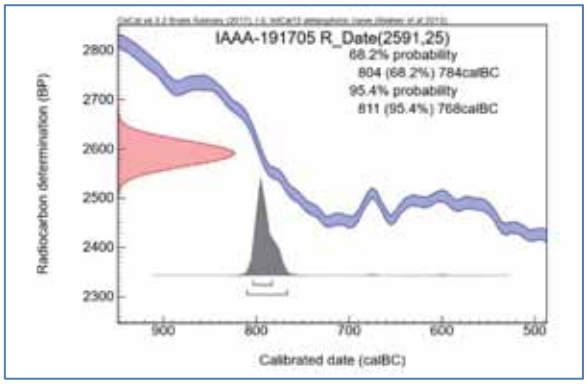


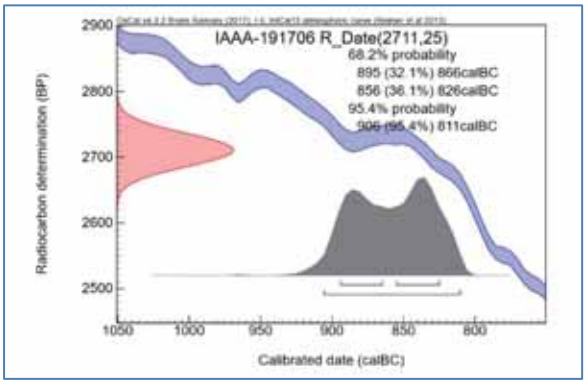




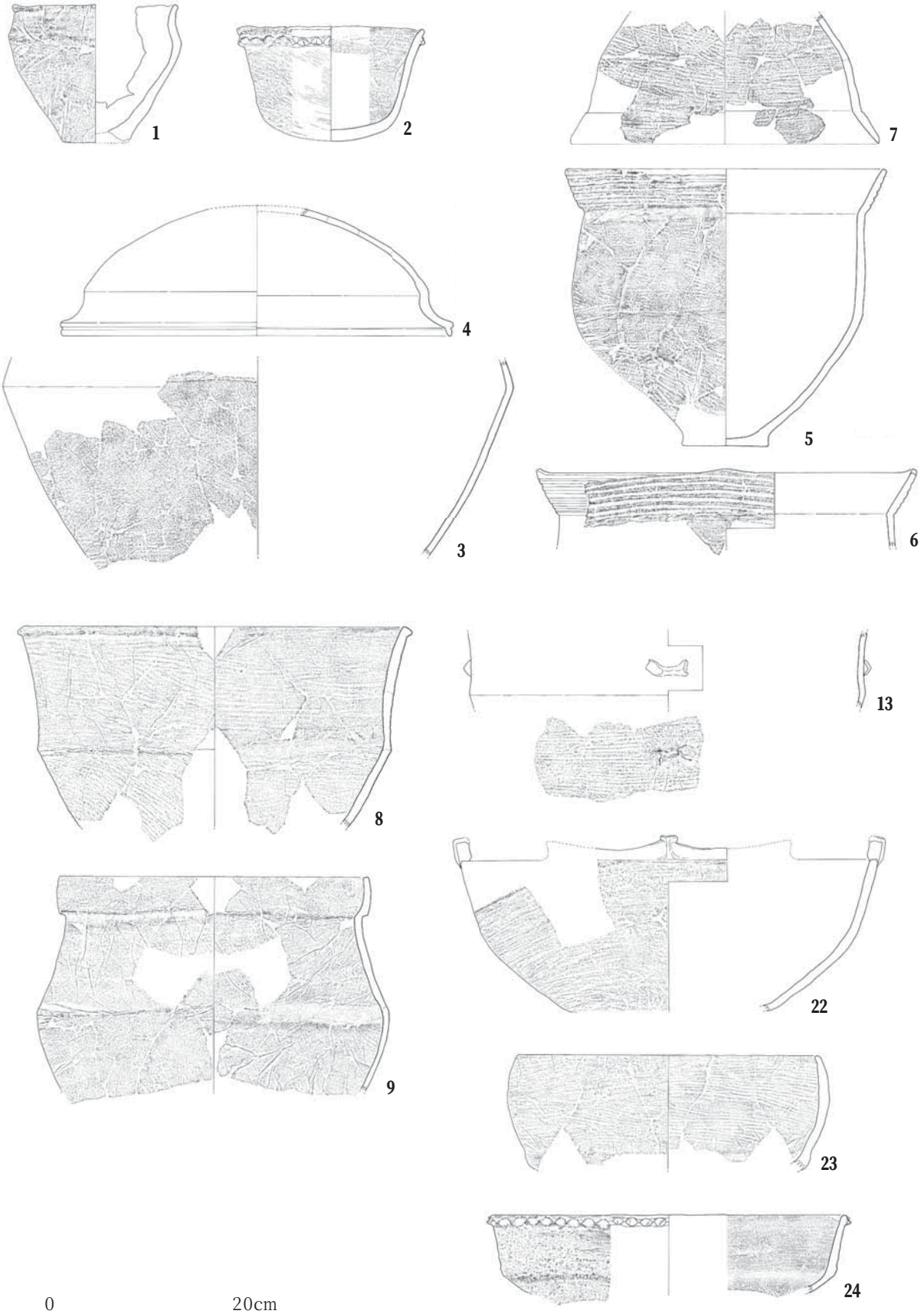
第270図　暦年較正年代グラフ③



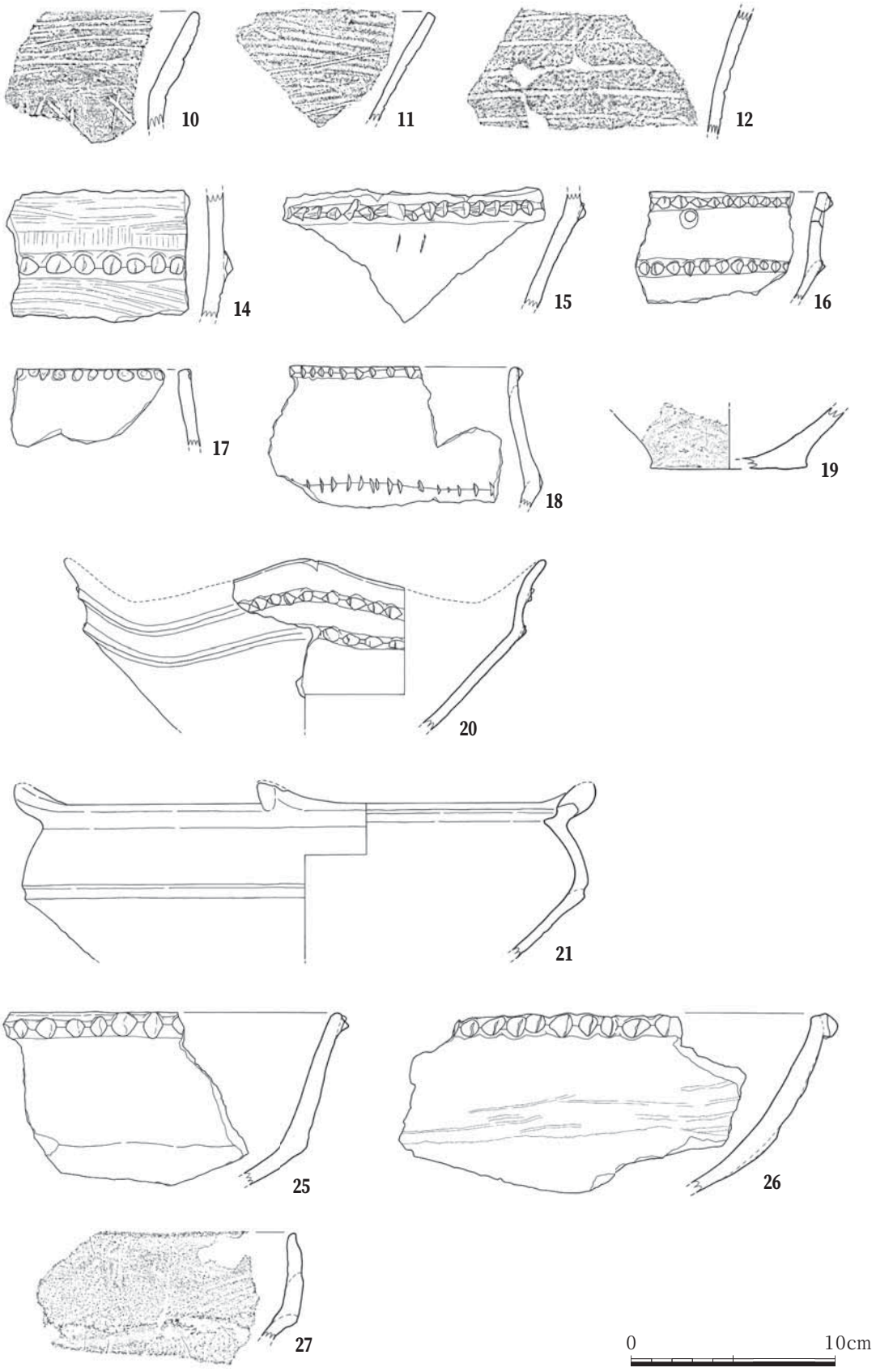




第271図　暦年較正年代グラフ④



第272図　試料採取土器実測図①（S＝1/6）



第273図　試料採取土器実測図（S＝1/3）

2　石材同定

（1）はじめに

本報告では，南島原市深江町に所在する権現脇遺跡から出土した石器について，肉眼鑑定ならびに蛍光 X 線分析を実施し，岩種の同定を行った。

（2）試料

試料は，権現脇遺跡より出土・採取された石器 9 点である。試料の詳細は結果表（表 2 ）に，試料の写真を図版 1 に示す。

（3）方法

1 ）肉眼鑑定

肉眼ならびに20倍の実体顕微鏡で観察した。また，同定精度を高めるために石器の比重も計測した。なお，比重値は小数点以下 1 位の場合と 2 位の場合があるが，これは有効数字を考慮した結果である。

2 ）蛍光 X 線分析

分析装置はエスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光 X 線分析計 SEA 1200VX を使用した。装置の仕様は，X 線管が最大50kV，1000μA のロジウム（Rh）ターゲット，X 線照射径が 8 mm または 1 mm，X 線検出器は SDD 検出器である。また，複数の一次フィルタが内蔵されており，適宜選択，挿入することで S/N 比の改善が図れる。検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）であるが，ナトリウム，マグネシウム（Mg），アルミニウム（Al）といった軽元素は，蛍光 X 線分析装置の性質上，検出感度が悪い。

測定条件は，管電圧・一次フィルタの組み合わせが15kV（一次フィルタ無し）・50kV（一次フィルタ Pb 測定用・Cd 測定用）の計 3 条件で，測定時間は各条件500～1000s，管電流自動設定，照射径 8 mm，試料室内雰囲気真空に設定した。定量分析は，酸化物の形で算出し，ノンスタンダード FP 法による半定量分析を行った。

（4）結果

蛍光 X 線分析（半定量分析）の結果を表 1 に，石材同定の結果を表 2 に示す。なお，委託番号 9 は肉眼鑑定で黒曜石と判定されたことから，蛍光 X 線分析は実施していない。

第129表　半定量分析結果（mass%）

委託番号	Na_2O	MgO	Al_2O_3	SiO_2	P_2O_5	SO_3	K_2O	CaO	TiO_2	Cr_2O_3	MnO	Fe_2O_3	NiO	ZnO	Rb_2O	SrO	ZrO_2	BaO
1	—	0.38	38.81	48.38	0.33	0.13	8.85	0.30	1.38	0.73	0.04	0.37	—	—	0.01	0.01	0.02	0.24
2	2.95	—	34.94	47.06	0.69	0.17	9.31	1.22	1.66	0.95	0.06	0.54	0.01	—	0.01	0.02	0.03	0.40
3	—	0.68	34.21	50.06	0.51	0.48	9.02	1.70	1.10	0.72	0.03	1.14	0.01	—	0.01	0.01	0.02	0.29
4	—	24.33	5.48	58.37	0.25	—	0.06	4.95	0.28	0.14	0.10	5.82	0.22	0.01	—	—	—	—
5	—	20.45	3.96	59.50	0.34	0.05	0.08	9.29	0.29	0.61	0.14	5.20	0.10	—	—	—	—	—
6	—	25.41	3.39	60.66	0.77	0.11	0.06	3.93	0.08	0.11	0.06	5.17	0.24	—	—	—	—	—
7	—	20.81	3.06	61.19	0.61	0.14	0.06	7.37	0.06	0.07	0.12	6.34	0.17	0.01	—	—	—	—
8	—	24.19	3.03	63.05	0.23	—	0.05	4.01	0.06	0.08	0.07	5.03	0.19	0.01	—	—	—	—

蛍光X線分析の結果，ナトリウム（Na_2O），マグネシウム（MgO），アルミニウム（Al_2O_3），ケイ素（SiO_2），リン（P_2O_5），硫黄（SO_3），カリウム（K_2O），カルシウム（CaO），チタン（TiO_2），クロム（Cr_2O_3），マンガン（MnO），鉄（Fe_2O_3），ニッケル（NiO），亜鉛（ZnO），ルビジウム（Rb_2O），ストロンチウム（SrO），ジルコニウム（ZrO_2），バリウム（BaO）が検出された。

第130表　権現脇遺跡出土石器の石材同定結果

委託番号	取上番号	器種	判定岩石名	重量	浮力	比重	判定基準
1	L-13008	玉	パイロフィライト（葉臘石）	0.85	0.30	2.8	AlとSiから構成されMgをほとんど含まないことから葉臘石（パイロフィライト）と判定した
2	L-02311	管玉未製品	パイロフィライト（葉臘石）				AlとSiから構成されMgをほとんど含まないことから葉臘石（パイロフィライト）と判定した
3	M-03517	管玉	パイロフィライト（葉臘石）	1.65	0.60	2.8	AlとSiから構成されMgをほとんど含まないことから葉臘石（パイロフィライト）と判定した
4	K-08719	原石	クリノクロア（緑泥石）	14.14	4.99	2.83	灰緑色を呈し，比重が2.8程度で，主成分元素がMg・Al・Fe・Siであることから緑泥石（クリノクロア）と判断した
5	K-08720	原石	クリノクロア（緑泥石）	10.36	3.69	2.81	灰緑色を呈し，比重が2.8程度で，主成分元素がMg・Al・Fe・Siであることから緑泥石（クリノクロア）と判断した
6	K-08721	石製品	クリノクロア（緑泥石）	8.46	3.12	2.71	灰緑色を呈し，比重が2.8程度で，主成分元素がMg・Al・Fe・Siであることから緑泥石（クリノクロア）と判断した
7	K-02350	石製品	クリノクロア（緑泥石）	2.98	1.06	2.81	灰緑色を呈し，比重が2.8程度で，主成分元素がMg・Al・Fe・Siであることから緑泥石（クリノクロア）と判断した
8	K-07175	石製品	クリノクロア（緑泥石）	2.86	1.01	2.83	灰緑色を呈し，比重が2.8程度で，主成分元素がMg・Al・Fe・Siであることから緑泥石（クリノクロア）と判断した
9	K-08938	石鏃	黒曜石	0.77	0.33	2.3	明瞭なガラスで比重が2.3程度であることから黒曜石と判定。黒みが弱く，透明感も弱い。中に黒雲母・斜長石の微晶が多く認められる。剥離面の凹凸が目立つことから，姫島北浦産に類似する

（5）考察

1）委託番号**1**・**2**・**3**：緑色を呈し，比重が2.8程度である。化学成分はほとんどがアルミニウム（Al）と珪素（Si）から構成され，マグネシウム（Mg）をほとんど含まないことから，葉臘石（パイロフィライト；$Al_2Si_4O_{10}(OH)_2$）と判定される。

2）委託番号**4**～**8**：灰緑色を呈し，比重が2.8程度である。主成分元素がMg・Al・Fe・Siであることから緑泥石（クリノクロア；$(Mg, Fe)_5Al(Si_3Al)O_{10}(OH)_8$）と判定される。

3）委託番号**9**：明瞭なガラスで，比重が2.3程度であることから黒曜石と判定。黒みが弱く，透明感も弱い。中に黒雲母・斜長石の微晶が多く認められる。剥離面の凹凸が目立つことから，姫島北浦産に類似するが，詳細は元素分析を実施して判別図法により産地を推定する。

委託番号１

委託番号２

委託番号３

委託番号４

委託番号５

委託番号６

委託番号７

委託番号８

委託番号９

権現脇遺跡出土石器写真

3　黒曜石製石器の産地推定（補足）

（1）はじめに

南島原市深江町に所在する権現脇遺跡から出土した黒曜石製石鏃について，エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い，原産地を推定した。

（2）試料と方法

分析対象は，権現脇遺跡より出土した黒曜石製石鏃1点（委託番号9）である（表1）。試料は，測定前にメラミンフォーム製のスポンジと精製水を用いて，表面の洗浄を行った。

第131表　分析対象

委託番号	取上番号	調査区	グリッド	層位	器種
9	8938	K区	K19-c	Ⅲb下層	石鏃

分析装置は，エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は，X線管ターゲットはロジウム（Rh），X線検出器はSDD検出器である。測定条件は，測定時間100sec，照射径8㎜，電圧50kV，電流1000μA，試料室内雰囲気は真空に設定し，一次フィルタにPb測定用を用いた。

黒曜石の産地推定には，蛍光X線分析によるX線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた（望月，1999など）。本方法は，まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し，その測定結果のうち，カリウム（K），マンガン（Mn），鉄（Fe），ルビジウム（Rb），ストロンチウム（Sr），イットリウム（Y），ジルコニウム（Zr）の合計7元素のX線強度（cps;count per second）について，以下に示す指標値を計算する。

1）Rb分率＝Rb強度＊100/（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）

2）Sr分率＝Sr強度＊100/（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）

3）Mn強度＊100/Fe強度

4）log（Fe強度/K強度）

そしてこれらの指標値を用いた2つの判別図（横軸Rb分率－縦軸Mn強度×100/Fe強度の判別図と横軸Sr分率－縦軸log（Fe強度/K強度）の判別図）を作成し，各地の原石データと石器のデータを照合して，産地を推定する方法である。この方法は，できる限り蛍光X線のエネルギー差が小さい元素同士を組み合わせて指標値を算出するため，形状，厚み等の影響を比較的受けにくく，原則として非破壊分析が望ましい考古遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。ただし，風化試料の場合，log（Fe強度/K強度）の値が減少する（望月，1999）。試料の測定面にはなるべく平滑な面を選んだ。

第132表　西日本黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別群	原石採取地（点数）
島根	隠岐	久見	久見パーライト中(6)，久見採掘現場(5)
		箕浦	箕浦海岸(3)，加茂(4)，岸浜(3)
大分	姫島	姫島	姫島(20)
佐賀	伊万里	腰岳	二ノ瀬(8)
長崎	佐世保	淀姫	淀姫神社(10)
熊本	球磨	白浜	白浜林道(14)
	人吉	桑ノ木	桑ノ木津留(17)，上青木(21)
鹿児島	大口	日東	日東(10)，五女木(10)，小川内(11)
	市来	市来	上牛鼻(10)，野下(9)，宇都川(7)，平木場(1)，黒岩川(9)
	鹿児島	三船	三船(10)
	垂水	小浜	小浜(5)
	錦江	長谷	長谷(10)

原石試料も，採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で，分析対象の石器と同様の条件で測定した。表2に各原石の採取地とそれぞれの試料点数を示す。

（3）分析結果

表3に石鏃の測定値および算出された指標値を，図1と図2に，日本列島西部における黒曜石原石の判別図に石鏃の分析結果をプロットした図を示す。なお，両図は視覚的にわかりやすくするため，各判別群を楕円で取り囲んである。分析の結果，石鏃は姫島群(大分県，姫島エリア)の範囲にプロットされた。表3に産地推定結果を示す。

第133表　測定値および産地推定結果

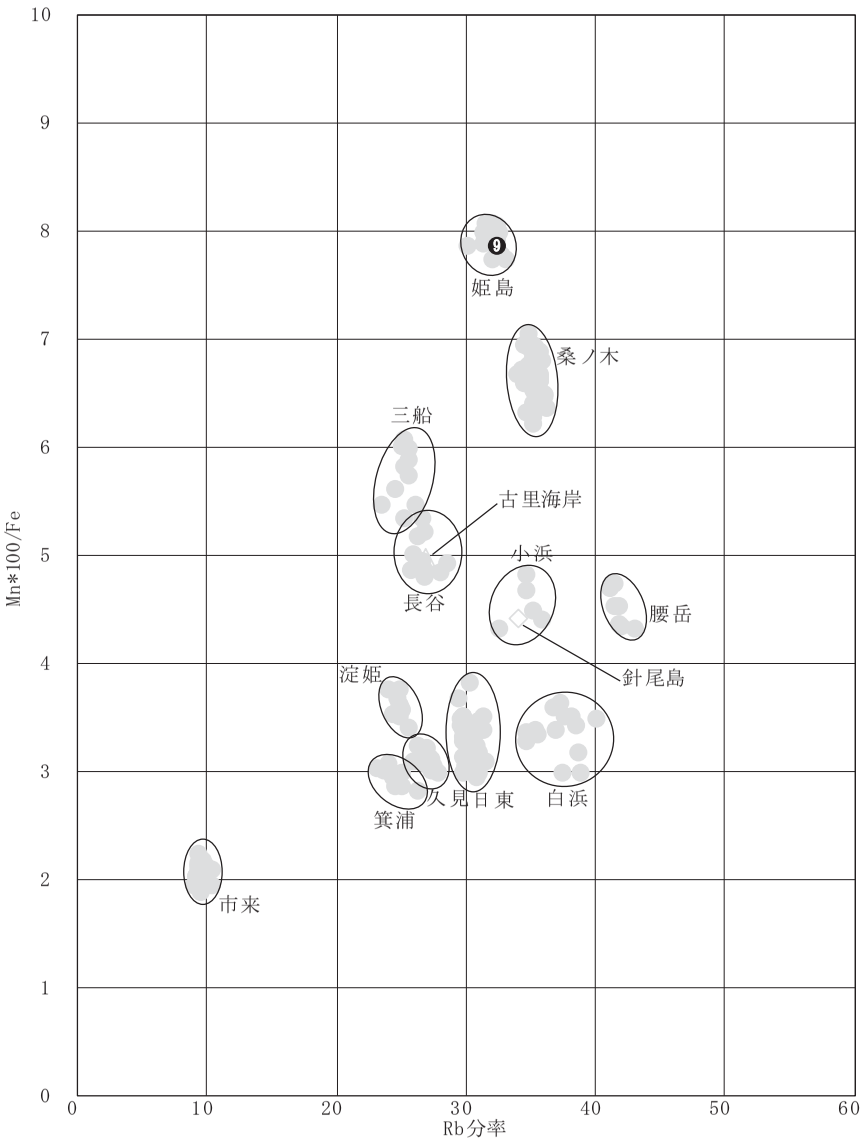
委託番号	K強度（cps）	Mn強度（cps）	Fe強度（cps）	Rb強度（cps）	Sr強度（cps）	Y強度（cps）	Zr強度（cps）	Rb分率	$\frac{Mn*100}{Fe}$	Sr分率	$Log\frac{Fe}{K}$	判別群	エリア
9	246.8	159.5	2030.0	464.3	390.2	217.5	359.0	32.45	7.86	27.27	0.92	姫島	姫島

（4）まとめ

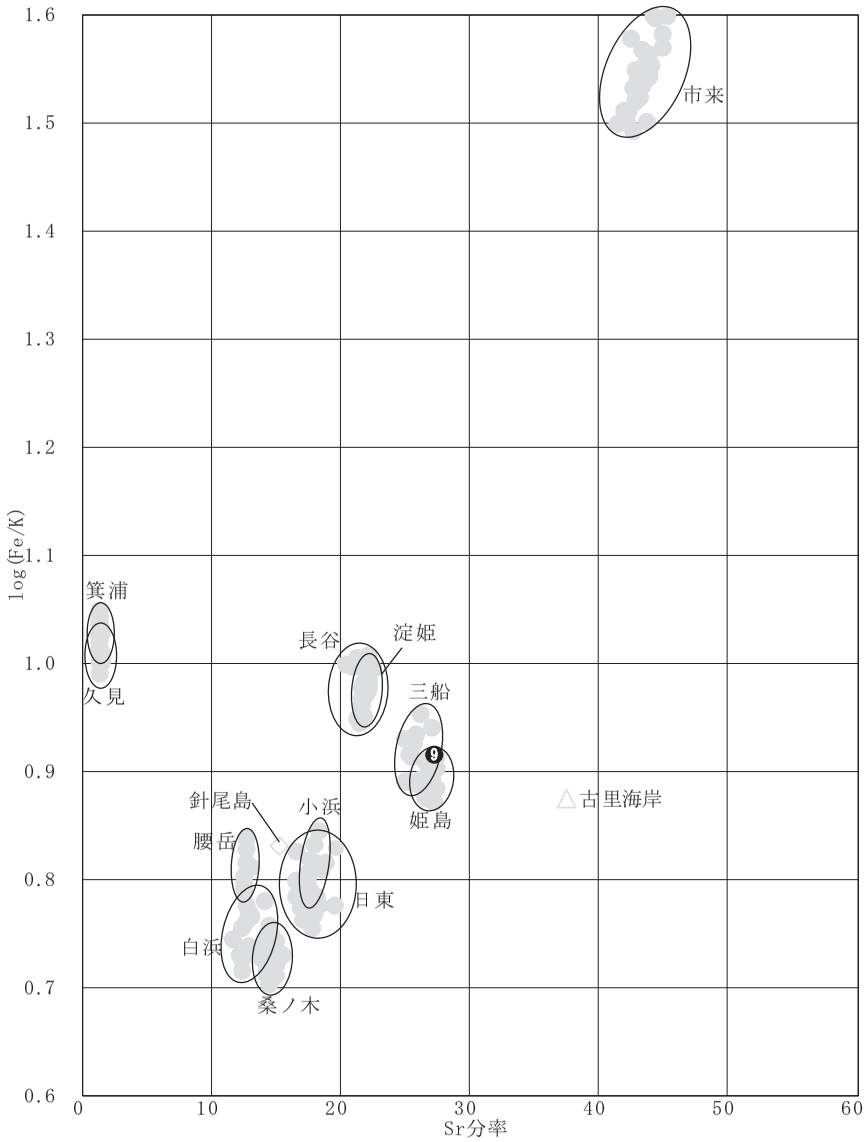
権現脇遺跡より出土した黒曜石製石鏃について，蛍光X線分析を用いた判別図法による産地推定を行った結果，姫島エリア産と推定された。

【引用文献】

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定．大和市教育委員会編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書2　―上和田城山遺跡篇―」：172-179，大和市教育委員会．



第274図　黒曜石産地推定判別図①



第275図　黒曜石産地推定判別図②

第Ⅴ章　まとめ

今回の権現脇遺跡の発掘調査では，縄文時代後期から突帯文期にかけての時期を主体とする多数の遺物の検出に至った。遺物の出土総数は，概算で16万点に及ぶ。土器については，肥後地方でいうところの御領式，天城式，古閑式と並行する時期のもの，黒川式（礫石原式）の時期のもの，突帯文期のものがみられる。御領式，天城式の時期に該当する資料はわずかで，まとまった出土をみせるのは古閑式並行段階以降の時期の資料である。

調査区ごとに出土遺物の時期についてみてみると，突帯文期以前の資料については各地区で広く出土する傾向にあるのに対して，突帯文期の資料はM・Ｌ区，Ｊ区，O区でまとまった出土をみせ，K区とN区ではほとんど出土がみられなかった。過去の調査においても，突帯文期以前の資料については各地区である程度まんべんなく出土するのに対して，突帯文期の資料はＢ・Ｃ区からＥ区にかけての範囲とG区でのみまとまって出土するという傾向がみられた。こうした状況から，権現脇遺跡のうち水無川右岸側，赤松谷断層崖上での縄文時代後期から突帯文期にかけての遺跡動向は，突帯文期以前の古閑式期，黒川式期においては断層崖上にある程度広く，あるいは継続的に展開し，一方，突帯文期に入るとＢ・Ｃ区，Ｅ区及びＬ・M区の一帯，G区とＪ区の一帯，O区の一帯の３地点において，一定の範囲をもった限定的な展開であったものと捉えられる。このことは，突帯文期の集落が分散的なものであったか，あるいは若干の時期差をもって断続的に場所を移しながら造営されたものとして理解する。

つぎに石器群のなかから石製品・装身具類について触れておく。K区においてはクリノクロア（緑泥石）の原石と不明石製品がグリッド K21-c，グリッド K21-d 地点でまとまって５点出土している。これらは，土器の出土傾向から突帯文期までは下らない時期のものと考えられる。また，パイロフィライト（葉臘石）製のものとして，Ｌ区で玉と管玉未成品がそれぞれ１点，M区で管玉が１点出土している。クリノクロア，パイロフィライトともに在地では産出しない石材であり，搬入したものであることは疑いのないところであるが，注目すべきは原石，未成品が含まれていることである。こうした状況は，石製品・装身具類が製品として流通してきたのではなく，石材として調達がなされ，権現脇遺跡内で加工，生産が行われていたことを推察させる。有溝砥石の存在とも合わせて，石製品・装身具類の生産を行う工房的なものの存在をうかがわせる成果といえよう。

遺構としては，まずK区の土器棺墓１基，M区の土器棺墓３基，O区の土器棺墓１基について取り上げたい。これらの墳墓は，縄文時代の後期末～晩期初頭の時期に位置づけられるもので，いずれも単独で造営されていた。過去の調査でもＥ区において２基の土器棺墓が検出されているが、それらと同時期で，単独での造営という点でも共通する。土器棺の埋置のあり方としては，直立単棺のものと，直立で合口の蓋となる鉢もしくは浅鉢をもつものとがみられ，底部を意図的に欠いたと思われるものが含まれている。いずれも土器棺のサイズを考えれば小児用の墳墓であると考えられる。今回検出には至らなかった成人墓は，おそらく土坑墓の形態をとるのではないかと思われるが，今後の島原半島地域における当該期墓制の解明すべき課題のひとつとして留意しておきたい。

つぎに，Ｊ区において検出された土坑墓２基，土器棺墓４基についてである。いずれも突帯文期に属するもので，近接した位置関係において検出されており，明確に墓域を意識したうえでそれぞれの墳墓が造営されたものと理解できる。また，墳墓の規模から土坑墓は成人のもの，土器棺墓は小児のものと思われ，成人については伸展姿勢で供献土器を配置して土坑に埋葬し，小児については土器棺によって埋葬するという，葬送上の風習が存在していたものと推察される。さらに，２基の土坑墓と４号土器棺墓に標石の可能性がある礫の配置がみられたことは，支石墓などとの関係性も含め注目す

るところである。土器棺墓には，甕を合口で直立埋置するもの，甕を合口で横位に埋置するもの，甕単棺で土器破片を蓋として被せるものがあり，被葬者の年齢，体格などが関係する可能性が考えられる。

過去の調査でもＢ区において突帯文期の土器棺墓１基を検出している。この土器棺墓は単棺，直立で，底部は意図的に打ち欠いた状態で埋置されていたが，今回のＪ区で検出した土器棺墓群に後続する時期のものである可能性が高い。Ｊ区段階での墓域形成を伴う墳墓造営とＢ区段階での単独での墳墓造営というこの差異には，集落規模の縮小や葬送風習の変化などを反映していることも考えられる。

遺物の分布傾向から想定しうる縄文時代後期から突帯文期にかけての集落動向が，各地区において検出された単独造営の土器棺墓やＪ区における墓域形成とも連動したものであったと仮定するならば，縄文時代末から突帯文期にかけての社会的な成熟や生業形態の変化・転換といったことが背景となって，あるいは居住域，墓域，耕作地など，土地利用における社会的規律の明瞭化を促していったことなども視野に入れることができようか。いずれにしても，権現脇遺跡においては，住居跡など建物の検出にはいまだ至っておらず，また周辺遺跡との関係性も不明点が多い。今後の調査や研究に期待するところが大きい。

今回の発掘調査において，Ⅳ層上面での多数の倒木痕の検出に至ったことは，火山学的にも雲仙火山の有史以前の様相を知るうえで非常に大きな成果となった。発掘調査が眉山南麓一帯の広範囲を対象としたことで倒木痕の方向性の検証が可能となり，倒木痕形成の要因となった爆風と権現脇遺跡周辺に堆積した火砕サージの発生源は，遺跡北側の眉山の噴火活動であることをほぼ確定的なものとした。また，倒木痕内での炭化物の採取がかない，3,600±30years BP という測定結果を得ることができたことで，縄文時代における眉山の噴火活動年代と権現脇遺跡をはじめとした周辺の縄文遺跡との関係性についても検証が可能となった。縄文時代，眉山の噴火によって大きな環境変化を受けた権現脇遺跡周辺は，500年程度の時間をおいて人類が生活できる状態まで自然環境の回復が進んだことになる。雲仙の火山活動と人類活動との関わりの一端を示す成果といえる。

周辺遺跡での権現脇火砕サージの状況を見てみると，眉山から南方約2.5km の距離にある権現脇遺跡を通過してその延長線上，南方約５km の距離にある古作遺跡の発掘調査においては，権現脇遺跡第Ⅳ層（権現脇火砕サージ）と同一と考えられる無遺物の火山灰層を肉眼観察ではあるが確認している。縄文時代前期の遺物包含層と縄文時代後期の遺物包含層とに挟まれた状態での検出であり，その層厚は５～10cm 程度を測り，権現脇遺跡の15～20cm 程度と比べれば薄い。このことは，権現脇火砕サージの到達距離や眉山噴火の爆発規模などを推察するうえで大きな情報となろう。また一方，眉山から南東方向，５km を超える距離にある出口遺跡，諏訪ノ上遺跡の発掘調査においては，権現脇火砕サージの堆積を確認できていない。

眉山周辺における権現脇火砕サージの検出の有無は，発生源である眉山からの距離を反映したものであるのか，あるいは権現脇火砕サージが同心円状に全方位的に放出されたものではなく，一定の限定的な放射角度をもったものであったのか，今後の眉山周辺での発掘調査や地質調査の事例を蓄積しての検討課題となってこよう。特に眉山北麓部での様相には注視していきたい。

【参考文献】

本多和典編　2006『権現脇遺跡』深江町文化財調査報告書第２集　深江町教育委員会
本多和典　2007『権現脇遺跡』南島原市文化財調査報告書第１集　南島原市教育委員会
本多和典　2018『古作遺跡』南島原市文化財調査報告書第10集　南島原市教育委員会
本多和典　2020『諏訪ノ上遺跡』南島原市文化財調査報告書第21集　南島原市教育委員会
本多和典　2021『出口遺跡』南島原市文化財調査報告書第27集　南島原市教育委員会

図　版

雲仙と権現脇遺跡

J 区航空写真

K 区航空写真

図版２

L 区航空写真

M 区航空写真

N 区航空写真

O 区航空写真

溶岩ドーム直下の権現脇遺跡

眉山と M 区権現脇火砕サージ面

Ｊ区土層堆積状況①

Ｊ区土層堆積状況②

Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①

Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②

Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況③

Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況④

Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況⑤

Ｊ区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況⑥

図版４

Ｊ区１号土坑墓①

Ｊ区１号土坑墓②

Ｊ区１号土坑墓供献土器

Ｊ区２号土坑墓

Ｊ区２号土坑墓供献土器

Ｊ区１号土器棺墓

Ｊ区２号土器棺墓

Ｊ区３号土器棺墓

Ｊ区Ⅲｂ上層遺物検出状況①

Ｊ区Ⅲｂ上層遺物検出状況②

Ｊ区Ⅲｂ下層遺物検出状況①

Ｊ区Ⅲｂ下層遺物検出状況②

Ｊ区Ⅲｂ下層遺物検出状況③

Ｊ区作業状況①

Ｊ区作業状況②

Ｊ区作業状況③

図版６

K 区土層堆積状況①

K 区土層堆積状況②

K 区IV層上面遺構検出状況①

K 区IV層上面遺構検出状況②

K 区IV層上面遺構検出状況③

K 区IV層上面遺構検出状況④

K 区土器棺墓検出状況

K 区集石検出状況

L 区土層堆積状況①

L 区土層堆積状況②

L 区Ⅲ b 下層上面遺構検出状況①

L 区Ⅲ b 下層上面遺構検出状況②

L 区Ⅳ層上面遺構検出状況①

L 区Ⅳ層上面遺構検出状況②

L 区Ⅳ層上面遺構検出状況③

L 区Ⅳ層上面遺構検出状況④

図版８

L 区大型土坑検出状況①

L 区大型土坑検出状況②

L 区Ⅲａ層遺物検出状況①

L 区Ⅲａ層遺物検出状況②

L 区Ⅲｂ上層遺物検出状況①

L 区Ⅲｂ上層遺物検出状況②

L 区Ⅲｂ下層遺物検出状況①

L 区Ⅲｂ下層遺物検出状況②

L 区作業状況①

L 区作業状況②

L 区作業状況③

L 区作業状況④

L 区作業状況⑤

L 区作業状況⑥

火砕流避難訓練実施状況①

火砕流避難訓練実施状況②

図版10

M 区土層堆積状況①（タバコ畑の畝）

M 区土層堆積状況②（タバコ畑の畝間）

M 区土層堆積状況③

M 区土層堆積状況④

M 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①

M 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②

M 区Ⅳ層上面遺構検出状況①

M 区Ⅳ層上面遺構検出状況②

M 区溝検出状況

M 区 1 号土器棺墓検出状況

M 区 2 号土器棺墓検出状況

M 区 3 号土器棺墓検出状況

M 区Ⅲ a 層遺物検出状況①

M 区Ⅲ a 層遺物検出状況②

M 区Ⅲ b 上層遺物検出状況①

M 区Ⅲ b 上層遺物検出状況②

図版12

M区Ⅲb上層遺物検出状況③

M区Ⅲb上層遺物検出状況④

M区Ⅲb下－1層遺物検出状況①

M区Ⅲb下－1層遺物検出状況②

M区Ⅲb下－2層遺物検出状況①

M区Ⅲb下－2層遺物検出状況②

M区Ⅲb下－2層遺物検出状況③

M区Ⅲb下－2層遺物検出状況④

M 区作業状況①

M 区作業状況②

M 区作業状況③

M 区作業状況④

M 区作業状況⑤

M 区作業状況⑥

岩屑なだれ避難訓練実施状況①

岩屑なだれ避難訓練実施状況②

図版14

N 区土層堆積状況①

N 区土層堆積状況②

N 区土層堆積状況③

N 区土層堆積状況④

N 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①

N 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②

N 区Ⅳ層上面遺構検出状況①

N 区Ⅳ層上面遺構検出状況②

N 区Ⅲ a 層遺物検出状況①

N 区Ⅲ a 層遺物検出状況②

N 区Ⅲ b 上層遺物検出状況①

N 区Ⅲ b 上層遺物検出状況②

N 区Ⅲ b 下層遺物検出状況①

N 区Ⅲ b 下層遺物検出状況②

図版16

O 区土層堆積状況①

O 区土層堆積状況②

O 区土層堆積状況③

O 区土層堆積状況④

O 区土層堆積状況⑤（タバコ畑の畝）

O 区土層堆積状況⑥（タバコ畑の畝間）

O 区大型土坑検出状況

O 区土器棺墓検出状況

O 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況①

O 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況②

O 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況③

O 区Ⅲｂ下層上面遺構検出状況④

O 区Ⅳ層上面遺構検出状況①

O 区Ⅳ層上面遺構検出状況②

O 区Ⅳ層上面遺構検出状況③

O 区Ⅳ層上面遺構検出状況④

図版18

O 区Ⅳ層上面遺構検出状況⑤

O 区Ⅳ層上面遺構検出状況⑥

O 区Ⅲ a 層遺物検出状況①

O 区Ⅲ a 層遺物検出状況②

O 区Ⅲ b 上層遺物検出状況①

O 区Ⅲ b 上層遺物検出状況②

O 区Ⅲ b 下 - 1 層遺物検出状況

O 区Ⅲ b 下 - 2 層遺物検出状況

倒木痕１検出状況

倒木痕１半裁状況

倒木痕２検出状況

倒木痕２半裁状況

倒木痕３検出状況

倒木痕３半裁状況

倒木痕４検出状況

倒木痕４半裁状況

K 区倒木痕①

図版20

倒木痕５検出状況

倒木痕５半裁状況

倒木痕６検出状況

倒木痕６半裁状況

倒木痕８検出状況

倒木痕８半裁状況

倒木痕９検出状況

倒木痕９半裁状況

K 区倒木痕②

倒木痕10検出状況

倒木痕10半裁状況

倒木痕11検出状況

倒木痕11半裁状況

倒木痕12検出状況

倒木痕13検出状況

倒木痕13半裁状況

K 区倒木痕③

図版22

倒木痕14検出状況

倒木痕14半裁状況

倒木痕15検出状況

倒木痕15半裁状況

倒木痕16検出状況

倒木痕16半裁状況

倒木痕17検出状況

倒木痕17半裁状況

K 区倒木痕④

L 区倒木痕①（奥が眉山，人の向きが倒木方向）

L 区倒木痕②（写真右が眉山方向，人の向きが倒木方向）

図版24

倒木痕３半裁状況

倒木痕６半裁状況

倒木痕７半裁状況

倒木痕８半裁状況

倒木痕８・９半裁状況

倒木痕14半裁状況

倒木痕15半裁状況

倒木痕19半裁状況

L 区倒木痕③

倒木痕１検出状況

倒木痕２検出状況

倒木痕２半裁状況

倒木痕３検出状況

倒木痕３半裁状況

倒木痕４検出状況

倒木痕４半裁状況

M 区倒木痕①

図版26

倒木痕５検出状況

倒木痕５半裁状況

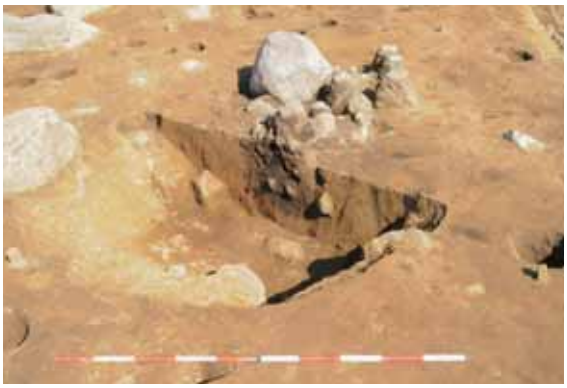
倒木痕６検出状況

倒木痕６半裁状況

倒木痕７検出状況

倒木痕７半裁状況

倒木痕８検出状況



倒木痕８半裁状況

M 区倒木痕②

倒木痕９検出状況

倒木痕９半裁状況

倒木痕10検出状況

倒木痕10半裁状況

倒木痕11検出状況

倒木痕11半裁状況

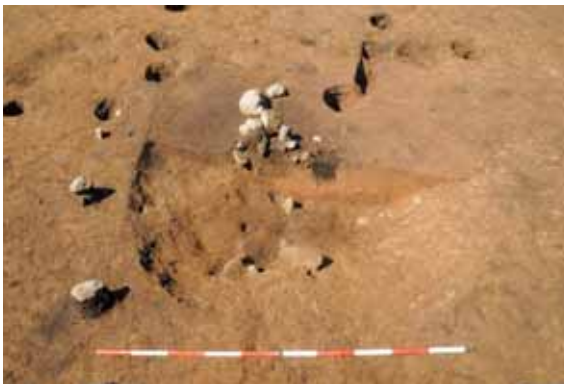
倒木痕12検出状況

倒木痕12半裁状況

M 区倒木痕③

図版28

倒木痕13検出状況



倒木痕13半裁状況

眉山と倒木痕検出位置（人の向きが倒木方向）

M 区倒木痕④

倒木痕１検出状況

倒木痕１半裁状況

倒木痕２検出状況

倒木痕２半裁状況①

倒木痕２半裁状況②

N 区倒木痕

図版30

倒木痕１検出状況

倒木痕１半裁状況

倒木痕２検出状況

倒木痕２半裁状況

倒木痕３検出状況

倒木痕３半裁状況

倒木痕４検出状況

倒木痕４半裁状況

O 区倒木痕①

倒木痕５検出状況

倒木痕５半裁状況

倒木痕６検出状況

倒木痕６半裁状況

倒木痕７検出状況

倒木痕７半裁状況

倒木痕８検出状況

倒木痕８半裁状況

O 区倒木痕②

J区1号土坑墓出土遺物

J区2号土坑墓出土遺物

J区1号土器棺墓出土遺物

J区２号土器棺墓出土遺物

J区３号土器棺墓出土遺物

図版34

J区４号土器棺墓出土遺物

K区土器棺墓出土遺物

1

2−上

2−下

M区1号土器棺墓出土遺物

図版36

M区２号土器棺墓出土遺物

M区３号土器棺墓出土遺物

1−1

1−2

2−上

2−下

3−1

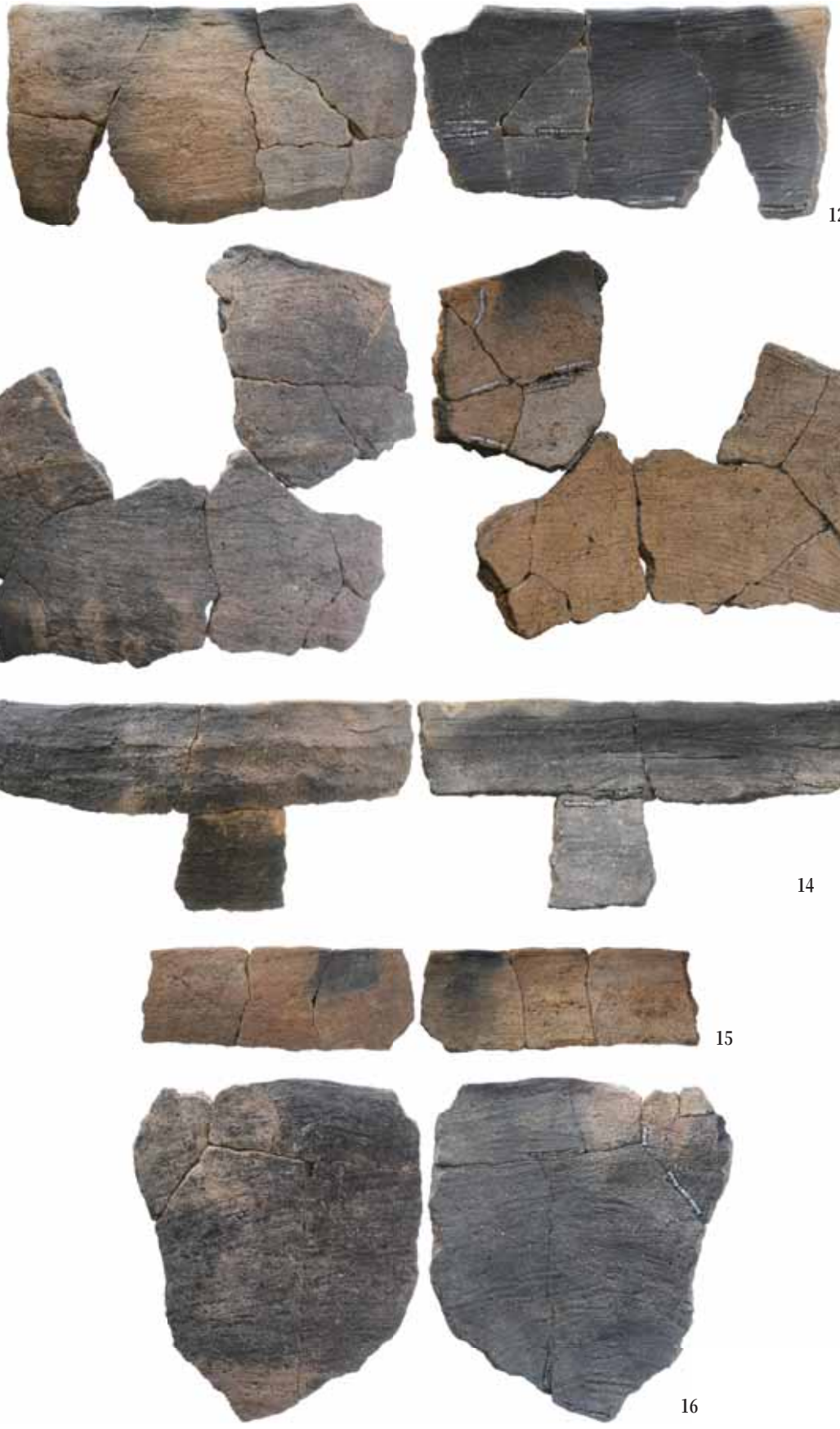
3−2

O区土器棺墓出土遺物

図版38

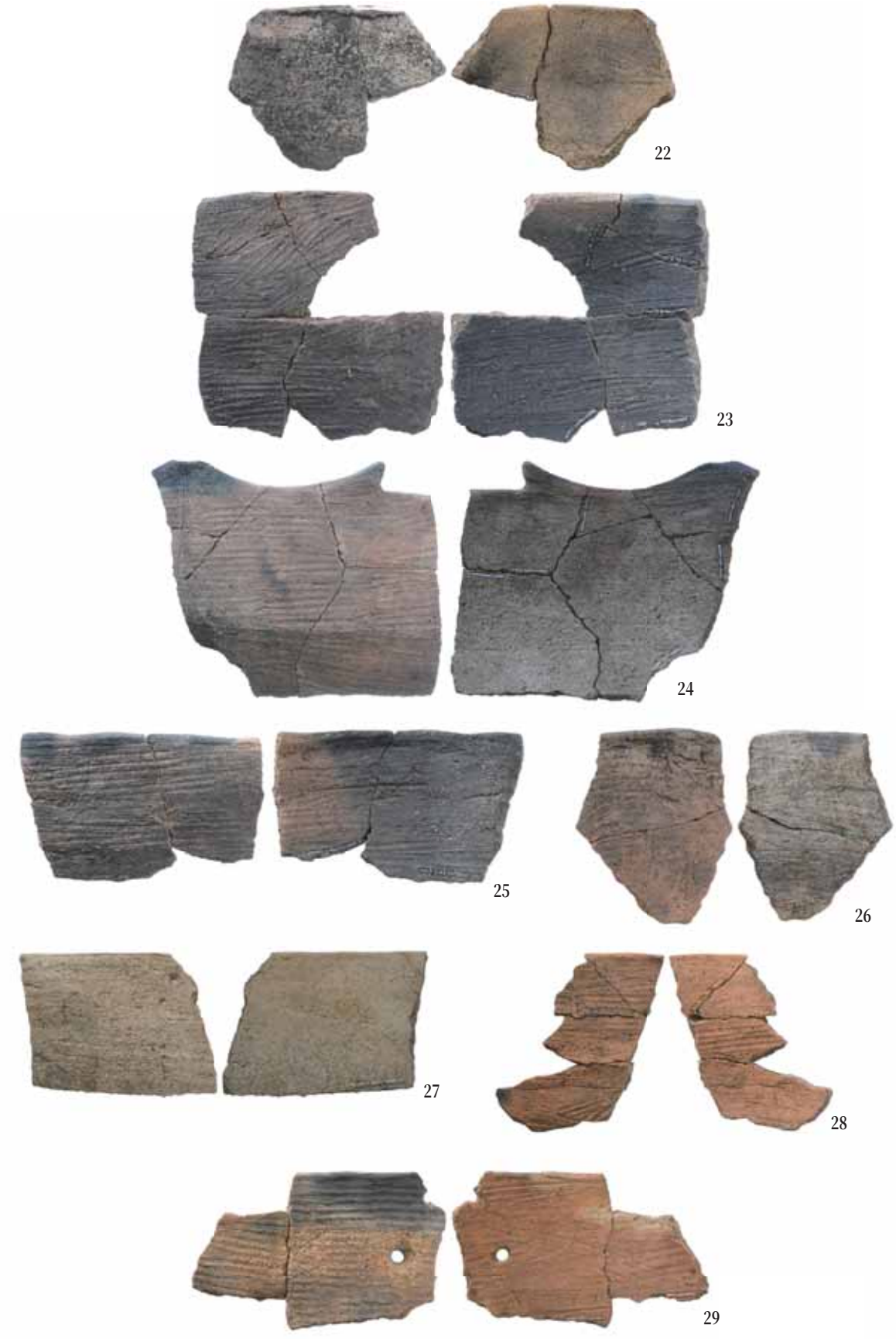
縄文時代早期の土器

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類①〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類②〕

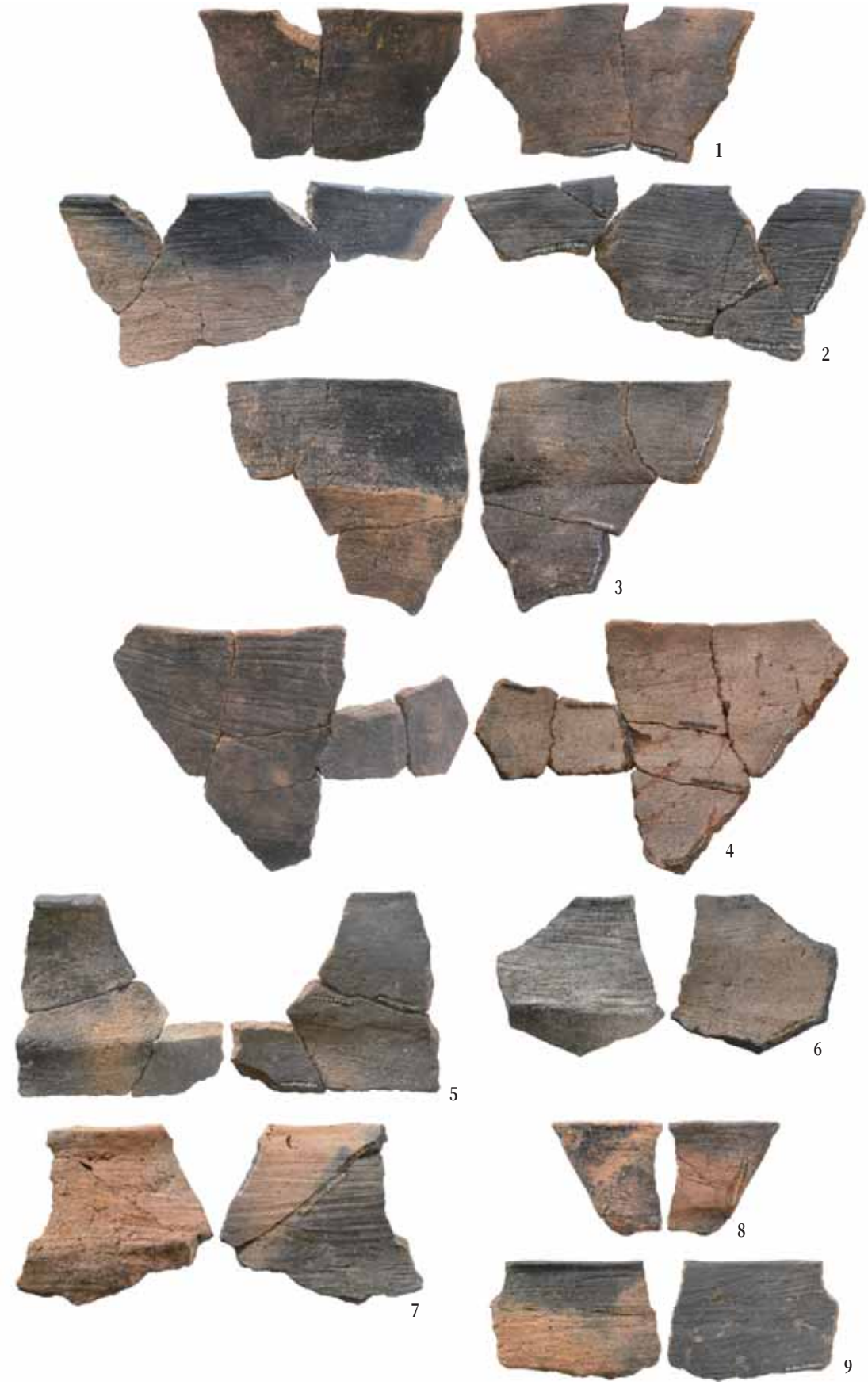
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類③〕



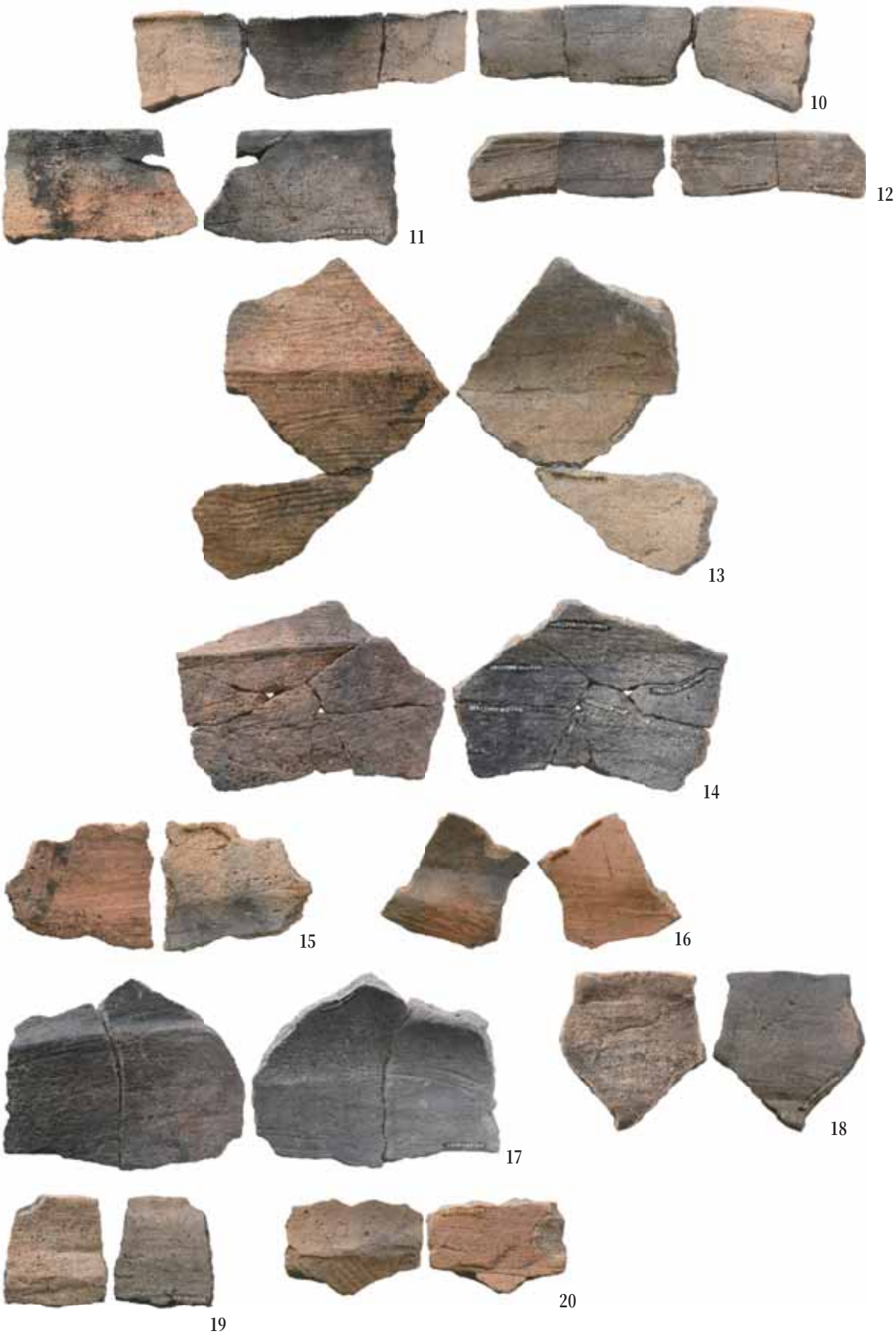
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類④〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢A類⑤〕

図版44

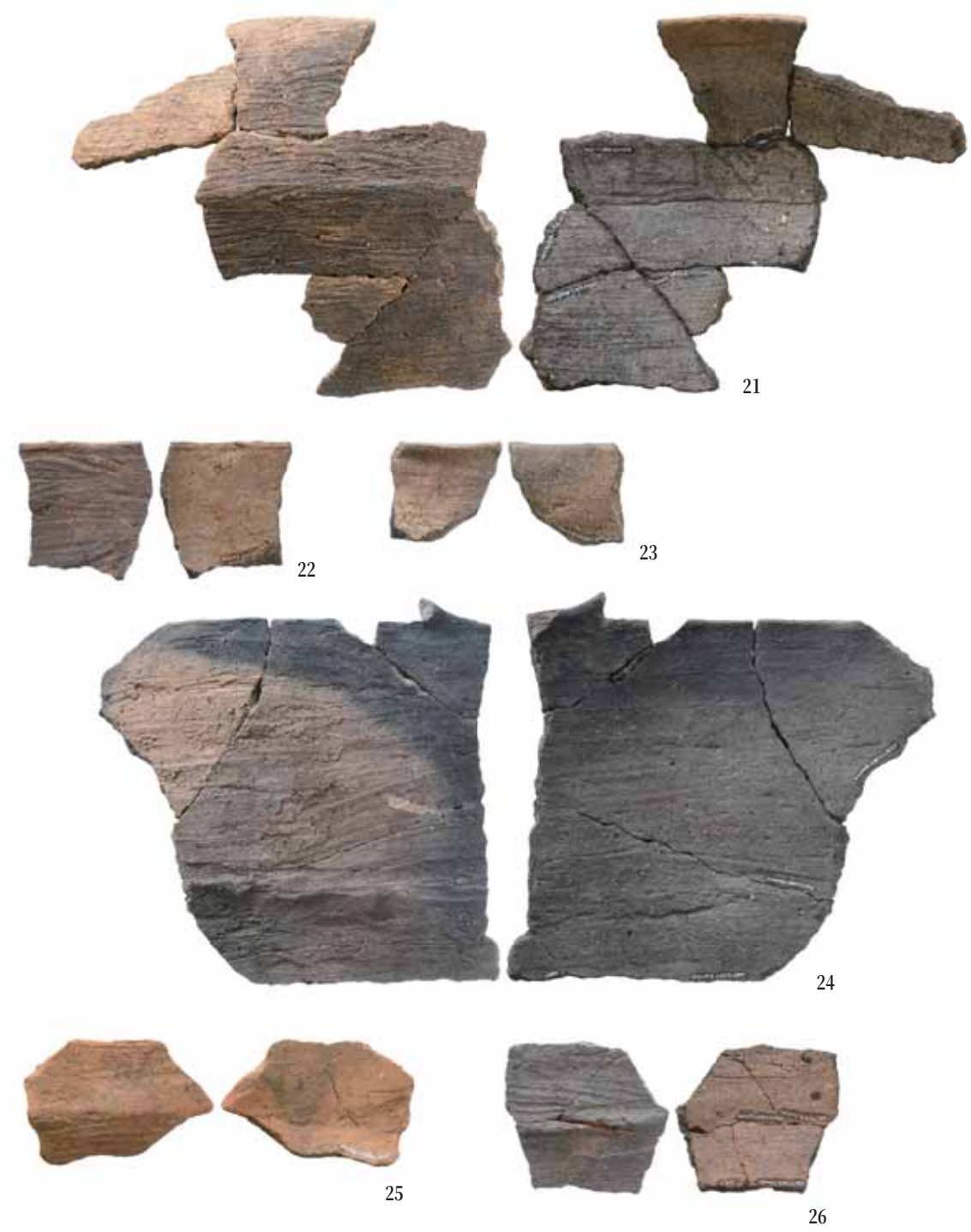


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類①〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類②〕

図版46



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類③〕

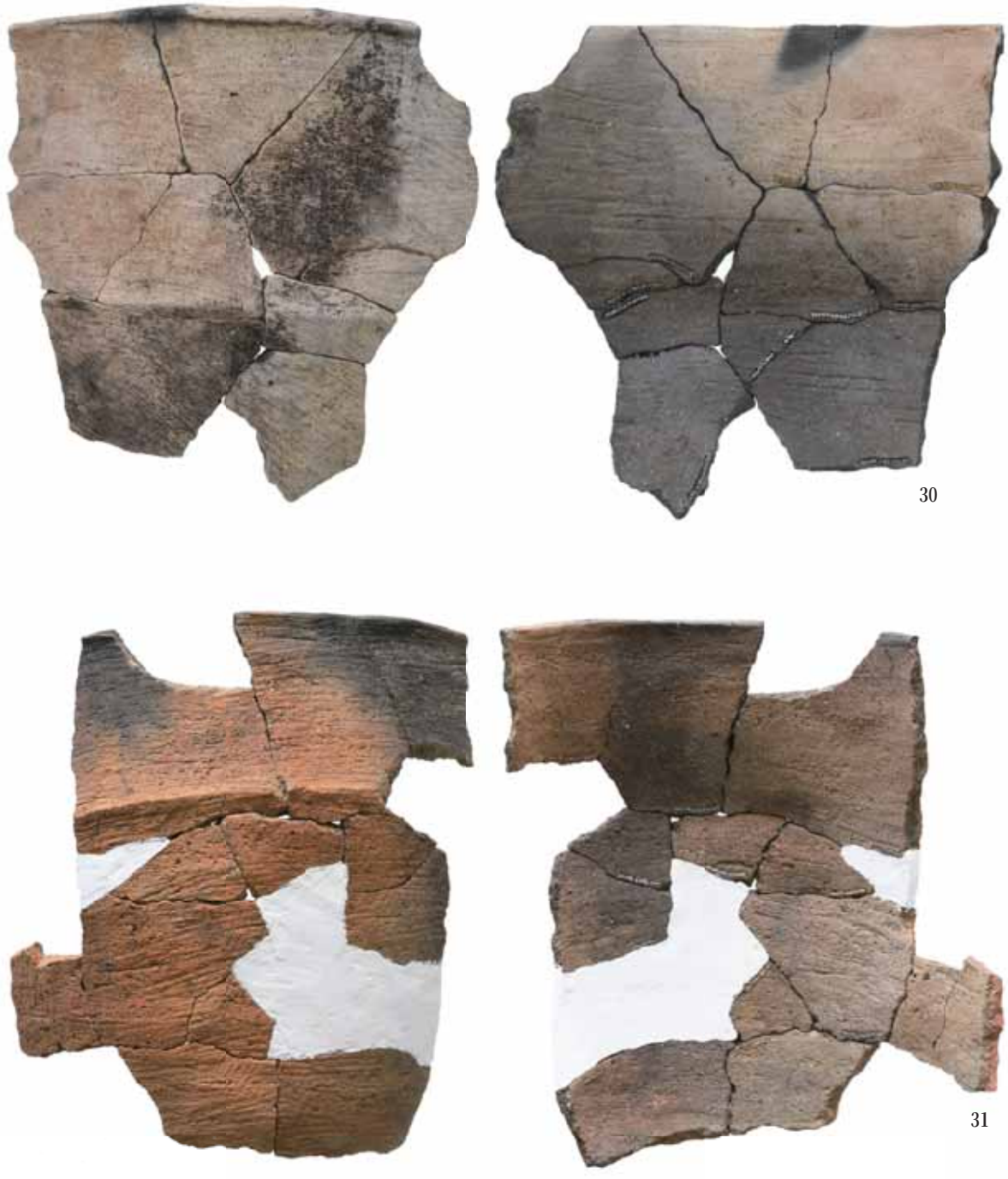
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類④〕

29

32

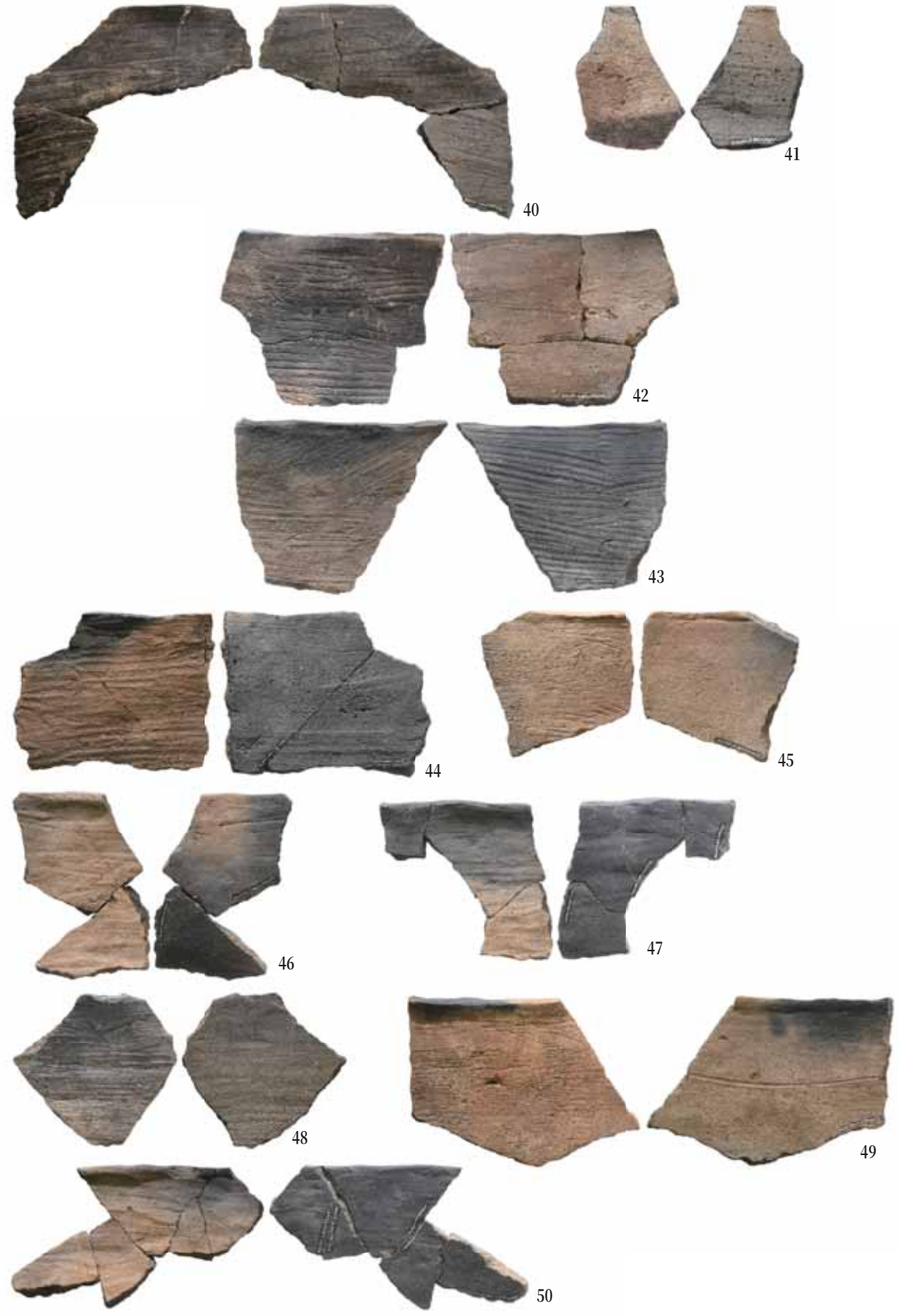
33

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑤〕

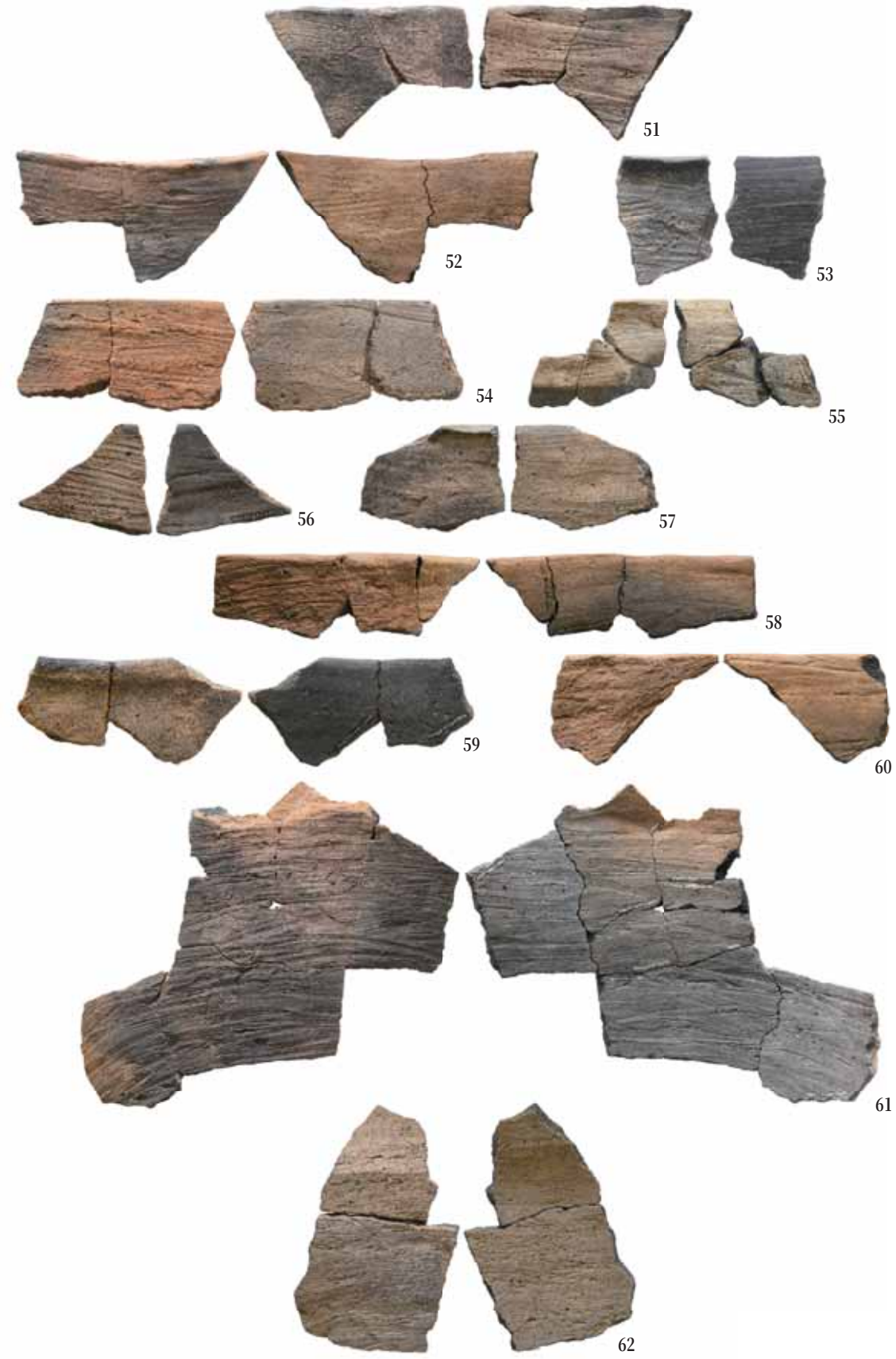


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑥〕

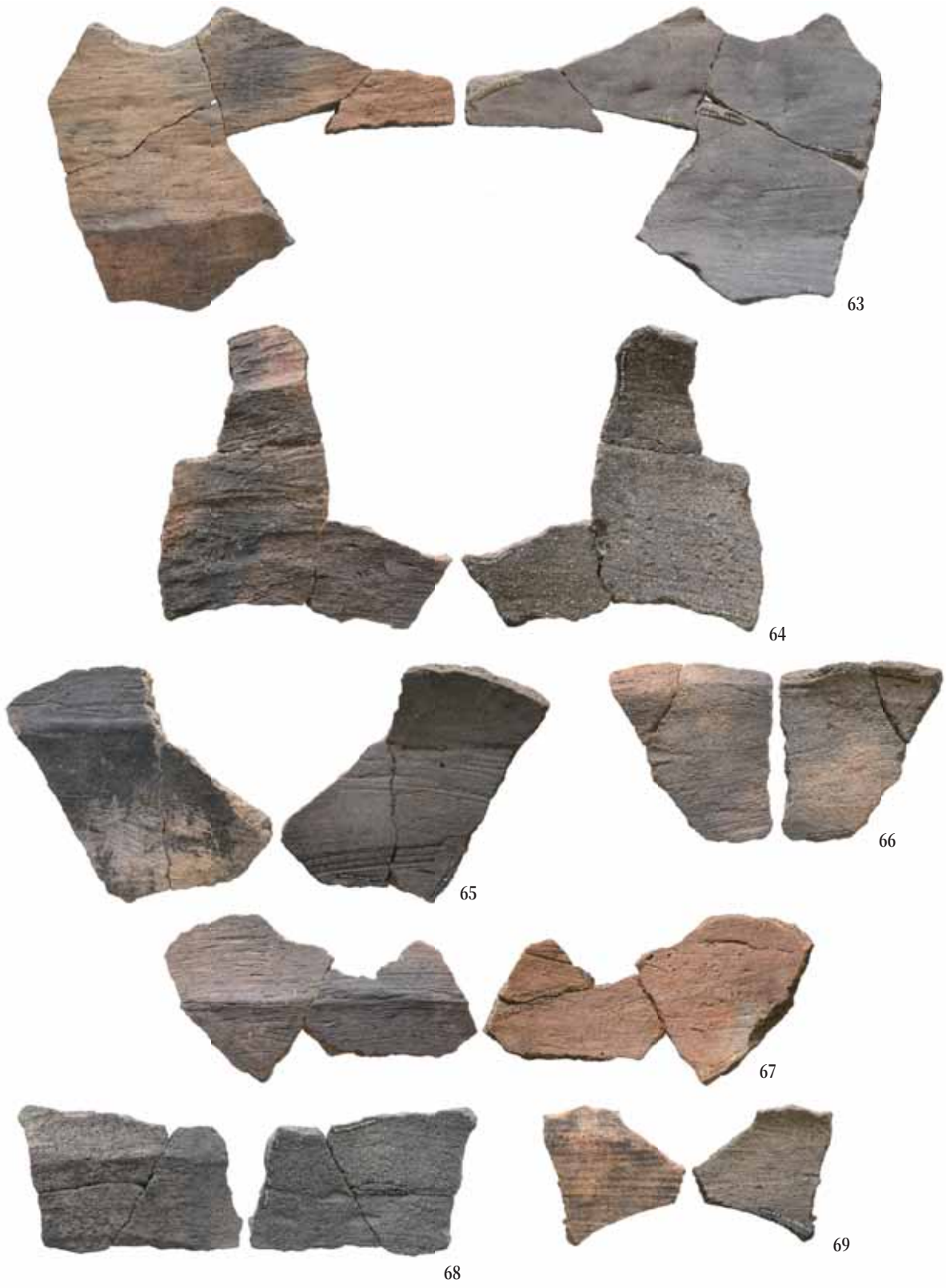
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑦〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑧〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑨〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑩〕

図版54

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｂ類⑪，深鉢Ｃ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類②〕

図版56

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類③〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類④〕

69

69

78

79

80

81

82

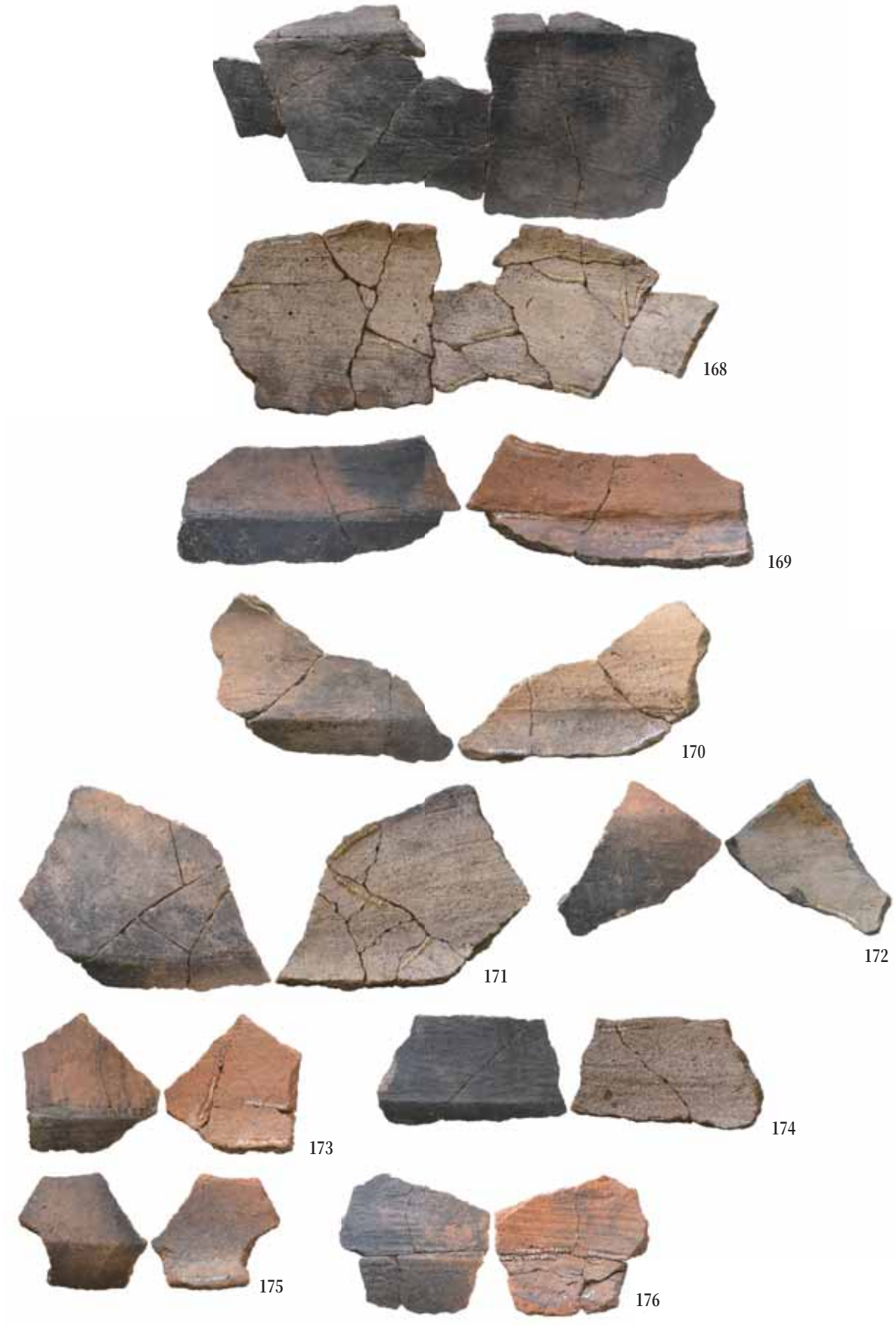
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑤〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑥〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑦〕

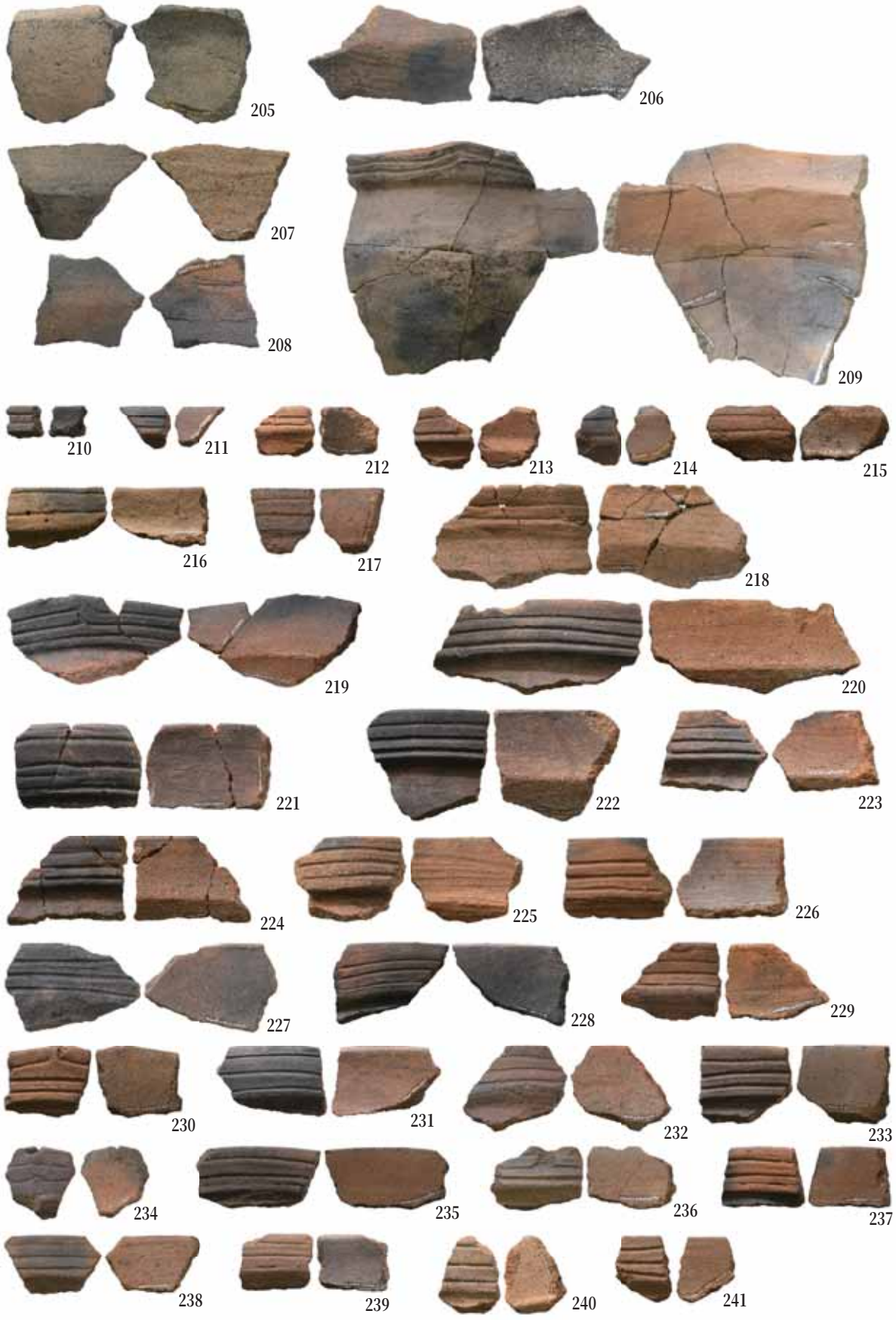
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑧〕

図版62

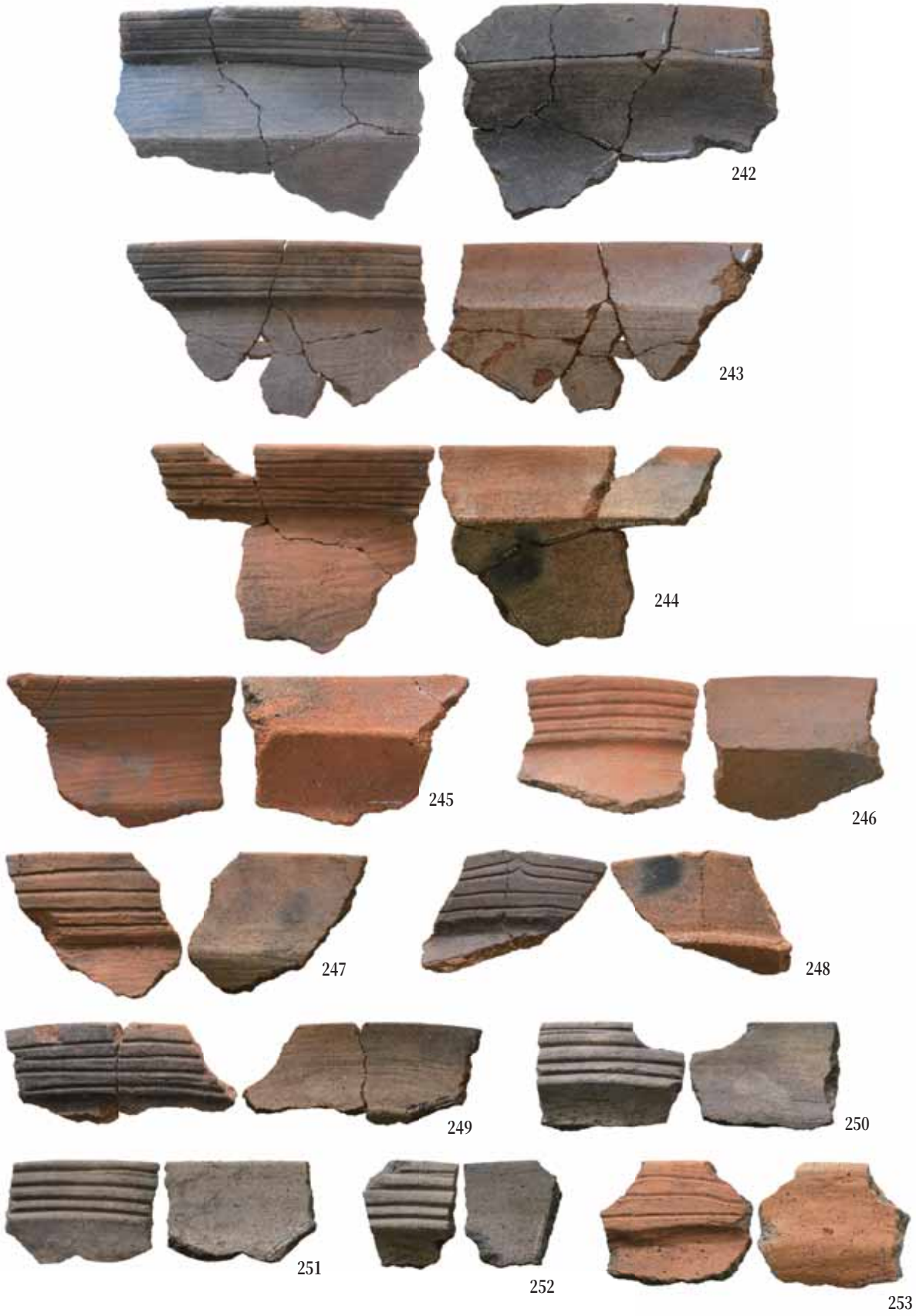


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑨〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑩〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑪〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑫〕

図版66

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑬〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑭〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑮〕

361

362

363

364

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑯〕

365

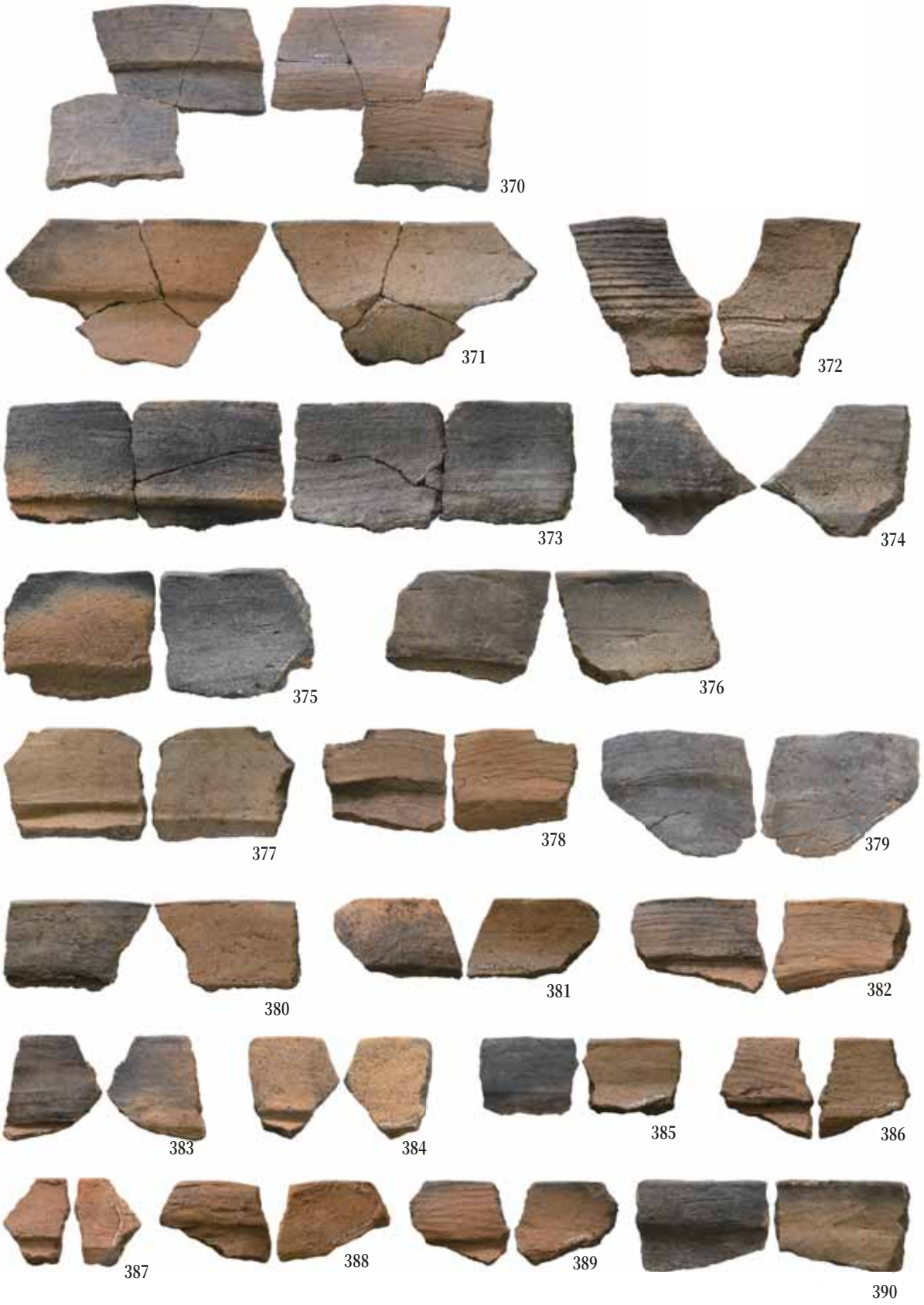
366

367

368

369

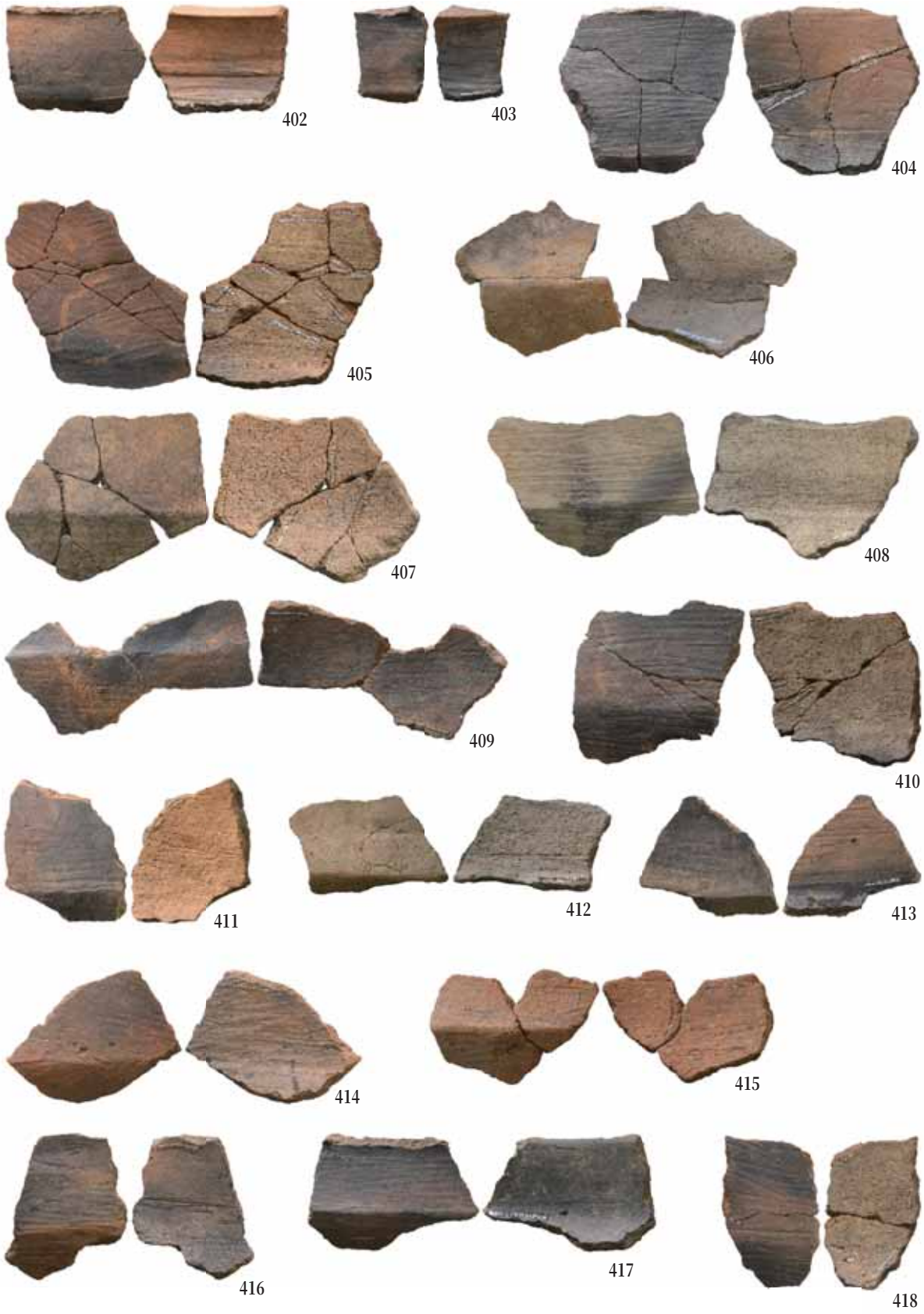
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑰〕



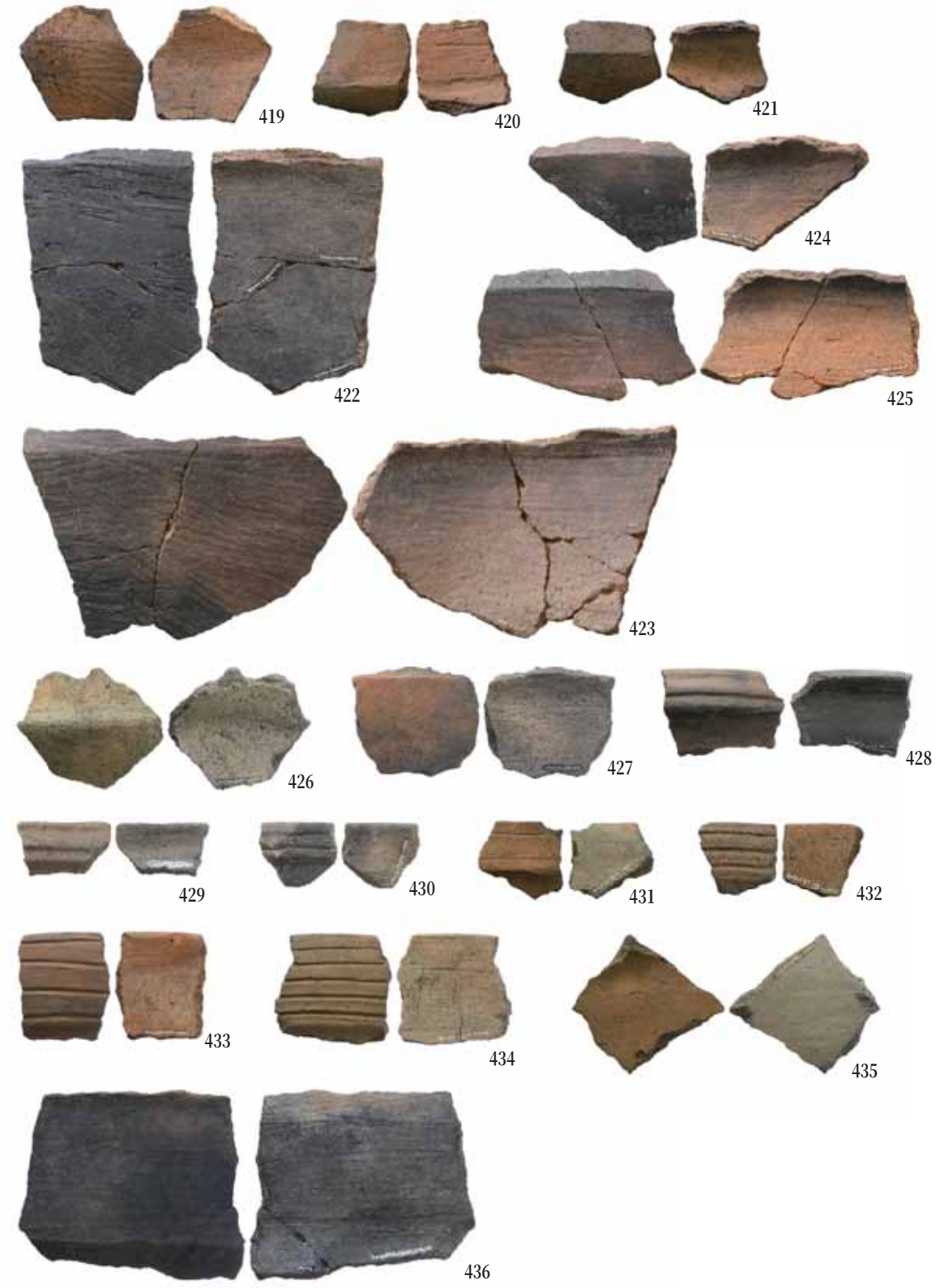
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑱〕

図版72

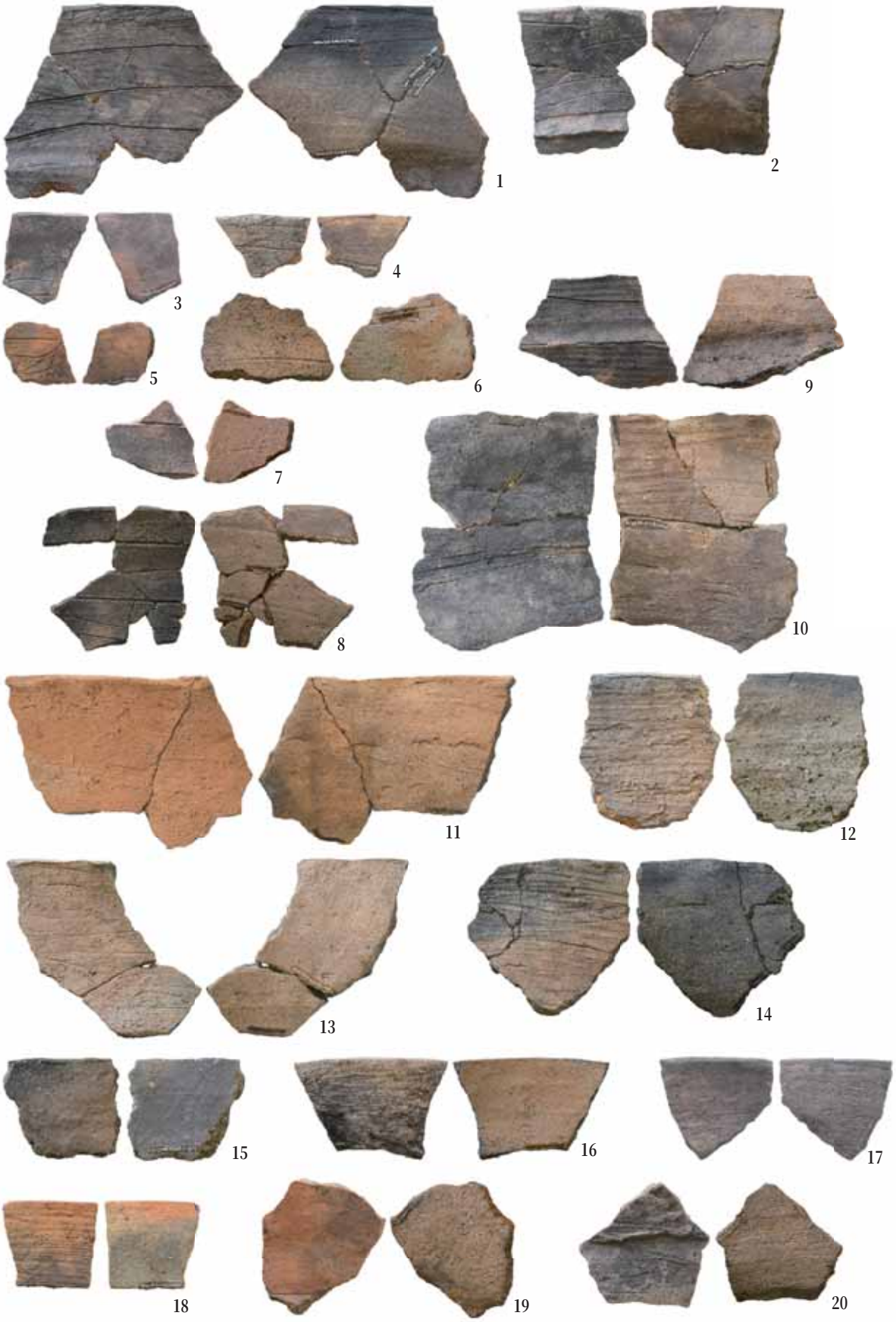
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類⑲〕



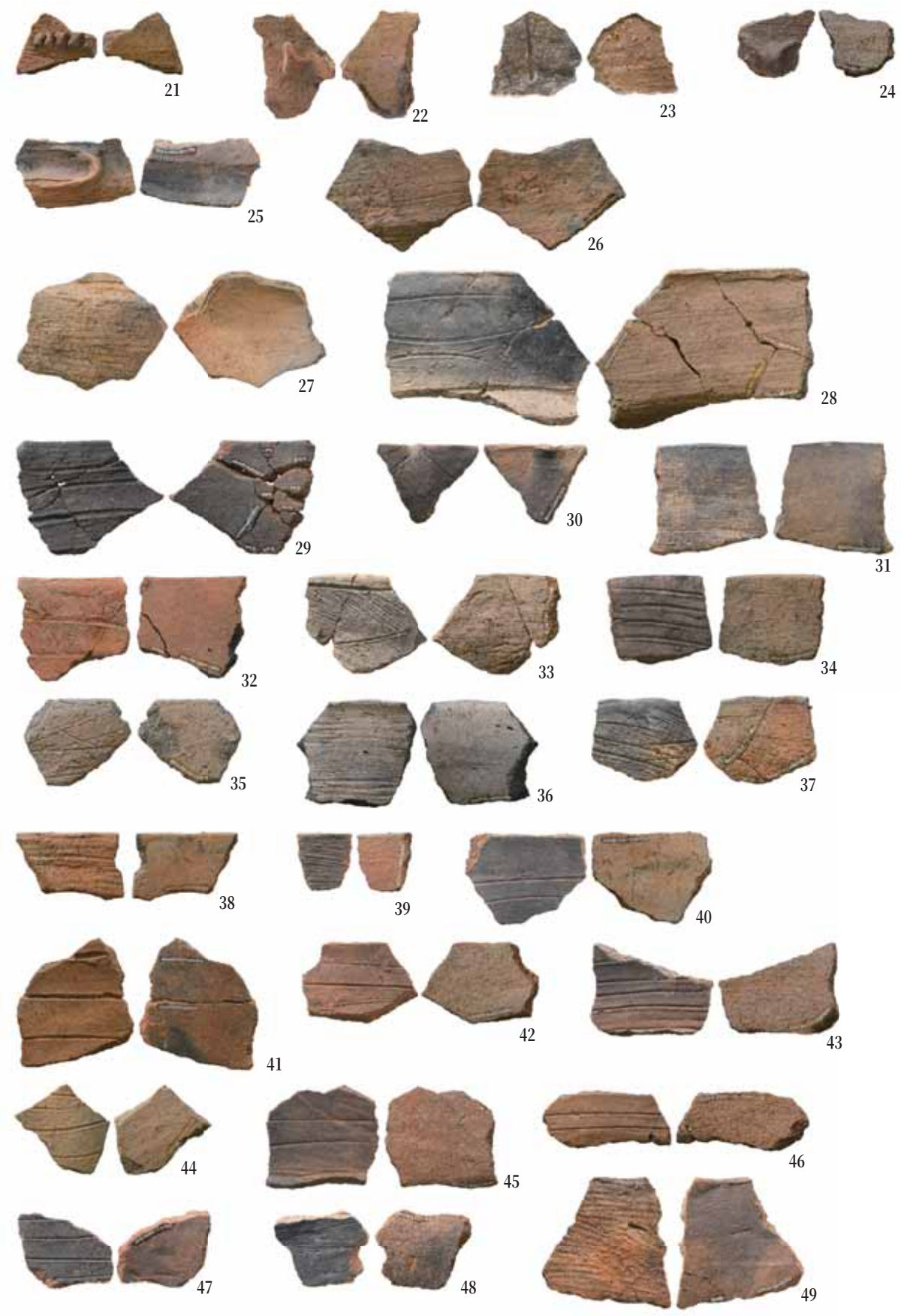
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢C類⑳〕



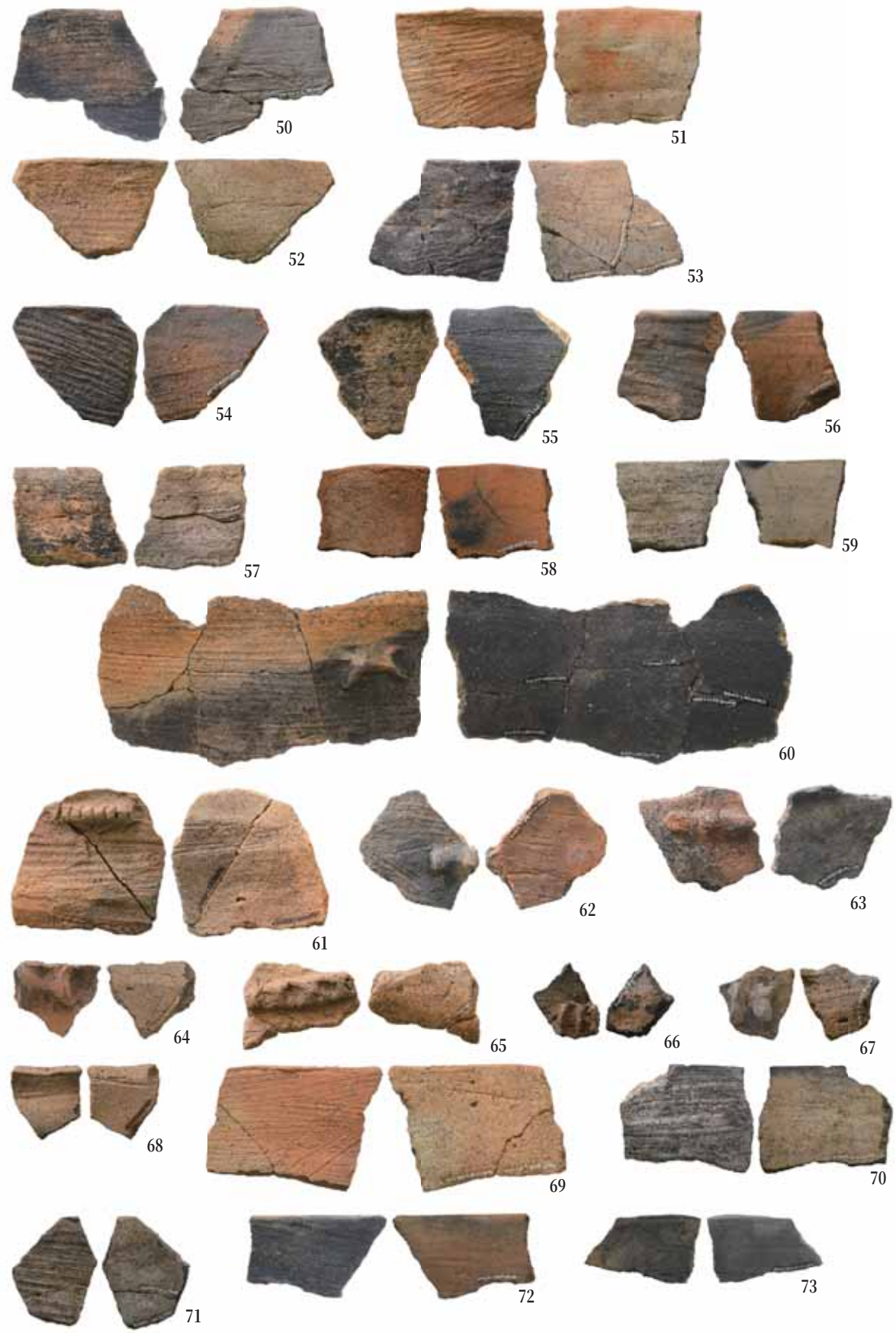
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｃ類㉑〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類①〕

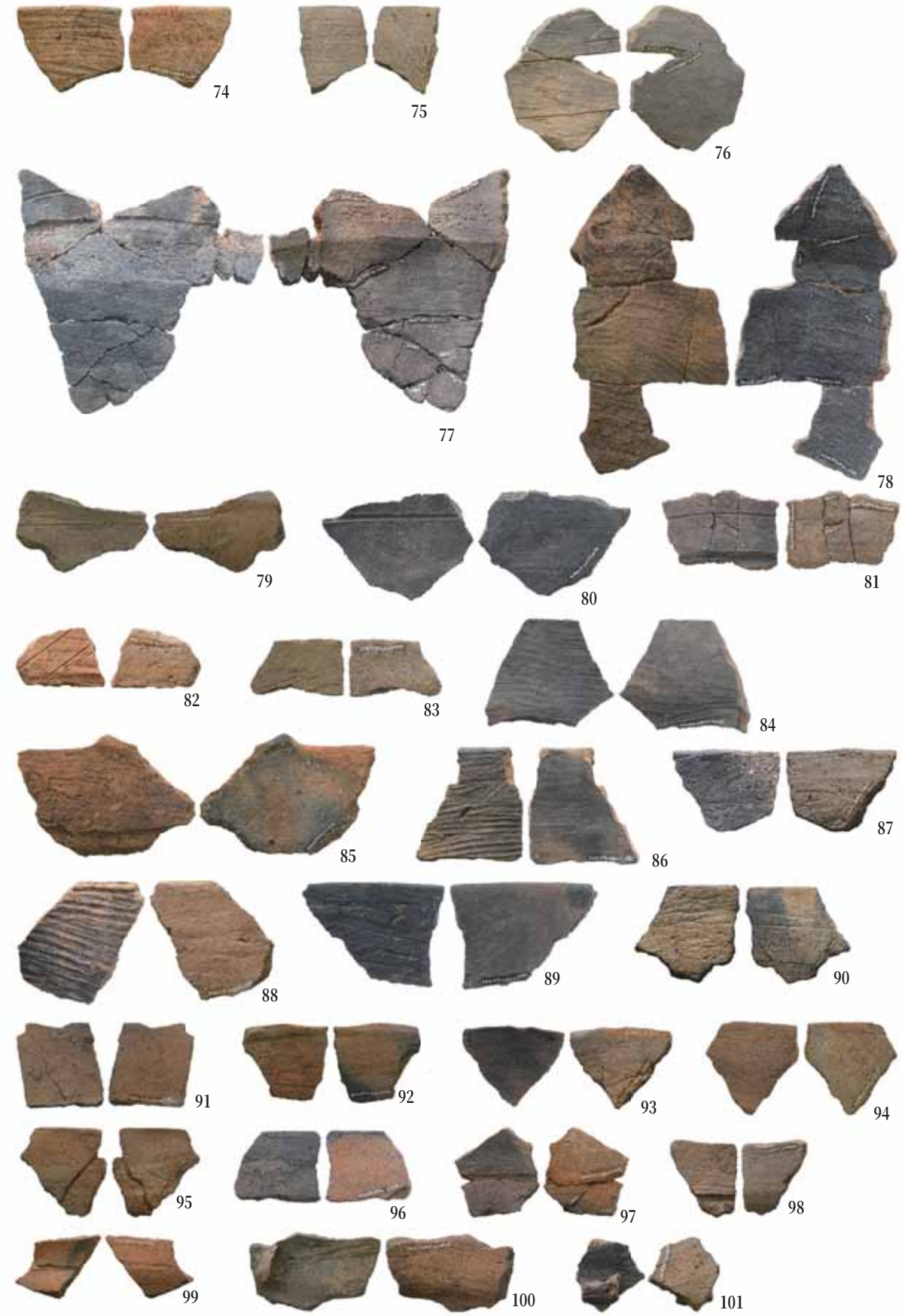


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類②〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類③〕

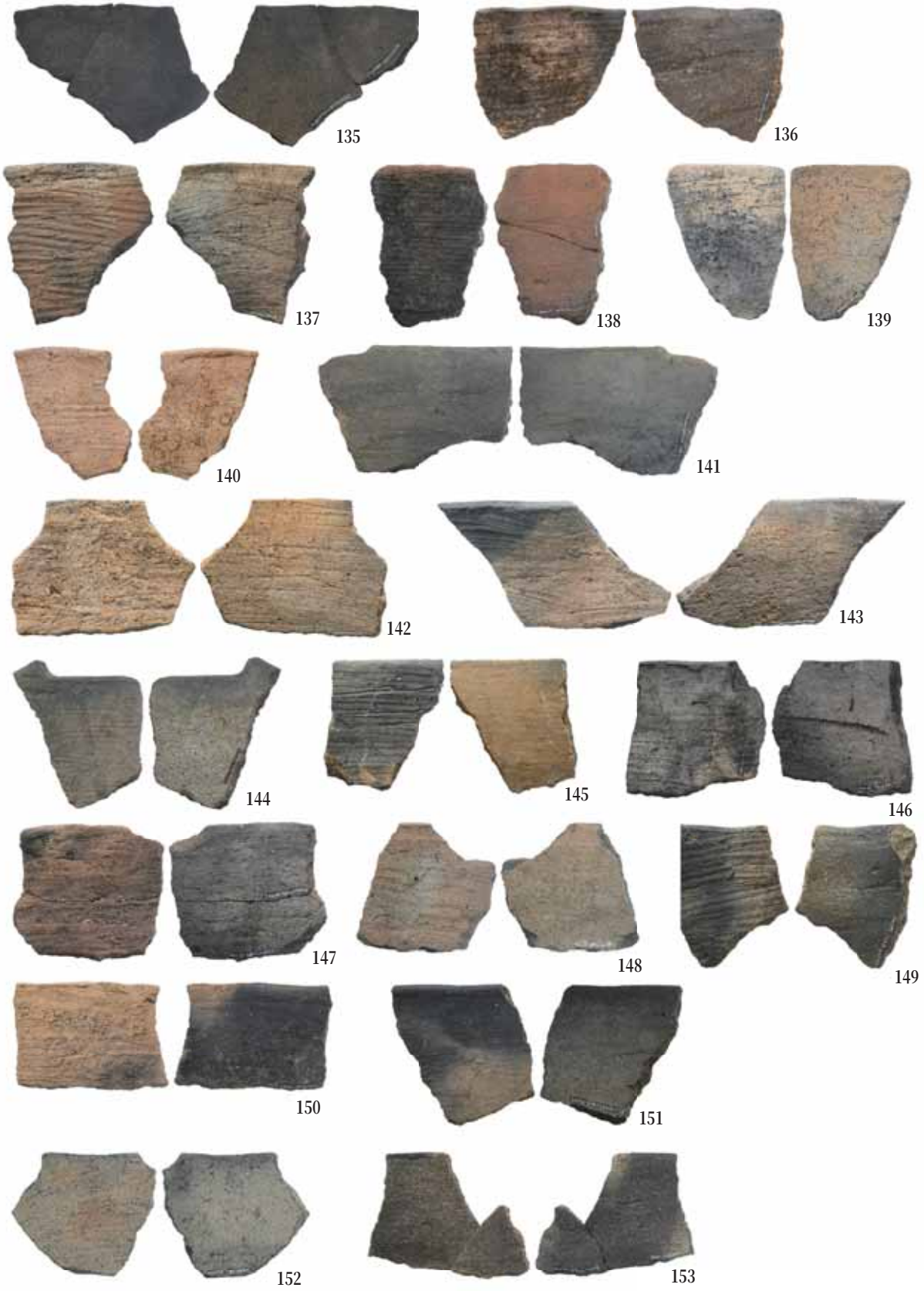
図版78



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類④〕

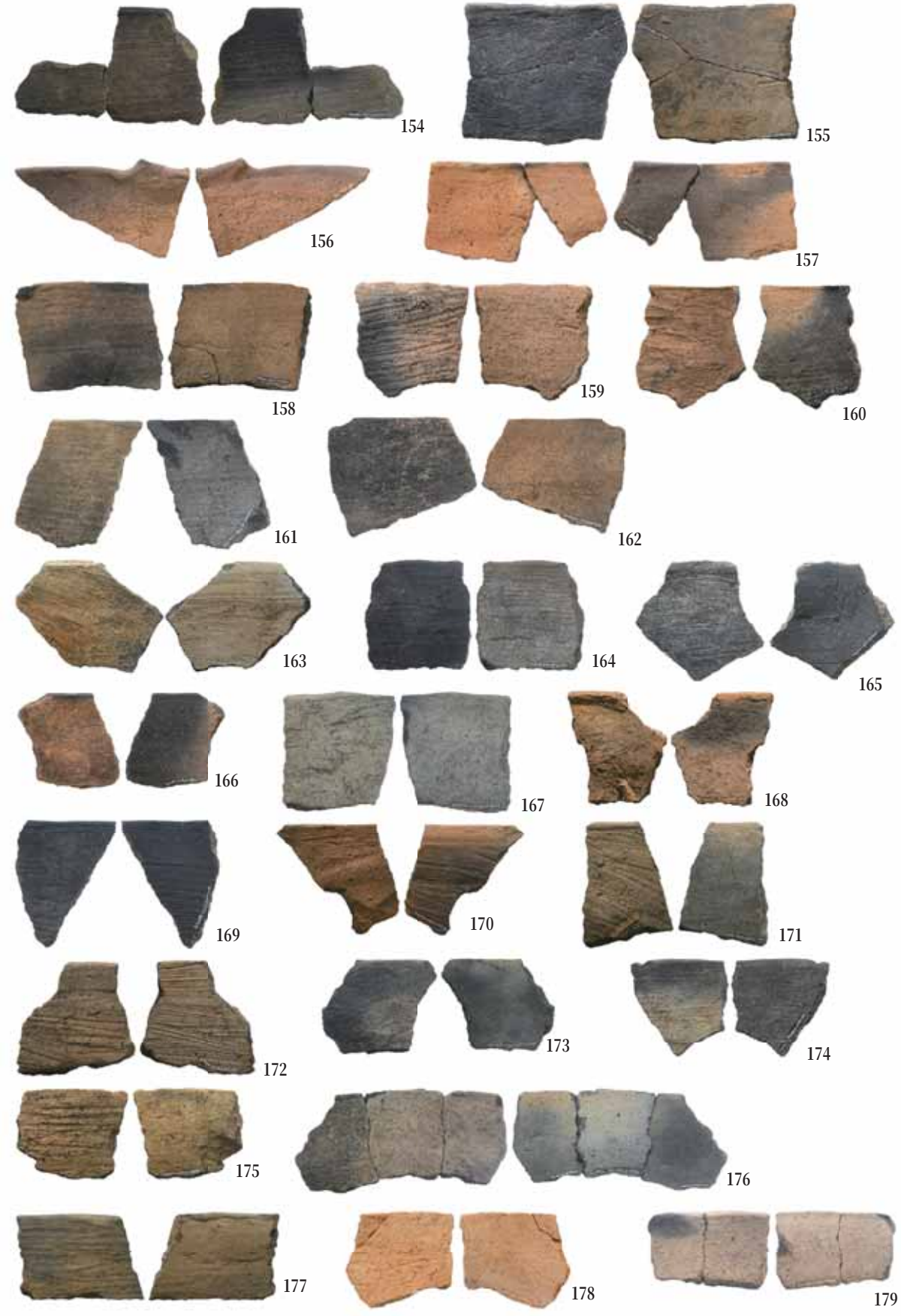
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑤〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑥〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑦〕

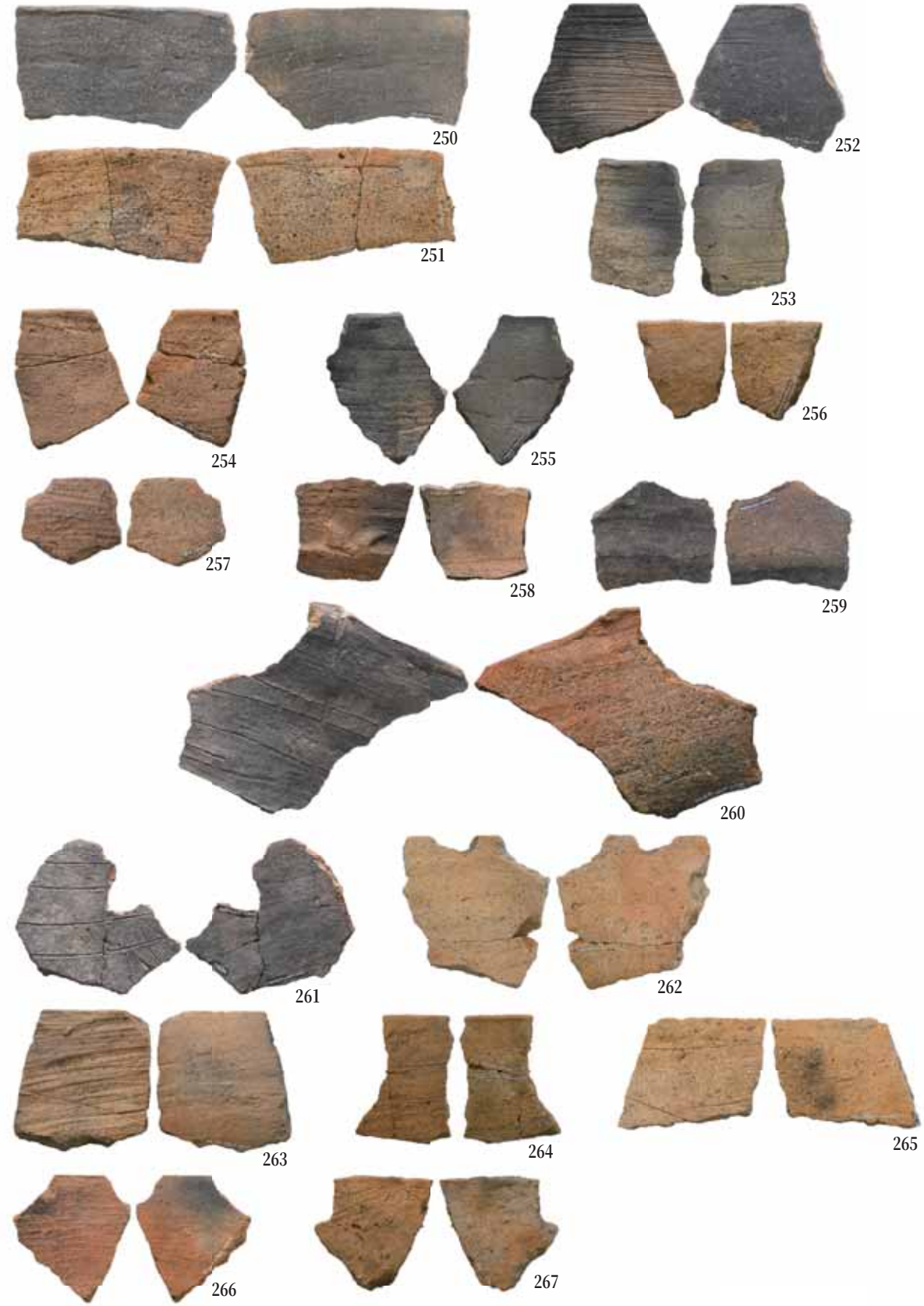
図版82



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑧〕

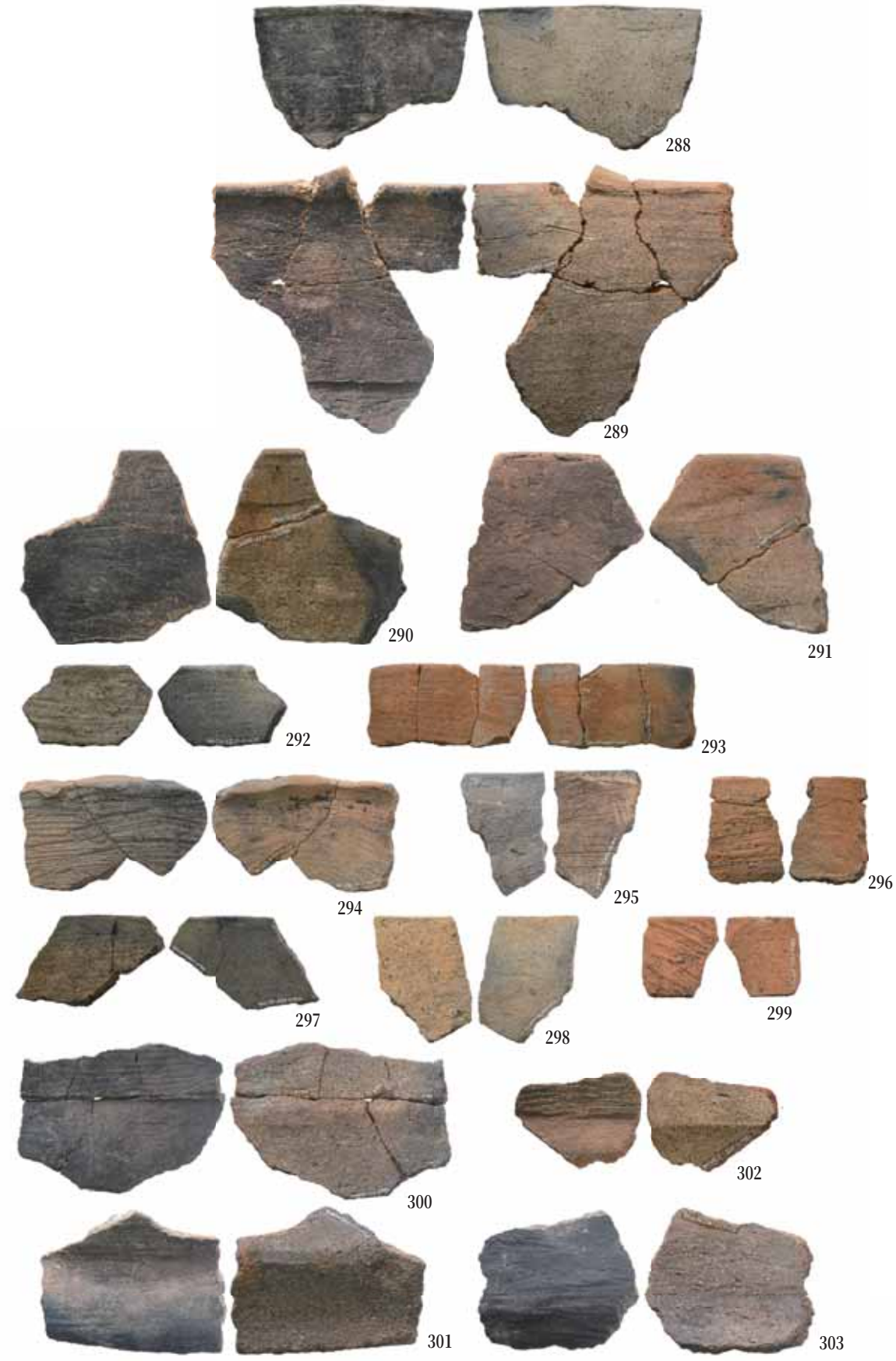
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑨〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑩〕



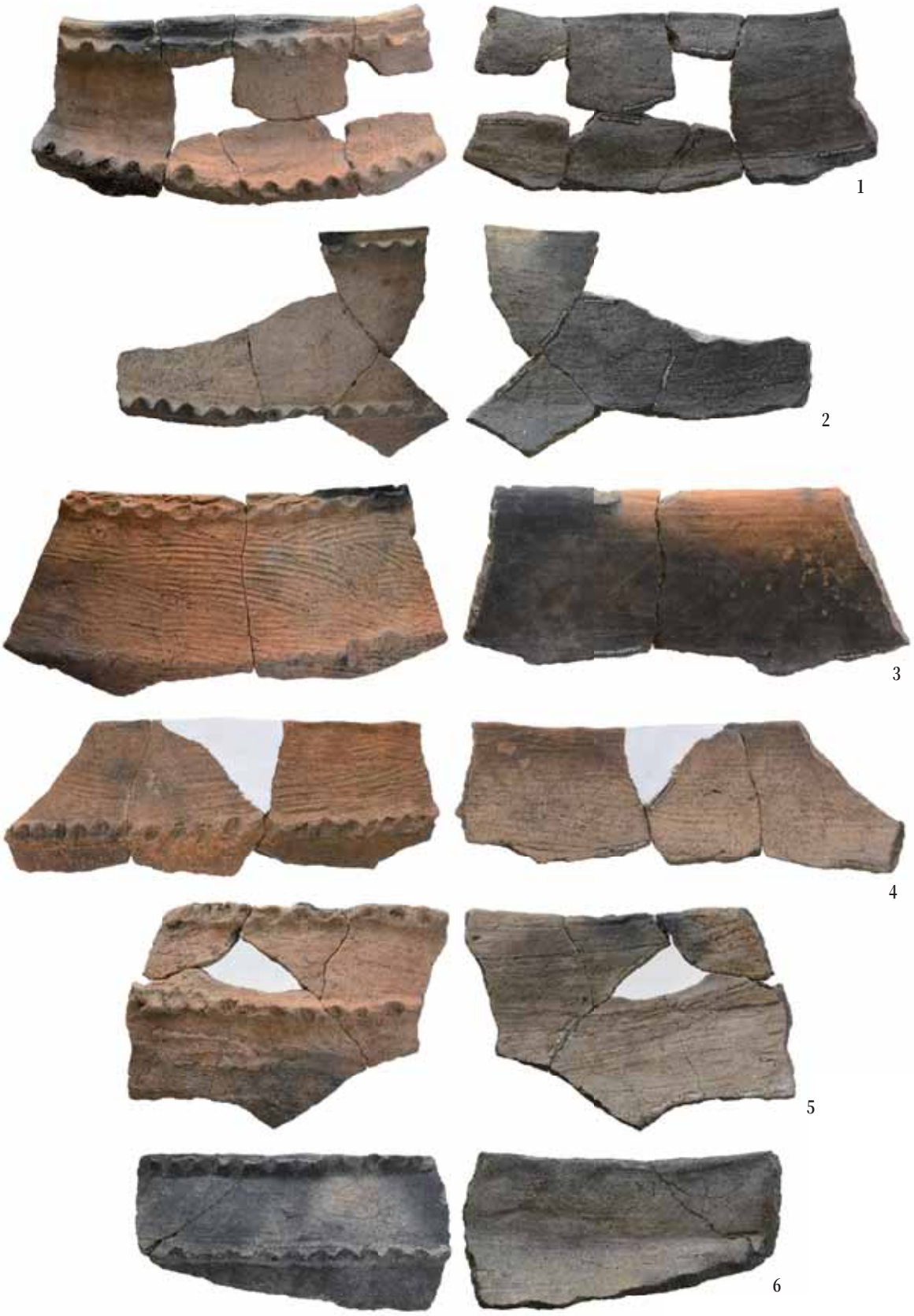
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑪〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｄ類⑫〕

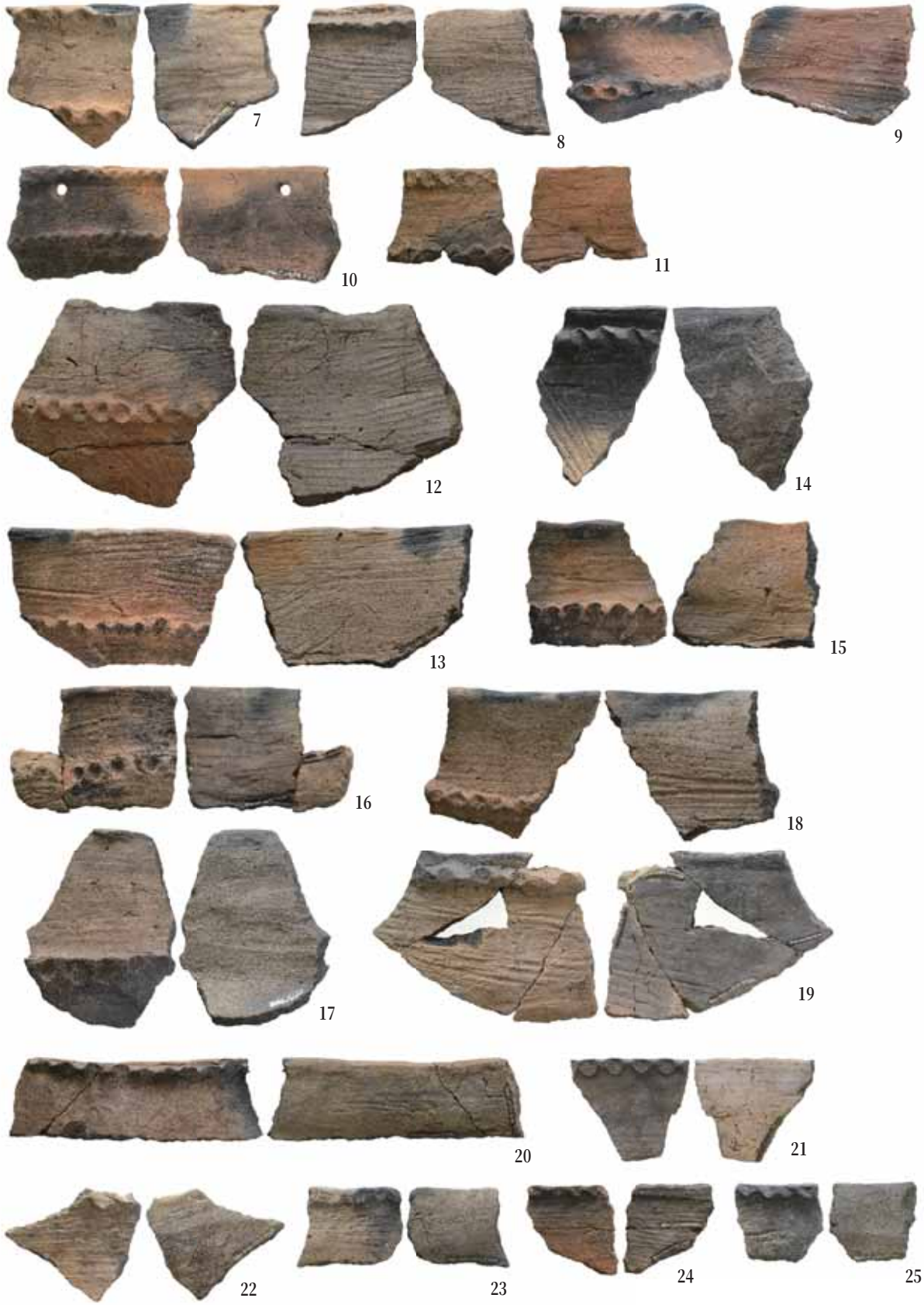


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑬〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢D類⑭〕



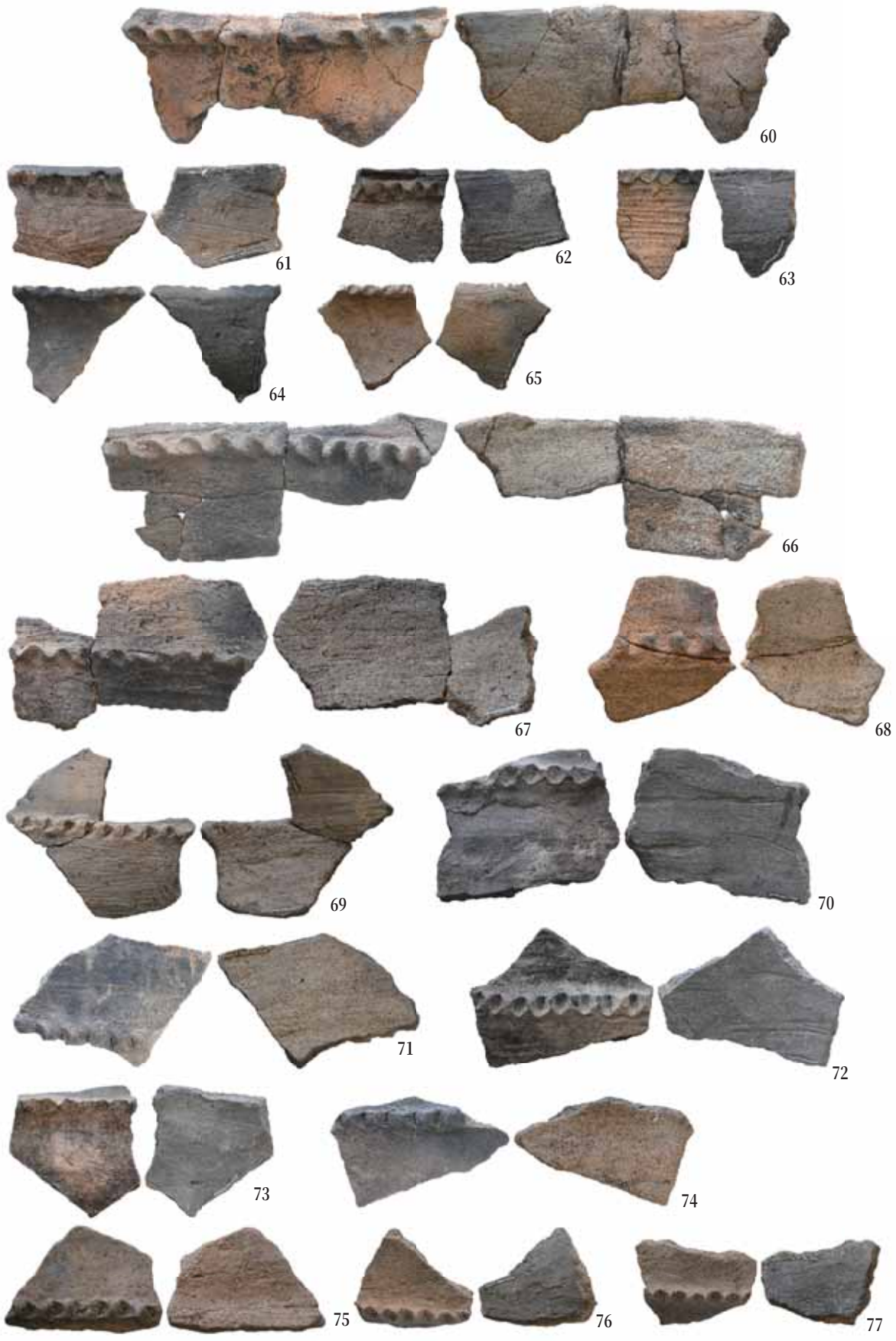
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類①〕



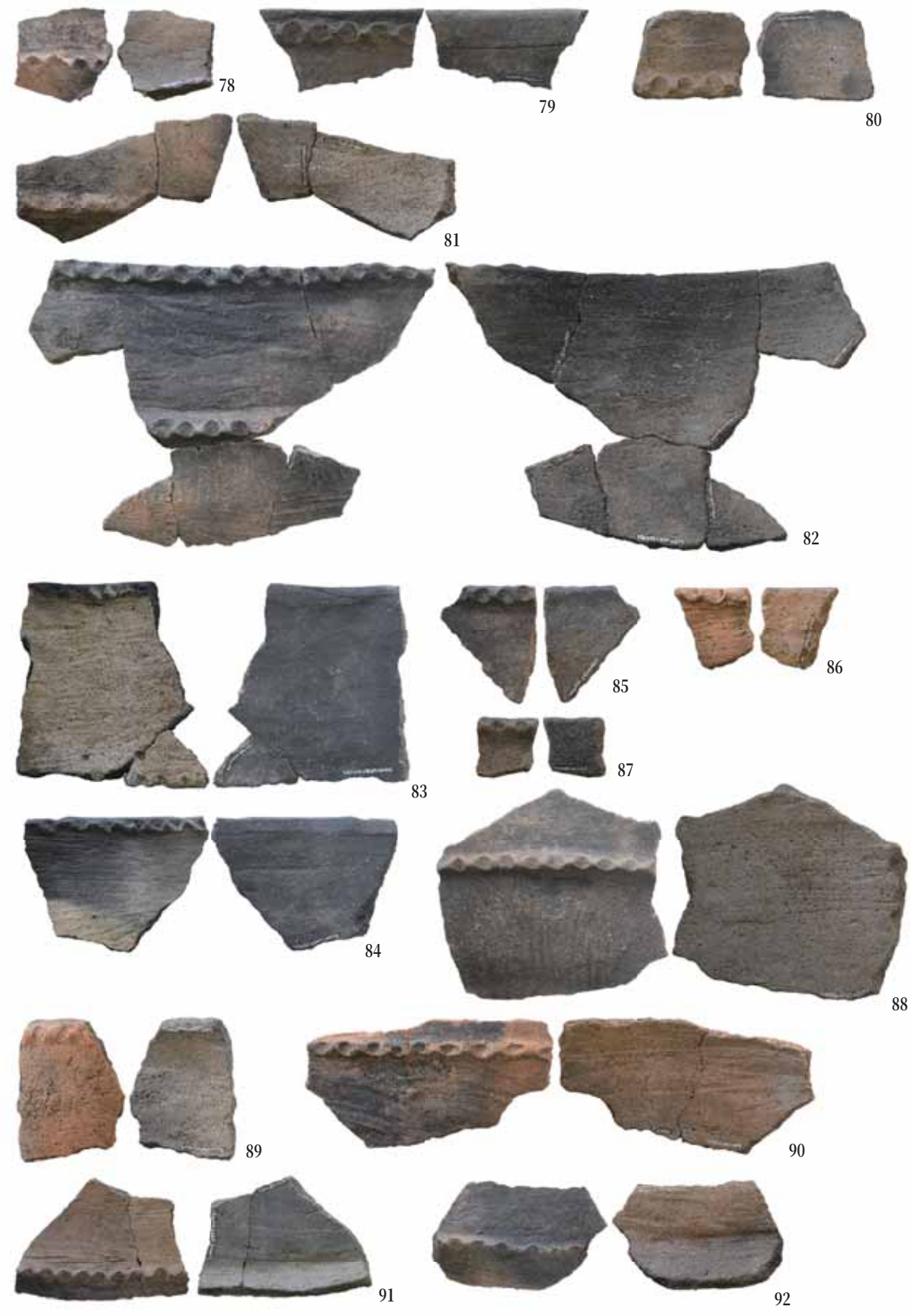
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類②〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類③〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類④〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑤〕

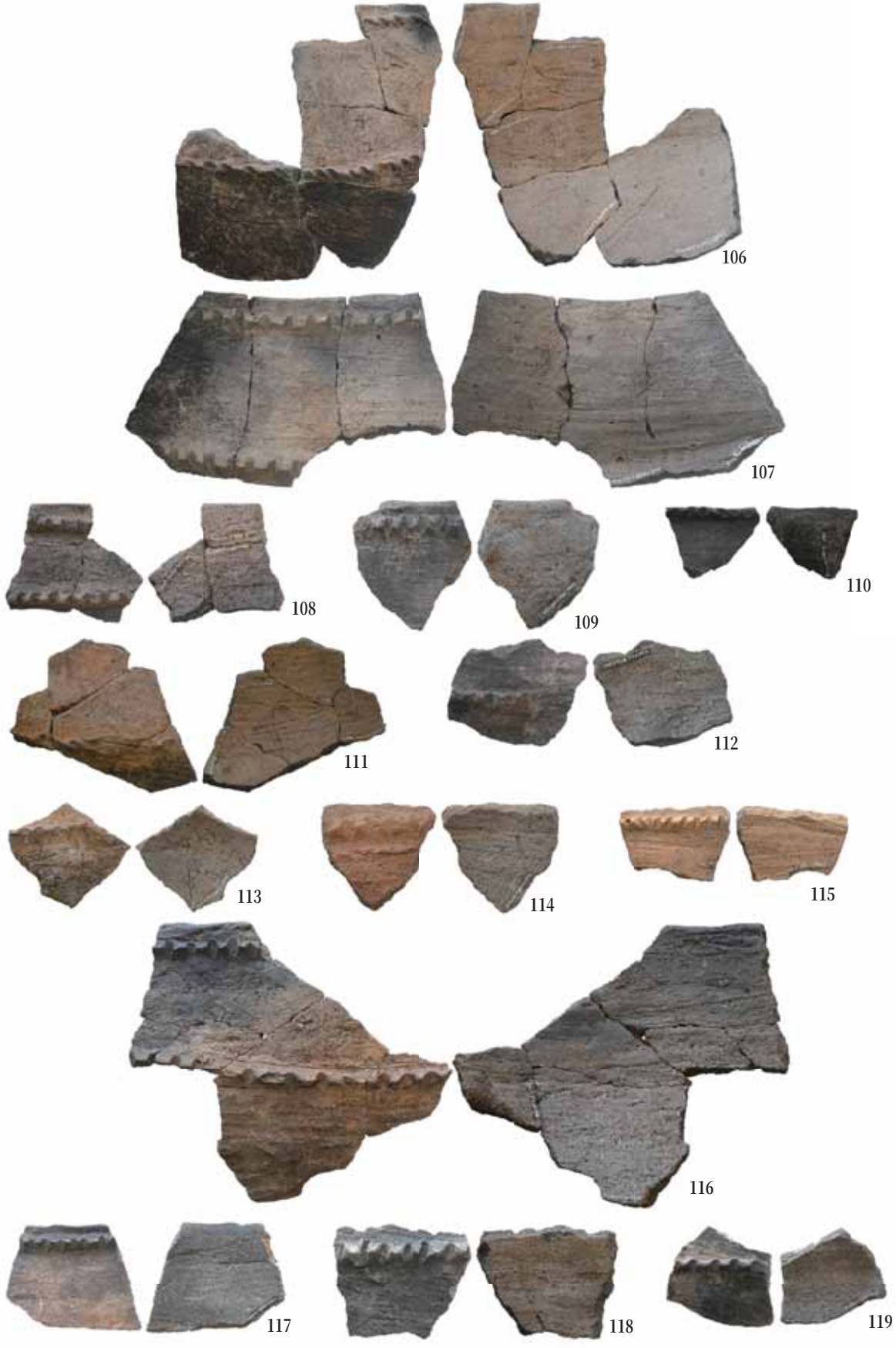


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑥〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑦〕

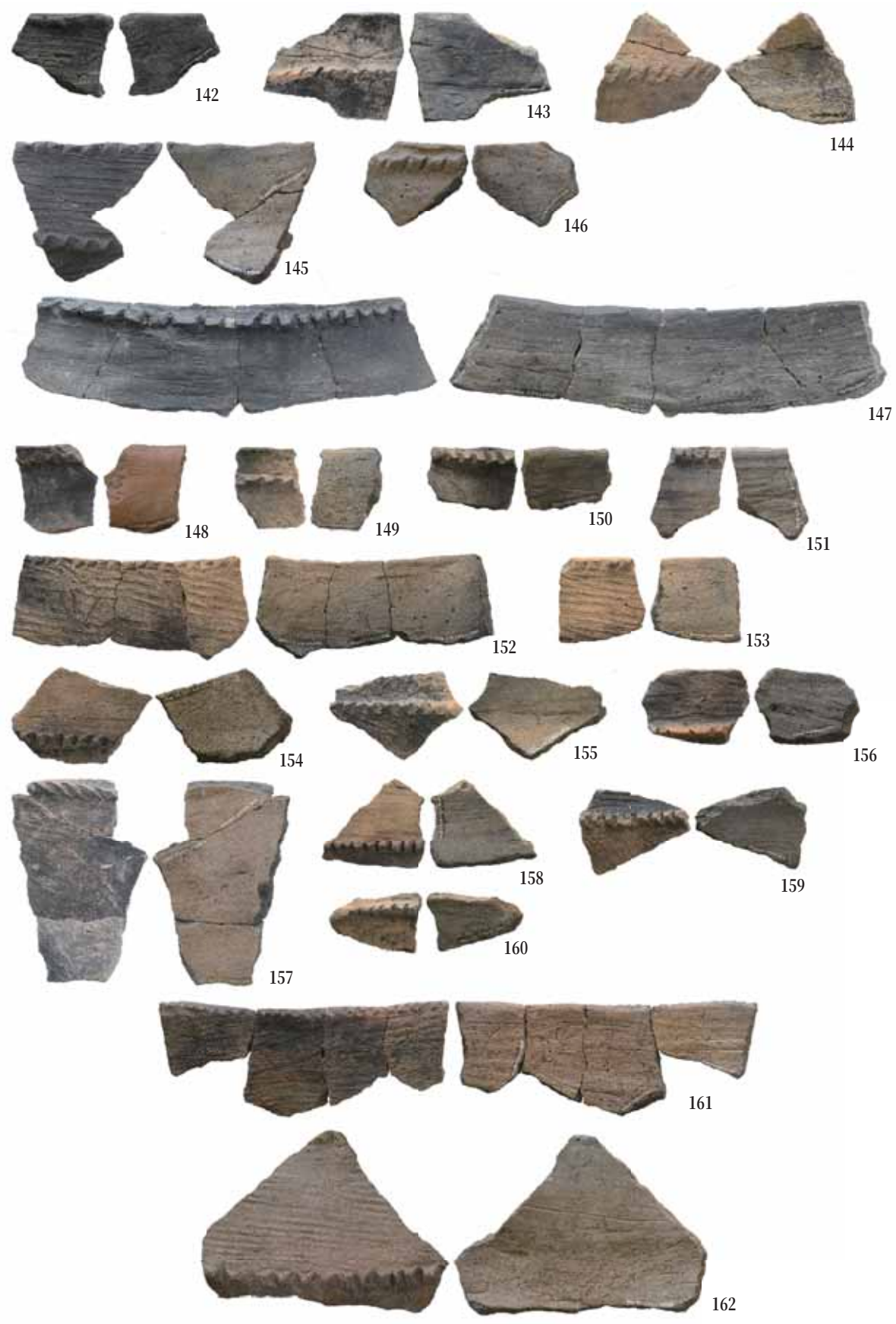
105

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑧〕



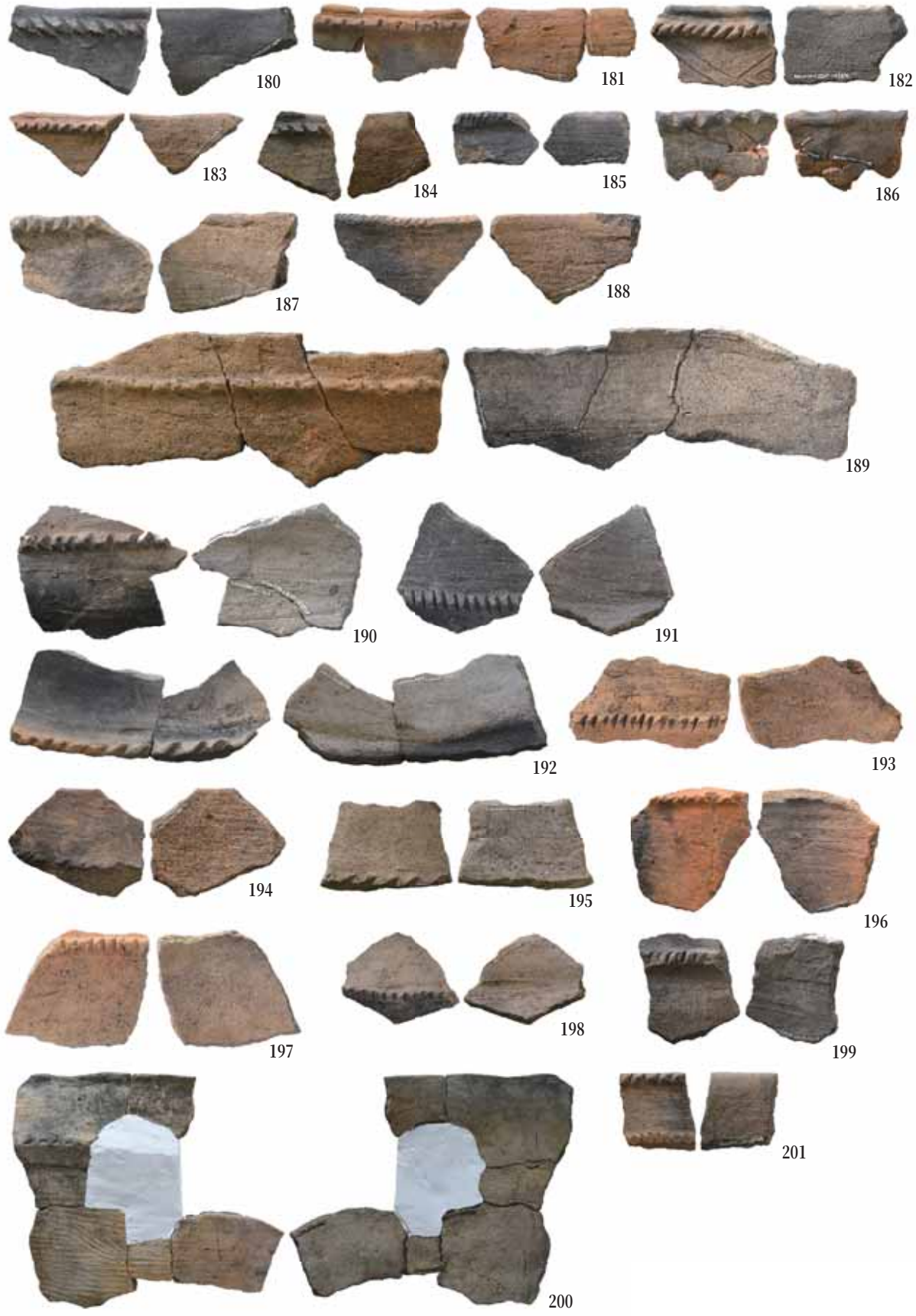
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑨〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑩〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑪〕

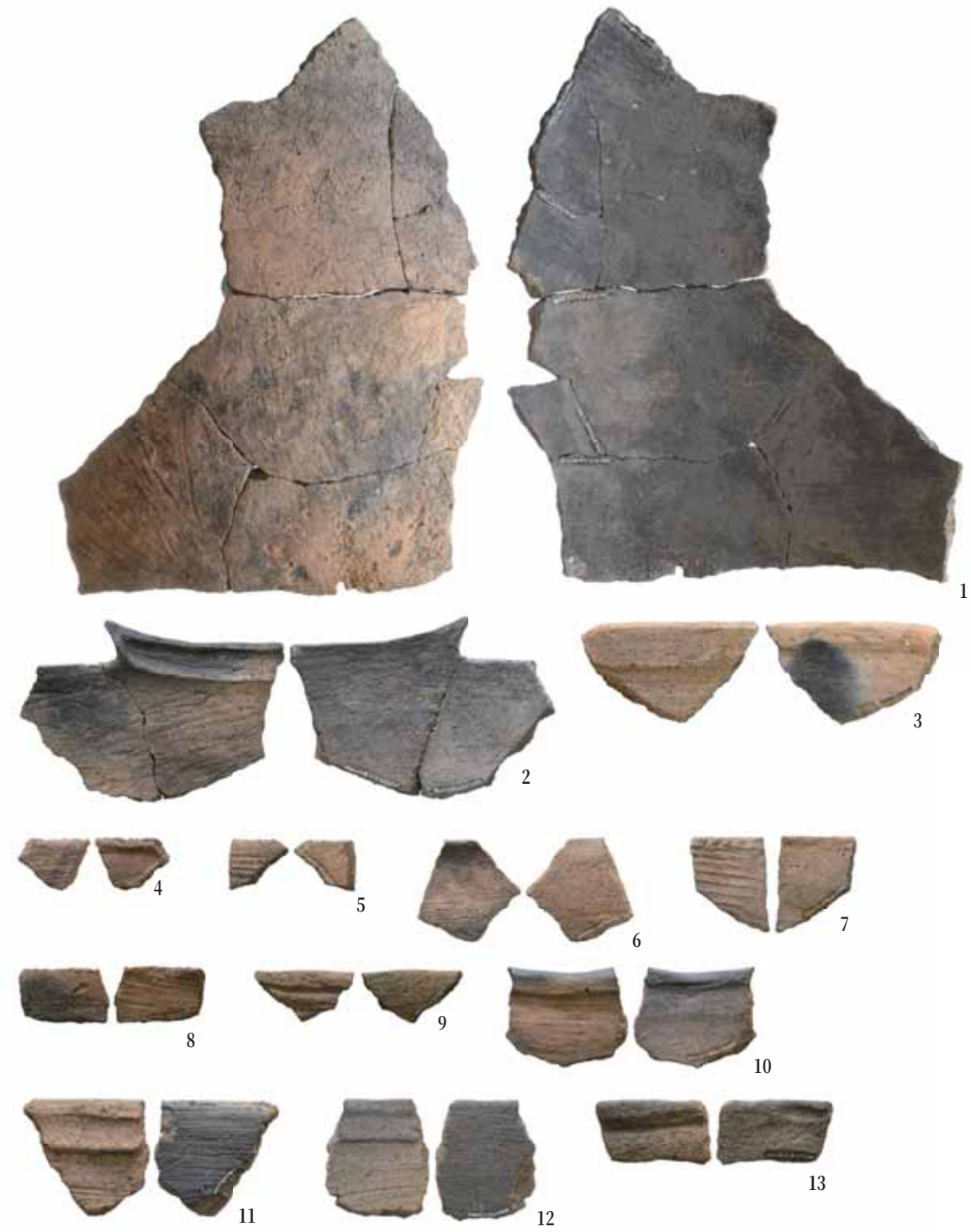
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑫〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑬〕

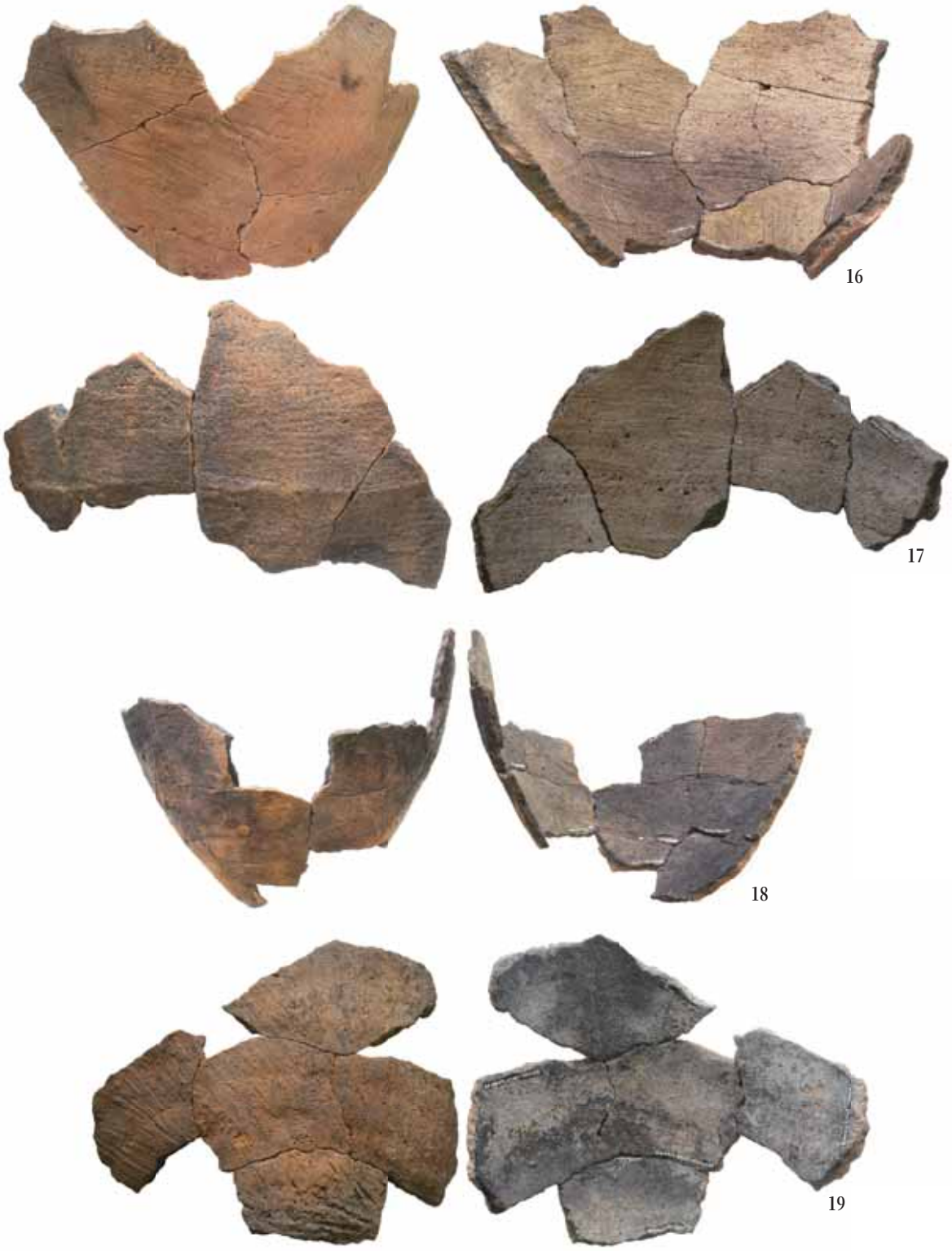
図版102

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｅ類⑭〕

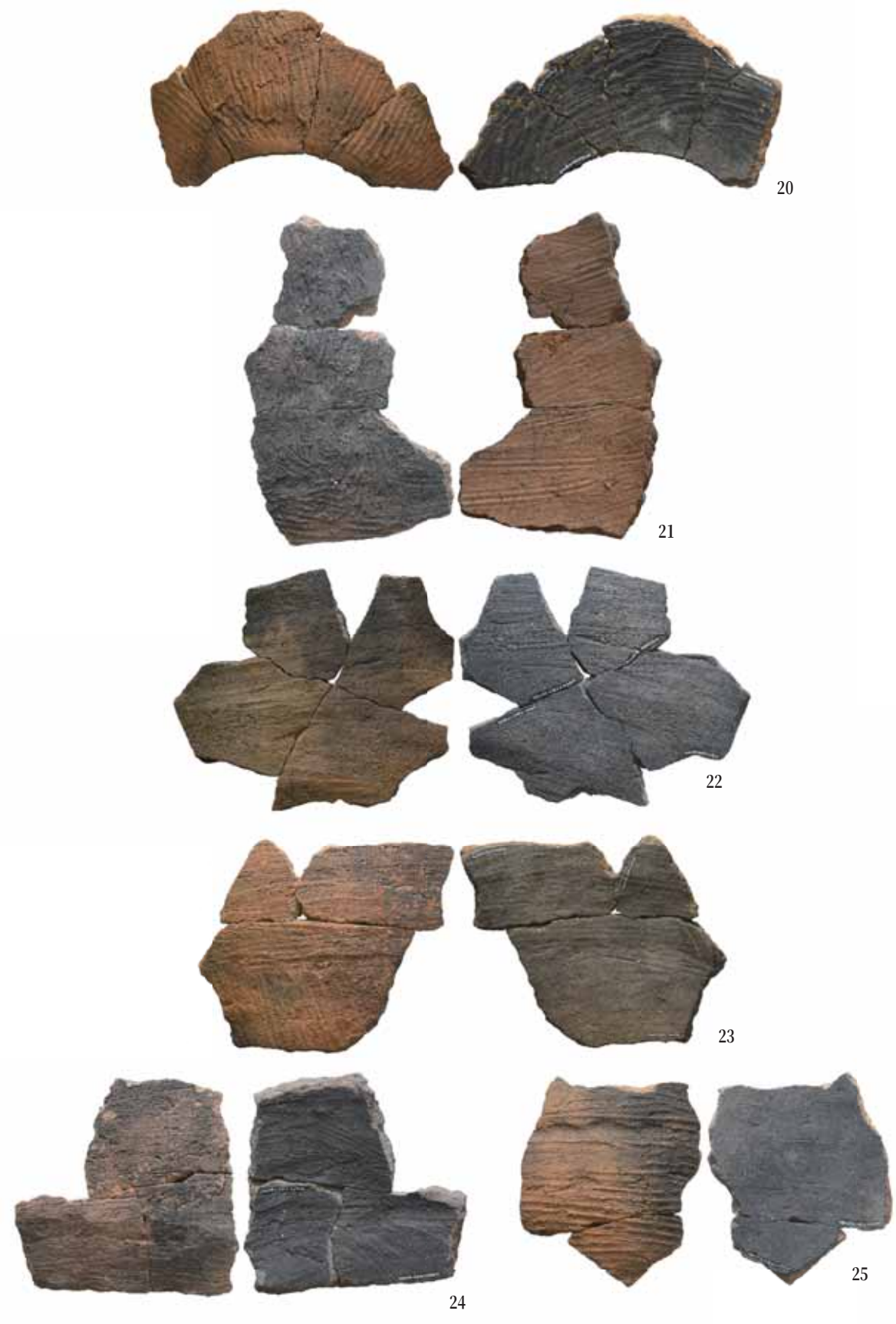


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類②〕



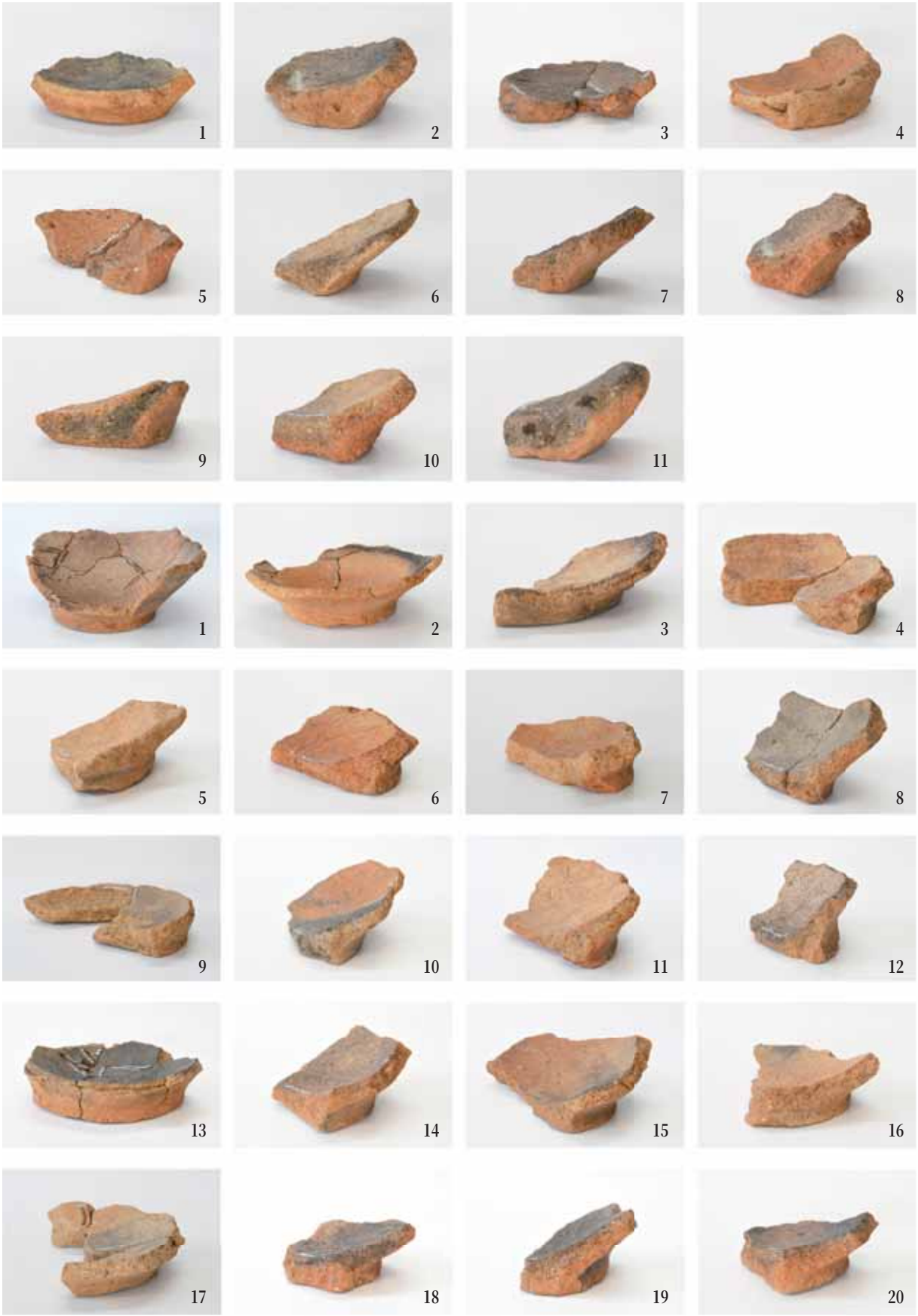
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類③〕



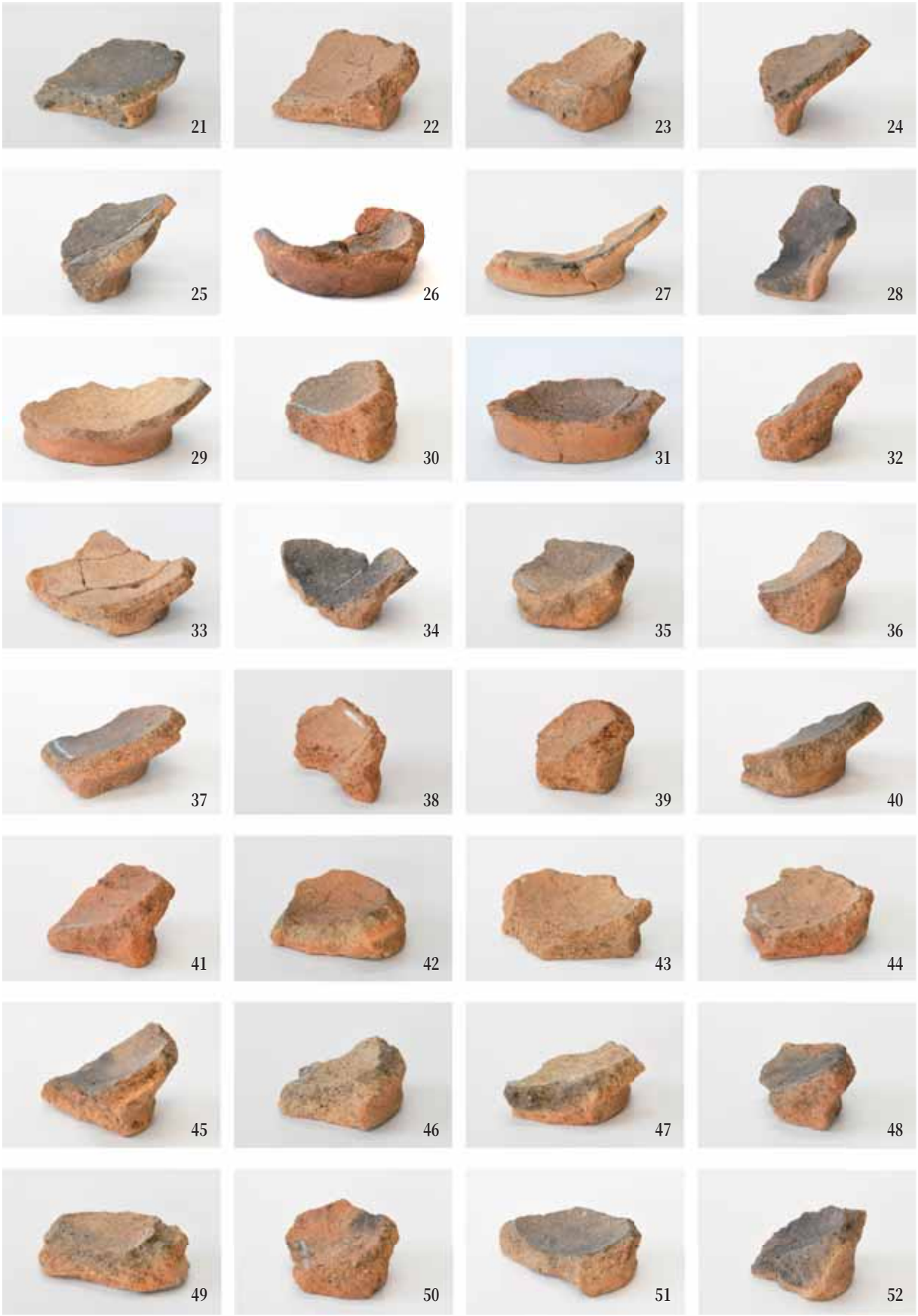
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類④〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢Ｆ類⑤〕

図版108



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部A類，深鉢底部B類①〕

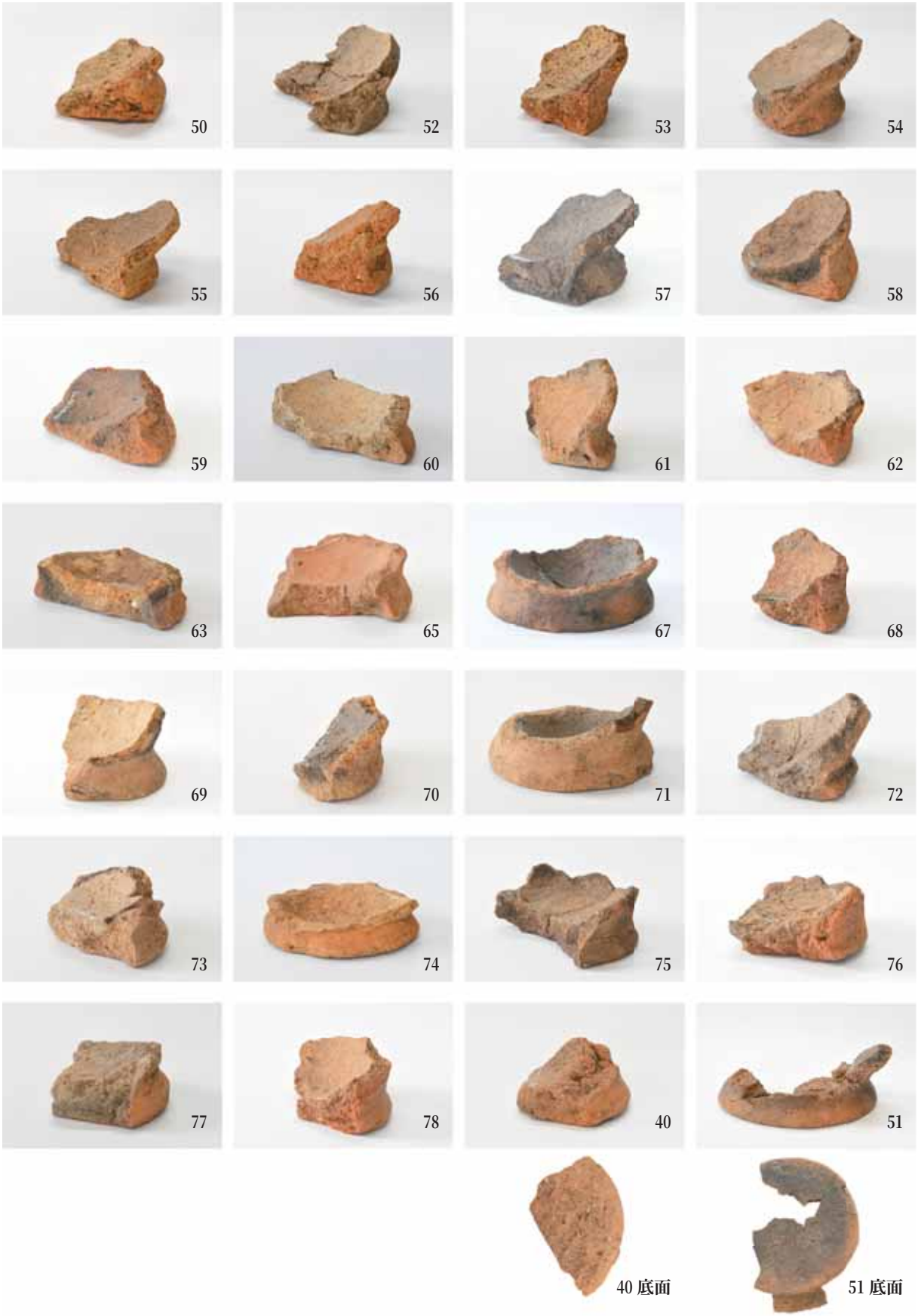


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｂ類②〕

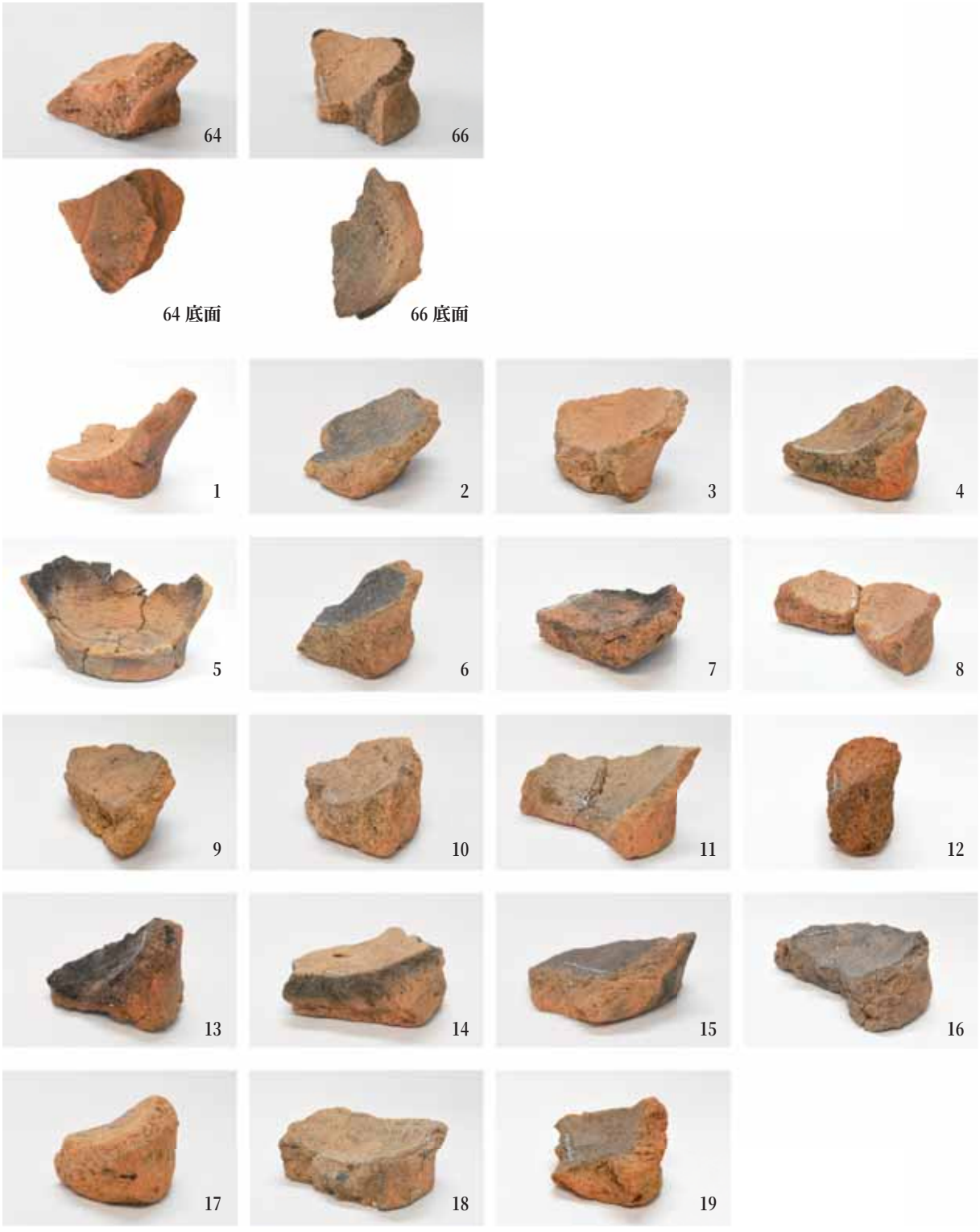
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｂ類③，深鉢底部Ｃ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部C類②〕

図版112

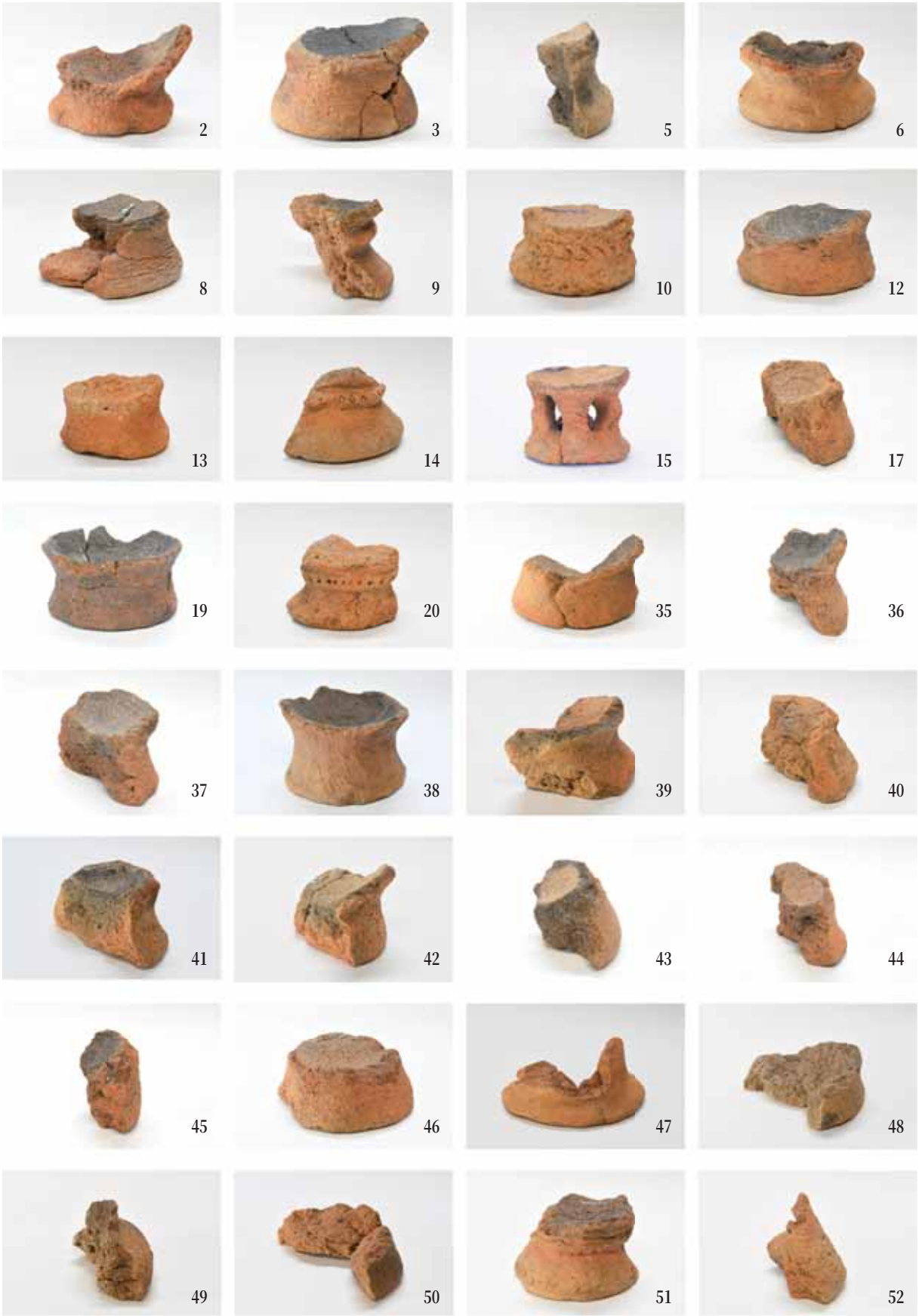


縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部C類③〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部C類④，深鉢底部D類〕

図版114



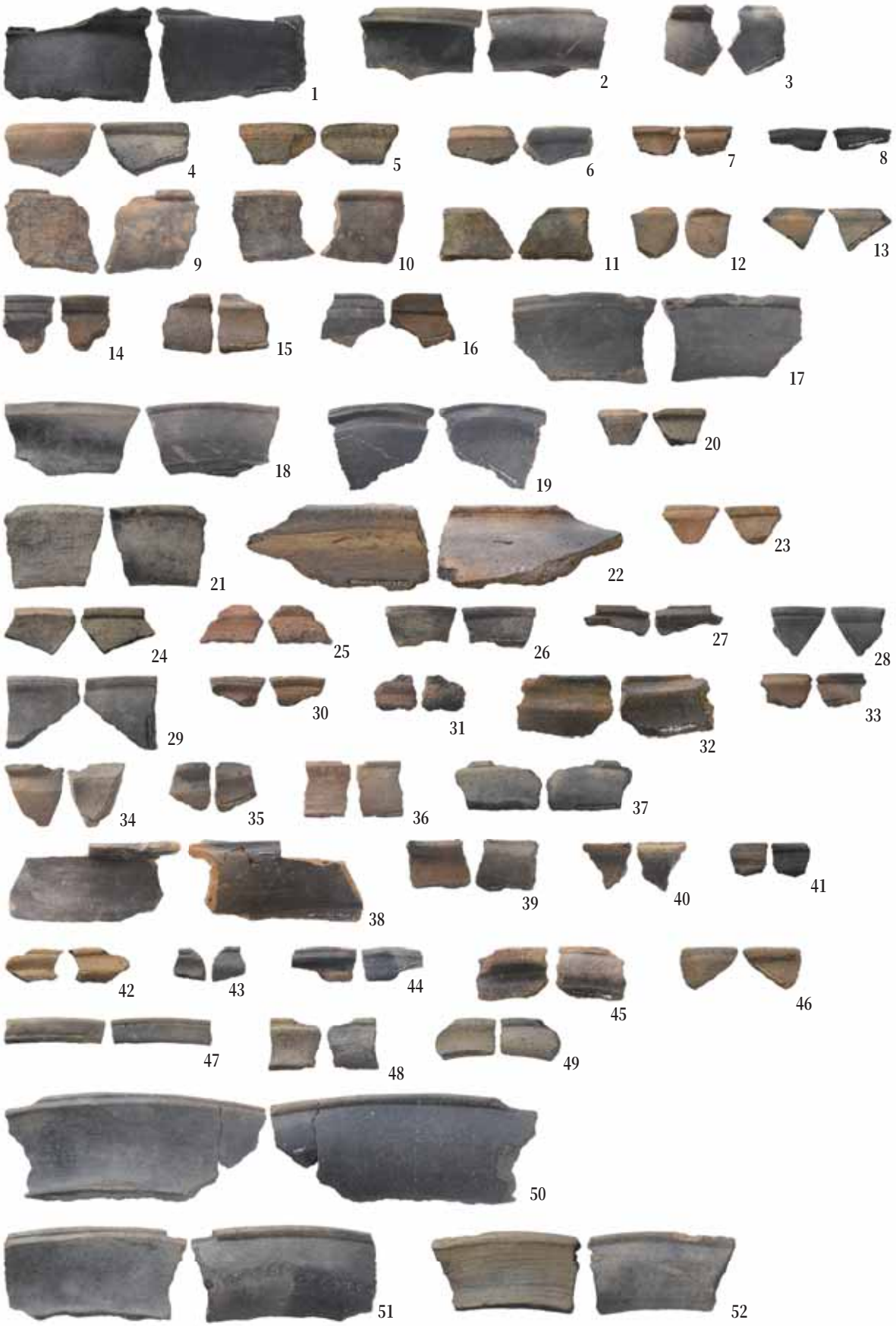
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類②〕

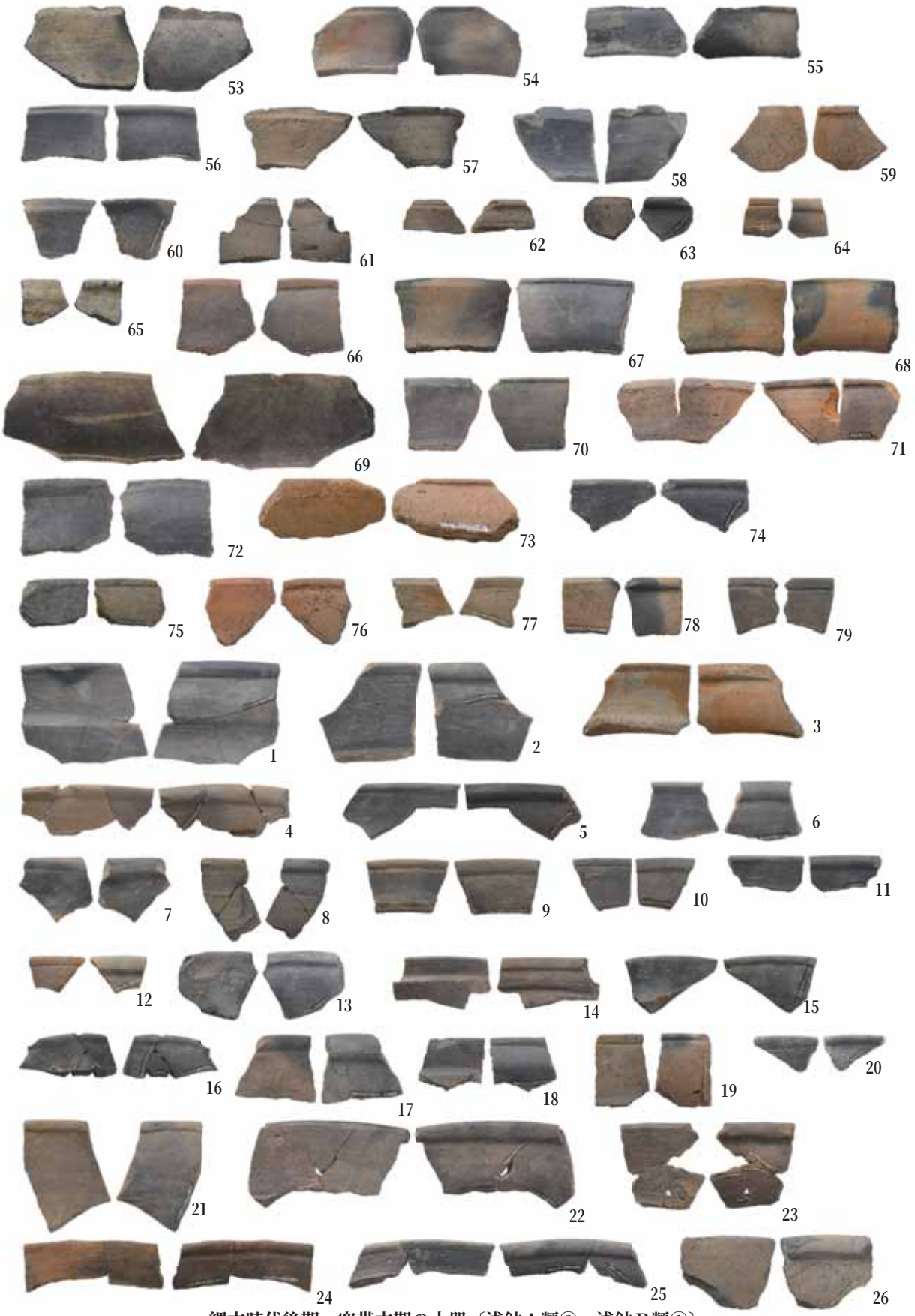
縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類③〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔深鉢底部Ｅ類④〕

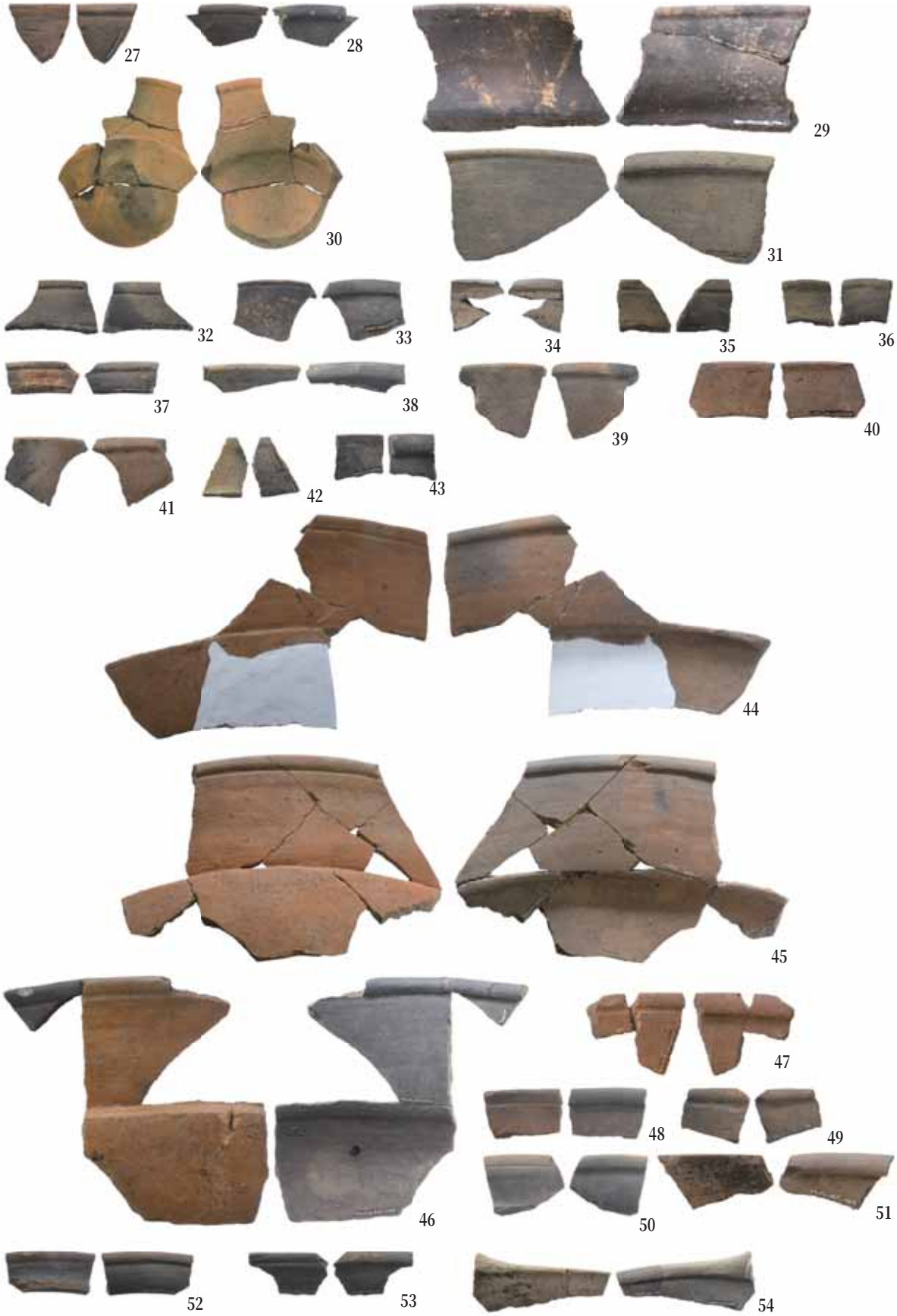
図版118



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢A類①〕

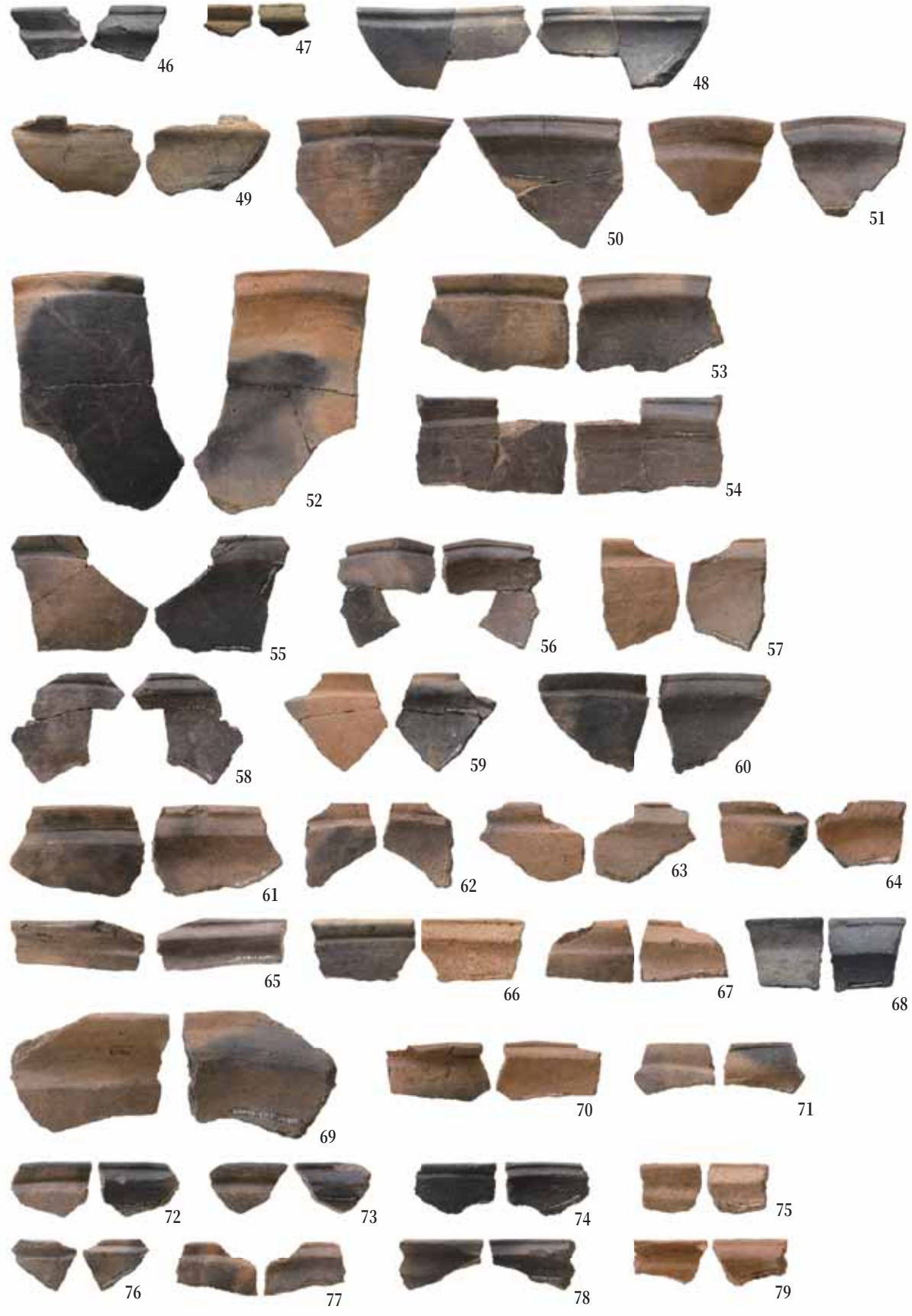


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢A類②，浅鉢B類①〕

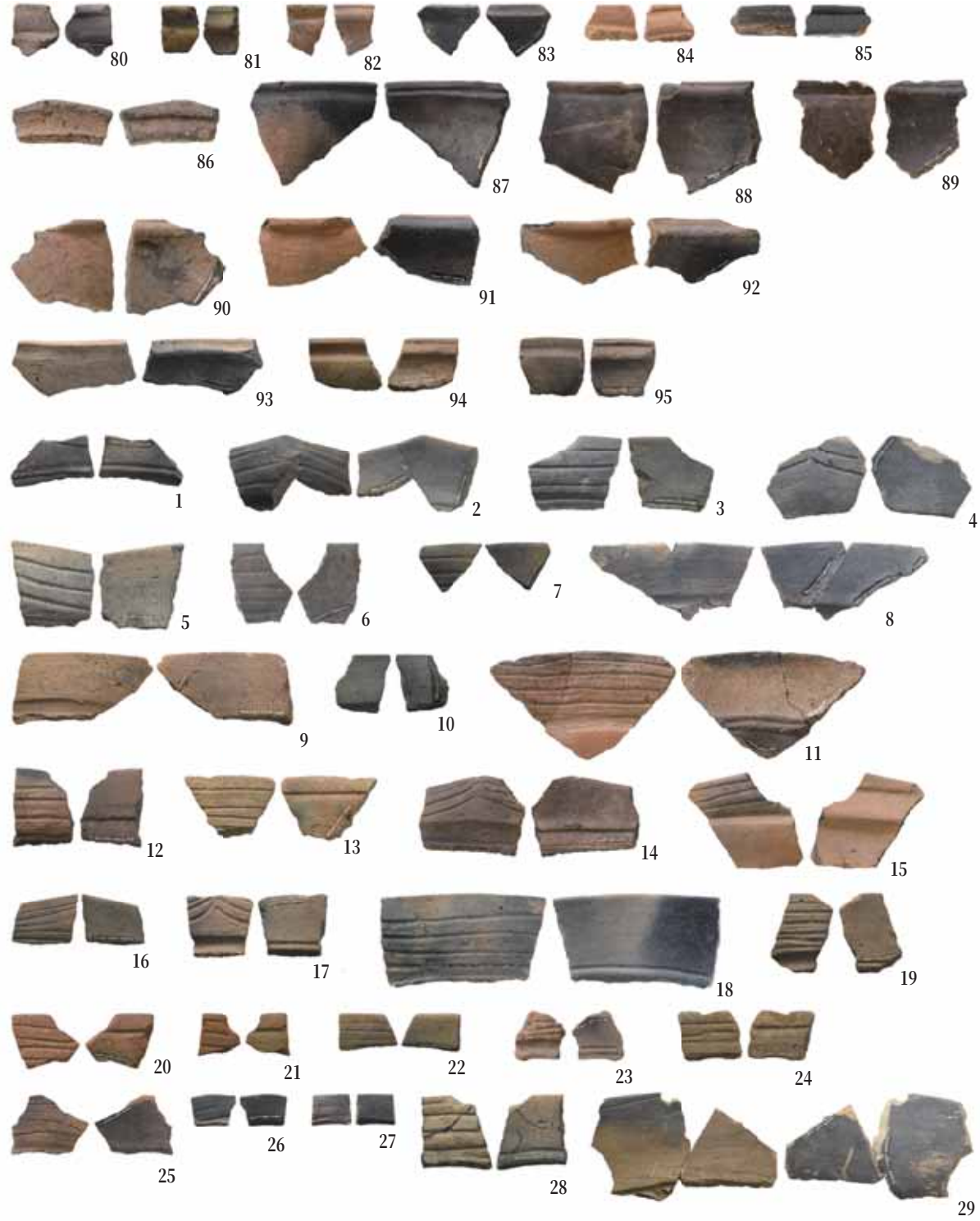


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｂ類②〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢C類①〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢C類②〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢C類③，浅鉢D類〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｅ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｅ類②〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類②〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類③〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類④〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｆ類⑤，浅鉢Ｇ類，浅鉢Ｈ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢H類②〕

図版132

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢H類③〕

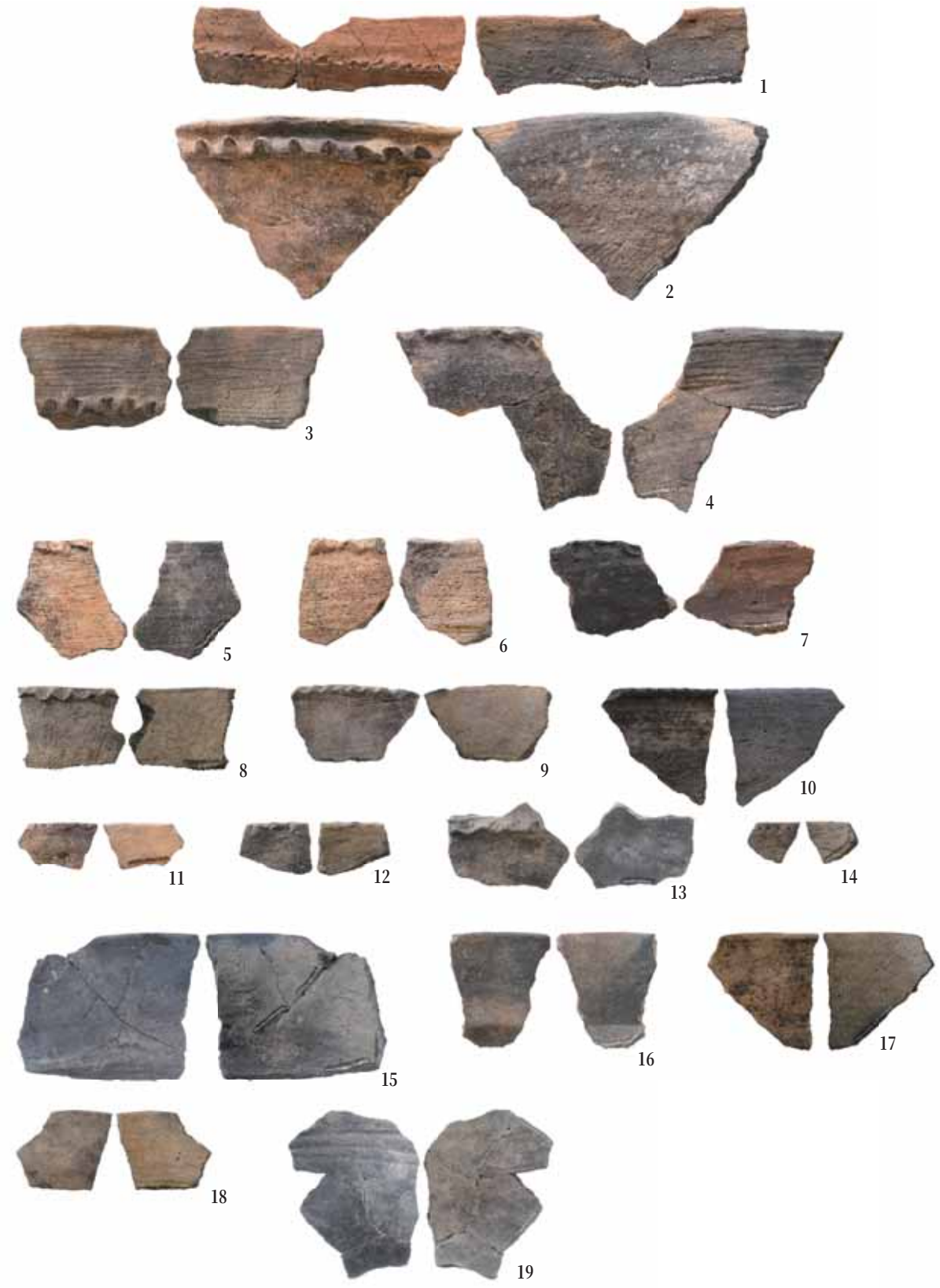
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢H類④，浅鉢Ⅰ類，浅鉢Ｊ類①〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｊ類②〕

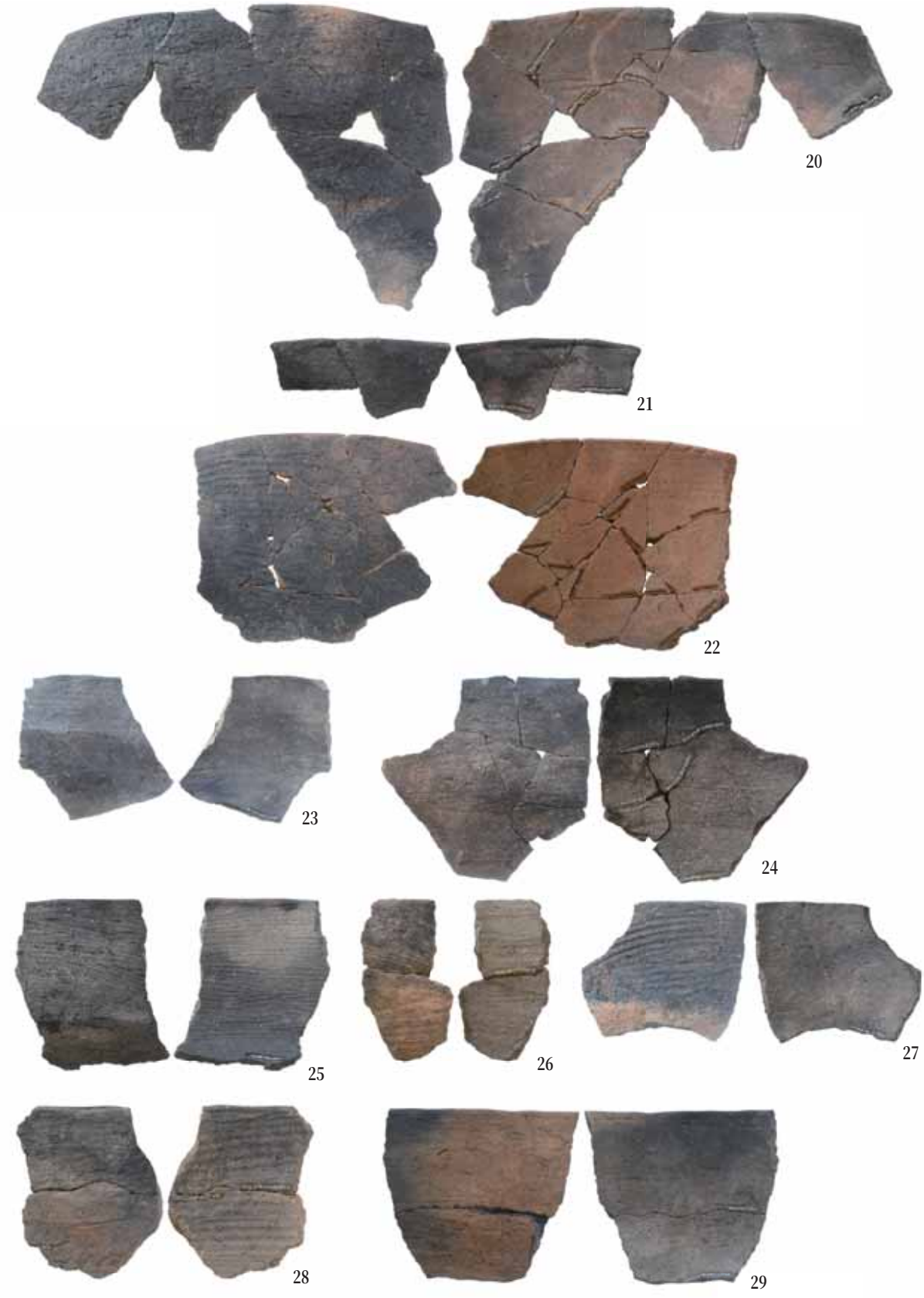
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｊ類③，浅鉢Ｋ類①〕

図版136

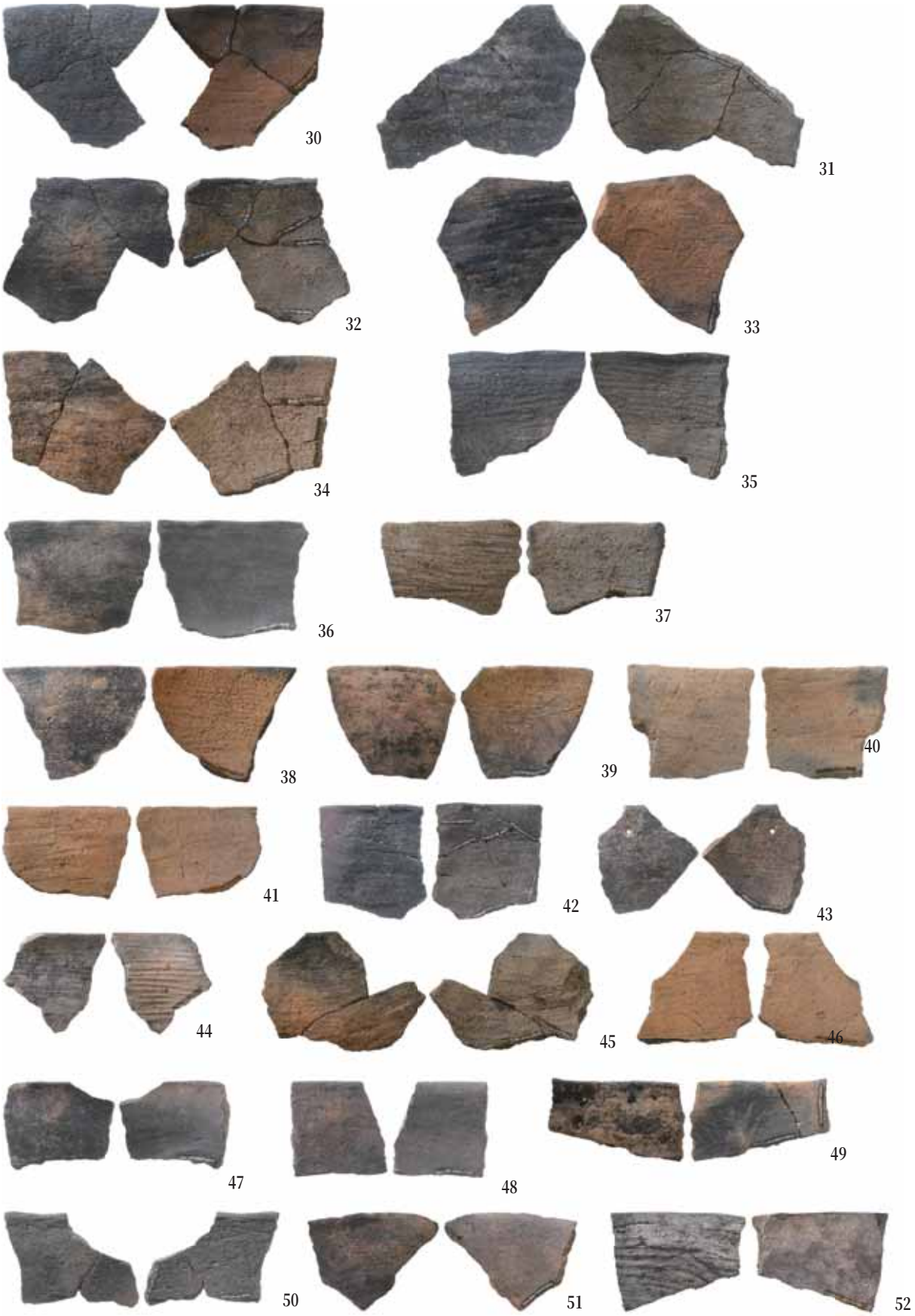
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢K類②〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類①〕

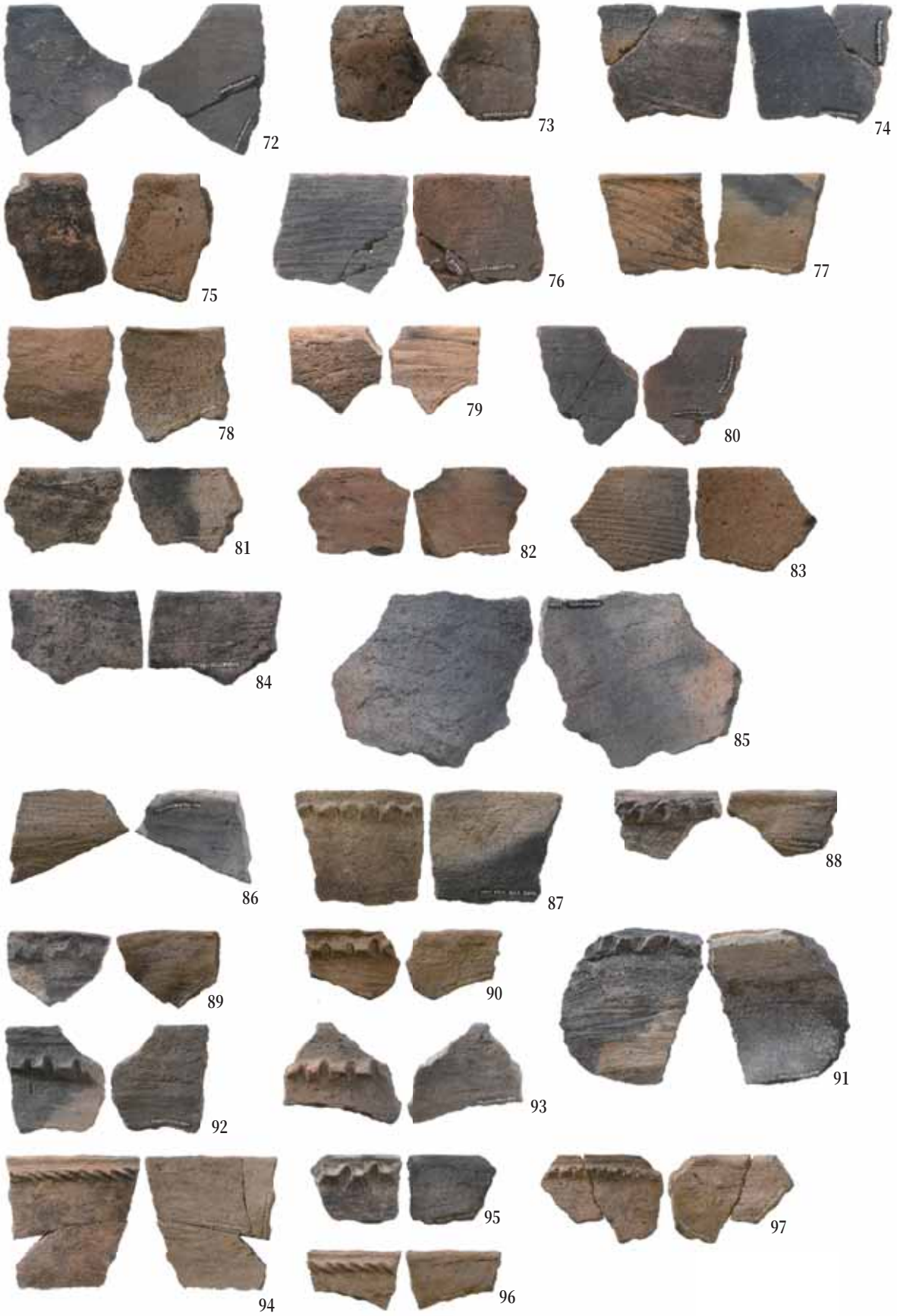


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類②〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類③〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類④〕

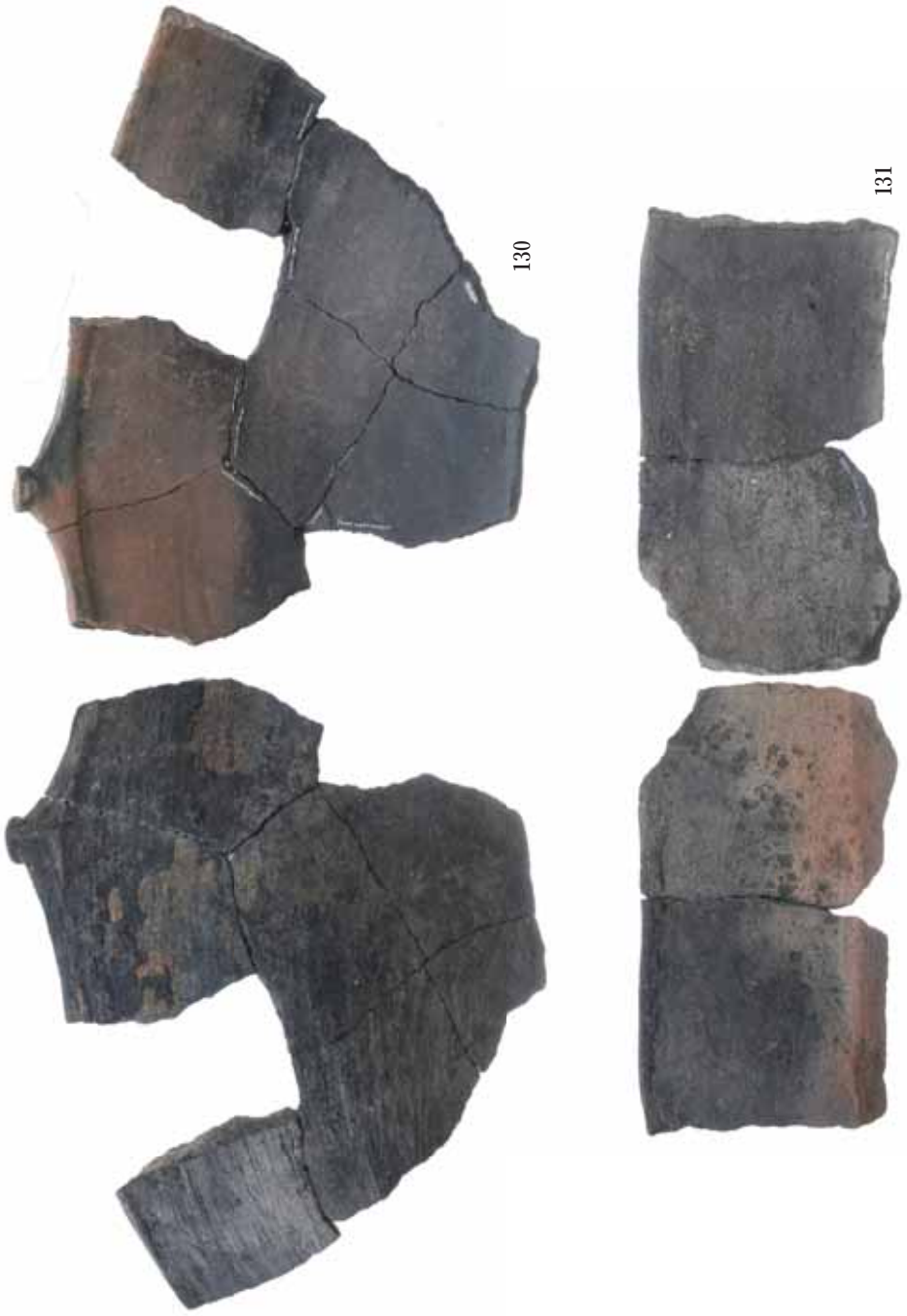


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑤〕

図版142

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑥〕

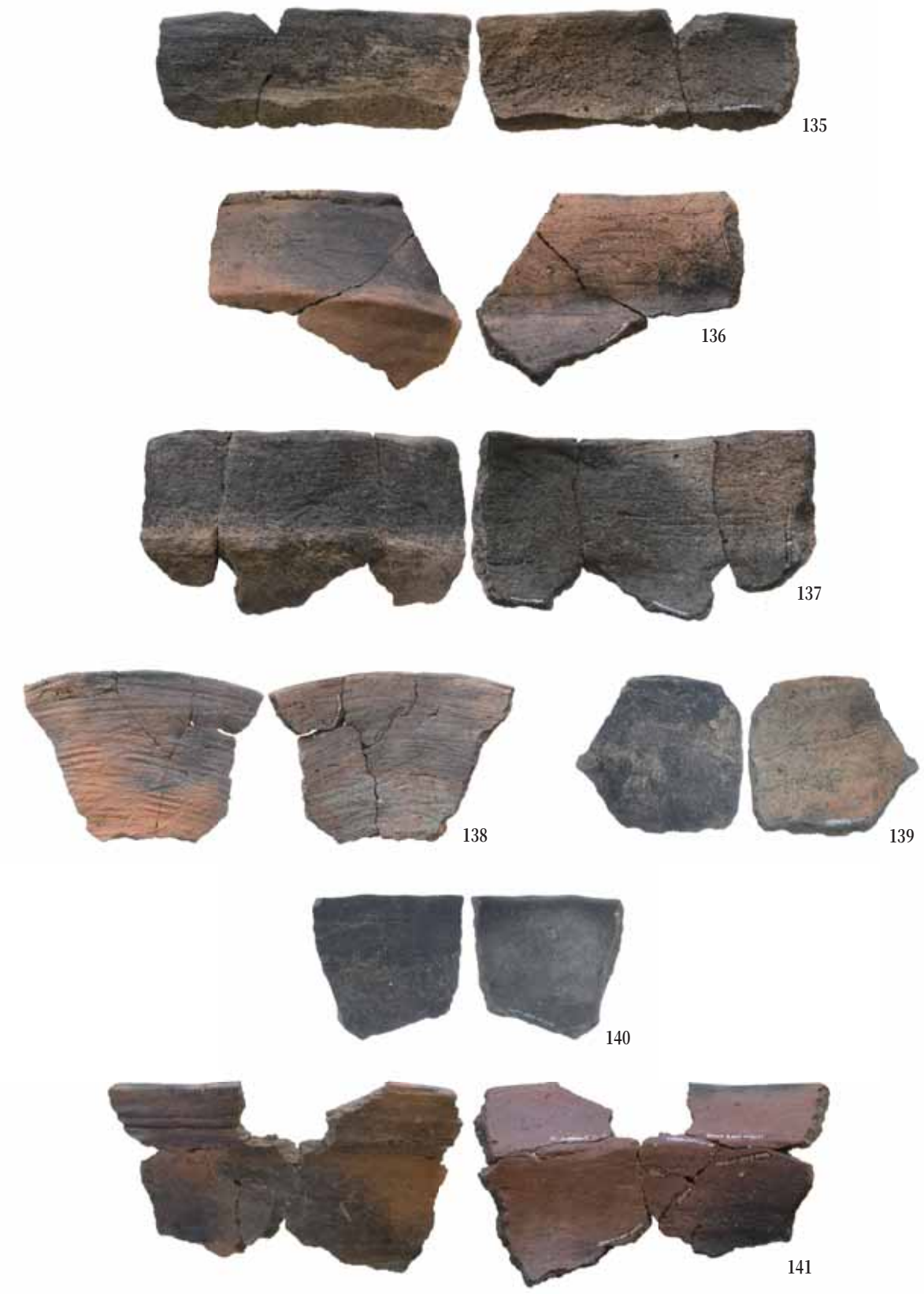
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑦〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑧〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑨〕

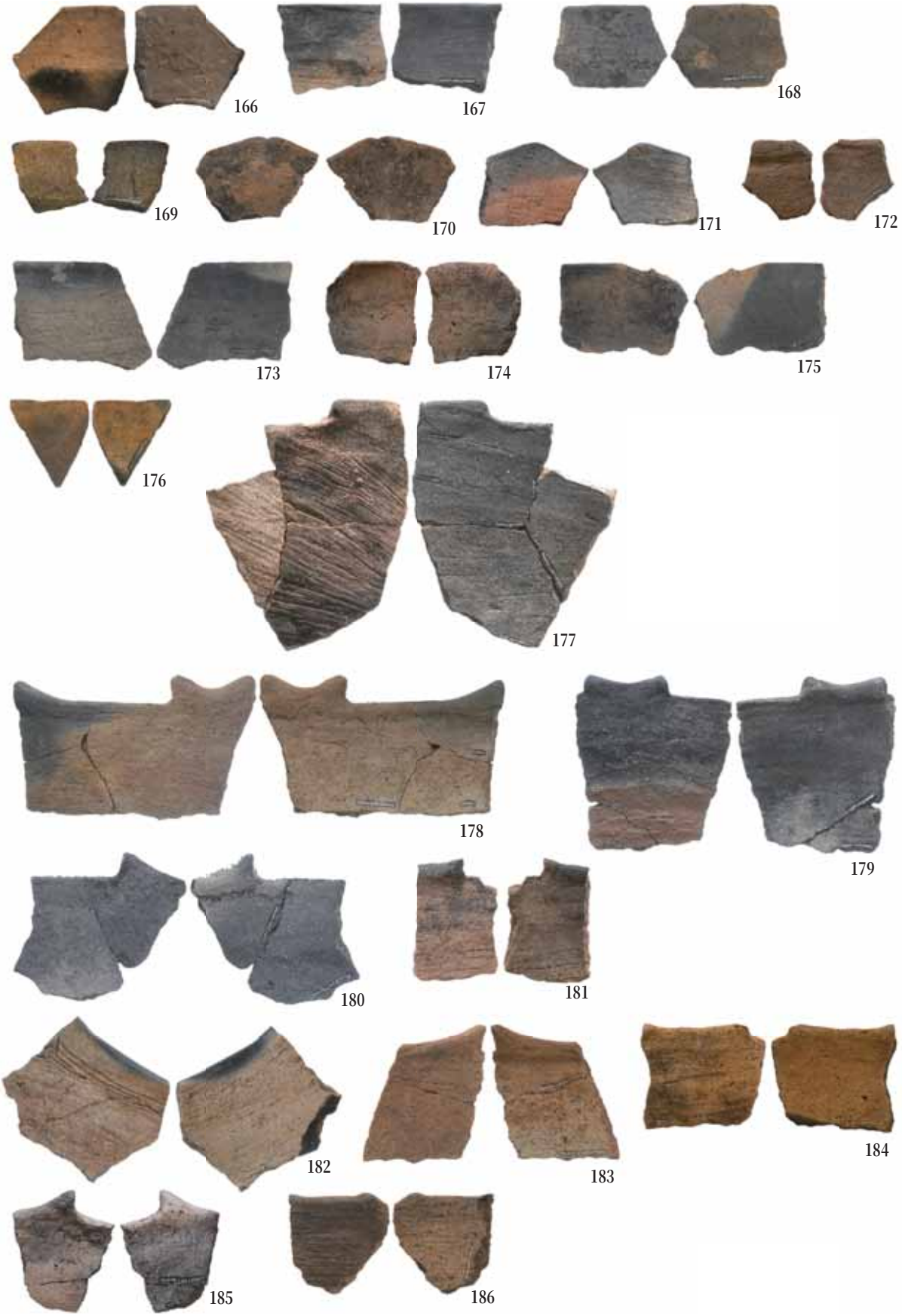
図版146



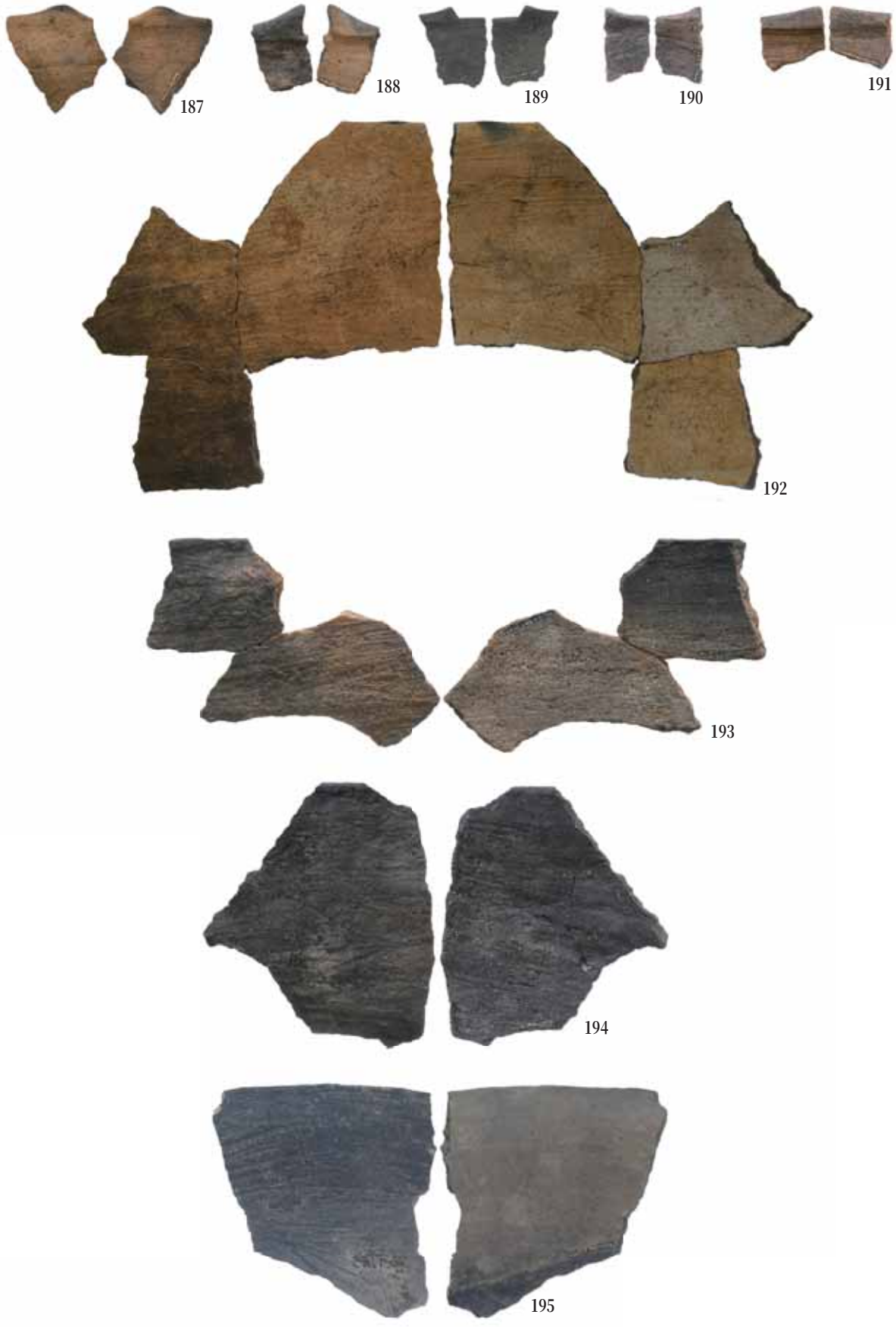
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑩〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑪〕

図版148



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑫〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑬〕

196

197

198

199

200

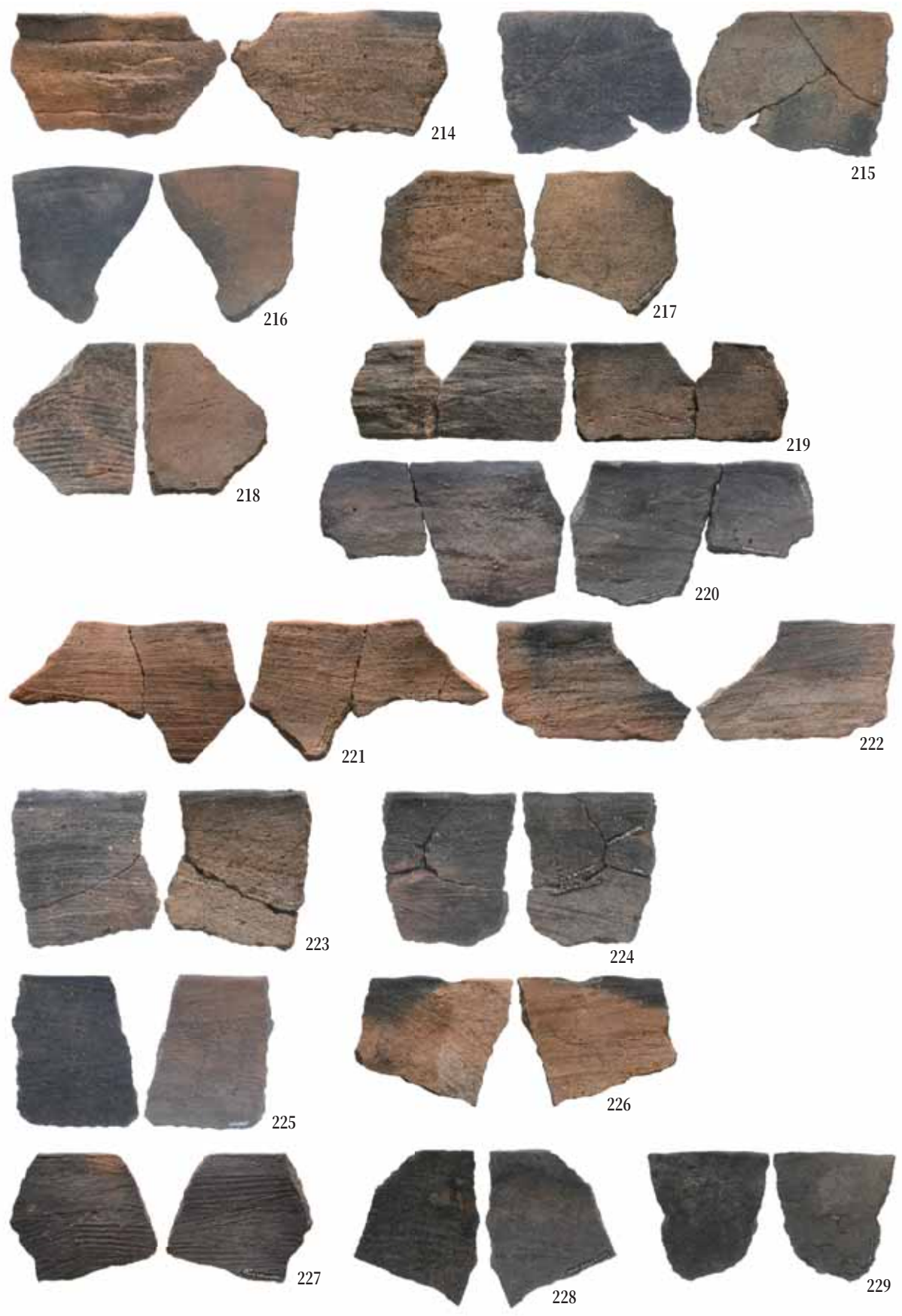
201

202

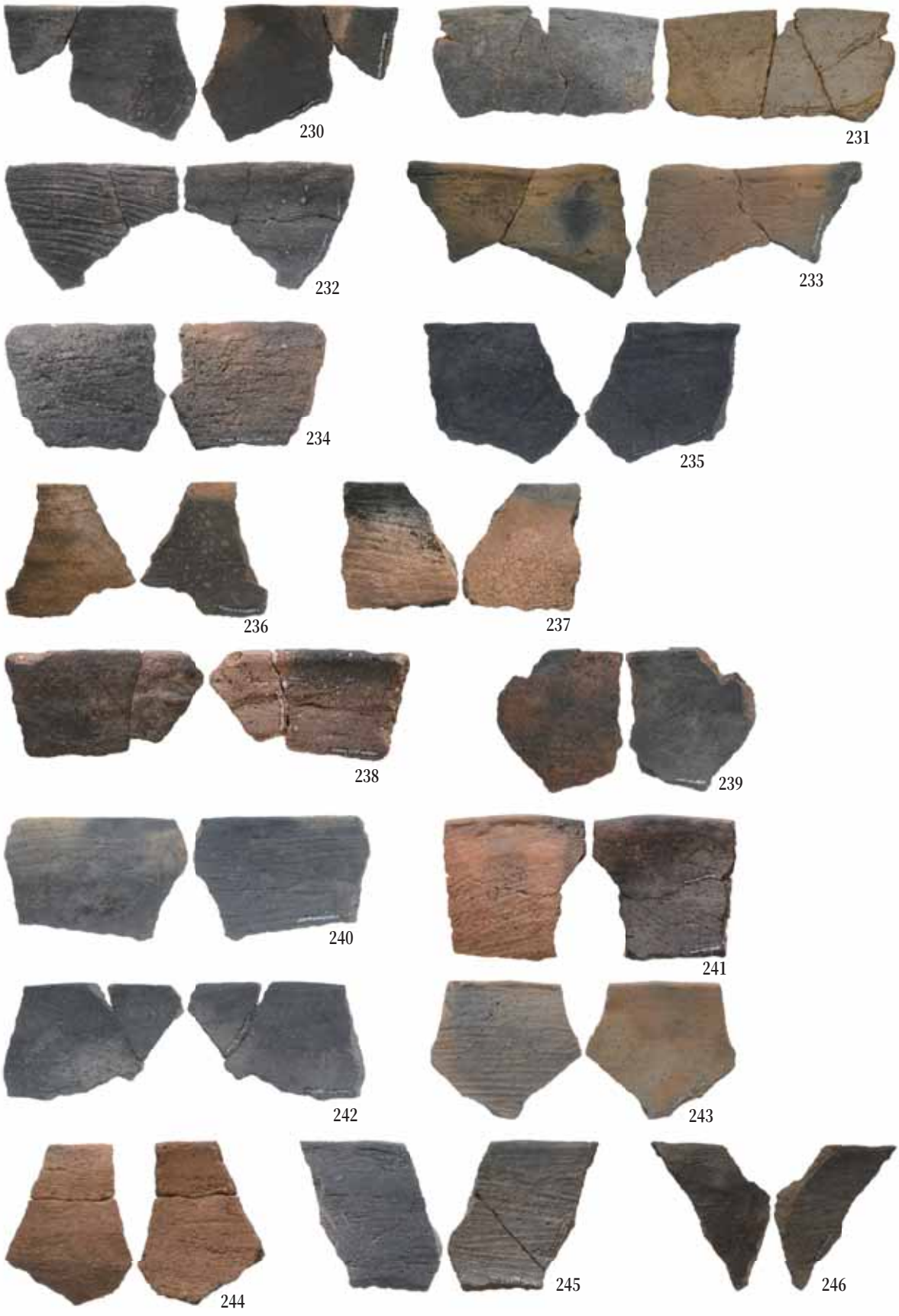
203

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑭〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑮〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑯〕

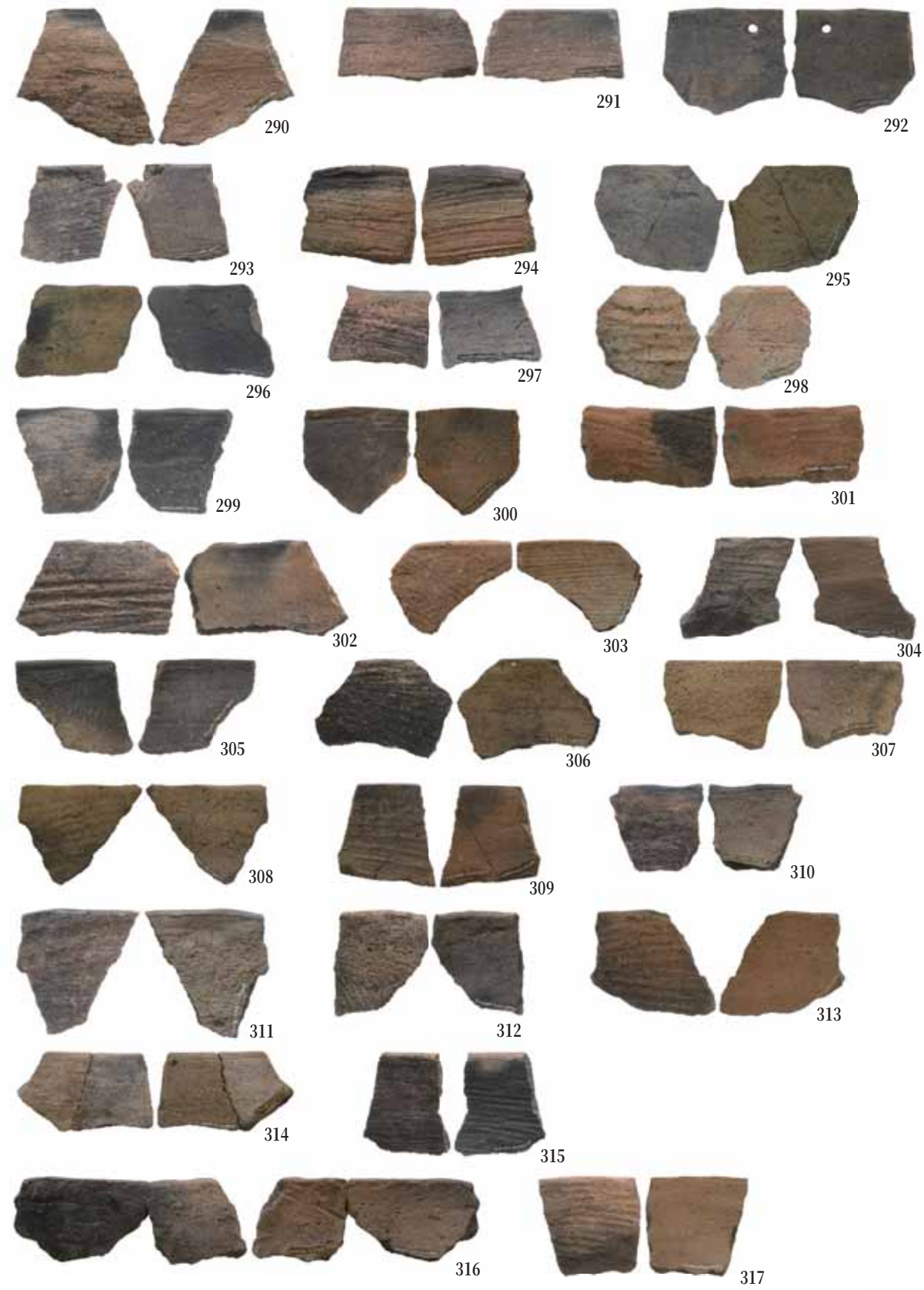


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑰〕

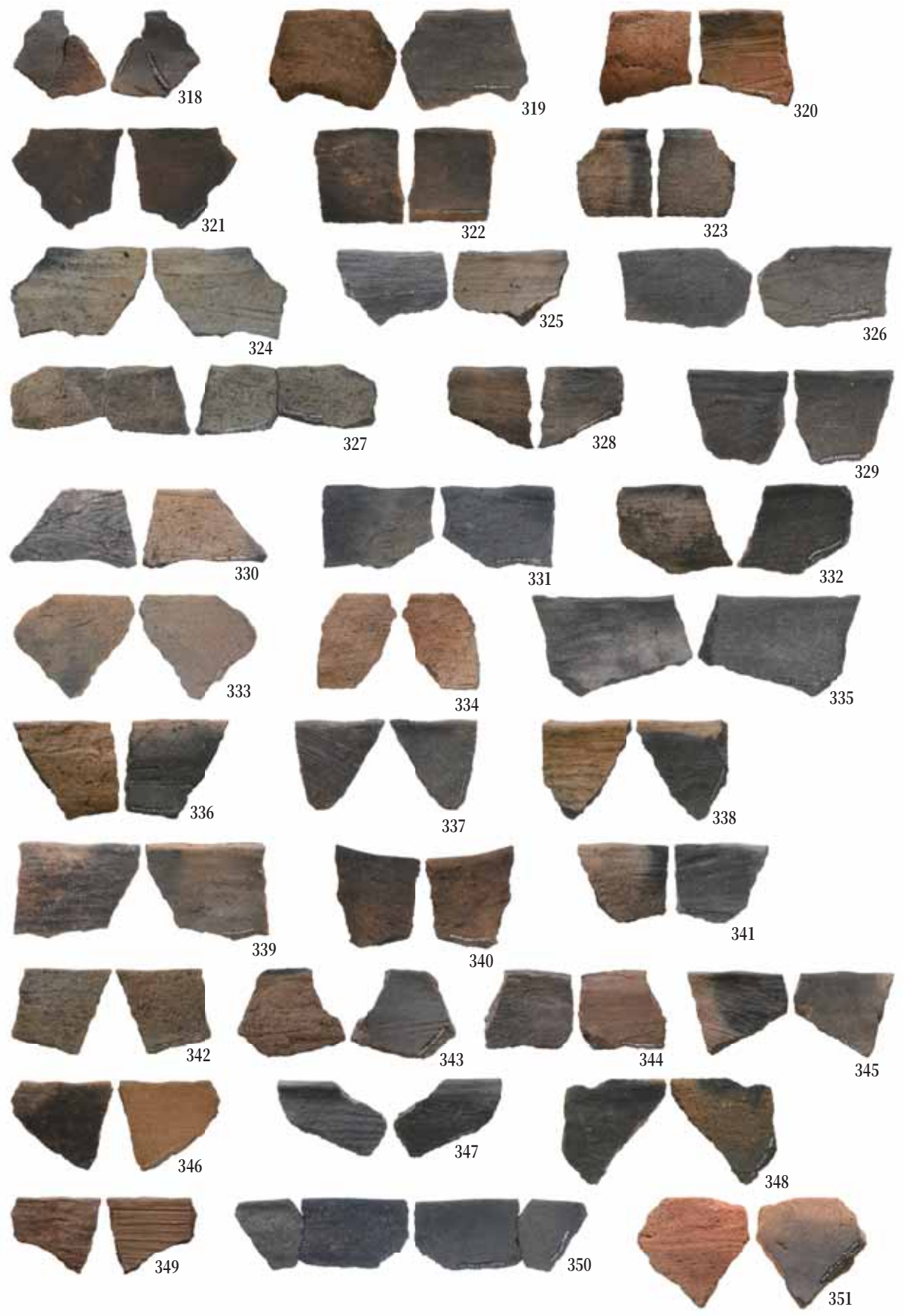
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑱〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑲〕

図版156



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類⑳〕

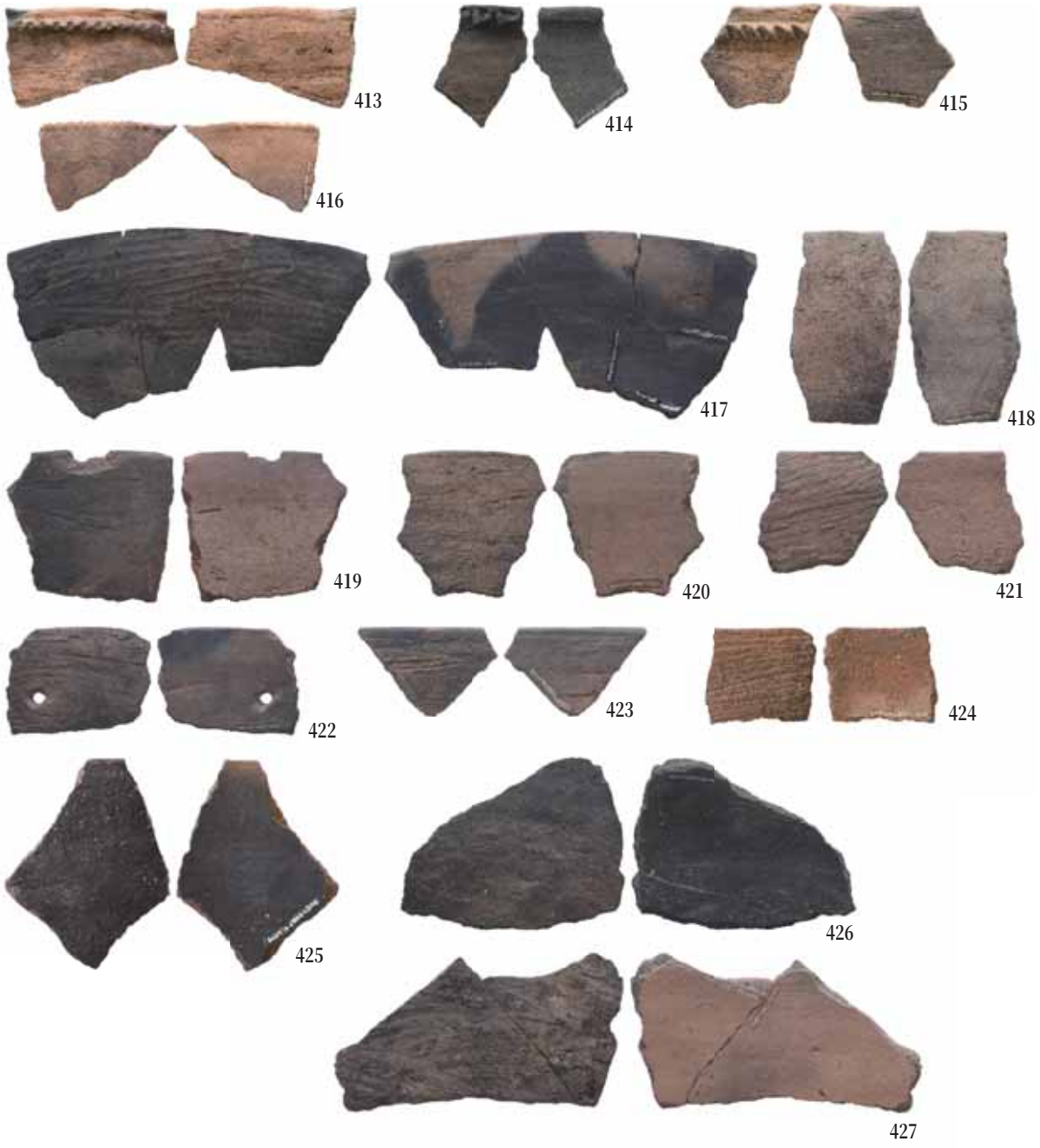


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類㉑〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類㉒〕

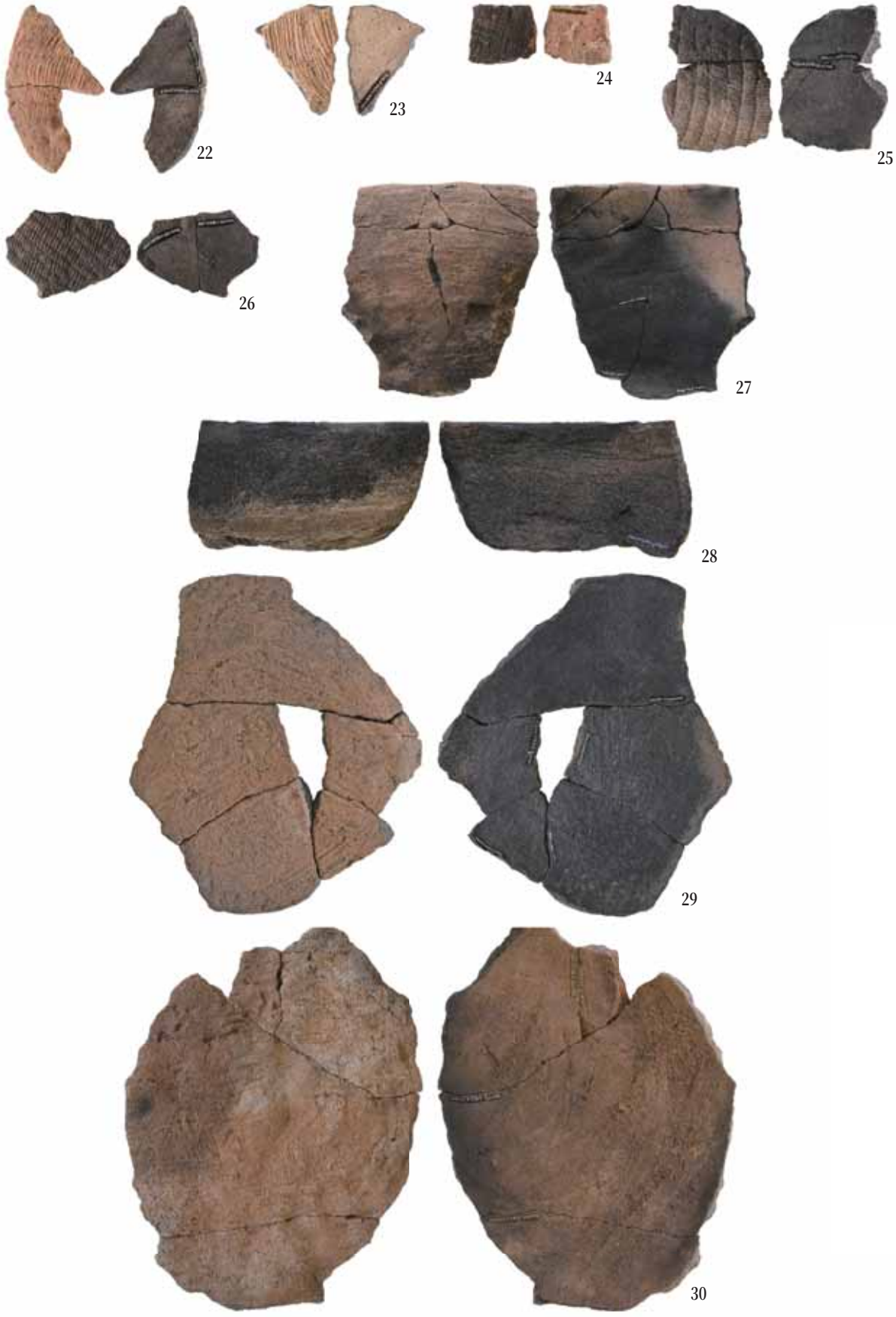
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類㉓〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類㉔〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢Ｌ類㉕〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類①〕

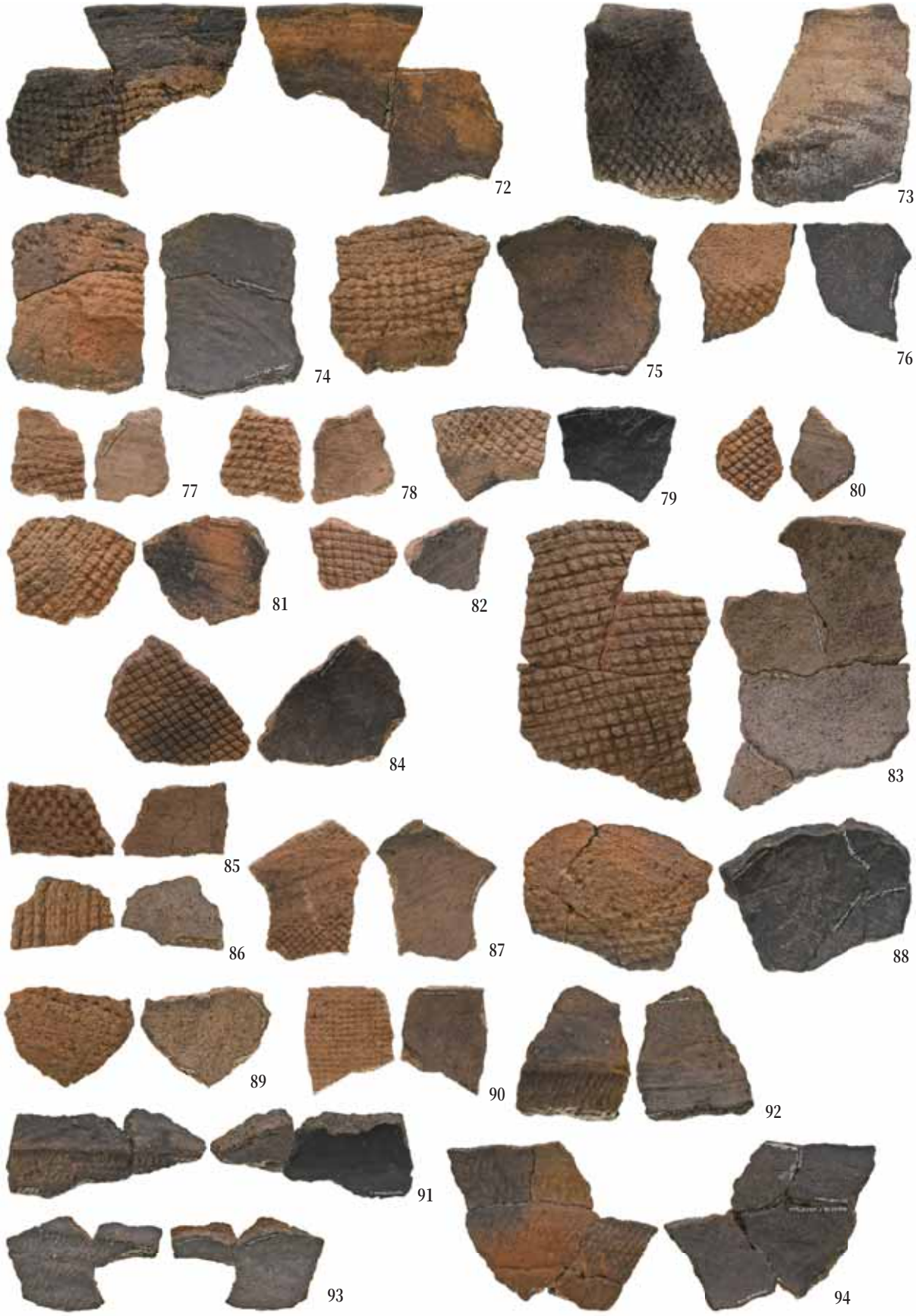


縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類②〕

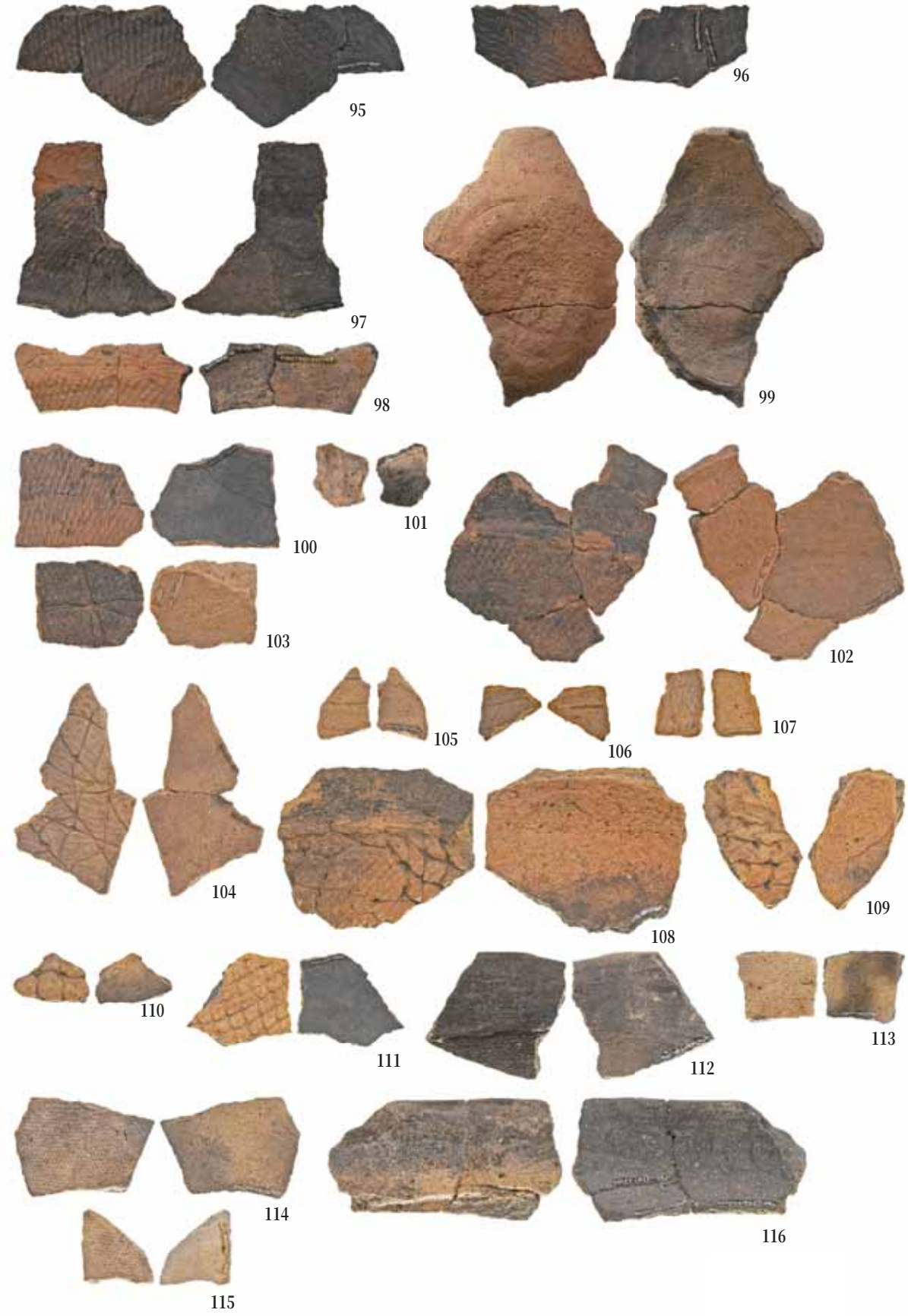
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類③〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類④〕

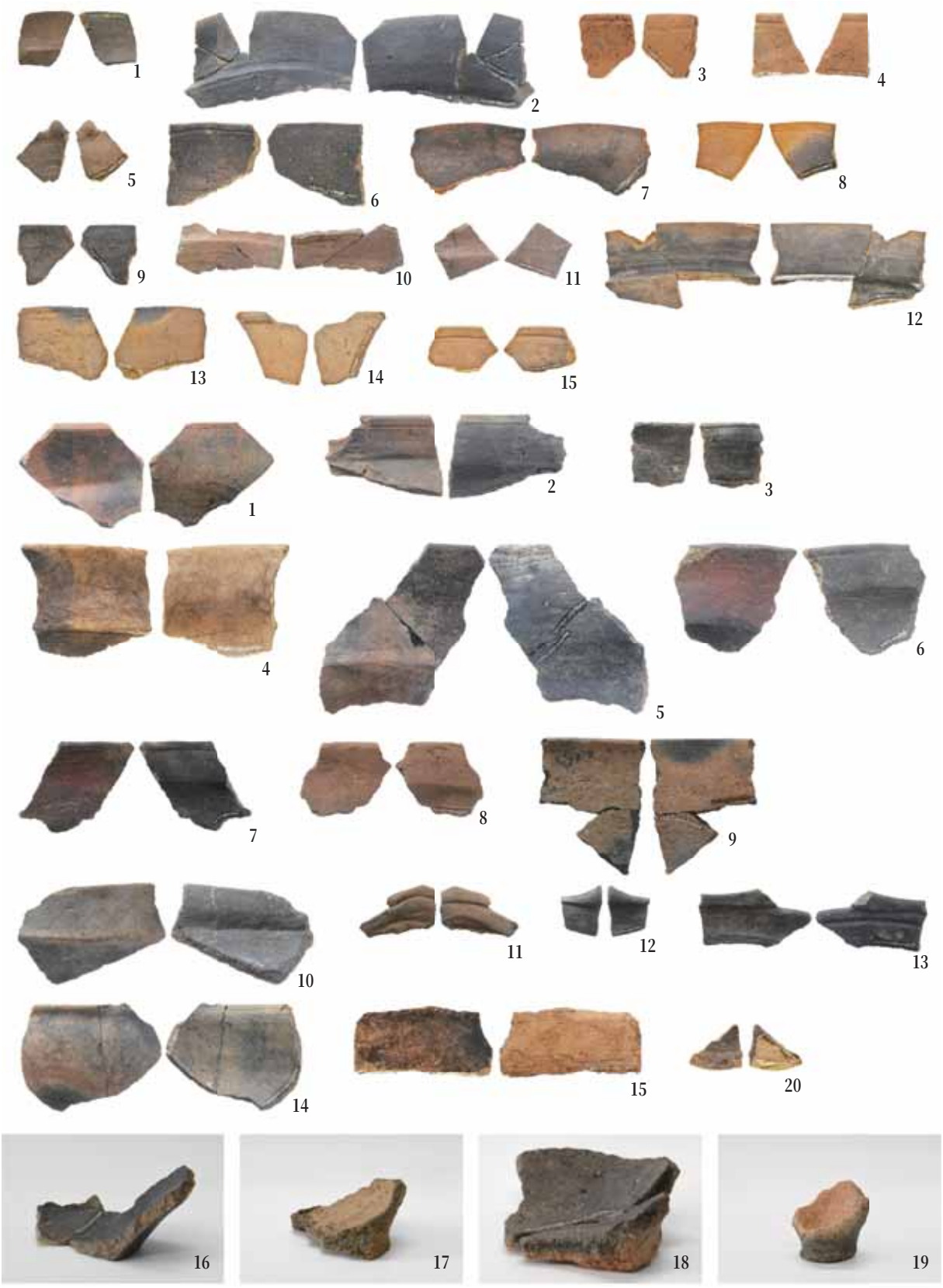
縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類⑤〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類⑥〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢M類⑦〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢N類，浅鉢O類①〕

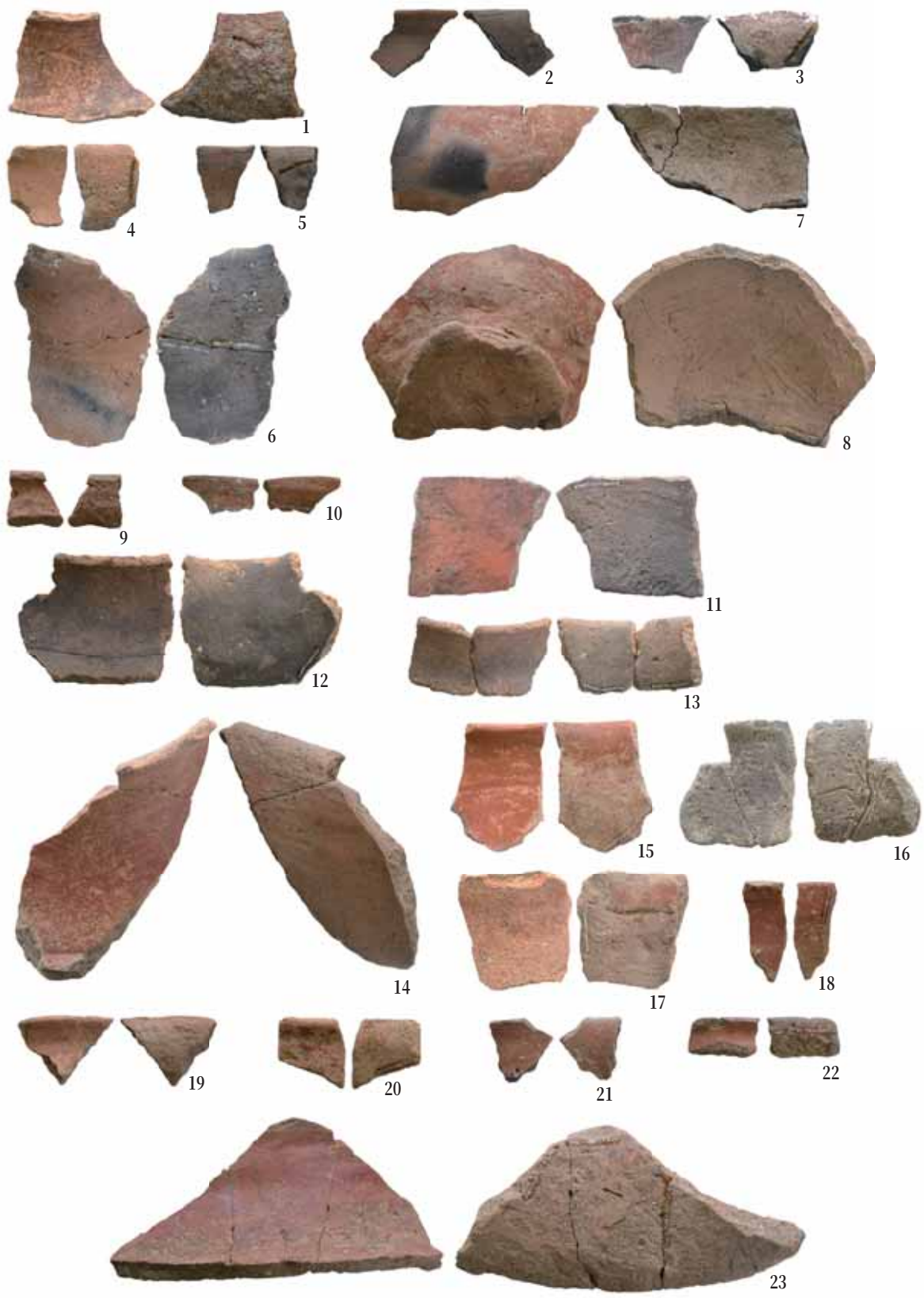
図版170

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢O類②〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢O類③〕

図版172

縄文時代後期～突帯文期の土器〔浅鉢O類④，高坏形土器ほか〕

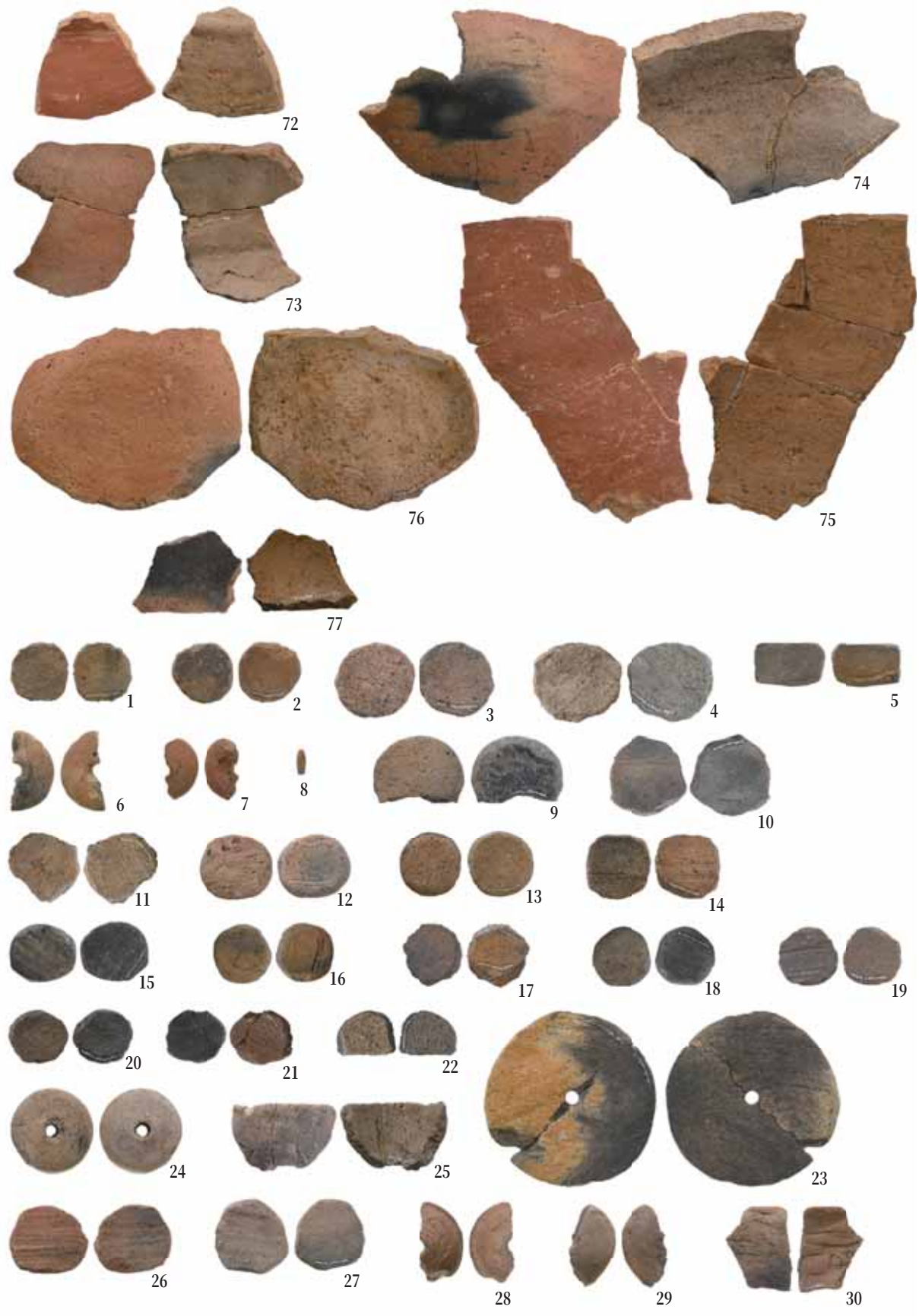


縄文時代後期～突帯文期の土器〔壺形土器①〕

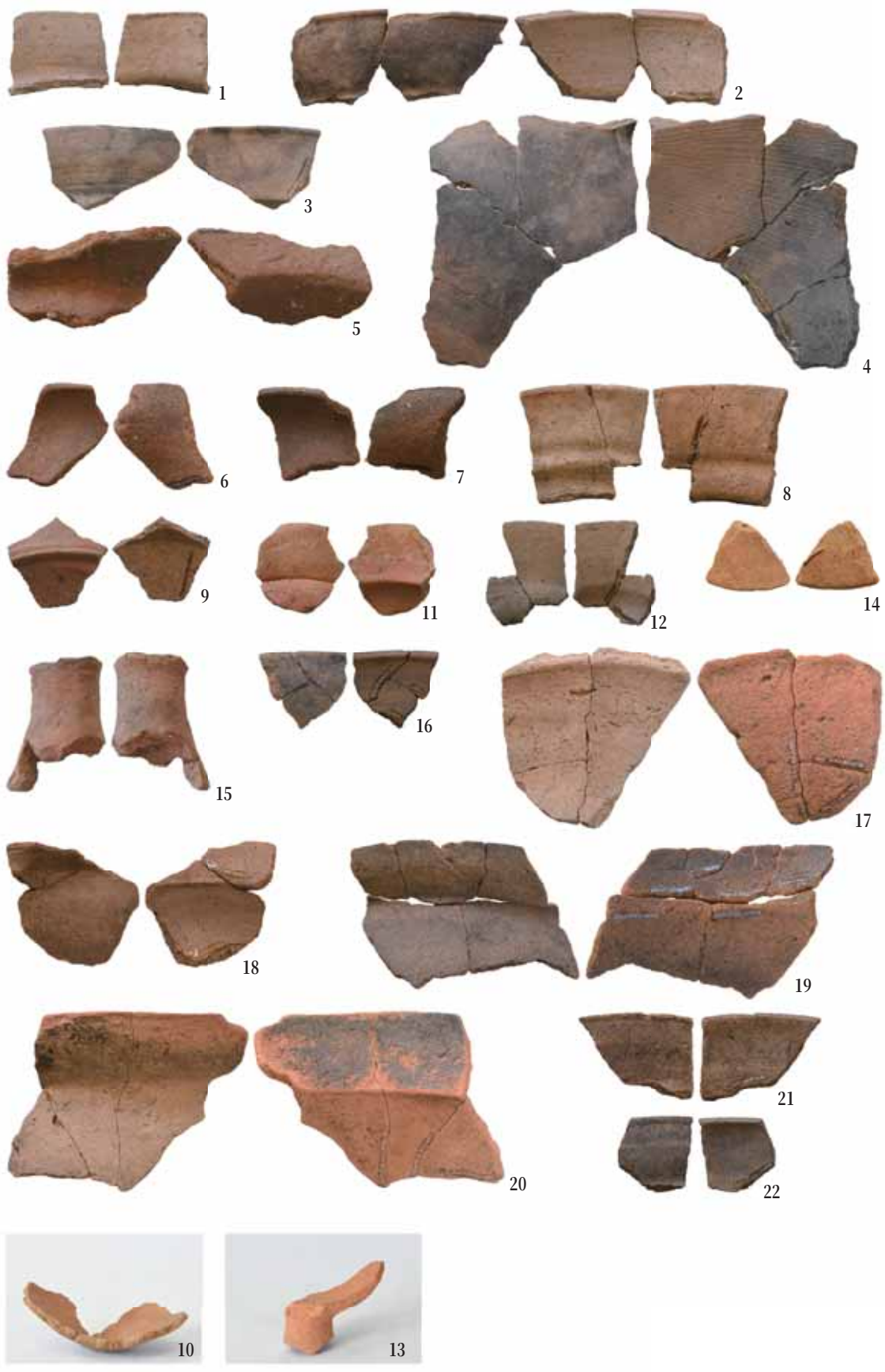
縄文時代後期～突帯文期の土器〔壺形土器②〕

縄文時代後期～突帯文期の土器〔壷形土器③〕

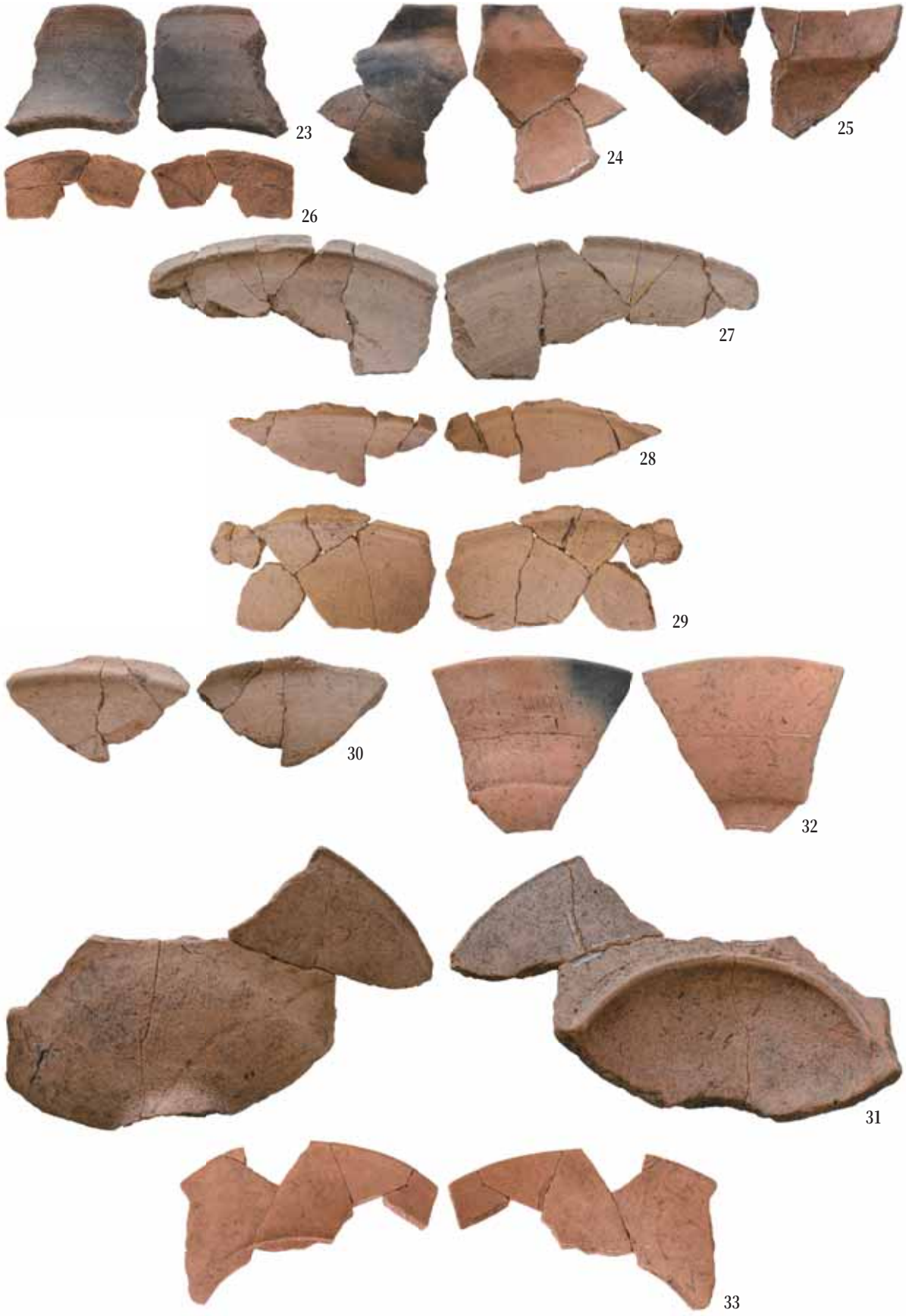
縄文時代後期～突帯文期の土器〔壺形土器④〕



縄文時代後期～突帯文期の土器〔壺形土器⑤，土製品〕

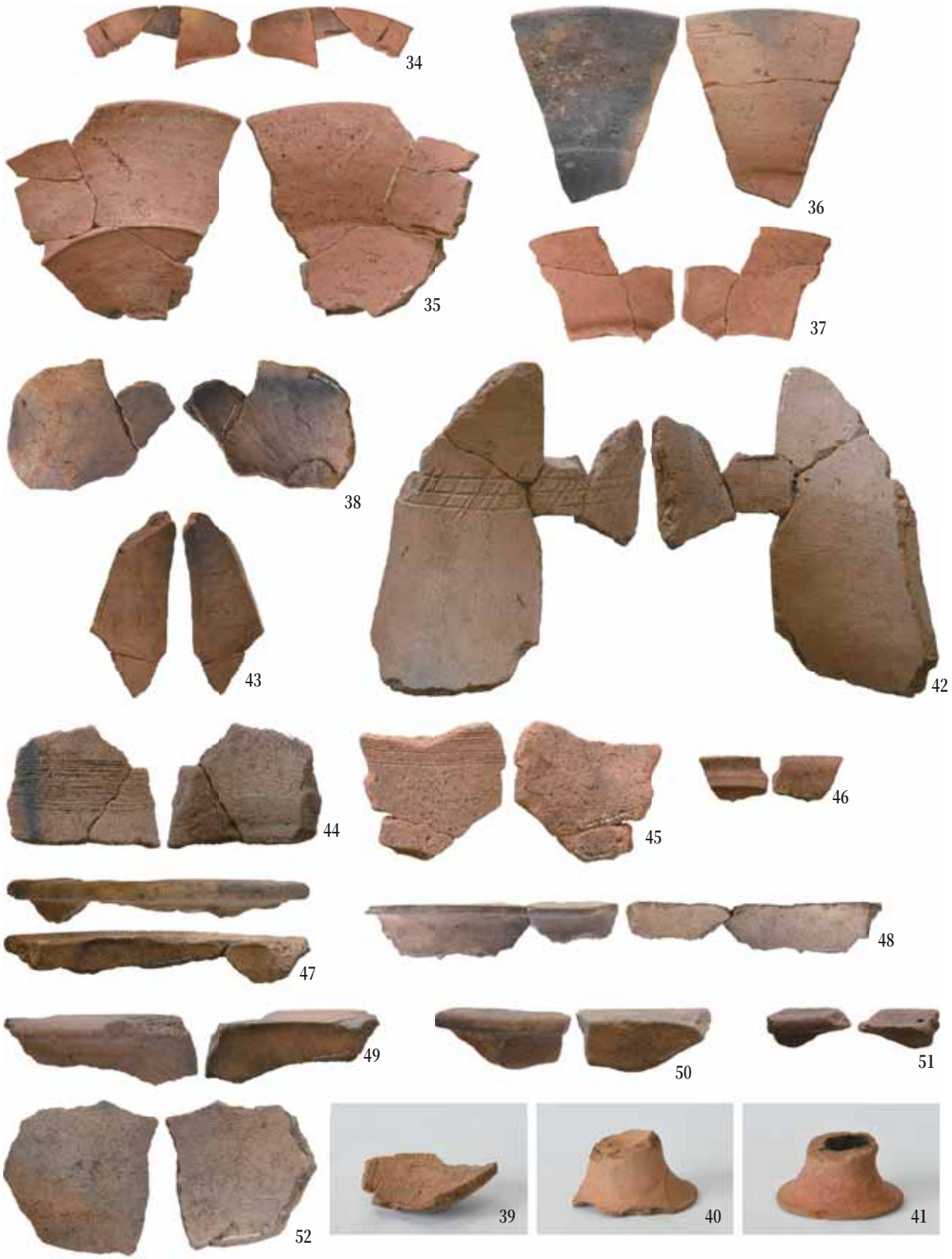


弥生時代中期以降の土器①



弥生時代中期以降の土器②

図版180



弥生時代中期以降の土器③

原石①

6

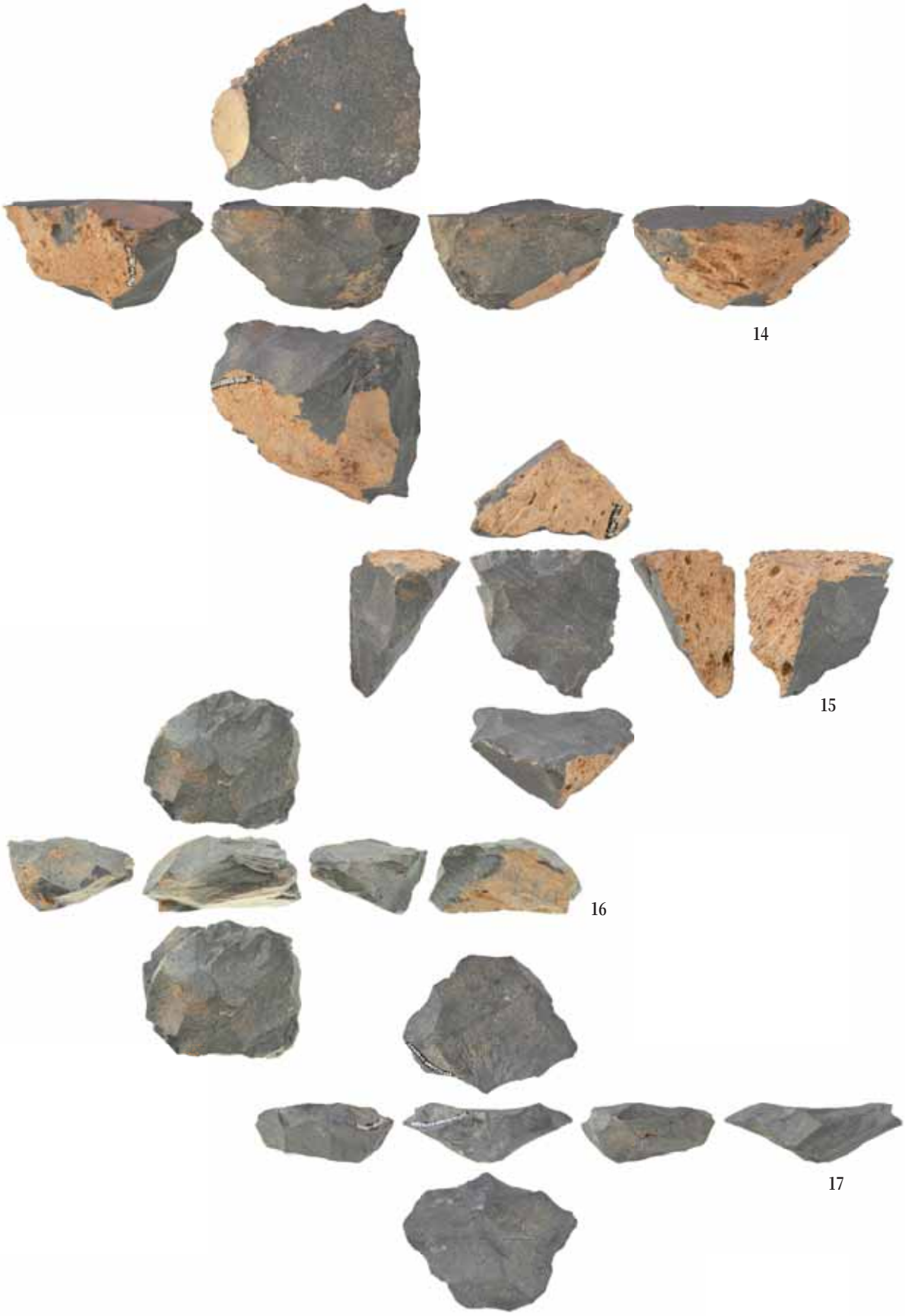
7

原石②

石核①

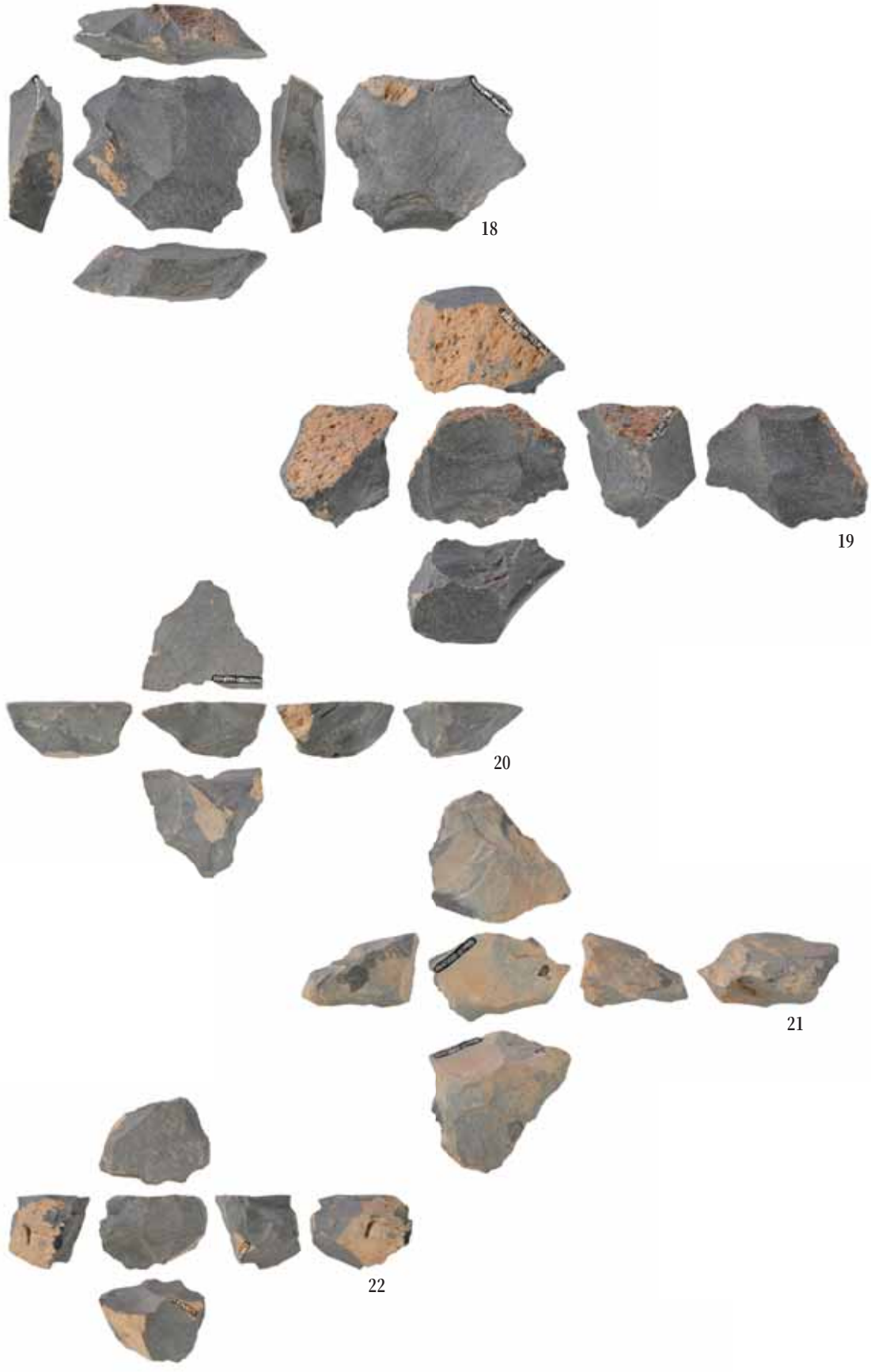
図版184

石核②



石核③

図版186

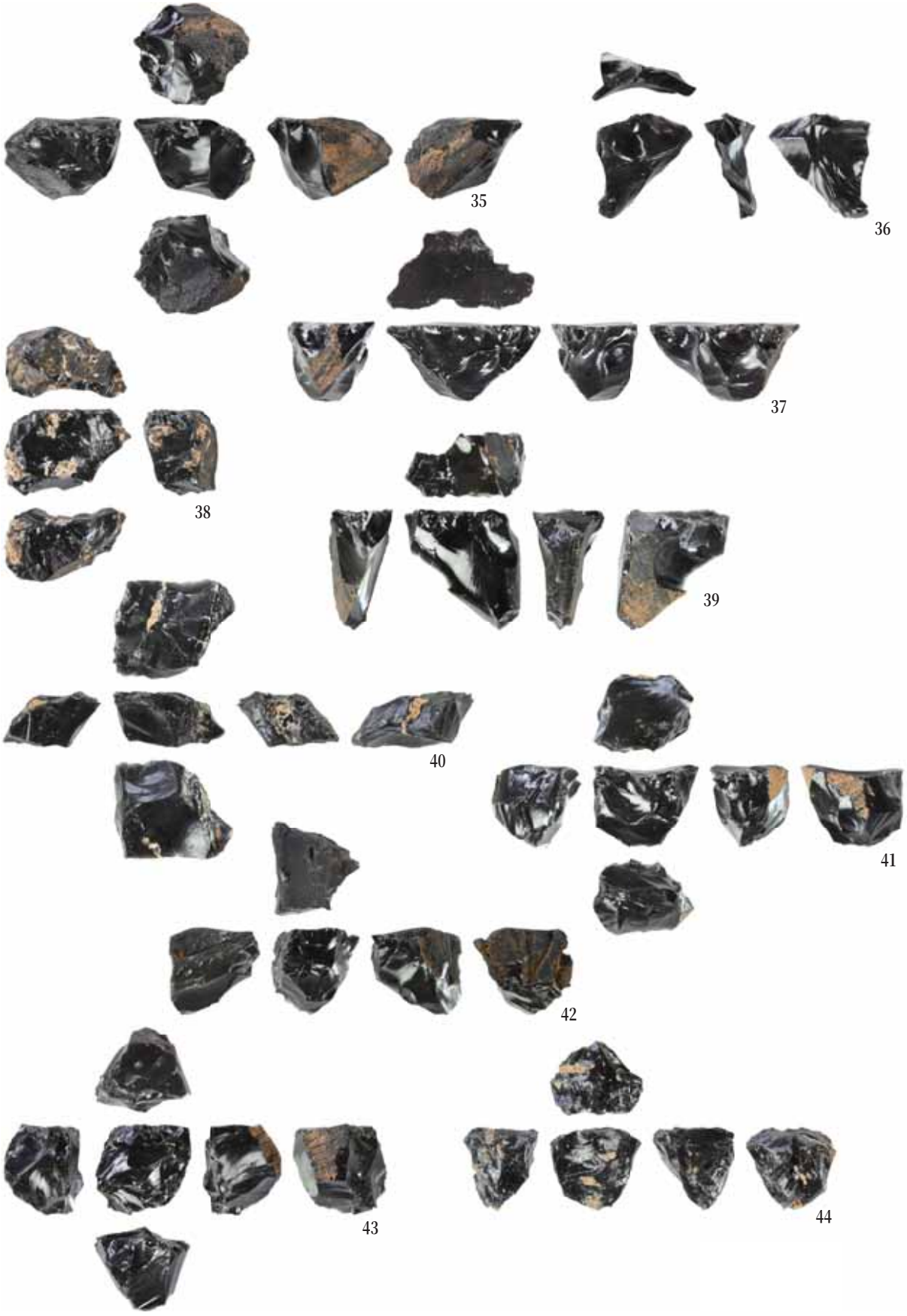


石核④

石核⑤

図版188

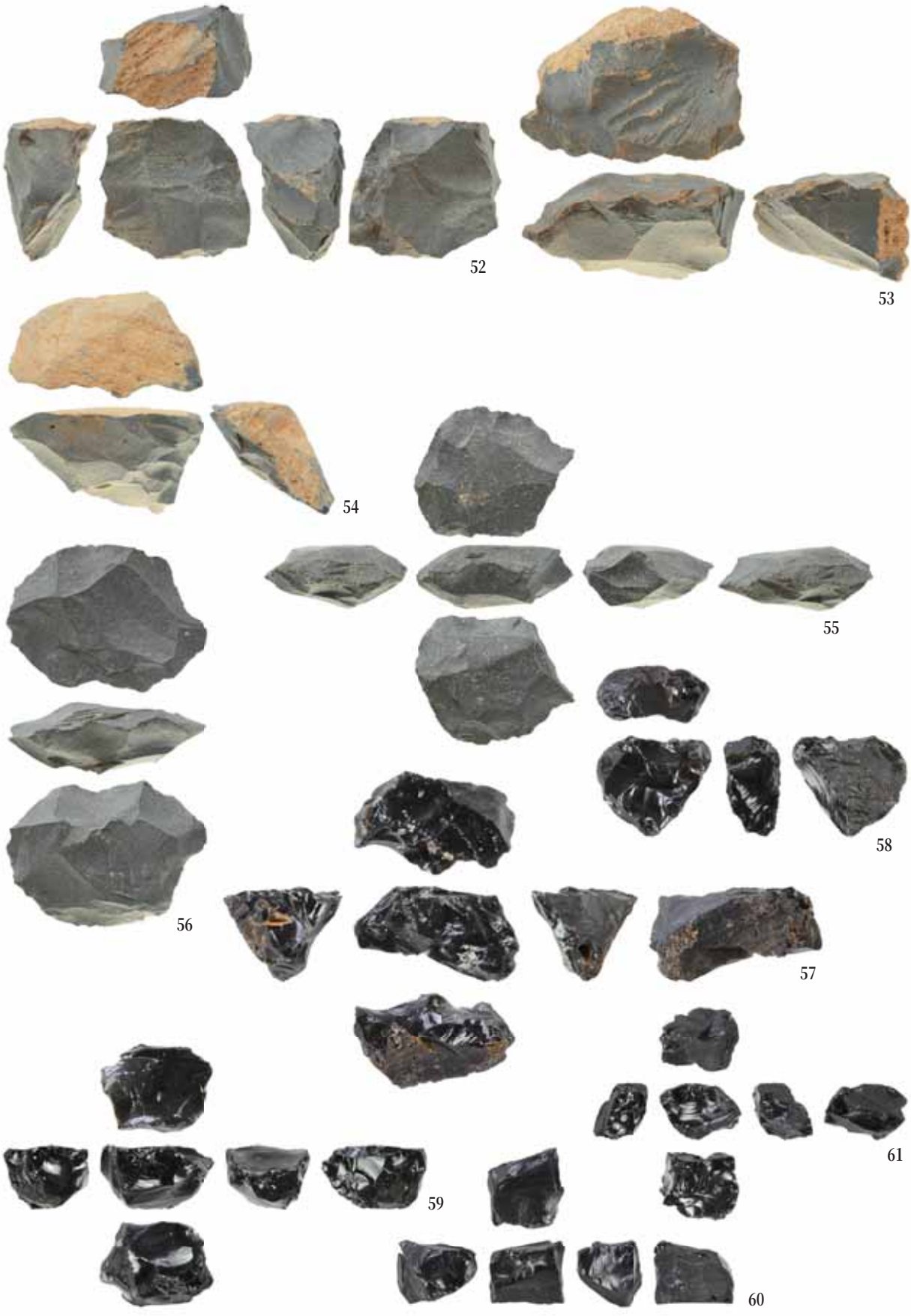
石核⑥



石核⑦

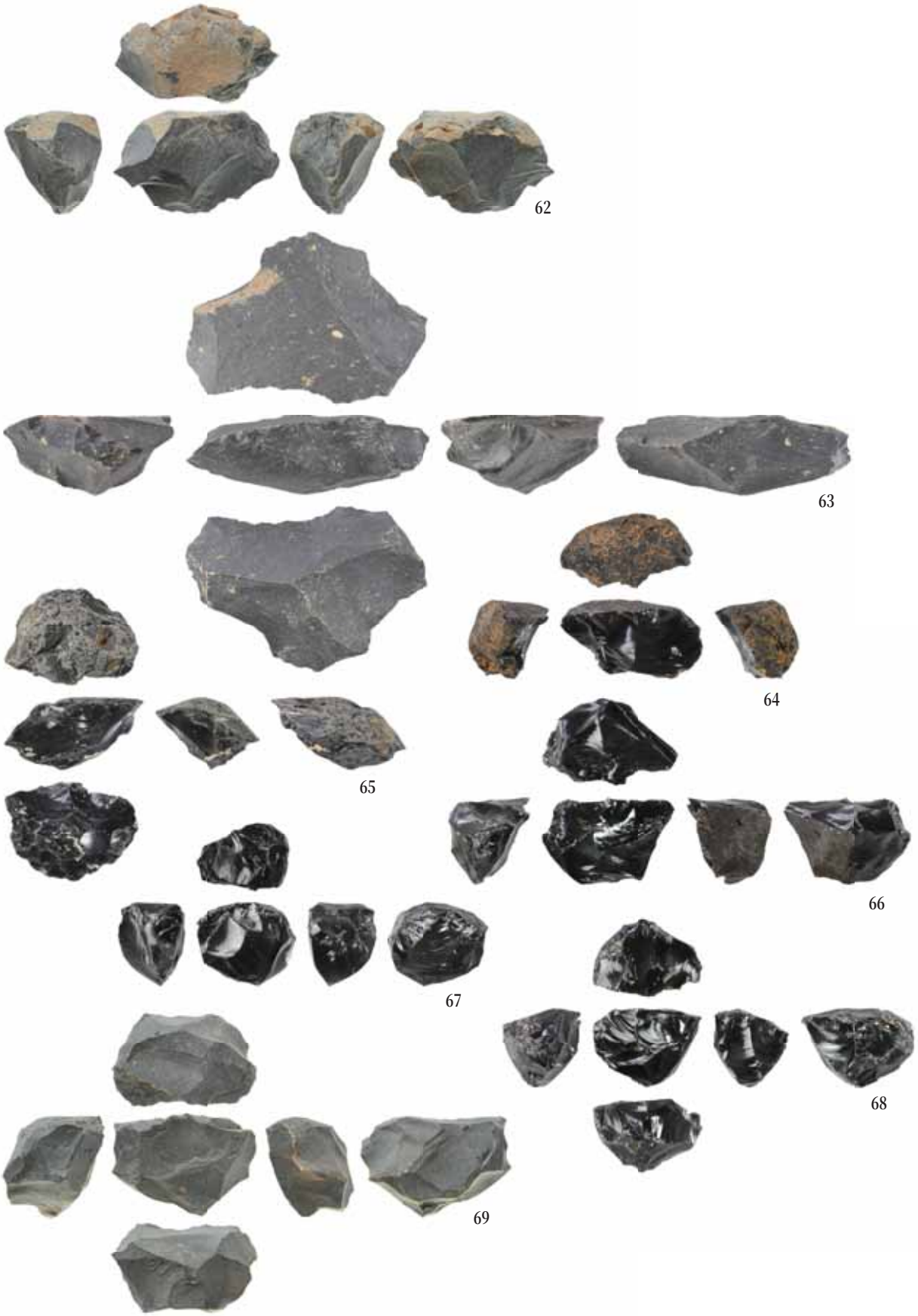
図版190

石核⑧

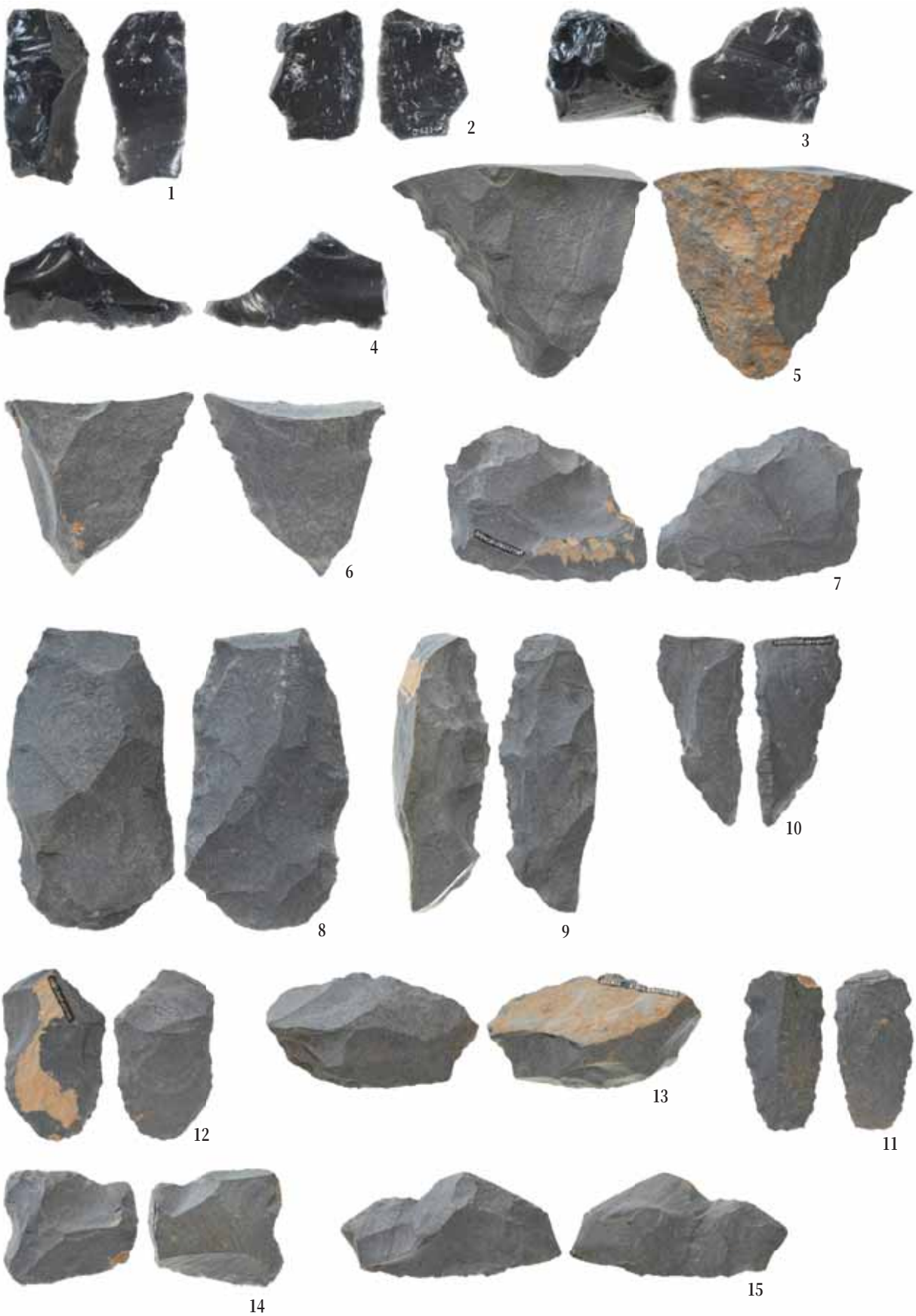


石核⑨

図版192

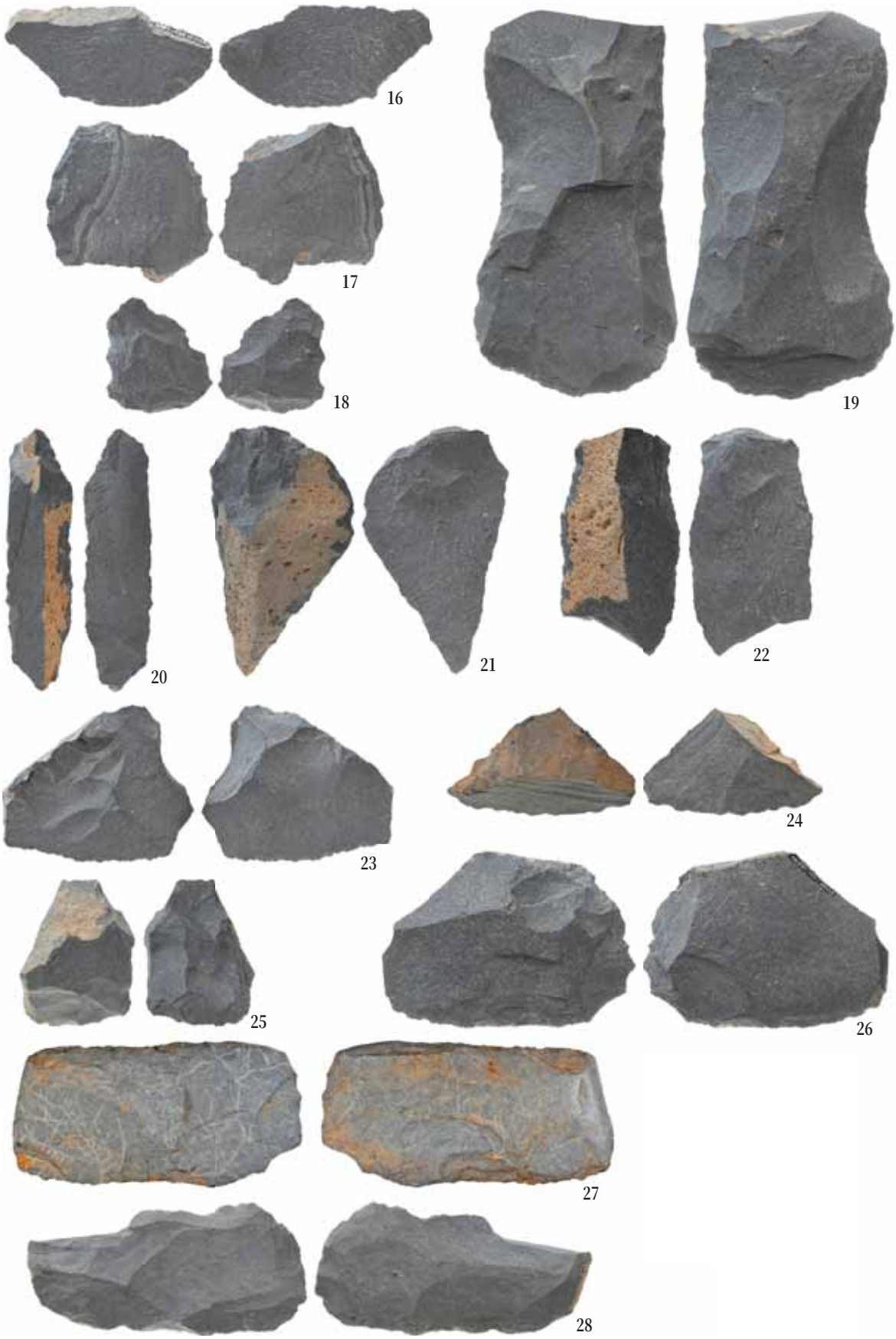


石核⑩



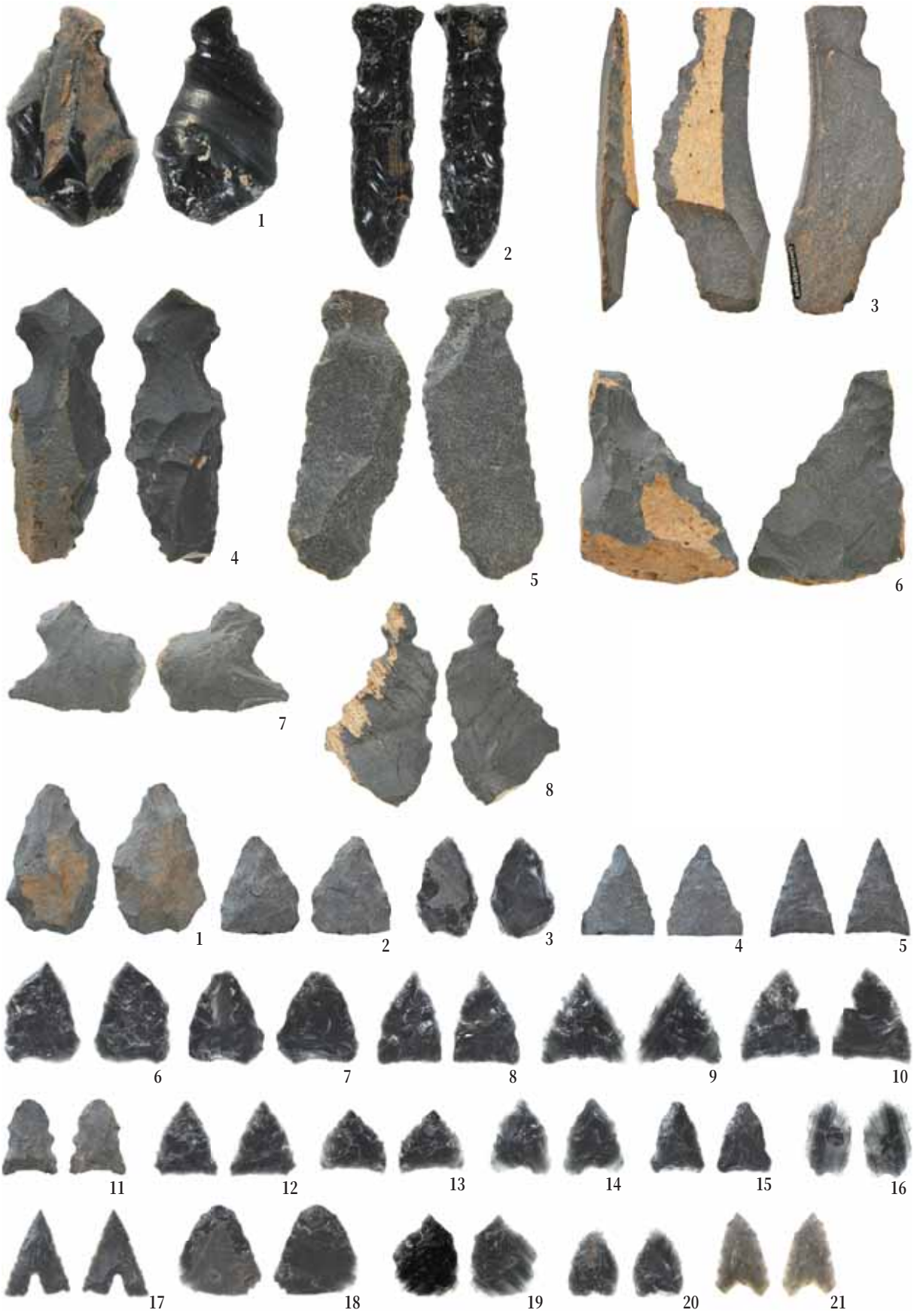
スクレイパー①

図版194

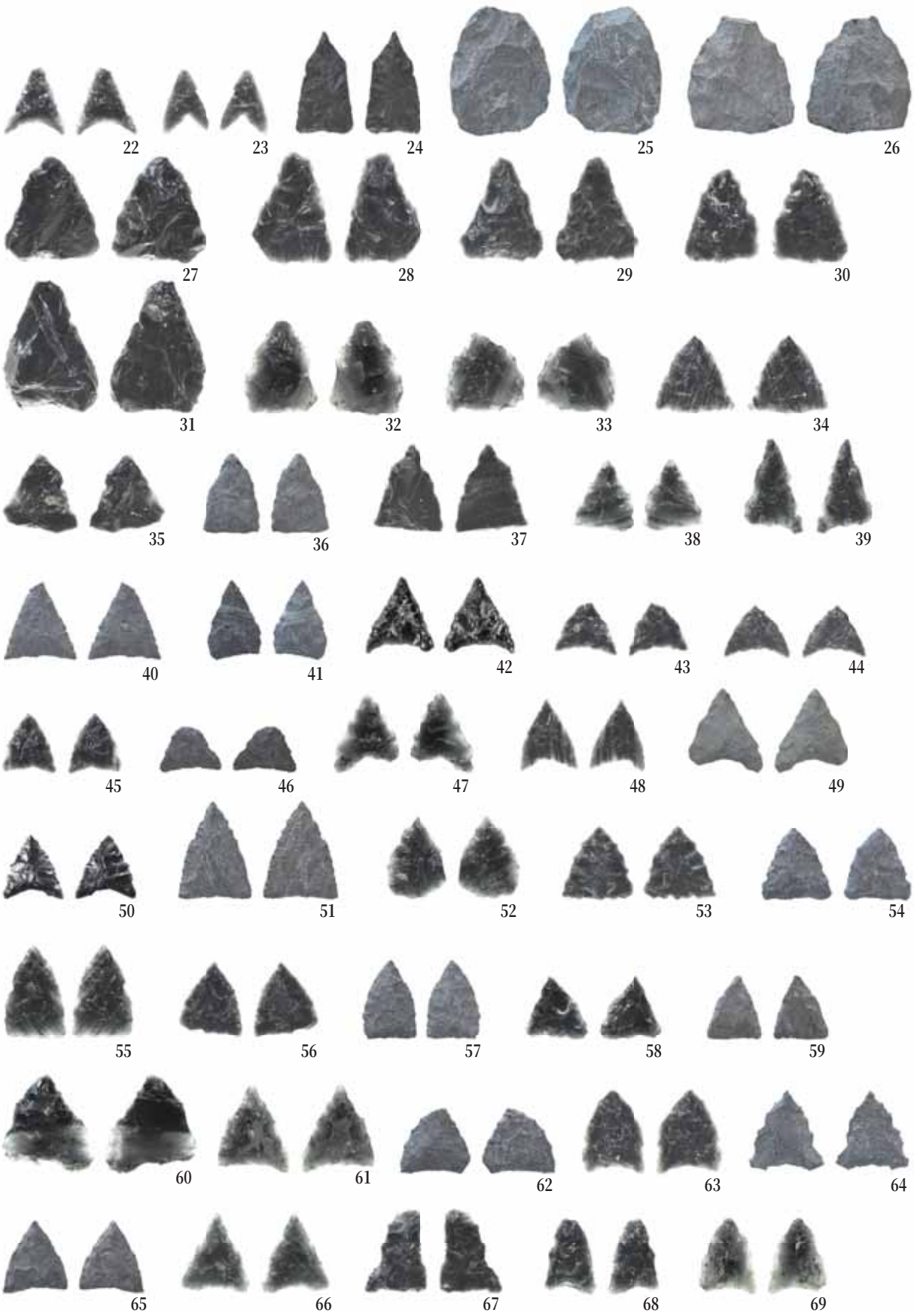


スクレイパー②

スクレイパー③



石匙，石鏃①

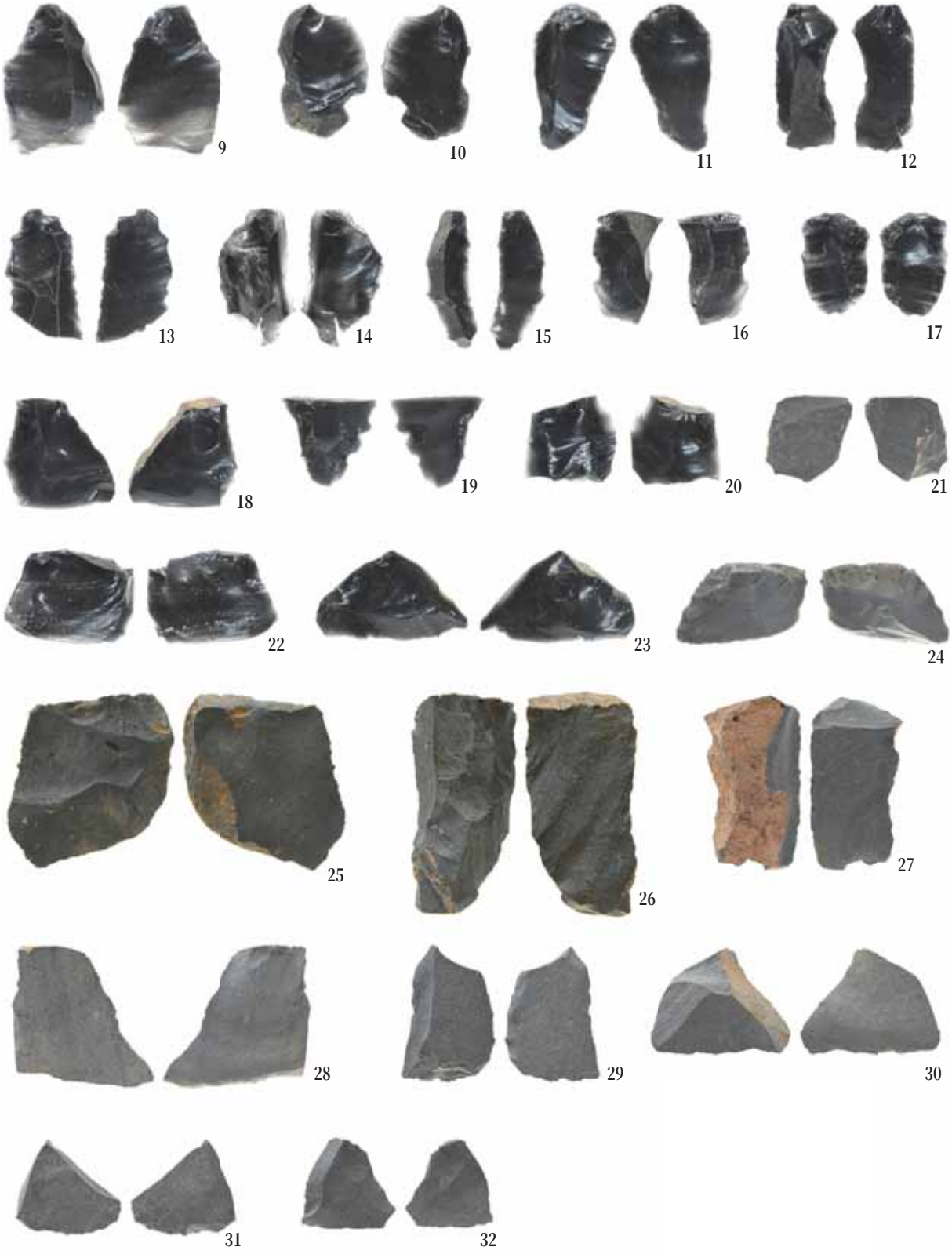

22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69

石鏃②

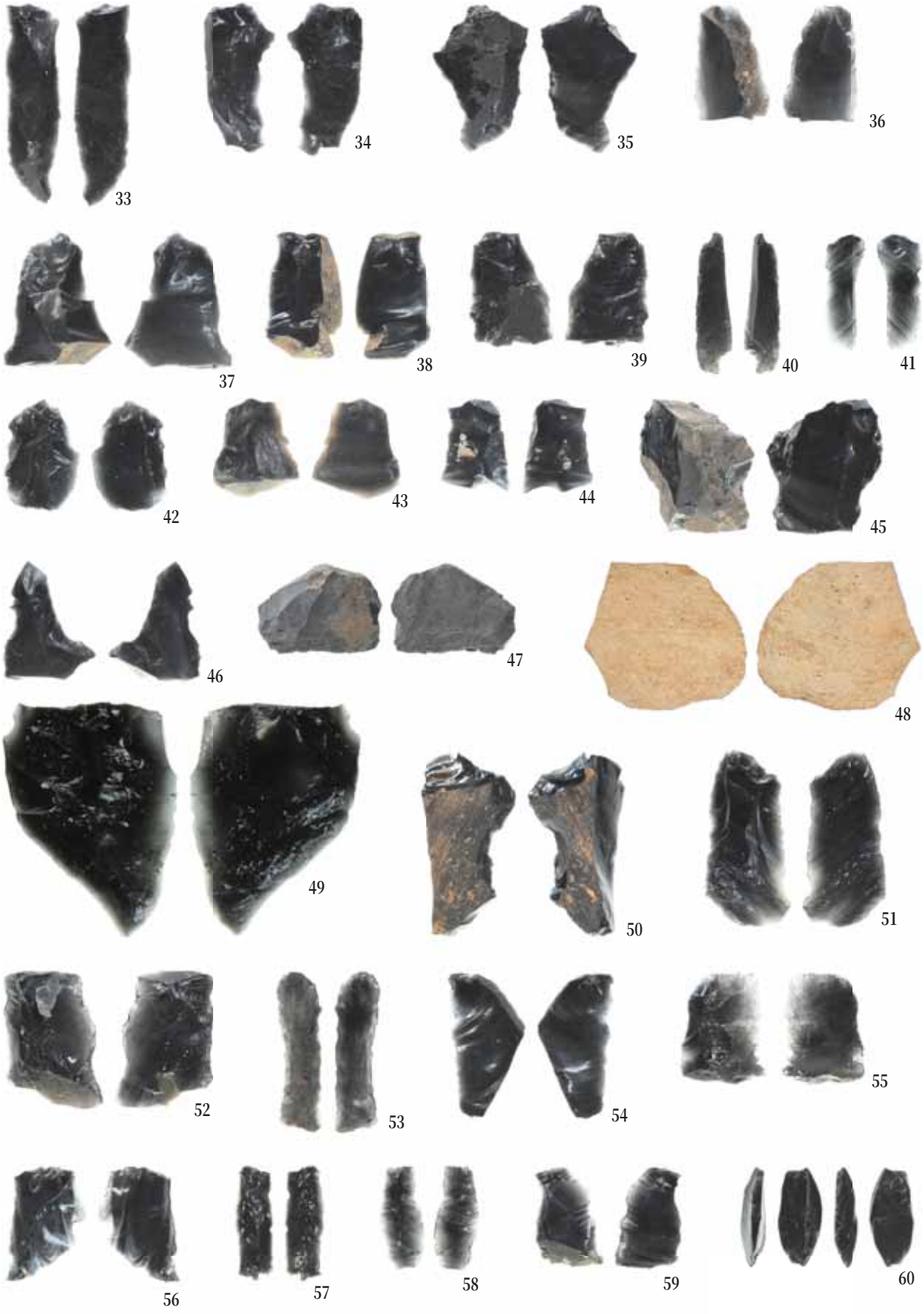
図版198

石鏃③，つまみ形石器

石錐，二次加工剥片・微細剥離剥片①



二次加工剥片・微細剥離剥片②

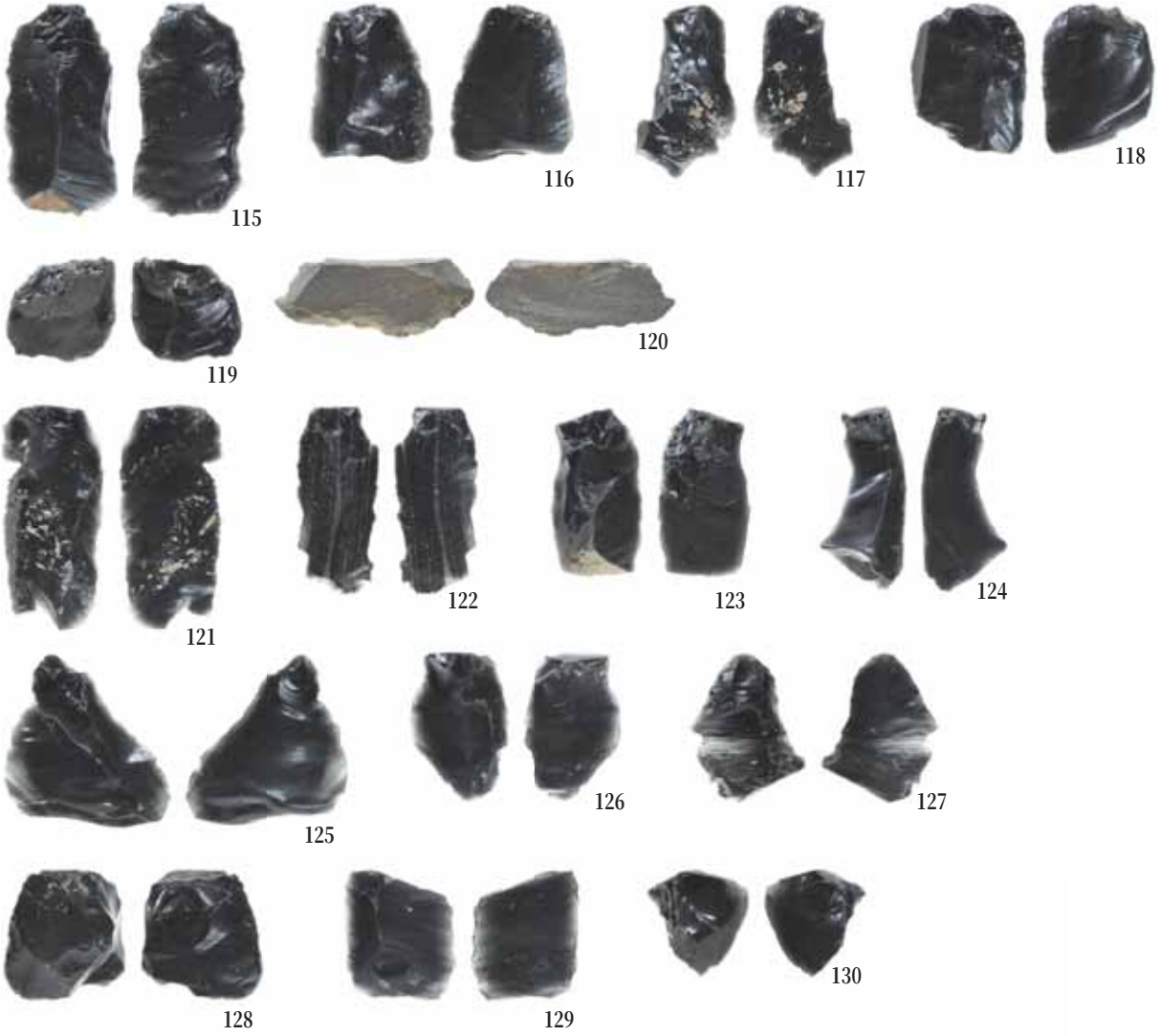


二次加工剥片・微細剥離剥片③

二次加工剥片・微細剥離剥片④

二次加工剥片・微細剥離剥片⑤

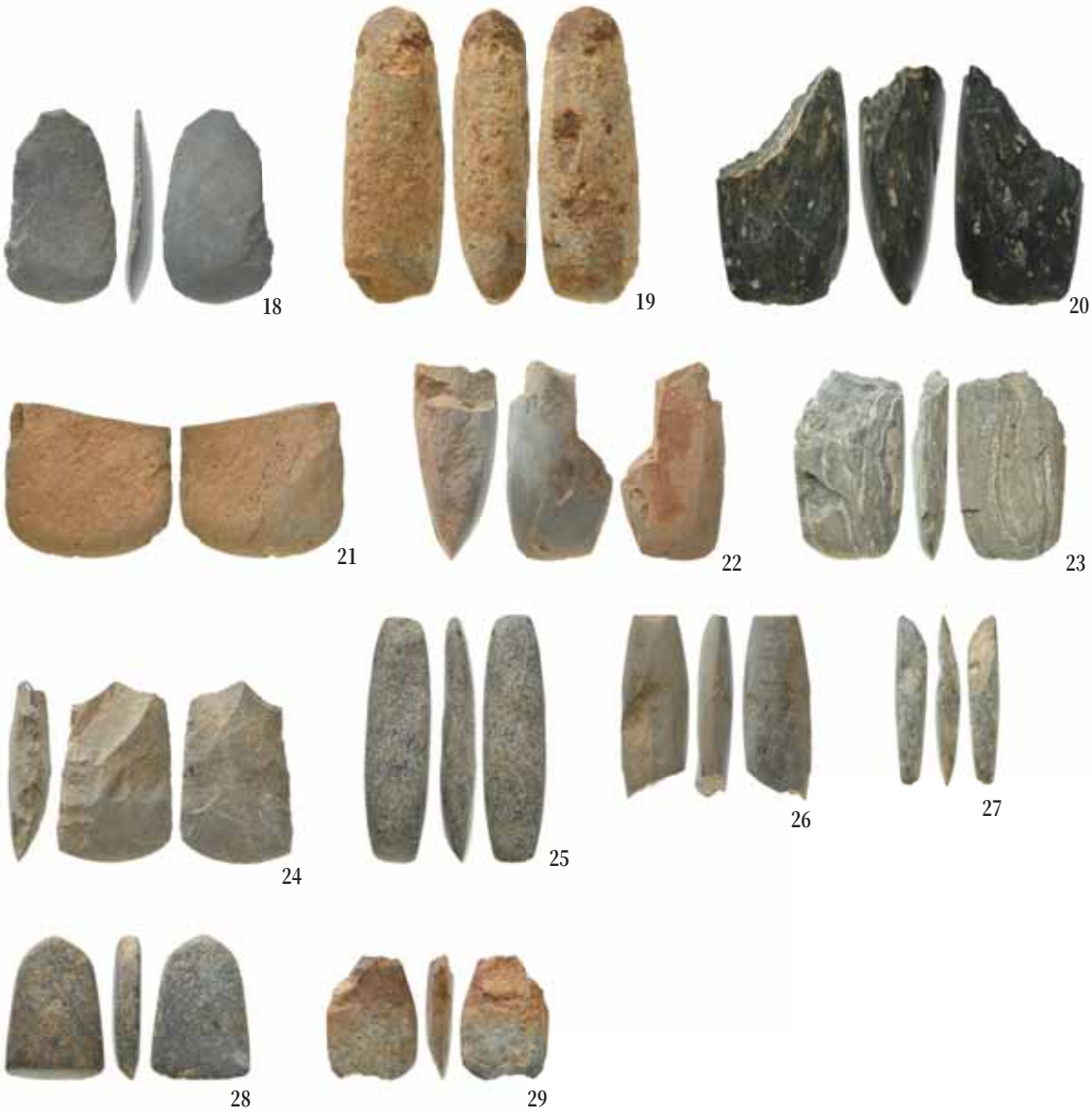
図版204



二次加工剥片・微細剥離剥片⑥

磨製石斧①

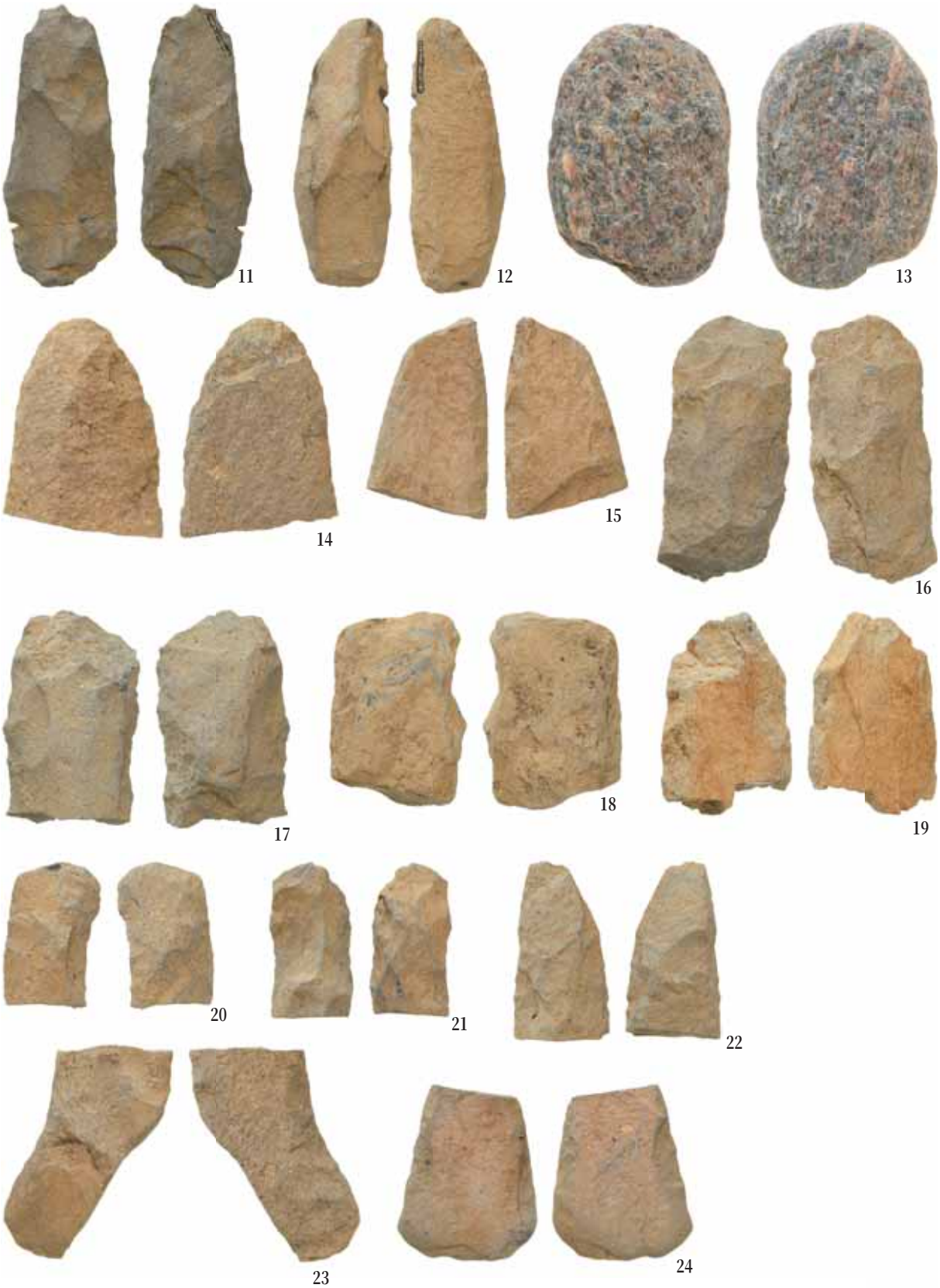
図版206



磨製石斧②

打製石斧①

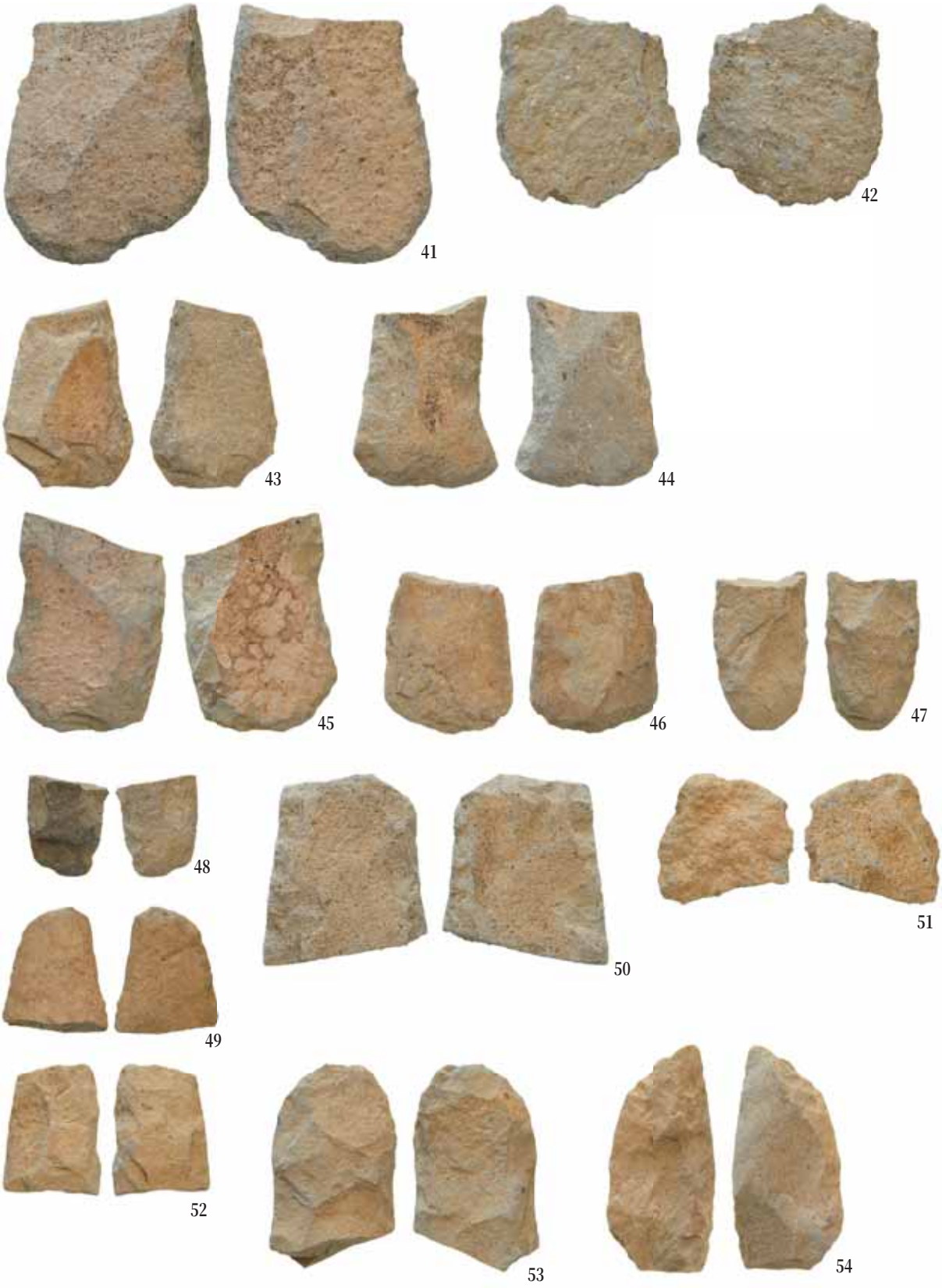
図版208



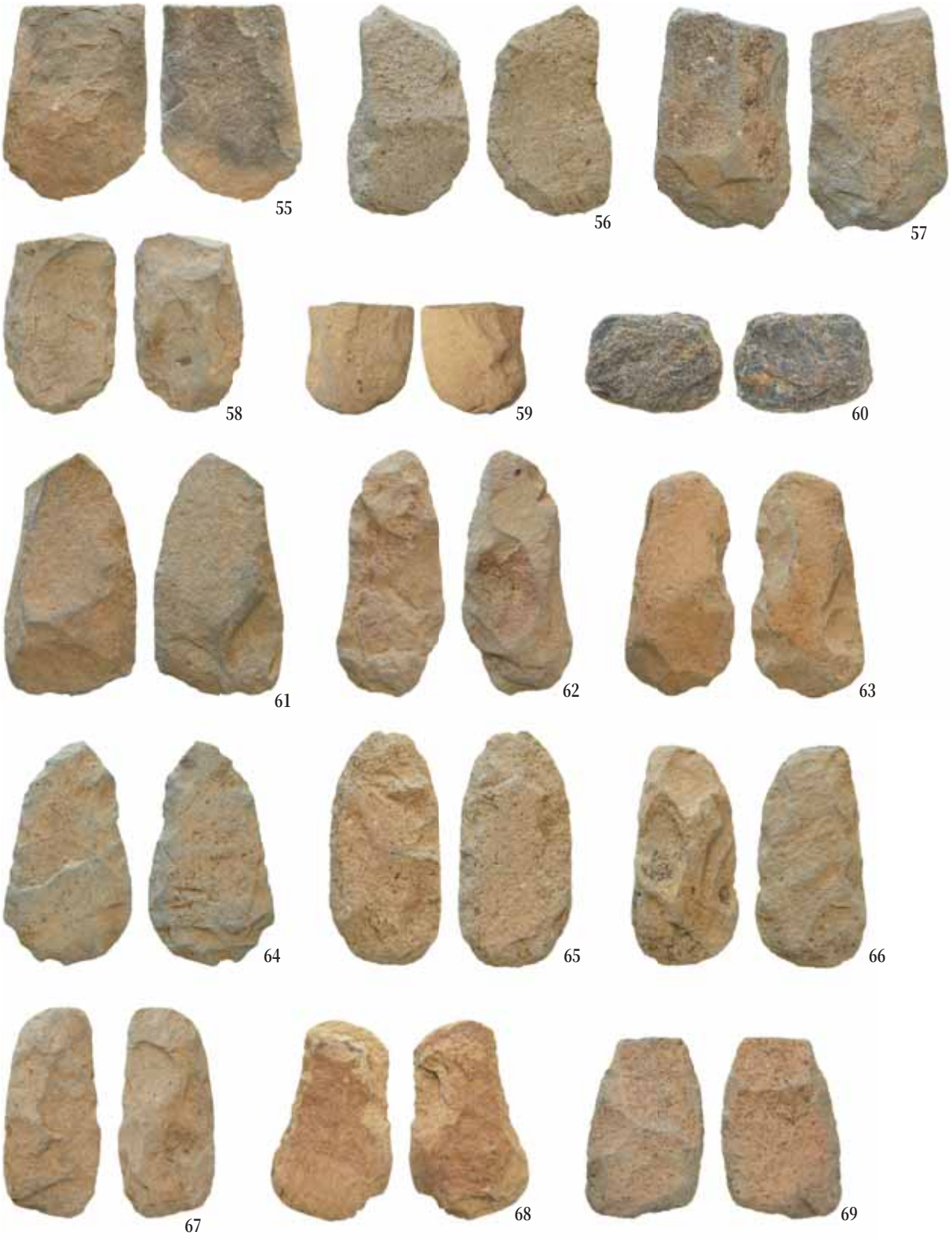
打製石斧②

打製石斧③

図版210

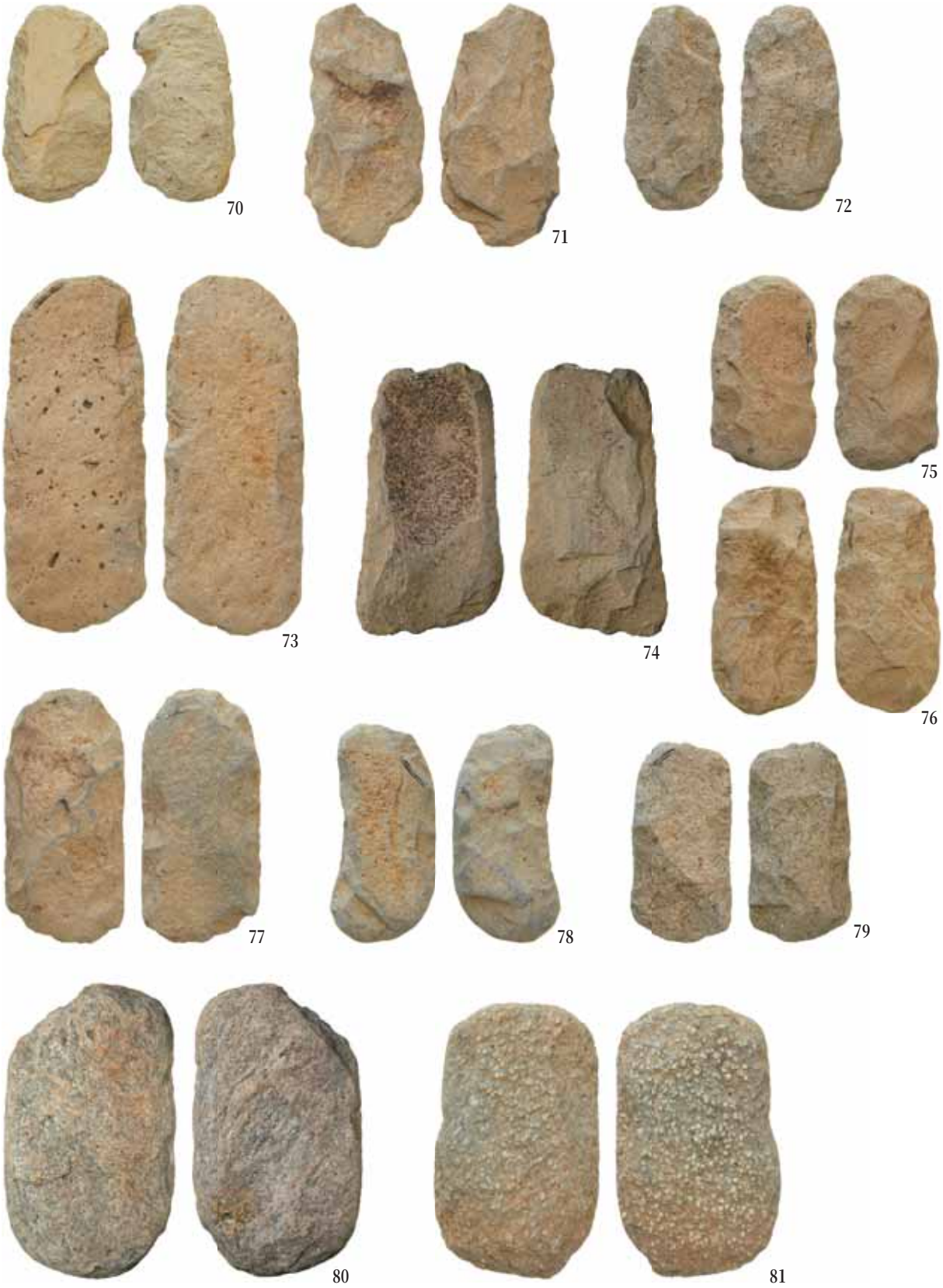


打製石斧④



打製石斧⑤

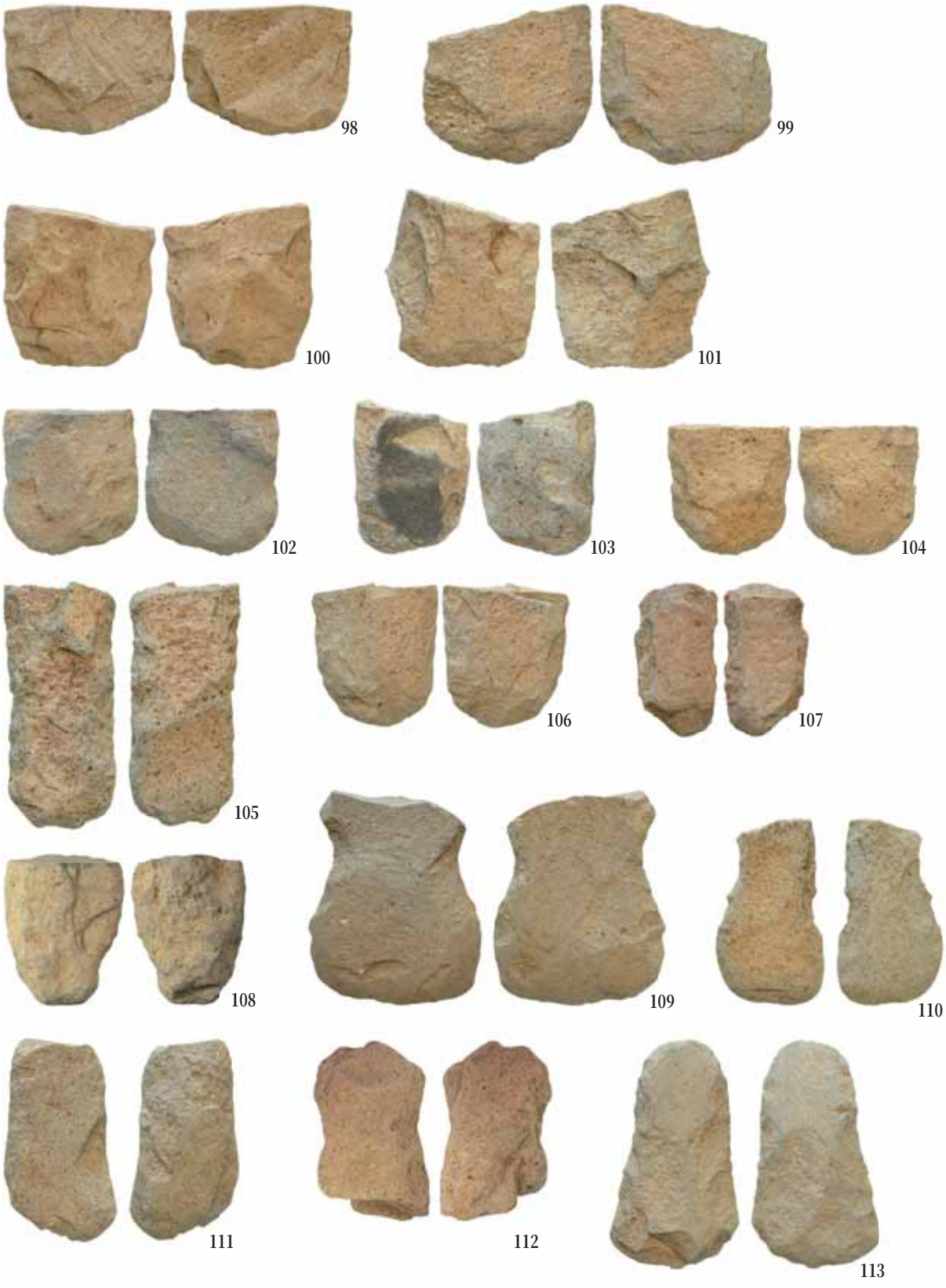
図版212



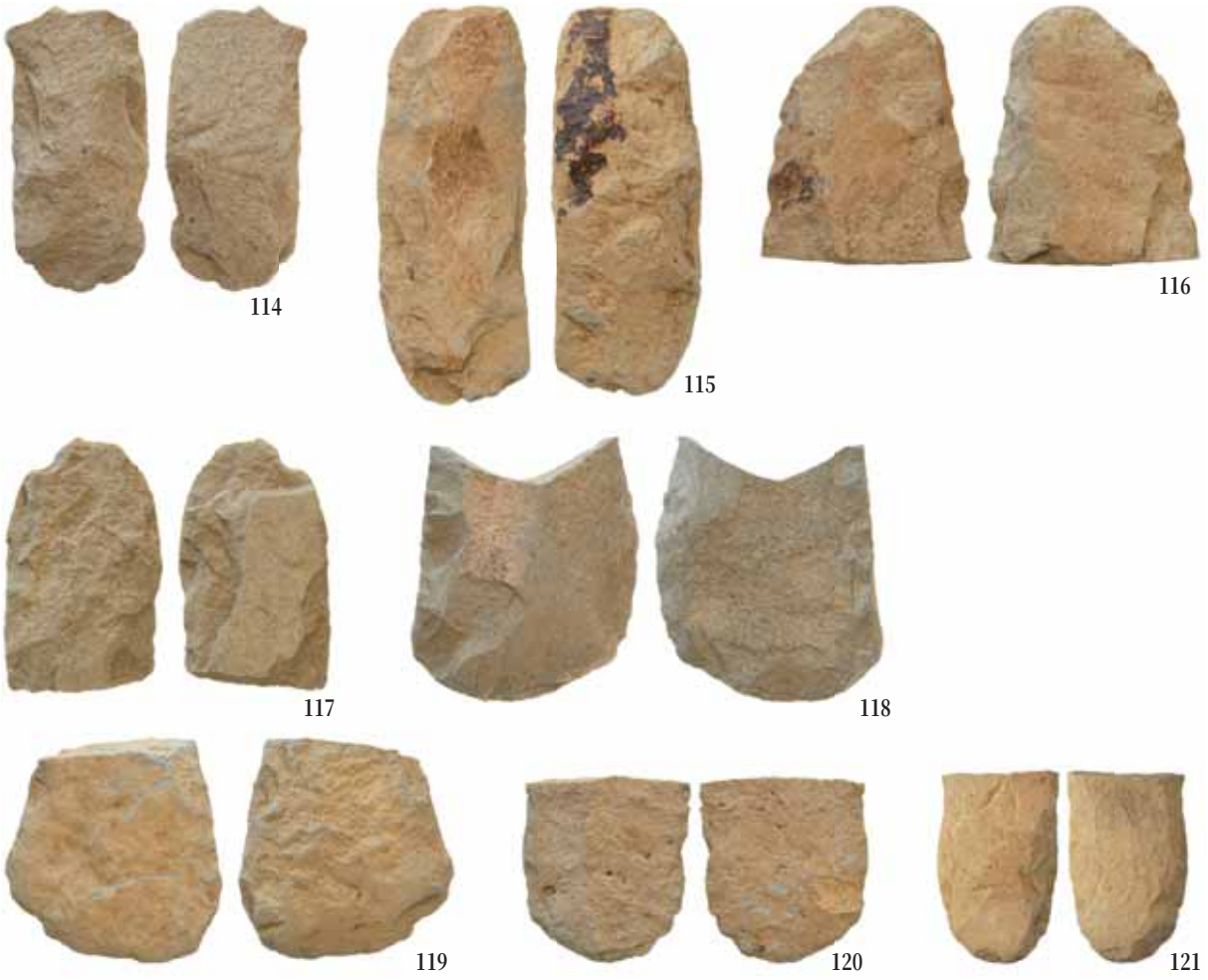
打製石斧⑥

打製石斧⑦

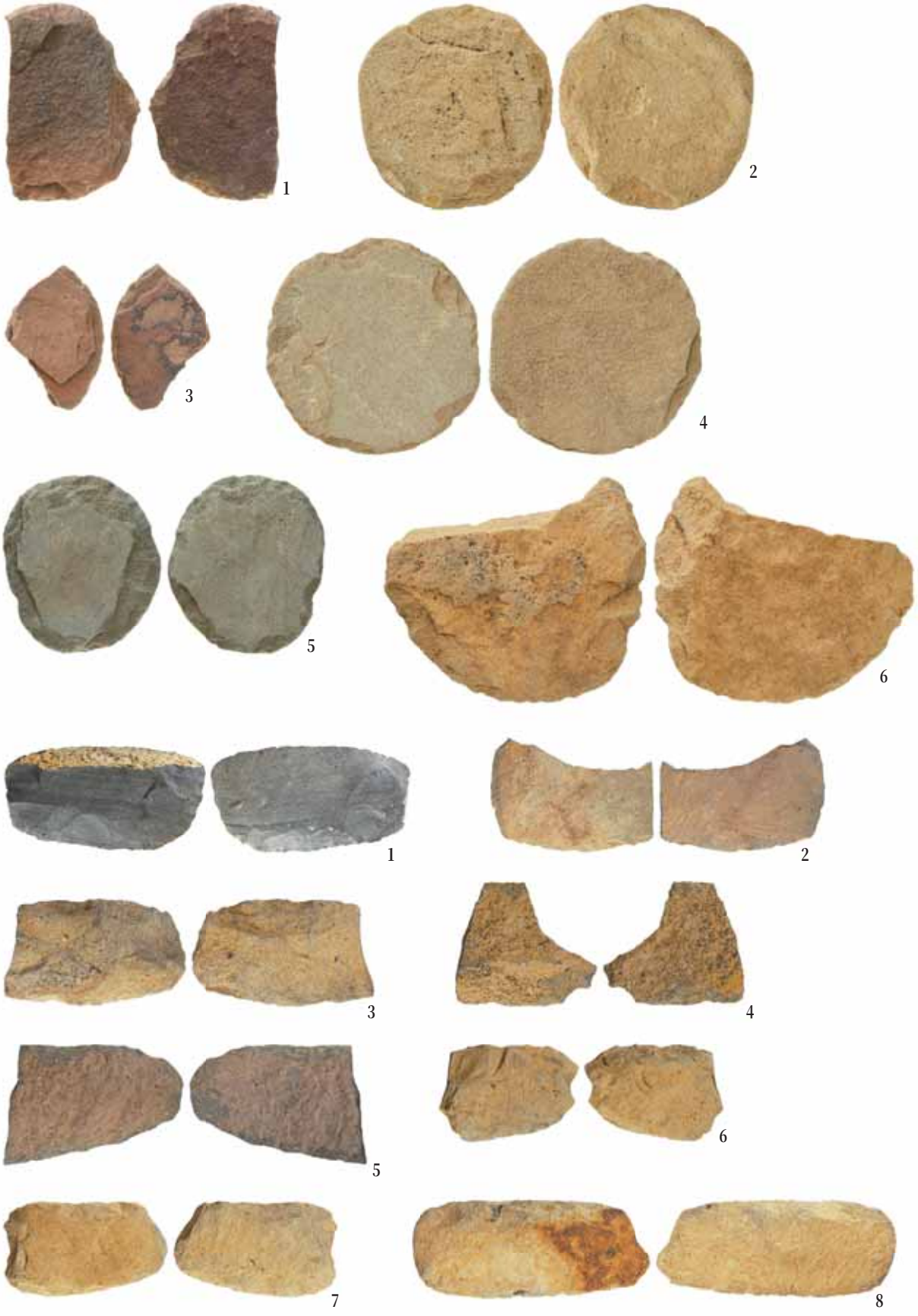
図版214



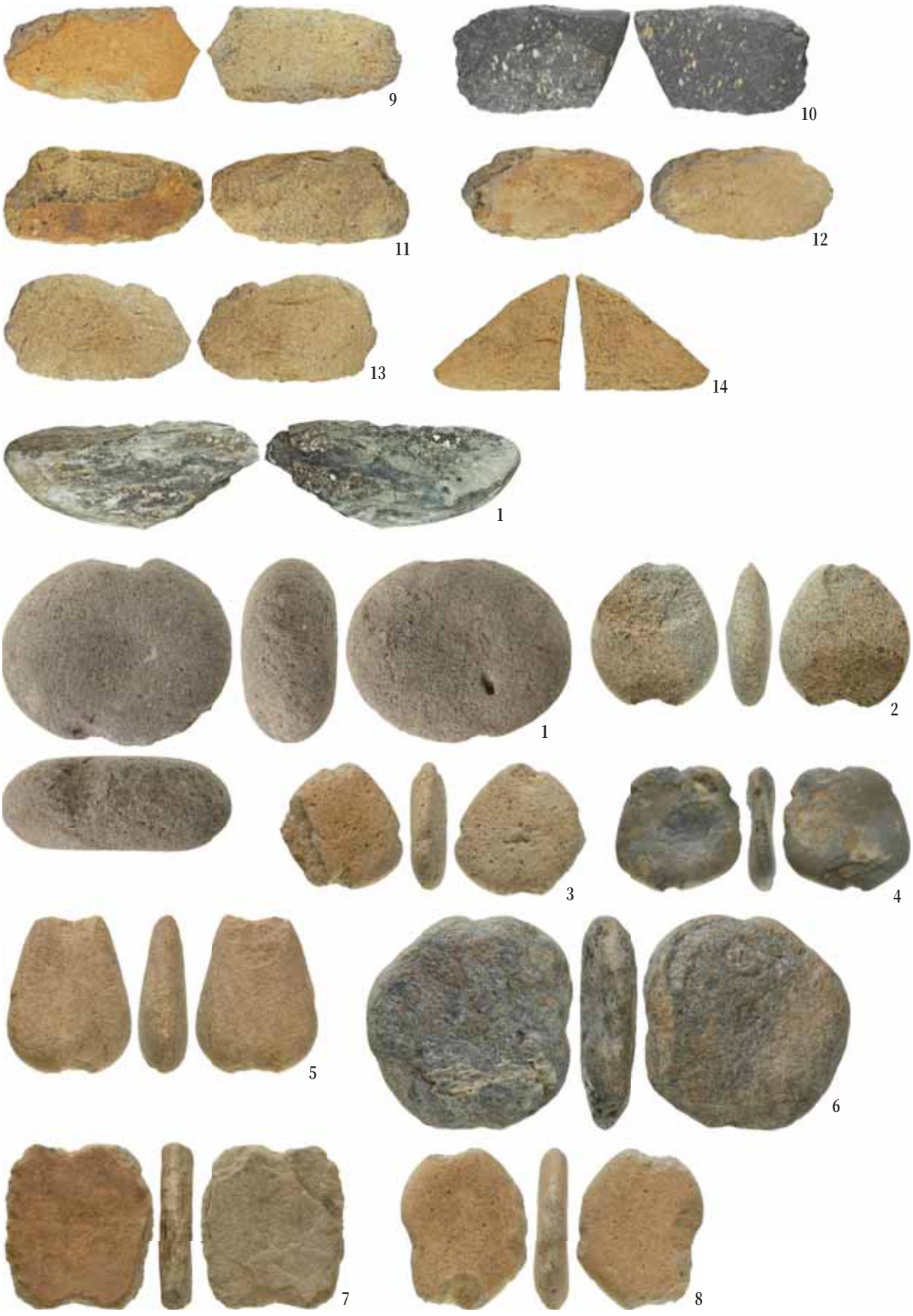
打製石斧⑧



打製石斧⑨



円盤状石器，打製石包丁①



打製石包丁②，磨製石包丁，石錘

図版218

1

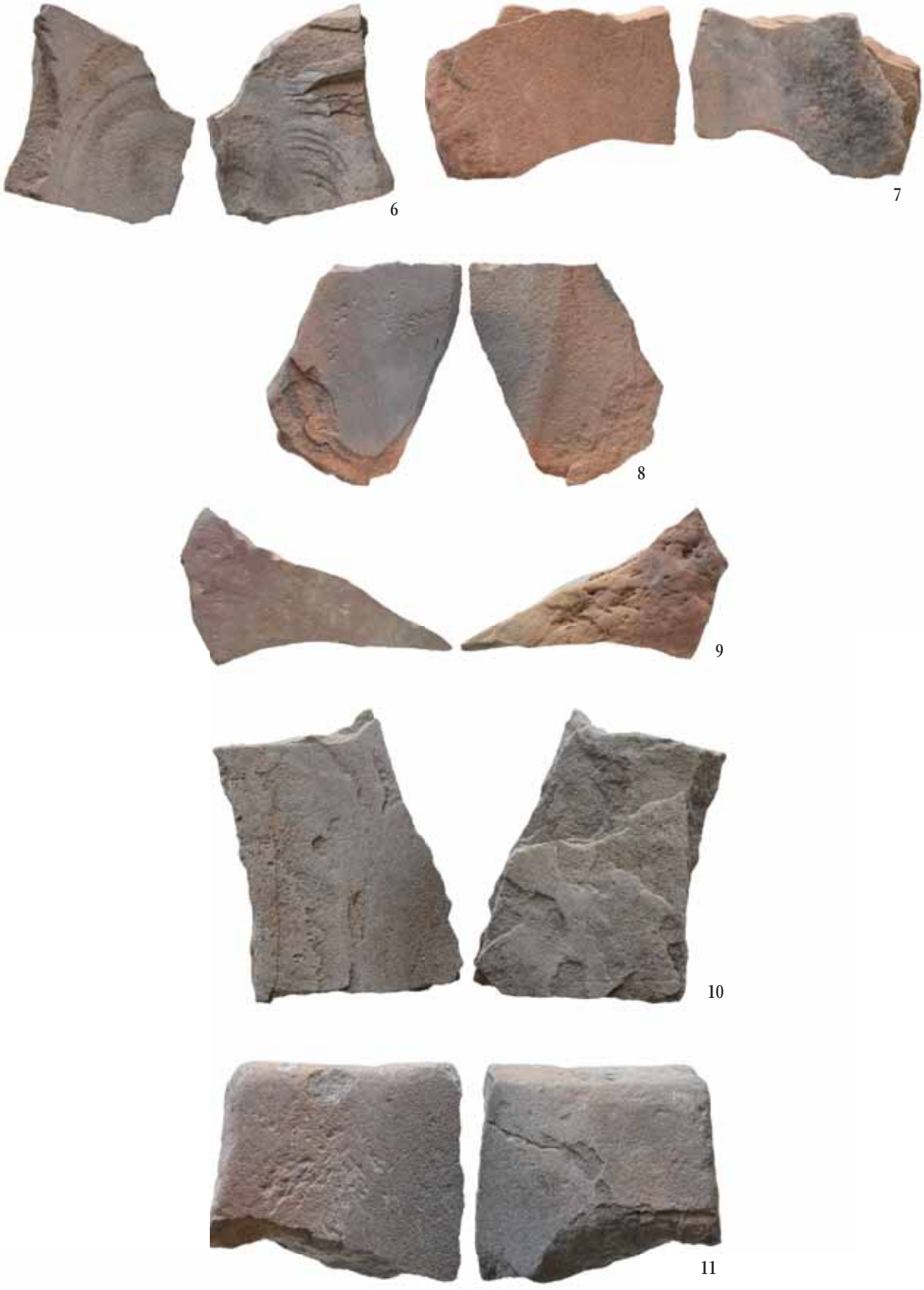
2

3

4

5

石皿①



石皿②

図版220

1

2

3

4

5

6

台石

砥石①

7

9

10

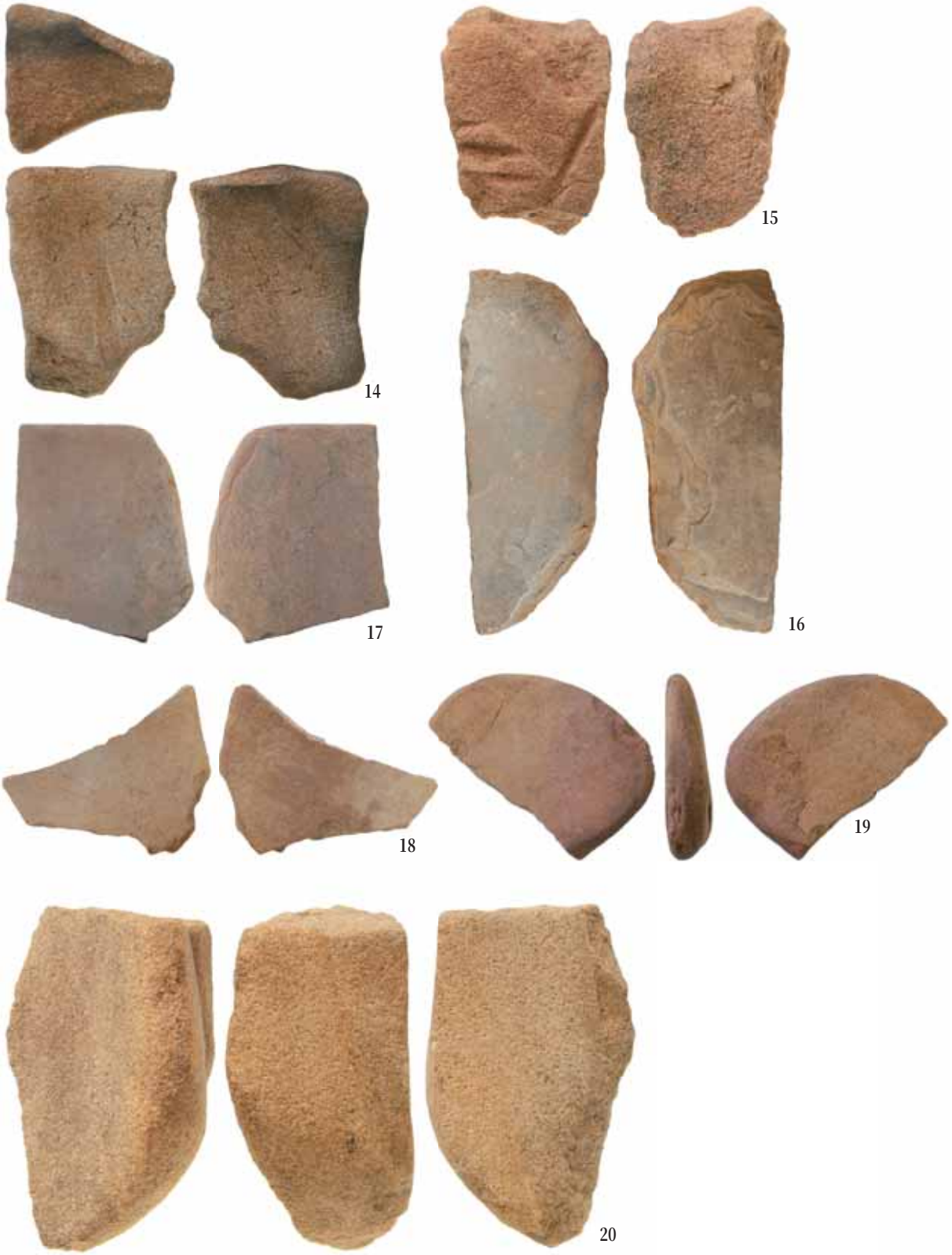
8

11

12

13

砥石②



砥石③

砥石④

26

27

28

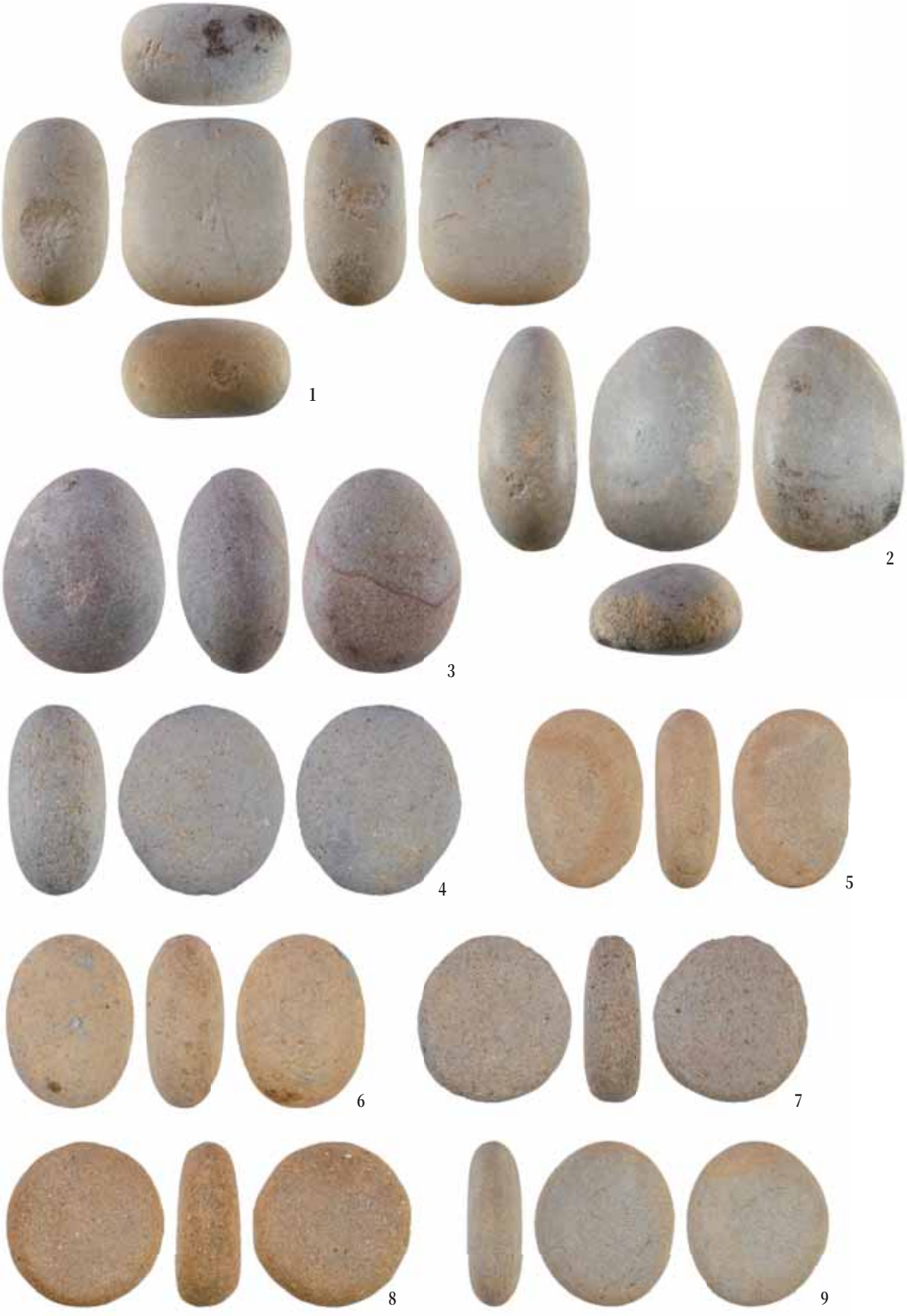
29

30

31

32

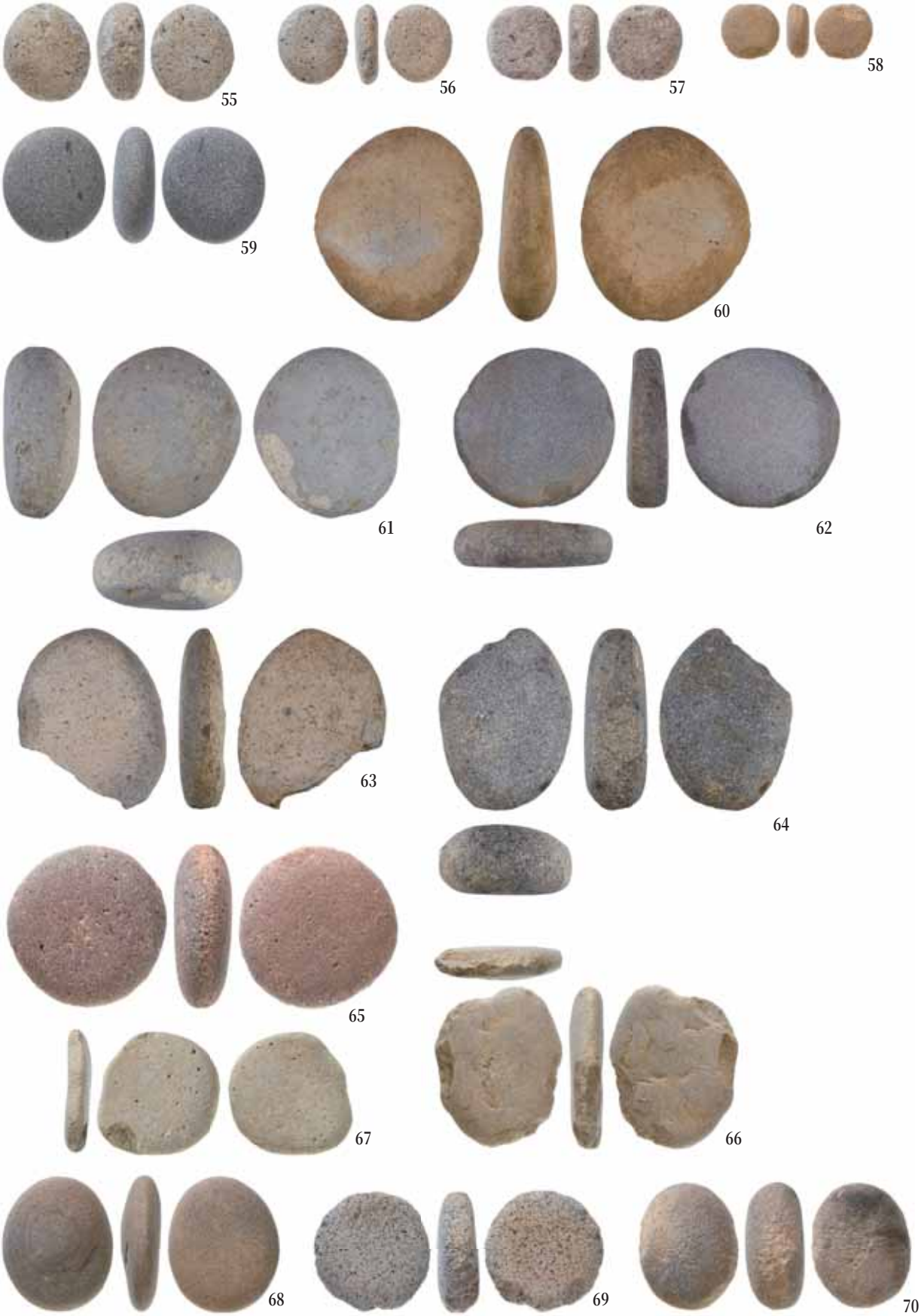
砥石⑤



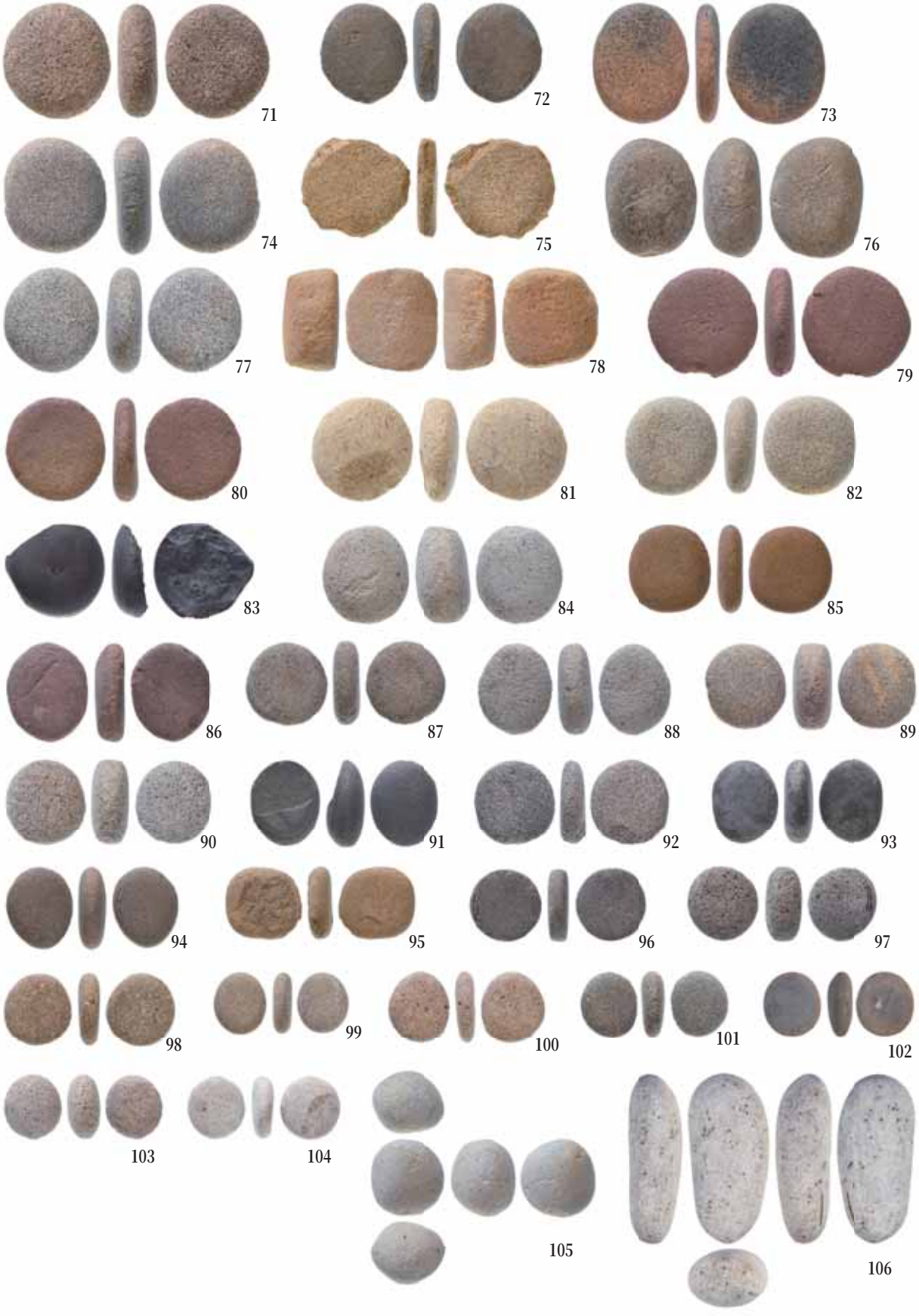
磨石・敲石①

磨石・敲石②

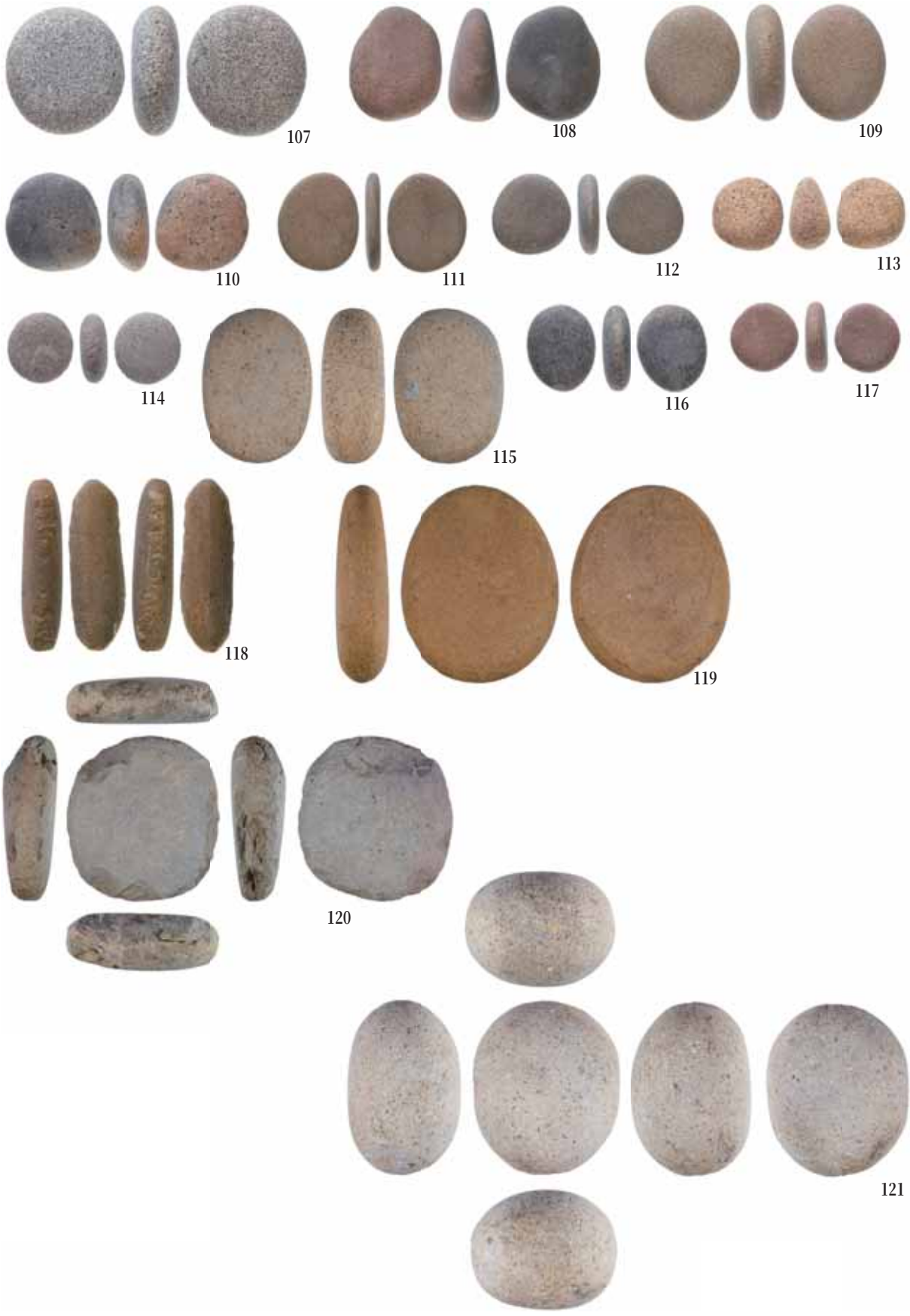
磨石・敲石③



磨石・敲石④


71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106

磨石・敲石⑤



磨石・敲石⑥

122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138

磨石・敲石⑦

研磨具，石製品

報 告 書 抄 録

ふ り が な	ごんげんわきいせき
書 名	権現脇遺跡
副 書 名	赤松谷川１号・２号導流堤嵩上げ工事に伴う発掘調査
巻 次	
シ リ ー ズ 名	南島原市文化財調査報告書
シリーズ番号	第28集
編 著 者 名	本多 和典
編 集 機 関	南島原市教育委員会
所 在 地	〒859－2412 長崎県南島原市南有馬町乙1023番地 TEL0957－73－6705
発 行 年 月 日	西暦2021年９月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
権現脇（ごんげんわき） 遺跡（いせき）	南島原市（みなみしまばらし） 深江町（ふかえちょう）	42214	140	32° 44′ 49″	130° 20′ 08″	Ｊ区 20110712 ～20120327 Ｋ区 20120523 ～20130314 Ｌ区 2013017 ～20130314 20130520 ～20140314 Ｍ区 20130805 ～20140314 20140602 ～20150306 Ｎ区 20151119 ～20160325 Ｏ区 20151119 ～20160325 20161201 ～20170329	Ｊ区 4,152㎡ Ｋ区 3,440㎡ Ｌ区 1,727㎡ Ｍ区 1,795㎡ Ｎ区 593㎡ Ｏ区 1,797㎡ 合計 13,504㎡	赤松谷川 １号・２号 導流堤 嵩上げ工事

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
権現脇 遺跡	遺物 包含地	縄文 弥生	土坑墓 土器棺墓	刻目突帯文土器，粗製深鉢，精製浅鉢，組織痕土器，丹塗壷，打製石斧，打製石包丁，磨製石斧，石核，スクレイパー，石鏃，勾玉，石製品	

南島原市文化財調査報告書　第28集

権 現 脇 遺 跡

2021. 9. 30

発行　長崎県南島原市教育委員会
〒859-2412　長崎県南島原市南有馬町乙1023番地

印刷　株式会社　昭 和 堂